

【公開版】

日本原燃株式会社	
資料番号	火防01 4-5 R0
提出年月日	令和5年3月24日

設工認に係る補足説明資料

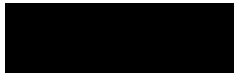
【火災防護に関する補足説明資料】

火災区域（区画）特性表について

1. 本資料(R0)は、再処理施設の第2回設工認申請(令和4年12月26日申請)を踏まえ、新規追加したものである。
2. 今回は代表建屋として、精製建屋の火災区域(区画)特性表を示し、ヒアリング完了後に再処理施設の火災影響評価に係る建屋の火災区域(区画)特性表を示す。

目次

1. 概要 1
2. 内容 1



商業機密の観点から公開できない箇所

1. 概要

本資料は、再処理施設の第2回設工認申請のうち、以下の添付書類に示す火災防護対策を補足説明するものである。

・再処理施設 添付書類「Ⅲ－１－３ 内部火災影響評価に関する方針 2.2 評価条件」

火災影響評価の実施にあたっては、各火災区域及び火災区画の情報を収集、整理した火災区域(区画)特性表をはじめに作成し、火災影響評価の対象となる設備や火災源に係る情報等を把握する必要がある。

本資料は、火災区域(区画)特性表として記載すべき内容について補足説明し、火災影響評価の対象となる各火災区域及び火災区画の火災区域(区画)特性表を示すものである。

なお、MOX燃料加工施設の火災区域及び火災区画の特性表は、第4回の申請時に示す。

2. 内容

再処理施設は、火災及び爆発の影響軽減として火災防護上の最重要設備に対し系統分離対策を行う設計とするとともに、再処理施設内の火災によって、多重化されたそれぞれの系統が同時に機能を失うことなく、再処理施設の安全の確保が可能である設計であることを火災影響評価によって確認する。

火災影響評価は「原子力発電所の内部火災影響評価ガイド」を参考として実施する。評価にあたっては、各火災区域及び火災区画内の情報を網羅的に確認する必要があるため、評価対象設備、可燃性物質の量、機器、ケーブル、隣接する火災区域及び火災区画等の情報を収集・整理し、火災区域及び火災区画の特性表を作成する。

火災区域(区画)特性表に記載すべき内容について第1表に示す。

第1表. 火災区域(区画)特性表に記載すべき内容

(a) 火災区域(区画)の特定

各火災区域(区画)に対して以下の情報を整理し、火災区域(区画)特性表に記載する。

- イ. プラント名
- ロ. 建屋
- ハ. 火災区域(区画)番号, 名称

(b) 火災区域(区画)にある火災ハザードの特定

各火災区域(区画)内に存在する火災ハザードを整理し、火災区域(区画)特性表に記載する。

- イ. 火災区域内の火災区画番号, 名称
- ロ. 床面積
- ハ. 発熱量
- ニ. 火災荷重
- ホ. 等価時間

(c) 火災区域(区画)にある防火設備

火災影響評価では、評価する火災区域(区画)における系統分離対策が実施されていることを確認することから、火災区域(区画)内の消火設備と消火方法を整理し、火災区域(区画)特性表に記載するとともに、火災区域(区画)内の火災感知器も記載する。

(d) 隣接火災区域(区画)への火災伝播経路

各火災区域(区画)と隣接火災区域(区画)との火災伝播経路を整理し、火災区域(区画)特性表に記載する。

なお、隣接火災区域(区画)は、火災を想定する当該火災区域(区画)の一部でも壁が接している火災区域(区画)を選定する。

- イ. 隣接火災区域(区画)番号
- ロ. 隣接火災区域内の火災区画番号, 名称
- ハ. 火災伝播経路
- ニ. 耐火壁の耐火時間
- ホ. 伝播の可能性

(e) 火災により影響を受ける火災防護対象機器の特定

添付書類「火災等による損傷の防止に関する説明書」の「3.1 a. (b) 火災防護対策を行う安全上重要な施設」で選定した機器を、当該火災区域(区画)の火災により影響を受ける火災防護対象機器として、火災区域(区画)特性表に記載する。

また、火災防護上の最重要設備と火災防護対策を行う安全上重要な施設に分類し、火災区域(区画)特性表で整理する。

(f) 火災防護対象ケーブルの特定

(e) 項で特定した火災防護対象機器の電源、制御、計装ケーブルである火災防護対象ケーブルを、火災区域(区画)特性表に記載する。

火災影響評価では、成功パスが少なくとも一つ確保されるか否かを評価するが、その際に、ポンプや弁等の火災防護対象機器の機能喪失を想定することに加え、火災防護対象ケーブルの断線等も想定して火災影響評価を行うことから、火災防護対象ケーブルが通過する火災区域(区画)を調査し、火災区域(区画)特性表に記載する。

また、火災影響評価において、火災防護上の最重要設備の安全機能が少なくとも一つ確保される火災区域又は火災区画は、火災を想定しても火災防護上の最重要設備の安全機能に影響を与えないことから、スクリーンアウトされる。スクリーンアウトの確認にあたっては、当該火災区域又は火災区画に対し、系統の多重性及び多様性を踏まえ、火災防護上の最重要設備の組合せを整理した成功パス一覧表を作成する。

成功パス一覧表は、当該火災区域又は火災区画に設置される再処理施設の火災防護上の最重要設備並びに関連するケーブルの機能喪失の有無、対象となる安全機能が1つ確保できるかを確認するパス、対象となる安全機能がすべて喪失するが代替の手段により安全機能が確保されるかを確認する回路評価、前述した内容を考慮し安全機能を確保できるかを確認する成功パス

を示した表を作成する。

上記に基づき火災区域（区画）特性表及び成功パス一覧表を作成したうえで，火災影響評価を実施する。作成した火災区域(区画)の特性表について，以下の別添に示す。

- ・別添-1 再処理施設の火災区域(区画)の特性表及び成功パス一覧表
- ・別添-2 MOX燃料加工施設の火災区域(区画)の特性表及び成功パス一覧表

別添

4-5. 火災区域(区画)特性表について

別紙				備考
資料No.	名称	提出日	Rev	
別添-1	再処理施設の火災区域(区画)の特性表	R5.3.24	0	
別添-2	MOX燃料加工施設の火災区域(区画)の特性表			MOX燃料加工施設の設備を申請する回次で示す。

別添-1

再処理施設の火災区域(区画)の特性表

火災区域(区画)特性表

1. 火災区域(区画)の説明

建屋名	精製建屋
火災区域/区画区分	火災区画
火災区域/区画番号	■
火災区域/区画名称	地下3階東西第1廊下,東西第2廊下,南北第1廊下,南北第3廊下
床面積(m ²)	■

2. 火災区域(区画)の火災シナリオの説明

■は、精製建屋内の火災区画である。
 本区画の火災源は、電動機、潤滑油、電気盤および、ケーブルトレイである。
 したがって、本区画の想定火災としては、電動機絶縁物火災、潤滑油漏えい火災、電気盤火災または、ケーブルトレイ火災により、多重化された安全上重要な施設である漏えい液回収ポンプに関連するA/B系のケーブルトレイが火災影響を受け、安全機能が喪失するおそれがあるが、火災時には保安規定第37条に基づき、工程を停止し送液を行わないことで、漏えい液回収機能に期待しない状態に移行し安全停止が可能である。

3. 火災区域(区画)にある火災源

(1) 等価時間

発熱量(kJ)	火災荷重(kJ/m ²)	等価時間(h) [※]
■	■	0.5

※ 等価時間は、内部火災影響評価ガイドの等価時間記載の値で示す。

(2) 火災区域(区画)にある火災源機器数

火災源	機器数
電動機(3.7kW超)	12
電気盤(440V以上)	1
ケーブルトレイ(ケーブル)	有
油脂類・有機溶媒等	有
その他	-

4. 火災区域(区画)にある防火設備

火災感知の手段	主要な消火設備	消火方法	消火設備のバックアップ
煙感知器 熱感知器	屋内消火栓	手動	粉末消火器

5. 火災区域(区画)に隣接する火災区域(区画)と火災伝播経路

隣接火災区画への火災伝播経路の詳細は、別紙1参照

6. 火災影響を受ける火災防護対象機器等

機器名称[機器番号]	最重要設備 [※]	最重要設備以外の安全上重要な施設 [※]
安重ケーブルトレイ[A/B系]	-	○ [*]

※ ○:対象 -:非対象

* 火災想定において、工程停止等により安全機能を必要としない状態へと移行が可能なもの。

7. 火災防護対象機器等の関連ケーブル

機器名称[機器番号]	ケーブル種別	安重分類
-	-	-

8. 最重要設備の安重機能への火災影響

安重分類	全焼時の 成功パスの 有無	回路評価 等の考慮	結果	系統分離※
Pu・高レベル廃棄物の閉じ込め機能	-	-	-	-
崩壊熱除去機能(重要度の高いもの)	-	-	-	-
安全圧縮空気系(水素掃気機能)	-	-	-	-
非常用所内電源系統	-	-	-	-

※ a : 3時間以上の耐火能力を有する耐火壁で分離

b : 水平距離6mによる分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置

c : 1時間の耐火能力を有する隔壁等による分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置
再処理施設成功パスの詳細は、別紙2参照

9. 最重要設備以外の火災防護対象機器等への火災影響

機器名称[機器番号]	当該区画の火災評価※	隣接区画の火災評価※
-	-	-

※ ○:火災影響なし ×:火災影響あり

火災区域(区画)特性表

1. 火災区域(区画)の説明

建屋名	精製建屋
火災区域/区画区分	火災区画
火災区域/区画番号	■
火災区域/区画名称	北第2階段室
床面積(m ²)	■

2. 火災区域(区画)の火災シナリオの説明

■は、精製建屋内の火災区画である。
 本区画は、火災源となるものがないおよび安全上重要な施設が設置されていないため、安全機能の喪失のおそれはない。

3. 火災区域(区画)にある火災源

(1) 等価時間

発熱量(kJ)	火災荷重 (kJ/m ²)	等価時間(h) [※]
■	■	0.0

※ 等価時間は、内部火災影響評価ガイドの等価時間記載の値で示す。

(2) 火災区域(区画)にある火災源機器数

火災源	機器数
電動機(3.7kW超)	-
電気盤(440V以上)	-
ケーブルトレイ(ケーブル)	-
油脂類・有機溶媒等	-
その他	-

4. 火災区域(区画)にある防火設備

火災感知の手段	主要な消火設備	消火方法	消火設備のバックアップ
煙感知器	屋内消火栓	手動	粉末消火器

5. 火災区域(区画)に隣接する火災区域(区画)と火災伝播経路

隣接火災区画への火災伝播経路の詳細は、別紙1参照

6. 火災影響を受ける火災防護対象機器等

機器名称[機器番号]	最重要設備 [※]	最重要設備以外の安全上重要な施設 [※]
-	-	-

※ ○:対象 -:非対象

* 火災想定において、工程停止等により安全機能を必要としない状態へと移行が可能なもの。

7. 火災防護対象機器等の関連ケーブル

機器名称[機器番号]	ケーブル種別	安重分類
-	-	-

8. 最重要設備の安重機能への火災影響

安重分類	全焼時の成功パスの有無	回路評価等の考慮	結果	系統分離※
Pu・高レベル廃棄物の閉じ込め機能	-	-	-	-
崩壊熱除去機能(重要度の高いもの)	-	-	-	-
安全圧縮空気系(水素掃気機能)	-	-	-	-
非常用所内電源系統	-	-	-	-

※ a : 3時間以上の耐火能力を有する耐火壁で分離

b : 水平距離6mによる分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置

c : 1時間の耐火能力を有する隔壁等による分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置
再処理施設成功パスの詳細は、別紙2参照

9. 最重要設備以外の火災防護対象機器等への火災影響

機器名称[機器番号]	当該区画の火災評価※	隣接区画の火災評価※
-	-	-

※ ○:火災影響なし ×:火災影響あり

隣接する火災区画と火災伝播経路

(※ 有:伝播する 無:伝播しない)

隣接する 火災区画	火災伝播 経路有無	等価時間 (h)	耐火時間 (h)	火災伝播の 可能性 ※	備考
	無	0.0	3.0	無	
	無	0.0	1.0	無	
	無	0.0	3.0	無	
	無	0.0	1.0	無	
	無	0.0	3.0	無	
	無	0.0	1.0	無	
	無	0.0	3.0	無	
	無	0.0	1.0	無	
	無	0.0	3.0	無	
	無	0.0	1.0	無	
	無	0.0	1.0	無	
	無	0.0	1.0	無	
	無	0.0	3.0	無	
	無	0.0	1.0	無	
	無	0.0	1.0	無	
	無	0.0	1.0	無	

火災区域(区画)特性表

1. 火災区域(区画)の説明

建屋名	精製建屋
火災区域/区画区分	火災区画
火災区域/区画番号	■
火災区域/区画名称	北第2エレベータ
床面積(m ²)	■

2. 火災区域(区画)の火災シナリオの説明

■は、精製建屋内の火災区画である。
 本区画は、火災源となるものがないおよび安全上重要な施設が設置されていないため、安全機能の喪失のおそれはない。

3. 火災区域(区画)にある火災源

(1) 等価時間

発熱量(kJ)	火災荷重 (kJ/m ²)	等価時間(h) [※]
■	■	0.0

※ 等価時間は、内部火災影響評価ガイドの等価時間記載の値で示す。

(2) 火災区域(区画)にある火災源機器数

火災源	機器数
電動機(3.7kW超)	-
電気盤(440V以上)	-
ケーブルトレイ(ケーブル)	-
油脂類・有機溶媒等	-
その他	-

4. 火災区域(区画)にある防火設備

火災感知の手段	主要な消火設備	消火方法	消火設備のバックアップ
設置除外	屋内消火栓	手動	粉末消火器

5. 火災区域(区画)に隣接する火災区域(区画)と火災伝播経路

隣接火災区画への火災伝播経路の詳細は、別紙1参照

6. 火災影響を受ける火災防護対象機器等

機器名称[機器番号]	最重要設備 [※]	最重要設備以外の安全上重要な施設 [※]
-	-	-

※ ○:対象 -:非対象

* 火災想定において、工程停止等により安全機能を必要としない状態へと移行が可能なもの。

7. 火災防護対象機器等の関連ケーブル

機器名称[機器番号]	ケーブル種別	安重分類
-	-	-

8. 最重要設備の安重機能への火災影響

安重分類	全焼時の成功パスの有無	回路評価等の考慮	結果	系統分離※
Pu・高レベル廃棄物の閉じ込め機能	-	-	-	-
崩壊熱除去機能(重要度の高いもの)	-	-	-	-
安全圧縮空気系(水素掃気機能)	-	-	-	-
非常用所内電源系統	-	-	-	-

※ a : 3時間以上の耐火能力を有する耐火壁で分離

b : 水平距離6mによる分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置

c : 1時間の耐火能力を有する隔壁等による分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置
再処理施設成功パスの詳細は、別紙2参照

9. 最重要設備以外の火災防護対象機器等への火災影響

機器名称[機器番号]	当該区画の火災評価※	隣接区画の火災評価※
-	-	-

※ ○:火災影響なし ×:火災影響あり

隣接する火災区画と火災伝播経路

(※ 有:伝播する 無:伝播しない)

隣接する 火災区画	火災伝播 経路有無	等価時間 (h)	耐火時間 (h)	火災伝播の 可能性 ※	備考
	無	0.0	3.0	無	
	無	0.0	1.0	無	
	無	0.0	3.0	無	
	無	0.0	1.0	無	
	無	0.0	3.0	無	
	無	0.0	1.0	無	
	無	0.0	3.0	無	
	無	0.0	1.0	無	
	無	0.0	3.0	無	
	無	0.0	1.0	無	
	無	0.0	1.0	無	
	無	0.0	1.0	無	
	無	0.0	1.0	無	
	無	0.0	3.0	無	
	無	0.0	1.0	無	
	無	0.0	1.0	無	

火災区域(区画)特性表

1. 火災区域(区画)の説明

建屋名	精製建屋
火災区域/区画区分	火災区画
火災区域/区画番号	■
火災区域/区画名称	放管用ブロワ第1室
床面積(m ²)	■

2. 火災区域(区画)の火災シナリオの説明

■は、精製建屋内の火災区画である。
 本区画は、電動機絶縁物火災、潤滑油漏えい火災、電気盤火災または、ケーブルトレイ火災の発生可能性があるが、安全上重要な施設が設置されていないため、安全機能の喪失のおそれはない。

3. 火災区域(区画)にある火災源

(1) 等価時間

発熱量(kJ)	火災荷重 (kJ/m ²)	等価時間(h) [※]
■	■	0.5

※ 等価時間は、内部火災影響評価ガイドの等価時間記載の値で示す。

(2) 火災区域(区画)にある火災源機器数

火災源	機器数
電動機(3.7kW超)	1
電気盤(440V以上)	1
ケーブルトレイ(ケーブル)	有
油脂類・有機溶媒等	有
その他	-

4. 火災区域(区画)にある防火設備

火災感知の手段	主要な消火設備	消火方法	消火設備のバックアップ
煙感知器	屋内消火栓	手動	粉末消火器

5. 火災区域(区画)に隣接する火災区域(区画)と火災伝播経路

隣接火災区画への火災伝播経路の詳細は、別紙1参照

6. 火災影響を受ける火災防護対象機器等

機器名称[機器番号]	最重要設備 [※]	最重要設備以外の安全上重要な施設 [※]
-	-	-

※ ○:対象 -:非対象

* 火災想定において、工程停止等により安全機能を必要としない状態へと移行が可能なもの。

7. 火災防護対象機器等の関連ケーブル

機器名称[機器番号]	ケーブル種別	安重分類
-	-	-

8. 最重要設備の安重機能への火災影響

安重分類	全焼時の成功パスの有無	回路評価等の考慮	結果	系統分離※
Pu・高レベル廃棄物の閉じ込め機能	-	-	-	-
崩壊熱除去機能(重要度の高いもの)	-	-	-	-
安全圧縮空気系(水素掃気機能)	-	-	-	-
非常用所内電源系統	-	-	-	-

※ a : 3時間以上の耐火能力を有する耐火壁で分離

b : 水平距離6mによる分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置

c : 1時間の耐火能力を有する隔壁等による分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置
再処理施設成功パスの詳細は、別紙2参照

9. 最重要設備以外の火災防護対象機器等への火災影響

機器名称[機器番号]	当該区画の火災評価※	隣接区画の火災評価※
-	-	-

※ ○:火災影響なし ×:火災影響あり

隣接する火災区画と火災伝播経路

(※ 有:伝播する 無:伝播しない)

隣接する 火災区画	火災伝播 経路有無	等価時間 (h)	耐火時間 (h)	火災伝播の 可能性 ※	備考
	無	0.5	3.0	無	
	無	0.5	1.0	無	
	無	0.5	3.0	無	
	有	0.5	0.0	有	
	有	0.5	0.0	有	

火災区域(区画)特性表

1. 火災区域(区画)の説明

建屋名	精製建屋
火災区域／区画区分	火災区画
火災区域／区画番号	■
火災区域／区画名称	南第2エレベータ
床面積(m ²)	■

2. 火災区域(区画)の火災シナリオの説明

■は、精製建屋内の火災区画である。
 本区画は、火災源となるものがないおよび安全上重要な施設が設置されていないため、安全機能の喪失のおそれはない。

3. 火災区域(区画)にある火災源

(1) 等価時間

発熱量(kJ)	火災荷重 (kJ/m ²)	等価時間(h) [※]
■	■	0.0

※ 等価時間は、内部火災影響評価ガイドの等価時間記載の値で示す。

(2) 火災区域(区画)にある火災源機器数

火災源	機器数
電動機(3.7kW超)	-
電気盤(440V以上)	-
ケーブルトレイ(ケーブル)	-
油脂類・有機溶媒等	-
その他	-

4. 火災区域(区画)にある防火設備

火災感知の手段	主要な消火設備	消火方法	消火設備のバックアップ
設置除外	屋内消火栓	手動	粉末消火器

5. 火災区域(区画)に隣接する火災区域(区画)と火災伝播経路

隣接火災区画への火災伝播経路の詳細は、別紙1参照

6. 火災影響を受ける火災防護対象機器等

機器名称[機器番号]	最重要設備 [※]	最重要設備以外の安全上重要な施設 [※]
-	-	-

※ ○:対象 -:非対象

* 火災想定において、工程停止等により安全機能を必要としない状態へと移行が可能なもの。

7. 火災防護対象機器等の関連ケーブル

機器名称[機器番号]	ケーブル種別	安重分類
-	-	-

8. 最重要設備の安重機能への火災影響

安重分類	全焼時の成功パスの有無	回路評価等の考慮	結果	系統分離※
Pu・高レベル廃棄物の閉じ込め機能	-	-	-	-
崩壊熱除去機能(重要度の高いもの)	-	-	-	-
安全圧縮空気系(水素掃気機能)	-	-	-	-
非常用所内電源系統	-	-	-	-

※ a : 3時間以上の耐火能力を有する耐火壁で分離

b : 水平距離6mによる分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置

c : 1時間の耐火能力を有する隔壁等による分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置
再処理施設成功パスの詳細は、別紙2参照

9. 最重要設備以外の火災防護対象機器等への火災影響

機器名称[機器番号]	当該区画の火災評価※	隣接区画の火災評価※
-	-	-

※ ○:火災影響なし ×:火災影響あり

隣接する火災区画と火災伝播経路

(※ 有:伝播する 無:伝播しない)

隣接する火災区画	火災伝播経路有無	等価時間(h)	耐火時間(h)	火災伝播の可能性※	備考
	無	0.0	3.0	無	
	無	0.0	1.0	無	
	無	0.0	1.0	無	
	無	0.0	3.0	無	
	無	0.0	1.0	無	
	無	0.0	3.0	無	
	無	0.0	1.0	無	
	無	0.0	3.0	無	
	無	0.0	1.0	無	
	無	0.0	3.0	無	
	無	0.0	1.0	無	
	無	0.0	3.0	無	
	無	0.0	1.0	無	
	無	0.0	3.0	無	
	無	0.0	1.0	無	
	無	0.0	1.0	無	

火災区域(区画)特性表

1. 火災区域(区画)の説明

建屋名	精製建屋
火災区域/区画区分	火災区画
火災区域/区画番号	■
火災区域/区画名称	南第2階段室
床面積(m ²)	■

2. 火災区域(区画)の火災シナリオの説明

■は、精製建屋内の火災区画である。
 本区画は、火災源となるものがないおよび安全上重要な施設が設置されていないため、安全機能の喪失のおそれはない。

3. 火災区域(区画)にある火災源

(1) 等価時間

発熱量(kJ)	火災荷重 (kJ/m ²)	等価時間(h) [※]
■	■	0.0

※ 等価時間は、内部火災影響評価ガイドの等価時間記載の値で示す。

(2) 火災区域(区画)にある火災源機器数

火災源	機器数
電動機(3.7kW超)	-
電気盤(440V以上)	-
ケーブルトレイ(ケーブル)	-
油脂類・有機溶媒等	-
その他	-

4. 火災区域(区画)にある防火設備

火災感知の手段	主要な消火設備	消火方法	消火設備のバックアップ
煙感知器	屋内消火栓	手動	粉末消火器

5. 火災区域(区画)に隣接する火災区域(区画)と火災伝播経路

隣接火災区画への火災伝播経路の詳細は、別紙1参照

6. 火災影響を受ける火災防護対象機器等

機器名称[機器番号]	最重要設備 [※]	最重要設備以外の安全上重要な施設 [※]
-	-	-

※ ○:対象 -:非対象

* 火災想定において、工程停止等により安全機能を必要としない状態へと移行が可能なもの。

7. 火災防護対象機器等の関連ケーブル

機器名称[機器番号]	ケーブル種別	安重分類
-	-	-

8. 最重要設備の安重機能への火災影響

安重分類	全焼時の 成功パスの 有無	回路評価 等の考慮	結果	系統分離※
Pu・高レベル廃棄物の閉じ込め機能	-	-	-	-
崩壊熱除去機能(重要度の高いもの)	-	-	-	-
安全圧縮空気系(水素掃気機能)	-	-	-	-
非常用所内電源系統	-	-	-	-

※ a : 3時間以上の耐火能力を有する耐火壁で分離

b : 水平距離6mによる分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置

c : 1時間の耐火能力を有する隔壁等による分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置
再処理施設成功パスの詳細は、別紙2参照

9. 最重要設備以外の火災防護対象機器等への火災影響

機器名称[機器番号]	当該区画の火災評価※	隣接区画の火災評価※
-	-	-

※ ○:火災影響なし ×:火災影響あり

隣接する火災区画と火災伝播経路

(※ 有:伝播する 無:伝播しない)

隣接する 火災区画	火災伝播 経路有無	等価時間 (h)	耐火時間 (h)	火災伝播の 可能性 ※	備考
	無	0.0	3.0	無	
	無	0.0	1.0	無	
	無	0.0	1.0	無	
	無	0.0	1.0	無	
	無	0.0	3.0	無	
	無	0.0	1.0	無	
	無	0.0	3.0	無	
	無	0.0	1.0	無	
	無	0.0	3.0	無	
	無	0.0	1.0	無	
	無	0.0	3.0	無	
	無	0.0	3.0	無	
	無	0.0	1.0	無	
	無	0.0	3.0	無	
	無	0.0	1.0	無	
	無	0.0	1.0	無	
	無	0.0	1.0	無	
	無	0.0	1.0	無	
	無	0.0	1.0	無	
	無	0.0	1.0	無	
	無	0.0	1.0	無	

火災区域(区画)特性表

1. 火災区域(区画)の説明

建屋名	精製建屋
火災区域/区画区分	火災区画
火災区域/区画番号	■
火災区域/区画名称	第2酸回収精留塔セル
床面積(m ²)	■

2. 火災区域(区画)の火災シナリオの説明

■は、精製建屋内の火災区画である。
 本区画は、火災源となるものがないおよび安全上重要な施設が設置されていないため、安全機能の喪失のおそれはない。

3. 火災区域(区画)にある火災源

(1) 等価時間

発熱量(kJ)	火災荷重 (kJ/m ²)	等価時間(h) [※]
■	■	0.0

※ 等価時間は、内部火災影響評価ガイドの等価時間記載の値で示す。

(2) 火災区域(区画)にある火災源機器数

火災源	機器数
電動機(3.7kW超)	-
電気盤(440V以上)	-
ケーブルトレイ(ケーブル)	-
油脂類・有機溶媒等	-
その他	-

4. 火災区域(区画)にある防火設備

火災感知の手段	主要な消火設備	消火方法	消火設備のバックアップ
設置除外	設置除外	-	-

5. 火災区域(区画)に隣接する火災区域(区画)と火災伝播経路

隣接火災区画への火災伝播経路の詳細は、別紙1参照

6. 火災影響を受ける火災防護対象機器等

機器名称[機器番号]	最重要設備 [※]	最重要設備以外の安全上重要な施設 [※]
-	-	-

※ ○:対象 -:非対象

* 火災想定において、工程停止等により安全機能を必要としない状態へと移行が可能なもの。

7. 火災防護対象機器等の関連ケーブル

機器名称[機器番号]	ケーブル種別	安重分類
-	-	-

8. 最重要設備の安重機能への火災影響

安重分類	全焼時の成功パスの有無	回路評価等の考慮	結果	系統分離※
Pu・高レベル廃棄物の閉じ込め機能	-	-	-	-
崩壊熱除去機能(重要度の高いもの)	-	-	-	-
安全圧縮空気系(水素掃気機能)	-	-	-	-
非常用所内電源系統	-	-	-	-

※ a : 3時間以上の耐火能力を有する耐火壁で分離

b : 水平距離6mによる分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置

c : 1時間の耐火能力を有する隔壁等による分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置
再処理施設成功パスの詳細は、別紙2参照

9. 最重要設備以外の火災防護対象機器等への火災影響

機器名称[機器番号]	当該区画の火災評価※	隣接区画の火災評価※
-	-	-

※ ○:火災影響なし ×:火災影響あり

隣接する火災区画と火災伝播経路

(※ 有:伝播する 無:伝播しない)

隣接する火災区画	火災伝播経路有無	等価時間(h)	耐火時間(h)	火災伝播の可能性※	備考
	無	0.0	3.0	無	
	無	0.0	3.0	無	
	有	0.0	0.0	無	
	無	0.0	3.0	無	
	有	0.0	0.0	無	
	無	0.0	3.0	無	
	無	0.0	3.0	無	
	無	0.0	3.0	無	
	有	0.0	0.0	無	
	無	0.0	3.0	無	
	有	0.0	0.0	無	
	有	0.0	0.0	無	
	有	0.0	0.0	無	
	有	0.0	0.0	無	
	無	0.0	3.0	無	
	有	0.0	0.0	無	

火災区域(区画)特性表

1. 火災区域(区画)の説明

建屋名	精製建屋
火災区域/区画区分	火災区画
火災区域/区画番号	■
火災区域/区画名称	第2酸回収蒸発缶セル
床面積(m ²)	■

2. 火災区域(区画)の火災シナリオの説明

■は、精製建屋内の火災区画である。
 本区画は、火災源となるものがないおよび安全上重要な施設が設置されていないため、安全機能の喪失のおそれはない。

3. 火災区域(区画)にある火災源

(1) 等価時間

発熱量(kJ)	火災荷重(kJ/m ²)	等価時間(h) [※]
■	■	0.0

※ 等価時間は、内部火災影響評価ガイドの等価時間記載の値で示す。

(2) 火災区域(区画)にある火災源機器数

火災源	機器数
電動機(3.7kW超)	-
電気盤(440V以上)	-
ケーブルトレイ(ケーブル)	-
油脂類・有機溶媒等	-
その他	-

4. 火災区域(区画)にある防火設備

火災感知の手段	主要な消火設備	消火方法	消火設備のバックアップ
設置除外	設置除外	-	-

5. 火災区域(区画)に隣接する火災区域(区画)と火災伝播経路 隣接火災区画への火災伝播経路の詳細は、別紙1参照

6. 火災影響を受ける火災防護対象機器等

機器名称[機器番号]	最重要設備 [※]	最重要設備以外の安全上重要な施設 [※]
-	-	-

※ ○:対象 -:非対象

* 火災想定において、工程停止等により安全機能を必要としない状態へと移行が可能なもの。

7. 火災防護対象機器等の関連ケーブル

機器名称[機器番号]	ケーブル種別	安重分類
-	-	-

8. 最重要設備の安重機能への火災影響

安重分類	全焼時の成功パスの有無	回路評価等の考慮	結果	系統分離※
Pu・高レベル廃棄物の閉じ込め機能	-	-	-	-
崩壊熱除去機能(重要度の高いもの)	-	-	-	-
安全圧縮空気系(水素掃気機能)	-	-	-	-
非常用所内電源系統	-	-	-	-

※ a : 3時間以上の耐火能力を有する耐火壁で分離

b : 水平距離6mによる分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置

c : 1時間の耐火能力を有する隔壁等による分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置
再処理施設成功パスの詳細は、別紙2参照

9. 最重要設備以外の火災防護対象機器等への火災影響

機器名称[機器番号]	当該区画の火災評価※	隣接区画の火災評価※
-	-	-

※ ○:火災影響なし ×:火災影響あり

隣接する火災区画と火災伝播経路

(※ 有:伝播する 無:伝播しない)

隣接する火災区画	火災伝播経路有無	等価時間(h)	耐火時間(h)	火災伝播の可能性※	備考
	無	0.0	3.0	無	
	無	0.0	3.0	無	
	有	0.0	0.0	無	
	無	0.0	3.0	無	
	有	0.0	0.0	無	
	無	0.0	3.0	無	
	有	0.0	0.0	無	
	無	0.0	3.0	無	
	有	0.0	0.0	無	
	無	0.0	3.0	無	
	無	0.0	3.0	無	
	有	0.0	0.0	無	
	有	0.0	0.0	無	
	有	0.0	0.0	無	
	無	0.0	3.0	無	
	無	0.0	3.0	無	
	有	0.0	0.0	無	
	有	0.0	0.0	無	
	有	0.0	0.0	無	
	無	0.0	3.0	無	
	有	0.0	0.0	無	
	無	0.0	3.0	無	
	無	0.0	3.0	無	
	無	0.0	1.0	無	

火災区域(区画)特性表

1. 火災区域(区画)の説明

建屋名	精製建屋
火災区域/区画区分	火災区画
火災区域/区画番号	■
火災区域/区画名称	第5予備室
床面積(m ²)	■

2. 火災区域(区画)の火災シナリオの説明

■は、精製建屋内の火災区画である。
 本区画は、火災源となるものがないおよび安全上重要な施設が設置されていないため、安全機能の喪失のおそれはない。

3. 火災区域(区画)にある火災源

(1) 等価時間

発熱量(kJ)	火災荷重 (kJ/m ²)	等価時間(h) [※]
■	■	0.0

※ 等価時間は、内部火災影響評価ガイドの等価時間記載の値で示す。

(2) 火災区域(区画)にある火災源機器数

火災源	機器数
電動機(3.7kW超)	-
電気盤(440V以上)	-
ケーブルトレイ(ケーブル)	-
油脂類・有機溶媒等	-
その他	-

4. 火災区域(区画)にある防火設備

火災感知の手段	主要な消火設備	消火方法	消火設備のバックアップ
煙感知器	屋内消火栓	手動	粉末消火器

5. 火災区域(区画)に隣接する火災区域(区画)と火災伝播経路

隣接火災区画への火災伝播経路の詳細は、別紙1参照

6. 火災影響を受ける火災防護対象機器等

機器名称[機器番号]	最重要設備 [※]	最重要設備以外の安全上重要な施設 [※]
-	-	-

※ ○:対象 -:非対象

* 火災想定において、工程停止等により安全機能を必要としない状態へと移行が可能なもの。

7. 火災防護対象機器等の関連ケーブル

機器名称[機器番号]	ケーブル種別	安重分類
-	-	-

8. 最重要設備の安重機能への火災影響

安重分類	全焼時の成功パスの有無	回路評価等の考慮	結果	系統分離※
Pu・高レベル廃棄物の閉じ込め機能	-	-	-	-
崩壊熱除去機能(重要度の高いもの)	-	-	-	-
安全圧縮空気系(水素掃気機能)	-	-	-	-
非常用所内電源系統	-	-	-	-

※ a : 3時間以上の耐火能力を有する耐火壁で分離

b : 水平距離6mによる分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置

c : 1時間の耐火能力を有する隔壁等による分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置
再処理施設成功パスの詳細は、別紙2参照

9. 最重要設備以外の火災防護対象機器等への火災影響

機器名称[機器番号]	当該区画の火災評価※	隣接区画の火災評価※
-	-	-

※ ○:火災影響なし ×:火災影響あり

隣接する火災区画と火災伝播経路

(※ 有:伝播する 無:伝播しない)

隣接する火災区画	火災伝播経路有無	等価時間(h)	耐火時間(h)	火災伝播の可能性※	備考
[Redacted]	有	0.0	0.0	無	
	有	0.0	0.0	無	
	有	0.0	0.0	無	
	無	0.0	3.0	無	
	有	0.0	0.0	無	
	無	0.0	3.0	無	

火災区域(区画)特性表

1. 火災区域(区画)の説明

建屋名	精製建屋
火災区域/区画区分	火災区画
火災区域/区画番号	■
火災区域/区画名称	精製建屋一時貯留処理槽第2セル
床面積(m ²)	■

2. 火災区域(区画)の火災シナリオの説明

■は、精製建屋内の火災区画である。
 本区画は、火災源となるものがないおよび、室内の安全上重要な設備が金属等の不燃材で構成され火災影響を受けないことから、安全機能の喪失のおそれがない。

3. 火災区域(区画)にある火災源

(1) 等価時間

発熱量(kJ)	火災荷重 (kJ/m ²)	等価時間(h) [※]
■	■	0.0

※ 等価時間は、内部火災影響評価ガイドの等価時間記載の値で示す。

(2) 火災区域(区画)にある火災源機器数

火災源	機器数
電動機(3.7kW超)	-
電気盤(440V以上)	-
ケーブルトレイ(ケーブル)	-
油脂類・有機溶媒等	-
その他	-

4. 火災区域(区画)にある防火設備

火災感知の手段	主要な消火設備	消火方法	消火設備のバックアップ
設置除外	設置除外	-	-

5. 火災区域(区画)に隣接する火災区域(区画)と火災伝播経路

隣接火災区画への火災伝播経路の詳細は、別紙1参照

6. 火災影響を受ける火災防護対象機器等

機器名称[機器番号]	最重要設備 [※]	最重要設備以外の安全上重要な施設 [※]
-	-	-

※ ○:対象 -:非対象

* 火災想定において、工程停止等により安全機能を必要としない状態へと移行が可能なもの。

7. 火災防護対象機器等の関連ケーブル

機器名称[機器番号]	ケーブル種別	安重分類
-	-	-

8. 最重要設備の安重機能への火災影響

安重分類	全焼時の成功パスの有無	回路評価等の考慮	結果	系統分離※
Pu・高レベル廃棄物の閉じ込め機能	-	-	-	-
崩壊熱除去機能(重要度の高いもの)	-	-	-	-
安全圧縮空気系(水素掃気機能)	-	-	-	-
非常用所内電源系統	-	-	-	-

※ a : 3時間以上の耐火能力を有する耐火壁で分離

b : 水平距離6mによる分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置

c : 1時間の耐火能力を有する隔壁等による分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置
再処理施設成功パスの詳細は、別紙2参照

9. 最重要設備以外の火災防護対象機器等への火災影響

機器名称[機器番号]	当該区画の火災評価※	隣接区画の火災評価※
-	-	-

※ ○:火災影響なし ×:火災影響あり

隣接する火災区画と火災伝播経路

(※ 有:伝播する 無:伝播しない)

隣接する 火災区画	火災伝播 経路有無	等価時間 (h)	耐火時間 (h)	火災伝播の 可能性 ※	備考
	無	0.0	3.0	無	
	有	0.0	0.0	無	
	無	0.0	3.0	無	
	有	0.0	0.0	無	
	有	0.0	0.0	無	
	有	0.0	0.0	無	
	無	0.0	3.0	無	
	有	0.0	0.0	無	

火災区域(区画)特性表

1. 火災区域(区画)の説明

建屋名	精製建屋
火災区域/区画区分	火災区画
火災区域/区画番号	■
火災区域/区画名称	第3予備セル
床面積(m ²)	■

2. 火災区域(区画)の火災シナリオの説明

■は、精製建屋内の火災区画である。
 本区画は、火災源となるものがないおよび安全上重要な施設が設置されていないため、安全機能の喪失のおそれはない。

3. 火災区域(区画)にある火災源

(1) 等価時間

発熱量(kJ)	火災荷重 (kJ/m ²)	等価時間(h) [※]
■	■	0.0

※ 等価時間は、内部火災影響評価ガイドの等価時間記載の値で示す。

(2) 火災区域(区画)にある火災源機器数

火災源	機器数
電動機(3.7kW超)	-
電気盤(440V以上)	-
ケーブルトレイ(ケーブル)	-
油脂類・有機溶媒等	-
その他	-

4. 火災区域(区画)にある防火設備

火災感知の手段	主要な消火設備	消火方法	消火設備のバックアップ
設置除外	設置除外	-	-

5. 火災区域(区画)に隣接する火災区域(区画)と火災伝播経路

隣接火災区画への火災伝播経路の詳細は、別紙1参照

6. 火災影響を受ける火災防護対象機器等

機器名称[機器番号]	最重要設備 [※]	最重要設備以外の安全上重要な施設 [※]
-	-	-

※ ○:対象 -:非対象

* 火災想定において、工程停止等により安全機能を必要としない状態へと移行が可能なもの。

7. 火災防護対象機器等の関連ケーブル

機器名称[機器番号]	ケーブル種別	安重分類
-	-	-

8. 最重要設備の安重機能への火災影響

安重分類	全焼時の 成功パスの 有無	回路評価 等の考慮	結果	系統分離※
Pu・高レベル廃棄物の閉じ込め機能	-	-	-	-
崩壊熱除去機能(重要度の高いもの)	-	-	-	-
安全圧縮空気系(水素掃気機能)	-	-	-	-
非常用所内電源系統	-	-	-	-

※ a : 3時間以上の耐火能力を有する耐火壁で分離

b : 水平距離6mによる分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置

c : 1時間の耐火能力を有する隔壁等による分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置
再処理施設成功パスの詳細は、別紙2参照

9. 最重要設備以外の火災防護対象機器等への火災影響

機器名称[機器番号]	当該区画の火災評価※	隣接区画の火災評価※
-	-	-

※ ○:火災影響なし ×:火災影響あり

隣接する火災区画と火災伝播経路

(※ 有:伝播する 無:伝播しない)

隣接する火災区画	火災伝播経路有無	等価時間(h)	耐火時間(h)	火災伝播の可能性※	備考
	無	0.0	3.0	無	
	無	0.0	3.0	無	
	有	0.0	0.0	無	
	有	0.0	0.0	無	
	有	0.0	0.0	無	
	無	0.0	3.0	無	
	無	0.0	3.0	無	
	有	0.0	0.0	無	

火災区域(区画)特性表

1. 火災区域(区画)の説明

建屋名	精製建屋
火災区域/区画区分	火災区画
火災区域/区画番号	■
火災区域/区画名称	抽出廃液中間貯槽セル
床面積(m ²)	■

2. 火災区域(区画)の火災シナリオの説明

■は、精製建屋内の火災区画である。
 本区画は、火災源となるものがないおよび、室内の安全上重要な設備が金属等の不燃材で構成され火災影響を受けないことから、安全機能の喪失のおそれがない。

3. 火災区域(区画)にある火災源

(1) 等価時間

発熱量(kJ)	火災荷重(kJ/m ²)	等価時間(h) [※]
■	■	0.0

※ 等価時間は、内部火災影響評価ガイドの等価時間記載の値で示す。

(2) 火災区域(区画)にある火災源機器数

火災源	機器数
電動機(3.7kW超)	-
電気盤(440V以上)	-
ケーブルトレイ(ケーブル)	-
油脂類・有機溶媒等	-
その他	-

4. 火災区域(区画)にある防火設備

火災感知の手段	主要な消火設備	消火方法	消火設備のバックアップ
設置除外	設置除外	-	-

5. 火災区域(区画)に隣接する火災区域(区画)と火災伝播経路

隣接火災区画への火災伝播経路の詳細は、別紙1参照

6. 火災影響を受ける火災防護対象機器等

機器名称[機器番号]	最重要設備 [※]	最重要設備以外の安全上重要な施設 [※]
-	-	-

※ ○:対象 -:非対象

* 火災想定において、工程停止等により安全機能を必要としない状態へと移行が可能なもの。

7. 火災防護対象機器等の関連ケーブル

機器名称[機器番号]	ケーブル種別	安重分類
-	-	-

8. 最重要設備の安重機能への火災影響

安重分類	全焼時の成功パスの有無	回路評価等の考慮	結果	系統分離※
Pu・高レベル廃棄物の閉じ込め機能	-	-	-	-
崩壊熱除去機能(重要度の高いもの)	-	-	-	-
安全圧縮空気系(水素掃気機能)	-	-	-	-
非常用所内電源系統	-	-	-	-

※ a : 3時間以上の耐火能力を有する耐火壁で分離

b : 水平距離6mによる分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置

c : 1時間の耐火能力を有する隔壁等による分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置
再処理施設成功パスの詳細は、別紙2参照

9. 最重要設備以外の火災防護対象機器等への火災影響

機器名称[機器番号]	当該区画の火災評価※	隣接区画の火災評価※
-	-	-

※ ○:火災影響なし ×:火災影響あり

隣接する火災区画と火災伝播経路

(※ 有:伝播する 無:伝播しない)

隣接する 火災区画	火災伝播 経路有無	等価時間 (h)	耐火時間 (h)	火災伝播の 可能性 ※	備考
	無	0.0	3.0	無	
	無	0.0	3.0	無	
	有	0.0	0.0	無	
	無	0.0	3.0	無	
	無	0.0	3.0	無	
	有	0.0	0.0	無	
	有	0.0	0.0	無	
	有	0.0	0.0	無	

火災区域(区画)特性表

1. 火災区域(区画)の説明

建屋名	精製建屋
火災区域/区画区分	火災区画
火災区域/区画番号	■
火災区域/区画名称	精製建屋一時貯留処理槽第1セル
床面積(m ²)	■

2. 火災区域(区画)の火災シナリオの説明

■は、精製建屋内の火災区画である。
 本区画は、有機溶媒が漏えいした場合、崩壊熱による温度上昇により引火点に到達し、火災の発生可能性があるが、室内の安全上重要な設備が金属等の不燃材で構成され火災影響を受けないことから、安全機能の喪失のおそれがない。

3. 火災区域(区画)にある火災源

(1) 等価時間

発熱量(kJ)	火災荷重 (kJ/m ²)	等価時間(h) [※]
■	■	4.5

※ 等価時間は、内部火災影響評価ガイドの等価時間記載の値で示す。

(2) 火災区域(区画)にある火災源機器数

火災源	機器数
電動機(3.7kW超)	-
電気盤(440V以上)	-
ケーブルトレイ(ケーブル)	-
油脂類・有機溶媒等	有
その他	-

4. 火災区域(区画)にある防火設備

火災感知の手段	主要な消火設備	消火方法	消火設備のバックアップ
セル内温度計 (熱感知器) 漏えい検知装置	二酸化炭素消火設備	手動	-

5. 火災区域(区画)に隣接する火災区域(区画)と火災伝播経路

隣接火災区画への火災伝播経路の詳細は、別紙1参照

6. 火災影響を受ける火災防護対象機器等

機器名称[機器番号]	最重要設備 [※]	最重要設備以外の安全上重要な施設 [※]
-	-	-

※ ○:対象 -:非対象

* 火災想定において、工程停止等により安全機能を必要としない状態へと移行が可能なもの。

7. 火災防護対象機器等の関連ケーブル

機器名称[機器番号]	ケーブル種別	安重分類
-	-	-

8. 最重要設備の安重機能への火災影響

安重分類	全焼時の成功パスの有無	回路評価等の考慮	結果	系統分離※
Pu・高レベル廃棄物の閉じ込め機能	-	-	-	-
崩壊熱除去機能(重要度の高いもの)	-	-	-	-
安全圧縮空気系(水素掃気機能)	-	-	-	-
非常用所内電源系統	-	-	-	-

※ a : 3時間以上の耐火能力を有する耐火壁で分離

b : 水平距離6mによる分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置

c : 1時間の耐火能力を有する隔壁等による分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置
再処理施設成功パスの詳細は、別紙2参照

9. 最重要設備以外の火災防護対象機器等への火災影響

機器名称[機器番号]	当該区画の火災評価※	隣接区画の火災評価※
-	-	-

※ ○:火災影響なし ×:火災影響あり

隣接する火災区画と火災伝播経路

(※ 有:伝播する 無:伝播しない)

隣接する 火災区画	火災伝播 経路有無	等価時間 (h)	耐火時間 (h)	火災伝播の 可能性 ※	備考
[Redacted]	無	3.0超	3.0	有	
	無	3.0超	3.0	有	
	無	3.0超	3.0	有	
	無	3.0超	3.0	有	
	無	3.0超	3.0	有	
	無	3.0超	3.0	有	
	無	3.0超	3.0	有	
	無	3.0超	3.0	有	
	無	3.0超	3.0	有	
	無	3.0超	3.0	有	

火災区域(区画)特性表

1. 火災区域(区画)の説明

建屋名	精製建屋
火災区域/区画区分	火災区画
火災区域/区画番号	■
火災区域/区画名称	プルトニウム濃縮液一時貯槽セル
床面積(m ²)	■

2. 火災区域(区画)の火災シナリオの説明

■は、精製建屋内の火災区画である。
 本区画は、火災源となるものがないおよび、室内の安全上重要な設備が金属等の不燃材で構成され火災影響を受けないことから、安全機能の喪失のおそれがない。

3. 火災区域(区画)にある火災源

(1) 等価時間

発熱量(kJ)	火災荷重(kJ/m ²)	等価時間(h) [※]
■	■	0.0

※ 等価時間は、内部火災影響評価ガイドの等価時間記載の値で示す。

(2) 火災区域(区画)にある火災源機器数

火災源	機器数
電動機(3.7kW超)	-
電気盤(440V以上)	-
ケーブルトレイ(ケーブル)	-
油脂類・有機溶媒等	-
その他	-

4. 火災区域(区画)にある防火設備

火災感知の手段	主要な消火設備	消火方法	消火設備のバックアップ
設置除外	設置除外	-	-

5. 火災区域(区画)に隣接する火災区域(区画)と火災伝播経路 隣接火災区画への火災伝播経路の詳細は、別紙1参照

6. 火災影響を受ける火災防護対象機器等

機器名称[機器番号]	最重要設備 [※]	最重要設備以外の安全上重要な施設 [※]
-	-	-

※ ○:対象 -:非対象

* 火災想定において、工程停止等により安全機能を必要としない状態へと移行が可能なもの。

7. 火災防護対象機器等の関連ケーブル

機器名称[機器番号]	ケーブル種別	安重分類
-	-	-

8. 最重要設備の安重機能への火災影響

安重分類	全焼時の成功パスの有無	回路評価等の考慮	結果	系統分離※
Pu・高レベル廃棄物の閉じ込め機能	-	-	-	-
崩壊熱除去機能(重要度の高いもの)	-	-	-	-
安全圧縮空気系(水素掃気機能)	-	-	-	-
非常用所内電源系統	-	-	-	-

※ a : 3時間以上の耐火能力を有する耐火壁で分離

b : 水平距離6mによる分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置

c : 1時間の耐火能力を有する隔壁等による分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置
再処理施設成功パスの詳細は、別紙2参照

9. 最重要設備以外の火災防護対象機器等への火災影響

機器名称[機器番号]	当該区画の火災評価※	隣接区画の火災評価※
-	-	-

※ ○:火災影響なし ×:火災影響あり

隣接する火災区画と火災伝播経路

(※ 有:伝播する 無:伝播しない)

隣接する 火災区画	火災伝播 経路有無	等価時間 (h)	耐火時間 (h)	火災伝播の 可能性 ※	備考
	有	0.0	0.0	無	
	無	0.0	3.0	無	
	無	0.0	3.0	無	
	有	0.0	0.0	無	
	有	0.0	0.0	無	
	有	0.0	0.0	無	
	無	0.0	3.0	無	
	有	0.0	0.0	無	

火災区域(区画)特性表

1. 火災区域(区画)の説明

建屋名	精製建屋
火災区域／区画区分	火災区画
火災区域／区画番号	■
火災区域／区画名称	第4予備セル
床面積(m ²)	■

2. 火災区域(区画)の火災シナリオの説明

■は、精製建屋内の火災区画である。
 本区画は、火災源となるものがないおよび安全上重要な施設が設置されていないため、安全機能の喪失のおそれはない。

3. 火災区域(区画)にある火災源

(1) 等価時間

発熱量(kJ)	火災荷重 (kJ/m ²)	等価時間(h) [※]
■	■	0.0

※ 等価時間は、内部火災影響評価ガイドの等価時間記載の値で示す。

(2) 火災区域(区画)にある火災源機器数

火災源	機器数
電動機(3.7kW超)	-
電気盤(440V以上)	-
ケーブルトレイ(ケーブル)	-
油脂類・有機溶媒等	-
その他	-

4. 火災区域(区画)にある防火設備

火災感知の手段	主要な消火設備	消火方法	消火設備のバックアップ
設置除外	設置除外	-	-

5. 火災区域(区画)に隣接する火災区域(区画)と火災伝播経路

隣接火災区画への火災伝播経路の詳細は、別紙1参照

6. 火災影響を受ける火災防護対象機器等

機器名称[機器番号]	最重要設備 [※]	最重要設備以外の安全上重要な施設 [※]
-	-	-

※ ○:対象 -:非対象

* 火災想定において、工程停止等により安全機能を必要としない状態へと移行が可能なもの。

7. 火災防護対象機器等の関連ケーブル

機器名称[機器番号]	ケーブル種別	安重分類
-	-	-

8. 最重要設備の安重機能への火災影響

安重分類	全焼時の成功パスの有無	回路評価等の考慮	結果	系統分離※
Pu・高レベル廃棄物の閉じ込め機能	-	-	-	-
崩壊熱除去機能(重要度の高いもの)	-	-	-	-
安全圧縮空気系(水素掃気機能)	-	-	-	-
非常用所内電源系統	-	-	-	-

※ a : 3時間以上の耐火能力を有する耐火壁で分離

b : 水平距離6mによる分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置

c : 1時間の耐火能力を有する隔壁等による分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置
再処理施設成功パスの詳細は、別紙2参照

9. 最重要設備以外の火災防護対象機器等への火災影響

機器名称[機器番号]	当該区画の火災評価※	隣接区画の火災評価※
-	-	-

※ ○:火災影響なし ×:火災影響あり

隣接する火災区画と火災伝播経路

(※ 有:伝播する 無:伝播しない)

隣接する 火災区画	火災伝播 経路有無	等価時間 (h)	耐火時間 (h)	火災伝播の 可能性 ※	備考
	無	0.0	3.0	無	
	有	0.0	0.0	無	
	無	0.0	3.0	無	
	有	0.0	0.0	無	
	有	0.0	0.0	無	
	有	0.0	0.0	無	
	有	0.0	0.0	無	

火災区域(区画)特性表

1. 火災区域(区画)の説明

建屋名	精製建屋
火災区域／区画区分	火災区画
火災区域／区画番号	■
火災区域／区画名称	プルトニウム濃縮液計量槽セル
床面積(m ²)	■

2. 火災区域(区画)の火災シナリオの説明

■は、精製建屋内の火災区画である。
 本区画は、火災源となるものがないおよび、室内の安全上重要な設備が金属等の不燃材で構成され火災影響を受けないことから、安全機能の喪失のおそれがない。

3. 火災区域(区画)にある火災源

(1) 等価時間

発熱量(kJ)	火災荷重 (kJ/m ²)	等価時間(h) [※]
■	■	0.0

※ 等価時間は、内部火災影響評価ガイドの等価時間記載の値で示す。

(2) 火災区域(区画)にある火災源機器数

火災源	機器数
電動機(3.7kW超)	-
電気盤(440V以上)	-
ケーブルトレイ(ケーブル)	-
油脂類・有機溶媒等	-
その他	-

4. 火災区域(区画)にある防火設備

火災感知の手段	主要な消火設備	消火方法	消火設備のバックアップ
設置除外	設置除外	-	-

5. 火災区域(区画)に隣接する火災区域(区画)と火災伝播経路

隣接火災区画への火災伝播経路の詳細は、別紙1参照

6. 火災影響を受ける火災防護対象機器等

機器名称[機器番号]	最重要設備 [※]	最重要設備以外の安全上重要な施設 [※]
-	-	-

※ ○:対象 -:非対象

* 火災想定において、工程停止等により安全機能を必要としない状態へと移行が可能なもの。

7. 火災防護対象機器等の関連ケーブル

機器名称[機器番号]	ケーブル種別	安重分類
-	-	-

8. 最重要設備の安重機能への火災影響

安重分類	全焼時の 成功パスの 有無	回路評価 等の考慮	結果	系統分離※
Pu・高レベル廃棄物の閉じ込め機能	-	-	-	-
崩壊熱除去機能(重要度の高いもの)	-	-	-	-
安全圧縮空気系(水素掃気機能)	-	-	-	-
非常用所内電源系統	-	-	-	-

※ a : 3時間以上の耐火能力を有する耐火壁で分離

b : 水平距離6mによる分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置

c : 1時間の耐火能力を有する隔壁等による分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置
再処理施設成功パスの詳細は、別紙2参照

9. 最重要設備以外の火災防護対象機器等への火災影響

機器名称[機器番号]	当該区画の火災評価※	隣接区画の火災評価※
-	-	-

※ ○:火災影響なし ×:火災影響あり

隣接する火災区画と火災伝播経路

(※ 有:伝播する 無:伝播しない)

隣接する 火災区画	火災伝播 経路有無	等価時間 (h)	耐火時間 (h)	火災伝播の 可能性 ※	備考
	有	0.0	0.0	無	
	有	0.0	0.0	無	
	有	0.0	0.0	無	
	有	0.0	0.0	無	
	有	0.0	0.0	無	
	無	0.0	3.0	無	
	有	0.0	0.0	無	
	無	0.0	3.0	無	
	有	0.0	0.0	無	
	無	0.0	3.0	無	
	有	0.0	0.0	無	
	有	0.0	0.0	無	

火災区域(区画)特性表

1. 火災区域(区画)の説明

建屋名	精製建屋
火災区域/区画区分	火災区域
火災区域/区画番号	AC-1/ []
火災区域/区画名称	プルトニウム濃縮液ポンプB用グローブボックス室
床面積(m ²)	[]

2. 火災区域(区画)の火災シナリオの説明

AC-1は、精製建屋内の火災区域である。
 本区画は、火災源となる設備がないため、安全上重要な施設のA/B系のプルトニウム濃縮ポンプの安全機能を喪失させるおそれのある想定火災はない。

3. 火災区域(区画)にある火災源

(1) 等価時間

発熱量(kJ)	火災荷重 (kJ/m ²)	等価時間(h) [※]
[]	[]	0.5

※ 等価時間は、内部火災影響評価ガイドの等価時間記載の値で示す。

(2) 火災区域(区画)にある火災源機器数

火災源	機器数
電動機(3.7kW超)	-
電気盤(440V以上)	-
ケーブルトレイ(ケーブル)	-
油脂類・有機溶媒等	-
その他	-

4. 火災区域(区画)にある防火設備

火災感知の手段	主要な消火設備	消火方法	消火設備のバックアップ
煙感知器 熱感知器	ハロゲン化物消火 設備(全域)	自動	粉末消火器

5. 火災区域(区画)に隣接する火災区域(区画)と火災伝播経路

隣接火災区画への火災伝播経路の詳細は、別紙1参照

6. 火災影響を受ける火災防護対象機器等

機器名称[機器番号]	最重要設備 [※]	最重要設備以外の 安全上重要な施設 [※]
プルトニウム濃縮液ポンプ C []	-	○*
プルトニウム濃縮液ポンプ F []	-	○*

※ ○:対象 -:非対象

* 火災想定において、工程停止等により安全機能を必要としない状態へと移行が可能なもの。

7. 火災防護対象機器等の関連ケーブル

機器名称[機器番号]	ケーブル種別	安重分類
-	-	-

8. 最重要設備の安重機能への火災影響

安重分類	全焼時の成功パスの有無	回路評価等の考慮	結果	系統分離※
Pu・高レベル廃棄物の閉じ込め機能	-	-	-	-
崩壊熱除去機能(重要度の高いもの)	-	-	-	-
安全圧縮空気系(水素掃気機能)	-	-	-	-
非常用所内電源系統	-	-	-	-

※ a : 3時間以上の耐火能力を有する耐火壁で分離

b : 水平距離6mによる分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置

c : 1時間の耐火能力を有する隔壁等による分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置
再処理施設成功パスの詳細は、別紙2参照

9. 最重要設備以外の火災防護対象機器等への火災影響

機器名称[機器番号]	当該区画の火災評価※	隣接区画の火災評価※
-	-	-

※ ○:火災影響なし ×:火災影響あり

隣接する火災区画と火災伝播経路

(※ 有:伝播する 無:伝播しない)

隣接する火災区画	火災伝播経路有無	等価時間(h)	耐火時間(h)	火災伝播の可能性※	備考
	無	0.5	3.0	無	
	無	0.5	3.0	無	
	無	0.5	3.0	無	
	無	0.5	3.0	無	
	無	0.5	3.0	無	
	無	0.5	3.0	無	
	無	0.5	3.0	無	
	無	0.5	3.0	無	
	無	0.5	3.0	無	
	無	0.5	3.0	無	

火災区域(区画)特性表

1. 火災区域(区画)の説明

建屋名	精製建屋
火災区域/区画区分	火災区画
火災区域/区画番号	■
火災区域/区画名称	第2酸回収供給槽セル
床面積(m ²)	■

2. 火災区域(区画)の火災シナリオの説明

■は、精製建屋内の火災区画である。
 本区画は、火災源となるものがないおよび安全上重要な施設が設置されていないため、安全機能の喪失のおそれはない。

3. 火災区域(区画)にある火災源

(1) 等価時間

発熱量(kJ)	火災荷重 (kJ/m ²)	等価時間(h) [※]
■	■	0.0

※ 等価時間は、内部火災影響評価ガイドの等価時間記載の値で示す。

(2) 火災区域(区画)にある火災源機器数

火災源	機器数
電動機(3.7kW超)	-
電気盤(440V以上)	-
ケーブルトレイ(ケーブル)	-
油脂類・有機溶媒等	-
その他	-

4. 火災区域(区画)にある防火設備

火災感知の手段	主要な消火設備	消火方法	消火設備のバックアップ
設置除外	設置除外	-	-

5. 火災区域(区画)に隣接する火災区域(区画)と火災伝播経路 隣接火災区画への火災伝播経路の詳細は、別紙1参照

6. 火災影響を受ける火災防護対象機器等

機器名称[機器番号]	最重要設備 [※]	最重要設備以外の安全上重要な施設 [※]
-	-	-

※ ○:対象 -:非対象

* 火災想定において、工程停止等により安全機能を必要としない状態へと移行が可能なもの。

7. 火災防護対象機器等の関連ケーブル

機器名称[機器番号]	ケーブル種別	安重分類
-	-	-

8. 最重要設備の安重機能への火災影響

安重分類	全焼時の成功パスの有無	回路評価等の考慮	結果	系統分離※
Pu・高レベル廃棄物の閉じ込め機能	-	-	-	-
崩壊熱除去機能(重要度の高いもの)	-	-	-	-
安全圧縮空気系(水素掃気機能)	-	-	-	-
非常用所内電源系統	-	-	-	-

※ a : 3時間以上の耐火能力を有する耐火壁で分離

b : 水平距離6mによる分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置

c : 1時間の耐火能力を有する隔壁等による分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置
再処理施設成功パスの詳細は、別紙2参照

9. 最重要設備以外の火災防護対象機器等への火災影響

機器名称[機器番号]	当該区画の火災評価※	隣接区画の火災評価※
-	-	-

※ ○:火災影響なし ×:火災影響あり

隣接する火災区画と火災伝播経路

(※ 有:伝播する 無:伝播しない)

隣接する 火災区画	火災伝播 経路有無	等価時間 (h)	耐火時間 (h)	火災伝播の 可能性 ※	備考
	無	0.0	3.0	無	
	無	0.0	3.0	無	
	有	0.0	0.0	無	
	有	0.0	0.0	無	
	有	0.0	0.0	無	
	有	0.0	0.0	無	
	有	0.0	0.0	無	
	有	0.0	0.0	無	
	有	0.0	0.0	無	
	無	0.0	3.0	無	
	有	0.0	0.0	無	

火災区域(区画)特性表

1. 火災区域(区画)の説明

建屋名	精製建屋
火災区域/区画区分	火災区画
火災区域/区画番号	■
火災区域/区画名称	第2酸回収濃縮液受槽セル
床面積(m ²)	■

2. 火災区域(区画)の火災シナリオの説明

■は、精製建屋内の火災区画である。
 本区画は、火災源となるものがないおよび安全上重要な施設が設置されていないため、安全機能の喪失のおそれはない。

3. 火災区域(区画)にある火災源

(1) 等価時間

発熱量(kJ)	火災荷重 (kJ/m ²)	等価時間(h) [※]
■	■	0.0

※ 等価時間は、内部火災影響評価ガイドの等価時間記載の値で示す。

(2) 火災区域(区画)にある火災源機器数

火災源	機器数
電動機(3.7kW超)	-
電気盤(440V以上)	-
ケーブルトレイ(ケーブル)	-
油脂類・有機溶媒等	-
その他	-

4. 火災区域(区画)にある防火設備

火災感知の手段	主要な消火設備	消火方法	消火設備のバックアップ
設置除外	設置除外	-	-

5. 火災区域(区画)に隣接する火災区域(区画)と火災伝播経路

隣接火災区画への火災伝播経路の詳細は、別紙1参照

6. 火災影響を受ける火災防護対象機器等

機器名称[機器番号]	最重要設備 [※]	最重要設備以外の安全上重要な施設 [※]
-	-	-

※ ○:対象 -:非対象

* 火災想定において、工程停止等により安全機能を必要としない状態へと移行が可能なもの。

7. 火災防護対象機器等の関連ケーブル

機器名称[機器番号]	ケーブル種別	安重分類
-	-	-

8. 最重要設備の安重機能への火災影響

安重分類	全焼時の成功パスの有無	回路評価等の考慮	結果	系統分離※
Pu・高レベル廃棄物の閉じ込め機能	-	-	-	-
崩壊熱除去機能(重要度の高いもの)	-	-	-	-
安全圧縮空気系(水素掃気機能)	-	-	-	-
非常用所内電源系統	-	-	-	-

※ a : 3時間以上の耐火能力を有する耐火壁で分離

b : 水平距離6mによる分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置

c : 1時間の耐火能力を有する隔壁等による分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置
再処理施設成功パスの詳細は、別紙2参照

9. 最重要設備以外の火災防護対象機器等への火災影響

機器名称[機器番号]	当該区画の火災評価※	隣接区画の火災評価※
-	-	-

※ ○:火災影響なし ×:火災影響あり

隣接する火災区画と火災伝播経路

(※ 有:伝播する 無:伝播しない)

隣接する 火災区画	火災伝播 経路有無	等価時間 (h)	耐火時間 (h)	火災伝播の 可能性 ※	備考
	有	0.0	0.0	無	
	無	0.0	3.0	無	
	無	0.0	3.0	無	
	有	0.0	0.0	無	
	有	0.0	0.0	無	
	有	0.0	0.0	無	
	無	0.0	3.0	無	

火災区域(区画)特性表

1. 火災区域(区画)の説明

建屋名	精製建屋
火災区域/区画区分	火災区画
火災区域/区画番号	■
火災区域/区画名称	プルトニウム精製塔セル
床面積(m ²)	■

2. 火災区域(区画)の火災シナリオの説明

■は、精製建屋内の火災区画である。
 本区画は、有機溶媒が漏えいした場合、崩壊熱による温度上昇により引火点に到達し、火災の発生可能性があるが、室内の安全上重要な設備が金属等の不燃材で構成され火災影響を受けないことから、安全機能の喪失のおそれがない。

3. 火災区域(区画)にある火災源

(1) 等価時間

発熱量(kJ)	火災荷重(kJ/m ²)	等価時間(h) [※]
■	■	1.5

※ 等価時間は、内部火災影響評価ガイドの等価時間記載の値で示す。

(2) 火災区域(区画)にある火災源機器数

火災源	機器数
電動機(3.7kW超)	-
電気盤(440V以上)	-
ケーブルトレイ(ケーブル)	-
油脂類・有機溶媒等	有
その他	-

4. 火災区域(区画)にある防火設備

火災感知の手段	主要な消火設備	消火方法	消火設備のバックアップ
セル内温度計 (熱感知器) 漏えい検知装置	二酸化炭素消火設備	手動	-

5. 火災区域(区画)に隣接する火災区域(区画)と火災伝播経路

隣接火災区画への火災伝播経路の詳細は、別紙1参照

6. 火災影響を受ける火災防護対象機器等

機器名称[機器番号]	最重要設備 [※]	最重要設備以外の安全上重要な施設 [※]
-	-	-

※ ○:対象 -:非対象

* 火災想定において、工程停止等により安全機能を必要としない状態へと移行が可能なもの。

7. 火災防護対象機器等の関連ケーブル

機器名称[機器番号]	ケーブル種別	安重分類
-	-	-

8. 最重要設備の安重機能への火災影響

安重分類	全焼時の 成功パスの 有無	回路評価 等の考慮	結果	系統分離※
Pu・高レベル廃棄物の閉じ込め機能	-	-	-	-
崩壊熱除去機能(重要度の高いもの)	-	-	-	-
安全圧縮空気系(水素掃気機能)	-	-	-	-
非常用所内電源系統	-	-	-	-

※ a : 3時間以上の耐火能力を有する耐火壁で分離

b : 水平距離6mによる分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置

c : 1時間の耐火能力を有する隔壁等による分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置
再処理施設成功パスの詳細は、別紙2参照

9. 最重要設備以外の火災防護対象機器等への火災影響

機器名称[機器番号]	当該区画の火災評価※	隣接区画の火災評価※
-	-	-

※ ○:火災影響なし ×:火災影響あり

火災区域(区画)特性表

1. 火災区域(区画)の説明

建屋名	精製建屋
火災区域/区画区分	火災区画
火災区域/区画番号	■
火災区域/区画名称	第1保守室
床面積(m ²)	■

2. 火災区域(区画)の火災シナリオの説明

■は、精製建屋内の火災区画である。
 本区画は、火災源となるものがないおよび安全上重要な施設が設置されていないため、安全機能の喪失のおそれはない。

3. 火災区域(区画)にある火災源

(1) 等価時間

発熱量(kJ)	火災荷重(kJ/m ²)	等価時間(h) [※]
■	■	0.5

※ 等価時間は、内部火災影響評価ガイドの等価時間記載の値で示す。

(2) 火災区域(区画)にある火災源機器数

火災源	機器数
電動機(3.7kW超)	-
電気盤(440V以上)	-
ケーブルトレイ(ケーブル)	-
油脂類・有機溶媒等	-
その他	-

4. 火災区域(区画)にある防火設備

火災感知の手段	主要な消火設備	消火方法	消火設備のバックアップ
煙感知器	屋内消火栓	手動	粉末消火器

5. 火災区域(区画)に隣接する火災区域(区画)と火災伝播経路

隣接火災区画への火災伝播経路の詳細は、別紙1参照

6. 火災影響を受ける火災防護対象機器等

機器名称[機器番号]	最重要設備 [※]	最重要設備以外の安全上重要な施設 [※]
-	-	-

※ ○:対象 -:非対象

* 火災想定において、工程停止等により安全機能を必要としない状態へと移行が可能なもの。

7. 火災防護対象機器等の関連ケーブル

機器名称[機器番号]	ケーブル種別	安重分類
-	-	-

8. 最重要設備の安重機能への火災影響

安重分類	全焼時の 成功パスの 有無	回路評価 等の考慮	結果	系統分離※
Pu・高レベル廃棄物の閉じ込め機能	-	-	-	-
崩壊熱除去機能(重要度の高いもの)	-	-	-	-
安全圧縮空気系(水素掃気機能)	-	-	-	-
非常用所内電源系統	-	-	-	-

※ a : 3時間以上の耐火能力を有する耐火壁で分離

b : 水平距離6mによる分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置

c : 1時間の耐火能力を有する隔壁等による分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置
再処理施設成功パスの詳細は、別紙2参照

9. 最重要設備以外の火災防護対象機器等への火災影響

機器名称[機器番号]	当該区画の火災評価※	隣接区画の火災評価※
-	-	-

※ ○:火災影響なし ×:火災影響あり

隣接する火災区画と火災伝播経路

(※ 有:伝播する 無:伝播しない)

隣接する 火災区画	火災伝播 経路有無	等価時間 (h)	耐火時間 (h)	火災伝播の 可能性 ※	備考
	無	0.5	3.0	無	
	有	0.5	0.0	有	
	有	0.5	0.0	有	
	有	0.5	0.0	有	
	有	0.5	0.0	有	

火災区域(区画)特性表

1. 火災区域(区画)の説明

建屋名	精製建屋
火災区域/区画区分	火災区画
火災区域/区画番号	■
火災区域/区画名称	プルトニウム溶液供給槽セル
床面積(m ²)	■

2. 火災区域(区画)の火災シナリオの説明

■は、精製建屋内の火災区画である。
 本区画は、火災源となるものがないおよび、室内の安全上重要な設備が金属等の不燃材で構成され火災影響を受けないことから、安全機能の喪失のおそれがない。

3. 火災区域(区画)にある火災源

(1) 等価時間

発熱量(kJ)	火災荷重(kJ/m ²)	等価時間(h) [※]
■	■	0.0

※ 等価時間は、内部火災影響評価ガイドの等価時間記載の値で示す。

(2) 火災区域(区画)にある火災源機器数

火災源	機器数
電動機(3.7kW超)	-
電気盤(440V以上)	-
ケーブルトレイ(ケーブル)	-
油脂類・有機溶媒等	-
その他	-

4. 火災区域(区画)にある防火設備

火災感知の手段	主要な消火設備	消火方法	消火設備のバックアップ
設置除外	設置除外	-	-

5. 火災区域(区画)に隣接する火災区域(区画)と火災伝播経路

隣接火災区画への火災伝播経路の詳細は、別紙1参照

6. 火災影響を受ける火災防護対象機器等

機器名称[機器番号]	最重要設備 [※]	最重要設備以外の安全上重要な施設 [※]
-	-	-

※ ○:対象 -:非対象

* 火災想定において、工程停止等により安全機能を必要としない状態へと移行が可能なもの。

7. 火災防護対象機器等の関連ケーブル

機器名称[機器番号]	ケーブル種別	安重分類
-	-	-

8. 最重要設備の安重機能への火災影響

安重分類	全焼時の成功パスの有無	回路評価等の考慮	結果	系統分離※
Pu・高レベル廃棄物の閉じ込め機能	-	-	-	-
崩壊熱除去機能(重要度の高いもの)	-	-	-	-
安全圧縮空気系(水素掃気機能)	-	-	-	-
非常用所内電源系統	-	-	-	-

※ a : 3時間以上の耐火能力を有する耐火壁で分離

b : 水平距離6mによる分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置

c : 1時間の耐火能力を有する隔壁等による分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置
再処理施設成功パスの詳細は、別紙2参照

9. 最重要設備以外の火災防護対象機器等への火災影響

機器名称[機器番号]	当該区画の火災評価※	隣接区画の火災評価※
-	-	-

※ ○:火災影響なし ×:火災影響あり

隣接する火災区画と火災伝播経路

(※ 有:伝播する 無:伝播しない)

隣接する 火災区画	火災伝播 経路有無	等価時間 (h)	耐火時間 (h)	火災伝播の 可能性 ※	備考
	無	0.0	3.0	無	
	有	0.0	0.0	無	
	無	0.0	3.0	無	
	有	0.0	0.0	無	
	無	0.0	3.0	無	
	有	0.0	0.0	無	
	有	0.0	0.0	無	
	有	0.0	0.0	無	

火災区域(区画)特性表

1. 火災区域(区画)の説明

建屋名	精製建屋
火災区域/区画区分	火災区画
火災区域/区画番号	■
火災区域/区画名称	プルトニウム濃縮缶供給槽セル
床面積(m ²)	■

2. 火災区域(区画)の火災シナリオの説明

■は、精製建屋内の火災区画である。
 本区画は、火災源となるものがないおよび、室内の安全上重要な設備が金属等の不燃材で構成され火災影響を受けないことから、安全機能の喪失のおそれがない。

3. 火災区域(区画)にある火災源

(1) 等価時間

発熱量(kJ)	火災荷重 (kJ/m ²)	等価時間(h) [※]
■	■	0.0

※ 等価時間は、内部火災影響評価ガイドの等価時間記載の値で示す。

(2) 火災区域(区画)にある火災源機器数

火災源	機器数
電動機(3.7kW超)	-
電気盤(440V以上)	-
ケーブルトレイ(ケーブル)	-
油脂類・有機溶媒等	-
その他	-

4. 火災区域(区画)にある防火設備

火災感知の手段	主要な消火設備	消火方法	消火設備のバックアップ
設置除外	設置除外	-	-

5. 火災区域(区画)に隣接する火災区域(区画)と火災伝播経路

隣接火災区画への火災伝播経路の詳細は、別紙1参照

6. 火災影響を受ける火災防護対象機器等

機器名称[機器番号]	最重要設備 [※]	最重要設備以外の安全上重要な施設 [※]
-	-	-

※ ○:対象 -:非対象

* 火災想定において、工程停止等により安全機能を必要としない状態へと移行が可能なもの。

7. 火災防護対象機器等の関連ケーブル

機器名称[機器番号]	ケーブル種別	安重分類
-	-	-

8. 最重要設備の安重機能への火災影響

安重分類	全焼時の成功パスの有無	回路評価等の考慮	結果	系統分離※
Pu・高レベル廃棄物の閉じ込め機能	-	-	-	-
崩壊熱除去機能(重要度の高いもの)	-	-	-	-
安全圧縮空気系(水素掃気機能)	-	-	-	-
非常用所内電源系統	-	-	-	-

※ a : 3時間以上の耐火能力を有する耐火壁で分離

b : 水平距離6mによる分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置

c : 1時間の耐火能力を有する隔壁等による分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置
再処理施設成功パスの詳細は、別紙2参照

9. 最重要設備以外の火災防護対象機器等への火災影響

機器名称[機器番号]	当該区画の火災評価※	隣接区画の火災評価※
-	-	-

※ ○:火災影響なし ×:火災影響あり

隣接する火災区画と火災伝播経路

(※ 有:伝播する 無:伝播しない)

隣接する 火災区画	火災伝播 経路有無	等価時間 (h)	耐火時間 (h)	火災伝播の 可能性 ※	備考
	有	0.0	0.0	無	
	有	0.0	0.0	無	
	無	0.0	3.0	無	
	無	0.0	3.0	無	
	有	0.0	0.0	無	
	有	0.0	0.0	無	
	有	0.0	0.0	無	
	有	0.0	0.0	無	

火災区域(区画)特性表

1. 火災区域(区画)の説明

建屋名	精製建屋
火災区域/区画区分	火災区画
火災区域/区画番号	■
火災区域/区画名称	プルトニウム濃縮液受槽セル
床面積(m ²)	■

2. 火災区域(区画)の火災シナリオの説明

■は、精製建屋内の火災区画である。
 本区画は、火災源となるものがないおよび、室内の安全上重要な設備が金属等の不燃材で構成され火災影響を受けないことから、安全機能の喪失のおそれがない。

3. 火災区域(区画)にある火災源

(1) 等価時間

発熱量(kJ)	火災荷重(kJ/m ²)	等価時間(h) [※]
■	■	0.0

※ 等価時間は、内部火災影響評価ガイドの等価時間記載の値で示す。

(2) 火災区域(区画)にある火災源機器数

火災源	機器数
電動機(3.7kW超)	-
電気盤(440V以上)	-
ケーブルトレイ(ケーブル)	-
油脂類・有機溶媒等	-
その他	-

4. 火災区域(区画)にある防火設備

火災感知の手段	主要な消火設備	消火方法	消火設備のバックアップ
設置除外	設置除外	-	-

5. 火災区域(区画)に隣接する火災区域(区画)と火災伝播経路

隣接火災区画への火災伝播経路の詳細は、別紙1参照

6. 火災影響を受ける火災防護対象機器等

機器名称[機器番号]	最重要設備 [※]	最重要設備以外の安全上重要な施設 [※]
-	-	-

※ ○:対象 -:非対象

* 火災想定において、工程停止等により安全機能を必要としない状態へと移行が可能なもの。

7. 火災防護対象機器等の関連ケーブル

機器名称[機器番号]	ケーブル種別	安重分類
-	-	-

8. 最重要設備の安重機能への火災影響

安重分類	全焼時の成功パスの有無	回路評価等の考慮	結果	系統分離※
Pu・高レベル廃棄物の閉じ込め機能	-	-	-	-
崩壊熱除去機能(重要度の高いもの)	-	-	-	-
安全圧縮空気系(水素掃気機能)	-	-	-	-
非常用所内電源系統	-	-	-	-

※ a : 3時間以上の耐火能力を有する耐火壁で分離

b : 水平距離6mによる分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置

c : 1時間の耐火能力を有する隔壁等による分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置
再処理施設成功パスの詳細は、別紙2参照

9. 最重要設備以外の火災防護対象機器等への火災影響

機器名称[機器番号]	当該区画の火災評価※	隣接区画の火災評価※
-	-	-

※ ○:火災影響なし ×:火災影響あり

隣接する火災区画と火災伝播経路

(※ 有:伝播する 無:伝播しない)

隣接する 火災区画	火災伝播 経路有無	等価時間 (h)	耐火時間 (h)	火災伝播の 可能性 ※	備考
	有	0.0	0.0	無	
	有	0.0	0.0	無	
	有	0.0	0.0	無	
	有	0.0	0.0	無	
	有	0.0	0.0	無	
	有	0.0	0.0	無	
	無	0.0	3.0	無	

火災区域(区画)特性表

1. 火災区域(区画)の説明

建屋名	精製建屋
火災区域/区画区分	火災区画
火災区域/区画番号	■
火災区域/区画名称	第1予備セル
床面積(m ²)	■

2. 火災区域(区画)の火災シナリオの説明

■は、精製建屋内の火災区画である。
 本区画は、火災源となるものがないおよび安全上重要な施設が設置されていないため、安全機能の喪失のおそれはない。

3. 火災区域(区画)にある火災源

(1) 等価時間

発熱量(kJ)	火災荷重 (kJ/m ²)	等価時間(h) [※]
■	■	0.0

※ 等価時間は、内部火災影響評価ガイドの等価時間記載の値で示す。

(2) 火災区域(区画)にある火災源機器数

火災源	機器数
電動機(3.7kW超)	-
電気盤(440V以上)	-
ケーブルトレイ(ケーブル)	-
油脂類・有機溶媒等	-
その他	-

4. 火災区域(区画)にある防火設備

火災感知の手段	主要な消火設備	消火方法	消火設備のバックアップ
設置除外	設置除外	-	-

5. 火災区域(区画)に隣接する火災区域(区画)と火災伝播経路

隣接火災区画への火災伝播経路の詳細は、別紙1参照

6. 火災影響を受ける火災防護対象機器等

機器名称[機器番号]	最重要設備 [※]	最重要設備以外の安全上重要な施設 [※]
-	-	-

※ ○:対象 -:非対象

* 火災想定において、工程停止等により安全機能を必要としない状態へと移行が可能なもの。

7. 火災防護対象機器等の関連ケーブル

機器名称[機器番号]	ケーブル種別	安重分類
-	-	-

8. 最重要設備の安重機能への火災影響

安重分類	全焼時の成功パスの有無	回路評価等の考慮	結果	系統分離※
Pu・高レベル廃棄物の閉じ込め機能	-	-	-	-
崩壊熱除去機能(重要度の高いもの)	-	-	-	-
安全圧縮空気系(水素掃気機能)	-	-	-	-
非常用所内電源系統	-	-	-	-

※ a : 3時間以上の耐火能力を有する耐火壁で分離

b : 水平距離6mによる分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置

c : 1時間の耐火能力を有する隔壁等による分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置
再処理施設成功パスの詳細は、別紙2参照

9. 最重要設備以外の火災防護対象機器等への火災影響

機器名称[機器番号]	当該区画の火災評価※	隣接区画の火災評価※
-	-	-

※ ○:火災影響なし ×:火災影響あり

隣接する火災区画と火災伝播経路

(※ 有:伝播する 無:伝播しない)

隣接する 火災区画	火災伝播 経路有無	等価時間 (h)	耐火時間 (h)	火災伝播の 可能性 ※	備考
	無	0.0	3.0	無	
	有	0.0	0.0	無	
	無	0.0	3.0	無	
	有	0.0	0.0	無	
	有	0.0	0.0	無	
	有	0.0	0.0	無	
	無	0.0	3.0	無	
	無	0.0	3.0	無	
	無	0.0	3.0	無	

火災区域(区画)特性表

1. 火災区域(区画)の説明

建屋名	精製建屋
火災区域/区画区分	火災区画
火災区域/区画番号	■
火災区域/区画名称	第1サブチェンジングルーム
床面積(m ²)	■

2. 火災区域(区画)の火災シナリオの説明

■は、精製建屋内の火災区画である。
 本区画は、電気盤火災の発生可能性があるが、安全上重要な施設が設置されていないため、安全機能の喪失のおそれはない。

3. 火災区域(区画)にある火災源

(1) 等価時間

発熱量(kJ)	火災荷重 (kJ/m ²)	等価時間(h) [※]
■	■	1.0

※ 等価時間は、内部火災影響評価ガイドの等価時間記載の値で示す。

(2) 火災区域(区画)にある火災源機器数

火災源	機器数
電動機(3.7kW超)	-
電気盤(440V以上)	1
ケーブルトレイ(ケーブル)	-
油脂類・有機溶媒等	-
その他	-

4. 火災区域(区画)にある防火設備

火災感知の手段	主要な消火設備	消火方法	消火設備のバックアップ
煙感知器	屋内消火栓	手動	粉末消火器

5. 火災区域(区画)に隣接する火災区域(区画)と火災伝播経路

隣接火災区画への火災伝播経路の詳細は、別紙1参照

6. 火災影響を受ける火災防護対象機器等

機器名称[機器番号]	最重要設備 [※]	最重要設備以外の安全上重要な施設 [※]
-	-	-

※ ○:対象 -:非対象

* 火災想定において、工程停止等により安全機能を必要としない状態へと移行が可能なもの。

7. 火災防護対象機器等の関連ケーブル

機器名称[機器番号]	ケーブル種別	安重分類
-	-	-

8. 最重要設備の安重機能への火災影響

安重分類	全焼時の成功パスの有無	回路評価等の考慮	結果	系統分離※
Pu・高レベル廃棄物の閉じ込め機能	-	-	-	-
崩壊熱除去機能(重要度の高いもの)	-	-	-	-
安全圧縮空気系(水素掃気機能)	-	-	-	-
非常用所内電源系統	-	-	-	-

※ a : 3時間以上の耐火能力を有する耐火壁で分離

b : 水平距離6mによる分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置

c : 1時間の耐火能力を有する隔壁等による分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置
再処理施設成功パスの詳細は、別紙2参照

9. 最重要設備以外の火災防護対象機器等への火災影響

機器名称[機器番号]	当該区画の火災評価※	隣接区画の火災評価※
-	-	-

※ ○:火災影響なし ×:火災影響あり

隣接する火災区画と火災伝播経路

(※ 有:伝播する 無:伝播しない)

隣接する 火災区画	火災伝播 経路有無	等価時間 (h)	耐火時間 (h)	火災伝播の 可能性 ※	備考
	無	1.0	3.0	無	
	無	1.0	3.0	無	
	有	1.0	0.0	有	
	無	1.0	3.0	無	
	有	1.0	0.0	有	

火災区域(区画)特性表

1. 火災区域(区画)の説明

建屋名	精製建屋
火災区域/区画区分	火災区画
火災区域/区画番号	■
火災区域/区画名称	第2酸回収回収硝酸受槽セル
床面積(m ²)	■

2. 火災区域(区画)の火災シナリオの説明

■は、精製建屋内の火災区画である。
 本区画は、火災源となるものがないおよび安全上重要な施設が設置されていないため、安全機能の喪失のおそれはない。

3. 火災区域(区画)にある火災源

(1) 等価時間

発熱量(kJ)	火災荷重 (kJ/m ²)	等価時間(h) [※]
■	■	0.0

※ 等価時間は、内部火災影響評価ガイドの等価時間記載の値で示す。

(2) 火災区域(区画)にある火災源機器数

火災源	機器数
電動機(3.7kW超)	-
電気盤(440V以上)	-
ケーブルトレイ(ケーブル)	-
油脂類・有機溶媒等	-
その他	-

4. 火災区域(区画)にある防火設備

火災感知の手段	主要な消火設備	消火方法	消火設備のバックアップ
設置除外	設置除外	-	-

5. 火災区域(区画)に隣接する火災区域(区画)と火災伝播経路 隣接火災区画への火災伝播経路の詳細は、別紙1参照

6. 火災影響を受ける火災防護対象機器等

機器名称[機器番号]	最重要設備 [※]	最重要設備以外の安全上重要な施設 [※]
-	-	-

※ ○:対象 -:非対象

* 火災想定において、工程停止等により安全機能を必要としない状態へと移行が可能なもの。

7. 火災防護対象機器等の関連ケーブル

機器名称[機器番号]	ケーブル種別	安重分類
-	-	-

8. 最重要設備の安重機能への火災影響

安重分類	全焼時の成功パスの有無	回路評価等の考慮	結果	系統分離※
Pu・高レベル廃棄物の閉じ込め機能	-	-	-	-
崩壊熱除去機能(重要度の高いもの)	-	-	-	-
安全圧縮空気系(水素掃気機能)	-	-	-	-
非常用所内電源系統	-	-	-	-

※ a : 3時間以上の耐火能力を有する耐火壁で分離

b : 水平距離6mによる分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置

c : 1時間の耐火能力を有する隔壁等による分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置
再処理施設成功パスの詳細は、別紙2参照

9. 最重要設備以外の火災防護対象機器等への火災影響

機器名称[機器番号]	当該区画の火災評価※	隣接区画の火災評価※
-	-	-

※ ○:火災影響なし ×:火災影響あり

隣接する火災区画と火災伝播経路

(※ 有:伝播する 無:伝播しない)

隣接する 火災区画	火災伝播 経路有無	等価時間 (h)	耐火時間 (h)	火災伝播の 可能性 ※	備考
	有	0.0	0.0	無	
	有	0.0	0.0	無	
	有	0.0	0.0	無	
	有	0.0	0.0	無	
	無	0.0	3.0	無	
	有	0.0	0.0	無	
	有	0.0	0.0	無	
	有	0.0	0.0	無	

火災区域(区画)特性表

1. 火災区域(区画)の説明

建屋名	精製建屋
火災区域/区画区分	火災区画
火災区域/区画番号	■
火災区域/区画名称	第5予備セル
床面積(m ²)	■

2. 火災区域(区画)の火災シナリオの説明

■は、精製建屋内の火災区画である。
 本区画は、火災源となるものがないおよび安全上重要な施設が設置されていないため、安全機能の喪失のおそれはない。

3. 火災区域(区画)にある火災源

(1) 等価時間

発熱量(kJ)	火災荷重(kJ/m ²)	等価時間(h) [※]
■	■	0.0

※ 等価時間は、内部火災影響評価ガイドの等価時間記載の値で示す。

(2) 火災区域(区画)にある火災源機器数

火災源	機器数
電動機(3.7kW超)	-
電気盤(440V以上)	-
ケーブルトレイ(ケーブル)	-
油脂類・有機溶媒等	-
その他	-

4. 火災区域(区画)にある防火設備

火災感知の手段	主要な消火設備	消火方法	消火設備のバックアップ
設置除外	設置除外	-	-

5. 火災区域(区画)に隣接する火災区域(区画)と火災伝播経路

隣接火災区画への火災伝播経路の詳細は、別紙1参照

6. 火災影響を受ける火災防護対象機器等

機器名称[機器番号]	最重要設備 [※]	最重要設備以外の安全上重要な施設 [※]
-	-	-

※ ○:対象 -:非対象

* 火災想定において、工程停止等により安全機能を必要としない状態へと移行が可能なもの。

7. 火災防護対象機器等の関連ケーブル

機器名称[機器番号]	ケーブル種別	安重分類
-	-	-

8. 最重要設備の安重機能への火災影響

安重分類	全焼時の成功パスの有無	回路評価等の考慮	結果	系統分離※
Pu・高レベル廃棄物の閉じ込め機能	-	-	-	-
崩壊熱除去機能(重要度の高いもの)	-	-	-	-
安全圧縮空気系(水素掃気機能)	-	-	-	-
非常用所内電源系統	-	-	-	-

※ a : 3時間以上の耐火能力を有する耐火壁で分離

b : 水平距離6mによる分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置

c : 1時間の耐火能力を有する隔壁等による分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置
再処理施設成功パスの詳細は、別紙2参照

9. 最重要設備以外の火災防護対象機器等への火災影響

機器名称[機器番号]	当該区画の火災評価※	隣接区画の火災評価※
-	-	-

※ ○:火災影響なし ×:火災影響あり

隣接する火災区画と火災伝播経路

(※ 有:伝播する 無:伝播しない)

隣接する 火災区画	火災伝播 経路有無	等価時間 (h)	耐火時間 (h)	火災伝播の 可能性 ※	備考
	有	0.0	0.0	無	
	無	0.0	3.0	無	
	有	0.0	0.0	無	
	有	0.0	0.0	無	
	有	0.0	0.0	無	
	有	0.0	0.0	無	
	無	0.0	3.0	無	

火災区域(区画)特性表

1. 火災区域(区画)の説明

建屋名	精製建屋
火災区域/区画区分	火災区画
火災区域/区画番号	■
火災区域/区画名称	ウラン濃縮液第1中間貯槽室
床面積(m ²)	■

2. 火災区域(区画)の火災シナリオの説明

■は、精製建屋内の火災区画である。
 本区画は、火災源となるものがないおよび安全上重要な施設が設置されていないため、安全機能の喪失のおそれはない。

3. 火災区域(区画)にある火災源

(1) 等価時間

発熱量(kJ)	火災荷重(kJ/m ²)	等価時間(h) [※]
■	■	0.0

※ 等価時間は、内部火災影響評価ガイドの等価時間記載の値で示す。

(2) 火災区域(区画)にある火災源機器数

火災源	機器数
電動機(3.7kW超)	-
電気盤(440V以上)	-
ケーブルトレイ(ケーブル)	-
油脂類・有機溶媒等	-
その他	-

4. 火災区域(区画)にある防火設備

火災感知の手段	主要な消火設備	消火方法	消火設備のバックアップ
設置除外	設置除外	-	-

5. 火災区域(区画)に隣接する火災区域(区画)と火災伝播経路 隣接火災区画への火災伝播経路の詳細は、別紙1参照

6. 火災影響を受ける火災防護対象機器等

機器名称[機器番号]	最重要設備 [※]	最重要設備以外の安全上重要な施設 [※]
-	-	-

※ ○:対象 -:非対象

* 火災想定において、工程停止等により安全機能を必要としない状態へと移行が可能なもの。

7. 火災防護対象機器等の関連ケーブル

機器名称[機器番号]	ケーブル種別	安重分類
-	-	-

8. 最重要設備の安重機能への火災影響

安重分類	全焼時の 成功パスの 有無	回路評価 等の考慮	結果	系統分離※
Pu・高レベル廃棄物の閉じ込め機能	-	-	-	-
崩壊熱除去機能(重要度の高いもの)	-	-	-	-
安全圧縮空気系(水素掃気機能)	-	-	-	-
非常用所内電源系統	-	-	-	-

※ a : 3時間以上の耐火能力を有する耐火壁で分離

b : 水平距離6mによる分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置

c : 1時間の耐火能力を有する隔壁等による分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置
再処理施設成功パスの詳細は、別紙2参照

9. 最重要設備以外の火災防護対象機器等への火災影響

機器名称[機器番号]	当該区画の火災評価※	隣接区画の火災評価※
-	-	-

※ ○:火災影響なし ×:火災影響あり

隣接する火災区画と火災伝播経路

(※ 有:伝播する 無:伝播しない)

隣接する 火災区画	火災伝播 経路有無	等価時間 (h)	耐火時間 (h)	火災伝播の 可能性 ※	備考
	無	0.0	3.0	無	
	有	0.0	0.0	無	
	有	0.0	0.0	無	
	有	0.0	0.0	無	
	無	0.0	3.0	無	
	有	0.0	0.0	無	
	有	0.0	0.0	無	
	有	0.0	0.0	無	

火災区域(区画)特性表

1. 火災区域(区画)の説明

建屋名	精製建屋
火災区域/区画区分	火災区画
火災区域/区画番号	■
火災区域/区画名称	ウラン濃縮缶供給槽セル
床面積(m ²)	■

2. 火災区域(区画)の火災シナリオの説明

■は、精製建屋内の火災区画である。
 本区画は、火災源となるものがないおよび安全上重要な施設が設置されていないため、安全機能の喪失のおそれはない。

3. 火災区域(区画)にある火災源

(1) 等価時間

発熱量(kJ)	火災荷重 (kJ/m ²)	等価時間(h) [※]
■	■	0.0

※ 等価時間は、内部火災影響評価ガイドの等価時間記載の値で示す。

(2) 火災区域(区画)にある火災源機器数

火災源	機器数
電動機(3.7kW超)	-
電気盤(440V以上)	-
ケーブルトレイ(ケーブル)	-
油脂類・有機溶媒等	-
その他	-

4. 火災区域(区画)にある防火設備

火災感知の手段	主要な消火設備	消火方法	消火設備のバックアップ
設置除外	設置除外	-	-

5. 火災区域(区画)に隣接する火災区域(区画)と火災伝播経路 隣接火災区画への火災伝播経路の詳細は、別紙1参照

6. 火災影響を受ける火災防護対象機器等

機器名称[機器番号]	最重要設備 [※]	最重要設備以外の安全上重要な施設 [※]
-	-	-

※ ○:対象 -:非対象

* 火災想定において、工程停止等により安全機能を必要としない状態へと移行が可能なもの。

7. 火災防護対象機器等の関連ケーブル

機器名称[機器番号]	ケーブル種別	安重分類
-	-	-

8. 最重要設備の安重機能への火災影響

安重分類	全焼時の成功パスの有無	回路評価等の考慮	結果	系統分離※
Pu・高レベル廃棄物の閉じ込め機能	-	-	-	-
崩壊熱除去機能(重要度の高いもの)	-	-	-	-
安全圧縮空気系(水素掃気機能)	-	-	-	-
非常用所内電源系統	-	-	-	-

※ a : 3時間以上の耐火能力を有する耐火壁で分離

b : 水平距離6mによる分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置

c : 1時間の耐火能力を有する隔壁等による分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置
再処理施設成功パスの詳細は、別紙2参照

9. 最重要設備以外の火災防護対象機器等への火災影響

機器名称[機器番号]	当該区画の火災評価※	隣接区画の火災評価※
-	-	-

※ ○:火災影響なし ×:火災影響あり

隣接する火災区画と火災伝播経路

(※ 有:伝播する 無:伝播しない)

隣接する 火災区画	火災伝播 経路有無	等価時間 (h)	耐火時間 (h)	火災伝播の 可能性 ※	備考
	有	0.0	0.0	無	
	無	0.0	3.0	無	
	有	0.0	0.0	無	
	有	0.0	0.0	無	
	有	0.0	0.0	無	
	無	0.0	3.0	無	
	有	0.0	0.0	無	

火災区域(区画)特性表

1. 火災区域(区画)の説明

建屋名	精製建屋
火災区域/区画区分	火災区画
火災区域/区画番号	■
火災区域/区画名称	回収溶媒受槽室
床面積(m ²)	■

2. 火災区域(区画)の火災シナリオの説明

■は、精製建屋内の火災区画である。
 本区画は、火災源となるものがないおよび安全上重要な施設が設置されていないため、安全機能の喪失のおそれはない。

3. 火災区域(区画)にある火災源

(1) 等価時間

発熱量(kJ)	火災荷重 (kJ/m ²)	等価時間(h) [※]
■	■	>9

※ 等価時間は、内部火災影響評価ガイドの等価時間記載の値で示す。

(2) 火災区域(区画)にある火災源機器数

火災源	機器数
電動機(3.7kW超)	-
電気盤(440V以上)	-
ケーブルトレイ(ケーブル)	-
油脂類・有機溶媒等	-
その他	-

4. 火災区域(区画)にある防火設備

火災感知の手段	主要な消火設備	消火方法	消火設備のバックアップ
セル内温度計 (熱感知器) 漏えい検知装置	二酸化炭素消火設備	手動	-

5. 火災区域(区画)に隣接する火災区域(区画)と火災伝播経路

隣接火災区画への火災伝播経路の詳細は、別紙1参照

6. 火災影響を受ける火災防護対象機器等

機器名称[機器番号]	最重要設備 [※]	最重要設備以外の安全上重要な施設 [※]
-	-	-

※ ○:対象 -:非対象

* 火災想定において、工程停止等により安全機能を必要としない状態へと移行が可能なもの。

7. 火災防護対象機器等の関連ケーブル

機器名称[機器番号]	ケーブル種別	安重分類
-	-	-

8. 最重要設備の安重機能への火災影響

安重分類	全焼時の成功パスの有無	回路評価等の考慮	結果	系統分離※
Pu・高レベル廃棄物の閉じ込め機能	-	-	-	-
崩壊熱除去機能(重要度の高いもの)	-	-	-	-
安全圧縮空気系(水素掃気機能)	-	-	-	-
非常用所内電源系統	-	-	-	-

※ a : 3時間以上の耐火能力を有する耐火壁で分離

b : 水平距離6mによる分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置

c : 1時間の耐火能力を有する隔壁等による分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置
再処理施設成功パスの詳細は、別紙2参照

9. 最重要設備以外の火災防護対象機器等への火災影響

機器名称[機器番号]	当該区画の火災評価※	隣接区画の火災評価※
-	-	-

※ ○:火災影響なし ×:火災影響あり

隣接する火災区画と火災伝播経路

(※ 有:伝播する 無:伝播しない)

隣接する 火災区画	火災伝播 経路有無	等価時間 (h)	耐火時間 (h)	火災伝播の 可能性 ※	備考
	無	3.0超	3.0	有	
	無	3.0超	1.0	有	
	有	3.0超	0.0	有	
	有	3.0超	0.0	有	
	無	3.0超	1.0	有	
	有	3.0超	0.0	有	
	無	3.0超	3.0	有	
	有	3.0超	0.0	有	

火災区域(区画)特性表

1. 火災区域(区画)の説明

建屋名	精製建屋
火災区域/区画区分	火災区画
火災区域/区画番号	■
火災区域/区画名称	南第3階段室
床面積(m ²)	■

2. 火災区域(区画)の火災シナリオの説明

■は、精製建屋内の火災区画である。
 本区画は、火災源となるものがないおよび安全上重要な施設が設置されていないため、安全機能の喪失のおそれはない。

3. 火災区域(区画)にある火災源

(1) 等価時間

発熱量(kJ)	火災荷重 (kJ/m ²)	等価時間(h) [※]
■	■	0.0

※ 等価時間は、内部火災影響評価ガイドの等価時間記載の値で示す。

(2) 火災区域(区画)にある火災源機器数

火災源	機器数
電動機(3.7kW超)	-
電気盤(440V以上)	-
ケーブルトレイ(ケーブル)	-
油脂類・有機溶媒等	-
その他	-

4. 火災区域(区画)にある防火設備

火災感知の手段	主要な消火設備	消火方法	消火設備のバックアップ
煙感知器	屋内消火栓	手動	粉末消火器

5. 火災区域(区画)に隣接する火災区域(区画)と火災伝播経路

隣接火災区画への火災伝播経路の詳細は、別紙1参照

6. 火災影響を受ける火災防護対象機器等

機器名称[機器番号]	最重要設備 [※]	最重要設備以外の安全上重要な施設 [※]
-	-	-

※ ○:対象 -:非対象

* 火災想定において、工程停止等により安全機能を必要としない状態へと移行が可能なもの。

7. 火災防護対象機器等の関連ケーブル

機器名称[機器番号]	ケーブル種別	安重分類
-	-	-

8. 最重要設備の安重機能への火災影響

安重分類	全焼時の 成功パスの 有無	回路評価 等の考慮	結果	系統分離※
Pu・高レベル廃棄物の閉じ込め機能	-	-	-	-
崩壊熱除去機能(重要度の高いもの)	-	-	-	-
安全圧縮空気系(水素掃気機能)	-	-	-	-
非常用所内電源系統	-	-	-	-

※ a : 3時間以上の耐火能力を有する耐火壁で分離

b : 水平距離6mによる分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置

c : 1時間の耐火能力を有する隔壁等による分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置
再処理施設成功パスの詳細は、別紙2参照

9. 最重要設備以外の火災防護対象機器等への火災影響

機器名称[機器番号]	当該区画の火災評価※	隣接区画の火災評価※
-	-	-

※ ○:火災影響なし ×:火災影響あり

火災区域(区画)特性表

1. 火災区域(区画)の説明

建屋名	精製建屋
火災区域/区画区分	火災区画
火災区域/区画番号	■
火災区域/区画名称	南第3ダクト室
床面積(m ²)	■

2. 火災区域(区画)の火災シナリオの説明

■は、精製建屋内の火災区画である。
 本区画は、火災源となるものがないおよび安全上重要な施設が設置されていないため、安全機能の喪失のおそれはない。

3. 火災区域(区画)にある火災源

(1) 等価時間

発熱量(kJ)	火災荷重 (kJ/m ²)	等価時間(h) [※]
■	■	0.0

※ 等価時間は、内部火災影響評価ガイドの等価時間記載の値で示す。

(2) 火災区域(区画)にある火災源機器数

火災源	機器数
電動機(3.7kW超)	-
電気盤(440V以上)	-
ケーブルトレイ(ケーブル)	-
油脂類・有機溶媒等	-
その他	-

4. 火災区域(区画)にある防火設備

火災感知の手段	主要な消火設備	消火方法	消火設備のバックアップ
煙感知器	屋内消火栓	手動	粉末消火器

5. 火災区域(区画)に隣接する火災区域(区画)と火災伝播経路

隣接火災区画への火災伝播経路の詳細は、別紙1参照

6. 火災影響を受ける火災防護対象機器等

機器名称[機器番号]	最重要設備 [※]	最重要設備以外の安全上重要な施設 [※]
-	-	-

※ ○:対象 -:非対象

* 火災想定において、工程停止等により安全機能を必要としない状態へと移行が可能なもの。

7. 火災防護対象機器等の関連ケーブル

機器名称[機器番号]	ケーブル種別	安重分類
-	-	-

8. 最重要設備の安重機能への火災影響

安重分類	全焼時の成功パスの有無	回路評価等の考慮	結果	系統分離※
Pu・高レベル廃棄物の閉じ込め機能	-	-	-	-
崩壊熱除去機能(重要度の高いもの)	-	-	-	-
安全圧縮空気系(水素掃気機能)	-	-	-	-
非常用所内電源系統	-	-	-	-

※ a : 3時間以上の耐火能力を有する耐火壁で分離

b : 水平距離6mによる分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置

c : 1時間の耐火能力を有する隔壁等による分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置
再処理施設成功パスの詳細は、別紙2参照

9. 最重要設備以外の火災防護対象機器等への火災影響

機器名称[機器番号]	当該区画の火災評価※	隣接区画の火災評価※
-	-	-

※ ○:火災影響なし ×:火災影響あり

隣接する火災区画と火災伝播経路

(※ 有:伝播する 無:伝播しない)

隣接する 火災区画	火災伝播 経路有無	等価時間 (h)	耐火時間 (h)	火災伝播の 可能性 ※	備考
	有	0.0	0.0	無	
	有	0.0	0.0	無	
	無	0.0	1.0	無	
	有	0.0	0.0	無	
	無	0.0	1.0	無	
	有	0.0	0.0	無	
	無	0.0	1.0	無	
	無	0.0	1.0	無	

火災区域(区画)特性表

1. 火災区域(区画)の説明

建屋名	精製建屋
火災区域/区画区分	火災区画
火災区域/区画番号	■
火災区域/区画名称	溶媒受槽セル
床面積(m ²)	■

2. 火災区域(区画)の火災シナリオの説明

■は、精製建屋内の火災区画である。
 本区画は、火災源となるものがないおよび安全上重要な施設が設置されていないため、安全機能の喪失のおそれはない。

3. 火災区域(区画)にある火災源

(1) 等価時間

発熱量(kJ)	火災荷重 (kJ/m ²)	等価時間(h) [※]
■	■	>9

※ 等価時間は、内部火災影響評価ガイドの等価時間記載の値で示す。

(2) 火災区域(区画)にある火災源機器数

火災源	機器数
電動機(3.7kW超)	-
電気盤(440V以上)	-
ケーブルトレイ(ケーブル)	-
油脂類・有機溶媒等	-
その他	-

4. 火災区域(区画)にある防火設備

火災感知の手段	主要な消火設備	消火方法	消火設備のバックアップ
セル内温度計 (熱感知器) 漏えい検知装置	二酸化炭素消火設備	手動	-

5. 火災区域(区画)に隣接する火災区域(区画)と火災伝播経路

隣接火災区画への火災伝播経路の詳細は、別紙1参照

6. 火災影響を受ける火災防護対象機器等

機器名称[機器番号]	最重要設備 [※]	最重要設備以外の安全上重要な施設 [※]
-	-	-

※ ○:対象 -:非対象

* 火災想定において、工程停止等により安全機能を必要としない状態へと移行が可能なもの。

7. 火災防護対象機器等の関連ケーブル

機器名称[機器番号]	ケーブル種別	安重分類
-	-	-

8. 最重要設備の安重機能への火災影響

安重分類	全焼時の成功パスの有無	回路評価等の考慮	結果	系統分離※
Pu・高レベル廃棄物の閉じ込め機能	-	-	-	-
崩壊熱除去機能(重要度の高いもの)	-	-	-	-
安全圧縮空気系(水素掃気機能)	-	-	-	-
非常用所内電源系統	-	-	-	-

※ a : 3時間以上の耐火能力を有する耐火壁で分離

b : 水平距離6mによる分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置

c : 1時間の耐火能力を有する隔壁等による分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置
再処理施設成功パスの詳細は、別紙2参照

9. 最重要設備以外の火災防護対象機器等への火災影響

機器名称[機器番号]	当該区画の火災評価※	隣接区画の火災評価※
-	-	-

※ ○:火災影響なし ×:火災影響あり

隣接する火災区画と火災伝播経路

(※ 有:伝播する 無:伝播しない)

隣接する 火災区画	火災伝播 経路有無	等価時間 (h)	耐火時間 (h)	火災伝播の 可能性 ※	備考
	有	3.0超	0.0	有	
	無	3.0超	3.0	有	
	有	3.0超	0.0	有	
	有	3.0超	0.0	有	
	無	3.0超	1.0	有	
	有	3.0超	0.0	有	
	有	3.0超	0.0	有	
	無	3.0超	1.0	有	

火災区域(区画)特性表

1. 火災区域(区画)の説明

建屋名	精製建屋
火災区域/区画区分	火災区画
火災区域/区画番号	■
火災区域/区画名称	ウラン廃液受槽セル
床面積(m ²)	■

2. 火災区域(区画)の火災シナリオの説明

■は、精製建屋内の火災区画である。
 本区画は、火災源となるものがないおよび安全上重要な施設が設置されていないため、安全機能の喪失のおそれはない。

3. 火災区域(区画)にある火災源

(1) 等価時間

発熱量(kJ)	火災荷重 (kJ/m ²)	等価時間(h) [※]
■	■	0.0

※ 等価時間は、内部火災影響評価ガイドの等価時間記載の値で示す。

(2) 火災区域(区画)にある火災源機器数

火災源	機器数
電動機(3.7kW超)	-
電気盤(440V以上)	-
ケーブルトレイ(ケーブル)	-
油脂類・有機溶媒等	-
その他	-

4. 火災区域(区画)にある防火設備

火災感知の手段	主要な消火設備	消火方法	消火設備のバックアップ
設置除外	設置除外	-	-

5. 火災区域(区画)に隣接する火災区域(区画)と火災伝播経路

隣接火災区画への火災伝播経路の詳細は、別紙1参照

6. 火災影響を受ける火災防護対象機器等

機器名称[機器番号]	最重要設備 [※]	最重要設備以外の安全上重要な施設 [※]
-	-	-

※ ○:対象 -:非対象

* 火災想定において、工程停止等により安全機能を必要としない状態へと移行が可能なもの。

7. 火災防護対象機器等の関連ケーブル

機器名称[機器番号]	ケーブル種別	安重分類
-	-	-

8. 最重要設備の安重機能への火災影響

安重分類	全焼時の成功パスの有無	回路評価等の考慮	結果	系統分離※
Pu・高レベル廃棄物の閉じ込め機能	-	-	-	-
崩壊熱除去機能(重要度の高いもの)	-	-	-	-
安全圧縮空気系(水素掃気機能)	-	-	-	-
非常用所内電源系統	-	-	-	-

※ a : 3時間以上の耐火能力を有する耐火壁で分離

b : 水平距離6mによる分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置

c : 1時間の耐火能力を有する隔壁等による分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置
再処理施設成功パスの詳細は、別紙2参照

9. 最重要設備以外の火災防護対象機器等への火災影響

機器名称[機器番号]	当該区画の火災評価※	隣接区画の火災評価※
-	-	-

※ ○:火災影響なし ×:火災影響あり

隣接する火災区画と火災伝播経路

(※ 有:伝播する 無:伝播しない)

隣接する 火災区画	火災伝播 経路有無	等価時間 (h)	耐火時間 (h)	火災伝播の 可能性 ※	備考
	有	0.0	0.0	無	
	有	0.0	0.0	無	
	有	0.0	0.0	無	
	有	0.0	0.0	無	
	有	0.0	0.0	無	
	有	0.0	0.0	無	
	無	0.0	3.0	無	

火災区域(区画)特性表

1. 火災区域(区画)の説明

建屋名	精製建屋
火災区域／区画区分	火災区画
火災区域／区画番号	■
火災区域／区画名称	極低レベル無塩廃液受槽室
床面積(m ²)	■

2. 火災区域(区画)の火災シナリオの説明

■は、精製建屋内の火災区画である。
 本区画は、火災源となるものがないおよび安全上重要な施設が設置されていないため、安全機能の喪失のおそれはない。

3. 火災区域(区画)にある火災源

(1) 等価時間

発熱量(kJ)	火災荷重 (kJ/m ²)	等価時間(h) [※]
■	■	0.0

※ 等価時間は、内部火災影響評価ガイドの等価時間記載の値で示す。

(2) 火災区域(区画)にある火災源機器数

火災源	機器数
電動機(3.7kW超)	-
電気盤(440V以上)	-
ケーブルトレイ(ケーブル)	-
油脂類・有機溶媒等	-
その他	-

4. 火災区域(区画)にある防火設備

火災感知の手段	主要な消火設備	消火方法	消火設備のバックアップ
設置除外	設置除外	-	-

5. 火災区域(区画)に隣接する火災区域(区画)と火災伝播経路

隣接火災区画への火災伝播経路の詳細は、別紙1参照

6. 火災影響を受ける火災防護対象機器等

機器名称[機器番号]	最重要設備 [※]	最重要設備以外の安全上重要な施設 [※]
-	-	-

※ ○:対象 -:非対象

* 火災想定において、工程停止等により安全機能を必要としない状態へと移行が可能なもの。

7. 火災防護対象機器等の関連ケーブル

機器名称[機器番号]	ケーブル種別	安重分類
-	-	-

8. 最重要設備の安重機能への火災影響

安重分類	全焼時の成功パスの有無	回路評価等の考慮	結果	系統分離※
Pu・高レベル廃棄物の閉じ込め機能	-	-	-	-
崩壊熱除去機能(重要度の高いもの)	-	-	-	-
安全圧縮空気系(水素掃気機能)	-	-	-	-
非常用所内電源系統	-	-	-	-

※ a : 3時間以上の耐火能力を有する耐火壁で分離

b : 水平距離6mによる分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置

c : 1時間の耐火能力を有する隔壁等による分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置
再処理施設成功パスの詳細は、別紙2参照

9. 最重要設備以外の火災防護対象機器等への火災影響

機器名称[機器番号]	当該区画の火災評価※	隣接区画の火災評価※
-	-	-

※ ○:火災影響なし ×:火災影響あり

隣接する火災区画と火災伝播経路

(※ 有:伝播する 無:伝播しない)

隣接する 火災区画	火災伝播 経路有無	等価時間 (h)	耐火時間 (h)	火災伝播の 可能性 ※	備考
	無	0.0	3.0	無	
	有	0.0	0.0	無	
	有	0.0	0.0	無	
	有	0.0	0.0	無	
	有	0.0	0.0	無	
	有	0.0	0.0	無	
	有	0.0	0.0	無	

火災区域(区画)特性表

1. 火災区域(区画)の説明

建屋名	精製建屋
火災区域/区画区分	火災区画
火災区域/区画番号	■
火災区域/区画名称	第2酸回収精留塔予備セル
床面積(m ²)	■

2. 火災区域(区画)の火災シナリオの説明

■は、精製建屋内の火災区画である。
 本区画は、火災源となるものがないおよび安全上重要な施設が設置されていないため、安全機能の喪失のおそれはない。

3. 火災区域(区画)にある火災源

(1) 等価時間

発熱量(kJ)	火災荷重 (kJ/m ²)	等価時間(h) [※]
■	■	0.0

※ 等価時間は、内部火災影響評価ガイドの等価時間記載の値で示す。

(2) 火災区域(区画)にある火災源機器数

火災源	機器数
電動機(3.7kW超)	-
電気盤(440V以上)	-
ケーブルトレイ(ケーブル)	-
油脂類・有機溶媒等	-
その他	-

4. 火災区域(区画)にある防火設備

火災感知の手段	主要な消火設備	消火方法	消火設備のバックアップ
設置除外	設置除外	-	-

5. 火災区域(区画)に隣接する火災区域(区画)と火災伝播経路

隣接火災区画への火災伝播経路の詳細は、別紙1参照

6. 火災影響を受ける火災防護対象機器等

機器名称[機器番号]	最重要設備 [※]	最重要設備以外の安全上重要な施設 [※]
-	-	-

※ ○:対象 -:非対象

* 火災想定において、工程停止等により安全機能を必要としない状態へと移行が可能なもの。

7. 火災防護対象機器等の関連ケーブル

機器名称[機器番号]	ケーブル種別	安重分類
-	-	-

8. 最重要設備の安重機能への火災影響

安重分類	全焼時の 成功パスの 有無	回路評価 等の考慮	結果	系統分離※
Pu・高レベル廃棄物の閉じ込め機能	-	-	-	-
崩壊熱除去機能(重要度の高いもの)	-	-	-	-
安全圧縮空気系(水素掃気機能)	-	-	-	-
非常用所内電源系統	-	-	-	-

※ a : 3時間以上の耐火能力を有する耐火壁で分離

b : 水平距離6mによる分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置

c : 1時間の耐火能力を有する隔壁等による分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置
再処理施設成功パスの詳細は、別紙2参照

9. 最重要設備以外の火災防護対象機器等への火災影響

機器名称[機器番号]	当該区画の火災評価※	隣接区画の火災評価※
-	-	-

※ ○:火災影響なし ×:火災影響あり

隣接する火災区画と火災伝播経路

(※ 有:伝播する 無:伝播しない)

隣接する 火災区画	火災伝播 経路有無	等価時間 (h)	耐火時間 (h)	火災伝播の 可能性 ※	備考
	無	0.0	3.0	無	
	無	0.0	3.0	無	
	有	0.0	0.0	無	
	無	0.0	3.0	無	
	有	0.0	0.0	無	
	無	0.0	3.0	無	
	無	0.0	3.0	無	
	無	0.0	3.0	無	
	有	0.0	0.0	無	
	有	0.0	0.0	無	
	無	0.0	3.0	無	
	有	0.0	0.0	無	
	有	0.0	0.0	無	
	有	0.0	0.0	無	
	有	0.0	0.0	無	
	有	0.0	0.0	無	
	有	0.0	0.0	無	
	有	0.0	0.0	無	
	有	0.0	0.0	無	

火災区域(区画)特性表

1. 火災区域(区画)の説明

建屋名	精製建屋
火災区域/区画区分	火災区画
火災区域/区画番号	■
火災区域/区画名称	第2酸回収蒸発缶予備セル
床面積(m ²)	■

2. 火災区域(区画)の火災シナリオの説明

■は、精製建屋内の火災区画である。
 本区画は、火災源となるものがないおよび安全上重要な施設が設置されていないため、安全機能の喪失のおそれはない。

3. 火災区域(区画)にある火災源

(1) 等価時間

発熱量(kJ)	火災荷重 (kJ/m ²)	等価時間(h) [※]
■	■	0.0

※ 等価時間は、内部火災影響評価ガイドの等価時間記載の値で示す。

(2) 火災区域(区画)にある火災源機器数

火災源	機器数
電動機(3.7kW超)	-
電気盤(440V以上)	-
ケーブルトレイ(ケーブル)	-
油脂類・有機溶媒等	-
その他	-

4. 火災区域(区画)にある防火設備

火災感知の手段	主要な消火設備	消火方法	消火設備のバックアップ
設置除外	設置除外	-	-

5. 火災区域(区画)に隣接する火災区域(区画)と火災伝播経路

隣接火災区画への火災伝播経路の詳細は、別紙1参照

6. 火災影響を受ける火災防護対象機器等

機器名称[機器番号]	最重要設備 [※]	最重要設備以外の安全上重要な施設 [※]
-	-	-

※ ○:対象 -:非対象

* 火災想定において、工程停止等により安全機能を必要としない状態へと移行が可能なもの。

7. 火災防護対象機器等の関連ケーブル

機器名称[機器番号]	ケーブル種別	安重分類
-	-	-

8. 最重要設備の安重機能への火災影響

安重分類	全焼時の成功パスの有無	回路評価等の考慮	結果	系統分離※
Pu・高レベル廃棄物の閉じ込め機能	-	-	-	-
崩壊熱除去機能(重要度の高いもの)	-	-	-	-
安全圧縮空気系(水素掃気機能)	-	-	-	-
非常用所内電源系統	-	-	-	-

※ a : 3時間以上の耐火能力を有する耐火壁で分離

b : 水平距離6mによる分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置

c : 1時間の耐火能力を有する隔壁等による分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置
再処理施設成功パスの詳細は、別紙2参照

9. 最重要設備以外の火災防護対象機器等への火災影響

機器名称[機器番号]	当該区画の火災評価※	隣接区画の火災評価※
-	-	-

※ ○:火災影響なし ×:火災影響あり

隣接する火災区画と火災伝播経路

(※ 有:伝播する 無:伝播しない)

隣接する 火災区画	火災伝播 経路有無	等価時間 (h)	耐火時間 (h)	火災伝播の 可能性※	備考
	無	0.0	3.0	無	
	無	0.0	3.0	無	
	無	0.0	3.0	無	
	無	0.0	3.0	無	
	無	0.0	3.0	無	
	無	0.0	3.0	無	
	有	0.0	0.0	無	
	有	0.0	0.0	無	
	有	0.0	0.0	無	
	有	0.0	0.0	無	
	有	0.0	0.0	無	
	無	0.0	3.0	無	
	無	0.0	3.0	無	
	無	0.0	3.0	無	
	有	0.0	0.0	無	
	有	0.0	0.0	無	
	有	0.0	0.0	無	
	無	0.0	3.0	無	
	有	0.0	0.0	無	
	無	0.0	3.0	無	
	有	0.0	0.0	無	
	無	0.0	3.0	無	
	有	0.0	0.0	無	
	無	0.0	1.0	無	

火災区域(区画)特性表

1. 火災区域(区画)の説明

建屋名	精製建屋
火災区域/区画区分	火災区画
火災区域/区画番号	■
火災区域/区画名称	第2酸回収回収硝酸貯槽セル
床面積(m ²)	■

2. 火災区域(区画)の火災シナリオの説明

■は、精製建屋内の火災区画である。
 本区画は、火災源となるものがないおよび安全上重要な施設が設置されていないため、安全機能の喪失のおそれはない。

3. 火災区域(区画)にある火災源

(1) 等価時間

発熱量(kJ)	火災荷重 (kJ/m ²)	等価時間(h) [※]
■	■	0.0

※ 等価時間は、内部火災影響評価ガイドの等価時間記載の値で示す。

(2) 火災区域(区画)にある火災源機器数

火災源	機器数
電動機(3.7kW超)	-
電気盤(440V以上)	-
ケーブルトレイ(ケーブル)	-
油脂類・有機溶媒等	-
その他	-

4. 火災区域(区画)にある防火設備

火災感知の手段	主要な消火設備	消火方法	消火設備のバックアップ
設置除外	設置除外	-	-

5. 火災区域(区画)に隣接する火災区域(区画)と火災伝播経路

隣接火災区画への火災伝播経路の詳細は、別紙1参照

6. 火災影響を受ける火災防護対象機器等

機器名称[機器番号]	最重要設備 [※]	最重要設備以外の安全上重要な施設 [※]
-	-	-

※ ○:対象 -:非対象

* 火災想定において、工程停止等により安全機能を必要としない状態へと移行が可能なもの。

7. 火災防護対象機器等の関連ケーブル

機器名称[機器番号]	ケーブル種別	安重分類
-	-	-

8. 最重要設備の安重機能への火災影響

安重分類	全焼時の成功パスの有無	回路評価等の考慮	結果	系統分離※
Pu・高レベル廃棄物の閉じ込め機能	-	-	-	-
崩壊熱除去機能(重要度の高いもの)	-	-	-	-
安全圧縮空気系(水素掃気機能)	-	-	-	-
非常用所内電源系統	-	-	-	-

※ a : 3時間以上の耐火能力を有する耐火壁で分離

b : 水平距離6mによる分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置

c : 1時間の耐火能力を有する隔壁等による分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置
再処理施設成功パスの詳細は、別紙2参照

9. 最重要設備以外の火災防護対象機器等への火災影響

機器名称[機器番号]	当該区画の火災評価※	隣接区画の火災評価※
-	-	-

※ ○:火災影響なし ×:火災影響あり

隣接する火災区画と火災伝播経路

(※ 有:伝播する 無:伝播しない)

隣接する 火災区画	火災伝播 経路有無	等価時間 (h)	耐火時間 (h)	火災伝播の 可能性 ※	備考
	無	0.0	3.0	無	
	無	0.0	3.0	無	
	有	0.0	0.0	無	
	有	0.0	0.0	無	
	有	0.0	0.0	無	
	無	0.0	3.0	無	
	有	0.0	0.0	無	
	有	0.0	0.0	無	

火災区域(区画)特性表

1. 火災区域(区画)の説明

建屋名	精製建屋
火災区域/区画区分	火災区画
火災区域/区画番号	■
火災区域/区画名称	ウラン溶液供給槽セル
床面積(m ²)	■

2. 火災区域(区画)の火災シナリオの説明

■は、精製建屋内の火災区画である。
 本区画は、火災源となるものがないおよび安全上重要な施設が設置されていないため、安全機能の喪失のおそれはない。

3. 火災区域(区画)にある火災源

(1) 等価時間

発熱量(kJ)	火災荷重 (kJ/m ²)	等価時間(h) [※]
■	■	0.0

※ 等価時間は、内部火災影響評価ガイドの等価時間記載の値で示す。

(2) 火災区域(区画)にある火災源機器数

火災源	機器数
電動機(3.7kW超)	-
電気盤(440V以上)	-
ケーブルトレイ(ケーブル)	-
油脂類・有機溶媒等	-
その他	-

4. 火災区域(区画)にある防火設備

火災感知の手段	主要な消火設備	消火方法	消火設備のバックアップ
設置除外	設置除外	-	-

5. 火災区域(区画)に隣接する火災区域(区画)と火災伝播経路

隣接火災区画への火災伝播経路の詳細は、別紙1参照

6. 火災影響を受ける火災防護対象機器等

機器名称[機器番号]	最重要設備 [※]	最重要設備以外の安全上重要な施設 [※]
-	-	-

※ ○:対象 -:非対象

* 火災想定において、工程停止等により安全機能を必要としない状態へと移行が可能なもの。

7. 火災防護対象機器等の関連ケーブル

機器名称[機器番号]	ケーブル種別	安重分類
-	-	-

8. 最重要設備の安重機能への火災影響

安重分類	全焼時の 成功パスの 有無	回路評価 等の考慮	結果	系統分離※
Pu・高レベル廃棄物の閉じ込め機能	-	-	-	-
崩壊熱除去機能(重要度の高いもの)	-	-	-	-
安全圧縮空気系(水素掃気機能)	-	-	-	-
非常用所内電源系統	-	-	-	-

※ a : 3時間以上の耐火能力を有する耐火壁で分離

b : 水平距離6mによる分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置

c : 1時間の耐火能力を有する隔壁等による分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置
再処理施設成功パスの詳細は、別紙2参照

9. 最重要設備以外の火災防護対象機器等への火災影響

機器名称[機器番号]	当該区画の火災評価※	隣接区画の火災評価※
-	-	-

※ ○:火災影響なし ×:火災影響あり

隣接する火災区画と火災伝播経路

(※ 有:伝播する 無:伝播しない)

隣接する 火災区画	火災伝播 経路有無	等価時間 (h)	耐火時間 (h)	火災伝播の 可能性 ※	備考
	無	0.0	3.0	無	
	無	0.0	3.0	無	
	有	0.0	0.0	無	
	有	0.0	0.0	無	
	無	0.0	3.0	無	
	有	0.0	0.0	無	
	有	0.0	0.0	無	

火災区域(区画)特性表

1. 火災区域(区画)の説明

建屋名	精製建屋
火災区域/区画区分	火災区画
火災区域/区画番号	■
火災区域/区画名称	精製建屋一時貯留処理槽第3セル
床面積(m ²)	■

2. 火災区域(区画)の火災シナリオの説明

■は、精製建屋内の火災区画である。
 本区画は、火災源となるものがないおよび安全上重要な施設が設置されていないため、安全機能の喪失のおそれはない。

3. 火災区域(区画)にある火災源

(1) 等価時間

発熱量(kJ)	火災荷重 (kJ/m ²)	等価時間(h) [※]
■	■	>9

※ 等価時間は、内部火災影響評価ガイドの等価時間記載の値で示す。

(2) 火災区域(区画)にある火災源機器数

火災源	機器数
電動機(3.7kW超)	-
電気盤(440V以上)	-
ケーブルトレイ(ケーブル)	-
油脂類・有機溶媒等	-
その他	-

4. 火災区域(区画)にある防火設備

火災感知の手段	主要な消火設備	消火方法	消火設備のバックアップ
セル内温度計 (熱感知器) 漏えい検知装置	二酸化炭素消火設備	手動	-

5. 火災区域(区画)に隣接する火災区域(区画)と火災伝播経路

隣接火災区画への火災伝播経路の詳細は、別紙1参照

6. 火災影響を受ける火災防護対象機器等

機器名称[機器番号]	最重要設備 [※]	最重要設備以外の安全上重要な施設 [※]
-	-	-

※ ○:対象 -:非対象

* 火災想定において、工程停止等により安全機能を必要としない状態へと移行が可能なもの。

7. 火災防護対象機器等の関連ケーブル

機器名称[機器番号]	ケーブル種別	安重分類
-	-	-

8. 最重要設備の安重機能への火災影響

安重分類	全焼時の成功パスの有無	回路評価等の考慮	結果	系統分離※
Pu・高レベル廃棄物の閉じ込め機能	-	-	-	-
崩壊熱除去機能(重要度の高いもの)	-	-	-	-
安全圧縮空気系(水素掃気機能)	-	-	-	-
非常用所内電源系統	-	-	-	-

※ a : 3時間以上の耐火能力を有する耐火壁で分離

b : 水平距離6mによる分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置

c : 1時間の耐火能力を有する隔壁等による分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置
再処理施設成功パスの詳細は、別紙2参照

9. 最重要設備以外の火災防護対象機器等への火災影響

機器名称[機器番号]	当該区画の火災評価※	隣接区画の火災評価※
-	-	-

※ ○:火災影響なし ×:火災影響あり

隣接する火災区画と火災伝播経路

(※ 有:伝播する 無:伝播しない)

隣接する 火災区画	火災伝播 経路有無	等価時間 (h)	耐火時間 (h)	火災伝播の 可能性 ※	備考
	無	3.0超	3.0	有	
	無	3.0超	3.0	有	
	有	3.0超	0.0	有	
	有	3.0超	0.0	有	
	有	3.0超	0.0	有	
	無	3.0超	3.0	有	
	無	3.0超	3.0	有	
	有	3.0超	0.0	有	
	有	3.0超	0.0	有	
	有	3.0超	0.0	有	

火災区域(区画)特性表

1. 火災区域(区画)の説明

建屋名	精製建屋
火災区域/区画区分	火災区画
火災区域/区画番号	■
火災区域/区画名称	廃液受槽セル
床面積(m ²)	■

2. 火災区域(区画)の火災シナリオの説明

■は、精製建屋内の火災区画である。
 本区画は、火災源となるものがないおよび安全上重要な施設が設置されていないため、安全機能の喪失のおそれはない。

3. 火災区域(区画)にある火災源

(1) 等価時間

発熱量(kJ)	火災荷重 (kJ/m ²)	等価時間(h) [※]
■	■	7.0

※ 等価時間は、内部火災影響評価ガイドの等価時間記載の値で示す。

(2) 火災区域(区画)にある火災源機器数

火災源	機器数
電動機(3.7kW超)	-
電気盤(440V以上)	-
ケーブルトレイ(ケーブル)	-
油脂類・有機溶媒等	-
その他	-

4. 火災区域(区画)にある防火設備

火災感知の手段	主要な消火設備	消火方法	消火設備のバックアップ
セル内温度計 (熱感知器) 漏えい検知装置	二酸化炭素消火設備	手動	-

5. 火災区域(区画)に隣接する火災区域(区画)と火災伝播経路

隣接火災区画への火災伝播経路の詳細は、別紙1参照

6. 火災影響を受ける火災防護対象機器等

機器名称[機器番号]	最重要設備 [※]	最重要設備以外の安全上重要な施設 [※]
-	-	-

※ ○:対象 -:非対象

* 火災想定において、工程停止等により安全機能を必要としない状態へと移行が可能なもの。

7. 火災防護対象機器等の関連ケーブル

機器名称[機器番号]	ケーブル種別	安重分類
-	-	-

8. 最重要設備の安重機能への火災影響

安重分類	全焼時の成功パスの有無	回路評価等の考慮	結果	系統分離※
Pu・高レベル廃棄物の閉じ込め機能	-	-	-	-
崩壊熱除去機能(重要度の高いもの)	-	-	-	-
安全圧縮空気系(水素掃気機能)	-	-	-	-
非常用所内電源系統	-	-	-	-

※ a : 3時間以上の耐火能力を有する耐火壁で分離

b : 水平距離6mによる分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置

c : 1時間の耐火能力を有する隔壁等による分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置
再処理施設成功パスの詳細は、別紙2参照

9. 最重要設備以外の火災防護対象機器等への火災影響

機器名称[機器番号]	当該区画の火災評価※	隣接区画の火災評価※
-	-	-

※ ○:火災影響なし ×:火災影響あり

隣接する火災区画と火災伝播経路

(※ 有:伝播する 無:伝播しない)

隣接する 火災区画	火災伝播 経路有無	等価時間 (h)	耐火時間 (h)	火災伝播の 可能性 ※	備考
	無	3.0超	3.0	有	
	無	3.0超	3.0	有	
	有	3.0超	0.0	有	
	有	3.0超	0.0	有	
	有	3.0超	0.0	有	
	無	3.0超	3.0	有	
	有	3.0超	0.0	有	
	有	3.0超	0.0	有	

火災区域(区画)特性表

1. 火災区域(区画)の説明

建屋名	精製建屋
火災区域/区画区分	火災区画
火災区域/区画番号	■
火災区域/区画名称	回収溶媒第3貯槽セル
床面積(m ²)	■

2. 火災区域(区画)の火災シナリオの説明

■は、精製建屋内の火災区画である。
 本区画は、火災源となるものがないおよび安全上重要な施設が設置されていないため、安全機能の喪失のおそれはない。

3. 火災区域(区画)にある火災源

(1) 等価時間

発熱量(kJ)	火災荷重 (kJ/m ²)	等価時間(h) [※]
■	■	>9

※ 等価時間は、内部火災影響評価ガイドの等価時間記載の値で示す。

(2) 火災区域(区画)にある火災源機器数

火災源	機器数
電動機(3.7kW超)	-
電気盤(440V以上)	-
ケーブルトレイ(ケーブル)	-
油脂類・有機溶媒等	-
その他	-

4. 火災区域(区画)にある防火設備

火災感知の手段	主要な消火設備	消火方法	消火設備のバックアップ
セル内温度計 (熱感知器) 漏えい検知装置	二酸化炭素消火設備	手動	-

5. 火災区域(区画)に隣接する火災区域(区画)と火災伝播経路

隣接火災区画への火災伝播経路の詳細は、別紙1参照

6. 火災影響を受ける火災防護対象機器等

機器名称[機器番号]	最重要設備 [※]	最重要設備以外の安全上重要な施設 [※]
-	-	-

※ ○:対象 -:非対象

* 火災想定において、工程停止等により安全機能を必要としない状態へと移行が可能なもの。

7. 火災防護対象機器等の関連ケーブル

機器名称[機器番号]	ケーブル種別	安重分類
-	-	-

8. 最重要設備の安重機能への火災影響

安重分類	全焼時の成功パスの有無	回路評価等の考慮	結果	系統分離※
Pu・高レベル廃棄物の閉じ込め機能	-	-	-	-
崩壊熱除去機能(重要度の高いもの)	-	-	-	-
安全圧縮空気系(水素掃気機能)	-	-	-	-
非常用所内電源系統	-	-	-	-

※ a : 3時間以上の耐火能力を有する耐火壁で分離

b : 水平距離6mによる分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置

c : 1時間の耐火能力を有する隔壁等による分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置
再処理施設成功パスの詳細は、別紙2参照

9. 最重要設備以外の火災防護対象機器等への火災影響

機器名称[機器番号]	当該区画の火災評価※	隣接区画の火災評価※
-	-	-

※ ○:火災影響なし ×:火災影響あり

隣接する火災区画と火災伝播経路

(※ 有:伝播する 無:伝播しない)

隣接する 火災区画	火災伝播 経路有無	等価時間 (h)	耐火時間 (h)	火災伝播の 可能性 ※	備考
	無	3.0超	1.0	有	
	無	3.0超	3.0	有	
	有	3.0超	0.0	有	
	有	3.0超	0.0	有	
	無	3.0超	3.0	有	
	有	3.0超	0.0	有	
	有	3.0超	0.0	有	
	有	3.0超	0.0	有	

火災区域(区画)特性表

1. 火災区域(区画)の説明

建屋名	精製建屋
火災区域/区画区分	火災区画
火災区域/区画番号	■
火災区域/区画名称	回収溶媒第3貯槽PAACポンプセル
床面積(m ²)	■

2. 火災区域(区画)の火災シナリオの説明

■は、精製建屋内の火災区画である。
 本区画は、火災源となるものがないおよび安全上重要な施設が設置されていないため、安全機能の喪失のおそれはない。

3. 火災区域(区画)にある火災源

(1) 等価時間

発熱量(kJ)	火災荷重 (kJ/m ²)	等価時間(h) [※]
■	■	0.0

※ 等価時間は、内部火災影響評価ガイドの等価時間記載の値で示す。

(2) 火災区域(区画)にある火災源機器数

火災源	機器数
電動機(3.7kW超)	-
電気盤(440V以上)	-
ケーブルトレイ(ケーブル)	-
油脂類・有機溶媒等	-
その他	-

4. 火災区域(区画)にある防火設備

火災感知の手段	主要な消火設備	消火方法	消火設備のバックアップ
設置除外	設置除外	-	-

5. 火災区域(区画)に隣接する火災区域(区画)と火災伝播経路

隣接火災区画への火災伝播経路の詳細は、別紙1参照

6. 火災影響を受ける火災防護対象機器等

機器名称[機器番号]	最重要設備 [※]	最重要設備以外の安全上重要な施設 [※]
-	-	-

※ ○:対象 -:非対象

* 火災想定において、工程停止等により安全機能を必要としない状態へと移行が可能なもの。

7. 火災防護対象機器等の関連ケーブル

機器名称[機器番号]	ケーブル種別	安重分類
-	-	-

8. 最重要設備の安重機能への火災影響

安重分類	全焼時の 成功パスの 有無	回路評価 等の考慮	結果	系統分離※
Pu・高レベル廃棄物の閉じ込め機能	-	-	-	-
崩壊熱除去機能(重要度の高いもの)	-	-	-	-
安全圧縮空気系(水素掃気機能)	-	-	-	-
非常用所内電源系統	-	-	-	-

※ a : 3時間以上の耐火能力を有する耐火壁で分離

b : 水平距離6mによる分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置

c : 1時間の耐火能力を有する隔壁等による分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置
再処理施設成功パスの詳細は、別紙2参照

9. 最重要設備以外の火災防護対象機器等への火災影響

機器名称[機器番号]	当該区画の火災評価※	隣接区画の火災評価※
-	-	-

※ ○:火災影響なし ×:火災影響あり

隣接する火災区画と火災伝播経路

(※ 有:伝播する 無:伝播しない)

隣接する 火災区画	火災伝播 経路有無	等価時間 (h)	耐火時間 (h)	火災伝播の 可能性 ※	備考
	無	0.0	3.0	無	
	無	0.0	3.0	無	
	有	0.0	0.0	無	
	有	0.0	0.0	無	
	無	0.0	3.0	無	
	有	0.0	0.0	無	
	有	0.0	0.0	無	
	有	0.0	0.0	無	

火災区域(区画)特性表

1. 火災区域(区画)の説明

建屋名	精製建屋
火災区域/区画区分	火災区画
火災区域/区画番号	■
火災区域/区画名称	回収希釈剤第1貯槽室
床面積(m ²)	■

2. 火災区域(区画)の火災シナリオの説明

■は、精製建屋内の火災区画である。
 本区画は、火災源となるものがないおよび安全上重要な施設が設置されていないため、安全機能の喪失のおそれはない。

3. 火災区域(区画)にある火災源

(1) 等価時間

発熱量(kJ)	火災荷重 (kJ/m ²)	等価時間(h) [※]
■	■	>9

※ 等価時間は、内部火災影響評価ガイドの等価時間記載の値で示す。

(2) 火災区域(区画)にある火災源機器数

火災源	機器数
電動機(3.7kW超)	-
電気盤(440V以上)	-
ケーブルトレイ(ケーブル)	-
油脂類・有機溶媒等	-
その他	-

4. 火災区域(区画)にある防火設備

火災感知の手段	主要な消火設備	消火方法	消火設備のバックアップ
セル内温度計 (熱感知器) 漏えい検知装置	二酸化炭素消火設備	手動	-

5. 火災区域(区画)に隣接する火災区域(区画)と火災伝播経路

隣接火災区画への火災伝播経路の詳細は、別紙1参照

6. 火災影響を受ける火災防護対象機器等

機器名称[機器番号]	最重要設備 [※]	最重要設備以外の安全上重要な施設 [※]
-	-	-

※ ○:対象 -:非対象

* 火災想定において、工程停止等により安全機能を必要としない状態へと移行が可能なもの。

7. 火災防護対象機器等の関連ケーブル

機器名称[機器番号]	ケーブル種別	安重分類
-	-	-

8. 最重要設備の安重機能への火災影響

安重分類	全焼時の成功パスの有無	回路評価等の考慮	結果	系統分離※
Pu・高レベル廃棄物の閉じ込め機能	-	-	-	-
崩壊熱除去機能(重要度の高いもの)	-	-	-	-
安全圧縮空気系(水素掃気機能)	-	-	-	-
非常用所内電源系統	-	-	-	-

※ a : 3時間以上の耐火能力を有する耐火壁で分離

b : 水平距離6mによる分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置

c : 1時間の耐火能力を有する隔壁等による分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置
再処理施設成功パスの詳細は、別紙2参照

9. 最重要設備以外の火災防護対象機器等への火災影響

機器名称[機器番号]	当該区画の火災評価※	隣接区画の火災評価※
-	-	-

※ ○:火災影響なし ×:火災影響あり

隣接する火災区画と火災伝播経路

(※ 有:伝播する 無:伝播しない)

隣接する 火災区画	火災伝播 経路有無	等価時間 (h)	耐火時間 (h)	火災伝播の 可能性 ※	備考
	有	3.0超	0.0	有	
	有	3.0超	0.0	有	
	有	3.0超	0.0	有	
	無	3.0超	3.0	有	
	有	3.0超	0.0	有	
	有	3.0超	0.0	有	
	有	3.0超	0.0	有	
	有	3.0超	0.0	有	
	有	3.0超	0.0	有	

火災区域(区画)特性表

1. 火災区域(区画)の説明

建屋名	精製建屋
火災区域/区画区分	火災区画
火災区域/区画番号	■
火災区域/区画名称	極低レベル含塩廃液受槽室
床面積(m ²)	■

2. 火災区域(区画)の火災シナリオの説明

■は、精製建屋内の火災区画である。
 本区画は、火災源となるものがないおよび安全上重要な施設が設置されていないため、安全機能の喪失のおそれはない。

3. 火災区域(区画)にある火災源

(1) 等価時間

発熱量(kJ)	火災荷重(kJ/m ²)	等価時間(h) [※]
■	■	0.0

※ 等価時間は、内部火災影響評価ガイドの等価時間記載の値で示す。

(2) 火災区域(区画)にある火災源機器数

火災源	機器数
電動機(3.7kW超)	-
電気盤(440V以上)	-
ケーブルトレイ(ケーブル)	-
油脂類・有機溶媒等	-
その他	-

4. 火災区域(区画)にある防火設備

火災感知の手段	主要な消火設備	消火方法	消火設備のバックアップ
設置除外	設置除外	-	-

5. 火災区域(区画)に隣接する火災区域(区画)と火災伝播経路 隣接火災区画への火災伝播経路の詳細は、別紙1参照

6. 火災影響を受ける火災防護対象機器等

機器名称[機器番号]	最重要設備 [※]	最重要設備以外の安全上重要な施設 [※]
-	-	-

※ ○:対象 -:非対象

* 火災想定において、工程停止等により安全機能を必要としない状態へと移行が可能なもの。

7. 火災防護対象機器等の関連ケーブル

機器名称[機器番号]	ケーブル種別	安重分類
-	-	-

8. 最重要設備の安重機能への火災影響

安重分類	全焼時の成功パスの有無	回路評価等の考慮	結果	系統分離※
Pu・高レベル廃棄物の閉じ込め機能	-	-	-	-
崩壊熱除去機能(重要度の高いもの)	-	-	-	-
安全圧縮空気系(水素掃気機能)	-	-	-	-
非常用所内電源系統	-	-	-	-

※ a : 3時間以上の耐火能力を有する耐火壁で分離

b : 水平距離6mによる分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置

c : 1時間の耐火能力を有する隔壁等による分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置
再処理施設成功パスの詳細は、別紙2参照

9. 最重要設備以外の火災防護対象機器等への火災影響

機器名称[機器番号]	当該区画の火災評価※	隣接区画の火災評価※
-	-	-

※ ○:火災影響なし ×:火災影響あり

隣接する火災区画と火災伝播経路

(※ 有:伝播する 無:伝播しない)

隣接する 火災区画	火災伝播 経路有無	等価時間 (h)	耐火時間 (h)	火災伝播の 可能性 ※	備考
	無	0.0	3.0	無	
	有	0.0	0.0	無	
	有	0.0	0.0	無	
	有	0.0	0.0	無	
	有	0.0	0.0	無	

火災区域(区画)特性表

1. 火災区域(区画)の説明

建屋名	精製建屋
火災区域/区画区分	火災区画
火災区域/区画番号	■
火災区域/区画名称	第6予備セル
床面積(m ²)	■

2. 火災区域(区画)の火災シナリオの説明

■は、精製建屋内の火災区画である。
 本区画は、火災源となるものがないおよび安全上重要な施設が設置されていないため、安全機能の喪失のおそれはない。

3. 火災区域(区画)にある火災源

(1) 等価時間

発熱量(kJ)	火災荷重 (kJ/m ²)	等価時間(h) [※]
■	■	0.0

※ 等価時間は、内部火災影響評価ガイドの等価時間記載の値で示す。

(2) 火災区域(区画)にある火災源機器数

火災源	機器数
電動機(3.7kW超)	-
電気盤(440V以上)	-
ケーブルトレイ(ケーブル)	-
油脂類・有機溶媒等	-
その他	-

4. 火災区域(区画)にある防火設備

火災感知の手段	主要な消火設備	消火方法	消火設備のバックアップ
設置除外	設置除外	-	-

5. 火災区域(区画)に隣接する火災区域(区画)と火災伝播経路

隣接火災区画への火災伝播経路の詳細は、別紙1参照

6. 火災影響を受ける火災防護対象機器等

機器名称[機器番号]	最重要設備 [※]	最重要設備以外の安全上重要な施設 [※]
-	-	-

※ ○:対象 -:非対象

* 火災想定において、工程停止等により安全機能を必要としない状態へと移行が可能なもの。

7. 火災防護対象機器等の関連ケーブル

機器名称[機器番号]	ケーブル種別	安重分類
-	-	-

8. 最重要設備の安重機能への火災影響

安重分類	全焼時の成功パスの有無	回路評価等の考慮	結果	系統分離※
Pu・高レベル廃棄物の閉じ込め機能	-	-	-	-
崩壊熱除去機能(重要度の高いもの)	-	-	-	-
安全圧縮空気系(水素掃気機能)	-	-	-	-
非常用所内電源系統	-	-	-	-

※ a : 3時間以上の耐火能力を有する耐火壁で分離

b : 水平距離6mによる分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置

c : 1時間の耐火能力を有する隔壁等による分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置
再処理施設成功パスの詳細は、別紙2参照

9. 最重要設備以外の火災防護対象機器等への火災影響

機器名称[機器番号]	当該区画の火災評価※	隣接区画の火災評価※
-	-	-

※ ○:火災影響なし ×:火災影響あり

隣接する火災区画と火災伝播経路

(※ 有:伝播する 無:伝播しない)

隣接する 火災区画	火災伝播 経路有無	等価時間 (h)	耐火時間 (h)	火災伝播の 可能性 ※	備考
	無	0.0	3.0	無	
	無	0.0	3.0	無	
	有	0.0	0.0	無	
	有	0.0	0.0	無	
	有	0.0	0.0	無	
	有	0.0	0.0	無	
	有	0.0	0.0	無	

火災区域(区画)特性表

1. 火災区域(区画)の説明

建屋名	精製建屋
火災区域/区画区分	火災区画
火災区域/区画番号	■
火災区域/区画名称	回収溶媒第1貯槽室
床面積(m ²)	■

2. 火災区域(区画)の火災シナリオの説明

■は、精製建屋内の火災区画である。
 本区画は、火災源となるものがないおよび安全上重要な施設が設置されていないため、安全機能の喪失のおそれはない。

3. 火災区域(区画)にある火災源

(1) 等価時間

発熱量(kJ)	火災荷重 (kJ/m ²)	等価時間(h) [※]
■	■	>9

※ 等価時間は、内部火災影響評価ガイドの等価時間記載の値で示す。

(2) 火災区域(区画)にある火災源機器数

火災源	機器数
電動機(3.7kW超)	-
電気盤(440V以上)	-
ケーブルトレイ(ケーブル)	-
油脂類・有機溶媒等	-
その他	-

4. 火災区域(区画)にある防火設備

火災感知の手段	主要な消火設備	消火方法	消火設備のバックアップ
セル内温度計 (熱感知器) 漏えい検知装置	二酸化炭素消火設備	手動	-

5. 火災区域(区画)に隣接する火災区域(区画)と火災伝播経路

隣接火災区画への火災伝播経路の詳細は、別紙1参照

6. 火災影響を受ける火災防護対象機器等

機器名称[機器番号]	最重要設備 [※]	最重要設備以外の安全上重要な施設 [※]
-	-	-

※ ○:対象 -:非対象

* 火災想定において、工程停止等により安全機能を必要としない状態へと移行が可能なもの。

7. 火災防護対象機器等の関連ケーブル

機器名称[機器番号]	ケーブル種別	安重分類
-	-	-

8. 最重要設備の安重機能への火災影響

安重分類	全焼時の 成功パスの 有無	回路評価 等の考慮	結果	系統分離※
Pu・高レベル廃棄物の閉じ込め機能	-	-	-	-
崩壊熱除去機能(重要度の高いもの)	-	-	-	-
安全圧縮空気系(水素掃気機能)	-	-	-	-
非常用所内電源系統	-	-	-	-

※ a : 3時間以上の耐火能力を有する耐火壁で分離

b : 水平距離6mによる分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置

c : 1時間の耐火能力を有する隔壁等による分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置
再処理施設成功パスの詳細は、別紙2参照

9. 最重要設備以外の火災防護対象機器等への火災影響

機器名称[機器番号]	当該区画の火災評価※	隣接区画の火災評価※
-	-	-

※ ○:火災影響なし ×:火災影響あり

隣接する火災区画と火災伝播経路

(※ 有:伝播する 無:伝播しない)

隣接する火災区画	火災伝播経路有無	等価時間(h)	耐火時間(h)	火災伝播の可能性※	備考
	無	3.0超	3.0	有	
	有	3.0超	0.0	有	
	有	3.0超	0.0	有	
	有	3.0超	0.0	有	
	有	3.0超	0.0	有	

火災区域(区画)特性表

1. 火災区域(区画)の説明

建屋名	精製建屋
火災区域/区画区分	火災区画
火災区域/区画番号	■
火災区域/区画名称	北第1階段室
床面積(m ²)	■

2. 火災区域(区画)の火災シナリオの説明

■は、精製建屋内の火災区画である。
 本区画は、火災源となるものがないおよび安全上重要な施設が設置されていないため、安全機能の喪失のおそれはない。

3. 火災区域(区画)にある火災源

(1) 等価時間

発熱量(kJ)	火災荷重 (kJ/m ²)	等価時間(h) [※]
■	■	0.0

※ 等価時間は、内部火災影響評価ガイドの等価時間記載の値で示す。

(2) 火災区域(区画)にある火災源機器数

火災源	機器数
電動機(3.7kW超)	-
電気盤(440V以上)	-
ケーブルトレイ(ケーブル)	-
油脂類・有機溶媒等	-
その他	-

4. 火災区域(区画)にある防火設備

火災感知の手段	主要な消火設備	消火方法	消火設備のバックアップ
煙感知器	屋内消火栓	手動	粉末消火器

5. 火災区域(区画)に隣接する火災区域(区画)と火災伝播経路

隣接火災区画への火災伝播経路の詳細は、別紙1参照

6. 火災影響を受ける火災防護対象機器等

機器名称[機器番号]	最重要設備 [※]	最重要設備以外の安全上重要な施設 [※]
-	-	-

※ ○:対象 -:非対象

* 火災想定において、工程停止等により安全機能を必要としない状態へと移行が可能なもの。

7. 火災防護対象機器等の関連ケーブル

機器名称[機器番号]	ケーブル種別	安重分類
-	-	-

8. 最重要設備の安重機能への火災影響

安重分類	全焼時の成功パスの有無	回路評価等の考慮	結果	系統分離※
Pu・高レベル廃棄物の閉じ込め機能	-	-	-	-
崩壊熱除去機能(重要度の高いもの)	-	-	-	-
安全圧縮空気系(水素掃気機能)	-	-	-	-
非常用所内電源系統	-	-	-	-

※ a : 3時間以上の耐火能力を有する耐火壁で分離

b : 水平距離6mによる分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置

c : 1時間の耐火能力を有する隔壁等による分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置
再処理施設成功パスの詳細は、別紙2参照

9. 最重要設備以外の火災防護対象機器等への火災影響

機器名称[機器番号]	当該区画の火災評価※	隣接区画の火災評価※
-	-	-

※ ○:火災影響なし ×:火災影響あり

隣接する火災区画と火災伝播経路

(※ 有:伝播する 無:伝播しない)

隣接する火災区画	火災伝播経路有無	等価時間(h)	耐火時間(h)	火災伝播の可能性※	備考
	無	0.0	3.0	無	
	無	0.0	1.0	無	
	無	0.0	3.0	無	
	無	0.0	1.0	無	
	無	0.0	3.0	無	
	無	0.0	1.0	無	
	無	0.0	3.0	無	
	無	0.0	1.0	無	
	無	0.0	3.0	無	
	無	0.0	1.0	無	
	無	0.0	1.0	無	
	無	0.0	1.0	無	
	無	0.0	3.0	無	
	無	0.0	1.0	無	
	無	0.0	1.0	無	
	無	0.0	1.0	無	

火災区域(区画)特性表

1. 火災区域(区画)の説明

建屋名	精製建屋
火災区域/区画区分	火災区画
火災区域/区画番号	■
火災区域/区画名称	北第1エレベータ
床面積(m ²)	■

2. 火災区域(区画)の火災シナリオの説明

■は、精製建屋内の火災区画である。
 本区画は、火災源となるものがないおよび安全上重要な施設が設置されていないため、安全機能の喪失のおそれはない。

3. 火災区域(区画)にある火災源

(1) 等価時間

発熱量(kJ)	火災荷重 (kJ/m ²)	等価時間(h) [※]
■	■	0.0

※ 等価時間は、内部火災影響評価ガイドの等価時間記載の値で示す。

(2) 火災区域(区画)にある火災源機器数

火災源	機器数
電動機(3.7kW超)	-
電気盤(440V以上)	-
ケーブルトレイ(ケーブル)	-
油脂類・有機溶媒等	-
その他	-

4. 火災区域(区画)にある防火設備

火災感知の手段	主要な消火設備	消火方法	消火設備のバックアップ
設置除外	屋内消火栓	手動	粉末消火器

5. 火災区域(区画)に隣接する火災区域(区画)と火災伝播経路

隣接火災区画への火災伝播経路の詳細は、別紙1参照

6. 火災影響を受ける火災防護対象機器等

機器名称[機器番号]	最重要設備 [※]	最重要設備以外の安全上重要な施設 [※]
-	-	-

※ ○:対象 -:非対象

* 火災想定において、工程停止等により安全機能を必要としない状態へと移行が可能なもの。

7. 火災防護対象機器等の関連ケーブル

機器名称[機器番号]	ケーブル種別	安重分類
-	-	-

8. 最重要設備の安重機能への火災影響

安重分類	全焼時の成功パスの有無	回路評価等の考慮	結果	系統分離※
Pu・高レベル廃棄物の閉じ込め機能	-	-	-	-
崩壊熱除去機能(重要度の高いもの)	-	-	-	-
安全圧縮空気系(水素掃気機能)	-	-	-	-
非常用所内電源系統	-	-	-	-

※ a : 3時間以上の耐火能力を有する耐火壁で分離

b : 水平距離6mによる分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置

c : 1時間の耐火能力を有する隔壁等による分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置
再処理施設成功パスの詳細は、別紙2参照

9. 最重要設備以外の火災防護対象機器等への火災影響

機器名称[機器番号]	当該区画の火災評価※	隣接区画の火災評価※
-	-	-

※ ○:火災影響なし ×:火災影響あり

隣接する火災区画と火災伝播経路

(※ 有:伝播する 無:伝播しない)

隣接する 火災区画	火災伝播 経路有無	等価時間 (h)	耐火時間 (h)	火災伝播の 可能性 ※	備考
	無	0.0	1.0	無	
	無	0.0	1.0	無	
	無	0.0	3.0	無	
	無	0.0	1.0	無	
	無	0.0	1.0	無	
	無	0.0	1.0	無	
	無	0.0	1.0	無	
	無	0.0	1.0	無	
	無	0.0	3.0	無	
	無	0.0	1.0	無	
	無	0.0	1.0	無	
	無	0.0	3.0	無	
	無	0.0	3.0	無	
	無	0.0	3.0	無	
	無	0.0	3.0	無	
	無	0.0	3.0	無	

火災区域(区画)特性表

1. 火災区域(区画)の説明

建屋名	精製建屋
火災区域/区画区分	火災区画
火災区域/区画番号	■
火災区域/区画名称	放管用ブロワ第2室
床面積(m ²)	■

2. 火災区域(区画)の火災シナリオの説明

■は、精製建屋内の火災区画である。
 本区画は、電動機絶縁物火災、潤滑油漏えい火災または、電気盤火災の発生の可能性があるが、安全上重要な施設が設置されていないため、安全機能の喪失のおそれはない。

3. 火災区域(区画)にある火災源

(1) 等価時間

発熱量(kJ)	火災荷重 (kJ/m ²)	等価時間(h) [※]
■	■	0.5

※ 等価時間は、内部火災影響評価ガイドの等価時間記載の値で示す。

(2) 火災区域(区画)にある火災源機器数

火災源	機器数
電動機(3.7kW超)	1
電気盤(440V以上)	1
ケーブルトレイ(ケーブル)	-
油脂類・有機溶媒等	有
その他	-

4. 火災区域(区画)にある防火設備

火災感知の手段	主要な消火設備	消火方法	消火設備のバックアップ
煙感知器	屋内消火栓	手動	粉末消火器

5. 火災区域(区画)に隣接する火災区域(区画)と火災伝播経路

隣接火災区画への火災伝播経路の詳細は、別紙1参照

6. 火災影響を受ける火災防護対象機器等

機器名称[機器番号]	最重要設備 [※]	最重要設備以外の安全上重要な施設 [※]
-	-	-

※ ○:対象 -:非対象

* 火災想定において、工程停止等により安全機能を必要としない状態へと移行が可能なもの。

7. 火災防護対象機器等の関連ケーブル

機器名称[機器番号]	ケーブル種別	安重分類
-	-	-

8. 最重要設備の安重機能への火災影響

安重分類	全焼時の 成功パスの 有無	回路評価 等の考慮	結果	系統分離※
Pu・高レベル廃棄物の閉じ込め機能	-	-	-	-
崩壊熱除去機能(重要度の高いもの)	-	-	-	-
安全圧縮空気系(水素掃気機能)	-	-	-	-
非常用所内電源系統	-	-	-	-

※ a : 3時間以上の耐火能力を有する耐火壁で分離

b : 水平距離6mによる分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置

c : 1時間の耐火能力を有する隔壁等による分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置
再処理施設成功パスの詳細は、別紙2参照

9. 最重要設備以外の火災防護対象機器等への火災影響

機器名称[機器番号]	当該区画の火災評価※	隣接区画の火災評価※
-	-	-

※ ○:火災影響なし ×:火災影響あり

隣接する火災区画と火災伝播経路

(※ 有:伝播する 無:伝播しない)

隣接する 火災区画	火災伝播 経路有無	等価時間 (h)	耐火時間 (h)	火災伝播の 可能性 ※	備考
	無	0.5	3.0	無	
	無	0.5	3.0	無	
	有	0.5	0.0	有	
	有	0.5	0.0	有	

火災区域(区画)特性表

1. 火災区域(区画)の説明

建屋名	精製建屋
火災区域/区画区分	火災区画
火災区域/区画番号	■
火災区域/区画名称	南第1エレベータ
床面積(m ²)	■

2. 火災区域(区画)の火災シナリオの説明

■は、精製建屋内の火災区画である。
 本区画は、火災源となるものがないおよび安全上重要な施設が設置されていないため、安全機能の喪失のおそれはない。

3. 火災区域(区画)にある火災源

(1) 等価時間

発熱量(kJ)	火災荷重(kJ/m ²)	等価時間(h) [※]
■	■	0.0

※ 等価時間は、内部火災影響評価ガイドの等価時間記載の値で示す。

(2) 火災区域(区画)にある火災源機器数

火災源	機器数
電動機(3.7kW超)	-
電気盤(440V以上)	-
ケーブルトレイ(ケーブル)	-
油脂類・有機溶媒等	-
その他	-

4. 火災区域(区画)にある防火設備

火災感知の手段	主要な消火設備	消火方法	消火設備のバックアップ
設置除外	屋内消火栓	手動	粉末消火器

5. 火災区域(区画)に隣接する火災区域(区画)と火災伝播経路 隣接火災区画への火災伝播経路の詳細は、別紙1参照

6. 火災影響を受ける火災防護対象機器等

機器名称[機器番号]	最重要設備 [※]	最重要設備以外の安全上重要な施設 [※]
-	-	-

※ ○:対象 -:非対象

* 火災想定において、工程停止等により安全機能を必要としない状態へと移行が可能なもの。

7. 火災防護対象機器等の関連ケーブル

機器名称[機器番号]	ケーブル種別	安重分類
-	-	-

8. 最重要設備の安重機能への火災影響

安重分類	全焼時の 成功パスの 有無	回路評価 等の考慮	結果	系統分離※
Pu・高レベル廃棄物の閉じ込め機能	-	-	-	-
崩壊熱除去機能(重要度の高いもの)	-	-	-	-
安全圧縮空気系(水素掃気機能)	-	-	-	-
非常用所内電源系統	-	-	-	-

※ a : 3時間以上の耐火能力を有する耐火壁で分離

b : 水平距離6mによる分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置

c : 1時間の耐火能力を有する隔壁等による分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置
再処理施設成功パスの詳細は、別紙2参照

9. 最重要設備以外の火災防護対象機器等への火災影響

機器名称[機器番号]	当該区画の火災評価※	隣接区画の火災評価※
-	-	-

※ ○:火災影響なし ×:火災影響あり

隣接する火災区画と火災伝播経路

(※ 有:伝播する 無:伝播しない)

隣接する 火災区画	火災伝播 経路有無	等価時間 (h)	耐火時間 (h)	火災伝播の 可能性 ※	備考
	無	0.0	3.0	無	
	無	0.0	1.0	無	
	無	0.0	1.0	無	
	無	0.0	3.0	無	
	無	0.0	1.0	無	
	無	0.0	3.0	無	
	無	0.0	1.0	無	
	無	0.0	3.0	無	
	無	0.0	1.0	無	
	無	0.0	3.0	無	
	無	0.0	1.0	無	
	無	0.0	3.0	無	
	無	0.0	1.0	無	
	無	0.0	3.0	無	
	無	0.0	1.0	無	
	無	0.0	1.0	無	

火災区域(区画)特性表

1. 火災区域(区画)の説明

建屋名	精製建屋
火災区域/区画区分	火災区画
火災区域/区画番号	■
火災区域/区画名称	南第1階段室
床面積(m ²)	■

2. 火災区域(区画)の火災シナリオの説明

■は、精製建屋内の火災区画である。
 本区画は、火災源となるものがないおよび安全上重要な施設が設置されていないため、安全機能の喪失のおそれはない。

3. 火災区域(区画)にある火災源

(1) 等価時間

発熱量(kJ)	火災荷重 (kJ/m ²)	等価時間(h) [※]
■	■	0.0

※ 等価時間は、内部火災影響評価ガイドの等価時間記載の値で示す。

(2) 火災区域(区画)にある火災源機器数

火災源	機器数
電動機(3.7kW超)	-
電気盤(440V以上)	-
ケーブルトレイ(ケーブル)	-
油脂類・有機溶媒等	-
その他	-

4. 火災区域(区画)にある防火設備

火災感知の手段	主要な消火設備	消火方法	消火設備のバックアップ
煙感知器	屋内消火栓	手動	粉末消火器

5. 火災区域(区画)に隣接する火災区域(区画)と火災伝播経路

隣接火災区画への火災伝播経路の詳細は、別紙1参照

6. 火災影響を受ける火災防護対象機器等

機器名称[機器番号]	最重要設備 [※]	最重要設備以外の安全上重要な施設 [※]
-	-	-

※ ○:対象 -:非対象

* 火災想定において、工程停止等により安全機能を必要としない状態へと移行が可能なもの。

7. 火災防護対象機器等の関連ケーブル

機器名称[機器番号]	ケーブル種別	安重分類
-	-	-

8. 最重要設備の安重機能への火災影響

安重分類	全焼時の 成功パスの 有無	回路評価 等の考慮	結果	系統分離※
Pu・高レベル廃棄物の閉じ込め機能	-	-	-	-
崩壊熱除去機能(重要度の高いもの)	-	-	-	-
安全圧縮空気系(水素掃気機能)	-	-	-	-
非常用所内電源系統	-	-	-	-

※ a : 3時間以上の耐火能力を有する耐火壁で分離

b : 水平距離6mによる分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置

c : 1時間の耐火能力を有する隔壁等による分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置
再処理施設成功パスの詳細は、別紙2参照

9. 最重要設備以外の火災防護対象機器等への火災影響

機器名称[機器番号]	当該区画の火災評価※	隣接区画の火災評価※
-	-	-

※ ○:火災影響なし ×:火災影響あり

隣接する火災区画と火災伝播経路

(※ 有:伝播する 無:伝播しない)

隣接する 火災区画	火災伝播 経路有無	等価時間 (h)	耐火時間 (h)	火災伝播の 可能性 ※	備考
	無	0.0	3.0	無	
	無	0.0	1.0	無	
	無	0.0	1.0	無	
	無	0.0	3.0	無	
	無	0.0	1.0	無	
	無	0.0	3.0	無	
	無	0.0	1.0	無	
	無	0.0	3.0	無	
	無	0.0	1.0	無	
	無	0.0	3.0	無	
	無	0.0	1.0	無	
	無	0.0	1.0	無	
	無	0.0	1.0	無	
	無	0.0	1.0	無	
	無	0.0	1.0	無	
	無	0.0	3.0	無	
	無	0.0	3.0	無	
	無	0.0	1.0	無	
	無	0.0	1.0	無	
	無	0.0	1.0	無	

火災区域(区画)特性表

1. 火災区域(区画)の説明

建屋名	精製建屋
火災区域/区画区分	火災区画
火災区域/区画番号	■
火災区域/区画名称	溶媒供給槽セル
床面積(m ²)	■

2. 火災区域(区画)の火災シナリオの説明

■は、精製建屋内の火災区画である。
 本区画は、火災源となるものがないおよび安全上重要な施設が設置されていないため、安全機能の喪失のおそれはない。

3. 火災区域(区画)にある火災源

(1) 等価時間

発熱量(kJ)	火災荷重(kJ/m ²)	等価時間(h) [※]
■	■	7.0

※ 等価時間は、内部火災影響評価ガイドの等価時間記載の値で示す。

(2) 火災区域(区画)にある火災源機器数

火災源	機器数
電動機(3.7kW超)	-
電気盤(440V以上)	-
ケーブルトレイ(ケーブル)	-
油脂類・有機溶媒等	-
その他	-

4. 火災区域(区画)にある防火設備

火災感知の手段	主要な消火設備	消火方法	消火設備のバックアップ
セル内温度計 (熱感知器) 漏えい検知装置	二酸化炭素消火設備	手動	-

5. 火災区域(区画)に隣接する火災区域(区画)と火災伝播経路

隣接火災区画への火災伝播経路の詳細は、別紙1参照

6. 火災影響を受ける火災防護対象機器等

機器名称[機器番号]	最重要設備 [※]	最重要設備以外の安全上重要な施設 [※]
-	-	-

※ ○:対象 -:非対象

* 火災想定において、工程停止等により安全機能を必要としない状態へと移行が可能なもの。

7. 火災防護対象機器等の関連ケーブル

機器名称[機器番号]	ケーブル種別	安重分類
-	-	-

8. 最重要設備の安重機能への火災影響

安重分類	全焼時の成功パスの有無	回路評価等の考慮	結果	系統分離※
Pu・高レベル廃棄物の閉じ込め機能	-	-	-	-
崩壊熱除去機能(重要度の高いもの)	-	-	-	-
安全圧縮空気系(水素掃気機能)	-	-	-	-
非常用所内電源系統	-	-	-	-

※ a : 3時間以上の耐火能力を有する耐火壁で分離

b : 水平距離6mによる分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置

c : 1時間の耐火能力を有する隔壁等による分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置
再処理施設成功パスの詳細は、別紙2参照

9. 最重要設備以外の火災防護対象機器等への火災影響

機器名称[機器番号]	当該区画の火災評価※	隣接区画の火災評価※
-	-	-

※ ○:火災影響なし ×:火災影響あり

隣接する火災区画と火災伝播経路

(※ 有:伝播する 無:伝播しない)

隣接する 火災区画	火災伝播 経路有無	等価時間 (h)	耐火時間 (h)	火災伝播の 可能性 ※	備考
	有	3.0超	0.0	有	
	有	3.0超	0.0	有	
	無	3.0超	3.0	有	
	有	3.0超	0.0	有	
	有	3.0超	0.0	有	
	有	3.0超	0.0	有	
	有	3.0超	0.0	有	

火災区域(区画)特性表

1. 火災区域(区画)の説明

建屋名	精製建屋
火災区域/区画区分	火災区画
火災区域/区画番号	■
火災区域/区画名称	テクニカルギャラリー第1室
床面積(m ²)	■

2. 火災区域(区画)の火災シナリオの説明

■は、精製建屋内の火災区画である。
 本区画は、火災源となるものがないおよび安全上重要な施設が設置されていないため、安全機能の喪失のおそれはない。

3. 火災区域(区画)にある火災源

(1) 等価時間

発熱量(kJ)	火災荷重 (kJ/m ²)	等価時間(h) [※]
■	■	0.5

※ 等価時間は、内部火災影響評価ガイドの等価時間記載の値で示す。

(2) 火災区域(区画)にある火災源機器数

火災源	機器数
電動機(3.7kW超)	-
電気盤(440V以上)	-
ケーブルトレイ(ケーブル)	-
油脂類・有機溶媒等	-
その他	-

4. 火災区域(区画)にある防火設備

火災感知の手段	主要な消火設備	消火方法	消火設備のバックアップ
煙感知器 熱感知器	屋内消火栓	手動	粉末消火器

5. 火災区域(区画)に隣接する火災区域(区画)と火災伝播経路

隣接火災区画への火災伝播経路の詳細は、別紙1参照

6. 火災影響を受ける火災防護対象機器等

機器名称[機器番号]	最重要設備 [※]	最重要設備以外の安全上重要な施設 [※]
-	-	-

※ ○:対象 -:非対象

* 火災想定において、工程停止等により安全機能を必要としない状態へと移行が可能なもの。

7. 火災防護対象機器等の関連ケーブル

機器名称[機器番号]	ケーブル種別	安重分類
-	-	-

8. 最重要設備の安重機能への火災影響

安重分類	全焼時の成功パスの有無	回路評価等の考慮	結果	系統分離※
Pu・高レベル廃棄物の閉じ込め機能	-	-	-	-
崩壊熱除去機能(重要度の高いもの)	-	-	-	-
安全圧縮空気系(水素掃気機能)	-	-	-	-
非常用所内電源系統	-	-	-	-

※ a : 3時間以上の耐火能力を有する耐火壁で分離

b : 水平距離6mによる分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置

c : 1時間の耐火能力を有する隔壁等による分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置
再処理施設成功パスの詳細は、別紙2参照

9. 最重要設備以外の火災防護対象機器等への火災影響

機器名称[機器番号]	当該区画の火災評価※	隣接区画の火災評価※
-	-	-

※ ○:火災影響なし ×:火災影響あり

隣接する火災区画と火災伝播経路

(※ 有:伝播する 無:伝播しない)

隣接する火災区画	火災伝播経路有無	等価時間(h)	耐火時間(h)	火災伝播の可能性※	備考
	有	0.5	0.0	有	
	有	0.5	0.0	有	
	有	0.5	0.0	有	
	有	0.5	0.0	有	
	有	0.5	0.0	有	
	有	0.5	0.0	有	
	有	0.5	0.0	有	
	有	0.5	0.0	有	
	有	0.5	0.0	有	
	有	0.5	0.0	有	
	有	0.5	0.0	有	
	無	0.5	3.0	無	
	有	0.5	0.0	有	
	有	0.5	0.0	有	
	無	0.5	1.0	無	
	有	0.5	0.0	有	
	有	0.5	0.0	有	
	有	0.5	0.0	有	
	有	0.5	0.0	有	

火災区域(区画)特性表

1. 火災区域(区画)の説明

建屋名	精製建屋
火災区域/区画区分	火災区画
火災区域/区画番号	■
火災区域/区画名称	テクニカルギャラリー第2室
床面積(m ²)	■

2. 火災区域(区画)の火災シナリオの説明

■は、精製建屋内の火災区画である。
 本区画は、火災源となるものがないおよび安全上重要な施設が設置されていないため、安全機能の喪失のおそれはない。

3. 火災区域(区画)にある火災源

(1) 等価時間

発熱量(kJ)	火災荷重 (kJ/m ²)	等価時間(h) [※]
■	■	0.5

※ 等価時間は、内部火災影響評価ガイドの等価時間記載の値で示す。

(2) 火災区域(区画)にある火災源機器数

火災源	機器数
電動機(3.7kW超)	-
電気盤(440V以上)	-
ケーブルトレイ(ケーブル)	-
油脂類・有機溶媒等	-
その他	-

4. 火災区域(区画)にある防火設備

火災感知の手段	主要な消火設備	消火方法	消火設備のバックアップ
煙感知器 熱感知器	屋内消火栓	手動	粉末消火器

5. 火災区域(区画)に隣接する火災区域(区画)と火災伝播経路

隣接火災区画への火災伝播経路の詳細は、別紙1参照

6. 火災影響を受ける火災防護対象機器等

機器名称[機器番号]	最重要設備 [※]	最重要設備以外の安全上重要な施設 [※]
-	-	-

※ ○:対象 -:非対象

* 火災想定において、工程停止等により安全機能を必要としない状態へと移行が可能なもの。

7. 火災防護対象機器等の関連ケーブル

機器名称[機器番号]	ケーブル種別	安重分類
-	-	-

8. 最重要設備の安重機能への火災影響

安重分類	全焼時の成功パスの有無	回路評価等の考慮	結果	系統分離※
Pu・高レベル廃棄物の閉じ込め機能	-	-	-	-
崩壊熱除去機能(重要度の高いもの)	-	-	-	-
安全圧縮空気系(水素掃気機能)	-	-	-	-
非常用所内電源系統	-	-	-	-

※ a : 3時間以上の耐火能力を有する耐火壁で分離

b : 水平距離6mによる分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置

c : 1時間の耐火能力を有する隔壁等による分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置
再処理施設成功パスの詳細は、別紙2参照

9. 最重要設備以外の火災防護対象機器等への火災影響

機器名称[機器番号]	当該区画の火災評価※	隣接区画の火災評価※
-	-	-

※ ○:火災影響なし ×:火災影響あり

隣接する火災区画と火災伝播経路

(※ 有:伝播する 無:伝播しない)

隣接する 火災区画	火災伝播 経路有無	等価時間 (h)	耐火時間 (h)	火災伝播の 可能性 ※	備考
	無	0.5	3.0	無	
	有	0.5	0.0	有	
	有	0.5	0.0	有	
	有	0.5	0.0	有	
	有	0.5	0.0	有	
	有	0.5	0.0	有	
	有	0.5	0.0	有	
	有	0.5	0.0	有	
	有	0.5	0.0	有	
	無	0.5	3.0	無	
	有	0.5	0.0	有	
	有	0.5	0.0	有	
	有	0.5	0.0	有	
	無	0.5	3.0	無	
	有	0.5	0.0	有	
	有	0.5	0.0	有	
	有	0.5	0.0	有	

火災区域(区画)特性表

1. 火災区域(区画)の説明

建屋名	精製建屋
火災区域/区画区分	火災区画
火災区域/区画番号	■
火災区域/区画名称	電気品・プロセス機器補修室
床面積(m ²)	■

2. 火災区域(区画)の火災シナリオの説明

■は、精製建屋内の火災区画である。
 本区画は、火災源となるものがないおよび安全上重要な施設が設置されていないため、安全機能の喪失のおそれはない。

3. 火災区域(区画)にある火災源

(1) 等価時間

発熱量(kJ)	火災荷重(kJ/m ²)	等価時間(h) [※]
■	■	0.5

※ 等価時間は、内部火災影響評価ガイドの等価時間記載の値で示す。

(2) 火災区域(区画)にある火災源機器数

火災源	機器数
電動機(3.7kW超)	-
電気盤(440V以上)	-
ケーブルトレイ(ケーブル)	-
油脂類・有機溶媒等	-
その他	-

4. 火災区域(区画)にある防火設備

火災感知の手段	主要な消火設備	消火方法	消火設備のバックアップ
煙感知器	二酸化炭素消火器	手動	粉末消火器

5. 火災区域(区画)に隣接する火災区域(区画)と火災伝播経路

隣接火災区画への火災伝播経路の詳細は、別紙1参照

6. 火災影響を受ける火災防護対象機器等

機器名称[機器番号]	最重要設備 [※]	最重要設備以外の安全上重要な施設 [※]
-	-	-

※ ○:対象 -:非対象

* 火災想定において、工程停止等により安全機能を必要としない状態へと移行が可能なもの。

7. 火災防護対象機器等の関連ケーブル

機器名称[機器番号]	ケーブル種別	安重分類
-	-	-

8. 最重要設備の安重機能への火災影響

安重分類	全焼時の 成功パスの 有無	回路評価 等の考慮	結果	系統分離※
Pu・高レベル廃棄物の閉じ込め機能	-	-	-	-
崩壊熱除去機能(重要度の高いもの)	-	-	-	-
安全圧縮空気系(水素掃気機能)	-	-	-	-
非常用所内電源系統	-	-	-	-

※ a : 3時間以上の耐火能力を有する耐火壁で分離

b : 水平距離6mによる分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置

c : 1時間の耐火能力を有する隔壁等による分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置
再処理施設成功パスの詳細は、別紙2参照

9. 最重要設備以外の火災防護対象機器等への火災影響

機器名称[機器番号]	当該区画の火災評価※	隣接区画の火災評価※
-	-	-

※ ○:火災影響なし ×:火災影響あり

隣接する火災区画と火災伝播経路

(※ 有:伝播する 無:伝播しない)

隣接する 火災区画	火災伝播 経路有無	等価時間 (h)	耐火時間 (h)	火災伝播の 可能性 ※	備考
	無	0.5	1.0	無	
	無	0.5	1.0	無	
	無	0.5	3.0	無	

火災区域(区画)特性表

1. 火災区域(区画)の説明

建屋名	精製建屋
火災区域/区画区分	火災区画
火災区域/区画番号	■
火災区域/区画名称	機械補修第1室
床面積(m ²)	■

2. 火災区域(区画)の火災シナリオの説明

■は、精製建屋内の火災区画である。
 本区画は、火災源となるものがないおよび安全上重要な施設が設置されていないため、安全機能の喪失のおそれはない。

3. 火災区域(区画)にある火災源

(1) 等価時間

発熱量(kJ)	火災荷重 (kJ/m ²)	等価時間(h) [※]
■	■	0.5

※ 等価時間は、内部火災影響評価ガイドの等価時間記載の値で示す。

(2) 火災区域(区画)にある火災源機器数

火災源	機器数
電動機(3.7kW超)	-
電気盤(440V以上)	-
ケーブルトレイ(ケーブル)	-
油脂類・有機溶媒等	-
その他	-

4. 火災区域(区画)にある防火設備

火災感知の手段	主要な消火設備	消火方法	消火設備のバックアップ
煙感知器	屋内消火栓	手動	粉末消火器

5. 火災区域(区画)に隣接する火災区域(区画)と火災伝播経路

隣接火災区画への火災伝播経路の詳細は、別紙1参照

6. 火災影響を受ける火災防護対象機器等

機器名称[機器番号]	最重要設備 [※]	最重要設備以外の安全上重要な施設 [※]
-	-	-

※ ○:対象 -:非対象

* 火災想定において、工程停止等により安全機能を必要としない状態へと移行が可能なもの。

7. 火災防護対象機器等の関連ケーブル

機器名称[機器番号]	ケーブル種別	安重分類
-	-	-

8. 最重要設備の安重機能への火災影響

安重分類	全焼時の成功パスの有無	回路評価等の考慮	結果	系統分離※
Pu・高レベル廃棄物の閉じ込め機能	-	-	-	-
崩壊熱除去機能(重要度の高いもの)	-	-	-	-
安全圧縮空気系(水素掃気機能)	-	-	-	-
非常用所内電源系統	-	-	-	-

※ a : 3時間以上の耐火能力を有する耐火壁で分離

b : 水平距離6mによる分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置

c : 1時間の耐火能力を有する隔壁等による分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置
再処理施設成功パスの詳細は、別紙2参照

9. 最重要設備以外の火災防護対象機器等への火災影響

機器名称[機器番号]	当該区画の火災評価※	隣接区画の火災評価※
-	-	-

※ ○:火災影響なし ×:火災影響あり

隣接する火災区画と火災伝播経路

(※ 有:伝播する 無:伝播しない)

隣接する 火災区画	火災伝播 経路有無	等価時間 (h)	耐火時間 (h)	火災伝播の 可能性 ※	備考
	無	0.5	1.0	無	
	無	0.5	1.0	無	
	無	0.5	1.0	無	
	無	0.5	3.0	無	

火災区域(区画)特性表

1. 火災区域(区画)の説明

建屋名	精製建屋
火災区域/区画区分	火災区画
火災区域/区画番号	■
火災区域/区画名称	極低レベル廃液第2受槽室
床面積(m ²)	■

2. 火災区域(区画)の火災シナリオの説明

■は、精製建屋内の火災区画である。
 本区画は、電動機絶縁物火災または、ケーブルトレイ火災の発生可能性があるが、安全上重要な施設が設置されていないため、安全機能の喪失のおそれはない。

3. 火災区域(区画)にある火災源

(1) 等価時間

発熱量(kJ)	火災荷重(kJ/m ²)	等価時間(h) [※]
■	■	0.5

※ 等価時間は、内部火災影響評価ガイドの等価時間記載の値で示す。

(2) 火災区域(区画)にある火災源機器数

火災源	機器数
電動機(3.7kW超)	1
電気盤(440V以上)	-
ケーブルトレイ(ケーブル)	有
油脂類・有機溶媒等	-
その他	-

4. 火災区域(区画)にある防火設備

火災感知の手段	主要な消火設備	消火方法	消火設備のバックアップ
煙感知器	屋内消火栓	手動	粉末消火器

5. 火災区域(区画)に隣接する火災区域(区画)と火災伝播経路

隣接火災区画への火災伝播経路の詳細は、別紙1参照

6. 火災影響を受ける火災防護対象機器等

機器名称[機器番号]	最重要設備 [※]	最重要設備以外の安全上重要な施設 [※]
-	-	-

※ ○:対象 -:非対象

* 火災想定において、工程停止等により安全機能を必要としない状態へと移行が可能なもの。

7. 火災防護対象機器等の関連ケーブル

機器名称[機器番号]	ケーブル種別	安重分類
-	-	-

8. 最重要設備の安重機能への火災影響

安重分類	全焼時の成功パスの有無	回路評価等の考慮	結果	系統分離※
Pu・高レベル廃棄物の閉じ込め機能	-	-	-	-
崩壊熱除去機能(重要度の高いもの)	-	-	-	-
安全圧縮空気系(水素掃気機能)	-	-	-	-
非常用所内電源系統	-	-	-	-

※ a : 3時間以上の耐火能力を有する耐火壁で分離

b : 水平距離6mによる分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置

c : 1時間の耐火能力を有する隔壁等による分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置
再処理施設成功パスの詳細は、別紙2参照

9. 最重要設備以外の火災防護対象機器等への火災影響

機器名称[機器番号]	当該区画の火災評価※	隣接区画の火災評価※
-	-	-

※ ○:火災影響なし ×:火災影響あり

隣接する火災区画と火災伝播経路

(※ 有:伝播する 無:伝播しない)

隣接する火災区画	火災伝播経路有無	等価時間(h)	耐火時間(h)	火災伝播の可能性※	備考
	無	0.5	3.0	無	
	無	0.5	1.0	無	
	有	0.5	0.0	有	
	有	0.5	0.0	有	

火災区域(区画)特性表

1. 火災区域(区画)の説明

建屋名	精製建屋
火災区域/区画区分	火災区画
火災区域/区画番号	■
火災区域/区画名称	極低レベル廃液第1受槽室
床面積(m ²)	■

2. 火災区域(区画)の火災シナリオの説明

■は、精製建屋内の火災区画である。
 本区画は、電動機絶縁物火災の発生可能性があるが、安全上重要な施設が設置されていないため、安全機能の喪失のおそれはない。

3. 火災区域(区画)にある火災源

(1) 等価時間

発熱量(kJ)	火災荷重(kJ/m ²)	等価時間(h) [※]
■	■	0.5

※ 等価時間は、内部火災影響評価ガイドの等価時間記載の値で示す。

(2) 火災区域(区画)にある火災源機器数

火災源	機器数
電動機(3.7kW超)	1
電気盤(440V以上)	-
ケーブルトレイ(ケーブル)	-
油脂類・有機溶媒等	-
その他	-

4. 火災区域(区画)にある防火設備

火災感知の手段	主要な消火設備	消火方法	消火設備のバックアップ
煙感知器	屋内消火栓	手動	粉末消火器

5. 火災区域(区画)に隣接する火災区域(区画)と火災伝播経路

隣接火災区画への火災伝播経路の詳細は、別紙1参照

6. 火災影響を受ける火災防護対象機器等

機器名称[機器番号]	最重要設備 [※]	最重要設備以外の安全上重要な施設 [※]
-	-	-

※ ○:対象 -:非対象

* 火災想定において、工程停止等により安全機能を必要としない状態へと移行が可能なもの。

7. 火災防護対象機器等の関連ケーブル

機器名称[機器番号]	ケーブル種別	安重分類
-	-	-

8. 最重要設備の安重機能への火災影響

安重分類	全焼時の成功パスの有無	回路評価等の考慮	結果	系統分離※
Pu・高レベル廃棄物の閉じ込め機能	-	-	-	-
崩壊熱除去機能(重要度の高いもの)	-	-	-	-
安全圧縮空気系(水素掃気機能)	-	-	-	-
非常用所内電源系統	-	-	-	-

※ a : 3時間以上の耐火能力を有する耐火壁で分離

b : 水平距離6mによる分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置

c : 1時間の耐火能力を有する隔壁等による分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置
再処理施設成功パスの詳細は、別紙2参照

9. 最重要設備以外の火災防護対象機器等への火災影響

機器名称[機器番号]	当該区画の火災評価※	隣接区画の火災評価※
-	-	-

※ ○:火災影響なし ×:火災影響あり

隣接する火災区画と火災伝播経路

(※ 有:伝播する 無:伝播しない)

隣接する 火災区画	火災伝播 経路有無	等価時間 (h)	耐火時間 (h)	火災伝播の 可能性 ※	備考
	無	0.5	3.0	無	
	無	0.5	3.0	無	
	有	0.5	0.0	有	
	有	0.5	0.0	有	

火災区域(区画)特性表

1. 火災区域(区画)の説明

建屋名	精製建屋
火災区域/区画区分	火災区画
火災区域/区画番号	■
火災区域/区画名称	第2サブチェンジングルーム
床面積(m ²)	■

2. 火災区域(区画)の火災シナリオの説明

■は、精製建屋内の火災区画である。
 本区画は、電気盤火災の発生可能性があるが、安全上重要な施設が設置されていないため、安全機能の喪失のおそれはない。

3. 火災区域(区画)にある火災源

(1) 等価時間

発熱量(kJ)	火災荷重 (kJ/m ²)	等価時間(h) [※]
■	■	1.0

※ 等価時間は、内部火災影響評価ガイドの等価時間記載の値で示す。

(2) 火災区域(区画)にある火災源機器数

火災源	機器数
電動機(3.7kW超)	-
電気盤(440V以上)	1
ケーブルトレイ(ケーブル)	-
油脂類・有機溶媒等	-
その他	-

4. 火災区域(区画)にある防火設備

火災感知の手段	主要な消火設備	消火方法	消火設備のバックアップ
煙感知器	屋内消火栓	手動	粉末消火器

5. 火災区域(区画)に隣接する火災区域(区画)と火災伝播経路

隣接火災区画への火災伝播経路の詳細は、別紙1参照

6. 火災影響を受ける火災防護対象機器等

機器名称[機器番号]	最重要設備 [※]	最重要設備以外の安全上重要な施設 [※]
-	-	-

※ ○:対象 -:非対象

* 火災想定において、工程停止等により安全機能を必要としない状態へと移行が可能なもの。

7. 火災防護対象機器等の関連ケーブル

機器名称[機器番号]	ケーブル種別	安重分類
-	-	-

8. 最重要設備の安重機能への火災影響

安重分類	全焼時の成功パスの有無	回路評価等の考慮	結果	系統分離※
Pu・高レベル廃棄物の閉じ込め機能	-	-	-	-
崩壊熱除去機能(重要度の高いもの)	-	-	-	-
安全圧縮空気系(水素掃気機能)	-	-	-	-
非常用所内電源系統	-	-	-	-

※ a : 3時間以上の耐火能力を有する耐火壁で分離

b : 水平距離6mによる分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置

c : 1時間の耐火能力を有する隔壁等による分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置
再処理施設成功パスの詳細は、別紙2参照

9. 最重要設備以外の火災防護対象機器等への火災影響

機器名称[機器番号]	当該区画の火災評価※	隣接区画の火災評価※
-	-	-

※ ○:火災影響なし ×:火災影響あり

隣接する火災区画と火災伝播経路

(※ 有:伝播する 無:伝播しない)

隣接する 火災区画	火災伝播 経路有無	等価時間 (h)	耐火時間 (h)	火災伝播の 可能性 ※	備考
	無	1.0	3.0	無	
	有	1.0	0.0	有	
	有	1.0	0.0	有	
	有	1.0	0.0	有	

火災区域(区画)特性表

1. 火災区域(区画)の説明

建屋名	精製建屋
火災区域/区画区分	火災区画
火災区域/区画番号	■
火災区域/区画名称	第3サブチェンジングルーム
床面積(m ²)	■

2. 火災区域(区画)の火災シナリオの説明

■は、精製建屋内の火災区画である。
 本区画は、電気盤火災または、ケーブルトレイ火災の発生の可能性があるが、安全上重要な施設が設置されていないため、安全機能の喪失のおそれはない。

3. 火災区域(区画)にある火災源

(1) 等価時間

発熱量(kJ)	火災荷重 (kJ/m ²)	等価時間(h) [※]
■	■	1.0

※ 等価時間は、内部火災影響評価ガイドの等価時間記載の値で示す。

(2) 火災区域(区画)にある火災源機器数

火災源	機器数
電動機(3.7kW超)	-
電気盤(440V以上)	1
ケーブルトレイ(ケーブル)	有
油脂類・有機溶媒等	-
その他	-

4. 火災区域(区画)にある防火設備

火災感知の手段	主要な消火設備	消火方法	消火設備のバックアップ
煙感知器	屋内消火栓	手動	粉末消火器

5. 火災区域(区画)に隣接する火災区域(区画)と火災伝播経路

隣接火災区画への火災伝播経路の詳細は、別紙1参照

6. 火災影響を受ける火災防護対象機器等

機器名称[機器番号]	最重要設備 [※]	最重要設備以外の安全上重要な施設 [※]
-	-	-

※ ○:対象 -:非対象

* 火災想定において、工程停止等により安全機能を必要としない状態へと移行が可能なもの。

7. 火災防護対象機器等の関連ケーブル

機器名称[機器番号]	ケーブル種別	安重分類
-	-	-

8. 最重要設備の安重機能への火災影響

安重分類	全焼時の成功パスの有無	回路評価等の考慮	結果	系統分離※
Pu・高レベル廃棄物の閉じ込め機能	-	-	-	-
崩壊熱除去機能(重要度の高いもの)	-	-	-	-
安全圧縮空気系(水素掃気機能)	-	-	-	-
非常用所内電源系統	-	-	-	-

※ a : 3時間以上の耐火能力を有する耐火壁で分離

b : 水平距離6mによる分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置

c : 1時間の耐火能力を有する隔壁等による分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置
再処理施設成功パスの詳細は、別紙2参照

9. 最重要設備以外の火災防護対象機器等への火災影響

機器名称[機器番号]	当該区画の火災評価※	隣接区画の火災評価※
-	-	-

※ ○:火災影響なし ×:火災影響あり

隣接する火災区画と火災伝播経路

(※ 有:伝播する 無:伝播しない)

隣接する 火災区画	火災伝播 経路有無	等価時間 (h)	耐火時間 (h)	火災伝播の 可能性 ※	備考
	無	1.0	3.0	無	
	無	1.0	3.0	無	
	無	1.0	1.0	無	
	有	1.0	0.0	有	
	有	1.0	0.0	有	

火災区域(区画)特性表

1. 火災区域(区画)の説明

建屋名	精製建屋
火災区域/区画区分	火災区画
火災区域/区画番号	■
火災区域/区画名称	北第2階段室地下3階附室
床面積(m ²)	■

2. 火災区域(区画)の火災シナリオの説明

■は、精製建屋内の火災区画である。
 本区画は、火災源となるものがないおよび安全上重要な施設が設置されていないため、安全機能の喪失のおそれはない。

3. 火災区域(区画)にある火災源

(1) 等価時間

発熱量(kJ)	火災荷重 (kJ/m ²)	等価時間(h) [※]
■	■	0.0

※ 等価時間は、内部火災影響評価ガイドの等価時間記載の値で示す。

(2) 火災区域(区画)にある火災源機器数

火災源	機器数
電動機(3.7kW超)	-
電気盤(440V以上)	-
ケーブルトレイ(ケーブル)	-
油脂類・有機溶媒等	-
その他	-

4. 火災区域(区画)にある防火設備

火災感知の手段	主要な消火設備	消火方法	消火設備のバックアップ
煙感知器	屋内消火栓	手動	粉末消火器

5. 火災区域(区画)に隣接する火災区域(区画)と火災伝播経路

隣接火災区画への火災伝播経路の詳細は、別紙1参照

6. 火災影響を受ける火災防護対象機器等

機器名称[機器番号]	最重要設備 [※]	最重要設備以外の安全上重要な施設 [※]
-	-	-

※ ○:対象 -:非対象

* 火災想定において、工程停止等により安全機能を必要としない状態へと移行が可能なもの。

7. 火災防護対象機器等の関連ケーブル

機器名称[機器番号]	ケーブル種別	安重分類
-	-	-

8. 最重要設備の安重機能への火災影響

安重分類	全焼時の 成功パスの 有無	回路評価 等の考慮	結果	系統分離※
Pu・高レベル廃棄物の閉じ込め機能	-	-	-	-
崩壊熱除去機能(重要度の高いもの)	-	-	-	-
安全圧縮空気系(水素掃気機能)	-	-	-	-
非常用所内電源系統	-	-	-	-

※ a : 3時間以上の耐火能力を有する耐火壁で分離

b : 水平距離6mによる分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置

c : 1時間の耐火能力を有する隔壁等による分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置
再処理施設成功パスの詳細は、別紙2参照

9. 最重要設備以外の火災防護対象機器等への火災影響

機器名称[機器番号]	当該区画の火災評価※	隣接区画の火災評価※
-	-	-

※ ○:火災影響なし ×:火災影響あり

隣接する火災区画と火災伝播経路

(※ 有:伝播する 無:伝播しない)

隣接する 火災区画	火災伝播 経路有無	等価時間 (h)	耐火時間 (h)	火災伝播の 可能性 ※	備考
	無	0.0	1.0	無	
	無	0.0	1.0	無	
	無	0.0	1.0	無	
	無	0.0	3.0	無	

火災区域(区画)特性表

1. 火災区域(区画)の説明

建屋名	精製建屋
火災区域/区画区分	火災区画
火災区域/区画番号	■
火災区域/区画名称	南第2階段室地下3階附室
床面積(m ²)	■

2. 火災区域(区画)の火災シナリオの説明

■は、精製建屋内の火災区画である。
 本区画は、火災源となるものがないおよび安全上重要な施設が設置されていないため、安全機能の喪失のおそれはない。

3. 火災区域(区画)にある火災源

(1) 等価時間

発熱量(kJ)	火災荷重 (kJ/m ²)	等価時間(h) [※]
■	■	0.0

※ 等価時間は、内部火災影響評価ガイドの等価時間記載の値で示す。

(2) 火災区域(区画)にある火災源機器数

火災源	機器数
電動機(3.7kW超)	-
電気盤(440V以上)	-
ケーブルトレイ(ケーブル)	-
油脂類・有機溶媒等	-
その他	-

4. 火災区域(区画)にある防火設備

火災感知の手段	主要な消火設備	消火方法	消火設備のバックアップ
煙感知器	屋内消火栓	手動	粉末消火器

5. 火災区域(区画)に隣接する火災区域(区画)と火災伝播経路

隣接火災区画への火災伝播経路の詳細は、別紙1参照

6. 火災影響を受ける火災防護対象機器等

機器名称[機器番号]	最重要設備 [※]	最重要設備以外の安全上重要な施設 [※]
-	-	-

※ ○:対象 -:非対象

* 火災想定において、工程停止等により安全機能を必要としない状態へと移行が可能なもの。

7. 火災防護対象機器等の関連ケーブル

機器名称[機器番号]	ケーブル種別	安重分類
-	-	-

8. 最重要設備の安重機能への火災影響

安重分類	全焼時の成功パスの有無	回路評価等の考慮	結果	系統分離※
Pu・高レベル廃棄物の閉じ込め機能	-	-	-	-
崩壊熱除去機能(重要度の高いもの)	-	-	-	-
安全圧縮空気系(水素掃気機能)	-	-	-	-
非常用所内電源系統	-	-	-	-

※ a : 3時間以上の耐火能力を有する耐火壁で分離

b : 水平距離6mによる分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置

c : 1時間の耐火能力を有する隔壁等による分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置
再処理施設成功パスの詳細は、別紙2参照

9. 最重要設備以外の火災防護対象機器等への火災影響

機器名称[機器番号]	当該区画の火災評価※	隣接区画の火災評価※
-	-	-

※ ○:火災影響なし ×:火災影響あり

隣接する火災区画と火災伝播経路

(※ 有:伝播する 無:伝播しない)

隣接する 火災区画	火災伝播 経路有無	等価時間 (h)	耐火時間 (h)	火災伝播の 可能性 ※	備考
	無	0.0	3.0	無	
	無	0.0	1.0	無	
	無	0.0	1.0	無	
	無	0.0	1.0	無	

火災区域(区画)特性表

1. 火災区域(区画)の説明

建屋名	精製建屋
火災区域/区画区分	火災区画
火災区域/区画番号	■
火災区域/区画名称	南第3階段室地下3階附室
床面積(m ²)	■

2. 火災区域(区画)の火災シナリオの説明

■は、精製建屋内の火災区画である。
 本区画は、火災源となるものがないおよび安全上重要な施設が設置されていないため、安全機能の喪失のおそれはない。

3. 火災区域(区画)にある火災源

(1) 等価時間

発熱量(kJ)	火災荷重 (kJ/m ²)	等価時間(h) [※]
■	■	0.0

※ 等価時間は、内部火災影響評価ガイドの等価時間記載の値で示す。

(2) 火災区域(区画)にある火災源機器数

火災源	機器数
電動機(3.7kW超)	-
電気盤(440V以上)	-
ケーブルトレイ(ケーブル)	-
油脂類・有機溶媒等	-
その他	-

4. 火災区域(区画)にある防火設備

火災感知の手段	主要な消火設備	消火方法	消火設備のバックアップ
煙感知器	屋内消火栓	手動	粉末消火器

5. 火災区域(区画)に隣接する火災区域(区画)と火災伝播経路

隣接火災区画への火災伝播経路の詳細は、別紙1参照

6. 火災影響を受ける火災防護対象機器等

機器名称[機器番号]	最重要設備 [※]	最重要設備以外の安全上重要な施設 [※]
-	-	-

※ ○:対象 -:非対象

* 火災想定において、工程停止等により安全機能を必要としない状態へと移行が可能なもの。

7. 火災防護対象機器等の関連ケーブル

機器名称[機器番号]	ケーブル種別	安重分類
-	-	-

8. 最重要設備の安重機能への火災影響

安重分類	全焼時の成功パスの有無	回路評価等の考慮	結果	系統分離※
Pu・高レベル廃棄物の閉じ込め機能	-	-	-	-
崩壊熱除去機能(重要度の高いもの)	-	-	-	-
安全圧縮空気系(水素掃気機能)	-	-	-	-
非常用所内電源系統	-	-	-	-

※ a : 3時間以上の耐火能力を有する耐火壁で分離

b : 水平距離6mによる分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置

c : 1時間の耐火能力を有する隔壁等による分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置
再処理施設成功パスの詳細は、別紙2参照

9. 最重要設備以外の火災防護対象機器等への火災影響

機器名称[機器番号]	当該区画の火災評価※	隣接区画の火災評価※
-	-	-

※ ○:火災影響なし ×:火災影響あり

隣接する火災区画と火災伝播経路

(※ 有:伝播する 無:伝播しない)

隣接する 火災区画	火災伝播 経路有無	等価時間 (h)	耐火時間 (h)	火災伝播の 可能性 ※	備考
	無	0.0	1.0	無	
	無	0.0	1.0	無	
	無	0.0	1.0	無	
	無	0.0	1.0	無	
	無	0.0	1.0	無	

火災区域(区画)特性表

1. 火災区域(区画)の説明

建屋名	精製建屋
火災区域/区画区分	火災区画
火災区域/区画番号	■
火災区域/区画名称	北第1階段室地下3階附室
床面積(m ²)	■

2. 火災区域(区画)の火災シナリオの説明

■は、精製建屋内の火災区画である。
 本区画は、火災源となるものがないおよび安全上重要な施設が設置されていないため、安全機能の喪失のおそれはない。

3. 火災区域(区画)にある火災源

(1) 等価時間

発熱量(kJ)	火災荷重 (kJ/m ²)	等価時間(h) [※]
■	■	0.0

※ 等価時間は、内部火災影響評価ガイドの等価時間記載の値で示す。

(2) 火災区域(区画)にある火災源機器数

火災源	機器数
電動機(3.7kW超)	-
電気盤(440V以上)	-
ケーブルトレイ(ケーブル)	-
油脂類・有機溶媒等	-
その他	-

4. 火災区域(区画)にある防火設備

火災感知の手段	主要な消火設備	消火方法	消火設備のバックアップ
煙感知器	屋内消火栓	手動	粉末消火器

5. 火災区域(区画)に隣接する火災区域(区画)と火災伝播経路

隣接火災区画への火災伝播経路の詳細は、別紙1参照

6. 火災影響を受ける火災防護対象機器等

機器名称[機器番号]	最重要設備 [※]	最重要設備以外の安全上重要な施設 [※]
-	-	-

※ ○:対象 -:非対象

* 火災想定において、工程停止等により安全機能を必要としない状態へと移行が可能なもの。

7. 火災防護対象機器等の関連ケーブル

機器名称[機器番号]	ケーブル種別	安重分類
-	-	-

8. 最重要設備の安重機能への火災影響

安重分類	全焼時の成功パスの有無	回路評価等の考慮	結果	系統分離※
Pu・高レベル廃棄物の閉じ込め機能	-	-	-	-
崩壊熱除去機能(重要度の高いもの)	-	-	-	-
安全圧縮空気系(水素掃気機能)	-	-	-	-
非常用所内電源系統	-	-	-	-

※ a : 3時間以上の耐火能力を有する耐火壁で分離

b : 水平距離6mによる分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置

c : 1時間の耐火能力を有する隔壁等による分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置
再処理施設成功パスの詳細は、別紙2参照

9. 最重要設備以外の火災防護対象機器等への火災影響

機器名称[機器番号]	当該区画の火災評価※	隣接区画の火災評価※
-	-	-

※ ○:火災影響なし ×:火災影響あり

隣接する火災区画と火災伝播経路

(※ 有:伝播する 無:伝播しない)

隣接する 火災区画	火災伝播 経路有無	等価時間 (h)	耐火時間 (h)	火災伝播の 可能性 ※	備考
	無	0.0	1.0	無	
	無	0.0	1.0	無	
	無	0.0	1.0	無	
	無	0.0	3.0	無	

火災区域(区画)特性表

1. 火災区域(区画)の説明

建屋名	精製建屋
火災区域/区画区分	火災区画
火災区域/区画番号	■
火災区域/区画名称	南第1階段室地下3階附室
床面積(m ²)	■

2. 火災区域(区画)の火災シナリオの説明

■は、精製建屋内の火災区画である。
 本区画は、火災源となるものがないおよび安全上重要な施設が設置されていないため、安全機能の喪失のおそれはない。

3. 火災区域(区画)にある火災源

(1) 等価時間

発熱量(kJ)	火災荷重(kJ/m ²)	等価時間(h) [※]
■	■	0.0

※ 等価時間は、内部火災影響評価ガイドの等価時間記載の値で示す。

(2) 火災区域(区画)にある火災源機器数

火災源	機器数
電動機(3.7kW超)	-
電気盤(440V以上)	-
ケーブルトレイ(ケーブル)	-
油脂類・有機溶媒等	-
その他	-

4. 火災区域(区画)にある防火設備

火災感知の手段	主要な消火設備	消火方法	消火設備のバックアップ
煙感知器	屋内消火栓	手動	粉末消火器

5. 火災区域(区画)に隣接する火災区域(区画)と火災伝播経路

隣接火災区画への火災伝播経路の詳細は、別紙1参照

6. 火災影響を受ける火災防護対象機器等

機器名称[機器番号]	最重要設備 [※]	最重要設備以外の安全上重要な施設 [※]
-	-	-

※ ○:対象 -:非対象

* 火災想定において、工程停止等により安全機能を必要としない状態へと移行が可能なもの。

7. 火災防護対象機器等の関連ケーブル

機器名称[機器番号]	ケーブル種別	安重分類
-	-	-

8. 最重要設備の安重機能への火災影響

安重分類	全焼時の成功パスの有無	回路評価等の考慮	結果	系統分離※
Pu・高レベル廃棄物の閉じ込め機能	-	-	-	-
崩壊熱除去機能(重要度の高いもの)	-	-	-	-
安全圧縮空気系(水素掃気機能)	-	-	-	-
非常用所内電源系統	-	-	-	-

※ a : 3時間以上の耐火能力を有する耐火壁で分離

b : 水平距離6mによる分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置

c : 1時間の耐火能力を有する隔壁等による分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置
再処理施設成功パスの詳細は、別紙2参照

9. 最重要設備以外の火災防護対象機器等への火災影響

機器名称[機器番号]	当該区画の火災評価※	隣接区画の火災評価※
-	-	-

※ ○:火災影響なし ×:火災影響あり

隣接する火災区画と火災伝播経路

(※ 有:伝播する 無:伝播しない)

隣接する 火災区画	火災伝播 経路有無	等価時間 (h)	耐火時間 (h)	火災伝播の 可能性 ※	備考
	無	0.0	3.0	無	
	無	0.0	1.0	無	
	無	0.0	1.0	無	
	無	0.0	1.0	無	

火災区域(区画)特性表

1. 火災区域(区画)の説明

建屋名	精製建屋
火災区域/区画区分	火災区画
火災区域/区画番号	■
火災区域/区画名称	蒸気発生器第1室
床面積(m ²)	■

2. 火災区域(区画)の火災シナリオの説明

■は、精製建屋内の火災区画である。
 本区画は、火災源となるものがないおよび安全上重要な施設が設置されていないため、安全機能の喪失のおそれはない。

3. 火災区域(区画)にある火災源

(1) 等価時間

発熱量(kJ)	火災荷重 (kJ/m ²)	等価時間(h) [※]
■	■	0.5

※ 等価時間は、内部火災影響評価ガイドの等価時間記載の値で示す。

(2) 火災区域(区画)にある火災源機器数

火災源	機器数
電動機(3.7kW超)	-
電気盤(440V以上)	-
ケーブルトレイ(ケーブル)	-
油脂類・有機溶媒等	-
その他	-

4. 火災区域(区画)にある防火設備

火災感知の手段	主要な消火設備	消火方法	消火設備のバックアップ
煙感知器	屋内消火栓	手動	粉末消火器

5. 火災区域(区画)に隣接する火災区域(区画)と火災伝播経路

隣接火災区画への火災伝播経路の詳細は、別紙1参照

6. 火災影響を受ける火災防護対象機器等

機器名称[機器番号]	最重要設備 [※]	最重要設備以外の安全上重要な施設 [※]
-	-	-

※ ○:対象 -:非対象

* 火災想定において、工程停止等により安全機能を必要としない状態へと移行が可能なもの。

7. 火災防護対象機器等の関連ケーブル

機器名称[機器番号]	ケーブル種別	安重分類
-	-	-

8. 最重要設備の安重機能への火災影響

安重分類	全焼時の成功パスの有無	回路評価等の考慮	結果	系統分離※
Pu・高レベル廃棄物の閉じ込め機能	-	-	-	-
崩壊熱除去機能(重要度の高いもの)	-	-	-	-
安全圧縮空気系(水素掃気機能)	-	-	-	-
非常用所内電源系統	-	-	-	-

※ a : 3時間以上の耐火能力を有する耐火壁で分離

b : 水平距離6mによる分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置

c : 1時間の耐火能力を有する隔壁等による分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置
再処理施設成功パスの詳細は、別紙2参照

9. 最重要設備以外の火災防護対象機器等への火災影響

機器名称[機器番号]	当該区画の火災評価※	隣接区画の火災評価※
-	-	-

※ ○:火災影響なし ×:火災影響あり

隣接する火災区画と火災伝播経路

(※ 有:伝播する 無:伝播しない)

隣接する 火災区画	火災伝播 経路有無	等価時間 (h)	耐火時間 (h)	火災伝播の 可能性 ※	備考
	有	0.5	0.0	有	
	有	0.5	0.0	有	
	有	0.5	0.0	有	
	無	0.5	3.0	無	
	無	0.5	3.0	無	

火災区域(区画)特性表

1. 火災区域(区画)の説明

建屋名	精製建屋
火災区域/区画区分	火災区画
火災区域/区画番号	■
火災区域/区画名称	セル排気サンプリング設備第1室
床面積(m ²)	■

2. 火災区域(区画)の火災シナリオの説明

■は、精製建屋内の火災区画である。
 本区画は、火災源となるものがないおよび安全上重要な施設が設置されていないため、安全機能の喪失のおそれはない。

3. 火災区域(区画)にある火災源

(1) 等価時間

発熱量(kJ)	火災荷重 (kJ/m ²)	等価時間(h) [※]
■	■	0.0

※ 等価時間は、内部火災影響評価ガイドの等価時間記載の値で示す。

(2) 火災区域(区画)にある火災源機器数

火災源	機器数
電動機(3.7kW超)	-
電気盤(440V以上)	-
ケーブルトレイ(ケーブル)	-
油脂類・有機溶媒等	-
その他	-

4. 火災区域(区画)にある防火設備

火災感知の手段	主要な消火設備	消火方法	消火設備のバックアップ
煙感知器	屋内消火栓	手動	粉末消火器

5. 火災区域(区画)に隣接する火災区域(区画)と火災伝播経路 隣接火災区画への火災伝播経路の詳細は、別紙1参照

6. 火災影響を受ける火災防護対象機器等

機器名称[機器番号]	最重要設備 [※]	最重要設備以外の安全上重要な施設 [※]
-	-	-

※ ○:対象 -:非対象

* 火災想定において、工程停止等により安全機能を必要としない状態へと移行が可能なもの。

7. 火災防護対象機器等の関連ケーブル

機器名称[機器番号]	ケーブル種別	安重分類
-	-	-

8. 最重要設備の安重機能への火災影響

安重分類	全焼時の成功パスの有無	回路評価等の考慮	結果	系統分離※
Pu・高レベル廃棄物の閉じ込め機能	-	-	-	-
崩壊熱除去機能(重要度の高いもの)	-	-	-	-
安全圧縮空気系(水素掃気機能)	-	-	-	-
非常用所内電源系統	-	-	-	-

※ a : 3時間以上の耐火能力を有する耐火壁で分離

b : 水平距離6mによる分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置

c : 1時間の耐火能力を有する隔壁等による分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置
再処理施設成功パスの詳細は、別紙2参照

9. 最重要設備以外の火災防護対象機器等への火災影響

機器名称[機器番号]	当該区画の火災評価※	隣接区画の火災評価※
-	-	-

※ ○:火災影響なし ×:火災影響あり

隣接する火災区画と火災伝播経路

(※ 有:伝播する 無:伝播しない)

隣接する火災区画	火災伝播経路有無	等価時間(h)	耐火時間(h)	火災伝播の可能性※	備考
	無	0.0	3.0	無	
	無	0.0	3.0	無	
	有	0.0	0.0	無	
	有	0.0	0.0	無	

火災区域(区画)特性表

1. 火災区域(区画)の説明

建屋名	精製建屋
火災区域/区画区分	火災区画
火災区域/区画番号	■
火災区域/区画名称	南第2ダクト室
床面積(m ²)	■

2. 火災区域(区画)の火災シナリオの説明

■は、精製建屋内の火災区画である。
 本区画は、火災源となるものがないおよび安全上重要な施設が設置されていないため、安全機能の喪失のおそれはない。

3. 火災区域(区画)にある火災源

(1) 等価時間

発熱量(kJ)	火災荷重 (kJ/m ²)	等価時間(h) [※]
■	■	0.0

※ 等価時間は、内部火災影響評価ガイドの等価時間記載の値で示す。

(2) 火災区域(区画)にある火災源機器数

火災源	機器数
電動機(3.7kW超)	-
電気盤(440V以上)	-
ケーブルトレイ(ケーブル)	-
油脂類・有機溶媒等	-
その他	-

4. 火災区域(区画)にある防火設備

火災感知の手段	主要な消火設備	消火方法	消火設備のバックアップ
設置除外	屋内消火栓	手動	粉末消火器

5. 火災区域(区画)に隣接する火災区域(区画)と火災伝播経路

隣接火災区画への火災伝播経路の詳細は、別紙1参照

6. 火災影響を受ける火災防護対象機器等

機器名称[機器番号]	最重要設備 [※]	最重要設備以外の安全上重要な施設 [※]
-	-	-

※ ○:対象 -:非対象

* 火災想定において、工程停止等により安全機能を必要としない状態へと移行が可能なもの。

7. 火災防護対象機器等の関連ケーブル

機器名称[機器番号]	ケーブル種別	安重分類
-	-	-

8. 最重要設備の安重機能への火災影響

安重分類	全焼時の成功パスの有無	回路評価等の考慮	結果	系統分離※
Pu・高レベル廃棄物の閉じ込め機能	-	-	-	-
崩壊熱除去機能(重要度の高いもの)	-	-	-	-
安全圧縮空気系(水素掃気機能)	-	-	-	-
非常用所内電源系統	-	-	-	-

※ a : 3時間以上の耐火能力を有する耐火壁で分離

b : 水平距離6mによる分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置

c : 1時間の耐火能力を有する隔壁等による分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置
再処理施設成功パスの詳細は、別紙2参照

9. 最重要設備以外の火災防護対象機器等への火災影響

機器名称[機器番号]	当該区画の火災評価※	隣接区画の火災評価※
-	-	-

※ ○:火災影響なし ×:火災影響あり

隣接する火災区画と火災伝播経路

(※ 有:伝播する 無:伝播しない)

隣接する 火災区画	火災伝播 経路有無	等価時間 (h)	耐火時間 (h)	火災伝播の 可能性 ※	備考
	無	0.0	3.0	無	
	無	0.0	1.0	無	
	無	0.0	3.0	無	
	無	0.0	3.0	無	
	無	0.0	3.0	無	
	無	0.0	3.0	無	
	無	0.0	1.0	無	

火災区域(区画)特性表

1. 火災区域(区画)の説明

建屋名	精製建屋
火災区域/区画区分	火災区画
火災区域/区画番号	■
火災区域/区画名称	南第1ダクト室
床面積(m ²)	■

2. 火災区域(区画)の火災シナリオの説明

■は、精製建屋内の火災区画である。
 本区画は、火災源となるものがないおよび安全上重要な施設が設置されていないため、安全機能の喪失のおそれはない。

3. 火災区域(区画)にある火災源

(1) 等価時間

発熱量(kJ)	火災荷重 (kJ/m ²)	等価時間(h) [※]
■	■	0.0

※ 等価時間は、内部火災影響評価ガイドの等価時間記載の値で示す。

(2) 火災区域(区画)にある火災源機器数

火災源	機器数
電動機(3.7kW超)	-
電気盤(440V以上)	-
ケーブルトレイ(ケーブル)	-
油脂類・有機溶媒等	-
その他	-

4. 火災区域(区画)にある防火設備

火災感知の手段	主要な消火設備	消火方法	消火設備のバックアップ
設置除外	屋内消火栓	手動	粉末消火器

5. 火災区域(区画)に隣接する火災区域(区画)と火災伝播経路

隣接火災区画への火災伝播経路の詳細は、別紙1参照

6. 火災影響を受ける火災防護対象機器等

機器名称[機器番号]	最重要設備 [※]	最重要設備以外の安全上重要な施設 [※]
-	-	-

※ ○:対象 -:非対象

* 火災想定において、工程停止等により安全機能を必要としない状態へと移行が可能なもの。

7. 火災防護対象機器等の関連ケーブル

機器名称[機器番号]	ケーブル種別	安重分類
-	-	-

8. 最重要設備の安重機能への火災影響

安重分類	全焼時の成功パスの有無	回路評価等の考慮	結果	系統分離※
Pu・高レベル廃棄物の閉じ込め機能	-	-	-	-
崩壊熱除去機能(重要度の高いもの)	-	-	-	-
安全圧縮空気系(水素掃気機能)	-	-	-	-
非常用所内電源系統	-	-	-	-

※ a : 3時間以上の耐火能力を有する耐火壁で分離

b : 水平距離6mによる分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置

c : 1時間の耐火能力を有する隔壁等による分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置
再処理施設成功パスの詳細は、別紙2参照

9. 最重要設備以外の火災防護対象機器等への火災影響

機器名称[機器番号]	当該区画の火災評価※	隣接区画の火災評価※
-	-	-

※ ○:火災影響なし ×:火災影響あり

隣接する火災区画と火災伝播経路

(※ 有:伝播する 無:伝播しない)

隣接する 火災区画	火災伝播 経路有無	等価時間 (h)	耐火時間 (h)	火災伝播の 可能性 ※	備考
	無	0.0	3.0	無	
	無	0.0	3.0	無	
	無	0.0	3.0	無	
	無	0.0	3.0	無	
	無	0.0	1.0	無	
	無	0.0	3.0	無	
	無	0.0	1.0	無	
	無	0.0	1.0	無	
	無	0.0	1.0	無	

火災区域(区画)特性表

1. 火災区域(区画)の説明

建屋名	精製建屋
火災区域/区画区分	火災区画
火災区域/区画番号	■
火災区域/区画名称	地下3階南北第2廊下
床面積(m ²)	■

2. 火災区域(区画)の火災シナリオの説明

■は、精製建屋内の火災区画である。
 本区画は、ケーブルトレイ火災の発生可能性があるが、安全上重要な施設が設置されていないため、安全機能の喪失のおそれはない。

3. 火災区域(区画)にある火災源

(1) 等価時間

発熱量(kJ)	火災荷重 (kJ/m ²)	等価時間(h) [※]
■	■	0.5

※ 等価時間は、内部火災影響評価ガイドの等価時間記載の値で示す。

(2) 火災区域(区画)にある火災源機器数

火災源	機器数
電動機(3.7kW超)	-
電気盤(440V以上)	-
ケーブルトレイ(ケーブル)	有
油脂類・有機溶媒等	-
その他	-

4. 火災区域(区画)にある防火設備

火災感知の手段	主要な消火設備	消火方法	消火設備のバックアップ
煙感知器 熱感知器	屋内消火栓	手動	粉末消火器

5. 火災区域(区画)に隣接する火災区域(区画)と火災伝播経路 隣接火災区画への火災伝播経路の詳細は、別紙1参照

6. 火災影響を受ける火災防護対象機器等

機器名称[機器番号]	最重要設備 [※]	最重要設備以外の安全上重要な施設 [※]
-	-	-

※ ○:対象 -:非対象

* 火災想定において、工程停止等により安全機能を必要としない状態へと移行が可能なもの。

7. 火災防護対象機器等の関連ケーブル

機器名称[機器番号]	ケーブル種別	安重分類
-	-	-

8. 最重要設備の安重機能への火災影響

安重分類	全焼時の成功パスの有無	回路評価等の考慮	結果	系統分離※
Pu・高レベル廃棄物の閉じ込め機能	-	-	-	-
崩壊熱除去機能(重要度の高いもの)	-	-	-	-
安全圧縮空気系(水素掃気機能)	-	-	-	-
非常用所内電源系統	-	-	-	-

※ a : 3時間以上の耐火能力を有する耐火壁で分離

b : 水平距離6mによる分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置

c : 1時間の耐火能力を有する隔壁等による分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置
再処理施設成功パスの詳細は、別紙2参照

9. 最重要設備以外の火災防護対象機器等への火災影響

機器名称[機器番号]	当該区画の火災評価※	隣接区画の火災評価※
-	-	-

※ ○:火災影響なし ×:火災影響あり

火災区域(区画)特性表

1. 火災区域(区画)の説明

建屋名	精製建屋
火災区域/区画区分	火災区画
火災区域/区画番号	■
火災区域/区画名称	地下2階東西第1廊下,東西第2廊下,南北第1廊下,南北第3廊下
床面積(m ²)	■

2. 火災区域(区画)の火災シナリオの説明

■は、精製建屋内の火災区画である。
 本区画には、安全上重要な設備として安全冷却水(カテゴリⅡ)の供給機能に係るケーブルが敷設されたケーブルトレイが設置されている。
 本区画の火災源は、電動機、電気盤および、ケーブルトレイである。
 したがって、本区画の想定火災としては、電動機絶縁物火災、電気盤火災または、ケーブルトレイ火災により、多重化された安全上重要な施設のA/B系のケーブルトレイが火災影響を受けることであるが、安全機能が喪失するおそれがあることから、FDTsにてカテゴリⅡ設備が火災源機器の火災影響範囲にないことを確認しているため、安全機能が完全に喪失することはない。また、多重化された安全上重要な施設のA/B系の設備(6.火災影響を受ける火災防護対象機器等 参照)が火災影響を受け、安全機能が喪失するおそれがあるが、火災により計測制御系が影響を受けた場合、保安規定第32条に基づき、使用済燃料の再処理運転の停止状態に移行、または、運転を停止する措置を講じるため、安定停止状態が維持できる。

3. 火災区域(区画)にある火災源

(1) 等価時間

発熱量(kJ)	火災荷重(kJ/m ²)	等価時間(h) [※]
■	■	1.0

※ 等価時間は、内部火災影響評価ガイドの等価時間記載の値で示す。

(2) 火災区域(区画)にある火災源機器数

火災源	機器数
電動機(3.7kW超)	3
電気盤(440V以上)	4
ケーブルトレイ(ケーブル)	有
油脂類・有機溶媒等	-
その他	-

4. 火災区域(区画)にある防火設備

火災感知の手段	主要な消火設備	消火方法	消火設備のバックアップ
煙感知器 熱感知器	屋内消火栓	手動	粉末消火器

5. 火災区域(区画)に隣接する火災区域(区画)と火災伝播経路 隣接火災区画への火災伝播経路の詳細は、別紙1参照

6. 火災影響を受ける火災防護対象機器等

機器名称[機器番号]	最重要設備※	最重要設備以外の安全上重要な施設※
安重ケーブルトレイ[A/B系]	-	○
プルトニウム濃縮缶加熱蒸気温度A []	-	○*
プルトニウム濃縮缶加熱蒸気温度B []	-	○*

※ ○:対象 -:非対象

* 火災想定において、工程停止等により安全機能を必要としない状態へと移行が可能なもの。

7. 火災防護対象機器等の関連ケーブル

機器名称[機器番号]	ケーブル種別	安重分類
-	-	-

8. 最重要設備の安重機能への火災影響

安重分類	全焼時の成功パスの有無	回路評価等の考慮	結果	系統分離※
Pu・高レベル廃棄物の閉じ込め機能	-	-	-	-
崩壊熱除去機能(重要度の高いもの)	-	-	-	-
安全圧縮空気系(水素掃気機能)	-	-	-	-
非常用所内電源系統	-	-	-	-

※ a: 3時間以上の耐火能力を有する耐火壁で分離

b: 水平距離6mによる分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置

c: 1時間の耐火能力を有する隔壁等による分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置
再処理施設成功パスの詳細は、別紙2参照

9. 最重要設備以外の火災防護対象機器等への火災影響

機器名称[機器番号]	当該区画の火災評価※	隣接区画の火災評価※
安重ケーブルトレイ[A/B系]	○	○

※ ○:火災影響なし ×:火災影響あり

隣接する火災区画と火災伝播経路

(※ 有:伝播する 無:伝播しない)

隣接する 火災区画	火災伝播 経路有無	等価時間 (h)	耐火時間 (h)	火災伝播の 可能性 ※	備考
	無	1.0	3.0	無	
	無	1.0	3.0	無	
	無	1.0	3.0	無	
	無	1.0	3.0	無	
	無	1.0	3.0	無	
	無	1.0	3.0	無	
	無	1.0	3.0	無	
	無	1.0	3.0	無	
	無	1.0	3.0	無	
	無	1.0	3.0	無	
	無	1.0	3.0	無	
	無	1.0	3.0	無	
	有	1.0	0.0	有	
	無	1.0	3.0	無	
	無	1.0	3.0	無	
	無	1.0	3.0	無	
	無	1.0	3.0	無	

火災区域(区画)特性表

1. 火災区域(区画)の説明

建屋名	精製建屋
火災区域/区画区分	火災区画
火災区域/区画番号	■
火災区域/区画名称	除染機器保管室
床面積(m ²)	■

2. 火災区域(区画)の火災シナリオの説明

■は、精製建屋内の火災区画である。
 本区画は、ケーブルトレイ火災または、一時集積可燃物の火災の発生の可能性があるが、安全上重要な施設が設置されていないため、安全機能の喪失のおそれはない。

3. 火災区域(区画)にある火災源

(1) 等価時間

発熱量(kJ)	火災荷重 (kJ/m ²)	等価時間(h) [※]
■	■	>9

※ 等価時間は、内部火災影響評価ガイドの等価時間記載の値で示す。

(2) 火災区域(区画)にある火災源機器数

火災源	機器数
電動機(3.7kW超)	-
電気盤(440V以上)	-
ケーブルトレイ(ケーブル)	有
油脂類・有機溶媒等	-
その他	1

4. 火災区域(区画)にある防火設備

火災感知の手段	主要な消火設備	消火方法	消火設備のバックアップ
煙感知器	屋内消火栓	手動	粉末消火器

5. 火災区域(区画)に隣接する火災区域(区画)と火災伝播経路

隣接火災区画への火災伝播経路の詳細は、別紙1参照

6. 火災影響を受ける火災防護対象機器等

機器名称[機器番号]	最重要設備 [※]	最重要設備以外の安全上重要な施設 [※]
-	-	-

※ ○:対象 -:非対象

* 火災想定において、工程停止等により安全機能を必要としない状態へと移行が可能なもの。

7. 火災防護対象機器等の関連ケーブル

機器名称[機器番号]	ケーブル種別	安重分類
-	-	-

8. 最重要設備の安重機能への火災影響

安重分類	全焼時の成功パスの有無	回路評価等の考慮	結果	系統分離※
Pu・高レベル廃棄物の閉じ込め機能	-	-	-	-
崩壊熱除去機能(重要度の高いもの)	-	-	-	-
安全圧縮空気系(水素掃気機能)	-	-	-	-
非常用所内電源系統	-	-	-	-

※ a : 3時間以上の耐火能力を有する耐火壁で分離

b : 水平距離6mによる分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置

c : 1時間の耐火能力を有する隔壁等による分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置
再処理施設成功パスの詳細は、別紙2参照

9. 最重要設備以外の火災防護対象機器等への火災影響

機器名称[機器番号]	当該区画の火災評価※	隣接区画の火災評価※
-	-	-

※ ○:火災影響なし ×:火災影響あり

隣接する火災区画と火災伝播経路

(※ 有:伝播する 無:伝播しない)

隣接する火災区画	火災伝播経路有無	等価時間(h)	耐火時間(h)	火災伝播の可能性※	備考
	無	3.0超	1.0	有	
	有	3.0超	0.0	有	
	無	3.0超	1.0	有	
	無	3.0超	3.0	有	

火災区域(区画)特性表

1. 火災区域(区画)の説明

建屋名	精製建屋
火災区域/区画区分	火災区画
火災区域/区画番号	■
火災区域/区画名称	通信設備室
床面積(m ²)	■

2. 火災区域(区画)の火災シナリオの説明

■は、精製建屋内の火災区画である。
 本区画は、電気盤火災または、ケーブルトレイ火災の発生の可能性があるが、安全上重要な施設が設置されていないため、安全機能の喪失のおそれはない。

3. 火災区域(区画)にある火災源

(1) 等価時間

発熱量(kJ)	火災荷重 (kJ/m ²)	等価時間(h) [※]
■	■	1.5

※ 等価時間は、内部火災影響評価ガイドの等価時間記載の値で示す。

(2) 火災区域(区画)にある火災源機器数

火災源	機器数
電動機(3.7kW超)	-
電気盤(440V以上)	2
ケーブルトレイ(ケーブル)	有
油脂類・有機溶媒等	-
その他	-

4. 火災区域(区画)にある防火設備

火災感知の手段	主要な消火設備	消火方法	消火設備のバックアップ
煙感知器	二酸化炭素消火器	手動	粉末消火器

5. 火災区域(区画)に隣接する火災区域(区画)と火災伝播経路

隣接火災区画への火災伝播経路の詳細は、別紙1参照

6. 火災影響を受ける火災防護対象機器等

機器名称[機器番号]	最重要設備 [※]	最重要設備以外の安全上重要な施設 [※]
-	-	-

※ ○:対象 -:非対象

* 火災想定において、工程停止等により安全機能を必要としない状態へと移行が可能なもの。

7. 火災防護対象機器等の関連ケーブル

機器名称[機器番号]	ケーブル種別	安重分類
-	-	-

8. 最重要設備の安重機能への火災影響

安重分類	全焼時の 成功パスの 有無	回路評価 等の考慮	結果	系統分離※
Pu・高レベル廃棄物の閉じ込め機能	-	-	-	-
崩壊熱除去機能(重要度の高いもの)	-	-	-	-
安全圧縮空気系(水素掃気機能)	-	-	-	-
非常用所内電源系統	-	-	-	-

※ a : 3時間以上の耐火能力を有する耐火壁で分離

b : 水平距離6mによる分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置

c : 1時間の耐火能力を有する隔壁等による分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置
再処理施設成功パスの詳細は、別紙2参照

9. 最重要設備以外の火災防護対象機器等への火災影響

機器名称[機器番号]	当該区画の火災評価※	隣接区画の火災評価※
-	-	-

※ ○:火災影響なし ×:火災影響あり

隣接する火災区画と火災伝播経路

(※ 有:伝播する 無:伝播しない)

隣接する 火災区画	火災伝播 経路有無	等価時間 (h)	耐火時間 (h)	火災伝播の 可能性 ※	備考
	無	1.5	1.0	有	
	有	1.5	0.0	有	
	無	1.5	3.0	無	
	無	1.5	3.0	無	

火災区域(区画)特性表

1. 火災区域(区画)の説明

建屋名	精製建屋
火災区域/区画区分	火災区画
火災区域/区画番号	■
火災区域/区画名称	南第4エレベータ
床面積(m ²)	■

2. 火災区域(区画)の火災シナリオの説明

■は、精製建屋内の火災区画である。
 本区画は、火災源となるものがないおよび安全上重要な施設が設置されていないため、安全機能の喪失のおそれはない。

3. 火災区域(区画)にある火災源

(1) 等価時間

発熱量(kJ)	火災荷重 (kJ/m ²)	等価時間(h) [※]
■	■	0.0

※ 等価時間は、内部火災影響評価ガイドの等価時間記載の値で示す。

(2) 火災区域(区画)にある火災源機器数

火災源	機器数
電動機(3.7kW超)	-
電気盤(440V以上)	-
ケーブルトレイ(ケーブル)	-
油脂類・有機溶媒等	-
その他	-

4. 火災区域(区画)にある防火設備

火災感知の手段	主要な消火設備	消火方法	消火設備のバックアップ
設置除外	屋内消火栓	手動	粉末消火器

5. 火災区域(区画)に隣接する火災区域(区画)と火災伝播経路

隣接火災区画への火災伝播経路の詳細は、別紙1参照

6. 火災影響を受ける火災防護対象機器等

機器名称[機器番号]	最重要設備 [※]	最重要設備以外の安全上重要な施設 [※]
-	-	-

※ ○:対象 -:非対象

* 火災想定において、工程停止等により安全機能を必要としない状態へと移行が可能なもの。

7. 火災防護対象機器等の関連ケーブル

機器名称[機器番号]	ケーブル種別	安重分類
-	-	-

8. 最重要設備の安重機能への火災影響

安重分類	全焼時の 成功パスの 有無	回路評価 等の考慮	結果	系統分離※
Pu・高レベル廃棄物の閉じ込め機能	-	-	-	-
崩壊熱除去機能(重要度の高いもの)	-	-	-	-
安全圧縮空気系(水素掃気機能)	-	-	-	-
非常用所内電源系統	-	-	-	-

※ a : 3時間以上の耐火能力を有する耐火壁で分離

b : 水平距離6mによる分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置

c : 1時間の耐火能力を有する隔壁等による分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置
再処理施設成功パスの詳細は、別紙2参照

9. 最重要設備以外の火災防護対象機器等への火災影響

機器名称[機器番号]	当該区画の火災評価※	隣接区画の火災評価※
-	-	-

※ ○:火災影響なし ×:火災影響あり

隣接する火災区画と火災伝播経路

(※ 有:伝播する 無:伝播しない)

隣接する 火災区画	火災伝播 経路有無	等価時間 (h)	耐火時間 (h)	火災伝播の 可能性 ※	備考
	無	0.0	3.0	無	
	無	0.0	3.0	無	
	無	0.0	3.0	無	
	無	0.0	3.0	無	
	無	0.0	3.0	無	
	無	0.0	3.0	無	
	無	0.0	1.0	無	
	無	0.0	1.0	無	
	無	0.0	1.0	無	
	無	0.0	1.0	無	

火災区域(区画)特性表

1. 火災区域(区画)の説明

建屋名	精製建屋
火災区域/区画区分	火災区画
火災区域/区画番号	■
火災区域/区画名称	第6予備室
床面積(m ²)	■

2. 火災区域(区画)の火災シナリオの説明

■は、精製建屋内の火災区画である。
 本区画は、一時集積可燃物の火災の発生の可能性があるが、安全上重要な施設が設置されていないため、安全機能の喪失のおそれはない。

3. 火災区域(区画)にある火災源

(1) 等価時間

発熱量(kJ)	火災荷重 (kJ/m ²)	等価時間(h) [※]
■	■	8.0

※ 等価時間は、内部火災影響評価ガイドの等価時間記載の値で示す。

(2) 火災区域(区画)にある火災源機器数

火災源	機器数
電動機(3.7kW超)	-
電気盤(440V以上)	-
ケーブルトレイ(ケーブル)	-
油脂類・有機溶媒等	-
その他	1

4. 火災区域(区画)にある防火設備

火災感知の手段	主要な消火設備	消火方法	消火設備のバックアップ
煙感知器	屋内消火栓	手動	粉末消火器

5. 火災区域(区画)に隣接する火災区域(区画)と火災伝播経路

隣接火災区画への火災伝播経路の詳細は、別紙1参照

6. 火災影響を受ける火災防護対象機器等

機器名称[機器番号]	最重要設備 [※]	最重要設備以外の安全上重要な施設 [※]
-	-	-

※ ○:対象 -:非対象

* 火災想定において、工程停止等により安全機能を必要としない状態へと移行が可能なもの。

7. 火災防護対象機器等の関連ケーブル

機器名称[機器番号]	ケーブル種別	安重分類
-	-	-

8. 最重要設備の安重機能への火災影響

安重分類	全焼時の成功パスの有無	回路評価等の考慮	結果	系統分離※
Pu・高レベル廃棄物の閉じ込め機能	-	-	-	-
崩壊熱除去機能(重要度の高いもの)	-	-	-	-
安全圧縮空気系(水素掃気機能)	-	-	-	-
非常用所内電源系統	-	-	-	-

※ a : 3時間以上の耐火能力を有する耐火壁で分離

b : 水平距離6mによる分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置

c : 1時間の耐火能力を有する隔壁等による分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置
再処理施設成功パスの詳細は、別紙2参照

9. 最重要設備以外の火災防護対象機器等への火災影響

機器名称[機器番号]	当該区画の火災評価※	隣接区画の火災評価※
-	-	-

※ ○:火災影響なし ×:火災影響あり

隣接する火災区画と火災伝播経路

(※ 有:伝播する 無:伝播しない)

隣接する 火災区画	火災伝播 経路有無	等価時間 (h)	耐火時間 (h)	火災伝播の 可能性 ※	備考
	有	3.0超	0.0	有	
	有	3.0超	0.0	有	
	有	3.0超	0.0	有	
	有	3.0超	0.0	有	
	有	3.0超	0.0	有	
	無	3.0超	3.0	有	
	無	3.0超	3.0	有	

火災区域(区画)特性表

1. 火災区域(区画)の説明

建屋名	精製建屋
火災区域/区画区分	火災区画
火災区域/区画番号	■
火災区域/区画名称	ユーティリティ弁第1室
床面積(m ²)	■

2. 火災区域(区画)の火災シナリオの説明

■は、精製建屋内の火災区画である。
 本区画は、火災源となるものがないおよび安全上重要な施設が設置されていないため、安全機能の喪失のおそれはない。

3. 火災区域(区画)にある火災源

(1) 等価時間

発熱量(kJ)	火災荷重 (kJ/m ²)	等価時間(h) [※]
■	■	0.5

※ 等価時間は、内部火災影響評価ガイドの等価時間記載の値で示す。

(2) 火災区域(区画)にある火災源機器数

火災源	機器数
電動機(3.7kW超)	-
電気盤(440V以上)	-
ケーブルトレイ(ケーブル)	-
油脂類・有機溶媒等	-
その他	-

4. 火災区域(区画)にある防火設備

火災感知の手段	主要な消火設備	消火方法	消火設備のバックアップ
煙感知器	屋内消火栓	手動	粉末消火器

5. 火災区域(区画)に隣接する火災区域(区画)と火災伝播経路

隣接火災区画への火災伝播経路の詳細は、別紙1参照

6. 火災影響を受ける火災防護対象機器等

機器名称[機器番号]	最重要設備 [※]	最重要設備以外の安全上重要な施設 [※]
-	-	-

※ ○:対象 -:非対象

* 火災想定において、工程停止等により安全機能を必要としない状態へと移行が可能なもの。

7. 火災防護対象機器等の関連ケーブル

機器名称[機器番号]	ケーブル種別	安重分類
-	-	-

8. 最重要設備の安重機能への火災影響

安重分類	全焼時の成功パスの有無	回路評価等の考慮	結果	系統分離※
Pu・高レベル廃棄物の閉じ込め機能	-	-	-	-
崩壊熱除去機能(重要度の高いもの)	-	-	-	-
安全圧縮空気系(水素掃気機能)	-	-	-	-
非常用所内電源系統	-	-	-	-

※ a : 3時間以上の耐火能力を有する耐火壁で分離

b : 水平距離6mによる分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置

c : 1時間の耐火能力を有する隔壁等による分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置
再処理施設成功パスの詳細は、別紙2参照

9. 最重要設備以外の火災防護対象機器等への火災影響

機器名称[機器番号]	当該区画の火災評価※	隣接区画の火災評価※
-	-	-

※ ○:火災影響なし ×:火災影響あり

隣接する火災区画と火災伝播経路

(※ 有:伝播する 無:伝播しない)

隣接する火災区画	火災伝播経路有無	等価時間(h)	耐火時間(h)	火災伝播の可能性※	備考
	有	0.5	0.0	有	
	有	0.5	0.0	有	
	有	0.5	0.0	有	
	有	0.5	0.0	有	
	有	0.5	0.0	有	
	有	0.5	0.0	有	
	無	0.5	3.0	無	
	無	0.5	3.0	無	

火災区域(区画)特性表

1. 火災区域(区画)の説明

建屋名	精製建屋
火災区域/区画区分	火災区画
火災区域/区画番号	■
火災区域/区画名称	第4サブチェンジングルーム
床面積(m ²)	■

2. 火災区域(区画)の火災シナリオの説明

■は、精製建屋内の火災区画である。
 本区画は、電気盤火災の発生可能性があるが、安全上重要な施設が設置されていないため、安全機能の喪失のおそれはない。

3. 火災区域(区画)にある火災源

(1) 等価時間

発熱量(kJ)	火災荷重 (kJ/m ²)	等価時間(h) [※]
■	■	1.0

※ 等価時間は、内部火災影響評価ガイドの等価時間記載の値で示す。

(2) 火災区域(区画)にある火災源機器数

火災源	機器数
電動機(3.7kW超)	-
電気盤(440V以上)	1
ケーブルトレイ(ケーブル)	-
油脂類・有機溶媒等	-
その他	-

4. 火災区域(区画)にある防火設備

火災感知の手段	主要な消火設備	消火方法	消火設備のバックアップ
煙感知器	屋内消火栓	手動	粉末消火器

5. 火災区域(区画)に隣接する火災区域(区画)と火災伝播経路

隣接火災区画への火災伝播経路の詳細は、別紙1参照

6. 火災影響を受ける火災防護対象機器等

機器名称[機器番号]	最重要設備 [※]	最重要設備以外の安全上重要な施設 [※]
-	-	-

※ ○:対象 -:非対象

* 火災想定において、工程停止等により安全機能を必要としない状態へと移行が可能なもの。

7. 火災防護対象機器等の関連ケーブル

機器名称[機器番号]	ケーブル種別	安重分類
-	-	-

8. 最重要設備の安重機能への火災影響

安重分類	全焼時の成功パスの有無	回路評価等の考慮	結果	系統分離※
Pu・高レベル廃棄物の閉じ込め機能	-	-	-	-
崩壊熱除去機能(重要度の高いもの)	-	-	-	-
安全圧縮空気系(水素掃気機能)	-	-	-	-
非常用所内電源系統	-	-	-	-

※ a : 3時間以上の耐火能力を有する耐火壁で分離

b : 水平距離6mによる分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置

c : 1時間の耐火能力を有する隔壁等による分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置
再処理施設成功パスの詳細は、別紙2参照

9. 最重要設備以外の火災防護対象機器等への火災影響

機器名称[機器番号]	当該区画の火災評価※	隣接区画の火災評価※
-	-	-

※ ○:火災影響なし ×:火災影響あり

隣接する火災区画と火災伝播経路

(※ 有:伝播する 無:伝播しない)

隣接する 火災区画	火災伝播 経路有無	等価時間 (h)	耐火時間 (h)	火災伝播の 可能性 ※	備考
	無	1.0	3.0	無	
	無	1.0	3.0	無	
	有	1.0	0.0	有	
	無	1.0	3.0	無	
	有	1.0	0.0	有	
	無	1.0	3.0	無	

火災区域(区画)特性表

1. 火災区域(区画)の説明

建屋名	精製建屋
火災区域/区画区分	火災区画
火災区域/区画番号	■
火災区域/区画名称	プルトニウム濃縮液ポンプD用グローブボックス室
床面積(m ²)	■

2. 火災区域(区画)の火災シナリオの説明

■は、精製建屋内の火災区画である。
 本区画は、電動機絶縁物火災の発生可能性があるが、安全上重要な施設が不燃材および難燃性にて構成され火災影響を受けないことから、安全機能の喪失のおそれがない。

3. 火災区域(区画)にある火災源

(1) 等価時間

発熱量(kJ)	火災荷重 (kJ/m ²)	等価時間(h) [※]
■	■	0.5

※ 等価時間は、内部火災影響評価ガイドの等価時間記載の値で示す。

(2) 火災区域(区画)にある火災源機器数

火災源	機器数
電動機(3.7kW超)	2
電気盤(440V以上)	-
ケーブルトレイ(ケーブル)	-
油脂類・有機溶媒等	-
その他	-

4. 火災区域(区画)にある防火設備

火災感知の手段	主要な消火設備	消火方法	消火設備のバックアップ
煙感知器	屋内消火栓	手動	粉末消火器

5. 火災区域(区画)に隣接する火災区域(区画)と火災伝播経路

隣接火災区画への火災伝播経路の詳細は、別紙1参照

6. 火災影響を受ける火災防護対象機器等

機器名称[機器番号]	最重要設備 [※]	最重要設備以外の安全上重要な施設 [※]
-	-	-

※ ○:対象 -:非対象

* 火災想定において、工程停止等により安全機能を必要としない状態へと移行が可能なもの。

7. 火災防護対象機器等の関連ケーブル

機器名称[機器番号]	ケーブル種別	安重分類
-	-	-

8. 最重要設備の安重機能への火災影響

安重分類	全焼時の成功パスの有無	回路評価等の考慮	結果	系統分離※
Pu・高レベル廃棄物の閉じ込め機能	-	-	-	-
崩壊熱除去機能(重要度の高いもの)	-	-	-	-
安全圧縮空気系(水素掃気機能)	-	-	-	-
非常用所内電源系統	-	-	-	-

※ a : 3時間以上の耐火能力を有する耐火壁で分離

b : 水平距離6mによる分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置

c : 1時間の耐火能力を有する隔壁等による分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置
再処理施設成功パスの詳細は、別紙2参照

9. 最重要設備以外の火災防護対象機器等への火災影響

機器名称[機器番号]	当該区画の火災評価※	隣接区画の火災評価※
-	-	-

※ ○:火災影響なし ×:火災影響あり

隣接する火災区画と火災伝播経路

(※ 有:伝播する 無:伝播しない)

隣接する 火災区画	火災伝播 経路有無	等価時間 (h)	耐火時間 (h)	火災伝播の 可能性 ※	備考
	無	0.5	3.0	無	
	無	0.5	3.0	無	
	無	0.5	3.0	無	
	無	0.5	3.0	無	
	無	0.5	3.0	無	
	無	0.5	3.0	無	
	無	0.5	3.0	無	
	無	0.5	3.0	無	

火災区域(区画)特性表

1. 火災区域(区画)の説明

建屋名	精製建屋
火災区域/区画区分	火災区画
火災区域/区画番号	■
火災区域/区画名称	第7予備室
床面積(m ²)	■

2. 火災区域(区画)の火災シナリオの説明

■は、精製建屋内の火災区画である。
 本区画は、火災源となるものがないおよび安全上重要な施設が設置されていないため、安全機能の喪失のおそれはない。

3. 火災区域(区画)にある火災源

(1) 等価時間

発熱量(kJ)	火災荷重 (kJ/m ²)	等価時間(h) [※]
■	■	0.5

※ 等価時間は、内部火災影響評価ガイドの等価時間記載の値で示す。

(2) 火災区域(区画)にある火災源機器数

火災源	機器数
電動機(3.7kW超)	-
電気盤(440V以上)	-
ケーブルトレイ(ケーブル)	-
油脂類・有機溶媒等	-
その他	-

4. 火災区域(区画)にある防火設備

火災感知の手段	主要な消火設備	消火方法	消火設備のバックアップ
煙感知器	屋内消火栓	手動	粉末消火器

5. 火災区域(区画)に隣接する火災区域(区画)と火災伝播経路

隣接火災区画への火災伝播経路の詳細は、別紙1参照

6. 火災影響を受ける火災防護対象機器等

機器名称[機器番号]	最重要設備 [※]	最重要設備以外の安全上重要な施設 [※]
-	-	-

※ ○:対象 -:非対象

* 火災想定において、工程停止等により安全機能を必要としない状態へと移行が可能なもの。

7. 火災防護対象機器等の関連ケーブル

機器名称[機器番号]	ケーブル種別	安重分類
-	-	-

8. 最重要設備の安重機能への火災影響

安重分類	全焼時の成功パスの有無	回路評価等の考慮	結果	系統分離※
Pu・高レベル廃棄物の閉じ込め機能	-	-	-	-
崩壊熱除去機能(重要度の高いもの)	-	-	-	-
安全圧縮空気系(水素掃気機能)	-	-	-	-
非常用所内電源系統	-	-	-	-

※ a : 3時間以上の耐火能力を有する耐火壁で分離

b : 水平距離6mによる分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置

c : 1時間の耐火能力を有する隔壁等による分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置
再処理施設成功パスの詳細は、別紙2参照

9. 最重要設備以外の火災防護対象機器等への火災影響

機器名称[機器番号]	当該区画の火災評価※	隣接区画の火災評価※
-	-	-

※ ○:火災影響なし ×:火災影響あり

隣接する火災区画と火災伝播経路

(※ 有:伝播する 無:伝播しない)

隣接する 火災区画	火災伝播 経路有無	等価時間 (h)	耐火時間 (h)	火災伝播の 可能性 ※	備考
	無	0.5	3.0	無	
	有	0.5	0.0	有	
	有	0.5	0.0	有	
	無	0.5	3.0	無	
	有	0.5	0.0	有	
	無	0.5	3.0	無	
	有	0.5	0.0	有	
	有	0.5	0.0	有	

火災区域(区画)特性表

1. 火災区域(区画)の説明

建屋名	精製建屋
火災区域/区画区分	火災区域
火災区域/区画番号	AC-2/
火災区域/区画名称	安全冷却水Cポンプ室
床面積(m ²)	

2. 火災区域(区画)の火災シナリオの説明

AC-2は、精製建屋内の火災区域である。
 本区画には、安全上重要な設備として安全冷却水(カテゴリⅡ)の供給ポンプが設置されている。
 本区画の火災源は、電動機である。
 したがって、本区画の想定火災としては、電動機絶縁物火災により多重化された安全上重要な施設のA/B系の安全冷却水Cポンプが火災影響を受け、安全機能を喪失するおそれがあることから、FDTsにてカテゴリⅡ設備が火災源機器の火災影響範囲にないことを確認しているため、安全機能が完全に喪失することはない。

3. 火災区域(区画)にある火災源

(1) 等価時間

発熱量(kJ)	火災荷重(kJ/m ²)	等価時間(h) [※]
		0.5

※ 等価時間は、内部火災影響評価ガイドの等価時間記載の値で示す。

(2) 火災区域(区画)にある火災源機器数

火災源	機器数
電動機(3.7kW超)	2
電気盤(440V以上)	-
ケーブルトレイ(ケーブル)	-
油脂類・有機溶媒等	-
その他	-

4. 火災区域(区画)にある防火設備

火災感知の手段	主要な消火設備	消火方法	消火設備のバックアップ
煙感知器 熱感知器	粉末消火器	手動	屋内消火栓

5. 火災区域(区画)に隣接する火災区域(区画)と火災伝播経路

隣接火災区画への火災伝播経路の詳細は、別紙1参照

6. 火災影響を受ける火災防護対象機器等

機器名称[機器番号]	最重要設備 [※]	最重要設備以外の安全上重要な施設 [※]
安全冷却水CポンプA	-	○
安全冷却水CポンプB	-	○

※ ○:対象 -:非対象

* 火災想定において、工程停止等により安全機能を必要としない状態へと移行が可能なもの。

7. 火災防護対象機器等の関連ケーブル

機器名称[機器番号]	ケーブル種別	安重分類
-	-	-

8. 最重要設備の安重機能への火災影響

安重分類	全焼時の成功パスの有無	回路評価等の考慮	結果	系統分離※
Pu・高レベル廃棄物の閉じ込め機能	-	-	-	-
崩壊熱除去機能(重要度の高いもの)	-	-	-	-
安全圧縮空気系(水素掃気機能)	-	-	-	-
非常用所内電源系統	-	-	-	-

※ a : 3時間以上の耐火能力を有する耐火壁で分離

b : 水平距離6mによる分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置

c : 1時間の耐火能力を有する隔壁等による分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置
再処理施設成功パスの詳細は、別紙2参照

9. 最重要設備以外の火災防護対象機器等への火災影響

機器名称[機器番号]	当該区画の火災評価※	隣接区画の火災評価※
安全冷却水CポンプA [機器番号]	○	○
安全冷却水CポンプB [機器番号]	○	○

※ ○:火災影響なし ×:火災影響あり

隣接する火災区画と火災伝播経路

(※ 有:伝播する 無:伝播しない)

隣接する 火災区画	火災伝播 経路有無	等価時間 (h)	耐火時間 (h)	火災伝播の 可能性 ※	備考
	無	0.5	3.0	無	
	無	0.5	3.0	無	
	無	0.5	3.0	無	
	無	0.5	3.0	無	
	無	0.5	3.0	無	
	無	0.5	3.0	無	
	無	0.5	3.0	無	
	無	0.5	3.0	無	
	無	0.5	3.0	無	
	無	0.5	3.0	無	

火災区域(区画)特性表

1. 火災区域(区画)の説明

建屋名	精製建屋
火災区域/区画区分	火災区画
火災区域/区画番号	■
火災区域/区画名称	放射性配管分岐第1セル
床面積(m ²)	■

2. 火災区域(区画)の火災シナリオの説明

■は、精製建屋内の火災区画である。
 本区画は、有機溶媒が漏えいした場合、崩壊熱による温度上昇により引火点に到達し、火災の発生可能性があるが、室内の安全上重要な設備が金属等の不燃材で構成され火災影響を受けないことから、安全機能の喪失のおそれがない。

3. 火災区域(区画)にある火災源

(1) 等価時間

発熱量(kJ)	火災荷重 (kJ/m ²)	等価時間(h) [※]
■	■	0.5

※ 等価時間は、内部火災影響評価ガイドの等価時間記載の値で示す。

(2) 火災区域(区画)にある火災源機器数

火災源	機器数
電動機(3.7kW超)	-
電気盤(440V以上)	-
ケーブルトレイ(ケーブル)	-
油脂類・有機溶媒等	-
その他	-

4. 火災区域(区画)にある防火設備

火災感知の手段	主要な消火設備	消火方法	消火設備のバックアップ
セル内温度計 (熱電対) 漏えい検知装置	二酸化炭素消火設備	手動	-

5. 火災区域(区画)に隣接する火災区域(区画)と火災伝播経路

隣接火災区画への火災伝播経路の詳細は、別紙1参照

6. 火災影響を受ける火災防護対象機器等

機器名称[機器番号]	最重要設備 [※]	最重要設備以外の安全上重要な施設 [※]
-	-	-

※ ○:対象 -:非対象

* 火災想定において、工程停止等により安全機能を必要としない状態へと移行が可能なもの。

7. 火災防護対象機器等の関連ケーブル

機器名称[機器番号]	ケーブル種別	安重分類
-	-	-

8. 最重要設備の安重機能への火災影響

安重分類	全焼時の成功パスの有無	回路評価等の考慮	結果	系統分離※
Pu・高レベル廃棄物の閉じ込め機能	-	-	-	-
崩壊熱除去機能(重要度の高いもの)	-	-	-	-
安全圧縮空気系(水素掃気機能)	-	-	-	-
非常用所内電源系統	-	-	-	-

※ a : 3時間以上の耐火能力を有する耐火壁で分離

b : 水平距離6mによる分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置

c : 1時間の耐火能力を有する隔壁等による分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置
再処理施設成功パスの詳細は、別紙2参照

9. 最重要設備以外の火災防護対象機器等への火災影響

機器名称[機器番号]	当該区画の火災評価※	隣接区画の火災評価※
-	-	-

※ ○:火災影響なし ×:火災影響あり

火災区域(区画)特性表

1. 火災区域(区画)の説明

建屋名	精製建屋
火災区域/区画区分	火災区画
火災区域/区画番号	■
火災区域/区画名称	プルトニウム系塔槽類廃ガス洗浄塔セル
床面積(m ²)	■

2. 火災区域(区画)の火災シナリオの説明

■は、精製建屋内の火災区画である。
 本区画は、火災源となるものがないおよび、室内の安全上重要な設備が金属等の不燃材で構成され火災影響を受けないことから、安全機能の喪失のおそれがない。

3. 火災区域(区画)にある火災源

(1) 等価時間

発熱量(kJ)	火災荷重 (kJ/m ²)	等価時間(h) [※]
■	■	0.0

※ 等価時間は、内部火災影響評価ガイドの等価時間記載の値で示す。

(2) 火災区域(区画)にある火災源機器数

火災源	機器数
電動機(3.7kW超)	-
電気盤(440V以上)	-
ケーブルトレイ(ケーブル)	-
油脂類・有機溶媒等	-
その他	-

4. 火災区域(区画)にある防火設備

火災感知の手段	主要な消火設備	消火方法	消火設備のバックアップ
設置除外	設置除外	-	-

5. 火災区域(区画)に隣接する火災区域(区画)と火災伝播経路

隣接火災区画への火災伝播経路の詳細は、別紙1参照

6. 火災影響を受ける火災防護対象機器等

機器名称[機器番号]	最重要設備 [※]	最重要設備以外の安全上重要な施設 [※]
-	-	-

※ ○:対象 -:非対象

* 火災想定において、工程停止等により安全機能を必要としない状態へと移行が可能なもの。

7. 火災防護対象機器等の関連ケーブル

機器名称[機器番号]	ケーブル種別	安重分類
-	-	-

8. 最重要設備の安重機能への火災影響

安重分類	全焼時の成功パスの有無	回路評価等の考慮	結果	系統分離※
Pu・高レベル廃棄物の閉じ込め機能	-	-	-	-
崩壊熱除去機能(重要度の高いもの)	-	-	-	-
安全圧縮空気系(水素掃気機能)	-	-	-	-
非常用所内電源系統	-	-	-	-

※ a : 3時間以上の耐火能力を有する耐火壁で分離

b : 水平距離6mによる分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置

c : 1時間の耐火能力を有する隔壁等による分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置
再処理施設成功パスの詳細は、別紙2参照

9. 最重要設備以外の火災防護対象機器等への火災影響

機器名称[機器番号]	当該区画の火災評価※	隣接区画の火災評価※
-	-	-

※ ○:火災影響なし ×:火災影響あり

隣接する火災区画と火災伝播経路

(※ 有:伝播する 無:伝播しない)

隣接する 火災区画	火災伝播 経路有無	等価時間 (h)	耐火時間 (h)	火災伝播の 可能性 ※	備考
	有	0.0	0.0	無	
	有	0.0	0.0	無	
	無	0.0	3.0	無	
	有	0.0	0.0	無	
	有	0.0	0.0	無	
	有	0.0	0.0	無	
	有	0.0	0.0	無	
	無	0.0	3.0	無	
	有	0.0	0.0	無	
	有	0.0	0.0	無	
	有	0.0	0.0	無	
	無	0.0	3.0	無	

火災区域(区画)特性表

1. 火災区域(区画)の説明

建屋名	精製建屋
火災区域/区画区分	火災区画
火災区域/区画番号	■
火災区域/区画名称	プルトニウム系サンプリングベンチ第1保守室
床面積(m ²)	■

2. 火災区域(区画)の火災シナリオの説明

■は、精製建屋内の火災区画である。
 本区画は、電気盤火災の発生可能性があるが、安全上重要な施設が設置されていないため、安全機能の喪失のおそれはない。

3. 火災区域(区画)にある火災源

(1) 等価時間

発熱量(kJ)	火災荷重 (kJ/m ²)	等価時間(h) [※]
■	■	0.5

※ 等価時間は、内部火災影響評価ガイドの等価時間記載の値で示す。

(2) 火災区域(区画)にある火災源機器数

火災源	機器数
電動機(3.7kW超)	-
電気盤(440V以上)	3
ケーブルトレイ(ケーブル)	-
油脂類・有機溶媒等	-
その他	-

4. 火災区域(区画)にある防火設備

火災感知の手段	主要な消火設備	消火方法	消火設備のバックアップ
煙感知器	屋内消火栓	手動	粉末消火器

5. 火災区域(区画)に隣接する火災区域(区画)と火災伝播経路

隣接火災区画への火災伝播経路の詳細は、別紙1参照

6. 火災影響を受ける火災防護対象機器等

機器名称[機器番号]	最重要設備 [※]	最重要設備以外の安全上重要な施設 [※]
-	-	-

※ ○:対象 -:非対象

* 火災想定において、工程停止等により安全機能を必要としない状態へと移行が可能なもの。

7. 火災防護対象機器等の関連ケーブル

機器名称[機器番号]	ケーブル種別	安重分類
-	-	-

8. 最重要設備の安重機能への火災影響

安重分類	全焼時の成功パスの有無	回路評価等の考慮	結果	系統分離※
Pu・高レベル廃棄物の閉じ込め機能	-	-	-	-
崩壊熱除去機能(重要度の高いもの)	-	-	-	-
安全圧縮空気系(水素掃気機能)	-	-	-	-
非常用所内電源系統	-	-	-	-

※ a : 3時間以上の耐火能力を有する耐火壁で分離

b : 水平距離6mによる分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置

c : 1時間の耐火能力を有する隔壁等による分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置
再処理施設成功パスの詳細は、別紙2参照

9. 最重要設備以外の火災防護対象機器等への火災影響

機器名称[機器番号]	当該区画の火災評価※	隣接区画の火災評価※
-	-	-

※ ○:火災影響なし ×:火災影響あり

隣接する火災区画と火災伝播経路

(※ 有:伝播する 無:伝播しない)

隣接する 火災区画	火災伝播 経路有無	等価時間 (h)	耐火時間 (h)	火災伝播の 可能性 ※	備考
	無	0.5	3.0	無	
	無	0.5	3.0	無	
	有	0.5	0.0	有	
	有	0.5	0.0	有	
	無	0.5	1.0	無	
	有	0.5	0.0	有	
	無	0.5	3.0	無	
	有	0.5	0.0	有	
	有	0.5	0.0	有	
	有	0.5	0.0	有	
	有	0.5	0.0	有	
	有	0.5	0.0	有	

火災区域(区画)特性表

1. 火災区域(区画)の説明

建屋名	精製建屋
火災区域/区画区分	火災区画
火災区域/区画番号	■
火災区域/区画名称	放射性配管分岐第2セル
床面積(m ²)	■

2. 火災区域(区画)の火災シナリオの説明

■は、精製建屋内の火災区画である。
 本区画は、火災源となるものがないおよび、室内の安全上重要な設備が金属等の不燃材で構成され火災影響を受けないことから、安全機能の喪失のおそれがない。

3. 火災区域(区画)にある火災源

(1) 等価時間

発熱量(kJ)	火災荷重(kJ/m ²)	等価時間(h) [※]
■	■	0.0

※ 等価時間は、内部火災影響評価ガイドの等価時間記載の値で示す。

(2) 火災区域(区画)にある火災源機器数

火災源	機器数
電動機(3.7kW超)	-
電気盤(440V以上)	-
ケーブルトレイ(ケーブル)	-
油脂類・有機溶媒等	-
その他	-

4. 火災区域(区画)にある防火設備

火災感知の手段	主要な消火設備	消火方法	消火設備のバックアップ
設置除外	設置除外	-	-

5. 火災区域(区画)に隣接する火災区域(区画)と火災伝播経路

隣接火災区画への火災伝播経路の詳細は、別紙1参照

6. 火災影響を受ける火災防護対象機器等

機器名称[機器番号]	最重要設備 [※]	最重要設備以外の安全上重要な施設 [※]
-	-	-

※ ○:対象 -:非対象

* 火災想定において、工程停止等により安全機能を必要としない状態へと移行が可能なもの。

7. 火災防護対象機器等の関連ケーブル

機器名称[機器番号]	ケーブル種別	安重分類
-	-	-

8. 最重要設備の安重機能への火災影響

安重分類	全焼時の成功パスの有無	回路評価等の考慮	結果	系統分離※
Pu・高レベル廃棄物の閉じ込め機能	-	-	-	-
崩壊熱除去機能(重要度の高いもの)	-	-	-	-
安全圧縮空気系(水素掃気機能)	-	-	-	-
非常用所内電源系統	-	-	-	-

※ a : 3時間以上の耐火能力を有する耐火壁で分離

b : 水平距離6mによる分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置

c : 1時間の耐火能力を有する隔壁等による分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置
再処理施設成功パスの詳細は、別紙2参照

9. 最重要設備以外の火災防護対象機器等への火災影響

機器名称[機器番号]	当該区画の火災評価※	隣接区画の火災評価※
-	-	-

※ ○:火災影響なし ×:火災影響あり

隣接する火災区画と火災伝播経路

(※ 有:伝播する 無:伝播しない)

隣接する 火災区画	火災伝播 経路有無	等価時間 (h)	耐火時間 (h)	火災伝播の 可能性 ※	備考
	有	0.0	0.0	無	
	無	0.0	3.0	無	
	無	0.0	3.0	無	
	無	0.0	3.0	無	
	有	0.0	0.0	無	
	無	0.0	3.0	無	
	有	0.0	0.0	無	
	無	0.0	3.0	無	

火災区域(区画)特性表

1. 火災区域(区画)の説明

建屋名	精製建屋
火災区域/区画区分	火災区画
火災区域/区画番号	■
火災区域/区画名称	第2保守室
床面積(m ²)	■

2. 火災区域(区画)の火災シナリオの説明

■は、精製建屋内の火災区画である。
 本区画は、電動機絶縁物火災、潤滑油漏えい火災または、ケーブルトレイ火災の発生の可能性はあるが、安全上重要な施設が設置されていないため、安全機能の喪失のおそれはない。

3. 火災区域(区画)にある火災源

(1) 等価時間

発熱量(kJ)	火災荷重 (kJ/m ²)	等価時間(h) [※]
■	■	0.5

※ 等価時間は、内部火災影響評価ガイドの等価時間記載の値で示す。

(2) 火災区域(区画)にある火災源機器数

火災源	機器数
電動機(3.7kW超)	3
電気盤(440V以上)	-
ケーブルトレイ(ケーブル)	有
油脂類・有機溶媒等	有
その他	-

4. 火災区域(区画)にある防火設備

火災感知の手段	主要な消火設備	消火方法	消火設備のバックアップ
煙感知器	屋内消火栓	手動	粉末消火器

5. 火災区域(区画)に隣接する火災区域(区画)と火災伝播経路

隣接火災区画への火災伝播経路の詳細は、別紙1参照

6. 火災影響を受ける火災防護対象機器等

機器名称[機器番号]	最重要設備 [※]	最重要設備以外の安全上重要な施設 [※]
-	-	-

※ ○:対象 -:非対象

* 火災想定において、工程停止等により安全機能を必要としない状態へと移行が可能なもの。

7. 火災防護対象機器等の関連ケーブル

機器名称[機器番号]	ケーブル種別	安重分類
-	-	-

8. 最重要設備の安重機能への火災影響

安重分類	全焼時の 成功パスの 有無	回路評価 等の考慮	結果	系統分離※
Pu・高レベル廃棄物の閉じ込め機能	-	-	-	-
崩壊熱除去機能(重要度の高いもの)	-	-	-	-
安全圧縮空気系(水素掃気機能)	-	-	-	-
非常用所内電源系統	-	-	-	-

※ a : 3時間以上の耐火能力を有する耐火壁で分離

b : 水平距離6mによる分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置

c : 1時間の耐火能力を有する隔壁等による分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置
再処理施設成功パスの詳細は、別紙2参照

9. 最重要設備以外の火災防護対象機器等への火災影響

機器名称[機器番号]	当該区画の火災評価※	隣接区画の火災評価※
-	-	-

※ ○:火災影響なし ×:火災影響あり

隣接する火災区画と火災伝播経路

(※ 有:伝播する 無:伝播しない)

隣接する火災区画	火災伝播経路有無	等価時間(h)	耐火時間(h)	火災伝播の可能性※	備考
	有	0.5	0.0	有	
	有	0.5	0.0	有	
	有	0.5	0.0	有	
	有	0.5	0.0	有	
	有	0.5	0.0	有	
	有	0.5	0.0	有	
	有	0.5	0.0	有	
	無	0.5	3.0	無	
	無	0.5	3.0	無	

火災区域(区画)特性表

1. 火災区域(区画)の説明

建屋名	精製建屋
火災区域/区画区分	火災区画
火災区域/区画番号	■
火災区域/区画名称	放射性配管分岐第1セル
床面積(m ²)	■

2. 火災区域(区画)の火災シナリオの説明

■は、精製建屋内の火災区画である。
 本区画は、火災源となるものがないおよび安全上重要な施設が金属等の不燃材で構成され火災影響を受けないことから、安全機能の喪失のおそれがない。

3. 火災区域(区画)にある火災源

(1) 等価時間

発熱量(kJ)	火災荷重 (kJ/m ²)	等価時間(h) [※]
■	■	0.0

※ 等価時間は、内部火災影響評価ガイドの等価時間記載の値で示す。

(2) 火災区域(区画)にある火災源機器数

火災源	機器数
電動機(3.7kW超)	-
電気盤(440V以上)	-
ケーブルトレイ(ケーブル)	-
油脂類・有機溶媒等	-
その他	-

4. 火災区域(区画)にある防火設備

火災感知の手段	主要な消火設備	消火方法	消火設備のバックアップ
セル内温度計 (熱電対) 漏えい検知装置	二酸化炭素消火設備	手動	-

5. 火災区域(区画)に隣接する火災区域(区画)と火災伝播経路

隣接火災区画への火災伝播経路の詳細は、別紙1参照

6. 火災影響を受ける火災防護対象機器等

機器名称[機器番号]	最重要設備 [※]	最重要設備以外の安全上重要な施設 [※]
-	-	-

※ ○:対象 -:非対象

* 火災想定において、工程停止等により安全機能を必要としない状態へと移行が可能なもの。

7. 火災防護対象機器等の関連ケーブル

機器名称[機器番号]	ケーブル種別	安重分類
-	-	-

8. 最重要設備の安重機能への火災影響

安重分類	全焼時の成功パスの有無	回路評価等の考慮	結果	系統分離※
Pu・高レベル廃棄物の閉じ込め機能	-	-	-	-
崩壊熱除去機能(重要度の高いもの)	-	-	-	-
安全圧縮空気系(水素掃気機能)	-	-	-	-
非常用所内電源系統	-	-	-	-

※ a : 3時間以上の耐火能力を有する耐火壁で分離

b : 水平距離6mによる分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置

c : 1時間の耐火能力を有する隔壁等による分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置
再処理施設成功パスの詳細は、別紙2参照

9. 最重要設備以外の火災防護対象機器等への火災影響

機器名称[機器番号]	当該区画の火災評価※	隣接区画の火災評価※
-	-	-

※ ○:火災影響なし ×:火災影響あり

火災区域(区画)特性表

1. 火災区域(区画)の説明

建屋名	精製建屋
火災区域/区画区分	火災区画
火災区域/区画番号	■
火災区域/区画名称	第3保守室
床面積(m ²)	■

2. 火災区域(区画)の火災シナリオの説明

■は、精製建屋内の火災区画である。
 本区画は、火災源となるものがないため、安全上重要な施設のA/B系の設備(6.火災影響を受ける火災防護対象機器等 参照)を喪失させるおそれのある想定火災はない。

3. 火災区域(区画)にある火災源

(1) 等価時間

発熱量(kJ)	火災荷重(kJ/m ²)	等価時間(h) [※]
■	■	0.5

※ 等価時間は、内部火災影響評価ガイドの等価時間記載の値で示す。

(2) 火災区域(区画)にある火災源機器数

火災源	機器数
電動機(3.7kW超)	-
電気盤(440V以上)	-
ケーブルトレイ(ケーブル)	-
油脂類・有機溶媒等	-
その他	-

4. 火災区域(区画)にある防火設備

火災感知の手段	主要な消火設備	消火方法	消火設備のバックアップ
煙感知器	屋内消火栓	手動	粉末消火器

5. 火災区域(区画)に隣接する火災区域(区画)と火災伝播経路 隣接火災区画への火災伝播経路の詳細は、別紙1参照

6. 火災影響を受ける火災防護対象機器等

機器名称[機器番号]	最重要設備 [※]	最重要設備以外の安全上重要な施設 [※]
逆抽出塔溶液加熱しゃ断弁A ■	-	○*
逆抽出塔溶液加熱しゃ断弁B ■	-	○*

※ ○:対象 -:非対象

* 火災想定において、工程停止等により安全機能を必要としない状態へと移行が可能なもの。

7. 火災防護対象機器等の関連ケーブル

機器名称[機器番号]	ケーブル種別	安重分類
-	-	-

8. 最重要設備の安重機能への火災影響

安重分類	全焼時の成功パスの有無	回路評価等の考慮	結果	系統分離※
Pu・高レベル廃棄物の閉じ込め機能	-	-	-	-
崩壊熱除去機能(重要度の高いもの)	-	-	-	-
安全圧縮空気系(水素掃気機能)	-	-	-	-
非常用所内電源系統	-	-	-	-

※ a : 3時間以上の耐火能力を有する耐火壁で分離

b : 水平距離6mによる分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置

c : 1時間の耐火能力を有する隔壁等による分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置
再処理施設成功パスの詳細は、別紙2参照

9. 最重要設備以外の火災防護対象機器等への火災影響

機器名称[機器番号]	当該区画の火災評価※	隣接区画の火災評価※
-	-	-

※ ○:火災影響なし ×:火災影響あり

隣接する火災区画と火災伝播経路

(※ 有:伝播する 無:伝播しない)

隣接する 火災区画	火災伝播 経路有無	等価時間 (h)	耐火時間 (h)	火災伝播の 可能性 ※	備考
	有	0.5	0.0	有	
	無	0.5	3.0	無	
	無	0.5	3.0	無	
	無	0.5	3.0	無	
	無	0.5	3.0	無	
	無	0.5	3.0	無	
	無	0.5	3.0	無	

火災区域(区画)特性表

1. 火災区域(区画)の説明

建屋名	精製建屋
火災区域/区画区分	火災区画
火災区域/区画番号	■
火災区域/区画名称	第4保守室
床面積(m ²)	■

2. 火災区域(区画)の火災シナリオの説明

■は、精製建屋内の火災区画である。
 本区画は、火災源となるものがないおよび安全上重要な施設が設置されていないため、安全機能の喪失のおそれはない。

3. 火災区域(区画)にある火災源

(1) 等価時間

発熱量(kJ)	火災荷重 (kJ/m ²)	等価時間(h) [※]
■	■	0.5

※ 等価時間は、内部火災影響評価ガイドの等価時間記載の値で示す。

(2) 火災区域(区画)にある火災源機器数

火災源	機器数
電動機(3.7kW超)	-
電気盤(440V以上)	-
ケーブルトレイ(ケーブル)	-
油脂類・有機溶媒等	-
その他	-

4. 火災区域(区画)にある防火設備

火災感知の手段	主要な消火設備	消火方法	消火設備のバックアップ
煙感知器	屋内消火栓	手動	粉末消火器

5. 火災区域(区画)に隣接する火災区域(区画)と火災伝播経路

隣接火災区画への火災伝播経路の詳細は、別紙1参照

6. 火災影響を受ける火災防護対象機器等

機器名称[機器番号]	最重要設備 [※]	最重要設備以外の安全上重要な施設 [※]
-	-	-

※ ○:対象 -:非対象

* 火災想定において、工程停止等により安全機能を必要としない状態へと移行が可能なもの。

7. 火災防護対象機器等の関連ケーブル

機器名称[機器番号]	ケーブル種別	安重分類
-	-	-

8. 最重要設備の安重機能への火災影響

安重分類	全焼時の成功パスの有無	回路評価等の考慮	結果	系統分離※
Pu・高レベル廃棄物の閉じ込め機能	-	-	-	-
崩壊熱除去機能(重要度の高いもの)	-	-	-	-
安全圧縮空気系(水素掃気機能)	-	-	-	-
非常用所内電源系統	-	-	-	-

※ a : 3時間以上の耐火能力を有する耐火壁で分離

b : 水平距離6mによる分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置

c : 1時間の耐火能力を有する隔壁等による分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置
再処理施設成功パスの詳細は、別紙2参照

9. 最重要設備以外の火災防護対象機器等への火災影響

機器名称[機器番号]	当該区画の火災評価※	隣接区画の火災評価※
-	-	-

※ ○:火災影響なし ×:火災影響あり

隣接する火災区画と火災伝播経路

(※ 有:伝播する 無:伝播しない)

隣接する 火災区画	火災伝播 経路有無	等価時間 (h)	耐火時間 (h)	火災伝播の 可能性 ※	備考
	有	0.5	0.0	有	
	無	0.5	3.0	無	
	無	0.5	3.0	無	
	有	0.5	0.0	有	
	有	0.5	0.0	有	
	有	0.5	0.0	有	

火災区域(区画)特性表

1. 火災区域(区画)の説明

建屋名	精製建屋
火災区域/区画区分	火災区画
火災区域/区画番号	■
火災区域/区画名称	プルトニウム溶液一時貯槽セル
床面積(m ²)	■

2. 火災区域(区画)の火災シナリオの説明

■は、精製建屋内の火災区画である。
 本区画は、火災源となるものがないおよび、室内の安全上重要な設備が金属等の不燃材で構成され火災影響を受けないことから、安全機能の喪失のおそれがない。

3. 火災区域(区画)にある火災源

(1) 等価時間

発熱量(kJ)	火災荷重(kJ/m ²)	等価時間(h) [※]
■	■	0.0

※ 等価時間は、内部火災影響評価ガイドの等価時間記載の値で示す。

(2) 火災区域(区画)にある火災源機器数

火災源	機器数
電動機(3.7kW超)	-
電気盤(440V以上)	-
ケーブルトレイ(ケーブル)	-
油脂類・有機溶媒等	-
その他	-

4. 火災区域(区画)にある防火設備

火災感知の手段	主要な消火設備	消火方法	消火設備のバックアップ
設置除外	設置除外	-	-

5. 火災区域(区画)に隣接する火災区域(区画)と火災伝播経路

隣接火災区画への火災伝播経路の詳細は、別紙1参照

6. 火災影響を受ける火災防護対象機器等

機器名称[機器番号]	最重要設備 [※]	最重要設備以外の安全上重要な施設 [※]
-	-	-

※ ○:対象 -:非対象

* 火災想定において、工程停止等により安全機能を必要としない状態へと移行が可能なもの。

7. 火災防護対象機器等の関連ケーブル

機器名称[機器番号]	ケーブル種別	安重分類
-	-	-

8. 最重要設備の安重機能への火災影響

安重分類	全焼時の成功パスの有無	回路評価等の考慮	結果	系統分離※
Pu・高レベル廃棄物の閉じ込め機能	-	-	-	-
崩壊熱除去機能(重要度の高いもの)	-	-	-	-
安全圧縮空気系(水素掃気機能)	-	-	-	-
非常用所内電源系統	-	-	-	-

※ a : 3時間以上の耐火能力を有する耐火壁で分離

b : 水平距離6mによる分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置

c : 1時間の耐火能力を有する隔壁等による分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置
再処理施設成功パスの詳細は、別紙2参照

9. 最重要設備以外の火災防護対象機器等への火災影響

機器名称[機器番号]	当該区画の火災評価※	隣接区画の火災評価※
-	-	-

※ ○:火災影響なし ×:火災影響あり

隣接する火災区画と火災伝播経路

(※ 有:伝播する 無:伝播しない)

隣接する 火災区画	火災伝播 経路有無	等価時間 (h)	耐火時間 (h)	火災伝播の 可能性 ※	備考
	無	0.0	3.0	無	
	有	0.0	0.0	無	
	無	0.0	3.0	無	
	無	0.0	3.0	無	
	有	0.0	0.0	無	
	無	0.0	3.0	無	
	有	0.0	0.0	無	

火災区域(区画)特性表

1. 火災区域(区画)の説明

建屋名	精製建屋
火災区域/区画区分	火災区画
火災区域/区画番号	■
火災区域/区画名称	油水分離槽セル
床面積(m ²)	■

2. 火災区域(区画)の火災シナリオの説明

■は、精製建屋内の火災区画である。
 本区画は、火災源となるものがないおよび、室内の安全上重要な設備が金属等の不燃材で構成され火災影響を受けないことから、安全機能の喪失のおそれがない。

3. 火災区域(区画)にある火災源

(1) 等価時間

発熱量(kJ)	火災荷重(kJ/m ²)	等価時間(h) [※]
■	■	0.0

※ 等価時間は、内部火災影響評価ガイドの等価時間記載の値で示す。

(2) 火災区域(区画)にある火災源機器数

火災源	機器数
電動機(3.7kW超)	-
電気盤(440V以上)	-
ケーブルトレイ(ケーブル)	-
油脂類・有機溶媒等	-
その他	-

4. 火災区域(区画)にある防火設備

火災感知の手段	主要な消火設備	消火方法	消火設備のバックアップ
設置除外	設置除外	-	-

5. 火災区域(区画)に隣接する火災区域(区画)と火災伝播経路

隣接火災区画への火災伝播経路の詳細は、別紙1参照

6. 火災影響を受ける火災防護対象機器等

機器名称[機器番号]	最重要設備 [※]	最重要設備以外の安全上重要な施設 [※]
-	-	-

※ ○:対象 -:非対象

* 火災想定において、工程停止等により安全機能を必要としない状態へと移行が可能なもの。

7. 火災防護対象機器等の関連ケーブル

機器名称[機器番号]	ケーブル種別	安重分類
-	-	-

8. 最重要設備の安重機能への火災影響

安重分類	全焼時の成功パスの有無	回路評価等の考慮	結果	系統分離※
Pu・高レベル廃棄物の閉じ込め機能	-	-	-	-
崩壊熱除去機能(重要度の高いもの)	-	-	-	-
安全圧縮空気系(水素掃気機能)	-	-	-	-
非常用所内電源系統	-	-	-	-

※ a : 3時間以上の耐火能力を有する耐火壁で分離

b : 水平距離6mによる分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置

c : 1時間の耐火能力を有する隔壁等による分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置
再処理施設成功パスの詳細は、別紙2参照

9. 最重要設備以外の火災防護対象機器等への火災影響

機器名称[機器番号]	当該区画の火災評価※	隣接区画の火災評価※
-	-	-

※ ○:火災影響なし ×:火災影響あり

隣接する火災区画と火災伝播経路

(※ 有:伝播する 無:伝播しない)

隣接する 火災区画	火災伝播 経路有無	等価時間 (h)	耐火時間 (h)	火災伝播の 可能性 ※	備考
	無	0.0	3.0	無	
	無	0.0	3.0	無	
	無	0.0	3.0	無	
	無	0.0	3.0	無	
	無	0.0	3.0	無	
	無	0.0	3.0	無	
	無	0.0	3.0	無	

火災区域(区画)特性表

1. 火災区域(区画)の説明

建屋名	精製建屋
火災区域/区画区分	火災区画
火災区域/区画番号	■
火災区域/区画名称	第5保守室
床面積(m ²)	■

2. 火災区域(区画)の火災シナリオの説明

■は、精製建屋内の火災区画である。
 本区画は、火災源となるものがないおよび安全上重要な施設が設置されていないため、安全機能の喪失のおそれはない。

3. 火災区域(区画)にある火災源

(1) 等価時間

発熱量(kJ)	火災荷重 (kJ/m ²)	等価時間(h) [※]
■	■	0.5

※ 等価時間は、内部火災影響評価ガイドの等価時間記載の値で示す。

(2) 火災区域(区画)にある火災源機器数

火災源	機器数
電動機(3.7kW超)	-
電気盤(440V以上)	-
ケーブルトレイ(ケーブル)	-
油脂類・有機溶媒等	-
その他	-

4. 火災区域(区画)にある防火設備

火災感知の手段	主要な消火設備	消火方法	消火設備のバックアップ
煙感知器	屋内消火栓	手動	粉末消火器

5. 火災区域(区画)に隣接する火災区域(区画)と火災伝播経路

隣接火災区画への火災伝播経路の詳細は、別紙1参照

6. 火災影響を受ける火災防護対象機器等

機器名称[機器番号]	最重要設備 [※]	最重要設備以外の安全上重要な施設 [※]
-	-	-

※ ○:対象 -:非対象

* 火災想定において、工程停止等により安全機能を必要としない状態へと移行が可能なもの。

7. 火災防護対象機器等の関連ケーブル

機器名称[機器番号]	ケーブル種別	安重分類
-	-	-

8. 最重要設備の安重機能への火災影響

安重分類	全焼時の成功パスの有無	回路評価等の考慮	結果	系統分離※
Pu・高レベル廃棄物の閉じ込め機能	-	-	-	-
崩壊熱除去機能(重要度の高いもの)	-	-	-	-
安全圧縮空気系(水素掃気機能)	-	-	-	-
非常用所内電源系統	-	-	-	-

※ a : 3時間以上の耐火能力を有する耐火壁で分離

b : 水平距離6mによる分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置

c : 1時間の耐火能力を有する隔壁等による分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置
再処理施設成功パスの詳細は、別紙2参照

9. 最重要設備以外の火災防護対象機器等への火災影響

機器名称[機器番号]	当該区画の火災評価※	隣接区画の火災評価※
-	-	-

※ ○:火災影響なし ×:火災影響あり

隣接する火災区画と火災伝播経路

(※ 有:伝播する 無:伝播しない)

隣接する 火災区画	火災伝播 経路有無	等価時間 (h)	耐火時間 (h)	火災伝播の 可能性 ※	備考
	無	0.5	3.0	無	
	無	0.5	3.0	無	
	有	0.5	0.0	有	
	無	0.5	3.0	無	
	有	0.5	0.0	有	
	有	0.5	0.0	有	
	有	0.5	0.0	有	
	有	0.5	0.0	有	

火災区域(区画)特性表

1. 火災区域(区画)の説明

建屋名	精製建屋
火災区域/区画区分	火災区画
火災区域/区画番号	■
火災区域/区画名称	プルトニウム濃縮缶セル
床面積(m ²)	■

2. 火災区域(区画)の火災シナリオの説明

■は、精製建屋内の火災区画である。
 本区画は、火災源となるものがないおよび、室内の安全上重要な設備が金属等の不燃材で構成され火災影響を受けないことから、安全機能の喪失のおそれがない。

3. 火災区域(区画)にある火災源

(1) 等価時間

発熱量(kJ)	火災荷重(kJ/m ²)	等価時間(h) [※]
■	■	0.0

※ 等価時間は、内部火災影響評価ガイドの等価時間記載の値で示す。

(2) 火災区域(区画)にある火災源機器数

火災源	機器数
電動機(3.7kW超)	-
電気盤(440V以上)	-
ケーブルトレイ(ケーブル)	-
油脂類・有機溶媒等	-
その他	-

4. 火災区域(区画)にある防火設備

火災感知の手段	主要な消火設備	消火方法	消火設備のバックアップ
設置除外	設置除外	-	-

5. 火災区域(区画)に隣接する火災区域(区画)と火災伝播経路

隣接火災区画への火災伝播経路の詳細は、別紙1参照

6. 火災影響を受ける火災防護対象機器等

機器名称[機器番号]	最重要設備 [※]	最重要設備以外の安全上重要な施設 [※]
-	-	-

※ ○:対象 -:非対象

* 火災想定において、工程停止等により安全機能を必要としない状態へと移行が可能なもの。

7. 火災防護対象機器等の関連ケーブル

機器名称[機器番号]	ケーブル種別	安重分類
-	-	-

8. 最重要設備の安重機能への火災影響

安重分類	全焼時の成功パスの有無	回路評価等の考慮	結果	系統分離※
Pu・高レベル廃棄物の閉じ込め機能	-	-	-	-
崩壊熱除去機能(重要度の高いもの)	-	-	-	-
安全圧縮空気系(水素掃気機能)	-	-	-	-
非常用所内電源系統	-	-	-	-

※ a : 3時間以上の耐火能力を有する耐火壁で分離

b : 水平距離6mによる分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置

c : 1時間の耐火能力を有する隔壁等による分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置
再処理施設成功パスの詳細は、別紙2参照

9. 最重要設備以外の火災防護対象機器等への火災影響

機器名称[機器番号]	当該区画の火災評価※	隣接区画の火災評価※
-	-	-

※ ○:火災影響なし ×:火災影響あり

隣接する火災区画と火災伝播経路

(※ 有:伝播する 無:伝播しない)

隣接する火災区画	火災伝播経路有無	等価時間(h)	耐火時間(h)	火災伝播の可能性※	備考
	無	0.0	3.0	無	
	有	0.0	0.0	無	
	無	0.0	3.0	無	
	有	0.0	0.0	無	
	有	0.0	0.0	無	
	有	0.0	0.0	無	
	有	0.0	0.0	無	
	無	0.0	3.0	無	
	無	0.0	3.0	無	
	無	0.0	3.0	無	
	有	0.0	0.0	無	
	無	0.0	3.0	無	

火災区域(区画)特性表

1. 火災区域(区画)の説明

建屋名	精製建屋
火災区域/区画区分	火災区画
火災区域/区画番号	■
火災区域/区画名称	プルトニウム濃縮缶予備セル
床面積(m ²)	■

2. 火災区域(区画)の火災シナリオの説明

■は、精製建屋内の火災区画である。
 本区画は、火災源となるものがないおよび安全上重要な施設が設置されていないため、安全機能の喪失のおそれはない。

3. 火災区域(区画)にある火災源

(1) 等価時間

発熱量(kJ)	火災荷重(kJ/m ²)	等価時間(h) [※]
■	■	0.0

※ 等価時間は、内部火災影響評価ガイドの等価時間記載の値で示す。

(2) 火災区域(区画)にある火災源機器数

火災源	機器数
電動機(3.7kW超)	-
電気盤(440V以上)	-
ケーブルトレイ(ケーブル)	-
油脂類・有機溶媒等	-
その他	-

4. 火災区域(区画)にある防火設備

火災感知の手段	主要な消火設備	消火方法	消火設備のバックアップ
設置除外	設置除外	-	-

5. 火災区域(区画)に隣接する火災区域(区画)と火災伝播経路

隣接火災区画への火災伝播経路の詳細は、別紙1参照

6. 火災影響を受ける火災防護対象機器等

機器名称[機器番号]	最重要設備 [※]	最重要設備以外の安全上重要な施設 [※]
-	-	-

※ ○:対象 -:非対象

* 火災想定において、工程停止等により安全機能を必要としない状態へと移行が可能なもの。

7. 火災防護対象機器等の関連ケーブル

機器名称[機器番号]	ケーブル種別	安重分類
-	-	-

8. 最重要設備の安重機能への火災影響

安重分類	全焼時の 成功パスの 有無	回路評価 等の考慮	結果	系統分離※
Pu・高レベル廃棄物の閉じ込め機能	-	-	-	-
崩壊熱除去機能(重要度の高いもの)	-	-	-	-
安全圧縮空気系(水素掃気機能)	-	-	-	-
非常用所内電源系統	-	-	-	-

※ a : 3時間以上の耐火能力を有する耐火壁で分離

b : 水平距離6mによる分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置

c : 1時間の耐火能力を有する隔壁等による分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置
再処理施設成功パスの詳細は、別紙2参照

9. 最重要設備以外の火災防護対象機器等への火災影響

機器名称[機器番号]	当該区画の火災評価※	隣接区画の火災評価※
-	-	-

※ ○:火災影響なし ×:火災影響あり

隣接する火災区画と火災伝播経路

(※ 有:伝播する 無:伝播しない)

隣接する 火災区画	火災伝播 経路有無	等価時間 (h)	耐火時間 (h)	火災伝播の 可能性 ※	備考
	有	0.0	0.0	無	
	有	0.0	0.0	無	
	有	0.0	0.0	無	
	有	0.0	0.0	無	
	無	0.0	3.0	無	
	有	0.0	0.0	無	
	無	0.0	3.0	無	
	無	0.0	3.0	無	
	無	0.0	3.0	無	
	無	0.0	3.0	無	
	無	0.0	3.0	無	
	無	0.0	3.0	無	
	無	0.0	3.0	無	
	有	0.0	0.0	無	
	無	0.0	3.0	無	

火災区域(区画)特性表

1. 火災区域(区画)の説明

建屋名	精製建屋
火災区域／区画区分	火災区画
火災区域／区画番号	■
火災区域／区画名称	凝縮液受槽セル
床面積(m ²)	■

2. 火災区域(区画)の火災シナリオの説明

■は、精製建屋内の火災区画である。
 本区画は、火災源となるものがないおよび、室内の安全上重要な設備が金属等の不燃材で構成され火災影響を受けないことから、安全機能の喪失のおそれがない。

3. 火災区域(区画)にある火災源

(1) 等価時間

発熱量(kJ)	火災荷重(kJ/m ²)	等価時間(h) [※]
■	■	0.0

※ 等価時間は、内部火災影響評価ガイドの等価時間記載の値で示す。

(2) 火災区域(区画)にある火災源機器数

火災源	機器数
電動機(3.7kW超)	-
電気盤(440V以上)	-
ケーブルトレイ(ケーブル)	-
油脂類・有機溶媒等	-
その他	-

4. 火災区域(区画)にある防火設備

火災感知の手段	主要な消火設備	消火方法	消火設備のバックアップ
設置除外	設置除外	-	-

5. 火災区域(区画)に隣接する火災区域(区画)と火災伝播経路

隣接火災区画への火災伝播経路の詳細は、別紙1参照

6. 火災影響を受ける火災防護対象機器等

機器名称[機器番号]	最重要設備 [※]	最重要設備以外の安全上重要な施設 [※]
-	-	-

※ ○:対象 -:非対象

* 火災想定において、工程停止等により安全機能を必要としない状態へと移行が可能なもの。

7. 火災防護対象機器等の関連ケーブル

機器名称[機器番号]	ケーブル種別	安重分類
-	-	-

8. 最重要設備の安重機能への火災影響

安重分類	全焼時の 成功パスの 有無	回路評価 等の考慮	結果	系統分離※
Pu・高レベル廃棄物の閉じ込め機能	-	-	-	-
崩壊熱除去機能(重要度の高いもの)	-	-	-	-
安全圧縮空気系(水素掃気機能)	-	-	-	-
非常用所内電源系統	-	-	-	-

※ a : 3時間以上の耐火能力を有する耐火壁で分離

b : 水平距離6mによる分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置

c : 1時間の耐火能力を有する隔壁等による分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置
再処理施設成功パスの詳細は、別紙2参照

9. 最重要設備以外の火災防護対象機器等への火災影響

機器名称[機器番号]	当該区画の火災評価※	隣接区画の火災評価※
-	-	-

※ ○:火災影響なし ×:火災影響あり

隣接する火災区画と火災伝播経路

(※ 有:伝播する 無:伝播しない)

隣接する火災区画	火災伝播経路有無	等価時間(h)	耐火時間(h)	火災伝播の可能性※	備考
	有	0.0	0.0	無	
	有	0.0	0.0	無	
	有	0.0	0.0	無	
	有	0.0	0.0	無	
	有	0.0	0.0	無	
	有	0.0	0.0	無	
	無	0.0	3.0	無	
	無	0.0	3.0	無	
	無	0.0	3.0	無	
	有	0.0	0.0	無	

火災区域(区画)特性表

1. 火災区域(区画)の説明

建屋名	精製建屋
火災区域/区画区分	火災区画
火災区域/区画番号	■
火災区域/区画名称	第5サブチェンジングルーム
床面積(m ²)	■

2. 火災区域(区画)の火災シナリオの説明

■は、精製建屋内の火災区画である。
 本区画は、電気盤火災の発生可能性があるが、安全上重要な施設が設置されていないため、安全機能の喪失のおそれはない。

3. 火災区域(区画)にある火災源

(1) 等価時間

発熱量(kJ)	火災荷重 (kJ/m ²)	等価時間(h) [※]
■	■	0.5

※ 等価時間は、内部火災影響評価ガイドの等価時間記載の値で示す。

(2) 火災区域(区画)にある火災源機器数

火災源	機器数
電動機(3.7kW超)	-
電気盤(440V以上)	1
ケーブルトレイ(ケーブル)	-
油脂類・有機溶媒等	-
その他	-

4. 火災区域(区画)にある防火設備

火災感知の手段	主要な消火設備	消火方法	消火設備のバックアップ
煙感知器	屋内消火栓	手動	粉末消火器

5. 火災区域(区画)に隣接する火災区域(区画)と火災伝播経路

隣接火災区画への火災伝播経路の詳細は、別紙1参照

6. 火災影響を受ける火災防護対象機器等

機器名称[機器番号]	最重要設備 [※]	最重要設備以外の安全上重要な施設 [※]
-	-	-

※ ○:対象 -:非対象

* 火災想定において、工程停止等により安全機能を必要としない状態へと移行が可能なもの。

7. 火災防護対象機器等の関連ケーブル

機器名称[機器番号]	ケーブル種別	安重分類
-	-	-

8. 最重要設備の安重機能への火災影響

安重分類	全焼時の成功パスの有無	回路評価等の考慮	結果	系統分離※
Pu・高レベル廃棄物の閉じ込め機能	-	-	-	-
崩壊熱除去機能(重要度の高いもの)	-	-	-	-
安全圧縮空気系(水素掃気機能)	-	-	-	-
非常用所内電源系統	-	-	-	-

※ a : 3時間以上の耐火能力を有する耐火壁で分離

b : 水平距離6mによる分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置

c : 1時間の耐火能力を有する隔壁等による分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置
再処理施設成功パスの詳細は、別紙2参照

9. 最重要設備以外の火災防護対象機器等への火災影響

機器名称[機器番号]	当該区画の火災評価※	隣接区画の火災評価※
-	-	-

※ ○:火災影響なし ×:火災影響あり

隣接する火災区画と火災伝播経路

(※ 有:伝播する 無:伝播しない)

隣接する 火災区画	火災伝播 経路有無	等価時間 (h)	耐火時間 (h)	火災伝播の 可能性 ※	備考
	無	0.5	3.0	無	
	有	0.5	0.0	有	
	無	0.5	3.0	無	
	無	0.5	3.0	無	
	無	0.5	3.0	無	
	有	0.5	0.0	有	

火災区域(区画)特性表

1. 火災区域(区画)の説明

建屋名	精製建屋
火災区域/区画区分	火災区画
火災区域/区画番号	■
火災区域/区画名称	プルトニウム濃縮液ポンプA用グローブボックス室
床面積(m ²)	■

2. 火災区域(区画)の火災シナリオの説明

■は、精製建屋内の火災区域である。
 本区画は、火災源となる設備がないおよび、室内の安全上重要な設備が金属等の不燃材および難燃性にて構成され火災影響を受けないことから、安全機能の喪失のおそれがない。

3. 火災区域(区画)にある火災源

(1) 等価時間

発熱量(kJ)	火災荷重 (kJ/m ²)	等価時間(h) [※]
■	■	0.5

※ 等価時間は、内部火災影響評価ガイドの等価時間記載の値で示す。

(2) 火災区域(区画)にある火災源機器数

火災源	機器数
電動機(3.7kW超)	-
電気盤(440V以上)	-
ケーブルトレイ(ケーブル)	-
油脂類・有機溶媒等	-
その他	-

4. 火災区域(区画)にある防火設備

火災感知の手段	主要な消火設備	消火方法	消火設備のバックアップ
煙感知器	屋内消火栓	手動	粉末消火器

5. 火災区域(区画)に隣接する火災区域(区画)と火災伝播経路

隣接火災区画への火災伝播経路の詳細は、別紙1参照

6. 火災影響を受ける火災防護対象機器等

機器名称[機器番号]	最重要設備 [※]	最重要設備以外の安全上重要な施設 [※]
-	-	-

※ ○:対象 -:非対象

* 火災想定において、工程停止等により安全機能を必要としない状態へと移行が可能なもの。

7. 火災防護対象機器等の関連ケーブル

機器名称[機器番号]	ケーブル種別	安重分類
-	-	-

8. 最重要設備の安重機能への火災影響

安重分類	全焼時の成功パスの有無	回路評価等の考慮	結果	系統分離※
Pu・高レベル廃棄物の閉じ込め機能	-	-	-	-
崩壊熱除去機能(重要度の高いもの)	-	-	-	-
安全圧縮空気系(水素掃気機能)	-	-	-	-
非常用所内電源系統	-	-	-	-

※ a : 3時間以上の耐火能力を有する耐火壁で分離

b : 水平距離6mによる分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置

c : 1時間の耐火能力を有する隔壁等による分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置
再処理施設成功パスの詳細は、別紙2参照

9. 最重要設備以外の火災防護対象機器等への火災影響

機器名称[機器番号]	当該区画の火災評価※	隣接区画の火災評価※
-	-	-

※ ○:火災影響なし ×:火災影響あり

隣接する火災区画と火災伝播経路

(※ 有:伝播する 無:伝播しない)

隣接する 火災区画	火災伝播 経路有無	等価時間 (h)	耐火時間 (h)	火災伝播の 可能性 ※	備考
	無	0.5	3.0	無	
	無	0.5	3.0	無	
	無	0.5	3.0	無	
	無	0.5	3.0	無	
	無	0.5	3.0	無	
	無	0.5	3.0	無	
	無	0.5	3.0	無	
	無	0.5	3.0	無	
	無	0.5	3.0	無	
	無	0.5	3.0	無	

火災区域(区画)特性表

1. 火災区域(区画)の説明

建屋名	精製建屋
火災区域/区画区分	火災区域
火災区域/区画番号	AC-3/
火災区域/区画名称	安全冷却水Bポンプ室
床面積(m ²)	

2. 火災区域(区画)の火災シナリオの説明

AC-3は、精製建屋内の火災区域である。
 本区域は、火災源となるものがないため、安全上重要な施設のB系の設備(6.火災影響を受ける火災防護対象機器等 参照)の安全機能を喪失させるおそれのある想定火災はない。

3. 火災区域(区画)にある火災源

(1) 等価時間

発熱量(kJ)	火災荷重 (kJ/m ²)	等価時間(h) [※]
		0.5

※ 等価時間は、内部火災影響評価ガイドの等価時間記載の値で示す。

(2) 火災区域(区画)にある火災源機器数

火災源	機器数
電動機(3.7kW超)	-
電気盤(440V以上)	-
ケーブルトレイ(ケーブル)	-
油脂類・有機溶媒等	-
その他	-

4. 火災区域(区画)にある防火設備

火災感知の手段	主要な消火設備	消火方法	消火設備のバックアップ
煙感知器 熱感知器	粉末消火器	手動	屋内消火栓

5. 火災区域(区画)に隣接する火災区域(区画)と火災伝播経路 隣接火災区画への火災伝播経路の詳細は、別紙1参照

6. 火災影響を受ける火災防護対象機器等

機器名称[機器番号]	最重要設備 [※]	最重要設備以外の安全上重要な施設 [※]
安全冷却水BポンプA	○	-
安全冷却水BポンプB	○	-

※ ○:対象 -:非対象

* 火災想定において、工程停止等により安全機能を必要としない状態へと移行が可能なもの。

7. 火災防護対象機器等の関連ケーブル

機器名称[機器番号]	ケーブル種別	安重分類
-	-	-

8. 最重要設備の安重機能への火災影響

安重分類	全焼時の 成功パスの 有無	回路評価 等の考慮	結果	系統分離※
Pu・高レベル廃棄物の閉じ込め機能	-	-	-	-
崩壊熱除去機能(重要度の高いもの)	有	-	○	-
安全圧縮空気系(水素掃気機能)	-	-	-	-
非常用所内電源系統	-	-	-	-

※ a : 3時間以上の耐火能力を有する耐火壁で分離

b : 水平距離6mによる分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置

c : 1時間の耐火能力を有する隔壁等による分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置
再処理施設成功パスの詳細は、別紙2参照

9. 最重要設備以外の火災防護対象機器等への火災影響

機器名称[機器番号]	当該区画の火災評価※	隣接区画の火災評価※
-	-	-

※ ○:火災影響なし ×:火災影響あり

隣接する火災区画と火災伝播経路

(※ 有:伝播する 無:伝播しない)

隣接する 火災区画	火災伝播 経路有無	等価時間 (h)	耐火時間 (h)	火災伝播の 可能性 ※	備考
	無	0.5	3.0	無	
	無	0.5	3.0	無	
	無	0.5	3.0	無	
	無	0.5	3.0	無	
	無	0.5	3.0	無	
	無	0.5	3.0	無	

再処理施設成功パス一覧表

建屋	精製建屋	安全冷却水Bポンプ室
区域(区画)番号/名称		
1.放射性物質の閉じ込め機能(動的な閉じ込め機能)		
	【Aトレン設備】	【Bトレン設備】
前処理建屋 せん断処理・溶解廃ガス処理設備	排風機A	前処理建屋 せん断処理・溶解廃ガス処理設備
	排風機C	排風機B
前処理建屋 塔槽類廃ガス処理設備	排風機A	前処理建屋 塔槽類廃ガス処理設備
前処理建屋換気設備 溶解セル等からの排気系	セル排風機A	前処理建屋換気設備 溶解セル等からの排気系
	溶解槽セルA排風機A	セル排風機B
	溶解槽セルB排風機A	溶解槽セルA排風機B
高レベル廃液ガラス固化建屋 高レベル廃液ガラス固化廃ガス処理設備	第1排風機A	高レベル廃液ガラス固化建屋 高レベル廃液ガラス固化廃ガス処理設備
	第2排風機A	第1排風機B
高レベル廃液ガラス固化建屋 塔槽類廃ガス処理設備 高レベル濃縮廃液廃ガス処理系	排風機A	高レベル廃液ガラス固化建屋 塔槽類廃ガス処理設備 高レベル濃縮廃液廃ガス処理系
高レベル廃液ガラス固化建屋 塔槽類廃ガス処理設備 不溶解残渣廃液廃ガス処理系	排風機A	高レベル廃液ガラス固化建屋 塔槽類廃ガス処理設備 不溶解残渣廃液廃ガス処理系
高レベル濃縮廃液貯槽セル等からの排気系固化セル換気系及び固化セル圧力放出系	セル排風機A	高レベル濃縮廃液貯槽セル等からの排気系固化セル換気系及び固化セル圧力放出系
	固化セル換気系排風機A	セル排風機B
分離建屋 塔槽類廃ガス処理設備バルセータ廃ガス処理系	排風機A	分離建屋 塔槽類廃ガス処理設備バルセータ廃ガス処理系
分離建屋 塔槽類廃ガス処理設備 塔槽類廃ガス処理系	排風機A	分離建屋 塔槽類廃ガス処理設備 塔槽類廃ガス処理系
分離建屋換気設備 プルトニウム溶液中間貯槽セル等からの排気系	グローブボックス・セル排風機A	分離建屋換気設備 プルトニウム溶液中間貯槽セル等からの排気系
精製建屋 塔槽類廃ガス処理設備バルセータ廃ガス処理系	排風機A	精製建屋 塔槽類廃ガス処理設備バルセータ廃ガス処理系
精製建屋 塔槽類廃ガス処理設備 塔槽類廃ガス処理系(プルトニウム系)	排風機A	精製建屋 塔槽類廃ガス処理設備 塔槽類廃ガス処理系(プルトニウム系)
精製建屋換気設備 プルトニウム濃縮缶セル等及びグローブボックス等からの排気系	グローブボックス・セル排風機A	精製建屋換気設備 プルトニウム濃縮缶セル等及びグローブボックス等からの排気系
ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋 塔槽類廃ガス処理設備	第1排風機A	ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋 塔槽類廃ガス処理設備
	第2排風機A	第1排風機B
	第2排風機C	第2排風機B
ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋 硝酸プルトニウム貯槽セル等及びグローブボックス等からの排気系	グローブボックス・セル排風機A	ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋 硝酸プルトニウム貯槽セル等及びグローブボックス等からの排気系
	グローブボックス・セル排風機C	グローブボックス・セル排風機B
-		-
1パス	-	
回路評価等	-	
成功パス	-	

凡例	
x	〇〇〇〇-〇〇〇 〇〇〇A
	〇〇〇〇-〇〇〇 〇〇〇〇A
x : 当該室の火災により安全機能を喪失する機器がある場合	
空欄 : 当該室に設置していない機器	
1パス	- : 当該室に対象なし ○ : 当該室の火災により対応する安全機能が1系統残る場合 x : 当該室の火災により対応する安全機能がすべて喪失する場合
回路評価等	- : 当該室に回路評価等を行う対象なし ○ : 回路評価等により、対応する安全機能が確保される場合
成功パス	- : 当該室に対象なし ○ : 当該室の火災により対応する安全機能が1系統残る場合 x : 当該室の火災により対応する安全機能がすべて喪失する場合

再処理施設成功パス一覧表

2.崩壊熱除去機能			
		【Aトレ設備】	【Bトレ設備】
冷却設備	安全冷却水系		冷却設備 安全冷却水系
	安全冷却水A冷却塔		安全冷却水B冷却塔
前処理建屋	冷却設備 安全冷却水系		前処理建屋 冷却設備 安全冷却水系
	安全冷却水A循環ポンプA		安全冷却水B循環ポンプA
	安全冷却水A循環ポンプB		安全冷却水B循環ポンプB
	安全冷却水1AポンプA		安全冷却水1BポンプA
	安全冷却水1AポンプB		安全冷却水1BポンプB
分離建屋	冷却設備 安全冷却水系		分離建屋 冷却設備 安全冷却水系
	冷却水循環ポンプA		冷却水循環ポンプC
	冷却水循環ポンプB		冷却水循環ポンプD
	安全冷却水1AポンプA		安全冷却水1BポンプA
	安全冷却水1AポンプB		安全冷却水1BポンプB
精製建屋	冷却設備 安全冷却水系		精製建屋 冷却設備 安全冷却水系
	安全冷却水AポンプA	×	安全冷却水BポンプA
	安全冷却水AポンプB	×	安全冷却水BポンプB
ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋	冷却設備 安全冷却水系		ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋 冷却設備 安全冷却水系
	冷水移送ポンプA		冷水移送ポンプC
	冷水移送ポンプB		冷水移送ポンプD
高レベル廃液ガラス固化建屋	冷却設備 安全冷却水系		高レベル廃液ガラス固化建屋 冷却設備 安全冷却水系
	第1高レベル濃縮廃液貯槽冷却水AポンプA		第1高レベル濃縮廃液貯槽冷却水BポンプA
	第1高レベル濃縮廃液貯槽冷却水AポンプB		第1高レベル濃縮廃液貯槽冷却水BポンプB
	第2高レベル濃縮廃液貯槽冷却水AポンプA		第2高レベル濃縮廃液貯槽冷却水BポンプA
	第2高レベル濃縮廃液貯槽冷却水AポンプB		第2高レベル濃縮廃液貯槽冷却水BポンプB
	安全冷却水A系ポンプA		安全冷却水B系ポンプA
	安全冷却水A系ポンプB		安全冷却水B系ポンプB
	高レベル廃液共用貯槽冷却水AポンプA		高レベル廃液共用貯槽冷却水BポンプA
	高レベル廃液共用貯槽冷却水AポンプB		高レベル廃液共用貯槽冷却水BポンプB
	安全冷却水A系ポンプA		安全冷却水B系ポンプA
	安全冷却水A系ポンプB		安全冷却水B系ポンプB
	安全冷水A冷却器冷媒膨張弁A		安全冷水B冷却器冷媒膨張弁A
	安全冷水A冷却器冷媒膨張弁B		安全冷水B冷却器冷媒膨張弁B
	安全冷水A冷却器冷媒止弁A		安全冷水B冷却器冷媒止弁A
	安全冷水A冷却器冷媒止弁B		安全冷水B冷却器冷媒止弁B
	安全冷却水1AポンプA		安全冷却水1BポンプA
	安全冷却水1AポンプB		安全冷却水1BポンプB
	安全冷水AポンプA		安全冷水BポンプA
	安全冷水AポンプB		安全冷水BポンプB
	安全冷水A冷凍機		安全冷水B冷凍機
	スクルー圧縮機		スクルー圧縮機
	スクルー圧縮機		スクルー圧縮機
ウラン・プルトニウム混合酸化物貯蔵建屋換気設備貯蔵室排気系			ウラン・プルトニウム混合酸化物貯蔵建屋換気設備貯蔵室排気系
	貯蔵室排風機A		貯蔵室排風機C
	貯蔵室排風機B		貯蔵室排風機D
-			×
	1パス	○	
	回路評価等	-	
	成功パス	○	

3.安全圧縮空気系(水素掃気機能)			
		【Aトレ設備】	【Bトレ設備】
安全圧縮空気系			安全圧縮空気系
	安全空気圧縮装置A		安全空気圧縮装置B
	安全空気圧縮装置C		安全空気圧縮装置C
-			
	1パス	-	
	回路評価等	-	
	成功パス	-	

再処理施設成功パス一覧表

4.非常用所内電源系統(支援機能)		【Aトレン設備】	【Bトレン設備】
非常用電源建屋冷却水設備			
	8111A-C20	冷却塔A	8111B-C20
	8111A-P2010	冷却水循環ポンプA	8111B-P2010
非常用電源建屋の電気設備			
	GA-M/C-A	6.9kV非常用メタクラA	GA-M/C-B
	GA-MCC-A	460V非常用コントロールセンタA	GA-MCC-B
	8111A-X10	ディーゼル機関A	8111B-X10
	8111A-X11	同期発電機A	8111B-X11
	8111A-P4011	燃料油移送ポンプA	8111B-P4011
	GA-BAT-A	110V第2非常用蓄電池A	GA-BAT-B
	GA-CHG-A	110V非常用充電器盤A	GA-CHG-B
	GA-DCD-A	110V非常用直流主分電盤A	GA-DCD-B
	GA-CHG-E	110V非常用予備充電器盤E	GA-CHG-E
	GA-E-K011A	非常用電気設備リレー盤A1	GA-E-K013B
	GA-E-K012A	非常用電気設備リレー盤A2	GA-E-K014B
	8111A-V40	燃料油貯蔵タンク1A	8111B-V40
	8111A-V41	燃料油貯蔵タンク2A	8111B-V41
	GA-E-M011A	第2非常用ディーゼル発電機A制御盤	GA-E-M012B
	GA-PTR-A	非常用動力用変圧器A	GA-PTR-B
	8111A-V42	燃料油サービスタングA	8111B-V42
	8111A-F4210	燃料油第1フィルタA	8111B-F4210
	8111A-F4230	燃料油第2フィルタA	8111B-F4230
	GA-E-S011A	第2非常用ディーゼル発電機ターニング現場盤A	GA-E-S012B
	GA-E-U011A	第2非常用ディーゼル発電機CT盤A	GA-E-U012B
	GA-I-K011A	ユーティリティ工程 安全系A制御盤(リレー盤)	GA-I-K012B
制御建屋の電気設備			
	AG-M/C-A	6.9kV非常用メタクラA	AG-M/C-B
	AG-P/C-A	460V非常用パワーセンタA	AG-P/C-B
	AG-MCC-A1	460V非常用コントロールセンタA1	AG-MCC-B1
	AG-MCC-A2	460V非常用コントロールセンタA2	AG-MCC-B2
	AG-I-F201A	前処理建屋 安全系A監視制御盤	AG-I-F202B
	AG-I-F203A	分離建屋 安全系A監視制御盤	AG-I-F204B
	AG-I-F205A	精製建屋 安全系A監視制御盤	AG-I-F206B
	AG-I-F211A	ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋 安全系A監視制御盤	AG-I-F212B
	AG-I-F213A	高レベル廃液ガラス固化建屋 安全系A監視制御盤	AG-I-F214B
	AG-BAT-A1	110V第2非常用蓄電池A1	AG-BAT-B1
	AG-BAT-A2	220V第2非常用蓄電池A2	AG-BAT-B2
	AG-CHG-A	110V非常用充電器盤A	AG-CHG-B
	AG-CHG-E	110V非常用予備充電器盤E	AG-CHG-E
	AG-DCD-A	110V非常用直流主分電盤A	AG-DCD-B
	AG-UPS-A	105V非常用無停電電源装置A	AG-UPS-B
	AG-UPD-A	105V非常用無停電交流主分電盤A	AG-UPD-B
前処理建屋の電気設備			
	AA-M/C-A	6.9kV非常用メタクラA	AA-M/C-B
	AA-P/C-A	460V非常用パワーセンタA	AA-P/C-B
	AA-MCC-A1	460V非常用コントロールセンタA1	AA-MCC-B1
	AA-MCC-A2	460V非常用コントロールセンタA2	AA-MCC-B2
	AA-MCC-A3	460V非常用コントロールセンタA3	
	AA-BAT-A	110V第2非常用蓄電池A	AA-BAT-B
	AA-CHG-A	110V非常用充電器盤A	AA-CHG-B
	AA-CHG-E	110V非常用予備充電器盤E	AA-CHG-E
	AA-DCD-A	110V非常用直流主分電盤A	AA-DCD-B
	AA-UPS-A	105V非常用無停電電源装置A	AA-UPS-B
	AA-UPD-A	105V非常用無停電交流主分電盤A	AA-UPD-B
	AA-I-M171A	圧縮空気設備 安全空気脱湿装置A現場監視制御盤	AA-I-M172B
	AA-I-M166A	圧縮空気設備 安全空気圧縮装置A現場監視制御盤	AA-I-M167B
	AA-I-M176A	圧縮空気設備 安全空気圧縮装置C現場制御回路分離盤A	AA-I-M177B
	AA-I-M169C	圧縮空気設備 安全空気圧縮装置C現場制御電源切換盤	AA-I-M169C
	AA-I-M168C	圧縮空気設備 安全空気圧縮装置C現場監視制御盤	AA-I-M168C
	AA-I-K701A	よう素除去工程排風機A制御盤	AA-I-K702B
	AA-I-K703C	よう素除去工程排風機C制御盤	AA-I-K703C
	AA-I-X710C	よう素除去工程 C系統電源切替盤	AA-I-X710C
	AA-I-J012A	ユーティリティ工程 安全系A制御盤1(リレー盤2)	AA-I-J062B
	AA-I-J013A	ユーティリティ工程 安全系A制御盤2(リレー盤3)	AA-I-J063B
	AA-I-J031A	よう素除去工程 安全系A制御盤1	AA-I-J081B
	AA-I-J032A	よう素除去工程 安全系A制御盤2	AA-I-J082B
	AA-I-J033A	よう素除去工程 安全系A制御盤3	AA-I-J083B
	AA-LPD-A2	溶解槽セルA排風機A極数変換盤	AA-LPD-B2
	AA-LPD-A3	溶解槽セルB排風機A極数変換盤	AA-LPD-B3
	AA-LPD-A21	セル排風機A極数変換盤	AA-LPD-B21
分離建屋の非常用所内電源系統			
	AB-P/C-A	460V非常用パワーセンタA	AB-P/C-B
	AB-MCC-A	460V非常用コントロールセンタA	AB-MCC-B
	AB-CHG-A	110V非常用充電器盤A	AB-CHG-B
	AB-CHG-E	110V非常用予備充電器盤E	AB-CHG-E
	AB-BAT-A	110V第2非常用蓄電池A	AB-BAT-B
	AB-DCD-A	110V非常用直流主分電盤A	AB-DCD-B
	AB-UPS-A	105V非常用無停電電源装置A	AB-UPS-B
	AB-UPD-A1	105V非常用無停電交流主分電盤A1	AB-UPD-B1
	AB-UPD-A2	105V非常用無停電交流主分電盤A2	AB-UPD-B2
	AB-I-J180A	ユーティリティ工程 安全系A制御盤1	AB-I-J183B
	AB-I-J181A	ユーティリティ工程 安全系A制御盤2	AB-I-J184B
	AB-I-J182A	ユーティリティ工程 安全系A制御盤3	AB-I-J185B
	AB-I-J033A	分離・分配工程 安全系A制御盤1	AB-I-J036B
	AB-I-J034A	分離・分配工程 安全系A制御盤2	AB-I-J037B
	AB-I-J035A	分離・分配工程 安全系A制御盤3	AB-I-J038B
	AB-V-J100A	建屋換気設備 安全系A制御盤	AB-V-J101B
	1パス	-	
	回路評価等	-	
	成功パス	-	

再処理施設成功パス一覧表

4. 支援機能(続き)		【Aトレン設備】	【Bトレン設備】
精製建屋の電気設備			精製建屋の電気設備
AC-BAT-A	110V第2非常用蓄電池A		AC-BAT-B 110V第2非常用蓄電池B
AC-CHG-A	110V非常用充電器盤A		AC-CHG-B 110V非常用充電器盤B
AC-CHG-E	110V非常用予備充電器盤E		AC-CHG-E 110V非常用予備充電器盤E
AC-DCD-A	110V非常用直流主分電盤A		AC-DCD-B 110V非常用直流主分電盤B
AC-MCC-A1	460V非常用コントロールセンタA1		AC-MCC-B1 460V非常用コントロールセンタB1
AC-MCC-A2	460V非常用コントロールセンタA2		AC-MCC-B2 460V非常用コントロールセンタB2
AC-P/C-A	460V非常用パワーセンタA		AC-P/C-B 460V非常用パワーセンタB
AC-UPD-A	105V非常用無停電交流主分電盤A		AC-UPD-B 105V非常用無停電交流主分電盤B
AC-UPS-A	105V非常用無停電電源装置A		AC-UPS-B 105V非常用無停電電源装置B
AC-I-J451A	ユーティリティ工程 安全系A制御盤(リレー盤)		AC-I-J461B ユーティリティ工程 安全系B制御盤(リレー盤)
AC-E-J452A	非常用電気設備リレー盤A		AC-E-J462B 非常用電気設備リレー盤B
AC-V-J453A	建屋換気設備安全系A制御盤		AC-V-J463B 建屋換気設備安全系B制御盤
AC-I-J752A	プルトニウム精製工程 安全系A 制御盤3		AC-I-J755B プルトニウム精製工程 安全系B 制御盤3
ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋の非常用所内電源系統			ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋の非常用所内電源系統
CA-P/C-A	460V非常用パワーセンタA		CA-P/C-B 460V非常用パワーセンタB
CA-MCC-A1	460V非常用コントロールセンタA1		CA-MCC-B1 460V非常用コントロールセンタB1
CA-MCC-A2	460V非常用コントロールセンタA2		CA-MCC-B2 460V非常用コントロールセンタB2
CA-M/C-A	6.9kV非常用メタクラA		CA-M/C-B 6.9kV非常用メタクラB
CA-E-K503A	非常用電気設備リレー盤A		CA-E-K603B 非常用電気設備リレー盤B
CA-I-J501A	安全系A制御盤		CA-I-J601B 安全系B制御盤
CA-V-J502A	建屋換気設備安全系A制御盤		CA-V-J602B 建屋換気設備安全系B制御盤
CA-CHG-A	110V非常用充電器盤A		CA-CHG-B 110V非常用充電器盤B
CA-CHG-E	110V非常用予備充電器盤E		CA-CHG-E 110V非常用予備充電器盤E
CA-DCD-A	110V非常用直流主分電盤A		CA-DCD-B 110V非常用直流主分電盤B
CA-UPD-A	105V非常用無停電交流主分電盤A		CA-UPD-B 105V非常用無停電交流主分電盤B
CA-UPS-A	105V非常用無停電電源装置A		CA-UPS-B 105V非常用無停電電源装置B
CA-BAT-A	110V第2非常用蓄電池A		CA-BAT-B 110V第2非常用蓄電池B
ウラン・プルトニウム混合酸化物貯蔵建屋の非常用所内電源系統			ウラン・プルトニウム混合酸化物貯蔵建屋の非常用所内電源系統
CB-P/C-A	460V非常用パワーセンタA		CB-P/C-B 460V非常用パワーセンタB
CB-E-J101A	非常用電気設備リレー盤A		CB-E-J102B 非常用電気設備リレー盤B
CA-V-J001A	建屋換気設備安全系A制御盤		CA-V-J002B 建屋換気設備安全系B制御盤
CB-BAT-A	110V第2非常用蓄電池A		CB-BAT-B 110V第2非常用蓄電池B
CB-CHG-A	110V非常用充電器盤A		CB-CHG-B 110V非常用充電器盤B
CB-DCD-A	110V非常用直流主分電盤A		CB-DCD-B 110V非常用直流主分電盤B
CB-MCC-A	460V非常用コントロールセンタA		CB-MCC-B 460V非常用コントロールセンタB
CB-UPS-A	105V非常用無停電電源装置A		CB-UPS-B 105V非常用無停電電源装置B
CB-CHG-E	110V非常用予備充電器盤E		CB-CHG-E 110V非常用予備充電器盤E
高レベル廃液ガラス固化建屋の電気設備			高レベル廃液ガラス固化建屋の電気設備
KA-P/C-A	460V非常用パワーセンタA		KA-P/C-B 460V非常用パワーセンタB
KA-BAT-A	110V第2非常用蓄電池A		KA-BAT-B 110V第2非常用蓄電池B
KA-CHG-A	110V非常用充電器盤A		KA-CHG-B 110V非常用充電器盤B
KA-CHG-E	110V非常用予備充電器盤E		KA-CHG-E 110V非常用予備充電器盤E
KA-DCD-A	110V非常用直流主分電盤A		KA-DCD-B 110V非常用直流主分電盤B
KA-UPS-A	105V非常用無停電電源装置A		KA-UPS-B 105V非常用無停電電源装置B
KA-UPD-A	105V非常用無停電交流主分電盤A		KA-UPD-B 105V非常用無停電交流主分電盤B
KA-ACS-A	105V非常用計測交流電源盤A		KA-ACS-B 105V非常用計測交流電源盤B
KA-ACD-A	105V非常用計測交流主分電盤A		KA-ACD-B 105V非常用計測交流主分電盤B
KA-MCC-A1	460V非常用コントロールセンタA1		KA-MCC-B1 460V非常用コントロールセンタB1
KA-MCC-A2	460V非常用コントロールセンタA2		KA-MCC-B2 460V非常用コントロールセンタB2
KA-I-K224A	高レベル廃液ガラス固化廃ガス処理設備第1排風機A安全系Aインバータ制御盤		KA-I-K225B 高レベル廃液ガラス固化廃ガス処理設備第1排風機B安全系Bインバータ制御盤
KA-I-K226A	高レベル廃液ガラス固化廃ガス処理設備第2排風機A安全系Aインバータ制御盤		KA-I-K227B 高レベル廃液ガラス固化廃ガス処理設備第2排風機B安全系Bインバータ制御盤
KA-I-K073A	固化セル換気系排風機A安全系Aインバータ制御盤		KA-I-K074B 固化セル換気系排風機B安全系Bインバータ制御盤
KA-E-K001A	非常用電気設備リレー盤A		KA-E-K002B 非常用電気設備リレー盤B
KA-I-J501A	高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系A制御盤1		KA-I-J521B 高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系B制御盤1
KA-I-J502A	高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系A制御盤2		KA-I-J522B 高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系B制御盤2
KA-I-J503A	高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系A制御盤3		KA-I-J523B 高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系B制御盤3
KA-I-J504A	高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系A制御盤4		KA-I-J524B 高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系B制御盤4
KA-I-J505A	高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系A制御盤5		KA-I-J525B 高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系B制御盤5
KA-I-J506A	高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系A制御盤6		KA-I-J526B 高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系B制御盤6
KA-I-J507A	高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系A制御盤7		KA-I-J527B 高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系B制御盤7
KA-I-J508A	高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系A制御盤8		KA-I-J528B 高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系B制御盤8
KA-I-J511A	安全系A アレスタ盤		KA-I-J531B 安全系B アレスタ盤
KA-I-J512A	高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系A制御盤(リレー盤1)		KA-I-J532B 高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系B制御盤(リレー盤1)
KA-I-J513A	高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系A制御盤(リレー盤2)		KA-I-J533B 高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系B制御盤(リレー盤2)
KA-I-J514A	高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系A制御盤(リレー盤3)		KA-I-J534B 高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系B制御盤(リレー盤3)
KA-I-M331A	冷凍機 安全系A監視制御盤		KA-I-M322B 冷凍機 安全系B監視制御盤
KA-I-K334A	冷却水・冷水設備 安全系A 制御盤1		KA-I-K338B 冷却水・冷水設備 安全系B 制御盤1
KA-I-K335A	冷却水・冷水設備 安全系A 制御盤2		KA-I-K339B 冷却水・冷水設備 安全系B 制御盤2
-			-
1パス	-		
回路評価等	-		
成功パス	-		

火災区域(区画)特性表

1. 火災区域(区画)の説明

建屋名	精製建屋
火災区域/区画区分	火災区画
火災区域/区画番号	■
火災区域/区画名称	蒸気発生器第2室
床面積(m ²)	■

2. 火災区域(区画)の火災シナリオの説明

■は、精製建屋内の火災区画である。
 本区画は、火災源となるものがないおよび安全上重要な施設が設置されていないため、安全機能の喪失のおそれはない。

3. 火災区域(区画)にある火災源

(1) 等価時間

発熱量(kJ)	火災荷重 (kJ/m ²)	等価時間(h) [※]
■	■	0.5

※ 等価時間は、内部火災影響評価ガイドの等価時間記載の値で示す。

(2) 火災区域(区画)にある火災源機器数

火災源	機器数
電動機(3.7kW超)	-
電気盤(440V以上)	-
ケーブルトレイ(ケーブル)	-
油脂類・有機溶媒等	-
その他	-

4. 火災区域(区画)にある防火設備

火災感知の手段	主要な消火設備	消火方法	消火設備のバックアップ
煙感知器	屋内消火栓	手動	粉末消火器

5. 火災区域(区画)に隣接する火災区域(区画)と火災伝播経路

隣接火災区画への火災伝播経路の詳細は、別紙1参照

6. 火災影響を受ける火災防護対象機器等

機器名称[機器番号]	最重要設備 [※]	最重要設備以外の安全上重要な施設 [※]
-	-	-

※ ○:対象 -:非対象

* 火災想定において、工程停止等により安全機能を必要としない状態へと移行が可能なもの。

7. 火災防護対象機器等の関連ケーブル

機器名称[機器番号]	ケーブル種別	安重分類
-	-	-

8. 最重要設備の安重機能への火災影響

安重分類	全焼時の 成功パスの 有無	回路評価 等の考慮	結果	系統分離※
Pu・高レベル廃棄物の閉じ込め機能	-	-	-	-
崩壊熱除去機能(重要度の高いもの)	-	-	-	-
安全圧縮空気系(水素掃気機能)	-	-	-	-
非常用所内電源系統	-	-	-	-

※ a : 3時間以上の耐火能力を有する耐火壁で分離

b : 水平距離6mによる分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置

c : 1時間の耐火能力を有する隔壁等による分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置
再処理施設成功パスの詳細は、別紙2参照

9. 最重要設備以外の火災防護対象機器等への火災影響

機器名称[機器番号]	当該区画の火災評価※	隣接区画の火災評価※
-	-	-

※ ○:火災影響なし ×:火災影響あり

隣接する火災区画と火災伝播経路

(※ 有:伝播する 無:伝播しない)

隣接する 火災区画	火災伝播 経路有無	等価時間 (h)	耐火時間 (h)	火災伝播の 可能性 ※	備考
[Redacted]	無	0.5	3.0	無	
	無	0.5	3.0	無	
	有	0.5	0.0	有	
	有	0.5	0.0	有	
	無	0.5	3.0	無	
	無	0.5	3.0	無	
	有	0.5	0.0	有	
	有	0.5	0.0	有	
	有	0.5	0.0	有	
	有	0.5	0.0	有	
	有	0.5	0.0	有	

火災区域(区画)特性表

1. 火災区域(区画)の説明

建屋名	精製建屋
火災区域/区画区分	火災区画
火災区域/区画番号	■
火災区域/区画名称	ウラン系サンプリングベンチ第2セル
床面積(m ²)	■

2. 火災区域(区画)の火災シナリオの説明

■は、精製建屋内の火災区画である。
 本区画は、火災源となるものがないおよび安全上重要な施設が設置されていないため、安全機能の喪失のおそれはない。

3. 火災区域(区画)にある火災源

(1) 等価時間

発熱量(kJ)	火災荷重 (kJ/m ²)	等価時間(h) [※]
■	■	0.0

※ 等価時間は、内部火災影響評価ガイドの等価時間記載の値で示す。

(2) 火災区域(区画)にある火災源機器数

火災源	機器数
電動機(3.7kW超)	-
電気盤(440V以上)	-
ケーブルトレイ(ケーブル)	-
油脂類・有機溶媒等	-
その他	-

4. 火災区域(区画)にある防火設備

火災感知の手段	主要な消火設備	消火方法	消火設備のバックアップ
設置除外	設置除外	-	-

5. 火災区域(区画)に隣接する火災区域(区画)と火災伝播経路

隣接火災区画への火災伝播経路の詳細は、別紙1参照

6. 火災影響を受ける火災防護対象機器等

機器名称[機器番号]	最重要設備 [※]	最重要設備以外の安全上重要な施設 [※]
-	-	-

※ ○:対象 -:非対象

* 火災想定において、工程停止等により安全機能を必要としない状態へと移行が可能なもの。

7. 火災防護対象機器等の関連ケーブル

機器名称[機器番号]	ケーブル種別	安重分類
-	-	-

8. 最重要設備の安重機能への火災影響

安重分類	全焼時の 成功パスの 有無	回路評価 等の考慮	結果	系統分離※
Pu・高レベル廃棄物の閉じ込め機能	-	-	-	-
崩壊熱除去機能(重要度の高いもの)	-	-	-	-
安全圧縮空気系(水素掃気機能)	-	-	-	-
非常用所内電源系統	-	-	-	-

※ a : 3時間以上の耐火能力を有する耐火壁で分離

b : 水平距離6mによる分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置

c : 1時間の耐火能力を有する隔壁等による分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置
再処理施設成功パスの詳細は、別紙2参照

9. 最重要設備以外の火災防護対象機器等への火災影響

機器名称[機器番号]	当該区画の火災評価※	隣接区画の火災評価※
-	-	-

※ ○:火災影響なし ×:火災影響あり

隣接する火災区画と火災伝播経路

(※ 有:伝播する 無:伝播しない)

隣接する 火災区画	火災伝播 経路有無	等価時間 (h)	耐火時間 (h)	火災伝播の 可能性 ※	備考
	無	0.0	3.0	無	
	有	0.0	0.0	無	
	無	0.0	3.0	無	
	有	0.0	0.0	無	
	有	0.0	0.0	無	
	有	0.0	0.0	無	

火災区域(区画)特性表

1. 火災区域(区画)の説明

建屋名	精製建屋
火災区域/区画区分	火災区画
火災区域/区画番号	■
火災区域/区画名称	凝縮液ポンプ室
床面積(m ²)	■

2. 火災区域(区画)の火災シナリオの説明

■は、精製建屋内の火災区画である。
 本区画は、電動機絶縁物火災の発生可能性があるが、安全上重要な施設が設置されていないため、安全機能の喪失のおそれはない。

3. 火災区域(区画)にある火災源

(1) 等価時間

発熱量(kJ)	火災荷重(kJ/m ²)	等価時間(h) [※]
■	■	0.5

※ 等価時間は、内部火災影響評価ガイドの等価時間記載の値で示す。

(2) 火災区域(区画)にある火災源機器数

火災源	機器数
電動機(3.7kW超)	6
電気盤(440V以上)	-
ケーブルトレイ(ケーブル)	-
油脂類・有機溶媒等	-
その他	-

4. 火災区域(区画)にある防火設備

火災感知の手段	主要な消火設備	消火方法	消火設備のバックアップ
煙感知器	屋内消火栓	手動	粉末消火器

5. 火災区域(区画)に隣接する火災区域(区画)と火災伝播経路

隣接火災区画への火災伝播経路の詳細は、別紙1参照

6. 火災影響を受ける火災防護対象機器等

機器名称[機器番号]	最重要設備 [※]	最重要設備以外の安全上重要な施設 [※]
-	-	-

※ ○:対象 -:非対象

* 火災想定において、工程停止等により安全機能を必要としない状態へと移行が可能なもの。

7. 火災防護対象機器等の関連ケーブル

機器名称[機器番号]	ケーブル種別	安重分類
-	-	-

8. 最重要設備の安重機能への火災影響

安重分類	全焼時の 成功パスの 有無	回路評価 等の考慮	結果	系統分離※
Pu・高レベル廃棄物の閉じ込め機能	-	-	-	-
崩壊熱除去機能(重要度の高いもの)	-	-	-	-
安全圧縮空気系(水素掃気機能)	-	-	-	-
非常用所内電源系統	-	-	-	-

※ a : 3時間以上の耐火能力を有する耐火壁で分離

b : 水平距離6mによる分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置

c : 1時間の耐火能力を有する隔壁等による分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置
再処理施設成功パスの詳細は、別紙2参照

9. 最重要設備以外の火災防護対象機器等への火災影響

機器名称[機器番号]	当該区画の火災評価※	隣接区画の火災評価※
-	-	-

※ ○:火災影響なし ×:火災影響あり

隣接する火災区画と火災伝播経路

(※ 有:伝播する 無:伝播しない)

隣接する 火災区画	火災伝播 経路有無	等価時間 (h)	耐火時間 (h)	火災伝播の 可能性 ※	備考
[Redacted]	無	0.5	3.0	無	
	無	0.5	3.0	無	
	無	0.5	3.0	無	
	無	0.5	3.0	無	
	無	0.5	3.0	無	
	無	0.5	3.0	無	
	無	0.5	3.0	無	
	無	0.5	3.0	無	
	無	0.5	3.0	無	
	無	0.5	3.0	無	

火災区域(区画)特性表

1. 火災区域(区画)の説明

建屋名	精製建屋
火災区域/区画区分	火災区画
火災区域/区画番号	■
火災区域/区画名称	回収溶媒受槽ポンプ室
床面積(m ²)	■

2. 火災区域(区画)の火災シナリオの説明

■は、精製建屋内の火災区画である。
 本区画は、電動機絶縁物火災の発生可能性があるが、安全上重要な施設が設置されていないため、安全機能の喪失のおそれはない。

3. 火災区域(区画)にある火災源

(1) 等価時間

発熱量(kJ)	火災荷重 (kJ/m ²)	等価時間(h) [※]
■	■	0.5

※ 等価時間は、内部火災影響評価ガイドの等価時間記載の値で示す。

(2) 火災区域(区画)にある火災源機器数

火災源	機器数
電動機(3.7kW超)	4
電気盤(440V以上)	-
ケーブルトレイ(ケーブル)	-
油脂類・有機溶媒等	-
その他	-

4. 火災区域(区画)にある防火設備

火災感知の手段	主要な消火設備	消火方法	消火設備のバックアップ
煙感知器	屋内消火栓	手動	粉末消火器

5. 火災区域(区画)に隣接する火災区域(区画)と火災伝播経路 隣接火災区画への火災伝播経路の詳細は、別紙1参照

6. 火災影響を受ける火災防護対象機器等

機器名称[機器番号]	最重要設備 [※]	最重要設備以外の安全上重要な施設 [※]
-	-	-

※ ○:対象 -:非対象

* 火災想定において、工程停止等により安全機能を必要としない状態へと移行が可能なもの。

7. 火災防護対象機器等の関連ケーブル

機器名称[機器番号]	ケーブル種別	安重分類
-	-	-

8. 最重要設備の安重機能への火災影響

安重分類	全焼時の成功パスの有無	回路評価等の考慮	結果	系統分離※
Pu・高レベル廃棄物の閉じ込め機能	-	-	-	-
崩壊熱除去機能(重要度の高いもの)	-	-	-	-
安全圧縮空気系(水素掃気機能)	-	-	-	-
非常用所内電源系統	-	-	-	-

※ a : 3時間以上の耐火能力を有する耐火壁で分離

b : 水平距離6mによる分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置

c : 1時間の耐火能力を有する隔壁等による分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置
再処理施設成功パスの詳細は、別紙2参照

9. 最重要設備以外の火災防護対象機器等への火災影響

機器名称[機器番号]	当該区画の火災評価※	隣接区画の火災評価※
-	-	-

※ ○:火災影響なし ×:火災影響あり

隣接する火災区画と火災伝播経路

(※ 有:伝播する 無:伝播しない)

隣接する火災区画	火災伝播経路有無	等価時間(h)	耐火時間(h)	火災伝播の可能性※	備考
	無	0.5	3.0	無	
	無	0.5	3.0	無	
	無	0.5	3.0	無	
	無	0.5	3.0	無	
	無	0.5	3.0	無	
	無	0.5	3.0	無	
	無	0.5	3.0	無	
	無	0.5	3.0	無	
	無	0.5	3.0	無	
	無	0.5	3.0	無	

火災区域(区画)特性表

1. 火災区域(区画)の説明

建屋名	精製建屋
火災区域/区画区分	火災区画
火災区域/区画番号	■
火災区域/区画名称	回収溶媒中間貯槽室
床面積(m ²)	■

2. 火災区域(区画)の火災シナリオの説明

■は、精製建屋内の火災区画である。
 本区画は、火災源となるものがないおよび安全上重要な施設が設置されていないため、安全機能の喪失のおそれはない。

3. 火災区域(区画)にある火災源

(1) 等価時間

発熱量(kJ)	火災荷重 (kJ/m ²)	等価時間(h) [※]
■	■	>9

※ 等価時間は、内部火災影響評価ガイドの等価時間記載の値で示す。

(2) 火災区域(区画)にある火災源機器数

火災源	機器数
電動機(3.7kW超)	-
電気盤(440V以上)	-
ケーブルトレイ(ケーブル)	-
油脂類・有機溶媒等	-
その他	-

4. 火災区域(区画)にある防火設備

火災感知の手段	主要な消火設備	消火方法	消火設備のバックアップ
セル内温度計 (熱電対) 漏えい検知装置	二酸化炭素消火設備	手動	-

5. 火災区域(区画)に隣接する火災区域(区画)と火災伝播経路

隣接火災区画への火災伝播経路の詳細は、別紙1参照

6. 火災影響を受ける火災防護対象機器等

機器名称[機器番号]	最重要設備 [※]	最重要設備以外の安全上重要な施設 [※]
-	-	-

※ ○:対象 -:非対象

* 火災想定において、工程停止等により安全機能を必要としない状態へと移行が可能なもの。

7. 火災防護対象機器等の関連ケーブル

機器名称[機器番号]	ケーブル種別	安重分類
-	-	-

8. 最重要設備の安重機能への火災影響

安重分類	全焼時の成功パスの有無	回路評価等の考慮	結果	系統分離※
Pu・高レベル廃棄物の閉じ込め機能	-	-	-	-
崩壊熱除去機能(重要度の高いもの)	-	-	-	-
安全圧縮空気系(水素掃気機能)	-	-	-	-
非常用所内電源系統	-	-	-	-

※ a : 3時間以上の耐火能力を有する耐火壁で分離

b : 水平距離6mによる分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置

c : 1時間の耐火能力を有する隔壁等による分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置
再処理施設成功パスの詳細は、別紙2参照

9. 最重要設備以外の火災防護対象機器等への火災影響

機器名称[機器番号]	当該区画の火災評価※	隣接区画の火災評価※
-	-	-

※ ○:火災影響なし ×:火災影響あり

隣接する火災区画と火災伝播経路

(※ 有:伝播する 無:伝播しない)

隣接する 火災区画	火災伝播 経路有無	等価時間 (h)	耐火時間 (h)	火災伝播の 可能性 ※	備考
	有	3.0超	0.0	有	
	無	3.0超	3.0	有	
	無	3.0超	3.0	有	
	有	3.0超	0.0	有	
	有	3.0超	0.0	有	
	有	3.0超	0.0	有	
	有	3.0超	0.0	有	
	無	3.0超	3.0	有	
	有	3.0超	0.0	有	

火災区域(区画)特性表

1. 火災区域(区画)の説明

建屋名	精製建屋
火災区域/区画区分	火災区画
火災区域/区画番号	■
火災区域/区画名称	第6保守室
床面積(m ²)	■

2. 火災区域(区画)の火災シナリオの説明

■は、精製建屋内の火災区画である。
 本区画は、電動機絶縁物火災、潤滑油漏えい火災または、電気盤火災の発生の可能性があるが、安全上重要な施設が設置されていないため、安全機能の喪失のおそれはない。

3. 火災区域(区画)にある火災源

(1) 等価時間

発熱量(kJ)	火災荷重 (kJ/m ²)	等価時間(h) [※]
■	■	0.5

※ 等価時間は、内部火災影響評価ガイドの等価時間記載の値で示す。

(2) 火災区域(区画)にある火災源機器数

火災源	機器数
電動機(3.7kW超)	5
電気盤(440V以上)	2
ケーブルトレイ(ケーブル)	-
油脂類・有機溶媒等	有
その他	-

4. 火災区域(区画)にある防火設備

火災感知の手段	主要な消火設備	消火方法	消火設備のバックアップ
煙感知器	屋内消火栓	手動	粉末消火器

5. 火災区域(区画)に隣接する火災区域(区画)と火災伝播経路

隣接火災区画への火災伝播経路の詳細は、別紙1参照

6. 火災影響を受ける火災防護対象機器等

機器名称[機器番号]	最重要設備 [※]	最重要設備以外の安全上重要な施設 [※]
-	-	-

※ ○:対象 -:非対象

* 火災想定において、工程停止等により安全機能を必要としない状態へと移行が可能なもの。

7. 火災防護対象機器等の関連ケーブル

機器名称[機器番号]	ケーブル種別	安重分類
-	-	-

8. 最重要設備の安重機能への火災影響

安重分類	全焼時の成功パスの有無	回路評価等の考慮	結果	系統分離※
Pu・高レベル廃棄物の閉じ込め機能	-	-	-	-
崩壊熱除去機能(重要度の高いもの)	-	-	-	-
安全圧縮空気系(水素掃気機能)	-	-	-	-
非常用所内電源系統	-	-	-	-

※ a : 3時間以上の耐火能力を有する耐火壁で分離

b : 水平距離6mによる分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置

c : 1時間の耐火能力を有する隔壁等による分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置
再処理施設成功パスの詳細は、別紙2参照

9. 最重要設備以外の火災防護対象機器等への火災影響

機器名称[機器番号]	当該区画の火災評価※	隣接区画の火災評価※
-	-	-

※ ○:火災影響なし ×:火災影響あり

隣接する火災区画と火災伝播経路

(※ 有:伝播する 無:伝播しない)

隣接する 火災区画	火災伝播 経路有無	等価時間 (h)	耐火時間 (h)	火災伝播の 可能性 ※	備考
	無	0.5	3.0	無	
	無	0.5	3.0	無	
	有	0.5	0.0	有	
	有	0.5	0.0	有	
	有	0.5	0.0	有	
	有	0.5	0.0	有	
	無	0.5	1.0	無	
	無	0.5	3.0	無	
	有	0.5	0.0	有	
	無	0.5	3.0	無	
	有	0.5	0.0	有	
	無	0.5	1.0	無	
	無	0.5	3.0	無	
	有	0.5	0.0	有	
	無	0.5	3.0	無	
	有	0.5	0.0	有	

火災区域(区画)特性表

1. 火災区域(区画)の説明

建屋名	精製建屋
火災区域/区画区分	火災区画
火災区域/区画番号	■
火災区域/区画名称	ウラン濃縮液第2中間貯槽室
床面積(m ²)	■

2. 火災区域(区画)の火災シナリオの説明

■は、精製建屋内の火災区画である。
 本区画は、火災源となるものがないおよび安全上重要な施設が設置されていないため、安全機能の喪失のおそれはない。

3. 火災区域(区画)にある火災源

(1) 等価時間

発熱量(kJ)	火災荷重 (kJ/m ²)	等価時間(h) [※]
■	■	0.0

※ 等価時間は、内部火災影響評価ガイドの等価時間記載の値で示す。

(2) 火災区域(区画)にある火災源機器数

火災源	機器数
電動機(3.7kW超)	-
電気盤(440V以上)	-
ケーブルトレイ(ケーブル)	-
油脂類・有機溶媒等	-
その他	-

4. 火災区域(区画)にある防火設備

火災感知の手段	主要な消火設備	消火方法	消火設備のバックアップ
設置除外	設置除外	-	-

5. 火災区域(区画)に隣接する火災区域(区画)と火災伝播経路 隣接火災区画への火災伝播経路の詳細は、別紙1参照

6. 火災影響を受ける火災防護対象機器等

機器名称[機器番号]	最重要設備 [※]	最重要設備以外の安全上重要な施設 [※]
-	-	-

※ ○:対象 -:非対象

* 火災想定において、工程停止等により安全機能を必要としない状態へと移行が可能なもの。

7. 火災防護対象機器等の関連ケーブル

機器名称[機器番号]	ケーブル種別	安重分類
-	-	-

8. 最重要設備の安重機能への火災影響

安重分類	全焼時の 成功パスの 有無	回路評価 等の考慮	結果	系統分離※
Pu・高レベル廃棄物の閉じ込め機能	-	-	-	-
崩壊熱除去機能(重要度の高いもの)	-	-	-	-
安全圧縮空気系(水素掃気機能)	-	-	-	-
非常用所内電源系統	-	-	-	-

※ a : 3時間以上の耐火能力を有する耐火壁で分離

b : 水平距離6mによる分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置

c : 1時間の耐火能力を有する隔壁等による分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置
再処理施設成功パスの詳細は、別紙2参照

9. 最重要設備以外の火災防護対象機器等への火災影響

機器名称[機器番号]	当該区画の火災評価※	隣接区画の火災評価※
-	-	-

※ ○:火災影響なし ×:火災影響あり

隣接する火災区画と火災伝播経路

(※ 有:伝播する 無:伝播しない)

隣接する火災区画	火災伝播経路有無	等価時間(h)	耐火時間(h)	火災伝播の可能性※	備考
	無	0.0	3.0	無	
	無	0.0	3.0	無	
	有	0.0	0.0	無	
	有	0.0	0.0	無	
	有	0.0	0.0	無	
	無	0.0	3.0	無	
	有	0.0	0.0	無	
	無	0.0	1.0	無	
	有	0.0	0.0	無	
	有	0.0	0.0	無	
	有	0.0	0.0	無	
	有	0.0	0.0	無	
	有	0.0	0.0	無	
	有	0.0	0.0	無	
	無	0.0	3.0	無	
	有	0.0	0.0	無	
	有	0.0	0.0	無	
	無	0.0	3.0	無	
	無	0.0	3.0	無	

火災区域(区画)特性表

1. 火災区域(区画)の説明

建屋名	精製建屋
火災区域/区画区分	火災区画
火災区域/区画番号	■
火災区域/区画名称	ウランドレン溶液ポンプ室
床面積(m ²)	■

2. 火災区域(区画)の火災シナリオの説明

■は、精製建屋内の火災区画である。
 本区画は、電動機絶縁物火災の発生可能性があるが、安全上重要な施設が設置されていないため、安全機能の喪失のおそれはない。

3. 火災区域(区画)にある火災源

(1) 等価時間

発熱量(kJ)	火災荷重 (kJ/m ²)	等価時間(h) [※]
■	■	0.5

※ 等価時間は、内部火災影響評価ガイドの等価時間記載の値で示す。

(2) 火災区域(区画)にある火災源機器数

火災源	機器数
電動機(3.7kW超)	13
電気盤(440V以上)	-
ケーブルトレイ(ケーブル)	-
油脂類・有機溶媒等	-
その他	-

4. 火災区域(区画)にある防火設備

火災感知の手段	主要な消火設備	消火方法	消火設備のバックアップ
煙感知器	屋内消火栓	手動	粉末消火器

5. 火災区域(区画)に隣接する火災区域(区画)と火災伝播経路 隣接火災区画への火災伝播経路の詳細は、別紙1参照

6. 火災影響を受ける火災防護対象機器等

機器名称[機器番号]	最重要設備 [※]	最重要設備以外の安全上重要な施設 [※]
-	-	-

※ ○:対象 -:非対象

* 火災想定において、工程停止等により安全機能を必要としない状態へと移行が可能なもの。

7. 火災防護対象機器等の関連ケーブル

機器名称[機器番号]	ケーブル種別	安重分類
-	-	-

8. 最重要設備の安重機能への火災影響

安重分類	全焼時の成功パスの有無	回路評価等の考慮	結果	系統分離※
Pu・高レベル廃棄物の閉じ込め機能	-	-	-	-
崩壊熱除去機能(重要度の高いもの)	-	-	-	-
安全圧縮空気系(水素掃気機能)	-	-	-	-
非常用所内電源系統	-	-	-	-

※ a : 3時間以上の耐火能力を有する耐火壁で分離

b : 水平距離6mによる分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置

c : 1時間の耐火能力を有する隔壁等による分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置
再処理施設成功パスの詳細は、別紙2参照

9. 最重要設備以外の火災防護対象機器等への火災影響

機器名称[機器番号]	当該区画の火災評価※	隣接区画の火災評価※
-	-	-

※ ○:火災影響なし ×:火災影響あり

隣接する火災区画と火災伝播経路

(※ 有:伝播する 無:伝播しない)

隣接する 火災区画	火災伝播 経路有無	等価時間 (h)	耐火時間 (h)	火災伝播の 可能性 ※	備考
	無	0.5	3.0	無	
	無	0.5	3.0	無	
	有	0.5	0.0	有	
	有	0.5	0.0	有	
	有	0.5	0.0	有	
	有	0.5	0.0	有	
	有	0.5	0.0	有	
	無	0.5	3.0	無	
	有	0.5	0.0	有	
	有	0.5	0.0	有	

火災区域(区画)特性表

1. 火災区域(区画)の説明

建屋名	精製建屋
火災区域/区画区分	火災区画
火災区域/区画番号	■
火災区域/区画名称	放射性配管分岐第1セル
床面積(m ²)	■

2. 火災区域(区画)の火災シナリオの説明

■は、精製建屋内の火災区画である。
 本区画は、火災源となるものがないおよび安全上重要な施設が設置されていないため、安全機能の喪失のおそれはない。

3. 火災区域(区画)にある火災源

(1) 等価時間

発熱量(kJ)	火災荷重 (kJ/m ²)	等価時間(h) [※]
■	■	0.5

※ 等価時間は、内部火災影響評価ガイドの等価時間記載の値で示す。

(2) 火災区域(区画)にある火災源機器数

火災源	機器数
電動機(3.7kW超)	-
電気盤(440V以上)	-
ケーブルトレイ(ケーブル)	-
油脂類・有機溶媒等	-
その他	-

4. 火災区域(区画)にある防火設備

火災感知の手段	主要な消火設備	消火方法	消火設備のバックアップ
セル内温度計 (熱電対) 漏えい検知装置	二酸化炭素消火設備	手動	-

5. 火災区域(区画)に隣接する火災区域(区画)と火災伝播経路

隣接火災区画への火災伝播経路の詳細は、別紙1参照

6. 火災影響を受ける火災防護対象機器等

機器名称[機器番号]	最重要設備 [※]	最重要設備以外の安全上重要な施設 [※]
-	-	-

※ ○:対象 -:非対象

* 火災想定において、工程停止等により安全機能を必要としない状態へと移行が可能なもの。

7. 火災防護対象機器等の関連ケーブル

機器名称[機器番号]	ケーブル種別	安重分類
-	-	-

8. 最重要設備の安重機能への火災影響

安重分類	全焼時の成功パスの有無	回路評価等の考慮	結果	系統分離※
Pu・高レベル廃棄物の閉じ込め機能	-	-	-	-
崩壊熱除去機能(重要度の高いもの)	-	-	-	-
安全圧縮空気系(水素掃気機能)	-	-	-	-
非常用所内電源系統	-	-	-	-

※ a : 3時間以上の耐火能力を有する耐火壁で分離

b : 水平距離6mによる分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置

c : 1時間の耐火能力を有する隔壁等による分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置
再処理施設成功パスの詳細は、別紙2参照

9. 最重要設備以外の火災防護対象機器等への火災影響

機器名称[機器番号]	当該区画の火災評価※	隣接区画の火災評価※
-	-	-

※ ○:火災影響なし ×:火災影響あり

火災区域(区画)特性表

1. 火災区域(区画)の説明

建屋名	精製建屋
火災区域/区画区分	火災区画
火災区域/区画番号	■
火災区域/区画名称	回収硝酸ポンプ室
床面積(m ²)	■

2. 火災区域(区画)の火災シナリオの説明

■は、精製建屋内の火災区画である。
 本区画は、電動機絶縁物火災の発生可能性があるが、安全上重要な施設が設置されていないため、安全機能の喪失のおそれはない。

3. 火災区域(区画)にある火災源

(1) 等価時間

発熱量(kJ)	火災荷重 (kJ/m ²)	等価時間(h) [※]
■	■	0.5

※ 等価時間は、内部火災影響評価ガイドの等価時間記載の値で示す。

(2) 火災区域(区画)にある火災源機器数

火災源	機器数
電動機(3.7kW超)	4
電気盤(440V以上)	-
ケーブルトレイ(ケーブル)	-
油脂類・有機溶媒等	-
その他	-

4. 火災区域(区画)にある防火設備

火災感知の手段	主要な消火設備	消火方法	消火設備のバックアップ
煙感知器	屋内消火栓	手動	粉末消火器

5. 火災区域(区画)に隣接する火災区域(区画)と火災伝播経路

隣接火災区画への火災伝播経路の詳細は、別紙1参照

6. 火災影響を受ける火災防護対象機器等

機器名称[機器番号]	最重要設備 [※]	最重要設備以外の安全上重要な施設 [※]
-	-	-

※ ○:対象 -:非対象

* 火災想定において、工程停止等により安全機能を必要としない状態へと移行が可能なもの。

7. 火災防護対象機器等の関連ケーブル

機器名称[機器番号]	ケーブル種別	安重分類
-	-	-

8. 最重要設備の安重機能への火災影響

安重分類	全焼時の成功パスの有無	回路評価等の考慮	結果	系統分離※
Pu・高レベル廃棄物の閉じ込め機能	-	-	-	-
崩壊熱除去機能(重要度の高いもの)	-	-	-	-
安全圧縮空気系(水素掃気機能)	-	-	-	-
非常用所内電源系統	-	-	-	-

※ a : 3時間以上の耐火能力を有する耐火壁で分離

b : 水平距離6mによる分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置

c : 1時間の耐火能力を有する隔壁等による分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置
再処理施設成功パスの詳細は、別紙2参照

9. 最重要設備以外の火災防護対象機器等への火災影響

機器名称[機器番号]	当該区画の火災評価※	隣接区画の火災評価※
-	-	-

※ ○:火災影響なし ×:火災影響あり

隣接する火災区画と火災伝播経路

(※ 有:伝播する 無:伝播しない)

隣接する 火災区画	火災伝播 経路有無	等価時間 (h)	耐火時間 (h)	火災伝播の 可能性 ※	備考
	無	0.5	3.0	無	
	無	0.5	3.0	無	
	有	0.5	0.0	有	
	有	0.5	0.0	有	
	有	0.5	0.0	有	
	無	0.5	3.0	無	
	有	0.5	0.0	有	
	有	0.5	0.0	有	

火災区域(区画)特性表

1. 火災区域(区画)の説明

建屋名	精製建屋
火災区域/区画区分	火災区画
火災区域/区画番号	■
火災区域/区画名称	第6サブチェンジングルーム
床面積(m ²)	■

2. 火災区域(区画)の火災シナリオの説明

■は、精製建屋内の火災区画である。
 本区画は、電気盤火災の発生可能性があるが、安全上重要な施設が設置されていないため、安全機能の喪失のおそれはない。

3. 火災区域(区画)にある火災源

(1) 等価時間

発熱量(kJ)	火災荷重 (kJ/m ²)	等価時間(h) [※]
■	■	1.0

※ 等価時間は、内部火災影響評価ガイドの等価時間記載の値で示す。

(2) 火災区域(区画)にある火災源機器数

火災源	機器数
電動機(3.7kW超)	-
電気盤(440V以上)	1
ケーブルトレイ(ケーブル)	-
油脂類・有機溶媒等	-
その他	-

4. 火災区域(区画)にある防火設備

火災感知の手段	主要な消火設備	消火方法	消火設備のバックアップ
煙感知器	屋内消火栓	手動	粉末消火器

5. 火災区域(区画)に隣接する火災区域(区画)と火災伝播経路

隣接火災区画への火災伝播経路の詳細は、別紙1参照

6. 火災影響を受ける火災防護対象機器等

機器名称[機器番号]	最重要設備 [※]	最重要設備以外の安全上重要な施設 [※]
-	-	-

※ ○:対象 -:非対象

* 火災想定において、工程停止等により安全機能を必要としない状態へと移行が可能なもの。

7. 火災防護対象機器等の関連ケーブル

機器名称[機器番号]	ケーブル種別	安重分類
-	-	-

8. 最重要設備の安重機能への火災影響

安重分類	全焼時の成功パスの有無	回路評価等の考慮	結果	系統分離※
Pu・高レベル廃棄物の閉じ込め機能	-	-	-	-
崩壊熱除去機能(重要度の高いもの)	-	-	-	-
安全圧縮空気系(水素掃気機能)	-	-	-	-
非常用所内電源系統	-	-	-	-

※ a : 3時間以上の耐火能力を有する耐火壁で分離

b : 水平距離6mによる分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置

c : 1時間の耐火能力を有する隔壁等による分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置
再処理施設成功パスの詳細は、別紙2参照

9. 最重要設備以外の火災防護対象機器等への火災影響

機器名称[機器番号]	当該区画の火災評価※	隣接区画の火災評価※
-	-	-

※ ○:火災影響なし ×:火災影響あり

隣接する火災区画と火災伝播経路

(※ 有:伝播する 無:伝播しない)

隣接する 火災区画	火災伝播 経路有無	等価時間 (h)	耐火時間 (h)	火災伝播の 可能性 ※	備考
	無	1.0	3.0	無	
	有	1.0	0.0	有	
	有	1.0	0.0	有	
	無	1.0	3.0	無	
	有	1.0	0.0	有	

火災区域(区画)特性表

1. 火災区域(区画)の説明

建屋名	精製建屋
火災区域/区画区分	火災区画
火災区域/区画番号	■
火災区域/区画名称	第7保守室
床面積(m ²)	■

2. 火災区域(区画)の火災シナリオの説明

■は、精製建屋内の火災区画である。
 本区画は、火災源となるものがないおよび安全上重要な施設が設置されていないため、安全機能の喪失のおそれはない。

3. 火災区域(区画)にある火災源

(1) 等価時間

発熱量(kJ)	火災荷重 (kJ/m ²)	等価時間(h) [※]
■	■	0.5

※ 等価時間は、内部火災影響評価ガイドの等価時間記載の値で示す。

(2) 火災区域(区画)にある火災源機器数

火災源	機器数
電動機(3.7kW超)	-
電気盤(440V以上)	-
ケーブルトレイ(ケーブル)	-
油脂類・有機溶媒等	-
その他	-

4. 火災区域(区画)にある防火設備

火災感知の手段	主要な消火設備	消火方法	消火設備のバックアップ
煙感知器	屋内消火栓	手動	粉末消火器

5. 火災区域(区画)に隣接する火災区域(区画)と火災伝播経路

隣接火災区画への火災伝播経路の詳細は、別紙1参照

6. 火災影響を受ける火災防護対象機器等

機器名称[機器番号]	最重要設備 [※]	最重要設備以外の安全上重要な施設 [※]
-	-	-

※ ○:対象 -:非対象

* 火災想定において、工程停止等により安全機能を必要としない状態へと移行が可能なもの。

7. 火災防護対象機器等の関連ケーブル

機器名称[機器番号]	ケーブル種別	安重分類
-	-	-

8. 最重要設備の安重機能への火災影響

安重分類	全焼時の成功パスの有無	回路評価等の考慮	結果	系統分離※
Pu・高レベル廃棄物の閉じ込め機能	-	-	-	-
崩壊熱除去機能(重要度の高いもの)	-	-	-	-
安全圧縮空気系(水素掃気機能)	-	-	-	-
非常用所内電源系統	-	-	-	-

※ a : 3時間以上の耐火能力を有する耐火壁で分離

b : 水平距離6mによる分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置

c : 1時間の耐火能力を有する隔壁等による分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置
再処理施設成功パスの詳細は、別紙2参照

9. 最重要設備以外の火災防護対象機器等への火災影響

機器名称[機器番号]	当該区画の火災評価※	隣接区画の火災評価※
-	-	-

※ ○:火災影響なし ×:火災影響あり

隣接する火災区画と火災伝播経路

(※ 有:伝播する 無:伝播しない)

隣接する 火災区画	火災伝播 経路有無	等価時間 (h)	耐火時間 (h)	火災伝播の 可能性 ※	備考
	有	0.5	0.0	有	
	有	0.5	0.0	有	
	無	0.5	3.0	無	
	有	0.5	0.0	有	
	有	0.5	0.0	有	
	有	0.5	0.0	有	
	無	0.5	3.0	無	

火災区域(区画)特性表

1. 火災区域(区画)の説明

建屋名	精製建屋
火災区域/区画区分	火災区画
火災区域/区画番号	■
火災区域/区画名称	ウラナス溶液中間貯槽室
床面積(m ²)	■

2. 火災区域(区画)の火災シナリオの説明

■は、精製建屋内の火災区画である。
 本区画は、火災源となるものがないおよび安全上重要な施設が設置されていないため、安全機能の喪失のおそれはない。

3. 火災区域(区画)にある火災源

(1) 等価時間

発熱量(kJ)	火災荷重 (kJ/m ²)	等価時間(h) [※]
■	■	0.0

※ 等価時間は、内部火災影響評価ガイドの等価時間記載の値で示す。

(2) 火災区域(区画)にある火災源機器数

火災源	機器数
電動機(3.7kW超)	-
電気盤(440V以上)	-
ケーブルトレイ(ケーブル)	-
油脂類・有機溶媒等	-
その他	-

4. 火災区域(区画)にある防火設備

火災感知の手段	主要な消火設備	消火方法	消火設備のバックアップ
煙感知器	水噴霧消火設備	手動	強化液消火器

5. 火災区域(区画)に隣接する火災区域(区画)と火災伝播経路 隣接火災区画への火災伝播経路の詳細は、別紙1参照

6. 火災影響を受ける火災防護対象機器等

機器名称[機器番号]	最重要設備 [※]	最重要設備以外の安全上重要な施設 [※]
-	-	-

※ ○:対象 -:非対象

* 火災想定において、工程停止等により安全機能を必要としない状態へと移行が可能なもの。

7. 火災防護対象機器等の関連ケーブル

機器名称[機器番号]	ケーブル種別	安重分類
-	-	-

8. 最重要設備の安重機能への火災影響

安重分類	全焼時の成功パスの有無	回路評価等の考慮	結果	系統分離※
Pu・高レベル廃棄物の閉じ込め機能	-	-	-	-
崩壊熱除去機能(重要度の高いもの)	-	-	-	-
安全圧縮空気系(水素掃気機能)	-	-	-	-
非常用所内電源系統	-	-	-	-

※ a : 3時間以上の耐火能力を有する耐火壁で分離

b : 水平距離6mによる分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置

c : 1時間の耐火能力を有する隔壁等による分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置
再処理施設成功パスの詳細は、別紙2参照

9. 最重要設備以外の火災防護対象機器等への火災影響

機器名称[機器番号]	当該区画の火災評価※	隣接区画の火災評価※
-	-	-

※ ○:火災影響なし ×:火災影響あり

隣接する火災区画と火災伝播経路

(※ 有:伝播する 無:伝播しない)

隣接する 火災区画	火災伝播 経路有無	等価時間 (h)	耐火時間 (h)	火災伝播の 可能性 ※	備考
	無	0.0	3.0	無	
	有	0.0	0.0	無	
	有	0.0	0.0	無	
	有	0.0	0.0	無	
	無	0.0	3.0	無	
	有	0.0	0.0	無	
	有	0.0	0.0	無	

火災区域(区画)特性表

1. 火災区域(区画)の説明

建屋名	精製建屋
火災区域/区画区分	火災区画
火災区域/区画番号	■
火災区域/区画名称	再生溶媒受槽セル
床面積(m ²)	■

2. 火災区域(区画)の火災シナリオの説明

■は、精製建屋内の火災区画である。
 本区画は、火災源となるものがないおよび安全上重要な施設が設置されていないため、安全機能の喪失のおそれはない。

3. 火災区域(区画)にある火災源

(1) 等価時間

発熱量(kJ)	火災荷重 (kJ/m ²)	等価時間(h) [※]
■	■	>9

※ 等価時間は、内部火災影響評価ガイドの等価時間記載の値で示す。

(2) 火災区域(区画)にある火災源機器数

火災源	機器数
電動機(3.7kW超)	-
電気盤(440V以上)	-
ケーブルトレイ(ケーブル)	-
油脂類・有機溶媒等	-
その他	-

4. 火災区域(区画)にある防火設備

火災感知の手段	主要な消火設備	消火方法	消火設備のバックアップ
セル内温度計 (熱電対) 漏えい検知装置	二酸化炭素消火設備	手動	-

5. 火災区域(区画)に隣接する火災区域(区画)と火災伝播経路

隣接火災区画への火災伝播経路の詳細は、別紙1参照

6. 火災影響を受ける火災防護対象機器等

機器名称[機器番号]	最重要設備 [※]	最重要設備以外の安全上重要な施設 [※]
-	-	-

※ ○:対象 -:非対象

* 火災想定において、工程停止等により安全機能を必要としない状態へと移行が可能なもの。

7. 火災防護対象機器等の関連ケーブル

機器名称[機器番号]	ケーブル種別	安重分類
-	-	-

8. 最重要設備の安重機能への火災影響

安重分類	全焼時の成功パスの有無	回路評価等の考慮	結果	系統分離※
Pu・高レベル廃棄物の閉じ込め機能	-	-	-	-
崩壊熱除去機能(重要度の高いもの)	-	-	-	-
安全圧縮空気系(水素掃気機能)	-	-	-	-
非常用所内電源系統	-	-	-	-

※ a : 3時間以上の耐火能力を有する耐火壁で分離

b : 水平距離6mによる分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置

c : 1時間の耐火能力を有する隔壁等による分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置
再処理施設成功パスの詳細は、別紙2参照

9. 最重要設備以外の火災防護対象機器等への火災影響

機器名称[機器番号]	当該区画の火災評価※	隣接区画の火災評価※
-	-	-

※ ○:火災影響なし ×:火災影響あり

隣接する火災区画と火災伝播経路

(※ 有:伝播する 無:伝播しない)

隣接する 火災区画	火災伝播 経路有無	等価時間 (h)	耐火時間 (h)	火災伝播の 可能性 ※	備考
	有	3.0超	0.0	有	
	有	3.0超	0.0	有	
	有	3.0超	0.0	有	
	無	3.0超	3.0	有	
	有	3.0超	0.0	有	
	有	3.0超	0.0	有	
	有	3.0超	0.0	有	
	有	3.0超	0.0	有	

火災区域(区画)特性表

1. 火災区域(区画)の説明

建屋名	精製建屋
火災区域/区画区分	火災区画
火災区域/区画番号	■
火災区域/区画名称	第8保守室
床面積(m ²)	■

2. 火災区域(区画)の火災シナリオの説明

■は、精製建屋内の火災区画である。
 本区画は、電動機絶縁物火災または、潤滑油漏えい火災の発生可能性があるが、安全上重要な施設が設置されていないため、安全機能の喪失のおそれはない。

3. 火災区域(区画)にある火災源

(1) 等価時間

発熱量(kJ)	火災荷重 (kJ/m ²)	等価時間(h) [※]
■	■	0.5

※ 等価時間は、内部火災影響評価ガイドの等価時間記載の値で示す。

(2) 火災区域(区画)にある火災源機器数

火災源	機器数
電動機(3.7kW超)	1
電気盤(440V以上)	-
ケーブルトレイ(ケーブル)	-
油脂類・有機溶媒等	有
その他	-

4. 火災区域(区画)にある防火設備

火災感知の手段	主要な消火設備	消火方法	消火設備のバックアップ
煙感知器	屋内消火栓	手動	粉末消火器

5. 火災区域(区画)に隣接する火災区域(区画)と火災伝播経路

隣接火災区画への火災伝播経路の詳細は、別紙1参照

6. 火災影響を受ける火災防護対象機器等

機器名称[機器番号]	最重要設備 [※]	最重要設備以外の安全上重要な施設 [※]
-	-	-

※ ○:対象 -:非対象

* 火災想定において、工程停止等により安全機能を必要としない状態へと移行が可能なもの。

7. 火災防護対象機器等の関連ケーブル

機器名称[機器番号]	ケーブル種別	安重分類
-	-	-

8. 最重要設備の安重機能への火災影響

安重分類	全焼時の 成功パスの 有無	回路評価 等の考慮	結果	系統分離※
Pu・高レベル廃棄物の閉じ込め機能	-	-	-	-
崩壊熱除去機能(重要度の高いもの)	-	-	-	-
安全圧縮空気系(水素掃気機能)	-	-	-	-
非常用所内電源系統	-	-	-	-

※ a : 3時間以上の耐火能力を有する耐火壁で分離

b : 水平距離6mによる分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置

c : 1時間の耐火能力を有する隔壁等による分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置
再処理施設成功パスの詳細は、別紙2参照

9. 最重要設備以外の火災防護対象機器等への火災影響

機器名称[機器番号]	当該区画の火災評価※	隣接区画の火災評価※
-	-	-

※ ○:火災影響なし ×:火災影響あり

隣接する火災区画と火災伝播経路

(※ 有:伝播する 無:伝播しない)

隣接する 火災区画	火災伝播 経路有無	等価時間 (h)	耐火時間 (h)	火災伝播の 可能性 ※	備考
	無	0.5	3.0	無	
	有	0.5	0.0	有	
	有	0.5	0.0	有	
	有	0.5	0.0	有	
	有	0.5	0.0	有	
	無	0.5	3.0	無	
	無	0.5	1.0	無	

火災区域(区画)特性表

1. 火災区域(区画)の説明

建屋名	精製建屋
火災区域/区画区分	火災区画
火災区域/区画番号	■
火災区域/区画名称	溶媒貯槽第1セル
床面積(m ²)	■

2. 火災区域(区画)の火災シナリオの説明

■は、精製建屋内の火災区画である。
 本区画は、火災源となるものがないおよび安全上重要な施設が設置されていないため、安全機能の喪失のおそれはない。

3. 火災区域(区画)にある火災源

(1) 等価時間

発熱量(kJ)	火災荷重 (kJ/m ²)	等価時間(h) [※]
■	■	>9

※ 等価時間は、内部火災影響評価ガイドの等価時間記載の値で示す。

(2) 火災区域(区画)にある火災源機器数

火災源	機器数
電動機(3.7kW超)	-
電気盤(440V以上)	-
ケーブルトレイ(ケーブル)	-
油脂類・有機溶媒等	-
その他	-

4. 火災区域(区画)にある防火設備

火災感知の手段	主要な消火設備	消火方法	消火設備のバックアップ
セル内温度計 (熱電対) 漏えい検知装置	二酸化炭素消火設備	手動	-

5. 火災区域(区画)に隣接する火災区域(区画)と火災伝播経路

隣接火災区画への火災伝播経路の詳細は、別紙1参照

6. 火災影響を受ける火災防護対象機器等

機器名称[機器番号]	最重要設備 [※]	最重要設備以外の安全上重要な施設 [※]
-	-	-

※ ○:対象 -:非対象

* 火災想定において、工程停止等により安全機能を必要としない状態へと移行が可能なもの。

7. 火災防護対象機器等の関連ケーブル

機器名称[機器番号]	ケーブル種別	安重分類
-	-	-

8. 最重要設備の安重機能への火災影響

安重分類	全焼時の成功パスの有無	回路評価等の考慮	結果	系統分離※
Pu・高レベル廃棄物の閉じ込め機能	-	-	-	-
崩壊熱除去機能(重要度の高いもの)	-	-	-	-
安全圧縮空気系(水素掃気機能)	-	-	-	-
非常用所内電源系統	-	-	-	-

※ a : 3時間以上の耐火能力を有する耐火壁で分離

b : 水平距離6mによる分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置

c : 1時間の耐火能力を有する隔壁等による分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置
再処理施設成功パスの詳細は、別紙2参照

9. 最重要設備以外の火災防護対象機器等への火災影響

機器名称[機器番号]	当該区画の火災評価※	隣接区画の火災評価※
-	-	-

※ ○:火災影響なし ×:火災影響あり

隣接する火災区画と火災伝播経路

(※ 有:伝播する 無:伝播しない)

隣接する 火災区画	火災伝播 経路有無	等価時間 (h)	耐火時間 (h)	火災伝播の 可能性 ※	備考
	無	3.0超	3.0	有	
	無	3.0超	3.0	有	
	有	3.0超	0.0	有	
	無	3.0超	3.0	有	
	有	3.0超	0.0	有	
	有	3.0超	0.0	有	
	有	3.0超	0.0	有	
	無	3.0超	3.0	有	
	有	3.0超	0.0	有	
	有	3.0超	0.0	有	
	有	3.0超	0.0	有	
	有	3.0超	0.0	有	

火災区域(区画)特性表

1. 火災区域(区画)の説明

建屋名	精製建屋
火災区域/区画区分	火災区画
火災区域/区画番号	■
火災区域/区画名称	リサイクル槽セル
床面積(m ²)	■

2. 火災区域(区画)の火災シナリオの説明

■は、精製建屋内の火災区画である。
 本区画は、火災源となるものがないおよび安全上重要な施設が設置されていないため、安全機能の喪失のおそれはない。

3. 火災区域(区画)にある火災源

(1) 等価時間

発熱量(kJ)	火災荷重(kJ/m ²)	等価時間(h) [※]
■	■	0.0

※ 等価時間は、内部火災影響評価ガイドの等価時間記載の値で示す。

(2) 火災区域(区画)にある火災源機器数

火災源	機器数
電動機(3.7kW超)	-
電気盤(440V以上)	-
ケーブルトレイ(ケーブル)	-
油脂類・有機溶媒等	-
その他	-

4. 火災区域(区画)にある防火設備

火災感知の手段	主要な消火設備	消火方法	消火設備のバックアップ
設置除外	設置除外	-	-

5. 火災区域(区画)に隣接する火災区域(区画)と火災伝播経路

隣接火災区画への火災伝播経路の詳細は、別紙1参照

6. 火災影響を受ける火災防護対象機器等

機器名称[機器番号]	最重要設備 [※]	最重要設備以外の安全上重要な施設 [※]
-	-	-

※ ○:対象 -:非対象

* 火災想定において、工程停止等により安全機能を必要としない状態へと移行が可能なもの。

7. 火災防護対象機器等の関連ケーブル

機器名称[機器番号]	ケーブル種別	安重分類
-	-	-

8. 最重要設備の安重機能への火災影響

安重分類	全焼時の成功パスの有無	回路評価等の考慮	結果	系統分離※
Pu・高レベル廃棄物の閉じ込め機能	-	-	-	-
崩壊熱除去機能(重要度の高いもの)	-	-	-	-
安全圧縮空気系(水素掃気機能)	-	-	-	-
非常用所内電源系統	-	-	-	-

※ a : 3時間以上の耐火能力を有する耐火壁で分離

b : 水平距離6mによる分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置

c : 1時間の耐火能力を有する隔壁等による分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置
再処理施設成功パスの詳細は、別紙2参照

9. 最重要設備以外の火災防護対象機器等への火災影響

機器名称[機器番号]	当該区画の火災評価※	隣接区画の火災評価※
-	-	-

※ ○:火災影響なし ×:火災影響あり

隣接する火災区画と火災伝播経路

(※ 有:伝播する 無:伝播しない)

隣接する 火災区画	火災伝播 経路有無	等価時間 (h)	耐火時間 (h)	火災伝播の 可能性 ※	備考
	無	0.0	3.0	無	
	無	0.0	3.0	無	
	無	0.0	3.0	無	
	有	0.0	0.0	無	
	無	0.0	3.0	無	
	有	0.0	0.0	無	
	有	0.0	0.0	無	

火災区域(区画)特性表

1. 火災区域(区画)の説明

建屋名	精製建屋
火災区域/区画区分	火災区画
火災区域/区画番号	■
火災区域/区画名称	第7サブチェンジングルーム
床面積(m ²)	■

2. 火災区域(区画)の火災シナリオの説明

■は、精製建屋内の火災区画である。
 本区画は、電気盤火災の発生可能性があるが、安全上重要な施設が設置されていないため、安全機能の喪失のおそれはない。

3. 火災区域(区画)にある火災源

(1) 等価時間

発熱量(kJ)	火災荷重 (kJ/m ²)	等価時間(h) [※]
■	■	1.0

※ 等価時間は、内部火災影響評価ガイドの等価時間記載の値で示す。

(2) 火災区域(区画)にある火災源機器数

火災源	機器数
電動機(3.7kW超)	-
電気盤(440V以上)	1
ケーブルトレイ(ケーブル)	-
油脂類・有機溶媒等	-
その他	-

4. 火災区域(区画)にある防火設備

火災感知の手段	主要な消火設備	消火方法	消火設備のバックアップ
煙感知器	屋内消火栓	手動	粉末消火器

5. 火災区域(区画)に隣接する火災区域(区画)と火災伝播経路

隣接火災区画への火災伝播経路の詳細は、別紙1参照

6. 火災影響を受ける火災防護対象機器等

機器名称[機器番号]	最重要設備 [※]	最重要設備以外の安全上重要な施設 [※]
-	-	-

※ ○:対象 -:非対象

* 火災想定において、工程停止等により安全機能を必要としない状態へと移行が可能なもの。

7. 火災防護対象機器等の関連ケーブル

機器名称[機器番号]	ケーブル種別	安重分類
-	-	-

8. 最重要設備の安重機能への火災影響

安重分類	全焼時の 成功パスの 有無	回路評価 等の考慮	結果	系統分離※
Pu・高レベル廃棄物の閉じ込め機能	-	-	-	-
崩壊熱除去機能(重要度の高いもの)	-	-	-	-
安全圧縮空気系(水素掃気機能)	-	-	-	-
非常用所内電源系統	-	-	-	-

※ a : 3時間以上の耐火能力を有する耐火壁で分離

b : 水平距離6mによる分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置

c : 1時間の耐火能力を有する隔壁等による分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置
再処理施設成功パスの詳細は、別紙2参照

9. 最重要設備以外の火災防護対象機器等への火災影響

機器名称[機器番号]	当該区画の火災評価※	隣接区画の火災評価※
-	-	-

※ ○:火災影響なし ×:火災影響あり

隣接する火災区画と火災伝播経路

(※ 有:伝播する 無:伝播しない)

隣接する 火災区画	火災伝播 経路有無	等価時間 (h)	耐火時間 (h)	火災伝播の 可能性 ※	備考
	無	1.0	3.0	無	
	有	1.0	0.0	有	
	有	1.0	0.0	有	
	有	1.0	0.0	有	
	有	1.0	0.0	有	
	有	1.0	0.0	有	
	有	1.0	0.0	有	

火災区域(区画)特性表

1. 火災区域(区画)の説明

建屋名	精製建屋
火災区域/区画区分	火災区画
火災区域/区画番号	■
火災区域/区画名称	回収溶媒第1貯槽ポンプ室
床面積(m ²)	■

2. 火災区域(区画)の火災シナリオの説明

■は、精製建屋内の火災区画である。
 本区画は、電動機絶縁物火災の発生可能性があるが、安全上重要な施設が設置されていないため、安全機能の喪失のおそれはない。

3. 火災区域(区画)にある火災源

(1) 等価時間

発熱量(kJ)	火災荷重 (kJ/m ²)	等価時間(h) [※]
■	■	0.5

※ 等価時間は、内部火災影響評価ガイドの等価時間記載の値で示す。

(2) 火災区域(区画)にある火災源機器数

火災源	機器数
電動機(3.7kW超)	4
電気盤(440V以上)	-
ケーブルトレイ(ケーブル)	-
油脂類・有機溶媒等	-
その他	-

4. 火災区域(区画)にある防火設備

火災感知の手段	主要な消火設備	消火方法	消火設備のバックアップ
煙感知器	屋内消火栓	手動	粉末消火器

5. 火災区域(区画)に隣接する火災区域(区画)と火災伝播経路

隣接火災区画への火災伝播経路の詳細は、別紙1参照

6. 火災影響を受ける火災防護対象機器等

機器名称[機器番号]	最重要設備 [※]	最重要設備以外の安全上重要な施設 [※]
-	-	-

※ ○:対象 -:非対象

* 火災想定において、工程停止等により安全機能を必要としない状態へと移行が可能なもの。

7. 火災防護対象機器等の関連ケーブル

機器名称[機器番号]	ケーブル種別	安重分類
-	-	-

8. 最重要設備の安重機能への火災影響

安重分類	全焼時の成功パスの有無	回路評価等の考慮	結果	系統分離※
Pu・高レベル廃棄物の閉じ込め機能	-	-	-	-
崩壊熱除去機能(重要度の高いもの)	-	-	-	-
安全圧縮空気系(水素掃気機能)	-	-	-	-
非常用所内電源系統	-	-	-	-

※ a : 3時間以上の耐火能力を有する耐火壁で分離

b : 水平距離6mによる分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置

c : 1時間の耐火能力を有する隔壁等による分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置
再処理施設成功パスの詳細は、別紙2参照

9. 最重要設備以外の火災防護対象機器等への火災影響

機器名称[機器番号]	当該区画の火災評価※	隣接区画の火災評価※
-	-	-

※ ○:火災影響なし ×:火災影響あり

隣接する火災区画と火災伝播経路

(※ 有:伝播する 無:伝播しない)

隣接する 火災区画	火災伝播 経路有無	等価時間 (h)	耐火時間 (h)	火災伝播の 可能性 ※	備考
	無	0.5	3.0	無	
	有	0.5	0.0	有	
	有	0.5	0.0	有	
	有	0.5	0.0	有	
	有	0.5	0.0	有	

火災区域(区画)特性表

1. 火災区域(区画)の説明

建屋名	精製建屋
火災区域/区画区分	火災区画
火災区域/区画番号	■
火災区域/区画名称	常用電気品第1室
床面積(m ²)	■

2. 火災区域(区画)の火災シナリオの説明

■は、精製建屋内の火災区画である。
 本区画は、電気盤火災または、ケーブルトレイ火災の発生の可能性があるが、安全上重要な施設が設置されていないため、安全機能の喪失のおそれはない。

3. 火災区域(区画)にある火災源

(1) 等価時間

発熱量(kJ)	火災荷重 (kJ/m ²)	等価時間(h) [※]
■	■	3.0

※ 等価時間は、内部火災影響評価ガイドの等価時間記載の値で示す。

(2) 火災区域(区画)にある火災源機器数

火災源	機器数
電動機(3.7kW超)	-
電気盤(440V以上)	3
ケーブルトレイ(ケーブル)	有
油脂類・有機溶媒等	-
その他	-

4. 火災区域(区画)にある防火設備

火災感知の手段	主要な消火設備	消火方法	消火設備のバックアップ
煙感知器	二酸化炭素消火器	手動	粉末消火器

5. 火災区域(区画)に隣接する火災区域(区画)と火災伝播経路

隣接火災区画への火災伝播経路の詳細は、別紙1参照

6. 火災影響を受ける火災防護対象機器等

機器名称[機器番号]	最重要設備 [※]	最重要設備以外の安全上重要な施設 [※]
-	-	-

※ ○:対象 -:非対象

* 火災想定において、工程停止等により安全機能を必要としない状態へと移行が可能なもの。

7. 火災防護対象機器等の関連ケーブル

機器名称[機器番号]	ケーブル種別	安重分類
-	-	-

8. 最重要設備の安重機能への火災影響

安重分類	全焼時の 成功パスの 有無	回路評価 等の考慮	結果	系統分離※
Pu・高レベル廃棄物の閉じ込め機能	-	-	-	-
崩壊熱除去機能(重要度の高いもの)	-	-	-	-
安全圧縮空気系(水素掃気機能)	-	-	-	-
非常用所内電源系統	-	-	-	-

※ a : 3時間以上の耐火能力を有する耐火壁で分離

b : 水平距離6mによる分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置

c : 1時間の耐火能力を有する隔壁等による分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置
再処理施設成功パスの詳細は、別紙2参照

9. 最重要設備以外の火災防護対象機器等への火災影響

機器名称[機器番号]	当該区画の火災評価※	隣接区画の火災評価※
-	-	-

※ ○:火災影響なし ×:火災影響あり

隣接する火災区画と火災伝播経路

(※ 有:伝播する 無:伝播しない)

隣接する 火災区画	火災伝播 経路有無	等価時間 (h)	耐火時間 (h)	火災伝播の 可能性 ※	備考
	無	3.0	1.0	有	
	有	3.0	0.0	有	
	有	3.0	0.0	有	
	無	3.0	3.0	無	
	無	3.0	3.0	無	

火災区域(区画)特性表

1. 火災区域(区画)の説明

建屋名	精製建屋
火災区域/区画区分	火災区画
火災区域/区画番号	■
火災区域/区画名称	南第3エレベータ
床面積(m ²)	■

2. 火災区域(区画)の火災シナリオの説明

■は、精製建屋内の火災区画である。
 本区画は、火災源となるものがないおよび安全上重要な施設が設置されていないため、安全機能の喪失のおそれはない。

3. 火災区域(区画)にある火災源

(1) 等価時間

発熱量(kJ)	火災荷重 (kJ/m ²)	等価時間(h) [※]
■	■	0.0

※ 等価時間は、内部火災影響評価ガイドの等価時間記載の値で示す。

(2) 火災区域(区画)にある火災源機器数

火災源	機器数
電動機(3.7kW超)	-
電気盤(440V以上)	-
ケーブルトレイ(ケーブル)	-
油脂類・有機溶媒等	-
その他	-

4. 火災区域(区画)にある防火設備

火災感知の手段	主要な消火設備	消火方法	消火設備のバックアップ
設置除外	屋内消火栓	手動	粉末消火器

5. 火災区域(区画)に隣接する火災区域(区画)と火災伝播経路

隣接火災区画への火災伝播経路の詳細は、別紙1参照

6. 火災影響を受ける火災防護対象機器等

機器名称[機器番号]	最重要設備 [※]	最重要設備以外の安全上重要な施設 [※]
-	-	-

※ ○:対象 -:非対象

* 火災想定において、工程停止等により安全機能を必要としない状態へと移行が可能なもの。

7. 火災防護対象機器等の関連ケーブル

機器名称[機器番号]	ケーブル種別	安重分類
-	-	-

8. 最重要設備の安重機能への火災影響

安重分類	全焼時の成功パスの有無	回路評価等の考慮	結果	系統分離※
Pu・高レベル廃棄物の閉じ込め機能	-	-	-	-
崩壊熱除去機能(重要度の高いもの)	-	-	-	-
安全圧縮空気系(水素掃気機能)	-	-	-	-
非常用所内電源系統	-	-	-	-

※ a : 3時間以上の耐火能力を有する耐火壁で分離

b : 水平距離6mによる分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置

c : 1時間の耐火能力を有する隔壁等による分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置
再処理施設成功パスの詳細は、別紙2参照

9. 最重要設備以外の火災防護対象機器等への火災影響

機器名称[機器番号]	当該区画の火災評価※	隣接区画の火災評価※
-	-	-

※ ○:火災影響なし ×:火災影響あり

隣接する火災区画と火災伝播経路

(※ 有:伝播する 無:伝播しない)

隣接する火災区画	火災伝播経路有無	等価時間(h)	耐火時間(h)	火災伝播の可能性※	備考
	無	0.0	3.0	無	
	無	0.0	3.0	無	
	無	0.0	3.0	無	
	無	0.0	3.0	無	
	無	0.0	3.0	無	
	無	0.0	1.0	無	
	無	0.0	3.0	無	
	無	0.0	1.0	無	
	無	0.0	3.0	無	

火災区域(区画)特性表

1. 火災区域(区画)の説明

建屋名	精製建屋
火災区域/区画区分	火災区域
火災区域/区画番号	AC-4/ []
火災区域/区画名称	安全冷却水Aポンプ室
床面積(m ²)	[]

2. 火災区域(区画)の火災シナリオの説明

AC-4は、精製建屋内の火災区域である。
 本区画は、火災源となるものがないため、安全上重要な施設のA系の設備(6.火災影響を受ける火災防護対象機器等 参照)の安全機能を喪失させるおそれのある想定火災はない。

3. 火災区域(区画)にある火災源

(1) 等価時間

発熱量(kJ)	火災荷重 (kJ/m ²)	等価時間(h) [※]
[]	[]	0.5

※ 等価時間は、内部火災影響評価ガイドの等価時間記載の値で示す。

(2) 火災区域(区画)にある火災源機器数

火災源	機器数
電動機(3.7kW超)	-
電気盤(440V以上)	-
ケーブルトレイ(ケーブル)	-
油脂類・有機溶媒等	-
その他	-

4. 火災区域(区画)にある防火設備

火災感知の手段	主要な消火設備	消火方法	消火設備のバックアップ
煙感知器 熱感知器	粉末消火器	手動	屋内消火栓

5. 火災区域(区画)に隣接する火災区域(区画)と火災伝播経路

隣接火災区画への火災伝播経路の詳細は、別紙1参照

6. 火災影響を受ける火災防護対象機器等

機器名称[機器番号]	最重要設備 [※]	最重要設備以外の安全上重要な施設 [※]
安全冷却水AポンプA []	○	-
安全冷却水AポンプB []	○	-

※ ○:対象 -:非対象

* 火災想定において、工程停止等により安全機能を必要としない状態へと移行が可能なもの。

7. 火災防護対象機器等の関連ケーブル

機器名称[機器番号]	ケーブル種別	安重分類
-	-	-

8. 最重要設備の安重機能への火災影響

安重分類	全焼時の 成功パスの 有無	回路評価 等の考慮	結果	系統分離※
Pu・高レベル廃棄物の閉じ込め機能	-	-	-	-
崩壊熱除去機能(重要度の高いもの)	有	-	○	-
安全圧縮空気系(水素掃気機能)	-	-	-	-
非常用所内電源系統	-	-	-	-

※ a : 3時間以上の耐火能力を有する耐火壁で分離

b : 水平距離6mによる分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置

c : 1時間の耐火能力を有する隔壁等による分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置
再処理施設成功パスの詳細は、別紙2参照

9. 最重要設備以外の火災防護対象機器等への火災影響

機器名称[機器番号]	当該区画の火災評価※	隣接区画の火災評価※
-	-	-

※ ○:火災影響なし ×:火災影響あり

隣接する火災区画と火災伝播経路

(※ 有:伝播する 無:伝播しない)

隣接する 火災区画	火災伝播 経路有無	等価時間 (h)	耐火時間 (h)	火災伝播の 可能性 ※	備考
	無	0.5	3.0	無	
	無	0.5	3.0	無	
	無	0.5	3.0	無	
	無	0.5	3.0	無	
	無	0.5	3.0	無	
	無	0.5	3.0	無	

再処理施設成功パス一覧表

建屋	精製建屋	安全冷却水Aポンプ室
区域(区画)番号/名称		
1.放射性物質の閉じ込め機能(動的な閉じ込め機能)		
	【Aトレン設備】	【Bトレン設備】
前処理建屋 せん断処理・溶解廃ガス処理設備	排風機A	前処理建屋 せん断処理・溶解廃ガス処理設備
	排風機C	排風機B
前処理建屋 塔槽類廃ガス処理設備	排風機A	前処理建屋 塔槽類廃ガス処理設備
	排風機A	排風機B
前処理建屋換気設備 溶解セル等からの排気系	セル排風機A	前処理建屋換気設備 溶解セル等からの排気系
	溶解槽セルA排風機A	セル排風機B
	溶解槽セルB排風機A	溶解槽セルA排風機B
高レベル廃液ガラス固化建屋 高レベル廃液ガラス固化廃ガス処理設備	第1排風機A	高レベル廃液ガラス固化建屋 高レベル廃液ガラス固化廃ガス処理設備
	第2排風機A	第1排風機B
高レベル廃液ガラス固化建屋 塔槽類廃ガス処理設備 高レベル濃縮廃液廃ガス処理系	排風機A	高レベル廃液ガラス固化建屋 塔槽類廃ガス処理設備 高レベル濃縮廃液廃ガス処理系
	排風機A	排風機B
高レベル廃液ガラス固化建屋 塔槽類廃ガス処理設備 不溶解残渣廃液廃ガス処理系	排風機A	高レベル廃液ガラス固化建屋 塔槽類廃ガス処理設備 不溶解残渣廃液廃ガス処理系
	排風機A	排風機B
高レベル濃縮廃液貯槽セル等からの排気系 固化セル換気系及び固化セル圧力放出系	セル排風機A	高レベル濃縮廃液貯槽セル等からの排気系 固化セル換気系及び固化セル圧力放出系
	固化セル換気系排風機A	セル排風機B
分離建屋 塔槽類廃ガス処理設備 パルセータ廃ガス処理系	排風機A	分離建屋 塔槽類廃ガス処理設備 パルセータ廃ガス処理系
	排風機A	排風機B
分離建屋 塔槽類廃ガス処理設備 塔槽類廃ガス処理系	排風機A	分離建屋 塔槽類廃ガス処理設備 塔槽類廃ガス処理系
	排風機A	排風機B
分離建屋換気設備 プルトニウム溶液中間貯槽セル等からの排気系	グローブボックス・セル排風機A	分離建屋換気設備 プルトニウム溶液中間貯槽セル等からの排気系
	グローブボックス・セル排風機A	グローブボックス・セル排風機B
精製建屋 塔槽類廃ガス処理設備 パルセータ廃ガス処理系	排風機A	精製建屋 塔槽類廃ガス処理設備 パルセータ廃ガス処理系
	排風機A	排風機B
精製建屋 塔槽類廃ガス処理設備 塔槽類廃ガス処理系(プルトニウム系)	排風機A	精製建屋 塔槽類廃ガス処理設備 塔槽類廃ガス処理系(プルトニウム系)
	排風機A	排風機B
精製建屋換気設備 プルトニウム濃縮缶セル等及びグローブボックス等からの排気系	グローブボックス・セル排風機A	精製建屋換気設備 プルトニウム濃縮缶セル等及びグローブボックス等からの排気系
	グローブボックス・セル排風機A	グローブボックス・セル排風機B
ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋 塔槽類廃ガス処理設備	第1排風機A	ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋 塔槽類廃ガス処理設備
	第2排風機A	第1排風機B
	第2排風機C	第2排風機B
ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋 硝酸プルトニウム貯槽セル等及びグローブボックス等からの排気系	グローブボックス・セル排風機A	ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋 硝酸プルトニウム貯槽セル等及びグローブボックス等からの排気系
	グローブボックス・セル排風機C	グローブボックス・セル排風機B
-		-
1パス	-	
回路評価等	-	
成功パス	-	

凡例	
x	〇〇〇〇-〇〇〇 〇〇〇A
	〇〇〇〇-〇〇〇 〇〇〇〇A
x : 当該室の火災により安全機能を喪失する機器がある場合	
空欄 : 当該室に設置していない機器	
1パス	- : 当該室に対象なし ○ : 当該室の火災により対応する安全機能が1系統残る場合 x : 当該室の火災により対応する安全機能がすべて喪失する場合
回路評価等	- : 当該室に回路評価等を行う対象なし ○ : 回路評価等により、対応する安全機能が確保される場合
成功パス	- : 当該室に対象なし ○ : 当該室の火災により対応する安全機能が1系統残る場合 x : 当該室の火災により対応する安全機能がすべて喪失する場合

再処理施設成功パス一覧表

2.崩壊熱除去機能		【Aトレ設備】		【Bトレ設備】	
冷却設備	安全冷却水系			冷却設備	安全冷却水系
	安全冷却水A冷却塔				安全冷却水B冷却塔
前処理建屋	冷却設備 安全冷却水系			前処理建屋	冷却設備 安全冷却水系
	安全冷却水A循環ポンプA				安全冷却水B循環ポンプA
	安全冷却水A循環ポンプB				安全冷却水B循環ポンプB
	安全冷却水1AポンプA				安全冷却水1BポンプA
	安全冷却水1AポンプB				安全冷却水1BポンプB
分離建屋	冷却設備 安全冷却水系			分離建屋	冷却設備 安全冷却水系
	冷却水循環ポンプA				冷却水循環ポンプC
	冷却水循環ポンプB				冷却水循環ポンプD
	安全冷却水1AポンプA				安全冷却水1BポンプA
	安全冷却水1AポンプB				安全冷却水1BポンプB
精製建屋	冷却設備 安全冷却水系			精製建屋	冷却設備 安全冷却水系
×	安全冷却水AポンプA				安全冷却水BポンプA
×	安全冷却水AポンプB				安全冷却水BポンプB
ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋	冷却設備 安全冷却水系			ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋	冷却設備 安全冷却水系
	冷水移送ポンプA				冷水移送ポンプC
	冷水移送ポンプB				冷水移送ポンプD
高レベル廃液ガラス固化建屋	冷却設備 安全冷却水系			高レベル廃液ガラス固化建屋	冷却設備 安全冷却水系
	第1高レベル濃縮廃液貯槽冷却水AポンプA				第1高レベル濃縮廃液貯槽冷却水BポンプA
	第1高レベル濃縮廃液貯槽冷却水AポンプB				第1高レベル濃縮廃液貯槽冷却水BポンプB
	第2高レベル濃縮廃液貯槽冷却水AポンプA				第2高レベル濃縮廃液貯槽冷却水BポンプA
	第2高レベル濃縮廃液貯槽冷却水AポンプB				第2高レベル濃縮廃液貯槽冷却水BポンプB
	安全冷却水A系ポンプA				安全冷却水B系ポンプA
	安全冷却水A系ポンプB				安全冷却水B系ポンプB
	高レベル廃液共用貯槽冷却水AポンプA				高レベル廃液共用貯槽冷却水BポンプA
	高レベル廃液共用貯槽冷却水AポンプB				高レベル廃液共用貯槽冷却水BポンプB
	安全冷却水A系ポンプA				安全冷却水B系ポンプA
	安全冷却水A系ポンプB				安全冷却水B系ポンプB
	安全冷水A冷却器冷媒膨張弁A				安全冷水B冷却器冷媒膨張弁A
	安全冷水A冷却器冷媒膨張弁B				安全冷水B冷却器冷媒膨張弁B
	安全冷水A冷却器冷媒止弁A				安全冷水B冷却器冷媒止弁A
	安全冷水A冷却器冷媒止弁B				安全冷水B冷却器冷媒止弁B
	安全冷却水1AポンプA				安全冷却水1BポンプA
	安全冷却水1AポンプB				安全冷却水1BポンプB
	安全冷水AポンプA				安全冷水BポンプA
	安全冷水AポンプB				安全冷水BポンプB
	安全冷水A冷凍機				安全冷水B冷凍機
	スクリー圧縮機				スクリー圧縮機
	スクリー圧縮機				スクリー圧縮機
ウラン・プルトニウム混合酸化物貯蔵建屋換気設備貯蔵室排気系				ウラン・プルトニウム混合酸化物貯蔵建屋換気設備貯蔵室排気系	
	貯蔵室排風機A				貯蔵室排風機C
	貯蔵室排風機B				貯蔵室排風機D
×				-	
	1パス		○		
	回路評価等		-		
	成功パス		○		
3.安全圧縮空気系(水素掃気機能)		【Aトレ設備】		【Bトレ設備】	
安全圧縮空気系				安全圧縮空気系	
	安全空気圧縮装置A				安全空気圧縮装置B
	安全空気圧縮装置C				安全空気圧縮装置C
-				-	
	1パス		-		
	回路評価等		-		
	成功パス		-		

再処理施設成功パス一覧表

4. 支援機能(続き)		【Aトレン設備】		【Bトレン設備】	
精製建屋の電気設備		精製建屋の電気設備		精製建屋の電気設備	
AC-BAT-A	110V第2非常用蓄電池A	AC-BAT-B	110V第2非常用蓄電池B	AC-BAT-B	110V第2非常用蓄電池B
AC-CHG-A	110V非常用充電器盤A	AC-CHG-B	110V非常用充電器盤B	AC-CHG-B	110V非常用充電器盤B
AC-CHG-E	110V非常用予備充電器盤E	AC-CHG-E	110V非常用予備充電器盤E	AC-CHG-E	110V非常用予備充電器盤E
AC-DCD-A	110V非常用直流主分電盤A	AC-DCD-B	110V非常用直流主分電盤B	AC-DCD-B	110V非常用直流主分電盤B
AC-MCC-A1	460V非常用コントロールセンタA1	AC-MCC-B1	460V非常用コントロールセンタB1	AC-MCC-B1	460V非常用コントロールセンタB1
AC-MCC-A2	460V非常用コントロールセンタA2	AC-MCC-B2	460V非常用コントロールセンタB2	AC-MCC-B2	460V非常用コントロールセンタB2
AC-P/C-A	460V非常用パワーセンタA	AC-P/C-B	460V非常用パワーセンタB	AC-P/C-B	460V非常用パワーセンタB
AC-UPD-A	105V非常用無停電交流主分電盤A	AC-UPD-B	105V非常用無停電交流主分電盤B	AC-UPD-B	105V非常用無停電交流主分電盤B
AC-UPS-A	105V非常用無停電電源装置A	AC-UPS-B	105V非常用無停電電源装置B	AC-UPS-B	105V非常用無停電電源装置B
AC-I-J451A	ユーティリティ工程 安全系A制御盤(リレー盤)	AC-I-J461B	ユーティリティ工程 安全系B制御盤(リレー盤)	AC-I-J461B	ユーティリティ工程 安全系B制御盤(リレー盤)
AC-E-J452A	非常用電気設備リレー盤A	AC-E-J462B	非常用電気設備リレー盤B	AC-E-J462B	非常用電気設備リレー盤B
AC-V-J453A	建屋換気設備安全系A制御盤	AC-V-J463B	建屋換気設備安全系B制御盤	AC-V-J463B	建屋換気設備安全系B制御盤
AC-I-J752A	プルトニウム精製工程 安全系A 制御盤3	AC-I-J755B	プルトニウム精製工程 安全系B 制御盤3	AC-I-J755B	プルトニウム精製工程 安全系B 制御盤3
ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋の非常用所内電源系統		ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋の非常用所内電源系統		ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋の非常用所内電源系統	
CA-P/C-A	460V非常用パワーセンタA	CA-P/C-B	460V非常用パワーセンタB	CA-P/C-B	460V非常用パワーセンタB
CA-MCC-A1	460V非常用コントロールセンタA1	CA-MCC-B1	460V非常用コントロールセンタB1	CA-MCC-B1	460V非常用コントロールセンタB1
CA-MCC-A2	460V非常用コントロールセンタA2	CA-MCC-B2	460V非常用コントロールセンタB2	CA-MCC-B2	460V非常用コントロールセンタB2
CA-M/C-A	6.9kV非常用メタクラA	CA-M/C-B	6.9kV非常用メタクラB	CA-M/C-B	6.9kV非常用メタクラB
CA-E-K503A	非常用電気設備リレー盤A	CA-E-K603B	非常用電気設備リレー盤B	CA-E-K603B	非常用電気設備リレー盤B
CA-I-J501A	安全系A制御盤	CA-I-J601B	安全系B制御盤	CA-I-J601B	安全系B制御盤
CA-V-J502A	建屋換気設備安全系A制御盤	CA-V-J602B	建屋換気設備安全系B制御盤	CA-V-J602B	建屋換気設備安全系B制御盤
CA-CHG-A	110V非常用充電器盤A	CA-CHG-B	110V非常用充電器盤B	CA-CHG-B	110V非常用充電器盤B
CA-CHG-E	110V非常用予備充電器盤E	CA-CHG-E	110V非常用予備充電器盤E	CA-CHG-E	110V非常用予備充電器盤E
CA-DCD-A	110V非常用直流主分電盤A	CA-DCD-B	110V非常用直流主分電盤B	CA-DCD-B	110V非常用直流主分電盤B
CA-UPD-A	105V非常用無停電交流主分電盤A	CA-UPD-B	105V非常用無停電交流主分電盤B	CA-UPD-B	105V非常用無停電交流主分電盤B
CA-UPS-A	105V非常用無停電電源装置A	CA-UPS-B	105V非常用無停電電源装置B	CA-UPS-B	105V非常用無停電電源装置B
CA-BAT-A	110V第2非常用蓄電池A	CA-BAT-B	110V第2非常用蓄電池B	CA-BAT-B	110V第2非常用蓄電池B
ウラン・プルトニウム混合酸化物貯蔵建屋の非常用所内電源系統		ウラン・プルトニウム混合酸化物貯蔵建屋の非常用所内電源系統		ウラン・プルトニウム混合酸化物貯蔵建屋の非常用所内電源系統	
CB-P/C-A	460V非常用パワーセンタA	CB-P/C-B	460V非常用パワーセンタB	CB-P/C-B	460V非常用パワーセンタB
CB-E-J101A	非常用電気設備リレー盤A	CB-E-J102B	非常用電気設備リレー盤B	CB-E-J102B	非常用電気設備リレー盤B
CA-V-J001A	建屋換気設備安全系A制御盤	CA-V-J002B	建屋換気設備安全系B制御盤	CA-V-J002B	建屋換気設備安全系B制御盤
CB-BAT-A	110V第2非常用蓄電池A	CB-BAT-B	110V第2非常用蓄電池B	CB-BAT-B	110V第2非常用蓄電池B
CB-CHG-A	110V非常用充電器盤A	CB-CHG-B	110V非常用充電器盤B	CB-CHG-B	110V非常用充電器盤B
CB-DCD-A	110V非常用直流主分電盤A	CB-DCD-B	110V非常用直流主分電盤B	CB-DCD-B	110V非常用直流主分電盤B
CB-MCC-A	460V非常用コントロールセンタA	CB-MCC-B	460V非常用コントロールセンタB	CB-MCC-B	460V非常用コントロールセンタB
CB-UPS-A	105V非常用無停電電源装置A	CB-UPS-B	105V非常用無停電電源装置B	CB-UPS-B	105V非常用無停電電源装置B
CB-CHG-E	110V非常用予備充電器盤E	CB-CHG-E	110V非常用予備充電器盤E	CB-CHG-E	110V非常用予備充電器盤E
高レベル廃液ガラス固化建屋の電気設備		高レベル廃液ガラス固化建屋の電気設備		高レベル廃液ガラス固化建屋の電気設備	
KA-P/C-A	460V非常用パワーセンタA	KA-P/C-B	460V非常用パワーセンタB	KA-P/C-B	460V非常用パワーセンタB
KA-BAT-A	110V第2非常用蓄電池A	KA-BAT-B	110V第2非常用蓄電池B	KA-BAT-B	110V第2非常用蓄電池B
KA-CHG-A	110V非常用充電器盤A	KA-CHG-B	110V非常用充電器盤B	KA-CHG-B	110V非常用充電器盤B
KA-CHG-E	110V非常用予備充電器盤E	KA-CHG-E	110V非常用予備充電器盤E	KA-CHG-E	110V非常用予備充電器盤E
KA-DCD-A	110V非常用直流主分電盤A	KA-DCD-B	110V非常用直流主分電盤B	KA-DCD-B	110V非常用直流主分電盤B
KA-UPS-A	105V非常用無停電電源装置A	KA-UPS-B	105V非常用無停電電源装置B	KA-UPS-B	105V非常用無停電電源装置B
KA-UPD-A	105V非常用無停電交流主分電盤A	KA-UPD-B	105V非常用無停電交流主分電盤B	KA-UPD-B	105V非常用無停電交流主分電盤B
KA-ACS-A	105V非常用計測交流電源盤A	KA-ACS-B	105V非常用計測交流電源盤B	KA-ACS-B	105V非常用計測交流電源盤B
KA-ACD-A	105V非常用計測交流主分電盤A	KA-ACD-B	105V非常用計測交流主分電盤B	KA-ACD-B	105V非常用計測交流主分電盤B
KA-MCC-A1	460V非常用コントロールセンタA1	KA-MCC-B1	460V非常用コントロールセンタB1	KA-MCC-B1	460V非常用コントロールセンタB1
KA-MCC-A2	460V非常用コントロールセンタA2	KA-MCC-B2	460V非常用コントロールセンタB2	KA-MCC-B2	460V非常用コントロールセンタB2
KA-I-K224A	高レベル廃液ガラス固化廃ガス処理設備第1排風機A安全系Aインバータ制御盤	KA-I-K225B	高レベル廃液ガラス固化廃ガス処理設備第1排風機B安全系Bインバータ制御盤	KA-I-K225B	高レベル廃液ガラス固化廃ガス処理設備第1排風機B安全系Bインバータ制御盤
KA-I-K226A	高レベル廃液ガラス固化廃ガス処理設備第2排風機A安全系Aインバータ制御盤	KA-I-K227B	高レベル廃液ガラス固化廃ガス処理設備第2排風機B安全系Bインバータ制御盤	KA-I-K227B	高レベル廃液ガラス固化廃ガス処理設備第2排風機B安全系Bインバータ制御盤
KA-I-K073A	固化セル換気系排風機A安全系Aインバータ制御盤	KA-I-K074B	固化セル換気系排風機B安全系Bインバータ制御盤	KA-I-K074B	固化セル換気系排風機B安全系Bインバータ制御盤
KA-E-K001A	非常用電気設備リレー盤A	KA-E-K002B	非常用電気設備リレー盤B	KA-E-K002B	非常用電気設備リレー盤B
KA-I-J501A	高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系A制御盤1	KA-I-J521B	高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系B制御盤1	KA-I-J521B	高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系B制御盤1
KA-I-J502A	高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系A制御盤2	KA-I-J522B	高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系B制御盤2	KA-I-J522B	高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系B制御盤2
KA-I-J503A	高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系A制御盤3	KA-I-J523B	高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系B制御盤3	KA-I-J523B	高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系B制御盤3
KA-I-J504A	高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系A制御盤4	KA-I-J524B	高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系B制御盤4	KA-I-J524B	高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系B制御盤4
KA-I-J505A	高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系A制御盤5	KA-I-J525B	高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系B制御盤5	KA-I-J525B	高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系B制御盤5
KA-I-J506A	高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系A制御盤6	KA-I-J526B	高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系B制御盤6	KA-I-J526B	高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系B制御盤6
KA-I-J507A	高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系A制御盤7	KA-I-J527B	高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系B制御盤7	KA-I-J527B	高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系B制御盤7
KA-I-J508A	高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系A制御盤8	KA-I-J528B	高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系B制御盤8	KA-I-J528B	高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系B制御盤8
KA-I-J511A	安全系A アレスタ盤	KA-I-J531B	安全系B アレスタ盤	KA-I-J531B	安全系B アレスタ盤
KA-I-J512A	高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系A制御盤(リレー盤1)	KA-I-J532B	高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系B制御盤(リレー盤1)	KA-I-J532B	高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系B制御盤(リレー盤1)
KA-I-J513A	高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系A制御盤(リレー盤2)	KA-I-J533B	高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系B制御盤(リレー盤2)	KA-I-J533B	高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系B制御盤(リレー盤2)
KA-I-J514A	高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系A制御盤(リレー盤3)	KA-I-J534B	高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系B制御盤(リレー盤3)	KA-I-J534B	高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系B制御盤(リレー盤3)
KA-I-M331A	冷凍機 安全系A監視制御盤	KA-I-M322B	冷凍機 安全系B監視制御盤	KA-I-M322B	冷凍機 安全系B監視制御盤
KA-I-K334A	冷却水・冷水設備 安全系A 制御盤1	KA-I-K338B	冷却水・冷水設備 安全系B 制御盤1	KA-I-K338B	冷却水・冷水設備 安全系B 制御盤1
KA-I-K335A	冷却水・冷水設備 安全系A 制御盤2	KA-I-K339B	冷却水・冷水設備 安全系B 制御盤2	KA-I-K339B	冷却水・冷水設備 安全系B 制御盤2
-		-		-	
1パス	-				
回路評価等	-				
成功パス	-				

火災区域(区画)特性表

1. 火災区域(区画)の説明

建屋名	精製建屋
火災区域/区画区分	火災区画
火災区域/区画番号	■
火災区域/区画名称	トリ第1保管室
床面積(m ²)	■

2. 火災区域(区画)の火災シナリオの説明

■は、精製建屋内の火災区画である。
 本区画は、ケーブルトレイ火災の発生可能性があるが、安全上重要な施設が設置されていないため、安全機能の喪失のおそれはない。

3. 火災区域(区画)にある火災源

(1) 等価時間

発熱量(kJ)	火災荷重(kJ/m ²)	等価時間(h) [※]
■	■	0.5

※ 等価時間は、内部火災影響評価ガイドの等価時間記載の値で示す。

(2) 火災区域(区画)にある火災源機器数

火災源	機器数
電動機(3.7kW超)	-
電気盤(440V以上)	-
ケーブルトレイ(ケーブル)	有
油脂類・有機溶媒等	-
その他	-

4. 火災区域(区画)にある防火設備

火災感知の手段	主要な消火設備	消火方法	消火設備のバックアップ
煙感知器	屋内消火栓	手動	粉末消火器

5. 火災区域(区画)に隣接する火災区域(区画)と火災伝播経路

隣接火災区画への火災伝播経路の詳細は、別紙1参照

6. 火災影響を受ける火災防護対象機器等

機器名称[機器番号]	最重要設備 [※]	最重要設備以外の安全上重要な施設 [※]
-	-	-

※ ○:対象 -:非対象

* 火災想定において、工程停止等により安全機能を必要としない状態へと移行が可能なもの。

7. 火災防護対象機器等の関連ケーブル

機器名称[機器番号]	ケーブル種別	安重分類
-	-	-

8. 最重要設備の安重機能への火災影響

安重分類	全焼時の成功パスの有無	回路評価等の考慮	結果	系統分離※
Pu・高レベル廃棄物の閉じ込め機能	-	-	-	-
崩壊熱除去機能(重要度の高いもの)	-	-	-	-
安全圧縮空気系(水素掃気機能)	-	-	-	-
非常用所内電源系統	-	-	-	-

※ a : 3時間以上の耐火能力を有する耐火壁で分離

b : 水平距離6mによる分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置

c : 1時間の耐火能力を有する隔壁等による分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置
再処理施設成功パスの詳細は、別紙2参照

9. 最重要設備以外の火災防護対象機器等への火災影響

機器名称[機器番号]	当該区画の火災評価※	隣接区画の火災評価※
-	-	-

※ ○:火災影響なし ×:火災影響あり

隣接する火災区画と火災伝播経路

(※ 有:伝播する 無:伝播しない)

隣接する 火災区画	火災伝播 経路有無	等価時間 (h)	耐火時間 (h)	火災伝播の 可能性 ※	備考
[Redacted]	無	0.5	3.0	無	
	無	0.5	1.0	無	
	有	0.5	0.0	有	
	有	0.5	0.0	有	
	無	0.5	1.0	無	
	無	0.5	3.0	無	

火災区域(区画)特性表

1. 火災区域(区画)の説明

建屋名	精製建屋
火災区域/区画区分	火災区画
火災区域/区画番号	■
火災区域/区画名称	北第2階段室地下2階附室
床面積(m ²)	■

2. 火災区域(区画)の火災シナリオの説明

■は、精製建屋内の火災区画である。
 本区画は、火災源となるものがないおよび安全上重要な施設が設置されていないため、安全機能の喪失のおそれはない。

3. 火災区域(区画)にある火災源

(1) 等価時間

発熱量(kJ)	火災荷重 (kJ/m ²)	等価時間(h) [※]
■	■	0.0

※ 等価時間は、内部火災影響評価ガイドの等価時間記載の値で示す。

(2) 火災区域(区画)にある火災源機器数

火災源	機器数
電動機(3.7kW超)	-
電気盤(440V以上)	-
ケーブルトレイ(ケーブル)	-
油脂類・有機溶媒等	-
その他	-

4. 火災区域(区画)にある防火設備

火災感知の手段	主要な消火設備	消火方法	消火設備のバックアップ
煙感知器	屋内消火栓	手動	粉末消火器

5. 火災区域(区画)に隣接する火災区域(区画)と火災伝播経路

隣接火災区画への火災伝播経路の詳細は、別紙1参照

6. 火災影響を受ける火災防護対象機器等

機器名称[機器番号]	最重要設備 [※]	最重要設備以外の安全上重要な施設 [※]
-	-	-

※ ○:対象 -:非対象

* 火災想定において、工程停止等により安全機能を必要としない状態へと移行が可能なもの。

7. 火災防護対象機器等の関連ケーブル

機器名称[機器番号]	ケーブル種別	安重分類
-	-	-

8. 最重要設備の安重機能への火災影響

安重分類	全焼時の成功パスの有無	回路評価等の考慮	結果	系統分離※
Pu・高レベル廃棄物の閉じ込め機能	-	-	-	-
崩壊熱除去機能(重要度の高いもの)	-	-	-	-
安全圧縮空気系(水素掃気機能)	-	-	-	-
非常用所内電源系統	-	-	-	-

※ a : 3時間以上の耐火能力を有する耐火壁で分離

b : 水平距離6mによる分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置

c : 1時間の耐火能力を有する隔壁等による分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置
再処理施設成功パスの詳細は、別紙2参照

9. 最重要設備以外の火災防護対象機器等への火災影響

機器名称[機器番号]	当該区画の火災評価※	隣接区画の火災評価※
-	-	-

※ ○:火災影響なし ×:火災影響あり

隣接する火災区画と火災伝播経路

(※ 有:伝播する 無:伝播しない)

隣接する火災区画	火災伝播経路有無	等価時間(h)	耐火時間(h)	火災伝播の可能性※	備考
	無	0.0	1.0	無	
	無	0.0	1.0	無	
	無	0.0	1.0	無	
	無	0.0	1.0	無	
	無	0.0	3.0	無	

火災区域(区画)特性表

1. 火災区域(区画)の説明

建屋名	精製建屋
火災区域/区画区分	火災区画
火災区域/区画番号	■
火災区域/区画名称	南第2階段室地下2階附室
床面積(m ²)	■

2. 火災区域(区画)の火災シナリオの説明

■は、精製建屋内の火災区画である。
 本区画は、火災源となるものがないおよび安全上重要な施設が設置されていないため、安全機能の喪失のおそれはない。

3. 火災区域(区画)にある火災源

(1) 等価時間

発熱量(kJ)	火災荷重(kJ/m ²)	等価時間(h) [※]
■	■	0.0

※ 等価時間は、内部火災影響評価ガイドの等価時間記載の値で示す。

(2) 火災区域(区画)にある火災源機器数

火災源	機器数
電動機(3.7kW超)	-
電気盤(440V以上)	-
ケーブルトレイ(ケーブル)	-
油脂類・有機溶媒等	-
その他	-

4. 火災区域(区画)にある防火設備

火災感知の手段	主要な消火設備	消火方法	消火設備のバックアップ
煙感知器	屋内消火栓	手動	粉末消火器

5. 火災区域(区画)に隣接する火災区域(区画)と火災伝播経路 隣接火災区画への火災伝播経路の詳細は、別紙1参照

6. 火災影響を受ける火災防護対象機器等

機器名称[機器番号]	最重要設備 [※]	最重要設備以外の安全上重要な施設 [※]
-	-	-

※ ○:対象 -:非対象

* 火災想定において、工程停止等により安全機能を必要としない状態へと移行が可能なもの。

7. 火災防護対象機器等の関連ケーブル

機器名称[機器番号]	ケーブル種別	安重分類
-	-	-

8. 最重要設備の安重機能への火災影響

安重分類	全焼時の成功パスの有無	回路評価等の考慮	結果	系統分離※
Pu・高レベル廃棄物の閉じ込め機能	-	-	-	-
崩壊熱除去機能(重要度の高いもの)	-	-	-	-
安全圧縮空気系(水素掃気機能)	-	-	-	-
非常用所内電源系統	-	-	-	-

※ a : 3時間以上の耐火能力を有する耐火壁で分離

b : 水平距離6mによる分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置

c : 1時間の耐火能力を有する隔壁等による分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置
再処理施設成功パスの詳細は、別紙2参照

9. 最重要設備以外の火災防護対象機器等への火災影響

機器名称[機器番号]	当該区画の火災評価※	隣接区画の火災評価※
-	-	-

※ ○:火災影響なし ×:火災影響あり

隣接する火災区画と火災伝播経路

(※ 有:伝播する 無:伝播しない)

隣接する 火災区画	火災伝播 経路有無	等価時間 (h)	耐火時間 (h)	火災伝播の 可能性 ※	備考
	無	0.0	1.0	無	
	無	0.0	1.0	無	
	無	0.0	1.0	無	
	無	0.0	3.0	無	
	無	0.0	1.0	無	

火災区域(区画)特性表

1. 火災区域(区画)の説明

建屋名	精製建屋
火災区域/区画区分	火災区画
火災区域/区画番号	■
火災区域/区画名称	南第3階段室地下2階附室
床面積(m ²)	■

2. 火災区域(区画)の火災シナリオの説明

■は、精製建屋内の火災区画である。
 本区画は、火災源となるものがないおよび安全上重要な施設が設置されていないため、安全機能の喪失のおそれはない。

3. 火災区域(区画)にある火災源

(1) 等価時間

発熱量(kJ)	火災荷重 (kJ/m ²)	等価時間(h) [※]
■	■	0.0

※ 等価時間は、内部火災影響評価ガイドの等価時間記載の値で示す。

(2) 火災区域(区画)にある火災源機器数

火災源	機器数
電動機(3.7kW超)	-
電気盤(440V以上)	-
ケーブルトレイ(ケーブル)	-
油脂類・有機溶媒等	-
その他	-

4. 火災区域(区画)にある防火設備

火災感知の手段	主要な消火設備	消火方法	消火設備のバックアップ
煙感知器	屋内消火栓	手動	粉末消火器

5. 火災区域(区画)に隣接する火災区域(区画)と火災伝播経路

隣接火災区画への火災伝播経路の詳細は、別紙1参照

6. 火災影響を受ける火災防護対象機器等

機器名称[機器番号]	最重要設備 [※]	最重要設備以外の安全上重要な施設 [※]
-	-	-

※ ○:対象 -:非対象

* 火災想定において、工程停止等により安全機能を必要としない状態へと移行が可能なもの。

7. 火災防護対象機器等の関連ケーブル

機器名称[機器番号]	ケーブル種別	安重分類
-	-	-

8. 最重要設備の安重機能への火災影響

安重分類	全焼時の成功パスの有無	回路評価等の考慮	結果	系統分離※
Pu・高レベル廃棄物の閉じ込め機能	-	-	-	-
崩壊熱除去機能(重要度の高いもの)	-	-	-	-
安全圧縮空気系(水素掃気機能)	-	-	-	-
非常用所内電源系統	-	-	-	-

※ a : 3時間以上の耐火能力を有する耐火壁で分離

b : 水平距離6mによる分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置

c : 1時間の耐火能力を有する隔壁等による分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置
再処理施設成功パスの詳細は、別紙2参照

9. 最重要設備以外の火災防護対象機器等への火災影響

機器名称[機器番号]	当該区画の火災評価※	隣接区画の火災評価※
-	-	-

※ ○:火災影響なし ×:火災影響あり

隣接する火災区画と火災伝播経路

(※ 有:伝播する 無:伝播しない)

隣接する 火災区画	火災伝播 経路有無	等価時間 (h)	耐火時間 (h)	火災伝播の 可能性 ※	備考
	無	0.0	3.0	無	
	無	0.0	1.0	無	
	無	0.0	1.0	無	
	無	0.0	1.0	無	
	無	0.0	3.0	無	
	無	0.0	1.0	無	
	無	0.0	1.0	無	

火災区域(区画)特性表

1. 火災区域(区画)の説明

建屋名	精製建屋
火災区域/区画区分	火災区画
火災区域/区画番号	■
火災区域/区画名称	北第1階段室地下2階附室
床面積(m ²)	■

2. 火災区域(区画)の火災シナリオの説明

■は、精製建屋内の火災区画である。
 本区画は、火災源となるものがないおよび安全上重要な施設が設置されていないため、安全機能の喪失のおそれはない。

3. 火災区域(区画)にある火災源

(1) 等価時間

発熱量(kJ)	火災荷重 (kJ/m ²)	等価時間(h) [※]
■	■	0.0

※ 等価時間は、内部火災影響評価ガイドの等価時間記載の値で示す。

(2) 火災区域(区画)にある火災源機器数

火災源	機器数
電動機(3.7kW超)	-
電気盤(440V以上)	-
ケーブルトレイ(ケーブル)	-
油脂類・有機溶媒等	-
その他	-

4. 火災区域(区画)にある防火設備

火災感知の手段	主要な消火設備	消火方法	消火設備のバックアップ
煙感知器	屋内消火栓	手動	粉末消火器

5. 火災区域(区画)に隣接する火災区域(区画)と火災伝播経路

隣接火災区画への火災伝播経路の詳細は、別紙1参照

6. 火災影響を受ける火災防護対象機器等

機器名称[機器番号]	最重要設備 [※]	最重要設備以外の安全上重要な施設 [※]
-	-	-

※ ○:対象 -:非対象

* 火災想定において、工程停止等により安全機能を必要としない状態へと移行が可能なもの。

7. 火災防護対象機器等の関連ケーブル

機器名称[機器番号]	ケーブル種別	安重分類
-	-	-

8. 最重要設備の安重機能への火災影響

安重分類	全焼時の成功パスの有無	回路評価等の考慮	結果	系統分離※
Pu・高レベル廃棄物の閉じ込め機能	-	-	-	-
崩壊熱除去機能(重要度の高いもの)	-	-	-	-
安全圧縮空気系(水素掃気機能)	-	-	-	-
非常用所内電源系統	-	-	-	-

※ a : 3時間以上の耐火能力を有する耐火壁で分離

b : 水平距離6mによる分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置

c : 1時間の耐火能力を有する隔壁等による分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置
再処理施設成功パスの詳細は、別紙2参照

9. 最重要設備以外の火災防護対象機器等への火災影響

機器名称[機器番号]	当該区画の火災評価※	隣接区画の火災評価※
-	-	-

※ ○:火災影響なし ×:火災影響あり

隣接する火災区画と火災伝播経路

(※ 有:伝播する 無:伝播しない)

隣接する 火災区画	火災伝播 経路有無	等価時間 (h)	耐火時間 (h)	火災伝播の 可能性 ※	備考
	無	0.0	1.0	無	
	無	0.0	1.0	無	
	無	0.0	1.0	無	
	無	0.0	1.0	無	
	無	0.0	3.0	無	

火災区域(区画)特性表

1. 火災区域(区画)の説明

建屋名	精製建屋
火災区域/区画区分	火災区画
火災区域/区画番号	■
火災区域/区画名称	南第1階段室地下2階附室
床面積(m ²)	■

2. 火災区域(区画)の火災シナリオの説明

■は、精製建屋内の火災区画である。
 本区画は、火災源となるものがないおよび安全上重要な施設が設置されていないため、安全機能の喪失のおそれはない。

3. 火災区域(区画)にある火災源

(1) 等価時間

発熱量(kJ)	火災荷重 (kJ/m ²)	等価時間(h) [※]
■	■	0.0

※ 等価時間は、内部火災影響評価ガイドの等価時間記載の値で示す。

(2) 火災区域(区画)にある火災源機器数

火災源	機器数
電動機(3.7kW超)	-
電気盤(440V以上)	-
ケーブルトレイ(ケーブル)	-
油脂類・有機溶媒等	-
その他	-

4. 火災区域(区画)にある防火設備

火災感知の手段	主要な消火設備	消火方法	消火設備のバックアップ
煙感知器	屋内消火栓	手動	粉末消火器

5. 火災区域(区画)に隣接する火災区域(区画)と火災伝播経路 隣接火災区画への火災伝播経路の詳細は、別紙1参照

6. 火災影響を受ける火災防護対象機器等

機器名称[機器番号]	最重要設備 [※]	最重要設備以外の安全上重要な施設 [※]
-	-	-

※ ○:対象 -:非対象

* 火災想定において、工程停止等により安全機能を必要としない状態へと移行が可能なもの。

7. 火災防護対象機器等の関連ケーブル

機器名称[機器番号]	ケーブル種別	安重分類
-	-	-

8. 最重要設備の安重機能への火災影響

安重分類	全焼時の成功パスの有無	回路評価等の考慮	結果	系統分離※
Pu・高レベル廃棄物の閉じ込め機能	-	-	-	-
崩壊熱除去機能(重要度の高いもの)	-	-	-	-
安全圧縮空気系(水素掃気機能)	-	-	-	-
非常用所内電源系統	-	-	-	-

※ a : 3時間以上の耐火能力を有する耐火壁で分離

b : 水平距離6mによる分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置

c : 1時間の耐火能力を有する隔壁等による分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置
再処理施設成功パスの詳細は、別紙2参照

9. 最重要設備以外の火災防護対象機器等への火災影響

機器名称[機器番号]	当該区画の火災評価※	隣接区画の火災評価※
-	-	-

※ ○:火災影響なし ×:火災影響あり

隣接する火災区画と火災伝播経路

(※ 有:伝播する 無:伝播しない)

隣接する 火災区画	火災伝播 経路有無	等価時間 (h)	耐火時間 (h)	火災伝播の 可能性 ※	備考
	無	0.0	1.0	無	
	無	0.0	1.0	無	
	無	0.0	1.0	無	
	無	0.0	3.0	無	
	無	0.0	1.0	無	

火災区域(区画)特性表

1. 火災区域(区画)の説明

建屋名	精製建屋
火災区域/区画区分	火災区画
火災区域/区画番号	■
火災区域/区画名称	第20保守室
床面積(m ²)	■

2. 火災区域(区画)の火災シナリオの説明

■は、精製建屋内の火災区画である。
 本区画は、火災源となるものがないおよび安全上重要な施設が設置されていないため、安全機能の喪失のおそれはない。

3. 火災区域(区画)にある火災源

(1) 等価時間

発熱量(kJ)	火災荷重 (kJ/m ²)	等価時間(h) [※]
■	■	0.5

※ 等価時間は、内部火災影響評価ガイドの等価時間記載の値で示す。

(2) 火災区域(区画)にある火災源機器数

火災源	機器数
電動機(3.7kW超)	-
電気盤(440V以上)	-
ケーブルトレイ(ケーブル)	-
油脂類・有機溶媒等	-
その他	-

4. 火災区域(区画)にある防火設備

火災感知の手段	主要な消火設備	消火方法	消火設備のバックアップ
煙感知器	屋内消火栓	手動	粉末消火器

5. 火災区域(区画)に隣接する火災区域(区画)と火災伝播経路

隣接火災区画への火災伝播経路の詳細は、別紙1参照

6. 火災影響を受ける火災防護対象機器等

機器名称[機器番号]	最重要設備 [※]	最重要設備以外の安全上重要な施設 [※]
-	-	-

※ ○:対象 -:非対象

* 火災想定において、工程停止等により安全機能を必要としない状態へと移行が可能なもの。

7. 火災防護対象機器等の関連ケーブル

機器名称[機器番号]	ケーブル種別	安重分類
-	-	-

8. 最重要設備の安重機能への火災影響

安重分類	全焼時の成功パスの有無	回路評価等の考慮	結果	系統分離※
Pu・高レベル廃棄物の閉じ込め機能	-	-	-	-
崩壊熱除去機能(重要度の高いもの)	-	-	-	-
安全圧縮空気系(水素掃気機能)	-	-	-	-
非常用所内電源系統	-	-	-	-

※ a : 3時間以上の耐火能力を有する耐火壁で分離

b : 水平距離6mによる分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置

c : 1時間の耐火能力を有する隔壁等による分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置
再処理施設成功パスの詳細は、別紙2参照

9. 最重要設備以外の火災防護対象機器等への火災影響

機器名称[機器番号]	当該区画の火災評価※	隣接区画の火災評価※
-	-	-

※ ○:火災影響なし ×:火災影響あり

隣接する火災区画と火災伝播経路

(※ 有:伝播する 無:伝播しない)

隣接する 火災区画	火災伝播 経路有無	等価時間 (h)	耐火時間 (h)	火災伝播の 可能性 ※	備考
	無	0.5	3.0	無	
	無	0.5	3.0	無	
	有	0.5	0.0	有	
	有	0.5	0.0	有	
	有	0.5	0.0	有	
	無	0.5	3.0	無	
	有	0.5	0.0	有	

火災区域(区画)特性表

1. 火災区域(区画)の説明

建屋名	精製建屋
火災区域/区画区分	火災区画
火災区域/区画番号	■
火災区域/区画名称	地下2階南北第2廊下
床面積(m ²)	■

2. 火災区域(区画)の火災シナリオの説明

■は、精製建屋内の火災区画である。
 本区画の火災源は、ケーブルトレイである。
 したがって、本区画の想定火災としては、ケーブルトレイ火災により、多重化された安全上重要な施設のB系の蒸気発生器加熱蒸気しゃ断弁が火災影響を受け、安全機能が喪失するおそれがあるが、火災による損傷を想定した場合にフェイルセーフ動作により、安定停止状態(加熱停止)が維持できる。

3. 火災区域(区画)にある火災源

(1) 等価時間

発熱量(kJ)	火災荷重 (kJ/m ²)	等価時間(h) [※]
■	■	0.5

※ 等価時間は、内部火災影響評価ガイドの等価時間記載の値で示す。

(2) 火災区域(区画)にある火災源機器数

火災源	機器数
電動機(3.7kW超)	-
電気盤(440V以上)	-
ケーブルトレイ(ケーブル)	有
油脂類・有機溶媒等	-
その他	-

4. 火災区域(区画)にある防火設備

火災感知の手段	主要な消火設備	消火方法	消火設備のバックアップ
煙感知器 熱感知器	屋内消火栓	手動	粉末消火器

5. 火災区域(区画)に隣接する火災区域(区画)と火災伝播経路

隣接火災区画への火災伝播経路の詳細は、別紙1参照

6. 火災影響を受ける火災防護対象機器等

機器名称[機器番号]	最重要設備 [※]	最重要設備以外の安全上重要な施設 [※]
蒸気発生器加熱蒸気しゃ断弁 ■	-	○*

※ ○:対象 -:非対象

* 火災想定において、工程停止等により安全機能を必要としない状態へと移行が可能なもの。

7. 火災防護対象機器等の関連ケーブル

機器名称[機器番号]	ケーブル種別	安重分類
-	-	-

8. 最重要設備の安重機能への火災影響

安重分類	全焼時の成功パスの有無	回路評価等の考慮	結果	系統分離※
Pu・高レベル廃棄物の閉じ込め機能	-	-	-	-
崩壊熱除去機能(重要度の高いもの)	-	-	-	-
安全圧縮空気系(水素掃気機能)	-	-	-	-
非常用所内電源系統	-	-	-	-

※ a : 3時間以上の耐火能力を有する耐火壁で分離

b : 水平距離6mによる分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置

c : 1時間の耐火能力を有する隔壁等による分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置
再処理施設成功パスの詳細は、別紙2参照

9. 最重要設備以外の火災防護対象機器等への火災影響

機器名称[機器番号]	当該区画の火災評価※	隣接区画の火災評価※
-	-	-

※ ○:火災影響なし ×:火災影響あり

火災区域(区画)特性表

1. 火災区域(区画)の説明

建屋名	精製建屋
火災区域/区画区分	火災区画
火災区域/区画番号	■
火災区域/区画名称	南第1配管室
床面積(m ²)	■

2. 火災区域(区画)の火災シナリオの説明

■は、精製建屋内の火災区画である。
 本区画は、火災源となるものがないおよび安全上重要な施設が設置されていないため、安全機能の喪失のおそれはない。

3. 火災区域(区画)にある火災源

(1) 等価時間

発熱量(kJ)	火災荷重 (kJ/m ²)	等価時間(h) [※]
■	■	0.0

※ 等価時間は、内部火災影響評価ガイドの等価時間記載の値で示す。

(2) 火災区域(区画)にある火災源機器数

火災源	機器数
電動機(3.7kW超)	-
電気盤(440V以上)	-
ケーブルトレイ(ケーブル)	-
油脂類・有機溶媒等	-
その他	-

4. 火災区域(区画)にある防火設備

火災感知の手段	主要な消火設備	消火方法	消火設備のバックアップ
煙感知器	屋内消火栓	手動	粉末消火器

5. 火災区域(区画)に隣接する火災区域(区画)と火災伝播経路

隣接火災区画への火災伝播経路の詳細は、別紙1参照

6. 火災影響を受ける火災防護対象機器等

機器名称[機器番号]	最重要設備 [※]	最重要設備以外の安全上重要な施設 [※]
-	-	-

※ ○:対象 -:非対象

* 火災想定において、工程停止等により安全機能を必要としない状態へと移行が可能なもの。

7. 火災防護対象機器等の関連ケーブル

機器名称[機器番号]	ケーブル種別	安重分類
-	-	-

8. 最重要設備の安重機能への火災影響

安重分類	全焼時の成功パスの有無	回路評価等の考慮	結果	系統分離※
Pu・高レベル廃棄物の閉じ込め機能	-	-	-	-
崩壊熱除去機能(重要度の高いもの)	-	-	-	-
安全圧縮空気系(水素掃気機能)	-	-	-	-
非常用所内電源系統	-	-	-	-

※ a : 3時間以上の耐火能力を有する耐火壁で分離

b : 水平距離6mによる分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置

c : 1時間の耐火能力を有する隔壁等による分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置
再処理施設成功パスの詳細は、別紙2参照

9. 最重要設備以外の火災防護対象機器等への火災影響

機器名称[機器番号]	当該区画の火災評価※	隣接区画の火災評価※
-	-	-

※ ○:火災影響なし ×:火災影響あり

隣接する火災区画と火災伝播経路

(※ 有:伝播する 無:伝播しない)

隣接する火災区画	火災伝播経路有無	等価時間(h)	耐火時間(h)	火災伝播の可能性※	備考
[Redacted]	無	0.0	3.0	無	
	無	0.0	3.0	無	
	無	0.0	3.0	無	
	無	0.0	3.0	無	
	無	0.0	3.0	無	
	無	0.0	3.0	無	
	無	0.0	3.0	無	
	無	0.0	3.0	無	
	無	0.0	3.0	無	
	無	0.0	3.0	無	
	無	0.0	3.0	無	
	無	0.0	3.0	無	

火災区域(区画)特性表

1. 火災区域(区画)の説明

建屋名	精製建屋
火災区域/区画区分	火災区画
火災区域/区画番号	■
火災区域/区画名称	南第7ダクト室
床面積(m ²)	■

2. 火災区域(区画)の火災シナリオの説明

■は、精製建屋内の火災区画である。
 本区画は、火災源となるものがないおよび安全上重要な施設が設置されていないため、安全機能の喪失のおそれはない。

3. 火災区域(区画)にある火災源

(1) 等価時間

発熱量(kJ)	火災荷重 (kJ/m ²)	等価時間(h) [※]
■	■	0.0

※ 等価時間は、内部火災影響評価ガイドの等価時間記載の値で示す。

(2) 火災区域(区画)にある火災源機器数

火災源	機器数
電動機(3.7kW超)	-
電気盤(440V以上)	-
ケーブルトレイ(ケーブル)	-
油脂類・有機溶媒等	-
その他	-

4. 火災区域(区画)にある防火設備

火災感知の手段	主要な消火設備	消火方法	消火設備のバックアップ
煙感知器	屋内消火栓	手動	粉末消火器

5. 火災区域(区画)に隣接する火災区域(区画)と火災伝播経路

隣接火災区画への火災伝播経路の詳細は、別紙1参照

6. 火災影響を受ける火災防護対象機器等

機器名称[機器番号]	最重要設備 [※]	最重要設備以外の安全上重要な施設 [※]
-	-	-

※ ○:対象 -:非対象

* 火災想定において、工程停止等により安全機能を必要としない状態へと移行が可能なもの。

7. 火災防護対象機器等の関連ケーブル

機器名称[機器番号]	ケーブル種別	安重分類
-	-	-

8. 最重要設備の安重機能への火災影響

安重分類	全焼時の 成功パスの 有無	回路評価 等の考慮	結果	系統分離※
Pu・高レベル廃棄物の閉じ込め機能	-	-	-	-
崩壊熱除去機能(重要度の高いもの)	-	-	-	-
安全圧縮空気系(水素掃気機能)	-	-	-	-
非常用所内電源系統	-	-	-	-

※ a : 3時間以上の耐火能力を有する耐火壁で分離

b : 水平距離6mによる分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置

c : 1時間の耐火能力を有する隔壁等による分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置
再処理施設成功パスの詳細は、別紙2参照

9. 最重要設備以外の火災防護対象機器等への火災影響

機器名称[機器番号]	当該区画の火災評価※	隣接区画の火災評価※
-	-	-

※ ○:火災影響なし ×:火災影響あり

隣接する火災区画と火災伝播経路

(※ 有:伝播する 無:伝播しない)

隣接する 火災区画	火災伝播 経路有無	等価時間 (h)	耐火時間 (h)	火災伝播の 可能性 ※	備考
	無	0.0	3.0	無	
	無	0.0	3.0	無	
	無	0.0	1.0	無	
	無	0.0	1.0	無	
	無	0.0	3.0	無	
	有	0.0	0.0	無	
	無	0.0	1.0	無	
	無	0.0	1.0	無	
	有	0.0	0.0	無	

火災区域(区画)特性表

1. 火災区域(区画)の説明

建屋名	精製建屋
火災区域/区画区分	火災区画
火災区域/区画番号	■
火災区域/区画名称	地下1階東西第1廊下,東西第2廊下,南北第1廊下,南北第4廊下
床面積(m ²)	■

2. 火災区域(区画)の火災シナリオの説明

■は、精製建屋内の火災区画である。
 本区画の火災源は、電動機、電気盤およびケーブルトレイである。
 したがって、本区画の想定火災としては、電動機絶縁物火災、電気盤火災または、ケーブルトレイ火災により、多重化された安全上重要な施設のA/B系の設備(6.火災影響を受ける火災防護対象機器等 参照)が火災影響を受けることであるが、最重要設備は系統分離(3時間耐火壁により分離又は1時間耐火壁、感知及び固定消火設備の設置)により分離されていることから、多重化された安全上重要な施設の安全機能が同時に喪失することはない。また、最重要設備に該当しない安全上重要な施設のA/B系のケーブルについても、系統分離される最重要設備と同一のケーブルトレイに敷設されることから、多重化された安全上重要な施設の安全機能が同時に喪失することはない。

3. 火災区域(区画)にある火災源

(1) 等価時間

発熱量(kJ)	火災荷重(kJ/m ²)	等価時間(h) [※]
■	■	1.0

※ 等価時間は、内部火災影響評価ガイドの等価時間記載の値で示す。

(2) 火災区域(区画)にある火災源機器数

火災源	機器数
電動機(3.7kW超)	4
電気盤(440V以上)	4
ケーブルトレイ(ケーブル)	有
油脂類・有機溶媒等	-
その他	-

4. 火災区域(区画)にある防火設備

火災感知の手段	主要な消火設備	消火方法	消火設備のバックアップ
煙感知器 熱感知器	ハロゲン化物消火設備(局所) ケーブルトレイ消火設備 電気盤・制御盤消火設備	自動	粉末消火器

5. 火災区域(区画)に隣接する火災区域(区画)と火災伝播経路

隣接火災区画への火災伝播経路の詳細は、別紙1参照

6. 火災影響を受ける火災防護対象機器等

機器名称[機器番号]	最重要設備 [※]	最重要設備以外の安全上重要な施設 [※]
安重ケーブルトレイ[A/B系]	○	○

※ ○:対象 -:非対象

* 火災想定において、工程停止等により安全機能を必要としない状態へと移行が可能なもの。

7. 火災防護対象機器等の関連ケーブル

機器名称[機器番号]	ケーブル種別	安重分類
グローブボックス・セル排風機A	制御	Pu・高レベルの廃棄物の閉じ込め機能
グローブボックス・セル排風機B	制御	Pu・高レベルの廃棄物の閉じ込め機能
安全冷却水AポンプA	制御、動力(低圧)	崩壊熱除去機能(重要度の高いもの)
安全冷却水AポンプB	制御、動力(低圧)	崩壊熱除去機能(重要度の高いもの)
安全冷却水BポンプA	制御、動力(低圧)	崩壊熱除去機能(重要度の高いもの)
安全冷却水BポンプB	制御、動力(低圧)	崩壊熱除去機能(重要度の高いもの)
排風機A	制御	Pu・高レベルの廃棄物の閉じ込め機能
排風機B	制御	Pu・高レベルの廃棄物の閉じ込め機能
排風機A	制御	Pu・高レベルの廃棄物の閉じ込め機能
排風機B	制御	Pu・高レベルの廃棄物の閉じ込め機能
460V非常用パワーセンタA[AC-P/C-A]	動力(高圧)、動力(低圧)	非常用所内電源系統
460V非常用パワーセンタB[AC-P/C-B]	動力(高圧)、動力(低圧)	非常用所内電源系統

8. 最重要設備の安重機能への火災影響

安重分類	全焼時の成功パスの有無	回路評価等の考慮	結果	系統分離※
Pu・高レベル廃棄物の閉じ込め機能	無	-	×	c
崩壊熱除去機能(重要度の高いもの)	無	-	×	c
安全圧縮空気系(水素掃気機能)	-	-	-	-
非常用所内電源系統	無	-	×	c

※ a : 3時間以上の耐火能力を有する耐火壁で分離

b : 水平距離6mによる分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置

c : 1時間の耐火能力を有する隔壁等による分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置
再処理施設成功パスの詳細は、別紙2参照

9. 最重要設備以外の火災防護対象機器等への火災影響

機器名称[機器番号]	当該区画の火災評価※	隣接区画の火災評価※
-	-	-

※ ○:火災影響なし ×:火災影響あり

再処理施設成功パス一覧表

建屋	精製建屋	
区域(区画)番号/名称		地下1階東西第1廊下,東西第2廊下,南北第1廊下,南北第4廊下
1.放射性物質の閉じ込め機能(動的な閉じ込め機能)		
	【Aトレン設備】	【Bトレン設備】
前処理建屋 せん断処理・溶解廃ガス処理設備	前処理建屋 せん断処理・溶解廃ガス処理設備	前処理建屋 せん断処理・溶解廃ガス処理設備
排風機A	排風機B	排風機C
排風機C	排風機C	
前処理建屋 塔槽類廃ガス処理設備	前処理建屋 塔槽類廃ガス処理設備	前処理建屋 塔槽類廃ガス処理設備
排風機A	排風機B	
前処理建屋換気設備 溶解セル等からの排気系	前処理建屋換気設備 溶解セル等からの排気系	
セル排風機A	セル排風機B	
溶解槽セルA排風機A	溶解槽セルA排風機B	
溶解槽セルB排風機A	溶解槽セルB排風機B	
高レベル廃液ガラス固化建屋 高レベル廃液ガラス固化廃ガス処理設備	高レベル廃液ガラス固化建屋 高レベル廃液ガラス固化廃ガス処理設備	
第1排風機A	第1排風機B	
第2排風機A	第2排風機B	
高レベル廃液ガラス固化建屋 塔槽類廃ガス処理設備 高レベル濃縮廃液廃ガス処理系	高レベル廃液ガラス固化建屋 塔槽類廃ガス処理設備 高レベル濃縮廃液廃ガス処理系	
排風機A	排風機B	
高レベル廃液ガラス固化建屋 塔槽類廃ガス処理設備 不溶解残渣廃液廃ガス処理系	高レベル廃液ガラス固化建屋 塔槽類廃ガス処理設備 不溶解残渣廃液廃ガス処理系	
排風機A	排風機B	
高レベル濃縮廃液貯槽セル等からの排気系 固化セル換気系及び固化セル圧力放出系	高レベル濃縮廃液貯槽セル等からの排気系 固化セル換気系及び固化セル圧力放出系	
セル排風機A	セル排風機B	
固化セル換気系排風機A	固化セル換気系排風機B	
分離建屋 塔槽類廃ガス処理設備 パルセータ廃ガス処理系	分離建屋 塔槽類廃ガス処理設備 パルセータ廃ガス処理系	
排風機A	排風機B	
分離建屋 塔槽類廃ガス処理設備 塔槽類廃ガス処理系	分離建屋 塔槽類廃ガス処理設備 塔槽類廃ガス処理系	
排風機A	排風機B	
分離建屋換気設備 プルトニウム溶液中間貯槽セル等からの排気系	分離建屋換気設備 プルトニウム溶液中間貯槽セル等からの排気系	
グローブボックス・セル排風機A	グローブボックス・セル排風機B	
精製建屋 塔槽類廃ガス処理設備 パルセータ廃ガス処理系	精製建屋 塔槽類廃ガス処理設備 パルセータ廃ガス処理系	
× 排風機A	× 排風機B	
精製建屋 塔槽類廃ガス処理設備 塔槽類廃ガス処理系(プルトニウム系)	精製建屋 塔槽類廃ガス処理設備 塔槽類廃ガス処理系(プルトニウム系)	
× 排風機A	× 排風機B	
精製建屋換気設備 プルトニウム濃縮缶セル等及びグローブボックス等からの排気系	精製建屋換気設備 プルトニウム濃縮缶セル等及びグローブボックス等からの排気系	
× グローブボックス・セル排風機A	× グローブボックス・セル排風機B	
ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋 塔槽類廃ガス処理設備	ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋 塔槽類廃ガス処理設備	
第1排風機A	第1排風機B	
第2排風機A	第2排風機B	
第2排風機C	第2排風機B	
ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋 硝酸プルトニウム貯槽セル等及びグローブボックス等からの排気系	ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋 硝酸プルトニウム貯槽セル等及びグローブボックス等からの排気系	
グローブボックス・セル排風機A	グローブボックス・セル排風機B	
グローブボックス・セル排風機C		
×	×	
1パス	×	
回路評価等	-	
成功パス	×	(系統分離対策)

凡例	
×	○○○○-○○ ○○○A
	○○○○-○○ ○○○OA
× : 当該室の火災により安全機能を喪失する機器がある場合 空欄 : 当該室に設置していない機器	
1パス	- : 当該室に対象なし ○ : 当該室の火災により対応する安全機能が1系統残る場合 × : 当該室の火災により対応する安全機能がすべて喪失する場合
回路評価等	- : 当該室に回路評価等を行う対象なし ○ : 回路評価等により、対応する安全機能が確保される場合
成功パス	- : 当該室に対象なし ○ : 当該室の火災により対応する安全機能が1系統残る場合 × : 当該室の火災により対応する安全機能がすべて喪失する場合

再処理施設成功パス一覧表

2.崩壊熱除去機能		【Aトレ設備】		【Bトレ設備】	
冷却設備	安全冷却水系			冷却設備	安全冷却水系
	安全冷却水A冷却塔				安全冷却水B冷却塔
前処理建屋	冷却設備 安全冷却水系			前処理建屋	冷却設備 安全冷却水系
	安全冷却水A循環ポンプA				安全冷却水B循環ポンプA
	安全冷却水A循環ポンプB				安全冷却水B循環ポンプB
	安全冷却水1AポンプA				安全冷却水1BポンプA
	安全冷却水1AポンプB				安全冷却水1BポンプB
分離建屋	冷却設備 安全冷却水系			分離建屋	冷却設備 安全冷却水系
	冷却水循環ポンプA				冷却水循環ポンプC
	冷却水循環ポンプB				冷却水循環ポンプD
	安全冷却水1AポンプA				安全冷却水1BポンプA
	安全冷却水1AポンプB				安全冷却水1BポンプB
精製建屋	冷却設備 安全冷却水系			精製建屋	冷却設備 安全冷却水系
×	安全冷却水AポンプA			×	安全冷却水BポンプA
×	安全冷却水AポンプB			×	安全冷却水BポンプB
ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋	冷却設備 安全冷却水系			ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋	冷却設備 安全冷却水系
	冷水移送ポンプA				冷水移送ポンプC
	冷水移送ポンプB				冷水移送ポンプD
高レベル廃液ガラス固化建屋	冷却設備 安全冷却水系			高レベル廃液ガラス固化建屋	冷却設備 安全冷却水系
	第1高レベル濃縮廃液貯槽冷却水AポンプA				第1高レベル濃縮廃液貯槽冷却水BポンプA
	第1高レベル濃縮廃液貯槽冷却水AポンプB				第1高レベル濃縮廃液貯槽冷却水BポンプB
	第2高レベル濃縮廃液貯槽冷却水AポンプA				第2高レベル濃縮廃液貯槽冷却水BポンプA
	第2高レベル濃縮廃液貯槽冷却水AポンプB				第2高レベル濃縮廃液貯槽冷却水BポンプB
	安全冷却水A系ポンプA				安全冷却水B系ポンプA
	安全冷却水A系ポンプB				安全冷却水B系ポンプB
	高レベル廃液共用貯槽冷却水AポンプA				高レベル廃液共用貯槽冷却水BポンプA
	高レベル廃液共用貯槽冷却水AポンプB				高レベル廃液共用貯槽冷却水BポンプB
	安全冷却水A系ポンプA				安全冷却水B系ポンプA
	安全冷却水A系ポンプB				安全冷却水B系ポンプB
	安全冷水A冷却器冷媒膨張弁A				安全冷水B冷却器冷媒膨張弁A
	安全冷水A冷却器冷媒膨張弁B				安全冷水B冷却器冷媒膨張弁B
	安全冷水A冷却器冷媒止弁A				安全冷水B冷却器冷媒止弁A
	安全冷水A冷却器冷媒止弁B				安全冷水B冷却器冷媒止弁B
	安全冷却水1AポンプA				安全冷却水1BポンプA
	安全冷却水1AポンプB				安全冷却水1BポンプB
	安全冷水AポンプA				安全冷水BポンプA
	安全冷水AポンプB				安全冷水BポンプB
	安全冷水A冷凍機				安全冷水B冷凍機
	スクルー圧縮機				スクルー圧縮機
	スクルー圧縮機				スクルー圧縮機
ウラン・プルトニウム混合酸化物貯蔵建屋換気設備貯蔵室排気系				ウラン・プルトニウム混合酸化物貯蔵建屋換気設備貯蔵室排気系	
	貯蔵室排風機A				貯蔵室排風機C
	貯蔵室排風機B				貯蔵室排風機D
×				×	
	1パス		×		
	回路評価等		-		
	成功パス		×(系統分離対策)		
3.安全圧縮空気系(水素掃気機能)		【Aトレ設備】		【Bトレ設備】	
安全圧縮空気系				安全圧縮空気系	
	安全空気圧縮装置A				安全空気圧縮装置B
	安全空気圧縮装置C				安全空気圧縮装置C
-				-	
	1パス		-		
	回路評価等		-		
	成功パス		-		

再処理施設成功パス一覧表

4.非常用所内電源系統(支援機能)		【Aトレン設備】	【Bトレン設備】	
非常用電源建屋冷却水設備				
	8111A-C20	冷却塔A	8111B-C20	冷却塔B
	8111A-P2010	冷却水循環ポンプA	8111B-P2010	冷却水循環ポンプB
非常用電源建屋の電気設備				
	GA-M/C-A	6.9kV非常用メタクラA	GA-M/C-B	6.9kV非常用メタクラB
	GA-MCC-A	460V非常用コントロールセンタA	GA-MCC-B	460V非常用コントロールセンタB
	8111A-X10	ディーゼル機関A	8111B-X10	ディーゼル機関B
	8111A-X11	同期発電機A	8111B-X11	同期発電機B
	8111A-P4011	燃料油移送ポンプA	8111B-P4011	燃料油移送ポンプB
	GA-BAT-A	110V第2非常用蓄電池A	GA-BAT-B	110V第2非常用蓄電池B
	GA-CHG-A	110V非常用充電器盤A	GA-CHG-B	110V非常用充電器盤B
	GA-DCD-A	110V非常用直流主分電盤A	GA-DCD-B	110V非常用直流主分電盤B
	GA-CHG-E	110V非常用予備充電器盤E	GA-CHG-E	110V非常用予備充電器盤E
	GA-E-K011A	非常用電気設備リレー盤A1	GA-E-K013B	非常用電気設備リレー盤B1
	GA-E-K012A	非常用電気設備リレー盤A2	GA-E-K014B	非常用電気設備リレー盤B2
	8111A-V40	燃料油貯蔵タンク1A	8111B-V40	燃料油貯蔵タンク1B
	8111A-V41	燃料油貯蔵タンク2A	8111B-V41	燃料油貯蔵タンク2B
	GA-E-M011A	第2非常用ディーゼル発電機A制御盤	GA-E-M012B	第2非常用ディーゼル発電機B制御盤
	GA-PTR-A	非常用動力用変圧器A	GA-PTR-B	非常用動力用変圧器B
	8111A-V42	燃料油サービスタングA	8111B-V42	燃料油サービスタングB
	8111A-F4210	燃料油第1フィルタA	8111B-F4210	燃料油第1フィルタB
	8111A-F4230	燃料油第2フィルタA	8111B-F4230	燃料油第2フィルタB
	GA-E-S011A	第2非常用ディーゼル発電機ターニング現場盤A	GA-E-S012B	第2非常用ディーゼル発電機ターニング現場盤B
	GA-E-U011A	第2非常用ディーゼル発電機CT盤A	GA-E-U012B	第2非常用ディーゼル発電機CT盤B
	GA-I-K011A	ユーティリティ工程 安全系A制御盤(リレー盤)	GA-I-K012B	ユーティリティ工程 安全系B制御盤(リレー盤)
制御建屋の電気設備				
	AG-M/C-A	6.9kV非常用メタクラA	AG-M/C-B	6.9kV非常用メタクラB
	AG-P/C-A	460V非常用パワーセンタA	AG-P/C-B	460V非常用パワーセンタB
	AG-MCC-A1	460V非常用コントロールセンタA1	AG-MCC-B1	460V非常用コントロールセンタB1
	AG-MCC-A2	460V非常用コントロールセンタA2	AG-MCC-B2	460V非常用コントロールセンタB2
	AG-I-F201A	前処理建屋 安全系A監視制御盤	AG-I-F202B	前処理建屋 安全系B監視制御盤
	AG-I-F203A	分離建屋 安全系A監視制御盤	AG-I-F204B	分離建屋 安全系B監視制御盤
	AG-I-F205A	精製建屋 安全系A監視制御盤	AG-I-F206B	精製建屋 安全系B監視制御盤
	AG-I-F211A	ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋 安全系A監視制御盤	AG-I-F212B	ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋 安全系B監視制御盤
	AG-I-F213A	高レベル廃液ガラス固化建屋 安全系A監視制御盤	AG-I-F214B	高レベル廃液ガラス固化建屋 安全系B監視制御盤
	AG-BAT-A1	110V第2非常用蓄電池A1	AG-BAT-B1	110V第2非常用蓄電池B1
	AG-BAT-A2	220V第2非常用蓄電池A2	AG-BAT-B2	220V第2非常用蓄電池B2
	AG-CHG-A	110V非常用充電器盤A	AG-CHG-B	110V非常用充電器盤B
	AG-CHG-E	110V非常用予備充電器盤E	AG-CHG-E	110V非常用予備充電器盤E
	AG-DCD-A	110V非常用直流主分電盤A	AG-DCD-B	110V非常用直流主分電盤B
	AG-UPS-A	105V非常用無停電電源装置A	AG-UPS-B	105V非常用無停電電源装置B
	AG-UPD-A	105V非常用無停電交流主分電盤A	AG-UPD-B	105V非常用無停電交流主分電盤B
前処理建屋の電気設備				
	AA-M/C-A	6.9kV非常用メタクラA	AA-M/C-B	6.9kV非常用メタクラB
	AA-P/C-A	460V非常用パワーセンタA	AA-P/C-B	460V非常用パワーセンタB
	AA-MCC-A1	460V非常用コントロールセンタA1	AA-MCC-B1	460V非常用コントロールセンタB1
	AA-MCC-A2	460V非常用コントロールセンタA2	AA-MCC-B2	460V非常用コントロールセンタB2
	AA-MCC-A3	460V非常用コントロールセンタA3		
	AA-BAT-A	110V第2非常用蓄電池A	AA-BAT-B	110V第2非常用蓄電池B
	AA-CHG-A	110V非常用充電器盤A	AA-CHG-B	110V非常用充電器盤B
	AA-CHG-E	110V非常用予備充電器盤E	AA-CHG-E	110V非常用予備充電器盤E
	AA-DCD-A	110V非常用直流主分電盤A	AA-DCD-B	110V非常用直流主分電盤B
	AA-UPS-A	105V非常用無停電電源装置A	AA-UPS-B	105V非常用無停電電源装置B
	AA-UPD-A	105V非常用無停電交流主分電盤A	AA-UPD-B	105V非常用無停電交流主分電盤B
	AA-I-M171A	圧縮空気設備 安全空気脱湿装置A現場監視制御盤	AA-I-M172B	圧縮空気設備 安全空気脱湿装置B現場監視制御盤
	AA-I-M166A	圧縮空気設備 安全空気圧縮装置A現場監視制御盤	AA-I-M167B	圧縮空気設備 安全空気圧縮装置B現場監視制御盤
	AA-I-M176A	圧縮空気設備 安全空気圧縮装置C現場制御回路分離盤A	AA-I-M177B	圧縮空気設備 安全空気圧縮装置C現場制御回路分離盤B
	AA-I-M169C	圧縮空気設備 安全空気圧縮装置C現場制御電源切換盤	AA-I-M169C	圧縮空気設備 安全空気圧縮装置C現場制御電源切換盤
	AA-I-M168C	圧縮空気設備 安全空気圧縮装置C現場監視制御盤	AA-I-M168C	圧縮空気設備 安全空気圧縮装置C現場監視制御盤
	AA-I-K701A	よう素除去工程排風機A制御盤	AA-I-K702B	よう素除去工程排風機B制御盤
	AA-I-K703C	よう素除去工程排風機C制御盤	AA-I-K703C	よう素除去工程排風機C制御盤
	AA-I-X710C	よう素除去工程 C系統電源切替盤	AA-I-X710C	よう素除去工程 C系統電源切替盤
	AA-I-J012A	ユーティリティ工程 安全系A制御盤1(リレー盤2)	AA-I-J062B	ユーティリティ工程 安全系B制御盤1(リレー盤2)
	AA-I-J013A	ユーティリティ工程 安全系A制御盤2(リレー盤3)	AA-I-J063B	ユーティリティ工程 安全系B制御盤2(リレー盤3)
	AA-I-J031A	よう素除去工程 安全系A制御盤1	AA-I-J081B	よう素除去工程 安全系B制御盤1
	AA-I-J032A	よう素除去工程 安全系A制御盤2	AA-I-J082B	よう素除去工程 安全系B制御盤2
	AA-I-J033A	よう素除去工程 安全系A制御盤3	AA-I-J083B	よう素除去工程 安全系B制御盤3
	AA-LPD-A2	溶解槽セルA排風機A極数変換盤	AA-LPD-B2	溶解槽セルA排風機B極数変換盤
	AA-LPD-A3	溶解槽セルB排風機A極数変換盤	AA-LPD-B3	溶解槽セルB排風機B極数変換盤
	AA-LPD-A21	セル排風機A極数変換盤	AA-LPD-B21	セル排風機B極数変換盤
分離建屋の非常用所内電源系統				
	AB-P/C-A	460V非常用パワーセンタA	AB-P/C-B	460V非常用パワーセンタB
	AB-MCC-A	460V非常用コントロールセンタA	AB-MCC-B	460V非常用コントロールセンタB
	AB-CHG-A	110V非常用充電器盤A	AB-CHG-B	110V非常用充電器盤B
	AB-CHG-E	110V非常用予備充電器盤E	AB-CHG-E	110V非常用予備充電器盤E
	AB-BAT-A	110V第2非常用蓄電池A	AB-BAT-B	110V第2非常用蓄電池B
	AB-DCD-A	110V非常用直流主分電盤A	AB-DCD-B	110V非常用直流主分電盤B
	AB-UPS-A	105V非常用無停電電源装置A	AB-UPS-B	105V非常用無停電電源装置B
	AB-UPD-A1	105V非常用無停電交流主分電盤A1	AB-UPD-B1	105V非常用無停電交流主分電盤A1
	AB-UPD-A2	105V非常用無停電交流主分電盤A2	AB-UPD-B2	105V非常用無停電交流主分電盤A2
	AB-I-J180A	ユーティリティ工程 安全系A制御盤1	AB-I-J183B	ユーティリティ工程 安全系B制御盤1
	AB-I-J181A	ユーティリティ工程 安全系A制御盤2	AB-I-J184B	ユーティリティ工程 安全系B制御盤2
	AB-I-J182A	ユーティリティ工程 安全系A制御盤3	AB-I-J185B	ユーティリティ工程 安全系B制御盤3
	AB-I-J033A	分離・分配工程 安全系A制御盤1	AB-I-J036B	分離・分配工程 安全系B制御盤1
	AB-I-J034A	分離・分配工程 安全系A制御盤2	AB-I-J037B	分離・分配工程 安全系B制御盤2
	AB-I-J035A	分離・分配工程 安全系A制御盤3	AB-I-J038B	分離・分配工程 安全系B制御盤3
	AB-V-J100A	建屋換気設備 安全系A制御盤	AB-V-J101B	建屋換気設備 安全系B制御盤
	1パス	-		
	回路評価等	-		
	成功パス	-		

再処理施設成功パス一覧表

4. 支援機能(続き)		【Aトレン設備】		【Bトレン設備】	
精製建屋の電気設備		精製建屋の電気設備		精製建屋の電気設備	
	AC-BAT-A	110V第2非常用蓄電池A		AC-BAT-B	110V第2非常用蓄電池B
	AC-CHG-A	110V非常用充電器盤A		AC-CHG-B	110V非常用充電器盤B
	AC-CHG-E	110V非常用予備充電器盤E		AC-CHG-E	110V非常用予備充電器盤E
	AC-DCD-A	110V非常用直流主分電盤A		AC-DCD-B	110V非常用直流主分電盤B
	AC-MCC-A1	460V非常用コントロールセンタA1		AC-MCC-B1	460V非常用コントロールセンタB1
	AC-MCC-A2	460V非常用コントロールセンタA2		AC-MCC-B2	460V非常用コントロールセンタB2
×	AC-P/C-A	460V非常用パワーセンタA		AC-P/C-B	460V非常用パワーセンタB
	AC-UPD-A	105V非常用無停電交流主分電盤A		AC-UPD-B	105V非常用無停電交流主分電盤B
	AC-UPS-A	105V非常用無停電電源装置A		AC-UPS-B	105V非常用無停電電源装置B
	AC-I-J450A	ユーティリティ工程 安全系A制御盤(計器盤)		AC-I-J460B	ユーティリティ工程 安全系B制御盤(計器盤)
	AC-I-J451A	ユーティリティ工程 安全系A制御盤(リレー盤)		AC-I-J461B	ユーティリティ工程 安全系B制御盤(リレー盤)
	AC-E-J452A	非常用電気設備リレー盤A		AC-E-J462B	非常用電気設備リレー盤B
	AC-V-J453A	建屋換気設備安全系A制御盤		AC-V-J463B	建屋換気設備安全系B制御盤
	AC-I-J752A	プルトニウム精製工程 安全系A 制御盤3		AC-I-J755B	プルトニウム精製工程 安全系B 制御盤3
ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋の非常用所内電源系統		ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋の非常用所内電源系統		ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋の非常用所内電源系統	
	CA-P/C-A	460V非常用パワーセンタA		CA-P/C-B	460V非常用パワーセンタB
	CA-MCC-A1	460V非常用コントロールセンタA1		CA-MCC-B1	460V非常用コントロールセンタB1
	CA-MCC-A2	460V非常用コントロールセンタA2		CA-MCC-B2	460V非常用コントロールセンタB2
	CA-M/C-A	6.9kV非常用メタクラA		CA-M/C-B	6.9kV非常用メタクラB
	CA-E-K503A	非常用電気設備リレー盤A		CA-E-K603B	非常用電気設備リレー盤B
	CA-I-J501A	安全系A制御盤		CA-I-J601B	安全系B制御盤
	CA-V-J502A	建屋換気設備安全系A制御盤		CA-V-J602B	建屋換気設備安全系B制御盤
	CA-CHG-A	110V非常用充電器盤A		CA-CHG-B	110V非常用充電器盤B
	CA-CHG-E	110V非常用予備充電器盤E		CA-CHG-E	110V非常用予備充電器盤E
	CA-DCD-A	110V非常用直流主分電盤A		CA-DCD-B	110V非常用直流主分電盤B
	CA-UPD-A	105V非常用無停電交流主分電盤A		CA-UPD-B	105V非常用無停電交流主分電盤B
	CA-UPS-A	105V非常用無停電電源装置A		CA-UPS-B	105V非常用無停電電源装置B
	CA-BAT-A	110V第2非常用蓄電池A		CA-BAT-B	110V第2非常用蓄電池B
ウラン・プルトニウム混合酸化物貯蔵建屋の非常用所内電源系統		ウラン・プルトニウム混合酸化物貯蔵建屋の非常用所内電源系統		ウラン・プルトニウム混合酸化物貯蔵建屋の非常用所内電源系統	
	CB-P/C-A	460V非常用パワーセンタA		CB-P/C-B	460V非常用パワーセンタB
	CB-E-J101A	非常用電気設備リレー盤A		CB-E-J102B	非常用電気設備リレー盤B
	CA-V-J001A	建屋換気設備安全系A制御盤		CA-V-J002B	建屋換気設備安全系B制御盤
	CB-BAT-A	110V第2非常用蓄電池A		CB-BAT-B	110V第2非常用蓄電池B
	CB-CHG-A	110V非常用充電器盤A		CB-CHG-B	110V非常用充電器盤B
	CB-DCD-A	110V非常用直流主分電盤A		CB-DCD-B	110V非常用直流主分電盤B
	CB-MCC-A	460V非常用コントロールセンタA		CB-MCC-B	460V非常用コントロールセンタB
	CB-UPS-A	105V非常用無停電電源装置A		CB-UPS-B	105V非常用無停電電源装置B
	CB-CHG-E	110V非常用予備充電器盤E		CB-CHG-E	110V非常用予備充電器盤E
高レベル廃液ガラス固化建屋の電気設備		高レベル廃液ガラス固化建屋の電気設備		高レベル廃液ガラス固化建屋の電気設備	
	KA-P/C-A	460V非常用パワーセンタA		KA-P/C-B	460V非常用パワーセンタB
	KA-BAT-A	110V第2非常用蓄電池A		KA-BAT-B	110V第2非常用蓄電池B
	KA-CHG-A	110V非常用充電器盤A		KA-CHG-B	110V非常用充電器盤B
	KA-CHG-E	110V非常用予備充電器盤E		KA-CHG-E	110V非常用予備充電器盤E
	KA-DCD-A	110V非常用直流主分電盤A		KA-DCD-B	110V非常用直流主分電盤B
	KA-UPS-A	105V非常用無停電電源装置A		KA-UPS-B	105V非常用無停電電源装置B
	KA-UPD-A	105V非常用無停電交流主分電盤A		KA-UPD-B	105V非常用無停電交流主分電盤B
	KA-ACS-A	105V非常用計測交流電源盤A		KA-ACS-B	105V非常用計測交流電源盤B
	KA-ACD-A	105V非常用計測交流主分電盤A		KA-ACD-B	105V非常用計測交流主分電盤B
	KA-MCC-A1	460V非常用コントロールセンタA1		KA-MCC-B1	460V非常用コントロールセンタB1
	KA-MCC-A2	460V非常用コントロールセンタA2		KA-MCC-B2	460V非常用コントロールセンタB2
	KA-I-K224A	高レベル廃液ガラス固化廃ガス処理設備第1排風機A安全系Aインバータ制御盤		KA-I-K225B	高レベル廃液ガラス固化廃ガス処理設備第1排風機B安全系Bインバータ制御盤
	KA-I-K226A	高レベル廃液ガラス固化廃ガス処理設備第2排風機A安全系Aインバータ制御盤		KA-I-K227B	高レベル廃液ガラス固化廃ガス処理設備第2排風機B安全系Bインバータ制御盤
	KA-I-K073A	固化セル換気系排風機A安全系Aインバータ制御盤		KA-I-K074B	固化セル換気系排風機B安全系Bインバータ制御盤
	KA-E-K001A	非常用電気設備リレー盤A		KA-E-K002B	非常用電気設備リレー盤B
	KA-I-J501A	高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系A制御盤1		KA-I-J521B	高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系B制御盤1
	KA-I-J502A	高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系A制御盤2		KA-I-J522B	高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系B制御盤2
	KA-I-J503A	高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系A制御盤3		KA-I-J523B	高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系B制御盤3
	KA-I-J504A	高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系A制御盤4		KA-I-J524B	高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系B制御盤4
	KA-I-J505A	高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系A制御盤5		KA-I-J525B	高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系B制御盤5
	KA-I-J506A	高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系A制御盤6		KA-I-J526B	高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系B制御盤6
	KA-I-J507A	高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系A制御盤7		KA-I-J527B	高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系B制御盤7
	KA-I-J508A	高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系A制御盤8		KA-I-J528B	高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系B制御盤8
	KA-I-J511A	安全系A アレスタ盤		KA-I-J531B	安全系B アレスタ盤
	KA-I-J512A	高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系A制御盤(リレー盤1)		KA-I-J532B	高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系B制御盤(リレー盤1)
	KA-I-J513A	高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系A制御盤(リレー盤2)		KA-I-J533B	高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系B制御盤(リレー盤2)
	KA-I-J514A	高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系A制御盤(リレー盤3)		KA-I-J534B	高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系B制御盤(リレー盤3)
	KA-I-M331A	冷凍機 安全系A監視制御盤		KA-I-M322B	冷凍機 安全系B監視制御盤
	KA-I-K334A	冷却水・冷水設備 安全系A 制御盤1		KA-I-K338B	冷却水・冷水設備 安全系B 制御盤1
	KA-I-K335A	冷却水・冷水設備 安全系A 制御盤2		KA-I-K339B	冷却水・冷水設備 安全系B 制御盤2
×			×		
	1パス		×		
	回路評価等		-		
	成功パス		×		(系統分離対策)

火災区域(区画)特性表

1. 火災区域(区画)の説明

建屋名	精製建屋
火災区域/区画区分	火災区画
火災区域/区画番号	■
火災区域/区画名称	放射線現場盤第1予備室
床面積(m ²)	■

2. 火災区域(区画)の火災シナリオの説明

■は、精製建屋内の火災区画である。
 本区画は、火災源となるものがないおよび安全上重要な施設が設置されていないため、安全機能の喪失のおそれはない。

3. 火災区域(区画)にある火災源

(1) 等価時間

発熱量(kJ)	火災荷重 (kJ/m ²)	等価時間(h) [※]
■	■	0.5

※ 等価時間は、内部火災影響評価ガイドの等価時間記載の値で示す。

(2) 火災区域(区画)にある火災源機器数

火災源	機器数
電動機(3.7kW超)	-
電気盤(440V以上)	-
ケーブルトレイ(ケーブル)	-
油脂類・有機溶媒等	-
その他	-

4. 火災区域(区画)にある防火設備

火災感知の手段	主要な消火設備	消火方法	消火設備のバックアップ
煙感知器	二酸化炭素消火器	手動	粉末消火器

5. 火災区域(区画)に隣接する火災区域(区画)と火災伝播経路

隣接火災区画への火災伝播経路の詳細は、別紙1参照

6. 火災影響を受ける火災防護対象機器等

機器名称[機器番号]	最重要設備 [※]	最重要設備以外の安全上重要な施設 [※]
-	-	-

※ ○:対象 -:非対象

* 火災想定において、工程停止等により安全機能を必要としない状態へと移行が可能なもの。

7. 火災防護対象機器等の関連ケーブル

機器名称[機器番号]	ケーブル種別	安重分類
-	-	-

8. 最重要設備の安重機能への火災影響

安重分類	全焼時の 成功パスの 有無	回路評価 等の考慮	結果	系統分離※
Pu・高レベル廃棄物の閉じ込め機能	-	-	-	-
崩壊熱除去機能(重要度の高いもの)	-	-	-	-
安全圧縮空気系(水素掃気機能)	-	-	-	-
非常用所内電源系統	-	-	-	-

※ a : 3時間以上の耐火能力を有する耐火壁で分離

b : 水平距離6mによる分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置

c : 1時間の耐火能力を有する隔壁等による分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置
再処理施設成功パスの詳細は、別紙2参照

9. 最重要設備以外の火災防護対象機器等への火災影響

機器名称[機器番号]	当該区画の火災評価※	隣接区画の火災評価※
-	-	-

※ ○:火災影響なし ×:火災影響あり

隣接する火災区画と火災伝播経路

(※ 有:伝播する 無:伝播しない)

隣接する 火災区画	火災伝播 経路有無	等価時間 (h)	耐火時間 (h)	火災伝播の 可能性 ※	備考
	無	0.5	3.0	無	
	無	0.5	3.0	無	
	無	0.5	1.0	無	

火災区域(区画)特性表

1. 火災区域(区画)の説明

建屋名	精製建屋
火災区域/区画区分	火災区画
火災区域/区画番号	■
火災区域/区画名称	溶媒貯槽第2セル
床面積(m ²)	■

2. 火災区域(区画)の火災シナリオの説明

■は、精製建屋内の火災区画である。
 本区画は、火災源となるものがないおよび安全上重要な施設が設置されていないため、安全機能の喪失のおそれはない。

3. 火災区域(区画)にある火災源

(1) 等価時間

発熱量(kJ)	火災荷重 (kJ/m ²)	等価時間(h) [※]
■	■	9.0

※ 等価時間は、内部火災影響評価ガイドの等価時間記載の値で示す。

(2) 火災区域(区画)にある火災源機器数

火災源	機器数
電動機(3.7kW超)	-
電気盤(440V以上)	-
ケーブルトレイ(ケーブル)	-
油脂類・有機溶媒等	-
その他	-

4. 火災区域(区画)にある防火設備

火災感知の手段	主要な消火設備	消火方法	消火設備のバックアップ
セル内温度計 (熱感知器) 漏えい検知装置	二酸化炭素消火設備	手動	-

5. 火災区域(区画)に隣接する火災区域(区画)と火災伝播経路

隣接火災区画への火災伝播経路の詳細は、別紙1参照

6. 火災影響を受ける火災防護対象機器等

機器名称[機器番号]	最重要設備 [※]	最重要設備以外の安全上重要な施設 [※]
-	-	-

※ ○:対象 -:非対象

* 火災想定において、工程停止等により安全機能を必要としない状態へと移行が可能なもの。

7. 火災防護対象機器等の関連ケーブル

機器名称[機器番号]	ケーブル種別	安重分類
-	-	-

8. 最重要設備の安重機能への火災影響

安重分類	全焼時の成功パスの有無	回路評価等の考慮	結果	系統分離※
Pu・高レベル廃棄物の閉じ込め機能	-	-	-	-
崩壊熱除去機能(重要度の高いもの)	-	-	-	-
安全圧縮空気系(水素掃気機能)	-	-	-	-
非常用所内電源系統	-	-	-	-

※ a : 3時間以上の耐火能力を有する耐火壁で分離

b : 水平距離6mによる分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置

c : 1時間の耐火能力を有する隔壁等による分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置
再処理施設成功パスの詳細は、別紙2参照

9. 最重要設備以外の火災防護対象機器等への火災影響

機器名称[機器番号]	当該区画の火災評価※	隣接区画の火災評価※
-	-	-

※ ○:火災影響なし ×:火災影響あり

隣接する火災区画と火災伝播経路

(※ 有:伝播する 無:伝播しない)

隣接する 火災区画	火災伝播 経路有無	等価時間 (h)	耐火時間 (h)	火災伝播の 可能性 ※	備考
	有	3.0超	0.0	有	
	無	3.0超	3.0	有	
	有	3.0超	0.0	有	
	有	3.0超	0.0	有	
	有	3.0超	0.0	有	
	無	3.0超	3.0	有	
	有	3.0超	0.0	有	
	有	3.0超	0.0	有	

火災区域(区画)特性表

1. 火災区域(区画)の説明

建屋名	精製建屋
火災区域/区画区分	火災区画
火災区域/区画番号	■
火災区域/区画名称	第7予備セル
床面積(m ²)	■

2. 火災区域(区画)の火災シナリオの説明

■は、精製建屋内の火災区画である。
 本区画は、火災源となるものがないおよび安全上重要な施設が設置されていないため、安全機能の喪失のおそれはない。

3. 火災区域(区画)にある火災源

(1) 等価時間

発熱量(kJ)	火災荷重 (kJ/m ²)	等価時間(h) [※]
■	■	0.0

※ 等価時間は、内部火災影響評価ガイドの等価時間記載の値で示す。

(2) 火災区域(区画)にある火災源機器数

火災源	機器数
電動機(3.7kW超)	-
電気盤(440V以上)	-
ケーブルトレイ(ケーブル)	-
油脂類・有機溶媒等	-
その他	-

4. 火災区域(区画)にある防火設備

火災感知の手段	主要な消火設備	消火方法	消火設備のバックアップ
設置除外	設置除外	-	-

5. 火災区域(区画)に隣接する火災区域(区画)と火災伝播経路

隣接火災区画への火災伝播経路の詳細は、別紙1参照

6. 火災影響を受ける火災防護対象機器等

機器名称[機器番号]	最重要設備 [※]	最重要設備以外の安全上重要な施設 [※]
-	-	-

※ ○:対象 -:非対象

* 火災想定において、工程停止等により安全機能を必要としない状態へと移行が可能なもの。

7. 火災防護対象機器等の関連ケーブル

機器名称[機器番号]	ケーブル種別	安重分類
-	-	-

8. 最重要設備の安重機能への火災影響

安重分類	全焼時の成功パスの有無	回路評価等の考慮	結果	系統分離※
Pu・高レベル廃棄物の閉じ込め機能	-	-	-	-
崩壊熱除去機能(重要度の高いもの)	-	-	-	-
安全圧縮空気系(水素掃気機能)	-	-	-	-
非常用所内電源系統	-	-	-	-

※ a : 3時間以上の耐火能力を有する耐火壁で分離

b : 水平距離6mによる分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置

c : 1時間の耐火能力を有する隔壁等による分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置
再処理施設成功パスの詳細は、別紙2参照

9. 最重要設備以外の火災防護対象機器等への火災影響

機器名称[機器番号]	当該区画の火災評価※	隣接区画の火災評価※
-	-	-

※ ○:火災影響なし ×:火災影響あり

隣接する火災区画と火災伝播経路

(※ 有:伝播する 無:伝播しない)

隣接する 火災区画	火災伝播 経路有無	等価時間 (h)	耐火時間 (h)	火災伝播の 可能性 ※	備考
	有	0.0	0.0	無	
	有	0.0	0.0	無	
	無	0.0	3.0	無	
	有	0.0	0.0	無	
	有	0.0	0.0	無	

火災区域(区画)特性表

1. 火災区域(区画)の説明

建屋名	精製建屋
火災区域/区画区分	火災区画
火災区域/区画番号	■
火災区域/区画名称	第9保守室
床面積(m ²)	■

2. 火災区域(区画)の火災シナリオの説明

■は、精製建屋内の火災区画である。
 本区画は、電気盤火災または、ケーブルトレイ火災の発生の可能性があるが、安全上重要な施設が金属等の不燃材および難燃性にて構成されていることから安全機能の喪失のおそれはない。

3. 火災区域(区画)にある火災源

(1) 等価時間

発熱量(kJ)	火災荷重 (kJ/m ²)	等価時間(h) [※]
■	■	0.5

※ 等価時間は、内部火災影響評価ガイドの等価時間記載の値で示す。

(2) 火災区域(区画)にある火災源機器数

火災源	機器数
電動機(3.7kW超)	-
電気盤(440V以上)	4
ケーブルトレイ(ケーブル)	有
油脂類・有機溶媒等	-
その他	-

4. 火災区域(区画)にある防火設備

火災感知の手段	主要な消火設備	消火方法	消火設備のバックアップ
煙感知器 熱感知器	屋内消火栓	手動	粉末消火器

5. 火災区域(区画)に隣接する火災区域(区画)と火災伝播経路

隣接火災区画への火災伝播経路の詳細は、別紙1参照

6. 火災影響を受ける火災防護対象機器等

機器名称[機器番号]	最重要設備 [※]	最重要設備以外の安全上重要な施設 [※]
-	-	-

※ ○:対象 -:非対象

* 火災想定において、工程停止等により安全機能を必要としない状態へと移行が可能なもの。

7. 火災防護対象機器等の関連ケーブル

機器名称[機器番号]	ケーブル種別	安重分類
-	-	-

8. 最重要設備の安重機能への火災影響

安重分類	全焼時の成功パスの有無	回路評価等の考慮	結果	系統分離※
Pu・高レベル廃棄物の閉じ込め機能	-	-	-	-
崩壊熱除去機能(重要度の高いもの)	-	-	-	-
安全圧縮空気系(水素掃気機能)	-	-	-	-
非常用所内電源系統	-	-	-	-

※ a : 3時間以上の耐火能力を有する耐火壁で分離

b : 水平距離6mによる分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置

c : 1時間の耐火能力を有する隔壁等による分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置
再処理施設成功パスの詳細は、別紙2参照

9. 最重要設備以外の火災防護対象機器等への火災影響

機器名称[機器番号]	当該区画の火災評価※	隣接区画の火災評価※
-	-	-

※ ○:火災影響なし ×:火災影響あり

火災区域(区画)特性表

1. 火災区域(区画)の説明

建屋名	精製建屋
火災区域/区画区分	火災区画
火災区域/区画番号	■
火災区域/区画名称	プルトリウム洗浄器セル
床面積(m ²)	■

2. 火災区域(区画)の火災シナリオの説明

■は、精製建屋内の火災区画である。
 本区画は、ケーブルトレイ火災の発生可能性があるが、安全上重要な施設が金属等の不燃材で構成され火災影響を受けないことから、安全機能の喪失のおそれがない。

3. 火災区域(区画)にある火災源

(1) 等価時間

発熱量(kJ)	火災荷重 (kJ/m ²)	等価時間(h) [※]
■	■	1.0

※ 等価時間は、内部火災影響評価ガイドの等価時間記載の値で示す。

(2) 火災区域(区画)にある火災源機器数

火災源	機器数
電動機(3.7kW超)	-
電気盤(440V以上)	-
ケーブルトレイ(ケーブル)	有
油脂類・有機溶媒等	-
その他	-

4. 火災区域(区画)にある防火設備

火災感知の手段	主要な消火設備	消火方法	消火設備のバックアップ
セル内温度計 (熱感知器) 漏えい検知装置	二酸化炭素消火設備	手動	-

5. 火災区域(区画)に隣接する火災区域(区画)と火災伝播経路

隣接火災区画への火災伝播経路の詳細は、別紙1参照

6. 火災影響を受ける火災防護対象機器等

機器名称[機器番号]	最重要設備 [※]	最重要設備以外の安全上重要な施設 [※]
-	-	-

※ ○:対象 -:非対象

* 火災想定において、工程停止等により安全機能を必要としない状態へと移行が可能なもの。

7. 火災防護対象機器等の関連ケーブル

機器名称[機器番号]	ケーブル種別	安重分類
-	-	-

8. 最重要設備の安重機能への火災影響

安重分類	全焼時の成功パスの有無	回路評価等の考慮	結果	系統分離※
Pu・高レベル廃棄物の閉じ込め機能	-	-	-	-
崩壊熱除去機能(重要度の高いもの)	-	-	-	-
安全圧縮空気系(水素掃気機能)	-	-	-	-
非常用所内電源系統	-	-	-	-

※ a : 3時間以上の耐火能力を有する耐火壁で分離

b : 水平距離6mによる分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置

c : 1時間の耐火能力を有する隔壁等による分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置
再処理施設成功パスの詳細は、別紙2参照

9. 最重要設備以外の火災防護対象機器等への火災影響

機器名称[機器番号]	当該区画の火災評価※	隣接区画の火災評価※
-	-	-

※ ○:火災影響なし ×:火災影響あり

隣接する火災区画と火災伝播経路

(※ 有:伝播する 無:伝播しない)

隣接する 火災区画	火災伝播 経路有無	等価時間 (h)	耐火時間 (h)	火災伝播の 可能性 ※	備考
	無	1.0	3.0	無	
	無	1.0	3.0	無	
	無	1.0	3.0	無	
	無	1.0	3.0	無	
	無	1.0	3.0	無	

火災区域(区画)特性表

1. 火災区域(区画)の説明

建屋名	精製建屋
火災区域/区画区分	火災区画
火災区域/区画番号	■
火災区域/区画名称	ウラン逆抽出器セル
床面積(m ²)	■

2. 火災区域(区画)の火災シナリオの説明

■は、精製建屋内の火災区画である。
 本区画は、ケーブルトレイ火災の発生可能性があるが、安全上重要な施設が設置されていないため、安全機能の喪失のおそれはない。

3. 火災区域(区画)にある火災源

(1) 等価時間

発熱量(kJ)	火災荷重 (kJ/m ²)	等価時間(h) [※]
■	■	3.0

※ 等価時間は、内部火災影響評価ガイドの等価時間記載の値で示す。

(2) 火災区域(区画)にある火災源機器数

火災源	機器数
電動機(3.7kW超)	-
電気盤(440V以上)	-
ケーブルトレイ(ケーブル)	有
油脂類・有機溶媒等	-
その他	-

4. 火災区域(区画)にある防火設備

火災感知の手段	主要な消火設備	消火方法	消火設備のバックアップ
セル内温度計 (熱感知器) 漏えい検知装置	二酸化炭素消火設備	手動	-

5. 火災区域(区画)に隣接する火災区域(区画)と火災伝播経路

隣接火災区画への火災伝播経路の詳細は、別紙1参照

6. 火災影響を受ける火災防護対象機器等

機器名称[機器番号]	最重要設備 [※]	最重要設備以外の安全上重要な施設 [※]
-	-	-

※ ○:対象 -:非対象

* 火災想定において、工程停止等により安全機能を必要としない状態へと移行が可能なもの。

7. 火災防護対象機器等の関連ケーブル

機器名称[機器番号]	ケーブル種別	安重分類
-	-	-

8. 最重要設備の安重機能への火災影響

安重分類	全焼時の成功パスの有無	回路評価等の考慮	結果	系統分離※
Pu・高レベル廃棄物の閉じ込め機能	-	-	-	-
崩壊熱除去機能(重要度の高いもの)	-	-	-	-
安全圧縮空気系(水素掃気機能)	-	-	-	-
非常用所内電源系統	-	-	-	-

※ a : 3時間以上の耐火能力を有する耐火壁で分離

b : 水平距離6mによる分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置

c : 1時間の耐火能力を有する隔壁等による分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置
再処理施設成功パスの詳細は、別紙2参照

9. 最重要設備以外の火災防護対象機器等への火災影響

機器名称[機器番号]	当該区画の火災評価※	隣接区画の火災評価※
-	-	-

※ ○:火災影響なし ×:火災影響あり

隣接する火災区画と火災伝播経路

(※ 有:伝播する 無:伝播しない)

隣接する 火災区画	火災伝播 経路有無	等価時間 (h)	耐火時間 (h)	火災伝播の 可能性 ※	備考
	有	3.0	0.0	有	
	無	3.0	3.0	無	
	有	3.0	0.0	有	
	有	3.0	0.0	有	

火災区域(区画)特性表

1. 火災区域(区画)の説明

建屋名	精製建屋
火災区域/区画区分	火災区画
火災区域/区画番号	■
火災区域/区画名称	溶媒洗浄器第1セル
床面積(m ²)	■

2. 火災区域(区画)の火災シナリオの説明

■は、精製建屋内の火災区画である。
 本区画は、ケーブルトレイ火災の発生可能性があるが、安全上重要な施設が設置されていないため、安全機能の喪失のおそれはない。

3. 火災区域(区画)にある火災源

(1) 等価時間

発熱量(kJ)	火災荷重(kJ/m ²)	等価時間(h) [※]
■	■	4.5

※ 等価時間は、内部火災影響評価ガイドの等価時間記載の値で示す。

(2) 火災区域(区画)にある火災源機器数

火災源	機器数
電動機(3.7kW超)	-
電気盤(440V以上)	-
ケーブルトレイ(ケーブル)	有
油脂類・有機溶媒等	-
その他	-

4. 火災区域(区画)にある防火設備

火災感知の手段	主要な消火設備	消火方法	消火設備のバックアップ
セル内温度計 (熱感知器) 漏えい検知装置	二酸化炭素消火設備	手動	-

5. 火災区域(区画)に隣接する火災区域(区画)と火災伝播経路

隣接火災区画への火災伝播経路の詳細は、別紙1参照

6. 火災影響を受ける火災防護対象機器等

機器名称[機器番号]	最重要設備 [※]	最重要設備以外の安全上重要な施設 [※]
-	-	-

※ ○:対象 -:非対象

* 火災想定において、工程停止等により安全機能を必要としない状態へと移行が可能なもの。

7. 火災防護対象機器等の関連ケーブル

機器名称[機器番号]	ケーブル種別	安重分類
-	-	-

8. 最重要設備の安重機能への火災影響

安重分類	全焼時の成功パスの有無	回路評価等の考慮	結果	系統分離※
Pu・高レベル廃棄物の閉じ込め機能	-	-	-	-
崩壊熱除去機能(重要度の高いもの)	-	-	-	-
安全圧縮空気系(水素掃気機能)	-	-	-	-
非常用所内電源系統	-	-	-	-

※ a : 3時間以上の耐火能力を有する耐火壁で分離

b : 水平距離6mによる分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置

c : 1時間の耐火能力を有する隔壁等による分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置
再処理施設成功パスの詳細は、別紙2参照

9. 最重要設備以外の火災防護対象機器等への火災影響

機器名称[機器番号]	当該区画の火災評価※	隣接区画の火災評価※
-	-	-

※ ○:火災影響なし ×:火災影響あり

隣接する火災区画と火災伝播経路

(※ 有:伝播する 無:伝播しない)

隣接する 火災区画	火災伝播 経路有無	等価時間 (h)	耐火時間 (h)	火災伝播の 可能性 ※	備考
	無	3.0超	3.0	有	
	無	3.0超	3.0	有	
	有	3.0超	0.0	有	
	有	3.0超	0.0	有	

火災区域(区画)特性表

1. 火災区域(区画)の説明

建屋名	精製建屋
火災区域/区画区分	火災区画
火災区域/区画番号	■
火災区域/区画名称	溶媒洗浄器第2セル
床面積(m ²)	■

2. 火災区域(区画)の火災シナリオの説明

■は、精製建屋内の火災区画である。
 本区画は、ケーブルトレイ火災の発生可能性があるが、安全上重要な施設が設置されていないため、安全機能の喪失のおそれはない。

3. 火災区域(区画)にある火災源

(1) 等価時間

発熱量(kJ)	火災荷重(kJ/m ²)	等価時間(h) [※]
■	■	4.5

※ 等価時間は、内部火災影響評価ガイドの等価時間記載の値で示す。

(2) 火災区域(区画)にある火災源機器数

火災源	機器数
電動機(3.7kW超)	-
電気盤(440V以上)	-
ケーブルトレイ(ケーブル)	有
油脂類・有機溶媒等	-
その他	-

4. 火災区域(区画)にある防火設備

火災感知の手段	主要な消火設備	消火方法	消火設備のバックアップ
セル内温度計 (熱感知器) 漏えい検知装置	二酸化炭素消火設備	手動	-

5. 火災区域(区画)に隣接する火災区域(区画)と火災伝播経路

隣接火災区画への火災伝播経路の詳細は、別紙1参照

6. 火災影響を受ける火災防護対象機器等

機器名称[機器番号]	最重要設備 [※]	最重要設備以外の安全上重要な施設 [※]
-	-	-

※ ○:対象 -:非対象

* 火災想定において、工程停止等により安全機能を必要としない状態へと移行が可能なもの。

7. 火災防護対象機器等の関連ケーブル

機器名称[機器番号]	ケーブル種別	安重分類
-	-	-

8. 最重要設備の安重機能への火災影響

安重分類	全焼時の 成功パスの 有無	回路評価 等の考慮	結果	系統分離※
Pu・高レベル廃棄物の閉じ込め機能	-	-	-	-
崩壊熱除去機能(重要度の高いもの)	-	-	-	-
安全圧縮空気系(水素掃気機能)	-	-	-	-
非常用所内電源系統	-	-	-	-

※ a : 3時間以上の耐火能力を有する耐火壁で分離

b : 水平距離6mによる分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置

c : 1時間の耐火能力を有する隔壁等による分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置
再処理施設成功パスの詳細は、別紙2参照

9. 最重要設備以外の火災防護対象機器等への火災影響

機器名称[機器番号]	当該区画の火災評価※	隣接区画の火災評価※
-	-	-

※ ○:火災影響なし ×:火災影響あり

隣接する火災区画と火災伝播経路

(※ 有:伝播する 無:伝播しない)

隣接する 火災区画	火災伝播 経路有無	等価時間 (h)	耐火時間 (h)	火災伝播の 可能性 ※	備考
	無	3.0超	3.0	有	
	無	3.0超	3.0	有	
	有	3.0超	0.0	有	
	有	3.0超	0.0	有	

火災区域(区画)特性表

1. 火災区域(区画)の説明

建屋名	精製建屋
火災区域/区画区分	火災区画
火災区域/区画番号	■
火災区域/区画名称	第10サブチェンジングルーム
床面積(m ²)	■

2. 火災区域(区画)の火災シナリオの説明

■は、精製建屋内の火災区画である。
 本区画は、電気盤火災の発生可能性があるが、安全上重要な施設が設置されていないため、安全機能の喪失のおそれはない。

3. 火災区域(区画)にある火災源

(1) 等価時間

発熱量(kJ)	火災荷重 (kJ/m ²)	等価時間(h) [※]
■	■	0.5

※ 等価時間は、内部火災影響評価ガイドの等価時間記載の値で示す。

(2) 火災区域(区画)にある火災源機器数

火災源	機器数
電動機(3.7kW超)	-
電気盤(440V以上)	1
ケーブルトレイ(ケーブル)	-
油脂類・有機溶媒等	-
その他	-

4. 火災区域(区画)にある防火設備

火災感知の手段	主要な消火設備	消火方法	消火設備のバックアップ
煙感知器	屋内消火栓	手動	粉末消火器

5. 火災区域(区画)に隣接する火災区域(区画)と火災伝播経路

隣接火災区画への火災伝播経路の詳細は、別紙1参照

6. 火災影響を受ける火災防護対象機器等

機器名称[機器番号]	最重要設備 [※]	最重要設備以外の安全上重要な施設 [※]
-	-	-

※ ○:対象 -:非対象

* 火災想定において、工程停止等により安全機能を必要としない状態へと移行が可能なもの。

7. 火災防護対象機器等の関連ケーブル

機器名称[機器番号]	ケーブル種別	安重分類
-	-	-

8. 最重要設備の安重機能への火災影響

安重分類	全焼時の 成功パスの 有無	回路評価 等の考慮	結果	系統分離※
Pu・高レベル廃棄物の閉じ込め機能	-	-	-	-
崩壊熱除去機能(重要度の高いもの)	-	-	-	-
安全圧縮空気系(水素掃気機能)	-	-	-	-
非常用所内電源系統	-	-	-	-

※ a : 3時間以上の耐火能力を有する耐火壁で分離

b : 水平距離6mによる分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置

c : 1時間の耐火能力を有する隔壁等による分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置
再処理施設成功パスの詳細は、別紙2参照

9. 最重要設備以外の火災防護対象機器等への火災影響

機器名称[機器番号]	当該区画の火災評価※	隣接区画の火災評価※
-	-	-

※ ○:火災影響なし ×:火災影響あり

隣接する火災区画と火災伝播経路

(※ 有:伝播する 無:伝播しない)

隣接する 火災区画	火災伝播 経路有無	等価時間 (h)	耐火時間 (h)	火災伝播の 可能性 ※	備考
	無	0.5	3.0	無	
	無	0.5	3.0	無	
	無	0.5	3.0	無	
	有	0.5	0.0	有	
	有	0.5	0.0	有	
	有	0.5	0.0	有	

火災区域(区画)特性表

1. 火災区域(区画)の説明

建屋名	精製建屋
火災区域/区画区分	火災区画
火災区域/区画番号	■
火災区域/区画名称	圧縮空気分配第1室
床面積(m ²)	■

2. 火災区域(区画)の火災シナリオの説明

■は、精製建屋内の火災区画である。
 本区画は、火災源となるものがないおよび安全上重要な施設が設置されていないため、安全機能の喪失のおそれはない。

3. 火災区域(区画)にある火災源

(1) 等価時間

発熱量(kJ)	火災荷重 (kJ/m ²)	等価時間(h) [※]
■	■	0.5

※ 等価時間は、内部火災影響評価ガイドの等価時間記載の値で示す。

(2) 火災区域(区画)にある火災源機器数

火災源	機器数
電動機(3.7kW超)	-
電気盤(440V以上)	-
ケーブルトレイ(ケーブル)	-
油脂類・有機溶媒等	-
その他	-

4. 火災区域(区画)にある防火設備

火災感知の手段	主要な消火設備	消火方法	消火設備のバックアップ
煙感知器 熱感知器	屋内消火栓	手動	粉末消火器

5. 火災区域(区画)に隣接する火災区域(区画)と火災伝播経路

隣接火災区画への火災伝播経路の詳細は、別紙1参照

6. 火災影響を受ける火災防護対象機器等

機器名称[機器番号]	最重要設備 [※]	最重要設備以外の安全上重要な施設 [※]
-	-	-

※ ○:対象 -:非対象

* 火災想定において、工程停止等により安全機能を必要としない状態へと移行が可能なもの。

7. 火災防護対象機器等の関連ケーブル

機器名称[機器番号]	ケーブル種別	安重分類
-	-	-

8. 最重要設備の安重機能への火災影響

安重分類	全焼時の成功パスの有無	回路評価等の考慮	結果	系統分離※
Pu・高レベル廃棄物の閉じ込め機能	-	-	-	-
崩壊熱除去機能(重要度の高いもの)	-	-	-	-
安全圧縮空気系(水素掃気機能)	-	-	-	-
非常用所内電源系統	-	-	-	-

※ a : 3時間以上の耐火能力を有する耐火壁で分離

b : 水平距離6mによる分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置

c : 1時間の耐火能力を有する隔壁等による分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置
再処理施設成功パスの詳細は、別紙2参照

9. 最重要設備以外の火災防護対象機器等への火災影響

機器名称[機器番号]	当該区画の火災評価※	隣接区画の火災評価※
-	-	-

※ ○:火災影響なし ×:火災影響あり

隣接する火災区画と火災伝播経路

(※ 有:伝播する 無:伝播しない)

隣接する 火災区画	火災伝播 経路有無	等価時間 (h)	耐火時間 (h)	火災伝播の 可能性 ※	備考
	無	0.5	3.0	無	
	有	0.5	0.0	有	
	有	0.5	0.0	有	
	有	0.5	0.0	有	
	無	0.5	3.0	無	
	有	0.5	0.0	有	
	有	0.5	0.0	有	
	無	0.5	3.0	無	

火災区域(区画)特性表

1. 火災区域(区画)の説明

建屋名	精製建屋
火災区域/区画区分	火災区域
火災区域/区画番号	AC-5/■
火災区域/区画名称	計装ラック第1室
床面積(m ²)	■

2. 火災区域(区画)の火災シナリオの説明

AC-5は、精製建屋内の火災区域である。
 本区画は、火災源となるものがないため、安全上重要な施設のA/B系の設備(6.火災影響を受ける火災防護対象機器等 参照)の安全機能を喪失させるおそれのある想定火災はない。

3. 火災区域(区画)にある火災源

(1) 等価時間

発熱量(kJ)	火災荷重(kJ/m ²)	等価時間(h) [※]
■	■	0.5

※ 等価時間は、内部火災影響評価ガイドの等価時間記載の値で示す。

(2) 火災区域(区画)にある火災源機器数

火災源	機器数
電動機(3.7kW超)	-
電気盤(440V以上)	-
ケーブルトレイ(ケーブル)	-
油脂類・有機溶媒等	-
その他	-

4. 火災区域(区画)にある防火設備

火災感知の手段	主要な消火設備	消火方法	消火設備のバックアップ
煙感知器 熱感知器	ハロゲン化物消火 設備(全域)	自動	粉末消火器

5. 火災区域(区画)に隣接する火災区域(区画)と火災伝播経路 隣接火災区画への火災伝播経路の詳細は、別紙1参照

6. 火災影響を受ける火災防護対象機器等

機器名称[機器番号]	最重要設備※	最重要設備以外の安全上重要な施設※
プルトニウム濃縮液受槽セル漏えい液受皿液位A []	-	○*
プルトニウム濃縮液受槽セル漏えい液受皿液位B []	-	○*
プルトニウム濃縮液一時貯槽セル漏えい液受皿液位A []	-	○*
プルトニウム濃縮液一時貯槽セル漏えい液受皿液位B []	-	○*
プルトニウム濃縮液計量槽セル漏えい液受皿液位A []	-	○*
プルトニウム濃縮液計量槽セル漏えい液受皿液位B []	-	○*

※ ○:対象 -:非対象

* 火災想定において、工程停止等により安全機能を必要としない状態へと移行が可能なもの。

7. 火災防護対象機器等の関連ケーブル

機器名称[機器番号]	ケーブル種別	安重分類
-	-	-

8. 最重要設備の安重機能への火災影響

安重分類	全焼時の成功パスの有無	回路評価等の考慮	結果	系統分離※
Pu・高レベル廃棄物の閉じ込め機能	-	-	-	-
崩壊熱除去機能(重要度の高いもの)	-	-	-	-
安全圧縮空気系(水素掃気機能)	-	-	-	-
非常用所内電源系統	-	-	-	-

※ a: 3時間以上の耐火能力を有する耐火壁で分離

b: 水平距離6mによる分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置

c: 1時間の耐火能力を有する隔壁等による分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置

再処理施設成功パスの詳細は、別紙2参照

9. 最重要設備以外の火災防護対象機器等への火災影響

機器名称[機器番号]	当該区画の火災評価※	隣接区画の火災評価※
-	-	-

※ ○:火災影響なし ×:火災影響あり

隣接する火災区画と火災伝播経路

(※ 有:伝播する 無:伝播しない)

隣接する 火災区画	火災伝播 経路有無	等価時間 (h)	耐火時間 (h)	火災伝播の 可能性 ※	備考
	無	0.5	3.0	無	
	無	0.5	3.0	無	
	無	0.5	3.0	無	
	無	0.5	3.0	無	
	無	0.5	3.0	無	
	無	0.5	3.0	無	

火災区域(区画)特性表

1. 火災区域(区画)の説明

建屋名	精製建屋
火災区域/区画区分	火災区画
火災区域/区画番号	■
火災区域/区画名称	第11サブチェンジングルーム
床面積(m ²)	■

2. 火災区域(区画)の火災シナリオの説明

■は、精製建屋内の火災区画である。
 本区画は、電気盤火災の発生可能性があるが、安全上重要な施設が設置されていないため、安全機能の喪失のおそれはない。

3. 火災区域(区画)にある火災源

(1) 等価時間

発熱量(kJ)	火災荷重 (kJ/m ²)	等価時間(h) [※]
■	■	1.0

※ 等価時間は、内部火災影響評価ガイドの等価時間記載の値で示す。

(2) 火災区域(区画)にある火災源機器数

火災源	機器数
電動機(3.7kW超)	-
電気盤(440V以上)	1
ケーブルトレイ(ケーブル)	-
油脂類・有機溶媒等	-
その他	-

4. 火災区域(区画)にある防火設備

火災感知の手段	主要な消火設備	消火方法	消火設備のバックアップ
煙感知器	屋内消火栓	手動	粉末消火器

5. 火災区域(区画)に隣接する火災区域(区画)と火災伝播経路 隣接火災区画への火災伝播経路の詳細は、別紙1参照

6. 火災影響を受ける火災防護対象機器等

機器名称[機器番号]	最重要設備 [※]	最重要設備以外の安全上重要な施設 [※]
-	-	-

※ ○:対象 -:非対象

* 火災想定において、工程停止等により安全機能を必要としない状態へと移行が可能なもの。

7. 火災防護対象機器等の関連ケーブル

機器名称[機器番号]	ケーブル種別	安重分類
-	-	-

8. 最重要設備の安重機能への火災影響

安重分類	全焼時の 成功パスの 有無	回路評価 等の考慮	結果	系統分離※
Pu・高レベル廃棄物の閉じ込め機能	-	-	-	-
崩壊熱除去機能(重要度の高いもの)	-	-	-	-
安全圧縮空気系(水素掃気機能)	-	-	-	-
非常用所内電源系統	-	-	-	-

※ a : 3時間以上の耐火能力を有する耐火壁で分離

b : 水平距離6mによる分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置

c : 1時間の耐火能力を有する隔壁等による分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置
再処理施設成功パスの詳細は、別紙2参照

9. 最重要設備以外の火災防護対象機器等への火災影響

機器名称[機器番号]	当該区画の火災評価※	隣接区画の火災評価※
-	-	-

※ ○:火災影響なし ×:火災影響あり

隣接する火災区画と火災伝播経路

(※ 有:伝播する 無:伝播しない)

隣接する 火災区画	火災伝播 経路有無	等価時間 (h)	耐火時間 (h)	火災伝播の 可能性 ※	備考
	有	1.0	0.0	有	
	無	1.0	3.0	無	
	有	1.0	0.0	有	
	有	1.0	0.0	有	
	有	1.0	0.0	有	

火災区域(区画)特性表

1. 火災区域(区画)の説明

建屋名	精製建屋
火災区域/区画区分	火災区画
火災区域/区画番号	■
火災区域/区画名称	蒸気分配第1室
床面積(m ²)	■

2. 火災区域(区画)の火災シナリオの説明

■は、精製建屋内の火災区画である。
 本区画は、火災源となるものがないおよび安全上重要な施設が設置されていないため、安全機能の喪失のおそれはない。

3. 火災区域(区画)にある火災源

(1) 等価時間

発熱量(kJ)	火災荷重 (kJ/m ²)	等価時間(h) [※]
■	■	0.5

※ 等価時間は、内部火災影響評価ガイドの等価時間記載の値で示す。

(2) 火災区域(区画)にある火災源機器数

火災源	機器数
電動機(3.7kW超)	-
電気盤(440V以上)	-
ケーブルトレイ(ケーブル)	-
油脂類・有機溶媒等	-
その他	-

4. 火災区域(区画)にある防火設備

火災感知の手段	主要な消火設備	消火方法	消火設備のバックアップ
煙感知器	屋内消火栓	手動	粉末消火器

5. 火災区域(区画)に隣接する火災区域(区画)と火災伝播経路

隣接火災区画への火災伝播経路の詳細は、別紙1参照

6. 火災影響を受ける火災防護対象機器等

機器名称[機器番号]	最重要設備 [※]	最重要設備以外の安全上重要な施設 [※]
-	-	-

※ ○:対象 -:非対象

* 火災想定において、工程停止等により安全機能を必要としない状態へと移行が可能なもの。

7. 火災防護対象機器等の関連ケーブル

機器名称[機器番号]	ケーブル種別	安重分類
-	-	-

8. 最重要設備の安重機能への火災影響

安重分類	全焼時の成功パスの有無	回路評価等の考慮	結果	系統分離※
Pu・高レベル廃棄物の閉じ込め機能	-	-	-	-
崩壊熱除去機能(重要度の高いもの)	-	-	-	-
安全圧縮空気系(水素掃気機能)	-	-	-	-
非常用所内電源系統	-	-	-	-

※ a : 3時間以上の耐火能力を有する耐火壁で分離

b : 水平距離6mによる分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置

c : 1時間の耐火能力を有する隔壁等による分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置
再処理施設成功パスの詳細は、別紙2参照

9. 最重要設備以外の火災防護対象機器等への火災影響

機器名称[機器番号]	当該区画の火災評価※	隣接区画の火災評価※
-	-	-

※ ○:火災影響なし ×:火災影響あり

隣接する火災区画と火災伝播経路

(※ 有:伝播する 無:伝播しない)

隣接する 火災区画	火災伝播 経路有無	等価時間 (h)	耐火時間 (h)	火災伝播の 可能性 ※	備考
	無	0.5	3.0	無	
	有	0.5	0.0	有	
	有	0.5	0.0	有	
	無	0.5	3.0	無	
	有	0.5	0.0	有	
	有	0.5	0.0	有	
	有	0.5	0.0	有	
	有	0.5	0.0	有	

火災区域(区画)特性表

1. 火災区域(区画)の説明

建屋名	精製建屋
火災区域/区画区分	火災区画
火災区域/区画番号	■
火災区域/区画名称	蒸気分配第2室
床面積(m ²)	■

2. 火災区域(区画)の火災シナリオの説明

■は、精製建屋内の火災区画である。
 本区画は、火災源となるものがないおよび安全上重要な施設が設置されていないため、安全機能の喪失のおそれはない。

3. 火災区域(区画)にある火災源

(1) 等価時間

発熱量(kJ)	火災荷重 (kJ/m ²)	等価時間(h) [※]
■	■	0.5

※ 等価時間は、内部火災影響評価ガイドの等価時間記載の値で示す。

(2) 火災区域(区画)にある火災源機器数

火災源	機器数
電動機(3.7kW超)	-
電気盤(440V以上)	-
ケーブルトレイ(ケーブル)	-
油脂類・有機溶媒等	-
その他	-

4. 火災区域(区画)にある防火設備

火災感知の手段	主要な消火設備	消火方法	消火設備のバックアップ
煙感知器	屋内消火栓	手動	粉末消火器

5. 火災区域(区画)に隣接する火災区域(区画)と火災伝播経路

隣接火災区画への火災伝播経路の詳細は、別紙1参照

6. 火災影響を受ける火災防護対象機器等

機器名称[機器番号]	最重要設備 [※]	最重要設備以外の安全上重要な施設 [※]
-	-	-

※ ○:対象 -:非対象

* 火災想定において、工程停止等により安全機能を必要としない状態へと移行が可能なもの。

7. 火災防護対象機器等の関連ケーブル

機器名称[機器番号]	ケーブル種別	安重分類
-	-	-

8. 最重要設備の安重機能への火災影響

安重分類	全焼時の成功パスの有無	回路評価等の考慮	結果	系統分離※
Pu・高レベル廃棄物の閉じ込め機能	-	-	-	-
崩壊熱除去機能(重要度の高いもの)	-	-	-	-
安全圧縮空気系(水素掃気機能)	-	-	-	-
非常用所内電源系統	-	-	-	-

※ a : 3時間以上の耐火能力を有する耐火壁で分離

b : 水平距離6mによる分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置

c : 1時間の耐火能力を有する隔壁等による分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置
再処理施設成功パスの詳細は、別紙2参照

9. 最重要設備以外の火災防護対象機器等への火災影響

機器名称[機器番号]	当該区画の火災評価※	隣接区画の火災評価※
-	-	-

※ ○:火災影響なし ×:火災影響あり

隣接する火災区画と火災伝播経路

(※ 有:伝播する 無:伝播しない)

隣接する 火災区画	火災伝播 経路有無	等価時間 (h)	耐火時間 (h)	火災伝播の 可能性 ※	備考
	無	0.5	3.0	無	
	無	0.5	3.0	無	
	無	0.5	3.0	無	
	無	0.5	3.0	無	
	無	0.5	3.0	無	
	有	0.5	0.0	有	
	無	0.5	3.0	無	

火災区域(区画)特性表

1. 火災区域(区画)の説明

建屋名	精製建屋
火災区域/区画区分	火災区画
火災区域/区画番号	■
火災区域/区画名称	第10保守室
床面積(m ²)	■

2. 火災区域(区画)の火災シナリオの説明

■は、精製建屋内の火災区画である。
 本区画は、火災源となるものがないおよび安全上重要な施設が設置されていないため、安全機能の喪失のおそれはない。

3. 火災区域(区画)にある火災源

(1) 等価時間

発熱量(kJ)	火災荷重(kJ/m ²)	等価時間(h) [※]
■	■	0.5

※ 等価時間は、内部火災影響評価ガイドの等価時間記載の値で示す。

(2) 火災区域(区画)にある火災源機器数

火災源	機器数
電動機(3.7kW超)	-
電気盤(440V以上)	-
ケーブルトレイ(ケーブル)	-
油脂類・有機溶媒等	-
その他	-

4. 火災区域(区画)にある防火設備

火災感知の手段	主要な消火設備	消火方法	消火設備のバックアップ
煙感知器	屋内消火栓	手動	粉末消火器

5. 火災区域(区画)に隣接する火災区域(区画)と火災伝播経路

隣接火災区画への火災伝播経路の詳細は、別紙1参照

6. 火災影響を受ける火災防護対象機器等

機器名称[機器番号]	最重要設備 [※]	最重要設備以外の安全上重要な施設 [※]
-	-	-

※ ○:対象 -:非対象

* 火災想定において、工程停止等により安全機能を必要としない状態へと移行が可能なもの。

7. 火災防護対象機器等の関連ケーブル

機器名称[機器番号]	ケーブル種別	安重分類
-	-	-

8. 最重要設備の安重機能への火災影響

安重分類	全焼時の成功パスの有無	回路評価等の考慮	結果	系統分離※
Pu・高レベル廃棄物の閉じ込め機能	-	-	-	-
崩壊熱除去機能(重要度の高いもの)	-	-	-	-
安全圧縮空気系(水素掃気機能)	-	-	-	-
非常用所内電源系統	-	-	-	-

※ a : 3時間以上の耐火能力を有する耐火壁で分離

b : 水平距離6mによる分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置

c : 1時間の耐火能力を有する隔壁等による分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置
再処理施設成功パスの詳細は、別紙2参照

9. 最重要設備以外の火災防護対象機器等への火災影響

機器名称[機器番号]	当該区画の火災評価※	隣接区画の火災評価※
-	-	-

※ ○:火災影響なし ×:火災影響あり

隣接する火災区画と火災伝播経路

(※ 有:伝播する 無:伝播しない)

隣接する 火災区画	火災伝播 経路有無	等価時間 (h)	耐火時間 (h)	火災伝播の 可能性 ※	備考
	無	0.5	3.0	無	
	無	0.5	3.0	無	
	有	0.5	0.0	有	
	有	0.5	0.0	有	
	有	0.5	0.0	有	
	無	0.5	3.0	無	

火災区域(区画)特性表

1. 火災区域(区画)の説明

建屋名	精製建屋
火災区域/区画区分	火災区画
火災区域/区画番号	■
火災区域/区画名称	第11保守室
床面積(m ²)	■

2. 火災区域(区画)の火災シナリオの説明

■は、精製建屋内の火災区画である。
 本区画は、一時集積可燃物の火災の発生の可能性があるが、安全上重要な施設が設置されていないため、安全機能の喪失のおそれはない。

3. 火災区域(区画)にある火災源

(1) 等価時間

発熱量(kJ)	火災荷重 (kJ/m ²)	等価時間(h) [※]
■	■	>9

※ 等価時間は、内部火災影響評価ガイドの等価時間記載の値で示す。

(2) 火災区域(区画)にある火災源機器数

火災源	機器数
電動機(3.7kW超)	-
電気盤(440V以上)	-
ケーブルトレイ(ケーブル)	-
油脂類・有機溶媒等	-
その他	1

4. 火災区域(区画)にある防火設備

火災感知の手段	主要な消火設備	消火方法	消火設備のバックアップ
煙感知器	屋内消火栓	手動	粉末消火器

5. 火災区域(区画)に隣接する火災区域(区画)と火災伝播経路 隣接火災区画への火災伝播経路の詳細は、別紙1参照

6. 火災影響を受ける火災防護対象機器等

機器名称[機器番号]	最重要設備 [※]	最重要設備以外の安全上重要な施設 [※]
-	-	-

※ ○:対象 -:非対象

* 火災想定において、工程停止等により安全機能を必要としない状態へと移行が可能なもの。

7. 火災防護対象機器等の関連ケーブル

機器名称[機器番号]	ケーブル種別	安重分類
-	-	-

8. 最重要設備の安重機能への火災影響

安重分類	全焼時の成功パスの有無	回路評価等の考慮	結果	系統分離※
Pu・高レベル廃棄物の閉じ込め機能	-	-	-	-
崩壊熱除去機能(重要度の高いもの)	-	-	-	-
安全圧縮空気系(水素掃気機能)	-	-	-	-
非常用所内電源系統	-	-	-	-

※ a : 3時間以上の耐火能力を有する耐火壁で分離

b : 水平距離6mによる分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置

c : 1時間の耐火能力を有する隔壁等による分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置
再処理施設成功パスの詳細は、別紙2参照

9. 最重要設備以外の火災防護対象機器等への火災影響

機器名称[機器番号]	当該区画の火災評価※	隣接区画の火災評価※
-	-	-

※ ○:火災影響なし ×:火災影響あり

隣接する火災区画と火災伝播経路

(※ 有:伝播する 無:伝播しない)

隣接する火災区画	火災伝播経路有無	等価時間(h)	耐火時間(h)	火災伝播の可能性※	備考
	無	3.0超	3.0	有	
	無	3.0超	3.0	有	
	有	3.0超	0.0	有	
	無	3.0超	3.0	有	
	有	3.0超	0.0	有	
	有	3.0超	0.0	有	
	有	3.0超	0.0	有	
	無	3.0超	3.0	有	
	無	3.0超	3.0	有	
	無	3.0超	3.0	有	
	有	3.0超	0.0	有	
	有	3.0超	0.0	有	
	無	3.0超	3.0	有	
	無	3.0超	3.0	有	

火災区域(区画)特性表

1. 火災区域(区画)の説明

建屋名	精製建屋
火災区域/区画区分	火災区画
火災区域/区画番号	■
火災区域/区画名称	プルトニウム系サンプリングベンチ第3セル
床面積(m ²)	■

2. 火災区域(区画)の火災シナリオの説明

■は、精製建屋内の火災区画である。
 本区画は、火災源となるものがないおよび安全上重要な施設が設置されていないため、安全機能の喪失のおそれはない。

3. 火災区域(区画)にある火災源

(1) 等価時間

発熱量(kJ)	火災荷重(kJ/m ²)	等価時間(h) [※]
■	■	0.0

※ 等価時間は、内部火災影響評価ガイドの等価時間記載の値で示す。

(2) 火災区域(区画)にある火災源機器数

火災源	機器数
電動機(3.7kW超)	-
電気盤(440V以上)	-
ケーブルトレイ(ケーブル)	-
油脂類・有機溶媒等	-
その他	-

4. 火災区域(区画)にある防火設備

火災感知の手段	主要な消火設備	消火方法	消火設備のバックアップ
設置除外	設置除外	-	-

5. 火災区域(区画)に隣接する火災区域(区画)と火災伝播経路

隣接火災区画への火災伝播経路の詳細は、別紙1参照

6. 火災影響を受ける火災防護対象機器等

機器名称[機器番号]	最重要設備 [※]	最重要設備以外の安全上重要な施設 [※]
-	-	-

※ ○:対象 -:非対象

* 火災想定において、工程停止等により安全機能を必要としない状態へと移行が可能なもの。

7. 火災防護対象機器等の関連ケーブル

機器名称[機器番号]	ケーブル種別	安重分類
-	-	-

8. 最重要設備の安重機能への火災影響

安重分類	全焼時の 成功パスの 有無	回路評価 等の考慮	結果	系統分離※
Pu・高レベル廃棄物の閉じ込め機能	-	-	-	-
崩壊熱除去機能(重要度の高いもの)	-	-	-	-
安全圧縮空気系(水素掃気機能)	-	-	-	-
非常用所内電源系統	-	-	-	-

※ a : 3時間以上の耐火能力を有する耐火壁で分離

b : 水平距離6mによる分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置

c : 1時間の耐火能力を有する隔壁等による分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置
再処理施設成功パスの詳細は、別紙2参照

9. 最重要設備以外の火災防護対象機器等への火災影響

機器名称[機器番号]	当該区画の火災評価※	隣接区画の火災評価※
-	-	-

※ ○:火災影響なし ×:火災影響あり

隣接する火災区画と火災伝播経路

(※ 有:伝播する 無:伝播しない)

隣接する 火災区画	火災伝播 経路有無	等価時間 (h)	耐火時間 (h)	火災伝播の 可能性 ※	備考
	無	0.0	3.0	無	
	有	0.0	0.0	無	
	有	0.0	0.0	無	
	有	0.0	0.0	無	
	無	0.0	3.0	無	

火災区域(区画)特性表

1. 火災区域(区画)の説明

建屋名	精製建屋
火災区域/区画区分	火災区画
火災区域/区画番号	■
火災区域/区画名称	濃縮液弃用グローブボックス室
床面積(m ²)	■

2. 火災区域(区画)の火災シナリオの説明

■は、精製建屋内の火災区画である。
 本区画は、火災源となるものがないおよび安全上重要な施設が金属等の不燃材および難燃性にて構成され火災影響を受けないことから、安全機能の喪失のおそれはない。

3. 火災区域(区画)にある火災源

(1) 等価時間

発熱量(kJ)	火災荷重 (kJ/m ²)	等価時間(h) [※]
■	■	0.5

※ 等価時間は、内部火災影響評価ガイドの等価時間記載の値で示す。

(2) 火災区域(区画)にある火災源機器数

火災源	機器数
電動機(3.7kW超)	-
電気盤(440V以上)	-
ケーブルトレイ(ケーブル)	-
油脂類・有機溶媒等	-
その他	-

4. 火災区域(区画)にある防火設備

火災感知の手段	主要な消火設備	消火方法	消火設備のバックアップ
煙感知器	屋内消火栓	手動	粉末消火器

5. 火災区域(区画)に隣接する火災区域(区画)と火災伝播経路

隣接火災区画への火災伝播経路の詳細は、別紙1参照

6. 火災影響を受ける火災防護対象機器等

機器名称[機器番号]	最重要設備 [※]	最重要設備以外の安全上重要な施設 [※]
-	-	-

※ ○:対象 -:非対象

* 火災想定において、工程停止等により安全機能を必要としない状態へと移行が可能なもの。

7. 火災防護対象機器等の関連ケーブル

機器名称[機器番号]	ケーブル種別	安重分類
-	-	-

8. 最重要設備の安重機能への火災影響

安重分類	全焼時の成功パスの有無	回路評価等の考慮	結果	系統分離※
Pu・高レベル廃棄物の閉じ込め機能	-	-	-	-
崩壊熱除去機能(重要度の高いもの)	-	-	-	-
安全圧縮空気系(水素掃気機能)	-	-	-	-
非常用所内電源系統	-	-	-	-

※ a : 3時間以上の耐火能力を有する耐火壁で分離

b : 水平距離6mによる分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置

c : 1時間の耐火能力を有する隔壁等による分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置
再処理施設成功パスの詳細は、別紙2参照

9. 最重要設備以外の火災防護対象機器等への火災影響

機器名称[機器番号]	当該区画の火災評価※	隣接区画の火災評価※
-	-	-

※ ○:火災影響なし ×:火災影響あり

隣接する火災区画と火災伝播経路

(※ 有:伝播する 無:伝播しない)

隣接する 火災区画	火災伝播 経路有無	等価時間 (h)	耐火時間 (h)	火災伝播の 可能性 ※	備考
	無	0.5	3.0	無	
	無	0.5	3.0	無	
	無	0.5	3.0	無	
	無	0.5	3.0	無	
	無	0.5	3.0	無	
	無	0.5	3.0	無	
	無	0.5	3.0	無	
	無	0.5	3.0	無	

火災区域(区画)特性表

1. 火災区域(区画)の説明

建屋名	精製建屋
火災区域/区画区分	火災区画
火災区域/区画番号	■
火災区域/区画名称	圧縮空気分配第2室
床面積(m ²)	■

2. 火災区域(区画)の火災シナリオの説明

■は、精製建屋内の火災区画である。
 本区画は、火災源となるものがないおよび安全上重要な施設が設置されていないため、安全機能の喪失のおそれはない。

3. 火災区域(区画)にある火災源

(1) 等価時間

発熱量(kJ)	火災荷重 (kJ/m ²)	等価時間(h) [※]
■	■	0.5

※ 等価時間は、内部火災影響評価ガイドの等価時間記載の値で示す。

(2) 火災区域(区画)にある火災源機器数

火災源	機器数
電動機(3.7kW超)	-
電気盤(440V以上)	-
ケーブルトレイ(ケーブル)	-
油脂類・有機溶媒等	-
その他	-

4. 火災区域(区画)にある防火設備

火災感知の手段	主要な消火設備	消火方法	消火設備のバックアップ
煙感知器 熱感知器	屋内消火栓	手動	粉末消火器

5. 火災区域(区画)に隣接する火災区域(区画)と火災伝播経路

隣接火災区画への火災伝播経路の詳細は、別紙1参照

6. 火災影響を受ける火災防護対象機器等

機器名称[機器番号]	最重要設備 [※]	最重要設備以外の安全上重要な施設 [※]
-	-	-

※ ○:対象 -:非対象

* 火災想定において、工程停止等により安全機能を必要としない状態へと移行が可能なもの。

7. 火災防護対象機器等の関連ケーブル

機器名称[機器番号]	ケーブル種別	安重分類
-	-	-

8. 最重要設備の安重機能への火災影響

安重分類	全焼時の成功パスの有無	回路評価等の考慮	結果	系統分離※
Pu・高レベル廃棄物の閉じ込め機能	-	-	-	-
崩壊熱除去機能(重要度の高いもの)	-	-	-	-
安全圧縮空気系(水素掃気機能)	-	-	-	-
非常用所内電源系統	-	-	-	-

※ a : 3時間以上の耐火能力を有する耐火壁で分離

b : 水平距離6mによる分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置

c : 1時間の耐火能力を有する隔壁等による分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置
再処理施設成功パスの詳細は、別紙2参照

9. 最重要設備以外の火災防護対象機器等への火災影響

機器名称[機器番号]	当該区画の火災評価※	隣接区画の火災評価※
-	-	-

※ ○:火災影響なし ×:火災影響あり

隣接する火災区画と火災伝播経路

(※ 有:伝播する 無:伝播しない)

隣接する 火災区画	火災伝播 経路有無	等価時間 (h)	耐火時間 (h)	火災伝播の 可能性 ※	備考
	無	0.5	3.0	無	
	無	0.5	3.0	無	
	有	0.5	0.0	有	
	有	0.5	0.0	有	
	無	0.5	3.0	無	
	有	0.5	0.0	有	
	無	0.5	3.0	無	
	無	0.5	3.0	無	

火災区域(区画)特性表

1. 火災区域(区画)の説明

建屋名	精製建屋
火災区域/区画区分	火災区画
火災区域/区画番号	■
火災区域/区画名称	セル排気サンプリング設備第2室
床面積(m ²)	■

2. 火災区域(区画)の火災シナリオの説明

■は、精製建屋内の火災区画である。
 本区画は、火災源となるものがないおよび安全上重要な施設が設置されていないため、安全機能の喪失のおそれはない。

3. 火災区域(区画)にある火災源

(1) 等価時間

発熱量(kJ)	火災荷重 (kJ/m ²)	等価時間(h) [※]
■	■	0.5

※ 等価時間は、内部火災影響評価ガイドの等価時間記載の値で示す。

(2) 火災区域(区画)にある火災源機器数

火災源	機器数
電動機(3.7kW超)	-
電気盤(440V以上)	-
ケーブルトレイ(ケーブル)	-
油脂類・有機溶媒等	-
その他	-

4. 火災区域(区画)にある防火設備

火災感知の手段	主要な消火設備	消火方法	消火設備のバックアップ
煙感知器	屋内消火栓	手動	粉末消火器

5. 火災区域(区画)に隣接する火災区域(区画)と火災伝播経路

隣接火災区画への火災伝播経路の詳細は、別紙1参照

6. 火災影響を受ける火災防護対象機器等

機器名称[機器番号]	最重要設備 [※]	最重要設備以外の安全上重要な施設 [※]
-	-	-

※ ○:対象 -:非対象

* 火災想定において、工程停止等により安全機能を必要としない状態へと移行が可能なもの。

7. 火災防護対象機器等の関連ケーブル

機器名称[機器番号]	ケーブル種別	安重分類
-	-	-

8. 最重要設備の安重機能への火災影響

安重分類	全焼時の成功パスの有無	回路評価等の考慮	結果	系統分離※
Pu・高レベル廃棄物の閉じ込め機能	-	-	-	-
崩壊熱除去機能(重要度の高いもの)	-	-	-	-
安全圧縮空気系(水素掃気機能)	-	-	-	-
非常用所内電源系統	-	-	-	-

※ a : 3時間以上の耐火能力を有する耐火壁で分離

b : 水平距離6mによる分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置

c : 1時間の耐火能力を有する隔壁等による分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置
再処理施設成功パスの詳細は、別紙2参照

9. 最重要設備以外の火災防護対象機器等への火災影響

機器名称[機器番号]	当該区画の火災評価※	隣接区画の火災評価※
-	-	-

※ ○:火災影響なし ×:火災影響あり

隣接する火災区画と火災伝播経路

(※ 有:伝播する 無:伝播しない)

隣接する 火災区画	火災伝播 経路有無	等価時間 (h)	耐火時間 (h)	火災伝播の 可能性 ※	備考
	無	0.5	3.0	無	
	無	0.5	1.0	無	
	有	0.5	0.0	有	
	有	0.5	0.0	有	
	無	0.5	3.0	無	
	有	0.5	0.0	有	
	無	0.5	3.0	無	

火災区域(区画)特性表

1. 火災区域(区画)の説明

建屋名	精製建屋
火災区域/区画区分	火災区画
火災区域/区画番号	■
火災区域/区画名称	第12保守室
床面積(m ²)	■

2. 火災区域(区画)の火災シナリオの説明

■は、精製建屋内の火災区画である。
 本区画は、火災源となるものがないおよび安全上重要な施設が設置されていないため、安全機能の喪失のおそれはない。

3. 火災区域(区画)にある火災源

(1) 等価時間

発熱量(kJ)	火災荷重(kJ/m ²)	等価時間(h) [※]
■	■	0.0

※ 等価時間は、内部火災影響評価ガイドの等価時間記載の値で示す。

(2) 火災区域(区画)にある火災源機器数

火災源	機器数
電動機(3.7kW超)	-
電気盤(440V以上)	-
ケーブルトレイ(ケーブル)	-
油脂類・有機溶媒等	-
その他	-

4. 火災区域(区画)にある防火設備

火災感知の手段	主要な消火設備	消火方法	消火設備のバックアップ
煙感知器	屋内消火栓	手動	粉末消火器

5. 火災区域(区画)に隣接する火災区域(区画)と火災伝播経路

隣接火災区画への火災伝播経路の詳細は、別紙1参照

6. 火災影響を受ける火災防護対象機器等

機器名称[機器番号]	最重要設備 [※]	最重要設備以外の安全上重要な施設 [※]
-	-	-

※ ○:対象 -:非対象

* 火災想定において、工程停止等により安全機能を必要としない状態へと移行が可能なもの。

7. 火災防護対象機器等の関連ケーブル

機器名称[機器番号]	ケーブル種別	安重分類
-	-	-

8. 最重要設備の安重機能への火災影響

安重分類	全焼時の成功パスの有無	回路評価等の考慮	結果	系統分離※
Pu・高レベル廃棄物の閉じ込め機能	-	-	-	-
崩壊熱除去機能(重要度の高いもの)	-	-	-	-
安全圧縮空気系(水素掃気機能)	-	-	-	-
非常用所内電源系統	-	-	-	-

※ a : 3時間以上の耐火能力を有する耐火壁で分離

b : 水平距離6mによる分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置

c : 1時間の耐火能力を有する隔壁等による分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置
再処理施設成功パスの詳細は、別紙2参照

9. 最重要設備以外の火災防護対象機器等への火災影響

機器名称[機器番号]	当該区画の火災評価※	隣接区画の火災評価※
-	-	-

※ ○:火災影響なし ×:火災影響あり

隣接する火災区画と火災伝播経路

(※ 有:伝播する 無:伝播しない)

隣接する 火災区画	火災伝播 経路有無	等価時間 (h)	耐火時間 (h)	火災伝播の 可能性 ※	備考
	無	0.0	3.0	無	
	無	0.0	3.0	無	
	有	0.0	0.0	無	
	有	0.0	0.0	無	
	有	0.0	0.0	無	
	有	0.0	0.0	無	
	無	0.0	3.0	無	
	有	0.0	0.0	無	

火災区域(区画)特性表

1. 火災区域(区画)の説明

建屋名	精製建屋
火災区域/区画区分	火災区画
火災区域/区画番号	■
火災区域/区画名称	ウラン濃縮缶予備セル
床面積(m ²)	■

2. 火災区域(区画)の火災シナリオの説明

■は、精製建屋内の火災区画である。
 本区画は、火災源となるものがないおよび安全上重要な施設が設置されていないため、安全機能の喪失のおそれはない。

3. 火災区域(区画)にある火災源

(1) 等価時間

発熱量(kJ)	火災荷重(kJ/m ²)	等価時間(h) [※]
■	■	0.0

※ 等価時間は、内部火災影響評価ガイドの等価時間記載の値で示す。

(2) 火災区域(区画)にある火災源機器数

火災源	機器数
電動機(3.7kW超)	-
電気盤(440V以上)	-
ケーブルトレイ(ケーブル)	-
油脂類・有機溶媒等	-
その他	-

4. 火災区域(区画)にある防火設備

火災感知の手段	主要な消火設備	消火方法	消火設備のバックアップ
設置除外	設置除外	-	-

5. 火災区域(区画)に隣接する火災区域(区画)と火災伝播経路 隣接火災区画への火災伝播経路の詳細は、別紙1参照

6. 火災影響を受ける火災防護対象機器等

機器名称[機器番号]	最重要設備 [※]	最重要設備以外の安全上重要な施設 [※]
-	-	-

※ ○:対象 -:非対象

* 火災想定において、工程停止等により安全機能を必要としない状態へと移行が可能なもの。

7. 火災防護対象機器等の関連ケーブル

機器名称[機器番号]	ケーブル種別	安重分類
-	-	-

8. 最重要設備の安重機能への火災影響

安重分類	全焼時の成功パスの有無	回路評価等の考慮	結果	系統分離※
Pu・高レベル廃棄物の閉じ込め機能	-	-	-	-
崩壊熱除去機能(重要度の高いもの)	-	-	-	-
安全圧縮空気系(水素掃気機能)	-	-	-	-
非常用所内電源系統	-	-	-	-

※ a : 3時間以上の耐火能力を有する耐火壁で分離

b : 水平距離6mによる分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置

c : 1時間の耐火能力を有する隔壁等による分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置
再処理施設成功パスの詳細は、別紙2参照

9. 最重要設備以外の火災防護対象機器等への火災影響

機器名称[機器番号]	当該区画の火災評価※	隣接区画の火災評価※
-	-	-

※ ○:火災影響なし ×:火災影響あり

隣接する火災区画と火災伝播経路

(※ 有:伝播する 無:伝播しない)

隣接する 火災区画	火災伝播 経路有無	等価時間 (h)	耐火時間 (h)	火災伝播の 可能性 ※	備考
	無	0.0	3.0	無	
	無	0.0	3.0	無	
	無	0.0	3.0	無	
	有	0.0	0.0	無	
	有	0.0	0.0	無	
	有	0.0	0.0	無	
	有	0.0	0.0	無	
	無	0.0	3.0	無	

火災区域(区画)特性表

1. 火災区域(区画)の説明

建屋名	精製建屋
火災区域/区画区分	火災区画
火災区域/区画番号	■
火災区域/区画名称	ウラン濃縮缶セル
床面積(m ²)	■

2. 火災区域(区画)の火災シナリオの説明

■は、精製建屋内の火災区画である。
 本区画は、火災源となるものがないおよび安全上重要な施設が設置されていないため、安全機能の喪失のおそれはない。

3. 火災区域(区画)にある火災源

(1) 等価時間

発熱量(kJ)	火災荷重(kJ/m ²)	等価時間(h) [※]
■	■	0.0

※ 等価時間は、内部火災影響評価ガイドの等価時間記載の値で示す。

(2) 火災区域(区画)にある火災源機器数

火災源	機器数
電動機(3.7kW超)	-
電気盤(440V以上)	-
ケーブルトレイ(ケーブル)	-
油脂類・有機溶媒等	-
その他	-

4. 火災区域(区画)にある防火設備

火災感知の手段	主要な消火設備	消火方法	消火設備のバックアップ
設置除外	設置除外	-	-

5. 火災区域(区画)に隣接する火災区域(区画)と火災伝播経路

隣接火災区画への火災伝播経路の詳細は、別紙1参照

6. 火災影響を受ける火災防護対象機器等

機器名称[機器番号]	最重要設備 [※]	最重要設備以外の安全上重要な施設 [※]
-	-	-

※ ○:対象 -:非対象

* 火災想定において、工程停止等により安全機能を必要としない状態へと移行が可能なもの。

7. 火災防護対象機器等の関連ケーブル

機器名称[機器番号]	ケーブル種別	安重分類
-	-	-

8. 最重要設備の安重機能への火災影響

安重分類	全焼時の 成功パスの 有無	回路評価 等の考慮	結果	系統分離※
Pu・高レベル廃棄物の閉じ込め機能	-	-	-	-
崩壊熱除去機能(重要度の高いもの)	-	-	-	-
安全圧縮空気系(水素掃気機能)	-	-	-	-
非常用所内電源系統	-	-	-	-

※ a : 3時間以上の耐火能力を有する耐火壁で分離

b : 水平距離6mによる分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置

c : 1時間の耐火能力を有する隔壁等による分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置
再処理施設成功パスの詳細は、別紙2参照

9. 最重要設備以外の火災防護対象機器等への火災影響

機器名称[機器番号]	当該区画の火災評価※	隣接区画の火災評価※
-	-	-

※ ○:火災影響なし ×:火災影響あり

隣接する火災区画と火災伝播経路

(※ 有:伝播する 無:伝播しない)

隣接する 火災区画	火災伝播 経路有無	等価時間 (h)	耐火時間 (h)	火災伝播の 可能性 ※	備考
	無	0.0	3.0	無	
	有	0.0	0.0	無	
	有	0.0	0.0	無	
	有	0.0	0.0	無	
	有	0.0	0.0	無	
	有	0.0	0.0	無	
	有	0.0	0.0	無	
	有	0.0	0.0	無	

火災区域(区画)特性表

1. 火災区域(区画)の説明

建屋名	精製建屋
火災区域/区画区分	火災区画
火災区域/区画番号	■
火災区域/区画名称	第8予備セル
床面積(m ²)	■

2. 火災区域(区画)の火災シナリオの説明

■は、精製建屋内の火災区画である。
 本区画は、火災源となるものがないおよび安全上重要な施設が設置されていないため、安全機能の喪失のおそれはない。

3. 火災区域(区画)にある火災源

(1) 等価時間

発熱量(kJ)	火災荷重 (kJ/m ²)	等価時間(h) [※]
■	■	0.0

※ 等価時間は、内部火災影響評価ガイドの等価時間記載の値で示す。

(2) 火災区域(区画)にある火災源機器数

火災源	機器数
電動機(3.7kW超)	-
電気盤(440V以上)	-
ケーブルトレイ(ケーブル)	-
油脂類・有機溶媒等	-
その他	-

4. 火災区域(区画)にある防火設備

火災感知の手段	主要な消火設備	消火方法	消火設備のバックアップ
設置除外	設置除外	-	-

5. 火災区域(区画)に隣接する火災区域(区画)と火災伝播経路

隣接火災区画への火災伝播経路の詳細は、別紙1参照

6. 火災影響を受ける火災防護対象機器等

機器名称[機器番号]	最重要設備 [※]	最重要設備以外の安全上重要な施設 [※]
-	-	-

※ ○:対象 -:非対象

* 火災想定において、工程停止等により安全機能を必要としない状態へと移行が可能なもの。

7. 火災防護対象機器等の関連ケーブル

機器名称[機器番号]	ケーブル種別	安重分類
-	-	-

8. 最重要設備の安重機能への火災影響

安重分類	全焼時の成功パスの有無	回路評価等の考慮	結果	系統分離※
Pu・高レベル廃棄物の閉じ込め機能	-	-	-	-
崩壊熱除去機能(重要度の高いもの)	-	-	-	-
安全圧縮空気系(水素掃気機能)	-	-	-	-
非常用所内電源系統	-	-	-	-

※ a : 3時間以上の耐火能力を有する耐火壁で分離

b : 水平距離6mによる分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置

c : 1時間の耐火能力を有する隔壁等による分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置
再処理施設成功パスの詳細は、別紙2参照

9. 最重要設備以外の火災防護対象機器等への火災影響

機器名称[機器番号]	当該区画の火災評価※	隣接区画の火災評価※
-	-	-

※ ○:火災影響なし ×:火災影響あり

隣接する火災区画と火災伝播経路

(※ 有:伝播する 無:伝播しない)

隣接する 火災区画	火災伝播 経路有無	等価時間 (h)	耐火時間 (h)	火災伝播の 可能性 ※	備考
	無	0.0	3.0	無	
	有	0.0	0.0	無	
	有	0.0	0.0	無	
	有	0.0	0.0	無	
	有	0.0	0.0	無	
	有	0.0	0.0	無	
	有	0.0	0.0	無	
	有	0.0	0.0	無	

火災区域(区画)特性表

1. 火災区域(区画)の説明

建屋名	精製建屋
火災区域/区画区分	火災区画
火災区域/区画番号	■
火災区域/区画名称	ウラン系サンプリグベンチ第2保守室
床面積(m ²)	■

2. 火災区域(区画)の火災シナリオの説明

■は、精製建屋内の火災区画である。
 本区画は、電気盤火災の発生可能性があるが、安全上重要な施設が設置されていないため、安全機能の喪失のおそれはない。

3. 火災区域(区画)にある火災源

(1) 等価時間

発熱量(kJ)	火災荷重(kJ/m ²)	等価時間(h) [※]
■	■	0.5

※ 等価時間は、内部火災影響評価ガイドの等価時間記載の値で示す。

(2) 火災区域(区画)にある火災源機器数

火災源	機器数
電動機(3.7kW超)	-
電気盤(440V以上)	1
ケーブルトレイ(ケーブル)	-
油脂類・有機溶媒等	-
その他	-

4. 火災区域(区画)にある防火設備

火災感知の手段	主要な消火設備	消火方法	消火設備のバックアップ
煙感知器	屋内消火栓	手動	粉末消火器

5. 火災区域(区画)に隣接する火災区域(区画)と火災伝播経路

隣接火災区画への火災伝播経路の詳細は、別紙1参照

6. 火災影響を受ける火災防護対象機器等

機器名称[機器番号]	最重要設備 [※]	最重要設備以外の安全上重要な施設 [※]
-	-	-

※ ○:対象 -:非対象

* 火災想定において、工程停止等により安全機能を必要としない状態へと移行が可能なもの。

7. 火災防護対象機器等の関連ケーブル

機器名称[機器番号]	ケーブル種別	安重分類
-	-	-

8. 最重要設備の安重機能への火災影響

安重分類	全焼時の 成功パスの 有無	回路評価 等の考慮	結果	系統分離※
Pu・高レベル廃棄物の閉じ込め機能	-	-	-	-
崩壊熱除去機能(重要度の高いもの)	-	-	-	-
安全圧縮空気系(水素掃気機能)	-	-	-	-
非常用所内電源系統	-	-	-	-

※ a : 3時間以上の耐火能力を有する耐火壁で分離

b : 水平距離6mによる分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置

c : 1時間の耐火能力を有する隔壁等による分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置
再処理施設成功パスの詳細は、別紙2参照

9. 最重要設備以外の火災防護対象機器等への火災影響

機器名称[機器番号]	当該区画の火災評価※	隣接区画の火災評価※
-	-	-

※ ○:火災影響なし ×:火災影響あり

隣接する火災区画と火災伝播経路

(※ 有:伝播する 無:伝播しない)

隣接する 火災区画	火災伝播 経路有無	等価時間 (h)	耐火時間 (h)	火災伝播の 可能性 ※	備考
	無	0.5	3.0	無	
	有	0.5	0.0	有	
	無	0.5	3.0	無	
	有	0.5	0.0	有	
	無	0.5	3.0	無	
	有	0.5	0.0	有	
	有	0.5	0.0	有	
	有	0.5	0.0	有	

火災区域(区画)特性表

1. 火災区域(区画)の説明

建屋名	精製建屋
火災区域/区画区分	火災区画
火災区域/区画番号	■
火災区域/区画名称	蒸気分配第3室
床面積(m ²)	■

2. 火災区域(区画)の火災シナリオの説明

■は、精製建屋内の火災区画である。
 本区画は、火災源となるものがないおよび安全上重要な施設が設置されていないため、安全機能の喪失のおそれはない。

3. 火災区域(区画)にある火災源

(1) 等価時間

発熱量(kJ)	火災荷重 (kJ/m ²)	等価時間(h) [※]
■	■	0.5

※ 等価時間は、内部火災影響評価ガイドの等価時間記載の値で示す。

(2) 火災区域(区画)にある火災源機器数

火災源	機器数
電動機(3.7kW超)	-
電気盤(440V以上)	-
ケーブルトレイ(ケーブル)	-
油脂類・有機溶媒等	-
その他	-

4. 火災区域(区画)にある防火設備

火災感知の手段	主要な消火設備	消火方法	消火設備のバックアップ
煙感知器	屋内消火栓	手動	粉末消火器

5. 火災区域(区画)に隣接する火災区域(区画)と火災伝播経路

隣接火災区画への火災伝播経路の詳細は、別紙1参照

6. 火災影響を受ける火災防護対象機器等

機器名称[機器番号]	最重要設備 [※]	最重要設備以外の安全上重要な施設 [※]
-	-	-

※ ○:対象 -:非対象

* 火災想定において、工程停止等により安全機能を必要としない状態へと移行が可能なもの。

7. 火災防護対象機器等の関連ケーブル

機器名称[機器番号]	ケーブル種別	安重分類
-	-	-

8. 最重要設備の安重機能への火災影響

安重分類	全焼時の成功パスの有無	回路評価等の考慮	結果	系統分離※
Pu・高レベル廃棄物の閉じ込め機能	-	-	-	-
崩壊熱除去機能(重要度の高いもの)	-	-	-	-
安全圧縮空気系(水素掃気機能)	-	-	-	-
非常用所内電源系統	-	-	-	-

※ a : 3時間以上の耐火能力を有する耐火壁で分離

b : 水平距離6mによる分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置

c : 1時間の耐火能力を有する隔壁等による分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置
再処理施設成功パスの詳細は、別紙2参照

9. 最重要設備以外の火災防護対象機器等への火災影響

機器名称[機器番号]	当該区画の火災評価※	隣接区画の火災評価※
-	-	-

※ ○:火災影響なし ×:火災影響あり

隣接する火災区画と火災伝播経路

(※ 有:伝播する 無:伝播しない)

隣接する 火災区画	火災伝播 経路有無	等価時間 (h)	耐火時間 (h)	火災伝播の 可能性 ※	備考
	無	0.5	3.0	無	
	有	0.5	0.0	有	
	有	0.5	0.0	有	
	無	0.5	3.0	無	
	有	0.5	0.0	有	
	有	0.5	0.0	有	
	有	0.5	0.0	有	
	無	0.5	3.0	無	
	有	0.5	0.0	有	

火災区域(区画)特性表

1. 火災区域(区画)の説明

建屋名	精製建屋
火災区域/区画区分	火災区画
火災区域/区画番号	■
火災区域/区画名称	第13保守室
床面積(m ²)	■

2. 火災区域(区画)の火災シナリオの説明

■は、精製建屋内の火災区画である。
 本区画は、火災源となるものがないおよび安全上重要な施設が設置されていないため、安全機能の喪失のおそれはない。

3. 火災区域(区画)にある火災源

(1) 等価時間

発熱量(kJ)	火災荷重(kJ/m ²)	等価時間(h) [※]
■	■	0.5

※ 等価時間は、内部火災影響評価ガイドの等価時間記載の値で示す。

(2) 火災区域(区画)にある火災源機器数

火災源	機器数
電動機(3.7kW超)	-
電気盤(440V以上)	-
ケーブルトレイ(ケーブル)	-
油脂類・有機溶媒等	-
その他	-

4. 火災区域(区画)にある防火設備

火災感知の手段	主要な消火設備	消火方法	消火設備のバックアップ
煙感知器	屋内消火栓	手動	粉末消火器

5. 火災区域(区画)に隣接する火災区域(区画)と火災伝播経路

隣接火災区画への火災伝播経路の詳細は、別紙1参照

6. 火災影響を受ける火災防護対象機器等

機器名称[機器番号]	最重要設備 [※]	最重要設備以外の安全上重要な施設 [※]
-	-	-

※ ○:対象 -:非対象

* 火災想定において、工程停止等により安全機能を必要としない状態へと移行が可能なもの。

7. 火災防護対象機器等の関連ケーブル

機器名称[機器番号]	ケーブル種別	安重分類
-	-	-

8. 最重要設備の安重機能への火災影響

安重分類	全焼時の成功パスの有無	回路評価等の考慮	結果	系統分離※
Pu・高レベル廃棄物の閉じ込め機能	-	-	-	-
崩壊熱除去機能(重要度の高いもの)	-	-	-	-
安全圧縮空気系(水素掃気機能)	-	-	-	-
非常用所内電源系統	-	-	-	-

※ a : 3時間以上の耐火能力を有する耐火壁で分離

b : 水平距離6mによる分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置

c : 1時間の耐火能力を有する隔壁等による分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置
再処理施設成功パスの詳細は、別紙2参照

9. 最重要設備以外の火災防護対象機器等への火災影響

機器名称[機器番号]	当該区画の火災評価※	隣接区画の火災評価※
-	-	-

※ ○:火災影響なし ×:火災影響あり

隣接する火災区画と火災伝播経路

(※ 有:伝播する 無:伝播しない)

隣接する 火災区画	火災伝播 経路有無	等価時間 (h)	耐火時間 (h)	火災伝播の 可能性 ※	備考
	有	0.5	0.0	有	
	無	0.5	1.0	無	
	無	0.5	3.0	無	
	有	0.5	0.0	有	
	無	0.5	1.0	無	
	無	0.5	3.0	無	
	有	0.5	0.0	有	
	有	0.5	0.0	有	

火災区域(区画)特性表

1. 火災区域(区画)の説明

建屋名	精製建屋
火災区域/区画区分	火災区画
火災区域/区画番号	■
火災区域/区画名称	ウラン系塔槽類廃ガス洗浄塔セル
床面積(m ²)	■

2. 火災区域(区画)の火災シナリオの説明

■は、精製建屋内の火災区画である。
 本区画は、火災源となるものがないおよび安全上重要な施設が設置されていないため、安全機能の喪失のおそれはない。

3. 火災区域(区画)にある火災源

(1) 等価時間

発熱量(kJ)	火災荷重(kJ/m ²)	等価時間(h) [※]
■	■	0.0

※ 等価時間は、内部火災影響評価ガイドの等価時間記載の値で示す。

(2) 火災区域(区画)にある火災源機器数

火災源	機器数
電動機(3.7kW超)	-
電気盤(440V以上)	-
ケーブルトレイ(ケーブル)	-
油脂類・有機溶媒等	-
その他	-

4. 火災区域(区画)にある防火設備

火災感知の手段	主要な消火設備	消火方法	消火設備のバックアップ
設置除外	設置除外	-	-

5. 火災区域(区画)に隣接する火災区域(区画)と火災伝播経路 隣接火災区画への火災伝播経路の詳細は、別紙1参照

6. 火災影響を受ける火災防護対象機器等

機器名称[機器番号]	最重要設備 [※]	最重要設備以外の安全上重要な施設 [※]
-	-	-

※ ○:対象 -:非対象

* 火災想定において、工程停止等により安全機能を必要としない状態へと移行が可能なもの。

7. 火災防護対象機器等の関連ケーブル

機器名称[機器番号]	ケーブル種別	安重分類
-	-	-

8. 最重要設備の安重機能への火災影響

安重分類	全焼時の 成功パスの 有無	回路評価 等の考慮	結果	系統分離※
Pu・高レベル廃棄物の閉じ込め機能	-	-	-	-
崩壊熱除去機能(重要度の高いもの)	-	-	-	-
安全圧縮空気系(水素掃気機能)	-	-	-	-
非常用所内電源系統	-	-	-	-

※ a : 3時間以上の耐火能力を有する耐火壁で分離

b : 水平距離6mによる分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置

c : 1時間の耐火能力を有する隔壁等による分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置
再処理施設成功パスの詳細は、別紙2参照

9. 最重要設備以外の火災防護対象機器等への火災影響

機器名称[機器番号]	当該区画の火災評価※	隣接区画の火災評価※
-	-	-

※ ○:火災影響なし ×:火災影響あり

隣接する火災区画と火災伝播経路

(※ 有:伝播する 無:伝播しない)

隣接する 火災区画	火災伝播 経路有無	等価時間 (h)	耐火時間 (h)	火災伝播の 可能性 ※	備考
	無	0.0	3.0	無	
	有	0.0	0.0	無	
	無	0.0	1.0	無	
	無	0.0	3.0	無	
	有	0.0	0.0	無	
	有	0.0	0.0	無	
	有	0.0	0.0	無	
	有	0.0	0.0	無	

火災区域(区画)特性表

1. 火災区域(区画)の説明

建屋名	精製建屋
火災区域/区画区分	火災区画
火災区域/区画番号	■
火災区域/区画名称	硝酸ウラニルサンプリング用フード室
床面積(m ²)	■

2. 火災区域(区画)の火災シナリオの説明

■は、精製建屋内の火災区画である。
 本区画は、火災源となるものがないおよび安全上重要な施設が設置されていないため、安全機能の喪失のおそれはない。

3. 火災区域(区画)にある火災源

(1) 等価時間

発熱量(kJ)	火災荷重 (kJ/m ²)	等価時間(h) [※]
■	■	0.5

※ 等価時間は、内部火災影響評価ガイドの等価時間記載の値で示す。

(2) 火災区域(区画)にある火災源機器数

火災源	機器数
電動機(3.7kW超)	-
電気盤(440V以上)	-
ケーブルトレイ(ケーブル)	-
油脂類・有機溶媒等	-
その他	-

4. 火災区域(区画)にある防火設備

火災感知の手段	主要な消火設備	消火方法	消火設備のバックアップ
煙感知器	屋内消火栓	手動	粉末消火器

5. 火災区域(区画)に隣接する火災区域(区画)と火災伝播経路

隣接火災区画への火災伝播経路の詳細は、別紙1参照

6. 火災影響を受ける火災防護対象機器等

機器名称[機器番号]	最重要設備 [※]	最重要設備以外の安全上重要な施設 [※]
-	-	-

※ ○:対象 -:非対象

* 火災想定において、工程停止等により安全機能を必要としない状態へと移行が可能なもの。

7. 火災防護対象機器等の関連ケーブル

機器名称[機器番号]	ケーブル種別	安重分類
-	-	-

8. 最重要設備の安重機能への火災影響

安重分類	全焼時の成功パスの有無	回路評価等の考慮	結果	系統分離※
Pu・高レベル廃棄物の閉じ込め機能	-	-	-	-
崩壊熱除去機能(重要度の高いもの)	-	-	-	-
安全圧縮空気系(水素掃気機能)	-	-	-	-
非常用所内電源系統	-	-	-	-

※ a : 3時間以上の耐火能力を有する耐火壁で分離

b : 水平距離6mによる分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置

c : 1時間の耐火能力を有する隔壁等による分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置
再処理施設成功パスの詳細は、別紙2参照

9. 最重要設備以外の火災防護対象機器等への火災影響

機器名称[機器番号]	当該区画の火災評価※	隣接区画の火災評価※
-	-	-

※ ○:火災影響なし ×:火災影響あり

隣接する火災区画と火災伝播経路

(※ 有:伝播する 無:伝播しない)

隣接する 火災区画	火災伝播 経路有無	等価時間 (h)	耐火時間 (h)	火災伝播の 可能性 ※	備考
	無	0.5	3.0	無	
	無	0.5	1.0	無	
	有	0.5	0.0	有	
	有	0.5	0.0	有	
	有	0.5	0.0	有	
	無	0.5	3.0	無	

火災区域(区画)特性表

1. 火災区域(区画)の説明

建屋名	精製建屋
火災区域/区画区分	火災区画
火災区域/区画番号	■
火災区域/区画名称	計装ラック第2室
床面積(m ²)	■

2. 火災区域(区画)の火災シナリオの説明

■は、精製建屋内の火災区画である。
 本区画は、火災源となるものがないおよび安全上重要な施設が設置されていないため、安全機能の喪失のおそれはない。

3. 火災区域(区画)にある火災源

(1) 等価時間

発熱量(kJ)	火災荷重(kJ/m ²)	等価時間(h) [※]
■	■	0.5

※ 等価時間は、内部火災影響評価ガイドの等価時間記載の値で示す。

(2) 火災区域(区画)にある火災源機器数

火災源	機器数
電動機(3.7kW超)	-
電気盤(440V以上)	-
ケーブルトレイ(ケーブル)	-
油脂類・有機溶媒等	-
その他	-

4. 火災区域(区画)にある防火設備

火災感知の手段	主要な消火設備	消火方法	消火設備のバックアップ
煙感知器	屋内消火栓	手動	粉末消火器

5. 火災区域(区画)に隣接する火災区域(区画)と火災伝播経路

隣接火災区画への火災伝播経路の詳細は、別紙1参照

6. 火災影響を受ける火災防護対象機器等

機器名称[機器番号]	最重要設備 [※]	最重要設備以外の安全上重要な施設 [※]
-	-	-

※ ○:対象 -:非対象

* 火災想定において、工程停止等により安全機能を必要としない状態へと移行が可能なもの。

7. 火災防護対象機器等の関連ケーブル

機器名称[機器番号]	ケーブル種別	安重分類
-	-	-

8. 最重要設備の安重機能への火災影響

安重分類	全焼時の 成功パスの 有無	回路評価 等の考慮	結果	系統分離※
Pu・高レベル廃棄物の閉じ込め機能	-	-	-	-
崩壊熱除去機能(重要度の高いもの)	-	-	-	-
安全圧縮空気系(水素掃気機能)	-	-	-	-
非常用所内電源系統	-	-	-	-

※ a : 3時間以上の耐火能力を有する耐火壁で分離

b : 水平距離6mによる分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置

c : 1時間の耐火能力を有する隔壁等による分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置
再処理施設成功パスの詳細は、別紙2参照

9. 最重要設備以外の火災防護対象機器等への火災影響

機器名称[機器番号]	当該区画の火災評価※	隣接区画の火災評価※
-	-	-

※ ○:火災影響なし ×:火災影響あり

隣接する火災区画と火災伝播経路

(※ 有:伝播する 無:伝播しない)

隣接する 火災区画	火災伝播 経路有無	等価時間 (h)	耐火時間 (h)	火災伝播の 可能性 ※	備考
	無	0.5	3.0	無	
	無	0.5	1.0	無	
	有	0.5	0.0	有	
	有	0.5	0.0	有	
	有	0.5	0.0	有	
	有	0.5	0.0	有	
	有	0.5	0.0	有	
	無	0.5	3.0	無	

火災区域(区画)特性表

1. 火災区域(区画)の説明

建屋名	精製建屋
火災区域/区画区分	火災区画
火災区域/区画番号	■
火災区域/区画名称	溶媒洗浄器第3セル
床面積(m ²)	■

2. 火災区域(区画)の火災シナリオの説明

■は、精製建屋内の火災区画である。
 本区画は、火災源となるものがないおよび室内の安全上重要な設備が金属等の不燃材で構成され火災影響を受けないことから、安全機能の喪失のおそれがない。

3. 火災区域(区画)にある火災源

(1) 等価時間

発熱量(kJ)	火災荷重(kJ/m ²)	等価時間(h) [※]
■	■	4.5

※ 等価時間は、内部火災影響評価ガイドの等価時間記載の値で示す。

(2) 火災区域(区画)にある火災源機器数

火災源	機器数
電動機(3.7kW超)	-
電気盤(440V以上)	-
ケーブルトレイ(ケーブル)	-
油脂類・有機溶媒等	-
その他	-

4. 火災区域(区画)にある防火設備

火災感知の手段	主要な消火設備	消火方法	消火設備のバックアップ
セル内温度計 (熱感知器) 漏えい検知装置	二酸化炭素消火設備	手動	-

5. 火災区域(区画)に隣接する火災区域(区画)と火災伝播経路

隣接火災区画への火災伝播経路の詳細は、別紙1参照

6. 火災影響を受ける火災防護対象機器等

機器名称[機器番号]	最重要設備 [※]	最重要設備以外の安全上重要な施設 [※]
-	-	-

※ ○:対象 -:非対象

* 火災想定において、工程停止等により安全機能を必要としない状態へと移行が可能なもの。

7. 火災防護対象機器等の関連ケーブル

機器名称[機器番号]	ケーブル種別	安重分類
-	-	-

8. 最重要設備の安重機能への火災影響

安重分類	全焼時の成功パスの有無	回路評価等の考慮	結果	系統分離※
Pu・高レベル廃棄物の閉じ込め機能	-	-	-	-
崩壊熱除去機能(重要度の高いもの)	-	-	-	-
安全圧縮空気系(水素掃気機能)	-	-	-	-
非常用所内電源系統	-	-	-	-

※ a : 3時間以上の耐火能力を有する耐火壁で分離

b : 水平距離6mによる分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置

c : 1時間の耐火能力を有する隔壁等による分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置
再処理施設成功パスの詳細は、別紙2参照

9. 最重要設備以外の火災防護対象機器等への火災影響

機器名称[機器番号]	当該区画の火災評価※	隣接区画の火災評価※
-	-	-

※ ○:火災影響なし ×:火災影響あり

隣接する火災区画と火災伝播経路

(※ 有:伝播する 無:伝播しない)

隣接する 火災区画	火災伝播 経路有無	等価時間 (h)	耐火時間 (h)	火災伝播の 可能性 ※	備考
	無	3.0超	3.0	有	
	無	3.0超	3.0	有	
	無	3.0超	3.0	有	
	無	3.0超	3.0	有	
	無	3.0超	3.0	有	
	無	3.0超	3.0	有	
	無	3.0超	3.0	有	
	無	3.0超	3.0	有	
	無	3.0超	3.0	有	
	無	3.0超	3.0	有	

火災区域(区画)特性表

1. 火災区域(区画)の説明

建屋名	精製建屋
火災区域/区画区分	火災区画
火災区域/区画番号	■
火災区域/区画名称	ウラン精製器セル
床面積(m ²)	■

2. 火災区域(区画)の火災シナリオの説明

■は、精製建屋内の火災区画である。
 本区画は、火災源となるものがないおよび安全上重要な施設が設置されていないため、安全機能の喪失のおそれはない。

3. 火災区域(区画)にある火災源

(1) 等価時間

発熱量(kJ)	火災荷重(kJ/m ²)	等価時間(h) [※]
■	■	8.0

※ 等価時間は、内部火災影響評価ガイドの等価時間記載の値で示す。

(2) 火災区域(区画)にある火災源機器数

火災源	機器数
電動機(3.7kW超)	-
電気盤(440V以上)	-
ケーブルトレイ(ケーブル)	-
油脂類・有機溶媒等	-
その他	-

4. 火災区域(区画)にある防火設備

火災感知の手段	主要な消火設備	消火方法	消火設備のバックアップ
セル内温度計 (熱感知器) 漏えい検知装置	二酸化炭素消火設備	手動	-

5. 火災区域(区画)に隣接する火災区域(区画)と火災伝播経路

隣接火災区画への火災伝播経路の詳細は、別紙1参照

6. 火災影響を受ける火災防護対象機器等

機器名称[機器番号]	最重要設備 [※]	最重要設備以外の安全上重要な施設 [※]
-	-	-

※ ○:対象 -:非対象

* 火災想定において、工程停止等により安全機能を必要としない状態へと移行が可能なもの。

7. 火災防護対象機器等の関連ケーブル

機器名称[機器番号]	ケーブル種別	安重分類
-	-	-

8. 最重要設備の安重機能への火災影響

安重分類	全焼時の成功パスの有無	回路評価等の考慮	結果	系統分離※
Pu・高レベル廃棄物の閉じ込め機能	-	-	-	-
崩壊熱除去機能(重要度の高いもの)	-	-	-	-
安全圧縮空気系(水素掃気機能)	-	-	-	-
非常用所内電源系統	-	-	-	-

※ a : 3時間以上の耐火能力を有する耐火壁で分離

b : 水平距離6mによる分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置

c : 1時間の耐火能力を有する隔壁等による分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置
再処理施設成功パスの詳細は、別紙2参照

9. 最重要設備以外の火災防護対象機器等への火災影響

機器名称[機器番号]	当該区画の火災評価※	隣接区画の火災評価※
-	-	-

※ ○:火災影響なし ×:火災影響あり

隣接する火災区画と火災伝播経路

(※ 有:伝播する 無:伝播しない)

隣接する 火災区画	火災伝播 経路有無	等価時間 (h)	耐火時間 (h)	火災伝播の 可能性 ※	備考
	無	3.0超	3.0	有	
	有	3.0超	0.0	有	
	無	3.0超	3.0	有	
	無	3.0超	3.0	有	
	有	3.0超	0.0	有	
	有	3.0超	0.0	有	
	有	3.0超	0.0	有	

火災区域(区画)特性表

1. 火災区域(区画)の説明

建屋名	精製建屋
火災区域/区画区分	火災区画
火災区域/区画番号	■
火災区域/区画名称	ウラナス溶液ポンプ室
床面積(m ²)	■

2. 火災区域(区画)の火災シナリオの説明

■は、精製建屋内の火災区画である。
 本区画は、電動機絶縁物火災の発生可能性があるが、安全上重要な施設が設置されていないため、安全機能の喪失のおそれはない。

3. 火災区域(区画)にある火災源

(1) 等価時間

発熱量(kJ)	火災荷重 (kJ/m ²)	等価時間(h) [※]
■	■	0.5

※ 等価時間は、内部火災影響評価ガイドの等価時間記載の値で示す。

(2) 火災区域(区画)にある火災源機器数

火災源	機器数
電動機(3.7kW超)	4
電気盤(440V以上)	-
ケーブルトレイ(ケーブル)	-
油脂類・有機溶媒等	-
その他	-

4. 火災区域(区画)にある防火設備

火災感知の手段	主要な消火設備	消火方法	消火設備のバックアップ
煙感知器	屋内消火栓	手動	強化液消火器

5. 火災区域(区画)に隣接する火災区域(区画)と火災伝播経路

隣接火災区画への火災伝播経路の詳細は、別紙1参照

6. 火災影響を受ける火災防護対象機器等

機器名称[機器番号]	最重要設備 [※]	最重要設備以外の安全上重要な施設 [※]
-	-	-

※ ○:対象 -:非対象

* 火災想定において、工程停止等により安全機能を必要としない状態へと移行が可能なもの。

7. 火災防護対象機器等の関連ケーブル

機器名称[機器番号]	ケーブル種別	安重分類
-	-	-

8. 最重要設備の安重機能への火災影響

安重分類	全焼時の成功パスの有無	回路評価等の考慮	結果	系統分離※
Pu・高レベル廃棄物の閉じ込め機能	-	-	-	-
崩壊熱除去機能(重要度の高いもの)	-	-	-	-
安全圧縮空気系(水素掃気機能)	-	-	-	-
非常用所内電源系統	-	-	-	-

※ a : 3時間以上の耐火能力を有する耐火壁で分離

b : 水平距離6mによる分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置

c : 1時間の耐火能力を有する隔壁等による分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置
再処理施設成功パスの詳細は、別紙2参照

9. 最重要設備以外の火災防護対象機器等への火災影響

機器名称[機器番号]	当該区画の火災評価※	隣接区画の火災評価※
-	-	-

※ ○:火災影響なし ×:火災影響あり

隣接する火災区画と火災伝播経路

(※ 有:伝播する 無:伝播しない)

隣接する 火災区画	火災伝播 経路有無	等価時間 (h)	耐火時間 (h)	火災伝播の 可能性 ※	備考
	無	0.5	3.0	無	
	有	0.5	0.0	有	
	無	0.5	3.0	無	
	有	0.5	0.0	有	
	有	0.5	0.0	有	
	有	0.5	0.0	有	
	有	0.5	0.0	有	
	有	0.5	0.0	有	
	有	0.5	0.0	有	

火災区域(区画)特性表

1. 火災区域(区画)の説明

建屋名	精製建屋
火災区域/区画区分	火災区画
火災区域/区画番号	■
火災区域/区画名称	第12サブチェンジングルーム
床面積(m ²)	■

2. 火災区域(区画)の火災シナリオの説明

■は、精製建屋内の火災区画である。
 本区画は、電気盤火災の発生可能性があるが、安全上重要な施設が設置されていないため、安全機能の喪失のおそれはない。

3. 火災区域(区画)にある火災源

(1) 等価時間

発熱量(kJ)	火災荷重(kJ/m ²)	等価時間(h) [※]
■	■	1.0

※ 等価時間は、内部火災影響評価ガイドの等価時間記載の値で示す。

(2) 火災区域(区画)にある火災源機器数

火災源	機器数
電動機(3.7kW超)	-
電気盤(440V以上)	1
ケーブルトレイ(ケーブル)	-
油脂類・有機溶媒等	-
その他	-

4. 火災区域(区画)にある防火設備

火災感知の手段	主要な消火設備	消火方法	消火設備のバックアップ
煙感知器	屋内消火栓	手動	粉末消火器

5. 火災区域(区画)に隣接する火災区域(区画)と火災伝播経路

隣接火災区画への火災伝播経路の詳細は、別紙1参照

6. 火災影響を受ける火災防護対象機器等

機器名称[機器番号]	最重要設備 [※]	最重要設備以外の安全上重要な施設 [※]
-	-	-

※ ○:対象 -:非対象

* 火災想定において、工程停止等により安全機能を必要としない状態へと移行が可能なもの。

7. 火災防護対象機器等の関連ケーブル

機器名称[機器番号]	ケーブル種別	安重分類
-	-	-

8. 最重要設備の安重機能への火災影響

安重分類	全焼時の成功パスの有無	回路評価等の考慮	結果	系統分離※
Pu・高レベル廃棄物の閉じ込め機能	-	-	-	-
崩壊熱除去機能(重要度の高いもの)	-	-	-	-
安全圧縮空気系(水素掃気機能)	-	-	-	-
非常用所内電源系統	-	-	-	-

※ a : 3時間以上の耐火能力を有する耐火壁で分離

b : 水平距離6mによる分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置

c : 1時間の耐火能力を有する隔壁等による分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置
再処理施設成功パスの詳細は、別紙2参照

9. 最重要設備以外の火災防護対象機器等への火災影響

機器名称[機器番号]	当該区画の火災評価※	隣接区画の火災評価※
-	-	-

※ ○:火災影響なし ×:火災影響あり

隣接する火災区画と火災伝播経路

(※ 有:伝播する 無:伝播しない)

隣接する 火災区画	火災伝播 経路有無	等価時間 (h)	耐火時間 (h)	火災伝播の 可能性 ※	備考
	有	1.0	0.0	有	
	無	1.0	3.0	無	
	有	1.0	0.0	有	
	有	1.0	0.0	有	
	有	1.0	0.0	有	
	有	1.0	0.0	有	
	無	1.0	3.0	無	

火災区域(区画)特性表

1. 火災区域(区画)の説明

建屋名	精製建屋
火災区域/区画区分	火災区画
火災区域/区画番号	■
火災区域/区画名称	再生溶媒ポンプ室
床面積(m ²)	■

2. 火災区域(区画)の火災シナリオの説明

■は、精製建屋内の火災区画である。
 本区画は、電動機絶縁物火災の発生可能性があるが、安全上重要な施設が設置されていないため、安全機能の喪失のおそれはない。

3. 火災区域(区画)にある火災源

(1) 等価時間

発熱量(kJ)	火災荷重(kJ/m ²)	等価時間(h) [※]
■	■	0.5

※ 等価時間は、内部火災影響評価ガイドの等価時間記載の値で示す。

(2) 火災区域(区画)にある火災源機器数

火災源	機器数
電動機(3.7kW超)	2
電気盤(440V以上)	-
ケーブルトレイ(ケーブル)	-
油脂類・有機溶媒等	-
その他	-

4. 火災区域(区画)にある防火設備

火災感知の手段	主要な消火設備	消火方法	消火設備のバックアップ
煙感知器	屋内消火栓	手動	粉末消火器

5. 火災区域(区画)に隣接する火災区域(区画)と火災伝播経路

隣接火災区画への火災伝播経路の詳細は、別紙1参照

6. 火災影響を受ける火災防護対象機器等

機器名称[機器番号]	最重要設備 [※]	最重要設備以外の安全上重要な施設 [※]
-	-	-

※ ○:対象 -:非対象

* 火災想定において、工程停止等により安全機能を必要としない状態へと移行が可能なもの。

7. 火災防護対象機器等の関連ケーブル

機器名称[機器番号]	ケーブル種別	安重分類
-	-	-

8. 最重要設備の安重機能への火災影響

安重分類	全焼時の成功パスの有無	回路評価等の考慮	結果	系統分離※
Pu・高レベル廃棄物の閉じ込め機能	-	-	-	-
崩壊熱除去機能(重要度の高いもの)	-	-	-	-
安全圧縮空気系(水素掃気機能)	-	-	-	-
非常用所内電源系統	-	-	-	-

※ a : 3時間以上の耐火能力を有する耐火壁で分離

b : 水平距離6mによる分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置

c : 1時間の耐火能力を有する隔壁等による分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置
再処理施設成功パスの詳細は、別紙2参照

9. 最重要設備以外の火災防護対象機器等への火災影響

機器名称[機器番号]	当該区画の火災評価※	隣接区画の火災評価※
-	-	-

※ ○:火災影響なし ×:火災影響あり

隣接する火災区画と火災伝播経路

(※ 有:伝播する 無:伝播しない)

隣接する 火災区画	火災伝播 経路有無	等価時間 (h)	耐火時間 (h)	火災伝播の 可能性 ※	備考
	無	0.5	3.0	無	
	無	0.5	3.0	無	
	無	0.5	3.0	無	
	無	0.5	3.0	無	
	無	0.5	3.0	無	
	無	0.5	3.0	無	
	無	0.5	3.0	無	
	無	0.5	3.0	無	
	無	0.5	3.0	無	
	無	0.5	3.0	無	

火災区域(区画)特性表

1. 火災区域(区画)の説明

建屋名	精製建屋
火災区域/区画区分	火災区画
火災区域/区画番号	■
火災区域/区画名称	ウラン濃縮液第3中間貯槽室
床面積(m ²)	■

2. 火災区域(区画)の火災シナリオの説明

■は、精製建屋内の火災区画である。
 本区画は、火災源となるものがないおよび安全上重要な施設が設置されていないため、安全機能の喪失のおそれはない。

3. 火災区域(区画)にある火災源

(1) 等価時間

発熱量(kJ)	火災荷重 (kJ/m ²)	等価時間(h) [※]
■	■	0.5

※ 等価時間は、内部火災影響評価ガイドの等価時間記載の値で示す。

(2) 火災区域(区画)にある火災源機器数

火災源	機器数
電動機(3.7kW超)	-
電気盤(440V以上)	-
ケーブルトレイ(ケーブル)	-
油脂類・有機溶媒等	-
その他	-

4. 火災区域(区画)にある防火設備

火災感知の手段	主要な消火設備	消火方法	消火設備のバックアップ
煙感知器	屋内消火栓	手動	粉末消火器

5. 火災区域(区画)に隣接する火災区域(区画)と火災伝播経路 隣接火災区画への火災伝播経路の詳細は、別紙1参照

6. 火災影響を受ける火災防護対象機器等

機器名称[機器番号]	最重要設備 [※]	最重要設備以外の安全上重要な施設 [※]
-	-	-

※ ○:対象 -:非対象

* 火災想定において、工程停止等により安全機能を必要としない状態へと移行が可能なもの。

7. 火災防護対象機器等の関連ケーブル

機器名称[機器番号]	ケーブル種別	安重分類
-	-	-

8. 最重要設備の安重機能への火災影響

安重分類	全焼時の成功パスの有無	回路評価等の考慮	結果	系統分離※
Pu・高レベル廃棄物の閉じ込め機能	-	-	-	-
崩壊熱除去機能(重要度の高いもの)	-	-	-	-
安全圧縮空気系(水素掃気機能)	-	-	-	-
非常用所内電源系統	-	-	-	-

※ a : 3時間以上の耐火能力を有する耐火壁で分離

b : 水平距離6mによる分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置

c : 1時間の耐火能力を有する隔壁等による分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置
再処理施設成功パスの詳細は、別紙2参照

9. 最重要設備以外の火災防護対象機器等への火災影響

機器名称[機器番号]	当該区画の火災評価※	隣接区画の火災評価※
-	-	-

※ ○:火災影響なし ×:火災影響あり

隣接する火災区画と火災伝播経路

(※ 有:伝播する 無:伝播しない)

隣接する 火災区画	火災伝播 経路有無	等価時間 (h)	耐火時間 (h)	火災伝播の 可能性 ※	備考
	無	0.5	3.0	無	
	無	0.5	3.0	無	
	無	0.5	3.0	無	
	有	0.5	0.0	有	
	有	0.5	0.0	有	

火災区域(区画)特性表

1. 火災区域(区画)の説明

建屋名	精製建屋
火災区域/区画区分	火災区画
火災区域/区画番号	■
火災区域/区画名称	放射線現場盤室
床面積(m ²)	■

2. 火災区域(区画)の火災シナリオの説明

■は、精製建屋内の火災区画である。
 本区画は、ケーブルトレイ火災の発生可能性があるが、安全上重要な施設が設置されていないため、安全機能の喪失のおそれはない。

3. 火災区域(区画)にある火災源

(1) 等価時間

発熱量(kJ)	火災荷重(kJ/m ²)	等価時間(h) [※]
■	■	0.5

※ 等価時間は、内部火災影響評価ガイドの等価時間記載の値で示す。

(2) 火災区域(区画)にある火災源機器数

火災源	機器数
電動機(3.7kW超)	-
電気盤(440V以上)	-
ケーブルトレイ(ケーブル)	有
油脂類・有機溶媒等	-
その他	-

4. 火災区域(区画)にある防火設備

火災感知の手段	主要な消火設備	消火方法	消火設備のバックアップ
煙感知器	二酸化炭素消火器	手動	粉末消火器

5. 火災区域(区画)に隣接する火災区域(区画)と火災伝播経路

隣接火災区画への火災伝播経路の詳細は、別紙1参照

6. 火災影響を受ける火災防護対象機器等

機器名称[機器番号]	最重要設備 [※]	最重要設備以外の安全上重要な施設 [※]
-	-	-

※ ○:対象 -:非対象

* 火災想定において、工程停止等により安全機能を必要としない状態へと移行が可能なもの。

7. 火災防護対象機器等の関連ケーブル

機器名称[機器番号]	ケーブル種別	安重分類
-	-	-

8. 最重要設備の安重機能への火災影響

安重分類	全焼時の成功パスの有無	回路評価等の考慮	結果	系統分離※
Pu・高レベル廃棄物の閉じ込め機能	-	-	-	-
崩壊熱除去機能(重要度の高いもの)	-	-	-	-
安全圧縮空気系(水素掃気機能)	-	-	-	-
非常用所内電源系統	-	-	-	-

※ a : 3時間以上の耐火能力を有する耐火壁で分離

b : 水平距離6mによる分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置

c : 1時間の耐火能力を有する隔壁等による分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置
再処理施設成功パスの詳細は、別紙2参照

9. 最重要設備以外の火災防護対象機器等への火災影響

機器名称[機器番号]	当該区画の火災評価※	隣接区画の火災評価※
-	-	-

※ ○:火災影響なし ×:火災影響あり

隣接する火災区画と火災伝播経路

(※ 有:伝播する 無:伝播しない)

隣接する 火災区画	火災伝播 経路有無	等価時間 (h)	耐火時間 (h)	火災伝播の 可能性 ※	備考
	無	0.5	3.0	無	
	無	0.5	3.0	無	
	無	0.5	3.0	無	
	無	0.5	3.0	無	

火災区域(区画)特性表

1. 火災区域(区画)の説明

建屋名	精製建屋
火災区域/区画区分	火災区画
火災区域/区画番号	■
火災区域/区画名称	ウラン系サンプリングベンチ第1保守室
床面積(m ²)	■

2. 火災区域(区画)の火災シナリオの説明

■は、精製建屋内の火災区画である。
 本区画は、電動機絶縁物火災、潤滑油漏えい火災または、電気盤火災の発生の可能性があるが、安全上重要な施設が設置されていないため、安全機能の喪失のおそれはない。

3. 火災区域(区画)にある火災源

(1) 等価時間

発熱量(kJ)	火災荷重 (kJ/m ²)	等価時間(h) [※]
■	■	0.5

※ 等価時間は、内部火災影響評価ガイドの等価時間記載の値で示す。

(2) 火災区域(区画)にある火災源機器数

火災源	機器数
電動機(3.7kW超)	1
電気盤(440V以上)	1
ケーブルトレイ(ケーブル)	-
油脂類・有機溶媒等	有
その他	-

4. 火災区域(区画)にある防火設備

火災感知の手段	主要な消火設備	消火方法	消火設備のバックアップ
煙感知器	屋内消火栓	手動	粉末消火器

5. 火災区域(区画)に隣接する火災区域(区画)と火災伝播経路

隣接火災区画への火災伝播経路の詳細は、別紙1参照

6. 火災影響を受ける火災防護対象機器等

機器名称[機器番号]	最重要設備 [※]	最重要設備以外の安全上重要な施設 [※]
-	-	-

※ ○:対象 -:非対象

* 火災想定において、工程停止等により安全機能を必要としない状態へと移行が可能なもの。

7. 火災防護対象機器等の関連ケーブル

機器名称[機器番号]	ケーブル種別	安重分類
-	-	-

8. 最重要設備の安重機能への火災影響

安重分類	全焼時の 成功パスの 有無	回路評価 等の考慮	結果	系統分離※
Pu・高レベル廃棄物の閉じ込め機能	-	-	-	-
崩壊熱除去機能(重要度の高いもの)	-	-	-	-
安全圧縮空気系(水素掃気機能)	-	-	-	-
非常用所内電源系統	-	-	-	-

※ a : 3時間以上の耐火能力を有する耐火壁で分離

b : 水平距離6mによる分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置

c : 1時間の耐火能力を有する隔壁等による分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置
再処理施設成功パスの詳細は、別紙2参照

9. 最重要設備以外の火災防護対象機器等への火災影響

機器名称[機器番号]	当該区画の火災評価※	隣接区画の火災評価※
-	-	-

※ ○:火災影響なし ×:火災影響あり

隣接する火災区画と火災伝播経路

(※ 有:伝播する 無:伝播しない)

隣接する 火災区画	火災伝播 経路有無	等価時間 (h)	耐火時間 (h)	火災伝播の 可能性 ※	備考
	有	0.5	0.0	有	
	無	0.5	3.0	無	
	有	0.5	0.0	有	
	無	0.5	3.0	無	
	無	0.5	3.0	無	
	有	0.5	0.0	有	
	無	0.5	3.0	無	
	有	0.5	0.0	有	
	有	0.5	0.0	有	
	有	0.5	0.0	有	

火災区域(区画)特性表

1. 火災区域(区画)の説明

建屋名	精製建屋
火災区域/区画区分	火災区画
火災区域/区画番号	■
火災区域/区画名称	凝縮水受槽室
床面積(m ²)	■

2. 火災区域(区画)の火災シナリオの説明

■は、精製建屋内の火災区画である。
 本区画は、火災源となるものがないおよび安全上重要な施設が設置されていないため、安全機能の喪失のおそれはない。

3. 火災区域(区画)にある火災源

(1) 等価時間

発熱量(kJ)	火災荷重 (kJ/m ²)	等価時間(h) [※]
■	■	0.5

※ 等価時間は、内部火災影響評価ガイドの等価時間記載の値で示す。

(2) 火災区域(区画)にある火災源機器数

火災源	機器数
電動機(3.7kW超)	-
電気盤(440V以上)	-
ケーブルトレイ(ケーブル)	-
油脂類・有機溶媒等	-
その他	-

4. 火災区域(区画)にある防火設備

火災感知の手段	主要な消火設備	消火方法	消火設備のバックアップ
煙感知器	屋内消火栓	手動	粉末消火器

5. 火災区域(区画)に隣接する火災区域(区画)と火災伝播経路

隣接火災区画への火災伝播経路の詳細は、別紙1参照

6. 火災影響を受ける火災防護対象機器等

機器名称[機器番号]	最重要設備 [※]	最重要設備以外の安全上重要な施設 [※]
-	-	-

※ ○:対象 -:非対象

* 火災想定において、工程停止等により安全機能を必要としない状態へと移行が可能なもの。

7. 火災防護対象機器等の関連ケーブル

機器名称[機器番号]	ケーブル種別	安重分類
-	-	-

8. 最重要設備の安重機能への火災影響

安重分類	全焼時の成功パスの有無	回路評価等の考慮	結果	系統分離※
Pu・高レベル廃棄物の閉じ込め機能	-	-	-	-
崩壊熱除去機能(重要度の高いもの)	-	-	-	-
安全圧縮空気系(水素掃気機能)	-	-	-	-
非常用所内電源系統	-	-	-	-

※ a : 3時間以上の耐火能力を有する耐火壁で分離

b : 水平距離6mによる分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置

c : 1時間の耐火能力を有する隔壁等による分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置
再処理施設成功パスの詳細は、別紙2参照

9. 最重要設備以外の火災防護対象機器等への火災影響

機器名称[機器番号]	当該区画の火災評価※	隣接区画の火災評価※
-	-	-

※ ○:火災影響なし ×:火災影響あり

隣接する火災区画と火災伝播経路

(※ 有:伝播する 無:伝播しない)

隣接する 火災区画	火災伝播 経路有無	等価時間 (h)	耐火時間 (h)	火災伝播の 可能性 ※	備考
	有	0.5	0.0	有	
	有	0.5	0.0	有	
	無	0.5	3.0	無	
	有	0.5	0.0	有	
	有	0.5	0.0	有	
	有	0.5	0.0	有	
	有	0.5	0.0	有	
	無	0.5	3.0	無	
	無	0.5	3.0	無	

火災区域(区画)特性表

1. 火災区域(区画)の説明

建屋名	精製建屋
火災区域/区画区分	火災区画
火災区域/区画番号	■
火災区域/区画名称	ウラン系サンプリングベンチ第1セル
床面積(m ²)	■

2. 火災区域(区画)の火災シナリオの説明

■は、精製建屋内の火災区画である。
 本区画は、火災源となるものがないおよび安全上重要な施設が設置されていないため、安全機能の喪失のおそれはない。

3. 火災区域(区画)にある火災源

(1) 等価時間

発熱量(kJ)	火災荷重(kJ/m ²)	等価時間(h) [※]
■	■	0.0

※ 等価時間は、内部火災影響評価ガイドの等価時間記載の値で示す。

(2) 火災区域(区画)にある火災源機器数

火災源	機器数
電動機(3.7kW超)	-
電気盤(440V以上)	-
ケーブルトレイ(ケーブル)	-
油脂類・有機溶媒等	-
その他	-

4. 火災区域(区画)にある防火設備

火災感知の手段	主要な消火設備	消火方法	消火設備のバックアップ
設置除外	設置除外	-	-

5. 火災区域(区画)に隣接する火災区域(区画)と火災伝播経路 隣接火災区画への火災伝播経路の詳細は、別紙1参照

6. 火災影響を受ける火災防護対象機器等

機器名称[機器番号]	最重要設備 [※]	最重要設備以外の安全上重要な施設 [※]
-	-	-

※ ○:対象 -:非対象

* 火災想定において、工程停止等により安全機能を必要としない状態へと移行が可能なもの。

7. 火災防護対象機器等の関連ケーブル

機器名称[機器番号]	ケーブル種別	安重分類
-	-	-

8. 最重要設備の安重機能への火災影響

安重分類	全焼時の成功パスの有無	回路評価等の考慮	結果	系統分離※
Pu・高レベル廃棄物の閉じ込め機能	-	-	-	-
崩壊熱除去機能(重要度の高いもの)	-	-	-	-
安全圧縮空気系(水素掃気機能)	-	-	-	-
非常用所内電源系統	-	-	-	-

※ a : 3時間以上の耐火能力を有する耐火壁で分離

b : 水平距離6mによる分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置

c : 1時間の耐火能力を有する隔壁等による分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置
再処理施設成功パスの詳細は、別紙2参照

9. 最重要設備以外の火災防護対象機器等への火災影響

機器名称[機器番号]	当該区画の火災評価※	隣接区画の火災評価※
-	-	-

※ ○:火災影響なし ×:火災影響あり

隣接する火災区画と火災伝播経路

(※ 有:伝播する 無:伝播しない)

隣接する 火災区画	火災伝播 経路有無	等価時間 (h)	耐火時間 (h)	火災伝播の 可能性 ※	備考
	有	0.0	0.0	無	
	有	0.0	0.0	無	
	無	0.0	3.0	無	
	有	0.0	0.0	無	

火災区域(区画)特性表

1. 火災区域(区画)の説明

建屋名	精製建屋
火災区域/区画区分	火災区画
火災区域/区画番号	■
火災区域/区画名称	常用電気品第2室
床面積(m ²)	■

2. 火災区域(区画)の火災シナリオの説明

■は、精製建屋内の火災区画である。
 本区画は、電気盤火災または、ケーブルトレイ火災の発生の可能性があるが、安全上重要な施設が設置されていないため、安全機能の喪失のおそれはない。

3. 火災区域(区画)にある火災源

(1) 等価時間

発熱量(kJ)	火災荷重 (kJ/m ²)	等価時間(h) [※]
■	■	3.0

※ 等価時間は、内部火災影響評価ガイドの等価時間記載の値で示す。

(2) 火災区域(区画)にある火災源機器数

火災源	機器数
電動機(3.7kW超)	-
電気盤(440V以上)	22
ケーブルトレイ(ケーブル)	有
油脂類・有機溶媒等	-
その他	-

4. 火災区域(区画)にある防火設備

火災感知の手段	主要な消火設備	消火方法	消火設備のバックアップ
煙感知器	二酸化炭素消火器	手動	粉末消火器

5. 火災区域(区画)に隣接する火災区域(区画)と火災伝播経路

隣接火災区画への火災伝播経路の詳細は、別紙1参照

6. 火災影響を受ける火災防護対象機器等

機器名称[機器番号]	最重要設備 [※]	最重要設備以外の安全上重要な施設 [※]
-	-	-

※ ○:対象 -:非対象

* 火災想定において、工程停止等により安全機能を必要としない状態へと移行が可能なもの。

7. 火災防護対象機器等の関連ケーブル

機器名称[機器番号]	ケーブル種別	安重分類
-	-	-

8. 最重要設備の安重機能への火災影響

安重分類	全焼時の成功パスの有無	回路評価等の考慮	結果	系統分離※
Pu・高レベル廃棄物の閉じ込め機能	-	-	-	-
崩壊熱除去機能(重要度の高いもの)	-	-	-	-
安全圧縮空気系(水素掃気機能)	-	-	-	-
非常用所内電源系統	-	-	-	-

※ a : 3時間以上の耐火能力を有する耐火壁で分離

b : 水平距離6mによる分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置

c : 1時間の耐火能力を有する隔壁等による分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置
再処理施設成功パスの詳細は、別紙2参照

9. 最重要設備以外の火災防護対象機器等への火災影響

機器名称[機器番号]	当該区画の火災評価※	隣接区画の火災評価※
-	-	-

※ ○:火災影響なし ×:火災影響あり

隣接する火災区画と火災伝播経路

(※ 有:伝播する 無:伝播しない)

隣接する 火災区画	火災伝播 経路有無	等価時間 (h)	耐火時間 (h)	火災伝播の 可能性 ※	備考
	無	3.0	1.0	有	
	無	3.0	1.0	有	
	無	3.0	3.0	無	
	無	3.0	3.0	無	
	無	3.0	1.0	有	

火災区域(区画)特性表

1. 火災区域(区画)の説明

建屋名	精製建屋
火災区域/区画区分	火災区画
火災区域/区画番号	■
火災区域/区画名称	安全冷却水系ポンプ弁第1室
床面積(m ²)	■

2. 火災区域(区画)の火災シナリオの説明

■は、精製建屋内の火災区画である。
 本区画は、火災源となるものがないおよび安全上重要な施設が設置されていないため、安全機能の喪失のおそれはない。

3. 火災区域(区画)にある火災源

(1) 等価時間

発熱量(kJ)	火災荷重(kJ/m ²)	等価時間(h) [※]
■	■	0.0

※ 等価時間は、内部火災影響評価ガイドの等価時間記載の値で示す。

(2) 火災区域(区画)にある火災源機器数

火災源	機器数
電動機(3.7kW超)	-
電気盤(440V以上)	-
ケーブルトレイ(ケーブル)	-
油脂類・有機溶媒等	-
その他	-

4. 火災区域(区画)にある防火設備

火災感知の手段	主要な消火設備	消火方法	消火設備のバックアップ
煙感知器	屋内消火栓	手動	粉末消火器

5. 火災区域(区画)に隣接する火災区域(区画)と火災伝播経路 隣接火災区画への火災伝播経路の詳細は、別紙1参照

6. 火災影響を受ける火災防護対象機器等

機器名称[機器番号]	最重要設備 [※]	最重要設備以外の安全上重要な施設 [※]
-	-	-

※ ○:対象 -:非対象

* 火災想定において、工程停止等により安全機能を必要としない状態へと移行が可能なもの。

7. 火災防護対象機器等の関連ケーブル

機器名称[機器番号]	ケーブル種別	安重分類
-	-	-

8. 最重要設備の安重機能への火災影響

安重分類	全焼時の成功パスの有無	回路評価等の考慮	結果	系統分離※
Pu・高レベル廃棄物の閉じ込め機能	-	-	-	-
崩壊熱除去機能(重要度の高いもの)	-	-	-	-
安全圧縮空気系(水素掃気機能)	-	-	-	-
非常用所内電源系統	-	-	-	-

※ a : 3時間以上の耐火能力を有する耐火壁で分離

b : 水平距離6mによる分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置

c : 1時間の耐火能力を有する隔壁等による分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置
再処理施設成功パスの詳細は、別紙2参照

9. 最重要設備以外の火災防護対象機器等への火災影響

機器名称[機器番号]	当該区画の火災評価※	隣接区画の火災評価※
-	-	-

※ ○:火災影響なし ×:火災影響あり

隣接する火災区画と火災伝播経路

(※ 有:伝播する 無:伝播しない)

隣接する 火災区画	火災伝播 経路有無	等価時間 (h)	耐火時間 (h)	火災伝播の 可能性 ※	備考
	無	0.0	3.0	無	
	無	0.0	1.0	無	
	有	0.0	0.0	無	
	無	0.0	3.0	無	
	無	0.0	3.0	無	
	有	0.0	0.0	無	
	有	0.0	0.0	無	

火災区域(区画)特性表

1. 火災区域(区画)の説明

建屋名	精製建屋
火災区域/区画区分	火災区画
火災区域/区画番号	■
火災区域/区画名称	安全冷却水系ポンプ弁第2室
床面積(m ²)	■

2. 火災区域(区画)の火災シナリオの説明

■は、精製建屋内の火災区画である。
 本区画は、火災源となるものがないおよび安全上重要な施設が設置されていないため、安全機能の喪失のおそれはない。

3. 火災区域(区画)にある火災源

(1) 等価時間

発熱量(kJ)	火災荷重(kJ/m ²)	等価時間(h) [※]
■	■	0.0

※ 等価時間は、内部火災影響評価ガイドの等価時間記載の値で示す。

(2) 火災区域(区画)にある火災源機器数

火災源	機器数
電動機(3.7kW超)	-
電気盤(440V以上)	-
ケーブルトレイ(ケーブル)	-
油脂類・有機溶媒等	-
その他	-

4. 火災区域(区画)にある防火設備

火災感知の手段	主要な消火設備	消火方法	消火設備のバックアップ
煙感知器	屋内消火栓	手動	粉末消火器

5. 火災区域(区画)に隣接する火災区域(区画)と火災伝播経路

隣接火災区画への火災伝播経路の詳細は、別紙1参照

6. 火災影響を受ける火災防護対象機器等

機器名称[機器番号]	最重要設備 [※]	最重要設備以外の安全上重要な施設 [※]
-	-	-

※ ○:対象 -:非対象

* 火災想定において、工程停止等により安全機能を必要としない状態へと移行が可能なもの。

7. 火災防護対象機器等の関連ケーブル

機器名称[機器番号]	ケーブル種別	安重分類
-	-	-

8. 最重要設備の安重機能への火災影響

安重分類	全焼時の成功パスの有無	回路評価等の考慮	結果	系統分離※
Pu・高レベル廃棄物の閉じ込め機能	-	-	-	-
崩壊熱除去機能(重要度の高いもの)	-	-	-	-
安全圧縮空気系(水素掃気機能)	-	-	-	-
非常用所内電源系統	-	-	-	-

※ a : 3時間以上の耐火能力を有する耐火壁で分離

b : 水平距離6mによる分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置

c : 1時間の耐火能力を有する隔壁等による分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置
再処理施設成功パスの詳細は、別紙2参照

9. 最重要設備以外の火災防護対象機器等への火災影響

機器名称[機器番号]	当該区画の火災評価※	隣接区画の火災評価※
-	-	-

※ ○:火災影響なし ×:火災影響あり

隣接する火災区画と火災伝播経路

(※ 有:伝播する 無:伝播しない)

隣接する 火災区画	火災伝播 経路有無	等価時間 (h)	耐火時間 (h)	火災伝播の 可能性 ※	備考
	無	0.0	3.0	無	
	無	0.0	1.0	無	
	有	0.0	0.0	無	
	無	0.0	3.0	無	
	無	0.0	3.0	無	
	有	0.0	0.0	無	
	有	0.0	0.0	無	

火災区域(区画)特性表

1. 火災区域(区画)の説明

建屋名	精製建屋
火災区域/区画区分	火災区画
火災区域/区画番号	■
火災区域/区画名称	放管用ブロワ第3室
床面積(m ²)	■

2. 火災区域(区画)の火災シナリオの説明

■は、精製建屋内の火災区画である。
 本区画は、電動機絶縁物火災、潤滑油漏えい火災または、電気盤火災の発生の可能性があるが、安全上重要な施設が設置されていないため、安全機能の喪失のおそれはない。

3. 火災区域(区画)にある火災源

(1) 等価時間

発熱量(kJ)	火災荷重 (kJ/m ²)	等価時間(h) [※]
■	■	0.5

※ 等価時間は、内部火災影響評価ガイドの等価時間記載の値で示す。

(2) 火災区域(区画)にある火災源機器数

火災源	機器数
電動機(3.7kW超)	1
電気盤(440V以上)	1
ケーブルトレイ(ケーブル)	-
油脂類・有機溶媒等	有
その他	-

4. 火災区域(区画)にある防火設備

火災感知の手段	主要な消火設備	消火方法	消火設備のバックアップ
煙感知器	屋内消火栓	手動	粉末消火器

5. 火災区域(区画)に隣接する火災区域(区画)と火災伝播経路

隣接火災区画への火災伝播経路の詳細は、別紙1参照

6. 火災影響を受ける火災防護対象機器等

機器名称[機器番号]	最重要設備 [※]	最重要設備以外の安全上重要な施設 [※]
-	-	-

※ ○:対象 -:非対象

* 火災想定において、工程停止等により安全機能を必要としない状態へと移行が可能なもの。

7. 火災防護対象機器等の関連ケーブル

機器名称[機器番号]	ケーブル種別	安重分類
-	-	-

8. 最重要設備の安重機能への火災影響

安重分類	全焼時の成功パスの有無	回路評価等の考慮	結果	系統分離※
Pu・高レベル廃棄物の閉じ込め機能	-	-	-	-
崩壊熱除去機能(重要度の高いもの)	-	-	-	-
安全圧縮空気系(水素掃気機能)	-	-	-	-
非常用所内電源系統	-	-	-	-

※ a : 3時間以上の耐火能力を有する耐火壁で分離

b : 水平距離6mによる分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置

c : 1時間の耐火能力を有する隔壁等による分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置
再処理施設成功パスの詳細は、別紙2参照

9. 最重要設備以外の火災防護対象機器等への火災影響

機器名称[機器番号]	当該区画の火災評価※	隣接区画の火災評価※
-	-	-

※ ○:火災影響なし ×:火災影響あり

隣接する火災区画と火災伝播経路

(※ 有:伝播する 無:伝播しない)

隣接する 火災区画	火災伝播 経路有無	等価時間 (h)	耐火時間 (h)	火災伝播の 可能性 ※	備考
	無	0.5	3.0	無	
	有	0.5	0.0	有	
	有	0.5	0.0	有	
	有	0.5	0.0	有	
	有	0.5	0.0	有	
	有	0.5	0.0	有	
	有	0.5	0.0	有	
	有	0.5	0.0	有	

火災区域(区画)特性表

1. 火災区域(区画)の説明

建屋名	精製建屋
火災区域/区画区分	火災区画
火災区域/区画番号	■
火災区域/区画名称	北第2階段室地下1階附室
床面積(m ²)	■

2. 火災区域(区画)の火災シナリオの説明

■は、精製建屋内の火災区画である。
 本区画は、火災源となるものがないおよび安全上重要な施設が設置されていないため、安全機能の喪失のおそれはない。

3. 火災区域(区画)にある火災源

(1) 等価時間

発熱量(kJ)	火災荷重(kJ/m ²)	等価時間(h) [※]
■	■	0.0

※ 等価時間は、内部火災影響評価ガイドの等価時間記載の値で示す。

(2) 火災区域(区画)にある火災源機器数

火災源	機器数
電動機(3.7kW超)	-
電気盤(440V以上)	-
ケーブルトレイ(ケーブル)	-
油脂類・有機溶媒等	-
その他	-

4. 火災区域(区画)にある防火設備

火災感知の手段	主要な消火設備	消火方法	消火設備のバックアップ
煙感知器	屋内消火栓	手動	粉末消火器

5. 火災区域(区画)に隣接する火災区域(区画)と火災伝播経路

隣接火災区画への火災伝播経路の詳細は、別紙1参照

6. 火災影響を受ける火災防護対象機器等

機器名称[機器番号]	最重要設備 [※]	最重要設備以外の安全上重要な施設 [※]
-	-	-

※ ○:対象 -:非対象

* 火災想定において、工程停止等により安全機能を必要としない状態へと移行が可能なもの。

7. 火災防護対象機器等の関連ケーブル

機器名称[機器番号]	ケーブル種別	安重分類
-	-	-

8. 最重要設備の安重機能への火災影響

安重分類	全焼時の成功パスの有無	回路評価等の考慮	結果	系統分離※
Pu・高レベル廃棄物の閉じ込め機能	-	-	-	-
崩壊熱除去機能(重要度の高いもの)	-	-	-	-
安全圧縮空気系(水素掃気機能)	-	-	-	-
非常用所内電源系統	-	-	-	-

※ a : 3時間以上の耐火能力を有する耐火壁で分離

b : 水平距離6mによる分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置

c : 1時間の耐火能力を有する隔壁等による分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置
再処理施設成功パスの詳細は、別紙2参照

9. 最重要設備以外の火災防護対象機器等への火災影響

機器名称[機器番号]	当該区画の火災評価※	隣接区画の火災評価※
-	-	-

※ ○:火災影響なし ×:火災影響あり

隣接する火災区画と火災伝播経路

(※ 有:伝播する 無:伝播しない)

隣接する 火災区画	火災伝播 経路有無	等価時間 (h)	耐火時間 (h)	火災伝播の 可能性 ※	備考
	無	0.0	1.0	無	
	無	0.0	1.0	無	
	無	0.0	1.0	無	
	無	0.0	3.0	無	
	無	0.0	1.0	無	

火災区域(区画)特性表

1. 火災区域(区画)の説明

建屋名	精製建屋
火災区域/区画区分	火災区画
火災区域/区画番号	■
火災区域/区画名称	南第2階段室地下1階附室
床面積(m ²)	■

2. 火災区域(区画)の火災シナリオの説明

■は、精製建屋内の火災区画である。
 本区画は、火災源となるものがないおよび安全上重要な施設が設置されていないため、安全機能の喪失のおそれはない。

3. 火災区域(区画)にある火災源

(1) 等価時間

発熱量(kJ)	火災荷重 (kJ/m ²)	等価時間(h) [※]
■	■	0.0

※ 等価時間は、内部火災影響評価ガイドの等価時間記載の値で示す。

(2) 火災区域(区画)にある火災源機器数

火災源	機器数
電動機(3.7kW超)	-
電気盤(440V以上)	-
ケーブルトレイ(ケーブル)	-
油脂類・有機溶媒等	-
その他	-

4. 火災区域(区画)にある防火設備

火災感知の手段	主要な消火設備	消火方法	消火設備のバックアップ
煙感知器	屋内消火栓	手動	粉末消火器

5. 火災区域(区画)に隣接する火災区域(区画)と火災伝播経路

隣接火災区画への火災伝播経路の詳細は、別紙1参照

6. 火災影響を受ける火災防護対象機器等

機器名称[機器番号]	最重要設備 [※]	最重要設備以外の安全上重要な施設 [※]
-	-	-

※ ○:対象 -:非対象

* 火災想定において、工程停止等により安全機能を必要としない状態へと移行が可能なもの。

7. 火災防護対象機器等の関連ケーブル

機器名称[機器番号]	ケーブル種別	安重分類
-	-	-

8. 最重要設備の安重機能への火災影響

安重分類	全焼時の成功パスの有無	回路評価等の考慮	結果	系統分離※
Pu・高レベル廃棄物の閉じ込め機能	-	-	-	-
崩壊熱除去機能(重要度の高いもの)	-	-	-	-
安全圧縮空気系(水素掃気機能)	-	-	-	-
非常用所内電源系統	-	-	-	-

※ a : 3時間以上の耐火能力を有する耐火壁で分離

b : 水平距離6mによる分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置

c : 1時間の耐火能力を有する隔壁等による分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置
再処理施設成功パスの詳細は、別紙2参照

9. 最重要設備以外の火災防護対象機器等への火災影響

機器名称[機器番号]	当該区画の火災評価※	隣接区画の火災評価※
-	-	-

※ ○:火災影響なし ×:火災影響あり

隣接する火災区画と火災伝播経路

(※ 有:伝播する 無:伝播しない)

隣接する 火災区画	火災伝播 経路有無	等価時間 (h)	耐火時間 (h)	火災伝播の 可能性 ※	備考
	無	0.0	1.0	無	
	無	0.0	1.0	無	
	無	0.0	1.0	無	
	無	0.0	3.0	無	
	無	0.0	1.0	無	

火災区域(区画)特性表

1. 火災区域(区画)の説明

建屋名	精製建屋
火災区域/区画区分	火災区画
火災区域/区画番号	■
火災区域/区画名称	南第3階段室地下1階附室
床面積(m ²)	■

2. 火災区域(区画)の火災シナリオの説明

■は、精製建屋内の火災区画である。
 本区画は、火災源となるものがないおよび安全上重要な施設が設置されていないため、安全機能の喪失のおそれはない。

3. 火災区域(区画)にある火災源

(1) 等価時間

発熱量(kJ)	火災荷重 (kJ/m ²)	等価時間(h) [※]
■	■	0.0

※ 等価時間は、内部火災影響評価ガイドの等価時間記載の値で示す。

(2) 火災区域(区画)にある火災源機器数

火災源	機器数
電動機(3.7kW超)	-
電気盤(440V以上)	-
ケーブルトレイ(ケーブル)	-
油脂類・有機溶媒等	-
その他	-

4. 火災区域(区画)にある防火設備

火災感知の手段	主要な消火設備	消火方法	消火設備のバックアップ
煙感知器	屋内消火栓	手動	粉末消火器

5. 火災区域(区画)に隣接する火災区域(区画)と火災伝播経路

隣接火災区画への火災伝播経路の詳細は、別紙1参照

6. 火災影響を受ける火災防護対象機器等

機器名称[機器番号]	最重要設備 [※]	最重要設備以外の安全上重要な施設 [※]
-	-	-

※ ○:対象 -:非対象

* 火災想定において、工程停止等により安全機能を必要としない状態へと移行が可能なもの。

7. 火災防護対象機器等の関連ケーブル

機器名称[機器番号]	ケーブル種別	安重分類
-	-	-

8. 最重要設備の安重機能への火災影響

安重分類	全焼時の成功パスの有無	回路評価等の考慮	結果	系統分離※
Pu・高レベル廃棄物の閉じ込め機能	-	-	-	-
崩壊熱除去機能(重要度の高いもの)	-	-	-	-
安全圧縮空気系(水素掃気機能)	-	-	-	-
非常用所内電源系統	-	-	-	-

※ a : 3時間以上の耐火能力を有する耐火壁で分離

b : 水平距離6mによる分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置

c : 1時間の耐火能力を有する隔壁等による分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置
再処理施設成功パスの詳細は、別紙2参照

9. 最重要設備以外の火災防護対象機器等への火災影響

機器名称[機器番号]	当該区画の火災評価※	隣接区画の火災評価※
-	-	-

※ ○:火災影響なし ×:火災影響あり

隣接する火災区画と火災伝播経路

(※ 有:伝播する 無:伝播しない)

隣接する 火災区画	火災伝播 経路有無	等価時間 (h)	耐火時間 (h)	火災伝播の 可能性 ※	備考
	無	0.0	1.0	無	
	無	0.0	1.0	無	
	無	0.0	1.0	無	
	無	0.0	1.0	無	
	無	0.0	3.0	無	
	無	0.0	1.0	無	

火災区域(区画)特性表

1. 火災区域(区画)の説明

建屋名	精製建屋
火災区域/区画区分	火災区画
火災区域/区画番号	■
火災区域/区画名称	北第1階段室地下1階附室
床面積(m ²)	■

2. 火災区域(区画)の火災シナリオの説明

■は、精製建屋内の火災区画である。
 本区画は、火災源となるものがないおよび安全上重要な施設が設置されていないため、安全機能の喪失のおそれはない。

3. 火災区域(区画)にある火災源

(1) 等価時間

発熱量(kJ)	火災荷重 (kJ/m ²)	等価時間(h) [※]
■	■	0.0

※ 等価時間は、内部火災影響評価ガイドの等価時間記載の値で示す。

(2) 火災区域(区画)にある火災源機器数

火災源	機器数
電動機(3.7kW超)	-
電気盤(440V以上)	-
ケーブルトレイ(ケーブル)	-
油脂類・有機溶媒等	-
その他	-

4. 火災区域(区画)にある防火設備

火災感知の手段	主要な消火設備	消火方法	消火設備のバックアップ
煙感知器	屋内消火栓	手動	粉末消火器

5. 火災区域(区画)に隣接する火災区域(区画)と火災伝播経路

隣接火災区画への火災伝播経路の詳細は、別紙1参照

6. 火災影響を受ける火災防護対象機器等

機器名称[機器番号]	最重要設備 [※]	最重要設備以外の安全上重要な施設 [※]
-	-	-

※ ○:対象 -:非対象

* 火災想定において、工程停止等により安全機能を必要としない状態へと移行が可能なもの。

7. 火災防護対象機器等の関連ケーブル

機器名称[機器番号]	ケーブル種別	安重分類
-	-	-

8. 最重要設備の安重機能への火災影響

安重分類	全焼時の 成功パスの 有無	回路評価 等の考慮	結果	系統分離※
Pu・高レベル廃棄物の閉じ込め機能	-	-	-	-
崩壊熱除去機能(重要度の高いもの)	-	-	-	-
安全圧縮空気系(水素掃気機能)	-	-	-	-
非常用所内電源系統	-	-	-	-

※ a : 3時間以上の耐火能力を有する耐火壁で分離

b : 水平距離6mによる分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置

c : 1時間の耐火能力を有する隔壁等による分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置
再処理施設成功パスの詳細は、別紙2参照

9. 最重要設備以外の火災防護対象機器等への火災影響

機器名称[機器番号]	当該区画の火災評価※	隣接区画の火災評価※
-	-	-

※ ○:火災影響なし ×:火災影響あり

隣接する火災区画と火災伝播経路

(※ 有:伝播する 無:伝播しない)

隣接する 火災区画	火災伝播 経路有無	等価時間 (h)	耐火時間 (h)	火災伝播の 可能性 ※	備考
	無	0.0	1.0	無	
	無	0.0	1.0	無	
	無	0.0	1.0	無	
	無	0.0	3.0	無	
	無	0.0	1.0	無	

火災区域(区画)特性表

1. 火災区域(区画)の説明

建屋名	精製建屋
火災区域/区画区分	火災区画
火災区域/区画番号	■
火災区域/区画名称	南第1階段室地下1階附室
床面積(m ²)	■

2. 火災区域(区画)の火災シナリオの説明

■は、精製建屋内の火災区画である。
 本区画は、火災源となるものがないおよび安全上重要な施設が設置されていないため、安全機能の喪失のおそれはない。

3. 火災区域(区画)にある火災源

(1) 等価時間

発熱量(kJ)	火災荷重 (kJ/m ²)	等価時間(h) [※]
■	■	0.0

※ 等価時間は、内部火災影響評価ガイドの等価時間記載の値で示す。

(2) 火災区域(区画)にある火災源機器数

火災源	機器数
電動機(3.7kW超)	-
電気盤(440V以上)	-
ケーブルトレイ(ケーブル)	-
油脂類・有機溶媒等	-
その他	-

4. 火災区域(区画)にある防火設備

火災感知の手段	主要な消火設備	消火方法	消火設備のバックアップ
煙感知器	屋内消火栓	手動	粉末消火器

5. 火災区域(区画)に隣接する火災区域(区画)と火災伝播経路

隣接火災区画への火災伝播経路の詳細は、別紙1参照

6. 火災影響を受ける火災防護対象機器等

機器名称[機器番号]	最重要設備 [※]	最重要設備以外の安全上重要な施設 [※]
-	-	-

※ ○:対象 -:非対象

* 火災想定において、工程停止等により安全機能を必要としない状態へと移行が可能なもの。

7. 火災防護対象機器等の関連ケーブル

機器名称[機器番号]	ケーブル種別	安重分類
-	-	-

8. 最重要設備の安重機能への火災影響

安重分類	全焼時の成功パスの有無	回路評価等の考慮	結果	系統分離※
Pu・高レベル廃棄物の閉じ込め機能	-	-	-	-
崩壊熱除去機能(重要度の高いもの)	-	-	-	-
安全圧縮空気系(水素掃気機能)	-	-	-	-
非常用所内電源系統	-	-	-	-

※ a : 3時間以上の耐火能力を有する耐火壁で分離

b : 水平距離6mによる分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置

c : 1時間の耐火能力を有する隔壁等による分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置
再処理施設成功パスの詳細は、別紙2参照

9. 最重要設備以外の火災防護対象機器等への火災影響

機器名称[機器番号]	当該区画の火災評価※	隣接区画の火災評価※
-	-	-

※ ○:火災影響なし ×:火災影響あり

隣接する火災区画と火災伝播経路

(※ 有:伝播する 無:伝播しない)

隣接する 火災区画	火災伝播 経路有無	等価時間 (h)	耐火時間 (h)	火災伝播の 可能性 ※	備考
	無	0.0	1.0	無	
	無	0.0	1.0	無	
	無	0.0	1.0	無	
	無	0.0	3.0	無	
	無	0.0	1.0	無	

火災区域(区画)特性表

1. 火災区域(区画)の説明

建屋名	精製建屋
火災区域/区画区分	火災区画
火災区域/区画番号	■
火災区域/区画名称	放射線現場盤第2予備室
床面積(m ²)	■

2. 火災区域(区画)の火災シナリオの説明

■は、精製建屋内の火災区画である。
 本区画は、火災源となるものがないおよび安全上重要な施設が設置されていないため、安全機能の喪失のおそれはない。

3. 火災区域(区画)にある火災源

(1) 等価時間

発熱量(kJ)	火災荷重 (kJ/m ²)	等価時間(h) [※]
■	■	0.0

※ 等価時間は、内部火災影響評価ガイドの等価時間記載の値で示す。

(2) 火災区域(区画)にある火災源機器数

火災源	機器数
電動機(3.7kW超)	-
電気盤(440V以上)	-
ケーブルトレイ(ケーブル)	-
油脂類・有機溶媒等	-
その他	-

4. 火災区域(区画)にある防火設備

火災感知の手段	主要な消火設備	消火方法	消火設備のバックアップ
煙感知器	二酸化炭素消火器	手動	粉末消火器

5. 火災区域(区画)に隣接する火災区域(区画)と火災伝播経路

隣接火災区画への火災伝播経路の詳細は、別紙1参照

6. 火災影響を受ける火災防護対象機器等

機器名称[機器番号]	最重要設備 [※]	最重要設備以外の安全上重要な施設 [※]
-	-	-

※ ○:対象 -:非対象

* 火災想定において、工程停止等により安全機能を必要としない状態へと移行が可能なもの。

7. 火災防護対象機器等の関連ケーブル

機器名称[機器番号]	ケーブル種別	安重分類
-	-	-

8. 最重要設備の安重機能への火災影響

安重分類	全焼時の成功パスの有無	回路評価等の考慮	結果	系統分離※
Pu・高レベル廃棄物の閉じ込め機能	-	-	-	-
崩壊熱除去機能(重要度の高いもの)	-	-	-	-
安全圧縮空気系(水素掃気機能)	-	-	-	-
非常用所内電源系統	-	-	-	-

※ a : 3時間以上の耐火能力を有する耐火壁で分離

b : 水平距離6mによる分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置

c : 1時間の耐火能力を有する隔壁等による分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置
再処理施設成功パスの詳細は、別紙2参照

9. 最重要設備以外の火災防護対象機器等への火災影響

機器名称[機器番号]	当該区画の火災評価※	隣接区画の火災評価※
-	-	-

※ ○:火災影響なし ×:火災影響あり

隣接する火災区画と火災伝播経路

(※ 有:伝播する 無:伝播しない)

隣接する 火災区画	火災伝播 経路有無	等価時間 (h)	耐火時間 (h)	火災伝播の 可能性 ※	備考
	無	0.0	3.0	無	
	無	0.0	3.0	無	
	無	0.0	3.0	無	
	無	0.0	3.0	無	
	無	0.0	1.0	無	

火災区域(区画)特性表

1. 火災区域(区画)の説明

建屋名	精製建屋
火災区域/区画区分	火災区画
火災区域/区画番号	■
火災区域/区画名称	地下1階南北第3廊下
床面積(m ²)	■

2. 火災区域(区画)の火災シナリオの説明

■は、精製建屋内の火災区画である。
 本区画は、火災源となるものがないおよび安全上重要な施設が設置されていないため、安全機能の喪失のおそれはない。

3. 火災区域(区画)にある火災源

(1) 等価時間

発熱量(kJ)	火災荷重(kJ/m ²)	等価時間(h) [※]
■	■	0.0

※ 等価時間は、内部火災影響評価ガイドの等価時間記載の値で示す。

(2) 火災区域(区画)にある火災源機器数

火災源	機器数
電動機(3.7kW超)	-
電気盤(440V以上)	-
ケーブルトレイ(ケーブル)	-
油脂類・有機溶媒等	-
その他	-

4. 火災区域(区画)にある防火設備

火災感知の手段	主要な消火設備	消火方法	消火設備のバックアップ
煙感知器	屋内消火栓	手動	粉末消火器

5. 火災区域(区画)に隣接する火災区域(区画)と火災伝播経路

隣接火災区画への火災伝播経路の詳細は、別紙1参照

6. 火災影響を受ける火災防護対象機器等

機器名称[機器番号]	最重要設備 [※]	最重要設備以外の安全上重要な施設 [※]
-	-	-

※ ○:対象 -:非対象

* 火災想定において、工程停止等により安全機能を必要としない状態へと移行が可能なもの。

7. 火災防護対象機器等の関連ケーブル

機器名称[機器番号]	ケーブル種別	安重分類
-	-	-

8. 最重要設備の安重機能への火災影響

安重分類	全焼時の成功パスの有無	回路評価等の考慮	結果	系統分離※
Pu・高レベル廃棄物の閉じ込め機能	-	-	-	-
崩壊熱除去機能(重要度の高いもの)	-	-	-	-
安全圧縮空気系(水素掃気機能)	-	-	-	-
非常用所内電源系統	-	-	-	-

※ a : 3時間以上の耐火能力を有する耐火壁で分離

b : 水平距離6mによる分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置

c : 1時間の耐火能力を有する隔壁等による分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置
再処理施設成功パスの詳細は、別紙2参照

9. 最重要設備以外の火災防護対象機器等への火災影響

機器名称[機器番号]	当該区画の火災評価※	隣接区画の火災評価※
-	-	-

※ ○:火災影響なし ×:火災影響あり

隣接する火災区画と火災伝播経路

(※ 有:伝播する 無:伝播しない)

隣接する火災区画	火災伝播経路有無	等価時間(h)	耐火時間(h)	火災伝播の可能性※	備考
	無	0.0	1.0	無	
	有	0.0	0.0	無	
	無	0.0	3.0	無	
	無	0.0	3.0	無	
	無	0.0	3.0	無	
	無	0.0	3.0	無	
	有	0.0	0.0	無	
	有	0.0	0.0	無	
	有	0.0	0.0	無	
	無	0.0	3.0	無	
	有	0.0	0.0	無	
	有	0.0	0.0	無	

火災区域(区画)特性表

1. 火災区域(区画)の説明

建屋名	精製建屋
火災区域/区画区分	火災区画
火災区域/区画番号	■
火災区域/区画名称	地下1階南北第2廊下
床面積(m ²)	■

2. 火災区域(区画)の火災シナリオの説明

■は、精製建屋内の火災区画である。
 本区画の火災源は、ケーブルトレイである。
 したがって、本区画の想定火災としては、ケーブルトレイ火災により、多重化された安全上重要な施設である最重要設備の安全冷却水ポンプに関連するA/B系のケーブルトレイが火災影響を受け、安全機能が喪失した場合、最重要設備の火災影響(8.最重要設備の安重機能への火災影響 参照)の評価において、崩壊熱除去機能の成功パス(外部ループの接続)が確保されるため、安全機能が同時に喪失することはない。
 また、ケーブルトレイ火災により、多重化された安全上重要な施設である計測制御設備に関連するA/B系のケーブルトレイが火災影響を受けた場合、保安規定第32条に基づき、使用済燃料の再処理運転の停止状態に移行、または、運転を停止する措置を講じるため、安定停止状態が維持できる。

3. 火災区域(区画)にある火災源

(1) 等価時間

発熱量(kJ)	火災荷重(kJ/m ²)	等価時間(h) [※]
■	■	0.5

※ 等価時間は、内部火災影響評価ガイドの等価時間記載の値で示す。

(2) 火災区域(区画)にある火災源機器数

火災源	機器数
電動機(3.7kW超)	-
電気盤(440V以上)	-
ケーブルトレイ(ケーブル)	有
油脂類・有機溶媒等	-
その他	-

4. 火災区域(区画)にある防火設備

火災感知の手段	主要な消火設備	消火方法	消火設備のバックアップ
煙感知器 熱感知器	屋内消火栓	手動	粉末消火器

5. 火災区域(区画)に隣接する火災区域(区画)と火災伝播経路

隣接火災区画への火災伝播経路の詳細は、別紙1参照

6. 火災影響を受ける火災防護対象機器等

機器名称[機器番号]	最重要設備 [※]	最重要設備以外の安全上重要な施設 [※]
安重ケーブルトレイ[A/B系]	○	○ [*]

※ ○:対象 -:非対象

* 火災想定において、工程停止等により安全機能を必要としない状態へと移行が可能なもの。

7. 火災防護対象機器等の関連ケーブル

機器名称[機器番号]	ケーブル種別	安重分類
安全冷却水AポンプA	動力(低圧)	崩壊熱除去機能(重要度の高いもの)
安全冷却水AポンプB	動力(低圧)	崩壊熱除去機能(重要度の高いもの)
安全冷却水BポンプA	動力(低圧)	崩壊熱除去機能(重要度の高いもの)
安全冷却水BポンプB	動力(低圧)	崩壊熱除去機能(重要度の高いもの)

8. 最重要設備の安重機能への火災影響

安重分類	全焼時の成功パスの有無	回路評価等の考慮	結果	系統分離※
Pu・高レベル廃棄物の閉じ込め機能	-	-	-	-
崩壊熱除去機能(重要度の高いもの)	無	○	○	-
安全圧縮空気系(水素掃気機能)	-	-	-	-
非常用所内電源系統	-	-	-	-

※ a : 3時間以上の耐火能力を有する耐火壁で分離

b : 水平距離6mによる分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置

c : 1時間の耐火能力を有する隔壁等による分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置
再処理施設成功パスの詳細は、別紙2参照

9. 最重要設備以外の火災防護対象機器等への火災影響

機器名称[機器番号]	当該区画の火災評価※	隣接区画の火災評価※
-	-	-

※ ○:火災影響なし ×:火災影響あり

再処理施設成功パス一覧表

建屋	精製建屋	
区域(区画)番号/名称		地下1階南北第2廊下
1.放射性物質の閉じ込め機能(動的な閉じ込め機能)		
	【Aトレン設備】	【Bトレン設備】
前処理建屋 せん断処理・溶解廃ガス処理設備	排風機A 排風機C	前処理建屋 せん断処理・溶解廃ガス処理設備 排風機B 排風機C
前処理建屋 塔槽類廃ガス処理設備	排風機A	前処理建屋 塔槽類廃ガス処理設備 排風機B
前処理建屋換気設備 溶解セル等からの排気系	セル排風機A 溶解槽セルA排風機A 溶解槽セルB排風機A	前処理建屋換気設備 溶解セル等からの排気系 セル排風機B 溶解槽セルA排風機B 溶解槽セルB排風機B
高レベル廃液ガラス固化建屋 高レベル廃液ガラス固化廃ガス処理設備	第1排風機A 第2排風機A	高レベル廃液ガラス固化建屋 高レベル廃液ガラス固化廃ガス処理設備 第1排風機B 第2排風機B
高レベル廃液ガラス固化建屋 塔槽類廃ガス処理設備 高レベル濃縮廃液廃ガス処理系	排風機A	高レベル廃液ガラス固化建屋 塔槽類廃ガス処理設備 高レベル濃縮廃液廃ガス処理系 排風機B
高レベル廃液ガラス固化建屋 塔槽類廃ガス処理設備 不溶解残渣廃液廃ガス処理系	排風機A	高レベル廃液ガラス固化建屋 塔槽類廃ガス処理設備 不溶解残渣廃液廃ガス処理系 排風機B
高レベル濃縮廃液貯槽セル等からの排気系固化セル換気系及び固化セル圧力放出系	セル排風機A 固化セル換気系排風機A	高レベル濃縮廃液貯槽セル等からの排気系固化セル換気系及び固化セル圧力放出系 セル排風機B 固化セル換気系排風機B
分離建屋 塔槽類廃ガス処理設備 パルセータ廃ガス処理系	排風機A	分離建屋 塔槽類廃ガス処理設備 パルセータ廃ガス処理系 排風機B
分離建屋 塔槽類廃ガス処理設備 塔槽類廃ガス処理系	排風機A	分離建屋 塔槽類廃ガス処理設備 塔槽類廃ガス処理系 排風機B
分離建屋換気設備 プルトニウム溶液中間貯槽セル等からの排気系	グローブボックス・セル排風機A	分離建屋換気設備 プルトニウム溶液中間貯槽セル等からの排気系 グローブボックス・セル排風機B
精製建屋 塔槽類廃ガス処理設備 パルセータ廃ガス処理系	排風機A	精製建屋 塔槽類廃ガス処理設備 パルセータ廃ガス処理系 排風機B
精製建屋 塔槽類廃ガス処理設備 塔槽類廃ガス処理系(プルトニウム系)	排風機A	精製建屋 塔槽類廃ガス処理設備 塔槽類廃ガス処理系(プルトニウム系) 排風機B
精製建屋換気設備 プルトニウム濃縮缶セル等及びグローブボックス等からの排気系	グローブボックス・セル排風機A	精製建屋換気設備 プルトニウム濃縮缶セル等及びグローブボックス等からの排気系 グローブボックス・セル排風機B
ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋 塔槽類廃ガス処理設備	第1排風機A 第2排風機A 第2排風機C	ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋 塔槽類廃ガス処理設備 第1排風機B 第2排風機B
ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋 硝酸プルトニウム貯槽セル等及びグローブボックス等からの排気系	グローブボックス・セル排風機A グローブボックス・セル排風機C	ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋 硝酸プルトニウム貯槽セル等及びグローブボックス等からの排気系 グローブボックス・セル排風機B
-		-
1パス	-	
回路評価等	-	
成功パス	-	

凡例	
x	〇〇〇〇-〇〇〇 〇〇〇A 〇〇〇〇-〇〇〇 〇〇〇〇A
x	: 当該室の火災により安全機能を喪失する機器がある場合
空欄	: 当該室に設置していない機器
1パス	-: 当該室に対象なし ○: 当該室の火災により対応する安全機能が1系統残る場合 x: 当該室の火災により対応する安全機能がすべて喪失する場合
回路評価等	-: 当該室に回路評価等を行う対象なし ○: 回路評価等により、対応する安全機能が確保される場合
成功パス	-: 当該室に対象なし ○: 当該室の火災により対応する安全機能が1系統残る場合 x: 当該室の火災により対応する安全機能がすべて喪失する場合

再処理施設成功パス一覧表

2.崩壊熱除去機能		【Aトレン設備】	【Bトレン設備】
冷却設備	安全冷却水系	安全冷却水A冷却塔	安全冷却水B冷却塔
前処理建屋	冷却設備	安全冷却水A循環ポンプA 安全冷却水A循環ポンプB 安全冷却水1AポンプA 安全冷却水1AポンプB	安全冷却水B循環ポンプA 安全冷却水B循環ポンプB 安全冷却水1BポンプA 安全冷却水1BポンプB
分離建屋	冷却設備	安全冷却水A循環ポンプA 安全冷却水A循環ポンプB 安全冷却水1AポンプA 安全冷却水1AポンプB	安全冷却水B循環ポンプC 安全冷却水B循環ポンプD 安全冷却水1BポンプA 安全冷却水1BポンプB
精製建屋	冷却設備	安全冷却水AポンプA 安全冷却水AポンプB	安全冷却水BポンプA 安全冷却水BポンプB
ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋	冷却設備	冷水移送ポンプA 冷水移送ポンプB	冷水移送ポンプC 冷水移送ポンプD
高レベル廃液ガラス固化建屋	冷却設備	第1高レベル濃縮廃液貯槽冷却水AポンプA 第1高レベル濃縮廃液貯槽冷却水AポンプB 第2高レベル濃縮廃液貯槽冷却水AポンプA 第2高レベル濃縮廃液貯槽冷却水AポンプB 安全冷却水A系ポンプA 安全冷却水A系ポンプB 高レベル廃液共用貯槽冷却水AポンプA 高レベル廃液共用貯槽冷却水AポンプB 安全冷却水A系ポンプA 安全冷却水A系ポンプB 安全冷水A冷却器冷媒膨張弁A 安全冷水A冷却器冷媒膨張弁B 安全冷水A冷却器冷媒止弁A 安全冷水A冷却器冷媒止弁B 安全冷却水1AポンプA 安全冷却水1AポンプB 安全冷水AポンプA 安全冷水AポンプB 安全冷水A冷凍機 スクリー圧縮機 スクリー圧縮機	第1高レベル濃縮廃液貯槽冷却水BポンプA 第1高レベル濃縮廃液貯槽冷却水BポンプB 第2高レベル濃縮廃液貯槽冷却水BポンプA 第2高レベル濃縮廃液貯槽冷却水BポンプB 安全冷却水B系ポンプA 安全冷却水B系ポンプB 高レベル廃液共用貯槽冷却水BポンプA 高レベル廃液共用貯槽冷却水BポンプB 安全冷却水B系ポンプA 安全冷却水B系ポンプB 安全冷水B冷却器冷媒膨張弁A 安全冷水B冷却器冷媒膨張弁B 安全冷水B冷却器冷媒止弁A 安全冷水B冷却器冷媒止弁B 安全冷却水1BポンプA 安全冷却水1BポンプB 安全冷水BポンプA 安全冷水BポンプB 安全冷水B冷凍機 スクリー圧縮機 スクリー圧縮機
ウラン・プルトニウム混合酸化物貯蔵建屋	換気設備	貯蔵室排風機A 貯蔵室排風機B	貯蔵室排風機C 貯蔵室排風機D
×			×
	1パス		×
	回路評価等		-
	成功パス		×(系統分離対策)
3.安全圧縮空気系(水素掃気機能)		【Aトレン設備】	【Bトレン設備】
安全圧縮空気系		安全空気圧縮装置A 安全空気圧縮装置C	安全空気圧縮装置B 安全空気圧縮装置C
-			
	1パス		-
	回路評価等		-
	成功パス		-

再処理施設成功パス一覧表

4.非常用所内電源系統(支援機能)		【Aトレン設備】	【Bトレン設備】
非常用電源建屋冷却水設備			
	8111A-C20 冷却塔A		8111B-C20 冷却塔B
	8111A-P2010 冷却水循環ポンプA		8111B-P2010 冷却水循環ポンプB
非常用電源建屋の電気設備			
	GA-M/C-A 6.9kV非常用メタクラA		GA-M/C-B 6.9kV非常用メタクラB
	GA-MCC-A 460V非常用コントロールセンタA		GA-MCC-B 460V非常用コントロールセンタB
	8111A-X10 ディーゼル機関A		8111B-X10 ディーゼル機関B
	8111A-X11 同期発電機A		8111B-X11 同期発電機B
	8111A-P4011 燃料油移送ポンプA		8111B-P4011 燃料油移送ポンプB
	GA-BAT-A 110V第2非常用蓄電池A		GA-BAT-B 110V第2非常用蓄電池B
	GA-CHG-A 110V非常用充電器盤A		GA-CHG-B 110V非常用充電器盤B
	GA-DCD-A 110V非常用直流主分電盤A		GA-DCD-B 110V非常用直流主分電盤B
	GA-CHG-E 110V非常用予備充電器盤E		GA-CHG-E 110V非常用予備充電器盤E
	GA-E-K011A 非常用電気設備リレー盤A1		GA-E-K013B 非常用電気設備リレー盤B1
	GA-E-K012A 非常用電気設備リレー盤A2		GA-E-K014B 非常用電気設備リレー盤B2
	8111A-V40 燃料油貯蔵タンク1A		8111B-V40 燃料油貯蔵タンク1B
	8111A-V41 燃料油貯蔵タンク2A		8111B-V41 燃料油貯蔵タンク2B
	GA-E-M011A 第2非常用ディーゼル発電機A制御盤		GA-E-M012B 第2非常用ディーゼル発電機B制御盤
	GA-PTR-A 非常用動力用変圧器A		GA-PTR-B 非常用動力用変圧器B
	8111A-V42 燃料油サービスタングA		8111B-V42 燃料油サービスタングB
	8111A-F4210 燃料油第1フィルタA		8111B-F4210 燃料油第1フィルタB
	8111A-F4230 燃料油第2フィルタA		8111B-F4230 燃料油第2フィルタB
	GA-E-S011A 第2非常用ディーゼル発電機ターニング現場盤A		GA-E-S012B 第2非常用ディーゼル発電機ターニング現場盤B
	GA-E-U011A 第2非常用ディーゼル発電機CT盤A		GA-E-U012B 第2非常用ディーゼル発電機CT盤B
	GA-I-K011A ユーティリティ工程 安全系A制御盤(リレー盤)		GA-I-K012B ユーティリティ工程 安全系B制御盤(リレー盤)
制御建屋の電気設備			
	AG-M/C-A 6.9kV非常用メタクラA		AG-M/C-B 6.9kV非常用メタクラB
	AG-P/C-A 460V非常用パワーセンタA		AG-P/C-B 460V非常用パワーセンタB
	AG-MCC-A1 460V非常用コントロールセンタA1		AG-MCC-B1 460V非常用コントロールセンタB1
	AG-MCC-A2 460V非常用コントロールセンタA2		AG-MCC-B2 460V非常用コントロールセンタB2
	AG-I-F201A 前処理建屋 安全系A監視制御盤		AG-I-F202B 前処理建屋 安全系B監視制御盤
	AG-I-F203A 分離建屋 安全系A監視制御盤		AG-I-F204B 分離建屋 安全系B監視制御盤
	AG-I-F205A 精製建屋 安全系A監視制御盤		AG-I-F206B 精製建屋 安全系B監視制御盤
	AG-I-F211A ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋 安全系A監視制御盤		AG-I-F212B ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋 安全系B監視制御盤
	AG-I-F213A 高レベル廃液ガラス固化建屋 安全系A監視制御盤		AG-I-F214B 高レベル廃液ガラス固化建屋 安全系B監視制御盤
	AG-BAT-A1 110V第2非常用蓄電池A1		AG-BAT-B1 110V第2非常用蓄電池B1
	AG-BAT-A2 220V第2非常用蓄電池A2		AG-BAT-B2 220V第2非常用蓄電池B2
	AG-CHG-A 110V非常用充電器盤A		AG-CHG-B 110V非常用充電器盤B
	AG-CHG-E 110V非常用予備充電器盤E		AG-CHG-E 110V非常用予備充電器盤E
	AG-DCD-A 110V非常用直流主分電盤A		AG-DCD-B 110V非常用直流主分電盤B
	AG-UPS-A 105V非常用無停電電源装置A		AG-UPS-B 105V非常用無停電電源装置B
	AG-UPD-A 105V非常用無停電交流主分電盤A		AG-UPD-B 105V非常用無停電交流主分電盤B
前処理建屋の電気設備			
	AA-M/C-A 6.9kV非常用メタクラA		AA-M/C-B 6.9kV非常用メタクラB
	AA-P/C-A 460V非常用パワーセンタA		AA-P/C-B 460V非常用パワーセンタB
	AA-MCC-A1 460V非常用コントロールセンタA1		AA-MCC-B1 460V非常用コントロールセンタB1
	AA-MCC-A2 460V非常用コントロールセンタA2		AA-MCC-B2 460V非常用コントロールセンタB2
	AA-MCC-A3 460V非常用コントロールセンタA3		
	AA-BAT-A 110V第2非常用蓄電池A		AA-BAT-B 110V第2非常用蓄電池B
	AA-CHG-A 110V非常用充電器盤A		AA-CHG-B 110V非常用充電器盤B
	AA-CHG-E 110V非常用予備充電器盤E		AA-CHG-E 110V非常用予備充電器盤E
	AA-DCD-A 110V非常用直流主分電盤A		AA-DCD-B 110V非常用直流主分電盤B
	AA-UPS-A 105V非常用無停電電源装置A		AA-UPS-B 105V非常用無停電電源装置B
	AA-UPD-A 105V非常用無停電交流主分電盤A		AA-UPD-B 105V非常用無停電交流主分電盤B
	AA-I-M171A 圧縮空気設備 安全空気脱湿装置A現場監視制御盤		AA-I-M172B 圧縮空気設備 安全空気脱湿装置B現場監視制御盤
	AA-I-M166A 圧縮空気設備 安全空気圧縮装置A現場監視制御盤		AA-I-M167B 圧縮空気設備 安全空気圧縮装置B現場監視制御盤
	AA-I-M176A 圧縮空気設備 安全空気圧縮装置C現場制御回路分離盤A		AA-I-M177B 圧縮空気設備 安全空気圧縮装置C現場制御回路分離盤B
	AA-I-M169C 圧縮空気設備 安全空気圧縮装置C現場制御電源切換盤		AA-I-M169C 圧縮空気設備 安全空気圧縮装置C現場制御電源切換盤
	AA-I-M168C 圧縮空気設備 安全空気圧縮装置C現場監視制御盤		AA-I-M168C 圧縮空気設備 安全空気圧縮装置C現場監視制御盤
	AA-I-K701A よう素除去工程排風機A制御盤		AA-I-K702B よう素除去工程排風機B制御盤
	AA-I-K703C よう素除去工程排風機C制御盤		AA-I-K703C よう素除去工程排風機C制御盤
	AA-I-X710C よう素除去工程 C系統電源切替盤		AA-I-X710C よう素除去工程 C系統電源切替盤
	AA-I-J012A ユーティリティ工程 安全系A制御盤1(リレー盤2)		AA-I-J062B ユーティリティ工程 安全系B制御盤1(リレー盤2)
	AA-I-J013A ユーティリティ工程 安全系A制御盤2(リレー盤3)		AA-I-J063B ユーティリティ工程 安全系B制御盤2(リレー盤3)
	AA-I-J031A よう素除去工程 安全系A制御盤1		AA-I-J081B よう素除去工程 安全系B制御盤1
	AA-I-J032A よう素除去工程 安全系A制御盤2		AA-I-J082B よう素除去工程 安全系B制御盤2
	AA-I-J033A よう素除去工程 安全系A制御盤3		AA-I-J083B よう素除去工程 安全系B制御盤3
	AA-LPD-A2 溶解槽セルA排風機A極数変換盤		AA-LPD-B2 溶解槽セルA排風機B極数変換盤
	AA-LPD-A3 溶解槽セルB排風機A極数変換盤		AA-LPD-B3 溶解槽セルB排風機B極数変換盤
	AA-LPD-A21 セル排風機A極数変換盤		AA-LPD-B21 セル排風機B極数変換盤
分離建屋の非常用所内電源系統			
	AB-P/C-A 460V非常用パワーセンタA		AB-P/C-B 460V非常用パワーセンタB
	AB-MCC-A 460V非常用コントロールセンタA		AB-MCC-B 460V非常用コントロールセンタB
	AB-CHG-A 110V非常用充電器盤A		AB-CHG-B 110V非常用充電器盤B
	AB-CHG-E 110V非常用予備充電器盤E		AB-CHG-E 110V非常用予備充電器盤E
	AB-BAT-A 110V第2非常用蓄電池A		AB-BAT-B 110V第2非常用蓄電池B
	AB-DCD-A 110V非常用直流主分電盤A		AB-DCD-B 110V非常用直流主分電盤B
	AB-UPS-A 105V非常用無停電電源装置A		AB-UPS-B 105V非常用無停電電源装置B
	AB-UPD-A1 105V非常用無停電交流主分電盤A1		AB-UPD-B1 105V非常用無停電交流主分電盤A1
	AB-UPD-A2 105V非常用無停電交流主分電盤A2		AB-UPD-B2 105V非常用無停電交流主分電盤A2
	AB-I-J180A ユーティリティ工程 安全系A制御盤1		AB-I-J183B ユーティリティ工程 安全系B制御盤1
	AB-I-J181A ユーティリティ工程 安全系A制御盤2		AB-I-J184B ユーティリティ工程 安全系B制御盤2
	AB-I-J182A ユーティリティ工程 安全系A制御盤3		AB-I-J185B ユーティリティ工程 安全系B制御盤3
	AB-I-J033A 分離・分配工程 安全系A制御盤1		AB-I-J036B 分離・分配工程 安全系B制御盤1
	AB-I-J034A 分離・分配工程 安全系A制御盤2		AB-I-J037B 分離・分配工程 安全系B制御盤2
	AB-I-J035A 分離・分配工程 安全系A制御盤3		AB-I-J038B 分離・分配工程 安全系B制御盤3
	AB-V-J100A 建屋換気設備 安全系A制御盤		AB-V-J101B 建屋換気設備 安全系B制御盤
	1パス	-	
	回路評価等	-	
	成功パス	-	

再処理施設成功パス一覧表

4. 支援機能(続き)		【Aトレン設備】		【Bトレン設備】	
精製建屋の電気設備		精製建屋の電気設備		精製建屋の電気設備	
AC-BAT-A	110V第2非常用蓄電池A	AC-BAT-B	110V第2非常用蓄電池B	AC-BAT-B	110V第2非常用蓄電池B
AC-CHG-A	110V非常用充電器盤A	AC-CHG-B	110V非常用充電器盤B	AC-CHG-B	110V非常用充電器盤B
AC-CHG-E	110V非常用予備充電器盤E	AC-CHG-E	110V非常用予備充電器盤E	AC-CHG-E	110V非常用予備充電器盤E
AC-DCD-A	110V非常用直流主分電盤A	AC-DCD-B	110V非常用直流主分電盤B	AC-DCD-B	110V非常用直流主分電盤B
AC-MCC-A1	460V非常用コントロールセンタA1	AC-MCC-B1	460V非常用コントロールセンタB1	AC-MCC-B1	460V非常用コントロールセンタB1
AC-MCC-A2	460V非常用コントロールセンタA2	AC-MCC-B2	460V非常用コントロールセンタB2	AC-MCC-B2	460V非常用コントロールセンタB2
AC-P/C-A	460V非常用パワーセンタA	AC-P/C-B	460V非常用パワーセンタB	AC-P/C-B	460V非常用パワーセンタB
AC-UPD-A	105V非常用無停電交流主分電盤A	AC-UPD-B	105V非常用無停電交流主分電盤B	AC-UPD-B	105V非常用無停電交流主分電盤B
AC-UPS-A	105V非常用無停電電源装置A	AC-UPS-B	105V非常用無停電電源装置B	AC-UPS-B	105V非常用無停電電源装置B
AC-I-J450A	ユーティリティ工程 安全系A制御盤(計器盤)	AC-I-J460B	ユーティリティ工程 安全系B制御盤(計器盤)	AC-I-J460B	ユーティリティ工程 安全系B制御盤(計器盤)
AC-I-J451A	ユーティリティ工程 安全系A制御盤(リレー盤)	AC-I-J461B	ユーティリティ工程 安全系B制御盤(リレー盤)	AC-I-J461B	ユーティリティ工程 安全系B制御盤(リレー盤)
AC-E-J452A	非常用電気設備リレー盤A	AC-E-J462B	非常用電気設備リレー盤B	AC-E-J462B	非常用電気設備リレー盤B
AC-V-J453A	建屋換気設備安全系A制御盤	AC-V-J463B	建屋換気設備安全系B制御盤	AC-V-J463B	建屋換気設備安全系B制御盤
AC-I-J752A	プルトニウム精製工程 安全系A 制御盤3	AC-I-J755B	プルトニウム精製工程 安全系B 制御盤3	AC-I-J755B	プルトニウム精製工程 安全系B 制御盤3
ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋の非常用所内電源系統		ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋の非常用所内電源系統		ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋の非常用所内電源系統	
CA-P/C-A	460V非常用パワーセンタA	CA-P/C-B	460V非常用パワーセンタB	CA-P/C-B	460V非常用パワーセンタB
CA-MCC-A1	460V非常用コントロールセンタA1	CA-MCC-B1	460V非常用コントロールセンタB1	CA-MCC-B1	460V非常用コントロールセンタB1
CA-MCC-A2	460V非常用コントロールセンタA2	CA-MCC-B2	460V非常用コントロールセンタB2	CA-MCC-B2	460V非常用コントロールセンタB2
CA-M/C-A	6.9kV非常用メタクラA	CA-M/C-B	6.9kV非常用メタクラB	CA-M/C-B	6.9kV非常用メタクラB
CA-E-K503A	非常用電気設備リレー盤A	CA-E-K603B	非常用電気設備リレー盤B	CA-E-K603B	非常用電気設備リレー盤B
CA-I-J501A	安全系A制御盤	CA-I-J601B	安全系B制御盤	CA-I-J601B	安全系B制御盤
CA-V-J502A	建屋換気設備安全系A制御盤	CA-V-J602B	建屋換気設備安全系B制御盤	CA-V-J602B	建屋換気設備安全系B制御盤
CA-CHG-A	110V非常用充電器盤A	CA-CHG-B	110V非常用充電器盤B	CA-CHG-B	110V非常用充電器盤B
CA-CHG-E	110V非常用予備充電器盤E	CA-CHG-E	110V非常用予備充電器盤E	CA-CHG-E	110V非常用予備充電器盤E
CA-DCD-A	110V非常用直流主分電盤A	CA-DCD-B	110V非常用直流主分電盤B	CA-DCD-B	110V非常用直流主分電盤B
CA-UPD-A	105V非常用無停電交流主分電盤A	CA-UPD-B	105V非常用無停電交流主分電盤B	CA-UPD-B	105V非常用無停電交流主分電盤B
CA-UPS-A	105V非常用無停電電源装置A	CA-UPS-B	105V非常用無停電電源装置B	CA-UPS-B	105V非常用無停電電源装置B
CA-BAT-A	110V第2非常用蓄電池A	CA-BAT-B	110V第2非常用蓄電池B	CA-BAT-B	110V第2非常用蓄電池B
ウラン・プルトニウム混合酸化物貯蔵建屋の非常用所内電源系統		ウラン・プルトニウム混合酸化物貯蔵建屋の非常用所内電源系統		ウラン・プルトニウム混合酸化物貯蔵建屋の非常用所内電源系統	
CB-P/C-A	460V非常用パワーセンタA	CB-P/C-B	460V非常用パワーセンタB	CB-P/C-B	460V非常用パワーセンタB
CB-E-J101A	非常用電気設備リレー盤A	CB-E-J102B	非常用電気設備リレー盤B	CB-E-J102B	非常用電気設備リレー盤B
CA-V-J001A	建屋換気設備安全系A制御盤	CA-V-J002B	建屋換気設備安全系B制御盤	CA-V-J002B	建屋換気設備安全系B制御盤
CB-BAT-A	110V第2非常用蓄電池A	CB-BAT-B	110V第2非常用蓄電池B	CB-BAT-B	110V第2非常用蓄電池B
CB-CHG-A	110V非常用充電器盤A	CB-CHG-B	110V非常用充電器盤B	CB-CHG-B	110V非常用充電器盤B
CB-DCD-A	110V非常用直流主分電盤A	CB-DCD-B	110V非常用直流主分電盤B	CB-DCD-B	110V非常用直流主分電盤B
CB-MCC-A	460V非常用コントロールセンタA	CB-MCC-B	460V非常用コントロールセンタB	CB-MCC-B	460V非常用コントロールセンタB
CB-UPS-A	105V非常用無停電電源装置A	CB-UPS-B	105V非常用無停電電源装置B	CB-UPS-B	105V非常用無停電電源装置B
CB-CHG-E	110V非常用予備充電器盤E	CB-CHG-E	110V非常用予備充電器盤E	CB-CHG-E	110V非常用予備充電器盤E
高レベル廃液ガラス固化建屋の電気設備		高レベル廃液ガラス固化建屋の電気設備		高レベル廃液ガラス固化建屋の電気設備	
KA-P/C-A	460V非常用パワーセンタA	KA-P/C-B	460V非常用パワーセンタB	KA-P/C-B	460V非常用パワーセンタB
KA-BAT-A	110V第2非常用蓄電池A	KA-BAT-B	110V第2非常用蓄電池B	KA-BAT-B	110V第2非常用蓄電池B
KA-CHG-A	110V非常用充電器盤A	KA-CHG-B	110V非常用充電器盤B	KA-CHG-B	110V非常用充電器盤B
KA-CHG-E	110V非常用予備充電器盤E	KA-CHG-E	110V非常用予備充電器盤E	KA-CHG-E	110V非常用予備充電器盤E
KA-DCD-A	110V非常用直流主分電盤A	KA-DCD-B	110V非常用直流主分電盤B	KA-DCD-B	110V非常用直流主分電盤B
KA-UPS-A	105V非常用無停電電源装置A	KA-UPS-B	105V非常用無停電電源装置B	KA-UPS-B	105V非常用無停電電源装置B
KA-UPD-A	105V非常用無停電交流主分電盤A	KA-UPD-B	105V非常用無停電交流主分電盤B	KA-UPD-B	105V非常用無停電交流主分電盤B
KA-ACS-A	105V非常用計測交流電源盤A	KA-ACS-B	105V非常用計測交流電源盤B	KA-ACS-B	105V非常用計測交流電源盤B
KA-ACD-A	105V非常用計測交流主分電盤A	KA-ACD-B	105V非常用計測交流主分電盤B	KA-ACD-B	105V非常用計測交流主分電盤B
KA-MCC-A1	460V非常用コントロールセンタA1	KA-MCC-B1	460V非常用コントロールセンタB1	KA-MCC-B1	460V非常用コントロールセンタB1
KA-MCC-A2	460V非常用コントロールセンタA2	KA-MCC-B2	460V非常用コントロールセンタB2	KA-MCC-B2	460V非常用コントロールセンタB2
KA-I-K224A	高レベル廃液ガラス固化廃ガス処理設備第1排風機A安全系Aインバータ制御盤	KA-I-K225B	高レベル廃液ガラス固化廃ガス処理設備第1排風機B安全系Bインバータ制御盤	KA-I-K225B	高レベル廃液ガラス固化廃ガス処理設備第1排風機B安全系Bインバータ制御盤
KA-I-K226A	高レベル廃液ガラス固化廃ガス処理設備第2排風機A安全系Aインバータ制御盤	KA-I-K227B	高レベル廃液ガラス固化廃ガス処理設備第2排風機B安全系Bインバータ制御盤	KA-I-K227B	高レベル廃液ガラス固化廃ガス処理設備第2排風機B安全系Bインバータ制御盤
KA-I-K073A	固化セル換気系排風機A安全系Aインバータ制御盤	KA-I-K074B	固化セル換気系排風機B安全系Bインバータ制御盤	KA-I-K074B	固化セル換気系排風機B安全系Bインバータ制御盤
KA-E-K001A	非常用電気設備リレー盤A	KA-E-K002B	非常用電気設備リレー盤B	KA-E-K002B	非常用電気設備リレー盤B
KA-I-J501A	高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系A制御盤1	KA-I-J521B	高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系B制御盤1	KA-I-J521B	高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系B制御盤1
KA-I-J502A	高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系A制御盤2	KA-I-J522B	高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系B制御盤2	KA-I-J522B	高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系B制御盤2
KA-I-J503A	高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系A制御盤3	KA-I-J523B	高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系B制御盤3	KA-I-J523B	高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系B制御盤3
KA-I-J504A	高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系A制御盤4	KA-I-J524B	高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系B制御盤4	KA-I-J524B	高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系B制御盤4
KA-I-J505A	高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系A制御盤5	KA-I-J525B	高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系B制御盤5	KA-I-J525B	高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系B制御盤5
KA-I-J506A	高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系A制御盤6	KA-I-J526B	高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系B制御盤6	KA-I-J526B	高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系B制御盤6
KA-I-J507A	高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系A制御盤7	KA-I-J527B	高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系B制御盤7	KA-I-J527B	高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系B制御盤7
KA-I-J508A	高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系A制御盤8	KA-I-J528B	高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系B制御盤8	KA-I-J528B	高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系B制御盤8
KA-I-J511A	安全系A アレスタ盤	KA-I-J531B	安全系B アレスタ盤	KA-I-J531B	安全系B アレスタ盤
KA-I-J512A	高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系A制御盤(リレー盤1)	KA-I-J532B	高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系B制御盤(リレー盤1)	KA-I-J532B	高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系B制御盤(リレー盤1)
KA-I-J513A	高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系A制御盤(リレー盤2)	KA-I-J533B	高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系B制御盤(リレー盤2)	KA-I-J533B	高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系B制御盤(リレー盤2)
KA-I-J514A	高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系A制御盤(リレー盤3)	KA-I-J534B	高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系B制御盤(リレー盤3)	KA-I-J534B	高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系B制御盤(リレー盤3)
KA-I-M331A	冷凍機 安全系A監視制御盤	KA-I-M322B	冷凍機 安全系B監視制御盤	KA-I-M322B	冷凍機 安全系B監視制御盤
KA-I-K334A	冷却水・冷水設備 安全系A 制御盤1	KA-I-K338B	冷却水・冷水設備 安全系B 制御盤1	KA-I-K338B	冷却水・冷水設備 安全系B 制御盤1
KA-I-K335A	冷却水・冷水設備 安全系A 制御盤2	KA-I-K339B	冷却水・冷水設備 安全系B 制御盤2	KA-I-K339B	冷却水・冷水設備 安全系B 制御盤2
-		-		-	
	1パス		-		-
	回路評価等		-		-
	成功パス		-		-

火災区域(区画)特性表

1. 火災区域(区画)の説明

建屋名	精製建屋
火災区域/区画区分	火災区画
火災区域/区画番号	■
火災区域/区画名称	南第8ダクト室
床面積(m ²)	■

2. 火災区域(区画)の火災シナリオの説明

■は、精製建屋内の火災区画である。
 本区画は、火災源となるものがないおよび安全上重要な施設が設置されていないため、安全機能の喪失のおそれはない。

3. 火災区域(区画)にある火災源

(1) 等価時間

発熱量(kJ)	火災荷重(kJ/m ²)	等価時間(h) [※]
■	■	0.0

※ 等価時間は、内部火災影響評価ガイドの等価時間記載の値で示す。

(2) 火災区域(区画)にある火災源機器数

火災源	機器数
電動機(3.7kW超)	-
電気盤(440V以上)	-
ケーブルトレイ(ケーブル)	-
油脂類・有機溶媒等	-
その他	-

4. 火災区域(区画)にある防火設備

火災感知の手段	主要な消火設備	消火方法	消火設備のバックアップ
煙感知器	屋内消火栓	手動	粉末消火器

5. 火災区域(区画)に隣接する火災区域(区画)と火災伝播経路

隣接火災区画への火災伝播経路の詳細は、別紙1参照

6. 火災影響を受ける火災防護対象機器等

機器名称[機器番号]	最重要設備 [※]	最重要設備以外の安全上重要な施設 [※]
-	-	-

※ ○:対象 -:非対象

* 火災想定において、工程停止等により安全機能を必要としない状態へと移行が可能なもの。

7. 火災防護対象機器等の関連ケーブル

機器名称[機器番号]	ケーブル種別	安重分類
-	-	-

8. 最重要設備の安重機能への火災影響

安重分類	全焼時の成功パスの有無	回路評価等の考慮	結果	系統分離※
Pu・高レベル廃棄物の閉じ込め機能	-	-	-	-
崩壊熱除去機能(重要度の高いもの)	-	-	-	-
安全圧縮空気系(水素掃気機能)	-	-	-	-
非常用所内電源系統	-	-	-	-

※ a : 3時間以上の耐火能力を有する耐火壁で分離

b : 水平距離6mによる分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置

c : 1時間の耐火能力を有する隔壁等による分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置
再処理施設成功パスの詳細は、別紙2参照

9. 最重要設備以外の火災防護対象機器等への火災影響

機器名称[機器番号]	当該区画の火災評価※	隣接区画の火災評価※
-	-	-

※ ○:火災影響なし ×:火災影響あり

隣接する火災区画と火災伝播経路

(※ 有:伝播する 無:伝播しない)

隣接する 火災区画	火災伝播 経路有無	等価時間 (h)	耐火時間 (h)	火災伝播の 可能性 ※	備考
	無	0.0	3.0	無	
	無	0.0	1.0	無	
	有	0.0	0.0	無	
	有	0.0	0.0	無	
	有	0.0	0.0	無	
	無	0.0	1.0	無	
	無	0.0	3.0	無	
	無	0.0	1.0	無	
	有	0.0	0.0	無	

火災区域(区画)特性表

1. 火災区域(区画)の説明

建屋名	精製建屋
火災区域/区画区分	火災区画
火災区域/区画番号	■
火災区域/区画名称	地上1階東西第1廊下,東西第2廊下,南北第1廊下,南北第3廊下
床面積(m ²)	■

2. 火災区域(区画)の火災シナリオの説明

■は、精製建屋内の火災区画である。
 本区画の火災源は、電動機、電気盤およびケーブルトレイである。
 したがって、本区画の想定火災としては、電動機絶縁物火災、電気盤火災または、ケーブルトレイ火災により、安全上重要な施設のA系の設備(6.火災影響を受ける火災防護対象機器等 参照)が火災影響を受け、安全機能が喪失するおそれがあるが、多重化された安全上重要な施設の片系のみ機能喪失であるため、安全機能が完全に喪失することはない。

3. 火災区域(区画)にある火災源

(1) 等価時間

発熱量(kJ)	火災荷重(kJ/m ²)	等価時間(h) [※]
■	■	2.0

※ 等価時間は、内部火災影響評価ガイドの等価時間記載の値で示す。

(2) 火災区域(区画)にある火災源機器数

火災源	機器数
電動機(3.7kW超)	2
電気盤(440V以上)	4
ケーブルトレイ(ケーブル)	有
油脂類・有機溶媒等	-
その他	-

4. 火災区域(区画)にある防火設備

火災感知の手段	主要な消火設備	消火方法	消火設備のバックアップ
煙感知器 熱感知器	屋内消火栓	手動	粉末消火器

5. 火災区域(区画)に隣接する火災区域(区画)と火災伝播経路

隣接火災区画への火災伝播経路の詳細は、別紙1参照

6. 火災影響を受ける火災防護対象機器等

機器名称[機器番号]	最重要設備 [※]	最重要設備以外の安全上重要な施設 [※]
安重ケーブルトレイ[A系]	○	○

※ ○:対象 -:非対象

* 火災想定において、工程停止等により安全機能を必要としない状態へと移行が可能なもの。

7. 火災防護対象機器等の関連ケーブル

機器名称[機器番号]	ケーブル種別	安重分類
グローブボックス・セル排風機A	制御	Pu・高レベルの廃棄物の閉じ込め機能
安全冷却水AポンプA	制御、動力(低圧)	崩壊熱除去機能(重要度の高いもの)
安全冷却水AポンプB	制御、動力(低圧)	崩壊熱除去機能(重要度の高いもの)
排風機A	制御	Pu・高レベルの廃棄物の閉じ込め機能
排風機A	制御	Pu・高レベルの廃棄物の閉じ込め機能
460V非常用パワーセンタA[AC-P/C-A]	動力(低圧)	非常用所内電源系統

8. 最重要設備の安重機能への火災影響

安重分類	全焼時の成功パスの有無	回路評価等の考慮	結果	系統分離※
Pu・高レベル廃棄物の閉じ込め機能	有	-	○	-
崩壊熱除去機能(重要度の高いもの)	有	-	○	-
安全圧縮空気系(水素掃気機能)	-	-	-	-
非常用所内電源系統	有	-	○	-

※ a: 3時間以上の耐火能力を有する耐火壁で分離

b: 水平距離6mによる分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置

c: 1時間の耐火能力を有する隔壁等による分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置
再処理施設成功パスの詳細は、別紙2参照

9. 最重要設備以外の火災防護対象機器等への火災影響

機器名称[機器番号]	当該区画の火災評価※	隣接区画の火災評価※
-	-	-

※ ○:火災影響なし ×:火災影響あり

再処理施設成功パス一覧表

建屋	精製建屋	
区域(区画)番号/名称		地上1階東西第1廊下,東西第2廊下,南北第1廊下,南北第3廊下
1.放射性物質の閉じ込め機能(動的な閉じ込め機能)		
	【Aトレン設備】	【Bトレン設備】
前処理建屋 せん断処理・溶解廃ガス処理設備	排風機A 排風機C	前処理建屋 せん断処理・溶解廃ガス処理設備 排風機B 排風機C
前処理建屋 塔槽類廃ガス処理設備	排風機A	前処理建屋 塔槽類廃ガス処理設備 排風機B
前処理建屋換気設備 溶解セル等からの排気系	セル排風機A 溶解槽セルA排風機A 溶解槽セルB排風機A	前処理建屋換気設備 溶解セル等からの排気系 セル排風機B 溶解槽セルA排風機B 溶解槽セルB排風機B
高レベル廃液ガラス固化建屋 高レベル廃液ガラス固化廃ガス処理設備	第1排風機A 第2排風機A	高レベル廃液ガラス固化建屋 高レベル廃液ガラス固化廃ガス処理設備 第1排風機B 第2排風機B
高レベル廃液ガラス固化建屋 塔槽類廃ガス処理設備 高レベル濃縮廃液廃ガス処理系	排風機A	高レベル廃液ガラス固化建屋 塔槽類廃ガス処理設備 高レベル濃縮廃液廃ガス処理系 排風機B
高レベル廃液ガラス固化建屋 塔槽類廃ガス処理設備 不溶解残渣廃液廃ガス処理系	排風機A	高レベル廃液ガラス固化建屋 塔槽類廃ガス処理設備 不溶解残渣廃液廃ガス処理系 排風機B
高レベル濃縮廃液貯槽セル等からの排気系固化セル換気系及び固化セル圧力放出系	セル排風機A 固化セル換気系排風機A	高レベル濃縮廃液貯槽セル等からの排気系固化セル換気系及び固化セル圧力放出系 セル排風機B 固化セル換気系排風機B
分離建屋 塔槽類廃ガス処理設備 パルセータ廃ガス処理系	排風機A	分離建屋 塔槽類廃ガス処理設備 パルセータ廃ガス処理系 排風機B
分離建屋 塔槽類廃ガス処理設備 塔槽類廃ガス処理系	排風機A	分離建屋 塔槽類廃ガス処理設備 塔槽類廃ガス処理系 排風機B
分離建屋換気設備 プルトニウム溶液中間貯槽セル等からの排気系	グローブボックス・セル排風機A	分離建屋換気設備 プルトニウム溶液中間貯槽セル等からの排気系 グローブボックス・セル排風機B
精製建屋 塔槽類廃ガス処理設備 パルセータ廃ガス処理系	排風機A	精製建屋 塔槽類廃ガス処理設備 パルセータ廃ガス処理系 排風機B
精製建屋 塔槽類廃ガス処理設備 塔槽類廃ガス処理系(プルトニウム系)	排風機A	精製建屋 塔槽類廃ガス処理設備 塔槽類廃ガス処理系(プルトニウム系) 排風機B
精製建屋換気設備 プルトニウム濃縮缶セル等及びグローブボックス等からの排気系	グローブボックス・セル排風機A	精製建屋換気設備 プルトニウム濃縮缶セル等及びグローブボックス等からの排気系 グローブボックス・セル排風機B
ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋 塔槽類廃ガス処理設備	第1排風機A 第2排風機A 第2排風機C	ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋 塔槽類廃ガス処理設備 第1排風機B 第2排風機B
ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋 硝酸プルトニウム貯槽セル等及びグローブボックス等からの排気系	グローブボックス・セル排風機A グローブボックス・セル排風機C	ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋 硝酸プルトニウム貯槽セル等及びグローブボックス等からの排気系 グローブボックス・セル排風機B
×		
1パス	○	
回路評価等	-	
成功パス	○	

凡例		
×	○○○○-○○○	○○○A
	○○○○-○○○	○○○○A
× : 当該室の火災により安全機能を喪失する機器がある場合 空欄 : 当該室に設置していない機器		
1パス	- : 当該室に対象なし ○ : 当該室の火災により対応する安全機能が1系統残る場合 × : 当該室の火災により対応する安全機能がすべて喪失する場合	
回路評価等	- : 当該室に回路評価等を行う対象なし ○ : 回路評価等により、対応する安全機能が確保される場合	
成功パス	- : 当該室に対象なし ○ : 当該室の火災により対応する安全機能が1系統残る場合 × : 当該室の火災により対応する安全機能がすべて喪失する場合	

再処理施設成功パス一覧表

2.崩壊熱除去機能		【Aトレ設備】		【Bトレ設備】	
冷却設備	安全冷却水系			冷却設備	安全冷却水系
	安全冷却水A冷却塔				安全冷却水B冷却塔
前処理建屋	冷却設備 安全冷却水系			前処理建屋	冷却設備 安全冷却水系
	安全冷却水A循環ポンプA				安全冷却水B循環ポンプA
	安全冷却水A循環ポンプB				安全冷却水B循環ポンプB
	安全冷却水1AポンプA				安全冷却水1BポンプA
	安全冷却水1AポンプB				安全冷却水1BポンプB
分離建屋	冷却設備 安全冷却水系			分離建屋	冷却設備 安全冷却水系
	冷却水循環ポンプA				冷却水循環ポンプC
	冷却水循環ポンプB				冷却水循環ポンプD
	安全冷却水1AポンプA				安全冷却水1BポンプA
	安全冷却水1AポンプB				安全冷却水1BポンプB
精製建屋	冷却設備 安全冷却水系			精製建屋	冷却設備 安全冷却水系
×	安全冷却水AポンプA				安全冷却水BポンプA
×	安全冷却水AポンプB				安全冷却水BポンプB
ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋	冷却設備 安全冷却水系			ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋	冷却設備 安全冷却水系
	冷水移送ポンプA				冷水移送ポンプC
	冷水移送ポンプB				冷水移送ポンプD
高レベル廃液ガラス固化建屋	冷却設備 安全冷却水系			高レベル廃液ガラス固化建屋	冷却設備 安全冷却水系
	第1高レベル濃縮廃液貯槽冷却水AポンプA				第1高レベル濃縮廃液貯槽冷却水BポンプA
	第1高レベル濃縮廃液貯槽冷却水AポンプB				第1高レベル濃縮廃液貯槽冷却水BポンプB
	第2高レベル濃縮廃液貯槽冷却水AポンプA				第2高レベル濃縮廃液貯槽冷却水BポンプA
	第2高レベル濃縮廃液貯槽冷却水AポンプB				第2高レベル濃縮廃液貯槽冷却水BポンプB
	安全冷却水A系ポンプA				安全冷却水B系ポンプA
	安全冷却水A系ポンプB				安全冷却水B系ポンプB
	高レベル廃液共用貯槽冷却水AポンプA				高レベル廃液共用貯槽冷却水BポンプA
	高レベル廃液共用貯槽冷却水AポンプB				高レベル廃液共用貯槽冷却水BポンプB
	安全冷却水A系ポンプA				安全冷却水B系ポンプA
	安全冷却水A系ポンプB				安全冷却水B系ポンプB
	安全冷水A冷却器冷媒膨張弁A				安全冷水B冷却器冷媒膨張弁A
	安全冷水A冷却器冷媒膨張弁B				安全冷水B冷却器冷媒膨張弁B
	安全冷水A冷却器冷媒止弁A				安全冷水B冷却器冷媒止弁A
	安全冷水A冷却器冷媒止弁B				安全冷水B冷却器冷媒止弁B
	安全冷却水1AポンプA				安全冷却水1BポンプA
	安全冷却水1AポンプB				安全冷却水1BポンプB
	安全冷水AポンプA				安全冷水BポンプA
	安全冷水AポンプB				安全冷水BポンプB
	安全冷水A冷凍機				安全冷水B冷凍機
	スクリー圧縮機				スクリー圧縮機
	スクリー圧縮機				スクリー圧縮機
ウラン・プルトニウム混合酸化物貯蔵建屋	換気設備貯蔵室排気系			ウラン・プルトニウム混合酸化物貯蔵建屋	換気設備貯蔵室排気系
	貯蔵室排風機A				貯蔵室排風機C
	貯蔵室排風機B				貯蔵室排風機D
×				-	
	1パス		○		
	回路評価等		-		
	成功パス		○		
3.安全圧縮空気系(水素掃気機能)		【Aトレ設備】		【Bトレ設備】	
安全圧縮空気系				安全圧縮空気系	
	安全空気圧縮装置A				安全空気圧縮装置B
	安全空気圧縮装置C				安全空気圧縮装置C
-				-	
	1パス		-		
	回路評価等		-		
	成功パス		-		

再処理施設成功パス一覧表

4.非常用所内電源系統(支援機能)		【Aトレン設備】	【Bトレン設備】
非常用電源建屋冷却水設備			
	8111A-C20	冷却塔A	8111B-C20
	8111A-P2010	冷却水循環ポンプA	8111B-P2010
非常用電源建屋の電気設備			
	GA-M/C-A	6.9kV非常用メタクラA	GA-M/C-B
	GA-MCC-A	460V非常用コントロールセンタA	GA-MCC-B
	8111A-X10	ディーゼル機関A	8111B-X10
	8111A-X11	同期発電機A	8111B-X11
	8111A-P4011	燃料油移送ポンプA	8111B-P4011
	GA-BAT-A	110V第2非常用蓄電池A	GA-BAT-B
	GA-CHG-A	110V非常用充電器盤A	GA-CHG-B
	GA-DCD-A	110V非常用直流主分電盤A	GA-DCD-B
	GA-CHG-E	110V非常用予備充電器盤E	GA-CHG-E
	GA-E-K011A	非常用電気設備リレー盤A1	GA-E-K013B
	GA-E-K012A	非常用電気設備リレー盤A2	GA-E-K014B
	8111A-V40	燃料油貯蔵タンク1A	8111B-V40
	8111A-V41	燃料油貯蔵タンク2A	8111B-V41
	GA-E-M011A	第2非常用ディーゼル発電機A制御盤	GA-E-M012B
	GA-PTR-A	非常用動力用変圧器A	GA-PTR-B
	8111A-V42	燃料油サービスタングA	8111B-V42
	8111A-F4210	燃料油第1フィルタA	8111B-F4210
	8111A-F4230	燃料油第2フィルタA	8111B-F4230
	GA-E-S011A	第2非常用ディーゼル発電機ターニング現場盤A	GA-E-S012B
	GA-E-U011A	第2非常用ディーゼル発電機CT盤A	GA-E-U012B
	GA-I-K011A	ユーティリティ工程 安全系A制御盤(リレー盤)	GA-I-K012B
制御建屋の電気設備			
	AG-M/C-A	6.9kV非常用メタクラA	AG-M/C-B
	AG-P/C-A	460V非常用パワーセンタA	AG-P/C-B
	AG-MCC-A1	460V非常用コントロールセンタA1	AG-MCC-B1
	AG-MCC-A2	460V非常用コントロールセンタA2	AG-MCC-B2
	AG-I-F201A	前処理建屋 安全系A監視制御盤	AG-I-F202B
	AG-I-F203A	分離建屋 安全系A監視制御盤	AG-I-F204B
	AG-I-F205A	精製建屋 安全系A監視制御盤	AG-I-F206B
	AG-I-F211A	ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋 安全系A監視制御盤	AG-I-F212B
	AG-I-F213A	高レベル廃液ガラス固化建屋 安全系A監視制御盤	AG-I-F214B
	AG-BAT-A1	110V第2非常用蓄電池A1	AG-BAT-B1
	AG-BAT-A2	220V第2非常用蓄電池A2	AG-BAT-B2
	AG-CHG-A	110V非常用充電器盤A	AG-CHG-B
	AG-CHG-E	110V非常用予備充電器盤E	AG-CHG-E
	AG-DCD-A	110V非常用直流主分電盤A	AG-DCD-B
	AG-UPS-A	105V非常用無停電電源装置A	AG-UPS-B
	AG-UPD-A	105V非常用無停電交流主分電盤A	AG-UPD-B
前処理建屋の電気設備			
	AA-M/C-A	6.9kV非常用メタクラA	AA-M/C-B
	AA-P/C-A	460V非常用パワーセンタA	AA-P/C-B
	AA-MCC-A1	460V非常用コントロールセンタA1	AA-MCC-B1
	AA-MCC-A2	460V非常用コントロールセンタA2	AA-MCC-B2
	AA-MCC-A3	460V非常用コントロールセンタA3	
	AA-BAT-A	110V第2非常用蓄電池A	AA-BAT-B
	AA-CHG-A	110V非常用充電器盤A	AA-CHG-B
	AA-CHG-E	110V非常用予備充電器盤E	AA-CHG-E
	AA-DCD-A	110V非常用直流主分電盤A	AA-DCD-B
	AA-UPS-A	105V非常用無停電電源装置A	AA-UPS-B
	AA-UPD-A	105V非常用無停電交流主分電盤A	AA-UPD-B
	AA-I-M171A	圧縮空気設備 安全空気脱湿装置A現場監視制御盤	AA-I-M172B
	AA-I-M166A	圧縮空気設備 安全空気圧縮装置A現場監視制御盤	AA-I-M167B
	AA-I-M176A	圧縮空気設備 安全空気圧縮装置C現場制御回路分離盤A	AA-I-M177B
	AA-I-M169C	圧縮空気設備 安全空気圧縮装置C現場制御電源切換盤	AA-I-M169C
	AA-I-M168C	圧縮空気設備 安全空気圧縮装置C現場監視制御盤	AA-I-M168C
	AA-I-K701A	よう素除去工程排風機A制御盤	AA-I-K702B
	AA-I-K703C	よう素除去工程排風機C制御盤	AA-I-K703C
	AA-I-X710C	よう素除去工程 C系統電源切替盤	AA-I-X710C
	AA-I-J012A	ユーティリティ工程 安全系A制御盤1(リレー盤2)	AA-I-J062B
	AA-I-J013A	ユーティリティ工程 安全系A制御盤2(リレー盤3)	AA-I-J063B
	AA-I-J031A	よう素除去工程 安全系A制御盤1	AA-I-J081B
	AA-I-J032A	よう素除去工程 安全系A制御盤2	AA-I-J082B
	AA-I-J033A	よう素除去工程 安全系A制御盤3	AA-I-J083B
	AA-LPD-A2	溶解槽セルA排風機A極数変換盤	AA-LPD-B2
	AA-LPD-A3	溶解槽セルB排風機A極数変換盤	AA-LPD-B3
	AA-LPD-A21	セル排風機A極数変換盤	AA-LPD-B21
分離建屋の非常用所内電源系統			
	AB-P/C-A	460V非常用パワーセンタA	AB-P/C-B
	AB-MCC-A	460V非常用コントロールセンタA	AB-MCC-B
	AB-CHG-A	110V非常用充電器盤A	AB-CHG-B
	AB-CHG-E	110V非常用予備充電器盤E	AB-CHG-E
	AB-BAT-A	110V第2非常用蓄電池A	AB-BAT-B
	AB-DCD-A	110V非常用直流主分電盤A	AB-DCD-B
	AB-UPS-A	105V非常用無停電電源装置A	AB-UPS-B
	AB-UPD-A1	105V非常用無停電交流主分電盤A1	AB-UPD-B1
	AB-UPD-A2	105V非常用無停電交流主分電盤A2	AB-UPD-B2
	AB-I-J180A	ユーティリティ工程 安全系A制御盤1	AB-I-J183B
	AB-I-J181A	ユーティリティ工程 安全系A制御盤2	AB-I-J184B
	AB-I-J182A	ユーティリティ工程 安全系A制御盤3	AB-I-J185B
	AB-I-J033A	分離・分配工程 安全系A制御盤1	AB-I-J036B
	AB-I-J034A	分離・分配工程 安全系A制御盤2	AB-I-J037B
	AB-I-J035A	分離・分配工程 安全系A制御盤3	AB-I-J038B
	AB-V-J100A	建屋換気設備 安全系A制御盤	AB-V-J101B
	1パス	-	
	回路評価等	-	
	成功パス	-	

再処理施設成功パス一覧表

4. 支援機能(続き)		【Aトレン設備】		【Bトレン設備】	
精製建屋の電気設備		精製建屋の電気設備		精製建屋の電気設備	
	AC-BAT-A	110V第2非常用蓄電池A		AC-BAT-B	110V第2非常用蓄電池B
	AC-CHG-A	110V非常用充電器盤A		AC-CHG-B	110V非常用充電器盤B
	AC-CHG-E	110V非常用予備充電器盤E		AC-CHG-E	110V非常用予備充電器盤E
	AC-DCD-A	110V非常用直流主分電盤A		AC-DCD-B	110V非常用直流主分電盤B
	AC-MCC-A1	460V非常用コントロールセンタA1		AC-MCC-B1	460V非常用コントロールセンタB1
	AC-MCC-A2	460V非常用コントロールセンタA2		AC-MCC-B2	460V非常用コントロールセンタB2
×	AC-P/C-A	460V非常用パワーセンタA		AC-P/C-B	460V非常用パワーセンタB
	AC-UPD-A	105V非常用無停電交流主分電盤A		AC-UPD-B	105V非常用無停電交流主分電盤B
	AC-UPS-A	105V非常用無停電電源装置A		AC-UPS-B	105V非常用無停電電源装置B
	AC-I-J450A	ユーティリティ工程 安全系A制御盤(計器盤)		AC-I-J460B	ユーティリティ工程 安全系B制御盤(計器盤)
	AC-I-J451A	ユーティリティ工程 安全系A制御盤(リレー盤)		AC-I-J461B	ユーティリティ工程 安全系B制御盤(リレー盤)
	AC-E-J452A	非常用電気設備リレー盤A		AC-E-J462B	非常用電気設備リレー盤B
	AC-V-J453A	建屋換気設備安全系A制御盤		AC-V-J463B	建屋換気設備安全系B制御盤
	AC-I-J752A	プルトニウム精製工程 安全系A 制御盤3		AC-I-J755B	プルトニウム精製工程 安全系B 制御盤3
ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋の非常用所内電源系統		ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋の非常用所内電源系統		ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋の非常用所内電源系統	
	CA-P/C-A	460V非常用パワーセンタA		CA-P/C-B	460V非常用パワーセンタB
	CA-MCC-A1	460V非常用コントロールセンタA1		CA-MCC-B1	460V非常用コントロールセンタB1
	CA-MCC-A2	460V非常用コントロールセンタA2		CA-MCC-B2	460V非常用コントロールセンタB2
	CA-M/C-A	6.9kV非常用メタクラA		CA-M/C-B	6.9kV非常用メタクラB
	CA-E-K503A	非常用電気設備リレー盤A		CA-E-K603B	非常用電気設備リレー盤B
	CA-I-J501A	安全系A制御盤		CA-I-J601B	安全系B制御盤
	CA-V-J502A	建屋換気設備安全系A制御盤		CA-V-J602B	建屋換気設備安全系B制御盤
	CA-CHG-A	110V非常用充電器盤A		CA-CHG-B	110V非常用充電器盤B
	CA-CHG-E	110V非常用予備充電器盤E		CA-CHG-E	110V非常用予備充電器盤E
	CA-DCD-A	110V非常用直流主分電盤A		CA-DCD-B	110V非常用直流主分電盤B
	CA-UPD-A	105V非常用無停電交流主分電盤A		CA-UPD-B	105V非常用無停電交流主分電盤B
	CA-UPS-A	105V非常用無停電電源装置A		CA-UPS-B	105V非常用無停電電源装置B
	CA-BAT-A	110V第2非常用蓄電池A		CA-BAT-B	110V第2非常用蓄電池B
ウラン・プルトニウム混合酸化物貯蔵建屋の非常用所内電源系統		ウラン・プルトニウム混合酸化物貯蔵建屋の非常用所内電源系統		ウラン・プルトニウム混合酸化物貯蔵建屋の非常用所内電源系統	
	CB-P/C-A	460V非常用パワーセンタA		CB-P/C-B	460V非常用パワーセンタB
	CB-E-J101A	非常用電気設備リレー盤A		CB-E-J102B	非常用電気設備リレー盤B
	CA-V-J001A	建屋換気設備安全系A制御盤		CA-V-J002B	建屋換気設備安全系B制御盤
	CB-BAT-A	110V第2非常用蓄電池A		CB-BAT-B	110V第2非常用蓄電池B
	CB-CHG-A	110V非常用充電器盤A		CB-CHG-B	110V非常用充電器盤B
	CB-DCD-A	110V非常用直流主分電盤A		CB-DCD-B	110V非常用直流主分電盤B
	CB-MCC-A	460V非常用コントロールセンタA		CB-MCC-B	460V非常用コントロールセンタB
	CB-UPS-A	105V非常用無停電電源装置A		CB-UPS-B	105V非常用無停電電源装置B
	CB-CHG-E	110V非常用予備充電器盤E		CB-CHG-E	110V非常用予備充電器盤E
高レベル廃液ガラス固化建屋の電気設備		高レベル廃液ガラス固化建屋の電気設備		高レベル廃液ガラス固化建屋の電気設備	
	KA-P/C-A	460V非常用パワーセンタA		KA-P/C-B	460V非常用パワーセンタB
	KA-BAT-A	110V第2非常用蓄電池A		KA-BAT-B	110V第2非常用蓄電池B
	KA-CHG-A	110V非常用充電器盤A		KA-CHG-B	110V非常用充電器盤B
	KA-CHG-E	110V非常用予備充電器盤E		KA-CHG-E	110V非常用予備充電器盤E
	KA-DCD-A	110V非常用直流主分電盤A		KA-DCD-B	110V非常用直流主分電盤B
	KA-UPS-A	105V非常用無停電電源装置A		KA-UPS-B	105V非常用無停電電源装置B
	KA-UPD-A	105V非常用無停電交流主分電盤A		KA-UPD-B	105V非常用無停電交流主分電盤B
	KA-ACS-A	105V非常用計測交流電源盤A		KA-ACS-B	105V非常用計測交流電源盤B
	KA-ACD-A	105V非常用計測交流主分電盤A		KA-ACD-B	105V非常用計測交流主分電盤B
	KA-MCC-A1	460V非常用コントロールセンタA1		KA-MCC-B1	460V非常用コントロールセンタB1
	KA-MCC-A2	460V非常用コントロールセンタA2		KA-MCC-B2	460V非常用コントロールセンタB2
	KA-I-K224A	高レベル廃液ガラス固化廃ガス処理設備第1排風機A安全系Aインバータ制御盤		KA-I-K225B	高レベル廃液ガラス固化廃ガス処理設備第1排風機B安全系Bインバータ制御盤
	KA-I-K226A	高レベル廃液ガラス固化廃ガス処理設備第2排風機A安全系Aインバータ制御盤		KA-I-K227B	高レベル廃液ガラス固化廃ガス処理設備第2排風機B安全系Bインバータ制御盤
	KA-I-K073A	固化セル換気系排風機A安全系Aインバータ制御盤		KA-I-K074B	固化セル換気系排風機B安全系Bインバータ制御盤
	KA-E-K001A	非常用電気設備リレー盤A		KA-E-K002B	非常用電気設備リレー盤B
	KA-I-J501A	高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系A制御盤1		KA-I-J521B	高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系B制御盤1
	KA-I-J502A	高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系A制御盤2		KA-I-J522B	高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系B制御盤2
	KA-I-J503A	高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系A制御盤3		KA-I-J523B	高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系B制御盤3
	KA-I-J504A	高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系A制御盤4		KA-I-J524B	高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系B制御盤4
	KA-I-J505A	高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系A制御盤5		KA-I-J525B	高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系B制御盤5
	KA-I-J506A	高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系A制御盤6		KA-I-J526B	高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系B制御盤6
	KA-I-J507A	高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系A制御盤7		KA-I-J527B	高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系B制御盤7
	KA-I-J508A	高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系A制御盤8		KA-I-J528B	高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系B制御盤8
	KA-I-J511A	安全系A アレスタ盤		KA-I-J531B	安全系B アレスタ盤
	KA-I-J512A	高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系A制御盤(リレー盤1)		KA-I-J532B	高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系B制御盤(リレー盤1)
	KA-I-J513A	高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系A制御盤(リレー盤2)		KA-I-J533B	高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系B制御盤(リレー盤2)
	KA-I-J514A	高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系A制御盤(リレー盤3)		KA-I-J534B	高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系B制御盤(リレー盤3)
	KA-I-M331A	冷凍機 安全系A監視制御盤		KA-I-M322B	冷凍機 安全系B監視制御盤
	KA-I-K334A	冷却水・冷水設備 安全系A 制御盤1		KA-I-K338B	冷却水・冷水設備 安全系B 制御盤1
	KA-I-K335A	冷却水・冷水設備 安全系A 制御盤2		KA-I-K339B	冷却水・冷水設備 安全系B 制御盤2
×					
	1パス		○		
	回路評価等		-		
	成功パス		○		

火災区域(区画)特性表

1. 火災区域(区画)の説明

建屋名	精製建屋
火災区域/区画区分	火災区画
火災区域/区画番号	■
火災区域/区画名称	臨界警報装置現場盤室
床面積(m ²)	■

2. 火災区域(区画)の火災シナリオの説明

■は、精製建屋内の火災区画である。
 本区画は、ケーブルトレイ火災の発生可能性があるが、安全上重要な施設が設置されていないため、安全機能の喪失のおそれはない。

3. 火災区域(区画)にある火災源

(1) 等価時間

発熱量(kJ)	火災荷重(kJ/m ²)	等価時間(h) [※]
■	■	1.5

※ 等価時間は、内部火災影響評価ガイドの等価時間記載の値で示す。

(2) 火災区域(区画)にある火災源機器数

火災源	機器数
電動機(3.7kW超)	-
電気盤(440V以上)	-
ケーブルトレイ(ケーブル)	有
油脂類・有機溶媒等	-
その他	-

4. 火災区域(区画)にある防火設備

火災感知の手段	主要な消火設備	消火方法	消火設備のバックアップ
煙感知器	二酸化炭素消火器	手動	粉末消火器

5. 火災区域(区画)に隣接する火災区域(区画)と火災伝播経路

隣接火災区画への火災伝播経路の詳細は、別紙1参照

6. 火災影響を受ける火災防護対象機器等

機器名称[機器番号]	最重要設備 [※]	最重要設備以外の安全上重要な施設 [※]
-	-	-

※ ○:対象 -:非対象

* 火災想定において、工程停止等により安全機能を必要としない状態へと移行が可能なもの。

7. 火災防護対象機器等の関連ケーブル

機器名称[機器番号]	ケーブル種別	安重分類
-	-	-

8. 最重要設備の安重機能への火災影響

安重分類	全焼時の成功パスの有無	回路評価等の考慮	結果	系統分離※
Pu・高レベル廃棄物の閉じ込め機能	-	-	-	-
崩壊熱除去機能(重要度の高いもの)	-	-	-	-
安全圧縮空気系(水素掃気機能)	-	-	-	-
非常用所内電源系統	-	-	-	-

※ a : 3時間以上の耐火能力を有する耐火壁で分離

b : 水平距離6mによる分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置

c : 1時間の耐火能力を有する隔壁等による分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置
再処理施設成功パスの詳細は、別紙2参照

9. 最重要設備以外の火災防護対象機器等への火災影響

機器名称[機器番号]	当該区画の火災評価※	隣接区画の火災評価※
-	-	-

※ ○:火災影響なし ×:火災影響あり

隣接する火災区画と火災伝播経路

(※ 有:伝播する 無:伝播しない)

隣接する 火災区画	火災伝播 経路有無	等価時間 (h)	耐火時間 (h)	火災伝播の 可能性 ※	備考
	無	1.5	1.0	有	
	無	1.5	1.0	有	
	無	1.5	3.0	無	

火災区域(区画)特性表

1. 火災区域(区画)の説明

建屋名	精製建屋
火災区域/区画区分	火災区画
火災区域/区画番号	■
火災区域/区画名称	制御盤第1室
床面積(m ²)	■

2. 火災区域(区画)の火災シナリオの説明

■は、精製建屋内の火災区画である。
 本区画は、ケーブルトレイ火災の発生可能性があるが、安全上重要な施設が設置されていないため、安全機能の喪失のおそれはない。

3. 火災区域(区画)にある火災源

(1) 等価時間

発熱量(kJ)	火災荷重 (kJ/m ²)	等価時間(h) [※]
■	■	0.5

※ 等価時間は、内部火災影響評価ガイドの等価時間記載の値で示す。

(2) 火災区域(区画)にある火災源機器数

火災源	機器数
電動機(3.7kW超)	-
電気盤(440V以上)	-
ケーブルトレイ(ケーブル)	有
油脂類・有機溶媒等	-
その他	-

4. 火災区域(区画)にある防火設備

火災感知の手段	主要な消火設備	消火方法	消火設備のバックアップ
煙感知器	二酸化炭素消火器	手動	粉末消火器

5. 火災区域(区画)に隣接する火災区域(区画)と火災伝播経路

隣接火災区画への火災伝播経路の詳細は、別紙1参照

6. 火災影響を受ける火災防護対象機器等

機器名称[機器番号]	最重要設備 [※]	最重要設備以外の安全上重要な施設 [※]
-	-	-

※ ○:対象 -:非対象

* 火災想定において、工程停止等により安全機能を必要としない状態へと移行が可能なもの。

7. 火災防護対象機器等の関連ケーブル

機器名称[機器番号]	ケーブル種別	安重分類
-	-	-

8. 最重要設備の安重機能への火災影響

安重分類	全焼時の成功パスの有無	回路評価等の考慮	結果	系統分離※
Pu・高レベル廃棄物の閉じ込め機能	-	-	-	-
崩壊熱除去機能(重要度の高いもの)	-	-	-	-
安全圧縮空気系(水素掃気機能)	-	-	-	-
非常用所内電源系統	-	-	-	-

※ a : 3時間以上の耐火能力を有する耐火壁で分離

b : 水平距離6mによる分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置

c : 1時間の耐火能力を有する隔壁等による分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置
再処理施設成功パスの詳細は、別紙2参照

9. 最重要設備以外の火災防護対象機器等への火災影響

機器名称[機器番号]	当該区画の火災評価※	隣接区画の火災評価※
-	-	-

※ ○:火災影響なし ×:火災影響あり

隣接する火災区画と火災伝播経路

(※ 有:伝播する 無:伝播しない)

隣接する 火災区画	火災伝播 経路有無	等価時間 (h)	耐火時間 (h)	火災伝播の 可能性 ※	備考
	無	0.5	3.0	無	
	有	0.5	0.0	有	
	無	0.5	1.0	無	
	無	0.5	1.0	無	
	無	0.5	3.0	無	

火災区域(区画)特性表

1. 火災区域(区画)の説明

建屋名	精製建屋
火災区域/区画区分	火災区画
火災区域/区画番号	■
火災区域/区画名称	第14保守室
床面積(m ²)	■

2. 火災区域(区画)の火災シナリオの説明

■は、精製建屋内の火災区画である。
 本区画は、電動絶縁物火災、潤滑油漏えい火災または、電気盤火災の発生の可能性があるが、安全上重要な施設が設置されていないため、安全機能の喪失のおそれはない。

3. 火災区域(区画)にある火災源

(1) 等価時間

発熱量(kJ)	火災荷重 (kJ/m ²)	等価時間(h) [※]
■	■	0.5

※ 等価時間は、内部火災影響評価ガイドの等価時間記載の値で示す。

(2) 火災区域(区画)にある火災源機器数

火災源	機器数
電動機(3.7kW超)	1
電気盤(440V以上)	4
ケーブルトレイ(ケーブル)	-
油脂類・有機溶媒等	有
その他	-

4. 火災区域(区画)にある防火設備

火災感知の手段	主要な消火設備	消火方法	消火設備のバックアップ
煙感知器	屋内消火栓	手動	粉末消火器

5. 火災区域(区画)に隣接する火災区域(区画)と火災伝播経路

隣接火災区画への火災伝播経路の詳細は、別紙1参照

6. 火災影響を受ける火災防護対象機器等

機器名称[機器番号]	最重要設備 [※]	最重要設備以外の安全上重要な施設 [※]
-	-	-

※ ○:対象 -:非対象

* 火災想定において、工程停止等により安全機能を必要としない状態へと移行が可能なもの。

7. 火災防護対象機器等の関連ケーブル

機器名称[機器番号]	ケーブル種別	安重分類
-	-	-

8. 最重要設備の安重機能への火災影響

安重分類	全焼時の 成功パスの 有無	回路評価 等の考慮	結果	系統分離※
Pu・高レベル廃棄物の閉じ込め機能	-	-	-	-
崩壊熱除去機能(重要度の高いもの)	-	-	-	-
安全圧縮空気系(水素掃気機能)	-	-	-	-
非常用所内電源系統	-	-	-	-

※ a : 3時間以上の耐火能力を有する耐火壁で分離

b : 水平距離6mによる分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置

c : 1時間の耐火能力を有する隔壁等による分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置
再処理施設成功パスの詳細は、別紙2参照

9. 最重要設備以外の火災防護対象機器等への火災影響

機器名称[機器番号]	当該区画の火災評価※	隣接区画の火災評価※
-	-	-

※ ○:火災影響なし ×:火災影響あり

隣接する火災区画と火災伝播経路

(※ 有:伝播する 無:伝播しない)

隣接する 火災区画	火災伝播 経路有無	等価時間 (h)	耐火時間 (h)	火災伝播の 可能性 ※	備考
	無	0.5	3.0	無	
	有	0.5	0.0	有	
	無	0.5	3.0	無	
	有	0.5	0.0	有	
	有	0.5	0.0	有	
	有	0.5	0.0	有	
	無	0.5	3.0	無	
	無	0.5	3.0	無	

火災区域(区画)特性表

1. 火災区域(区画)の説明

建屋名	精製建屋
火災区域/区画区分	火災区画
火災区域/区画番号	■
火災区域/区画名称	蒸気分配第4室
床面積(m ²)	■

2. 火災区域(区画)の火災シナリオの説明

■は、精製建屋内の火災区画である。
 本区画は、火災源となるものがないおよび安全上重要な施設が設置されていないため、安全機能の喪失のおそれはない。

3. 火災区域(区画)にある火災源

(1) 等価時間

発熱量(kJ)	火災荷重(kJ/m ²)	等価時間(h) [※]
■	■	0.0

※ 等価時間は、内部火災影響評価ガイドの等価時間記載の値で示す。

(2) 火災区域(区画)にある火災源機器数

火災源	機器数
電動機(3.7kW超)	-
電気盤(440V以上)	-
ケーブルトレイ(ケーブル)	-
油脂類・有機溶媒等	-
その他	-

4. 火災区域(区画)にある防火設備

火災感知の手段	主要な消火設備	消火方法	消火設備のバックアップ
煙感知器	屋内消火栓	手動	粉末消火器

5. 火災区域(区画)に隣接する火災区域(区画)と火災伝播経路

隣接火災区画への火災伝播経路の詳細は、別紙1参照

6. 火災影響を受ける火災防護対象機器等

機器名称[機器番号]	最重要設備 [※]	最重要設備以外の安全上重要な施設 [※]
-	-	-

※ ○:対象 -:非対象

* 火災想定において、工程停止等により安全機能を必要としない状態へと移行が可能なもの。

7. 火災防護対象機器等の関連ケーブル

機器名称[機器番号]	ケーブル種別	安重分類
-	-	-

8. 最重要設備の安重機能への火災影響

安重分類	全焼時の成功パスの有無	回路評価等の考慮	結果	系統分離※
Pu・高レベル廃棄物の閉じ込め機能	-	-	-	-
崩壊熱除去機能(重要度の高いもの)	-	-	-	-
安全圧縮空気系(水素掃気機能)	-	-	-	-
非常用所内電源系統	-	-	-	-

※ a : 3時間以上の耐火能力を有する耐火壁で分離

b : 水平距離6mによる分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置

c : 1時間の耐火能力を有する隔壁等による分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置
再処理施設成功パスの詳細は、別紙2参照

9. 最重要設備以外の火災防護対象機器等への火災影響

機器名称[機器番号]	当該区画の火災評価※	隣接区画の火災評価※
-	-	-

※ ○:火災影響なし ×:火災影響あり

隣接する火災区画と火災伝播経路

(※ 有:伝播する 無:伝播しない)

隣接する 火災区画	火災伝播 経路有無	等価時間 (h)	耐火時間 (h)	火災伝播の 可能性 ※	備考
	有	0.0	0.0	無	
	有	0.0	0.0	無	
	有	0.0	0.0	無	
	有	0.0	0.0	無	
	無	0.0	3.0	無	
	有	0.0	0.0	無	
	有	0.0	0.0	無	
	無	0.0	3.0	無	

火災区域(区画)特性表

1. 火災区域(区画)の説明

建屋名	精製建屋
火災区域/区画区分	火災区画
火災区域/区画番号	■
火災区域/区画名称	第13サブチェンジングルーム
床面積(m ²)	■

2. 火災区域(区画)の火災シナリオの説明

■は、精製建屋内の火災区画である。
 本区画は、電気盤火災の発生可能性があるが、安全上重要な施設が設置されていないため、安全機能の喪失のおそれはない。

3. 火災区域(区画)にある火災源

(1) 等価時間

発熱量(kJ)	火災荷重(kJ/m ²)	等価時間(h) [※]
■	■	0.5

※ 等価時間は、内部火災影響評価ガイドの等価時間記載の値で示す。

(2) 火災区域(区画)にある火災源機器数

火災源	機器数
電動機(3.7kW超)	-
電気盤(440V以上)	1
ケーブルトレイ(ケーブル)	-
油脂類・有機溶媒等	-
その他	-

4. 火災区域(区画)にある防火設備

火災感知の手段	主要な消火設備	消火方法	消火設備のバックアップ
煙感知器	屋内消火栓	手動	粉末消火器

5. 火災区域(区画)に隣接する火災区域(区画)と火災伝播経路 隣接火災区画への火災伝播経路の詳細は、別紙1参照

6. 火災影響を受ける火災防護対象機器等

機器名称[機器番号]	最重要設備 [※]	最重要設備以外の安全上重要な施設 [※]
-	-	-

※ ○:対象 -:非対象

* 火災想定において、工程停止等により安全機能を必要としない状態へと移行が可能なもの。

7. 火災防護対象機器等の関連ケーブル

機器名称[機器番号]	ケーブル種別	安重分類
-	-	-

8. 最重要設備の安重機能への火災影響

安重分類	全焼時の成功パスの有無	回路評価等の考慮	結果	系統分離※
Pu・高レベル廃棄物の閉じ込め機能	-	-	-	-
崩壊熱除去機能(重要度の高いもの)	-	-	-	-
安全圧縮空気系(水素掃気機能)	-	-	-	-
非常用所内電源系統	-	-	-	-

※ a : 3時間以上の耐火能力を有する耐火壁で分離

b : 水平距離6mによる分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置

c : 1時間の耐火能力を有する隔壁等による分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置
再処理施設成功パスの詳細は、別紙2参照

9. 最重要設備以外の火災防護対象機器等への火災影響

機器名称[機器番号]	当該区画の火災評価※	隣接区画の火災評価※
-	-	-

※ ○:火災影響なし ×:火災影響あり

隣接する火災区画と火災伝播経路

(※ 有:伝播する 無:伝播しない)

隣接する 火災区画	火災伝播 経路有無	等価時間 (h)	耐火時間 (h)	火災伝播の 可能性 ※	備考
	無	0.5	3.0	無	
	有	0.5	0.0	有	
	無	0.5	3.0	無	
	有	0.5	0.0	有	
	有	0.5	0.0	有	
	有	0.5	0.0	有	
	有	0.5	0.0	有	

火災区域(区画)特性表

1. 火災区域(区画)の説明

建屋名	精製建屋
火災区域/区画区分	火災区画
火災区域/区画番号	■
火災区域/区画名称	試薬分配第1室
床面積(m ²)	■

2. 火災区域(区画)の火災シナリオの説明

■は、精製建屋内の火災区画である。
 本区画は、火災源となるものがないおよび安全上重要な施設が設置されていないため、安全機能の喪失のおそれはない。

3. 火災区域(区画)にある火災源

(1) 等価時間

発熱量(kJ)	火災荷重 (kJ/m ²)	等価時間(h) [※]
■	■	0.0

※ 等価時間は、内部火災影響評価ガイドの等価時間記載の値で示す。

(2) 火災区域(区画)にある火災源機器数

火災源	機器数
電動機(3.7kW超)	-
電気盤(440V以上)	-
ケーブルトレイ(ケーブル)	-
油脂類・有機溶媒等	-
その他	-

4. 火災区域(区画)にある防火設備

火災感知の手段	主要な消火設備	消火方法	消火設備のバックアップ
煙感知器	屋内消火栓	手動	粉末消火器

5. 火災区域(区画)に隣接する火災区域(区画)と火災伝播経路

隣接火災区画への火災伝播経路の詳細は、別紙1参照

6. 火災影響を受ける火災防護対象機器等

機器名称[機器番号]	最重要設備 [※]	最重要設備以外の安全上重要な施設 [※]
-	-	-

※ ○:対象 -:非対象

* 火災想定において、工程停止等により安全機能を必要としない状態へと移行が可能なもの。

7. 火災防護対象機器等の関連ケーブル

機器名称[機器番号]	ケーブル種別	安重分類
-	-	-

8. 最重要設備の安重機能への火災影響

安重分類	全焼時の成功パスの有無	回路評価等の考慮	結果	系統分離※
Pu・高レベル廃棄物の閉じ込め機能	-	-	-	-
崩壊熱除去機能(重要度の高いもの)	-	-	-	-
安全圧縮空気系(水素掃気機能)	-	-	-	-
非常用所内電源系統	-	-	-	-

※ a : 3時間以上の耐火能力を有する耐火壁で分離

b : 水平距離6mによる分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置

c : 1時間の耐火能力を有する隔壁等による分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置
再処理施設成功パスの詳細は、別紙2参照

9. 最重要設備以外の火災防護対象機器等への火災影響

機器名称[機器番号]	当該区画の火災評価※	隣接区画の火災評価※
-	-	-

※ ○:火災影響なし ×:火災影響あり

隣接する火災区画と火災伝播経路

(※ 有:伝播する 無:伝播しない)

隣接する 火災区画	火災伝播 経路有無	等価時間 (h)	耐火時間 (h)	火災伝播の 可能性 ※	備考
	無	0.0	3.0	無	
	有	0.0	0.0	無	
	無	0.0	3.0	無	
	有	0.0	0.0	無	
	有	0.0	0.0	無	
	無	0.0	3.0	無	
	有	0.0	0.0	無	
	有	0.0	0.0	無	
	有	0.0	0.0	無	
	有	0.0	0.0	無	
	有	0.0	0.0	無	
	有	0.0	0.0	無	

火災区域(区画)特性表

1. 火災区域(区画)の説明

建屋名	精製建屋
火災区域/区画区分	火災区画
火災区域/区画番号	■
火災区域/区画名称	試薬分配第2室
床面積(m ²)	■

2. 火災区域(区画)の火災シナリオの説明

■は、精製建屋内の火災区画である。
 本区画は、火災源となるものがないおよび安全上重要な施設が設置されていないため、安全機能の喪失のおそれはない。

3. 火災区域(区画)にある火災源

(1) 等価時間

発熱量(kJ)	火災荷重 (kJ/m ²)	等価時間(h) [※]
■	■	0.5

※ 等価時間は、内部火災影響評価ガイドの等価時間記載の値で示す。

(2) 火災区域(区画)にある火災源機器数

火災源	機器数
電動機(3.7kW超)	-
電気盤(440V以上)	-
ケーブルトレイ(ケーブル)	-
油脂類・有機溶媒等	-
その他	-

4. 火災区域(区画)にある防火設備

火災感知の手段	主要な消火設備	消火方法	消火設備のバックアップ
煙感知器	屋内消火栓	手動	粉末消火器

5. 火災区域(区画)に隣接する火災区域(区画)と火災伝播経路 隣接火災区画への火災伝播経路の詳細は、別紙1参照

6. 火災影響を受ける火災防護対象機器等

機器名称[機器番号]	最重要設備 [※]	最重要設備以外の安全上重要な施設 [※]
-	-	-

※ ○:対象 -:非対象

* 火災想定において、工程停止等により安全機能を必要としない状態へと移行が可能なもの。

7. 火災防護対象機器等の関連ケーブル

機器名称[機器番号]	ケーブル種別	安重分類
-	-	-

8. 最重要設備の安重機能への火災影響

安重分類	全焼時の成功パスの有無	回路評価等の考慮	結果	系統分離※
Pu・高レベル廃棄物の閉じ込め機能	-	-	-	-
崩壊熱除去機能(重要度の高いもの)	-	-	-	-
安全圧縮空気系(水素掃気機能)	-	-	-	-
非常用所内電源系統	-	-	-	-

※ a : 3時間以上の耐火能力を有する耐火壁で分離

b : 水平距離6mによる分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置

c : 1時間の耐火能力を有する隔壁等による分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置
再処理施設成功パスの詳細は、別紙2参照

9. 最重要設備以外の火災防護対象機器等への火災影響

機器名称[機器番号]	当該区画の火災評価※	隣接区画の火災評価※
-	-	-

※ ○:火災影響なし ×:火災影響あり

隣接する火災区画と火災伝播経路

(※ 有:伝播する 無:伝播しない)

隣接する 火災区画	火災伝播 経路有無	等価時間 (h)	耐火時間 (h)	火災伝播の 可能性 ※	備考
	無	0.5	3.0	無	
	無	0.5	3.0	無	
	無	0.5	3.0	無	
	有	0.5	0.0	有	
	有	0.5	0.0	有	
	有	0.5	0.0	有	
	有	0.5	0.0	有	

火災区域(区画)特性表

1. 火災区域(区画)の説明

建屋名	精製建屋
火災区域/区画区分	火災区画
火災区域/区画番号	■
火災区域/区画名称	圧縮空気分配第6室
床面積(m ²)	■

2. 火災区域(区画)の火災シナリオの説明

■は、精製建屋内の火災区画である。
 本区画は、火災源となるものがないおよび安全上重要な施設が設置されていないため、安全機能の喪失のおそれはない。

3. 火災区域(区画)にある火災源

(1) 等価時間

発熱量(kJ)	火災荷重 (kJ/m ²)	等価時間(h) [※]
■	■	0.5

※ 等価時間は、内部火災影響評価ガイドの等価時間記載の値で示す。

(2) 火災区域(区画)にある火災源機器数

火災源	機器数
電動機(3.7kW超)	-
電気盤(440V以上)	-
ケーブルトレイ(ケーブル)	-
油脂類・有機溶媒等	-
その他	-

4. 火災区域(区画)にある防火設備

火災感知の手段	主要な消火設備	消火方法	消火設備のバックアップ
煙感知器	屋内消火栓	手動	粉末消火器

5. 火災区域(区画)に隣接する火災区域(区画)と火災伝播経路

隣接火災区画への火災伝播経路の詳細は、別紙1参照

6. 火災影響を受ける火災防護対象機器等

機器名称[機器番号]	最重要設備 [※]	最重要設備以外の安全上重要な施設 [※]
-	-	-

※ ○:対象 -:非対象

* 火災想定において、工程停止等により安全機能を必要としない状態へと移行が可能なもの。

7. 火災防護対象機器等の関連ケーブル

機器名称[機器番号]	ケーブル種別	安重分類
-	-	-

8. 最重要設備の安重機能への火災影響

安重分類	全焼時の 成功パスの 有無	回路評価 等の考慮	結果	系統分離※
Pu・高レベル廃棄物の閉じ込め機能	-	-	-	-
崩壊熱除去機能(重要度の高いもの)	-	-	-	-
安全圧縮空気系(水素掃気機能)	-	-	-	-
非常用所内電源系統	-	-	-	-

※ a : 3時間以上の耐火能力を有する耐火壁で分離

b : 水平距離6mによる分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置

c : 1時間の耐火能力を有する隔壁等による分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置
再処理施設成功パスの詳細は、別紙2参照

9. 最重要設備以外の火災防護対象機器等への火災影響

機器名称[機器番号]	当該区画の火災評価※	隣接区画の火災評価※
-	-	-

※ ○:火災影響なし ×:火災影響あり

隣接する火災区画と火災伝播経路

(※ 有:伝播する 無:伝播しない)

隣接する 火災区画	火災伝播 経路有無	等価時間 (h)	耐火時間 (h)	火災伝播の 可能性 ※	備考
	無	0.5	3.0	無	
	無	0.5	3.0	無	
	有	0.5	0.0	有	
	有	0.5	0.0	有	
	有	0.5	0.0	有	
	有	0.5	0.0	有	
	有	0.5	0.0	有	
	有	0.5	0.0	有	
	有	0.5	0.0	有	
	無	0.5	3.0	無	

火災区域(区画)特性表

1. 火災区域(区画)の説明

建屋名	精製建屋
火災区域/区画区分	火災区画
火災区域/区画番号	■
火災区域/区画名称	非常用出口第1室
床面積(m ²)	■

2. 火災区域(区画)の火災シナリオの説明

■は、精製建屋内の火災区画である。
 本区画の火災源は、ケーブルトレイである。
 したがって、本区画の想定火災としては、ケーブルトレイ火災により、安全上重要な施設のB系の設備(6.火災影響を受ける火災防護対象機器等 参照)が火災影響を受け、安全機能が喪失するおそれがあるが、多重化された安全上重要な施設の片系のみ機能喪失であるため、安全機能が完全に喪失することはない。

3. 火災区域(区画)にある火災源

(1) 等価時間

発熱量(kJ)	火災荷重(kJ/m ²)	等価時間(h) [※]
■	■	1.5

※ 等価時間は、内部火災影響評価ガイドの等価時間記載の値で示す。

(2) 火災区域(区画)にある火災源機器数

火災源	機器数
電動機(3.7kW超)	-
電気盤(440V以上)	-
ケーブルトレイ(ケーブル)	有
油脂類・有機溶媒等	-
その他	-

4. 火災区域(区画)にある防火設備

火災感知の手段	主要な消火設備	消火方法	消火設備のバックアップ
煙感知器 熱感知器	ハロゲン化物消火設備(全域)	自動	二酸化炭素消火器

5. 火災区域(区画)に隣接する火災区域(区画)と火災伝播経路

隣接火災区画への火災伝播経路の詳細は、別紙1参照

6. 火災影響を受ける火災防護対象機器等

機器名称[機器番号]	最重要設備 [※]	最重要設備以外の安全上重要な施設 [※]
安重ケーブルトレイ[B系]	○	○

※ ○:対象 -:非対象

* 火災想定において、工程停止等により安全機能を必要としない状態へと移行が可能なもの。

7. 火災防護対象機器等の関連ケーブル

機器名称[機器番号]	ケーブル種別	安重分類
グローブボックス・セル排風機B []	制御、動力(低圧)	Pu・高レベルの廃棄物の閉じ込め機能
460V非常用パワーセンタB[AC-P/C-B]	動力(低圧)	非常用所内電源系統
安全冷却水BポンプA []	制御、動力(低圧)	崩壊熱除去機能(重要度の高いもの)
安全冷却水BポンプB []	制御、動力(低圧)	崩壊熱除去機能(重要度の高いもの)
排風機B []	制御、動力(低圧)	Pu・高レベルの廃棄物の閉じ込め機能
排風機B []	制御、動力(低圧)	Pu・高レベルの廃棄物の閉じ込め機能
460V非常用コントロールセンタB1[AC-MCC-B1]	動力(低圧)	非常用所内電源系統
460V非常用コントロールセンタB2[AC-MCC-B2]	制御、動力(低圧)	非常用所内電源系統

8. 最重要設備の安重機能への火災影響

安重分類	全焼時の成功パスの有無	回路評価等の考慮	結果	系統分離 [※]
Pu・高レベル廃棄物の閉じ込め機能	有	-	○	-
崩壊熱除去機能(重要度の高いもの)	有	-	○	-
安全圧縮空気系(水素掃気機能)	-	-	-	-
非常用所内電源系統	有	-	○	-

※ a: 3時間以上の耐火能力を有する耐火壁で分離

b: 水平距離6mによる分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置

c: 1時間の耐火能力を有する隔壁等による分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置
再処理施設成功パスの詳細は、別紙2参照

9. 最重要設備以外の火災防護対象機器等への火災影響

機器名称[機器番号]	当該区画の火災評価 [※]	隣接区画の火災評価 [※]
-	-	-

※ ○:火災影響なし ×:火災影響あり

隣接する火災区画と火災伝播経路

(※ 有:伝播する 無:伝播しない)

隣接する 火災区画	火災伝播 経路有無	等価時間 (h)	耐火時間 (h)	火災伝播の 可能性 ※	備考
	無	1.5	3.0	無	
	無	1.5	3.0	無	
	無	1.5	3.0	無	
	無	1.5	3.0	無	
	無	1.5	3.0	無	

再処理施設成功パス一覧表

建屋	精製建屋	非常用出口第1室
区域(区画)番号/名称		
1.放射性物質の閉じ込め機能(動的な閉じ込め機能)		
	【Aトレン設備】	【Bトレン設備】
前処理建屋 せん断処理・溶解廃ガス処理設備	排風機A	前処理建屋 せん断処理・溶解廃ガス処理設備
	排風機C	排風機B
前処理建屋 塔槽類廃ガス処理設備	排風機A	前処理建屋 塔槽類廃ガス処理設備
	排風機A	排風機B
前処理建屋換気設備 溶解セル等からの排気系	セル排風機A	前処理建屋換気設備 溶解セル等からの排気系
	溶解槽セルA排風機A	セル排風機B
	溶解槽セルB排風機A	溶解槽セルA排風機B
高レベル廃液ガラス固化建屋 高レベル廃液ガラス固化廃ガス処理設備	第1排風機A	高レベル廃液ガラス固化建屋 高レベル廃液ガラス固化廃ガス処理設備
	第2排風機A	第1排風機B
高レベル廃液ガラス固化建屋 塔槽類廃ガス処理設備 高レベル濃縮廃液廃ガス処理系	排風機A	高レベル廃液ガラス固化建屋 塔槽類廃ガス処理設備 高レベル濃縮廃液廃ガス処理系
	排風機A	排風機B
高レベル廃液ガラス固化建屋 塔槽類廃ガス処理設備 不溶解残渣廃液廃ガス処理系	排風機A	高レベル廃液ガラス固化建屋 塔槽類廃ガス処理設備 不溶解残渣廃液廃ガス処理系
	排風機A	排風機B
高レベル濃縮廃液貯槽セル等からの排気系 固化セル換気系及び固化セル圧力放出系	セル排風機A	高レベル濃縮廃液貯槽セル等からの排気系 固化セル換気系及び固化セル圧力放出系
	固化セル換気系排風機A	セル排風機B
分離建屋 塔槽類廃ガス処理設備 パルセータ廃ガス処理系	排風機A	分離建屋 塔槽類廃ガス処理設備 パルセータ廃ガス処理系
	排風機A	排風機B
分離建屋 塔槽類廃ガス処理設備 塔槽類廃ガス処理系	排風機A	分離建屋 塔槽類廃ガス処理設備 塔槽類廃ガス処理系
	排風機A	排風機B
分離建屋換気設備 プルトニウム溶液中間貯槽セル等からの排気系	グローブボックス・セル排風機A	分離建屋換気設備 プルトニウム溶液中間貯槽セル等からの排気系
	グローブボックス・セル排風機A	グローブボックス・セル排風機B
精製建屋 塔槽類廃ガス処理設備 パルセータ廃ガス処理系	排風機A	精製建屋 塔槽類廃ガス処理設備 パルセータ廃ガス処理系
	排風機A	× 排風機B
精製建屋 塔槽類廃ガス処理設備 塔槽類廃ガス処理系(プルトニウム系)	排風機A	× 排風機B
	排風機A	精製建屋換気設備 プルトニウム濃縮セル等及びグローブボックス等からの排気系
精製建屋換気設備 プルトニウム濃縮セル等及びグローブボックス等からの排気系	グローブボックス・セル排風機A	× グローブボックス・セル排風機B
	グローブボックス・セル排風機A	ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋 塔槽類廃ガス処理設備
ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋 塔槽類廃ガス処理設備	第1排風機A	
	第2排風機A	第1排風機B
	第2排風機C	第2排風機B
ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋 硝酸プルトニウム貯槽セル等及びグローブボックス等からの排気系	グローブボックス・セル排風機A	ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋 硝酸プルトニウム貯槽セル等及びグローブボックス等からの排気系
	グローブボックス・セル排風機C	グローブボックス・セル排風機B
		×
1パス	○	
回路評価等	-	
成功パス	○	

凡例	
×	○○○○-○○ ○○○A
	○○○○-○○ ○○○○A
× : 当該室の火災により安全機能を喪失する機器がある場合 空欄 : 当該室に設置していない機器	
1パス	- : 当該室に対象なし ○ : 当該室の火災により対応する安全機能が1系統残る場合 × : 当該室の火災により対応する安全機能がすべて喪失する場合
回路評価等	- : 当該室に回路評価等を行う対象なし ○ : 回路評価等により、対応する安全機能が確保される場合
成功パス	- : 当該室に対象なし ○ : 当該室の火災により対応する安全機能が1系統残る場合 × : 当該室の火災により対応する安全機能がすべて喪失する場合

再処理施設成功パス一覧表

2.崩壊熱除去機能			
		【Aトレ設備】	【Bトレ設備】
冷却設備	安全冷却水系		冷却設備 安全冷却水系
	安全冷却水A冷却塔		安全冷却水B冷却塔
前処理建屋	冷却設備 安全冷却水系		前処理建屋 冷却設備 安全冷却水系
	安全冷却水A循環ポンプA		安全冷却水B循環ポンプA
	安全冷却水A循環ポンプB		安全冷却水B循環ポンプB
	安全冷却水1AポンプA		安全冷却水1BポンプA
	安全冷却水1AポンプB		安全冷却水1BポンプB
分離建屋	冷却設備 安全冷却水系		分離建屋 冷却設備 安全冷却水系
	冷却水循環ポンプA		冷却水循環ポンプC
	冷却水循環ポンプB		冷却水循環ポンプD
	安全冷却水1AポンプA		安全冷却水1BポンプA
	安全冷却水1AポンプB		安全冷却水1BポンプB
精製建屋	冷却設備 安全冷却水系		精製建屋 冷却設備 安全冷却水系
	安全冷却水AポンプA	×	安全冷却水BポンプA
	安全冷却水AポンプB	×	安全冷却水BポンプB
ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋	冷却設備 安全冷却水系		ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋 冷却設備 安全冷却水系
	冷水移送ポンプA		冷水移送ポンプC
	冷水移送ポンプB		冷水移送ポンプD
高レベル廃液ガラス固化建屋	冷却設備 安全冷却水系		高レベル廃液ガラス固化建屋 冷却設備 安全冷却水系
	第1高レベル濃縮廃液貯槽冷却水AポンプA		第1高レベル濃縮廃液貯槽冷却水BポンプA
	第1高レベル濃縮廃液貯槽冷却水AポンプB		第1高レベル濃縮廃液貯槽冷却水BポンプB
	第2高レベル濃縮廃液貯槽冷却水AポンプA		第2高レベル濃縮廃液貯槽冷却水BポンプA
	第2高レベル濃縮廃液貯槽冷却水AポンプB		第2高レベル濃縮廃液貯槽冷却水BポンプB
	安全冷却水A系ポンプA		安全冷却水B系ポンプA
	安全冷却水A系ポンプB		安全冷却水B系ポンプB
	高レベル廃液共用貯槽冷却水AポンプA		高レベル廃液共用貯槽冷却水BポンプA
	高レベル廃液共用貯槽冷却水AポンプB		高レベル廃液共用貯槽冷却水BポンプB
	安全冷却水A系ポンプA		安全冷却水B系ポンプA
	安全冷却水A系ポンプB		安全冷却水B系ポンプB
	安全冷水A冷却器冷媒膨張弁A		安全冷水B冷却器冷媒膨張弁A
	安全冷水A冷却器冷媒膨張弁B		安全冷水B冷却器冷媒膨張弁B
	安全冷水A冷却器冷媒止弁A		安全冷水B冷却器冷媒止弁A
	安全冷水A冷却器冷媒止弁B		安全冷水B冷却器冷媒止弁B
	安全冷却水1AポンプA		安全冷却水1BポンプA
	安全冷却水1AポンプB		安全冷却水1BポンプB
	安全冷水AポンプA		安全冷水BポンプA
	安全冷水AポンプB		安全冷水BポンプB
	安全冷水A冷凍機		安全冷水B冷凍機
	スクルー圧縮機		スクルー圧縮機
	スクルー圧縮機		スクルー圧縮機
ウラン・プルトニウム混合酸化物貯蔵建屋換気設備貯蔵室排気系			ウラン・プルトニウム混合酸化物貯蔵建屋換気設備貯蔵室排気系
	貯蔵室排風機A		貯蔵室排風機C
	貯蔵室排風機B		貯蔵室排風機D
-			×
	1パス	○	
	回路評価等	-	
	成功パス	○	

3.安全圧縮空気系(水素掃気機能)			
		【Aトレ設備】	【Bトレ設備】
安全圧縮空気系			安全圧縮空気系
	安全空気圧縮装置A		安全空気圧縮装置B
	安全空気圧縮装置C		安全空気圧縮装置C
-			
	1パス	-	
	回路評価等	-	
	成功パス	-	

再処理施設成功パス一覧表

4.非常用所内電源系統(支援機能)		【Aトレン設備】	【Bトレン設備】
非常用電源建屋冷却水設備			
	8111A-C20 冷却塔A		8111B-C20 冷却塔B
	8111A-P2010 冷却水循環ポンプA		8111B-P2010 冷却水循環ポンプB
非常用電源建屋の電気設備			
	GA-M/C-A 6.9kV非常用メタクラA		GA-M/C-B 6.9kV非常用メタクラB
	GA-MCC-A 460V非常用コントロールセンタA		GA-MCC-B 460V非常用コントロールセンタB
	8111A-X10 ディーゼル機関A		8111B-X10 ディーゼル機関B
	8111A-X11 同期発電機A		8111B-X11 同期発電機B
	8111A-P4011 燃料油移送ポンプA		8111B-P4011 燃料油移送ポンプB
	GA-BAT-A 110V第2非常用蓄電池A		GA-BAT-B 110V第2非常用蓄電池B
	GA-CHG-A 110V非常用充電器盤A		GA-CHG-B 110V非常用充電器盤B
	GA-DCD-A 110V非常用直流主分電盤A		GA-DCD-B 110V非常用直流主分電盤B
	GA-CHG-E 110V非常用予備充電器盤E		GA-CHG-E 110V非常用予備充電器盤E
	GA-E-K011A 非常用電気設備リレー盤A1		GA-E-K013B 非常用電気設備リレー盤B1
	GA-E-K012A 非常用電気設備リレー盤A2		GA-E-K014B 非常用電気設備リレー盤B2
	8111A-V40 燃料油貯蔵タンク1A		8111B-V40 燃料油貯蔵タンク1B
	8111A-V41 燃料油貯蔵タンク2A		8111B-V41 燃料油貯蔵タンク2B
	GA-E-M011A 第2非常用ディーゼル発電機A制御盤		GA-E-M012B 第2非常用ディーゼル発電機B制御盤
	GA-PTR-A 非常用動力用変圧器A		GA-PTR-B 非常用動力用変圧器B
	8111A-V42 燃料油サービスタングA		8111B-V42 燃料油サービスタングB
	8111A-F4210 燃料油第1フィルタA		8111B-F4210 燃料油第1フィルタB
	8111A-F4230 燃料油第2フィルタA		8111B-F4230 燃料油第2フィルタB
	GA-E-S011A 第2非常用ディーゼル発電機ターニング現場盤A		GA-E-S012B 第2非常用ディーゼル発電機ターニング現場盤B
	GA-E-U011A 第2非常用ディーゼル発電機CT盤A		GA-E-U012B 第2非常用ディーゼル発電機CT盤B
	GA-I-K011A ユーティリティ工程 安全系A制御盤(リレー盤)		GA-I-K012B ユーティリティ工程 安全系B制御盤(リレー盤)
制御建屋の電気設備			
	AG-M/C-A 6.9kV非常用メタクラA		AG-M/C-B 6.9kV非常用メタクラB
	AG-P/C-A 460V非常用パワーセンタA		AG-P/C-B 460V非常用パワーセンタB
	AG-MCC-A1 460V非常用コントロールセンタA1		AG-MCC-B1 460V非常用コントロールセンタB1
	AG-MCC-A2 460V非常用コントロールセンタA2		AG-MCC-B2 460V非常用コントロールセンタB2
	AG-I-F201A 前処理建屋 安全系A監視制御盤		AG-I-F202B 前処理建屋 安全系B監視制御盤
	AG-I-F203A 分離建屋 安全系A監視制御盤		AG-I-F204B 分離建屋 安全系B監視制御盤
	AG-I-F205A 精製建屋 安全系A監視制御盤		AG-I-F206B 精製建屋 安全系B監視制御盤
	AG-I-F211A ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋 安全系A監視制御盤		AG-I-F212B ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋 安全系B監視制御盤
	AG-I-F213A 高レベル廃液ガラス固化建屋 安全系A監視制御盤		AG-I-F214B 高レベル廃液ガラス固化建屋 安全系B監視制御盤
	AG-BAT-A1 110V第2非常用蓄電池A1		AG-BAT-B1 110V第2非常用蓄電池B1
	AG-BAT-A2 220V第2非常用蓄電池A2		AG-BAT-B2 220V第2非常用蓄電池B2
	AG-CHG-A 110V非常用充電器盤A		AG-CHG-B 110V非常用充電器盤B
	AG-CHG-E 110V非常用予備充電器盤E		AG-CHG-E 110V非常用予備充電器盤E
	AG-DCD-A 110V非常用直流主分電盤A		AG-DCD-B 110V非常用直流主分電盤B
	AG-UPS-A 105V非常用無停電電源装置A		AG-UPS-B 105V非常用無停電電源装置B
	AG-UPD-A 105V非常用無停電交流主分電盤A		AG-UPD-B 105V非常用無停電交流主分電盤B
前処理建屋の電気設備			
	AA-M/C-A 6.9kV非常用メタクラA		AA-M/C-B 6.9kV非常用メタクラB
	AA-P/C-A 460V非常用パワーセンタA		AA-P/C-B 460V非常用パワーセンタB
	AA-MCC-A1 460V非常用コントロールセンタA1		AA-MCC-B1 460V非常用コントロールセンタB1
	AA-MCC-A2 460V非常用コントロールセンタA2		AA-MCC-B2 460V非常用コントロールセンタB2
	AA-MCC-A3 460V非常用コントロールセンタA3		
	AA-BAT-A 110V第2非常用蓄電池A		AA-BAT-B 110V第2非常用蓄電池B
	AA-CHG-A 110V非常用充電器盤A		AA-CHG-B 110V非常用充電器盤B
	AA-CHG-E 110V非常用予備充電器盤E		AA-CHG-E 110V非常用予備充電器盤E
	AA-DCD-A 110V非常用直流主分電盤A		AA-DCD-B 110V非常用直流主分電盤B
	AA-UPS-A 105V非常用無停電電源装置A		AA-UPS-B 105V非常用無停電電源装置B
	AA-UPD-A 105V非常用無停電交流主分電盤A		AA-UPD-B 105V非常用無停電交流主分電盤B
	AA-I-M171A 圧縮空気設備 安全空気脱湿装置A現場監視制御盤		AA-I-M172B 圧縮空気設備 安全空気脱湿装置B現場監視制御盤
	AA-I-M166A 圧縮空気設備 安全空気圧縮装置A現場監視制御盤		AA-I-M167B 圧縮空気設備 安全空気圧縮装置B現場監視制御盤
	AA-I-M176A 圧縮空気設備 安全空気圧縮装置C現場制御回路分離盤A		AA-I-M177B 圧縮空気設備 安全空気圧縮装置C現場制御回路分離盤B
	AA-I-M169C 圧縮空気設備 安全空気圧縮装置C現場制御電源切換盤		AA-I-M169C 圧縮空気設備 安全空気圧縮装置C現場制御電源切換盤
	AA-I-M168C 圧縮空気設備 安全空気圧縮装置C現場監視制御盤		AA-I-M168C 圧縮空気設備 安全空気圧縮装置C現場監視制御盤
	AA-I-K701A よう素除去工程排風機A制御盤		AA-I-K702B よう素除去工程排風機B制御盤
	AA-I-K703C よう素除去工程排風機C制御盤		AA-I-K703C よう素除去工程排風機C制御盤
	AA-I-X710C よう素除去工程 C系統電源切替盤		AA-I-X710C よう素除去工程 C系統電源切替盤
	AA-I-J012A ユーティリティ工程 安全系A制御盤1(リレー盤2)		AA-I-J062B ユーティリティ工程 安全系B制御盤1(リレー盤2)
	AA-I-J013A ユーティリティ工程 安全系A制御盤2(リレー盤3)		AA-I-J063B ユーティリティ工程 安全系B制御盤2(リレー盤3)
	AA-I-J031A よう素除去工程 安全系A制御盤1		AA-I-J081B よう素除去工程 安全系B制御盤1
	AA-I-J032A よう素除去工程 安全系A制御盤2		AA-I-J082B よう素除去工程 安全系B制御盤2
	AA-I-J033A よう素除去工程 安全系A制御盤3		AA-I-J083B よう素除去工程 安全系B制御盤3
	AA-LPD-A2 溶解槽セルA排風機A極数変換盤		AA-LPD-B2 溶解槽セルA排風機B極数変換盤
	AA-LPD-A3 溶解槽セルB排風機A極数変換盤		AA-LPD-B3 溶解槽セルB排風機B極数変換盤
	AA-LPD-A21 セル排風機A極数変換盤		AA-LPD-B21 セル排風機B極数変換盤
分離建屋の非常用所内電源系統			
	AB-P/C-A 460V非常用パワーセンタA		AB-P/C-B 460V非常用パワーセンタB
	AB-MCC-A 460V非常用コントロールセンタA		AB-MCC-B 460V非常用コントロールセンタB
	AB-CHG-A 110V非常用充電器盤A		AB-CHG-B 110V非常用充電器盤B
	AB-CHG-E 110V非常用予備充電器盤E		AB-CHG-E 110V非常用予備充電器盤E
	AB-BAT-A 110V第2非常用蓄電池A		AB-BAT-B 110V第2非常用蓄電池B
	AB-DCD-A 110V非常用直流主分電盤A		AB-DCD-B 110V非常用直流主分電盤B
	AB-UPS-A 105V非常用無停電電源装置A		AB-UPS-B 105V非常用無停電電源装置B
	AB-UPD-A1 105V非常用無停電交流主分電盤A1		AB-UPD-B1 105V非常用無停電交流主分電盤A1
	AB-UPD-A2 105V非常用無停電交流主分電盤A2		AB-UPD-B2 105V非常用無停電交流主分電盤A2
	AB-I-J180A ユーティリティ工程 安全系A制御盤1		AB-I-J183B ユーティリティ工程 安全系B制御盤1
	AB-I-J181A ユーティリティ工程 安全系A制御盤2		AB-I-J184B ユーティリティ工程 安全系B制御盤2
	AB-I-J182A ユーティリティ工程 安全系A制御盤3		AB-I-J185B ユーティリティ工程 安全系B制御盤3
	AB-I-J033A 分離・分配工程 安全系A制御盤1		AB-I-J036B 分離・分配工程 安全系B制御盤1
	AB-I-J034A 分離・分配工程 安全系A制御盤2		AB-I-J037B 分離・分配工程 安全系B制御盤2
	AB-I-J035A 分離・分配工程 安全系A制御盤3		AB-I-J038B 分離・分配工程 安全系B制御盤3
	AB-V-J100A 建屋換気設備 安全系A制御盤		AB-V-J101B 建屋換気設備 安全系B制御盤
	1パス	-	
	回路評価等	-	
	成功パス	-	

再処理施設成功パス一覧表

4. 支援機能(続き)		【Aトレン設備】		【Bトレン設備】	
精製建屋の電気設備				精製建屋の電気設備	
AC-BAT-A	110V第2非常用蓄電池A	AC-BAT-B	110V第2非常用蓄電池B	AC-BAT-B	110V第2非常用蓄電池B
AC-CHG-A	110V非常用充電器盤A	AC-CHG-B	110V非常用充電器盤B	AC-CHG-B	110V非常用充電器盤B
AC-CHG-E	110V非常用予備充電器盤E	AC-CHG-E	110V非常用予備充電器盤E	AC-CHG-E	110V非常用予備充電器盤E
AC-DCD-A	110V非常用直流主分電盤A	AC-DCD-B	110V非常用直流主分電盤B	AC-DCD-B	110V非常用直流主分電盤B
AC-MCC-A1	460V非常用コントロールセンタA1	×	AC-MCC-B1	460V非常用コントロールセンタB1	×
AC-MCC-A2	460V非常用コントロールセンタA2	×	AC-MCC-B2	460V非常用コントロールセンタB2	×
AC-P/C-A	460V非常用パワーセンタA	×	AC-P/C-B	460V非常用パワーセンタB	×
AC-UPD-A	105V非常用無停電交流主分電盤A	AC-UPD-B	105V非常用無停電交流主分電盤B	AC-UPD-B	105V非常用無停電交流主分電盤B
AC-UPS-A	105V非常用無停電電源装置A	AC-UPS-B	105V非常用無停電電源装置B	AC-UPS-B	105V非常用無停電電源装置B
AC-I-J450A	ユーティリティ工程 安全系A制御盤(計器盤)	AC-I-J460B	ユーティリティ工程 安全系B制御盤(計器盤)	AC-I-J460B	ユーティリティ工程 安全系B制御盤(計器盤)
AC-I-J451A	ユーティリティ工程 安全系A制御盤(リレー盤)	AC-I-J461B	ユーティリティ工程 安全系B制御盤(リレー盤)	AC-I-J461B	ユーティリティ工程 安全系B制御盤(リレー盤)
AC-E-J452A	非常用電気設備リレー盤A	AC-E-J462B	非常用電気設備リレー盤B	AC-E-J462B	非常用電気設備リレー盤B
AC-V-J453A	建屋換気設備安全系A制御盤	AC-V-J463B	建屋換気設備安全系B制御盤	AC-V-J463B	建屋換気設備安全系B制御盤
AC-I-J752A	プルトニウム精製工程 安全系A 制御盤3	AC-I-J755B	プルトニウム精製工程 安全系B 制御盤3	AC-I-J755B	プルトニウム精製工程 安全系B 制御盤3
ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋の非常用所内電源系統		ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋の非常用所内電源系統		ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋の非常用所内電源系統	
CA-P/C-A	460V非常用パワーセンタA	CA-P/C-B	460V非常用パワーセンタB	CA-P/C-B	460V非常用パワーセンタB
CA-MCC-A1	460V非常用コントロールセンタA1	CA-MCC-B1	460V非常用コントロールセンタB1	CA-MCC-B1	460V非常用コントロールセンタB1
CA-MCC-A2	460V非常用コントロールセンタA2	CA-MCC-B2	460V非常用コントロールセンタB2	CA-MCC-B2	460V非常用コントロールセンタB2
CA-M/C-A	6.9kV非常用メタクラA	CA-M/C-B	6.9kV非常用メタクラB	CA-M/C-B	6.9kV非常用メタクラB
CA-E-K503A	非常用電気設備リレー盤A	CA-E-K603B	非常用電気設備リレー盤B	CA-E-K603B	非常用電気設備リレー盤B
CA-I-J501A	安全系A制御盤	CA-I-J601B	安全系B制御盤	CA-I-J601B	安全系B制御盤
CA-V-J502A	建屋換気設備安全系A制御盤	CA-V-J602B	建屋換気設備安全系B制御盤	CA-V-J602B	建屋換気設備安全系B制御盤
CA-CHG-A	110V非常用充電器盤A	CA-CHG-B	110V非常用充電器盤B	CA-CHG-B	110V非常用充電器盤B
CA-CHG-E	110V非常用予備充電器盤E	CA-CHG-E	110V非常用予備充電器盤E	CA-CHG-E	110V非常用予備充電器盤E
CA-DCD-A	110V非常用直流主分電盤A	CA-DCD-B	110V非常用直流主分電盤B	CA-DCD-B	110V非常用直流主分電盤B
CA-UPD-A	105V非常用無停電交流主分電盤A	CA-UPD-B	105V非常用無停電交流主分電盤B	CA-UPD-B	105V非常用無停電交流主分電盤B
CA-UPS-A	105V非常用無停電電源装置A	CA-UPS-B	105V非常用無停電電源装置B	CA-UPS-B	105V非常用無停電電源装置B
CA-BAT-A	110V第2非常用蓄電池A	CA-BAT-B	110V第2非常用蓄電池B	CA-BAT-B	110V第2非常用蓄電池B
ウラン・プルトニウム混合酸化物貯蔵建屋の非常用所内電源系統		ウラン・プルトニウム混合酸化物貯蔵建屋の非常用所内電源系統		ウラン・プルトニウム混合酸化物貯蔵建屋の非常用所内電源系統	
CB-P/C-A	460V非常用パワーセンタA	CB-P/C-B	460V非常用パワーセンタB	CB-P/C-B	460V非常用パワーセンタB
CB-E-J101A	非常用電気設備リレー盤A	CB-E-J102B	非常用電気設備リレー盤B	CB-E-J102B	非常用電気設備リレー盤B
CA-V-J001A	建屋換気設備安全系A制御盤	CA-V-J002B	建屋換気設備安全系B制御盤	CA-V-J002B	建屋換気設備安全系B制御盤
CB-BAT-A	110V第2非常用蓄電池A	CB-BAT-B	110V第2非常用蓄電池B	CB-BAT-B	110V第2非常用蓄電池B
CB-CHG-A	110V非常用充電器盤A	CB-CHG-B	110V非常用充電器盤B	CB-CHG-B	110V非常用充電器盤B
CB-DCD-A	110V非常用直流主分電盤A	CB-DCD-B	110V非常用直流主分電盤B	CB-DCD-B	110V非常用直流主分電盤B
CB-MCC-A	460V非常用コントロールセンタA	CB-MCC-B	460V非常用コントロールセンタB	CB-MCC-B	460V非常用コントロールセンタB
CB-UPS-A	105V非常用無停電電源装置A	CB-UPS-B	105V非常用無停電電源装置B	CB-UPS-B	105V非常用無停電電源装置B
CB-CHG-E	110V非常用予備充電器盤E	CB-CHG-E	110V非常用予備充電器盤E	CB-CHG-E	110V非常用予備充電器盤E
高レベル廃液ガラス固化建屋の電気設備		高レベル廃液ガラス固化建屋の電気設備		高レベル廃液ガラス固化建屋の電気設備	
KA-P/C-A	460V非常用パワーセンタA	KA-P/C-B	460V非常用パワーセンタB	KA-P/C-B	460V非常用パワーセンタB
KA-BAT-A	110V第2非常用蓄電池A	KA-BAT-B	110V第2非常用蓄電池B	KA-BAT-B	110V第2非常用蓄電池B
KA-CHG-A	110V非常用充電器盤A	KA-CHG-B	110V非常用充電器盤B	KA-CHG-B	110V非常用充電器盤B
KA-CHG-E	110V非常用予備充電器盤E	KA-CHG-E	110V非常用予備充電器盤E	KA-CHG-E	110V非常用予備充電器盤E
KA-DCD-A	110V非常用直流主分電盤A	KA-DCD-B	110V非常用直流主分電盤B	KA-DCD-B	110V非常用直流主分電盤B
KA-UPS-A	105V非常用無停電電源装置A	KA-UPS-B	105V非常用無停電電源装置B	KA-UPS-B	105V非常用無停電電源装置B
KA-UPD-A	105V非常用無停電交流主分電盤A	KA-UPD-B	105V非常用無停電交流主分電盤B	KA-UPD-B	105V非常用無停電交流主分電盤B
KA-ACS-A	105V非常用計測交流電源盤A	KA-ACS-B	105V非常用計測交流電源盤B	KA-ACS-B	105V非常用計測交流電源盤B
KA-ACD-A	105V非常用計測交流主分電盤A	KA-ACD-B	105V非常用計測交流主分電盤B	KA-ACD-B	105V非常用計測交流主分電盤B
KA-MCC-A1	460V非常用コントロールセンタA1	KA-MCC-B1	460V非常用コントロールセンタB1	KA-MCC-B1	460V非常用コントロールセンタB1
KA-MCC-A2	460V非常用コントロールセンタA2	KA-MCC-B2	460V非常用コントロールセンタB2	KA-MCC-B2	460V非常用コントロールセンタB2
KA-I-K224A	高レベル廃液ガラス固化廃ガス処理設備第1排風機A安全系Aインバータ制御盤	KA-I-K225B	高レベル廃液ガラス固化廃ガス処理設備第1排風機B安全系Bインバータ制御盤	KA-I-K225B	高レベル廃液ガラス固化廃ガス処理設備第1排風機B安全系Bインバータ制御盤
KA-I-K226A	高レベル廃液ガラス固化廃ガス処理設備第2排風機A安全系Aインバータ制御盤	KA-I-K227B	高レベル廃液ガラス固化廃ガス処理設備第2排風機B安全系Bインバータ制御盤	KA-I-K227B	高レベル廃液ガラス固化廃ガス処理設備第2排風機B安全系Bインバータ制御盤
KA-I-K073A	固化セル換気系排風機A安全系Aインバータ制御盤	KA-I-K074B	固化セル換気系排風機B安全系Bインバータ制御盤	KA-I-K074B	固化セル換気系排風機B安全系Bインバータ制御盤
KA-E-K001A	非常用電気設備リレー盤A	KA-E-K002B	非常用電気設備リレー盤B	KA-E-K002B	非常用電気設備リレー盤B
KA-I-J501A	高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系A制御盤1	KA-I-J521B	高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系B制御盤1	KA-I-J521B	高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系B制御盤1
KA-I-J502A	高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系A制御盤2	KA-I-J522B	高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系B制御盤2	KA-I-J522B	高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系B制御盤2
KA-I-J503A	高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系A制御盤3	KA-I-J523B	高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系B制御盤3	KA-I-J523B	高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系B制御盤3
KA-I-J504A	高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系A制御盤4	KA-I-J524B	高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系B制御盤4	KA-I-J524B	高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系B制御盤4
KA-I-J505A	高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系A制御盤5	KA-I-J525B	高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系B制御盤5	KA-I-J525B	高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系B制御盤5
KA-I-J506A	高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系A制御盤6	KA-I-J526B	高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系B制御盤6	KA-I-J526B	高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系B制御盤6
KA-I-J507A	高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系A制御盤7	KA-I-J527B	高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系B制御盤7	KA-I-J527B	高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系B制御盤7
KA-I-J508A	高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系A制御盤8	KA-I-J528B	高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系B制御盤8	KA-I-J528B	高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系B制御盤8
KA-I-J511A	安全系A アレスタ盤	KA-I-J531B	安全系B アレスタ盤	KA-I-J531B	安全系B アレスタ盤
KA-I-J512A	高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系A制御盤(リレー盤1)	KA-I-J532B	高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系B制御盤(リレー盤1)	KA-I-J532B	高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系B制御盤(リレー盤1)
KA-I-J513A	高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系A制御盤(リレー盤2)	KA-I-J533B	高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系B制御盤(リレー盤2)	KA-I-J533B	高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系B制御盤(リレー盤2)
KA-I-J514A	高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系A制御盤(リレー盤3)	KA-I-J534B	高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系B制御盤(リレー盤3)	KA-I-J534B	高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系B制御盤(リレー盤3)
KA-I-M331A	冷凍機 安全系A監視制御盤	KA-I-M322B	冷凍機 安全系B監視制御盤	KA-I-M322B	冷凍機 安全系B監視制御盤
KA-I-K334A	冷却水・冷水設備 安全系A 制御盤1	KA-I-K338B	冷却水・冷水設備 安全系B 制御盤1	KA-I-K338B	冷却水・冷水設備 安全系B 制御盤1
KA-I-K335A	冷却水・冷水設備 安全系A 制御盤2	KA-I-K339B	冷却水・冷水設備 安全系B 制御盤2	KA-I-K339B	冷却水・冷水設備 安全系B 制御盤2
-		×			
1パス					
回路評価等					
成功パス					

火災区域(区画)特性表

1. 火災区域(区画)の説明

建屋名	精製建屋
火災区域/区画区分	火災区域
火災区域/区画番号	AC-6/
火災区域/区画名称	非常用B電気品室
床面積(m ²)	

2. 火災区域(区画)の火災シナリオの説明

AC-6は、精製建屋内の火災区域である。
 本区画の火災源は、電気盤または、ケーブルトレイである。
 したがって、本区画の想定火災としては、電気盤火災および、ケーブルトレイ火災により、安全上重要な施設のB系の設備(6.火災影響を受ける火災防護対象機器等 参照)が火災影響を受け、安全機能が喪失するおそれがあるが、多重化された安全上重要な施設の片系のみ機能喪失であるため、安全機能が完全に喪失することはない。

3. 火災区域(区画)にある火災源

(1) 等価時間

発熱量(kJ)	火災荷重(kJ/m ²)	等価時間(h) [※]
		0.5

※ 等価時間は、内部火災影響評価ガイドの等価時間記載の値で示す。

(2) 火災区域(区画)にある火災源機器数

火災源	機器数
電動機(3.7kW超)	-
電気盤(440V以上)	2
ケーブルトレイ(ケーブル)	有
油脂類・有機溶媒等	-
その他	-

4. 火災区域(区画)にある防火設備

火災感知の手段	主要な消火設備	消火方法	消火設備のバックアップ
煙感知器 熱感知器	ハロゲン化物消火設備(全域)	自動	二酸化炭素消火器

5. 火災区域(区画)に隣接する火災区域(区画)と火災伝播経路

隣接火災区画への火災伝播経路の詳細は、別紙1参照

6. 火災影響を受ける火災防護対象機器等

機器名称[機器番号]	最重要設備 [※]	最重要設備以外の安全上重要な施設 [※]
460V非常用コントロールセンタB2[AC-MCC-B2]	○	-
460V非常用パワーセンタB[AC-P/C-B]	○	-
安重ケーブルトレイ[B系]	○	○

※ ○:対象 -:非対象

* 火災想定において、工程停止等により安全機能を必要としない状態へと移行が可能なもの。

7. 火災防護対象機器等の関連ケーブル

機器名称[機器番号]	ケーブル種別	安重分類
グローブボックス・セル排風機B []	動力(低圧)	Pu・高レベルの廃棄物の閉じ込め機能
460V非常用パワーセンタB[AC-P/C-B]	動力(低圧)	非常用所内電源系統
安全冷却水BポンプB []	動力(低圧)	崩壊熱除去機能(重要度の高いもの)
排風機B []	動力(低圧)	Pu・高レベルの廃棄物の閉じ込め機能
排風機B []	制御、動力(低圧)	Pu・高レベルの廃棄物の閉じ込め機能
460V非常用コントロールセンタB1[AC-MCC-B1]	動力(低圧)	非常用所内電源系統
460V非常用コントロールセンタB2[AC-MCC-B2]	制御、動力(低圧)	非常用所内電源系統

8. 最重要設備の安重機能への火災影響

安重分類	全焼時の成功パスの有無	回路評価等の考慮	結果	系統分離 [※]
Pu・高レベル廃棄物の閉じ込め機能	有	-	○	-
崩壊熱除去機能(重要度の高いもの)	有	-	○	-
安全圧縮空気系(水素掃気機能)	-	-	-	-
非常用所内電源系統	有	-	○	-

※ a : 3時間以上の耐火能力を有する耐火壁で分離

b : 水平距離6mによる分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置

c : 1時間の耐火能力を有する隔壁等による分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置
再処理施設成功パスの詳細は、別紙2参照

9. 最重要設備以外の火災防護対象機器等への火災影響

機器名称[機器番号]	当該区画の火災評価 [※]	隣接区画の火災評価 [※]
-	-	-

※ ○:火災影響なし ×:火災影響あり

隣接する火災区画と火災伝播経路

(※ 有:伝播する 無:伝播しない)

隣接する 火災区画	火災伝播 経路有無	等価時間 (h)	耐火時間 (h)	火災伝播の 可能性 ※	備考
	無	0.5	3.0	無	
	無	0.5	3.0	無	
	無	0.5	3.0	無	
	無	0.5	3.0	無	
	無	0.5	3.0	無	
	無	0.5	3.0	無	
	無	0.5	3.0	無	

再処理施設成功パス一覧表

建屋	精製建屋	非常用B電気品室
区域(区画)番号/名称		
1.放射性物質の閉じ込め機能(動的な閉じ込め機能)		
	【Aトレン設備】	【Bトレン設備】
前処理建屋 せん断処理・溶解廃ガス処理設備	排風機A	前処理建屋 せん断処理・溶解廃ガス処理設備
	排風機C	排風機B
前処理建屋 塔槽類廃ガス処理設備	排風機A	前処理建屋 塔槽類廃ガス処理設備
	排風機A	排風機B
前処理建屋換気設備 溶解セル等からの排気系	セル排風機A	前処理建屋換気設備 溶解セル等からの排気系
	溶解槽セルA排風機A	セル排風機B
	溶解槽セルB排風機A	溶解槽セルA排風機B
高レベル廃液ガラス固化建屋 高レベル廃液ガラス固化廃ガス処理設備	第1排風機A	高レベル廃液ガラス固化建屋 高レベル廃液ガラス固化廃ガス処理設備
	第2排風機A	第1排風機B
高レベル廃液ガラス固化建屋 塔槽類廃ガス処理設備 高レベル濃縮廃液廃ガス処理系	排風機A	高レベル廃液ガラス固化建屋 塔槽類廃ガス処理設備 高レベル濃縮廃液廃ガス処理系
	排風機A	排風機B
高レベル廃液ガラス固化建屋 塔槽類廃ガス処理設備 不溶解残渣廃液廃ガス処理系	排風機A	高レベル廃液ガラス固化建屋 塔槽類廃ガス処理設備 不溶解残渣廃液廃ガス処理系
	排風機A	排風機B
高レベル濃縮廃液貯槽セル等からの排気系固化セル換気系及び固化セル圧力放出系	セル排風機A	高レベル濃縮廃液貯槽セル等からの排気系固化セル換気系及び固化セル圧力放出系
	固化セル換気系排風機A	セル排風機B
分離建屋 塔槽類廃ガス処理設備 パルセータ廃ガス処理系	排風機A	分離建屋 塔槽類廃ガス処理設備 パルセータ廃ガス処理系
	排風機A	排風機B
分離建屋 塔槽類廃ガス処理設備 塔槽類廃ガス処理系	排風機A	分離建屋 塔槽類廃ガス処理設備 塔槽類廃ガス処理系
	排風機A	排風機B
分離建屋換気設備 プルトニウム溶液中間貯槽セル等からの排気系	グローブボックス・セル排風機A	分離建屋換気設備 プルトニウム溶液中間貯槽セル等からの排気系
	グローブボックス・セル排風機A	グローブボックス・セル排風機B
精製建屋 塔槽類廃ガス処理設備 パルセータ廃ガス処理系	排風機A	精製建屋 塔槽類廃ガス処理設備 パルセータ廃ガス処理系
	排風機A	× 排風機B
精製建屋 塔槽類廃ガス処理設備 塔槽類廃ガス処理系(プルトニウム系)	排風機A	精製建屋 塔槽類廃ガス処理設備 塔槽類廃ガス処理系(プルトニウム系)
	排風機A	× 排風機B
精製建屋換気設備 プルトニウム濃縮缶セル等及びグローブボックス等からの排気系	グローブボックス・セル排風機A	精製建屋換気設備 プルトニウム濃縮缶セル等及びグローブボックス等からの排気系
	グローブボックス・セル排風機A	× グローブボックス・セル排風機B
ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋 塔槽類廃ガス処理設備	第1排風機A	ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋 塔槽類廃ガス処理設備
	第2排風機A	第1排風機B
	第2排風機C	第2排風機B
ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋 硝酸プルトニウム貯槽セル等及びグローブボックス等からの排気系	グローブボックス・セル排風機A	ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋 硝酸プルトニウム貯槽セル等及びグローブボックス等からの排気系
	グローブボックス・セル排風機A	× グローブボックス・セル排風機B
	グローブボックス・セル排風機C	
-		×
1パス	○	
回路評価等	-	
成功パス	○	

凡例		
×	○○○○-○○○	○○○A
	○○○○-○○○	○○○○A
× : 当該室の火災により安全機能を喪失する機器がある場合 空欄 : 当該室に設置していない機器		
1パス	- : 当該室に対象なし ○ : 当該室の火災により対応する安全機能が1系統残る場合 × : 当該室の火災により対応する安全機能がすべて喪失する場合	
回路評価等	- : 当該室に回路評価等を行う対象なし ○ : 回路評価等により、対応する安全機能が確保される場合	
成功パス	- : 当該室に対象なし ○ : 当該室の火災により対応する安全機能が1系統残る場合 × : 当該室の火災により対応する安全機能がすべて喪失する場合	

再処理施設成功パス一覧表

2.崩壊熱除去機能			
		【Aトレ設備】	【Bトレ設備】
冷却設備	安全冷却水系	安全冷却水A冷却塔	安全冷却水B冷却塔
前処理建屋	冷却設備	安全冷却水系	安全冷却水系
		安全冷却水A循環ポンプA	安全冷却水B循環ポンプA
		安全冷却水A循環ポンプB	安全冷却水B循環ポンプB
		安全冷却水1AポンプA	安全冷却水1BポンプA
		安全冷却水1AポンプB	安全冷却水1BポンプB
分離建屋	冷却設備	安全冷却水系	安全冷却水系
		冷却水循環ポンプA	冷却水循環ポンプC
		冷却水循環ポンプB	冷却水循環ポンプD
		安全冷却水1AポンプA	安全冷却水1BポンプA
		安全冷却水1AポンプB	安全冷却水1BポンプB
精製建屋	冷却設備	安全冷却水系	安全冷却水系
		安全冷却水AポンプA	安全冷却水BポンプA
		安全冷却水AポンプB	安全冷却水BポンプB
ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋	冷却設備	安全冷却水系	安全冷却水系
		冷水移送ポンプA	冷水移送ポンプC
		冷水移送ポンプB	冷水移送ポンプD
高レベル廃液ガラス固化建屋	冷却設備	安全冷却水系	安全冷却水系
		第1高レベル濃縮廃液貯槽冷却水AポンプA	第1高レベル濃縮廃液貯槽冷却水BポンプA
		第1高レベル濃縮廃液貯槽冷却水AポンプB	第1高レベル濃縮廃液貯槽冷却水BポンプB
		第2高レベル濃縮廃液貯槽冷却水AポンプA	第2高レベル濃縮廃液貯槽冷却水BポンプA
		第2高レベル濃縮廃液貯槽冷却水AポンプB	第2高レベル濃縮廃液貯槽冷却水BポンプB
		安全冷却水A系ポンプA	安全冷却水B系ポンプA
		安全冷却水A系ポンプB	安全冷却水B系ポンプB
		高レベル廃液共用貯槽冷却水AポンプA	高レベル廃液共用貯槽冷却水BポンプA
		高レベル廃液共用貯槽冷却水AポンプB	高レベル廃液共用貯槽冷却水BポンプB
		安全冷却水A系ポンプA	安全冷却水B系ポンプA
		安全冷却水A系ポンプB	安全冷却水B系ポンプB
		安全冷水A冷却器冷媒膨張弁A	安全冷水B冷却器冷媒膨張弁A
		安全冷水A冷却器冷媒膨張弁B	安全冷水B冷却器冷媒膨張弁B
		安全冷水A冷却器冷媒止弁A	安全冷水B冷却器冷媒止弁A
		安全冷水A冷却器冷媒止弁B	安全冷水B冷却器冷媒止弁B
		安全冷却水1AポンプA	安全冷却水1BポンプA
		安全冷却水1AポンプB	安全冷却水1BポンプB
		安全冷水AポンプA	安全冷水BポンプA
		安全冷水AポンプB	安全冷水BポンプB
		安全冷水A冷凍機	安全冷水B冷凍機
		スクリー圧縮機	スクリー圧縮機
		スクリー圧縮機	スクリー圧縮機
ウラン・プルトニウム混合酸化物貯蔵建屋	換気設備	貯蔵室排風機A	貯蔵室排風機C
		貯蔵室排風機B	貯蔵室排風機D
-			
	1パス	○	×
	回路評価等	-	
	成功パス	○	

3.安全圧縮空気系(水素掃気機能)			
		【Aトレ設備】	【Bトレ設備】
安全圧縮空気系		安全空気圧縮装置A	安全空気圧縮装置B
		安全空気圧縮装置C	安全空気圧縮装置C
-			
	1パス	-	-
	回路評価等	-	-
	成功パス	-	-

再処理施設成功パス一覧表

4.非常用所内電源系統(支援機能)		【Aトレン設備】	【Bトレン設備】
非常用電源建屋冷却水設備			非常用電源建屋冷却水設備
	8111A-C20 冷却塔A		8111B-C20 冷却塔B
	8111A-P2010 冷却水循環ポンプA		8111B-P2010 冷却水循環ポンプB
非常用電源建屋の電気設備			非常用電源建屋の電気設備
	GA-M/C-A 6.9kV非常用メタクラA		GA-M/C-B 6.9kV非常用メタクラB
	GA-MCC-A 460V非常用コントロールセンタA		GA-MCC-B 460V非常用コントロールセンタB
	8111A-X10 ディーゼル機関A		8111B-X10 ディーゼル機関B
	8111A-X11 同期発電機A		8111B-X11 同期発電機B
	8111A-P4011 燃料油移送ポンプA		8111B-P4011 燃料油移送ポンプB
	GA-BAT-A 110V第2非常用蓄電池A		GA-BAT-B 110V第2非常用蓄電池B
	GA-CHG-A 110V非常用充電器盤A		GA-CHG-B 110V非常用充電器盤B
	GA-DCD-A 110V非常用直流主分電盤A		GA-DCD-B 110V非常用直流主分電盤B
	GA-CHG-E 110V非常用予備充電器盤E		GA-CHG-E 110V非常用予備充電器盤E
	GA-E-K011A 非常用電気設備リレー盤A1		GA-E-K013B 非常用電気設備リレー盤B1
	GA-E-K012A 非常用電気設備リレー盤A2		GA-E-K014B 非常用電気設備リレー盤B2
	8111A-V40 燃料油貯蔵タンク1A		8111B-V40 燃料油貯蔵タンク1B
	8111A-V41 燃料油貯蔵タンク2A		8111B-V41 燃料油貯蔵タンク2B
	GA-E-M011A 第2非常用ディーゼル発電機A制御盤		GA-E-M012B 第2非常用ディーゼル発電機B制御盤
	GA-PTR-A 非常用動力用変圧器A		GA-PTR-B 非常用動力用変圧器B
	8111A-V42 燃料油サービスタングA		8111B-V42 燃料油サービスタングB
	8111A-F4210 燃料油第1フィルタA		8111B-F4210 燃料油第1フィルタB
	8111A-F4230 燃料油第2フィルタA		8111B-F4230 燃料油第2フィルタB
	GA-E-S011A 第2非常用ディーゼル発電機ターニング現場盤A		GA-E-S012B 第2非常用ディーゼル発電機ターニング現場盤B
	GA-E-U011A 第2非常用ディーゼル発電機CT盤A		GA-E-U012B 第2非常用ディーゼル発電機CT盤B
	GA-I-K011A ユーティリティ工程 安全系A制御盤(リレー盤)		GA-I-K012B ユーティリティ工程 安全系B制御盤(リレー盤)
制御建屋の電気設備			制御建屋の電気設備
	AG-M/C-A 6.9kV非常用メタクラA		AG-M/C-B 6.9kV非常用メタクラB
	AG-P/C-A 460V非常用パワーセンタA		AG-P/C-B 460V非常用パワーセンタB
	AG-MCC-A1 460V非常用コントロールセンタA1		AG-MCC-B1 460V非常用コントロールセンタB1
	AG-MCC-A2 460V非常用コントロールセンタA2		AG-MCC-B2 460V非常用コントロールセンタB2
	AG-I-F201A 前処理建屋 安全系A監視制御盤		AG-I-F202B 前処理建屋 安全系B監視制御盤
	AG-I-F203A 分離建屋 安全系A監視制御盤		AG-I-F204B 分離建屋 安全系B監視制御盤
	AG-I-F205A 精製建屋 安全系A監視制御盤		AG-I-F206B 精製建屋 安全系B監視制御盤
	AG-I-F211A ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋 安全系A監視制御盤		AG-I-F212B ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋 安全系B監視制御盤
	AG-I-F213A 高レベル廃液ガラス固化建屋 安全系A監視制御盤		AG-I-F214B 高レベル廃液ガラス固化建屋 安全系B監視制御盤
	AG-BAT-A1 110V第2非常用蓄電池A1		AG-BAT-B1 110V第2非常用蓄電池B1
	AG-BAT-A2 220V第2非常用蓄電池A2		AG-BAT-B2 220V第2非常用蓄電池B2
	AG-CHG-A 110V非常用充電器盤A		AG-CHG-B 110V非常用充電器盤B
	AG-CHG-E 110V非常用予備充電器盤E		AG-CHG-E 110V非常用予備充電器盤E
	AG-DCD-A 110V非常用直流主分電盤A		AG-DCD-B 110V非常用直流主分電盤B
	AG-UPS-A 105V非常用無停電電源装置A		AG-UPS-B 105V非常用無停電電源装置B
	AG-UPD-A 105V非常用無停電交流主分電盤A		AG-UPD-B 105V非常用無停電交流主分電盤B
前処理建屋の電気設備			前処理建屋の電気設備
	AA-M/C-A 6.9kV非常用メタクラA		AA-M/C-B 6.9kV非常用メタクラB
	AA-P/C-A 460V非常用パワーセンタA		AA-P/C-B 460V非常用パワーセンタB
	AA-MCC-A1 460V非常用コントロールセンタA1		AA-MCC-B1 460V非常用コントロールセンタB1
	AA-MCC-A2 460V非常用コントロールセンタA2		AA-MCC-B2 460V非常用コントロールセンタB2
	AA-MCC-A3 460V非常用コントロールセンタA3		
	AA-BAT-A 110V第2非常用蓄電池A		AA-BAT-B 110V第2非常用蓄電池B
	AA-CHG-A 110V非常用充電器盤A		AA-CHG-B 110V非常用充電器盤B
	AA-CHG-E 110V非常用予備充電器盤E		AA-CHG-E 110V非常用予備充電器盤E
	AA-DCD-A 110V非常用直流主分電盤A		AA-DCD-B 110V非常用直流主分電盤B
	AA-UPS-A 105V非常用無停電電源装置A		AA-UPS-B 105V非常用無停電電源装置B
	AA-UPD-A 105V非常用無停電交流主分電盤A		AA-UPD-B 105V非常用無停電交流主分電盤B
	AA-I-M171A 圧縮空気設備 安全空気脱湿装置A現場監視制御盤		AA-I-M172B 圧縮空気設備 安全空気脱湿装置B現場監視制御盤
	AA-I-M166A 圧縮空気設備 安全空気圧縮装置A現場監視制御盤		AA-I-M167B 圧縮空気設備 安全空気圧縮装置B現場監視制御盤
	AA-I-M176A 圧縮空気設備 安全空気圧縮装置C現場制御回路分離盤A		AA-I-M177B 圧縮空気設備 安全空気圧縮装置C現場制御回路分離盤B
	AA-I-M169C 圧縮空気設備 安全空気圧縮装置C現場制御電源切換盤		AA-I-M169C 圧縮空気設備 安全空気圧縮装置C現場制御電源切換盤
	AA-I-M168C 圧縮空気設備 安全空気圧縮装置C現場監視制御盤		AA-I-M168C 圧縮空気設備 安全空気圧縮装置C現場監視制御盤
	AA-I-K701A よう素除去工程排風機A制御盤		AA-I-K702B よう素除去工程排風機B制御盤
	AA-I-K703C よう素除去工程排風機C制御盤		AA-I-K703C よう素除去工程排風機C制御盤
	AA-I-X710C よう素除去工程 C系統電源切替盤		AA-I-X710C よう素除去工程 C系統電源切替盤
	AA-I-J012A ユーティリティ工程 安全系A制御盤1(リレー盤2)		AA-I-J062B ユーティリティ工程 安全系B制御盤1(リレー盤2)
	AA-I-J013A ユーティリティ工程 安全系A制御盤2(リレー盤3)		AA-I-J063B ユーティリティ工程 安全系B制御盤2(リレー盤3)
	AA-I-J031A よう素除去工程 安全系A制御盤1		AA-I-J081B よう素除去工程 安全系B制御盤1
	AA-I-J032A よう素除去工程 安全系A制御盤2		AA-I-J082B よう素除去工程 安全系B制御盤2
	AA-I-J033A よう素除去工程 安全系A制御盤3		AA-I-J083B よう素除去工程 安全系B制御盤3
	AA-LPD-A2 溶解槽セルA排風機A極数変換盤		AA-LPD-B2 溶解槽セルA排風機B極数変換盤
	AA-LPD-A3 溶解槽セルB排風機A極数変換盤		AA-LPD-B3 溶解槽セルB排風機B極数変換盤
	AA-LPD-A21 セル排風機A極数変換盤		AA-LPD-B21 セル排風機B極数変換盤
分離建屋の非常用所内電源系統			分離建屋の非常用所内電源系統
	AB-P/C-A 460V非常用パワーセンタA		AB-P/C-B 460V非常用パワーセンタB
	AB-MCC-A 460V非常用コントロールセンタA		AB-MCC-B 460V非常用コントロールセンタB
	AB-CHG-A 110V非常用充電器盤A		AB-CHG-B 110V非常用充電器盤B
	AB-CHG-E 110V非常用予備充電器盤E		AB-CHG-E 110V非常用予備充電器盤E
	AB-BAT-A 110V第2非常用蓄電池A		AB-BAT-B 110V第2非常用蓄電池B
	AB-DCD-A 110V非常用直流主分電盤A		AB-DCD-B 110V非常用直流主分電盤B
	AB-UPS-A 105V非常用無停電電源装置A		AB-UPS-B 105V非常用無停電電源装置B
	AB-UPD-A1 105V非常用無停電交流主分電盤A1		AB-UPD-B1 105V非常用無停電交流主分電盤A1
	AB-UPD-A2 105V非常用無停電交流主分電盤A2		AB-UPD-B2 105V非常用無停電交流主分電盤A2
	AB-I-J180A ユーティリティ工程 安全系A制御盤1		AB-I-J183B ユーティリティ工程 安全系B制御盤1
	AB-I-J181A ユーティリティ工程 安全系A制御盤2		AB-I-J184B ユーティリティ工程 安全系B制御盤2
	AB-I-J182A ユーティリティ工程 安全系A制御盤3		AB-I-J185B ユーティリティ工程 安全系B制御盤3
	AB-I-J033A 分離・分配工程 安全系A制御盤1		AB-I-J036B 分離・分配工程 安全系B制御盤1
	AB-I-J034A 分離・分配工程 安全系A制御盤2		AB-I-J037B 分離・分配工程 安全系B制御盤2
	AB-I-J035A 分離・分配工程 安全系A制御盤3		AB-I-J038B 分離・分配工程 安全系B制御盤3
	AB-V-J100A 建屋換気設備 安全系A制御盤		AB-V-J101B 建屋換気設備 安全系B制御盤
	1パス	-	
	回路評価等	-	
	成功パス	-	

再処理施設成功パス一覧表

4. 支援機能(続き)		【Aトレン設備】		【Bトレン設備】	
精製建屋の電気設備				精製建屋の電気設備	
AC-BAT-A	110V第2非常用蓄電池A	AC-BAT-B	110V第2非常用蓄電池B	AC-BAT-B	110V第2非常用蓄電池B
AC-CHG-A	110V非常用充電器盤A	AC-CHG-B	110V非常用充電器盤B	AC-CHG-B	110V非常用充電器盤B
AC-CHG-E	110V非常用予備充電器盤E	AC-CHG-E	110V非常用予備充電器盤E	AC-CHG-E	110V非常用予備充電器盤E
AC-DCD-A	110V非常用直流主分電盤A	AC-DCD-B	110V非常用直流主分電盤B	AC-DCD-B	110V非常用直流主分電盤B
AC-MCC-A1	460V非常用コントロールセンタA1	×	AC-MCC-B1	460V非常用コントロールセンタB1	×
AC-MCC-A2	460V非常用コントロールセンタA2	×	AC-MCC-B2	460V非常用コントロールセンタB2	×
AC-P/C-A	460V非常用パワーセンタA	×	AC-P/C-B	460V非常用パワーセンタB	×
AC-UPD-A	105V非常用無停電交流主分電盤A	AC-UPD-B	105V非常用無停電交流主分電盤B	AC-UPD-B	105V非常用無停電交流主分電盤B
AC-UPS-A	105V非常用無停電電源装置A	AC-UPS-B	105V非常用無停電電源装置B	AC-UPS-B	105V非常用無停電電源装置B
AC-I-J450A	ユーティリティ工程 安全系A制御盤(計器盤)	AC-I-J460B	ユーティリティ工程 安全系B制御盤(計器盤)	AC-I-J460B	ユーティリティ工程 安全系B制御盤(計器盤)
AC-I-J451A	ユーティリティ工程 安全系A制御盤(リレー盤)	AC-I-J461B	ユーティリティ工程 安全系B制御盤(リレー盤)	AC-I-J461B	ユーティリティ工程 安全系B制御盤(リレー盤)
AC-E-J452A	非常用電気設備リレー盤A	AC-E-J462B	非常用電気設備リレー盤B	AC-E-J462B	非常用電気設備リレー盤B
AC-V-J453A	建屋換気設備安全系A制御盤	AC-V-J463B	建屋換気設備安全系B制御盤	AC-V-J463B	建屋換気設備安全系B制御盤
AC-I-J752A	プルトニウム精製工程 安全系A 制御盤3	AC-I-J755B	プルトニウム精製工程 安全系B 制御盤3	AC-I-J755B	プルトニウム精製工程 安全系B 制御盤3
ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋の非常用所内電源系統		ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋の非常用所内電源系統		ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋の非常用所内電源系統	
CA-P/C-A	460V非常用パワーセンタA	CA-P/C-B	460V非常用パワーセンタB	CA-P/C-B	460V非常用パワーセンタB
CA-MCC-A1	460V非常用コントロールセンタA1	CA-MCC-B1	460V非常用コントロールセンタB1	CA-MCC-B1	460V非常用コントロールセンタB1
CA-MCC-A2	460V非常用コントロールセンタA2	CA-MCC-B2	460V非常用コントロールセンタB2	CA-MCC-B2	460V非常用コントロールセンタB2
CA-M/C-A	6.9kV非常用メタクラA	CA-M/C-B	6.9kV非常用メタクラB	CA-M/C-B	6.9kV非常用メタクラB
CA-E-K503A	非常用電気設備リレー盤A	CA-E-K603B	非常用電気設備リレー盤B	CA-E-K603B	非常用電気設備リレー盤B
CA-I-J501A	安全系A制御盤	CA-I-J601B	安全系B制御盤	CA-I-J601B	安全系B制御盤
CA-V-J502A	建屋換気設備安全系A制御盤	CA-V-J602B	建屋換気設備安全系B制御盤	CA-V-J602B	建屋換気設備安全系B制御盤
CA-CHG-A	110V非常用充電器盤A	CA-CHG-B	110V非常用充電器盤B	CA-CHG-B	110V非常用充電器盤B
CA-CHG-E	110V非常用予備充電器盤E	CA-CHG-E	110V非常用予備充電器盤E	CA-CHG-E	110V非常用予備充電器盤E
CA-DCD-A	110V非常用直流主分電盤A	CA-DCD-B	110V非常用直流主分電盤B	CA-DCD-B	110V非常用直流主分電盤B
CA-UPD-A	105V非常用無停電交流主分電盤A	CA-UPD-B	105V非常用無停電交流主分電盤B	CA-UPD-B	105V非常用無停電交流主分電盤B
CA-UPS-A	105V非常用無停電電源装置A	CA-UPS-B	105V非常用無停電電源装置B	CA-UPS-B	105V非常用無停電電源装置B
CA-BAT-A	110V第2非常用蓄電池A	CA-BAT-B	110V第2非常用蓄電池B	CA-BAT-B	110V第2非常用蓄電池B
ウラン・プルトニウム混合酸化物貯蔵建屋の非常用所内電源系統		ウラン・プルトニウム混合酸化物貯蔵建屋の非常用所内電源系統		ウラン・プルトニウム混合酸化物貯蔵建屋の非常用所内電源系統	
CB-P/C-A	460V非常用パワーセンタA	CB-P/C-B	460V非常用パワーセンタB	CB-P/C-B	460V非常用パワーセンタB
CB-E-J101A	非常用電気設備リレー盤A	CB-E-J102B	非常用電気設備リレー盤B	CB-E-J102B	非常用電気設備リレー盤B
CA-V-J001A	建屋換気設備安全系A制御盤	CA-V-J002B	建屋換気設備安全系B制御盤	CA-V-J002B	建屋換気設備安全系B制御盤
CB-BAT-A	110V第2非常用蓄電池A	CB-BAT-B	110V第2非常用蓄電池B	CB-BAT-B	110V第2非常用蓄電池B
CB-CHG-A	110V非常用充電器盤A	CB-CHG-B	110V非常用充電器盤B	CB-CHG-B	110V非常用充電器盤B
CB-DCD-A	110V非常用直流主分電盤A	CB-DCD-B	110V非常用直流主分電盤B	CB-DCD-B	110V非常用直流主分電盤B
CB-MCC-A	460V非常用コントロールセンタA	CB-MCC-B	460V非常用コントロールセンタB	CB-MCC-B	460V非常用コントロールセンタB
CB-UPS-A	105V非常用無停電電源装置A	CB-UPS-B	105V非常用無停電電源装置B	CB-UPS-B	105V非常用無停電電源装置B
CB-CHG-E	110V非常用予備充電器盤E	CB-CHG-E	110V非常用予備充電器盤E	CB-CHG-E	110V非常用予備充電器盤E
高レベル廃液ガラス固化建屋の電気設備		高レベル廃液ガラス固化建屋の電気設備		高レベル廃液ガラス固化建屋の電気設備	
KA-P/C-A	460V非常用パワーセンタA	KA-P/C-B	460V非常用パワーセンタB	KA-P/C-B	460V非常用パワーセンタB
KA-BAT-A	110V第2非常用蓄電池A	KA-BAT-B	110V第2非常用蓄電池B	KA-BAT-B	110V第2非常用蓄電池B
KA-CHG-A	110V非常用充電器盤A	KA-CHG-B	110V非常用充電器盤B	KA-CHG-B	110V非常用充電器盤B
KA-CHG-E	110V非常用予備充電器盤E	KA-CHG-E	110V非常用予備充電器盤E	KA-CHG-E	110V非常用予備充電器盤E
KA-DCD-A	110V非常用直流主分電盤A	KA-DCD-B	110V非常用直流主分電盤B	KA-DCD-B	110V非常用直流主分電盤B
KA-UPS-A	105V非常用無停電電源装置A	KA-UPS-B	105V非常用無停電電源装置B	KA-UPS-B	105V非常用無停電電源装置B
KA-UPD-A	105V非常用無停電交流主分電盤A	KA-UPD-B	105V非常用無停電交流主分電盤B	KA-UPD-B	105V非常用無停電交流主分電盤B
KA-ACS-A	105V非常用計測交流電源盤A	KA-ACS-B	105V非常用計測交流電源盤B	KA-ACS-B	105V非常用計測交流電源盤B
KA-ACD-A	105V非常用計測交流主分電盤A	KA-ACD-B	105V非常用計測交流主分電盤B	KA-ACD-B	105V非常用計測交流主分電盤B
KA-MCC-A1	460V非常用コントロールセンタA1	KA-MCC-B1	460V非常用コントロールセンタB1	KA-MCC-B1	460V非常用コントロールセンタB1
KA-MCC-A2	460V非常用コントロールセンタA2	KA-MCC-B2	460V非常用コントロールセンタB2	KA-MCC-B2	460V非常用コントロールセンタB2
KA-I-K224A	高レベル廃液ガラス固化廃ガス処理設備第1排風機A安全系Aインバータ制御盤	KA-I-K225B	高レベル廃液ガラス固化廃ガス処理設備第1排風機B安全系Bインバータ制御盤	KA-I-K225B	高レベル廃液ガラス固化廃ガス処理設備第1排風機B安全系Bインバータ制御盤
KA-I-K226A	高レベル廃液ガラス固化廃ガス処理設備第2排風機A安全系Aインバータ制御盤	KA-I-K227B	高レベル廃液ガラス固化廃ガス処理設備第2排風機B安全系Bインバータ制御盤	KA-I-K227B	高レベル廃液ガラス固化廃ガス処理設備第2排風機B安全系Bインバータ制御盤
KA-I-K073A	固化セル換気系排風機A安全系Aインバータ制御盤	KA-I-K074B	固化セル換気系排風機B安全系Bインバータ制御盤	KA-I-K074B	固化セル換気系排風機B安全系Bインバータ制御盤
KA-E-K001A	非常用電気設備リレー盤A	KA-E-K002B	非常用電気設備リレー盤B	KA-E-K002B	非常用電気設備リレー盤B
KA-I-J501A	高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系A制御盤1	KA-I-J521B	高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系B制御盤1	KA-I-J521B	高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系B制御盤1
KA-I-J502A	高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系A制御盤2	KA-I-J522B	高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系B制御盤2	KA-I-J522B	高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系B制御盤2
KA-I-J503A	高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系A制御盤3	KA-I-J523B	高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系B制御盤3	KA-I-J523B	高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系B制御盤3
KA-I-J504A	高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系A制御盤4	KA-I-J524B	高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系B制御盤4	KA-I-J524B	高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系B制御盤4
KA-I-J505A	高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系A制御盤5	KA-I-J525B	高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系B制御盤5	KA-I-J525B	高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系B制御盤5
KA-I-J506A	高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系A制御盤6	KA-I-J526B	高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系B制御盤6	KA-I-J526B	高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系B制御盤6
KA-I-J507A	高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系A制御盤7	KA-I-J527B	高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系B制御盤7	KA-I-J527B	高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系B制御盤7
KA-I-J508A	高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系A制御盤8	KA-I-J528B	高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系B制御盤8	KA-I-J528B	高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系B制御盤8
KA-I-J511A	安全系A アレスタ盤	KA-I-J531B	安全系B アレスタ盤	KA-I-J531B	安全系B アレスタ盤
KA-I-J512A	高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系A制御盤(リレー盤1)	KA-I-J532B	高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系B制御盤(リレー盤1)	KA-I-J532B	高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系B制御盤(リレー盤1)
KA-I-J513A	高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系A制御盤(リレー盤2)	KA-I-J533B	高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系B制御盤(リレー盤2)	KA-I-J533B	高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系B制御盤(リレー盤2)
KA-I-J514A	高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系A制御盤(リレー盤3)	KA-I-J534B	高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系B制御盤(リレー盤3)	KA-I-J534B	高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系B制御盤(リレー盤3)
KA-I-M331A	冷凍機 安全系A監視制御盤	KA-I-M322B	冷凍機 安全系B監視制御盤	KA-I-M322B	冷凍機 安全系B監視制御盤
KA-I-K334A	冷却水・冷水設備 安全系A 制御盤1	KA-I-K338B	冷却水・冷水設備 安全系B 制御盤1	KA-I-K338B	冷却水・冷水設備 安全系B 制御盤1
KA-I-K335A	冷却水・冷水設備 安全系A 制御盤2	KA-I-K339B	冷却水・冷水設備 安全系B 制御盤2	KA-I-K339B	冷却水・冷水設備 安全系B 制御盤2
-		×			
1パス	○				
回路評価等	-				
成功パス	○				

火災区域(区画)特性表

1. 火災区域(区画)の説明

建屋名	精製建屋
火災区域/区画区分	火災区画
火災区域/区画番号	■
火災区域/区画名称	プルトニウム系高性能粒子フィルタ加熱器室
床面積(m ²)	■

2. 火災区域(区画)の火災シナリオの説明

■は、精製建屋内の火災区画である。
 本区画は、電気盤火災の発生可能性があるが、安全上重要な設備が金属等の不燃材で構成され火災影響を受けないことから、安全機能の喪失のおそれがない。

3. 火災区域(区画)にある火災源

(1) 等価時間

発熱量(kJ)	火災荷重 (kJ/m ²)	等価時間(h) [※]
■	■	0.5

※ 等価時間は、内部火災影響評価ガイドの等価時間記載の値で示す。

(2) 火災区域(区画)にある火災源機器数

火災源	機器数
電動機(3.7kW超)	-
電気盤(440V以上)	2
ケーブルトレイ(ケーブル)	-
油脂類・有機溶媒等	-
その他	-

4. 火災区域(区画)にある防火設備

火災感知の手段	主要な消火設備	消火方法	消火設備のバックアップ
煙感知器	屋内消火栓	手動	粉末消火器

5. 火災区域(区画)に隣接する火災区域(区画)と火災伝播経路

隣接火災区画への火災伝播経路の詳細は、別紙1参照

6. 火災影響を受ける火災防護対象機器等

機器名称[機器番号]	最重要設備 [※]	最重要設備以外の安全上重要な施設 [※]
-	-	-

※ ○:対象 -:非対象

* 火災想定において、工程停止等により安全機能を必要としない状態へと移行が可能なもの。

7. 火災防護対象機器等の関連ケーブル

機器名称[機器番号]	ケーブル種別	安重分類
-	-	-

8. 最重要設備の安重機能への火災影響

安重分類	全焼時の 成功パスの 有無	回路評価 等の考慮	結果	系統分離※
Pu・高レベル廃棄物の閉じ込め機能	-	-	-	-
崩壊熱除去機能(重要度の高いもの)	-	-	-	-
安全圧縮空気系(水素掃気機能)	-	-	-	-
非常用所内電源系統	-	-	-	-

※ a : 3時間以上の耐火能力を有する耐火壁で分離

b : 水平距離6mによる分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置

c : 1時間の耐火能力を有する隔壁等による分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置
再処理施設成功パスの詳細は、別紙2参照

9. 最重要設備以外の火災防護対象機器等への火災影響

機器名称[機器番号]	当該区画の火災評価※	隣接区画の火災評価※
-	-	-

※ ○:火災影響なし ×:火災影響あり

隣接する火災区画と火災伝播経路

(※ 有:伝播する 無:伝播しない)

隣接する 火災区画	火災伝播 経路有無	等価時間 (h)	耐火時間 (h)	火災伝播の 可能性 ※	備考
	無	0.5	3.0	無	
	無	0.5	3.0	無	
	有	0.5	0.0	有	
	有	0.5	0.0	有	
	有	0.5	0.0	有	

火災区域(区画)特性表

1. 火災区域(区画)の説明

建屋名	精製建屋
火災区域/区画区分	火災区画
火災区域/区画番号	■
火災区域/区画名称	凝縮液還流弁用グローブボックス室
床面積(m ²)	■

2. 火災区域(区画)の火災シナリオの説明

■は、精製建屋内の火災区画である。
 本区画は、火災源となるものがないため、安全上重要な施設のA系の設備(6.火災影響を受ける火災防護対象機器等 参照)の安全機能を喪失させるおそれのある想定火災はない。

3. 火災区域(区画)にある火災源

(1) 等価時間

発熱量(kJ)	火災荷重(kJ/m ²)	等価時間(h) [※]
■	■	0.5

※ 等価時間は、内部火災影響評価ガイドの等価時間記載の値で示す。

(2) 火災区域(区画)にある火災源機器数

火災源	機器数
電動機(3.7kW超)	-
電気盤(440V以上)	-
ケーブルトレイ(ケーブル)	-
油脂類・有機溶媒等	-
その他	-

4. 火災区域(区画)にある防火設備

火災感知の手段	主要な消火設備	消火方法	消火設備のバックアップ
煙感知器	屋内消火栓	手動	粉末消火器

5. 火災区域(区画)に隣接する火災区域(区画)と火災伝播経路 隣接火災区画への火災伝播経路の詳細は、別紙1参照

6. 火災影響を受ける火災防護対象機器等

機器名称[機器番号]	最重要設備 [※]	最重要設備以外の安全上重要な施設 [※]
プルトニウム濃縮缶加熱蒸気しゃ断弁■	-	○*

※ ○:対象 -:非対象

* 火災想定において、工程停止等により安全機能を必要としない状態へと移行が可能なもの。

7. 火災防護対象機器等の関連ケーブル

機器名称[機器番号]	ケーブル種別	安重分類
-	-	-

8. 最重要設備の安重機能への火災影響

安重分類	全焼時の成功パスの有無	回路評価等の考慮	結果	系統分離※
Pu・高レベル廃棄物の閉じ込め機能	-	-	-	-
崩壊熱除去機能(重要度の高いもの)	-	-	-	-
安全圧縮空気系(水素掃気機能)	-	-	-	-
非常用所内電源系統	-	-	-	-

※ a : 3時間以上の耐火能力を有する耐火壁で分離

b : 水平距離6mによる分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置

c : 1時間の耐火能力を有する隔壁等による分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置
再処理施設成功パスの詳細は、別紙2参照

9. 最重要設備以外の火災防護対象機器等への火災影響

機器名称[機器番号]	当該区画の火災評価※	隣接区画の火災評価※
-	-	-

※ ○:火災影響なし ×:火災影響あり

隣接する火災区画と火災伝播経路

(※ 有:伝播する 無:伝播しない)

隣接する 火災区画	火災伝播 経路有無	等価時間 (h)	耐火時間 (h)	火災伝播の 可能性 ※	備考
	無	0.5	3.0	無	
	無	0.5	3.0	無	
	無	0.5	3.0	無	
	無	0.5	3.0	無	
	無	0.5	3.0	無	
	無	0.5	3.0	無	
	無	0.5	3.0	無	
	無	0.5	3.0	無	
	無	0.5	3.0	無	
	無	0.5	3.0	無	
	無	0.5	3.0	無	

火災区域(区画)特性表

1. 火災区域(区画)の説明

建屋名	精製建屋
火災区域/区画区分	火災区画
火災区域/区画番号	■
火災区域/区画名称	第15保守室
床面積(m ²)	■

2. 火災区域(区画)の火災シナリオの説明

■は、精製建屋内の火災区画である。
 本区画は、電気盤火災または、ケーブルトレイ火災の発生の可能性があるが、安全上重要な施設が設置されていないため、安全機能の喪失のおそれはない。

3. 火災区域(区画)にある火災源

(1) 等価時間

発熱量(kJ)	火災荷重 (kJ/m ²)	等価時間(h) [※]
■	■	0.5

※ 等価時間は、内部火災影響評価ガイドの等価時間記載の値で示す。

(2) 火災区域(区画)にある火災源機器数

火災源	機器数
電動機(3.7kW超)	-
電気盤(440V以上)	2
ケーブルトレイ(ケーブル)	有
油脂類・有機溶媒等	-
その他	-

4. 火災区域(区画)にある防火設備

火災感知の手段	主要な消火設備	消火方法	消火設備のバックアップ
煙感知器	屋内消火栓	手動	粉末消火器

5. 火災区域(区画)に隣接する火災区域(区画)と火災伝播経路

隣接火災区画への火災伝播経路の詳細は、別紙1参照

6. 火災影響を受ける火災防護対象機器等

機器名称[機器番号]	最重要設備 [※]	最重要設備以外の安全上重要な施設 [※]
-	-	-

※ ○:対象 -:非対象

* 火災想定において、工程停止等により安全機能を必要としない状態へと移行が可能なもの。

7. 火災防護対象機器等の関連ケーブル

機器名称[機器番号]	ケーブル種別	安重分類
-	-	-

8. 最重要設備の安重機能への火災影響

安重分類	全焼時の 成功パスの 有無	回路評価 等の考慮	結果	系統分離※
Pu・高レベル廃棄物の閉じ込め機能	-	-	-	-
崩壊熱除去機能(重要度の高いもの)	-	-	-	-
安全圧縮空気系(水素掃気機能)	-	-	-	-
非常用所内電源系統	-	-	-	-

※ a : 3時間以上の耐火能力を有する耐火壁で分離

b : 水平距離6mによる分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置

c : 1時間の耐火能力を有する隔壁等による分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置
再処理施設成功パスの詳細は、別紙2参照

9. 最重要設備以外の火災防護対象機器等への火災影響

機器名称[機器番号]	当該区画の火災評価※	隣接区画の火災評価※
-	-	-

※ ○:火災影響なし ×:火災影響あり

火災区域(区画)特性表

1. 火災区域(区画)の説明

建屋名	精製建屋
火災区域/区画区分	火災区画
火災区域/区画番号	■
火災区域/区画名称	第2酸回収弁セル
床面積(m ²)	■

2. 火災区域(区画)の火災シナリオの説明

■は、精製建屋内の火災区画である。
 本区画は、火災源となるものがないおよび安全上重要な施設が設置されていないため、安全機能の喪失のおそれはない。

3. 火災区域(区画)にある火災源

(1) 等価時間

発熱量(kJ)	火災荷重(kJ/m ²)	等価時間(h) [※]
■	■	0.0

※ 等価時間は、内部火災影響評価ガイドの等価時間記載の値で示す。

(2) 火災区域(区画)にある火災源機器数

火災源	機器数
電動機(3.7kW超)	-
電気盤(440V以上)	-
ケーブルトレイ(ケーブル)	-
油脂類・有機溶媒等	-
その他	-

4. 火災区域(区画)にある防火設備

火災感知の手段	主要な消火設備	消火方法	消火設備のバックアップ
設置除外	設置除外	-	-

5. 火災区域(区画)に隣接する火災区域(区画)と火災伝播経路

隣接火災区画への火災伝播経路の詳細は、別紙1参照

6. 火災影響を受ける火災防護対象機器等

機器名称[機器番号]	最重要設備 [※]	最重要設備以外の安全上重要な施設 [※]
-	-	-

※ ○:対象 -:非対象

* 火災想定において、工程停止等により安全機能を必要としない状態へと移行が可能なもの。

7. 火災防護対象機器等の関連ケーブル

機器名称[機器番号]	ケーブル種別	安重分類
-	-	-

8. 最重要設備の安重機能への火災影響

安重分類	全焼時の成功パスの有無	回路評価等の考慮	結果	系統分離※
Pu・高レベル廃棄物の閉じ込め機能	-	-	-	-
崩壊熱除去機能(重要度の高いもの)	-	-	-	-
安全圧縮空気系(水素掃気機能)	-	-	-	-
非常用所内電源系統	-	-	-	-

※ a : 3時間以上の耐火能力を有する耐火壁で分離

b : 水平距離6mによる分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置

c : 1時間の耐火能力を有する隔壁等による分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置
再処理施設成功パスの詳細は、別紙2参照

9. 最重要設備以外の火災防護対象機器等への火災影響

機器名称[機器番号]	当該区画の火災評価※	隣接区画の火災評価※
-	-	-

※ ○:火災影響なし ×:火災影響あり

隣接する火災区画と火災伝播経路

(※ 有:伝播する 無:伝播しない)

隣接する 火災区画	火災伝播 経路有無	等価時間 (h)	耐火時間 (h)	火災伝播の 可能性 ※	備考
	無	0.0	3.0	無	
	有	0.0	0.0	無	
	有	0.0	0.0	無	
	無	0.0	3.0	無	

火災区域(区画)特性表

1. 火災区域(区画)の説明

建屋名	精製建屋
火災区域／区画区分	火災区画
火災区域／区画番号	■
火災区域／区画名称	圧縮空気槽A室
床面積(m ²)	■

2. 火災区域(区画)の火災シナリオの説明

■は、精製建屋内の火災区画である。
 本区画は、火災源となるものがないため、安全上重要な施設のA/B系の設備(6.火災影響を受ける火災防護対象機器等 参照)の安全機能を喪失させるおそれのある想定火災はない。

3. 火災区域(区画)にある火災源

(1) 等価時間

発熱量(kJ)	火災荷重(kJ/m ²)	等価時間(h) [※]
■	■	0.5

※ 等価時間は、内部火災影響評価ガイドの等価時間記載の値で示す。

(2) 火災区域(区画)にある火災源機器数

火災源	機器数
電動機(3.7kW超)	-
電気盤(440V以上)	-
ケーブルトレイ(ケーブル)	-
油脂類・有機溶媒等	-
その他	-

4. 火災区域(区画)にある防火設備

火災感知の手段	主要な消火設備	消火方法	消火設備のバックアップ
煙感知器	屋内消火栓	手動	粉末消火器

5. 火災区域(区画)に隣接する火災区域(区画)と火災伝播経路

隣接火災区画への火災伝播経路の詳細は、別紙1参照

6. 火災影響を受ける火災防護対象機器等

機器名称[機器番号]	最重要設備※	最重要設備以外の安全上重要な施設※
逆抽出塔溶液温度A []	-	○*
逆抽出塔溶液温度B []	-	○*
逆抽出塔溶液加熱しゃ断弁C []	-	○*
逆抽出塔溶液加熱しゃ断弁D []	-	○*
逆抽出塔流量計測ポットエアリフトポンプ圧縮空気供給弁A []	-	○*
逆抽出塔流量計測ポットエアリフトポンプ圧縮空気供給弁B []	-	○*

※ ○:対象 -:非対象

* 火災想定において、工程停止等により安全機能を必要としない状態へと移行が可能なもの。

7. 火災防護対象機器等の関連ケーブル

機器名称[機器番号]	ケーブル種別	安重分類
-	-	-

8. 最重要設備の安重機能への火災影響

安重分類	全焼時の成功パスの有無	回路評価等の考慮	結果	系統分離※
Pu・高レベル廃棄物の閉じ込め機能	-	-	-	-
崩壊熱除去機能(重要度の高いもの)	-	-	-	-
安全圧縮空気系(水素掃気機能)	-	-	-	-
非常用所内電源系統	-	-	-	-

※ a: 3時間以上の耐火能力を有する耐火壁で分離

b: 水平距離6mによる分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置

c: 1時間の耐火能力を有する隔壁等による分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置
再処理施設成功パスの詳細は、別紙2参照

9. 最重要設備以外の火災防護対象機器等への火災影響

機器名称[機器番号]	当該区画の火災評価※	隣接区画の火災評価※
-	-	-

※ ○:火災影響なし ×:火災影響あり

隣接する火災区画と火災伝播経路

(※ 有:伝播する 無:伝播しない)

隣接する 火災区画	火災伝播 経路有無	等価時間 (h)	耐火時間 (h)	火災伝播の 可能性 ※	備考
	無	0.5	3.0	無	
	無	0.5	3.0	無	
	無	0.5	3.0	無	
	無	0.5	3.0	無	
	無	0.5	3.0	無	
	無	0.5	3.0	無	
	無	0.5	3.0	無	
	無	0.5	3.0	無	
	無	0.5	3.0	無	

火災区域(区画)特性表

1. 火災区域(区画)の説明

建屋名	精製建屋
火災区域/区画区分	火災区画
火災区域/区画番号	■
火災区域/区画名称	カラムパルセーション用圧縮空気弁用グローブボックスA室
床面積(m ²)	■

2. 火災区域(区画)の火災シナリオの説明

■は、精製建屋内の火災区画である。
 本区画は、ケーブルトレイ火災の発生の可能性があるが、安全上重要な施設が設置されていないため、安全機能の喪失のおそれはない。

3. 火災区域(区画)にある火災源

(1) 等価時間

発熱量(kJ)	火災荷重(kJ/m ²)	等価時間(h) [※]
■	■	0.5

※ 等価時間は、内部火災影響評価ガイドの等価時間記載の値で示す。

(2) 火災区域(区画)にある火災源機器数

火災源	機器数
電動機(3.7kW超)	-
電気盤(440V以上)	-
ケーブルトレイ(ケーブル)	有
油脂類・有機溶媒等	-
その他	-

4. 火災区域(区画)にある防火設備

火災感知の手段	主要な消火設備	消火方法	消火設備のバックアップ
煙感知器	屋内消火栓	手動	粉末消火器

5. 火災区域(区画)に隣接する火災区域(区画)と火災伝播経路

隣接火災区画への火災伝播経路の詳細は、別紙1参照

6. 火災影響を受ける火災防護対象機器等

機器名称[機器番号]	最重要設備 [※]	最重要設備以外の安全上重要な施設 [※]
-	-	-

※ ○:対象 -:非対象

* 火災想定において、工程停止等により安全機能を必要としない状態へと移行が可能なもの。

7. 火災防護対象機器等の関連ケーブル

機器名称[機器番号]	ケーブル種別	安重分類
-	-	-

8. 最重要設備の安重機能への火災影響

安重分類	全焼時の成功パスの有無	回路評価等の考慮	結果	系統分離※
Pu・高レベル廃棄物の閉じ込め機能	-	-	-	-
崩壊熱除去機能(重要度の高いもの)	-	-	-	-
安全圧縮空気系(水素掃気機能)	-	-	-	-
非常用所内電源系統	-	-	-	-

※ a : 3時間以上の耐火能力を有する耐火壁で分離

b : 水平距離6mによる分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置

c : 1時間の耐火能力を有する隔壁等による分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置
再処理施設成功パスの詳細は、別紙2参照

9. 最重要設備以外の火災防護対象機器等への火災影響

機器名称[機器番号]	当該区画の火災評価※	隣接区画の火災評価※
-	-	-

※ ○:火災影響なし ×:火災影響あり

隣接する火災区画と火災伝播経路

(※ 有:伝播する 無:伝播しない)

隣接する 火災区画	火災伝播 経路有無	等価時間 (h)	耐火時間 (h)	火災伝播の 可能性 ※	備考
	無	0.5	3.0	無	
	無	0.5	3.0	無	
	無	0.5	3.0	無	
	無	0.5	3.0	無	
	無	0.5	3.0	無	
	無	0.5	3.0	無	
	無	0.5	3.0	無	
	無	0.5	3.0	無	
	無	0.5	3.0	無	
	無	0.5	3.0	無	

火災区域(区画)特性表

1. 火災区域(区画)の説明

建屋名	精製建屋
火災区域/区画区分	火災区域
火災区域/区画番号	AC-7/
火災区域/区画名称	アルファモニタ保守室
床面積(m ²)	

2. 火災区域(区画)の火災シナリオの説明

AC-7は、精製建屋内の火災区域である。
 本区画の火災源は、電動機および電気盤である。
 したがって、本区画の想定火災としては、電動機絶縁物火災または、電気盤火災により、多重化された安全上重要な施設のA/B系の設備(6.火災影響を受ける火災防護対象機器等参照)が火災影響を受け、安全機能が喪失するおそれがあるが、火災により計測制御系が影響を受けた場合、保安規定第32条に基づき、使用済燃料の再処理運転の停止状態に移行、または、運転を停止する措置を講じるため、安定停止状態が維持できる。

3. 火災区域(区画)にある火災源

(1) 等価時間

発熱量(kJ)	火災荷重(kJ/m ²)	等価時間(h) [※]
		0.5

※ 等価時間は、内部火災影響評価ガイドの等価時間記載の値で示す。

(2) 火災区域(区画)にある火災源機器数

火災源	機器数
電動機(3.7kW超)	1
電気盤(440V以上)	2
ケーブルトレイ(ケーブル)	-
油脂類・有機溶媒等	-
その他	-

4. 火災区域(区画)にある防火設備

火災感知の手段	主要な消火設備	消火方法	消火設備のバックアップ
煙感知器 熱感知器	ハロゲン化物消火 設備(全域)	自動	粉末消火器

5. 火災区域(区画)に隣接する火災区域(区画)と火災伝播経路 隣接火災区画への火災伝播経路の詳細は、別紙1参照

6. 火災影響を受ける火災防護対象機器等

機器名称[機器番号]	最重要設備※	最重要設備以外の安全上重要な施設※
プルトニウム洗浄器4段目アルファ線線量A	-	○*
プルトニウム洗浄器4段目アルファ線線量B	-	○*
プルトニウム洗浄器4段目アルファ線線量A	-	○*
プルトニウム洗浄器4段目アルファ線線量B	-	○*
プルトニウム洗浄器4段目アルファ線検出器ディスク回転	-	○*
プルトニウム洗浄器4段目アルファ線検出器ドラム回転	-	○*
プルトニウム洗浄器4段目アルファ線検出器ディスク回転	-	○*
プルトニウム洗浄器4段目アルファ線検出器ドラム回転	-	○*
プルトニウム洗浄器4段目アルファ線検出器校正位置	-	○*
プルトニウム洗浄器4段目アルファ線検出器しゃ断位置	-	○*
プルトニウム洗浄器4段目アルファ線検出器測定位置	-	○*
プルトニウム洗浄器4段目アルファ線検出器校正位置	-	○*
プルトニウム洗浄器4段目アルファ線検出器しゃ断位置	-	○*
プルトニウム洗浄器4段目アルファ線検出器測定位置	-	○*

※ ○:対象 -:非対象

* 火災想定において、工程停止等により安全機能を必要としない状態へと移行が可能なもの。

7. 火災防護対象機器等の関連ケーブル

機器名称[機器番号]	ケーブル種別	安重分類
-	-	-

8. 最重要設備の安重機能への火災影響

安重分類	全焼時の成功パスの有無	回路評価等の考慮	結果	系統分離※
Pu・高レベル廃棄物の閉じ込め機能	-	-	-	-
崩壊熱除去機能(重要度の高いもの)	-	-	-	-
安全圧縮空気系(水素掃気機能)	-	-	-	-
非常用所内電源系統	-	-	-	-

※ a: 3時間以上の耐火能力を有する耐火壁で分離

b: 水平距離6mによる分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置

c: 1時間の耐火能力を有する隔壁等による分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置

再処理施設成功パスの詳細は、別紙2参照

9. 最重要設備以外の火災防護対象機器等への火災影響

機器名称[機器番号]	当該区画の火災評価※	隣接区画の火災評価※
-	-	-

※ ○:火災影響なし ×:火災影響あり

火災区域(区画)特性表

1. 火災区域(区画)の説明

建屋名	精製建屋
火災区域/区画区分	火災区画
火災区域/区画番号	■
火災区域/区画名称	第9予備セル
床面積(m ²)	■

2. 火災区域(区画)の火災シナリオの説明

■は、精製建屋内の火災区画である。
 本区画は、火災源となるものがないおよび安全上重要な施設が設置されていないため、安全機能の喪失のおそれはない。

3. 火災区域(区画)にある火災源

(1) 等価時間

発熱量(kJ)	火災荷重(kJ/m ²)	等価時間(h) [※]
■	■	0.0

※ 等価時間は、内部火災影響評価ガイドの等価時間記載の値で示す。

(2) 火災区域(区画)にある火災源機器数

火災源	機器数
電動機(3.7kW超)	-
電気盤(440V以上)	-
ケーブルトレイ(ケーブル)	-
油脂類・有機溶媒等	-
その他	-

4. 火災区域(区画)にある防火設備

火災感知の手段	主要な消火設備	消火方法	消火設備のバックアップ
設置除外	設置除外	-	-

5. 火災区域(区画)に隣接する火災区域(区画)と火災伝播経路 隣接火災区画への火災伝播経路の詳細は、別紙1参照

6. 火災影響を受ける火災防護対象機器等

機器名称[機器番号]	最重要設備 [※]	最重要設備以外の安全上重要な施設 [※]
-	-	-

※ ○:対象 -:非対象

* 火災想定において、工程停止等により安全機能を必要としない状態へと移行が可能なもの。

7. 火災防護対象機器等の関連ケーブル

機器名称[機器番号]	ケーブル種別	安重分類
-	-	-

8. 最重要設備の安重機能への火災影響

安重分類	全焼時の成功パスの有無	回路評価等の考慮	結果	系統分離※
Pu・高レベル廃棄物の閉じ込め機能	-	-	-	-
崩壊熱除去機能(重要度の高いもの)	-	-	-	-
安全圧縮空気系(水素掃気機能)	-	-	-	-
非常用所内電源系統	-	-	-	-

※ a : 3時間以上の耐火能力を有する耐火壁で分離

b : 水平距離6mによる分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置

c : 1時間の耐火能力を有する隔壁等による分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置
再処理施設成功パスの詳細は、別紙2参照

9. 最重要設備以外の火災防護対象機器等への火災影響

機器名称[機器番号]	当該区画の火災評価※	隣接区画の火災評価※
-	-	-

※ ○:火災影響なし ×:火災影響あり

隣接する火災区画と火災伝播経路

(※ 有:伝播する 無:伝播しない)

隣接する 火災区画	火災伝播 経路有無	等価時間 (h)	耐火時間 (h)	火災伝播の 可能性 ※	備考
	無	0.0	3.0	無	
	無	0.0	3.0	無	
	無	0.0	3.0	無	
	有	0.0	0.0	無	
	無	0.0	3.0	無	

火災区域(区画)特性表

1. 火災区域(区画)の説明

建屋名	精製建屋
火災区域/区画区分	火災区画
火災区域/区画番号	■
火災区域/区画名称	アルファモニタIセル
床面積(m ²)	■

2. 火災区域(区画)の火災シナリオの説明

■は、精製建屋内の火災区画である。
 本区画は、火災源となるものがないおよび安全上重要な施設が金属等の不燃材で構成され火災影響を受けないことから、安全機能の喪失のおそれがない。

3. 火災区域(区画)にある火災源

(1) 等価時間

発熱量(kJ)	火災荷重(kJ/m ²)	等価時間(h) [※]
■	■	0.5

※ 等価時間は、内部火災影響評価ガイドの等価時間記載の値で示す。

(2) 火災区域(区画)にある火災源機器数

火災源	機器数
電動機(3.7kW超)	-
電気盤(440V以上)	-
ケーブルトレイ(ケーブル)	-
油脂類・有機溶媒等	-
その他	-

4. 火災区域(区画)にある防火設備

火災感知の手段	主要な消火設備	消火方法	消火設備のバックアップ
漏えい検知装置	設置除外	-	-

5. 火災区域(区画)に隣接する火災区域(区画)と火災伝播経路

隣接火災区画への火災伝播経路の詳細は、別紙1参照

6. 火災影響を受ける火災防護対象機器等

機器名称[機器番号]	最重要設備 [※]	最重要設備以外の安全上重要な施設 [※]
-	-	-

※ ○:対象 -:非対象

* 火災想定において、工程停止等により安全機能を必要としない状態へと移行が可能なもの。

7. 火災防護対象機器等の関連ケーブル

機器名称[機器番号]	ケーブル種別	安重分類
-	-	-

8. 最重要設備の安重機能への火災影響

安重分類	全焼時の成功パスの有無	回路評価等の考慮	結果	系統分離※
Pu・高レベル廃棄物の閉じ込め機能	-	-	-	-
崩壊熱除去機能(重要度の高いもの)	-	-	-	-
安全圧縮空気系(水素掃気機能)	-	-	-	-
非常用所内電源系統	-	-	-	-

※ a : 3時間以上の耐火能力を有する耐火壁で分離

b : 水平距離6mによる分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置

c : 1時間の耐火能力を有する隔壁等による分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置
再処理施設成功パスの詳細は、別紙2参照

9. 最重要設備以外の火災防護対象機器等への火災影響

機器名称[機器番号]	当該区画の火災評価※	隣接区画の火災評価※
-	-	-

※ ○:火災影響なし ×:火災影響あり

隣接する火災区画と火災伝播経路

(※ 有:伝播する 無:伝播しない)

隣接する 火災区画	火災伝播 経路有無	等価時間 (h)	耐火時間 (h)	火災伝播の 可能性 ※	備考
	無	0.5	3.0	無	
	無	0.5	3.0	無	
	無	0.5	3.0	無	
	無	0.5	3.0	無	
	無	0.5	3.0	無	

火災区域(区画)特性表

1. 火災区域(区画)の説明

建屋名	精製建屋
火災区域／区画区分	火災区画
火災区域／区画番号	■
火災区域／区画名称	アルファモニタBセル
床面積(m ²)	■

2. 火災区域(区画)の火災シナリオの説明

■は、精製建屋内の火災区画である。
 本区画は、火災源となるものがないおよび安全上重要な施設が金属等の不燃材で構成され火災影響を受けないことから、安全機能の喪失のおそれがない。

3. 火災区域(区画)にある火災源

(1) 等価時間

発熱量(kJ)	火災荷重 (kJ/m ²)	等価時間(h) [※]
■	■	0.0

※ 等価時間は、内部火災影響評価ガイドの等価時間記載の値で示す。

(2) 火災区域(区画)にある火災源機器数

火災源	機器数
電動機(3.7kW超)	-
電気盤(440V以上)	-
ケーブルトレイ(ケーブル)	-
油脂類・有機溶媒等	-
その他	-

4. 火災区域(区画)にある防火設備

火災感知の手段	主要な消火設備	消火方法	消火設備のバックアップ
設置除外	設置除外	-	-

5. 火災区域(区画)に隣接する火災区域(区画)と火災伝播経路 隣接火災区画への火災伝播経路の詳細は、別紙1参照

6. 火災影響を受ける火災防護対象機器等

機器名称[機器番号]	最重要設備 [※]	最重要設備以外の安全上重要な施設 [※]
-	-	-

※ ○:対象 -:非対象

* 火災想定において、工程停止等により安全機能を必要としない状態へと移行が可能なもの。

7. 火災防護対象機器等の関連ケーブル

機器名称[機器番号]	ケーブル種別	安重分類
-	-	-

8. 最重要設備の安重機能への火災影響

安重分類	全焼時の成功パスの有無	回路評価等の考慮	結果	系統分離※
Pu・高レベル廃棄物の閉じ込め機能	-	-	-	-
崩壊熱除去機能(重要度の高いもの)	-	-	-	-
安全圧縮空気系(水素掃気機能)	-	-	-	-
非常用所内電源系統	-	-	-	-

※ a : 3時間以上の耐火能力を有する耐火壁で分離

b : 水平距離6mによる分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置

c : 1時間の耐火能力を有する隔壁等による分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置
再処理施設成功パスの詳細は、別紙2参照

9. 最重要設備以外の火災防護対象機器等への火災影響

機器名称[機器番号]	当該区画の火災評価※	隣接区画の火災評価※
-	-	-

※ ○:火災影響なし ×:火災影響あり

隣接する火災区画と火災伝播経路

(※ 有:伝播する 無:伝播しない)

隣接する 火災区画	火災伝播 経路有無	等価時間 (h)	耐火時間 (h)	火災伝播の 可能性 ※	備考
	無	0.0	3.0	無	
	無	0.0	3.0	無	
	無	0.0	3.0	無	
	無	0.0	3.0	無	
	無	0.0	3.0	無	

火災区域(区画)特性表

1. 火災区域(区画)の説明

建屋名	精製建屋
火災区域/区画区分	火災区画
火災区域/区画番号	■
火災区域/区画名称	アルファモニタCセル
床面積(m ²)	■

2. 火災区域(区画)の火災シナリオの説明

■は、精製建屋内の火災区画である。
 本区画は、火災源となるものがないおよび安全上重要な施設が金属等の不燃材で構成され火災影響を受けないことから、安全機能の喪失のおそれがない。

3. 火災区域(区画)にある火災源

(1) 等価時間

発熱量(kJ)	火災荷重 (kJ/m ²)	等価時間(h) [※]
■	■	0.5

※ 等価時間は、内部火災影響評価ガイドの等価時間記載の値で示す。

(2) 火災区域(区画)にある火災源機器数

火災源	機器数
電動機(3.7kW超)	-
電気盤(440V以上)	-
ケーブルトレイ(ケーブル)	-
油脂類・有機溶媒等	-
その他	-

4. 火災区域(区画)にある防火設備

火災感知の手段	主要な消火設備	消火方法	消火設備のバックアップ
漏えい検知装置	設置除外	-	-

5. 火災区域(区画)に隣接する火災区域(区画)と火災伝播経路

隣接火災区画への火災伝播経路の詳細は、別紙1参照

6. 火災影響を受ける火災防護対象機器等

機器名称[機器番号]	最重要設備 [※]	最重要設備以外の安全上重要な施設 [※]
-	-	-

※ ○:対象 -:非対象

* 火災想定において、工程停止等により安全機能を必要としない状態へと移行が可能なもの。

7. 火災防護対象機器等の関連ケーブル

機器名称[機器番号]	ケーブル種別	安重分類
-	-	-

8. 最重要設備の安重機能への火災影響

安重分類	全焼時の成功パスの有無	回路評価等の考慮	結果	系統分離※
Pu・高レベル廃棄物の閉じ込め機能	-	-	-	-
崩壊熱除去機能(重要度の高いもの)	-	-	-	-
安全圧縮空気系(水素掃気機能)	-	-	-	-
非常用所内電源系統	-	-	-	-

※ a : 3時間以上の耐火能力を有する耐火壁で分離

b : 水平距離6mによる分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置

c : 1時間の耐火能力を有する隔壁等による分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置
再処理施設成功パスの詳細は、別紙2参照

9. 最重要設備以外の火災防護対象機器等への火災影響

機器名称[機器番号]	当該区画の火災評価※	隣接区画の火災評価※
-	-	-

※ ○:火災影響なし ×:火災影響あり

隣接する火災区画と火災伝播経路

(※ 有:伝播する 無:伝播しない)

隣接する 火災区画	火災伝播 経路有無	等価時間 (h)	耐火時間 (h)	火災伝播の 可能性 ※	備考
	無	0.5	3.0	無	
	無	0.5	3.0	無	
	無	0.5	3.0	無	
	無	0.5	3.0	無	

火災区域(区画)特性表

1. 火災区域(区画)の説明

建屋名	精製建屋
火災区域/区画区分	火災区画
火災区域/区画番号	■
火災区域/区画名称	常用電気品第3室
床面積(m ²)	■

2. 火災区域(区画)の火災シナリオの説明

■は、精製建屋内の火災区画である。
 本区画は、電気盤火災または、ケーブルトレイ火災の発生の可能性があるが、安全上重要な施設が設置されていないため、安全機能の喪失のおそれはない。

3. 火災区域(区画)にある火災源

(1) 等価時間

発熱量(kJ)	火災荷重 (kJ/m ²)	等価時間(h) [※]
■	■	1.0

※ 等価時間は、内部火災影響評価ガイドの等価時間記載の値で示す。

(2) 火災区域(区画)にある火災源機器数

火災源	機器数
電動機(3.7kW超)	-
電気盤(440V以上)	9
ケーブルトレイ(ケーブル)	有
油脂類・有機溶媒等	-
その他	-

4. 火災区域(区画)にある防火設備

火災感知の手段	主要な消火設備	消火方法	消火設備のバックアップ
煙感知器	二酸化炭素消火器	手動	粉末消火器

5. 火災区域(区画)に隣接する火災区域(区画)と火災伝播経路

隣接火災区画への火災伝播経路の詳細は、別紙1参照

6. 火災影響を受ける火災防護対象機器等

機器名称[機器番号]	最重要設備 [※]	最重要設備以外の安全上重要な施設 [※]
-	-	-

※ ○:対象 -:非対象

* 火災想定において、工程停止等により安全機能を必要としない状態へと移行が可能なもの。

7. 火災防護対象機器等の関連ケーブル

機器名称[機器番号]	ケーブル種別	安重分類
-	-	-

8. 最重要設備の安重機能への火災影響

安重分類	全焼時の成功パスの有無	回路評価等の考慮	結果	系統分離※
Pu・高レベル廃棄物の閉じ込め機能	-	-	-	-
崩壊熱除去機能(重要度の高いもの)	-	-	-	-
安全圧縮空気系(水素掃気機能)	-	-	-	-
非常用所内電源系統	-	-	-	-

※ a : 3時間以上の耐火能力を有する耐火壁で分離

b : 水平距離6mによる分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置

c : 1時間の耐火能力を有する隔壁等による分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置
再処理施設成功パスの詳細は、別紙2参照

9. 最重要設備以外の火災防護対象機器等への火災影響

機器名称[機器番号]	当該区画の火災評価※	隣接区画の火災評価※
-	-	-

※ ○:火災影響なし ×:火災影響あり

隣接する火災区画と火災伝播経路

(※ 有:伝播する 無:伝播しない)

隣接する 火災区画	火災伝播 経路有無	等価時間 (h)	耐火時間 (h)	火災伝播の 可能性 ※	備考
	無	1.0	3.0	無	
	無	1.0	3.0	無	
	無	1.0	1.0	無	
	無	1.0	3.0	無	
	無	1.0	1.0	無	
	無	1.0	3.0	無	
	無	1.0	3.0	無	
	無	1.0	1.0	無	
	無	1.0	1.0	無	

火災区域(区画)特性表

1. 火災区域(区画)の説明

建屋名	精製建屋
火災区域/区画区分	火災区画
火災区域/区画番号	■
火災区域/区画名称	エアロック第1室
床面積(m ²)	■

2. 火災区域(区画)の火災シナリオの説明

■は、精製建屋内の火災区画である。
 本区画は、火災源となるものがないおよび安全上重要な施設が設置されていないため、安全機能の喪失のおそれはない。

3. 火災区域(区画)にある火災源

(1) 等価時間

発熱量(kJ)	火災荷重(kJ/m ²)	等価時間(h) [※]
■	■	0.0

※ 等価時間は、内部火災影響評価ガイドの等価時間記載の値で示す。

(2) 火災区域(区画)にある火災源機器数

火災源	機器数
電動機(3.7kW超)	-
電気盤(440V以上)	-
ケーブルトレイ(ケーブル)	-
油脂類・有機溶媒等	-
その他	-

4. 火災区域(区画)にある防火設備

火災感知の手段	主要な消火設備	消火方法	消火設備のバックアップ
煙感知器	屋内消火栓	手動	粉末消火器

5. 火災区域(区画)に隣接する火災区域(区画)と火災伝播経路

隣接火災区画への火災伝播経路の詳細は、別紙1参照

6. 火災影響を受ける火災防護対象機器等

機器名称[機器番号]	最重要設備 [※]	最重要設備以外の安全上重要な施設 [※]
-	-	-

※ ○:対象 -:非対象

* 火災想定において、工程停止等により安全機能を必要としない状態へと移行が可能なもの。

7. 火災防護対象機器等の関連ケーブル

機器名称[機器番号]	ケーブル種別	安重分類
-	-	-

8. 最重要設備の安重機能への火災影響

安重分類	全焼時の 成功パスの 有無	回路評価 等の考慮	結果	系統分離※
Pu・高レベル廃棄物の閉じ込め機能	-	-	-	-
崩壊熱除去機能(重要度の高いもの)	-	-	-	-
安全圧縮空気系(水素掃気機能)	-	-	-	-
非常用所内電源系統	-	-	-	-

※ a : 3時間以上の耐火能力を有する耐火壁で分離

b : 水平距離6mによる分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置

c : 1時間の耐火能力を有する隔壁等による分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置
再処理施設成功パスの詳細は、別紙2参照

9. 最重要設備以外の火災防護対象機器等への火災影響

機器名称[機器番号]	当該区画の火災評価※	隣接区画の火災評価※
-	-	-

※ ○:火災影響なし ×:火災影響あり

隣接する火災区画と火災伝播経路

(※ 有:伝播する 無:伝播しない)

隣接する 火災区画	火災伝播 経路有無	等価時間 (h)	耐火時間 (h)	火災伝播の 可能性 ※	備考
	無	0.0	3.0	無	
	有	0.0	0.0	無	
	無	0.0	1.0	無	
	有	0.0	0.0	無	
	無	0.0	1.0	無	
	無	0.0	1.0	無	
	無	0.0	1.0	無	
	無	0.0	3.0	無	
	無	0.0	3.0	無	

火災区域(区画)特性表

1. 火災区域(区画)の説明

建屋名	精製建屋
火災区域/区画区分	火災区画
火災区域/区画番号	■
火災区域/区画名称	搬出入室
床面積(m ²)	■

2. 火災区域(区画)の火災シナリオの説明

■は、精製建屋内の火災区画である。
 本区画は、火災源となるものがないおよび安全上重要な施設が設置されていないため、安全機能の喪失のおそれはない。

3. 火災区域(区画)にある火災源

(1) 等価時間

発熱量(kJ)	火災荷重(kJ/m ²)	等価時間(h) [※]
■	■	0.5

※ 等価時間は、内部火災影響評価ガイドの等価時間記載の値で示す。

(2) 火災区域(区画)にある火災源機器数

火災源	機器数
電動機(3.7kW超)	-
電気盤(440V以上)	-
ケーブルトレイ(ケーブル)	-
油脂類・有機溶媒等	-
その他	-

4. 火災区域(区画)にある防火設備

火災感知の手段	主要な消火設備	消火方法	消火設備のバックアップ
熱感知器	屋内消火栓	手動	屋外消火栓

5. 火災区域(区画)に隣接する火災区域(区画)と火災伝播経路

隣接火災区画への火災伝播経路の詳細は、別紙1参照

6. 火災影響を受ける火災防護対象機器等

機器名称[機器番号]	最重要設備 [※]	最重要設備以外の安全上重要な施設 [※]
-	-	-

※ ○:対象 -:非対象

* 火災想定において、工程停止等により安全機能を必要としない状態へと移行が可能なもの。

7. 火災防護対象機器等の関連ケーブル

機器名称[機器番号]	ケーブル種別	安重分類
-	-	-

8. 最重要設備の安重機能への火災影響

安重分類	全焼時の成功パスの有無	回路評価等の考慮	結果	系統分離※
Pu・高レベル廃棄物の閉じ込め機能	-	-	-	-
崩壊熱除去機能(重要度の高いもの)	-	-	-	-
安全圧縮空気系(水素掃気機能)	-	-	-	-
非常用所内電源系統	-	-	-	-

※ a : 3時間以上の耐火能力を有する耐火壁で分離

b : 水平距離6mによる分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置

c : 1時間の耐火能力を有する隔壁等による分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置
再処理施設成功パスの詳細は、別紙2参照

9. 最重要設備以外の火災防護対象機器等への火災影響

機器名称[機器番号]	当該区画の火災評価※	隣接区画の火災評価※
-	-	-

※ ○:火災影響なし ×:火災影響あり

隣接する火災区画と火災伝播経路

(※ 有:伝播する 無:伝播しない)

隣接する 火災区画	火災伝播 経路有無	等価時間 (h)	耐火時間 (h)	火災伝播の 可能性 ※	備考
	無	0.5	3.0	無	
	有	0.5	0.0	有	
	有	0.5	0.0	有	
	有	0.5	0.0	有	
	有	0.5	0.0	有	
	無	0.5	1.0	無	
	無	0.5	1.0	無	
	無	0.5	3.0	無	

火災区域(区画)特性表

1. 火災区域(区画)の説明

建屋名	精製建屋
火災区域/区画区分	火災区画
火災区域/区画番号	■
火災区域/区画名称	第2酸回収弁予備セル
床面積(m ²)	■

2. 火災区域(区画)の火災シナリオの説明

■は、精製建屋内の火災区画である。
 本区画は、火災源となるものがないおよび安全上重要な施設が設置されていないため、安全機能の喪失のおそれはない。

3. 火災区域(区画)にある火災源

(1) 等価時間

発熱量(kJ)	火災荷重 (kJ/m ²)	等価時間(h) [※]
■	■	0.0

※ 等価時間は、内部火災影響評価ガイドの等価時間記載の値で示す。

(2) 火災区域(区画)にある火災源機器数

火災源	機器数
電動機(3.7kW超)	-
電気盤(440V以上)	-
ケーブルトレイ(ケーブル)	-
油脂類・有機溶媒等	-
その他	-

4. 火災区域(区画)にある防火設備

火災感知の手段	主要な消火設備	消火方法	消火設備のバックアップ
設置除外	設置除外	-	-

5. 火災区域(区画)に隣接する火災区域(区画)と火災伝播経路

隣接火災区画への火災伝播経路の詳細は、別紙1参照

6. 火災影響を受ける火災防護対象機器等

機器名称[機器番号]	最重要設備 [※]	最重要設備以外の安全上重要な施設 [※]
-	-	-

※ ○:対象 -:非対象

* 火災想定において、工程停止等により安全機能を必要としない状態へと移行が可能なもの。

7. 火災防護対象機器等の関連ケーブル

機器名称[機器番号]	ケーブル種別	安重分類
-	-	-

8. 最重要設備の安重機能への火災影響

安重分類	全焼時の 成功パスの 有無	回路評価 等の考慮	結果	系統分離※
Pu・高レベル廃棄物の閉じ込め機能	-	-	-	-
崩壊熱除去機能(重要度の高いもの)	-	-	-	-
安全圧縮空気系(水素掃気機能)	-	-	-	-
非常用所内電源系統	-	-	-	-

※ a : 3時間以上の耐火能力を有する耐火壁で分離

b : 水平距離6mによる分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置

c : 1時間の耐火能力を有する隔壁等による分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置
再処理施設成功パスの詳細は、別紙2参照

9. 最重要設備以外の火災防護対象機器等への火災影響

機器名称[機器番号]	当該区画の火災評価※	隣接区画の火災評価※
-	-	-

※ ○:火災影響なし ×:火災影響あり

隣接する火災区画と火災伝播経路

(※ 有:伝播する 無:伝播しない)

隣接する 火災区画	火災伝播 経路有無	等価時間 (h)	耐火時間 (h)	火災伝播の 可能性 ※	備考
	無	0.0	3.0	無	
	有	0.0	0.0	無	
	無	0.0	3.0	無	
	有	0.0	0.0	無	

火災区域(区画)特性表

1. 火災区域(区画)の説明

建屋名	精製建屋
火災区域/区画区分	火災区画
火災区域/区画番号	■
火災区域/区画名称	ウラン濃縮缶用スチームジェット凝縮器室
床面積(m ²)	■

2. 火災区域(区画)の火災シナリオの説明

■は、精製建屋内の火災区画である。
 本区画は、ケーブルトレイ火災の発生可能性があるが、安全上重要な施設が設置されていないため、安全機能の喪失のおそれはない。

3. 火災区域(区画)にある火災源

(1) 等価時間

発熱量(kJ)	火災荷重 (kJ/m ²)	等価時間(h) [※]
■	■	1.0

※ 等価時間は、内部火災影響評価ガイドの等価時間記載の値で示す。

(2) 火災区域(区画)にある火災源機器数

火災源	機器数
電動機(3.7kW超)	-
電気盤(440V以上)	-
ケーブルトレイ(ケーブル)	有
油脂類・有機溶媒等	-
その他	-

4. 火災区域(区画)にある防火設備

火災感知の手段	主要な消火設備	消火方法	消火設備のバックアップ
煙感知器	屋内消火栓	手動	粉末消火器

5. 火災区域(区画)に隣接する火災区域(区画)と火災伝播経路

隣接火災区画への火災伝播経路の詳細は、別紙1参照

6. 火災影響を受ける火災防護対象機器等

機器名称[機器番号]	最重要設備 [※]	最重要設備以外の安全上重要な施設 [※]
-	-	-

※ ○:対象 -:非対象

* 火災想定において、工程停止等により安全機能を必要としない状態へと移行が可能なもの。

7. 火災防護対象機器等の関連ケーブル

機器名称[機器番号]	ケーブル種別	安重分類
-	-	-

8. 最重要設備の安重機能への火災影響

安重分類	全焼時の成功パスの有無	回路評価等の考慮	結果	系統分離※
Pu・高レベル廃棄物の閉じ込め機能	-	-	-	-
崩壊熱除去機能(重要度の高いもの)	-	-	-	-
安全圧縮空気系(水素掃気機能)	-	-	-	-
非常用所内電源系統	-	-	-	-

※ a : 3時間以上の耐火能力を有する耐火壁で分離

b : 水平距離6mによる分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置

c : 1時間の耐火能力を有する隔壁等による分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置
再処理施設成功パスの詳細は、別紙2参照

9. 最重要設備以外の火災防護対象機器等への火災影響

機器名称[機器番号]	当該区画の火災評価※	隣接区画の火災評価※
-	-	-

※ ○:火災影響なし ×:火災影響あり

隣接する火災区画と火災伝播経路

(※ 有:伝播する 無:伝播しない)

隣接する 火災区画	火災伝播 経路有無	等価時間 (h)	耐火時間 (h)	火災伝播の 可能性 ※	備考
	無	1.0	3.0	無	
	無	1.0	3.0	無	
	無	1.0	3.0	無	
	有	1.0	0.0	有	
	有	1.0	0.0	有	
	有	1.0	0.0	有	
	有	1.0	0.0	有	
	無	1.0	3.0	無	
	有	1.0	0.0	有	
	有	1.0	0.0	有	

火災区域(区画)特性表

1. 火災区域(区画)の説明

建屋名	精製建屋
火災区域/区画区分	火災区画
火災区域/区画番号	■
火災区域/区画名称	蒸気発生器第3室
床面積(m ²)	■

2. 火災区域(区画)の火災シナリオの説明

■は、精製建屋内の火災区画である。
 本区画は、火災源となるものがないおよび安全上重要な施設が設置されていないため、安全機能の喪失のおそれはない。

3. 火災区域(区画)にある火災源

(1) 等価時間

発熱量(kJ)	火災荷重 (kJ/m ²)	等価時間(h) [※]
■	■	0.0

※ 等価時間は、内部火災影響評価ガイドの等価時間記載の値で示す。

(2) 火災区域(区画)にある火災源機器数

火災源	機器数
電動機(3.7kW超)	-
電気盤(440V以上)	-
ケーブルトレイ(ケーブル)	-
油脂類・有機溶媒等	-
その他	-

4. 火災区域(区画)にある防火設備

火災感知の手段	主要な消火設備	消火方法	消火設備のバックアップ
煙感知器	屋内消火栓	手動	粉末消火器

5. 火災区域(区画)に隣接する火災区域(区画)と火災伝播経路

隣接火災区画への火災伝播経路の詳細は、別紙1参照

6. 火災影響を受ける火災防護対象機器等

機器名称[機器番号]	最重要設備 [※]	最重要設備以外の安全上重要な施設 [※]
-	-	-

※ ○:対象 -:非対象

* 火災想定において、工程停止等により安全機能を必要としない状態へと移行が可能なもの。

7. 火災防護対象機器等の関連ケーブル

機器名称[機器番号]	ケーブル種別	安重分類
-	-	-

8. 最重要設備の安重機能への火災影響

安重分類	全焼時の成功パスの有無	回路評価等の考慮	結果	系統分離※
Pu・高レベル廃棄物の閉じ込め機能	-	-	-	-
崩壊熱除去機能(重要度の高いもの)	-	-	-	-
安全圧縮空気系(水素掃気機能)	-	-	-	-
非常用所内電源系統	-	-	-	-

※ a : 3時間以上の耐火能力を有する耐火壁で分離

b : 水平距離6mによる分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置

c : 1時間の耐火能力を有する隔壁等による分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置
再処理施設成功パスの詳細は、別紙2参照

9. 最重要設備以外の火災防護対象機器等への火災影響

機器名称[機器番号]	当該区画の火災評価※	隣接区画の火災評価※
-	-	-

※ ○:火災影響なし ×:火災影響あり

隣接する火災区画と火災伝播経路

(※ 有:伝播する 無:伝播しない)

隣接する 火災区画	火災伝播 経路有無	等価時間 (h)	耐火時間 (h)	火災伝播の 可能性 ※	備考
	無	0.0	3.0	無	
	無	0.0	3.0	無	
	有	0.0	0.0	無	
	有	0.0	0.0	無	
	有	0.0	0.0	無	
	有	0.0	0.0	無	
	有	0.0	0.0	無	
	有	0.0	0.0	無	

火災区域(区画)特性表

1. 火災区域(区画)の説明

建屋名	精製建屋
火災区域/区画区分	火災区画
火災区域/区画番号	■
火災区域/区画名称	第16保守室
床面積(m ²)	■

2. 火災区域(区画)の火災シナリオの説明

■は、精製建屋内の火災区画である。
 本区画は、火災源となるものがないおよび安全上重要な施設が設置されていないため、安全機能の喪失のおそれはない。

3. 火災区域(区画)にある火災源

(1) 等価時間

発熱量(kJ)	火災荷重(kJ/m ²)	等価時間(h) [※]
■	■	0.0

※ 等価時間は、内部火災影響評価ガイドの等価時間記載の値で示す。

(2) 火災区域(区画)にある火災源機器数

火災源	機器数
電動機(3.7kW超)	-
電気盤(440V以上)	-
ケーブルトレイ(ケーブル)	-
油脂類・有機溶媒等	-
その他	-

4. 火災区域(区画)にある防火設備

火災感知の手段	主要な消火設備	消火方法	消火設備のバックアップ
煙感知器	屋内消火栓	手動	粉末消火器

5. 火災区域(区画)に隣接する火災区域(区画)と火災伝播経路

隣接火災区画への火災伝播経路の詳細は、別紙1参照

6. 火災影響を受ける火災防護対象機器等

機器名称[機器番号]	最重要設備 [※]	最重要設備以外の安全上重要な施設 [※]
-	-	-

※ ○:対象 -:非対象

* 火災想定において、工程停止等により安全機能を必要としない状態へと移行が可能なもの。

7. 火災防護対象機器等の関連ケーブル

機器名称[機器番号]	ケーブル種別	安重分類
-	-	-

8. 最重要設備の安重機能への火災影響

安重分類	全焼時の 成功パスの 有無	回路評価 等の考慮	結果	系統分離※
Pu・高レベル廃棄物の閉じ込め機能	-	-	-	-
崩壊熱除去機能(重要度の高いもの)	-	-	-	-
安全圧縮空気系(水素掃気機能)	-	-	-	-
非常用所内電源系統	-	-	-	-

※ a : 3時間以上の耐火能力を有する耐火壁で分離

b : 水平距離6mによる分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置

c : 1時間の耐火能力を有する隔壁等による分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置
再処理施設成功パスの詳細は、別紙2参照

9. 最重要設備以外の火災防護対象機器等への火災影響

機器名称[機器番号]	当該区画の火災評価※	隣接区画の火災評価※
-	-	-

※ ○:火災影響なし ×:火災影響あり

隣接する火災区画と火災伝播経路

(※ 有:伝播する 無:伝播しない)

隣接する 火災区画	火災伝播 経路有無	等価時間 (h)	耐火時間 (h)	火災伝播の 可能性 ※	備考
	無	0.0	3.0	無	
	有	0.0	0.0	無	
	有	0.0	0.0	無	
	有	0.0	0.0	無	
	有	0.0	0.0	無	
	有	0.0	0.0	無	

火災区域(区画)特性表

1. 火災区域(区画)の説明

建屋名	精製建屋
火災区域/区画区分	火災区画
火災区域/区画番号	■
火災区域/区画名称	溶媒蒸発缶セル
床面積(m ²)	■

2. 火災区域(区画)の火災シナリオの説明

■は、精製建屋内の火災区画である。
 本区画は、火災源となるものがないおよび安全上重要な施設が設置されていないため、安全機能の喪失のおそれはない。

3. 火災区域(区画)にある火災源

(1) 等価時間

発熱量(kJ)	火災荷重 (kJ/m ²)	等価時間(h) [※]
■	■	4.5

※ 等価時間は、内部火災影響評価ガイドの等価時間記載の値で示す。

(2) 火災区域(区画)にある火災源機器数

火災源	機器数
電動機(3.7kW超)	-
電気盤(440V以上)	-
ケーブルトレイ(ケーブル)	-
油脂類・有機溶媒等	-
その他	-

4. 火災区域(区画)にある防火設備

火災感知の手段	主要な消火設備	消火方法	消火設備のバックアップ
漏えい検知装置	設置除外	-	-

5. 火災区域(区画)に隣接する火災区域(区画)と火災伝播経路

隣接火災区画への火災伝播経路の詳細は、別紙1参照

6. 火災影響を受ける火災防護対象機器等

機器名称[機器番号]	最重要設備 [※]	最重要設備以外の安全上重要な施設 [※]
-	-	-

※ ○:対象 -:非対象

* 火災想定において、工程停止等により安全機能を必要としない状態へと移行が可能なもの。

7. 火災防護対象機器等の関連ケーブル

機器名称[機器番号]	ケーブル種別	安重分類
-	-	-

8. 最重要設備の安重機能への火災影響

安重分類	全焼時の成功パスの有無	回路評価等の考慮	結果	系統分離※
Pu・高レベル廃棄物の閉じ込め機能	-	-	-	-
崩壊熱除去機能(重要度の高いもの)	-	-	-	-
安全圧縮空気系(水素掃気機能)	-	-	-	-
非常用所内電源系統	-	-	-	-

※ a : 3時間以上の耐火能力を有する耐火壁で分離

b : 水平距離6mによる分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置

c : 1時間の耐火能力を有する隔壁等による分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置
再処理施設成功パスの詳細は、別紙2参照

9. 最重要設備以外の火災防護対象機器等への火災影響

機器名称[機器番号]	当該区画の火災評価※	隣接区画の火災評価※
-	-	-

※ ○:火災影響なし ×:火災影響あり

隣接する火災区画と火災伝播経路

(※ 有:伝播する 無:伝播しない)

隣接する 火災区画	火災伝播 経路有無	等価時間 (h)	耐火時間 (h)	火災伝播の 可能性 ※	備考
	無	3.0超	3.0	有	
	無	3.0超	3.0	有	
	有	3.0超	0.0	有	
	無	3.0超	3.0	有	
	有	3.0超	0.0	有	
	有	3.0超	0.0	有	
	有	3.0超	0.0	有	
	有	3.0超	0.0	有	
	有	3.0超	0.0	有	
	有	3.0超	0.0	有	
	有	3.0超	0.0	有	
	無	3.0超	3.0	有	
	有	3.0超	0.0	有	
	有	3.0超	0.0	有	

火災区域(区画)特性表

1. 火災区域(区画)の説明

建屋名	精製建屋
火災区域/区画区分	火災区画
火災区域/区画番号	■
火災区域/区画名称	第17保守室
床面積(m ²)	■

2. 火災区域(区画)の火災シナリオの説明

■は、精製建屋内の火災区画である。
 本区画は、火災源となるものがないおよび安全上重要な施設が設置されていないため、安全機能の喪失のおそれはない。

3. 火災区域(区画)にある火災源

(1) 等価時間

発熱量(kJ)	火災荷重 (kJ/m ²)	等価時間(h) [※]
■	■	0.0

※ 等価時間は、内部火災影響評価ガイドの等価時間記載の値で示す。

(2) 火災区域(区画)にある火災源機器数

火災源	機器数
電動機(3.7kW超)	-
電気盤(440V以上)	-
ケーブルトレイ(ケーブル)	-
油脂類・有機溶媒等	-
その他	-

4. 火災区域(区画)にある防火設備

火災感知の手段	主要な消火設備	消火方法	消火設備のバックアップ
煙感知器	屋内消火栓	手動	粉末消火器

5. 火災区域(区画)に隣接する火災区域(区画)と火災伝播経路

隣接火災区画への火災伝播経路の詳細は、別紙1参照

6. 火災影響を受ける火災防護対象機器等

機器名称[機器番号]	最重要設備 [※]	最重要設備以外の安全上重要な施設 [※]
-	-	-

※ ○:対象 -:非対象

* 火災想定において、工程停止等により安全機能を必要としない状態へと移行が可能なもの。

7. 火災防護対象機器等の関連ケーブル

機器名称[機器番号]	ケーブル種別	安重分類
-	-	-

8. 最重要設備の安重機能への火災影響

安重分類	全焼時の成功パスの有無	回路評価等の考慮	結果	系統分離※
Pu・高レベル廃棄物の閉じ込め機能	-	-	-	-
崩壊熱除去機能(重要度の高いもの)	-	-	-	-
安全圧縮空気系(水素掃気機能)	-	-	-	-
非常用所内電源系統	-	-	-	-

※ a : 3時間以上の耐火能力を有する耐火壁で分離

b : 水平距離6mによる分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置

c : 1時間の耐火能力を有する隔壁等による分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置
再処理施設成功パスの詳細は、別紙2参照

9. 最重要設備以外の火災防護対象機器等への火災影響

機器名称[機器番号]	当該区画の火災評価※	隣接区画の火災評価※
-	-	-

※ ○:火災影響なし ×:火災影響あり

隣接する火災区画と火災伝播経路

(※ 有:伝播する 無:伝播しない)

隣接する 火災区画	火災伝播 経路有無	等価時間 (h)	耐火時間 (h)	火災伝播の 可能性 ※	備考
	無	0.0	3.0	無	
	有	0.0	0.0	無	
	無	0.0	1.0	無	
	有	0.0	0.0	無	
	有	0.0	0.0	無	
	無	0.0	1.0	無	
	有	0.0	0.0	無	
	有	0.0	0.0	無	

火災区域(区画)特性表

1. 火災区域(区画)の説明

建屋名	精製建屋
火災区域/区画区分	火災区画
火災区域/区画番号	■
火災区域/区画名称	ウラン系高性能粒子フィルタ加熱器室
床面積(m ²)	■

2. 火災区域(区画)の火災シナリオの説明

■は、精製建屋内の火災区画である。
 本区画は、電気盤火災の発生可能性があるが、安全上重要な施設が設置されていないため、安全機能の喪失のおそれはない。

3. 火災区域(区画)にある火災源

(1) 等価時間

発熱量(kJ)	火災荷重 (kJ/m ²)	等価時間(h) [※]
■	■	0.5

※ 等価時間は、内部火災影響評価ガイドの等価時間記載の値で示す。

(2) 火災区域(区画)にある火災源機器数

火災源	機器数
電動機(3.7kW超)	-
電気盤(440V以上)	1
ケーブルトレイ(ケーブル)	-
油脂類・有機溶媒等	-
その他	-

4. 火災区域(区画)にある防火設備

火災感知の手段	主要な消火設備	消火方法	消火設備のバックアップ
煙感知器	屋内消火栓	手動	粉末消火器

5. 火災区域(区画)に隣接する火災区域(区画)と火災伝播経路

隣接火災区画への火災伝播経路の詳細は、別紙1参照

6. 火災影響を受ける火災防護対象機器等

機器名称[機器番号]	最重要設備 [※]	最重要設備以外の安全上重要な施設 [※]
-	-	-

※ ○:対象 -:非対象

* 火災想定において、工程停止等により安全機能を必要としない状態へと移行が可能なもの。

7. 火災防護対象機器等の関連ケーブル

機器名称[機器番号]	ケーブル種別	安重分類
-	-	-

8. 最重要設備の安重機能への火災影響

安重分類	全焼時の 成功パスの 有無	回路評価 等の考慮	結果	系統分離※
Pu・高レベル廃棄物の閉じ込め機能	-	-	-	-
崩壊熱除去機能(重要度の高いもの)	-	-	-	-
安全圧縮空気系(水素掃気機能)	-	-	-	-
非常用所内電源系統	-	-	-	-

※ a : 3時間以上の耐火能力を有する耐火壁で分離

b : 水平距離6mによる分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置

c : 1時間の耐火能力を有する隔壁等による分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置
再処理施設成功パスの詳細は、別紙2参照

9. 最重要設備以外の火災防護対象機器等への火災影響

機器名称[機器番号]	当該区画の火災評価※	隣接区画の火災評価※
-	-	-

※ ○:火災影響なし ×:火災影響あり

隣接する火災区画と火災伝播経路

(※ 有:伝播する 無:伝播しない)

隣接する 火災区画	火災伝播 経路有無	等価時間 (h)	耐火時間 (h)	火災伝播の 可能性 ※	備考
	無	0.5	3.0	無	
	有	0.5	0.0	有	
	有	0.5	0.0	有	
	有	0.5	0.0	有	
	有	0.5	0.0	有	
	有	0.5	0.0	有	
	有	0.5	0.0	有	

火災区域(区画)特性表

1. 火災区域(区画)の説明

建屋名	精製建屋
火災区域/区画区分	火災区画
火災区域/区画番号	■
火災区域/区画名称	蒸気分配第5室
床面積(m ²)	■

2. 火災区域(区画)の火災シナリオの説明

■は、精製建屋内の火災区画である。
 本区画は、火災源となるものがないおよび安全上重要な施設が設置されていないため、安全機能の喪失のおそれはない。

3. 火災区域(区画)にある火災源

(1) 等価時間

発熱量(kJ)	火災荷重 (kJ/m ²)	等価時間(h) [※]
■	■	0.0

※ 等価時間は、内部火災影響評価ガイドの等価時間記載の値で示す。

(2) 火災区域(区画)にある火災源機器数

火災源	機器数
電動機(3.7kW超)	-
電気盤(440V以上)	-
ケーブルトレイ(ケーブル)	-
油脂類・有機溶媒等	-
その他	-

4. 火災区域(区画)にある防火設備

火災感知の手段	主要な消火設備	消火方法	消火設備のバックアップ
煙感知器	屋内消火栓	手動	粉末消火器

5. 火災区域(区画)に隣接する火災区域(区画)と火災伝播経路

隣接火災区画への火災伝播経路の詳細は、別紙1参照

6. 火災影響を受ける火災防護対象機器等

機器名称[機器番号]	最重要設備 [※]	最重要設備以外の安全上重要な施設 [※]
-	-	-

※ ○:対象 -:非対象

* 火災想定において、工程停止等により安全機能を必要としない状態へと移行が可能なもの。

7. 火災防護対象機器等の関連ケーブル

機器名称[機器番号]	ケーブル種別	安重分類
-	-	-

8. 最重要設備の安重機能への火災影響

安重分類	全焼時の成功パスの有無	回路評価等の考慮	結果	系統分離※
Pu・高レベル廃棄物の閉じ込め機能	-	-	-	-
崩壊熱除去機能(重要度の高いもの)	-	-	-	-
安全圧縮空気系(水素掃気機能)	-	-	-	-
非常用所内電源系統	-	-	-	-

※ a : 3時間以上の耐火能力を有する耐火壁で分離

b : 水平距離6mによる分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置

c : 1時間の耐火能力を有する隔壁等による分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置
再処理施設成功パスの詳細は、別紙2参照

9. 最重要設備以外の火災防護対象機器等への火災影響

機器名称[機器番号]	当該区画の火災評価※	隣接区画の火災評価※
-	-	-

※ ○:火災影響なし ×:火災影響あり

隣接する火災区画と火災伝播経路

(※ 有:伝播する 無:伝播しない)

隣接する 火災区画	火災伝播 経路有無	等価時間 (h)	耐火時間 (h)	火災伝播の 可能性 ※	備考
	無	0.0	3.0	無	
	無	0.0	3.0	無	
	無	0.0	3.0	無	
	無	0.0	3.0	無	
	無	0.0	3.0	無	
	無	0.0	3.0	無	
	無	0.0	3.0	無	

火災区域(区画)特性表

1. 火災区域(区画)の説明

建屋名	精製建屋
火災区域/区画区分	火災区画
火災区域/区画番号	■
火災区域/区画名称	第14サブチェンジングルーム
床面積(m ²)	■

2. 火災区域(区画)の火災シナリオの説明

■は、精製建屋内の火災区画である。
 本区画は、電気盤火災の発生可能性があるが、安全上重要な施設が設置されていないため、安全機能の喪失のおそれはない。

3. 火災区域(区画)にある火災源

(1) 等価時間

発熱量(kJ)	火災荷重 (kJ/m ²)	等価時間(h) [※]
■	■	1.0

※ 等価時間は、内部火災影響評価ガイドの等価時間記載の値で示す。

(2) 火災区域(区画)にある火災源機器数

火災源	機器数
電動機(3.7kW超)	-
電気盤(440V以上)	1
ケーブルトレイ(ケーブル)	-
油脂類・有機溶媒等	-
その他	-

4. 火災区域(区画)にある防火設備

火災感知の手段	主要な消火設備	消火方法	消火設備のバックアップ
煙感知器	屋内消火栓	手動	粉末消火器

5. 火災区域(区画)に隣接する火災区域(区画)と火災伝播経路 隣接火災区画への火災伝播経路の詳細は、別紙1参照

6. 火災影響を受ける火災防護対象機器等

機器名称[機器番号]	最重要設備 [※]	最重要設備以外の安全上重要な施設 [※]
-	-	-

※ ○:対象 -:非対象

* 火災想定において、工程停止等により安全機能を必要としない状態へと移行が可能なもの。

7. 火災防護対象機器等の関連ケーブル

機器名称[機器番号]	ケーブル種別	安重分類
-	-	-

8. 最重要設備の安重機能への火災影響

安重分類	全焼時の成功パスの有無	回路評価等の考慮	結果	系統分離※
Pu・高レベル廃棄物の閉じ込め機能	-	-	-	-
崩壊熱除去機能(重要度の高いもの)	-	-	-	-
安全圧縮空気系(水素掃気機能)	-	-	-	-
非常用所内電源系統	-	-	-	-

※ a : 3時間以上の耐火能力を有する耐火壁で分離

b : 水平距離6mによる分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置

c : 1時間の耐火能力を有する隔壁等による分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置
再処理施設成功パスの詳細は、別紙2参照

9. 最重要設備以外の火災防護対象機器等への火災影響

機器名称[機器番号]	当該区画の火災評価※	隣接区画の火災評価※
-	-	-

※ ○:火災影響なし ×:火災影響あり

隣接する火災区画と火災伝播経路

(※ 有:伝播する 無:伝播しない)

隣接する 火災区画	火災伝播 経路有無	等価時間 (h)	耐火時間 (h)	火災伝播の 可能性 ※	備考
	無	1.0	3.0	無	
	有	1.0	0.0	有	
	無	1.0	3.0	無	
	無	1.0	3.0	無	
	有	1.0	0.0	有	

火災区域(区画)特性表

1. 火災区域(区画)の説明

建屋名	精製建屋
火災区域/区画区分	火災区画
火災区域/区画番号	■
火災区域/区画名称	常用電気品第4室
床面積(m ²)	■

2. 火災区域(区画)の火災シナリオの説明

■は、精製建屋内の火災区画である。
 本区画は、電気盤火災または、ケーブルトレイ火災の発生の可能性があるが、安全上重要な施設が設置されていないため、安全機能の喪失のおそれはない。

3. 火災区域(区画)にある火災源

(1) 等価時間

発熱量(kJ)	火災荷重 (kJ/m ²)	等価時間(h) [※]
■	■	1.0

※ 等価時間は、内部火災影響評価ガイドの等価時間記載の値で示す。

(2) 火災区域(区画)にある火災源機器数

火災源	機器数
電動機(3.7kW超)	-
電気盤(440V以上)	6
ケーブルトレイ(ケーブル)	有
油脂類・有機溶媒等	-
その他	-

4. 火災区域(区画)にある防火設備

火災感知の手段	主要な消火設備	消火方法	消火設備のバックアップ
煙感知器	二酸化炭素消火器	手動	粉末消火器

5. 火災区域(区画)に隣接する火災区域(区画)と火災伝播経路

隣接火災区画への火災伝播経路の詳細は、別紙1参照

6. 火災影響を受ける火災防護対象機器等

機器名称[機器番号]	最重要設備 [※]	最重要設備以外の安全上重要な施設 [※]
-	-	-

※ ○:対象 -:非対象

* 火災想定において、工程停止等により安全機能を必要としない状態へと移行が可能なもの。

7. 火災防護対象機器等の関連ケーブル

機器名称[機器番号]	ケーブル種別	安重分類
-	-	-

8. 最重要設備の安重機能への火災影響

安重分類	全焼時の成功パスの有無	回路評価等の考慮	結果	系統分離※
Pu・高レベル廃棄物の閉じ込め機能	-	-	-	-
崩壊熱除去機能(重要度の高いもの)	-	-	-	-
安全圧縮空気系(水素掃気機能)	-	-	-	-
非常用所内電源系統	-	-	-	-

※ a : 3時間以上の耐火能力を有する耐火壁で分離

b : 水平距離6mによる分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置

c : 1時間の耐火能力を有する隔壁等による分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置
再処理施設成功パスの詳細は、別紙2参照

9. 最重要設備以外の火災防護対象機器等への火災影響

機器名称[機器番号]	当該区画の火災評価※	隣接区画の火災評価※
-	-	-

※ ○:火災影響なし ×:火災影響あり

隣接する火災区画と火災伝播経路

(※ 有:伝播する 無:伝播しない)

隣接する 火災区画	火災伝播 経路有無	等価時間 (h)	耐火時間 (h)	火災伝播の 可能性 ※	備考
	無	1.0	3.0	無	
	無	1.0	3.0	無	
	無	1.0	1.0	無	
	無	1.0	3.0	無	
	無	1.0	1.0	無	
	無	1.0	3.0	無	
	無	1.0	3.0	無	
	無	1.0	1.0	無	
	無	1.0	3.0	無	
	無	1.0	1.0	無	

火災区域(区画)特性表

1. 火災区域(区画)の説明

建屋名	精製建屋
火災区域/区画区分	火災区画
火災区域/区画番号	■
火災区域/区画名称	溶媒洗浄器保守室
床面積(m ²)	■

2. 火災区域(区画)の火災シナリオの説明

■は、精製建屋内の火災区画である。
 本区画は、電動機絶縁物火災、潤滑油漏えい火災または、電気盤火災の発生の可能性があるが、安全上重要な施設が設置されていないため、安全機能の喪失のおそれはない。

3. 火災区域(区画)にある火災源

(1) 等価時間

発熱量(kJ)	火災荷重 (kJ/m ²)	等価時間(h) [※]
■	■	0.5

※ 等価時間は、内部火災影響評価ガイドの等価時間記載の値で示す。

(2) 火災区域(区画)にある火災源機器数

火災源	機器数
電動機(3.7kW超)	1
電気盤(440V以上)	1
ケーブルトレイ(ケーブル)	-
油脂類・有機溶媒等	有
その他	-

4. 火災区域(区画)にある防火設備

火災感知の手段	主要な消火設備	消火方法	消火設備のバックアップ
煙感知器	屋内消火栓	手動	粉末消火器

5. 火災区域(区画)に隣接する火災区域(区画)と火災伝播経路

隣接火災区画への火災伝播経路の詳細は、別紙1参照

6. 火災影響を受ける火災防護対象機器等

機器名称[機器番号]	最重要設備 [※]	最重要設備以外の安全上重要な施設 [※]
-	-	-

※ ○:対象 -:非対象

* 火災想定において、工程停止等により安全機能を必要としない状態へと移行が可能なもの。

7. 火災防護対象機器等の関連ケーブル

機器名称[機器番号]	ケーブル種別	安重分類
-	-	-

8. 最重要設備の安重機能への火災影響

安重分類	全焼時の成功パスの有無	回路評価等の考慮	結果	系統分離※
Pu・高レベル廃棄物の閉じ込め機能	-	-	-	-
崩壊熱除去機能(重要度の高いもの)	-	-	-	-
安全圧縮空気系(水素掃気機能)	-	-	-	-
非常用所内電源系統	-	-	-	-

※ a : 3時間以上の耐火能力を有する耐火壁で分離

b : 水平距離6mによる分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置

c : 1時間の耐火能力を有する隔壁等による分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置
再処理施設成功パスの詳細は、別紙2参照

9. 最重要設備以外の火災防護対象機器等への火災影響

機器名称[機器番号]	当該区画の火災評価※	隣接区画の火災評価※
-	-	-

※ ○:火災影響なし ×:火災影響あり

隣接する火災区画と火災伝播経路

(※ 有:伝播する 無:伝播しない)

隣接する 火災区画	火災伝播 経路有無	等価時間 (h)	耐火時間 (h)	火災伝播の 可能性 ※	備考
	有	0.5	0.0	有	
	有	0.5	0.0	有	
	有	0.5	0.0	有	
	無	0.5	3.0	無	
	無	0.5	3.0	無	
	有	0.5	0.0	有	
	有	0.5	0.0	有	
	有	0.5	0.0	有	

火災区域(区画)特性表

1. 火災区域(区画)の説明

建屋名	精製建屋
火災区域/区画区分	火災区画
火災区域/区画番号	■
火災区域/区画名称	ウラン精製器保守室
床面積(m ²)	■

2. 火災区域(区画)の火災シナリオの説明

■は、精製建屋内の火災区画である。
 本区画は、電動機絶縁物火災、潤滑油漏えい火災または、電気盤火災の発生の可能性があるが、安全上重要な施設が設置されていないため、安全機能の喪失のおそれはない。

3. 火災区域(区画)にある火災源

(1) 等価時間

発熱量(kJ)	火災荷重 (kJ/m ²)	等価時間(h) [※]
■	■	0.5

※ 等価時間は、内部火災影響評価ガイドの等価時間記載の値で示す。

(2) 火災区域(区画)にある火災源機器数

火災源	機器数
電動機(3.7kW超)	1
電気盤(440V以上)	1
ケーブルトレイ(ケーブル)	-
油脂類・有機溶媒等	有
その他	-

4. 火災区域(区画)にある防火設備

火災感知の手段	主要な消火設備	消火方法	消火設備のバックアップ
煙感知器	屋内消火栓	手動	粉末消火器

5. 火災区域(区画)に隣接する火災区域(区画)と火災伝播経路

隣接火災区画への火災伝播経路の詳細は、別紙1参照

6. 火災影響を受ける火災防護対象機器等

機器名称[機器番号]	最重要設備 [※]	最重要設備以外の安全上重要な施設 [※]
-	-	-

※ ○:対象 -:非対象

* 火災想定において、工程停止等により安全機能を必要としない状態へと移行が可能なもの。

7. 火災防護対象機器等の関連ケーブル

機器名称[機器番号]	ケーブル種別	安重分類
-	-	-

8. 最重要設備の安重機能への火災影響

安重分類	全焼時の成功パスの有無	回路評価等の考慮	結果	系統分離※
Pu・高レベル廃棄物の閉じ込め機能	-	-	-	-
崩壊熱除去機能(重要度の高いもの)	-	-	-	-
安全圧縮空気系(水素掃気機能)	-	-	-	-
非常用所内電源系統	-	-	-	-

※ a : 3時間以上の耐火能力を有する耐火壁で分離

b : 水平距離6mによる分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置

c : 1時間の耐火能力を有する隔壁等による分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置
再処理施設成功パスの詳細は、別紙2参照

9. 最重要設備以外の火災防護対象機器等への火災影響

機器名称[機器番号]	当該区画の火災評価※	隣接区画の火災評価※
-	-	-

※ ○:火災影響なし ×:火災影響あり

隣接する火災区画と火災伝播経路

(※ 有:伝播する 無:伝播しない)

隣接する 火災区画	火災伝播 経路有無	等価時間 (h)	耐火時間 (h)	火災伝播の 可能性 ※	備考
[Redacted]	無	0.5	3.0	無	
	有	0.5	0.0	有	
	有	0.5	0.0	有	
	無	0.5	3.0	無	
	有	0.5	0.0	有	
	有	0.5	0.0	有	
	有	0.5	0.0	有	
	有	0.5	0.0	有	
	有	0.5	0.0	有	
	有	0.5	0.0	有	
	有	0.5	0.0	有	
	有	0.5	0.0	有	

火災区域(区画)特性表

1. 火災区域(区画)の説明

建屋名	精製建屋
火災区域/区画区分	火災区画
火災区域/区画番号	■
火災区域/区画名称	ウランモニタセル
床面積(m ²)	■

2. 火災区域(区画)の火災シナリオの説明

■は、精製建屋内の火災区画である。
 本区画は、火災源となるものがないおよび安全上重要な施設が設置されていないため、安全機能の喪失のおそれはない。

3. 火災区域(区画)にある火災源

(1) 等価時間

発熱量(kJ)	火災荷重 (kJ/m ²)	等価時間(h) [※]
■	■	0.0

※ 等価時間は、内部火災影響評価ガイドの等価時間記載の値で示す。

(2) 火災区域(区画)にある火災源機器数

火災源	機器数
電動機(3.7kW超)	-
電気盤(440V以上)	-
ケーブルトレイ(ケーブル)	-
油脂類・有機溶媒等	-
その他	-

4. 火災区域(区画)にある防火設備

火災感知の手段	主要な消火設備	消火方法	消火設備のバックアップ
設置除外	設置除外	-	-

5. 火災区域(区画)に隣接する火災区域(区画)と火災伝播経路

隣接火災区画への火災伝播経路の詳細は、別紙1参照

6. 火災影響を受ける火災防護対象機器等

機器名称[機器番号]	最重要設備 [※]	最重要設備以外の安全上重要な施設 [※]
-	-	-

※ ○:対象 -:非対象

* 火災想定において、工程停止等により安全機能を必要としない状態へと移行が可能なもの。

7. 火災防護対象機器等の関連ケーブル

機器名称[機器番号]	ケーブル種別	安重分類
-	-	-

8. 最重要設備の安重機能への火災影響

安重分類	全焼時の成功パスの有無	回路評価等の考慮	結果	系統分離※
Pu・高レベル廃棄物の閉じ込め機能	-	-	-	-
崩壊熱除去機能(重要度の高いもの)	-	-	-	-
安全圧縮空気系(水素掃気機能)	-	-	-	-
非常用所内電源系統	-	-	-	-

※ a : 3時間以上の耐火能力を有する耐火壁で分離

b : 水平距離6mによる分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置

c : 1時間の耐火能力を有する隔壁等による分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置
再処理施設成功パスの詳細は、別紙2参照

9. 最重要設備以外の火災防護対象機器等への火災影響

機器名称[機器番号]	当該区画の火災評価※	隣接区画の火災評価※
-	-	-

※ ○:火災影響なし ×:火災影響あり

隣接する火災区画と火災伝播経路

(※ 有:伝播する 無:伝播しない)

隣接する 火災区画	火災伝播 経路有無	等価時間 (h)	耐火時間 (h)	火災伝播の 可能性 ※	備考
	無	0.0	3.0	無	
	有	0.0	0.0	無	
	有	0.0	0.0	無	
	有	0.0	0.0	無	
	有	0.0	0.0	無	

火災区域(区画)特性表

1. 火災区域(区画)の説明

建屋名	精製建屋
火災区域/区画区分	火災区画
火災区域/区画番号	■
火災区域/区画名称	第15サブチェンジングルーム
床面積(m ²)	■

2. 火災区域(区画)の火災シナリオの説明

■は、精製建屋内の火災区画である。
 本区画は、電気盤火災の発生可能性があるが、安全上重要な施設が設置されていないため、安全機能の喪失のおそれはない。

3. 火災区域(区画)にある火災源

(1) 等価時間

発熱量(kJ)	火災荷重 (kJ/m ²)	等価時間(h) [※]
■	■	1.0

※ 等価時間は、内部火災影響評価ガイドの等価時間記載の値で示す。

(2) 火災区域(区画)にある火災源機器数

火災源	機器数
電動機(3.7kW超)	-
電気盤(440V以上)	1
ケーブルトレイ(ケーブル)	-
油脂類・有機溶媒等	-
その他	-

4. 火災区域(区画)にある防火設備

火災感知の手段	主要な消火設備	消火方法	消火設備のバックアップ
煙感知器	屋内消火栓	手動	粉末消火器

5. 火災区域(区画)に隣接する火災区域(区画)と火災伝播経路

隣接火災区画への火災伝播経路の詳細は、別紙1参照

6. 火災影響を受ける火災防護対象機器等

機器名称[機器番号]	最重要設備 [※]	最重要設備以外の安全上重要な施設 [※]
-	-	-

※ ○:対象 -:非対象

* 火災想定において、工程停止等により安全機能を必要としない状態へと移行が可能なもの。

7. 火災防護対象機器等の関連ケーブル

機器名称[機器番号]	ケーブル種別	安重分類
-	-	-

8. 最重要設備の安重機能への火災影響

安重分類	全焼時の 成功パスの 有無	回路評価 等の考慮	結果	系統分離※
Pu・高レベル廃棄物の閉じ込め機能	-	-	-	-
崩壊熱除去機能(重要度の高いもの)	-	-	-	-
安全圧縮空気系(水素掃気機能)	-	-	-	-
非常用所内電源系統	-	-	-	-

※ a : 3時間以上の耐火能力を有する耐火壁で分離

b : 水平距離6mによる分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置

c : 1時間の耐火能力を有する隔壁等による分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置
再処理施設成功パスの詳細は、別紙2参照

9. 最重要設備以外の火災防護対象機器等への火災影響

機器名称[機器番号]	当該区画の火災評価※	隣接区画の火災評価※
-	-	-

※ ○:火災影響なし ×:火災影響あり

隣接する火災区画と火災伝播経路

(※ 有:伝播する 無:伝播しない)

隣接する火災区画	火災伝播経路有無	等価時間(h)	耐火時間(h)	火災伝播の可能性※	備考
	無	1.0	3.0	無	
	有	1.0	0.0	有	
	無	1.0	3.0	無	
	有	1.0	0.0	有	
	有	1.0	0.0	有	
	有	1.0	0.0	有	

火災区域(区画)特性表

1. 火災区域(区画)の説明

建屋名	精製建屋
火災区域/区画区分	火災区画
火災区域/区画番号	■
火災区域/区画名称	ウラン系サンプリングベンチ第3保守室
床面積(m ²)	■

2. 火災区域(区画)の火災シナリオの説明

■は、精製建屋内の火災区画である。
 本区画は、電動機絶縁物火災または、電気盤火災の発生の可能性があるが、安全上重要な施設が設置されていないため、安全機能の喪失のおそれはない。

3. 火災区域(区画)にある火災源

(1) 等価時間

発熱量(kJ)	火災荷重 (kJ/m ²)	等価時間(h) [※]
■	■	0.5

※ 等価時間は、内部火災影響評価ガイドの等価時間記載の値で示す。

(2) 火災区域(区画)にある火災源機器数

火災源	機器数
電動機(3.7kW超)	1
電気盤(440V以上)	1
ケーブルトレイ(ケーブル)	-
油脂類・有機溶媒等	-
その他	-

4. 火災区域(区画)にある防火設備

火災感知の手段	主要な消火設備	消火方法	消火設備のバックアップ
煙感知器	屋内消火栓	手動	粉末消火器

5. 火災区域(区画)に隣接する火災区域(区画)と火災伝播経路

隣接火災区画への火災伝播経路の詳細は、別紙1参照

6. 火災影響を受ける火災防護対象機器等

機器名称[機器番号]	最重要設備 [※]	最重要設備以外の安全上重要な施設 [※]
-	-	-

※ ○:対象 -:非対象

* 火災想定において、工程停止等により安全機能を必要としない状態へと移行が可能なもの。

7. 火災防護対象機器等の関連ケーブル

機器名称[機器番号]	ケーブル種別	安重分類
-	-	-

8. 最重要設備の安重機能への火災影響

安重分類	全焼時の 成功パスの 有無	回路評価 等の考慮	結果	系統分離※
Pu・高レベル廃棄物の閉じ込め機能	-	-	-	-
崩壊熱除去機能(重要度の高いもの)	-	-	-	-
安全圧縮空気系(水素掃気機能)	-	-	-	-
非常用所内電源系統	-	-	-	-

※ a : 3時間以上の耐火能力を有する耐火壁で分離

b : 水平距離6mによる分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置

c : 1時間の耐火能力を有する隔壁等による分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置
再処理施設成功パスの詳細は、別紙2参照

9. 最重要設備以外の火災防護対象機器等への火災影響

機器名称[機器番号]	当該区画の火災評価※	隣接区画の火災評価※
-	-	-

※ ○:火災影響なし ×:火災影響あり

隣接する火災区画と火災伝播経路

(※ 有:伝播する 無:伝播しない)

隣接する 火災区画	火災伝播 経路有無	等価時間 (h)	耐火時間 (h)	火災伝播の 可能性 ※	備考
	無	0.5	3.0	無	
	有	0.5	0.0	有	
	有	0.5	0.0	有	
	有	0.5	0.0	有	
	有	0.5	0.0	有	
	無	0.5	3.0	無	
	有	0.5	0.0	有	
	有	0.5	0.0	有	
	有	0.5	0.0	有	
	無	0.5	3.0	無	

火災区域(区画)特性表

1. 火災区域(区画)の説明

建屋名	精製建屋
火災区域/区画区分	火災区域
火災区域/区画番号	AC-8/
火災区域/区画名称	非常用A電気品室
床面積(m ²)	

2. 火災区域(区画)の火災シナリオの説明

AC-8は、精製建屋内の火災区域である。
 本区画の火災源は、電気盤および、ケーブルトレイである。
 したがって、本区画の想定火災としては、電気盤火災または、ケーブルトレイ火災により、安全上重要な施設のA系の設備(6.火災影響を受ける火災防護対象機器等 参照)が火災影響を受け、安全機能が喪失するおそれがあるが、多重化された安全上重要な施設の片系のみ
 の機能喪失であるため、安全機能が完全に喪失することはない。

3. 火災区域(区画)にある火災源

(1) 等価時間

発熱量(kJ)	火災荷重 (kJ/m ²)	等価時間(h) [※]
		0.5

※ 等価時間は、内部火災影響評価ガイドの等価時間記載の値で示す。

(2) 火災区域(区画)にある火災源機器数

火災源	機器数
電動機(3.7kW超)	-
電気盤(440V以上)	2
ケーブルトレイ(ケーブル)	有
油脂類・有機溶媒等	-
その他	-

4. 火災区域(区画)にある防火設備

火災感知の手段	主要な消火設備	消火方法	消火設備のバックアップ
煙感知器 熱感知器	ハロゲン化物消火 設備(全域)	自動	二酸化炭素消火器

5. 火災区域(区画)に隣接する火災区域(区画)と火災伝播経路

隣接火災区画への火災伝播経路の詳細は、別紙1参照

6. 火災影響を受ける火災防護対象機器等

機器名称[機器番号]	最重要設備 [※]	最重要設備以外の 安全上重要な施設 [※]
460V非常用コントロールセンタ A2[AC-MCC-A2]	○	-
460V非常用パワーセンタA[AC- P/C-A]	○	-
安重ケーブルトレイ[A系]	○	○

※ ○:対象 -:非対象

* 火災想定において、工程停止等により安全機能を必要としない状態へと移行が可能なもの。

7. 火災防護対象機器等の関連ケーブル

機器名称[機器番号]	ケーブル種別	安重分類
グローブボックス・セル排風機A []	制御、動力(低圧)	Pu・高レベルの廃棄物の閉じ込め機能
安全冷却水AポンプA []	制御、動力(低圧)	崩壊熱除去機能(重要度の高いもの)
安全冷却水AポンプB []	制御、動力(低圧)	崩壊熱除去機能(重要度の高いもの)
排風機A []	制御、動力(低圧)	Pu・高レベルの廃棄物の閉じ込め機能
排風機A []	制御、動力(低圧)	Pu・高レベルの廃棄物の閉じ込め機能
460V非常用コントロールセンタ A1[AC-MCC-A1]	動力(低圧)	非常用所内電源系統
460V非常用コントロールセンタ A2[AC-MCC-A2]	制御、動力(低圧)	非常用所内電源系統
460V非常用パワーセンタA[AC- P/C-A]	動力(低圧)	非常用所内電源系統

8. 最重要設備の安重機能への火災影響

安重分類	全焼時の 成功パスの 有無	回路評価 等の考慮	結果	系統分離 [※]
Pu・高レベル廃棄物の閉じ込め機能	有	-	○	-
崩壊熱除去機能(重要度の高いもの)	有	-	○	-
安全圧縮空気系(水素掃気機能)	-	-	-	-
非常用所内電源系統	有	-	○	-

※ a : 3時間以上の耐火能力を有する耐火壁で分離

b : 水平距離6mによる分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置

c : 1時間の耐火能力を有する隔壁等による分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置
再処理施設成功パスの詳細は、別紙2参照

9. 最重要設備以外の火災防護対象機器等への火災影響

機器名称[機器番号]	当該区画の火災評価 [※]	隣接区画の火災評価 [※]
-	-	-

※ ○:火災影響なし ×:火災影響あり

隣接する火災区画と火災伝播経路

(※ 有:伝播する 無:伝播しない)

隣接する 火災区画	火災伝播 経路有無	等価時間 (h)	耐火時間 (h)	火災伝播の 可能性 ※	備考
	無	0.5	3.0	無	
	無	0.5	3.0	無	
	無	0.5	3.0	無	
	無	0.5	3.0	無	
	無	0.5	3.0	無	
	無	0.5	3.0	無	
	無	0.5	3.0	無	

再処理施設成功パス一覧表

建屋	精製建屋	非常用A電気品室
区域(区画)番号/名称		
1.放射性物質の閉じ込め機能(動的な閉じ込め機能)		
	【Aトレン設備】	【Bトレン設備】
前処理建屋 せん断処理・溶解廃ガス処理設備	排風機A	前処理建屋 せん断処理・溶解廃ガス処理設備
	排風機C	排風機B
前処理建屋 塔槽類廃ガス処理設備	排風機A	前処理建屋 塔槽類廃ガス処理設備
前処理建屋換気設備 溶解セル等からの排気系	セル排風機A	前処理建屋換気設備 溶解セル等からの排気系
	溶解槽セルA排風機A	セル排風機B
	溶解槽セルB排風機A	溶解槽セルA排風機B
高レベル廃液ガラス固化建屋 高レベル廃液ガラス固化廃ガス処理設備	第1排風機A	高レベル廃液ガラス固化建屋 高レベル廃液ガラス固化廃ガス処理設備
	第2排風機A	第1排風機B
高レベル廃液ガラス固化建屋 塔槽類廃ガス処理設備 高レベル濃縮廃液廃ガス処理系	排風機A	高レベル廃液ガラス固化建屋 塔槽類廃ガス処理設備 高レベル濃縮廃液廃ガス処理系
高レベル廃液ガラス固化建屋 塔槽類廃ガス処理設備 不溶解残渣廃液廃ガス処理系	排風機A	高レベル廃液ガラス固化建屋 塔槽類廃ガス処理設備 不溶解残渣廃液廃ガス処理系
高レベル濃縮廃液貯槽セル等からの排気系固化セル換気系及び固化セル圧力放出系	セル排風機A	高レベル濃縮廃液貯槽セル等からの排気系固化セル換気系及び固化セル圧力放出系
	固化セル換気系排風機A	セル排風機B
分離建屋 塔槽類廃ガス処理設備 パルセータ廃ガス処理系	排風機A	分離建屋 塔槽類廃ガス処理設備 パルセータ廃ガス処理系
分離建屋 塔槽類廃ガス処理設備 塔槽類廃ガス処理系	排風機A	分離建屋 塔槽類廃ガス処理設備 塔槽類廃ガス処理系
分離建屋換気設備 プルトニウム溶液中間貯槽セル等からの排気系	グローブボックス・セル排風機A	分離建屋換気設備 プルトニウム溶液中間貯槽セル等からの排気系
精製建屋 塔槽類廃ガス処理設備 パルセータ廃ガス処理系	排風機A	精製建屋 塔槽類廃ガス処理設備 パルセータ廃ガス処理系
精製建屋 塔槽類廃ガス処理設備 塔槽類廃ガス処理系(プルトニウム系)	排風機A	精製建屋 塔槽類廃ガス処理設備 塔槽類廃ガス処理系(プルトニウム系)
精製建屋換気設備 プルトニウム濃縮缶セル等及びグローブボックス等からの排気系	グローブボックス・セル排風機A	精製建屋換気設備 プルトニウム濃縮缶セル等及びグローブボックス等からの排気系
ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋 塔槽類廃ガス処理設備	第1排風機A	ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋 塔槽類廃ガス処理設備
	第2排風機A	第1排風機B
	第2排風機C	第2排風機B
ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋 硝酸プルトニウム貯槽セル等及びグローブボックス等からの排気系	グローブボックス・セル排風機A	ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋 硝酸プルトニウム貯槽セル等及びグローブボックス等からの排気系
	グローブボックス・セル排風機C	グローブボックス・セル排風機B
×		
1パス	○	
回路評価等	-	
成功パス	○	

凡例	
×	○○○○-○○○ ○○○A
	○○○○-○○○ ○○○○A
× : 当該室の火災により安全機能を喪失する機器がある場合 空欄 : 当該室に設置していない機器	
1パス	- : 当該室に対象なし ○ : 当該室の火災により対応する安全機能が1系統残る場合 × : 当該室の火災により対応する安全機能がすべて喪失する場合
回路評価等	- : 当該室に回路評価等を行う対象なし ○ : 回路評価等により、対応する安全機能が確保される場合
成功パス	- : 当該室に対象なし ○ : 当該室の火災により対応する安全機能が1系統残る場合 × : 当該室の火災により対応する安全機能がすべて喪失する場合

再処理施設成功パス一覧表

2.崩壊熱除去機能		【Aトレン設備】		【Bトレン設備】	
冷却設備	安全冷却水系			冷却設備	安全冷却水系
	安全冷却水A冷却塔				安全冷却水B冷却塔
前処理建屋	冷却設備 安全冷却水系			前処理建屋	冷却設備 安全冷却水系
	安全冷却水A循環ポンプA				安全冷却水B循環ポンプA
	安全冷却水A循環ポンプB				安全冷却水B循環ポンプB
	安全冷却水1AポンプA				安全冷却水1BポンプA
	安全冷却水1AポンプB				安全冷却水1BポンプB
分離建屋	冷却設備 安全冷却水系			分離建屋	冷却設備 安全冷却水系
	冷却水循環ポンプA				冷却水循環ポンプC
	冷却水循環ポンプB				冷却水循環ポンプD
	安全冷却水1AポンプA				安全冷却水1BポンプA
	安全冷却水1AポンプB				安全冷却水1BポンプB
精製建屋	冷却設備 安全冷却水系			精製建屋	冷却設備 安全冷却水系
×	安全冷却水AポンプA				安全冷却水BポンプA
×	安全冷却水AポンプB				安全冷却水BポンプB
ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋	冷却設備 安全冷却水系			ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋	冷却設備 安全冷却水系
	冷水移送ポンプA				冷水移送ポンプC
	冷水移送ポンプB				冷水移送ポンプD
高レベル廃液ガラス固化建屋	冷却設備 安全冷却水系			高レベル廃液ガラス固化建屋	冷却設備 安全冷却水系
	第1高レベル濃縮廃液貯槽冷却水AポンプA				第1高レベル濃縮廃液貯槽冷却水BポンプA
	第1高レベル濃縮廃液貯槽冷却水AポンプB				第1高レベル濃縮廃液貯槽冷却水BポンプB
	第2高レベル濃縮廃液貯槽冷却水AポンプA				第2高レベル濃縮廃液貯槽冷却水BポンプA
	第2高レベル濃縮廃液貯槽冷却水AポンプB				第2高レベル濃縮廃液貯槽冷却水BポンプB
	安全冷却水A系ポンプA				安全冷却水B系ポンプA
	安全冷却水A系ポンプB				安全冷却水B系ポンプB
	高レベル廃液共用貯槽冷却水AポンプA				高レベル廃液共用貯槽冷却水BポンプA
	高レベル廃液共用貯槽冷却水AポンプB				高レベル廃液共用貯槽冷却水BポンプB
	安全冷却水A系ポンプA				安全冷却水B系ポンプA
	安全冷却水A系ポンプB				安全冷却水B系ポンプB
	安全冷水A冷却器冷媒膨張弁A				安全冷水B冷却器冷媒膨張弁A
	安全冷水A冷却器冷媒膨張弁B				安全冷水B冷却器冷媒膨張弁B
	安全冷水A冷却器冷媒止弁A				安全冷水B冷却器冷媒止弁A
	安全冷水A冷却器冷媒止弁B				安全冷水B冷却器冷媒止弁B
	安全冷却水1AポンプA				安全冷却水1BポンプA
	安全冷却水1AポンプB				安全冷却水1BポンプB
	安全冷水AポンプA				安全冷水BポンプA
	安全冷水AポンプB				安全冷水BポンプB
	安全冷水A冷凍機				安全冷水B冷凍機
	スクリーン圧縮機				スクリーン圧縮機
	スクリーン圧縮機				スクリーン圧縮機
ウラン・プルトニウム混合酸化物貯蔵建屋換気設備貯蔵室排気系				ウラン・プルトニウム混合酸化物貯蔵建屋換気設備貯蔵室排気系	
	貯蔵室排風機A				貯蔵室排風機C
	貯蔵室排風機B				貯蔵室排風機D
×				-	
	1パス		○		
	回路評価等		-		
	成功パス		○		
3.安全圧縮空気系(水素掃気機能)		【Aトレン設備】		【Bトレン設備】	
安全圧縮空気系				安全圧縮空気系	
	安全空気圧縮装置A				安全空気圧縮装置B
	安全空気圧縮装置C				安全空気圧縮装置C
-				-	
	1パス		-		
	回路評価等		-		
	成功パス		-		

再処理施設成功パス一覧表

4.非常用所内電源系統(支援機能)		【Aトレン設備】	【Bトレン設備】
非常用電源建屋冷却水設備			
	8111A-C20 冷却塔A		8111B-C20 冷却塔B
	8111A-P2010 冷却水循環ポンプA		8111B-P2010 冷却水循環ポンプB
非常用電源建屋の電気設備			
	GA-M/C-A 6.9kV非常用メタクラA		GA-M/C-B 6.9kV非常用メタクラB
	GA-MCC-A 460V非常用コントロールセンタA		GA-MCC-B 460V非常用コントロールセンタB
	8111A-X10 ディーゼル機関A		8111B-X10 ディーゼル機関B
	8111A-X11 同期発電機A		8111B-X11 同期発電機B
	8111A-P4011 燃料油移送ポンプA		8111B-P4011 燃料油移送ポンプB
	GA-BAT-A 110V第2非常用蓄電池A		GA-BAT-B 110V第2非常用蓄電池B
	GA-CHG-A 110V非常用充電器盤A		GA-CHG-B 110V非常用充電器盤B
	GA-DCD-A 110V非常用直流主分電盤A		GA-DCD-B 110V非常用直流主分電盤B
	GA-CHG-E 110V非常用予備充電器盤E		GA-CHG-E 110V非常用予備充電器盤E
	GA-E-K011A 非常用電気設備リレー盤A1		GA-E-K013B 非常用電気設備リレー盤B1
	GA-E-K012A 非常用電気設備リレー盤A2		GA-E-K014B 非常用電気設備リレー盤B2
	8111A-V40 燃料油貯蔵タンク1A		8111B-V40 燃料油貯蔵タンク1B
	8111A-V41 燃料油貯蔵タンク2A		8111B-V41 燃料油貯蔵タンク2B
	GA-E-M011A 第2非常用ディーゼル発電機A制御盤		GA-E-M012B 第2非常用ディーゼル発電機B制御盤
	GA-PTR-A 非常用動力用変圧器A		GA-PTR-B 非常用動力用変圧器B
	8111A-V42 燃料油サービスタングA		8111B-V42 燃料油サービスタングB
	8111A-F4210 燃料油第1フィルタA		8111B-F4210 燃料油第1フィルタB
	8111A-F4230 燃料油第2フィルタA		8111B-F4230 燃料油第2フィルタB
	GA-E-S011A 第2非常用ディーゼル発電機ターニング現場盤A		GA-E-S012B 第2非常用ディーゼル発電機ターニング現場盤B
	GA-E-U011A 第2非常用ディーゼル発電機CT盤A		GA-E-U012B 第2非常用ディーゼル発電機CT盤B
	GA-I-K011A ユーティリティ工程 安全系A制御盤(リレー盤)		GA-I-K012B ユーティリティ工程 安全系B制御盤(リレー盤)
制御建屋の電気設備			
	AG-M/C-A 6.9kV非常用メタクラA		AG-M/C-B 6.9kV非常用メタクラB
	AG-P/C-A 460V非常用パワーセンタA		AG-P/C-B 460V非常用パワーセンタB
	AG-MCC-A1 460V非常用コントロールセンタA1		AG-MCC-B1 460V非常用コントロールセンタB1
	AG-MCC-A2 460V非常用コントロールセンタA2		AG-MCC-B2 460V非常用コントロールセンタB2
	AG-I-F201A 前処理建屋 安全系A監視制御盤		AG-I-F202B 前処理建屋 安全系B監視制御盤
	AG-I-F203A 分離建屋 安全系A監視制御盤		AG-I-F204B 分離建屋 安全系B監視制御盤
	AG-I-F205A 精製建屋 安全系A監視制御盤		AG-I-F206B 精製建屋 安全系B監視制御盤
	AG-I-F211A ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋 安全系A監視制御盤		AG-I-F212B ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋 安全系B監視制御盤
	AG-I-F213A 高レベル廃液ガラス固化建屋 安全系A監視制御盤		AG-I-F214B 高レベル廃液ガラス固化建屋 安全系B監視制御盤
	AG-BAT-A1 110V第2非常用蓄電池A1		AG-BAT-B1 110V第2非常用蓄電池B1
	AG-BAT-A2 220V第2非常用蓄電池A2		AG-BAT-B2 220V第2非常用蓄電池B2
	AG-CHG-A 110V非常用充電器盤A		AG-CHG-B 110V非常用充電器盤B
	AG-CHG-E 110V非常用予備充電器盤E		AG-CHG-E 110V非常用予備充電器盤E
	AG-DCD-A 110V非常用直流主分電盤A		AG-DCD-B 110V非常用直流主分電盤B
	AG-UPS-A 105V非常用無停電電源装置A		AG-UPS-B 105V非常用無停電電源装置B
	AG-UPD-A 105V非常用無停電交流主分電盤A		AG-UPD-B 105V非常用無停電交流主分電盤B
前処理建屋の電気設備			
	AA-M/C-A 6.9kV非常用メタクラA		AA-M/C-B 6.9kV非常用メタクラB
	AA-P/C-A 460V非常用パワーセンタA		AA-P/C-B 460V非常用パワーセンタB
	AA-MCC-A1 460V非常用コントロールセンタA1		AA-MCC-B1 460V非常用コントロールセンタB1
	AA-MCC-A2 460V非常用コントロールセンタA2		AA-MCC-B2 460V非常用コントロールセンタB2
	AA-MCC-A3 460V非常用コントロールセンタA3		
	AA-BAT-A 110V第2非常用蓄電池A		AA-BAT-B 110V第2非常用蓄電池B
	AA-CHG-A 110V非常用充電器盤A		AA-CHG-B 110V非常用充電器盤B
	AA-CHG-E 110V非常用予備充電器盤E		AA-CHG-E 110V非常用予備充電器盤E
	AA-DCD-A 110V非常用直流主分電盤A		AA-DCD-B 110V非常用直流主分電盤B
	AA-UPS-A 105V非常用無停電電源装置A		AA-UPS-B 105V非常用無停電電源装置B
	AA-UPD-A 105V非常用無停電交流主分電盤A		AA-UPD-B 105V非常用無停電交流主分電盤B
	AA-I-M171A 圧縮空気設備 安全空気脱湿装置A現場監視制御盤		AA-I-M172B 圧縮空気設備 安全空気脱湿装置B現場監視制御盤
	AA-I-M166A 圧縮空気設備 安全空気圧縮装置A現場監視制御盤		AA-I-M167B 圧縮空気設備 安全空気圧縮装置B現場監視制御盤
	AA-I-M176A 圧縮空気設備 安全空気圧縮装置C現場制御回路分離盤A		AA-I-M177B 圧縮空気設備 安全空気圧縮装置C現場制御回路分離盤B
	AA-I-M169C 圧縮空気設備 安全空気圧縮装置C現場制御電源切換盤		AA-I-M169C 圧縮空気設備 安全空気圧縮装置C現場制御電源切換盤
	AA-I-M168C 圧縮空気設備 安全空気圧縮装置C現場監視制御盤		AA-I-M168C 圧縮空気設備 安全空気圧縮装置C現場監視制御盤
	AA-I-K701A よう素除去工程排風機A制御盤		AA-I-K702B よう素除去工程排風機B制御盤
	AA-I-K703C よう素除去工程排風機C制御盤		AA-I-K703C よう素除去工程排風機C制御盤
	AA-I-X710C よう素除去工程 C系統電源切替盤		AA-I-X710C よう素除去工程 C系統電源切替盤
	AA-I-J012A ユーティリティ工程 安全系A制御盤1(リレー盤2)		AA-I-J062B ユーティリティ工程 安全系B制御盤1(リレー盤2)
	AA-I-J013A ユーティリティ工程 安全系A制御盤2(リレー盤3)		AA-I-J063B ユーティリティ工程 安全系B制御盤2(リレー盤3)
	AA-I-J031A よう素除去工程 安全系A制御盤1		AA-I-J081B よう素除去工程 安全系B制御盤1
	AA-I-J032A よう素除去工程 安全系A制御盤2		AA-I-J082B よう素除去工程 安全系B制御盤2
	AA-I-J033A よう素除去工程 安全系A制御盤3		AA-I-J083B よう素除去工程 安全系B制御盤3
	AA-LPD-A2 溶解槽セルA排風機A極数変換盤		AA-LPD-B2 溶解槽セルA排風機B極数変換盤
	AA-LPD-A3 溶解槽セルB排風機A極数変換盤		AA-LPD-B3 溶解槽セルB排風機B極数変換盤
	AA-LPD-A21 セル排風機A極数変換盤		AA-LPD-B21 セル排風機B極数変換盤
分離建屋の非常用所内電源系統			
	AB-P/C-A 460V非常用パワーセンタA		AB-P/C-B 460V非常用パワーセンタB
	AB-MCC-A 460V非常用コントロールセンタA		AB-MCC-B 460V非常用コントロールセンタB
	AB-CHG-A 110V非常用充電器盤A		AB-CHG-B 110V非常用充電器盤B
	AB-CHG-E 110V非常用予備充電器盤E		AB-CHG-E 110V非常用予備充電器盤E
	AB-BAT-A 110V第2非常用蓄電池A		AB-BAT-B 110V第2非常用蓄電池B
	AB-DCD-A 110V非常用直流主分電盤A		AB-DCD-B 110V非常用直流主分電盤B
	AB-UPS-A 105V非常用無停電電源装置A		AB-UPS-B 105V非常用無停電電源装置B
	AB-UPD-A1 105V非常用無停電交流主分電盤A1		AB-UPD-B1 105V非常用無停電交流主分電盤A1
	AB-UPD-A2 105V非常用無停電交流主分電盤A2		AB-UPD-B2 105V非常用無停電交流主分電盤A2
	AB-I-J180A ユーティリティ工程 安全系A制御盤1		AB-I-J183B ユーティリティ工程 安全系B制御盤1
	AB-I-J181A ユーティリティ工程 安全系A制御盤2		AB-I-J184B ユーティリティ工程 安全系B制御盤2
	AB-I-J182A ユーティリティ工程 安全系A制御盤3		AB-I-J185B ユーティリティ工程 安全系B制御盤3
	AB-I-J033A 分離・分配工程 安全系A制御盤1		AB-I-J036B 分離・分配工程 安全系B制御盤1
	AB-I-J034A 分離・分配工程 安全系A制御盤2		AB-I-J037B 分離・分配工程 安全系B制御盤2
	AB-I-J035A 分離・分配工程 安全系A制御盤3		AB-I-J038B 分離・分配工程 安全系B制御盤3
	AB-V-J100A 建屋換気設備 安全系A制御盤		AB-V-J101B 建屋換気設備 安全系B制御盤
	1パス	-	
	回路評価等	-	
	成功パス	-	

再処理施設成功パス一覧表

4. 支援機能(続き)		【Aトレン設備】		【Bトレン設備】	
精製建屋の電気設備				精製建屋の電気設備	
	AC-BAT-A	110V第2非常用蓄電池A		AC-BAT-B	110V第2非常用蓄電池B
	AC-CHG-A	110V非常用充電器盤A		AC-CHG-B	110V非常用充電器盤B
	AC-CHG-E	110V非常用予備充電器盤E		AC-CHG-E	110V非常用予備充電器盤E
	AC-DCD-A	110V非常用直流主分電盤A		AC-DCD-B	110V非常用直流主分電盤B
×	AC-MCC-A1	460V非常用コントロールセンタA1		AC-MCC-B1	460V非常用コントロールセンタB1
×	AC-MCC-A2	460V非常用コントロールセンタA2		AC-MCC-B2	460V非常用コントロールセンタB2
×	AC-P/C-A	460V非常用パワーセンタA		AC-P/C-B	460V非常用パワーセンタB
	AC-UPD-A	105V非常用無停電交流主分電盤A		AC-UPD-B	105V非常用無停電交流主分電盤B
	AC-UPS-A	105V非常用無停電電源装置A		AC-UPS-B	105V非常用無停電電源装置B
	AC-I-J450A	ユーティリティ工程 安全系A制御盤(計器盤)		AC-I-J460B	ユーティリティ工程 安全系B制御盤(計器盤)
	AC-I-J451A	ユーティリティ工程 安全系A制御盤(リレー盤)		AC-I-J461B	ユーティリティ工程 安全系B制御盤(リレー盤)
	AC-E-J452A	非常用電気設備リレー盤A		AC-E-J462B	非常用電気設備リレー盤B
	AC-V-J453A	建屋換気設備安全系A制御盤		AC-V-J463B	建屋換気設備安全系B制御盤
	AC-I-J752A	プルトニウム精製工程 安全系A 制御盤3		AC-I-J755B	プルトニウム精製工程 安全系B 制御盤3
ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋の非常用所内電源系統				ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋の非常用所内電源系統	
	CA-P/C-A	460V非常用パワーセンタA		CA-P/C-B	460V非常用パワーセンタB
	CA-MCC-A1	460V非常用コントロールセンタA1		CA-MCC-B1	460V非常用コントロールセンタB1
	CA-MCC-A2	460V非常用コントロールセンタA2		CA-MCC-B2	460V非常用コントロールセンタB2
	CA-M/C-A	6.9kV非常用メタクラA		CA-M/C-B	6.9kV非常用メタクラB
	CA-E-K503A	非常用電気設備リレー盤A		CA-E-K603B	非常用電気設備リレー盤B
	CA-I-J501A	安全系A制御盤		CA-I-J601B	安全系B制御盤
	CA-V-J502A	建屋換気設備安全系A制御盤		CA-V-J602B	建屋換気設備安全系B制御盤
	CA-CHG-A	110V非常用充電器盤A		CA-CHG-B	110V非常用充電器盤B
	CA-CHG-E	110V非常用予備充電器盤E		CA-CHG-E	110V非常用予備充電器盤E
	CA-DCD-A	110V非常用直流主分電盤A		CA-DCD-B	110V非常用直流主分電盤B
	CA-UPD-A	105V非常用無停電交流主分電盤A		CA-UPD-B	105V非常用無停電交流主分電盤B
	CA-UPS-A	105V非常用無停電電源装置A		CA-UPS-B	105V非常用無停電電源装置B
	CA-BAT-A	110V第2非常用蓄電池A		CA-BAT-B	110V第2非常用蓄電池B
ウラン・プルトニウム混合酸化物貯蔵建屋の非常用所内電源系統				ウラン・プルトニウム混合酸化物貯蔵建屋の非常用所内電源系統	
	CB-P/C-A	460V非常用パワーセンタA		CB-P/C-B	460V非常用パワーセンタB
	CB-E-J101A	非常用電気設備リレー盤A		CB-E-J102B	非常用電気設備リレー盤B
	CA-V-J001A	建屋換気設備安全系A制御盤		CA-V-J002B	建屋換気設備安全系B制御盤
	CB-BAT-A	110V第2非常用蓄電池A		CB-BAT-B	110V第2非常用蓄電池B
	CB-CHG-A	110V非常用充電器盤A		CB-CHG-B	110V非常用充電器盤B
	CB-DCD-A	110V非常用直流主分電盤A		CB-DCD-B	110V非常用直流主分電盤B
	CB-MCC-A	460V非常用コントロールセンタA		CB-MCC-B	460V非常用コントロールセンタB
	CB-UPS-A	105V非常用無停電電源装置A		CB-UPS-B	105V非常用無停電電源装置B
	CB-CHG-E	110V非常用予備充電器盤E		CB-CHG-E	110V非常用予備充電器盤E
高レベル廃液ガラス固化建屋の電気設備				高レベル廃液ガラス固化建屋の電気設備	
	KA-P/C-A	460V非常用パワーセンタA		KA-P/C-B	460V非常用パワーセンタB
	KA-BAT-A	110V第2非常用蓄電池A		KA-BAT-B	110V第2非常用蓄電池B
	KA-CHG-A	110V非常用充電器盤A		KA-CHG-B	110V非常用充電器盤B
	KA-CHG-E	110V非常用予備充電器盤E		KA-CHG-E	110V非常用予備充電器盤E
	KA-DCD-A	110V非常用直流主分電盤A		KA-DCD-B	110V非常用直流主分電盤B
	KA-UPS-A	105V非常用無停電電源装置A		KA-UPS-B	105V非常用無停電電源装置B
	KA-UPD-A	105V非常用無停電交流主分電盤A		KA-UPD-B	105V非常用無停電交流主分電盤B
	KA-ACS-A	105V非常用計測交流電源盤A		KA-ACS-B	105V非常用計測交流電源盤B
	KA-ACD-A	105V非常用計測交流主分電盤A		KA-ACD-B	105V非常用計測交流主分電盤B
	KA-MCC-A1	460V非常用コントロールセンタA1		KA-MCC-B1	460V非常用コントロールセンタB1
	KA-MCC-A2	460V非常用コントロールセンタA2		KA-MCC-B2	460V非常用コントロールセンタB2
	KA-I-K224A	高レベル廃液ガラス固化廃ガス処理設備第1排風機A安全系Aインバータ制御盤		KA-I-K225B	高レベル廃液ガラス固化廃ガス処理設備第1排風機B安全系Bインバータ制御盤
	KA-I-K226A	高レベル廃液ガラス固化廃ガス処理設備第2排風機A安全系Aインバータ制御盤		KA-I-K227B	高レベル廃液ガラス固化廃ガス処理設備第2排風機B安全系Bインバータ制御盤
	KA-I-K073A	固化セル換気系排風機A安全系Aインバータ制御盤		KA-I-K074B	固化セル換気系排風機B安全系Bインバータ制御盤
	KA-E-K001A	非常用電気設備リレー盤A		KA-E-K002B	非常用電気設備リレー盤B
	KA-I-J501A	高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系A制御盤1		KA-I-J521B	高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系B制御盤1
	KA-I-J502A	高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系A制御盤2		KA-I-J522B	高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系B制御盤2
	KA-I-J503A	高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系A制御盤3		KA-I-J523B	高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系B制御盤3
	KA-I-J504A	高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系A制御盤4		KA-I-J524B	高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系B制御盤4
	KA-I-J505A	高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系A制御盤5		KA-I-J525B	高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系B制御盤5
	KA-I-J506A	高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系A制御盤6		KA-I-J526B	高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系B制御盤6
	KA-I-J507A	高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系A制御盤7		KA-I-J527B	高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系B制御盤7
	KA-I-J508A	高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系A制御盤8		KA-I-J528B	高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系B制御盤8
	KA-I-J511A	安全系A アレスタ盤		KA-I-J531B	安全系B アレスタ盤
	KA-I-J512A	高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系A制御盤(リレー盤1)		KA-I-J532B	高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系B制御盤(リレー盤1)
	KA-I-J513A	高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系A制御盤(リレー盤2)		KA-I-J533B	高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系B制御盤(リレー盤2)
	KA-I-J514A	高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系A制御盤(リレー盤3)		KA-I-J534B	高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系B制御盤(リレー盤3)
	KA-I-M331A	冷凍機 安全系A監視制御盤		KA-I-M322B	冷凍機 安全系B監視制御盤
	KA-I-K334A	冷却水・冷水設備 安全系A 制御盤1		KA-I-K338B	冷却水・冷水設備 安全系B 制御盤1
	KA-I-K335A	冷却水・冷水設備 安全系A 制御盤2		KA-I-K339B	冷却水・冷水設備 安全系B 制御盤2
×					
	1パス		○		
	回路評価等		-		
	成功パス		○		

火災区域(区画)特性表

1. 火災区域(区画)の説明

建屋名	精製建屋
火災区域/区画区分	火災区画
火災区域/区画番号	■
火災区域/区画名称	非常用出口第2室
床面積(m ²)	■

2. 火災区域(区画)の火災シナリオの説明

■は、精製建屋内の火災区画である。
 本区画の火災源は、ケーブルトレイである。
 したがって、本区画の想定火災としては、ケーブルトレイ火災により、安全上重要な施設のA系の設備(6.火災影響を受ける火災防護対象機器等 参照)が火災影響を受け、安全機能が喪失するおそれがあるが、多重化された安全上重要な施設の片系のみの機能喪失であるため、安全機能が完全に喪失することはない。

3. 火災区域(区画)にある火災源

(1) 等価時間

発熱量(kJ)	火災荷重(kJ/m ²)	等価時間(h) [※]
■	■	1.5

※ 等価時間は、内部火災影響評価ガイドの等価時間記載の値で示す。

(2) 火災区域(区画)にある火災源機器数

火災源	機器数
電動機(3.7kW超)	-
電気盤(440V以上)	-
ケーブルトレイ(ケーブル)	有
油脂類・有機溶媒等	-
その他	-

4. 火災区域(区画)にある防火設備

火災感知の手段	主要な消火設備	消火方法	消火設備のバックアップ
煙感知器 熱感知器 炎感知器	ハロゲン化物消火設備(全域)	自動	粉末消火器

5. 火災区域(区画)に隣接する火災区域(区画)と火災伝播経路

隣接火災区画への火災伝播経路の詳細は、別紙1参照

6. 火災影響を受ける火災防護対象機器等

機器名称[機器番号]	最重要設備 [※]	最重要設備以外の安全上重要な施設 [※]
安重ケーブルトレイ[A系]	○	○

※ ○:対象 -:非対象

* 火災想定において、工程停止等により安全機能を必要としない状態へと移行が可能なもの。

7. 火災防護対象機器等の関連ケーブル

機器名称[機器番号]	ケーブル種別	安重分類
グローブボックス・セル排風機A []	制御、動力(低圧)	Pu・高レベルの廃棄物の閉じ込め機能
安全冷却水AポンプA []	制御、動力(低圧)	崩壊熱除去機能(重要度の高いもの)
安全冷却水AポンプB []	制御、動力(低圧)	崩壊熱除去機能(重要度の高いもの)
排風機A []	制御、動力(低圧)	Pu・高レベルの廃棄物の閉じ込め機能
排風機A []	制御、動力(低圧)	Pu・高レベルの廃棄物の閉じ込め機能
460V非常用コントロールセンタ A1[AC-MCC-A1]	動力(低圧)	非常用所内電源系統
460V非常用コントロールセンタ A2[AC-MCC-A2]	制御、動力(低圧)	非常用所内電源系統
460V非常用パワーセンタA[AC- P/C-A]	動力(低圧)	非常用所内電源系統

8. 最重要設備の安重機能への火災影響

安重分類	全焼時の 成功パスの 有無	回路評価 等の考慮	結果	系統分離 [※]
Pu・高レベル廃棄物の閉じ込め機能	有	-	○	-
崩壊熱除去機能(重要度の高いもの)	有	-	○	-
安全圧縮空気系(水素掃気機能)	-	-	-	-
非常用所内電源系統	有	-	○	-

※ a : 3時間以上の耐火能力を有する耐火壁で分離

b : 水平距離6mによる分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置

c : 1時間の耐火能力を有する隔壁等による分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置

再処理施設成功パスの詳細は、別紙2参照

9. 最重要設備以外の火災防護対象機器等への火災影響

機器名称[機器番号]	当該区画の火災評価 [※]	隣接区画の火災評価 [※]
-	-	-

※ ○:火災影響なし ×:火災影響あり

隣接する火災区画と火災伝播経路

(※ 有:伝播する 無:伝播しない)

隣接する 火災区画	火災伝播 経路有無	等価時間 (h)	耐火時間 (h)	火災伝播の 可能性 ※	備考
	無	1.5	3.0	無	
	無	1.5	3.0	無	
	無	1.5	3.0	無	
	無	1.5	3.0	無	
	無	1.5	3.0	無	
	無	1.5	3.0	無	
	無	1.5	3.0	無	
	無	1.5	3.0	無	

再処理施設成功パス一覧表

建屋	精製建屋	非常用出口第2室
区域(区画)番号/名称		
1.放射性物質の閉じ込め機能(動的な閉じ込め機能)		
	【Aトレン設備】	【Bトレン設備】
前処理建屋 せん断処理・溶解廃ガス処理設備	前処理建屋 せん断処理・溶解廃ガス処理設備	前処理建屋 せん断処理・溶解廃ガス処理設備
排風機A	排風機B	排風機C
排風機C	排風機C	排風機C
前処理建屋 塔槽類廃ガス処理設備	前処理建屋 塔槽類廃ガス処理設備	前処理建屋 塔槽類廃ガス処理設備
排風機A	排風機B	排風機B
前処理建屋換気設備 溶解セル等からの排気系	前処理建屋換気設備 溶解セル等からの排気系	前処理建屋換気設備 溶解セル等からの排気系
セル排風機A	セル排風機B	セル排風機B
溶解槽セルA排風機A	溶解槽セルA排風機B	溶解槽セルA排風機B
溶解槽セルB排風機A	溶解槽セルB排風機B	溶解槽セルB排風機B
高レベル廃液ガラス固化建屋 高レベル廃液ガラス固化廃ガス処理設備	高レベル廃液ガラス固化建屋 高レベル廃液ガラス固化廃ガス処理設備	高レベル廃液ガラス固化建屋 高レベル廃液ガラス固化廃ガス処理設備
第1排風機A	第1排風機B	第1排風機B
第2排風機A	第2排風機B	第2排風機B
高レベル廃液ガラス固化建屋 塔槽類廃ガス処理設備 高レベル濃縮廃液廃ガス処理系	高レベル廃液ガラス固化建屋 塔槽類廃ガス処理設備 高レベル濃縮廃液廃ガス処理系	高レベル廃液ガラス固化建屋 塔槽類廃ガス処理設備 高レベル濃縮廃液廃ガス処理系
排風機A	排風機B	排風機B
高レベル廃液ガラス固化建屋 塔槽類廃ガス処理設備 不溶解残渣廃液廃ガス処理系	高レベル廃液ガラス固化建屋 塔槽類廃ガス処理設備 不溶解残渣廃液廃ガス処理系	高レベル廃液ガラス固化建屋 塔槽類廃ガス処理設備 不溶解残渣廃液廃ガス処理系
排風機A	排風機B	排風機B
高レベル濃縮廃液貯槽セル等からの排気系 固化セル換気系及び固化セル圧力放出系	高レベル濃縮廃液貯槽セル等からの排気系 固化セル換気系及び固化セル圧力放出系	高レベル濃縮廃液貯槽セル等からの排気系 固化セル換気系及び固化セル圧力放出系
セル排風機A	セル排風機B	セル排風機B
固化セル換気系排風機A	固化セル換気系排風機B	固化セル換気系排風機B
分離建屋 塔槽類廃ガス処理設備 パルセータ廃ガス処理系	分離建屋 塔槽類廃ガス処理設備 パルセータ廃ガス処理系	分離建屋 塔槽類廃ガス処理設備 パルセータ廃ガス処理系
排風機A	排風機B	排風機B
分離建屋 塔槽類廃ガス処理設備 塔槽類廃ガス処理系	分離建屋 塔槽類廃ガス処理設備 塔槽類廃ガス処理系	分離建屋 塔槽類廃ガス処理設備 塔槽類廃ガス処理系
排風機A	排風機B	排風機B
分離建屋換気設備 プルトニウム溶液中間貯槽セル等からの排気系	分離建屋換気設備 プルトニウム溶液中間貯槽セル等からの排気系	分離建屋換気設備 プルトニウム溶液中間貯槽セル等からの排気系
グローブボックス・セル排風機A	グローブボックス・セル排風機B	グローブボックス・セル排風機B
精製建屋 塔槽類廃ガス処理設備 パルセータ廃ガス処理系	精製建屋 塔槽類廃ガス処理設備 パルセータ廃ガス処理系	精製建屋 塔槽類廃ガス処理設備 パルセータ廃ガス処理系
排風機A	排風機B	排風機B
精製建屋 塔槽類廃ガス処理設備 塔槽類廃ガス処理系(プルトニウム系)	精製建屋 塔槽類廃ガス処理設備 塔槽類廃ガス処理系(プルトニウム系)	精製建屋 塔槽類廃ガス処理設備 塔槽類廃ガス処理系(プルトニウム系)
排風機A	排風機B	排風機B
精製建屋換気設備 プルトニウム濃縮缶セル等及びグローブボックス等からの排気系	精製建屋換気設備 プルトニウム濃縮缶セル等及びグローブボックス等からの排気系	精製建屋換気設備 プルトニウム濃縮缶セル等及びグローブボックス等からの排気系
グローブボックス・セル排風機A	グローブボックス・セル排風機B	グローブボックス・セル排風機B
ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋 塔槽類廃ガス処理設備	ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋 塔槽類廃ガス処理設備	ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋 塔槽類廃ガス処理設備
第1排風機A	第1排風機B	第1排風機B
第2排風機A	第2排風機B	第2排風機B
第2排風機C	第2排風機B	第2排風機B
ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋 硝酸プルトニウム貯槽セル等及びグローブボックス等からの排気系	ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋 硝酸プルトニウム貯槽セル等及びグローブボックス等からの排気系	ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋 硝酸プルトニウム貯槽セル等及びグローブボックス等からの排気系
グローブボックス・セル排風機A	グローブボックス・セル排風機B	グローブボックス・セル排風機B
グローブボックス・セル排風機C	グローブボックス・セル排風機B	グローブボックス・セル排風機B
×		
1パス	○	
回路評価等	-	
成功パス	○	

凡例	
×	○○○○-○○ ○○○A
	○○○○-○○ ○○○○A
× : 当該室の火災により安全機能を喪失する機器がある場合 空欄 : 当該室に設置していない機器	
1パス	- : 当該室に対象なし ○ : 当該室の火災により対応する安全機能が1系統残る場合 × : 当該室の火災により対応する安全機能がすべて喪失する場合
回路評価等	- : 当該室に回路評価等を行う対象なし ○ : 回路評価等により、対応する安全機能が確保される場合
成功パス	- : 当該室に対象なし ○ : 当該室の火災により対応する安全機能が1系統残る場合 × : 当該室の火災により対応する安全機能がすべて喪失する場合

再処理施設成功パス一覧表

2.崩壊熱除去機能		【Aトレン設備】		【Bトレン設備】	
冷却設備	安全冷却水系			冷却設備	安全冷却水系
	安全冷却水A冷却塔				安全冷却水B冷却塔
前処理建屋	冷却設備 安全冷却水系			前処理建屋	冷却設備 安全冷却水系
	安全冷却水A循環ポンプA				安全冷却水B循環ポンプA
	安全冷却水A循環ポンプB				安全冷却水B循環ポンプB
	安全冷却水1AポンプA				安全冷却水1BポンプA
	安全冷却水1AポンプB				安全冷却水1BポンプB
分離建屋	冷却設備 安全冷却水系			分離建屋	冷却設備 安全冷却水系
	冷却水循環ポンプA				冷却水循環ポンプC
	冷却水循環ポンプB				冷却水循環ポンプD
	安全冷却水1AポンプA				安全冷却水1BポンプA
	安全冷却水1AポンプB				安全冷却水1BポンプB
精製建屋	冷却設備 安全冷却水系			精製建屋	冷却設備 安全冷却水系
×	安全冷却水AポンプA				安全冷却水BポンプA
×	安全冷却水AポンプB				安全冷却水BポンプB
ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋	冷却設備 安全冷却水系			ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋	冷却設備 安全冷却水系
	冷水移送ポンプA				冷水移送ポンプC
	冷水移送ポンプB				冷水移送ポンプD
高レベル廃液ガラス固化建屋	冷却設備 安全冷却水系			高レベル廃液ガラス固化建屋	冷却設備 安全冷却水系
	第1高レベル濃縮廃液貯槽冷却水AポンプA				第1高レベル濃縮廃液貯槽冷却水BポンプA
	第1高レベル濃縮廃液貯槽冷却水AポンプB				第1高レベル濃縮廃液貯槽冷却水BポンプB
	第2高レベル濃縮廃液貯槽冷却水AポンプA				第2高レベル濃縮廃液貯槽冷却水BポンプA
	第2高レベル濃縮廃液貯槽冷却水AポンプB				第2高レベル濃縮廃液貯槽冷却水BポンプB
	安全冷却水A系ポンプA				安全冷却水B系ポンプA
	安全冷却水A系ポンプB				安全冷却水B系ポンプB
	高レベル廃液共用貯槽冷却水AポンプA				高レベル廃液共用貯槽冷却水BポンプA
	高レベル廃液共用貯槽冷却水AポンプB				高レベル廃液共用貯槽冷却水BポンプB
	安全冷却水A系ポンプA				安全冷却水B系ポンプA
	安全冷却水A系ポンプB				安全冷却水B系ポンプB
	安全冷水A冷却器冷媒膨張弁A				安全冷水B冷却器冷媒膨張弁A
	安全冷水A冷却器冷媒膨張弁B				安全冷水B冷却器冷媒膨張弁B
	安全冷水A冷却器冷媒止弁A				安全冷水B冷却器冷媒止弁A
	安全冷水A冷却器冷媒止弁B				安全冷水B冷却器冷媒止弁B
	安全冷却水1AポンプA				安全冷却水1BポンプA
	安全冷却水1AポンプB				安全冷却水1BポンプB
	安全冷水AポンプA				安全冷水BポンプA
	安全冷水AポンプB				安全冷水BポンプB
	安全冷水A冷凍機				安全冷水B冷凍機
	スクュー圧縮機				スクュー圧縮機
	スクュー圧縮機				スクュー圧縮機
ウラン・プルトニウム混合酸化物貯蔵建屋換気設備貯蔵室排気系				ウラン・プルトニウム混合酸化物貯蔵建屋換気設備貯蔵室排気系	
	貯蔵室排風機A				貯蔵室排風機C
	貯蔵室排風機B				貯蔵室排風機D
×				-	
	1パス		○		
	回路評価等		-		
	成功パス		○		
3.安全圧縮空気系(水素掃気機能)		【Aトレン設備】		【Bトレン設備】	
安全圧縮空気系				安全圧縮空気系	
	安全空気圧縮装置A				安全空気圧縮装置B
	安全空気圧縮装置C				安全空気圧縮装置C
-				-	
	1パス		-		
	回路評価等		-		
	成功パス		-		

再処理施設成功パス一覧表

4.非常用所内電源系統(支援機能)		【Aトレン設備】	【Bトレン設備】
非常用電源建屋冷却水設備			
	8111A-C20 冷却塔A		8111B-C20 冷却塔B
	8111A-P2010 冷却水循環ポンプA		8111B-P2010 冷却水循環ポンプB
非常用電源建屋の電気設備			
	GA-M/C-A 6.9kV非常用メタクラA		GA-M/C-B 6.9kV非常用メタクラB
	GA-MCC-A 460V非常用コントロールセンタA		GA-MCC-B 460V非常用コントロールセンタB
	8111A-X10 ディーゼル機関A		8111B-X10 ディーゼル機関B
	8111A-X11 同期発電機A		8111B-X11 同期発電機B
	8111A-P4011 燃料油移送ポンプA		8111B-P4011 燃料油移送ポンプB
	GA-BAT-A 110V第2非常用蓄電池A		GA-BAT-B 110V第2非常用蓄電池B
	GA-CHG-A 110V非常用充電器盤A		GA-CHG-B 110V非常用充電器盤B
	GA-DCD-A 110V非常用直流主分電盤A		GA-DCD-B 110V非常用直流主分電盤B
	GA-CHG-E 110V非常用予備充電器盤E		GA-CHG-E 110V非常用予備充電器盤E
	GA-E-K011A 非常用電気設備リレー盤A1		GA-E-K013B 非常用電気設備リレー盤B1
	GA-E-K012A 非常用電気設備リレー盤A2		GA-E-K014B 非常用電気設備リレー盤B2
	8111A-V40 燃料油貯蔵タンク1A		8111B-V40 燃料油貯蔵タンク1B
	8111A-V41 燃料油貯蔵タンク2A		8111B-V41 燃料油貯蔵タンク2B
	GA-E-M011A 第2非常用ディーゼル発電機A制御盤		GA-E-M012B 第2非常用ディーゼル発電機B制御盤
	GA-PTR-A 非常用動力用変圧器A		GA-PTR-B 非常用動力用変圧器B
	8111A-V42 燃料油サービスタングA		8111B-V42 燃料油サービスタングB
	8111A-F4210 燃料油第1フィルタA		8111B-F4210 燃料油第1フィルタB
	8111A-F4230 燃料油第2フィルタA		8111B-F4230 燃料油第2フィルタB
	GA-E-S011A 第2非常用ディーゼル発電機ターニング現場盤A		GA-E-S012B 第2非常用ディーゼル発電機ターニング現場盤B
	GA-E-U011A 第2非常用ディーゼル発電機CT盤A		GA-E-U012B 第2非常用ディーゼル発電機CT盤B
	GA-I-K011A ユーティリティ工程 安全系A制御盤(リレー盤)		GA-I-K012B ユーティリティ工程 安全系B制御盤(リレー盤)
制御建屋の電気設備			
	AG-M/C-A 6.9kV非常用メタクラA		AG-M/C-B 6.9kV非常用メタクラB
	AG-P/C-A 460V非常用パワーセンタA		AG-P/C-B 460V非常用パワーセンタB
	AG-MCC-A1 460V非常用コントロールセンタA1		AG-MCC-B1 460V非常用コントロールセンタB1
	AG-MCC-A2 460V非常用コントロールセンタA2		AG-MCC-B2 460V非常用コントロールセンタB2
	AG-I-F201A 前処理建屋 安全系A監視制御盤		AG-I-F202B 前処理建屋 安全系B監視制御盤
	AG-I-F203A 分離建屋 安全系A監視制御盤		AG-I-F204B 分離建屋 安全系B監視制御盤
	AG-I-F205A 精製建屋 安全系A監視制御盤		AG-I-F206B 精製建屋 安全系B監視制御盤
	AG-I-F211A ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋 安全系A監視制御盤		AG-I-F212B ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋 安全系B監視制御盤
	AG-I-F213A 高レベル廃液ガラス固化建屋 安全系A監視制御盤		AG-I-F214B 高レベル廃液ガラス固化建屋 安全系B監視制御盤
	AG-BAT-A1 110V第2非常用蓄電池A1		AG-BAT-B1 110V第2非常用蓄電池B1
	AG-BAT-A2 220V第2非常用蓄電池A2		AG-BAT-B2 220V第2非常用蓄電池B2
	AG-CHG-A 110V非常用充電器盤A		AG-CHG-B 110V非常用充電器盤B
	AG-CHG-E 110V非常用予備充電器盤E		AG-CHG-E 110V非常用予備充電器盤E
	AG-DCD-A 110V非常用直流主分電盤A		AG-DCD-B 110V非常用直流主分電盤B
	AG-UPS-A 105V非常用無停電電源装置A		AG-UPS-B 105V非常用無停電電源装置B
	AG-UPD-A 105V非常用無停電交流主分電盤A		AG-UPD-B 105V非常用無停電交流主分電盤B
前処理建屋の電気設備			
	AA-M/C-A 6.9kV非常用メタクラA		AA-M/C-B 6.9kV非常用メタクラB
	AA-P/C-A 460V非常用パワーセンタA		AA-P/C-B 460V非常用パワーセンタB
	AA-MCC-A1 460V非常用コントロールセンタA1		AA-MCC-B1 460V非常用コントロールセンタB1
	AA-MCC-A2 460V非常用コントロールセンタA2		AA-MCC-B2 460V非常用コントロールセンタB2
	AA-MCC-A3 460V非常用コントロールセンタA3		
	AA-BAT-A 110V第2非常用蓄電池A		AA-BAT-B 110V第2非常用蓄電池B
	AA-CHG-A 110V非常用充電器盤A		AA-CHG-B 110V非常用充電器盤B
	AA-CHG-E 110V非常用予備充電器盤E		AA-CHG-E 110V非常用予備充電器盤E
	AA-DCD-A 110V非常用直流主分電盤A		AA-DCD-B 110V非常用直流主分電盤B
	AA-UPS-A 105V非常用無停電電源装置A		AA-UPS-B 105V非常用無停電電源装置B
	AA-UPD-A 105V非常用無停電交流主分電盤A		AA-UPD-B 105V非常用無停電交流主分電盤B
	AA-I-M171A 圧縮空気設備 安全空気脱湿装置A現場監視制御盤		AA-I-M172B 圧縮空気設備 安全空気脱湿装置B現場監視制御盤
	AA-I-M166A 圧縮空気設備 安全空気圧縮装置A現場監視制御盤		AA-I-M167B 圧縮空気設備 安全空気圧縮装置B現場監視制御盤
	AA-I-M176A 圧縮空気設備 安全空気圧縮装置C現場制御回路分離盤A		AA-I-M177B 圧縮空気設備 安全空気圧縮装置C現場制御回路分離盤B
	AA-I-M169C 圧縮空気設備 安全空気圧縮装置C現場制御電源切換盤		AA-I-M169C 圧縮空気設備 安全空気圧縮装置C現場制御電源切換盤
	AA-I-M168C 圧縮空気設備 安全空気圧縮装置C現場監視制御盤		AA-I-M168C 圧縮空気設備 安全空気圧縮装置C現場監視制御盤
	AA-I-K701A よう素除去工程排風機A制御盤		AA-I-K702B よう素除去工程排風機B制御盤
	AA-I-K703C よう素除去工程排風機C制御盤		AA-I-K703C よう素除去工程排風機C制御盤
	AA-I-X710C よう素除去工程 C系統電源切替盤		AA-I-X710C よう素除去工程 C系統電源切替盤
	AA-I-J012A ユーティリティ工程 安全系A制御盤1(リレー盤2)		AA-I-J062B ユーティリティ工程 安全系B制御盤1(リレー盤2)
	AA-I-J013A ユーティリティ工程 安全系A制御盤2(リレー盤3)		AA-I-J063B ユーティリティ工程 安全系B制御盤2(リレー盤3)
	AA-I-J031A よう素除去工程 安全系A制御盤1		AA-I-J081B よう素除去工程 安全系B制御盤1
	AA-I-J032A よう素除去工程 安全系A制御盤2		AA-I-J082B よう素除去工程 安全系B制御盤2
	AA-I-J033A よう素除去工程 安全系A制御盤3		AA-I-J083B よう素除去工程 安全系B制御盤3
	AA-LPD-A2 溶解槽セルA排風機A極数変換盤		AA-LPD-B2 溶解槽セルA排風機B極数変換盤
	AA-LPD-A3 溶解槽セルB排風機A極数変換盤		AA-LPD-B3 溶解槽セルB排風機B極数変換盤
	AA-LPD-A21 セル排風機A極数変換盤		AA-LPD-B21 セル排風機B極数変換盤
分離建屋の非常用所内電源系統			
	AB-P/C-A 460V非常用パワーセンタA		AB-P/C-B 460V非常用パワーセンタB
	AB-MCC-A 460V非常用コントロールセンタA		AB-MCC-B 460V非常用コントロールセンタB
	AB-CHG-A 110V非常用充電器盤A		AB-CHG-B 110V非常用充電器盤B
	AB-CHG-E 110V非常用予備充電器盤E		AB-CHG-E 110V非常用予備充電器盤E
	AB-BAT-A 110V第2非常用蓄電池A		AB-BAT-B 110V第2非常用蓄電池B
	AB-DCD-A 110V非常用直流主分電盤A		AB-DCD-B 110V非常用直流主分電盤B
	AB-UPS-A 105V非常用無停電電源装置A		AB-UPS-B 105V非常用無停電電源装置B
	AB-UPD-A1 105V非常用無停電交流主分電盤A1		AB-UPD-B1 105V非常用無停電交流主分電盤A1
	AB-UPD-A2 105V非常用無停電交流主分電盤A2		AB-UPD-B2 105V非常用無停電交流主分電盤A2
	AB-I-J180A ユーティリティ工程 安全系A制御盤1		AB-I-J183B ユーティリティ工程 安全系B制御盤1
	AB-I-J181A ユーティリティ工程 安全系A制御盤2		AB-I-J184B ユーティリティ工程 安全系B制御盤2
	AB-I-J182A ユーティリティ工程 安全系A制御盤3		AB-I-J185B ユーティリティ工程 安全系B制御盤3
	AB-I-J033A 分離・分配工程 安全系A制御盤1		AB-I-J036B 分離・分配工程 安全系B制御盤1
	AB-I-J034A 分離・分配工程 安全系A制御盤2		AB-I-J037B 分離・分配工程 安全系B制御盤2
	AB-I-J035A 分離・分配工程 安全系A制御盤3		AB-I-J038B 分離・分配工程 安全系B制御盤3
	AB-V-J100A 建屋換気設備 安全系A制御盤		AB-V-J101B 建屋換気設備 安全系B制御盤
	1パス	-	
	回路評価等	-	
	成功パス	-	

再処理施設成功パス一覧表

4. 支援機能(続き)		【Aトレン設備】		【Bトレン設備】	
精製建屋の電気設備		精製建屋の電気設備		精製建屋の電気設備	
	AC-BAT-A	110V第2非常用蓄電池A		AC-BAT-B	110V第2非常用蓄電池B
	AC-CHG-A	110V非常用充電器盤A		AC-CHG-B	110V非常用充電器盤B
	AC-CHG-E	110V非常用予備充電器盤E		AC-CHG-E	110V非常用予備充電器盤E
	AC-DCD-A	110V非常用直流主分電盤A		AC-DCD-B	110V非常用直流主分電盤B
×	AC-MCC-A1	460V非常用コントロールセンタA1		AC-MCC-B1	460V非常用コントロールセンタB1
×	AC-MCC-A2	460V非常用コントロールセンタA2		AC-MCC-B2	460V非常用コントロールセンタB2
×	AC-P/C-A	460V非常用パワーセンタA		AC-P/C-B	460V非常用パワーセンタB
	AC-UPD-A	105V非常用無停電交流主分電盤A		AC-UPD-B	105V非常用無停電交流主分電盤B
	AC-UPS-A	105V非常用無停電電源装置A		AC-UPS-B	105V非常用無停電電源装置B
	AC-I-J450A	ユーティリティ工程 安全系A制御盤(計器盤)		AC-I-J460B	ユーティリティ工程 安全系B制御盤(計器盤)
	AC-I-J451A	ユーティリティ工程 安全系A制御盤(リレー盤)		AC-I-J461B	ユーティリティ工程 安全系B制御盤(リレー盤)
	AC-E-J452A	非常用電気設備リレー盤A		AC-E-J462B	非常用電気設備リレー盤B
	AC-V-J453A	建屋換気設備安全系A制御盤		AC-V-J463B	建屋換気設備安全系B制御盤
	AC-I-J752A	プルトニウム精製工程 安全系A 制御盤3		AC-I-J755B	プルトニウム精製工程 安全系B 制御盤3
ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋の非常用所内電源系統		ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋の非常用所内電源系統		ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋の非常用所内電源系統	
	CA-P/C-A	460V非常用パワーセンタA		CA-P/C-B	460V非常用パワーセンタB
	CA-MCC-A1	460V非常用コントロールセンタA1		CA-MCC-B1	460V非常用コントロールセンタB1
	CA-MCC-A2	460V非常用コントロールセンタA2		CA-MCC-B2	460V非常用コントロールセンタB2
	CA-M/C-A	6.9kV非常用メタクラA		CA-M/C-B	6.9kV非常用メタクラB
	CA-E-K503A	非常用電気設備リレー盤A		CA-E-K603B	非常用電気設備リレー盤B
	CA-I-J501A	安全系A制御盤		CA-I-J601B	安全系B制御盤
	CA-V-J502A	建屋換気設備安全系A制御盤		CA-V-J602B	建屋換気設備安全系B制御盤
	CA-CHG-A	110V非常用充電器盤A		CA-CHG-B	110V非常用充電器盤B
	CA-CHG-E	110V非常用予備充電器盤E		CA-CHG-E	110V非常用予備充電器盤E
	CA-DCD-A	110V非常用直流主分電盤A		CA-DCD-B	110V非常用直流主分電盤B
	CA-UPD-A	105V非常用無停電交流主分電盤A		CA-UPD-B	105V非常用無停電交流主分電盤B
	CA-UPS-A	105V非常用無停電電源装置A		CA-UPS-B	105V非常用無停電電源装置B
	CA-BAT-A	110V第2非常用蓄電池A		CA-BAT-B	110V第2非常用蓄電池B
ウラン・プルトニウム混合酸化物貯蔵建屋の非常用所内電源系統		ウラン・プルトニウム混合酸化物貯蔵建屋の非常用所内電源系統		ウラン・プルトニウム混合酸化物貯蔵建屋の非常用所内電源系統	
	CB-P/C-A	460V非常用パワーセンタA		CB-P/C-B	460V非常用パワーセンタB
	CB-E-J101A	非常用電気設備リレー盤A		CB-E-J102B	非常用電気設備リレー盤B
	CA-V-J001A	建屋換気設備安全系A制御盤		CA-V-J002B	建屋換気設備安全系B制御盤
	CB-BAT-A	110V第2非常用蓄電池A		CB-BAT-B	110V第2非常用蓄電池B
	CB-CHG-A	110V非常用充電器盤A		CB-CHG-B	110V非常用充電器盤B
	CB-DCD-A	110V非常用直流主分電盤A		CB-DCD-B	110V非常用直流主分電盤B
	CB-MCC-A	460V非常用コントロールセンタA		CB-MCC-B	460V非常用コントロールセンタB
	CB-UPS-A	105V非常用無停電電源装置A		CB-UPS-B	105V非常用無停電電源装置B
	CB-CHG-E	110V非常用予備充電器盤E		CB-CHG-E	110V非常用予備充電器盤E
高レベル廃液ガラス固化建屋の電気設備		高レベル廃液ガラス固化建屋の電気設備		高レベル廃液ガラス固化建屋の電気設備	
	KA-P/C-A	460V非常用パワーセンタA		KA-P/C-B	460V非常用パワーセンタB
	KA-BAT-A	110V第2非常用蓄電池A		KA-BAT-B	110V第2非常用蓄電池B
	KA-CHG-A	110V非常用充電器盤A		KA-CHG-B	110V非常用充電器盤B
	KA-CHG-E	110V非常用予備充電器盤E		KA-CHG-E	110V非常用予備充電器盤E
	KA-DCD-A	110V非常用直流主分電盤A		KA-DCD-B	110V非常用直流主分電盤B
	KA-UPS-A	105V非常用無停電電源装置A		KA-UPS-B	105V非常用無停電電源装置B
	KA-UPD-A	105V非常用無停電交流主分電盤A		KA-UPD-B	105V非常用無停電交流主分電盤B
	KA-ACS-A	105V非常用計測交流電源盤A		KA-ACS-B	105V非常用計測交流電源盤B
	KA-ACD-A	105V非常用計測交流主分電盤A		KA-ACD-B	105V非常用計測交流主分電盤B
	KA-MCC-A1	460V非常用コントロールセンタA1		KA-MCC-B1	460V非常用コントロールセンタB1
	KA-MCC-A2	460V非常用コントロールセンタA2		KA-MCC-B2	460V非常用コントロールセンタB2
	KA-I-K224A	高レベル廃液ガラス固化廃ガス処理設備第1排風機A安全系Aインバータ制御盤		KA-I-K225B	高レベル廃液ガラス固化廃ガス処理設備第1排風機B安全系Bインバータ制御盤
	KA-I-K226A	高レベル廃液ガラス固化廃ガス処理設備第2排風機A安全系Aインバータ制御盤		KA-I-K227B	高レベル廃液ガラス固化廃ガス処理設備第2排風機B安全系Bインバータ制御盤
	KA-I-K073A	固化セル換気系排風機A安全系Aインバータ制御盤		KA-I-K074B	固化セル換気系排風機B安全系Bインバータ制御盤
	KA-E-K001A	非常用電気設備リレー盤A		KA-E-K002B	非常用電気設備リレー盤B
	KA-I-J501A	高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系A制御盤1		KA-I-J521B	高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系B制御盤1
	KA-I-J502A	高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系A制御盤2		KA-I-J522B	高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系B制御盤2
	KA-I-J503A	高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系A制御盤3		KA-I-J523B	高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系B制御盤3
	KA-I-J504A	高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系A制御盤4		KA-I-J524B	高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系B制御盤4
	KA-I-J505A	高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系A制御盤5		KA-I-J525B	高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系B制御盤5
	KA-I-J506A	高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系A制御盤6		KA-I-J526B	高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系B制御盤6
	KA-I-J507A	高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系A制御盤7		KA-I-J527B	高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系B制御盤7
	KA-I-J508A	高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系A制御盤8		KA-I-J528B	高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系B制御盤8
	KA-I-J511A	安全系A アレスタ盤		KA-I-J531B	安全系B アレスタ盤
	KA-I-J512A	高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系A制御盤(リレー盤1)		KA-I-J532B	高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系B制御盤(リレー盤1)
	KA-I-J513A	高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系A制御盤(リレー盤2)		KA-I-J533B	高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系B制御盤(リレー盤2)
	KA-I-J514A	高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系A制御盤(リレー盤3)		KA-I-J534B	高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系B制御盤(リレー盤3)
	KA-I-M331A	冷凍機 安全系A監視制御盤		KA-I-M322B	冷凍機 安全系B監視制御盤
	KA-I-K334A	冷却水・冷水設備 安全系A 制御盤1		KA-I-K338B	冷却水・冷水設備 安全系B 制御盤1
	KA-I-K335A	冷却水・冷水設備 安全系A 制御盤2		KA-I-K339B	冷却水・冷水設備 安全系B 制御盤2
×					
	1パス				
	回路評価等				
	成功パス				

火災区域(区画)特性表

1. 火災区域(区画)の説明

建屋名	精製建屋
火災区域/区画区分	火災区画
火災区域/区画番号	■
火災区域/区画名称	サービス空気バッファ槽室
床面積(m ²)	■

2. 火災区域(区画)の火災シナリオの説明

■は、精製建屋内の火災区画である。
 本区画は、火災源となるものがないおよび安全上重要な施設が設置されていないため、安全機能の喪失のおそれはない。

3. 火災区域(区画)にある火災源

(1) 等価時間

発熱量(kJ)	火災荷重 (kJ/m ²)	等価時間(h) [※]
■	■	0.5

※ 等価時間は、内部火災影響評価ガイドの等価時間記載の値で示す。

(2) 火災区域(区画)にある火災源機器数

火災源	機器数
電動機(3.7kW超)	-
電気盤(440V以上)	-
ケーブルトレイ(ケーブル)	-
油脂類・有機溶媒等	-
その他	-

4. 火災区域(区画)にある防火設備

火災感知の手段	主要な消火設備	消火方法	消火設備のバックアップ
煙感知器	屋内消火栓	手動	粉末消火器

5. 火災区域(区画)に隣接する火災区域(区画)と火災伝播経路

隣接火災区画への火災伝播経路の詳細は、別紙1参照

6. 火災影響を受ける火災防護対象機器等

機器名称[機器番号]	最重要設備 [※]	最重要設備以外の安全上重要な施設 [※]
-	-	-

※ ○:対象 -:非対象

* 火災想定において、工程停止等により安全機能を必要としない状態へと移行が可能なもの。

7. 火災防護対象機器等の関連ケーブル

機器名称[機器番号]	ケーブル種別	安重分類
-	-	-

8. 最重要設備の安重機能への火災影響

安重分類	全焼時の 成功パスの 有無	回路評価 等の考慮	結果	系統分離※
Pu・高レベル廃棄物の閉じ込め機能	-	-	-	-
崩壊熱除去機能(重要度の高いもの)	-	-	-	-
安全圧縮空気系(水素掃気機能)	-	-	-	-
非常用所内電源系統	-	-	-	-

※ a : 3時間以上の耐火能力を有する耐火壁で分離

b : 水平距離6mによる分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置

c : 1時間の耐火能力を有する隔壁等による分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置
再処理施設成功パスの詳細は、別紙2参照

9. 最重要設備以外の火災防護対象機器等への火災影響

機器名称[機器番号]	当該区画の火災評価※	隣接区画の火災評価※
-	-	-

※ ○:火災影響なし ×:火災影響あり

隣接する火災区画と火災伝播経路

(※ 有:伝播する 無:伝播しない)

隣接する 火災区画	火災伝播 経路有無	等価時間 (h)	耐火時間 (h)	火災伝播の 可能性 ※	備考
	無	0.5	3.0	無	
	無	0.5	3.0	無	
	無	0.5	3.0	無	
	無	0.5	1.0	無	
	無	0.5	1.0	無	

火災区域(区画)特性表

1. 火災区域(区画)の説明

建屋名	精製建屋
火災区域/区画区分	火災区画
火災区域/区画番号	■
火災区域/区画名称	ユーティリティ室
床面積(m ²)	■

2. 火災区域(区画)の火災シナリオの説明

■は、精製建屋内の火災区画である。
 本区画は、火災源となるものがないおよび安全上重要な施設が設置されていないため、安全機能の喪失のおそれはない。

3. 火災区域(区画)にある火災源

(1) 等価時間

発熱量(kJ)	火災荷重(kJ/m ²)	等価時間(h) [※]
■	■	0.5

※ 等価時間は、内部火災影響評価ガイドの等価時間記載の値で示す。

(2) 火災区域(区画)にある火災源機器数

火災源	機器数
電動機(3.7kW超)	-
電気盤(440V以上)	-
ケーブルトレイ(ケーブル)	-
油脂類・有機溶媒等	-
その他	-

4. 火災区域(区画)にある防火設備

火災感知の手段	主要な消火設備	消火方法	消火設備のバックアップ
煙感知器	屋内消火栓	手動	粉末消火器

5. 火災区域(区画)に隣接する火災区域(区画)と火災伝播経路 隣接火災区画への火災伝播経路の詳細は、別紙1参照

6. 火災影響を受ける火災防護対象機器等

機器名称[機器番号]	最重要設備 [※]	最重要設備以外の安全上重要な施設 [※]
-	-	-

※ ○:対象 -:非対象

* 火災想定において、工程停止等により安全機能を必要としない状態へと移行が可能なもの。

7. 火災防護対象機器等の関連ケーブル

機器名称[機器番号]	ケーブル種別	安重分類
-	-	-

8. 最重要設備の安重機能への火災影響

安重分類	全焼時の 成功パスの 有無	回路評価 等の考慮	結果	系統分離※
Pu・高レベル廃棄物の閉じ込め機能	-	-	-	-
崩壊熱除去機能(重要度の高いもの)	-	-	-	-
安全圧縮空気系(水素掃気機能)	-	-	-	-
非常用所内電源系統	-	-	-	-

※ a : 3時間以上の耐火能力を有する耐火壁で分離

b : 水平距離6mによる分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置

c : 1時間の耐火能力を有する隔壁等による分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置
再処理施設成功パスの詳細は、別紙2参照

9. 最重要設備以外の火災防護対象機器等への火災影響

機器名称[機器番号]	当該区画の火災評価※	隣接区画の火災評価※
-	-	-

※ ○:火災影響なし ×:火災影響あり

隣接する火災区画と火災伝播経路

(※ 有:伝播する 無:伝播しない)

隣接する 火災区画	火災伝播 経路有無	等価時間 (h)	耐火時間 (h)	火災伝播の 可能性 ※	備考
	無	0.5	3.0	無	
	無	0.5	3.0	無	
	無	0.5	3.0	無	
	無	0.5	3.0	無	
	無	0.5	3.0	無	
	無	0.5	3.0	無	
	無	0.5	3.0	無	

火災区域(区画)特性表

1. 火災区域(区画)の説明

建屋名	精製建屋
火災区域/区画区分	火災区画
火災区域/区画番号	■
火災区域/区画名称	南第4階段室
床面積(m ²)	■

2. 火災区域(区画)の火災シナリオの説明

■は、精製建屋内の火災区画である。
 本区画は、電気盤火災の発生可能性があるが、安全上重要な施設が設置されていないため、安全機能の喪失のおそれはない。

3. 火災区域(区画)にある火災源

(1) 等価時間

発熱量(kJ)	火災荷重 (kJ/m ²)	等価時間(h) [※]
■	■	0.5

※ 等価時間は、内部火災影響評価ガイドの等価時間記載の値で示す。

(2) 火災区域(区画)にある火災源機器数

火災源	機器数
電動機(3.7kW超)	-
電気盤(440V以上)	1
ケーブルトレイ(ケーブル)	-
油脂類・有機溶媒等	-
その他	-

4. 火災区域(区画)にある防火設備

火災感知の手段	主要な消火設備	消火方法	消火設備のバックアップ
煙感知器	屋内消火栓	手動	粉末消火器

5. 火災区域(区画)に隣接する火災区域(区画)と火災伝播経路

隣接火災区画への火災伝播経路の詳細は、別紙1参照

6. 火災影響を受ける火災防護対象機器等

機器名称[機器番号]	最重要設備 [※]	最重要設備以外の安全上重要な施設 [※]
-	-	-

※ ○:対象 -:非対象

* 火災想定において、工程停止等により安全機能を必要としない状態へと移行が可能なもの。

7. 火災防護対象機器等の関連ケーブル

機器名称[機器番号]	ケーブル種別	安重分類
-	-	-

8. 最重要設備の安重機能への火災影響

安重分類	全焼時の成功パスの有無	回路評価等の考慮	結果	系統分離※
Pu・高レベル廃棄物の閉じ込め機能	-	-	-	-
崩壊熱除去機能(重要度の高いもの)	-	-	-	-
安全圧縮空気系(水素掃気機能)	-	-	-	-
非常用所内電源系統	-	-	-	-

※ a : 3時間以上の耐火能力を有する耐火壁で分離

b : 水平距離6mによる分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置

c : 1時間の耐火能力を有する隔壁等による分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置
再処理施設成功パスの詳細は、別紙2参照

9. 最重要設備以外の火災防護対象機器等への火災影響

機器名称[機器番号]	当該区画の火災評価※	隣接区画の火災評価※
-	-	-

※ ○:火災影響なし ×:火災影響あり

隣接する火災区画と火災伝播経路

(※ 有:伝播する 無:伝播しない)

隣接する 火災区画	火災伝播 経路有無	等価時間 (h)	耐火時間 (h)	火災伝播の 可能性 ※	備考
[Redacted]	無	0.5	3.0	無	
	無	0.5	1.0	無	
	無	0.5	3.0	無	
	有	0.5	0.0	有	
	無	0.5	3.0	無	
	無	0.5	1.0	無	

火災区域(区画)特性表

1. 火災区域(区画)の説明

建屋名	精製建屋
火災区域/区画区分	火災区画
火災区域/区画番号	■
火災区域/区画名称	第1ケーブル室
床面積(m ²)	■

2. 火災区域(区画)の火災シナリオの説明

■は、精製建屋内の火災区画である。
 本区画は、ケーブルトレイ火災の発生可能性があるが、安全上重要な施設が設置されていないため、安全機能の喪失のおそれはない。

3. 火災区域(区画)にある火災源

(1) 等価時間

発熱量(kJ)	火災荷重(kJ/m ²)	等価時間(h) [※]
■	■	0.5

※ 等価時間は、内部火災影響評価ガイドの等価時間記載の値で示す。

(2) 火災区域(区画)にある火災源機器数

火災源	機器数
電動機(3.7kW超)	-
電気盤(440V以上)	-
ケーブルトレイ(ケーブル)	有
油脂類・有機溶媒等	-
その他	-

4. 火災区域(区画)にある防火設備

火災感知の手段	主要な消火設備	消火方法	消火設備のバックアップ
煙感知器	二酸化炭素消火器	手動	粉末消火器

5. 火災区域(区画)に隣接する火災区域(区画)と火災伝播経路

隣接火災区画への火災伝播経路の詳細は、別紙1参照

6. 火災影響を受ける火災防護対象機器等

機器名称[機器番号]	最重要設備 [※]	最重要設備以外の安全上重要な施設 [※]
-	-	-

※ ○:対象 -:非対象

* 火災想定において、工程停止等により安全機能を必要としない状態へと移行が可能なもの。

7. 火災防護対象機器等の関連ケーブル

機器名称[機器番号]	ケーブル種別	安重分類
-	-	-

8. 最重要設備の安重機能への火災影響

安重分類	全焼時の成功パスの有無	回路評価等の考慮	結果	系統分離※
Pu・高レベル廃棄物の閉じ込め機能	-	-	-	-
崩壊熱除去機能(重要度の高いもの)	-	-	-	-
安全圧縮空気系(水素掃気機能)	-	-	-	-
非常用所内電源系統	-	-	-	-

※ a : 3時間以上の耐火能力を有する耐火壁で分離

b : 水平距離6mによる分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置

c : 1時間の耐火能力を有する隔壁等による分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置
再処理施設成功パスの詳細は、別紙2参照

9. 最重要設備以外の火災防護対象機器等への火災影響

機器名称[機器番号]	当該区画の火災評価※	隣接区画の火災評価※
-	-	-

※ ○:火災影響なし ×:火災影響あり

隣接する火災区画と火災伝播経路

(※ 有:伝播する 無:伝播しない)

隣接する 火災区画	火災伝播 経路有無	等価時間 (h)	耐火時間 (h)	火災伝播の 可能性 ※	備考
	無	0.5	1.0	無	
	無	0.5	3.0	無	
	無	0.5	3.0	無	
	無	0.5	1.0	無	
	無	0.5	3.0	無	
	無	0.5	1.0	無	
	無	0.5	1.0	無	
	無	0.5	3.0	無	
	無	0.5	1.0	無	
	無	0.5	1.0	無	
	無	0.5	1.0	無	
	無	0.5	3.0	無	

火災区域(区画)特性表

1. 火災区域(区画)の説明

建屋名	精製建屋
火災区域/区画区分	火災区画
火災区域/区画番号	■
火災区域/区画名称	第2ケーブル室
床面積(m ²)	■

2. 火災区域(区画)の火災シナリオの説明

■は、精製建屋内の火災区画である。
 本区画は、ケーブルトレイ火災の発生可能性があるが、安全上重要な施設が設置されていないため、安全機能の喪失のおそれはない。

3. 火災区域(区画)にある火災源

(1) 等価時間

発熱量(kJ)	火災荷重 (kJ/m ²)	等価時間(h) [※]
■	■	0.5

※ 等価時間は、内部火災影響評価ガイドの等価時間記載の値で示す。

(2) 火災区域(区画)にある火災源機器数

火災源	機器数
電動機(3.7kW超)	-
電気盤(440V以上)	-
ケーブルトレイ(ケーブル)	有
油脂類・有機溶媒等	-
その他	-

4. 火災区域(区画)にある防火設備

火災感知の手段	主要な消火設備	消火方法	消火設備のバックアップ
煙感知器	二酸化炭素消火器	手動	粉末消火器

5. 火災区域(区画)に隣接する火災区域(区画)と火災伝播経路 隣接火災区画への火災伝播経路の詳細は、別紙1参照

6. 火災影響を受ける火災防護対象機器等

機器名称[機器番号]	最重要設備 [※]	最重要設備以外の安全上重要な施設 [※]
-	-	-

※ ○:対象 -:非対象

* 火災想定において、工程停止等により安全機能を必要としない状態へと移行が可能なもの。

7. 火災防護対象機器等の関連ケーブル

機器名称[機器番号]	ケーブル種別	安重分類
-	-	-

8. 最重要設備の安重機能への火災影響

安重分類	全焼時の成功パスの有無	回路評価等の考慮	結果	系統分離※
Pu・高レベル廃棄物の閉じ込め機能	-	-	-	-
崩壊熱除去機能(重要度の高いもの)	-	-	-	-
安全圧縮空気系(水素掃気機能)	-	-	-	-
非常用所内電源系統	-	-	-	-

※ a : 3時間以上の耐火能力を有する耐火壁で分離

b : 水平距離6mによる分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置

c : 1時間の耐火能力を有する隔壁等による分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置
再処理施設成功パスの詳細は、別紙2参照

9. 最重要設備以外の火災防護対象機器等への火災影響

機器名称[機器番号]	当該区画の火災評価※	隣接区画の火災評価※
-	-	-

※ ○:火災影響なし ×:火災影響あり

隣接する火災区画と火災伝播経路

(※ 有:伝播する 無:伝播しない)

隣接する 火災区画	火災伝播 経路有無	等価時間 (h)	耐火時間 (h)	火災伝播の 可能性 ※	備考
	無	0.5	3.0	無	
	無	0.5	3.0	無	
	無	0.5	1.0	無	
	無	0.5	1.0	無	
	無	0.5	3.0	無	
	無	0.5	1.0	無	
	無	0.5	1.0	無	
	無	0.5	1.0	無	
	無	0.5	3.0	無	

火災区域(区画)特性表

1. 火災区域(区画)の説明

建屋名	精製建屋
火災区域/区画区分	火災区画
火災区域/区画番号	■
火災区域/区画名称	プルトニウム系サンプリングベンチ第4セル
床面積(m ²)	■

2. 火災区域(区画)の火災シナリオの説明

■は、精製建屋内の火災区画である。
 本区画は、火災源となるものがないおよび安全上重要な施設が設置されていないため、安全機能の喪失のおそれはない。

3. 火災区域(区画)にある火災源

(1) 等価時間

発熱量(kJ)	火災荷重 (kJ/m ²)	等価時間(h) [※]
■	■	0.0

※ 等価時間は、内部火災影響評価ガイドの等価時間記載の値で示す。

(2) 火災区域(区画)にある火災源機器数

火災源	機器数
電動機(3.7kW超)	-
電気盤(440V以上)	-
ケーブルトレイ(ケーブル)	-
油脂類・有機溶媒等	-
その他	-

4. 火災区域(区画)にある防火設備

火災感知の手段	主要な消火設備	消火方法	消火設備のバックアップ
設置除外	設置除外	-	-

5. 火災区域(区画)に隣接する火災区域(区画)と火災伝播経路 隣接火災区画への火災伝播経路の詳細は、別紙1参照

6. 火災影響を受ける火災防護対象機器等

機器名称[機器番号]	最重要設備 [※]	最重要設備以外の安全上重要な施設 [※]
-	-	-

※ ○:対象 -:非対象

* 火災想定において、工程停止等により安全機能を必要としない状態へと移行が可能なもの。

7. 火災防護対象機器等の関連ケーブル

機器名称[機器番号]	ケーブル種別	安重分類
-	-	-

8. 最重要設備の安重機能への火災影響

安重分類	全焼時の成功パスの有無	回路評価等の考慮	結果	系統分離※
Pu・高レベル廃棄物の閉じ込め機能	-	-	-	-
崩壊熱除去機能(重要度の高いもの)	-	-	-	-
安全圧縮空気系(水素掃気機能)	-	-	-	-
非常用所内電源系統	-	-	-	-

※ a : 3時間以上の耐火能力を有する耐火壁で分離

b : 水平距離6mによる分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置

c : 1時間の耐火能力を有する隔壁等による分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置
再処理施設成功パスの詳細は、別紙2参照

9. 最重要設備以外の火災防護対象機器等への火災影響

機器名称[機器番号]	当該区画の火災評価※	隣接区画の火災評価※
-	-	-

※ ○:火災影響なし ×:火災影響あり

隣接する火災区画と火災伝播経路

(※ 有:伝播する 無:伝播しない)

隣接する 火災区画	火災伝播 経路有無	等価時間 (h)	耐火時間 (h)	火災伝播の 可能性 ※	備考
	有	0.0	0.0	無	
	無	0.0	3.0	無	
	無	0.0	3.0	無	
	有	0.0	0.0	無	
	有	0.0	0.0	無	
	有	0.0	0.0	無	
	有	0.0	0.0	無	

火災区域(区画)特性表

1. 火災区域(区画)の説明

建屋名	精製建屋
火災区域/区画区分	火災区画
火災区域/区画番号	■
火災区域/区画名称	固体廃棄物保管室
床面積(m ²)	■

2. 火災区域(区画)の火災シナリオの説明

■は、精製建屋内の火災区画である。
 本区画は、電動機絶縁物火災、潤滑油漏えい火災または、一時集積可燃物の火災の発生
 の可能性があるが、安全上重要な施設が設置されていないため、安全機能の喪失のおそれ
 はない。

3. 火災区域(区画)にある火災源

(1) 等価時間

発熱量(kJ)	火災荷重 (kJ/m ²)	等価時間(h) [※]
■	■	9.0

※ 等価時間は、内部火災影響評価ガイドの等価時間記載の値で示す。

(2) 火災区域(区画)にある火災源機器数

火災源	機器数
電動機(3.7kW超)	1
電気盤(440V以上)	-
ケーブルトレイ(ケーブル)	-
油脂類・有機溶媒等	有
その他	1

4. 火災区域(区画)にある防火設備

火災感知の手段	主要な消火設備	消火方法	消火設備のバックアップ
煙感知器	屋内消火栓	手動	粉末消火器

5. 火災区域(区画)に隣接する火災区域(区画)と火災伝播経路

隣接火災区画への火災伝播経路の詳細は、別紙1参照

6. 火災影響を受ける火災防護対象機器等

機器名称[機器番号]	最重要設備 [※]	最重要設備以外の 安全上重要な施設 [※]
-	-	-

※ ○:対象 -:非対象

* 火災想定において、工程停止等により安全機能を必要としない状態へと移行が可能なもの。

7. 火災防護対象機器等の関連ケーブル

機器名称[機器番号]	ケーブル種別	安重分類
-	-	-

8. 最重要設備の安重機能への火災影響

安重分類	全焼時の 成功パスの 有無	回路評価 等の考慮	結果	系統分離※
Pu・高レベル廃棄物の閉じ込め機能	-	-	-	-
崩壊熱除去機能(重要度の高いもの)	-	-	-	-
安全圧縮空気系(水素掃気機能)	-	-	-	-
非常用所内電源系統	-	-	-	-

※ a : 3時間以上の耐火能力を有する耐火壁で分離

b : 水平距離6mによる分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置

c : 1時間の耐火能力を有する隔壁等による分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置
再処理施設成功パスの詳細は、別紙2参照

9. 最重要設備以外の火災防護対象機器等への火災影響

機器名称[機器番号]	当該区画の火災評価※	隣接区画の火災評価※
-	-	-

※ ○:火災影響なし ×:火災影響あり

隣接する火災区画と火災伝播経路

(※ 有:伝播する 無:伝播しない)

隣接する 火災区画	火災伝播 経路有無	等価時間 (h)	耐火時間 (h)	火災伝播の 可能性 ※	備考
	無	3.0超	1.0	有	
	有	3.0超	0.0	有	
	無	3.0超	1.0	有	
	無	3.0超	3.0	有	

火災区域(区画)特性表

1. 火災区域(区画)の説明

建屋名	精製建屋
火災区域/区画区分	火災区画
火災区域/区画番号	■
火災区域/区画名称	二酸化炭素消火設備室
床面積(m ²)	■

2. 火災区域(区画)の火災シナリオの説明

■は、精製建屋内の火災区画である。
 本区画は、ケーブルトレイ火災の発生可能性があるが、安全上重要な施設が設置されていないため、安全機能の喪失のおそれはない。

3. 火災区域(区画)にある火災源

(1) 等価時間

発熱量(kJ)	火災荷重 (kJ/m ²)	等価時間(h) [※]
■	■	0.5

※ 等価時間は、内部火災影響評価ガイドの等価時間記載の値で示す。

(2) 火災区域(区画)にある火災源機器数

火災源	機器数
電動機(3.7kW超)	-
電気盤(440V以上)	-
ケーブルトレイ(ケーブル)	有
油脂類・有機溶媒等	-
その他	-

4. 火災区域(区画)にある防火設備

火災感知の手段	主要な消火設備	消火方法	消火設備のバックアップ
煙感知器	屋内消火栓	手動	粉末消火器

5. 火災区域(区画)に隣接する火災区域(区画)と火災伝播経路

隣接火災区画への火災伝播経路の詳細は、別紙1参照

6. 火災影響を受ける火災防護対象機器等

機器名称[機器番号]	最重要設備 [※]	最重要設備以外の安全上重要な施設 [※]
-	-	-

※ ○:対象 -:非対象

* 火災想定において、工程停止等により安全機能を必要としない状態へと移行が可能なもの。

7. 火災防護対象機器等の関連ケーブル

機器名称[機器番号]	ケーブル種別	安重分類
-	-	-

8. 最重要設備の安重機能への火災影響

安重分類	全焼時の成功パスの有無	回路評価等の考慮	結果	系統分離※
Pu・高レベル廃棄物の閉じ込め機能	-	-	-	-
崩壊熱除去機能(重要度の高いもの)	-	-	-	-
安全圧縮空気系(水素掃気機能)	-	-	-	-
非常用所内電源系統	-	-	-	-

※ a : 3時間以上の耐火能力を有する耐火壁で分離

b : 水平距離6mによる分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置

c : 1時間の耐火能力を有する隔壁等による分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置
再処理施設成功パスの詳細は、別紙2参照

9. 最重要設備以外の火災防護対象機器等への火災影響

機器名称[機器番号]	当該区画の火災評価※	隣接区画の火災評価※
-	-	-

※ ○:火災影響なし ×:火災影響あり

隣接する火災区画と火災伝播経路

(※ 有:伝播する 無:伝播しない)

隣接する 火災区画	火災伝播 経路有無	等価時間 (h)	耐火時間 (h)	火災伝播の 可能性 ※	備考
	無	0.5	3.0	無	
	無	0.5	3.0	無	
	無	0.5	3.0	無	
	無	0.5	3.0	無	
	無	0.5	1.0	無	

火災区域(区画)特性表

1. 火災区域(区画)の説明

建屋名	精製建屋
火災区域/区画区分	火災区画
火災区域/区画番号	■
火災区域/区画名称	北第2階段室地上1階附室
床面積(m ²)	■

2. 火災区域(区画)の火災シナリオの説明

■は、精製建屋内の火災区画である。
 本区画は、火災源となるものがないおよび安全上重要な施設が設置されていないため、安全機能の喪失のおそれはない。

3. 火災区域(区画)にある火災源

(1) 等価時間

発熱量(kJ)	火災荷重 (kJ/m ²)	等価時間(h) [※]
■	■	0.5

※ 等価時間は、内部火災影響評価ガイドの等価時間記載の値で示す。

(2) 火災区域(区画)にある火災源機器数

火災源	機器数
電動機(3.7kW超)	-
電気盤(440V以上)	-
ケーブルトレイ(ケーブル)	-
油脂類・有機溶媒等	-
その他	-

4. 火災区域(区画)にある防火設備

火災感知の手段	主要な消火設備	消火方法	消火設備のバックアップ
煙感知器	屋内消火栓	手動	粉末消火器

5. 火災区域(区画)に隣接する火災区域(区画)と火災伝播経路

隣接火災区画への火災伝播経路の詳細は、別紙1参照

6. 火災影響を受ける火災防護対象機器等

機器名称[機器番号]	最重要設備 [※]	最重要設備以外の安全上重要な施設 [※]
-	-	-

※ ○:対象 -:非対象

* 火災想定において、工程停止等により安全機能を必要としない状態へと移行が可能なもの。

7. 火災防護対象機器等の関連ケーブル

機器名称[機器番号]	ケーブル種別	安重分類
-	-	-

8. 最重要設備の安重機能への火災影響

安重分類	全焼時の成功パスの有無	回路評価等の考慮	結果	系統分離※
Pu・高レベル廃棄物の閉じ込め機能	-	-	-	-
崩壊熱除去機能(重要度の高いもの)	-	-	-	-
安全圧縮空気系(水素掃気機能)	-	-	-	-
非常用所内電源系統	-	-	-	-

※ a : 3時間以上の耐火能力を有する耐火壁で分離

b : 水平距離6mによる分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置

c : 1時間の耐火能力を有する隔壁等による分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置
再処理施設成功パスの詳細は、別紙2参照

9. 最重要設備以外の火災防護対象機器等への火災影響

機器名称[機器番号]	当該区画の火災評価※	隣接区画の火災評価※
-	-	-

※ ○:火災影響なし ×:火災影響あり

隣接する火災区画と火災伝播経路

(※ 有:伝播する 無:伝播しない)

隣接する 火災区画	火災伝播 経路有無	等価時間 (h)	耐火時間 (h)	火災伝播の 可能性 ※	備考
	無	0.5	1.0	無	
	無	0.5	1.0	無	
	無	0.5	1.0	無	
	無	0.5	1.0	無	
	無	0.5	3.0	無	

火災区域(区画)特性表

1. 火災区域(区画)の説明

建屋名	精製建屋
火災区域/区画区分	火災区画
火災区域/区画番号	■
火災区域/区画名称	南第2階段室地上1階附室
床面積(m ²)	■

2. 火災区域(区画)の火災シナリオの説明

■は、精製建屋内の火災区画である。
 本区画は、火災源となるものがないおよび安全上重要な施設が設置されていないため、安全機能の喪失のおそれはない。

3. 火災区域(区画)にある火災源

(1) 等価時間

発熱量(kJ)	火災荷重 (kJ/m ²)	等価時間(h) [※]
■	■	0.0

※ 等価時間は、内部火災影響評価ガイドの等価時間記載の値で示す。

(2) 火災区域(区画)にある火災源機器数

火災源	機器数
電動機(3.7kW超)	-
電気盤(440V以上)	-
ケーブルトレイ(ケーブル)	-
油脂類・有機溶媒等	-
その他	-

4. 火災区域(区画)にある防火設備

火災感知の手段	主要な消火設備	消火方法	消火設備のバックアップ
煙感知器	屋内消火栓	手動	粉末消火器

5. 火災区域(区画)に隣接する火災区域(区画)と火災伝播経路 隣接火災区画への火災伝播経路の詳細は、別紙1参照

6. 火災影響を受ける火災防護対象機器等

機器名称[機器番号]	最重要設備 [※]	最重要設備以外の安全上重要な施設 [※]
-	-	-

※ ○:対象 -:非対象

* 火災想定において、工程停止等により安全機能を必要としない状態へと移行が可能なもの。

7. 火災防護対象機器等の関連ケーブル

機器名称[機器番号]	ケーブル種別	安重分類
-	-	-

8. 最重要設備の安重機能への火災影響

安重分類	全焼時の 成功パスの 有無	回路評価 等の考慮	結果	系統分離※
Pu・高レベル廃棄物の閉じ込め機能	-	-	-	-
崩壊熱除去機能(重要度の高いもの)	-	-	-	-
安全圧縮空気系(水素掃気機能)	-	-	-	-
非常用所内電源系統	-	-	-	-

※ a : 3時間以上の耐火能力を有する耐火壁で分離

b : 水平距離6mによる分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置

c : 1時間の耐火能力を有する隔壁等による分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置
再処理施設成功パスの詳細は、別紙2参照

9. 最重要設備以外の火災防護対象機器等への火災影響

機器名称[機器番号]	当該区画の火災評価※	隣接区画の火災評価※
-	-	-

※ ○:火災影響なし ×:火災影響あり

隣接する火災区画と火災伝播経路

(※ 有:伝播する 無:伝播しない)

隣接する 火災区画	火災伝播 経路有無	等価時間 (h)	耐火時間 (h)	火災伝播の 可能性 ※	備考
	無	0.0	1.0	無	
	無	0.0	1.0	無	
	無	0.0	3.0	無	
	無	0.0	1.0	無	
	無	0.0	3.0	無	
	無	0.0	1.0	無	

火災区域(区画)特性表

1. 火災区域(区画)の説明

建屋名	精製建屋
火災区域/区画区分	火災区画
火災区域/区画番号	■
火災区域/区画名称	南第3階段室地上1階附室
床面積(m ²)	■

2. 火災区域(区画)の火災シナリオの説明

■は、精製建屋内の火災区画である。
 本区画は、火災源となるものがないおよび安全上重要な施設が設置されていないため、安全機能の喪失のおそれはない。

3. 火災区域(区画)にある火災源

(1) 等価時間

発熱量(kJ)	火災荷重 (kJ/m ²)	等価時間(h) [※]
■	■	0.0

※ 等価時間は、内部火災影響評価ガイドの等価時間記載の値で示す。

(2) 火災区域(区画)にある火災源機器数

火災源	機器数
電動機(3.7kW超)	-
電気盤(440V以上)	-
ケーブルトレイ(ケーブル)	-
油脂類・有機溶媒等	-
その他	-

4. 火災区域(区画)にある防火設備

火災感知の手段	主要な消火設備	消火方法	消火設備のバックアップ
煙感知器	屋内消火栓	手動	粉末消火器

5. 火災区域(区画)に隣接する火災区域(区画)と火災伝播経路

隣接火災区画への火災伝播経路の詳細は、別紙1参照

6. 火災影響を受ける火災防護対象機器等

機器名称[機器番号]	最重要設備 [※]	最重要設備以外の安全上重要な施設 [※]
-	-	-

※ ○:対象 -:非対象

* 火災想定において、工程停止等により安全機能を必要としない状態へと移行が可能なもの。

7. 火災防護対象機器等の関連ケーブル

機器名称[機器番号]	ケーブル種別	安重分類
-	-	-

8. 最重要設備の安重機能への火災影響

安重分類	全焼時の 成功パスの 有無	回路評価 等の考慮	結果	系統分離※
Pu・高レベル廃棄物の閉じ込め機能	-	-	-	-
崩壊熱除去機能(重要度の高いもの)	-	-	-	-
安全圧縮空気系(水素掃気機能)	-	-	-	-
非常用所内電源系統	-	-	-	-

※ a : 3時間以上の耐火能力を有する耐火壁で分離

b : 水平距離6mによる分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置

c : 1時間の耐火能力を有する隔壁等による分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置
再処理施設成功パスの詳細は、別紙2参照

9. 最重要設備以外の火災防護対象機器等への火災影響

機器名称[機器番号]	当該区画の火災評価※	隣接区画の火災評価※
-	-	-

※ ○:火災影響なし ×:火災影響あり

隣接する火災区画と火災伝播経路

(※ 有:伝播する 無:伝播しない)

隣接する 火災区画	火災伝播 経路有無	等価時間 (h)	耐火時間 (h)	火災伝播の 可能性 ※	備考
	無	0.0	3.0	無	
	無	0.0	1.0	無	
	無	0.0	1.0	無	
	無	0.0	1.0	無	
	無	0.0	3.0	無	
	無	0.0	1.0	無	

火災区域(区画)特性表

1. 火災区域(区画)の説明

建屋名	精製建屋
火災区域/区画区分	火災区画
火災区域/区画番号	■
火災区域/区画名称	北第1階段室地上1階附室
床面積(m ²)	■

2. 火災区域(区画)の火災シナリオの説明

■は、精製建屋内の火災区画である。
 本区画は、火災源となるものがないおよび安全上重要な施設が設置されていないため、安全機能の喪失のおそれはない。

3. 火災区域(区画)にある火災源

(1) 等価時間

発熱量(kJ)	火災荷重 (kJ/m ²)	等価時間(h) [※]
■	■	0.5

※ 等価時間は、内部火災影響評価ガイドの等価時間記載の値で示す。

(2) 火災区域(区画)にある火災源機器数

火災源	機器数
電動機(3.7kW超)	-
電気盤(440V以上)	-
ケーブルトレイ(ケーブル)	-
油脂類・有機溶媒等	-
その他	-

4. 火災区域(区画)にある防火設備

火災感知の手段	主要な消火設備	消火方法	消火設備のバックアップ
煙感知器	屋内消火栓	手動	粉末消火器

5. 火災区域(区画)に隣接する火災区域(区画)と火災伝播経路

隣接火災区画への火災伝播経路の詳細は、別紙1参照

6. 火災影響を受ける火災防護対象機器等

機器名称[機器番号]	最重要設備 [※]	最重要設備以外の安全上重要な施設 [※]
-	-	-

※ ○:対象 -:非対象

* 火災想定において、工程停止等により安全機能を必要としない状態へと移行が可能なもの。

7. 火災防護対象機器等の関連ケーブル

機器名称[機器番号]	ケーブル種別	安重分類
-	-	-

8. 最重要設備の安重機能への火災影響

安重分類	全焼時の 成功パスの 有無	回路評価 等の考慮	結果	系統分離※
Pu・高レベル廃棄物の閉じ込め機能	-	-	-	-
崩壊熱除去機能(重要度の高いもの)	-	-	-	-
安全圧縮空気系(水素掃気機能)	-	-	-	-
非常用所内電源系統	-	-	-	-

※ a : 3時間以上の耐火能力を有する耐火壁で分離

b : 水平距離6mによる分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置

c : 1時間の耐火能力を有する隔壁等による分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置
再処理施設成功パスの詳細は、別紙2参照

9. 最重要設備以外の火災防護対象機器等への火災影響

機器名称[機器番号]	当該区画の火災評価※	隣接区画の火災評価※
-	-	-

※ ○:火災影響なし ×:火災影響あり

隣接する火災区画と火災伝播経路

(※ 有:伝播する 無:伝播しない)

隣接する 火災区画	火災伝播 経路有無	等価時間 (h)	耐火時間 (h)	火災伝播の 可能性 ※	備考
	無	0.5	1.0	無	
	無	0.5	1.0	無	
	無	0.5	1.0	無	
	無	0.5	1.0	無	
	無	0.5	3.0	無	

火災区域(区画)特性表

1. 火災区域(区画)の説明

建屋名	精製建屋
火災区域/区画区分	火災区画
火災区域/区画番号	■
火災区域/区画名称	南第1階段室地上1階附室
床面積(m ²)	■

2. 火災区域(区画)の火災シナリオの説明

■は、精製建屋内の火災区画である。
 本区画は、火災源となるものがないおよび安全上重要な施設が設置されていないため、安全機能の喪失のおそれはない。

3. 火災区域(区画)にある火災源

(1) 等価時間

発熱量(kJ)	火災荷重(kJ/m ²)	等価時間(h) [※]
■	■	0.0

※ 等価時間は、内部火災影響評価ガイドの等価時間記載の値で示す。

(2) 火災区域(区画)にある火災源機器数

火災源	機器数
電動機(3.7kW超)	-
電気盤(440V以上)	-
ケーブルトレイ(ケーブル)	-
油脂類・有機溶媒等	-
その他	-

4. 火災区域(区画)にある防火設備

火災感知の手段	主要な消火設備	消火方法	消火設備のバックアップ
煙感知器	屋内消火栓	手動	粉末消火器

5. 火災区域(区画)に隣接する火災区域(区画)と火災伝播経路

隣接火災区画への火災伝播経路の詳細は、別紙1参照

6. 火災影響を受ける火災防護対象機器等

機器名称[機器番号]	最重要設備 [※]	最重要設備以外の安全上重要な施設 [※]
-	-	-

※ ○:対象 -:非対象

* 火災想定において、工程停止等により安全機能を必要としない状態へと移行が可能なもの。

7. 火災防護対象機器等の関連ケーブル

機器名称[機器番号]	ケーブル種別	安重分類
-	-	-

8. 最重要設備の安重機能への火災影響

安重分類	全焼時の 成功パスの 有無	回路評価 等の考慮	結果	系統分離※
Pu・高レベル廃棄物の閉じ込め機能	-	-	-	-
崩壊熱除去機能(重要度の高いもの)	-	-	-	-
安全圧縮空気系(水素掃気機能)	-	-	-	-
非常用所内電源系統	-	-	-	-

※ a : 3時間以上の耐火能力を有する耐火壁で分離

b : 水平距離6mによる分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置

c : 1時間の耐火能力を有する隔壁等による分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置
再処理施設成功パスの詳細は、別紙2参照

9. 最重要設備以外の火災防護対象機器等への火災影響

機器名称[機器番号]	当該区画の火災評価※	隣接区画の火災評価※
-	-	-

※ ○:火災影響なし ×:火災影響あり

隣接する火災区画と火災伝播経路

(※ 有:伝播する 無:伝播しない)

隣接する 火災区画	火災伝播 経路有無	等価時間 (h)	耐火時間 (h)	火災伝播の 可能性 ※	備考
	無	0.0	1.0	無	
	無	0.0	1.0	無	
	無	0.0	3.0	無	
	無	0.0	1.0	無	
	無	0.0	3.0	無	
	無	0.0	1.0	無	

火災区域(区画)特性表

1. 火災区域(区画)の説明

建屋名	精製建屋
火災区域/区画区分	火災区画
火災区域/区画番号	■
火災区域/区画名称	南第4ダクト室
床面積(m ²)	■

2. 火災区域(区画)の火災シナリオの説明

■は、精製建屋内の火災区画である。
 本区画の火災源は、ケーブルトレイである。
 したがって、本区画の想定火災としては、ケーブルトレイ火災により、安全上重要な施設のB系の設備(6.火災影響を受ける火災防護対象機器等 参照)が火災影響を受け、安全機能が喪失するおそれがあるが、多重化された安全上重要な施設の片系のみ機能喪失であるため、安全機能が完全に喪失することはない。

3. 火災区域(区画)にある火災源

(1) 等価時間

発熱量(kJ)	火災荷重 (kJ/m ²)	等価時間(h) [※]
■	■	3.0

※ 等価時間は、内部火災影響評価ガイドの等価時間記載の値で示す。

(2) 火災区域(区画)にある火災源機器数

火災源	機器数
電動機(3.7kW超)	-
電気盤(440V以上)	-
ケーブルトレイ(ケーブル)	有
油脂類・有機溶媒等	-
その他	-

4. 火災区域(区画)にある防火設備

火災感知の手段	主要な消火設備	消火方法	消火設備のバックアップ
煙感知器 熱感知器	ハロゲン化物消火 設備(全域)	自動	二酸化炭素消火器

5. 火災区域(区画)に隣接する火災区域(区画)と火災伝播経路

隣接火災区画への火災伝播経路の詳細は、別紙1参照

6. 火災影響を受ける火災防護対象機器等

機器名称[機器番号]	最重要設備 [※]	最重要設備以外の 安全上重要な施設 [※]
安重ケーブルトレイ[B系]	○	○

※ ○:対象 -:非対象

* 火災想定において、工程停止等により安全機能を必要としない状態へと移行が可能なもの。

7. 火災防護対象機器等の関連ケーブル

機器名称[機器番号]	ケーブル種別	安重分類
グローブボックス・セル排風機B []	制御、動力(低圧)	Pu・高レベルの廃棄物の閉じ込め機能
460V非常用パワーセンタB[AC-P/C-B]	動力(低圧)	非常用所内電源系統
安全冷却水BポンプA []	制御、動力(低圧)	崩壊熱除去機能(重要度の高いもの)
安全冷却水BポンプB []	制御、動力(低圧)	崩壊熱除去機能(重要度の高いもの)
排風機B []	制御、動力(低圧)	Pu・高レベルの廃棄物の閉じ込め機能
排風機B []	制御、動力(低圧)	Pu・高レベルの廃棄物の閉じ込め機能
460V非常用コントロールセンタB1[AC-MCC-B1]	動力(低圧)	非常用所内電源系統
460V非常用コントロールセンタB2[AC-MCC-B2]	制御、動力(低圧)	非常用所内電源系統

8. 最重要設備の安重機能への火災影響

安重分類	全焼時の成功パスの有無	回路評価等の考慮	結果	系統分離 [※]
Pu・高レベル廃棄物の閉じ込め機能	有	-	○	-
崩壊熱除去機能(重要度の高いもの)	有	-	○	-
安全圧縮空気系(水素掃気機能)	-	-	-	-
非常用所内電源系統	有	-	○	-

※ a : 3時間以上の耐火能力を有する耐火壁で分離

b : 水平距離6mによる分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置

c : 1時間の耐火能力を有する隔壁等による分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置

再処理施設成功パスの詳細は、別紙2参照

9. 最重要設備以外の火災防護対象機器等への火災影響

機器名称[機器番号]	当該区画の火災評価 [※]	隣接区画の火災評価 [※]
-	-	-

※ ○:火災影響なし ×:火災影響あり

隣接する火災区画と火災伝播経路

(※ 有:伝播する 無:伝播しない)

隣接する 火災区画	火災伝播 経路有無	等価時間 (h)	耐火時間 (h)	火災伝播の 可能性 ※	備考
	無	3.0	3.0	無	
	無	3.0	3.0	無	
	無	3.0	3.0	無	
	無	3.0	3.0	無	
	無	3.0	3.0	無	

再処理施設成功パス一覧表

建屋	精製建屋	
区域(区画)番号/名称		南第4ダクト室
1.放射性物質の閉じ込め機能(動的な閉じ込め機能)		
	【Aトレン設備】	【Bトレン設備】
前処理建屋 せん断処理・溶解廃ガス処理設備	排風機A	前処理建屋 せん断処理・溶解廃ガス処理設備
	排風機C	排風機B
前処理建屋 塔槽類廃ガス処理設備	排風機A	前処理建屋 塔槽類廃ガス処理設備
	排風機A	排風機B
前処理建屋換気設備 溶解セル等からの排気系	セル排風機A	前処理建屋換気設備 溶解セル等からの排気系
	溶解槽セルA排風機A	セル排風機B
	溶解槽セルB排風機A	溶解槽セルA排風機B
高レベル廃液ガラス固化建屋 高レベル廃液ガラス固化廃ガス処理設備	第1排風機A	高レベル廃液ガラス固化建屋 高レベル廃液ガラス固化廃ガス処理設備
	第2排風機A	第1排風機B
高レベル廃液ガラス固化建屋 塔槽類廃ガス処理設備 高レベル濃縮廃液廃ガス処理系	排風機A	高レベル廃液ガラス固化建屋 塔槽類廃ガス処理設備 高レベル濃縮廃液廃ガス処理系
	排風機A	排風機B
高レベル廃液ガラス固化建屋 塔槽類廃ガス処理設備 不溶解残渣廃液廃ガス処理系	排風機A	高レベル廃液ガラス固化建屋 塔槽類廃ガス処理設備 不溶解残渣廃液廃ガス処理系
	排風機A	排風機B
高レベル濃縮廃液貯槽セル等からの排気系 固化セル換気系及び固化セル圧力放出系	セル排風機A	高レベル濃縮廃液貯槽セル等からの排気系 固化セル換気系及び固化セル圧力放出系
	固化セル換気系排風機A	セル排風機B
分離建屋 塔槽類廃ガス処理設備 パルセータ廃ガス処理系	排風機A	分離建屋 塔槽類廃ガス処理設備 パルセータ廃ガス処理系
	排風機A	排風機B
分離建屋 塔槽類廃ガス処理設備 塔槽類廃ガス処理系	排風機A	分離建屋 塔槽類廃ガス処理設備 塔槽類廃ガス処理系
	排風機A	排風機B
分離建屋換気設備 プルトニウム溶液中間貯槽セル等からの排気系	グローブボックス・セル排風機A	分離建屋換気設備 プルトニウム溶液中間貯槽セル等からの排気系
	グローブボックス・セル排風機A	グローブボックス・セル排風機B
精製建屋 塔槽類廃ガス処理設備 パルセータ廃ガス処理系	排風機A	精製建屋 塔槽類廃ガス処理設備 パルセータ廃ガス処理系
	排風機A	× 排風機B
精製建屋 塔槽類廃ガス処理設備 塔槽類廃ガス処理系(プルトニウム系)	排風機A	× 排風機B
	排風機A	× 排風機B
精製建屋換気設備 プルトニウム濃縮缶セル等及びグローブボックス等からの排気系	グローブボックス・セル排風機A	精製建屋換気設備 プルトニウム濃縮缶セル等及びグローブボックス等からの排気系
	グローブボックス・セル排風機A	× グローブボックス・セル排風機B
ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋 塔槽類廃ガス処理設備	第1排風機A	ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋 塔槽類廃ガス処理設備
	第2排風機A	第1排風機B
	第2排風機C	第2排風機B
ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋 硝酸プルトニウム貯槽セル等及びグローブボックス等からの排気系	グローブボックス・セル排風機A	ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋 硝酸プルトニウム貯槽セル等及びグローブボックス等からの排気系
	グローブボックス・セル排風機A	× グローブボックス・セル排風機B
	グローブボックス・セル排風機C	
-		×
1パス	○	
回路評価等	-	
成功パス	○	

凡例	
×	○○○○-○○ ○○○A
	○○○○-○○ ○○○○A
× : 当該室の火災により安全機能を喪失する機器がある場合 空欄 : 当該室に設置していない機器	
1パス	- : 当該室に対象なし ○ : 当該室の火災により対応する安全機能が1系統残る場合 × : 当該室の火災により対応する安全機能がすべて喪失する場合
回路評価等	- : 当該室に回路評価等を行う対象なし ○ : 回路評価等により、対応する安全機能が確保される場合
成功パス	- : 当該室に対象なし ○ : 当該室の火災により対応する安全機能が1系統残る場合 × : 当該室の火災により対応する安全機能がすべて喪失する場合

再処理施設成功パス一覧表

2.崩壊熱除去機能			
		【Aトレン設備】	【Bトレン設備】
冷却設備	安全冷却水系		冷却設備 安全冷却水系
	安全冷却水A冷却塔		安全冷却水B冷却塔
前処理建屋	冷却設備 安全冷却水系		前処理建屋 冷却設備 安全冷却水系
	安全冷却水A循環ポンプA		安全冷却水B循環ポンプA
	安全冷却水A循環ポンプB		安全冷却水B循環ポンプB
	安全冷却水1AポンプA		安全冷却水1BポンプA
	安全冷却水1AポンプB		安全冷却水1BポンプB
分離建屋	冷却設備 安全冷却水系		分離建屋 冷却設備 安全冷却水系
	冷却水循環ポンプA		冷却水循環ポンプC
	冷却水循環ポンプB		冷却水循環ポンプD
	安全冷却水1AポンプA		安全冷却水1BポンプA
	安全冷却水1AポンプB		安全冷却水1BポンプB
精製建屋	冷却設備 安全冷却水系		精製建屋 冷却設備 安全冷却水系
	安全冷却水AポンプA	×	安全冷却水BポンプA
	安全冷却水AポンプB	×	安全冷却水BポンプB
ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋	冷却設備 安全冷却水系		ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋 冷却設備 安全冷却水系
	冷水移送ポンプA		冷水移送ポンプC
	冷水移送ポンプB		冷水移送ポンプD
高レベル廃液ガラス固化建屋	冷却設備 安全冷却水系		高レベル廃液ガラス固化建屋 冷却設備 安全冷却水系
	第1高レベル濃縮廃液貯槽冷却水AポンプA		第1高レベル濃縮廃液貯槽冷却水BポンプA
	第1高レベル濃縮廃液貯槽冷却水AポンプB		第1高レベル濃縮廃液貯槽冷却水BポンプB
	第2高レベル濃縮廃液貯槽冷却水AポンプA		第2高レベル濃縮廃液貯槽冷却水BポンプA
	第2高レベル濃縮廃液貯槽冷却水AポンプB		第2高レベル濃縮廃液貯槽冷却水BポンプB
	安全冷却水A系ポンプA		安全冷却水B系ポンプA
	安全冷却水A系ポンプB		安全冷却水B系ポンプB
	高レベル廃液共用貯槽冷却水AポンプA		高レベル廃液共用貯槽冷却水BポンプA
	高レベル廃液共用貯槽冷却水AポンプB		高レベル廃液共用貯槽冷却水BポンプB
	安全冷却水A系ポンプA		安全冷却水B系ポンプA
	安全冷却水A系ポンプB		安全冷却水B系ポンプB
	安全冷水A冷却器冷媒膨張弁A		安全冷水B冷却器冷媒膨張弁A
	安全冷水A冷却器冷媒膨張弁B		安全冷水B冷却器冷媒膨張弁B
	安全冷水A冷却器冷媒止弁A		安全冷水B冷却器冷媒止弁A
	安全冷水A冷却器冷媒止弁B		安全冷水B冷却器冷媒止弁B
	安全冷却水1AポンプA		安全冷却水1BポンプA
	安全冷却水1AポンプB		安全冷却水1BポンプB
	安全冷水AポンプA		安全冷水BポンプA
	安全冷水AポンプB		安全冷水BポンプB
	安全冷水A冷凍機		安全冷水B冷凍機
	スクリー圧縮機		スクリー圧縮機
	スクリー圧縮機		スクリー圧縮機
ウラン・プルトニウム混合酸化物貯蔵建屋換気設備貯蔵室排気系			ウラン・プルトニウム混合酸化物貯蔵建屋換気設備貯蔵室排気系
	貯蔵室排風機A		貯蔵室排風機C
	貯蔵室排風機B		貯蔵室排風機D
-			×
	1パス	○	
	回路評価等	-	
	成功パス	○	

3.安全圧縮空気系(水素掃気機能)			
		【Aトレン設備】	【Bトレン設備】
安全圧縮空気系			安全圧縮空気系
	安全空気圧縮装置A		安全空気圧縮装置B
	安全空気圧縮装置C		安全空気圧縮装置C
-			
	1パス	-	
	回路評価等	-	
	成功パス	-	

再処理施設成功パス一覧表

4.非常用所内電源系統(支援機能)		【Aトレン設備】	【Bトレン設備】
非常用電源建屋冷却水設備			
	8111A-C20	冷却塔A	8111B-C20
	8111A-P2010	冷却水循環ポンプA	8111B-P2010
非常用電源建屋の電気設備			
	GA-M/C-A	6.9kV非常用メタクラA	GA-M/C-B
	GA-MCC-A	460V非常用コントロールセンタA	GA-MCC-B
	8111A-X10	ディーゼル機関A	8111B-X10
	8111A-X11	同期発電機A	8111B-X11
	8111A-P4011	燃料油移送ポンプA	8111B-P4011
	GA-BAT-A	110V第2非常用蓄電池A	GA-BAT-B
	GA-CHG-A	110V非常用充電器盤A	GA-CHG-B
	GA-DCD-A	110V非常用直流主分電盤A	GA-DCD-B
	GA-CHG-E	110V非常用予備充電器盤E	GA-CHG-E
	GA-E-K011A	非常用電気設備リレー盤A1	GA-E-K013B
	GA-E-K012A	非常用電気設備リレー盤A2	GA-E-K014B
	8111A-V40	燃料油貯蔵タンク1A	8111B-V40
	8111A-V41	燃料油貯蔵タンク2A	8111B-V41
	GA-E-M011A	第2非常用ディーゼル発電機A制御盤	GA-E-M012B
	GA-PTR-A	非常用動力用変圧器A	GA-PTR-B
	8111A-V42	燃料油サービスタングA	8111B-V42
	8111A-F4210	燃料油第1フィルタA	8111B-F4210
	8111A-F4230	燃料油第2フィルタA	8111B-F4230
	GA-E-S011A	第2非常用ディーゼル発電機ターニング現場盤A	GA-E-S012B
	GA-E-U011A	第2非常用ディーゼル発電機CT盤A	GA-E-U012B
	GA-I-K011A	ユーティリティ工程 安全系A制御盤(リレー盤)	GA-I-K012B
制御建屋の電気設備			
	AG-M/C-A	6.9kV非常用メタクラA	AG-M/C-B
	AG-P/C-A	460V非常用パワーセンタA	AG-P/C-B
	AG-MCC-A1	460V非常用コントロールセンタA1	AG-MCC-B1
	AG-MCC-A2	460V非常用コントロールセンタA2	AG-MCC-B2
	AG-I-F201A	前処理建屋 安全系A監視制御盤	AG-I-F202B
	AG-I-F203A	分離建屋 安全系A監視制御盤	AG-I-F204B
	AG-I-F205A	精製建屋 安全系A監視制御盤	AG-I-F206B
	AG-I-F211A	ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋 安全系A監視制御盤	AG-I-F212B
	AG-I-F213A	高レベル廃液ガラス固化建屋 安全系A監視制御盤	AG-I-F214B
	AG-BAT-A1	110V第2非常用蓄電池A1	AG-BAT-B1
	AG-BAT-A2	220V第2非常用蓄電池A2	AG-BAT-B2
	AG-CHG-A	110V非常用充電器盤A	AG-CHG-B
	AG-CHG-E	110V非常用予備充電器盤E	AG-CHG-E
	AG-DCD-A	110V非常用直流主分電盤A	AG-DCD-B
	AG-UPS-A	105V非常用無停電電源装置A	AG-UPS-B
	AG-UPD-A	105V非常用無停電交流主分電盤A	AG-UPD-B
前処理建屋の電気設備			
	AA-M/C-A	6.9kV非常用メタクラA	AA-M/C-B
	AA-P/C-A	460V非常用パワーセンタA	AA-P/C-B
	AA-MCC-A1	460V非常用コントロールセンタA1	AA-MCC-B1
	AA-MCC-A2	460V非常用コントロールセンタA2	AA-MCC-B2
	AA-MCC-A3	460V非常用コントロールセンタA3	
	AA-BAT-A	110V第2非常用蓄電池A	AA-BAT-B
	AA-CHG-A	110V非常用充電器盤A	AA-CHG-B
	AA-CHG-E	110V非常用予備充電器盤E	AA-CHG-E
	AA-DCD-A	110V非常用直流主分電盤A	AA-DCD-B
	AA-UPS-A	105V非常用無停電電源装置A	AA-UPS-B
	AA-UPD-A	105V非常用無停電交流主分電盤A	AA-UPD-B
	AA-I-M171A	圧縮空気設備 安全空気脱湿装置A現場監視制御盤	AA-I-M172B
	AA-I-M166A	圧縮空気設備 安全空気圧縮装置A現場監視制御盤	AA-I-M167B
	AA-I-M176A	圧縮空気設備 安全空気圧縮装置C現場制御回路分離盤A	AA-I-M177B
	AA-I-M169C	圧縮空気設備 安全空気圧縮装置C現場制御電源切換盤	AA-I-M169C
	AA-I-M168C	圧縮空気設備 安全空気圧縮装置C現場監視制御盤	AA-I-M168C
	AA-I-K701A	よう素除去工程排風機A制御盤	AA-I-K702B
	AA-I-K703C	よう素除去工程排風機C制御盤	AA-I-K703C
	AA-I-X710C	よう素除去工程 C系統電源切替盤	AA-I-X710C
	AA-I-J012A	ユーティリティ工程 安全系A制御盤1(リレー盤2)	AA-I-J062B
	AA-I-J013A	ユーティリティ工程 安全系A制御盤2(リレー盤3)	AA-I-J063B
	AA-I-J031A	よう素除去工程 安全系A制御盤1	AA-I-J081B
	AA-I-J032A	よう素除去工程 安全系A制御盤2	AA-I-J082B
	AA-I-J033A	よう素除去工程 安全系A制御盤3	AA-I-J083B
	AA-LPD-A2	溶解槽セルA排風機A極数変換盤	AA-LPD-B2
	AA-LPD-A3	溶解槽セルB排風機A極数変換盤	AA-LPD-B3
	AA-LPD-A21	セル排風機A極数変換盤	AA-LPD-B21
分離建屋の非常用所内電源系統			
	AB-P/C-A	460V非常用パワーセンタA	AB-P/C-B
	AB-MCC-A	460V非常用コントロールセンタA	AB-MCC-B
	AB-CHG-A	110V非常用充電器盤A	AB-CHG-B
	AB-CHG-E	110V非常用予備充電器盤E	AB-CHG-E
	AB-BAT-A	110V第2非常用蓄電池A	AB-BAT-B
	AB-DCD-A	110V非常用直流主分電盤A	AB-DCD-B
	AB-UPS-A	105V非常用無停電電源装置A	AB-UPS-B
	AB-UPD-A1	105V非常用無停電交流主分電盤A1	AB-UPD-B1
	AB-UPD-A2	105V非常用無停電交流主分電盤A2	AB-UPD-B2
	AB-I-J180A	ユーティリティ工程 安全系A制御盤1	AB-I-J183B
	AB-I-J181A	ユーティリティ工程 安全系A制御盤2	AB-I-J184B
	AB-I-J182A	ユーティリティ工程 安全系A制御盤3	AB-I-J185B
	AB-I-J033A	分離・分配工程 安全系A制御盤1	AB-I-J036B
	AB-I-J034A	分離・分配工程 安全系A制御盤2	AB-I-J037B
	AB-I-J035A	分離・分配工程 安全系A制御盤3	AB-I-J038B
	AB-V-J100A	建屋換気設備 安全系A制御盤	AB-V-J101B
	1パス	-	
	回路評価等	-	
	成功パス	-	

再処理施設成功パス一覧表

4. 支援機能(続き)		【Aトレン設備】		【Bトレン設備】	
精製建屋の電気設備		精製建屋の電気設備		精製建屋の電気設備	
AC-BAT-A	110V第2非常用蓄電池A	AC-BAT-B	110V第2非常用蓄電池B	AC-BAT-B	110V第2非常用蓄電池B
AC-CHG-A	110V非常用充電器盤A	AC-CHG-B	110V非常用充電器盤B	AC-CHG-B	110V非常用充電器盤B
AC-CHG-E	110V非常用予備充電器盤E	AC-CHG-E	110V非常用予備充電器盤E	AC-CHG-E	110V非常用予備充電器盤E
AC-DCD-A	110V非常用直流主分電盤A	AC-DCD-B	110V非常用直流主分電盤B	AC-DCD-B	110V非常用直流主分電盤B
AC-MCC-A1	460V非常用コントロールセンタA1	×	AC-MCC-B1	460V非常用コントロールセンタB1	×
AC-MCC-A2	460V非常用コントロールセンタA2	×	AC-MCC-B2	460V非常用コントロールセンタB2	×
AC-P/C-A	460V非常用パワーセンタA	×	AC-P/C-B	460V非常用パワーセンタB	×
AC-UPD-A	105V非常用無停電交流主分電盤A	AC-UPD-B	105V非常用無停電交流主分電盤B	AC-UPD-B	105V非常用無停電交流主分電盤B
AC-UPS-A	105V非常用無停電電源装置A	AC-UPS-B	105V非常用無停電電源装置B	AC-UPS-B	105V非常用無停電電源装置B
AC-I-J450A	ユーティリティ工程 安全系A制御盤(計器盤)	AC-I-J460B	ユーティリティ工程 安全系B制御盤(計器盤)	AC-I-J460B	ユーティリティ工程 安全系B制御盤(計器盤)
AC-I-J451A	ユーティリティ工程 安全系A制御盤(リレー盤)	AC-I-J461B	ユーティリティ工程 安全系B制御盤(リレー盤)	AC-I-J461B	ユーティリティ工程 安全系B制御盤(リレー盤)
AC-E-J452A	非常用電気設備リレー盤A	AC-E-J462B	非常用電気設備リレー盤B	AC-E-J462B	非常用電気設備リレー盤B
AC-V-J453A	建屋換気設備安全系A制御盤	AC-V-J463B	建屋換気設備安全系B制御盤	AC-V-J463B	建屋換気設備安全系B制御盤
AC-I-J752A	プルトニウム精製工程 安全系A 制御盤3	AC-I-J755B	プルトニウム精製工程 安全系B 制御盤3	AC-I-J755B	プルトニウム精製工程 安全系B 制御盤3
ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋の非常用所内電源系統		ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋の非常用所内電源系統		ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋の非常用所内電源系統	
CA-P/C-A	460V非常用パワーセンタA	CA-P/C-B	460V非常用パワーセンタB	CA-P/C-B	460V非常用パワーセンタB
CA-MCC-A1	460V非常用コントロールセンタA1	CA-MCC-B1	460V非常用コントロールセンタB1	CA-MCC-B1	460V非常用コントロールセンタB1
CA-MCC-A2	460V非常用コントロールセンタA2	CA-MCC-B2	460V非常用コントロールセンタB2	CA-MCC-B2	460V非常用コントロールセンタB2
CA-M/C-A	6.9kV非常用メタクラA	CA-M/C-B	6.9kV非常用メタクラB	CA-M/C-B	6.9kV非常用メタクラB
CA-E-K503A	非常用電気設備リレー盤A	CA-E-K603B	非常用電気設備リレー盤B	CA-E-K603B	非常用電気設備リレー盤B
CA-I-J501A	安全系A制御盤	CA-I-J601B	安全系B制御盤	CA-I-J601B	安全系B制御盤
CA-V-J502A	建屋換気設備安全系A制御盤	CA-V-J602B	建屋換気設備安全系B制御盤	CA-V-J602B	建屋換気設備安全系B制御盤
CA-CHG-A	110V非常用充電器盤A	CA-CHG-B	110V非常用充電器盤B	CA-CHG-B	110V非常用充電器盤B
CA-CHG-E	110V非常用予備充電器盤E	CA-CHG-E	110V非常用予備充電器盤E	CA-CHG-E	110V非常用予備充電器盤E
CA-DCD-A	110V非常用直流主分電盤A	CA-DCD-B	110V非常用直流主分電盤B	CA-DCD-B	110V非常用直流主分電盤B
CA-UPD-A	105V非常用無停電交流主分電盤A	CA-UPD-B	105V非常用無停電交流主分電盤B	CA-UPD-B	105V非常用無停電交流主分電盤B
CA-UPS-A	105V非常用無停電電源装置A	CA-UPS-B	105V非常用無停電電源装置B	CA-UPS-B	105V非常用無停電電源装置B
CA-BAT-A	110V第2非常用蓄電池A	CA-BAT-B	110V第2非常用蓄電池B	CA-BAT-B	110V第2非常用蓄電池B
ウラン・プルトニウム混合酸化物貯蔵建屋の非常用所内電源系統		ウラン・プルトニウム混合酸化物貯蔵建屋の非常用所内電源系統		ウラン・プルトニウム混合酸化物貯蔵建屋の非常用所内電源系統	
CB-P/C-A	460V非常用パワーセンタA	CB-P/C-B	460V非常用パワーセンタB	CB-P/C-B	460V非常用パワーセンタB
CB-E-J101A	非常用電気設備リレー盤A	CB-E-J102B	非常用電気設備リレー盤B	CB-E-J102B	非常用電気設備リレー盤B
CA-V-J001A	建屋換気設備安全系A制御盤	CA-V-J002B	建屋換気設備安全系B制御盤	CA-V-J002B	建屋換気設備安全系B制御盤
CB-BAT-A	110V第2非常用蓄電池A	CB-BAT-B	110V第2非常用蓄電池B	CB-BAT-B	110V第2非常用蓄電池B
CB-CHG-A	110V非常用充電器盤A	CB-CHG-B	110V非常用充電器盤B	CB-CHG-B	110V非常用充電器盤B
CB-DCD-A	110V非常用直流主分電盤A	CB-DCD-B	110V非常用直流主分電盤B	CB-DCD-B	110V非常用直流主分電盤B
CB-MCC-A	460V非常用コントロールセンタA	CB-MCC-B	460V非常用コントロールセンタB	CB-MCC-B	460V非常用コントロールセンタB
CB-UPS-A	105V非常用無停電電源装置A	CB-UPS-B	105V非常用無停電電源装置B	CB-UPS-B	105V非常用無停電電源装置B
CB-CHG-E	110V非常用予備充電器盤E	CB-CHG-E	110V非常用予備充電器盤E	CB-CHG-E	110V非常用予備充電器盤E
高レベル廃液ガラス固化建屋の電気設備		高レベル廃液ガラス固化建屋の電気設備		高レベル廃液ガラス固化建屋の電気設備	
KA-P/C-A	460V非常用パワーセンタA	KA-P/C-B	460V非常用パワーセンタB	KA-P/C-B	460V非常用パワーセンタB
KA-BAT-A	110V第2非常用蓄電池A	KA-BAT-B	110V第2非常用蓄電池B	KA-BAT-B	110V第2非常用蓄電池B
KA-CHG-A	110V非常用充電器盤A	KA-CHG-B	110V非常用充電器盤B	KA-CHG-B	110V非常用充電器盤B
KA-CHG-E	110V非常用予備充電器盤E	KA-CHG-E	110V非常用予備充電器盤E	KA-CHG-E	110V非常用予備充電器盤E
KA-DCD-A	110V非常用直流主分電盤A	KA-DCD-B	110V非常用直流主分電盤B	KA-DCD-B	110V非常用直流主分電盤B
KA-UPS-A	105V非常用無停電電源装置A	KA-UPS-B	105V非常用無停電電源装置B	KA-UPS-B	105V非常用無停電電源装置B
KA-UPD-A	105V非常用無停電交流主分電盤A	KA-UPD-B	105V非常用無停電交流主分電盤B	KA-UPD-B	105V非常用無停電交流主分電盤B
KA-ACS-A	105V非常用計測交流電源盤A	KA-ACS-B	105V非常用計測交流電源盤B	KA-ACS-B	105V非常用計測交流電源盤B
KA-ACD-A	105V非常用計測交流主分電盤A	KA-ACD-B	105V非常用計測交流主分電盤B	KA-ACD-B	105V非常用計測交流主分電盤B
KA-MCC-A1	460V非常用コントロールセンタA1	KA-MCC-B1	460V非常用コントロールセンタB1	KA-MCC-B1	460V非常用コントロールセンタB1
KA-MCC-A2	460V非常用コントロールセンタA2	KA-MCC-B2	460V非常用コントロールセンタB2	KA-MCC-B2	460V非常用コントロールセンタB2
KA-I-K224A	高レベル廃液ガラス固化廃ガス処理設備第1排風機A安全系Aインバータ制御盤	KA-I-K225B	高レベル廃液ガラス固化廃ガス処理設備第1排風機B安全系Bインバータ制御盤	KA-I-K225B	高レベル廃液ガラス固化廃ガス処理設備第1排風機B安全系Bインバータ制御盤
KA-I-K226A	高レベル廃液ガラス固化廃ガス処理設備第2排風機A安全系Aインバータ制御盤	KA-I-K227B	高レベル廃液ガラス固化廃ガス処理設備第2排風機B安全系Bインバータ制御盤	KA-I-K227B	高レベル廃液ガラス固化廃ガス処理設備第2排風機B安全系Bインバータ制御盤
KA-I-K073A	固化セル換気系排風機A安全系Aインバータ制御盤	KA-I-K074B	固化セル換気系排風機B安全系Bインバータ制御盤	KA-I-K074B	固化セル換気系排風機B安全系Bインバータ制御盤
KA-E-K001A	非常用電気設備リレー盤A	KA-E-K002B	非常用電気設備リレー盤B	KA-E-K002B	非常用電気設備リレー盤B
KA-I-J501A	高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系A制御盤1	KA-I-J521B	高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系B制御盤1	KA-I-J521B	高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系B制御盤1
KA-I-J502A	高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系A制御盤2	KA-I-J522B	高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系B制御盤2	KA-I-J522B	高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系B制御盤2
KA-I-J503A	高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系A制御盤3	KA-I-J523B	高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系B制御盤3	KA-I-J523B	高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系B制御盤3
KA-I-J504A	高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系A制御盤4	KA-I-J524B	高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系B制御盤4	KA-I-J524B	高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系B制御盤4
KA-I-J505A	高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系A制御盤5	KA-I-J525B	高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系B制御盤5	KA-I-J525B	高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系B制御盤5
KA-I-J506A	高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系A制御盤6	KA-I-J526B	高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系B制御盤6	KA-I-J526B	高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系B制御盤6
KA-I-J507A	高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系A制御盤7	KA-I-J527B	高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系B制御盤7	KA-I-J527B	高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系B制御盤7
KA-I-J508A	高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系A制御盤8	KA-I-J528B	高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系B制御盤8	KA-I-J528B	高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系B制御盤8
KA-I-J511A	安全系A アレスタ盤	KA-I-J531B	安全系B アレスタ盤	KA-I-J531B	安全系B アレスタ盤
KA-I-J512A	高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系A制御盤(リレー盤1)	KA-I-J532B	高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系B制御盤(リレー盤1)	KA-I-J532B	高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系B制御盤(リレー盤1)
KA-I-J513A	高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系A制御盤(リレー盤2)	KA-I-J533B	高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系B制御盤(リレー盤2)	KA-I-J533B	高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系B制御盤(リレー盤2)
KA-I-J514A	高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系A制御盤(リレー盤3)	KA-I-J534B	高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系B制御盤(リレー盤3)	KA-I-J534B	高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系B制御盤(リレー盤3)
KA-I-M331A	冷凍機 安全系A監視制御盤	KA-I-M322B	冷凍機 安全系B監視制御盤	KA-I-M322B	冷凍機 安全系B監視制御盤
KA-I-K334A	冷却水・冷水設備 安全系A 制御盤1	KA-I-K338B	冷却水・冷水設備 安全系B 制御盤1	KA-I-K338B	冷却水・冷水設備 安全系B 制御盤1
KA-I-K335A	冷却水・冷水設備 安全系A 制御盤2	KA-I-K339B	冷却水・冷水設備 安全系B 制御盤2	KA-I-K339B	冷却水・冷水設備 安全系B 制御盤2
×		×		×	
-					
1パス					
回路評価等					
成功パス					

火災区域(区画)特性表

1. 火災区域(区画)の説明

建屋名	精製建屋
火災区域/区画区分	火災区画
火災区域/区画番号	■
火災区域/区画名称	地上1階南北第2廊下
床面積(m ²)	■

2. 火災区域(区画)の火災シナリオの説明

■は、精製建屋内の火災区画である。
 本区画は、ケーブルトレイ火災の発生可能性があるが、安全上重要な施設が設置されていないため、安全機能の喪失のおそれはない。

3. 火災区域(区画)にある火災源

(1) 等価時間

発熱量(kJ)	火災荷重(kJ/m ²)	等価時間(h) [※]
■	■	3.0

※ 等価時間は、内部火災影響評価ガイドの等価時間記載の値で示す。

(2) 火災区域(区画)にある火災源機器数

火災源	機器数
電動機(3.7kW超)	-
電気盤(440V以上)	-
ケーブルトレイ(ケーブル)	有
油脂類・有機溶媒等	-
その他	-

4. 火災区域(区画)にある防火設備

火災感知の手段	主要な消火設備	消火方法	消火設備のバックアップ
煙感知器	屋内消火栓	手動	粉末消火器

5. 火災区域(区画)に隣接する火災区域(区画)と火災伝播経路 隣接火災区画への火災伝播経路の詳細は、別紙1参照

6. 火災影響を受ける火災防護対象機器等

機器名称[機器番号]	最重要設備 [※]	最重要設備以外の安全上重要な施設 [※]
-	-	-

※ ○:対象 -:非対象

* 火災想定において、工程停止等により安全機能を必要としない状態へと移行が可能なもの。

7. 火災防護対象機器等の関連ケーブル

機器名称[機器番号]	ケーブル種別	安重分類
-	-	-

8. 最重要設備の安重機能への火災影響

安重分類	全焼時の 成功パスの 有無	回路評価 等の考慮	結果	系統分離※
Pu・高レベル廃棄物の閉じ込め機能	-	-	-	-
崩壊熱除去機能(重要度の高いもの)	-	-	-	-
安全圧縮空気系(水素掃気機能)	-	-	-	-
非常用所内電源系統	-	-	-	-

※ a : 3時間以上の耐火能力を有する耐火壁で分離

b : 水平距離6mによる分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置

c : 1時間の耐火能力を有する隔壁等による分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置
再処理施設成功パスの詳細は、別紙2参照

9. 最重要設備以外の火災防護対象機器等への火災影響

機器名称[機器番号]	当該区画の火災評価※	隣接区画の火災評価※
-	-	-

※ ○:火災影響なし ×:火災影響あり

火災区域(区画)特性表

1. 火災区域(区画)の説明

建屋名	精製建屋
火災区域/区画区分	火災区画
火災区域/区画番号	■
火災区域/区画名称	南第9ダクト室
床面積(m ²)	■

2. 火災区域(区画)の火災シナリオの説明

■は、精製建屋内の火災区画である。
 本区画は、火災源となるものがないおよび安全上重要な施設が設置されていないため、安全機能の喪失のおそれはない。

3. 火災区域(区画)にある火災源

(1) 等価時間

発熱量(kJ)	火災荷重 (kJ/m ²)	等価時間(h) [※]
■	■	0.0

※ 等価時間は、内部火災影響評価ガイドの等価時間記載の値で示す。

(2) 火災区域(区画)にある火災源機器数

火災源	機器数
電動機(3.7kW超)	-
電気盤(440V以上)	-
ケーブルトレイ(ケーブル)	-
油脂類・有機溶媒等	-
その他	-

4. 火災区域(区画)にある防火設備

火災感知の手段	主要な消火設備	消火方法	消火設備のバックアップ
煙感知器	屋内消火栓	手動	粉末消火器

5. 火災区域(区画)に隣接する火災区域(区画)と火災伝播経路

隣接火災区画への火災伝播経路の詳細は、別紙1参照

6. 火災影響を受ける火災防護対象機器等

機器名称[機器番号]	最重要設備 [※]	最重要設備以外の安全上重要な施設 [※]
-	-	-

※ ○:対象 -:非対象

* 火災想定において、工程停止等により安全機能を必要としない状態へと移行が可能なもの。

7. 火災防護対象機器等の関連ケーブル

機器名称[機器番号]	ケーブル種別	安重分類
-	-	-

8. 最重要設備の安重機能への火災影響

安重分類	全焼時の成功パスの有無	回路評価等の考慮	結果	系統分離※
Pu・高レベル廃棄物の閉じ込め機能	-	-	-	-
崩壊熱除去機能(重要度の高いもの)	-	-	-	-
安全圧縮空気系(水素掃気機能)	-	-	-	-
非常用所内電源系統	-	-	-	-

※ a : 3時間以上の耐火能力を有する耐火壁で分離

b : 水平距離6mによる分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置

c : 1時間の耐火能力を有する隔壁等による分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置
再処理施設成功パスの詳細は、別紙2参照

9. 最重要設備以外の火災防護対象機器等への火災影響

機器名称[機器番号]	当該区画の火災評価※	隣接区画の火災評価※
-	-	-

※ ○:火災影響なし ×:火災影響あり

隣接する火災区画と火災伝播経路

(※ 有:伝播する 無:伝播しない)

隣接する 火災区画	火災伝播 経路有無	等価時間 (h)	耐火時間 (h)	火災伝播の 可能性 ※	備考
	無	0.0	3.0	無	
	無	0.0	1.0	無	
	有	0.0	0.0	無	
	有	0.0	0.0	無	
	無	0.0	3.0	無	
	無	0.0	1.0	無	
	無	0.0	3.0	無	
	無	0.0	1.0	無	
	有	0.0	0.0	無	

火災区域(区画)特性表

1. 火災区域(区画)の説明

建屋名	精製建屋
火災区域/区画区分	火災区画
火災区域/区画番号	■
火災区域/区画名称	試薬ボンベ室
床面積(m ²)	■

2. 火災区域(区画)の火災シナリオの説明

■は、精製建屋内の火災区画である。
 本区画は、電動機絶縁物火災、潤滑油漏えい火災または、電気盤火災の発生の可能性があるが、安全上重要な施設が設置されていないため、安全機能の喪失のおそれはない。

3. 火災区域(区画)にある火災源

(1) 等価時間

発熱量(kJ)	火災荷重 (kJ/m ²)	等価時間(h) [※]
■	■	0.5

※ 等価時間は、内部火災影響評価ガイドの等価時間記載の値で示す。

(2) 火災区域(区画)にある火災源機器数

火災源	機器数
電動機(3.7kW超)	1
電気盤(440V以上)	1
ケーブルトレイ(ケーブル)	-
油脂類・有機溶媒等	有
その他	-

4. 火災区域(区画)にある防火設備

火災感知の手段	主要な消火設備	消火方法	消火設備のバックアップ
設置除外	屋内消火栓	手動	粉末消火器

5. 火災区域(区画)に隣接する火災区域(区画)と火災伝播経路

隣接火災区画への火災伝播経路の詳細は、別紙1参照

6. 火災影響を受ける火災防護対象機器等

機器名称[機器番号]	最重要設備 [※]	最重要設備以外の安全上重要な施設 [※]
-	-	-

※ ○:対象 -:非対象

* 火災想定において、工程停止等により安全機能を必要としない状態へと移行が可能なもの。

7. 火災防護対象機器等の関連ケーブル

機器名称[機器番号]	ケーブル種別	安重分類
-	-	-

8. 最重要設備の安重機能への火災影響

安重分類	全焼時の成功パスの有無	回路評価等の考慮	結果	系統分離※
Pu・高レベル廃棄物の閉じ込め機能	-	-	-	-
崩壊熱除去機能(重要度の高いもの)	-	-	-	-
安全圧縮空気系(水素掃気機能)	-	-	-	-
非常用所内電源系統	-	-	-	-

※ a : 3時間以上の耐火能力を有する耐火壁で分離

b : 水平距離6mによる分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置

c : 1時間の耐火能力を有する隔壁等による分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置
再処理施設成功パスの詳細は、別紙2参照

9. 最重要設備以外の火災防護対象機器等への火災影響

機器名称[機器番号]	当該区画の火災評価※	隣接区画の火災評価※
-	-	-

※ ○:火災影響なし ×:火災影響あり

隣接する火災区画と火災伝播経路

(※ 有:伝播する 無:伝播しない)

隣接する 火災区画	火災伝播 経路有無	等価時間 (h)	耐火時間 (h)	火災伝播の 可能性 ※	備考
■	有	0.5	0.0	有	

火災区域(区画)特性表

1. 火災区域(区画)の説明

建屋名	精製建屋
火災区域/区画区分	火災区画
火災区域/区画番号	■
火災区域/区画名称	二酸化炭素消火設備気化器室
床面積(m ²)	■

2. 火災区域(区画)の火災シナリオの説明

■は、精製建屋内の火災区画である。
 本区画は、電動機絶縁物火災または、電気盤火災の発生の可能性があるが、安全上重要な施設が設置されていないため、安全機能の喪失のおそれはない。

3. 火災区域(区画)にある火災源

(1) 等価時間

発熱量(kJ)	火災荷重 (kJ/m ²)	等価時間(h) [※]
■	■	0.5

※ 等価時間は、内部火災影響評価ガイドの等価時間記載の値で示す。

(2) 火災区域(区画)にある火災源機器数

火災源	機器数
電動機(3.7kW超)	5
電気盤(440V以上)	5
ケーブルトレイ(ケーブル)	-
油脂類・有機溶媒等	-
その他	-

4. 火災区域(区画)にある防火設備

火災感知の手段	主要な消火設備	消火方法	消火設備のバックアップ
煙感知器	屋内消火栓	手動	粉末消火器

5. 火災区域(区画)に隣接する火災区域(区画)と火災伝播経路

隣接火災区画への火災伝播経路の詳細は、別紙1参照

6. 火災影響を受ける火災防護対象機器等

機器名称[機器番号]	最重要設備 [※]	最重要設備以外の安全上重要な施設 [※]
-	-	-

※ ○:対象 -:非対象

* 火災想定において、工程停止等により安全機能を必要としない状態へと移行が可能なもの。

7. 火災防護対象機器等の関連ケーブル

機器名称[機器番号]	ケーブル種別	安重分類
-	-	-

8. 最重要設備の安重機能への火災影響

安重分類	全焼時の成功パスの有無	回路評価等の考慮	結果	系統分離※
Pu・高レベル廃棄物の閉じ込め機能	-	-	-	-
崩壊熱除去機能(重要度の高いもの)	-	-	-	-
安全圧縮空気系(水素掃気機能)	-	-	-	-
非常用所内電源系統	-	-	-	-

※ a : 3時間以上の耐火能力を有する耐火壁で分離

b : 水平距離6mによる分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置

c : 1時間の耐火能力を有する隔壁等による分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置
再処理施設成功パスの詳細は、別紙2参照

9. 最重要設備以外の火災防護対象機器等への火災影響

機器名称[機器番号]	当該区画の火災評価※	隣接区画の火災評価※
-	-	-

※ ○:火災影響なし ×:火災影響あり

隣接する火災区画と火災伝播経路

(※ 有:伝播する 無:伝播しない)

隣接する 火災区画	火災伝播 経路有無	等価時間 (h)	耐火時間 (h)	火災伝播の 可能性 ※	備考
■	有	0.5	0.0	有	

火災区域(区画)特性表

1. 火災区域(区画)の説明

建屋名	精製建屋
火災区域/区画区分	火災区画
火災区域/区画番号	■
火災区域/区画名称	地上2階東西第1廊下,東西第3廊下,南北第1廊下,南北第3廊下
床面積(m ²)	■

2. 火災区域(区画)の火災シナリオの説明

■は、精製建屋内の火災区画である。
 本区画の火災源は、電動機、電気盤および、ケーブルトレイである。
 したがって、本区画の想定火災としては、電動機絶縁物火災、電気盤火災または、ケーブルトレイ火災により、安全上重要な施設のA系の設備(6.火災影響を受ける火災防護対象機器等参照)が火災影響を受け、安全機能が喪失するおそれがあるが、多重化された安全上重要な施設の片系のみ機能喪失であるため、安全機能が完全に喪失することはない。また多重化された安全上重要な施設のA/B系の計測制御設備(蒸発缶・精留塔加熱蒸気温度)が火災影響を受け、安全機能が喪失するおそれがあるが、火災により計測制御系が影響を受けた場合、保安規定第32条に基づき、使用済燃料の再処理運転の停止状態に移行、または、運転を停止する措置を講じるため、安定停止状態が維持できる。

3. 火災区域(区画)にある火災源

(1) 等価時間

発熱量(kJ)	火災荷重(kJ/m ²)	等価時間(h) [※]
■	■	1.0

※ 等価時間は、内部火災影響評価ガイドの等価時間記載の値で示す。

(2) 火災区域(区画)にある火災源機器数

火災源	機器数
電動機(3.7kW超)	2
電気盤(440V以上)	7
ケーブルトレイ(ケーブル)	有
油脂類・有機溶媒等	-
その他	-

4. 火災区域(区画)にある防火設備

火災感知の手段	主要な消火設備	消火方法	消火設備のバックアップ
煙感知器 熱感知器	屋内消火栓	手動	粉末消火器

5. 火災区域(区画)に隣接する火災区域(区画)と火災伝播経路 隣接火災区画への火災伝播経路の詳細は、別紙1参照

6. 火災影響を受ける火災防護対象機器等

機器名称[機器番号]	最重要設備 [※]	最重要設備以外の安全上重要な施設 [※]
安重ケーブルトレイ[A系]	○	○
蒸発缶・精留塔加熱蒸気温度A ■	-	○*
蒸発缶・精留塔加熱蒸気温度B ■	-	○*

※ ○:対象 -:非対象

* 火災想定において、工程停止等により安全機能を必要としない状態へと移行が可能なもの。

7. 火災防護対象機器等の関連ケーブル

機器名称[機器番号]	ケーブル種別	安重分類
グローブボックス・セル排風機A []	動力(低圧)	Pu・高レベルの廃棄物の閉じ込め機能
安全冷却水AポンプA []	動力(低圧)	崩壊熱除去機能(重要度の高いもの)
安全冷却水AポンプB []	動力(低圧)	崩壊熱除去機能(重要度の高いもの)
排風機A []	動力〔低圧)	Pu・高レベルの廃棄物の閉じ込め機能
排風機A []	制御、動力(低圧)	Pu・高レベルの廃棄物の閉じ込め機能

8. 最重要設備の安重機能への火災影響

安重分類	全焼時の成功パスの有無	回路評価等の考慮	結果	系統分離※
Pu・高レベル廃棄物の閉じ込め機能	有	-	○	-
崩壊熱除去機能(重要度の高いもの)	有	-	○	-
安全圧縮空気系(水素掃気機能)	-	-	-	-
非常用所内電源系統	-	-	-	-

※ a : 3時間以上の耐火能力を有する耐火壁で分離

b : 水平距離6mによる分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置

c : 1時間の耐火能力を有する隔壁等による分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置
再処理施設成功パスの詳細は、別紙2参照

9. 最重要設備以外の火災防護対象機器等への火災影響

機器名称[機器番号]	当該区画の火災評価※	隣接区画の火災評価※
-	-	-

※ ○:火災影響なし ×:火災影響あり

隣接する火災区画と火災伝播経路

(※ 有:伝播する 無:伝播しない)

隣接する 火災区画	火災伝播 経路有無	等価時間 (h)	耐火時間 (h)	火災伝播の 可能性 ※	備考
	有	1.0	0.0	有	
	有	1.0	0.0	有	
	有	1.0	0.0	有	
	無	1.0	3.0	無	
	無	1.0	3.0	無	
	無	1.0	3.0	無	
	無	1.0	3.0	無	
	無	1.0	3.0	無	
	無	1.0	3.0	無	
	無	1.0	3.0	無	
	有	1.0	0.0	有	
	無	1.0	3.0	無	
	無	1.0	3.0	無	
	無	1.0	3.0	無	
	無	1.0	3.0	無	
	無	1.0	3.0	無	
	無	1.0	3.0	無	
	有	1.0	0.0	有	
	無	1.0	3.0	無	
	無	1.0	3.0	無	

再処理施設成功パス一覧表

建屋	精製建屋	
区域(区画)番号/名称		地上2階東西第1廊下,東西第3廊下,南北第1廊下,南北第3廊下
1.放射性物質の閉じ込め機能(動的な閉じ込め機能)		
	【Aトレン設備】	【Bトレン設備】
前処理建屋 せん断処理・溶解廃ガス処理設備	前処理建屋 せん断処理・溶解廃ガス処理設備	前処理建屋 せん断処理・溶解廃ガス処理設備
排風機A	排風機B	排風機C
排風機C	排風機C	
前処理建屋 塔槽類廃ガス処理設備	前処理建屋 塔槽類廃ガス処理設備	前処理建屋 塔槽類廃ガス処理設備
排風機A	排風機B	
前処理建屋換気設備 溶解セル等からの排気系	前処理建屋換気設備 溶解セル等からの排気系	
セル排風機A	セル排風機B	
溶解槽セルA排風機A	溶解槽セルA排風機B	
溶解槽セルB排風機A	溶解槽セルB排風機B	
高レベル廃液ガラス固化建屋 高レベル廃液ガラス固化廃ガス処理設備	高レベル廃液ガラス固化建屋 高レベル廃液ガラス固化廃ガス処理設備	
第1排風機A	第1排風機B	
第2排風機A	第2排風機B	
高レベル廃液ガラス固化建屋 塔槽類廃ガス処理設備 高レベル濃縮廃液廃ガス処理系	高レベル廃液ガラス固化建屋 塔槽類廃ガス処理設備 高レベル濃縮廃液廃ガス処理系	
排風機A	排風機B	
高レベル廃液ガラス固化建屋 塔槽類廃ガス処理設備 不溶解残渣廃液廃ガス処理系	高レベル廃液ガラス固化建屋 塔槽類廃ガス処理設備 不溶解残渣廃液廃ガス処理系	
排風機A	排風機B	
高レベル濃縮廃液貯槽セル等からの排気系 固化セル換気系及び固化セル圧力放出系	高レベル濃縮廃液貯槽セル等からの排気系 固化セル換気系及び固化セル圧力放出系	
セル排風機A	セル排風機B	
固化セル換気系排風機A	固化セル換気系排風機B	
分離建屋 塔槽類廃ガス処理設備 パルセータ廃ガス処理系	分離建屋 塔槽類廃ガス処理設備 パルセータ廃ガス処理系	
排風機A	排風機B	
分離建屋 塔槽類廃ガス処理設備 塔槽類廃ガス処理系	分離建屋 塔槽類廃ガス処理設備 塔槽類廃ガス処理系	
排風機A	排風機B	
分離建屋換気設備 プルトニウム溶液中間貯槽セル等からの排気系	分離建屋換気設備 プルトニウム溶液中間貯槽セル等からの排気系	
グローブボックス・セル排風機A	グローブボックス・セル排風機B	
精製建屋 塔槽類廃ガス処理設備 パルセータ廃ガス処理系	精製建屋 塔槽類廃ガス処理設備 パルセータ廃ガス処理系	
× 排風機A	排風機B	
精製建屋 塔槽類廃ガス処理設備 塔槽類廃ガス処理系(プルトニウム系)	精製建屋 塔槽類廃ガス処理設備 塔槽類廃ガス処理系(プルトニウム系)	
× 排風機A	排風機B	
精製建屋換気設備 プルトニウム濃縮缶セル等及びグローブボックス等からの排気系	精製建屋換気設備 プルトニウム濃縮缶セル等及びグローブボックス等からの排気系	
× グローブボックス・セル排風機A	グローブボックス・セル排風機B	
ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋 塔槽類廃ガス処理設備	ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋 塔槽類廃ガス処理設備	
第1排風機A	第1排風機B	
第2排風機A	第2排風機B	
第2排風機C		
ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋 硝酸プルトニウム貯槽セル等及びグローブボックス等からの排気系	ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋 硝酸プルトニウム貯槽セル等及びグローブボックス等からの排気系	
グローブボックス・セル排風機A	グローブボックス・セル排風機B	
グローブボックス・セル排風機C		
×		
1パス	○	
回路評価等	-	
成功パス	○	

凡例		
×	○○○○-○○○	○○○A
	○○○○-○○○	○○○○A
× : 当該室の火災により安全機能を喪失する機器がある場合 空欄 : 当該室に設置していない機器		
1パス	- : 当該室に対象なし ○ : 当該室の火災により対応する安全機能が1系統残る場合 × : 当該室の火災により対応する安全機能がすべて喪失する場合	
回路評価等	- : 当該室に回路評価等を行う対象なし ○ : 回路評価等により、対応する安全機能が確保される場合	
成功パス	- : 当該室に対象なし ○ : 当該室の火災により対応する安全機能が1系統残る場合 × : 当該室の火災により対応する安全機能がすべて喪失する場合	

再処理施設成功パス一覧表

2.崩壊熱除去機能		【Aトレ設備】		【Bトレ設備】	
冷却設備	安全冷却水系			冷却設備	安全冷却水系
	安全冷却水A冷却塔				安全冷却水B冷却塔
前処理建屋	冷却設備 安全冷却水系			前処理建屋	冷却設備 安全冷却水系
	安全冷却水A循環ポンプA				安全冷却水B循環ポンプA
	安全冷却水A循環ポンプB				安全冷却水B循環ポンプB
	安全冷却水1AポンプA				安全冷却水1BポンプA
	安全冷却水1AポンプB				安全冷却水1BポンプB
分離建屋	冷却設備 安全冷却水系			分離建屋	冷却設備 安全冷却水系
	冷却水循環ポンプA				冷却水循環ポンプC
	冷却水循環ポンプB				冷却水循環ポンプD
	安全冷却水1AポンプA				安全冷却水1BポンプA
	安全冷却水1AポンプB				安全冷却水1BポンプB
精製建屋	冷却設備 安全冷却水系			精製建屋	冷却設備 安全冷却水系
×	安全冷却水AポンプA				安全冷却水BポンプA
×	安全冷却水AポンプB				安全冷却水BポンプB
ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋	冷却設備 安全冷却水系			ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋	冷却設備 安全冷却水系
	冷水移送ポンプA				冷水移送ポンプC
	冷水移送ポンプB				冷水移送ポンプD
高レベル廃液ガラス固化建屋	冷却設備 安全冷却水系			高レベル廃液ガラス固化建屋	冷却設備 安全冷却水系
	第1高レベル濃縮廃液貯槽冷却水AポンプA				第1高レベル濃縮廃液貯槽冷却水BポンプA
	第1高レベル濃縮廃液貯槽冷却水AポンプB				第1高レベル濃縮廃液貯槽冷却水BポンプB
	第2高レベル濃縮廃液貯槽冷却水AポンプA				第2高レベル濃縮廃液貯槽冷却水BポンプA
	第2高レベル濃縮廃液貯槽冷却水AポンプB				第2高レベル濃縮廃液貯槽冷却水BポンプB
	安全冷却水A系ポンプA				安全冷却水B系ポンプA
	安全冷却水A系ポンプB				安全冷却水B系ポンプB
	高レベル廃液共用貯槽冷却水AポンプA				高レベル廃液共用貯槽冷却水BポンプA
	高レベル廃液共用貯槽冷却水AポンプB				高レベル廃液共用貯槽冷却水BポンプB
	安全冷却水A系ポンプA				安全冷却水B系ポンプA
	安全冷却水A系ポンプB				安全冷却水B系ポンプB
	安全冷水A冷却器冷媒膨張弁A				安全冷水B冷却器冷媒膨張弁A
	安全冷水A冷却器冷媒膨張弁B				安全冷水B冷却器冷媒膨張弁B
	安全冷水A冷却器冷媒止弁A				安全冷水B冷却器冷媒止弁A
	安全冷水A冷却器冷媒止弁B				安全冷水B冷却器冷媒止弁B
	安全冷却水1AポンプA				安全冷却水1BポンプA
	安全冷却水1AポンプB				安全冷却水1BポンプB
	安全冷水AポンプA				安全冷水BポンプA
	安全冷水AポンプB				安全冷水BポンプB
	安全冷水A冷凍機				安全冷水B冷凍機
	スクリー圧縮機				スクリー圧縮機
	スクリー圧縮機				スクリー圧縮機
ウラン・プルトニウム混合酸化物貯蔵建屋換気設備貯蔵室排気系				ウラン・プルトニウム混合酸化物貯蔵建屋換気設備貯蔵室排気系	
	貯蔵室排風機A				貯蔵室排風機C
	貯蔵室排風機B				貯蔵室排風機D
×				-	
	1パス		○		
	回路評価等		-		
	成功パス		○		
3.安全圧縮空気系(水素掃気機能)		【Aトレ設備】		【Bトレ設備】	
安全圧縮空気系				安全圧縮空気系	
	安全空気圧縮装置A				安全空気圧縮装置B
	安全空気圧縮装置C				安全空気圧縮装置C
-				-	
	1パス		-		
	回路評価等		-		
	成功パス		-		

再処理施設成功パス一覧表

4.非常用所内電源系統(支援機能)		【Aトレン設備】	【Bトレン設備】
非常用電源建屋冷却水設備			
	8111A-C20 冷却塔A		8111B-C20 冷却塔B
	8111A-P2010 冷却水循環ポンプA		8111B-P2010 冷却水循環ポンプB
非常用電源建屋の電気設備			
	GA-M/C-A 6.9kV非常用メタクラA		GA-M/C-B 6.9kV非常用メタクラB
	GA-MCC-A 460V非常用コントロールセンタA		GA-MCC-B 460V非常用コントロールセンタB
	8111A-X10 ディーゼル機関A		8111B-X10 ディーゼル機関B
	8111A-X11 同期発電機A		8111B-X11 同期発電機B
	8111A-P4011 燃料油移送ポンプA		8111B-P4011 燃料油移送ポンプB
	GA-BAT-A 110V第2非常用蓄電池A		GA-BAT-B 110V第2非常用蓄電池B
	GA-CHG-A 110V非常用充電器盤A		GA-CHG-B 110V非常用充電器盤B
	GA-DCD-A 110V非常用直流主分電盤A		GA-DCD-B 110V非常用直流主分電盤B
	GA-CHG-E 110V非常用予備充電器盤E		GA-CHG-E 110V非常用予備充電器盤E
	GA-E-K011A 非常用電気設備リレー盤A1		GA-E-K013B 非常用電気設備リレー盤B1
	GA-E-K012A 非常用電気設備リレー盤A2		GA-E-K014B 非常用電気設備リレー盤B2
	8111A-V40 燃料油貯蔵タンク1A		8111B-V40 燃料油貯蔵タンク1B
	8111A-V41 燃料油貯蔵タンク2A		8111B-V41 燃料油貯蔵タンク2B
	GA-E-M011A 第2非常用ディーゼル発電機A制御盤		GA-E-M012B 第2非常用ディーゼル発電機B制御盤
	GA-PTR-A 非常用動力用変圧器A		GA-PTR-B 非常用動力用変圧器B
	8111A-V42 燃料油サービスタングA		8111B-V42 燃料油サービスタングB
	8111A-F4210 燃料油第1フィルタA		8111B-F4210 燃料油第1フィルタB
	8111A-F4230 燃料油第2フィルタA		8111B-F4230 燃料油第2フィルタB
	GA-E-S011A 第2非常用ディーゼル発電機ターニング現場盤A		GA-E-S012B 第2非常用ディーゼル発電機ターニング現場盤B
	GA-E-U011A 第2非常用ディーゼル発電機CT盤A		GA-E-U012B 第2非常用ディーゼル発電機CT盤B
	GA-I-K011A ユーティリティ工程 安全系A制御盤(リレー盤)		GA-I-K012B ユーティリティ工程 安全系B制御盤(リレー盤)
制御建屋の電気設備			
	AG-M/C-A 6.9kV非常用メタクラA		AG-M/C-B 6.9kV非常用メタクラB
	AG-P/C-A 460V非常用パワーセンタA		AG-P/C-B 460V非常用パワーセンタB
	AG-MCC-A1 460V非常用コントロールセンタA1		AG-MCC-B1 460V非常用コントロールセンタB1
	AG-MCC-A2 460V非常用コントロールセンタA2		AG-MCC-B2 460V非常用コントロールセンタB2
	AG-I-F201A 前処理建屋 安全系A監視制御盤		AG-I-F202B 前処理建屋 安全系B監視制御盤
	AG-I-F203A 分離建屋 安全系A監視制御盤		AG-I-F204B 分離建屋 安全系B監視制御盤
	AG-I-F205A 精製建屋 安全系A監視制御盤		AG-I-F206B 精製建屋 安全系B監視制御盤
	AG-I-F211A ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋 安全系A監視制御盤		AG-I-F212B ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋 安全系B監視制御盤
	AG-I-F213A 高レベル廃液ガラス固化建屋 安全系A監視制御盤		AG-I-F214B 高レベル廃液ガラス固化建屋 安全系B監視制御盤
	AG-BAT-A1 110V第2非常用蓄電池A1		AG-BAT-B1 110V第2非常用蓄電池B1
	AG-BAT-A2 220V第2非常用蓄電池A2		AG-BAT-B2 220V第2非常用蓄電池B2
	AG-CHG-A 110V非常用充電器盤A		AG-CHG-B 110V非常用充電器盤B
	AG-CHG-E 110V非常用予備充電器盤E		AG-CHG-E 110V非常用予備充電器盤E
	AG-DCD-A 110V非常用直流主分電盤A		AG-DCD-B 110V非常用直流主分電盤B
	AG-UPS-A 105V非常用無停電電源装置A		AG-UPS-B 105V非常用無停電電源装置B
	AG-UPD-A 105V非常用無停電交流主分電盤A		AG-UPD-B 105V非常用無停電交流主分電盤B
前処理建屋の電気設備			
	AA-M/C-A 6.9kV非常用メタクラA		AA-M/C-B 6.9kV非常用メタクラB
	AA-P/C-A 460V非常用パワーセンタA		AA-P/C-B 460V非常用パワーセンタB
	AA-MCC-A1 460V非常用コントロールセンタA1		AA-MCC-B1 460V非常用コントロールセンタB1
	AA-MCC-A2 460V非常用コントロールセンタA2		AA-MCC-B2 460V非常用コントロールセンタB2
	AA-MCC-A3 460V非常用コントロールセンタA3		
	AA-BAT-A 110V第2非常用蓄電池A		AA-BAT-B 110V第2非常用蓄電池B
	AA-CHG-A 110V非常用充電器盤A		AA-CHG-B 110V非常用充電器盤B
	AA-CHG-E 110V非常用予備充電器盤E		AA-CHG-E 110V非常用予備充電器盤E
	AA-DCD-A 110V非常用直流主分電盤A		AA-DCD-B 110V非常用直流主分電盤B
	AA-UPS-A 105V非常用無停電電源装置A		AA-UPS-B 105V非常用無停電電源装置B
	AA-UPD-A 105V非常用無停電交流主分電盤A		AA-UPD-B 105V非常用無停電交流主分電盤B
	AA-I-M171A 圧縮空気設備 安全空気脱湿装置A現場監視制御盤		AA-I-M172B 圧縮空気設備 安全空気脱湿装置B現場監視制御盤
	AA-I-M166A 圧縮空気設備 安全空気圧縮装置A現場監視制御盤		AA-I-M167B 圧縮空気設備 安全空気圧縮装置B現場監視制御盤
	AA-I-M176A 圧縮空気設備 安全空気圧縮装置C現場制御回路分離盤A		AA-I-M177B 圧縮空気設備 安全空気圧縮装置C現場制御回路分離盤B
	AA-I-M169C 圧縮空気設備 安全空気圧縮装置C現場制御電源切換盤		AA-I-M169C 圧縮空気設備 安全空気圧縮装置C現場制御電源切換盤
	AA-I-M168C 圧縮空気設備 安全空気圧縮装置C現場監視制御盤		AA-I-M168C 圧縮空気設備 安全空気圧縮装置C現場監視制御盤
	AA-I-K701A よう素除去工程排風機A制御盤		AA-I-K702B よう素除去工程排風機B制御盤
	AA-I-K703C よう素除去工程排風機C制御盤		AA-I-K703C よう素除去工程排風機C制御盤
	AA-I-X710C よう素除去工程 C系統電源切替盤		AA-I-X710C よう素除去工程 C系統電源切替盤
	AA-I-J012A ユーティリティ工程 安全系A制御盤1(リレー盤2)		AA-I-J062B ユーティリティ工程 安全系B制御盤1(リレー盤2)
	AA-I-J013A ユーティリティ工程 安全系A制御盤2(リレー盤3)		AA-I-J063B ユーティリティ工程 安全系B制御盤2(リレー盤3)
	AA-I-J031A よう素除去工程 安全系A制御盤1		AA-I-J081B よう素除去工程 安全系B制御盤1
	AA-I-J032A よう素除去工程 安全系A制御盤2		AA-I-J082B よう素除去工程 安全系B制御盤2
	AA-I-J033A よう素除去工程 安全系A制御盤3		AA-I-J083B よう素除去工程 安全系B制御盤3
	AA-LPD-A2 溶解槽セルA排風機A極数変換盤		AA-LPD-B2 溶解槽セルA排風機B極数変換盤
	AA-LPD-A3 溶解槽セルB排風機A極数変換盤		AA-LPD-B3 溶解槽セルB排風機B極数変換盤
	AA-LPD-A21 セル排風機A極数変換盤		AA-LPD-B21 セル排風機B極数変換盤
分離建屋の非常用所内電源系統			
	AB-P/C-A 460V非常用パワーセンタA		AB-P/C-B 460V非常用パワーセンタB
	AB-MCC-A 460V非常用コントロールセンタA		AB-MCC-B 460V非常用コントロールセンタB
	AB-CHG-A 110V非常用充電器盤A		AB-CHG-B 110V非常用充電器盤B
	AB-CHG-E 110V非常用予備充電器盤E		AB-CHG-E 110V非常用予備充電器盤E
	AB-BAT-A 110V第2非常用蓄電池A		AB-BAT-B 110V第2非常用蓄電池B
	AB-DCD-A 110V非常用直流主分電盤A		AB-DCD-B 110V非常用直流主分電盤B
	AB-UPS-A 105V非常用無停電電源装置A		AB-UPS-B 105V非常用無停電電源装置B
	AB-UPD-A1 105V非常用無停電交流主分電盤A1		AB-UPD-B1 105V非常用無停電交流主分電盤A1
	AB-UPD-A2 105V非常用無停電交流主分電盤A2		AB-UPD-B2 105V非常用無停電交流主分電盤A2
	AB-I-J180A ユーティリティ工程 安全系A制御盤1		AB-I-J183B ユーティリティ工程 安全系B制御盤1
	AB-I-J181A ユーティリティ工程 安全系A制御盤2		AB-I-J184B ユーティリティ工程 安全系B制御盤2
	AB-I-J182A ユーティリティ工程 安全系A制御盤3		AB-I-J185B ユーティリティ工程 安全系B制御盤3
	AB-I-J033A 分離・分配工程 安全系A制御盤1		AB-I-J036B 分離・分配工程 安全系B制御盤1
	AB-I-J034A 分離・分配工程 安全系A制御盤2		AB-I-J037B 分離・分配工程 安全系B制御盤2
	AB-I-J035A 分離・分配工程 安全系A制御盤3		AB-I-J038B 分離・分配工程 安全系B制御盤3
	AB-V-J100A 建屋換気設備 安全系A制御盤		AB-V-J101B 建屋換気設備 安全系B制御盤
	1パス	-	
	回路評価等	-	
	成功パス	-	

再処理施設成功パス一覧表

4. 支援機能(続き)		【Aトレン設備】		【Bトレン設備】	
精製建屋の電気設備		精製建屋の電気設備		精製建屋の電気設備	
AC-BAT-A	110V第2非常用蓄電池A	AC-BAT-B	110V第2非常用蓄電池B	AC-BAT-B	110V第2非常用蓄電池B
AC-CHG-A	110V非常用充電器盤A	AC-CHG-B	110V非常用充電器盤B	AC-CHG-B	110V非常用充電器盤B
AC-CHG-E	110V非常用予備充電器盤E	AC-CHG-E	110V非常用予備充電器盤E	AC-CHG-E	110V非常用予備充電器盤E
AC-DCD-A	110V非常用直流主分電盤A	AC-DCD-B	110V非常用直流主分電盤B	AC-DCD-B	110V非常用直流主分電盤B
AC-MCC-A1	460V非常用コントロールセンタA1	AC-MCC-B1	460V非常用コントロールセンタB1	AC-MCC-B1	460V非常用コントロールセンタB1
AC-MCC-A2	460V非常用コントロールセンタA2	AC-MCC-B2	460V非常用コントロールセンタB2	AC-MCC-B2	460V非常用コントロールセンタB2
AC-P/C-A	460V非常用パワーセンタA	AC-P/C-B	460V非常用パワーセンタB	AC-P/C-B	460V非常用パワーセンタB
AC-UPD-A	105V非常用無停電交流主分電盤A	AC-UPD-B	105V非常用無停電交流主分電盤B	AC-UPD-B	105V非常用無停電交流主分電盤B
AC-UPS-A	105V非常用無停電電源装置A	AC-UPS-B	105V非常用無停電電源装置B	AC-UPS-B	105V非常用無停電電源装置B
AC-I-J450A	ユーティリティ工程 安全系A制御盤(計器盤)	AC-I-J460B	ユーティリティ工程 安全系B制御盤(計器盤)	AC-I-J460B	ユーティリティ工程 安全系B制御盤(計器盤)
AC-I-J451A	ユーティリティ工程 安全系A制御盤(リレー盤)	AC-I-J461B	ユーティリティ工程 安全系B制御盤(リレー盤)	AC-I-J461B	ユーティリティ工程 安全系B制御盤(リレー盤)
AC-E-J452A	非常用電気設備リレー盤A	AC-E-J462B	非常用電気設備リレー盤B	AC-E-J462B	非常用電気設備リレー盤B
AC-V-J453A	建屋換気設備安全系A制御盤	AC-V-J463B	建屋換気設備安全系B制御盤	AC-V-J463B	建屋換気設備安全系B制御盤
AC-I-J752A	プルトニウム精製工程 安全系A 制御盤3	AC-I-J755B	プルトニウム精製工程 安全系B 制御盤3	AC-I-J755B	プルトニウム精製工程 安全系B 制御盤3
ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋の非常用所内電源系統		ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋の非常用所内電源系統		ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋の非常用所内電源系統	
CA-P/C-A	460V非常用パワーセンタA	CA-P/C-B	460V非常用パワーセンタB	CA-P/C-B	460V非常用パワーセンタB
CA-MCC-A1	460V非常用コントロールセンタA1	CA-MCC-B1	460V非常用コントロールセンタB1	CA-MCC-B1	460V非常用コントロールセンタB1
CA-MCC-A2	460V非常用コントロールセンタA2	CA-MCC-B2	460V非常用コントロールセンタB2	CA-MCC-B2	460V非常用コントロールセンタB2
CA-M/C-A	6.9kV非常用メタクラA	CA-M/C-B	6.9kV非常用メタクラB	CA-M/C-B	6.9kV非常用メタクラB
CA-E-K503A	非常用電気設備リレー盤A	CA-E-K603B	非常用電気設備リレー盤B	CA-E-K603B	非常用電気設備リレー盤B
CA-I-J501A	安全系A制御盤	CA-I-J601B	安全系B制御盤	CA-I-J601B	安全系B制御盤
CA-V-J502A	建屋換気設備安全系A制御盤	CA-V-J602B	建屋換気設備安全系B制御盤	CA-V-J602B	建屋換気設備安全系B制御盤
CA-CHG-A	110V非常用充電器盤A	CA-CHG-B	110V非常用充電器盤B	CA-CHG-B	110V非常用充電器盤B
CA-CHG-E	110V非常用予備充電器盤E	CA-CHG-E	110V非常用予備充電器盤E	CA-CHG-E	110V非常用予備充電器盤E
CA-DCD-A	110V非常用直流主分電盤A	CA-DCD-B	110V非常用直流主分電盤B	CA-DCD-B	110V非常用直流主分電盤B
CA-UPD-A	105V非常用無停電交流主分電盤A	CA-UPD-B	105V非常用無停電交流主分電盤B	CA-UPD-B	105V非常用無停電交流主分電盤B
CA-UPS-A	105V非常用無停電電源装置A	CA-UPS-B	105V非常用無停電電源装置B	CA-UPS-B	105V非常用無停電電源装置B
CA-BAT-A	110V第2非常用蓄電池A	CA-BAT-B	110V第2非常用蓄電池B	CA-BAT-B	110V第2非常用蓄電池B
ウラン・プルトニウム混合酸化物貯蔵建屋の非常用所内電源系統		ウラン・プルトニウム混合酸化物貯蔵建屋の非常用所内電源系統		ウラン・プルトニウム混合酸化物貯蔵建屋の非常用所内電源系統	
CB-P/C-A	460V非常用パワーセンタA	CB-P/C-B	460V非常用パワーセンタB	CB-P/C-B	460V非常用パワーセンタB
CB-E-J101A	非常用電気設備リレー盤A	CB-E-J102B	非常用電気設備リレー盤B	CB-E-J102B	非常用電気設備リレー盤B
CA-V-J001A	建屋換気設備安全系A制御盤	CA-V-J002B	建屋換気設備安全系B制御盤	CA-V-J002B	建屋換気設備安全系B制御盤
CB-BAT-A	110V第2非常用蓄電池A	CB-BAT-B	110V第2非常用蓄電池B	CB-BAT-B	110V第2非常用蓄電池B
CB-CHG-A	110V非常用充電器盤A	CB-CHG-B	110V非常用充電器盤B	CB-CHG-B	110V非常用充電器盤B
CB-DCD-A	110V非常用直流主分電盤A	CB-DCD-B	110V非常用直流主分電盤B	CB-DCD-B	110V非常用直流主分電盤B
CB-MCC-A	460V非常用コントロールセンタA	CB-MCC-B	460V非常用コントロールセンタB	CB-MCC-B	460V非常用コントロールセンタB
CB-UPS-A	105V非常用無停電電源装置A	CB-UPS-B	105V非常用無停電電源装置B	CB-UPS-B	105V非常用無停電電源装置B
CB-CHG-E	110V非常用予備充電器盤E	CB-CHG-E	110V非常用予備充電器盤E	CB-CHG-E	110V非常用予備充電器盤E
高レベル廃液ガラス固化建屋の電気設備		高レベル廃液ガラス固化建屋の電気設備		高レベル廃液ガラス固化建屋の電気設備	
KA-P/C-A	460V非常用パワーセンタA	KA-P/C-B	460V非常用パワーセンタB	KA-P/C-B	460V非常用パワーセンタB
KA-BAT-A	110V第2非常用蓄電池A	KA-BAT-B	110V第2非常用蓄電池B	KA-BAT-B	110V第2非常用蓄電池B
KA-CHG-A	110V非常用充電器盤A	KA-CHG-B	110V非常用充電器盤B	KA-CHG-B	110V非常用充電器盤B
KA-CHG-E	110V非常用予備充電器盤E	KA-CHG-E	110V非常用予備充電器盤E	KA-CHG-E	110V非常用予備充電器盤E
KA-DCD-A	110V非常用直流主分電盤A	KA-DCD-B	110V非常用直流主分電盤B	KA-DCD-B	110V非常用直流主分電盤B
KA-UPS-A	105V非常用無停電電源装置A	KA-UPS-B	105V非常用無停電電源装置B	KA-UPS-B	105V非常用無停電電源装置B
KA-UPD-A	105V非常用無停電交流主分電盤A	KA-UPD-B	105V非常用無停電交流主分電盤B	KA-UPD-B	105V非常用無停電交流主分電盤B
KA-ACS-A	105V非常用計測交流電源盤A	KA-ACS-B	105V非常用計測交流電源盤B	KA-ACS-B	105V非常用計測交流電源盤B
KA-ACD-A	105V非常用計測交流主分電盤A	KA-ACD-B	105V非常用計測交流主分電盤B	KA-ACD-B	105V非常用計測交流主分電盤B
KA-MCC-A1	460V非常用コントロールセンタA1	KA-MCC-B1	460V非常用コントロールセンタB1	KA-MCC-B1	460V非常用コントロールセンタB1
KA-MCC-A2	460V非常用コントロールセンタA2	KA-MCC-B2	460V非常用コントロールセンタB2	KA-MCC-B2	460V非常用コントロールセンタB2
KA-I-K224A	高レベル廃液ガラス固化廃ガス処理設備第1排風機A安全系Aインバータ制御盤	KA-I-K225B	高レベル廃液ガラス固化廃ガス処理設備第1排風機B安全系Bインバータ制御盤	KA-I-K225B	高レベル廃液ガラス固化廃ガス処理設備第1排風機B安全系Bインバータ制御盤
KA-I-K226A	高レベル廃液ガラス固化廃ガス処理設備第2排風機A安全系Aインバータ制御盤	KA-I-K227B	高レベル廃液ガラス固化廃ガス処理設備第2排風機B安全系Bインバータ制御盤	KA-I-K227B	高レベル廃液ガラス固化廃ガス処理設備第2排風機B安全系Bインバータ制御盤
KA-I-K073A	固化セル換気系排風機A安全系Aインバータ制御盤	KA-I-K074B	固化セル換気系排風機B安全系Bインバータ制御盤	KA-I-K074B	固化セル換気系排風機B安全系Bインバータ制御盤
KA-E-K001A	非常用電気設備リレー盤A	KA-E-K002B	非常用電気設備リレー盤B	KA-E-K002B	非常用電気設備リレー盤B
KA-I-J501A	高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系A制御盤1	KA-I-J521B	高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系B制御盤1	KA-I-J521B	高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系B制御盤1
KA-I-J502A	高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系A制御盤2	KA-I-J522B	高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系B制御盤2	KA-I-J522B	高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系B制御盤2
KA-I-J503A	高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系A制御盤3	KA-I-J523B	高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系B制御盤3	KA-I-J523B	高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系B制御盤3
KA-I-J504A	高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系A制御盤4	KA-I-J524B	高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系B制御盤4	KA-I-J524B	高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系B制御盤4
KA-I-J505A	高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系A制御盤5	KA-I-J525B	高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系B制御盤5	KA-I-J525B	高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系B制御盤5
KA-I-J506A	高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系A制御盤6	KA-I-J526B	高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系B制御盤6	KA-I-J526B	高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系B制御盤6
KA-I-J507A	高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系A制御盤7	KA-I-J527B	高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系B制御盤7	KA-I-J527B	高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系B制御盤7
KA-I-J508A	高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系A制御盤8	KA-I-J528B	高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系B制御盤8	KA-I-J528B	高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系B制御盤8
KA-I-J511A	安全系A アレスタ盤	KA-I-J531B	安全系B アレスタ盤	KA-I-J531B	安全系B アレスタ盤
KA-I-J512A	高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系A制御盤(リレー盤1)	KA-I-J532B	高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系B制御盤(リレー盤1)	KA-I-J532B	高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系B制御盤(リレー盤1)
KA-I-J513A	高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系A制御盤(リレー盤2)	KA-I-J533B	高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系B制御盤(リレー盤2)	KA-I-J533B	高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系B制御盤(リレー盤2)
KA-I-J514A	高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系A制御盤(リレー盤3)	KA-I-J534B	高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系B制御盤(リレー盤3)	KA-I-J534B	高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系B制御盤(リレー盤3)
KA-I-M331A	冷凍機 安全系A監視制御盤	KA-I-M322B	冷凍機 安全系B監視制御盤	KA-I-M322B	冷凍機 安全系B監視制御盤
KA-I-K334A	冷却水・冷水設備 安全系A 制御盤1	KA-I-K338B	冷却水・冷水設備 安全系B 制御盤1	KA-I-K338B	冷却水・冷水設備 安全系B 制御盤1
KA-I-K335A	冷却水・冷水設備 安全系A 制御盤2	KA-I-K339B	冷却水・冷水設備 安全系B 制御盤2	KA-I-K339B	冷却水・冷水設備 安全系B 制御盤2
-		-		-	
	1パス		-		-
	回路評価等		-		-
	成功パス		-		-

火災区域(区画)特性表

1. 火災区域(区画)の説明

建屋名	精製建屋
火災区域/区画区分	火災区画
火災区域/区画番号	■
火災区域/区画名称	制御盤第2室
床面積(m ²)	■

2. 火災区域(区画)の火災シナリオの説明

■は、精製建屋内の火災区画である。
 本区画は、ケーブルトレイ火災の発生可能性があるが、安全上重要な施設が設置されていないため、安全機能の喪失のおそれはない。

3. 火災区域(区画)にある火災源

(1) 等価時間

発熱量(kJ)	火災荷重 (kJ/m ²)	等価時間(h) [※]
■	■	1.5

※ 等価時間は、内部火災影響評価ガイドの等価時間記載の値で示す。

(2) 火災区域(区画)にある火災源機器数

火災源	機器数
電動機(3.7kW超)	-
電気盤(440V以上)	-
ケーブルトレイ(ケーブル)	有
油脂類・有機溶媒等	-
その他	-

4. 火災区域(区画)にある防火設備

火災感知の手段	主要な消火設備	消火方法	消火設備のバックアップ
煙感知器	二酸化炭素消火器	手動	粉末消火器

5. 火災区域(区画)に隣接する火災区域(区画)と火災伝播経路

隣接火災区画への火災伝播経路の詳細は、別紙1参照

6. 火災影響を受ける火災防護対象機器等

機器名称[機器番号]	最重要設備 [※]	最重要設備以外の安全上重要な施設 [※]
-	-	-

※ ○:対象 -:非対象

* 火災想定において、工程停止等により安全機能を必要としない状態へと移行が可能なもの。

7. 火災防護対象機器等の関連ケーブル

機器名称[機器番号]	ケーブル種別	安重分類
-	-	-

8. 最重要設備の安重機能への火災影響

安重分類	全焼時の成功パスの有無	回路評価等の考慮	結果	系統分離※
Pu・高レベル廃棄物の閉じ込め機能	-	-	-	-
崩壊熱除去機能(重要度の高いもの)	-	-	-	-
安全圧縮空気系(水素掃気機能)	-	-	-	-
非常用所内電源系統	-	-	-	-

※ a : 3時間以上の耐火能力を有する耐火壁で分離

b : 水平距離6mによる分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置

c : 1時間の耐火能力を有する隔壁等による分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置
再処理施設成功パスの詳細は、別紙2参照

9. 最重要設備以外の火災防護対象機器等への火災影響

機器名称[機器番号]	当該区画の火災評価※	隣接区画の火災評価※
-	-	-

※ ○:火災影響なし ×:火災影響あり

隣接する火災区画と火災伝播経路

(※ 有:伝播する 無:伝播しない)

隣接する 火災区画	火災伝播 経路有無	等価時間 (h)	耐火時間 (h)	火災伝播の 可能性 ※	備考
	無	1.5	3.0	無	
	無	1.5	1.0	有	
	無	1.5	1.0	有	
	無	1.5	3.0	無	
	無	1.5	1.0	有	
	無	1.5	3.0	無	

火災区域(区画)特性表

1. 火災区域(区画)の説明

建屋名	精製建屋
火災区域/区画区分	火災区域
火災区域/区画番号	AC-9/
火災区域/区画名称	非常用B計装電源室
床面積(m ²)	

2. 火災区域(区画)の火災シナリオの説明

AC-9は、精製建屋内の火災区域である。
 本区画の火災源は、電気盤および、ケーブルトレイである。
 したがって、本区画の想定火災としては、電気盤火災または、ケーブルトレイ火災により、安全上重要な施設のB系の設備(6.火災影響を受ける火災防護対象機器等 参照)が火災影響を受け、安全機能が喪失するおそれがあるが、多重化された安全上重要な施設の片系のみ
 の機能喪失であるため、安全機能が完全に喪失することはない。

3. 火災区域(区画)にある火災源

(1) 等価時間

発熱量(kJ)	火災荷重 (kJ/m ²)	等価時間(h) [※]
		1.0

※ 等価時間は、内部火災影響評価ガイドの等価時間記載の値で示す。

(2) 火災区域(区画)にある火災源機器数

火災源	機器数
電動機(3.7kW超)	-
電気盤(440V以上)	4
ケーブルトレイ(ケーブル)	有
油脂類・有機溶媒等	-
その他	-

4. 火災区域(区画)にある防火設備

火災感知の手段	主要な消火設備	消火方法	消火設備のバックアップ
煙感知器 熱感知器	ハロゲン化物消火 設備(全域)	自動	二酸化炭素消火器

5. 火災区域(区画)に隣接する火災区域(区画)と火災伝播経路 隣接火災区画への火災伝播経路の詳細は、別紙1参照

6. 火災影響を受ける火災防護対象機器等

機器名称[機器番号]	最重要設備※	最重要設備以外の安全上重要な施設※
105V非常用計測交流主分電盤B[AC-ACD-B]	-	○*
105V非常用計測交流電源盤B[AC-ACS-B]	-	○*
110V非常用充電器盤B[AC-CHG-B]	○	-
110V非常用予備充電器盤E[AC-CHG-E]	○	-
110V非常用直流主分電盤B[AC-DCD-B]	○	-
105V非常用無停電交流主分電盤B[AC-UPD-B]	○	-
105V非常用無停電電源装置B[AC-UPS-B]	○	-
安重ケーブルトレイ[B系]	○	○

※ ○:対象 -:非対象

* 火災想定において、工程停止等により安全機能を必要としない状態へと移行が可能なもの。

7. 火災防護対象機器等の関連ケーブル

機器名称[機器番号]	ケーブル種別	安重分類
グローブボックス・セル排風機B [REDACTED]	制御、動力(低圧)	Pu・高レベルの廃棄物の閉じ込め機能
460V非常用パワーセンタB[AC-P/C-B]	動力(低圧)	非常用所内電源系統
安全冷却水BポンプA [REDACTED]	制御、動力(低圧)	崩壊熱除去機能(重要度の高いもの)
安全冷却水BポンプB [REDACTED]	制御、動力(低圧)	崩壊熱除去機能(重要度の高いもの)
排風機B [REDACTED]	制御、動力(低圧)	Pu・高レベルの廃棄物の閉じ込め機能
排風機B [REDACTED]	制御、動力(低圧)	Pu・高レベルの廃棄物の閉じ込め機能
460V非常用コントロールセンタB1[AC-MCC-B1]	制御	非常用所内電源系統
460V非常用コントロールセンタB2[AC-MCC-B2]	動力(低圧)	非常用所内電源系統
110V非常用充電器盤B[AC-CHG-B]	動力(低圧)	非常用所内電源系統
110V非常用予備充電器盤E[AC-CHG-E]	動力(低圧)	非常用所内電源系統
110V非常用直流主分電盤B[AC-DCD-B]	動力(低圧)	非常用所内電源系統
105V非常用無停電交流主分電盤B[AC-UPD-B]	動力(低圧)	非常用所内電源系統
105V非常用無停電電源装置B[AC-UPS-B]	動力(低圧)	非常用所内電源系統

8. 最重要設備の安重機能への火災影響

安重分類	全焼時の成功パスの有無	回路評価等の考慮	結果	系統分離※
Pu・高レベル廃棄物の閉じ込め機能	有	-	○	-
崩壊熱除去機能(重要度の高いもの)	有	-	○	-
安全圧縮空気系(水素掃気機能)	-	-	-	-
非常用所内電源系統	有	-	○	-

※ a : 3時間以上の耐火能力を有する耐火壁で分離

b : 水平距離6mによる分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置

c : 1時間の耐火能力を有する隔壁等による分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置
再処理施設成功パスの詳細は、別紙2参照

9. 最重要設備以外の火災防護対象機器等への火災影響

機器名称[機器番号]	当該区画の火災評価※	隣接区画の火災評価※
-	-	-

※ ○:火災影響なし ×:火災影響あり

隣接する火災区画と火災伝播経路

(※ 有:伝播する 無:伝播しない)

隣接する 火災区画	火災伝播 経路有無	等価時間 (h)	耐火時間 (h)	火災伝播の 可能性 ※	備考
	無	1.0	3.0	無	
	無	1.0	3.0	無	
	無	1.0	3.0	無	
	無	1.0	3.0	無	
	無	1.0	3.0	無	
	無	1.0	3.0	無	
	無	1.0	3.0	無	

再処理施設成功パス一覧表

建屋	精製建屋	非常用B計装電源室
区域(区画)番号/名称		
1.放射性物質の閉じ込め機能(動的な閉じ込め機能)		
	【Aトレン設備】	【Bトレン設備】
前処理建屋 せん断処理・溶解廃ガス処理設備	排風機A	前処理建屋 せん断処理・溶解廃ガス処理設備
	排風機C	排風機B
前処理建屋 塔槽類廃ガス処理設備	排風機A	前処理建屋 塔槽類廃ガス処理設備
	排風機A	排風機B
前処理建屋換気設備 溶解セル等からの排気系	セル排風機A	前処理建屋換気設備 溶解セル等からの排気系
	溶解槽セルA排風機A	セル排風機B
	溶解槽セルB排風機A	溶解槽セルA排風機B
高レベル廃液ガラス固化建屋 高レベル廃液ガラス固化廃ガス処理設備	第1排風機A	高レベル廃液ガラス固化建屋 高レベル廃液ガラス固化廃ガス処理設備
	第2排風機A	第1排風機B
高レベル廃液ガラス固化建屋 塔槽類廃ガス処理設備 高レベル濃縮廃液廃ガス処理系	排風機A	高レベル廃液ガラス固化建屋 塔槽類廃ガス処理設備 高レベル濃縮廃液廃ガス処理系
	排風機A	排風機B
高レベル廃液ガラス固化建屋 塔槽類廃ガス処理設備 不溶解残渣廃液廃ガス処理系	排風機A	高レベル廃液ガラス固化建屋 塔槽類廃ガス処理設備 不溶解残渣廃液廃ガス処理系
	排風機A	排風機B
高レベル濃縮廃液貯槽セル等からの排気系固化セル換気系及び固化セル圧力放出系	セル排風機A	高レベル濃縮廃液貯槽セル等からの排気系固化セル換気系及び固化セル圧力放出系
	固化セル換気系排風機A	セル排風機B
分離建屋 塔槽類廃ガス処理設備 パルセータ廃ガス処理系	排風機A	分離建屋 塔槽類廃ガス処理設備 パルセータ廃ガス処理系
	排風機A	排風機B
分離建屋 塔槽類廃ガス処理設備 塔槽類廃ガス処理系	排風機A	分離建屋 塔槽類廃ガス処理設備 塔槽類廃ガス処理系
	排風機A	排風機B
分離建屋換気設備 プルトニウム溶液中間貯槽セル等からの排気系	グローブボックス・セル排風機A	分離建屋換気設備 プルトニウム溶液中間貯槽セル等からの排気系
	グローブボックス・セル排風機A	グローブボックス・セル排風機B
精製建屋 塔槽類廃ガス処理設備 パルセータ廃ガス処理系	排風機A	精製建屋 塔槽類廃ガス処理設備 パルセータ廃ガス処理系
	排風機A	× 排風機B
精製建屋 塔槽類廃ガス処理設備 塔槽類廃ガス処理系(プルトニウム系)	排風機A	× 排風機B
	排風機A	精製建屋 塔槽類廃ガス処理設備 塔槽類廃ガス処理系(プルトニウム系)
精製建屋換気設備 プルトニウム濃縮缶セル等及びグローブボックス等からの排気系	グローブボックス・セル排風機A	× グローブボックス・セル排風機B
	グローブボックス・セル排風機A	精製建屋換気設備 プルトニウム濃縮缶セル等及びグローブボックス等からの排気系
ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋 塔槽類廃ガス処理設備	第1排風機A	ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋 塔槽類廃ガス処理設備
	第2排風機A	第1排風機B
	第2排風機C	第2排風機B
ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋 硝酸プルトニウム貯槽セル等及びグローブボックス等からの排気系	グローブボックス・セル排風機A	ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋 硝酸プルトニウム貯槽セル等及びグローブボックス等からの排気系
	グローブボックス・セル排風機C	グローブボックス・セル排風機B
		×
1パス	○	
回路評価等	-	
成功パス	○	

凡例	
×	○○○○-○○○ ○○○A
	○○○○-○○○ ○○○○A
× : 当該室の火災により安全機能を喪失する機器がある場合 空欄 : 当該室に設置していない機器	
1パス	- : 当該室に対象なし ○ : 当該室の火災により対応する安全機能が1系統残る場合 × : 当該室の火災により対応する安全機能がすべて喪失する場合
回路評価等	- : 当該室に回路評価等を行う対象なし ○ : 回路評価等により、対応する安全機能が確保される場合
成功パス	- : 当該室に対象なし ○ : 当該室の火災により対応する安全機能が1系統残る場合 × : 当該室の火災により対応する安全機能がすべて喪失する場合

再処理施設成功パス一覧表

2.崩壊熱除去機能		【Aトレ設備】	【Bトレ設備】
冷却設備	安全冷却水系		冷却設備 安全冷却水系
		安全冷却水A冷却塔	安全冷却水B冷却塔
前処理建屋	冷却設備 安全冷却水系		前処理建屋 冷却設備 安全冷却水系
		安全冷却水A循環ポンプA	安全冷却水B循環ポンプA
		安全冷却水A循環ポンプB	安全冷却水B循環ポンプB
		安全冷却水1AポンプA	安全冷却水1BポンプA
		安全冷却水1AポンプB	安全冷却水1BポンプB
分離建屋	冷却設備 安全冷却水系		分離建屋 冷却設備 安全冷却水系
		冷却水循環ポンプA	冷却水循環ポンプC
		冷却水循環ポンプB	冷却水循環ポンプD
		安全冷却水1AポンプA	安全冷却水1BポンプA
		安全冷却水1AポンプB	安全冷却水1BポンプB
精製建屋	冷却設備 安全冷却水系		精製建屋 冷却設備 安全冷却水系
		安全冷却水AポンプA	安全冷却水BポンプA
		安全冷却水AポンプB	安全冷却水BポンプB
ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋	冷却設備 安全冷却水系		ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋 冷却設備 安全冷却水系
		冷水移送ポンプA	冷水移送ポンプC
		冷水移送ポンプB	冷水移送ポンプD
高レベル廃液ガラス固化建屋	冷却設備 安全冷却水系		高レベル廃液ガラス固化建屋 冷却設備 安全冷却水系
		第1高レベル濃縮廃液貯槽冷却水AポンプA	第1高レベル濃縮廃液貯槽冷却水BポンプA
		第1高レベル濃縮廃液貯槽冷却水AポンプB	第1高レベル濃縮廃液貯槽冷却水BポンプB
		第2高レベル濃縮廃液貯槽冷却水AポンプA	第2高レベル濃縮廃液貯槽冷却水BポンプA
		第2高レベル濃縮廃液貯槽冷却水AポンプB	第2高レベル濃縮廃液貯槽冷却水BポンプB
		安全冷却水A系ポンプA	安全冷却水B系ポンプA
		安全冷却水A系ポンプB	安全冷却水B系ポンプB
		高レベル廃液共用貯槽冷却水AポンプA	高レベル廃液共用貯槽冷却水BポンプA
		高レベル廃液共用貯槽冷却水AポンプB	高レベル廃液共用貯槽冷却水BポンプB
		安全冷却水A系ポンプA	安全冷却水B系ポンプA
		安全冷却水A系ポンプB	安全冷却水B系ポンプB
		安全冷水A冷却器冷媒膨張弁A	安全冷水B冷却器冷媒膨張弁A
		安全冷水A冷却器冷媒膨張弁B	安全冷水B冷却器冷媒膨張弁B
		安全冷水A冷却器冷媒止弁A	安全冷水B冷却器冷媒止弁A
		安全冷水A冷却器冷媒止弁B	安全冷水B冷却器冷媒止弁B
		安全冷却水1AポンプA	安全冷却水1BポンプA
		安全冷却水1AポンプB	安全冷却水1BポンプB
		安全冷水AポンプA	安全冷水BポンプA
		安全冷水AポンプB	安全冷水BポンプB
		安全冷水A冷凍機	安全冷水B冷凍機
		スクリー圧縮機	スクリー圧縮機
		スクリー圧縮機	スクリー圧縮機
ウラン・プルトニウム混合酸化物貯蔵建屋換気設備貯蔵室排気系			ウラン・プルトニウム混合酸化物貯蔵建屋換気設備貯蔵室排気系
		貯蔵室排風機A	貯蔵室排風機C
		貯蔵室排風機B	貯蔵室排風機D
-			
	1パス	○	×
	回路評価等	-	
	成功パス	○	
3.安全圧縮空気系(水素掃気機能)		【Aトレ設備】	【Bトレ設備】
安全圧縮空気系			安全圧縮空気系
		安全空気圧縮装置A	安全空気圧縮装置B
		安全空気圧縮装置C	安全空気圧縮装置C
-			
	1パス	-	
	回路評価等	-	
	成功パス	-	

再処理施設成功パス一覧表

4.非常用所内電源系統(支援機能)		【Aトレン設備】	【Bトレン設備】
非常用電源建屋冷却水設備			
	8111A-C20 冷却塔A		8111B-C20 冷却塔B
	8111A-P2010 冷却水循環ポンプA		8111B-P2010 冷却水循環ポンプB
非常用電源建屋の電気設備			
	GA-M/C-A 6.9kV非常用メタクラA		GA-M/C-B 6.9kV非常用メタクラB
	GA-MCC-A 460V非常用コントロールセンタA		GA-MCC-B 460V非常用コントロールセンタB
	8111A-X10 ディーゼル機関A		8111B-X10 ディーゼル機関B
	8111A-X11 同期発電機A		8111B-X11 同期発電機B
	8111A-P4011 燃料油移送ポンプA		8111B-P4011 燃料油移送ポンプB
	GA-BAT-A 110V第2非常用蓄電池A		GA-BAT-B 110V第2非常用蓄電池B
	GA-CHG-A 110V非常用充電器盤A		GA-CHG-B 110V非常用充電器盤B
	GA-DCD-A 110V非常用直流主分電盤A		GA-DCD-B 110V非常用直流主分電盤B
	GA-CHG-E 110V非常用予備充電器盤E		GA-CHG-E 110V非常用予備充電器盤E
	GA-E-K011A 非常用電気設備リレー盤A1		GA-E-K013B 非常用電気設備リレー盤B1
	GA-E-K012A 非常用電気設備リレー盤A2		GA-E-K014B 非常用電気設備リレー盤B2
	8111A-V40 燃料油貯蔵タンク1A		8111B-V40 燃料油貯蔵タンク1B
	8111A-V41 燃料油貯蔵タンク2A		8111B-V41 燃料油貯蔵タンク2B
	GA-E-M011A 第2非常用ディーゼル発電機A制御盤		GA-E-M012B 第2非常用ディーゼル発電機B制御盤
	GA-PTR-A 非常用動力用変圧器A		GA-PTR-B 非常用動力用変圧器B
	8111A-V42 燃料油サービスタングA		8111B-V42 燃料油サービスタングB
	8111A-F4210 燃料油第1フィルタA		8111B-F4210 燃料油第1フィルタB
	8111A-F4230 燃料油第2フィルタA		8111B-F4230 燃料油第2フィルタB
	GA-E-S011A 第2非常用ディーゼル発電機ターニング現場盤A		GA-E-S012B 第2非常用ディーゼル発電機ターニング現場盤B
	GA-E-U011A 第2非常用ディーゼル発電機CT盤A		GA-E-U012B 第2非常用ディーゼル発電機CT盤B
	GA-I-K011A ユーティリティ工程 安全系A制御盤(リレー盤)		GA-I-K012B ユーティリティ工程 安全系B制御盤(リレー盤)
制御建屋の電気設備			
	AG-M/C-A 6.9kV非常用メタクラA		AG-M/C-B 6.9kV非常用メタクラB
	AG-P/C-A 460V非常用パワーセンタA		AG-P/C-B 460V非常用パワーセンタB
	AG-MCC-A1 460V非常用コントロールセンタA1		AG-MCC-B1 460V非常用コントロールセンタB1
	AG-MCC-A2 460V非常用コントロールセンタA2		AG-MCC-B2 460V非常用コントロールセンタB2
	AG-I-F201A 前処理建屋 安全系A監視制御盤		AG-I-F202B 前処理建屋 安全系B監視制御盤
	AG-I-F203A 分離建屋 安全系A監視制御盤		AG-I-F204B 分離建屋 安全系B監視制御盤
	AG-I-F205A 精製建屋 安全系A監視制御盤		AG-I-F206B 精製建屋 安全系B監視制御盤
	AG-I-F211A ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋 安全系A監視制御盤		AG-I-F212B ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋 安全系B監視制御盤
	AG-I-F213A 高レベル廃液ガラス固化建屋 安全系A監視制御盤		AG-I-F214B 高レベル廃液ガラス固化建屋 安全系B監視制御盤
	AG-BAT-A1 110V第2非常用蓄電池A1		AG-BAT-B1 110V第2非常用蓄電池B1
	AG-BAT-A2 220V第2非常用蓄電池A2		AG-BAT-B2 220V第2非常用蓄電池B2
	AG-CHG-A 110V非常用充電器盤A		AG-CHG-B 110V非常用充電器盤B
	AG-CHG-E 110V非常用予備充電器盤E		AG-CHG-E 110V非常用予備充電器盤E
	AG-DCD-A 110V非常用直流主分電盤A		AG-DCD-B 110V非常用直流主分電盤B
	AG-UPS-A 105V非常用無停電電源装置A		AG-UPS-B 105V非常用無停電電源装置B
	AG-UPD-A 105V非常用無停電交流主分電盤A		AG-UPD-B 105V非常用無停電交流主分電盤B
前処理建屋の電気設備			
	AA-M/C-A 6.9kV非常用メタクラA		AA-M/C-B 6.9kV非常用メタクラB
	AA-P/C-A 460V非常用パワーセンタA		AA-P/C-B 460V非常用パワーセンタB
	AA-MCC-A1 460V非常用コントロールセンタA1		AA-MCC-B1 460V非常用コントロールセンタB1
	AA-MCC-A2 460V非常用コントロールセンタA2		AA-MCC-B2 460V非常用コントロールセンタB2
	AA-MCC-A3 460V非常用コントロールセンタA3		
	AA-BAT-A 110V第2非常用蓄電池A		AA-BAT-B 110V第2非常用蓄電池B
	AA-CHG-A 110V非常用充電器盤A		AA-CHG-B 110V非常用充電器盤B
	AA-CHG-E 110V非常用予備充電器盤E		AA-CHG-E 110V非常用予備充電器盤E
	AA-DCD-A 110V非常用直流主分電盤A		AA-DCD-B 110V非常用直流主分電盤B
	AA-UPS-A 105V非常用無停電電源装置A		AA-UPS-B 105V非常用無停電電源装置B
	AA-UPD-A 105V非常用無停電交流主分電盤A		AA-UPD-B 105V非常用無停電交流主分電盤B
	AA-I-M171A 圧縮空気設備 安全空気脱湿装置A現場監視制御盤		AA-I-M172B 圧縮空気設備 安全空気脱湿装置B現場監視制御盤
	AA-I-M166A 圧縮空気設備 安全空気圧縮装置A現場監視制御盤		AA-I-M167B 圧縮空気設備 安全空気圧縮装置B現場監視制御盤
	AA-I-M176A 圧縮空気設備 安全空気圧縮装置C現場制御回路分離盤A		AA-I-M177B 圧縮空気設備 安全空気圧縮装置C現場制御回路分離盤B
	AA-I-M169C 圧縮空気設備 安全空気圧縮装置C現場制御電源切換盤		AA-I-M169C 圧縮空気設備 安全空気圧縮装置C現場制御電源切換盤
	AA-I-M168C 圧縮空気設備 安全空気圧縮装置C現場監視制御盤		AA-I-M168C 圧縮空気設備 安全空気圧縮装置C現場監視制御盤
	AA-I-K701A よう素除去工程排風機A制御盤		AA-I-K702B よう素除去工程排風機B制御盤
	AA-I-K703C よう素除去工程排風機C制御盤		AA-I-K703C よう素除去工程排風機C制御盤
	AA-I-X710C よう素除去工程 C系統電源切替盤		AA-I-X710C よう素除去工程 C系統電源切替盤
	AA-I-J012A ユーティリティ工程 安全系A制御盤1(リレー盤2)		AA-I-J062B ユーティリティ工程 安全系B制御盤1(リレー盤2)
	AA-I-J013A ユーティリティ工程 安全系A制御盤2(リレー盤3)		AA-I-J063B ユーティリティ工程 安全系B制御盤2(リレー盤3)
	AA-I-J031A よう素除去工程 安全系A制御盤1		AA-I-J081B よう素除去工程 安全系B制御盤1
	AA-I-J032A よう素除去工程 安全系A制御盤2		AA-I-J082B よう素除去工程 安全系B制御盤2
	AA-I-J033A よう素除去工程 安全系A制御盤3		AA-I-J083B よう素除去工程 安全系B制御盤3
	AA-LPD-A2 溶解槽セルA排風機A極数変換盤		AA-LPD-B2 溶解槽セルA排風機B極数変換盤
	AA-LPD-A3 溶解槽セルB排風機A極数変換盤		AA-LPD-B3 溶解槽セルB排風機B極数変換盤
	AA-LPD-A21 セル排風機A極数変換盤		AA-LPD-B21 セル排風機B極数変換盤
分離建屋の非常用所内電源系統			
	AB-P/C-A 460V非常用パワーセンタA		AB-P/C-B 460V非常用パワーセンタB
	AB-MCC-A 460V非常用コントロールセンタA		AB-MCC-B 460V非常用コントロールセンタB
	AB-CHG-A 110V非常用充電器盤A		AB-CHG-B 110V非常用充電器盤B
	AB-CHG-E 110V非常用予備充電器盤E		AB-CHG-E 110V非常用予備充電器盤E
	AB-BAT-A 110V第2非常用蓄電池A		AB-BAT-B 110V第2非常用蓄電池B
	AB-DCD-A 110V非常用直流主分電盤A		AB-DCD-B 110V非常用直流主分電盤B
	AB-UPS-A 105V非常用無停電電源装置A		AB-UPS-B 105V非常用無停電電源装置B
	AB-UPD-A1 105V非常用無停電交流主分電盤A1		AB-UPD-B1 105V非常用無停電交流主分電盤A1
	AB-UPD-A2 105V非常用無停電交流主分電盤A2		AB-UPD-B2 105V非常用無停電交流主分電盤A2
	AB-I-J180A ユーティリティ工程 安全系A制御盤1		AB-I-J183B ユーティリティ工程 安全系B制御盤1
	AB-I-J181A ユーティリティ工程 安全系A制御盤2		AB-I-J184B ユーティリティ工程 安全系B制御盤2
	AB-I-J182A ユーティリティ工程 安全系A制御盤3		AB-I-J185B ユーティリティ工程 安全系B制御盤3
	AB-I-J033A 分離・分配工程 安全系A制御盤1		AB-I-J036B 分離・分配工程 安全系B制御盤1
	AB-I-J034A 分離・分配工程 安全系A制御盤2		AB-I-J037B 分離・分配工程 安全系B制御盤2
	AB-I-J035A 分離・分配工程 安全系A制御盤3		AB-I-J038B 分離・分配工程 安全系B制御盤3
	AB-V-J100A 建屋換気設備 安全系A制御盤		AB-V-J101B 建屋換気設備 安全系B制御盤
	1パス	-	
	回路評価等	-	
	成功パス	-	

再処理施設成功パス一覧表

4. 支援機能(続き)		【Aトレン設備】		【Bトレン設備】	
精製建屋の電気設備		精製建屋の電気設備		精製建屋の電気設備	
AC-BAT-A	110V第2非常用蓄電池A	AC-BAT-B	110V第2非常用蓄電池B	×	AC-BAT-B
AC-CHG-A	110V非常用充電器盤A	×	AC-CHG-B	110V非常用充電器盤B	×
AC-CHG-E	110V非常用予備充電器盤E	×	AC-CHG-E	110V非常用予備充電器盤E	×
AC-DCD-A	110V非常用直流主分電盤A	×	AC-DCD-B	110V非常用直流主分電盤B	×
AC-MCC-A1	460V非常用コントロールセンタA1	×	AC-MCC-B1	460V非常用コントロールセンタB1	×
AC-MCC-A2	460V非常用コントロールセンタA2	×	AC-MCC-B2	460V非常用コントロールセンタB2	×
AC-P/C-A	460V非常用パワーセンタA	×	AC-P/C-B	460V非常用パワーセンタB	×
AC-UPD-A	105V非常用無停電交流主分電盤A	×	AC-UPD-B	105V非常用無停電交流主分電盤B	×
AC-UPS-A	105V非常用無停電電源装置A	×	AC-UPS-B	105V非常用無停電電源装置B	×
AC-I-J450A	ユーティリティ工程 安全系A制御盤(計器盤)		AC-I-J460B	ユーティリティ工程 安全系B制御盤(計器盤)	
AC-I-J451A	ユーティリティ工程 安全系A制御盤(リレー盤)		AC-I-J461B	ユーティリティ工程 安全系B制御盤(リレー盤)	
AC-E-J452A	非常用電気設備リレー盤A		AC-E-J462B	非常用電気設備リレー盤B	
AC-V-J453A	建屋換気設備安全系A制御盤		AC-V-J463B	建屋換気設備安全系B制御盤	
AC-I-J752A	プルトニウム精製工程 安全系A 制御盤3		AC-I-J755B	プルトニウム精製工程 安全系B 制御盤3	
ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋の非常用所内電源系統		ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋の非常用所内電源系統		ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋の非常用所内電源系統	
CA-P/C-A	460V非常用パワーセンタA	CA-P/C-B	460V非常用パワーセンタB		CA-P/C-B
CA-MCC-A1	460V非常用コントロールセンタA1	CA-MCC-B1	460V非常用コントロールセンタB1		CA-MCC-B1
CA-MCC-A2	460V非常用コントロールセンタA2	CA-MCC-B2	460V非常用コントロールセンタB2		CA-MCC-B2
CA-M/C-A	6.9kV非常用メタクラA	CA-M/C-B	6.9kV非常用メタクラB		CA-M/C-B
CA-E-K503A	非常用電気設備リレー盤A	CA-E-K603B	非常用電気設備リレー盤B		CA-E-K603B
CA-I-J501A	安全系A制御盤	CA-I-J601B	安全系B制御盤		CA-I-J601B
CA-V-J502A	建屋換気設備安全系A制御盤	CA-V-J602B	建屋換気設備安全系B制御盤		CA-V-J602B
CA-CHG-A	110V非常用充電器盤A	CA-CHG-B	110V非常用充電器盤B		CA-CHG-B
CA-CHG-E	110V非常用予備充電器盤E	CA-CHG-E	110V非常用予備充電器盤E		CA-CHG-E
CA-DCD-A	110V非常用直流主分電盤A	CA-DCD-B	110V非常用直流主分電盤B		CA-DCD-B
CA-UPD-A	105V非常用無停電交流主分電盤A	CA-UPD-B	105V非常用無停電交流主分電盤B		CA-UPD-B
CA-UPS-A	105V非常用無停電電源装置A	CA-UPS-B	105V非常用無停電電源装置B		CA-UPS-B
CA-BAT-A	110V第2非常用蓄電池A	CA-BAT-B	110V第2非常用蓄電池B		CA-BAT-B
ウラン・プルトニウム混合酸化物貯蔵建屋の非常用所内電源系統		ウラン・プルトニウム混合酸化物貯蔵建屋の非常用所内電源系統		ウラン・プルトニウム混合酸化物貯蔵建屋の非常用所内電源系統	
CB-P/C-A	460V非常用パワーセンタA	CB-P/C-B	460V非常用パワーセンタB		CB-P/C-B
CB-E-J101A	非常用電気設備リレー盤A	CB-E-J102B	非常用電気設備リレー盤B		CB-E-J102B
CA-V-J001A	建屋換気設備安全系A制御盤	CA-V-J002B	建屋換気設備安全系B制御盤		CA-V-J002B
CB-BAT-A	110V第2非常用蓄電池A	CB-BAT-B	110V第2非常用蓄電池B		CB-BAT-B
CB-CHG-A	110V非常用充電器盤A	CB-CHG-B	110V非常用充電器盤B		CB-CHG-B
CB-DCD-A	110V非常用直流主分電盤A	CB-DCD-B	110V非常用直流主分電盤B		CB-DCD-B
CB-MCC-A	460V非常用コントロールセンタA	CB-MCC-B	460V非常用コントロールセンタB		CB-MCC-B
CB-UPS-A	105V非常用無停電電源装置A	CB-UPS-B	105V非常用無停電電源装置B		CB-UPS-B
CB-CHG-E	110V非常用予備充電器盤E	CB-CHG-E	110V非常用予備充電器盤E		CB-CHG-E
高レベル廃液ガラス固化建屋の電気設備		高レベル廃液ガラス固化建屋の電気設備		高レベル廃液ガラス固化建屋の電気設備	
KA-P/C-A	460V非常用パワーセンタA	KA-P/C-B	460V非常用パワーセンタB		KA-P/C-B
KA-BAT-A	110V第2非常用蓄電池A	KA-BAT-B	110V第2非常用蓄電池B		KA-BAT-B
KA-CHG-A	110V非常用充電器盤A	KA-CHG-B	110V非常用充電器盤B		KA-CHG-B
KA-CHG-E	110V非常用予備充電器盤E	KA-CHG-E	110V非常用予備充電器盤E		KA-CHG-E
KA-DCD-A	110V非常用直流主分電盤A	KA-DCD-B	110V非常用直流主分電盤B		KA-DCD-B
KA-UPS-A	105V非常用無停電電源装置A	KA-UPS-B	105V非常用無停電電源装置B		KA-UPS-B
KA-UPD-A	105V非常用無停電交流主分電盤A	KA-UPD-B	105V非常用無停電交流主分電盤B		KA-UPD-B
KA-ACS-A	105V非常用計測交流電源盤A	KA-ACS-B	105V非常用計測交流電源盤B		KA-ACS-B
KA-ACD-A	105V非常用計測交流主分電盤A	KA-ACD-B	105V非常用計測交流主分電盤B		KA-ACD-B
KA-MCC-A1	460V非常用コントロールセンタA1	KA-MCC-B1	460V非常用コントロールセンタB1		KA-MCC-B1
KA-MCC-A2	460V非常用コントロールセンタA2	KA-MCC-B2	460V非常用コントロールセンタB2		KA-MCC-B2
KA-I-K224A	高レベル廃液ガラス固化廃ガス処理設備第1排風機A安全系Aインバータ制御盤	KA-I-K225B	高レベル廃液ガラス固化廃ガス処理設備第1排風機B安全系Bインバータ制御盤		KA-I-K225B
KA-I-K226A	高レベル廃液ガラス固化廃ガス処理設備第2排風機A安全系Aインバータ制御盤	KA-I-K227B	高レベル廃液ガラス固化廃ガス処理設備第2排風機B安全系Bインバータ制御盤		KA-I-K227B
KA-I-K073A	固化セル換気系排風機A安全系Aインバータ制御盤	KA-I-K074B	固化セル換気系排風機B安全系Bインバータ制御盤		KA-I-K074B
KA-E-K001A	非常用電気設備リレー盤A	KA-E-K002B	非常用電気設備リレー盤B		KA-E-K002B
KA-I-J501A	高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系A制御盤1	KA-I-J521B	高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系B制御盤1		KA-I-J521B
KA-I-J502A	高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系A制御盤2	KA-I-J522B	高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系B制御盤2		KA-I-J522B
KA-I-J503A	高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系A制御盤3	KA-I-J523B	高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系B制御盤3		KA-I-J523B
KA-I-J504A	高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系A制御盤4	KA-I-J524B	高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系B制御盤4		KA-I-J524B
KA-I-J505A	高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系A制御盤5	KA-I-J525B	高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系B制御盤5		KA-I-J525B
KA-I-J506A	高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系A制御盤6	KA-I-J526B	高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系B制御盤6		KA-I-J526B
KA-I-J507A	高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系A制御盤7	KA-I-J527B	高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系B制御盤7		KA-I-J527B
KA-I-J508A	高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系A制御盤8	KA-I-J528B	高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系B制御盤8		KA-I-J528B
KA-I-J511A	安全系A アレスタ盤	KA-I-J531B	安全系B アレスタ盤		KA-I-J531B
KA-I-J512A	高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系A制御盤(リレー盤1)	KA-I-J532B	高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系B制御盤(リレー盤1)		KA-I-J532B
KA-I-J513A	高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系A制御盤(リレー盤2)	KA-I-J533B	高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系B制御盤(リレー盤2)		KA-I-J533B
KA-I-J514A	高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系A制御盤(リレー盤3)	KA-I-J534B	高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系B制御盤(リレー盤3)		KA-I-J534B
KA-I-M331A	冷凍機 安全系A監視制御盤	KA-I-M322B	冷凍機 安全系B監視制御盤		KA-I-M322B
KA-I-K334A	冷却水・冷水設備 安全系A 制御盤1	KA-I-K338B	冷却水・冷水設備 安全系B 制御盤1		KA-I-K338B
KA-I-K335A	冷却水・冷水設備 安全系A 制御盤2	KA-I-K339B	冷却水・冷水設備 安全系B 制御盤2		KA-I-K339B
×		×			
-					
	1パス				
	回路評価等				
	成功パス				

火災区域(区画)特性表

1. 火災区域(区画)の説明

建屋名	精製建屋
火災区域/区画区分	火災区画
火災区域/区画番号	■
火災区域/区画名称	制御盤第3室
床面積(m ²)	■

2. 火災区域(区画)の火災シナリオの説明

■は、精製建屋内の火災区画である。
 本区画は、ケーブルトレイ火災の発生可能性があるが、安全上重要な施設が設置されていないため、安全機能の喪失のおそれはない。

3. 火災区域(区画)にある火災源

(1) 等価時間

発熱量(kJ)	火災荷重 (kJ/m ²)	等価時間(h) [※]
■	■	0.5

※ 等価時間は、内部火災影響評価ガイドの等価時間記載の値で示す。

(2) 火災区域(区画)にある火災源機器数

火災源	機器数
電動機(3.7kW超)	-
電気盤(440V以上)	-
ケーブルトレイ(ケーブル)	有
油脂類・有機溶媒等	-
その他	-

4. 火災区域(区画)にある防火設備

火災感知の手段	主要な消火設備	消火方法	消火設備のバックアップ
煙感知器	二酸化炭素消火器	手動	粉末消火器

5. 火災区域(区画)に隣接する火災区域(区画)と火災伝播経路

隣接火災区画への火災伝播経路の詳細は、別紙1参照

6. 火災影響を受ける火災防護対象機器等

機器名称[機器番号]	最重要設備 [※]	最重要設備以外の安全上重要な施設 [※]
-	-	-

※ ○:対象 -:非対象

* 火災想定において、工程停止等により安全機能を必要としない状態へと移行が可能なもの。

7. 火災防護対象機器等の関連ケーブル

機器名称[機器番号]	ケーブル種別	安重分類
-	-	-

8. 最重要設備の安重機能への火災影響

安重分類	全焼時の 成功パスの 有無	回路評価 等の考慮	結果	系統分離※
Pu・高レベル廃棄物の閉じ込め機能	-	-	-	-
崩壊熱除去機能(重要度の高いもの)	-	-	-	-
安全圧縮空気系(水素掃気機能)	-	-	-	-
非常用所内電源系統	-	-	-	-

※ a : 3時間以上の耐火能力を有する耐火壁で分離

b : 水平距離6mによる分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置

c : 1時間の耐火能力を有する隔壁等による分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置
再処理施設成功パスの詳細は、別紙2参照

9. 最重要設備以外の火災防護対象機器等への火災影響

機器名称[機器番号]	当該区画の火災評価※	隣接区画の火災評価※
-	-	-

※ ○:火災影響なし ×:火災影響あり

隣接する火災区画と火災伝播経路

(※ 有:伝播する 無:伝播しない)

隣接する 火災区画	火災伝播 経路有無	等価時間 (h)	耐火時間 (h)	火災伝播の 可能性 ※	備考
	無	0.5	1.0	無	
	有	0.5	0.0	有	
	有	0.5	0.0	有	
	無	0.5	1.0	無	
	無	0.5	3.0	無	

火災区域(区画)特性表

1. 火災区域(区画)の説明

建屋名	精製建屋
火災区域/区画区分	火災区画
火災区域/区画番号	■
火災区域/区画名称	放管設備倉庫
床面積(m ²)	■

2. 火災区域(区画)の火災シナリオの説明

■は、精製建屋内の火災区画である。
 本区画は、ケーブルトレイ火災の発生可能性があるが、安全上重要な施設が設置されていないため、安全機能の喪失のおそれはない。

3. 火災区域(区画)にある火災源

(1) 等価時間

発熱量(kJ)	火災荷重(kJ/m ²)	等価時間(h) [※]
■	■	0.5

※ 等価時間は、内部火災影響評価ガイドの等価時間記載の値で示す。

(2) 火災区域(区画)にある火災源機器数

火災源	機器数
電動機(3.7kW超)	-
電気盤(440V以上)	-
ケーブルトレイ(ケーブル)	有
油脂類・有機溶媒等	-
その他	-

4. 火災区域(区画)にある防火設備

火災感知の手段	主要な消火設備	消火方法	消火設備のバックアップ
煙感知器	二酸化炭素消火器	手動	粉末消火器

5. 火災区域(区画)に隣接する火災区域(区画)と火災伝播経路

隣接火災区画への火災伝播経路の詳細は、別紙1参照

6. 火災影響を受ける火災防護対象機器等

機器名称[機器番号]	最重要設備 [※]	最重要設備以外の安全上重要な施設 [※]
-	-	-

※ ○:対象 -:非対象

* 火災想定において、工程停止等により安全機能を必要としない状態へと移行が可能なもの。

7. 火災防護対象機器等の関連ケーブル

機器名称[機器番号]	ケーブル種別	安重分類
-	-	-

8. 最重要設備の安重機能への火災影響

安重分類	全焼時の 成功パスの 有無	回路評価 等の考慮	結果	系統分離※
Pu・高レベル廃棄物の閉じ込め機能	-	-	-	-
崩壊熱除去機能(重要度の高いもの)	-	-	-	-
安全圧縮空気系(水素掃気機能)	-	-	-	-
非常用所内電源系統	-	-	-	-

※ a : 3時間以上の耐火能力を有する耐火壁で分離

b : 水平距離6mによる分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置

c : 1時間の耐火能力を有する隔壁等による分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置
再処理施設成功パスの詳細は、別紙2参照

9. 最重要設備以外の火災防護対象機器等への火災影響

機器名称[機器番号]	当該区画の火災評価※	隣接区画の火災評価※
-	-	-

※ ○:火災影響なし ×:火災影響あり

隣接する火災区画と火災伝播経路

(※ 有:伝播する 無:伝播しない)

隣接する 火災区画	火災伝播 経路有無	等価時間 (h)	耐火時間 (h)	火災伝播の 可能性 ※	備考
	無	0.5	1.0	無	
	有	0.5	0.0	有	
	無	0.5	1.0	無	
	無	0.5	3.0	無	

火災区域(区画)特性表

1. 火災区域(区画)の説明

建屋名	精製建屋
火災区域/区画区分	火災区画
火災区域/区画番号	■
火災区域/区画名称	トロッリ第2保管室
床面積(m ²)	■

2. 火災区域(区画)の火災シナリオの説明

■は、精製建屋内の火災区画である。
 本区画は、ケーブルトレイ火災または、一時集積可燃物の火災の発生の可能性があるが、安全上重要な施設が設置されていないため、安全機能の喪失のおそれはない。

3. 火災区域(区画)にある火災源

(1) 等価時間

発熱量(kJ)	火災荷重(kJ/m ²)	等価時間(h) [※]
■	■	>9

※ 等価時間は、内部火災影響評価ガイドの等価時間記載の値で示す。

(2) 火災区域(区画)にある火災源機器数

火災源	機器数
電動機(3.7kW超)	-
電気盤(440V以上)	-
ケーブルトレイ(ケーブル)	有
油脂類・有機溶媒等	-
その他	1

4. 火災区域(区画)にある防火設備

火災感知の手段	主要な消火設備	消火方法	消火設備のバックアップ
煙感知器	屋内消火栓	手動	粉末消火器

5. 火災区域(区画)に隣接する火災区域(区画)と火災伝播経路

隣接火災区画への火災伝播経路の詳細は、別紙1参照

6. 火災影響を受ける火災防護対象機器等

機器名称[機器番号]	最重要設備 [※]	最重要設備以外の安全上重要な施設 [※]
-	-	-

※ ○:対象 -:非対象

* 火災想定において、工程停止等により安全機能を必要としない状態へと移行が可能なもの。

7. 火災防護対象機器等の関連ケーブル

機器名称[機器番号]	ケーブル種別	安重分類
-	-	-

8. 最重要設備の安重機能への火災影響

安重分類	全焼時の成功パスの有無	回路評価等の考慮	結果	系統分離※
Pu・高レベル廃棄物の閉じ込め機能	-	-	-	-
崩壊熱除去機能(重要度の高いもの)	-	-	-	-
安全圧縮空気系(水素掃気機能)	-	-	-	-
非常用所内電源系統	-	-	-	-

※ a : 3時間以上の耐火能力を有する耐火壁で分離

b : 水平距離6mによる分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置

c : 1時間の耐火能力を有する隔壁等による分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置
再処理施設成功パスの詳細は、別紙2参照

9. 最重要設備以外の火災防護対象機器等への火災影響

機器名称[機器番号]	当該区画の火災評価※	隣接区画の火災評価※
-	-	-

※ ○:火災影響なし ×:火災影響あり

隣接する火災区画と火災伝播経路

(※ 有:伝播する 無:伝播しない)

隣接する 火災区画	火災伝播 経路有無	等価時間 (h)	耐火時間 (h)	火災伝播の 可能性 ※	備考
	無	3.0超	1.0	有	
	有	3.0超	0.0	有	
	無	3.0超	1.0	有	
	無	3.0超	3.0	有	

火災区域(区画)特性表

1. 火災区域(区画)の説明

建屋名	精製建屋
火災区域／区画区分	火災区域
火災区域／区画番号	AC-10／ XXXXXXXXXX
火災区域／区画名称	計装ラック第3室
床面積(m ²)	XXXXXXXXXX

2. 火災区域(区画)の火災シナリオの説明

AC-10は、精製建屋内の火災区域である。
 本区画の火災源は、ケーブルトレイである。
 したがって、本区画の想定火災としては、ケーブルトレイ火災により、多重化された安全上重要な施設のA/B系の塔槽類廃ガス処理設備の系統圧力および漏えい液受皿の液位に係る計測制御設備(6.火災影響を受ける火災防護対象機器等 参照)が火災影響を受け、安全機能が喪失するおそれがあるが、火災により計測制御系が影響を受けても、保安規定第32条に基づき、運転状態の確認をすることで廃ガス処理設備の運転を継続可能であることから安全機能に影響を受けない。また、火災時には保安規定第37条に基づき、工程を停止し送液を行わないことで、漏えい検知機能に期待しない状態に移行し安全停止が可能である。

3. 火災区域(区画)にある火災源

(1) 等価時間

発熱量(kJ)	火災荷重 (kJ/m ²)	等価時間(h) [※]
XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	0.5

※ 等価時間は、内部火災影響評価ガイドの等価時間記載の値で示す。

(2) 火災区域(区画)にある火災源機器数

火災源	機器数
電動機(3.7kW超)	-
電気盤(440V以上)	-
ケーブルトレイ(ケーブル)	有
油脂類・有機溶媒等	-
その他	-

4. 火災区域(区画)にある防火設備

火災感知の手段	主要な消火設備	消火方法	消火設備のバックアップ
煙感知器 熱感知器	ハロゲン化物消火設備(全域)	自動	粉末消火器

5. 火災区域(区画)に隣接する火災区域(区画)と火災伝播経路

隣接火災区画への火災伝播経路の詳細は、別紙1参照

6. 火災影響を受ける火災防護対象機器等

機器名称[機器番号]	最重要設備※	最重要設備以外の安全上重要な施設※
放射性配管分岐第1セル漏えい液受皿1液位A [REDACTED]	-	○*
放射性配管分岐第1セル漏えい液受皿1液位B [REDACTED]	-	○*
放射性配管分岐第1セル漏えい液受皿2液位A [REDACTED]	-	○*
放射性配管分岐第1セル漏えい液受皿2液位B [REDACTED]	-	○*
NO _x 廃ガス洗浄塔入口圧力A [REDACTED]	-	○*
NO _x 廃ガス洗浄塔入口圧力B [REDACTED]	-	○*
廃ガス洗浄塔入口圧力A [REDACTED]	-	○*
廃ガス洗浄塔入口圧力B [REDACTED]	-	○*
油水分離槽セル漏えい液受皿液位A [REDACTED]	-	○*
油水分離槽セル漏えい液受皿液位B [REDACTED]	-	○*
プルトニウム濃縮缶供給槽セル漏えい液受皿液位A [REDACTED]	-	○*
プルトニウム濃縮缶供給槽セル漏えい液受皿液位B [REDACTED]	-	○*
プルトニウム精製塔セル漏えい液受皿液位A [REDACTED]	-	○*
プルトニウム精製塔セル漏えい液受皿液位B [REDACTED]	-	○*

※ ○:対象 -:非対象

* 火災想定において、工程停止等により安全機能を必要としない状態へと移行が可能なもの。

7. 火災防護対象機器等の関連ケーブル

機器名称[機器番号]	ケーブル種別	安重分類
-	-	-

8. 最重要設備の安重機能への火災影響

安重分類	全焼時の成功パスの有無	回路評価等の考慮	結果	系統分離※
Pu・高レベル廃棄物の閉じ込め機能	-	-	-	-
崩壊熱除去機能(重要度の高いもの)	-	-	-	-
安全圧縮空気系(水素掃気機能)	-	-	-	-
非常用所内電源系統	-	-	-	-

※ a : 3時間以上の耐火能力を有する耐火壁で分離

b : 水平距離6mによる分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置

c : 1時間の耐火能力を有する隔壁等による分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置
再処理施設成功パスの詳細は、別紙2参照

9. 最重要設備以外の火災防護対象機器等への火災影響

機器名称[機器番号]	当該区画の火災評価※	隣接区画の火災評価※
-	-	-

※ ○:火災影響なし ×:火災影響あり

隣接する火災区画と火災伝播経路

(※ 有:伝播する 無:伝播しない)

隣接する 火災区画	火災伝播 経路有無	等価時間 (h)	耐火時間 (h)	火災伝播の 可能性 ※	備考
	無	0.5	3.0	無	
	無	0.5	3.0	無	
	無	0.5	3.0	無	
	無	0.5	3.0	無	
	無	0.5	3.0	無	
	無	0.5	3.0	無	
	無	0.5	3.0	無	
	無	0.5	3.0	無	
	無	0.5	3.0	無	
	無	0.5	3.0	無	

火災区域(区画)特性表

1. 火災区域(区画)の説明

建屋名	精製建屋
火災区域/区画区分	火災区画
火災区域/区画番号	■
火災区域/区画名称	プルトニウム系サンプリングベンチ第4保守室
床面積(m ²)	■

2. 火災区域(区画)の火災シナリオの説明

■は、精製建屋内の火災区画である。
 本区画は、電気盤火災の発生可能性があるが、安全上重要な施設が設置されていないため、安全機能の喪失のおそれはない。

3. 火災区域(区画)にある火災源

(1) 等価時間

発熱量(kJ)	火災荷重 (kJ/m ²)	等価時間(h) [※]
■	■	0.5

※ 等価時間は、内部火災影響評価ガイドの等価時間記載の値で示す。

(2) 火災区域(区画)にある火災源機器数

火災源	機器数
電動機(3.7kW超)	-
電気盤(440V以上)	1
ケーブルトレイ(ケーブル)	-
油脂類・有機溶媒等	-
その他	-

4. 火災区域(区画)にある防火設備

火災感知の手段	主要な消火設備	消火方法	消火設備のバックアップ
煙感知器	屋内消火栓	手動	粉末消火器

5. 火災区域(区画)に隣接する火災区域(区画)と火災伝播経路

隣接火災区画への火災伝播経路の詳細は、別紙1参照

6. 火災影響を受ける火災防護対象機器等

機器名称[機器番号]	最重要設備 [※]	最重要設備以外の安全上重要な施設 [※]
-	-	-

※ ○:対象 -:非対象

* 火災想定において、工程停止等により安全機能を必要としない状態へと移行が可能なもの。

7. 火災防護対象機器等の関連ケーブル

機器名称[機器番号]	ケーブル種別	安重分類
-	-	-

8. 最重要設備の安重機能への火災影響

安重分類	全焼時の成功パスの有無	回路評価等の考慮	結果	系統分離※
Pu・高レベル廃棄物の閉じ込め機能	-	-	-	-
崩壊熱除去機能(重要度の高いもの)	-	-	-	-
安全圧縮空気系(水素掃気機能)	-	-	-	-
非常用所内電源系統	-	-	-	-

※ a : 3時間以上の耐火能力を有する耐火壁で分離

b : 水平距離6mによる分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置

c : 1時間の耐火能力を有する隔壁等による分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置
再処理施設成功パスの詳細は、別紙2参照

9. 最重要設備以外の火災防護対象機器等への火災影響

機器名称[機器番号]	当該区画の火災評価※	隣接区画の火災評価※
-	-	-

※ ○:火災影響なし ×:火災影響あり

隣接する火災区画と火災伝播経路

(※ 有:伝播する 無:伝播しない)

隣接する 火災区画	火災伝播 経路有無	等価時間 (h)	耐火時間 (h)	火災伝播の 可能性 ※	備考
	無	0.5	3.0	無	
	有	0.5	0.0	有	
	有	0.5	0.0	有	
	有	0.5	0.0	有	
	無	0.5	3.0	無	
	無	0.5	3.0	無	
	無	0.5	3.0	無	
	無	0.5	3.0	無	
	有	0.5	0.0	有	
	有	0.5	0.0	有	
	有	0.5	0.0	有	
	有	0.5	0.0	有	
	有	0.5	0.0	有	
	無	0.5	3.0	無	
	有	0.5	0.0	有	
	有	0.5	0.0	有	

火災区域(区画)特性表

1. 火災区域(区画)の説明

建屋名	精製建屋
火災区域/区画区分	火災区画
火災区域/区画番号	■
火災区域/区画名称	試薬設備第1室
床面積(m ²)	■

2. 火災区域(区画)の火災シナリオの説明

■は、精製建屋内の火災区画である。
 本区画は、火災源となるものがないおよび安全上重要な施設が設置されていないため、安全機能の喪失のおそれはない。

3. 火災区域(区画)にある火災源

(1) 等価時間

発熱量(kJ)	火災荷重 (kJ/m ²)	等価時間(h) [※]
■	■	0.5

※ 等価時間は、内部火災影響評価ガイドの等価時間記載の値で示す。

(2) 火災区域(区画)にある火災源機器数

火災源	機器数
電動機(3.7kW超)	-
電気盤(440V以上)	-
ケーブルトレイ(ケーブル)	-
油脂類・有機溶媒等	-
その他	-

4. 火災区域(区画)にある防火設備

火災感知の手段	主要な消火設備	消火方法	消火設備のバックアップ
煙感知器	屋内消火栓	手動	強化液消火器

5. 火災区域(区画)に隣接する火災区域(区画)と火災伝播経路

隣接火災区画への火災伝播経路の詳細は、別紙1参照

6. 火災影響を受ける火災防護対象機器等

機器名称[機器番号]	最重要設備 [※]	最重要設備以外の安全上重要な施設 [※]
-	-	-

※ ○:対象 -:非対象

* 火災想定において、工程停止等により安全機能を必要としない状態へと移行が可能なもの。

7. 火災防護対象機器等の関連ケーブル

機器名称[機器番号]	ケーブル種別	安重分類
-	-	-

8. 最重要設備の安重機能への火災影響

安重分類	全焼時の 成功パスの 有無	回路評価 等の考慮	結果	系統分離※
Pu・高レベル廃棄物の閉じ込め機能	-	-	-	-
崩壊熱除去機能(重要度の高いもの)	-	-	-	-
安全圧縮空気系(水素掃気機能)	-	-	-	-
非常用所内電源系統	-	-	-	-

※ a : 3時間以上の耐火能力を有する耐火壁で分離

b : 水平距離6mによる分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置

c : 1時間の耐火能力を有する隔壁等による分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置
再処理施設成功パスの詳細は、別紙2参照

9. 最重要設備以外の火災防護対象機器等への火災影響

機器名称[機器番号]	当該区画の火災評価※	隣接区画の火災評価※
-	-	-

※ ○:火災影響なし ×:火災影響あり

隣接する火災区画と火災伝播経路

(※ 有:伝播する 無:伝播しない)

隣接する 火災区画	火災伝播 経路有無	等価時間 (h)	耐火時間 (h)	火災伝播の 可能性 ※	備考
	無	0.5	3.0	無	
	無	0.5	3.0	無	
	無	0.5	3.0	無	
	無	0.5	3.0	無	
	無	0.5	3.0	無	
	無	0.5	3.0	無	
	無	0.5	3.0	無	
	有	0.5	0.0	有	

火災区域(区画)特性表

1. 火災区域(区画)の説明

建屋名	精製建屋
火災区域/区画区分	火災区域
火災区域/区画番号	AC-11/
火災区域/区画名称	非常用Bモータコントロールセンタ室
床面積(m ²)	

2. 火災区域(区画)の火災シナリオの説明

AC-11は、精製建屋内の火災区域である。
 本区画の火災源は、電気盤および、ケーブルトレイである。
 したがって、本区画の想定火災としては、電気盤火災または、ケーブルトレイ火災により、安全上重要な施設のB系の設備(6.火災影響を受ける火災防護対象機器等 参照)が火災影響を受け、安全機能が喪失するおそれがあるが、多重化された安全上重要な施設の片系のみ
 の機能喪失であるため、安全機能が完全に喪失することはない。

3. 火災区域(区画)にある火災源

(1) 等価時間

発熱量(kJ)	火災荷重 (kJ/m ²)	等価時間(h) [※]
		1.0

※ 等価時間は、内部火災影響評価ガイドの等価時間記載の値で示す。

(2) 火災区域(区画)にある火災源機器数

火災源	機器数
電動機(3.7kW超)	-
電気盤(440V以上)	1
ケーブルトレイ(ケーブル)	有
油脂類・有機溶媒等	-
その他	-

4. 火災区域(区画)にある防火設備

火災感知の手段	主要な消火設備	消火方法	消火設備のバックアップ
煙感知器 熱感知器	ハロゲン化物消火 設備(全域)	自動	二酸化炭素消火器

5. 火災区域(区画)に隣接する火災区域(区画)と火災伝播経路

隣接火災区画への火災伝播経路の詳細は、別紙1参照

6. 火災影響を受ける火災防護対象機器等

機器名称[機器番号]	最重要設備 [※]	最重要設備以外の 安全上重要な施設 [※]
460V非常用コントロールセンタ B1[AC-MCC-B1]	○	-
安重ケーブルトレイ[B系]	○	○

※ ○:対象 -:非対象

* 火災想定において、工程停止等により安全機能を必要としない状態へと移行が可能なもの。

7. 火災防護対象機器等の関連ケーブル

機器名称[機器番号]	ケーブル種別	安重分類
グローブボックス・セル排風機B []	制御、動力(低圧)	Pu・高レベルの廃棄物の閉じ込め機能
460V非常用パワーセンタB[AC-P/C-B]	動力(低圧)	非常用所内電源系統
安全冷却水BポンプA []	制御、動力(低圧)	崩壊熱除去機能(重要度の高いもの)
安全冷却水BポンプB []	制御、動力(低圧)	崩壊熱除去機能(重要度の高いもの)
排風機B []	制御、動力(低圧)	Pu・高レベルの廃棄物の閉じ込め機能
排風機B []	制御、動力(低圧)	Pu・高レベルの廃棄物の閉じ込め機能
460V非常用コントロールセンタB1[AC-MCC-B1]	制御、動力(低圧)	非常用所内電源系統
460V非常用コントロールセンタB2[AC-MCC-B2]	制御、動力(低圧)	非常用所内電源系統

8. 最重要設備の安重機能への火災影響

安重分類	全焼時の成功パスの有無	回路評価等の考慮	結果	系統分離 [※]
Pu・高レベル廃棄物の閉じ込め機能	有	-	○	-
崩壊熱除去機能(重要度の高いもの)	有	-	○	-
安全圧縮空気系(水素掃気機能)	-	-	-	-
非常用所内電源系統	有	-	○	-

※ a: 3時間以上の耐火能力を有する耐火壁で分離

b: 水平距離6mによる分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置

c: 1時間の耐火能力を有する隔壁等による分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置
再処理施設成功パスの詳細は、別紙2参照

9. 最重要設備以外の火災防護対象機器等への火災影響

機器名称[機器番号]	当該区画の火災評価 [※]	隣接区画の火災評価 [※]
-	-	-

※ ○:火災影響なし ×:火災影響あり

隣接する火災区画と火災伝播経路

(※ 有:伝播する 無:伝播しない)

隣接する 火災区画	火災伝播 経路有無	等価時間 (h)	耐火時間 (h)	火災伝播の 可能性 ※	備考
	無	1.0	3.0	無	
	無	1.0	3.0	無	
	無	1.0	3.0	無	
	無	1.0	3.0	無	
	無	1.0	3.0	無	
	無	1.0	3.0	無	
	無	1.0	3.0	無	
	無	1.0	3.0	無	

再処理施設成功パス一覧表

建屋	精製建屋	非常用Bモータコントロールセンタ室
区域(区画)番号/名称		
1.放射性物質の閉じ込め機能(動的な閉じ込め機能)		
	【Aトレン設備】	【Bトレン設備】
前処理建屋 せん断処理・溶解廃ガス処理設備	排風機A	前処理建屋 せん断処理・溶解廃ガス処理設備
	排風機C	排風機B
前処理建屋 塔槽類廃ガス処理設備	排風機A	前処理建屋 塔槽類廃ガス処理設備
前処理建屋換気設備 溶解セル等からの排気系	セル排風機A	前処理建屋換気設備 溶解セル等からの排気系
	溶解槽セルA排風機A	セル排風機B
	溶解槽セルB排風機A	溶解槽セルA排風機B
高レベル廃液ガラス固化建屋 高レベル廃液ガラス固化廃ガス処理設備	第1排風機A	高レベル廃液ガラス固化建屋 高レベル廃液ガラス固化廃ガス処理設備
	第2排風機A	第1排風機B
高レベル廃液ガラス固化建屋 塔槽類廃ガス処理設備 高レベル濃縮廃液廃ガス処理系	排風機A	高レベル廃液ガラス固化建屋 塔槽類廃ガス処理設備 高レベル濃縮廃液廃ガス処理系
高レベル廃液ガラス固化建屋 塔槽類廃ガス処理設備 不溶解残渣廃液廃ガス処理系	排風機A	高レベル廃液ガラス固化建屋 塔槽類廃ガス処理設備 不溶解残渣廃液廃ガス処理系
高レベル濃縮廃液貯槽セル等からの排気系固化セル換気系及び固化セル圧力放出系	セル排風機A	高レベル濃縮廃液貯槽セル等からの排気系固化セル換気系及び固化セル圧力放出系
	固化セル換気系排風機A	セル排風機B
分離建屋 塔槽類廃ガス処理設備 パルセータ廃ガス処理系	排風機A	分離建屋 塔槽類廃ガス処理設備 パルセータ廃ガス処理系
分離建屋 塔槽類廃ガス処理設備 塔槽類廃ガス処理系	排風機A	分離建屋 塔槽類廃ガス処理設備 塔槽類廃ガス処理系
分離建屋換気設備 プルトニウム溶液中間貯槽セル等からの排気系	グローブボックス・セル排風機A	分離建屋換気設備 プルトニウム溶液中間貯槽セル等からの排気系
精製建屋 塔槽類廃ガス処理設備 パルセータ廃ガス処理系	排風機A	精製建屋 塔槽類廃ガス処理設備 パルセータ廃ガス処理系
精製建屋 塔槽類廃ガス処理設備 塔槽類廃ガス処理系(プルトニウム系)	排風機A	精製建屋 塔槽類廃ガス処理設備 塔槽類廃ガス処理系(プルトニウム系)
精製建屋換気設備 プルトニウム濃縮缶セル等及びグローブボックス等からの排気系	グローブボックス・セル排風機A	精製建屋換気設備 プルトニウム濃縮缶セル等及びグローブボックス等からの排気系
ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋 塔槽類廃ガス処理設備	第1排風機A	ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋 塔槽類廃ガス処理設備
	第2排風機A	第1排風機B
	第2排風機C	第2排風機B
ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋 硝酸プルトニウム貯槽セル等及びグローブボックス等からの排気系	グローブボックス・セル排風機A	ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋 硝酸プルトニウム貯槽セル等及びグローブボックス等からの排気系
	グローブボックス・セル排風機C	グローブボックス・セル排風機B
-		
1パス	○	×
回路評価等	-	-
成功パス	○	○

凡例	
×	○○○○-○○○ ○○○A
	○○○○-○○○ ○○○○A
× : 当該室の火災により安全機能を喪失する機器がある場合 空欄 : 当該室に設置していない機器	
1パス	- : 当該室に対象なし ○ : 当該室の火災により対応する安全機能が1系統残る場合 × : 当該室の火災により対応する安全機能がすべて喪失する場合
回路評価等	- : 当該室に回路評価等を行う対象なし ○ : 回路評価等により、対応する安全機能が確保される場合
成功パス	- : 当該室に対象なし ○ : 当該室の火災により対応する安全機能が1系統残る場合 × : 当該室の火災により対応する安全機能がすべて喪失する場合

再処理施設成功パス一覧表

2.崩壊熱除去機能		【Aトレン設備】		【Bトレン設備】	
冷却設備	安全冷却水系			冷却設備	安全冷却水系
	安全冷却水A冷却塔				安全冷却水B冷却塔
前処理建屋	冷却設備	安全冷却水系		前処理建屋	冷却設備
	安全冷却水A循環ポンプA				安全冷却水B循環ポンプA
	安全冷却水A循環ポンプB				安全冷却水B循環ポンプB
	安全冷却水1AポンプA				安全冷却水1BポンプA
	安全冷却水1AポンプB				安全冷却水1BポンプB
分離建屋	冷却設備	安全冷却水系		分離建屋	冷却設備
	冷却水循環ポンプA				冷却水循環ポンプC
	冷却水循環ポンプB				冷却水循環ポンプD
	安全冷却水1AポンプA				安全冷却水1BポンプA
	安全冷却水1AポンプB				安全冷却水1BポンプB
精製建屋	冷却設備	安全冷却水系		精製建屋	冷却設備
	安全冷却水AポンプA			×	安全冷却水BポンプA
	安全冷却水AポンプB			×	安全冷却水BポンプB
ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋	冷却設備	安全冷却水系		ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋	冷却設備
	冷水移送ポンプA				冷水移送ポンプC
	冷水移送ポンプB				冷水移送ポンプD
高レベル廃液ガラス固化建屋	冷却設備	安全冷却水系		高レベル廃液ガラス固化建屋	冷却設備
	第1高レベル濃縮廃液貯槽冷却水AポンプA				第1高レベル濃縮廃液貯槽冷却水BポンプA
	第1高レベル濃縮廃液貯槽冷却水AポンプB				第1高レベル濃縮廃液貯槽冷却水BポンプB
	第2高レベル濃縮廃液貯槽冷却水AポンプA				第2高レベル濃縮廃液貯槽冷却水BポンプA
	第2高レベル濃縮廃液貯槽冷却水AポンプB				第2高レベル濃縮廃液貯槽冷却水BポンプB
	安全冷却水A系ポンプA				安全冷却水B系ポンプA
	安全冷却水A系ポンプB				安全冷却水B系ポンプB
	高レベル廃液共用貯槽冷却水AポンプA				高レベル廃液共用貯槽冷却水BポンプA
	高レベル廃液共用貯槽冷却水AポンプB				高レベル廃液共用貯槽冷却水BポンプB
	安全冷却水A系ポンプA				安全冷却水B系ポンプA
	安全冷却水A系ポンプB				安全冷却水B系ポンプB
	安全冷水A冷却器冷媒膨張弁A				安全冷水B冷却器冷媒膨張弁A
	安全冷水A冷却器冷媒膨張弁B				安全冷水B冷却器冷媒膨張弁B
	安全冷水A冷却器冷媒止弁A				安全冷水B冷却器冷媒止弁A
	安全冷水A冷却器冷媒止弁B				安全冷水B冷却器冷媒止弁B
	安全冷却水1AポンプA				安全冷却水1BポンプA
	安全冷却水1AポンプB				安全冷却水1BポンプB
	安全冷水AポンプA				安全冷水BポンプA
	安全冷水AポンプB				安全冷水BポンプB
	安全冷水A冷凍機				安全冷水B冷凍機
	スクリー圧縮機				スクリー圧縮機
	スクリー圧縮機				スクリー圧縮機
ウラン・プルトニウム混合酸化物貯蔵建屋	換気設備	貯蔵室排気系		ウラン・プルトニウム混合酸化物貯蔵建屋	換気設備
	貯蔵室排風機A				貯蔵室排風機C
	貯蔵室排風機B				貯蔵室排風機D
-				×	
	1パス		○		
	回路評価等		-		
	成功パス		○		
3.安全圧縮空気系(水素掃気機能)		【Aトレン設備】		【Bトレン設備】	
安全圧縮空気系				安全圧縮空気系	
	安全空気圧縮装置A				安全空気圧縮装置B
	安全空気圧縮装置C				安全空気圧縮装置C
-					
	1パス		-		
	回路評価等		-		
	成功パス		-		

再処理施設成功パス一覧表

4.非常用所内電源系統(支援機能)		【Aトレン設備】	【Bトレン設備】
非常用電源建屋冷却水設備			非常用電源建屋冷却水設備
	8111A-C20 冷却塔A		8111B-C20 冷却塔B
	8111A-P2010 冷却水循環ポンプA		8111B-P2010 冷却水循環ポンプB
非常用電源建屋の電気設備			非常用電源建屋の電気設備
	GA-M/C-A 6.9kV非常用メタクラA		GA-M/C-B 6.9kV非常用メタクラB
	GA-MCC-A 460V非常用コントロールセンタA		GA-MCC-B 460V非常用コントロールセンタB
	8111A-X10 ディーゼル機関A		8111B-X10 ディーゼル機関B
	8111A-X11 同期発電機A		8111B-X11 同期発電機B
	8111A-P4011 燃料油移送ポンプA		8111B-P4011 燃料油移送ポンプB
	GA-BAT-A 110V第2非常用蓄電池A		GA-BAT-B 110V第2非常用蓄電池B
	GA-CHG-A 110V非常用充電器盤A		GA-CHG-B 110V非常用充電器盤B
	GA-DCD-A 110V非常用直流主分電盤A		GA-DCD-B 110V非常用直流主分電盤B
	GA-CHG-E 110V非常用予備充電器盤E		GA-CHG-E 110V非常用予備充電器盤E
	GA-E-K011A 非常用電気設備リレー盤A1		GA-E-K013B 非常用電気設備リレー盤B1
	GA-E-K012A 非常用電気設備リレー盤A2		GA-E-K014B 非常用電気設備リレー盤B2
	8111A-V40 燃料油貯蔵タンク1A		8111B-V40 燃料油貯蔵タンク1B
	8111A-V41 燃料油貯蔵タンク2A		8111B-V41 燃料油貯蔵タンク2B
	GA-E-M011A 第2非常用ディーゼル発電機A制御盤		GA-E-M012B 第2非常用ディーゼル発電機B制御盤
	GA-PTR-A 非常用動力用変圧器A		GA-PTR-B 非常用動力用変圧器B
	8111A-V42 燃料油サービスタングA		8111B-V42 燃料油サービスタングB
	8111A-F4210 燃料油第1フィルタA		8111B-F4210 燃料油第1フィルタB
	8111A-F4230 燃料油第2フィルタA		8111B-F4230 燃料油第2フィルタB
	GA-E-S011A 第2非常用ディーゼル発電機ターニング現場盤A		GA-E-S012B 第2非常用ディーゼル発電機ターニング現場盤B
	GA-E-U011A 第2非常用ディーゼル発電機CT盤A		GA-E-U012B 第2非常用ディーゼル発電機CT盤B
	GA-I-K011A ユーティリティ工程 安全系A制御盤(リレー盤)		GA-I-K012B ユーティリティ工程 安全系B制御盤(リレー盤)
制御建屋の電気設備			制御建屋の電気設備
	AG-M/C-A 6.9kV非常用メタクラA		AG-M/C-B 6.9kV非常用メタクラB
	AG-P/C-A 460V非常用パワーセンタA		AG-P/C-B 460V非常用パワーセンタB
	AG-MCC-A1 460V非常用コントロールセンタA1		AG-MCC-B1 460V非常用コントロールセンタB1
	AG-MCC-A2 460V非常用コントロールセンタA2		AG-MCC-B2 460V非常用コントロールセンタB2
	AG-I-F201A 前処理建屋 安全系A監視制御盤		AG-I-F202B 前処理建屋 安全系B監視制御盤
	AG-I-F203A 分離建屋 安全系A監視制御盤		AG-I-F204B 分離建屋 安全系B監視制御盤
	AG-I-F205A 精製建屋 安全系A監視制御盤		AG-I-F206B 精製建屋 安全系B監視制御盤
	AG-I-F211A ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋 安全系A監視制御盤		AG-I-F212B ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋 安全系B監視制御盤
	AG-I-F213A 高レベル廃液ガラス固化建屋 安全系A監視制御盤		AG-I-F214B 高レベル廃液ガラス固化建屋 安全系B監視制御盤
	AG-BAT-A1 110V第2非常用蓄電池A1		AG-BAT-B1 110V第2非常用蓄電池B1
	AG-BAT-A2 220V第2非常用蓄電池A2		AG-BAT-B2 220V第2非常用蓄電池B2
	AG-CHG-A 110V非常用充電器盤A		AG-CHG-B 110V非常用充電器盤B
	AG-CHG-E 110V非常用予備充電器盤E		AG-CHG-E 110V非常用予備充電器盤E
	AG-DCD-A 110V非常用直流主分電盤A		AG-DCD-B 110V非常用直流主分電盤B
	AG-UPS-A 105V非常用無停電電源装置A		AG-UPS-B 105V非常用無停電電源装置B
	AG-UPD-A 105V非常用無停電交流主分電盤A		AG-UPD-B 105V非常用無停電交流主分電盤B
前処理建屋の電気設備			前処理建屋の電気設備
	AA-M/C-A 6.9kV非常用メタクラA		AA-M/C-B 6.9kV非常用メタクラB
	AA-P/C-A 460V非常用パワーセンタA		AA-P/C-B 460V非常用パワーセンタB
	AA-MCC-A1 460V非常用コントロールセンタA1		AA-MCC-B1 460V非常用コントロールセンタB1
	AA-MCC-A2 460V非常用コントロールセンタA2		AA-MCC-B2 460V非常用コントロールセンタB2
	AA-MCC-A3 460V非常用コントロールセンタA3		
	AA-BAT-A 110V第2非常用蓄電池A		AA-BAT-B 110V第2非常用蓄電池B
	AA-CHG-A 110V非常用充電器盤A		AA-CHG-B 110V非常用充電器盤B
	AA-CHG-E 110V非常用予備充電器盤E		AA-CHG-E 110V非常用予備充電器盤E
	AA-DCD-A 110V非常用直流主分電盤A		AA-DCD-B 110V非常用直流主分電盤B
	AA-UPS-A 105V非常用無停電電源装置A		AA-UPS-B 105V非常用無停電電源装置B
	AA-UPD-A 105V非常用無停電交流主分電盤A		AA-UPD-B 105V非常用無停電交流主分電盤B
	AA-I-M171A 圧縮空気設備 安全空気脱湿装置A現場監視制御盤		AA-I-M172B 圧縮空気設備 安全空気脱湿装置B現場監視制御盤
	AA-I-M166A 圧縮空気設備 安全空気圧縮装置A現場監視制御盤		AA-I-M167B 圧縮空気設備 安全空気圧縮装置B現場監視制御盤
	AA-I-M176A 圧縮空気設備 安全空気圧縮装置C現場制御回路分離盤A		AA-I-M177B 圧縮空気設備 安全空気圧縮装置C現場制御回路分離盤B
	AA-I-M169C 圧縮空気設備 安全空気圧縮装置C現場制御電源切換盤		AA-I-M169C 圧縮空気設備 安全空気圧縮装置C現場制御電源切換盤
	AA-I-M168C 圧縮空気設備 安全空気圧縮装置C現場監視制御盤		AA-I-M168C 圧縮空気設備 安全空気圧縮装置C現場監視制御盤
	AA-I-K701A よう素除去工程排風機A制御盤		AA-I-K702B よう素除去工程排風機B制御盤
	AA-I-K703C よう素除去工程排風機C制御盤		AA-I-K703C よう素除去工程排風機C制御盤
	AA-I-X710C よう素除去工程 C系統電源切替盤		AA-I-X710C よう素除去工程 C系統電源切替盤
	AA-I-J012A ユーティリティ工程 安全系A制御盤1(リレー盤2)		AA-I-J062B ユーティリティ工程 安全系B制御盤1(リレー盤2)
	AA-I-J013A ユーティリティ工程 安全系A制御盤2(リレー盤3)		AA-I-J063B ユーティリティ工程 安全系B制御盤2(リレー盤3)
	AA-I-J031A よう素除去工程 安全系A制御盤1		AA-I-J081B よう素除去工程 安全系B制御盤1
	AA-I-J032A よう素除去工程 安全系A制御盤2		AA-I-J082B よう素除去工程 安全系B制御盤2
	AA-I-J033A よう素除去工程 安全系A制御盤3		AA-I-J083B よう素除去工程 安全系B制御盤3
	AA-LPD-A2 溶解槽セルA排風機A極数変換盤		AA-LPD-B2 溶解槽セルA排風機B極数変換盤
	AA-LPD-A3 溶解槽セルB排風機A極数変換盤		AA-LPD-B3 溶解槽セルB排風機B極数変換盤
	AA-LPD-A21 セル排風機A極数変換盤		AA-LPD-B21 セル排風機B極数変換盤
分離建屋の非常用所内電源系統			分離建屋の非常用所内電源系統
	AB-P/C-A 460V非常用パワーセンタA		AB-P/C-B 460V非常用パワーセンタB
	AB-MCC-A 460V非常用コントロールセンタA		AB-MCC-B 460V非常用コントロールセンタB
	AB-CHG-A 110V非常用充電器盤A		AB-CHG-B 110V非常用充電器盤B
	AB-CHG-E 110V非常用予備充電器盤E		AB-CHG-E 110V非常用予備充電器盤E
	AB-BAT-A 110V第2非常用蓄電池A		AB-BAT-B 110V第2非常用蓄電池B
	AB-DCD-A 110V非常用直流主分電盤A		AB-DCD-B 110V非常用直流主分電盤B
	AB-UPS-A 105V非常用無停電電源装置A		AB-UPS-B 105V非常用無停電電源装置B
	AB-UPD-A1 105V非常用無停電交流主分電盤A1		AB-UPD-B1 105V非常用無停電交流主分電盤A1
	AB-UPD-A2 105V非常用無停電交流主分電盤A2		AB-UPD-B2 105V非常用無停電交流主分電盤A2
	AB-I-J180A ユーティリティ工程 安全系A制御盤1		AB-I-J183B ユーティリティ工程 安全系B制御盤1
	AB-I-J181A ユーティリティ工程 安全系A制御盤2		AB-I-J184B ユーティリティ工程 安全系B制御盤2
	AB-I-J182A ユーティリティ工程 安全系A制御盤3		AB-I-J185B ユーティリティ工程 安全系B制御盤3
	AB-I-J033A 分離・分配工程 安全系A制御盤1		AB-I-J036B 分離・分配工程 安全系B制御盤1
	AB-I-J034A 分離・分配工程 安全系A制御盤2		AB-I-J037B 分離・分配工程 安全系B制御盤2
	AB-I-J035A 分離・分配工程 安全系A制御盤3		AB-I-J038B 分離・分配工程 安全系B制御盤3
	AB-V-J100A 建屋換気設備 安全系A制御盤		AB-V-J101B 建屋換気設備 安全系B制御盤
	1パス	-	
	回路評価等	-	
	成功パス	-	

再処理施設成功パス一覧表

4. 支援機能(続き)		【Aトレン設備】		【Bトレン設備】	
精製建屋の電気設備		精製建屋の電気設備		精製建屋の電気設備	
AC-BAT-A	110V第2非常用蓄電池A	AC-BAT-B	110V第2非常用蓄電池B	AC-BAT-B	110V第2非常用蓄電池B
AC-CHG-A	110V非常用充電器盤A	AC-CHG-B	110V非常用充電器盤B	AC-CHG-B	110V非常用充電器盤B
AC-CHG-E	110V非常用予備充電器盤E	AC-CHG-E	110V非常用予備充電器盤E	AC-CHG-E	110V非常用予備充電器盤E
AC-DCD-A	110V非常用直流主分電盤A	AC-DCD-B	110V非常用直流主分電盤B	AC-DCD-B	110V非常用直流主分電盤B
AC-MCC-A1	460V非常用コントロールセンタA1	×	AC-MCC-B1	460V非常用コントロールセンタB1	×
AC-MCC-A2	460V非常用コントロールセンタA2	×	AC-MCC-B2	460V非常用コントロールセンタB2	×
AC-P/C-A	460V非常用パワーセンタA	×	AC-P/C-B	460V非常用パワーセンタB	×
AC-UPD-A	105V非常用無停電交流主分電盤A	AC-UPD-B	105V非常用無停電交流主分電盤B	AC-UPD-B	105V非常用無停電交流主分電盤B
AC-UPS-A	105V非常用無停電電源装置A	AC-UPS-B	105V非常用無停電電源装置B	AC-UPS-B	105V非常用無停電電源装置B
AC-I-J450A	ユーティリティ工程 安全系A制御盤(計器盤)	AC-I-J460B	ユーティリティ工程 安全系B制御盤(計器盤)	AC-I-J460B	ユーティリティ工程 安全系B制御盤(計器盤)
AC-I-J451A	ユーティリティ工程 安全系A制御盤(リレー盤)	AC-I-J461B	ユーティリティ工程 安全系B制御盤(リレー盤)	AC-I-J461B	ユーティリティ工程 安全系B制御盤(リレー盤)
AC-E-J452A	非常用電気設備リレー盤A	AC-E-J462B	非常用電気設備リレー盤B	AC-E-J462B	非常用電気設備リレー盤B
AC-V-J453A	建屋換気設備安全系A制御盤	AC-V-J463B	建屋換気設備安全系B制御盤	AC-V-J463B	建屋換気設備安全系B制御盤
AC-I-J752A	プルトニウム精製工程 安全系A 制御盤3	AC-I-J755B	プルトニウム精製工程 安全系B 制御盤3	AC-I-J755B	プルトニウム精製工程 安全系B 制御盤3
ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋の非常用所内電源系統		ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋の非常用所内電源系統		ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋の非常用所内電源系統	
CA-P/C-A	460V非常用パワーセンタA	CA-P/C-B	460V非常用パワーセンタB	CA-P/C-B	460V非常用パワーセンタB
CA-MCC-A1	460V非常用コントロールセンタA1	CA-MCC-B1	460V非常用コントロールセンタB1	CA-MCC-B1	460V非常用コントロールセンタB1
CA-MCC-A2	460V非常用コントロールセンタA2	CA-MCC-B2	460V非常用コントロールセンタB2	CA-MCC-B2	460V非常用コントロールセンタB2
CA-M/C-A	6.9kV非常用メタクラA	CA-M/C-B	6.9kV非常用メタクラB	CA-M/C-B	6.9kV非常用メタクラB
CA-E-K503A	非常用電気設備リレー盤A	CA-E-K603B	非常用電気設備リレー盤B	CA-E-K603B	非常用電気設備リレー盤B
CA-I-J501A	安全系A制御盤	CA-I-J601B	安全系B制御盤	CA-I-J601B	安全系B制御盤
CA-V-J502A	建屋換気設備安全系A制御盤	CA-V-J602B	建屋換気設備安全系B制御盤	CA-V-J602B	建屋換気設備安全系B制御盤
CA-CHG-A	110V非常用充電器盤A	CA-CHG-B	110V非常用充電器盤B	CA-CHG-B	110V非常用充電器盤B
CA-CHG-E	110V非常用予備充電器盤E	CA-CHG-E	110V非常用予備充電器盤E	CA-CHG-E	110V非常用予備充電器盤E
CA-DCD-A	110V非常用直流主分電盤A	CA-DCD-B	110V非常用直流主分電盤B	CA-DCD-B	110V非常用直流主分電盤B
CA-UPD-A	105V非常用無停電交流主分電盤A	CA-UPD-B	105V非常用無停電交流主分電盤B	CA-UPD-B	105V非常用無停電交流主分電盤B
CA-UPS-A	105V非常用無停電電源装置A	CA-UPS-B	105V非常用無停電電源装置B	CA-UPS-B	105V非常用無停電電源装置B
CA-BAT-A	110V第2非常用蓄電池A	CA-BAT-B	110V第2非常用蓄電池B	CA-BAT-B	110V第2非常用蓄電池B
ウラン・プルトニウム混合酸化物貯蔵建屋の非常用所内電源系統		ウラン・プルトニウム混合酸化物貯蔵建屋の非常用所内電源系統		ウラン・プルトニウム混合酸化物貯蔵建屋の非常用所内電源系統	
CB-P/C-A	460V非常用パワーセンタA	CB-P/C-B	460V非常用パワーセンタB	CB-P/C-B	460V非常用パワーセンタB
CB-E-J101A	非常用電気設備リレー盤A	CB-E-J102B	非常用電気設備リレー盤B	CB-E-J102B	非常用電気設備リレー盤B
CA-V-J001A	建屋換気設備安全系A制御盤	CA-V-J002B	建屋換気設備安全系B制御盤	CA-V-J002B	建屋換気設備安全系B制御盤
CB-BAT-A	110V第2非常用蓄電池A	CB-BAT-B	110V第2非常用蓄電池B	CB-BAT-B	110V第2非常用蓄電池B
CB-CHG-A	110V非常用充電器盤A	CB-CHG-B	110V非常用充電器盤B	CB-CHG-B	110V非常用充電器盤B
CB-DCD-A	110V非常用直流主分電盤A	CB-DCD-B	110V非常用直流主分電盤B	CB-DCD-B	110V非常用直流主分電盤B
CB-MCC-A	460V非常用コントロールセンタA	CB-MCC-B	460V非常用コントロールセンタB	CB-MCC-B	460V非常用コントロールセンタB
CB-UPS-A	105V非常用無停電電源装置A	CB-UPS-B	105V非常用無停電電源装置B	CB-UPS-B	105V非常用無停電電源装置B
CB-CHG-E	110V非常用予備充電器盤E	CB-CHG-E	110V非常用予備充電器盤E	CB-CHG-E	110V非常用予備充電器盤E
高レベル廃液ガラス固化建屋の電気設備		高レベル廃液ガラス固化建屋の電気設備		高レベル廃液ガラス固化建屋の電気設備	
KA-P/C-A	460V非常用パワーセンタA	KA-P/C-B	460V非常用パワーセンタB	KA-P/C-B	460V非常用パワーセンタB
KA-BAT-A	110V第2非常用蓄電池A	KA-BAT-B	110V第2非常用蓄電池B	KA-BAT-B	110V第2非常用蓄電池B
KA-CHG-A	110V非常用充電器盤A	KA-CHG-B	110V非常用充電器盤B	KA-CHG-B	110V非常用充電器盤B
KA-CHG-E	110V非常用予備充電器盤E	KA-CHG-E	110V非常用予備充電器盤E	KA-CHG-E	110V非常用予備充電器盤E
KA-DCD-A	110V非常用直流主分電盤A	KA-DCD-B	110V非常用直流主分電盤B	KA-DCD-B	110V非常用直流主分電盤B
KA-UPS-A	105V非常用無停電電源装置A	KA-UPS-B	105V非常用無停電電源装置B	KA-UPS-B	105V非常用無停電電源装置B
KA-UPD-A	105V非常用無停電交流主分電盤A	KA-UPD-B	105V非常用無停電交流主分電盤B	KA-UPD-B	105V非常用無停電交流主分電盤B
KA-ACS-A	105V非常用計測交流電源盤A	KA-ACS-B	105V非常用計測交流電源盤B	KA-ACS-B	105V非常用計測交流電源盤B
KA-ACD-A	105V非常用計測交流主分電盤A	KA-ACD-B	105V非常用計測交流主分電盤B	KA-ACD-B	105V非常用計測交流主分電盤B
KA-MCC-A1	460V非常用コントロールセンタA1	KA-MCC-B1	460V非常用コントロールセンタB1	KA-MCC-B1	460V非常用コントロールセンタB1
KA-MCC-A2	460V非常用コントロールセンタA2	KA-MCC-B2	460V非常用コントロールセンタB2	KA-MCC-B2	460V非常用コントロールセンタB2
KA-I-K224A	高レベル廃液ガラス固化廃ガス処理設備第1排風機A安全系Aインバータ制御盤	KA-I-K225B	高レベル廃液ガラス固化廃ガス処理設備第1排風機B安全系Bインバータ制御盤	KA-I-K225B	高レベル廃液ガラス固化廃ガス処理設備第1排風機B安全系Bインバータ制御盤
KA-I-K226A	高レベル廃液ガラス固化廃ガス処理設備第2排風機A安全系Aインバータ制御盤	KA-I-K227B	高レベル廃液ガラス固化廃ガス処理設備第2排風機B安全系Bインバータ制御盤	KA-I-K227B	高レベル廃液ガラス固化廃ガス処理設備第2排風機B安全系Bインバータ制御盤
KA-I-K073A	固化セル換気系排風機A安全系Aインバータ制御盤	KA-I-K074B	固化セル換気系排風機B安全系Bインバータ制御盤	KA-I-K074B	固化セル換気系排風機B安全系Bインバータ制御盤
KA-E-K001A	非常用電気設備リレー盤A	KA-E-K002B	非常用電気設備リレー盤B	KA-E-K002B	非常用電気設備リレー盤B
KA-I-J501A	高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系A制御盤1	KA-I-J521B	高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系B制御盤1	KA-I-J521B	高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系B制御盤1
KA-I-J502A	高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系A制御盤2	KA-I-J522B	高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系B制御盤2	KA-I-J522B	高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系B制御盤2
KA-I-J503A	高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系A制御盤3	KA-I-J523B	高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系B制御盤3	KA-I-J523B	高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系B制御盤3
KA-I-J504A	高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系A制御盤4	KA-I-J524B	高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系B制御盤4	KA-I-J524B	高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系B制御盤4
KA-I-J505A	高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系A制御盤5	KA-I-J525B	高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系B制御盤5	KA-I-J525B	高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系B制御盤5
KA-I-J506A	高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系A制御盤6	KA-I-J526B	高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系B制御盤6	KA-I-J526B	高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系B制御盤6
KA-I-J507A	高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系A制御盤7	KA-I-J527B	高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系B制御盤7	KA-I-J527B	高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系B制御盤7
KA-I-J508A	高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系A制御盤8	KA-I-J528B	高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系B制御盤8	KA-I-J528B	高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系B制御盤8
KA-I-J511A	安全系A アレスタ盤	KA-I-J531B	安全系B アレスタ盤	KA-I-J531B	安全系B アレスタ盤
KA-I-J512A	高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系A制御盤(リレー盤1)	KA-I-J532B	高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系B制御盤(リレー盤1)	KA-I-J532B	高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系B制御盤(リレー盤1)
KA-I-J513A	高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系A制御盤(リレー盤2)	KA-I-J533B	高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系B制御盤(リレー盤2)	KA-I-J533B	高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系B制御盤(リレー盤2)
KA-I-J514A	高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系A制御盤(リレー盤3)	KA-I-J534B	高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系B制御盤(リレー盤3)	KA-I-J534B	高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系B制御盤(リレー盤3)
KA-I-M331A	冷凍機 安全系A監視制御盤	KA-I-M322B	冷凍機 安全系B監視制御盤	KA-I-M322B	冷凍機 安全系B監視制御盤
KA-I-K334A	冷却水・冷水設備 安全系A 制御盤1	KA-I-K338B	冷却水・冷水設備 安全系B 制御盤1	KA-I-K338B	冷却水・冷水設備 安全系B 制御盤1
KA-I-K335A	冷却水・冷水設備 安全系A 制御盤2	KA-I-K339B	冷却水・冷水設備 安全系B 制御盤2	KA-I-K339B	冷却水・冷水設備 安全系B 制御盤2
×		×		×	
-					
1パス					
回路評価等					
成功パス					

火災区域(区画)特性表

1. 火災区域(区画)の説明

建屋名	精製建屋
火災区域/区画区分	火災区画
火災区域/区画番号	■
火災区域/区画名称	地上2階東西第2廊下,南北第2廊下
床面積(m ²)	■

2. 火災区域(区画)の火災シナリオの説明

■は、精製建屋内の火災区画である。
 本区画は、ケーブルトレイ火災の発生可能性があるが、安全上重要な施設が設置されていないため、安全機能の喪失のおそれはない。

3. 火災区域(区画)にある火災源

(1) 等価時間

発熱量(kJ)	火災荷重 (kJ/m ²)	等価時間(h) [※]
■	■	0.5

※ 等価時間は、内部火災影響評価ガイドの等価時間記載の値で示す。

(2) 火災区域(区画)にある火災源機器数

火災源	機器数
電動機(3.7kW超)	-
電気盤(440V以上)	-
ケーブルトレイ(ケーブル)	有
油脂類・有機溶媒等	-
その他	-

4. 火災区域(区画)にある防火設備

火災感知の手段	主要な消火設備	消火方法	消火設備のバックアップ
煙感知器	屋内消火栓	手動	粉末消火器

5. 火災区域(区画)に隣接する火災区域(区画)と火災伝播経路

隣接火災区画への火災伝播経路の詳細は、別紙1参照

6. 火災影響を受ける火災防護対象機器等

機器名称[機器番号]	最重要設備 [※]	最重要設備以外の安全上重要な施設 [※]
-	-	-

※ ○:対象 -:非対象

* 火災想定において、工程停止等により安全機能を必要としない状態へと移行が可能なもの。

7. 火災防護対象機器等の関連ケーブル

機器名称[機器番号]	ケーブル種別	安重分類
-	-	-

8. 最重要設備の安重機能への火災影響

安重分類	全焼時の 成功パスの 有無	回路評価 等の考慮	結果	系統分離※
Pu・高レベル廃棄物の閉じ込め機能	-	-	-	-
崩壊熱除去機能(重要度の高いもの)	-	-	-	-
安全圧縮空気系(水素掃気機能)	-	-	-	-
非常用所内電源系統	-	-	-	-

※ a : 3時間以上の耐火能力を有する耐火壁で分離

b : 水平距離6mによる分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置

c : 1時間の耐火能力を有する隔壁等による分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置
再処理施設成功パスの詳細は、別紙2参照

9. 最重要設備以外の火災防護対象機器等への火災影響

機器名称[機器番号]	当該区画の火災評価※	隣接区画の火災評価※
-	-	-

※ ○:火災影響なし ×:火災影響あり

火災区域(区画)特性表

1. 火災区域(区画)の説明

建屋名	精製建屋
火災区域/区画区分	火災区画
火災区域/区画番号	■
火災区域/区画名称	試薬分配第3室
床面積(m ²)	■

2. 火災区域(区画)の火災シナリオの説明

■は、精製建屋内の火災区画である。
 本区画は、火災源となるものがないおよび安全上重要な施設が設置されていないため、安全機能の喪失のおそれはない。

3. 火災区域(区画)にある火災源

(1) 等価時間

発熱量(kJ)	火災荷重 (kJ/m ²)	等価時間(h) [※]
■	■	0.5

※ 等価時間は、内部火災影響評価ガイドの等価時間記載の値で示す。

(2) 火災区域(区画)にある火災源機器数

火災源	機器数
電動機(3.7kW超)	-
電気盤(440V以上)	-
ケーブルトレイ(ケーブル)	-
油脂類・有機溶媒等	-
その他	-

4. 火災区域(区画)にある防火設備

火災感知の手段	主要な消火設備	消火方法	消火設備のバックアップ
煙感知器	屋内消火栓	手動	粉末消火器

5. 火災区域(区画)に隣接する火災区域(区画)と火災伝播経路

隣接火災区画への火災伝播経路の詳細は、別紙1参照

6. 火災影響を受ける火災防護対象機器等

機器名称[機器番号]	最重要設備 [※]	最重要設備以外の安全上重要な施設 [※]
-	-	-

※ ○:対象 -:非対象

* 火災想定において、工程停止等により安全機能を必要としない状態へと移行が可能なもの。

7. 火災防護対象機器等の関連ケーブル

機器名称[機器番号]	ケーブル種別	安重分類
-	-	-

8. 最重要設備の安重機能への火災影響

安重分類	全焼時の成功パスの有無	回路評価等の考慮	結果	系統分離※
Pu・高レベル廃棄物の閉じ込め機能	-	-	-	-
崩壊熱除去機能(重要度の高いもの)	-	-	-	-
安全圧縮空気系(水素掃気機能)	-	-	-	-
非常用所内電源系統	-	-	-	-

※ a : 3時間以上の耐火能力を有する耐火壁で分離

b : 水平距離6mによる分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置

c : 1時間の耐火能力を有する隔壁等による分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置
再処理施設成功パスの詳細は、別紙2参照

9. 最重要設備以外の火災防護対象機器等への火災影響

機器名称[機器番号]	当該区画の火災評価※	隣接区画の火災評価※
-	-	-

※ ○:火災影響なし ×:火災影響あり

隣接する火災区画と火災伝播経路

(※ 有:伝播する 無:伝播しない)

隣接する 火災区画	火災伝播 経路有無	等価時間 (h)	耐火時間 (h)	火災伝播の 可能性 ※	備考
	無	0.5	3.0	無	
	無	0.5	3.0	無	
	無	0.5	3.0	無	
	無	0.5	3.0	無	
	無	0.5	3.0	無	
	無	0.5	1.0	無	
	無	0.5	3.0	無	
	有	0.5	0.0	有	

火災区域(区画)特性表

1. 火災区域(区画)の説明

建屋名	精製建屋
火災区域/区画区分	火災区画
火災区域/区画番号	■
火災区域/区画名称	北第3階段室
床面積(m ²)	■

2. 火災区域(区画)の火災シナリオの説明

■は、精製建屋内の火災区画である。
 本区画は、火災源となるものがないおよび安全上重要な施設が設置されていないため、安全機能の喪失のおそれはない。

3. 火災区域(区画)にある火災源

(1) 等価時間

発熱量(kJ)	火災荷重(kJ/m ²)	等価時間(h) [※]
■	■	0.0

※ 等価時間は、内部火災影響評価ガイドの等価時間記載の値で示す。

(2) 火災区域(区画)にある火災源機器数

火災源	機器数
電動機(3.7kW超)	-
電気盤(440V以上)	-
ケーブルトレイ(ケーブル)	-
油脂類・有機溶媒等	-
その他	-

4. 火災区域(区画)にある防火設備

火災感知の手段	主要な消火設備	消火方法	消火設備のバックアップ
煙感知器	屋内消火栓	手動	粉末消火器

5. 火災区域(区画)に隣接する火災区域(区画)と火災伝播経路

隣接火災区画への火災伝播経路の詳細は、別紙1参照

6. 火災影響を受ける火災防護対象機器等

機器名称[機器番号]	最重要設備 [※]	最重要設備以外の安全上重要な施設 [※]
-	-	-

※ ○:対象 -:非対象

* 火災想定において、工程停止等により安全機能を必要としない状態へと移行が可能なもの。

7. 火災防護対象機器等の関連ケーブル

機器名称[機器番号]	ケーブル種別	安重分類
-	-	-

8. 最重要設備の安重機能への火災影響

安重分類	全焼時の 成功パスの 有無	回路評価 等の考慮	結果	系統分離※
Pu・高レベル廃棄物の閉じ込め機能	-	-	-	-
崩壊熱除去機能(重要度の高いもの)	-	-	-	-
安全圧縮空気系(水素掃気機能)	-	-	-	-
非常用所内電源系統	-	-	-	-

※ a : 3時間以上の耐火能力を有する耐火壁で分離

b : 水平距離6mによる分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置

c : 1時間の耐火能力を有する隔壁等による分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置
再処理施設成功パスの詳細は、別紙2参照

9. 最重要設備以外の火災防護対象機器等への火災影響

機器名称[機器番号]	当該区画の火災評価※	隣接区画の火災評価※
-	-	-

※ ○:火災影響なし ×:火災影響あり

隣接する火災区画と火災伝播経路

(※ 有:伝播する 無:伝播しない)

隣接する 火災区画	火災伝播 経路有無	等価時間 (h)	耐火時間 (h)	火災伝播の 可能性 ※	備考
	無	0.0	3.0	無	
	無	0.0	1.0	無	
	無	0.0	3.0	無	
	無	0.0	3.0	無	
	無	0.0	1.0	無	
	無	0.0	3.0	無	
	無	0.0	1.0	無	
	無	0.0	3.0	無	
	無	0.0	3.0	無	
	無	0.0	1.0	無	

火災区域(区画)特性表

1. 火災区域(区画)の説明

建屋名	精製建屋
火災区域/区画区分	火災区画
火災区域/区画番号	■
火災区域/区画名称	試薬分配第4室
床面積(m ²)	■

2. 火災区域(区画)の火災シナリオの説明

■は、精製建屋内の火災区画である。
 本区画は、火災源となるものがないおよび安全上重要な施設が設置されていないため、安全機能の喪失のおそれはない。

3. 火災区域(区画)にある火災源

(1) 等価時間

発熱量(kJ)	火災荷重(kJ/m ²)	等価時間(h) [※]
■	■	0.5

※ 等価時間は、内部火災影響評価ガイドの等価時間記載の値で示す。

(2) 火災区域(区画)にある火災源機器数

火災源	機器数
電動機(3.7kW超)	-
電気盤(440V以上)	-
ケーブルトレイ(ケーブル)	-
油脂類・有機溶媒等	-
その他	-

4. 火災区域(区画)にある防火設備

火災感知の手段	主要な消火設備	消火方法	消火設備のバックアップ
煙感知器	屋内消火栓	手動	粉末消火器

5. 火災区域(区画)に隣接する火災区域(区画)と火災伝播経路

隣接火災区画への火災伝播経路の詳細は、別紙1参照

6. 火災影響を受ける火災防護対象機器等

機器名称[機器番号]	最重要設備 [※]	最重要設備以外の安全上重要な施設 [※]
-	-	-

※ ○:対象 -:非対象

* 火災想定において、工程停止等により安全機能を必要としない状態へと移行が可能なもの。

7. 火災防護対象機器等の関連ケーブル

機器名称[機器番号]	ケーブル種別	安重分類
-	-	-

8. 最重要設備の安重機能への火災影響

安重分類	全焼時の 成功パスの 有無	回路評価 等の考慮	結果	系統分離※
Pu・高レベル廃棄物の閉じ込め機能	-	-	-	-
崩壊熱除去機能(重要度の高いもの)	-	-	-	-
安全圧縮空気系(水素掃気機能)	-	-	-	-
非常用所内電源系統	-	-	-	-

※ a : 3時間以上の耐火能力を有する耐火壁で分離

b : 水平距離6mによる分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置

c : 1時間の耐火能力を有する隔壁等による分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置
再処理施設成功パスの詳細は、別紙2参照

9. 最重要設備以外の火災防護対象機器等への火災影響

機器名称[機器番号]	当該区画の火災評価※	隣接区画の火災評価※
-	-	-

※ ○:火災影響なし ×:火災影響あり

隣接する火災区画と火災伝播経路

(※ 有:伝播する 無:伝播しない)

隣接する 火災区画	火災伝播 経路有無	等価時間 (h)	耐火時間 (h)	火災伝播の 可能性 ※	備考
	無	0.5	3.0	無	
	無	0.5	3.0	無	
	無	0.5	3.0	無	
	無	0.5	3.0	無	
	無	0.5	3.0	無	
	無	0.5	3.0	無	
	無	0.5	3.0	無	
	無	0.5	3.0	無	

火災区域(区画)特性表

1. 火災区域(区画)の説明

建屋名	精製建屋
火災区域/区画区分	火災区画
火災区域/区画番号	■
火災区域/区画名称	試薬設備第2室
床面積(m ²)	■

2. 火災区域(区画)の火災シナリオの説明

■は、精製建屋内の火災区画である。
 本区画は、火災源となるものがないおよび安全上重要な施設が設置されていないため、安全機能の喪失のおそれはない。

3. 火災区域(区画)にある火災源

(1) 等価時間

発熱量(kJ)	火災荷重(kI/m ²)	等価時間(h) [※]
■	■	0.5

※ 等価時間は、内部火災影響評価ガイドの等価時間記載の値で示す。

(2) 火災区域(区画)にある火災源機器数

火災源	機器数
電動機(3.7kW超)	-
電気盤(440V以上)	-
ケーブルトレイ(ケーブル)	-
油脂類・有機溶媒等	-
その他	-

4. 火災区域(区画)にある防火設備

火災感知の手段	主要な消火設備	消火方法	消火設備のバックアップ
煙感知器	屋内消火栓	手動	粉末消火器

5. 火災区域(区画)に隣接する火災区域(区画)と火災伝播経路

隣接火災区画への火災伝播経路の詳細は、別紙1参照

6. 火災影響を受ける火災防護対象機器等

機器名称[機器番号]	最重要設備 [※]	最重要設備以外の安全上重要な施設 [※]
-	-	-

※ ○:対象 -:非対象

* 火災想定において、工程停止等により安全機能を必要としない状態へと移行が可能なもの。

7. 火災防護対象機器等の関連ケーブル

機器名称[機器番号]	ケーブル種別	安重分類
-	-	-

8. 最重要設備の安重機能への火災影響

安重分類	全焼時の 成功パスの 有無	回路評価 等の考慮	結果	系統分離※
Pu・高レベル廃棄物の閉じ込め機能	-	-	-	-
崩壊熱除去機能(重要度の高いもの)	-	-	-	-
安全圧縮空気系(水素掃気機能)	-	-	-	-
非常用所内電源系統	-	-	-	-

※ a : 3時間以上の耐火能力を有する耐火壁で分離

b : 水平距離6mによる分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置

c : 1時間の耐火能力を有する隔壁等による分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置
再処理施設成功パスの詳細は、別紙2参照

9. 最重要設備以外の火災防護対象機器等への火災影響

機器名称[機器番号]	当該区画の火災評価※	隣接区画の火災評価※
-	-	-

※ ○:火災影響なし ×:火災影響あり

隣接する火災区画と火災伝播経路

(※ 有:伝播する 無:伝播しない)

隣接する 火災区画	火災伝播 経路有無	等価時間 (h)	耐火時間 (h)	火災伝播の 可能性 ※	備考
	無	0.5	3.0	無	
	無	0.5	3.0	無	
	無	0.5	3.0	無	
	無	0.5	3.0	無	
	無	0.5	3.0	無	
	無	0.5	3.0	無	
	無	0.5	3.0	無	
	有	0.5	0.0	有	

火災区域(区画)特性表

1. 火災区域(区画)の説明

建屋名	精製建屋
火災区域/区画区分	火災区画
火災区域/区画番号	■
火災区域/区画名称	排気フィルタユニット室
床面積(m ²)	■

2. 火災区域(区画)の火災シナリオの説明

■は、精製建屋内の火災区画である。
 本区画は、火災源となるものがないおよび安全上重要な施設が金属等の不燃材および難燃性にて構成され火災影響を受けないことから、安全機能の喪失のおそれがない。

3. 火災区域(区画)にある火災源

(1) 等価時間

発熱量(kJ)	火災荷重(kJ/m ²)	等価時間(h) [※]
■	■	0.5

※ 等価時間は、内部火災影響評価ガイドの等価時間記載の値で示す。

(2) 火災区域(区画)にある火災源機器数

火災源	機器数
電動機(3.7kW超)	-
電気盤(440V以上)	-
ケーブルトレイ(ケーブル)	-
油脂類・有機溶媒等	-
その他	-

4. 火災区域(区画)にある防火設備

火災感知の手段	主要な消火設備	消火方法	消火設備のバックアップ
煙感知器	屋内消火栓	手動	粉末消火器

5. 火災区域(区画)に隣接する火災区域(区画)と火災伝播経路

隣接火災区画への火災伝播経路の詳細は、別紙1参照

6. 火災影響を受ける火災防護対象機器等

機器名称[機器番号]	最重要設備 [※]	最重要設備以外の安全上重要な施設 [※]
-	-	-

※ ○:対象 -:非対象

* 火災想定において、工程停止等により安全機能を必要としない状態へと移行が可能なもの。

7. 火災防護対象機器等の関連ケーブル

機器名称[機器番号]	ケーブル種別	安重分類
-	-	-

8. 最重要設備の安重機能への火災影響

安重分類	全焼時の成功パスの有無	回路評価等の考慮	結果	系統分離※
Pu・高レベル廃棄物の閉じ込め機能	-	-	-	-
崩壊熱除去機能(重要度の高いもの)	-	-	-	-
安全圧縮空気系(水素掃気機能)	-	-	-	-
非常用所内電源系統	-	-	-	-

※ a : 3時間以上の耐火能力を有する耐火壁で分離

b : 水平距離6mによる分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置

c : 1時間の耐火能力を有する隔壁等による分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置
再処理施設成功パスの詳細は、別紙2参照

9. 最重要設備以外の火災防護対象機器等への火災影響

機器名称[機器番号]	当該区画の火災評価※	隣接区画の火災評価※
-	-	-

※ ○:火災影響なし ×:火災影響あり

隣接する火災区画と火災伝播経路

(※ 有:伝播する 無:伝播しない)

隣接する火災区画	火災伝播経路有無	等価時間(h)	耐火時間(h)	火災伝播の可能性※	備考
	有	0.5	0.0	有	
	有	0.5	0.0	有	
	有	0.5	0.0	有	
	無	0.5	3.0	無	
	無	0.5	3.0	無	
	有	0.5	0.0	有	
	有	0.5	0.0	有	
	無	0.5	3.0	無	
	有	0.5	0.0	有	
	無	0.5	3.0	無	
	無	0.5	3.0	無	
	有	0.5	0.0	有	
	無	0.5	3.0	無	
	無	0.5	3.0	無	
	有	0.5	0.0	有	
	有	0.5	0.0	有	
	無	0.5	3.0	無	
	無	0.5	3.0	無	
	有	0.5	0.0	有	
	有	0.5	0.0	有	
	有	0.5	0.0	有	
	有	0.5	0.0	有	
	無	0.5	3.0	無	

火災区域(区画)特性表

1. 火災区域(区画)の説明

建屋名	精製建屋
火災区域/区画区分	火災区画
火災区域/区画番号	■
火災区域/区画名称	常用計装電源室
床面積(m ²)	■

2. 火災区域(区画)の火災シナリオの説明

■は、精製建屋内の火災区画である。
 本区画は、電気盤火災または、ケーブルトレイ火災の発生の可能性があるが、安全上重要な施設が設置されていないため、安全機能の喪失のおそれはない。

3. 火災区域(区画)にある火災源

(1) 等価時間

発熱量(kJ)	火災荷重 (kJ/m ²)	等価時間(h) [※]
■	■	1.0

※ 等価時間は、内部火災影響評価ガイドの等価時間記載の値で示す。

(2) 火災区域(区画)にある火災源機器数

火災源	機器数
電動機(3.7kW超)	-
電気盤(440V以上)	2
ケーブルトレイ(ケーブル)	有
油脂類・有機溶媒等	-
その他	-

4. 火災区域(区画)にある防火設備

火災感知の手段	主要な消火設備	消火方法	消火設備のバックアップ
煙感知器	二酸化炭素消火器	手動	粉末消火器

5. 火災区域(区画)に隣接する火災区域(区画)と火災伝播経路

隣接火災区画への火災伝播経路の詳細は、別紙1参照

6. 火災影響を受ける火災防護対象機器等

機器名称[機器番号]	最重要設備 [※]	最重要設備以外の安全上重要な施設 [※]
-	-	-

※ ○:対象 -:非対象

* 火災想定において、工程停止等により安全機能を必要としない状態へと移行が可能なもの。

7. 火災防護対象機器等の関連ケーブル

機器名称[機器番号]	ケーブル種別	安重分類
-	-	-

8. 最重要設備の安重機能への火災影響

安重分類	全焼時の 成功パスの 有無	回路評価 等の考慮	結果	系統分離※
Pu・高レベル廃棄物の閉じ込め機能	-	-	-	-
崩壊熱除去機能(重要度の高いもの)	-	-	-	-
安全圧縮空気系(水素掃気機能)	-	-	-	-
非常用所内電源系統	-	-	-	-

※ a : 3時間以上の耐火能力を有する耐火壁で分離

b : 水平距離6mによる分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置

c : 1時間の耐火能力を有する隔壁等による分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置
再処理施設成功パスの詳細は、別紙2参照

9. 最重要設備以外の火災防護対象機器等への火災影響

機器名称[機器番号]	当該区画の火災評価※	隣接区画の火災評価※
-	-	-

※ ○:火災影響なし ×:火災影響あり

隣接する火災区画と火災伝播経路

(※ 有:伝播する 無:伝播しない)

隣接する 火災区画	火災伝播 経路有無	等価時間 (h)	耐火時間 (h)	火災伝播の 可能性 ※	備考
	有	1.0	0.0	有	
	無	1.0	3.0	無	
	無	1.0	1.0	無	
	有	1.0	0.0	有	
	無	1.0	3.0	無	
	無	1.0	3.0	無	
	有	1.0	0.0	有	

火災区域(区画)特性表

1. 火災区域(区画)の説明

建屋名	精製建屋
火災区域/区画区分	火災区画
火災区域/区画番号	■
火災区域/区画名称	ユーティリティ弁第2室
床面積(m ²)	■

2. 火災区域(区画)の火災シナリオの説明

■は、精製建屋内の火災区画である。
 本区画は、火災源となるものがないため、安全上重要な施設のA/B系の設備(6.火災影響を受ける火災防護対象機器等 参照)の安全機能を喪失させるおそれのある想定火災はない。

3. 火災区域(区画)にある火災源

(1) 等価時間

発熱量(kJ)	火災荷重(kJ/m ²)	等価時間(h) [※]
0	0	0.0

※ 等価時間は、内部火災影響評価ガイドの等価時間記載の値で示す。

(2) 火災区域(区画)にある火災源機器数

火災源	機器数
電動機(3.7kW超)	-
電気盤(440V以上)	-
ケーブルトレイ(ケーブル)	-
油脂類・有機溶媒等	-
その他	-

4. 火災区域(区画)にある防火設備

火災感知の手段	主要な消火設備	消火方法	消火設備のバックアップ
煙感知器	屋内消火栓	手動	粉末消火器

5. 火災区域(区画)に隣接する火災区域(区画)と火災伝播経路

隣接火災区画への火災伝播経路の詳細は、別紙1参照

6. 火災影響を受ける火災防護対象機器等

機器名称[機器番号]	最重要設備 [※]	最重要設備以外の安全上重要な施設 [※]
蒸気発生器加熱しや断弁 ■	-	○*
蒸気発生器加熱蒸気しや断弁 ■	-	○*

※ ○:対象 -:非対象

* 火災想定において、工程停止等により安全機能を必要としない状態へと移行が可能なもの。

7. 火災防護対象機器等の関連ケーブル

機器名称[機器番号]	ケーブル種別	安重分類
-	-	-

8. 最重要設備の安重機能への火災影響

安重分類	全焼時の成功パスの有無	回路評価等の考慮	結果	系統分離※
Pu・高レベル廃棄物の閉じ込め機能	-	-	-	-
崩壊熱除去機能(重要度の高いもの)	-	-	-	-
安全圧縮空気系(水素掃気機能)	-	-	-	-
非常用所内電源系統	-	-	-	-

※ a : 3時間以上の耐火能力を有する耐火壁で分離

b : 水平距離6mによる分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置

c : 1時間の耐火能力を有する隔壁等による分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置
再処理施設成功パスの詳細は、別紙2参照

9. 最重要設備以外の火災防護対象機器等への火災影響

機器名称[機器番号]	当該区画の火災評価※	隣接区画の火災評価※
-	-	-

※ ○:火災影響なし ×:火災影響あり

隣接する火災区画と火災伝播経路

(※ 有:伝播する 無:伝播しない)

隣接する 火災区画	火災伝播 経路有無	等価時間 (h)	耐火時間 (h)	火災伝播の 可能性 ※	備考
	無	0.0	3.0	無	
	無	0.0	3.0	無	
	無	0.0	3.0	無	
	無	0.0	3.0	無	
	無	0.0	3.0	無	

火災区域(区画)特性表

1. 火災区域(区画)の説明

建屋名	精製建屋
火災区域/区画区分	火災区画
火災区域/区画番号	■
火災区域/区画名称	試薬分配第5室
床面積(m ²)	■

2. 火災区域(区画)の火災シナリオの説明

■は、精製建屋内の火災区画である。
 本区画は、火災源となるものがないおよび安全上重要な施設が設置されていないため、安全機能の喪失のおそれはない。

3. 火災区域(区画)にある火災源

(1) 等価時間

発熱量(kJ)	火災荷重 (kJ/m ²)	等価時間(h) [※]
■	■	0.0

※ 等価時間は、内部火災影響評価ガイドの等価時間記載の値で示す。

(2) 火災区域(区画)にある火災源機器数

火災源	機器数
電動機(3.7kW超)	-
電気盤(440V以上)	-
ケーブルトレイ(ケーブル)	-
油脂類・有機溶媒等	-
その他	-

4. 火災区域(区画)にある防火設備

火災感知の手段	主要な消火設備	消火方法	消火設備のバックアップ
煙感知器	屋内消火栓	手動	粉末消火器

5. 火災区域(区画)に隣接する火災区域(区画)と火災伝播経路 隣接火災区画への火災伝播経路の詳細は、別紙1参照

6. 火災影響を受ける火災防護対象機器等

機器名称[機器番号]	最重要設備 [※]	最重要設備以外の安全上重要な施設 [※]
-	-	-

※ ○:対象 -:非対象

* 火災想定において、工程停止等により安全機能を必要としない状態へと移行が可能なもの。

7. 火災防護対象機器等の関連ケーブル

機器名称[機器番号]	ケーブル種別	安重分類
-	-	-

8. 最重要設備の安重機能への火災影響

安重分類	全焼時の成功パスの有無	回路評価等の考慮	結果	系統分離※
Pu・高レベル廃棄物の閉じ込め機能	-	-	-	-
崩壊熱除去機能(重要度の高いもの)	-	-	-	-
安全圧縮空気系(水素掃気機能)	-	-	-	-
非常用所内電源系統	-	-	-	-

※ a : 3時間以上の耐火能力を有する耐火壁で分離

b : 水平距離6mによる分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置

c : 1時間の耐火能力を有する隔壁等による分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置
再処理施設成功パスの詳細は、別紙2参照

9. 最重要設備以外の火災防護対象機器等への火災影響

機器名称[機器番号]	当該区画の火災評価※	隣接区画の火災評価※
-	-	-

※ ○:火災影響なし ×:火災影響あり

隣接する火災区画と火災伝播経路

(※ 有:伝播する 無:伝播しない)

隣接する 火災区画	火災伝播 経路有無	等価時間 (h)	耐火時間 (h)	火災伝播の 可能性 ※	備考
[Redacted]	無	0.0	3.0	無	
	有	0.0	0.0	無	
	有	0.0	0.0	無	
	有	0.0	0.0	無	
	有	0.0	0.0	無	
	無	0.0	3.0	無	

火災区域(区画)特性表

1. 火災区域(区画)の説明

建屋名	精製建屋
火災区域/区画区分	火災区画
火災区域/区画番号	■
火災区域/区画名称	試薬分配第6室
床面積(m ²)	■

2. 火災区域(区画)の火災シナリオの説明

■は、精製建屋内の火災区画である。
 本区画は、火災源となるものがないおよび安全上重要な施設が設置されていないため、安全機能の喪失のおそれはない。

3. 火災区域(区画)にある火災源

(1) 等価時間

発熱量(kJ)	火災荷重 (kJ/m ²)	等価時間(h) [※]
■	■	0.5

※ 等価時間は、内部火災影響評価ガイドの等価時間記載の値で示す。

(2) 火災区域(区画)にある火災源機器数

火災源	機器数
電動機(3.7kW超)	-
電気盤(440V以上)	-
ケーブルトレイ(ケーブル)	-
油脂類・有機溶媒等	-
その他	-

4. 火災区域(区画)にある防火設備

火災感知の手段	主要な消火設備	消火方法	消火設備のバックアップ
煙感知器	屋内消火栓	手動	粉末消火器

5. 火災区域(区画)に隣接する火災区域(区画)と火災伝播経路

隣接火災区画への火災伝播経路の詳細は、別紙1参照

6. 火災影響を受ける火災防護対象機器等

機器名称[機器番号]	最重要設備 [※]	最重要設備以外の安全上重要な施設 [※]
-	-	-

※ ○:対象 -:非対象

* 火災想定において、工程停止等により安全機能を必要としない状態へと移行が可能なもの。

7. 火災防護対象機器等の関連ケーブル

機器名称[機器番号]	ケーブル種別	安重分類
-	-	-

8. 最重要設備の安重機能への火災影響

安重分類	全焼時の成功パスの有無	回路評価等の考慮	結果	系統分離※
Pu・高レベル廃棄物の閉じ込め機能	-	-	-	-
崩壊熱除去機能(重要度の高いもの)	-	-	-	-
安全圧縮空気系(水素掃気機能)	-	-	-	-
非常用所内電源系統	-	-	-	-

※ a : 3時間以上の耐火能力を有する耐火壁で分離

b : 水平距離6mによる分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置

c : 1時間の耐火能力を有する隔壁等による分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置
再処理施設成功パスの詳細は、別紙2参照

9. 最重要設備以外の火災防護対象機器等への火災影響

機器名称[機器番号]	当該区画の火災評価※	隣接区画の火災評価※
-	-	-

※ ○:火災影響なし ×:火災影響あり

隣接する火災区画と火災伝播経路

(※ 有:伝播する 無:伝播しない)

隣接する 火災区画	火災伝播 経路有無	等価時間 (h)	耐火時間 (h)	火災伝播の 可能性 ※	備考
	無	0.5	3.0	無	
	無	0.5	3.0	無	
	有	0.5	0.0	有	
	有	0.5	0.0	有	
	有	0.5	0.0	有	
	有	0.5	0.0	有	
	有	0.5	0.0	有	
	有	0.5	0.0	有	
	有	0.5	0.0	有	
	無	0.5	3.0	無	
	無	0.5	3.0	無	

火災区域(区画)特性表

1. 火災区域(区画)の説明

建屋名	精製建屋
火災区域/区画区分	火災区画
火災区域/区画番号	■
火災区域/区画名称	溶媒蒸留塔室
床面積(m ²)	■

2. 火災区域(区画)の火災シナリオの説明

■は、精製建屋内の火災区画である。
 本区画は、火災源となるものがないおよび安全上重要な施設が設置されていないため、安全機能の喪失のおそれはない。

3. 火災区域(区画)にある火災源

(1) 等価時間

発熱量(kJ)	火災荷重 (kJ/m ²)	等価時間(h) [※]
■	■	8.0

※ 等価時間は、内部火災影響評価ガイドの等価時間記載の値で示す。

(2) 火災区域(区画)にある火災源機器数

火災源	機器数
電動機(3.7kW超)	-
電気盤(440V以上)	-
ケーブルトレイ(ケーブル)	-
油脂類・有機溶媒等	-
その他	-

4. 火災区域(区画)にある防火設備

火災感知の手段	主要な消火設備	消火方法	消火設備のバックアップ
煙感知器	屋内消火栓	手動	粉末消火器

5. 火災区域(区画)に隣接する火災区域(区画)と火災伝播経路

隣接火災区画への火災伝播経路の詳細は、別紙1参照

6. 火災影響を受ける火災防護対象機器等

機器名称[機器番号]	最重要設備 [※]	最重要設備以外の安全上重要な施設 [※]
-	-	-

※ ○:対象 -:非対象

* 火災想定において、工程停止等により安全機能を必要としない状態へと移行が可能なもの。

7. 火災防護対象機器等の関連ケーブル

機器名称[機器番号]	ケーブル種別	安重分類
-	-	-

8. 最重要設備の安重機能への火災影響

安重分類	全焼時の成功パスの有無	回路評価等の考慮	結果	系統分離※
Pu・高レベル廃棄物の閉じ込め機能	-	-	-	-
崩壊熱除去機能(重要度の高いもの)	-	-	-	-
安全圧縮空気系(水素掃気機能)	-	-	-	-
非常用所内電源系統	-	-	-	-

※ a : 3時間以上の耐火能力を有する耐火壁で分離

b : 水平距離6mによる分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置

c : 1時間の耐火能力を有する隔壁等による分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置
再処理施設成功パスの詳細は、別紙2参照

9. 最重要設備以外の火災防護対象機器等への火災影響

機器名称[機器番号]	当該区画の火災評価※	隣接区画の火災評価※
-	-	-

※ ○:火災影響なし ×:火災影響あり

隣接する火災区画と火災伝播経路

(※ 有:伝播する 無:伝播しない)

隣接する火災区画	火災伝播経路有無	等価時間(h)	耐火時間(h)	火災伝播の可能性※	備考
	無	3.0超	3.0	有	
	有	3.0超	0.0	有	
	有	3.0超	0.0	有	
	有	3.0超	0.0	有	
	有	3.0超	0.0	有	
	無	3.0超	3.0	有	
	有	3.0超	0.0	有	
	有	3.0超	0.0	有	
	無	3.0超	3.0	有	
	無	3.0超	3.0	有	
	無	3.0超	3.0	有	
	有	3.0超	0.0	有	
	無	3.0超	3.0	有	
	有	3.0超	0.0	有	

火災区域(区画)特性表

1. 火災区域(区画)の説明

建屋名	精製建屋
火災区域/区画区分	火災区画
火災区域/区画番号	■
火災区域/区画名称	蒸気分配第6室
床面積(m ²)	■

2. 火災区域(区画)の火災シナリオの説明

■は、精製建屋内の火災区画である。
 本区画は、火災源となるものがないおよび安全上重要な施設が設置されていないため、安全機能の喪失のおそれはない。

3. 火災区域(区画)にある火災源

(1) 等価時間

発熱量(kJ)	火災荷重 (kJ/m ²)	等価時間(h) [※]
■	■	0.0

※ 等価時間は、内部火災影響評価ガイドの等価時間記載の値で示す。

(2) 火災区域(区画)にある火災源機器数

火災源	機器数
電動機(3.7kW超)	-
電気盤(440V以上)	-
ケーブルトレイ(ケーブル)	-
油脂類・有機溶媒等	-
その他	-

4. 火災区域(区画)にある防火設備

火災感知の手段	主要な消火設備	消火方法	消火設備のバックアップ
煙感知器	屋内消火栓	手動	粉末消火器

5. 火災区域(区画)に隣接する火災区域(区画)と火災伝播経路

隣接火災区画への火災伝播経路の詳細は、別紙1参照

6. 火災影響を受ける火災防護対象機器等

機器名称[機器番号]	最重要設備 [※]	最重要設備以外の安全上重要な施設 [※]
-	-	-

※ ○:対象 -:非対象

* 火災想定において、工程停止等により安全機能を必要としない状態へと移行が可能なもの。

7. 火災防護対象機器等の関連ケーブル

機器名称[機器番号]	ケーブル種別	安重分類
-	-	-

8. 最重要設備の安重機能への火災影響

安重分類	全焼時の成功パスの有無	回路評価等の考慮	結果	系統分離※
Pu・高レベル廃棄物の閉じ込め機能	-	-	-	-
崩壊熱除去機能(重要度の高いもの)	-	-	-	-
安全圧縮空気系(水素掃気機能)	-	-	-	-
非常用所内電源系統	-	-	-	-

※ a : 3時間以上の耐火能力を有する耐火壁で分離

b : 水平距離6mによる分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置

c : 1時間の耐火能力を有する隔壁等による分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置
再処理施設成功パスの詳細は、別紙2参照

9. 最重要設備以外の火災防護対象機器等への火災影響

機器名称[機器番号]	当該区画の火災評価※	隣接区画の火災評価※
-	-	-

※ ○:火災影響なし ×:火災影響あり

隣接する火災区画と火災伝播経路

(※ 有:伝播する 無:伝播しない)

隣接する 火災区画	火災伝播 経路有無	等価時間 (h)	耐火時間 (h)	火災伝播の 可能性 ※	備考
	無	0.0	3.0	無	
	有	0.0	0.0	無	
	無	0.0	3.0	無	
	有	0.0	0.0	無	
	有	0.0	0.0	無	
	無	0.0	1.0	無	
	有	0.0	0.0	無	
	有	0.0	0.0	無	
	有	0.0	0.0	無	
	無	0.0	1.0	無	
	無	0.0	3.0	無	
	無	0.0	1.0	無	
	無	0.0	3.0	無	

火災区域(区画)特性表

1. 火災区域(区画)の説明

建屋名	精製建屋
火災区域/区画区分	火災区画
火災区域/区画番号	■
火災区域/区画名称	エアロック第2室
床面積(m ²)	■

2. 火災区域(区画)の火災シナリオの説明

■は、精製建屋内の火災区画である。
 本区画は、電動機絶縁物火災、滑油漏えい火災、電気盤火災または、ケーブルトレイ火災の発生可能性があるが、安全上重要な施設が設置されていないため、安全機能の喪失のおそれはない。

3. 火災区域(区画)にある火災源

(1) 等価時間

発熱量(kJ)	火災荷重 (kJ/m ²)	等価時間(h) [※]
■	■	0.5

※ 等価時間は、内部火災影響評価ガイドの等価時間記載の値で示す。

(2) 火災区域(区画)にある火災源機器数

火災源	機器数
電動機(3.7kW超)	1
電気盤(440V以上)	1
ケーブルトレイ(ケーブル)	有
油脂類・有機溶媒等	有
その他	-

4. 火災区域(区画)にある防火設備

火災感知の手段	主要な消火設備	消火方法	消火設備のバックアップ
煙感知器	屋内消火栓	手動	粉末消火器

5. 火災区域(区画)に隣接する火災区域(区画)と火災伝播経路

隣接火災区画への火災伝播経路の詳細は、別紙1参照

6. 火災影響を受ける火災防護対象機器等

機器名称[機器番号]	最重要設備 [※]	最重要設備以外の安全上重要な施設 [※]
-	-	-

※ ○:対象 -:非対象

* 火災想定において、工程停止等により安全機能を必要としない状態へと移行が可能なもの。

7. 火災防護対象機器等の関連ケーブル

機器名称[機器番号]	ケーブル種別	安重分類
-	-	-

8. 最重要設備の安重機能への火災影響

安重分類	全焼時の成功パスの有無	回路評価等の考慮	結果	系統分離※
Pu・高レベル廃棄物の閉じ込め機能	-	-	-	-
崩壊熱除去機能(重要度の高いもの)	-	-	-	-
安全圧縮空気系(水素掃気機能)	-	-	-	-
非常用所内電源系統	-	-	-	-

※ a : 3時間以上の耐火能力を有する耐火壁で分離

b : 水平距離6mによる分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置

c : 1時間の耐火能力を有する隔壁等による分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置
再処理施設成功パスの詳細は、別紙2参照

9. 最重要設備以外の火災防護対象機器等への火災影響

機器名称[機器番号]	当該区画の火災評価※	隣接区画の火災評価※
-	-	-

※ ○:火災影響なし ×:火災影響あり

隣接する火災区画と火災伝播経路

(※ 有:伝播する 無:伝播しない)

隣接する 火災区画	火災伝播 経路有無	等価時間 (h)	耐火時間 (h)	火災伝播の 可能性 ※	備考
	有	0.5	0.0	有	
	有	0.5	0.0	有	
	有	0.5	0.0	有	
	有	0.5	0.0	有	
	無	0.5	3.0	無	
	有	0.5	0.0	有	
	無	0.5	3.0	無	
	無	0.5	3.0	無	
	有	0.5	0.0	有	
	無	0.5	1.0	無	
	無	0.5	1.0	無	

火災区域(区画)特性表

1. 火災区域(区画)の説明

建屋名	精製建屋
火災区域/区画区分	火災区画
火災区域/区画番号	■
火災区域/区画名称	常用蓄電池室
床面積(m ²)	■

2. 火災区域(区画)の火災シナリオの説明

■は、精製建屋内の火災区画である。
 本区画は、ケーブルトレイ火災の発生可能性があるが、安全上重要な施設が設置されていないため、安全機能の喪失のおそれはない。

3. 火災区域(区画)にある火災源

(1) 等価時間

発熱量(kJ)	火災荷重(kI/m ²)	等価時間(h) [※]
■	■	4.5

※ 等価時間は、内部火災影響評価ガイドの等価時間記載の値で示す。

(2) 火災区域(区画)にある火災源機器数

火災源	機器数
電動機(3.7kW超)	-
電気盤(440V以上)	-
ケーブルトレイ(ケーブル)	有
油脂類・有機溶媒等	-
その他	-

4. 火災区域(区画)にある防火設備

火災感知の手段	主要な消火設備	消火方法	消火設備のバックアップ
熱感知器	二酸化炭素消火器	手動	粉末消火器

5. 火災区域(区画)に隣接する火災区域(区画)と火災伝播経路

隣接火災区画への火災伝播経路の詳細は、別紙1参照

6. 火災影響を受ける火災防護対象機器等

機器名称[機器番号]	最重要設備 [※]	最重要設備以外の安全上重要な施設 [※]
-	-	-

※ ○:対象 -:非対象

* 火災想定において、工程停止等により安全機能を必要としない状態へと移行が可能なもの。

7. 火災防護対象機器等の関連ケーブル

機器名称[機器番号]	ケーブル種別	安重分類
-	-	-

8. 最重要設備の安重機能への火災影響

安重分類	全焼時の成功パスの有無	回路評価等の考慮	結果	系統分離※
Pu・高レベル廃棄物の閉じ込め機能	-	-	-	-
崩壊熱除去機能(重要度の高いもの)	-	-	-	-
安全圧縮空気系(水素掃気機能)	-	-	-	-
非常用所内電源系統	-	-	-	-

※ a : 3時間以上の耐火能力を有する耐火壁で分離

b : 水平距離6mによる分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置

c : 1時間の耐火能力を有する隔壁等による分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置
再処理施設成功パスの詳細は、別紙2参照

9. 最重要設備以外の火災防護対象機器等への火災影響

機器名称[機器番号]	当該区画の火災評価※	隣接区画の火災評価※
-	-	-

※ ○:火災影響なし ×:火災影響あり

隣接する火災区画と火災伝播経路

(※ 有:伝播する 無:伝播しない)

隣接する 火災区画	火災伝播 経路有無	等価時間 (h)	耐火時間 (h)	火災伝播の 可能性 ※	備考
	有	3.0超	0.0	有	
	有	3.0超	0.0	有	
	無	3.0超	3.0	有	
	有	3.0超	0.0	有	
	無	3.0超	1.0	有	
	無	3.0超	3.0	有	
	無	3.0超	1.0	有	
	無	3.0超	1.0	有	

火災区域(区画)特性表

1. 火災区域(区画)の説明

建屋名	精製建屋
火災区域/区画区分	火災区画
火災区域/区画番号	■
火災区域/区画名称	第16サブチェンジングルーム
床面積(m ²)	■

2. 火災区域(区画)の火災シナリオの説明

■は、精製建屋内の火災区画である。
 本区画は、電気盤火災または、ケーブルトレイ火災の発生の可能性があるが、安全上重要な施設が設置されていないため、安全機能の喪失のおそれはない。

3. 火災区域(区画)にある火災源

(1) 等価時間

発熱量(kJ)	火災荷重 (kJ/m ²)	等価時間(h) [※]
■	■	1.0

※ 等価時間は、内部火災影響評価ガイドの等価時間記載の値で示す。

(2) 火災区域(区画)にある火災源機器数

火災源	機器数
電動機(3.7kW超)	-
電気盤(440V以上)	1
ケーブルトレイ(ケーブル)	有
油脂類・有機溶媒等	-
その他	-

4. 火災区域(区画)にある防火設備

火災感知の手段	主要な消火設備	消火方法	消火設備のバックアップ
煙感知器	屋内消火栓	手動	粉末消火器

5. 火災区域(区画)に隣接する火災区域(区画)と火災伝播経路

隣接火災区画への火災伝播経路の詳細は、別紙1参照

6. 火災影響を受ける火災防護対象機器等

機器名称[機器番号]	最重要設備 [※]	最重要設備以外の安全上重要な施設 [※]
-	-	-

※ ○:対象 -:非対象

* 火災想定において、工程停止等により安全機能を必要としない状態へと移行が可能なもの。

7. 火災防護対象機器等の関連ケーブル

機器名称[機器番号]	ケーブル種別	安重分類
-	-	-

8. 最重要設備の安重機能への火災影響

安重分類	全焼時の成功パスの有無	回路評価等の考慮	結果	系統分離※
Pu・高レベル廃棄物の閉じ込め機能	-	-	-	-
崩壊熱除去機能(重要度の高いもの)	-	-	-	-
安全圧縮空気系(水素掃気機能)	-	-	-	-
非常用所内電源系統	-	-	-	-

※ a : 3時間以上の耐火能力を有する耐火壁で分離

b : 水平距離6mによる分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置

c : 1時間の耐火能力を有する隔壁等による分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置
再処理施設成功パスの詳細は、別紙2参照

9. 最重要設備以外の火災防護対象機器等への火災影響

機器名称[機器番号]	当該区画の火災評価※	隣接区画の火災評価※
-	-	-

※ ○:火災影響なし ×:火災影響あり

隣接する火災区画と火災伝播経路

(※ 有:伝播する 無:伝播しない)

隣接する 火災区画	火災伝播 経路有無	等価時間 (h)	耐火時間 (h)	火災伝播の 可能性 ※	備考
	有	1.0	0.0	有	
	無	1.0	3.0	無	
	有	1.0	0.0	有	
	有	1.0	0.0	有	
	有	1.0	0.0	有	
	有	1.0	0.0	有	

火災区域(区画)特性表

1. 火災区域(区画)の説明

建屋名	精製建屋
火災区域/区画区分	火災区画
火災区域/区画番号	■
火災区域/区画名称	計装ラック第4室
床面積(m ²)	■

2. 火災区域(区画)の火災シナリオの説明

■は、精製建屋内の火災区画である。
 本区画は、ケーブルトレイ火災の発生可能性があるが、安全上重要な施設が設置されていないため、安全機能の喪失のおそれはない。

3. 火災区域(区画)にある火災源

(1) 等価時間

発熱量(kJ)	火災荷重(kJ/m ²)	等価時間(h) [※]
■	■	0.5

※ 等価時間は、内部火災影響評価ガイドの等価時間記載の値で示す。

(2) 火災区域(区画)にある火災源機器数

火災源	機器数
電動機(3.7kW超)	-
電気盤(440V以上)	-
ケーブルトレイ(ケーブル)	有
油脂類・有機溶媒等	-
その他	-

4. 火災区域(区画)にある防火設備

火災感知の手段	主要な消火設備	消火方法	消火設備のバックアップ
煙感知器	屋内消火栓	手動	粉末消火器

5. 火災区域(区画)に隣接する火災区域(区画)と火災伝播経路

隣接火災区画への火災伝播経路の詳細は、別紙1参照

6. 火災影響を受ける火災防護対象機器等

機器名称[機器番号]	最重要設備 [※]	最重要設備以外の安全上重要な施設 [※]
-	-	-

※ ○:対象 -:非対象

* 火災想定において、工程停止等により安全機能を必要としない状態へと移行が可能なもの。

7. 火災防護対象機器等の関連ケーブル

機器名称[機器番号]	ケーブル種別	安重分類
-	-	-

8. 最重要設備の安重機能への火災影響

安重分類	全焼時の成功パスの有無	回路評価等の考慮	結果	系統分離※
Pu・高レベル廃棄物の閉じ込め機能	-	-	-	-
崩壊熱除去機能(重要度の高いもの)	-	-	-	-
安全圧縮空気系(水素掃気機能)	-	-	-	-
非常用所内電源系統	-	-	-	-

※ a : 3時間以上の耐火能力を有する耐火壁で分離

b : 水平距離6mによる分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置

c : 1時間の耐火能力を有する隔壁等による分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置
再処理施設成功パスの詳細は、別紙2参照

9. 最重要設備以外の火災防護対象機器等への火災影響

機器名称[機器番号]	当該区画の火災評価※	隣接区画の火災評価※
-	-	-

※ ○:火災影響なし ×:火災影響あり

隣接する火災区画と火災伝播経路

(※ 有:伝播する 無:伝播しない)

隣接する 火災区画	火災伝播 経路有無	等価時間 (h)	耐火時間 (h)	火災伝播の 可能性 ※	備考
	有	0.5	0.0	有	
	有	0.5	0.0	有	
	有	0.5	0.0	有	
	無	0.5	3.0	無	
	有	0.5	0.0	有	
	有	0.5	0.0	有	
	無	0.5	3.0	無	
	有	0.5	0.0	有	
	有	0.5	0.0	有	

火災区域(区画)特性表

1. 火災区域(区画)の説明

建屋名	精製建屋
火災区域/区画区分	火災区画
火災区域/区画番号	■
火災区域/区画名称	ウラン系サンプリングベンチ第4保守室
床面積(m ²)	■

2. 火災区域(区画)の火災シナリオの説明

■は、精製建屋内の火災区画である。
 本区画は、電気盤火災の発生可能性があるが、安全上重要な施設が設置されていないため、安全機能の喪失のおそれはない。

3. 火災区域(区画)にある火災源

(1) 等価時間

発熱量(kJ)	火災荷重 (kJ/m ²)	等価時間(h) [※]
■	■	0.5

※ 等価時間は、内部火災影響評価ガイドの等価時間記載の値で示す。

(2) 火災区域(区画)にある火災源機器数

火災源	機器数
電動機(3.7kW超)	-
電気盤(440V以上)	1
ケーブルトレイ(ケーブル)	-
油脂類・有機溶媒等	-
その他	-

4. 火災区域(区画)にある防火設備

火災感知の手段	主要な消火設備	消火方法	消火設備のバックアップ
煙感知器	屋内消火栓	手動	粉末消火器

5. 火災区域(区画)に隣接する火災区域(区画)と火災伝播経路

隣接火災区画への火災伝播経路の詳細は、別紙1参照

6. 火災影響を受ける火災防護対象機器等

機器名称[機器番号]	最重要設備 [※]	最重要設備以外の安全上重要な施設 [※]
-	-	-

※ ○:対象 -:非対象

* 火災想定において、工程停止等により安全機能を必要としない状態へと移行が可能なもの。

7. 火災防護対象機器等の関連ケーブル

機器名称[機器番号]	ケーブル種別	安重分類
-	-	-

8. 最重要設備の安重機能への火災影響

安重分類	全焼時の成功パスの有無	回路評価等の考慮	結果	系統分離※
Pu・高レベル廃棄物の閉じ込め機能	-	-	-	-
崩壊熱除去機能(重要度の高いもの)	-	-	-	-
安全圧縮空気系(水素掃気機能)	-	-	-	-
非常用所内電源系統	-	-	-	-

※ a : 3時間以上の耐火能力を有する耐火壁で分離

b : 水平距離6mによる分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置

c : 1時間の耐火能力を有する隔壁等による分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置
再処理施設成功パスの詳細は、別紙2参照

9. 最重要設備以外の火災防護対象機器等への火災影響

機器名称[機器番号]	当該区画の火災評価※	隣接区画の火災評価※
-	-	-

※ ○:火災影響なし ×:火災影響あり

隣接する火災区画と火災伝播経路

(※ 有:伝播する 無:伝播しない)

隣接する 火災区画	火災伝播 経路有無	等価時間 (h)	耐火時間 (h)	火災伝播の 可能性 ※	備考
	無	0.5	3.0	無	
	有	0.5	0.0	有	
	有	0.5	0.0	有	
	無	0.5	3.0	無	
	無	0.5	3.0	無	
	有	0.5	0.0	有	
	有	0.5	0.0	有	
	有	0.5	0.0	有	
	有	0.5	0.0	有	
	有	0.5	0.0	有	
	無	0.5	3.0	無	

火災区域(区画)特性表

1. 火災区域(区画)の説明

建屋名	精製建屋
火災区域/区画区分	火災区画
火災区域/区画番号	■
火災区域/区画名称	試薬分配第7室
床面積(m ²)	■

2. 火災区域(区画)の火災シナリオの説明

■は、精製建屋内の火災区画である。
 本区画は、火災源となるものがないおよび安全上重要な施設が設置されていないため、安全機能の喪失のおそれはない。

3. 火災区域(区画)にある火災源

(1) 等価時間

発熱量(kJ)	火災荷重 (kJ/m ²)	等価時間(h) [※]
■	■	0.5

※ 等価時間は、内部火災影響評価ガイドの等価時間記載の値で示す。

(2) 火災区域(区画)にある火災源機器数

火災源	機器数
電動機(3.7kW超)	-
電気盤(440V以上)	-
ケーブルトレイ(ケーブル)	-
油脂類・有機溶媒等	-
その他	-

4. 火災区域(区画)にある防火設備

火災感知の手段	主要な消火設備	消火方法	消火設備のバックアップ
煙感知器	屋内消火栓	手動	粉末消火器

5. 火災区域(区画)に隣接する火災区域(区画)と火災伝播経路

隣接火災区画への火災伝播経路の詳細は、別紙1参照

6. 火災影響を受ける火災防護対象機器等

機器名称[機器番号]	最重要設備 [※]	最重要設備以外の安全上重要な施設 [※]
-	-	-

※ ○:対象 -:非対象

* 火災想定において、工程停止等により安全機能を必要としない状態へと移行が可能なもの。

7. 火災防護対象機器等の関連ケーブル

機器名称[機器番号]	ケーブル種別	安重分類
-	-	-

8. 最重要設備の安重機能への火災影響

安重分類	全焼時の 成功パスの 有無	回路評価 等の考慮	結果	系統分離※
Pu・高レベル廃棄物の閉じ込め機能	-	-	-	-
崩壊熱除去機能(重要度の高いもの)	-	-	-	-
安全圧縮空気系(水素掃気機能)	-	-	-	-
非常用所内電源系統	-	-	-	-

※ a : 3時間以上の耐火能力を有する耐火壁で分離

b : 水平距離6mによる分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置

c : 1時間の耐火能力を有する隔壁等による分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置
再処理施設成功パスの詳細は、別紙2参照

9. 最重要設備以外の火災防護対象機器等への火災影響

機器名称[機器番号]	当該区画の火災評価※	隣接区画の火災評価※
-	-	-

※ ○:火災影響なし ×:火災影響あり

隣接する火災区画と火災伝播経路

(※ 有:伝播する 無:伝播しない)

隣接する 火災区画	火災伝播 経路有無	等価時間 (h)	耐火時間 (h)	火災伝播の 可能性 ※	備考
	有	0.5	0.0	有	
	無	0.5	3.0	無	
	無	0.5	3.0	無	
	有	0.5	0.0	有	
	有	0.5	0.0	有	
	有	0.5	0.0	有	
	有	0.5	0.0	有	
	有	0.5	0.0	有	

火災区域(区画)特性表

1. 火災区域(区画)の説明

建屋名	精製建屋
火災区域/区画区分	火災区画
火災区域/区画番号	■
火災区域/区画名称	排気モニタ室
床面積(m ²)	■

2. 火災区域(区画)の火災シナリオの説明

■は、精製建屋内の火災区画である。
 本区画は、電気盤火災の発生可能性があるが、安全上重要な施設が設置されていないため、安全機能の喪失のおそれはない。

3. 火災区域(区画)にある火災源

(1) 等価時間

発熱量(kJ)	火災荷重 (kJ/m ²)	等価時間(h) [※]
■	■	0.5

※ 等価時間は、内部火災影響評価ガイドの等価時間記載の値で示す。

(2) 火災区域(区画)にある火災源機器数

火災源	機器数
電動機(3.7kW超)	-
電気盤(440V以上)	1
ケーブルトレイ(ケーブル)	-
油脂類・有機溶媒等	-
その他	-

4. 火災区域(区画)にある防火設備

火災感知の手段	主要な消火設備	消火方法	消火設備のバックアップ
煙感知器	屋内消火栓	手動	粉末消火器

5. 火災区域(区画)に隣接する火災区域(区画)と火災伝播経路

隣接火災区画への火災伝播経路の詳細は、別紙1参照

6. 火災影響を受ける火災防護対象機器等

機器名称[機器番号]	最重要設備 [※]	最重要設備以外の安全上重要な施設 [※]
-	-	-

※ ○:対象 -:非対象

* 火災想定において、工程停止等により安全機能を必要としない状態へと移行が可能なもの。

7. 火災防護対象機器等の関連ケーブル

機器名称[機器番号]	ケーブル種別	安重分類
-	-	-

8. 最重要設備の安重機能への火災影響

安重分類	全焼時の 成功パスの 有無	回路評価 等の考慮	結果	系統分離※
Pu・高レベル廃棄物の閉じ込め機能	-	-	-	-
崩壊熱除去機能(重要度の高いもの)	-	-	-	-
安全圧縮空気系(水素掃気機能)	-	-	-	-
非常用所内電源系統	-	-	-	-

※ a : 3時間以上の耐火能力を有する耐火壁で分離

b : 水平距離6mによる分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置

c : 1時間の耐火能力を有する隔壁等による分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置
再処理施設成功パスの詳細は、別紙2参照

9. 最重要設備以外の火災防護対象機器等への火災影響

機器名称[機器番号]	当該区画の火災評価※	隣接区画の火災評価※
-	-	-

※ ○:火災影響なし ×:火災影響あり

隣接する火災区画と火災伝播経路

(※ 有:伝播する 無:伝播しない)

隣接する 火災区画	火災伝播 経路有無	等価時間 (h)	耐火時間 (h)	火災伝播の 可能性 ※	備考
[Redacted]	無	0.5	3.0	無	
	無	0.5	3.0	無	
	有	0.5	0.0	有	
	有	0.5	0.0	有	
	有	0.5	0.0	有	
	有	0.5	0.0	有	

火災区域(区画)特性表

1. 火災区域(区画)の説明

建屋名	精製建屋
火災区域/区画区分	火災区域
火災区域/区画番号	AC-12/
火災区域/区画名称	非常用A蓄電池室
床面積(m ²)	

2. 火災区域(区画)の火災シナリオの説明

AC-12は、精製建屋内の火災区域である。
 本区画の火災源は、蓄電池である。
 したがって、本区画の想定火災としては、蓄電池火災により安全上重要な施設のA系の設備(6.火災影響を受ける火災防護対象機器等 参照)が火災影響を受け、安全機能が喪失するおそれがあるが、多重化された安全上重要な施設の片系のみの機能喪失であるため、安全機能が完全に喪失することはない。

3. 火災区域(区画)にある火災源

(1) 等価時間

発熱量(kJ)	火災荷重(kJ/m ²)	等価時間(h) [※]
		3.0

※ 等価時間は、内部火災影響評価ガイドの等価時間記載の値で示す。

(2) 火災区域(区画)にある火災源機器数

火災源	機器数
電動機(3.7kW超)	-
電気盤(440V以上)	-
ケーブルトレイ(ケーブル)	-
油脂類・有機溶媒等	-
その他	1

4. 火災区域(区画)にある防火設備

火災感知の手段	主要な消火設備	消火方法	消火設備のバックアップ
煙感知器 熱感知器	ハロゲン化物消火設備(全域)	自動	二酸化炭素消火器

5. 火災区域(区画)に隣接する火災区域(区画)と火災伝播経路

隣接火災区画への火災伝播経路の詳細は、別紙1参照

6. 火災影響を受ける火災防護対象機器等

機器名称[機器番号]	最重要設備 [※]	最重要設備以外の安全上重要な施設 [※]
110V第2非常用蓄電池A[AC-BAT-A]	○	-

※ ○:対象 -:非対象

* 火災想定において、工程停止等により安全機能を必要としない状態へと移行が可能なもの。

7. 火災防護対象機器等の関連ケーブル

機器名称[機器番号]	ケーブル種別	安重分類
110V第2非常用蓄電池A[AC-BAT-A]	動力(低圧)	非常用所内電源系統

8. 最重要設備の安重機能への火災影響

安重分類	全焼時の成功パスの有無	回路評価等の考慮	結果	系統分離※
Pu・高レベル廃棄物の閉じ込め機能	-	-	-	-
崩壊熱除去機能(重要度の高いもの)	-	-	-	-
安全圧縮空気系(水素掃気機能)	-	-	-	-
非常用所内電源系統	有	-	○	-

※ a : 3時間以上の耐火能力を有する耐火壁で分離

b : 水平距離6mによる分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置

c : 1時間の耐火能力を有する隔壁等による分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置
再処理施設成功パスの詳細は、別紙2参照

9. 最重要設備以外の火災防護対象機器等への火災影響

機器名称[機器番号]	当該区画の火災評価※	隣接区画の火災評価※
-	-	-

※ ○:火災影響なし ×:火災影響あり

隣接する火災区画と火災伝播経路

(※ 有:伝播する 無:伝播しない)

隣接する 火災区画	火災伝播 経路有無	等価時間 (h)	耐火時間 (h)	火災伝播の 可能性 ※	備考
■	無	3.0	3.0	無	
	無	3.0	3.0	無	
	無	3.0	3.0	無	
	無	3.0	3.0	無	
	無	3.0	3.0	無	
	無	3.0	3.0	無	

再処理施設成功パス一覧表

建屋	精製建屋	非常用A蓄電池室
区域(区画)番号/名称		
1.放射性物質の閉じ込め機能(動的な閉じ込め機能)		
	【Aトレン設備】	【Bトレン設備】
前処理建屋 せん断処理・溶解廃ガス処理設備	排風機A	前処理建屋 せん断処理・溶解廃ガス処理設備
	排風機C	排風機B
前処理建屋 塔槽類廃ガス処理設備	排風機A	前処理建屋 塔槽類廃ガス処理設備
	排風機A	排風機B
前処理建屋換気設備 溶解セル等からの排気系	セル排風機A	前処理建屋換気設備 溶解セル等からの排気系
	溶解槽セルA排風機A	セル排風機B
	溶解槽セルB排風機A	溶解槽セルA排風機B
高レベル廃液ガラス固化建屋 高レベル廃液ガラス固化廃ガス処理設備	第1排風機A	高レベル廃液ガラス固化建屋 高レベル廃液ガラス固化廃ガス処理設備
	第2排風機A	第1排風機B
高レベル廃液ガラス固化建屋 塔槽類廃ガス処理設備 高レベル濃縮廃液廃ガス処理系	排風機A	高レベル廃液ガラス固化建屋 塔槽類廃ガス処理設備 高レベル濃縮廃液廃ガス処理系
	排風機A	排風機B
高レベル廃液ガラス固化建屋 塔槽類廃ガス処理設備 不溶解残渣廃液廃ガス処理系	排風機A	高レベル廃液ガラス固化建屋 塔槽類廃ガス処理設備 不溶解残渣廃液廃ガス処理系
	排風機A	排風機B
高レベル濃縮廃液貯槽セル等からの排気系 固化セル換気系及び固化セル圧力放出系	セル排風機A	高レベル濃縮廃液貯槽セル等からの排気系 固化セル換気系及び固化セル圧力放出系
	固化セル換気系排風機A	セル排風機B
分離建屋 塔槽類廃ガス処理設備 パルセータ廃ガス処理系	排風機A	分離建屋 塔槽類廃ガス処理設備 パルセータ廃ガス処理系
	排風機A	排風機B
分離建屋 塔槽類廃ガス処理設備 塔槽類廃ガス処理系	排風機A	分離建屋 塔槽類廃ガス処理設備 塔槽類廃ガス処理系
	排風機A	排風機B
分離建屋換気設備 プルトニウム溶液中間貯槽セル等からの排気系	グローブボックス・セル排風機A	分離建屋換気設備 プルトニウム溶液中間貯槽セル等からの排気系
	グローブボックス・セル排風機A	グローブボックス・セル排風機B
精製建屋 塔槽類廃ガス処理設備 パルセータ廃ガス処理系	排風機A	精製建屋 塔槽類廃ガス処理設備 パルセータ廃ガス処理系
	排風機A	排風機B
精製建屋 塔槽類廃ガス処理設備 塔槽類廃ガス処理系(プルトニウム系)	排風機A	精製建屋 塔槽類廃ガス処理設備 塔槽類廃ガス処理系(プルトニウム系)
	排風機A	排風機B
精製建屋換気設備 プルトニウム濃縮缶セル等及びグローブボックス等からの排気系	グローブボックス・セル排風機A	精製建屋換気設備 プルトニウム濃縮缶セル等及びグローブボックス等からの排気系
	グローブボックス・セル排風機A	グローブボックス・セル排風機B
ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋 塔槽類廃ガス処理設備	第1排風機A	ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋 塔槽類廃ガス処理設備
	第2排風機A	第1排風機B
	第2排風機C	第2排風機B
ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋 硝酸プルトニウム貯槽セル等及びグローブボックス等からの排気系	グローブボックス・セル排風機A	ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋 硝酸プルトニウム貯槽セル等及びグローブボックス等からの排気系
	グローブボックス・セル排風機A	グローブボックス・セル排風機B
	グローブボックス・セル排風機C	
-		-
1パス	-	
回路評価等	-	
成功パス	-	

凡例	
x	〇〇〇〇-〇〇〇 〇〇〇A
	〇〇〇〇-〇〇〇 〇〇〇〇A
x : 当該室の火災により安全機能を喪失する機器がある場合	
空欄 : 当該室に設置していない機器	
1パス	- : 当該室に対象なし ○ : 当該室の火災により対応する安全機能が1系統残る場合 x : 当該室の火災により対応する安全機能がすべて喪失する場合
回路評価等	- : 当該室に回路評価等を行う対象なし ○ : 回路評価等により、対応する安全機能が確保される場合
成功パス	- : 当該室に対象なし ○ : 当該室の火災により対応する安全機能が1系統残る場合 x : 当該室の火災により対応する安全機能がすべて喪失する場合

再処理施設成功パス一覧表

2.崩壊熱除去機能		【Aトレ設備】		【Bトレ設備】	
冷却設備	安全冷却水系			冷却設備	安全冷却水系
	安全冷却水A冷却塔				安全冷却水B冷却塔
前処理建屋	冷却設備	安全冷却水系		前処理建屋	冷却設備
		安全冷却水A循環ポンプA			安全冷却水B循環ポンプA
		安全冷却水A循環ポンプB			安全冷却水B循環ポンプB
		安全冷却水1AポンプA			安全冷却水1BポンプA
		安全冷却水1AポンプB			安全冷却水1BポンプB
分離建屋	冷却設備	安全冷却水系		分離建屋	冷却設備
		冷却水循環ポンプA			冷却水循環ポンプC
		冷却水循環ポンプB			冷却水循環ポンプD
		安全冷却水1AポンプA			安全冷却水1BポンプA
		安全冷却水1AポンプB			安全冷却水1BポンプB
精製建屋	冷却設備	安全冷却水系		精製建屋	冷却設備
		安全冷却水AポンプA			安全冷却水BポンプA
		安全冷却水AポンプB			安全冷却水BポンプB
ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋	冷却設備	安全冷却水系		ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋	冷却設備
		冷水移送ポンプA			冷水移送ポンプC
		冷水移送ポンプB			冷水移送ポンプD
高レベル廃液ガラス固化建屋	冷却設備	安全冷却水系		高レベル廃液ガラス固化建屋	冷却設備
		第1高レベル濃縮廃液貯槽冷却水AポンプA			第1高レベル濃縮廃液貯槽冷却水BポンプA
		第1高レベル濃縮廃液貯槽冷却水AポンプB			第1高レベル濃縮廃液貯槽冷却水BポンプB
		第2高レベル濃縮廃液貯槽冷却水AポンプA			第2高レベル濃縮廃液貯槽冷却水BポンプA
		第2高レベル濃縮廃液貯槽冷却水AポンプB			第2高レベル濃縮廃液貯槽冷却水BポンプB
		安全冷却水A系ポンプA			安全冷却水B系ポンプA
		安全冷却水A系ポンプB			安全冷却水B系ポンプB
		高レベル廃液共用貯槽冷却水AポンプA			高レベル廃液共用貯槽冷却水BポンプA
		高レベル廃液共用貯槽冷却水AポンプB			高レベル廃液共用貯槽冷却水BポンプB
		安全冷却水A系ポンプA			安全冷却水B系ポンプA
		安全冷却水A系ポンプB			安全冷却水B系ポンプB
		安全冷水A冷却器冷媒膨張弁A			安全冷水B冷却器冷媒膨張弁A
		安全冷水A冷却器冷媒膨張弁B			安全冷水B冷却器冷媒膨張弁B
		安全冷水A冷却器冷媒止弁A			安全冷水B冷却器冷媒止弁A
		安全冷水A冷却器冷媒止弁B			安全冷水B冷却器冷媒止弁B
		安全冷却水1AポンプA			安全冷却水1BポンプA
		安全冷却水1AポンプB			安全冷却水1BポンプB
		安全冷水AポンプA			安全冷水BポンプA
		安全冷水AポンプB			安全冷水BポンプB
		安全冷水A冷凍機			安全冷水B冷凍機
		スクルー圧縮機			スクルー圧縮機
		スクルー圧縮機			スクルー圧縮機
ウラン・プルトニウム混合酸化物貯蔵建屋換気設備	貯蔵室排気系			ウラン・プルトニウム混合酸化物貯蔵建屋換気設備	貯蔵室排気系
		貯蔵室排風機A			貯蔵室排風機C
		貯蔵室排風機B			貯蔵室排風機D
-				-	
	1パス	-			
	回路評価等	-			
	成功パス	-			
3.安全圧縮空気系(水素掃気機能)		【Aトレ設備】		【Bトレ設備】	
安全圧縮空気系				安全圧縮空気系	
	安全空気圧縮装置A				安全空気圧縮装置B
	安全空気圧縮装置C				安全空気圧縮装置C
-				-	
	1パス	-			
	回路評価等	-			
	成功パス	-			

再処理施設成功パス一覧表

4.非常用所内電源系統(支援機能)		【Aトレン設備】	【Bトレン設備】
非常用電源建屋冷却水設備			
	8111A-C20 冷却塔A		8111B-C20 冷却塔B
	8111A-P2010 冷却水循環ポンプA		8111B-P2010 冷却水循環ポンプB
非常用電源建屋の電気設備			
	GA-M/C-A 6.9kV非常用メタクラA		GA-M/C-B 6.9kV非常用メタクラB
	GA-MCC-A 460V非常用コントロールセンタA		GA-MCC-B 460V非常用コントロールセンタB
	8111A-X10 ディーゼル機関A		8111B-X10 ディーゼル機関B
	8111A-X11 同期発電機A		8111B-X11 同期発電機B
	8111A-P4011 燃料油移送ポンプA		8111B-P4011 燃料油移送ポンプB
	GA-BAT-A 110V第2非常用蓄電池A		GA-BAT-B 110V第2非常用蓄電池B
	GA-CHG-A 110V非常用充電器盤A		GA-CHG-B 110V非常用充電器盤B
	GA-DCD-A 110V非常用直流主分電盤A		GA-DCD-B 110V非常用直流主分電盤B
	GA-CHG-E 110V非常用予備充電器盤E		GA-CHG-E 110V非常用予備充電器盤E
	GA-E-K011A 非常用電気設備リレー盤A1		GA-E-K013B 非常用電気設備リレー盤B1
	GA-E-K012A 非常用電気設備リレー盤A2		GA-E-K014B 非常用電気設備リレー盤B2
	8111A-V40 燃料油貯蔵タンク1A		8111B-V40 燃料油貯蔵タンク1B
	8111A-V41 燃料油貯蔵タンク2A		8111B-V41 燃料油貯蔵タンク2B
	GA-E-M011A 第2非常用ディーゼル発電機A制御盤		GA-E-M012B 第2非常用ディーゼル発電機B制御盤
	GA-PTR-A 非常用動力用変圧器A		GA-PTR-B 非常用動力用変圧器B
	8111A-V42 燃料油サービスタンクA		8111B-V42 燃料油サービスタンクB
	8111A-F4210 燃料油第1フィルタA		8111B-F4210 燃料油第1フィルタB
	8111A-F4230 燃料油第2フィルタA		8111B-F4230 燃料油第2フィルタB
	GA-E-S011A 第2非常用ディーゼル発電機ターニング現場盤A		GA-E-S012B 第2非常用ディーゼル発電機ターニング現場盤B
	GA-E-U011A 第2非常用ディーゼル発電機CT盤A		GA-E-U012B 第2非常用ディーゼル発電機CT盤B
	GA-I-K011A ユーティリティ工程 安全系A制御盤(リレー盤)		GA-I-K012B ユーティリティ工程 安全系B制御盤(リレー盤)
制御建屋の電気設備			
	AG-M/C-A 6.9kV非常用メタクラA		AG-M/C-B 6.9kV非常用メタクラB
	AG-P/C-A 460V非常用パワーセンタA		AG-P/C-B 460V非常用パワーセンタB
	AG-MCC-A1 460V非常用コントロールセンタA1		AG-MCC-B1 460V非常用コントロールセンタB1
	AG-MCC-A2 460V非常用コントロールセンタA2		AG-MCC-B2 460V非常用コントロールセンタB2
	AG-I-F201A 前処理建屋 安全系A監視制御盤		AG-I-F202B 前処理建屋 安全系B監視制御盤
	AG-I-F203A 分離建屋 安全系A監視制御盤		AG-I-F204B 分離建屋 安全系B監視制御盤
	AG-I-F205A 精製建屋 安全系A監視制御盤		AG-I-F206B 精製建屋 安全系B監視制御盤
	AG-I-F211A ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋 安全系A監視制御盤		AG-I-F212B ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋 安全系B監視制御盤
	AG-I-F213A 高レベル廃液ガラス固化建屋 安全系A監視制御盤		AG-I-F214B 高レベル廃液ガラス固化建屋 安全系B監視制御盤
	AG-BAT-A1 110V第2非常用蓄電池A1		AG-BAT-B1 110V第2非常用蓄電池B1
	AG-BAT-A2 220V第2非常用蓄電池A2		AG-BAT-B2 220V第2非常用蓄電池B2
	AG-CHG-A 110V非常用充電器盤A		AG-CHG-B 110V非常用充電器盤B
	AG-CHG-E 110V非常用予備充電器盤E		AG-CHG-E 110V非常用予備充電器盤E
	AG-DCD-A 110V非常用直流主分電盤A		AG-DCD-B 110V非常用直流主分電盤B
	AG-UPS-A 105V非常用無停電電源装置A		AG-UPS-B 105V非常用無停電電源装置B
	AG-UPD-A 105V非常用無停電交流主分電盤A		AG-UPD-B 105V非常用無停電交流主分電盤B
前処理建屋の電気設備			
	AA-M/C-A 6.9kV非常用メタクラA		AA-M/C-B 6.9kV非常用メタクラB
	AA-P/C-A 460V非常用パワーセンタA		AA-P/C-B 460V非常用パワーセンタB
	AA-MCC-A1 460V非常用コントロールセンタA1		AA-MCC-B1 460V非常用コントロールセンタB1
	AA-MCC-A2 460V非常用コントロールセンタA2		AA-MCC-B2 460V非常用コントロールセンタB2
	AA-MCC-A3 460V非常用コントロールセンタA3		
	AA-BAT-A 110V第2非常用蓄電池A		AA-BAT-B 110V第2非常用蓄電池B
	AA-CHG-A 110V非常用充電器盤A		AA-CHG-B 110V非常用充電器盤B
	AA-CHG-E 110V非常用予備充電器盤E		AA-CHG-E 110V非常用予備充電器盤E
	AA-DCD-A 110V非常用直流主分電盤A		AA-DCD-B 110V非常用直流主分電盤B
	AA-UPS-A 105V非常用無停電電源装置A		AA-UPS-B 105V非常用無停電電源装置B
	AA-UPD-A 105V非常用無停電交流主分電盤A		AA-UPD-B 105V非常用無停電交流主分電盤B
	AA-I-M171A 圧縮空気設備 安全空気脱湿装置A現場監視制御盤		AA-I-M172B 圧縮空気設備 安全空気脱湿装置B現場監視制御盤
	AA-I-M166A 圧縮空気設備 安全空気圧縮装置A現場監視制御盤		AA-I-M167B 圧縮空気設備 安全空気圧縮装置B現場監視制御盤
	AA-I-M176A 圧縮空気設備 安全空気圧縮装置C現場制御回路分離盤A		AA-I-M177B 圧縮空気設備 安全空気圧縮装置C現場制御回路分離盤B
	AA-I-M169C 圧縮空気設備 安全空気圧縮装置C現場制御電源切換盤		AA-I-M169C 圧縮空気設備 安全空気圧縮装置C現場制御電源切換盤
	AA-I-M168C 圧縮空気設備 安全空気圧縮装置C現場監視制御盤		AA-I-M168C 圧縮空気設備 安全空気圧縮装置C現場監視制御盤
	AA-I-K701A よう素除去工程排風機A制御盤		AA-I-K702B よう素除去工程排風機B制御盤
	AA-I-K703C よう素除去工程排風機C制御盤		AA-I-K703C よう素除去工程排風機C制御盤
	AA-I-X710C よう素除去工程 C系統電源切替盤		AA-I-X710C よう素除去工程 C系統電源切替盤
	AA-I-J012A ユーティリティ工程 安全系A制御盤1(リレー盤2)		AA-I-J062B ユーティリティ工程 安全系B制御盤1(リレー盤2)
	AA-I-J013A ユーティリティ工程 安全系A制御盤2(リレー盤3)		AA-I-J063B ユーティリティ工程 安全系B制御盤2(リレー盤3)
	AA-I-J031A よう素除去工程 安全系A制御盤1		AA-I-J081B よう素除去工程 安全系B制御盤1
	AA-I-J032A よう素除去工程 安全系A制御盤2		AA-I-J082B よう素除去工程 安全系B制御盤2
	AA-I-J033A よう素除去工程 安全系A制御盤3		AA-I-J083B よう素除去工程 安全系B制御盤3
	AA-LPD-A2 溶解槽セルA排風機A極数変換盤		AA-LPD-B2 溶解槽セルA排風機B極数変換盤
	AA-LPD-A3 溶解槽セルB排風機A極数変換盤		AA-LPD-B3 溶解槽セルB排風機B極数変換盤
	AA-LPD-A21 セル排風機A極数変換盤		AA-LPD-B21 セル排風機B極数変換盤
分離建屋の非常用所内電源系統			
	AB-P/C-A 460V非常用パワーセンタA		AB-P/C-B 460V非常用パワーセンタB
	AB-MCC-A 460V非常用コントロールセンタA		AB-MCC-B 460V非常用コントロールセンタB
	AB-CHG-A 110V非常用充電器盤A		AB-CHG-B 110V非常用充電器盤B
	AB-CHG-E 110V非常用予備充電器盤E		AB-CHG-E 110V非常用予備充電器盤E
	AB-BAT-A 110V第2非常用蓄電池A		AB-BAT-B 110V第2非常用蓄電池B
	AB-DCD-A 110V非常用直流主分電盤A		AB-DCD-B 110V非常用直流主分電盤B
	AB-UPS-A 105V非常用無停電電源装置A		AB-UPS-B 105V非常用無停電電源装置B
	AB-UPD-A1 105V非常用無停電交流主分電盤A1		AB-UPD-B1 105V非常用無停電交流主分電盤A1
	AB-UPD-A2 105V非常用無停電交流主分電盤A2		AB-UPD-B2 105V非常用無停電交流主分電盤A2
	AB-I-J180A ユーティリティ工程 安全系A制御盤1		AB-I-J183B ユーティリティ工程 安全系B制御盤1
	AB-I-J181A ユーティリティ工程 安全系A制御盤2		AB-I-J184B ユーティリティ工程 安全系B制御盤2
	AB-I-J182A ユーティリティ工程 安全系A制御盤3		AB-I-J185B ユーティリティ工程 安全系B制御盤3
	AB-I-J033A 分離・分配工程 安全系A制御盤1		AB-I-J036B 分離・分配工程 安全系B制御盤1
	AB-I-J034A 分離・分配工程 安全系A制御盤2		AB-I-J037B 分離・分配工程 安全系B制御盤2
	AB-I-J035A 分離・分配工程 安全系A制御盤3		AB-I-J038B 分離・分配工程 安全系B制御盤3
	AB-V-J100A 建屋換気設備 安全系A制御盤		AB-V-J101B 建屋換気設備 安全系B制御盤
	1パス	-	
	回路評価等	-	
	成功パス	-	

再処理施設成功パス一覧表

4. 支援機能(続き)		【Aトレン設備】		【Bトレン設備】	
精製建屋の電気設備				精製建屋の電気設備	
×	AC-BAT-A	110V第2非常用蓄電池A		AC-BAT-B	110V第2非常用蓄電池B
	AC-CHG-A	110V非常用充電器盤A		AC-CHG-B	110V非常用充電器盤B
	AC-CHG-E	110V非常用予備充電器盤E		AC-CHG-E	110V非常用予備充電器盤E
	AC-DCD-A	110V非常用直流主分電盤A		AC-DCD-B	110V非常用直流主分電盤B
	AC-MCC-A1	460V非常用コントロールセンタA1		AC-MCC-B1	460V非常用コントロールセンタB1
	AC-MCC-A2	460V非常用コントロールセンタA2		AC-MCC-B2	460V非常用コントロールセンタB2
	AC-P/C-A	460V非常用パワーセンタA		AC-P/C-B	460V非常用パワーセンタB
	AC-UPD-A	105V非常用無停電交流主分電盤A		AC-UPD-B	105V非常用無停電交流主分電盤B
	AC-UPS-A	105V非常用無停電電源装置A		AC-UPS-B	105V非常用無停電電源装置B
	AC-I-J450A	ユーティリティ工程 安全系A制御盤(計器盤)		AC-I-J460B	ユーティリティ工程 安全系B制御盤(計器盤)
	AC-I-J451A	ユーティリティ工程 安全系A制御盤(リレー盤)		AC-I-J461B	ユーティリティ工程 安全系B制御盤(リレー盤)
	AC-E-J452A	非常用電気設備リレー盤A		AC-E-J462B	非常用電気設備リレー盤B
	AC-V-J453A	建屋換気設備安全系A制御盤		AC-V-J463B	建屋換気設備安全系B制御盤
	AC-I-J752A	プルトニウム精製工程 安全系A 制御盤3		AC-I-J755B	プルトニウム精製工程 安全系B 制御盤3
ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋の非常用所内電源系統				ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋の非常用所内電源系統	
	CA-P/C-A	460V非常用パワーセンタA		CA-P/C-B	460V非常用パワーセンタB
	CA-MCC-A1	460V非常用コントロールセンタA1		CA-MCC-B1	460V非常用コントロールセンタB1
	CA-MCC-A2	460V非常用コントロールセンタA2		CA-MCC-B2	460V非常用コントロールセンタB2
	CA-M/C-A	6.9kV非常用メタクラA		CA-M/C-B	6.9kV非常用メタクラB
	CA-E-K503A	非常用電気設備リレー盤A		CA-E-K603B	非常用電気設備リレー盤B
	CA-I-J501A	安全系A制御盤		CA-I-J601B	安全系B制御盤
	CA-V-J502A	建屋換気設備安全系A制御盤		CA-V-J602B	建屋換気設備安全系B制御盤
	CA-CHG-A	110V非常用充電器盤A		CA-CHG-B	110V非常用充電器盤B
	CA-CHG-E	110V非常用予備充電器盤E		CA-CHG-E	110V非常用予備充電器盤E
	CA-DCD-A	110V非常用直流主分電盤A		CA-DCD-B	110V非常用直流主分電盤B
	CA-UPD-A	105V非常用無停電交流主分電盤A		CA-UPD-B	105V非常用無停電交流主分電盤B
	CA-UPS-A	105V非常用無停電電源装置A		CA-UPS-B	105V非常用無停電電源装置B
	CA-BAT-A	110V第2非常用蓄電池A		CA-BAT-B	110V第2非常用蓄電池B
ウラン・プルトニウム混合酸化燃料貯蔵建屋の非常用所内電源系統				ウラン・プルトニウム混合酸化燃料貯蔵建屋の非常用所内電源系統	
	CB-P/C-A	460V非常用パワーセンタA		CB-P/C-B	460V非常用パワーセンタB
	CB-E-J101A	非常用電気設備リレー盤A		CB-E-J102B	非常用電気設備リレー盤B
	CA-V-J001A	建屋換気設備安全系A制御盤		CA-V-J002B	建屋換気設備安全系B制御盤
	CB-BAT-A	110V第2非常用蓄電池A		CB-BAT-B	110V第2非常用蓄電池B
	CB-CHG-A	110V非常用充電器盤A		CB-CHG-B	110V非常用充電器盤B
	CB-DCD-A	110V非常用直流主分電盤A		CB-DCD-B	110V非常用直流主分電盤B
	CB-MCC-A	460V非常用コントロールセンタA		CB-MCC-B	460V非常用コントロールセンタB
	CB-UPS-A	105V非常用無停電電源装置A		CB-UPS-B	105V非常用無停電電源装置B
	CB-CHG-E	110V非常用予備充電器盤E		CB-CHG-E	110V非常用予備充電器盤E
高レベル廃液ガラス固化建屋の電気設備				高レベル廃液ガラス固化建屋の電気設備	
	KA-P/C-A	460V非常用パワーセンタA		KA-P/C-B	460V非常用パワーセンタB
	KA-BAT-A	110V第2非常用蓄電池A		KA-BAT-B	110V第2非常用蓄電池B
	KA-CHG-A	110V非常用充電器盤A		KA-CHG-B	110V非常用充電器盤B
	KA-CHG-E	110V非常用予備充電器盤E		KA-CHG-E	110V非常用予備充電器盤E
	KA-DCD-A	110V非常用直流主分電盤A		KA-DCD-B	110V非常用直流主分電盤B
	KA-UPS-A	105V非常用無停電電源装置A		KA-UPS-B	105V非常用無停電電源装置B
	KA-UPD-A	105V非常用無停電交流主分電盤A		KA-UPD-B	105V非常用無停電交流主分電盤B
	KA-ACS-A	105V非常用計測交流電源盤A		KA-ACS-B	105V非常用計測交流電源盤B
	KA-ACD-A	105V非常用計測交流主分電盤A		KA-ACD-B	105V非常用計測交流主分電盤B
	KA-MCC-A1	460V非常用コントロールセンタA1		KA-MCC-B1	460V非常用コントロールセンタB1
	KA-MCC-A2	460V非常用コントロールセンタA2		KA-MCC-B2	460V非常用コントロールセンタB2
	KA-I-K224A	高レベル廃液ガラス固化廃ガス処理設備第1排風機A安全系Aインバータ制御盤		KA-I-K225B	高レベル廃液ガラス固化廃ガス処理設備第1排風機B安全系Bインバータ制御盤
	KA-I-K226A	高レベル廃液ガラス固化廃ガス処理設備第2排風機A安全系Aインバータ制御盤		KA-I-K227B	高レベル廃液ガラス固化廃ガス処理設備第2排風機B安全系Bインバータ制御盤
	KA-I-K073A	固化セル換気系排風機A安全系Aインバータ制御盤		KA-I-K074B	固化セル換気系排風機B安全系Bインバータ制御盤
	KA-E-K001A	非常用電気設備リレー盤A		KA-E-K002B	非常用電気設備リレー盤B
	KA-I-J501A	高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系A制御盤1		KA-I-J521B	高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系B制御盤1
	KA-I-J502A	高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系A制御盤2		KA-I-J522B	高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系B制御盤2
	KA-I-J503A	高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系A制御盤3		KA-I-J523B	高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系B制御盤3
	KA-I-J504A	高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系A制御盤4		KA-I-J524B	高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系B制御盤4
	KA-I-J505A	高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系A制御盤5		KA-I-J525B	高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系B制御盤5
	KA-I-J506A	高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系A制御盤6		KA-I-J526B	高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系B制御盤6
	KA-I-J507A	高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系A制御盤7		KA-I-J527B	高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系B制御盤7
	KA-I-J508A	高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系A制御盤8		KA-I-J528B	高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系B制御盤8
	KA-I-J511A	安全系A アレスタ盤		KA-I-J531B	安全系B アレスタ盤
	KA-I-J512A	高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系A制御盤(リレー盤1)		KA-I-J532B	高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系B制御盤(リレー盤1)
	KA-I-J513A	高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系A制御盤(リレー盤2)		KA-I-J533B	高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系B制御盤(リレー盤2)
	KA-I-J514A	高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系A制御盤(リレー盤3)		KA-I-J534B	高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系B制御盤(リレー盤3)
	KA-I-M331A	冷凍機 安全系A監視制御盤		KA-I-M322B	冷凍機 安全系B監視制御盤
	KA-I-K334A	冷却水・冷水設備 安全系A 制御盤1		KA-I-K338B	冷却水・冷水設備 安全系B 制御盤1
	KA-I-K335A	冷却水・冷水設備 安全系A 制御盤2		KA-I-K339B	冷却水・冷水設備 安全系B 制御盤2
×					
	1パス		○		
	回路評価等		-		
	成功パス		○		

火災区域(区画)特性表

1. 火災区域(区画)の説明

建屋名	精製建屋
火災区域/区画区分	火災区画
火災区域/区画番号	■
火災区域/区画名称	制御盤第4室
床面積(m ²)	■

2. 火災区域(区画)の火災シナリオの説明

■は、精製建屋内の火災区画である。
 本区画は、ケーブルトレイ火災の発生可能性があるが、安全上重要な施設が設置されていないため、安全機能の喪失のおそれはない。

3. 火災区域(区画)にある火災源

(1) 等価時間

発熱量(kJ)	火災荷重 (kJ/m ²)	等価時間(h) [※]
■	■	3.0

※ 等価時間は、内部火災影響評価ガイドの等価時間記載の値で示す。

(2) 火災区域(区画)にある火災源機器数

火災源	機器数
電動機(3.7kW超)	-
電気盤(440V以上)	-
ケーブルトレイ(ケーブル)	有
油脂類・有機溶媒等	-
その他	-

4. 火災区域(区画)にある防火設備

火災感知の手段	主要な消火設備	消火方法	消火設備のバックアップ
煙感知器	二酸化炭素消火器	手動	粉末消火器

5. 火災区域(区画)に隣接する火災区域(区画)と火災伝播経路 隣接火災区画への火災伝播経路の詳細は、別紙1参照

6. 火災影響を受ける火災防護対象機器等

機器名称[機器番号]	最重要設備 [※]	最重要設備以外の安全上重要な施設 [※]
-	-	-

※ ○:対象 -:非対象

* 火災想定において、工程停止等により安全機能を必要としない状態へと移行が可能なもの。

7. 火災防護対象機器等の関連ケーブル

機器名称[機器番号]	ケーブル種別	安重分類
-	-	-

8. 最重要設備の安重機能への火災影響

安重分類	全焼時の成功パスの有無	回路評価等の考慮	結果	系統分離※
Pu・高レベル廃棄物の閉じ込め機能	-	-	-	-
崩壊熱除去機能(重要度の高いもの)	-	-	-	-
安全圧縮空気系(水素掃気機能)	-	-	-	-
非常用所内電源系統	-	-	-	-

※ a : 3時間以上の耐火能力を有する耐火壁で分離

b : 水平距離6mによる分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置

c : 1時間の耐火能力を有する隔壁等による分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置
再処理施設成功パスの詳細は、別紙2参照

9. 最重要設備以外の火災防護対象機器等への火災影響

機器名称[機器番号]	当該区画の火災評価※	隣接区画の火災評価※
-	-	-

※ ○:火災影響なし ×:火災影響あり

隣接する火災区画と火災伝播経路

(※ 有:伝播する 無:伝播しない)

隣接する 火災区画	火災伝播 経路有無	等価時間 (h)	耐火時間 (h)	火災伝播の 可能性 ※	備考
	無	3.0	3.0	無	
	無	3.0	1.0	有	
	無	3.0	1.0	有	
	無	3.0	1.0	有	
	無	3.0	3.0	無	

火災区域(区画)特性表

1. 火災区域(区画)の説明

建屋名	精製建屋
火災区域/区画区分	火災区画
火災区域/区画番号	■
火災区域/区画名称	制御盤第5室
床面積(m ²)	■

2. 火災区域(区画)の火災シナリオの説明

■は、精製建屋内の火災区画である。
 本区画は、ケーブルトレイ火災の発生可能性があるが、安全上重要な施設が設置されていないため、安全機能の喪失のおそれはない。

3. 火災区域(区画)にある火災源

(1) 等価時間

発熱量(kJ)	火災荷重 (kJ/m ²)	等価時間(h) [※]
■	■	0.5

※ 等価時間は、内部火災影響評価ガイドの等価時間記載の値で示す。

(2) 火災区域(区画)にある火災源機器数

火災源	機器数
電動機(3.7kW超)	-
電気盤(440V以上)	-
ケーブルトレイ(ケーブル)	有
油脂類・有機溶媒等	-
その他	-

4. 火災区域(区画)にある防火設備

火災感知の手段	主要な消火設備	消火方法	消火設備のバックアップ
煙感知器	二酸化炭素消火器	手動	粉末消火器

5. 火災区域(区画)に隣接する火災区域(区画)と火災伝播経路

隣接火災区画への火災伝播経路の詳細は、別紙1参照

6. 火災影響を受ける火災防護対象機器等

機器名称[機器番号]	最重要設備 [※]	最重要設備以外の安全上重要な施設 [※]
-	-	-

※ ○:対象 -:非対象

* 火災想定において、工程停止等により安全機能を必要としない状態へと移行が可能なもの。

7. 火災防護対象機器等の関連ケーブル

機器名称[機器番号]	ケーブル種別	安重分類
-	-	-

8. 最重要設備の安重機能への火災影響

安重分類	全焼時の成功パスの有無	回路評価等の考慮	結果	系統分離※
Pu・高レベル廃棄物の閉じ込め機能	-	-	-	-
崩壊熱除去機能(重要度の高いもの)	-	-	-	-
安全圧縮空気系(水素掃気機能)	-	-	-	-
非常用所内電源系統	-	-	-	-

※ a : 3時間以上の耐火能力を有する耐火壁で分離

b : 水平距離6mによる分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置

c : 1時間の耐火能力を有する隔壁等による分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置
再処理施設成功パスの詳細は、別紙2参照

9. 最重要設備以外の火災防護対象機器等への火災影響

機器名称[機器番号]	当該区画の火災評価※	隣接区画の火災評価※
-	-	-

※ ○:火災影響なし ×:火災影響あり

隣接する火災区画と火災伝播経路

(※ 有:伝播する 無:伝播しない)

隣接する 火災区画	火災伝播 経路有無	等価時間 (h)	耐火時間 (h)	火災伝播の 可能性 ※	備考
	無	0.5	3.0	無	
	無	0.5	1.0	無	
	無	0.5	1.0	無	
	無	0.5	3.0	無	

火災区域(区画)特性表

1. 火災区域(区画)の説明

建屋名	精製建屋
火災区域/区画区分	火災区画
火災区域/区画番号	■
火災区域/区画名称	放射能測定機器室
床面積(m ²)	■

2. 火災区域(区画)の火災シナリオの説明

■は、精製建屋内の火災区画である。
 本区画は、火災源となるものがないおよび安全上重要な施設が設置されていないため、安全機能の喪失のおそれはない。

3. 火災区域(区画)にある火災源

(1) 等価時間

発熱量(kJ)	火災荷重 (kJ/m ²)	等価時間(h) [※]
■	■	0.5

※ 等価時間は、内部火災影響評価ガイドの等価時間記載の値で示す。

(2) 火災区域(区画)にある火災源機器数

火災源	機器数
電動機(3.7kW超)	-
電気盤(440V以上)	-
ケーブルトレイ(ケーブル)	-
油脂類・有機溶媒等	-
その他	-

4. 火災区域(区画)にある防火設備

火災感知の手段	主要な消火設備	消火方法	消火設備のバックアップ
煙感知器	二酸化炭素消火器	手動	粉末消火器

5. 火災区域(区画)に隣接する火災区域(区画)と火災伝播経路

隣接火災区画への火災伝播経路の詳細は、別紙1参照

6. 火災影響を受ける火災防護対象機器等

機器名称[機器番号]	最重要設備 [※]	最重要設備以外の安全上重要な施設 [※]
-	-	-

※ ○:対象 -:非対象

* 火災想定において、工程停止等により安全機能を必要としない状態へと移行が可能なもの。

7. 火災防護対象機器等の関連ケーブル

機器名称[機器番号]	ケーブル種別	安重分類
-	-	-

8. 最重要設備の安重機能への火災影響

安重分類	全焼時の成功パスの有無	回路評価等の考慮	結果	系統分離※
Pu・高レベル廃棄物の閉じ込め機能	-	-	-	-
崩壊熱除去機能(重要度の高いもの)	-	-	-	-
安全圧縮空気系(水素掃気機能)	-	-	-	-
非常用所内電源系統	-	-	-	-

※ a : 3時間以上の耐火能力を有する耐火壁で分離

b : 水平距離6mによる分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置

c : 1時間の耐火能力を有する隔壁等による分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置
再処理施設成功パスの詳細は、別紙2参照

9. 最重要設備以外の火災防護対象機器等への火災影響

機器名称[機器番号]	当該区画の火災評価※	隣接区画の火災評価※
-	-	-

※ ○:火災影響なし ×:火災影響あり

隣接する火災区画と火災伝播経路

(※ 有:伝播する 無:伝播しない)

隣接する 火災区画	火災伝播 経路有無	等価時間 (h)	耐火時間 (h)	火災伝播の 可能性 ※	備考
	無	0.5	1.0	無	
	無	0.5	3.0	無	
	無	0.5	3.0	無	
	無	0.5	3.0	無	

火災区域(区画)特性表

1. 火災区域(区画)の説明

建屋名	精製建屋
火災区域/区画区分	火災区画
火災区域/区画番号	■
火災区域/区画名称	試薬設備第3室
床面積(m ²)	■

2. 火災区域(区画)の火災シナリオの説明

■は、精製建屋内の火災区画である。
 本区画は、火災源となるものがないおよび安全上重要な施設が設置されていないため、安全機能の喪失のおそれはない。

3. 火災区域(区画)にある火災源

(1) 等価時間

発熱量(kJ)	火災荷重 (kJ/m ²)	等価時間(h) [※]
■	■	7.0

※ 等価時間は、内部火災影響評価ガイドの等価時間記載の値で示す。

(2) 火災区域(区画)にある火災源機器数

火災源	機器数
電動機(3.7kW超)	-
電気盤(440V以上)	-
ケーブルトレイ(ケーブル)	-
油脂類・有機溶媒等	-
その他	-

4. 火災区域(区画)にある防火設備

火災感知の手段	主要な消火設備	消火方法	消火設備のバックアップ
煙感知器	二酸化炭素消火設備	手動	粉末消火器

5. 火災区域(区画)に隣接する火災区域(区画)と火災伝播経路

隣接火災区画への火災伝播経路の詳細は、別紙1参照

6. 火災影響を受ける火災防護対象機器等

機器名称[機器番号]	最重要設備 [※]	最重要設備以外の安全上重要な施設 [※]
-	-	-

※ ○:対象 -:非対象

* 火災想定において、工程停止等により安全機能を必要としない状態へと移行が可能なもの。

7. 火災防護対象機器等の関連ケーブル

機器名称[機器番号]	ケーブル種別	安重分類
-	-	-

8. 最重要設備の安重機能への火災影響

安重分類	全焼時の成功パスの有無	回路評価等の考慮	結果	系統分離※
Pu・高レベル廃棄物の閉じ込め機能	-	-	-	-
崩壊熱除去機能(重要度の高いもの)	-	-	-	-
安全圧縮空気系(水素掃気機能)	-	-	-	-
非常用所内電源系統	-	-	-	-

※ a : 3時間以上の耐火能力を有する耐火壁で分離

b : 水平距離6mによる分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置

c : 1時間の耐火能力を有する隔壁等による分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置
再処理施設成功パスの詳細は、別紙2参照

9. 最重要設備以外の火災防護対象機器等への火災影響

機器名称[機器番号]	当該区画の火災評価※	隣接区画の火災評価※
-	-	-

※ ○:火災影響なし ×:火災影響あり

隣接する火災区画と火災伝播経路

(※ 有:伝播する 無:伝播しない)

隣接する 火災区画	火災伝播 経路有無	等価時間 (h)	耐火時間 (h)	火災伝播の 可能性 ※	備考
	無	3.0超	3.0	有	
	無	3.0超	3.0	有	
	無	3.0超	3.0	有	
	無	3.0超	3.0	有	
	無	3.0超	3.0	有	
	無	3.0超	3.0	有	
	有	3.0超	0.0	有	

火災区域(区画)特性表

1. 火災区域(区画)の説明

建屋名	精製建屋
火災区域/区画区分	火災区画
火災区域/区画番号	■
火災区域/区画名称	ウラン系サンプリングベンチ第4セル
床面積(m ²)	■

2. 火災区域(区画)の火災シナリオの説明

■は、精製建屋内の火災区画である。
 本区画は、火災源となるものがないおよび安全上重要な施設が設置されていないため、安全機能の喪失のおそれはない。

3. 火災区域(区画)にある火災源

(1) 等価時間

発熱量(kJ)	火災荷重 (kJ/m ²)	等価時間(h) [※]
■	■	0.0

※ 等価時間は、内部火災影響評価ガイドの等価時間記載の値で示す。

(2) 火災区域(区画)にある火災源機器数

火災源	機器数
電動機(3.7kW超)	-
電気盤(440V以上)	-
ケーブルトレイ(ケーブル)	-
油脂類・有機溶媒等	-
その他	-

4. 火災区域(区画)にある防火設備

火災感知の手段	主要な消火設備	消火方法	消火設備のバックアップ
設置除外	設置除外	-	-

5. 火災区域(区画)に隣接する火災区域(区画)と火災伝播経路

隣接火災区画への火災伝播経路の詳細は、別紙1参照

6. 火災影響を受ける火災防護対象機器等

機器名称[機器番号]	最重要設備 [※]	最重要設備以外の安全上重要な施設 [※]
-	-	-

※ ○:対象 -:非対象

* 火災想定において、工程停止等により安全機能を必要としない状態へと移行が可能なもの。

7. 火災防護対象機器等の関連ケーブル

機器名称[機器番号]	ケーブル種別	安重分類
-	-	-

8. 最重要設備の安重機能への火災影響

安重分類	全焼時の成功パスの有無	回路評価等の考慮	結果	系統分離※
Pu・高レベル廃棄物の閉じ込め機能	-	-	-	-
崩壊熱除去機能(重要度の高いもの)	-	-	-	-
安全圧縮空気系(水素掃気機能)	-	-	-	-
非常用所内電源系統	-	-	-	-

※ a : 3時間以上の耐火能力を有する耐火壁で分離

b : 水平距離6mによる分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置

c : 1時間の耐火能力を有する隔壁等による分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置
再処理施設成功パスの詳細は、別紙2参照

9. 最重要設備以外の火災防護対象機器等への火災影響

機器名称[機器番号]	当該区画の火災評価※	隣接区画の火災評価※
-	-	-

※ ○:火災影響なし ×:火災影響あり

隣接する火災区画と火災伝播経路

(※ 有:伝播する 無:伝播しない)

隣接する 火災区画	火災伝播 経路有無	等価時間 (h)	耐火時間 (h)	火災伝播の 可能性 ※	備考
	有	0.0	0.0	無	
	有	0.0	0.0	無	
	無	0.0	3.0	無	
	有	0.0	0.0	無	
	有	0.0	0.0	無	
	有	0.0	0.0	無	

火災区域(区画)特性表

1. 火災区域(区画)の説明

建屋名	精製建屋
火災区域/区画区分	火災区画
火災区域/区画番号	■
火災区域/区画名称	注水槽室
床面積(m ²)	■

2. 火災区域(区画)の火災シナリオの説明

■は、精製建屋内の火災区画である。
 本区画は、火災源となるものがないおよび安全上重要な施設が設置されていないため、安全機能の喪失のおそれはない。

3. 火災区域(区画)にある火災源

(1) 等価時間

発熱量(kJ)	火災荷重 (kJ/m ²)	等価時間(h) [※]
■	■	0.0

※ 等価時間は、内部火災影響評価ガイドの等価時間記載の値で示す。

(2) 火災区域(区画)にある火災源機器数

火災源	機器数
電動機(3.7kW超)	-
電気盤(440V以上)	-
ケーブルトレイ(ケーブル)	-
油脂類・有機溶媒等	-
その他	-

4. 火災区域(区画)にある防火設備

火災感知の手段	主要な消火設備	消火方法	消火設備のバックアップ
煙感知器	屋内消火栓	手動	粉末消火器

5. 火災区域(区画)に隣接する火災区域(区画)と火災伝播経路

隣接火災区画への火災伝播経路の詳細は、別紙1参照

6. 火災影響を受ける火災防護対象機器等

機器名称[機器番号]	最重要設備 [※]	最重要設備以外の安全上重要な施設 [※]
-	-	-

※ ○:対象 -:非対象

* 火災想定において、工程停止等により安全機能を必要としない状態へと移行が可能なもの。

7. 火災防護対象機器等の関連ケーブル

機器名称[機器番号]	ケーブル種別	安重分類
-	-	-

8. 最重要設備の安重機能への火災影響

安重分類	全焼時の成功パスの有無	回路評価等の考慮	結果	系統分離※
Pu・高レベル廃棄物の閉じ込め機能	-	-	-	-
崩壊熱除去機能(重要度の高いもの)	-	-	-	-
安全圧縮空気系(水素掃気機能)	-	-	-	-
非常用所内電源系統	-	-	-	-

※ a : 3時間以上の耐火能力を有する耐火壁で分離

b : 水平距離6mによる分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置

c : 1時間の耐火能力を有する隔壁等による分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置
再処理施設成功パスの詳細は、別紙2参照

9. 最重要設備以外の火災防護対象機器等への火災影響

機器名称[機器番号]	当該区画の火災評価※	隣接区画の火災評価※
-	-	-

※ ○:火災影響なし ×:火災影響あり

隣接する火災区画と火災伝播経路

(※ 有:伝播する 無:伝播しない)

隣接する 火災区画	火災伝播 経路有無	等価時間 (h)	耐火時間 (h)	火災伝播の 可能性 ※	備考
	無	0.0	3.0	無	
	無	0.0	3.0	無	
	無	0.0	3.0	無	
	無	0.0	3.0	無	
	無	0.0	3.0	無	
	無	0.0	3.0	無	
	無	0.0	3.0	無	
	無	0.0	3.0	無	

火災区域(区画)特性表

1. 火災区域(区画)の説明

建屋名	精製建屋
火災区域/区画区分	火災区域
火災区域/区画番号	AC-13/■
火災区域/区画名称	非常用A計装電源室
床面積(m ²)	■

2. 火災区域(区画)の火災シナリオの説明

AC-13は、精製建屋内の火災区域である。
 本区画の火災源は、電気盤および、ケーブルトレイである。
 したがって、本区画の想定火災としては、電気盤火災または、ケーブルトレイ火災により、安全上重要な施設のA系の設備(6.火災影響を受ける火災防護対象機器等 参照)が火災影響を受け、安全機能が喪失するおそれがあるが、多重化された安全上重要な施設の片系のみ
 の機能喪失であるため、安全機能が完全に喪失することはない。

3. 火災区域(区画)にある火災源

(1) 等価時間

発熱量(kJ)	火災荷重 (kJ/m ²)	等価時間(h) [※]
■	■	1.0

※ 等価時間は、内部火災影響評価ガイドの等価時間記載の値で示す。

(2) 火災区域(区画)にある火災源機器数

火災源	機器数
電動機(3.7kW超)	-
電気盤(440V以上)	3
ケーブルトレイ(ケーブル)	有
油脂類・有機溶媒等	-
その他	-

4. 火災区域(区画)にある防火設備

火災感知の手段	主要な消火設備	消火方法	消火設備のバックアップ
煙感知器 熱感知器	ハロゲン化物消火 設備(全域)	自動	二酸化炭素消火器

5. 火災区域(区画)に隣接する火災区域(区画)と火災伝播経路 隣接火災区画への火災伝播経路の詳細は、別紙1参照

6. 火災影響を受ける火災防護対象機器等

機器名称[機器番号]	最重要設備※	最重要設備以外の安全上重要な施設※
105V非常用計測交流主分電盤A[AC-ACD-A]	-	○
105V非常用計測交流電源盤A[AC-ACS-A]	-	○
110V非常用充電器盤A[AC-CHG-A]	○	-
110V非常用直流主分電盤A[AC-DCD-A]	○	-
105V非常用無停電交流主分電盤A[AC-UPD-A]	○	-
105V非常用無停電電源装置A[AC-UPS-A]	○	-
安重ケーブルトレイ[A系]	○	○

※ ○:対象 -:非対象

* 火災想定において、工程停止等により安全機能を必要としない状態へと移行が可能なもの。

7. 火災防護対象機器等の関連ケーブル

機器名称[機器番号]	ケーブル種別	安重分類
グローブボックス・セル排風機A [機器番号]	制御、動力(低圧)	Pu・高レベルの廃棄物の閉じ込め機能
安全冷却水AポンプA [機器番号]	制御、動力(低圧)	崩壊熱除去機能(重要度の高いもの)
安全冷却水AポンプB [機器番号]	制御、動力(低圧)	崩壊熱除去機能(重要度の高いもの)
排風機A [機器番号]	制御、動力(低圧)	Pu・高レベルの廃棄物の閉じ込め機能
排風機A [機器番号]	制御、動力(低圧)	Pu・高レベルの廃棄物の閉じ込め機能
460V非常用コントロールセンタA1[AC-MCC-A1]	制御	非常用所内電源系統
460V非常用コントロールセンタA2[AC-MCC-A2]	制御、動力(低圧)	非常用所内電源系統
460V非常用パワーセンタA[AC-P/C-A]	動力(低圧)	非常用所内電源系統
110V非常用充電器盤A[AC-CHG-A]	動力(低圧)	非常用所内電源系統
110V非常用予備充電器盤E[AC-CHG-E]	動力(低圧)	非常用所内電源系統
110V非常用直流主分電盤A[AC-DCD-A]	動力(低圧)	非常用所内電源系統
105V非常用無停電交流主分電盤A[AC-UPD-A]	動力(低圧)	非常用所内電源系統
105V非常用無停電電源装置A[AC-UPS-A]	動力(低圧)	非常用所内電源系統

8. 最重要設備の安重機能への火災影響

安重分類	全焼時の成功パスの有無	回路評価等の考慮	結果	系統分離※
Pu・高レベル廃棄物の閉じ込め機能	有	-	○	-
崩壊熱除去機能(重要度の高いもの)	有	-	○	-
安全圧縮空気系(水素掃気機能)	-	-	-	-
非常用所内電源系統	有	-	○	-

※ a : 3時間以上の耐火能力を有する耐火壁で分離

b : 水平距離6mによる分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置

c : 1時間の耐火能力を有する隔壁等による分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置
再処理施設成功パスの詳細は、別紙2参照

9. 最重要設備以外の火災防護対象機器等への火災影響

機器名称[機器番号]	当該区画の火災評価※	隣接区画の火災評価※
-	-	-

※ ○:火災影響なし ×:火災影響あり

隣接する火災区画と火災伝播経路

(※ 有:伝播する 無:伝播しない)

隣接する 火災区画	火災伝播 経路有無	等価時間 (h)	耐火時間 (h)	火災伝播の 可能性 ※	備考
	無	1.0	3.0	無	
	無	1.0	3.0	無	
	無	1.0	3.0	無	
	無	1.0	3.0	無	
	無	1.0	3.0	無	
	無	1.0	3.0	無	
	無	1.0	3.0	無	
	無	1.0	3.0	無	

再処理施設成功パス一覧表

建屋	精製建屋	非常用A計装電源室
区域(区画)番号/名称		
1.放射性物質の閉じ込め機能(動的な閉じ込め機能)		
	【Aトレン設備】	【Bトレン設備】
前処理建屋 せん断処理・溶解廃ガス処理設備	前処理建屋 せん断処理・溶解廃ガス処理設備	前処理建屋 せん断処理・溶解廃ガス処理設備
排風機A	排風機B	排風機B
排風機C	排風機C	排風機C
前処理建屋 塔槽類廃ガス処理設備	前処理建屋 塔槽類廃ガス処理設備	前処理建屋 塔槽類廃ガス処理設備
排風機A	排風機B	排風機B
前処理建屋換気設備 溶解セル等からの排気系	前処理建屋換気設備 溶解セル等からの排気系	前処理建屋換気設備 溶解セル等からの排気系
セル排風機A	セル排風機B	セル排風機B
溶解槽セルA排風機A	溶解槽セルA排風機B	溶解槽セルA排風機B
溶解槽セルB排風機A	溶解槽セルB排風機B	溶解槽セルB排風機B
高レベル廃液ガラス固化建屋 高レベル廃液ガラス固化廃ガス処理設備	高レベル廃液ガラス固化建屋 高レベル廃液ガラス固化廃ガス処理設備	高レベル廃液ガラス固化建屋 高レベル廃液ガラス固化廃ガス処理設備
第1排風機A	第1排風機B	第1排風機B
第2排風機A	第2排風機B	第2排風機B
高レベル廃液ガラス固化建屋 塔槽類廃ガス処理設備 高レベル濃縮廃液廃ガス処理系	高レベル廃液ガラス固化建屋 塔槽類廃ガス処理設備 高レベル濃縮廃液廃ガス処理系	高レベル廃液ガラス固化建屋 塔槽類廃ガス処理設備 高レベル濃縮廃液廃ガス処理系
排風機A	排風機B	排風機B
高レベル廃液ガラス固化建屋 塔槽類廃ガス処理設備 不溶解残渣廃液廃ガス処理系	高レベル廃液ガラス固化建屋 塔槽類廃ガス処理設備 不溶解残渣廃液廃ガス処理系	高レベル廃液ガラス固化建屋 塔槽類廃ガス処理設備 不溶解残渣廃液廃ガス処理系
排風機A	排風機B	排風機B
高レベル濃縮廃液貯槽セル等からの排気系 固化セル換気系及び固化セル圧力放出系	高レベル濃縮廃液貯槽セル等からの排気系 固化セル換気系及び固化セル圧力放出系	高レベル濃縮廃液貯槽セル等からの排気系 固化セル換気系及び固化セル圧力放出系
セル排風機A	セル排風機B	セル排風機B
固化セル換気系排風機A	固化セル換気系排風機B	固化セル換気系排風機B
分離建屋 塔槽類廃ガス処理設備 パルセータ廃ガス処理系	分離建屋 塔槽類廃ガス処理設備 パルセータ廃ガス処理系	分離建屋 塔槽類廃ガス処理設備 パルセータ廃ガス処理系
排風機A	排風機B	排風機B
分離建屋 塔槽類廃ガス処理設備 塔槽類廃ガス処理系	分離建屋 塔槽類廃ガス処理設備 塔槽類廃ガス処理系	分離建屋 塔槽類廃ガス処理設備 塔槽類廃ガス処理系
排風機A	排風機B	排風機B
分離建屋換気設備 プルトニウム溶液中間貯槽セル等からの排気系	分離建屋換気設備 プルトニウム溶液中間貯槽セル等からの排気系	分離建屋換気設備 プルトニウム溶液中間貯槽セル等からの排気系
グローブボックス・セル排風機A	グローブボックス・セル排風機B	グローブボックス・セル排風機B
精製建屋 塔槽類廃ガス処理設備 パルセータ廃ガス処理系	精製建屋 塔槽類廃ガス処理設備 パルセータ廃ガス処理系	精製建屋 塔槽類廃ガス処理設備 パルセータ廃ガス処理系
× 排風機A	排風機B	排風機B
精製建屋 塔槽類廃ガス処理設備 塔槽類廃ガス処理系(プルトニウム系)	精製建屋 塔槽類廃ガス処理設備 塔槽類廃ガス処理系(プルトニウム系)	精製建屋 塔槽類廃ガス処理設備 塔槽類廃ガス処理系(プルトニウム系)
× 排風機A	排風機B	排風機B
精製建屋換気設備 プルトニウム濃縮缶セル等及びグローブボックス等からの排気系	精製建屋換気設備 プルトニウム濃縮缶セル等及びグローブボックス等からの排気系	精製建屋換気設備 プルトニウム濃縮缶セル等及びグローブボックス等からの排気系
× グローブボックス・セル排風機A	グローブボックス・セル排風機B	グローブボックス・セル排風機B
ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋 塔槽類廃ガス処理設備	ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋 塔槽類廃ガス処理設備	ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋 塔槽類廃ガス処理設備
第1排風機A	第1排風機B	第1排風機B
第2排風機A	第2排風機B	第2排風機B
第2排風機C		
ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋 硝酸プルトニウム貯槽セル等及びグローブボックス等からの排気系	ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋 硝酸プルトニウム貯槽セル等及びグローブボックス等からの排気系	ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋 硝酸プルトニウム貯槽セル等及びグローブボックス等からの排気系
グローブボックス・セル排風機A	グローブボックス・セル排風機B	グローブボックス・セル排風機B
グローブボックス・セル排風機C		
×		
1パス	○	
回路評価等	-	
成功パス	○	

凡例		
×	○○○○-○○○	○○○A
	○○○○-○○○	○○○○A
× : 当該室の火災により安全機能を喪失する機器がある場合 空欄 : 当該室に設置していない機器		
1パス	- : 当該室に対象なし ○ : 当該室の火災により対応する安全機能が1系統残る場合 × : 当該室の火災により対応する安全機能がすべて喪失する場合	
回路評価等	- : 当該室に回路評価等を行う対象なし ○ : 回路評価等により、対応する安全機能が確保される場合	
成功パス	- : 当該室に対象なし ○ : 当該室の火災により対応する安全機能が1系統残る場合 × : 当該室の火災により対応する安全機能がすべて喪失する場合	

再処理施設成功パス一覧表

2.崩壊熱除去機能		【Aトレ設備】	【Bトレ設備】
冷却設備	安全冷却水系	安全冷却水A冷却塔	安全冷却水B冷却塔
前処理建屋	冷却設備	安全冷却水A循環ポンプA 安全冷却水A循環ポンプB 安全冷却水1AポンプA 安全冷却水1AポンプB	安全冷却水B循環ポンプA 安全冷却水B循環ポンプB 安全冷却水1BポンプA 安全冷却水1BポンプB
分離建屋	冷却設備	安全冷却水A循環ポンプA 安全冷却水A循環ポンプB 安全冷却水1AポンプA 安全冷却水1AポンプB	安全冷却水B循環ポンプC 安全冷却水B循環ポンプD 安全冷却水1BポンプA 安全冷却水1BポンプB
精製建屋	冷却設備	安全冷却水AポンプA 安全冷却水AポンプB	安全冷却水BポンプA 安全冷却水BポンプB
ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋	冷却設備	安全冷却水系	安全冷却水系
ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋	冷却設備	冷水移送ポンプA 冷水移送ポンプB	冷水移送ポンプC 冷水移送ポンプD
高レベル廃液ガラス固化建屋	冷却設備	安全冷却水系	安全冷却水系
高レベル廃液ガラス固化建屋	冷却設備	第1高レベル濃縮廃液貯槽冷却水AポンプA 第1高レベル濃縮廃液貯槽冷却水AポンプB 第2高レベル濃縮廃液貯槽冷却水AポンプA 第2高レベル濃縮廃液貯槽冷却水AポンプB 安全冷却水A系ポンプA 安全冷却水A系ポンプB 高レベル廃液共用貯槽冷却水AポンプA 高レベル廃液共用貯槽冷却水AポンプB 安全冷却水A系ポンプA 安全冷却水A系ポンプB 安全冷水A冷却器冷媒膨張弁A 安全冷水A冷却器冷媒膨張弁B 安全冷水A冷却器冷媒止弁A 安全冷水A冷却器冷媒止弁B 安全冷却水1AポンプA 安全冷却水1AポンプB 安全冷水AポンプA 安全冷水AポンプB 安全冷水A冷凍機 スクリーン圧縮機 スクリーン圧縮機	第1高レベル濃縮廃液貯槽冷却水BポンプA 第1高レベル濃縮廃液貯槽冷却水BポンプB 第2高レベル濃縮廃液貯槽冷却水BポンプA 第2高レベル濃縮廃液貯槽冷却水BポンプB 安全冷却水B系ポンプA 安全冷却水B系ポンプB 高レベル廃液共用貯槽冷却水BポンプA 高レベル廃液共用貯槽冷却水BポンプB 安全冷却水B系ポンプA 安全冷却水B系ポンプB 安全冷水B冷却器冷媒膨張弁A 安全冷水B冷却器冷媒膨張弁B 安全冷水B冷却器冷媒止弁A 安全冷水B冷却器冷媒止弁B 安全冷却水1BポンプA 安全冷却水1BポンプB 安全冷水BポンプA 安全冷水BポンプB 安全冷水B冷凍機 スクリーン圧縮機 スクリーン圧縮機
ウラン・プルトニウム混合酸化物貯蔵建屋	換気設備	貯蔵室排風機A 貯蔵室排風機B	貯蔵室排風機C 貯蔵室排風機D
×			
	1パス	○	
	回路評価等	-	
	成功パス	○	
3.安全圧縮空気系(水素掃気機能)		【Aトレ設備】	【Bトレ設備】
安全圧縮空気系		安全空気圧縮装置A 安全空気圧縮装置C	安全空気圧縮装置B 安全空気圧縮装置C
-			
	1パス	-	
	回路評価等	-	
	成功パス	-	

再処理施設成功パス一覧表

4.非常用所内電源系統(支援機能)		【Aトレン設備】	【Bトレン設備】
非常用電源建屋冷却水設備			
	8111A-C20 冷却塔A		8111B-C20 冷却塔B
	8111A-P2010 冷却水循環ポンプA		8111B-P2010 冷却水循環ポンプB
非常用電源建屋の電気設備			
	GA-M/C-A 6.9kV非常用メタクラA		GA-M/C-B 6.9kV非常用メタクラB
	GA-MCC-A 460V非常用コントロールセンタA		GA-MCC-B 460V非常用コントロールセンタB
	8111A-X10 ディーゼル機関A		8111B-X10 ディーゼル機関B
	8111A-X11 同期発電機A		8111B-X11 同期発電機B
	8111A-P4011 燃料油移送ポンプA		8111B-P4011 燃料油移送ポンプB
	GA-BAT-A 110V第2非常用蓄電池A		GA-BAT-B 110V第2非常用蓄電池B
	GA-CHG-A 110V非常用充電器盤A		GA-CHG-B 110V非常用充電器盤B
	GA-DCD-A 110V非常用直流主分電盤A		GA-DCD-B 110V非常用直流主分電盤B
	GA-CHG-E 110V非常用予備充電器盤E		GA-CHG-E 110V非常用予備充電器盤E
	GA-E-K011A 非常用電気設備リレー盤A1		GA-E-K013B 非常用電気設備リレー盤B1
	GA-E-K012A 非常用電気設備リレー盤A2		GA-E-K014B 非常用電気設備リレー盤B2
	8111A-V40 燃料油貯蔵タンク1A		8111B-V40 燃料油貯蔵タンク1B
	8111A-V41 燃料油貯蔵タンク2A		8111B-V41 燃料油貯蔵タンク2B
	GA-E-M011A 第2非常用ディーゼル発電機A制御盤		GA-E-M012B 第2非常用ディーゼル発電機B制御盤
	GA-PTR-A 非常用動力用変圧器A		GA-PTR-B 非常用動力用変圧器B
	8111A-V42 燃料油サービスタングA		8111B-V42 燃料油サービスタングB
	8111A-F4210 燃料油第1フィルタA		8111B-F4210 燃料油第1フィルタB
	8111A-F4230 燃料油第2フィルタA		8111B-F4230 燃料油第2フィルタB
	GA-E-S011A 第2非常用ディーゼル発電機ターニング現場盤A		GA-E-S012B 第2非常用ディーゼル発電機ターニング現場盤B
	GA-E-U011A 第2非常用ディーゼル発電機CT盤A		GA-E-U012B 第2非常用ディーゼル発電機CT盤B
	GA-I-K011A ユーティリティ工程 安全系A制御盤(リレー盤)		GA-I-K012B ユーティリティ工程 安全系B制御盤(リレー盤)
制御建屋の電気設備			
	AG-M/C-A 6.9kV非常用メタクラA		AG-M/C-B 6.9kV非常用メタクラB
	AG-P/C-A 460V非常用パワーセンタA		AG-P/C-B 460V非常用パワーセンタB
	AG-MCC-A1 460V非常用コントロールセンタA1		AG-MCC-B1 460V非常用コントロールセンタB1
	AG-MCC-A2 460V非常用コントロールセンタA2		AG-MCC-B2 460V非常用コントロールセンタB2
	AG-I-F201A 前処理建屋 安全系A監視制御盤		AG-I-F202B 前処理建屋 安全系B監視制御盤
	AG-I-F203A 分離建屋 安全系A監視制御盤		AG-I-F204B 分離建屋 安全系B監視制御盤
	AG-I-F205A 精製建屋 安全系A監視制御盤		AG-I-F206B 精製建屋 安全系B監視制御盤
	AG-I-F211A ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋 安全系A監視制御盤		AG-I-F212B ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋 安全系B監視制御盤
	AG-I-F213A 高レベル廃液ガラス固化建屋 安全系A監視制御盤		AG-I-F214B 高レベル廃液ガラス固化建屋 安全系B監視制御盤
	AG-BAT-A1 110V第2非常用蓄電池A1		AG-BAT-B1 110V第2非常用蓄電池B1
	AG-BAT-A2 220V第2非常用蓄電池A2		AG-BAT-B2 220V第2非常用蓄電池B2
	AG-CHG-A 110V非常用充電器盤A		AG-CHG-B 110V非常用充電器盤B
	AG-CHG-E 110V非常用予備充電器盤E		AG-CHG-E 110V非常用予備充電器盤E
	AG-DCD-A 110V非常用直流主分電盤A		AG-DCD-B 110V非常用直流主分電盤B
	AG-UPS-A 105V非常用無停電電源装置A		AG-UPS-B 105V非常用無停電電源装置B
	AG-UPD-A 105V非常用無停電交流主分電盤A		AG-UPD-B 105V非常用無停電交流主分電盤B
前処理建屋の電気設備			
	AA-M/C-A 6.9kV非常用メタクラA		AA-M/C-B 6.9kV非常用メタクラB
	AA-P/C-A 460V非常用パワーセンタA		AA-P/C-B 460V非常用パワーセンタB
	AA-MCC-A1 460V非常用コントロールセンタA1		AA-MCC-B1 460V非常用コントロールセンタB1
	AA-MCC-A2 460V非常用コントロールセンタA2		AA-MCC-B2 460V非常用コントロールセンタB2
	AA-MCC-A3 460V非常用コントロールセンタA3		
	AA-BAT-A 110V第2非常用蓄電池A		AA-BAT-B 110V第2非常用蓄電池B
	AA-CHG-A 110V非常用充電器盤A		AA-CHG-B 110V非常用充電器盤B
	AA-CHG-E 110V非常用予備充電器盤E		AA-CHG-E 110V非常用予備充電器盤E
	AA-DCD-A 110V非常用直流主分電盤A		AA-DCD-B 110V非常用直流主分電盤B
	AA-UPS-A 105V非常用無停電電源装置A		AA-UPS-B 105V非常用無停電電源装置B
	AA-UPD-A 105V非常用無停電交流主分電盤A		AA-UPD-B 105V非常用無停電交流主分電盤B
	AA-I-M171A 圧縮空気設備 安全空気脱湿装置A現場監視制御盤		AA-I-M172B 圧縮空気設備 安全空気脱湿装置B現場監視制御盤
	AA-I-M166A 圧縮空気設備 安全空気圧縮装置A現場監視制御盤		AA-I-M167B 圧縮空気設備 安全空気圧縮装置B現場監視制御盤
	AA-I-M176A 圧縮空気設備 安全空気圧縮装置C現場制御回路分離盤A		AA-I-M177B 圧縮空気設備 安全空気圧縮装置C現場制御回路分離盤B
	AA-I-M169C 圧縮空気設備 安全空気圧縮装置C現場制御電源切換盤		AA-I-M169C 圧縮空気設備 安全空気圧縮装置C現場制御電源切換盤
	AA-I-M168C 圧縮空気設備 安全空気圧縮装置C現場監視制御盤		AA-I-M168C 圧縮空気設備 安全空気圧縮装置C現場監視制御盤
	AA-I-K701A よう素除去工程排風機A制御盤		AA-I-K702B よう素除去工程排風機B制御盤
	AA-I-K703C よう素除去工程排風機C制御盤		AA-I-K703C よう素除去工程排風機C制御盤
	AA-I-X710C よう素除去工程 C系統電源切替盤		AA-I-X710C よう素除去工程 C系統電源切替盤
	AA-I-J012A ユーティリティ工程 安全系A制御盤1(リレー盤2)		AA-I-J062B ユーティリティ工程 安全系B制御盤1(リレー盤2)
	AA-I-J013A ユーティリティ工程 安全系A制御盤2(リレー盤3)		AA-I-J063B ユーティリティ工程 安全系B制御盤2(リレー盤3)
	AA-I-J031A よう素除去工程 安全系A制御盤1		AA-I-J081B よう素除去工程 安全系B制御盤1
	AA-I-J032A よう素除去工程 安全系A制御盤2		AA-I-J082B よう素除去工程 安全系B制御盤2
	AA-I-J033A よう素除去工程 安全系A制御盤3		AA-I-J083B よう素除去工程 安全系B制御盤3
	AA-LPD-A2 溶解槽セルA排風機A極数変換盤		AA-LPD-B2 溶解槽セルA排風機B極数変換盤
	AA-LPD-A3 溶解槽セルB排風機A極数変換盤		AA-LPD-B3 溶解槽セルB排風機B極数変換盤
	AA-LPD-A21 セル排風機A極数変換盤		AA-LPD-B21 セル排風機B極数変換盤
分離建屋の非常用所内電源系統			
	AB-P/C-A 460V非常用パワーセンタA		AB-P/C-B 460V非常用パワーセンタB
	AB-MCC-A 460V非常用コントロールセンタA		AB-MCC-B 460V非常用コントロールセンタB
	AB-CHG-A 110V非常用充電器盤A		AB-CHG-B 110V非常用充電器盤B
	AB-CHG-E 110V非常用予備充電器盤E		AB-CHG-E 110V非常用予備充電器盤E
	AB-BAT-A 110V第2非常用蓄電池A		AB-BAT-B 110V第2非常用蓄電池B
	AB-DCD-A 110V非常用直流主分電盤A		AB-DCD-B 110V非常用直流主分電盤B
	AB-UPS-A 105V非常用無停電電源装置A		AB-UPS-B 105V非常用無停電電源装置B
	AB-UPD-A1 105V非常用無停電交流主分電盤A1		AB-UPD-B1 105V非常用無停電交流主分電盤A1
	AB-UPD-A2 105V非常用無停電交流主分電盤A2		AB-UPD-B2 105V非常用無停電交流主分電盤A2
	AB-I-J180A ユーティリティ工程 安全系A制御盤1		AB-I-J183B ユーティリティ工程 安全系B制御盤1
	AB-I-J181A ユーティリティ工程 安全系A制御盤2		AB-I-J184B ユーティリティ工程 安全系B制御盤2
	AB-I-J182A ユーティリティ工程 安全系A制御盤3		AB-I-J185B ユーティリティ工程 安全系B制御盤3
	AB-I-J033A 分離・分配工程 安全系A制御盤1		AB-I-J036B 分離・分配工程 安全系B制御盤1
	AB-I-J034A 分離・分配工程 安全系A制御盤2		AB-I-J037B 分離・分配工程 安全系B制御盤2
	AB-I-J035A 分離・分配工程 安全系A制御盤3		AB-I-J038B 分離・分配工程 安全系B制御盤3
	AB-V-J100A 建屋換気設備 安全系A制御盤		AB-V-J101B 建屋換気設備 安全系B制御盤
	1パス	-	
	回路評価等	-	
	成功パス	-	

再処理施設成功パス一覧表

4. 支援機能(続き)		【Aトレン設備】		【Bトレン設備】	
精製建屋の電気設備				精製建屋の電気設備	
	AC-BAT-A	110V第2非常用蓄電池A		AC-BAT-B	110V第2非常用蓄電池B
×	AC-CHG-A	110V非常用充電器盤A		AC-CHG-B	110V非常用充電器盤B
×	AC-CHG-E	110V非常用予備充電器盤E		AC-CHG-E	110V非常用予備充電器盤E
×	AC-DCD-A	110V非常用直流主分電盤A		AC-DCD-B	110V非常用直流主分電盤B
×	AC-MCC-A1	460V非常用コントロールセンタA1		AC-MCC-B1	460V非常用コントロールセンタB1
×	AC-MCC-A2	460V非常用コントロールセンタA2		AC-MCC-B2	460V非常用コントロールセンタB2
×	AC-P/C-A	460V非常用パワーセンタA		AC-P/C-B	460V非常用パワーセンタB
×	AC-UPD-A	105V非常用無停電交流主分電盤A		AC-UPD-B	105V非常用無停電交流主分電盤B
×	AC-UPS-A	105V非常用無停電電源装置A		AC-UPS-B	105V非常用無停電電源装置B
	AC-I-J450A	ユーティリティ工程 安全系A制御盤(計器盤)		AC-I-J460B	ユーティリティ工程 安全系B制御盤(計器盤)
	AC-I-J451A	ユーティリティ工程 安全系A制御盤(リレー盤)		AC-I-J461B	ユーティリティ工程 安全系B制御盤(リレー盤)
	AC-E-J452A	非常用電気設備リレー盤A		AC-E-J462B	非常用電気設備リレー盤B
	AC-V-J453A	建屋換気設備安全系A制御盤		AC-V-J463B	建屋換気設備安全系B制御盤
	AC-I-J752A	プルトニウム精製工程 安全系A 制御盤3		AC-I-J755B	プルトニウム精製工程 安全系B 制御盤3
ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋の非常用所内電源系統				ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋の非常用所内電源系統	
	CA-P/C-A	460V非常用パワーセンタA		CA-P/C-B	460V非常用パワーセンタB
	CA-MCC-A1	460V非常用コントロールセンタA1		CA-MCC-B1	460V非常用コントロールセンタB1
	CA-MCC-A2	460V非常用コントロールセンタA2		CA-MCC-B2	460V非常用コントロールセンタB2
	CA-M/C-A	6.9kV非常用メタクラA		CA-M/C-B	6.9kV非常用メタクラB
	CA-E-K503A	非常用電気設備リレー盤A		CA-E-K603B	非常用電気設備リレー盤B
	CA-I-J501A	安全系A制御盤		CA-I-J601B	安全系B制御盤
	CA-V-J502A	建屋換気設備安全系A制御盤		CA-V-J602B	建屋換気設備安全系B制御盤
	CA-CHG-A	110V非常用充電器盤A		CA-CHG-B	110V非常用充電器盤B
	CA-CHG-E	110V非常用予備充電器盤E		CA-CHG-E	110V非常用予備充電器盤E
	CA-DCD-A	110V非常用直流主分電盤A		CA-DCD-B	110V非常用直流主分電盤B
	CA-UPD-A	105V非常用無停電交流主分電盤A		CA-UPD-B	105V非常用無停電交流主分電盤B
	CA-UPS-A	105V非常用無停電電源装置A		CA-UPS-B	105V非常用無停電電源装置B
	CA-BAT-A	110V第2非常用蓄電池A		CA-BAT-B	110V第2非常用蓄電池B
ウラン・プルトニウム混合酸化物貯蔵建屋の非常用所内電源系統				ウラン・プルトニウム混合酸化物貯蔵建屋の非常用所内電源系統	
	CB-P/C-A	460V非常用パワーセンタA		CB-P/C-B	460V非常用パワーセンタB
	CB-E-J101A	非常用電気設備リレー盤A		CB-E-J102B	非常用電気設備リレー盤B
	CA-V-J001A	建屋換気設備安全系A制御盤		CA-V-J002B	建屋換気設備安全系B制御盤
	CB-BAT-A	110V第2非常用蓄電池A		CB-BAT-B	110V第2非常用蓄電池B
	CB-CHG-A	110V非常用充電器盤A		CB-CHG-B	110V非常用充電器盤B
	CB-DCD-A	110V非常用直流主分電盤A		CB-DCD-B	110V非常用直流主分電盤B
	CB-MCC-A	460V非常用コントロールセンタA		CB-MCC-B	460V非常用コントロールセンタB
	CB-UPS-A	105V非常用無停電電源装置A		CB-UPS-B	105V非常用無停電電源装置B
	CB-CHG-E	110V非常用予備充電器盤E		CB-CHG-E	110V非常用予備充電器盤E
高レベル廃液ガラス固化建屋の電気設備				高レベル廃液ガラス固化建屋の電気設備	
	KA-P/C-A	460V非常用パワーセンタA		KA-P/C-B	460V非常用パワーセンタB
	KA-BAT-A	110V第2非常用蓄電池A		KA-BAT-B	110V第2非常用蓄電池B
	KA-CHG-A	110V非常用充電器盤A		KA-CHG-B	110V非常用充電器盤B
	KA-CHG-E	110V非常用予備充電器盤E		KA-CHG-E	110V非常用予備充電器盤E
	KA-DCD-A	110V非常用直流主分電盤A		KA-DCD-B	110V非常用直流主分電盤B
	KA-UPS-A	105V非常用無停電電源装置A		KA-UPS-B	105V非常用無停電電源装置B
	KA-UPD-A	105V非常用無停電交流主分電盤A		KA-UPD-B	105V非常用無停電交流主分電盤B
	KA-ACS-A	105V非常用計測交流電源盤A		KA-ACS-B	105V非常用計測交流電源盤B
	KA-ACD-A	105V非常用計測交流主分電盤A		KA-ACD-B	105V非常用計測交流主分電盤B
	KA-MCC-A1	460V非常用コントロールセンタA1		KA-MCC-B1	460V非常用コントロールセンタB1
	KA-MCC-A2	460V非常用コントロールセンタA2		KA-MCC-B2	460V非常用コントロールセンタB2
	KA-I-K224A	高レベル廃液ガラス固化廃ガス処理設備第1排風機A安全系Aインバータ制御盤		KA-I-K225B	高レベル廃液ガラス固化廃ガス処理設備第1排風機B安全系Bインバータ制御盤
	KA-I-K226A	高レベル廃液ガラス固化廃ガス処理設備第2排風機A安全系Aインバータ制御盤		KA-I-K227B	高レベル廃液ガラス固化廃ガス処理設備第2排風機B安全系Bインバータ制御盤
	KA-I-K073A	固化セル換気系排風機A安全系Aインバータ制御盤		KA-I-K074B	固化セル換気系排風機B安全系Bインバータ制御盤
	KA-E-K001A	非常用電気設備リレー盤A		KA-E-K002B	非常用電気設備リレー盤B
	KA-I-J501A	高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系A制御盤1		KA-I-J521B	高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系B制御盤1
	KA-I-J502A	高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系A制御盤2		KA-I-J522B	高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系B制御盤2
	KA-I-J503A	高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系A制御盤3		KA-I-J523B	高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系B制御盤3
	KA-I-J504A	高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系A制御盤4		KA-I-J524B	高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系B制御盤4
	KA-I-J505A	高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系A制御盤5		KA-I-J525B	高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系B制御盤5
	KA-I-J506A	高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系A制御盤6		KA-I-J526B	高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系B制御盤6
	KA-I-J507A	高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系A制御盤7		KA-I-J527B	高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系B制御盤7
	KA-I-J508A	高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系A制御盤8		KA-I-J528B	高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系B制御盤8
	KA-I-J511A	安全系A アレスタ盤		KA-I-J531B	安全系B アレスタ盤
	KA-I-J512A	高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系A制御盤(リレー盤1)		KA-I-J532B	高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系B制御盤(リレー盤1)
	KA-I-J513A	高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系A制御盤(リレー盤2)		KA-I-J533B	高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系B制御盤(リレー盤2)
	KA-I-J514A	高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系A制御盤(リレー盤3)		KA-I-J534B	高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系B制御盤(リレー盤3)
	KA-I-M331A	冷凍機 安全系A監視制御盤		KA-I-M322B	冷凍機 安全系B監視制御盤
	KA-I-K334A	冷却水・冷水設備 安全系A 制御盤1		KA-I-K338B	冷却水・冷水設備 安全系B 制御盤1
	KA-I-K335A	冷却水・冷水設備 安全系A 制御盤2		KA-I-K339B	冷却水・冷水設備 安全系B 制御盤2
×					
	1パス		○		
	回路評価等		-		
	成功パス		○		

火災区域(区画)特性表

1. 火災区域(区画)の説明

建屋名	精製建屋
火災区域/区画区分	火災区域
火災区域/区画番号	AC-14/
火災区域/区画名称	非常用B蓄電池室
床面積(m ²)	

2. 火災区域(区画)の火災シナリオの説明

AC-14は、精製建屋内の火災区域である。
 本区画はの火災源は、蓄電池である。
 したがって、本区画の想定火災としては、蓄電池火災により安全上重要な施設のB系の設備(6.火災影響を受ける火災防護対象機器等 参照)が火災影響を受け、安全機能が喪失するおそれがあるが、多重化された安全上重要な施設の片系のみの機能喪失であるため、安全機能が完全に喪失することはない。

3. 火災区域(区画)にある火災源

(1) 等価時間

発熱量(kJ)	火災荷重 (kJ/m ²)	等価時間(h) [※]
		2.0

※ 等価時間は、内部火災影響評価ガイドの等価時間記載の値で示す。

(2) 火災区域(区画)にある火災源機器数

火災源	機器数
電動機(3.7kW超)	-
電気盤(440V以上)	-
ケーブルトレイ(ケーブル)	-
油脂類・有機溶媒等	-
その他	1

4. 火災区域(区画)にある防火設備

火災感知の手段	主要な消火設備	消火方法	消火設備のバックアップ
煙感知器 熱感知器	ハロゲン化物消火 設備(全域)	自動	二酸化炭素消火器

5. 火災区域(区画)に隣接する火災区域(区画)と火災伝播経路

隣接火災区画への火災伝播経路の詳細は、別紙1参照

6. 火災影響を受ける火災防護対象機器等

機器名称[機器番号]	最重要設備 [※]	最重要設備以外の 安全上重要な施設 [※]
110V第2非常用蓄電池B[AC- BAT-B]	○	-

※ ○:対象 -:非対象

* 火災想定において、工程停止等により安全機能を必要としない状態へと移行が可能なもの。

7. 火災防護対象機器等の関連ケーブル

機器名称[機器番号]	ケーブル種別	安重分類
110V第2非常用蓄電池B[AC- BAT-B]	動力(低圧)	非常用所内電源系統

8. 最重要設備の安重機能への火災影響

安重分類	全焼時の成功パスの有無	回路評価等の考慮	結果	系統分離※
Pu・高レベル廃棄物の閉じ込め機能	-	-	-	-
崩壊熱除去機能(重要度の高いもの)	-	-	-	-
安全圧縮空気系(水素掃気機能)	-	-	-	-
非常用所内電源系統	有	-	○	-

※ a : 3時間以上の耐火能力を有する耐火壁で分離

b : 水平距離6mによる分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置

c : 1時間の耐火能力を有する隔壁等による分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置
再処理施設成功パスの詳細は、別紙2参照

9. 最重要設備以外の火災防護対象機器等への火災影響

機器名称[機器番号]	当該区画の火災評価※	隣接区画の火災評価※
-	-	-

※ ○:火災影響なし ×:火災影響あり

隣接する火災区画と火災伝播経路

(※ 有:伝播する 無:伝播しない)

隣接する 火災区画	火災伝播 経路有無	等価時間 (h)	耐火時間 (h)	火災伝播の 可能性 ※	備考
	無	2.0	3.0	無	
	無	2.0	3.0	無	
	無	2.0	3.0	無	
	無	2.0	3.0	無	
	無	2.0	3.0	無	
	無	2.0	3.0	無	
	無	2.0	3.0	無	

再処理施設成功パス一覧表

建屋	精製建屋	非常用B蓄電池室
区域(区画)番号/名称		
1.放射性物質の閉じ込め機能(動的な閉じ込め機能)		
	【Aトレン設備】	【Bトレン設備】
前処理建屋 せん断処理・溶解廃ガス処理設備	排風機A	前処理建屋 せん断処理・溶解廃ガス処理設備
	排風機C	排風機B
前処理建屋 塔槽類廃ガス処理設備	排風機A	前処理建屋 塔槽類廃ガス処理設備
前処理建屋換気設備 溶解セル等からの排気系	セル排風機A	前処理建屋換気設備 溶解セル等からの排気系
	溶解槽セルA排風機A	セル排風機B
	溶解槽セルB排風機A	溶解槽セルA排風機B
高レベル廃液ガラス固化建屋 高レベル廃液ガラス固化廃ガス処理設備	第1排風機A	高レベル廃液ガラス固化建屋 高レベル廃液ガラス固化廃ガス処理設備
	第2排風機A	第1排風機B
高レベル廃液ガラス固化建屋 塔槽類廃ガス処理設備 高レベル濃縮廃液廃ガス処理系	排風機A	高レベル廃液ガラス固化建屋 塔槽類廃ガス処理設備 高レベル濃縮廃液廃ガス処理系
高レベル廃液ガラス固化建屋 塔槽類廃ガス処理設備 不溶解残渣廃液廃ガス処理系	排風機A	高レベル廃液ガラス固化建屋 塔槽類廃ガス処理設備 不溶解残渣廃液廃ガス処理系
高レベル濃縮廃液貯槽セル等からの排気系 固化セル換気系及び固化セル圧力放出系	セル排風機A	高レベル濃縮廃液貯槽セル等からの排気系 固化セル換気系及び固化セル圧力放出系
	固化セル換気系排風機A	セル排風機B
分離建屋 塔槽類廃ガス処理設備 パルセータ廃ガス処理系	排風機A	分離建屋 塔槽類廃ガス処理設備 パルセータ廃ガス処理系
分離建屋 塔槽類廃ガス処理設備 塔槽類廃ガス処理系	排風機A	分離建屋 塔槽類廃ガス処理設備 塔槽類廃ガス処理系
分離建屋換気設備 プルトニウム溶液中間貯槽セル等からの排気系	グローブボックス・セル排風機A	分離建屋換気設備 プルトニウム溶液中間貯槽セル等からの排気系
精製建屋 塔槽類廃ガス処理設備 パルセータ廃ガス処理系	排風機A	精製建屋 塔槽類廃ガス処理設備 パルセータ廃ガス処理系
精製建屋 塔槽類廃ガス処理設備 塔槽類廃ガス処理系(プルトニウム系)	排風機A	精製建屋 塔槽類廃ガス処理設備 塔槽類廃ガス処理系(プルトニウム系)
精製建屋換気設備 プルトニウム濃縮缶セル等及びグローブボックス等からの排気系	グローブボックス・セル排風機A	精製建屋換気設備 プルトニウム濃縮缶セル等及びグローブボックス等からの排気系
ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋 塔槽類廃ガス処理設備	第1排風機A	ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋 塔槽類廃ガス処理設備
	第2排風機A	第1排風機B
	第2排風機C	第2排風機B
ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋 硝酸プルトニウム貯槽セル等及びグローブボックス等からの排気系	グローブボックス・セル排風機A	ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋 硝酸プルトニウム貯槽セル等及びグローブボックス等からの排気系
	グローブボックス・セル排風機C	グローブボックス・セル排風機B
-		-
1パス	-	
回路評価等	-	
成功パス	-	

凡例	
x	〇〇〇〇-〇〇〇 〇〇〇A
	〇〇〇〇-〇〇〇 〇〇〇〇A
x : 当該室の火災により安全機能を喪失する機器がある場合	
空欄 : 当該室に設置していない機器	
1パス	- : 当該室に対象なし ○ : 当該室の火災により対応する安全機能が1系統残る場合 x : 当該室の火災により対応する安全機能がすべて喪失する場合
回路評価等	- : 当該室に回路評価等を行う対象なし ○ : 回路評価等により、対応する安全機能が確保される場合
成功パス	- : 当該室に対象なし ○ : 当該室の火災により対応する安全機能が1系統残る場合 x : 当該室の火災により対応する安全機能がすべて喪失する場合

再処理施設成功パス一覧表

2.崩壊熱除去機能		【Aトレ設備】		【Bトレ設備】	
冷却設備	安全冷却水系			冷却設備	安全冷却水系
	安全冷却水A冷却塔				安全冷却水B冷却塔
前処理建屋	冷却設備 安全冷却水系			前処理建屋	冷却設備 安全冷却水系
	安全冷却水A循環ポンプA				安全冷却水B循環ポンプA
	安全冷却水A循環ポンプB				安全冷却水B循環ポンプB
	安全冷却水1AポンプA				安全冷却水1BポンプA
	安全冷却水1AポンプB				安全冷却水1BポンプB
分離建屋	冷却設備 安全冷却水系			分離建屋	冷却設備 安全冷却水系
	冷却水循環ポンプA				冷却水循環ポンプC
	冷却水循環ポンプB				冷却水循環ポンプD
	安全冷却水1AポンプA				安全冷却水1BポンプA
	安全冷却水1AポンプB				安全冷却水1BポンプB
精製建屋	冷却設備 安全冷却水系			精製建屋	冷却設備 安全冷却水系
	安全冷却水AポンプA				安全冷却水BポンプA
	安全冷却水AポンプB				安全冷却水BポンプB
ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋	冷却設備 安全冷却水系			ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋	冷却設備 安全冷却水系
	冷水移送ポンプA				冷水移送ポンプC
	冷水移送ポンプB				冷水移送ポンプD
高レベル廃液ガラス固化建屋	冷却設備 安全冷却水系			高レベル廃液ガラス固化建屋	冷却設備 安全冷却水系
	第1高レベル濃縮廃液貯槽冷却水AポンプA				第1高レベル濃縮廃液貯槽冷却水BポンプA
	第1高レベル濃縮廃液貯槽冷却水AポンプB				第1高レベル濃縮廃液貯槽冷却水BポンプB
	第2高レベル濃縮廃液貯槽冷却水AポンプA				第2高レベル濃縮廃液貯槽冷却水BポンプA
	第2高レベル濃縮廃液貯槽冷却水AポンプB				第2高レベル濃縮廃液貯槽冷却水BポンプB
	安全冷却水A系ポンプA				安全冷却水B系ポンプA
	安全冷却水A系ポンプB				安全冷却水B系ポンプB
	高レベル廃液共用貯槽冷却水AポンプA				高レベル廃液共用貯槽冷却水BポンプA
	高レベル廃液共用貯槽冷却水AポンプB				高レベル廃液共用貯槽冷却水BポンプB
	安全冷却水A系ポンプA				安全冷却水B系ポンプA
	安全冷却水A系ポンプB				安全冷却水B系ポンプB
	安全冷水A冷却器冷媒膨張弁A				安全冷水B冷却器冷媒膨張弁A
	安全冷水A冷却器冷媒膨張弁B				安全冷水B冷却器冷媒膨張弁B
	安全冷水A冷却器冷媒止弁A				安全冷水B冷却器冷媒止弁A
	安全冷水A冷却器冷媒止弁B				安全冷水B冷却器冷媒止弁B
	安全冷却水1AポンプA				安全冷却水1BポンプA
	安全冷却水1AポンプB				安全冷却水1BポンプB
	安全冷水AポンプA				安全冷水BポンプA
	安全冷水AポンプB				安全冷水BポンプB
	安全冷水A冷凍機				安全冷水B冷凍機
	スクリー圧縮機				スクリー圧縮機
	スクリー圧縮機				スクリー圧縮機
ウラン・プルトニウム混合酸化物貯蔵建屋換気設備貯蔵室排気系				ウラン・プルトニウム混合酸化物貯蔵建屋換気設備貯蔵室排気系	
	貯蔵室排風機A				貯蔵室排風機C
	貯蔵室排風機B				貯蔵室排風機D
-				-	
	1パス		-		
	回路評価等		-		
	成功パス		-		
3.安全圧縮空気系(水素掃気機能)		【Aトレ設備】		【Bトレ設備】	
安全圧縮空気系		安全圧縮空気系		安全圧縮空気系	
	安全空気圧縮装置A				安全空気圧縮装置B
	安全空気圧縮装置C				安全空気圧縮装置C
-				-	
	1パス		-		
	回路評価等		-		
	成功パス		-		

再処理施設成功パス一覧表

4.非常用所内電源系統(支援機能)		【Aトレン設備】	【Bトレン設備】
非常用電源建屋冷却水設備			
	8111A-C20 冷却塔A		8111B-C20 冷却塔B
	8111A-P2010 冷却水循環ポンプA		8111B-P2010 冷却水循環ポンプB
非常用電源建屋の電気設備			
	GA-M/C-A 6.9kV非常用メタクラA		GA-M/C-B 6.9kV非常用メタクラB
	GA-MCC-A 460V非常用コントロールセンタA		GA-MCC-B 460V非常用コントロールセンタB
	8111A-X10 ディーゼル機関A		8111B-X10 ディーゼル機関B
	8111A-X11 同期発電機A		8111B-X11 同期発電機B
	8111A-P4011 燃料油移送ポンプA		8111B-P4011 燃料油移送ポンプB
	GA-BAT-A 110V第2非常用蓄電池A		GA-BAT-B 110V第2非常用蓄電池B
	GA-CHG-A 110V非常用充電器盤A		GA-CHG-B 110V非常用充電器盤B
	GA-DCD-A 110V非常用直流主分電盤A		GA-DCD-B 110V非常用直流主分電盤B
	GA-CHG-E 110V非常用予備充電器盤E		GA-CHG-E 110V非常用予備充電器盤E
	GA-E-K011A 非常用電気設備リレー盤A1		GA-E-K013B 非常用電気設備リレー盤B1
	GA-E-K012A 非常用電気設備リレー盤A2		GA-E-K014B 非常用電気設備リレー盤B2
	8111A-V40 燃料油貯蔵タンク1A		8111B-V40 燃料油貯蔵タンク1B
	8111A-V41 燃料油貯蔵タンク2A		8111B-V41 燃料油貯蔵タンク2B
	GA-E-M011A 第2非常用ディーゼル発電機A制御盤		GA-E-M012B 第2非常用ディーゼル発電機B制御盤
	GA-PTR-A 非常用動力用変圧器A		GA-PTR-B 非常用動力用変圧器B
	8111A-V42 燃料油サービスタングA		8111B-V42 燃料油サービスタングB
	8111A-F4210 燃料油第1フィルタA		8111B-F4210 燃料油第1フィルタB
	8111A-F4230 燃料油第2フィルタA		8111B-F4230 燃料油第2フィルタB
	GA-E-S011A 第2非常用ディーゼル発電機ターニング現場盤A		GA-E-S012B 第2非常用ディーゼル発電機ターニング現場盤B
	GA-E-U011A 第2非常用ディーゼル発電機CT盤A		GA-E-U012B 第2非常用ディーゼル発電機CT盤B
	GA-I-K011A ユーティリティ工程 安全系A制御盤(リレー盤)		GA-I-K012B ユーティリティ工程 安全系B制御盤(リレー盤)
制御建屋の電気設備			
	AG-M/C-A 6.9kV非常用メタクラA		AG-M/C-B 6.9kV非常用メタクラB
	AG-P/C-A 460V非常用パワーセンタA		AG-P/C-B 460V非常用パワーセンタB
	AG-MCC-A1 460V非常用コントロールセンタA1		AG-MCC-B1 460V非常用コントロールセンタB1
	AG-MCC-A2 460V非常用コントロールセンタA2		AG-MCC-B2 460V非常用コントロールセンタB2
	AG-I-F201A 前処理建屋 安全系A監視制御盤		AG-I-F202B 前処理建屋 安全系B監視制御盤
	AG-I-F203A 分離建屋 安全系A監視制御盤		AG-I-F204B 分離建屋 安全系B監視制御盤
	AG-I-F205A 精製建屋 安全系A監視制御盤		AG-I-F206B 精製建屋 安全系B監視制御盤
	AG-I-F211A ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋 安全系A監視制御盤		AG-I-F212B ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋 安全系B監視制御盤
	AG-I-F213A 高レベル廃液ガラス固化建屋 安全系A監視制御盤		AG-I-F214B 高レベル廃液ガラス固化建屋 安全系B監視制御盤
	AG-BAT-A1 110V第2非常用蓄電池A1		AG-BAT-B1 110V第2非常用蓄電池B1
	AG-BAT-A2 220V第2非常用蓄電池A2		AG-BAT-B2 220V第2非常用蓄電池B2
	AG-CHG-A 110V非常用充電器盤A		AG-CHG-B 110V非常用充電器盤B
	AG-CHG-E 110V非常用予備充電器盤E		AG-CHG-E 110V非常用予備充電器盤E
	AG-DCD-A 110V非常用直流主分電盤A		AG-DCD-B 110V非常用直流主分電盤B
	AG-UPS-A 105V非常用無停電電源装置A		AG-UPS-B 105V非常用無停電電源装置B
	AG-UPD-A 105V非常用無停電交流主分電盤A		AG-UPD-B 105V非常用無停電交流主分電盤B
前処理建屋の電気設備			
	AA-M/C-A 6.9kV非常用メタクラA		AA-M/C-B 6.9kV非常用メタクラB
	AA-P/C-A 460V非常用パワーセンタA		AA-P/C-B 460V非常用パワーセンタB
	AA-MCC-A1 460V非常用コントロールセンタA1		AA-MCC-B1 460V非常用コントロールセンタB1
	AA-MCC-A2 460V非常用コントロールセンタA2		AA-MCC-B2 460V非常用コントロールセンタB2
	AA-MCC-A3 460V非常用コントロールセンタA3		
	AA-BAT-A 110V第2非常用蓄電池A		AA-BAT-B 110V第2非常用蓄電池B
	AA-CHG-A 110V非常用充電器盤A		AA-CHG-B 110V非常用充電器盤B
	AA-CHG-E 110V非常用予備充電器盤E		AA-CHG-E 110V非常用予備充電器盤E
	AA-DCD-A 110V非常用直流主分電盤A		AA-DCD-B 110V非常用直流主分電盤B
	AA-UPS-A 105V非常用無停電電源装置A		AA-UPS-B 105V非常用無停電電源装置B
	AA-UPD-A 105V非常用無停電交流主分電盤A		AA-UPD-B 105V非常用無停電交流主分電盤B
	AA-I-M171A 圧縮空気設備 安全空気脱湿装置A現場監視制御盤		AA-I-M172B 圧縮空気設備 安全空気脱湿装置B現場監視制御盤
	AA-I-M166A 圧縮空気設備 安全空気圧縮装置A現場監視制御盤		AA-I-M167B 圧縮空気設備 安全空気圧縮装置B現場監視制御盤
	AA-I-M176A 圧縮空気設備 安全空気圧縮装置C現場制御回路分離盤A		AA-I-M177B 圧縮空気設備 安全空気圧縮装置C現場制御回路分離盤B
	AA-I-M169C 圧縮空気設備 安全空気圧縮装置C現場制御電源切換盤		AA-I-M169C 圧縮空気設備 安全空気圧縮装置C現場制御電源切換盤
	AA-I-M168C 圧縮空気設備 安全空気圧縮装置C現場監視制御盤		AA-I-M168C 圧縮空気設備 安全空気圧縮装置C現場監視制御盤
	AA-I-K701A よう素除去工程排風機A制御盤		AA-I-K702B よう素除去工程排風機B制御盤
	AA-I-K703C よう素除去工程排風機C制御盤		AA-I-K703C よう素除去工程排風機C制御盤
	AA-I-X710C よう素除去工程 C系統電源切替盤		AA-I-X710C よう素除去工程 C系統電源切替盤
	AA-I-J012A ユーティリティ工程 安全系A制御盤1(リレー盤2)		AA-I-J062B ユーティリティ工程 安全系B制御盤1(リレー盤2)
	AA-I-J013A ユーティリティ工程 安全系A制御盤2(リレー盤3)		AA-I-J063B ユーティリティ工程 安全系B制御盤2(リレー盤3)
	AA-I-J031A よう素除去工程 安全系A制御盤1		AA-I-J081B よう素除去工程 安全系B制御盤1
	AA-I-J032A よう素除去工程 安全系A制御盤2		AA-I-J082B よう素除去工程 安全系B制御盤2
	AA-I-J033A よう素除去工程 安全系A制御盤3		AA-I-J083B よう素除去工程 安全系B制御盤3
	AA-LPD-A2 溶解槽セルA排風機A極数変換盤		AA-LPD-B2 溶解槽セルA排風機B極数変換盤
	AA-LPD-A3 溶解槽セルB排風機A極数変換盤		AA-LPD-B3 溶解槽セルB排風機B極数変換盤
	AA-LPD-A21 セル排風機A極数変換盤		AA-LPD-B21 セル排風機B極数変換盤
分離建屋の非常用所内電源系統			
	AB-P/C-A 460V非常用パワーセンタA		AB-P/C-B 460V非常用パワーセンタB
	AB-MCC-A 460V非常用コントロールセンタA		AB-MCC-B 460V非常用コントロールセンタB
	AB-CHG-A 110V非常用充電器盤A		AB-CHG-B 110V非常用充電器盤B
	AB-CHG-E 110V非常用予備充電器盤E		AB-CHG-E 110V非常用予備充電器盤E
	AB-BAT-A 110V第2非常用蓄電池A		AB-BAT-B 110V第2非常用蓄電池B
	AB-DCD-A 110V非常用直流主分電盤A		AB-DCD-B 110V非常用直流主分電盤B
	AB-UPS-A 105V非常用無停電電源装置A		AB-UPS-B 105V非常用無停電電源装置B
	AB-UPD-A1 105V非常用無停電交流主分電盤A1		AB-UPD-B1 105V非常用無停電交流主分電盤A1
	AB-UPD-A2 105V非常用無停電交流主分電盤A2		AB-UPD-B2 105V非常用無停電交流主分電盤A2
	AB-I-J180A ユーティリティ工程 安全系A制御盤1		AB-I-J183B ユーティリティ工程 安全系B制御盤1
	AB-I-J181A ユーティリティ工程 安全系A制御盤2		AB-I-J184B ユーティリティ工程 安全系B制御盤2
	AB-I-J182A ユーティリティ工程 安全系A制御盤3		AB-I-J185B ユーティリティ工程 安全系B制御盤3
	AB-I-J033A 分離・分配工程 安全系A制御盤1		AB-I-J036B 分離・分配工程 安全系B制御盤1
	AB-I-J034A 分離・分配工程 安全系A制御盤2		AB-I-J037B 分離・分配工程 安全系B制御盤2
	AB-I-J035A 分離・分配工程 安全系A制御盤3		AB-I-J038B 分離・分配工程 安全系B制御盤3
	AB-V-J100A 建屋換気設備 安全系A制御盤		AB-V-J101B 建屋換気設備 安全系B制御盤
	1パス	-	
	回路評価等	-	
	成功パス	-	

再処理施設成功パス一覧表

4. 支援機能(続き)		【Aトレン設備】		【Bトレン設備】	
精製建屋の電気設備				精製建屋の電気設備	
AC-BAT-A	110V第2非常用蓄電池A	×	AC-BAT-B	110V第2非常用蓄電池B	
AC-CHG-A	110V非常用充電器盤A		AC-CHG-B	110V非常用充電器盤B	
AC-CHG-E	110V非常用予備充電器盤E		AC-CHG-E	110V非常用予備充電器盤E	
AC-DCD-A	110V非常用直流主分電盤A		AC-DCD-B	110V非常用直流主分電盤B	
AC-MCC-A1	460V非常用コントロールセンタA1		AC-MCC-B1	460V非常用コントロールセンタB1	
AC-MCC-A2	460V非常用コントロールセンタA2		AC-MCC-B2	460V非常用コントロールセンタB2	
AC-P/C-A	460V非常用パワーセンタA		AC-P/C-B	460V非常用パワーセンタB	
AC-UPD-A	105V非常用無停電交流主分電盤A		AC-UPD-B	105V非常用無停電交流主分電盤B	
AC-UPS-A	105V非常用無停電電源装置A		AC-UPS-B	105V非常用無停電電源装置B	
AC-I-J450A	ユーティリティ工程 安全系A制御盤(計器盤)		AC-I-J460B	ユーティリティ工程 安全系B制御盤(計器盤)	
AC-I-J451A	ユーティリティ工程 安全系A制御盤(リレー盤)		AC-I-J461B	ユーティリティ工程 安全系B制御盤(リレー盤)	
AC-E-J452A	非常用電気設備リレー盤A		AC-E-J462B	非常用電気設備リレー盤B	
AC-V-J453A	建屋換気設備安全系A制御盤		AC-V-J463B	建屋換気設備安全系B制御盤	
AC-I-J752A	プルトニウム精製工程 安全系A 制御盤3		AC-I-J755B	プルトニウム精製工程 安全系B 制御盤3	
ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋の非常用所内電源系統				ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋の非常用所内電源系統	
CA-P/C-A	460V非常用パワーセンタA		CA-P/C-B	460V非常用パワーセンタB	
CA-MCC-A1	460V非常用コントロールセンタA1		CA-MCC-B1	460V非常用コントロールセンタB1	
CA-MCC-A2	460V非常用コントロールセンタA2		CA-MCC-B2	460V非常用コントロールセンタB2	
CA-M/C-A	6.9kV非常用メタクラA		CA-M/C-B	6.9kV非常用メタクラB	
CA-E-K503A	非常用電気設備リレー盤A		CA-E-K603B	非常用電気設備リレー盤B	
CA-I-J501A	安全系A制御盤		CA-I-J601B	安全系B制御盤	
CA-V-J502A	建屋換気設備安全系A制御盤		CA-V-J602B	建屋換気設備安全系B制御盤	
CA-CHG-A	110V非常用充電器盤A		CA-CHG-B	110V非常用充電器盤B	
CA-CHG-E	110V非常用予備充電器盤E		CA-CHG-E	110V非常用予備充電器盤E	
CA-DCD-A	110V非常用直流主分電盤A		CA-DCD-B	110V非常用直流主分電盤B	
CA-UPD-A	105V非常用無停電交流主分電盤A		CA-UPD-B	105V非常用無停電交流主分電盤B	
CA-UPS-A	105V非常用無停電電源装置A		CA-UPS-B	105V非常用無停電電源装置B	
CA-BAT-A	110V第2非常用蓄電池A		CA-BAT-B	110V第2非常用蓄電池B	
ウラン・プルトニウム混合酸化物貯蔵建屋の非常用所内電源系統				ウラン・プルトニウム混合酸化物貯蔵建屋の非常用所内電源系統	
CB-P/C-A	460V非常用パワーセンタA		CB-P/C-B	460V非常用パワーセンタB	
CB-E-J101A	非常用電気設備リレー盤A		CB-E-J102B	非常用電気設備リレー盤B	
CA-V-J001A	建屋換気設備安全系A制御盤		CA-V-J002B	建屋換気設備安全系B制御盤	
CB-BAT-A	110V第2非常用蓄電池A		CB-BAT-B	110V第2非常用蓄電池B	
CB-CHG-A	110V非常用充電器盤A		CB-CHG-B	110V非常用充電器盤B	
CB-DCD-A	110V非常用直流主分電盤A		CB-DCD-B	110V非常用直流主分電盤B	
CB-MCC-A	460V非常用コントロールセンタA		CB-MCC-B	460V非常用コントロールセンタB	
CB-UPS-A	105V非常用無停電電源装置A		CB-UPS-B	105V非常用無停電電源装置B	
CB-CHG-E	110V非常用予備充電器盤E		CB-CHG-E	110V非常用予備充電器盤E	
高レベル廃液ガラス固化建屋の電気設備				高レベル廃液ガラス固化建屋の電気設備	
KA-P/C-A	460V非常用パワーセンタA		KA-P/C-B	460V非常用パワーセンタB	
KA-BAT-A	110V第2非常用蓄電池A		KA-BAT-B	110V第2非常用蓄電池B	
KA-CHG-A	110V非常用充電器盤A		KA-CHG-B	110V非常用充電器盤B	
KA-CHG-E	110V非常用予備充電器盤E		KA-CHG-E	110V非常用予備充電器盤E	
KA-DCD-A	110V非常用直流主分電盤A		KA-DCD-B	110V非常用直流主分電盤B	
KA-UPS-A	105V非常用無停電電源装置A		KA-UPS-B	105V非常用無停電電源装置B	
KA-UPD-A	105V非常用無停電交流主分電盤A		KA-UPD-B	105V非常用無停電交流主分電盤B	
KA-ACS-A	105V非常用計測交流電源盤A		KA-ACS-B	105V非常用計測交流電源盤B	
KA-ACD-A	105V非常用計測交流主分電盤A		KA-ACD-B	105V非常用計測交流主分電盤B	
KA-MCC-A1	460V非常用コントロールセンタA1		KA-MCC-B1	460V非常用コントロールセンタB1	
KA-MCC-A2	460V非常用コントロールセンタA2		KA-MCC-B2	460V非常用コントロールセンタB2	
KA-I-K224A	高レベル廃液ガラス固化廃ガス処理設備第1排風機A安全系Aインバータ制御盤		KA-I-K225B	高レベル廃液ガラス固化廃ガス処理設備第1排風機B安全系Bインバータ制御盤	
KA-I-K226A	高レベル廃液ガラス固化廃ガス処理設備第2排風機A安全系Aインバータ制御盤		KA-I-K227B	高レベル廃液ガラス固化廃ガス処理設備第2排風機B安全系Bインバータ制御盤	
KA-I-K073A	固化セル換気系排風機A安全系Aインバータ制御盤		KA-I-K074B	固化セル換気系排風機B安全系Bインバータ制御盤	
KA-E-K001A	非常用電気設備リレー盤A		KA-E-K002B	非常用電気設備リレー盤B	
KA-I-J501A	高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系A制御盤1		KA-I-J521B	高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系B制御盤1	
KA-I-J502A	高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系A制御盤2		KA-I-J522B	高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系B制御盤2	
KA-I-J503A	高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系A制御盤3		KA-I-J523B	高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系B制御盤3	
KA-I-J504A	高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系A制御盤4		KA-I-J524B	高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系B制御盤4	
KA-I-J505A	高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系A制御盤5		KA-I-J525B	高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系B制御盤5	
KA-I-J506A	高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系A制御盤6		KA-I-J526B	高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系B制御盤6	
KA-I-J507A	高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系A制御盤7		KA-I-J527B	高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系B制御盤7	
KA-I-J508A	高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系A制御盤8		KA-I-J528B	高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系B制御盤8	
KA-I-J511A	安全系A アレスタ盤		KA-I-J531B	安全系B アレスタ盤	
KA-I-J512A	高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系A制御盤(リレー盤1)		KA-I-J532B	高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系B制御盤(リレー盤1)	
KA-I-J513A	高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系A制御盤(リレー盤2)		KA-I-J533B	高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系B制御盤(リレー盤2)	
KA-I-J514A	高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系A制御盤(リレー盤3)		KA-I-J534B	高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系B制御盤(リレー盤3)	
KA-I-M331A	冷凍機 安全系A監視制御盤		KA-I-M322B	冷凍機 安全系B監視制御盤	
KA-I-K334A	冷却水・冷水設備 安全系A 制御盤1		KA-I-K338B	冷却水・冷水設備 安全系B 制御盤1	
KA-I-K335A	冷却水・冷水設備 安全系A 制御盤2		KA-I-K339B	冷却水・冷水設備 安全系B 制御盤2	
-				×	
1パス		○			
回路評価等		-			
成功パス		○			

火災区域(区画)特性表

1. 火災区域(区画)の説明

建屋名	精製建屋
火災区域/区画区分	火災区域
火災区域/区画番号	AC-15/■
火災区域/区画名称	非常用Aモータコントロールセンタ室
床面積(m ²)	■

2. 火災区域(区画)の火災シナリオの説明

AC-15は、精製建屋内の火災区域である。
 本区画の火災源は、電気盤およびケーブルトレイである。
 したがって、本区画の想定火災としては、電気盤火災またはケーブルトレイ火災により、安全上重要な施設のA系の設備(6.火災影響を受ける火災防護対象機器等 参照)が火災影響を受け、安全機能が喪失するおそれがあるが、多重化された安全上重要な施設の片系のみの機能喪失であるため、安全機能が完全に喪失することはない。

3. 火災区域(区画)にある火災源

(1) 等価時間

発熱量(kJ)	火災荷重(kJ/m ²)	等価時間(h) [※]
■	■	2.0

※ 等価時間は、内部火災影響評価ガイドの等価時間記載の値で示す。

(2) 火災区域(区画)にある火災源機器数

火災源	機器数
電動機(3.7kW超)	-
電気盤(440V以上)	1
ケーブルトレイ(ケーブル)	有
油脂類・有機溶媒等	-
その他	-

4. 火災区域(区画)にある防火設備

火災感知の手段	主要な消火設備	消火方法	消火設備のバックアップ
煙感知器 熱感知器	ハロゲン化物消火設備(全域)	自動	二酸化炭素消火器

5. 火災区域(区画)に隣接する火災区域(区画)と火災伝播経路

隣接火災区画への火災伝播経路の詳細は、別紙1参照

6. 火災影響を受ける火災防護対象機器等

機器名称[機器番号]	最重要設備 [※]	最重要設備以外の安全上重要な施設 [※]
460V非常用コントロールセンタ A1[AC-MCC-A1]	○	-
安重ケーブルトレイ[A系]	○	○

※ ○:対象 -:非対象

* 火災想定において、工程停止等により安全機能を必要としない状態へと移行が可能なもの。

7. 火災防護対象機器等の関連ケーブル

機器名称[機器番号]	ケーブル種別	安重分類
グローブボックス・セル排風機A	制御、動力(低圧)	Pu・高レベルの廃棄物の閉じ込め機能
安全冷却水AポンプA	制御、動力(低圧)	崩壊熱除去機能(重要度の高いもの)
安全冷却水AポンプB	制御、動力(低圧)	崩壊熱除去機能(重要度の高いもの)
排風機A	制御、動力(低圧)	Pu・高レベルの廃棄物の閉じ込め機能
排風機A	制御、動力(低圧)	Pu・高レベルの廃棄物の閉じ込め機能
460V非常用コントロールセンタA1[AC-MCC-A1]	制御、動力(低圧)	非常用所内電源系統
460V非常用コントロールセンタA2[AC-MCC-A2]	制御、動力(低圧)	非常用所内電源系統
460V非常用パワーセンタA[AC-P/C-A]	動力(低圧)	非常用所内電源系統

8. 最重要設備の安重機能への火災影響

安重分類	全焼時の成功パスの有無	回路評価等の考慮	結果	系統分離 [※]
Pu・高レベル廃棄物の閉じ込め機能	有	-	○	-
崩壊熱除去機能(重要度の高いもの)	有	-	○	-
安全圧縮空気系(水素掃気機能)	-	-	-	-
非常用所内電源系統	有	-	○	-

※ a: 3時間以上の耐火能力を有する耐火壁で分離

b: 水平距離6mによる分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置

c: 1時間の耐火能力を有する隔壁等による分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置
再処理施設成功パスの詳細は、別紙2参照

9. 最重要設備以外の火災防護対象機器等への火災影響

機器名称[機器番号]	当該区画の火災評価 [※]	隣接区画の火災評価 [※]
-	-	-

※ ○:火災影響なし ×:火災影響あり

隣接する火災区画と火災伝播経路

(※ 有:伝播する 無:伝播しない)

隣接する 火災区画	火災伝播 経路有無	等価時間 (h)	耐火時間 (h)	火災伝播の 可能性 ※	備考
	無	2.0	3.0	無	
	無	2.0	3.0	無	
	無	2.0	3.0	無	
	無	2.0	3.0	無	

再処理施設成功パス一覧表

建屋	精製建屋	非常用Aモータコントロールセンタ室
区域(区画)番号/名称		
1.放射性物質の閉じ込め機能(動的な閉じ込め機能)		
	【A1レン設備】	【B1レン設備】
前処理建屋 せん断処理・溶解廃ガス処理設備	排風機A	前処理建屋 せん断処理・溶解廃ガス処理設備
	排風機C	排風機B
前処理建屋 塔槽類廃ガス処理設備	排風機A	前処理建屋 塔槽類廃ガス処理設備
	排風機A	排風機B
前処理建屋換気設備 溶解セル等からの排気系	セル排風機A	前処理建屋換気設備 溶解セル等からの排気系
	溶解槽セルA排風機A	セル排風機B
	溶解槽セルB排風機A	溶解槽セルA排風機B
高レベル廃液ガラス固化建屋 高レベル廃液ガラス固化廃ガス処理設備	第1排風機A	高レベル廃液ガラス固化建屋 高レベル廃液ガラス固化廃ガス処理設備
	第2排風機A	第1排風機B
高レベル廃液ガラス固化建屋 塔槽類廃ガス処理設備 高レベル濃縮廃液廃ガス処理系	排風機A	高レベル廃液ガラス固化建屋 塔槽類廃ガス処理設備 高レベル濃縮廃液廃ガス処理系
	排風機A	排風機B
高レベル廃液ガラス固化建屋 塔槽類廃ガス処理設備 不溶解残渣廃液廃ガス処理系	排風機A	高レベル廃液ガラス固化建屋 塔槽類廃ガス処理設備 不溶解残渣廃液廃ガス処理系
	排風機A	排風機B
高レベル濃縮廃液貯槽セル等からの排気系 固化セル換気系及び固化セル圧力放出系	セル排風機A	高レベル濃縮廃液貯槽セル等からの排気系 固化セル換気系及び固化セル圧力放出系
	固化セル換気系排風機A	セル排風機B
分離建屋 塔槽類廃ガス処理設備 パルセータ廃ガス処理系	排風機A	分離建屋 塔槽類廃ガス処理設備 パルセータ廃ガス処理系
	排風機A	排風機B
分離建屋 塔槽類廃ガス処理設備 塔槽類廃ガス処理系	排風機A	分離建屋 塔槽類廃ガス処理設備 塔槽類廃ガス処理系
	排風機A	排風機B
分離建屋換気設備 プルトニウム溶液中間貯槽セル等からの排気系	グローブボックス・セル排風機A	分離建屋換気設備 プルトニウム溶液中間貯槽セル等からの排気系
	グローブボックス・セル排風機A	グローブボックス・セル排風機B
精製建屋 塔槽類廃ガス処理設備 パルセータ廃ガス処理系	排風機A	精製建屋 塔槽類廃ガス処理設備 パルセータ廃ガス処理系
×	排風機A	排風機B
精製建屋 塔槽類廃ガス処理設備 塔槽類廃ガス処理系(プルトニウム系)	排風機A	精製建屋 塔槽類廃ガス処理設備 塔槽類廃ガス処理系(プルトニウム系)
×	排風機A	排風機B
精製建屋換気設備 プルトニウム濃縮缶セル等及びグローブボックス等からの排気系	グローブボックス・セル排風機A	精製建屋換気設備 プルトニウム濃縮缶セル等及びグローブボックス等からの排気系
×	グローブボックス・セル排風機A	グローブボックス・セル排風機B
ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋 塔槽類廃ガス処理設備	第1排風機A	ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋 塔槽類廃ガス処理設備
	第2排風機A	第1排風機B
	第2排風機C	第2排風機B
ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋 硝酸プルトニウム貯槽セル等及びグローブボックス等からの排気系	グローブボックス・セル排風機A	ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋 硝酸プルトニウム貯槽セル等及びグローブボックス等からの排気系
	グローブボックス・セル排風機C	グローブボックス・セル排風機B
×		
1パス	○	
回路評価等	-	
成功パス	○	

凡例		
×	○○○○-○○○	○○○A
	○○○○-○○○	○○○○A
× : 当該室の火災により安全機能を喪失する機器がある場合 空欄 : 当該室に設置していない機器		
1パス	- : 当該室に対象なし ○ : 当該室の火災により対応する安全機能が1系統残る場合 × : 当該室の火災により対応する安全機能がすべて喪失する場合	
回路評価等	- : 当該室に回路評価等を行う対象なし ○ : 回路評価等により、対応する安全機能が確保される場合	
成功パス	- : 当該室に対象なし ○ : 当該室の火災により対応する安全機能が1系統残る場合 × : 当該室の火災により対応する安全機能がすべて喪失する場合	

再処理施設成功パス一覧表

2.崩壊熱除去機能		【Aトレ設備】		【Bトレ設備】	
冷却設備	安全冷却水系			冷却設備	安全冷却水系
	安全冷却水A冷却塔				安全冷却水B冷却塔
前処理建屋	冷却設備 安全冷却水系			前処理建屋	冷却設備 安全冷却水系
	安全冷却水A循環ポンプA				安全冷却水B循環ポンプA
	安全冷却水A循環ポンプB				安全冷却水B循環ポンプB
	安全冷却水1AポンプA				安全冷却水1BポンプA
	安全冷却水1AポンプB				安全冷却水1BポンプB
分離建屋	冷却設備 安全冷却水系			分離建屋	冷却設備 安全冷却水系
	冷却水循環ポンプA				冷却水循環ポンプC
	冷却水循環ポンプB				冷却水循環ポンプD
	安全冷却水1AポンプA				安全冷却水1BポンプA
	安全冷却水1AポンプB				安全冷却水1BポンプB
精製建屋	冷却設備 安全冷却水系			精製建屋	冷却設備 安全冷却水系
×	安全冷却水AポンプA				安全冷却水BポンプA
×	安全冷却水AポンプB				安全冷却水BポンプB
ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋	冷却設備 安全冷却水系			ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋	冷却設備 安全冷却水系
	冷水移送ポンプA				冷水移送ポンプC
	冷水移送ポンプB				冷水移送ポンプD
高レベル廃液ガラス固化建屋	冷却設備 安全冷却水系			高レベル廃液ガラス固化建屋	冷却設備 安全冷却水系
	第1高レベル濃縮廃液貯槽冷却水AポンプA				第1高レベル濃縮廃液貯槽冷却水BポンプA
	第1高レベル濃縮廃液貯槽冷却水AポンプB				第1高レベル濃縮廃液貯槽冷却水BポンプB
	第2高レベル濃縮廃液貯槽冷却水AポンプA				第2高レベル濃縮廃液貯槽冷却水BポンプA
	第2高レベル濃縮廃液貯槽冷却水AポンプB				第2高レベル濃縮廃液貯槽冷却水BポンプB
	安全冷却水A系ポンプA				安全冷却水B系ポンプA
	安全冷却水A系ポンプB				安全冷却水B系ポンプB
	高レベル廃液共用貯槽冷却水AポンプA				高レベル廃液共用貯槽冷却水BポンプA
	高レベル廃液共用貯槽冷却水AポンプB				高レベル廃液共用貯槽冷却水BポンプB
	安全冷却水A系ポンプA				安全冷却水B系ポンプA
	安全冷却水A系ポンプB				安全冷却水B系ポンプB
	安全冷水A冷却器冷媒膨張弁A				安全冷水B冷却器冷媒膨張弁A
	安全冷水A冷却器冷媒膨張弁B				安全冷水B冷却器冷媒膨張弁B
	安全冷水A冷却器冷媒止弁A				安全冷水B冷却器冷媒止弁A
	安全冷水A冷却器冷媒止弁B				安全冷水B冷却器冷媒止弁B
	安全冷却水1AポンプA				安全冷却水1BポンプA
	安全冷却水1AポンプB				安全冷却水1BポンプB
	安全冷水AポンプA				安全冷水BポンプA
	安全冷水AポンプB				安全冷水BポンプB
	安全冷水A冷凍機				安全冷水B冷凍機
	スクリー圧縮機				スクリー圧縮機
	スクリー圧縮機				スクリー圧縮機
ウラン・プルトニウム混合酸化物貯蔵建屋換気設備貯蔵室排気系				ウラン・プルトニウム混合酸化物貯蔵建屋換気設備貯蔵室排気系	
	貯蔵室排風機A				貯蔵室排風機C
	貯蔵室排風機B				貯蔵室排風機D
×				-	
	1パス		○		
	回路評価等		-		
	成功パス		○		
3.安全圧縮空気系(水素掃気機能)		【Aトレ設備】		【Bトレ設備】	
安全圧縮空気系		安全圧縮空気系		安全圧縮空気系	
	安全空気圧縮装置A				安全空気圧縮装置B
	安全空気圧縮装置C				安全空気圧縮装置C
-				-	
	1パス		-		
	回路評価等		-		
	成功パス		-		

再処理施設成功パス一覧表

4.非常用所内電源系統(支援機能)		【Aトレン設備】	【Bトレン設備】	
非常用電源建屋冷却水設備			非常用電源建屋冷却水設備	
	8111A-C20	冷却塔A	8111B-C20	冷却塔B
	8111A-P2010	冷却水循環ポンプA	8111B-P2010	冷却水循環ポンプB
非常用電源建屋の電気設備			非常用電源建屋の電気設備	
	GA-M/C-A	6.9kV非常用メタクラA	GA-M/C-B	6.9kV非常用メタクラB
	GA-MCC-A	460V非常用コントロールセンタA	GA-MCC-B	460V非常用コントロールセンタB
	8111A-X10	ディーゼル機関A	8111B-X10	ディーゼル機関B
	8111A-X11	同期発電機A	8111B-X11	同期発電機B
	8111A-P4011	燃料油移送ポンプA	8111B-P4011	燃料油移送ポンプB
	GA-BAT-A	110V第2非常用蓄電池A	GA-BAT-B	110V第2非常用蓄電池B
	GA-CHG-A	110V非常用充電器盤A	GA-CHG-B	110V非常用充電器盤B
	GA-DCD-A	110V非常用直流主分電盤A	GA-DCD-B	110V非常用直流主分電盤B
	GA-CHG-E	110V非常用予備充電器盤E	GA-CHG-E	110V非常用予備充電器盤E
	GA-E-K011A	非常用電気設備リレー盤A1	GA-E-K013B	非常用電気設備リレー盤B1
	GA-E-K012A	非常用電気設備リレー盤A2	GA-E-K014B	非常用電気設備リレー盤B2
	8111A-V40	燃料油貯蔵タンク1A	8111B-V40	燃料油貯蔵タンク1B
	8111A-V41	燃料油貯蔵タンク2A	8111B-V41	燃料油貯蔵タンク2B
	GA-E-M011A	第2非常用ディーゼル発電機A制御盤	GA-E-M012B	第2非常用ディーゼル発電機B制御盤
	GA-PTR-A	非常用動力用変圧器A	GA-PTR-B	非常用動力用変圧器B
	8111A-V42	燃料油サービスタングA	8111B-V42	燃料油サービスタングB
	8111A-F4210	燃料油第1フィルタA	8111B-F4210	燃料油第1フィルタB
	8111A-F4230	燃料油第2フィルタA	8111B-F4230	燃料油第2フィルタB
	GA-E-S011A	第2非常用ディーゼル発電機ターニング現場盤A	GA-E-S012B	第2非常用ディーゼル発電機ターニング現場盤B
	GA-E-U011A	第2非常用ディーゼル発電機CT盤A	GA-E-U012B	第2非常用ディーゼル発電機CT盤B
	GA-I-K011A	ユーティリティ工程 安全系A制御盤(リレー盤)	GA-I-K012B	ユーティリティ工程 安全系B制御盤(リレー盤)
制御建屋の電気設備			制御建屋の電気設備	
	AG-M/C-A	6.9kV非常用メタクラA	AG-M/C-B	6.9kV非常用メタクラB
	AG-P/C-A	460V非常用パワーセンタA	AG-P/C-B	460V非常用パワーセンタB
	AG-MCC-A1	460V非常用コントロールセンタA1	AG-MCC-B1	460V非常用コントロールセンタB1
	AG-MCC-A2	460V非常用コントロールセンタA2	AG-MCC-B2	460V非常用コントロールセンタB2
	AG-I-F201A	前処理建屋 安全系A監視制御盤	AG-I-F202B	前処理建屋 安全系B監視制御盤
	AG-I-F203A	分離建屋 安全系A監視制御盤	AG-I-F204B	分離建屋 安全系B監視制御盤
	AG-I-F205A	精製建屋 安全系A監視制御盤	AG-I-F206B	精製建屋 安全系B監視制御盤
	AG-I-F211A	ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋 安全系A監視制御盤	AG-I-F212B	ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋 安全系B監視制御盤
	AG-I-F213A	高レベル廃液ガラス固化建屋 安全系A監視制御盤	AG-I-F214B	高レベル廃液ガラス固化建屋 安全系B監視制御盤
	AG-BAT-A1	110V第2非常用蓄電池A1	AG-BAT-B1	110V第2非常用蓄電池B1
	AG-BAT-A2	220V第2非常用蓄電池A2	AG-BAT-B2	220V第2非常用蓄電池B2
	AG-CHG-A	110V非常用充電器盤A	AG-CHG-B	110V非常用充電器盤B
	AG-CHG-E	110V非常用予備充電器盤E	AG-CHG-E	110V非常用予備充電器盤E
	AG-DCD-A	110V非常用直流主分電盤A	AG-DCD-B	110V非常用直流主分電盤B
	AG-UPS-A	105V非常用無停電電源装置A	AG-UPS-B	105V非常用無停電電源装置B
	AG-UPD-A	105V非常用無停電交流主分電盤A	AG-UPD-B	105V非常用無停電交流主分電盤B
前処理建屋の電気設備			前処理建屋の電気設備	
	AA-M/C-A	6.9kV非常用メタクラA	AA-M/C-B	6.9kV非常用メタクラB
	AA-P/C-A	460V非常用パワーセンタA	AA-P/C-B	460V非常用パワーセンタB
	AA-MCC-A1	460V非常用コントロールセンタA1	AA-MCC-B1	460V非常用コントロールセンタB1
	AA-MCC-A2	460V非常用コントロールセンタA2	AA-MCC-B2	460V非常用コントロールセンタB2
	AA-MCC-A3	460V非常用コントロールセンタA3		
	AA-BAT-A	110V第2非常用蓄電池A	AA-BAT-B	110V第2非常用蓄電池B
	AA-CHG-A	110V非常用充電器盤A	AA-CHG-B	110V非常用充電器盤B
	AA-CHG-E	110V非常用予備充電器盤E	AA-CHG-E	110V非常用予備充電器盤E
	AA-DCD-A	110V非常用直流主分電盤A	AA-DCD-B	110V非常用直流主分電盤B
	AA-UPS-A	105V非常用無停電電源装置A	AA-UPS-B	105V非常用無停電電源装置B
	AA-UPD-A	105V非常用無停電交流主分電盤A	AA-UPD-B	105V非常用無停電交流主分電盤B
	AA-I-M171A	圧縮空気設備 安全空気脱湿装置A現場監視制御盤	AA-I-M172B	圧縮空気設備 安全空気脱湿装置B現場監視制御盤
	AA-I-M166A	圧縮空気設備 安全空気圧縮装置A現場監視制御盤	AA-I-M167B	圧縮空気設備 安全空気圧縮装置B現場監視制御盤
	AA-I-M176A	圧縮空気設備 安全空気圧縮装置C現場制御回路分離盤A	AA-I-M177B	圧縮空気設備 安全空気圧縮装置C現場制御回路分離盤B
	AA-I-M169C	圧縮空気設備 安全空気圧縮装置C現場制御電源切換盤	AA-I-M169C	圧縮空気設備 安全空気圧縮装置C現場制御電源切換盤
	AA-I-M168C	圧縮空気設備 安全空気圧縮装置C現場監視制御盤	AA-I-M168C	圧縮空気設備 安全空気圧縮装置C現場監視制御盤
	AA-I-K701A	よう素除去工程排風機A制御盤	AA-I-K702B	よう素除去工程排風機B制御盤
	AA-I-K703C	よう素除去工程排風機C制御盤	AA-I-K703C	よう素除去工程排風機C制御盤
	AA-I-X710C	よう素除去工程 C系統電源切替盤	AA-I-X710C	よう素除去工程 C系統電源切替盤
	AA-I-J012A	ユーティリティ工程 安全系A制御盤1(リレー盤2)	AA-I-J062B	ユーティリティ工程 安全系B制御盤1(リレー盤2)
	AA-I-J013A	ユーティリティ工程 安全系A制御盤2(リレー盤3)	AA-I-J063B	ユーティリティ工程 安全系B制御盤2(リレー盤3)
	AA-I-J031A	よう素除去工程 安全系A制御盤1	AA-I-J081B	よう素除去工程 安全系B制御盤1
	AA-I-J032A	よう素除去工程 安全系A制御盤2	AA-I-J082B	よう素除去工程 安全系B制御盤2
	AA-I-J033A	よう素除去工程 安全系A制御盤3	AA-I-J083B	よう素除去工程 安全系B制御盤3
	AA-LPD-A2	溶解槽セルA排風機A極数変換盤	AA-LPD-B2	溶解槽セルA排風機B極数変換盤
	AA-LPD-A3	溶解槽セルB排風機A極数変換盤	AA-LPD-B3	溶解槽セルB排風機B極数変換盤
	AA-LPD-A21	セル排風機A極数変換盤	AA-LPD-B21	セル排風機B極数変換盤
分離建屋の非常用所内電源系統			分離建屋の非常用所内電源系統	
	AB-P/C-A	460V非常用パワーセンタA	AB-P/C-B	460V非常用パワーセンタB
	AB-MCC-A	460V非常用コントロールセンタA	AB-MCC-B	460V非常用コントロールセンタB
	AB-CHG-A	110V非常用充電器盤A	AB-CHG-B	110V非常用充電器盤B
	AB-CHG-E	110V非常用予備充電器盤E	AB-CHG-E	110V非常用予備充電器盤E
	AB-BAT-A	110V第2非常用蓄電池A	AB-BAT-B	110V第2非常用蓄電池B
	AB-DCD-A	110V非常用直流主分電盤A	AB-DCD-B	110V非常用直流主分電盤B
	AB-UPS-A	105V非常用無停電電源装置A	AB-UPS-B	105V非常用無停電電源装置B
	AB-UPD-A1	105V非常用無停電交流主分電盤A1	AB-UPD-B1	105V非常用無停電交流主分電盤A1
	AB-UPD-A2	105V非常用無停電交流主分電盤A2	AB-UPD-B2	105V非常用無停電交流主分電盤A2
	AB-I-J180A	ユーティリティ工程 安全系A制御盤1	AB-I-J183B	ユーティリティ工程 安全系B制御盤1
	AB-I-J181A	ユーティリティ工程 安全系A制御盤2	AB-I-J184B	ユーティリティ工程 安全系B制御盤2
	AB-I-J182A	ユーティリティ工程 安全系A制御盤3	AB-I-J185B	ユーティリティ工程 安全系B制御盤3
	AB-I-J033A	分離・分配工程 安全系A制御盤1	AB-I-J036B	分離・分配工程 安全系B制御盤1
	AB-I-J034A	分離・分配工程 安全系A制御盤2	AB-I-J037B	分離・分配工程 安全系B制御盤2
	AB-I-J035A	分離・分配工程 安全系A制御盤3	AB-I-J038B	分離・分配工程 安全系B制御盤3
	AB-V-J100A	建屋換気設備 安全系A制御盤	AB-V-J101B	建屋換気設備 安全系B制御盤
	1パス	-		
	回路評価等	-		
	成功パス	-		

再処理施設成功パス一覧表

4. 支援機能(続き)		【Aトレン設備】		【Bトレン設備】	
精製建屋の電気設備				精製建屋の電気設備	
	AC-BAT-A	110V第2非常用蓄電池A		AC-BAT-B	110V第2非常用蓄電池B
	AC-CHG-A	110V非常用充電器盤A		AC-CHG-B	110V非常用充電器盤B
	AC-CHG-E	110V非常用予備充電器盤E		AC-CHG-E	110V非常用予備充電器盤E
	AC-DCD-A	110V非常用直流主分電盤A		AC-DCD-B	110V非常用直流主分電盤B
×	AC-MCC-A1	460V非常用コントロールセンタA1		AC-MCC-B1	460V非常用コントロールセンタB1
×	AC-MCC-A2	460V非常用コントロールセンタA2		AC-MCC-B2	460V非常用コントロールセンタB2
×	AC-P/C-A	460V非常用パワーセンタA		AC-P/C-B	460V非常用パワーセンタB
	AC-UPD-A	105V非常用無停電交流主分電盤A		AC-UPD-B	105V非常用無停電交流主分電盤B
	AC-UPS-A	105V非常用無停電電源装置A		AC-UPS-B	105V非常用無停電電源装置B
	AC-I-J450A	ユーティリティ工程 安全系A制御盤(計器盤)		AC-I-J460B	ユーティリティ工程 安全系B制御盤(計器盤)
	AC-I-J451A	ユーティリティ工程 安全系A制御盤(リレー盤)		AC-I-J461B	ユーティリティ工程 安全系B制御盤(リレー盤)
	AC-E-J452A	非常用電気設備リレー盤A		AC-E-J462B	非常用電気設備リレー盤B
	AC-V-J453A	建屋換気設備安全系A制御盤		AC-V-J463B	建屋換気設備安全系B制御盤
	AC-I-J752A	プルトニウム精製工程 安全系A 制御盤3		AC-I-J755B	プルトニウム精製工程 安全系B 制御盤3
ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋の非常用所内電源系統				ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋の非常用所内電源系統	
	CA-P/C-A	460V非常用パワーセンタA		CA-P/C-B	460V非常用パワーセンタB
	CA-MCC-A1	460V非常用コントロールセンタA1		CA-MCC-B1	460V非常用コントロールセンタB1
	CA-MCC-A2	460V非常用コントロールセンタA2		CA-MCC-B2	460V非常用コントロールセンタB2
	CA-M/C-A	6.9kV非常用メタクラA		CA-M/C-B	6.9kV非常用メタクラB
	CA-E-K503A	非常用電気設備リレー盤A		CA-E-K603B	非常用電気設備リレー盤B
	CA-I-J501A	安全系A制御盤		CA-I-J601B	安全系B制御盤
	CA-V-J502A	建屋換気設備安全系A制御盤		CA-V-J602B	建屋換気設備安全系B制御盤
	CA-CHG-A	110V非常用充電器盤A		CA-CHG-B	110V非常用充電器盤B
	CA-CHG-E	110V非常用予備充電器盤E		CA-CHG-E	110V非常用予備充電器盤E
	CA-DCD-A	110V非常用直流主分電盤A		CA-DCD-B	110V非常用直流主分電盤B
	CA-UPD-A	105V非常用無停電交流主分電盤A		CA-UPD-B	105V非常用無停電交流主分電盤B
	CA-UPS-A	105V非常用無停電電源装置A		CA-UPS-B	105V非常用無停電電源装置B
	CA-BAT-A	110V第2非常用蓄電池A		CA-BAT-B	110V第2非常用蓄電池B
ウラン・プルトニウム混合酸化物貯蔵建屋の非常用所内電源系統				ウラン・プルトニウム混合酸化物貯蔵建屋の非常用所内電源系統	
	CB-P/C-A	460V非常用パワーセンタA		CB-P/C-B	460V非常用パワーセンタB
	CB-E-J101A	非常用電気設備リレー盤A		CB-E-J102B	非常用電気設備リレー盤B
	CA-V-J001A	建屋換気設備安全系A制御盤		CA-V-J002B	建屋換気設備安全系B制御盤
	CB-BAT-A	110V第2非常用蓄電池A		CB-BAT-B	110V第2非常用蓄電池B
	CB-CHG-A	110V非常用充電器盤A		CB-CHG-B	110V非常用充電器盤B
	CB-DCD-A	110V非常用直流主分電盤A		CB-DCD-B	110V非常用直流主分電盤B
	CB-MCC-A	460V非常用コントロールセンタA		CB-MCC-B	460V非常用コントロールセンタB
	CB-UPS-A	105V非常用無停電電源装置A		CB-UPS-B	105V非常用無停電電源装置B
	CB-CHG-E	110V非常用予備充電器盤E		CB-CHG-E	110V非常用予備充電器盤E
高レベル廃液ガラス固化建屋の電気設備				高レベル廃液ガラス固化建屋の電気設備	
	KA-P/C-A	460V非常用パワーセンタA		KA-P/C-B	460V非常用パワーセンタB
	KA-BAT-A	110V第2非常用蓄電池A		KA-BAT-B	110V第2非常用蓄電池B
	KA-CHG-A	110V非常用充電器盤A		KA-CHG-B	110V非常用充電器盤B
	KA-CHG-E	110V非常用予備充電器盤E		KA-CHG-E	110V非常用予備充電器盤E
	KA-DCD-A	110V非常用直流主分電盤A		KA-DCD-B	110V非常用直流主分電盤B
	KA-UPS-A	105V非常用無停電電源装置A		KA-UPS-B	105V非常用無停電電源装置B
	KA-UPD-A	105V非常用無停電交流主分電盤A		KA-UPD-B	105V非常用無停電交流主分電盤B
	KA-ACS-A	105V非常用計測交流電源盤A		KA-ACS-B	105V非常用計測交流電源盤B
	KA-ACD-A	105V非常用計測交流主分電盤A		KA-ACD-B	105V非常用計測交流主分電盤B
	KA-MCC-A1	460V非常用コントロールセンタA1		KA-MCC-B1	460V非常用コントロールセンタB1
	KA-MCC-A2	460V非常用コントロールセンタA2		KA-MCC-B2	460V非常用コントロールセンタB2
	KA-I-K224A	高レベル廃液ガラス固化廃ガス処理設備第1排風機A安全系Aインバータ制御盤		KA-I-K225B	高レベル廃液ガラス固化廃ガス処理設備第1排風機B安全系Bインバータ制御盤
	KA-I-K226A	高レベル廃液ガラス固化廃ガス処理設備第2排風機A安全系Aインバータ制御盤		KA-I-K227B	高レベル廃液ガラス固化廃ガス処理設備第2排風機B安全系Bインバータ制御盤
	KA-I-K073A	固化セル換気系排風機A安全系Aインバータ制御盤		KA-I-K074B	固化セル換気系排風機B安全系Bインバータ制御盤
	KA-E-K001A	非常用電気設備リレー盤A		KA-E-K002B	非常用電気設備リレー盤B
	KA-I-J501A	高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系A制御盤1		KA-I-J521B	高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系B制御盤1
	KA-I-J502A	高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系A制御盤2		KA-I-J522B	高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系B制御盤2
	KA-I-J503A	高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系A制御盤3		KA-I-J523B	高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系B制御盤3
	KA-I-J504A	高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系A制御盤4		KA-I-J524B	高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系B制御盤4
	KA-I-J505A	高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系A制御盤5		KA-I-J525B	高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系B制御盤5
	KA-I-J506A	高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系A制御盤6		KA-I-J526B	高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系B制御盤6
	KA-I-J507A	高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系A制御盤7		KA-I-J527B	高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系B制御盤7
	KA-I-J508A	高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系A制御盤8		KA-I-J528B	高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系B制御盤8
	KA-I-J511A	安全系A アレスタ盤		KA-I-J531B	安全系B アレスタ盤
	KA-I-J512A	高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系A制御盤(リレー盤1)		KA-I-J532B	高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系B制御盤(リレー盤1)
	KA-I-J513A	高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系A制御盤(リレー盤2)		KA-I-J533B	高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系B制御盤(リレー盤2)
	KA-I-J514A	高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系A制御盤(リレー盤3)		KA-I-J534B	高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系B制御盤(リレー盤3)
	KA-I-M331A	冷凍機 安全系A監視制御盤		KA-I-M322B	冷凍機 安全系B監視制御盤
	KA-I-K334A	冷却水・冷水設備 安全系A 制御盤1		KA-I-K338B	冷却水・冷水設備 安全系B 制御盤1
	KA-I-K335A	冷却水・冷水設備 安全系A 制御盤2		KA-I-K339B	冷却水・冷水設備 安全系B 制御盤2
×					
	1パス		○		
	回路評価等		-		
	成功パス		○		

火災区域(区画)特性表

1. 火災区域(区画)の説明

建屋名	精製建屋
火災区域/区画区分	火災区画
火災区域/区画番号	■
火災区域/区画名称	北第2階段室地上2階附室
床面積(m ²)	■

2. 火災区域(区画)の火災シナリオの説明

■は、精製建屋内の火災区画である。
 本区画は、火災源となるものがないおよび安全上重要な施設が設置されていないため、安全機能の喪失のおそれはない。

3. 火災区域(区画)にある火災源

(1) 等価時間

発熱量(kJ)	火災荷重 (kJ/m ²)	等価時間(h) [※]
■	■	0.0

※ 等価時間は、内部火災影響評価ガイドの等価時間記載の値で示す。

(2) 火災区域(区画)にある火災源機器数

火災源	機器数
電動機(3.7kW超)	-
電気盤(440V以上)	-
ケーブルトレイ(ケーブル)	-
油脂類・有機溶媒等	-
その他	-

4. 火災区域(区画)にある防火設備

火災感知の手段	主要な消火設備	消火方法	消火設備のバックアップ
煙感知器	屋内消火栓	手動	粉末消火器

5. 火災区域(区画)に隣接する火災区域(区画)と火災伝播経路

隣接火災区画への火災伝播経路の詳細は、別紙1参照

6. 火災影響を受ける火災防護対象機器等

機器名称[機器番号]	最重要設備 [※]	最重要設備以外の安全上重要な施設 [※]
-	-	-

※ ○:対象 -:非対象

* 火災想定において、工程停止等により安全機能を必要としない状態へと移行が可能なもの。

7. 火災防護対象機器等の関連ケーブル

機器名称[機器番号]	ケーブル種別	安重分類
-	-	-

8. 最重要設備の安重機能への火災影響

安重分類	全焼時の成功パスの有無	回路評価等の考慮	結果	系統分離※
Pu・高レベル廃棄物の閉じ込め機能	-	-	-	-
崩壊熱除去機能(重要度の高いもの)	-	-	-	-
安全圧縮空気系(水素掃気機能)	-	-	-	-
非常用所内電源系統	-	-	-	-

※ a : 3時間以上の耐火能力を有する耐火壁で分離

b : 水平距離6mによる分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置

c : 1時間の耐火能力を有する隔壁等による分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置
再処理施設成功パスの詳細は、別紙2参照

9. 最重要設備以外の火災防護対象機器等への火災影響

機器名称[機器番号]	当該区画の火災評価※	隣接区画の火災評価※
-	-	-

※ ○:火災影響なし ×:火災影響あり

隣接する火災区画と火災伝播経路

(※ 有:伝播する 無:伝播しない)

隣接する 火災区画	火災伝播 経路有無	等価時間 (h)	耐火時間 (h)	火災伝播の 可能性 ※	備考
	無	0.0	1.0	無	
	無	0.0	1.0	無	
	無	0.0	1.0	無	
	無	0.0	1.0	無	
	無	0.0	3.0	無	

火災区域(区画)特性表

1. 火災区域(区画)の説明

建屋名	精製建屋
火災区域/区画区分	火災区画
火災区域/区画番号	■
火災区域/区画名称	南第2階段室地上2階附室
床面積(m ²)	■

2. 火災区域(区画)の火災シナリオの説明

■は、精製建屋内の火災区画である。
 本区画は、火災源となるものがないおよび安全上重要な施設が設置されていないため、安全機能の喪失のおそれはない。

3. 火災区域(区画)にある火災源

(1) 等価時間

発熱量(kJ)	火災荷重(kJ/m ²)	等価時間(h) [※]
■	■	0.0

※ 等価時間は、内部火災影響評価ガイドの等価時間記載の値で示す。

(2) 火災区域(区画)にある火災源機器数

火災源	機器数
電動機(3.7kW超)	-
電気盤(440V以上)	-
ケーブルトレイ(ケーブル)	-
油脂類・有機溶媒等	-
その他	-

4. 火災区域(区画)にある防火設備

火災感知の手段	主要な消火設備	消火方法	消火設備のバックアップ
煙感知器	屋内消火栓	手動	粉末消火器

5. 火災区域(区画)に隣接する火災区域(区画)と火災伝播経路

隣接火災区画への火災伝播経路の詳細は、別紙1参照

6. 火災影響を受ける火災防護対象機器等

機器名称[機器番号]	最重要設備 [※]	最重要設備以外の安全上重要な施設 [※]
-	-	-

※ ○:対象 -:非対象

* 火災想定において、工程停止等により安全機能を必要としない状態へと移行が可能なもの。

7. 火災防護対象機器等の関連ケーブル

機器名称[機器番号]	ケーブル種別	安重分類
-	-	-

8. 最重要設備の安重機能への火災影響

安重分類	全焼時の 成功パスの 有無	回路評価 等の考慮	結果	系統分離※
Pu・高レベル廃棄物の閉じ込め機能	-	-	-	-
崩壊熱除去機能(重要度の高いもの)	-	-	-	-
安全圧縮空気系(水素掃気機能)	-	-	-	-
非常用所内電源系統	-	-	-	-

※ a : 3時間以上の耐火能力を有する耐火壁で分離

b : 水平距離6mによる分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置

c : 1時間の耐火能力を有する隔壁等による分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置
再処理施設成功パスの詳細は、別紙2参照

9. 最重要設備以外の火災防護対象機器等への火災影響

機器名称[機器番号]	当該区画の火災評価※	隣接区画の火災評価※
-	-	-

※ ○:火災影響なし ×:火災影響あり

隣接する火災区画と火災伝播経路

(※ 有:伝播する 無:伝播しない)

隣接する火災区画	火災伝播経路有無	等価時間(h)	耐火時間(h)	火災伝播の可能性※	備考
	無	0.0	1.0	無	
	無	0.0	1.0	無	
	無	0.0	1.0	無	
	無	0.0	3.0	無	
	無	0.0	3.0	無	
	無	0.0	1.0	無	

火災区域(区画)特性表

1. 火災区域(区画)の説明

建屋名	精製建屋
火災区域/区画区分	火災区画
火災区域/区画番号	■
火災区域/区画名称	南第3階段室地上2階附室
床面積(m ²)	■

2. 火災区域(区画)の火災シナリオの説明

■は、精製建屋内の火災区画である。
 本区画は、火災源となるものがないおよび安全上重要な施設が設置されていないため、安全機能の喪失のおそれはない。

3. 火災区域(区画)にある火災源

(1) 等価時間

発熱量(kJ)	火災荷重(kJ/m ²)	等価時間(h) [※]
■	■	0.0

※ 等価時間は、内部火災影響評価ガイドの等価時間記載の値で示す。

(2) 火災区域(区画)にある火災源機器数

火災源	機器数
電動機(3.7kW超)	-
電気盤(440V以上)	-
ケーブルトレイ(ケーブル)	-
油脂類・有機溶媒等	-
その他	-

4. 火災区域(区画)にある防火設備

火災感知の手段	主要な消火設備	消火方法	消火設備のバックアップ
煙感知器	屋内消火栓	手動	粉末消火器

5. 火災区域(区画)に隣接する火災区域(区画)と火災伝播経路 隣接火災区画への火災伝播経路の詳細は、別紙1参照

6. 火災影響を受ける火災防護対象機器等

機器名称[機器番号]	最重要設備 [※]	最重要設備以外の安全上重要な施設 [※]
-	-	-

※ ○:対象 -:非対象

* 火災想定において、工程停止等により安全機能を必要としない状態へと移行が可能なもの。

7. 火災防護対象機器等の関連ケーブル

機器名称[機器番号]	ケーブル種別	安重分類
-	-	-

8. 最重要設備の安重機能への火災影響

安重分類	全焼時の成功パスの有無	回路評価等の考慮	結果	系統分離※
Pu・高レベル廃棄物の閉じ込め機能	-	-	-	-
崩壊熱除去機能(重要度の高いもの)	-	-	-	-
安全圧縮空気系(水素掃気機能)	-	-	-	-
非常用所内電源系統	-	-	-	-

※ a : 3時間以上の耐火能力を有する耐火壁で分離

b : 水平距離6mによる分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置

c : 1時間の耐火能力を有する隔壁等による分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置
再処理施設成功パスの詳細は、別紙2参照

9. 最重要設備以外の火災防護対象機器等への火災影響

機器名称[機器番号]	当該区画の火災評価※	隣接区画の火災評価※
-	-	-

※ ○:火災影響なし ×:火災影響あり

隣接する火災区画と火災伝播経路

(※ 有:伝播する 無:伝播しない)

隣接する火災区画	火災伝播経路有無	等価時間(h)	耐火時間(h)	火災伝播の可能性※	備考
	無	0.0	1.0	無	
	無	0.0	1.0	無	
	無	0.0	3.0	無	
	無	0.0	1.0	無	
	無	0.0	1.0	無	
	無	0.0	1.0	無	

火災区域(区画)特性表

1. 火災区域(区画)の説明

建屋名	精製建屋
火災区域/区画区分	火災区画
火災区域/区画番号	■
火災区域/区画名称	北第1階段室地上2階附室
床面積(m ²)	■

2. 火災区域(区画)の火災シナリオの説明

■は、精製建屋内の火災区画である。
 本区画は、火災源となるものがないおよび安全上重要な施設が設置されていないため、安全機能の喪失のおそれはない。

3. 火災区域(区画)にある火災源

(1) 等価時間

発熱量(kJ)	火災荷重 (kJ/m ²)	等価時間(h) [※]
■	■	0.0

※ 等価時間は、内部火災影響評価ガイドの等価時間記載の値で示す。

(2) 火災区域(区画)にある火災源機器数

火災源	機器数
電動機(3.7kW超)	-
電気盤(440V以上)	-
ケーブルトレイ(ケーブル)	-
油脂類・有機溶媒等	-
その他	-

4. 火災区域(区画)にある防火設備

火災感知の手段	主要な消火設備	消火方法	消火設備のバックアップ
煙感知器	屋内消火栓	手動	粉末消火器

5. 火災区域(区画)に隣接する火災区域(区画)と火災伝播経路

隣接火災区画への火災伝播経路の詳細は、別紙1参照

6. 火災影響を受ける火災防護対象機器等

機器名称[機器番号]	最重要設備 [※]	最重要設備以外の安全上重要な施設 [※]
-	-	-

※ ○:対象 -:非対象

* 火災想定において、工程停止等により安全機能を必要としない状態へと移行が可能なもの。

7. 火災防護対象機器等の関連ケーブル

機器名称[機器番号]	ケーブル種別	安重分類
-	-	-

8. 最重要設備の安重機能への火災影響

安重分類	全焼時の成功パスの有無	回路評価等の考慮	結果	系統分離※
Pu・高レベル廃棄物の閉じ込め機能	-	-	-	-
崩壊熱除去機能(重要度の高いもの)	-	-	-	-
安全圧縮空気系(水素掃気機能)	-	-	-	-
非常用所内電源系統	-	-	-	-

※ a : 3時間以上の耐火能力を有する耐火壁で分離

b : 水平距離6mによる分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置

c : 1時間の耐火能力を有する隔壁等による分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置
再処理施設成功パスの詳細は、別紙2参照

9. 最重要設備以外の火災防護対象機器等への火災影響

機器名称[機器番号]	当該区画の火災評価※	隣接区画の火災評価※
-	-	-

※ ○:火災影響なし ×:火災影響あり

隣接する火災区画と火災伝播経路

(※ 有:伝播する 無:伝播しない)

隣接する 火災区画	火災伝播 経路有無	等価時間 (h)	耐火時間 (h)	火災伝播の 可能性 ※	備考
	無	0.0	1.0	無	
	無	0.0	1.0	無	
	無	0.0	1.0	無	
	無	0.0	1.0	無	
	無	0.0	3.0	無	

火災区域(区画)特性表

1. 火災区域(区画)の説明

建屋名	精製建屋
火災区域/区画区分	火災区画
火災区域/区画番号	■
火災区域/区画名称	南第1階段室地上2階附室
床面積(m ²)	■

2. 火災区域(区画)の火災シナリオの説明

■は、精製建屋内の火災区画である。
 本区画は、火災源となるものがないおよび安全上重要な施設が設置されていないため、安全機能の喪失のおそれはない。

3. 火災区域(区画)にある火災源

(1) 等価時間

発熱量(kJ)	火災荷重 (kJ/m ²)	等価時間(h) [※]
■	■	0.0

※ 等価時間は、内部火災影響評価ガイドの等価時間記載の値で示す。

(2) 火災区域(区画)にある火災源機器数

火災源	機器数
電動機(3.7kW超)	-
電気盤(440V以上)	-
ケーブルトレイ(ケーブル)	-
油脂類・有機溶媒等	-
その他	-

4. 火災区域(区画)にある防火設備

火災感知の手段	主要な消火設備	消火方法	消火設備のバックアップ
煙感知器	屋内消火栓	手動	粉末消火器

5. 火災区域(区画)に隣接する火災区域(区画)と火災伝播経路

隣接火災区画への火災伝播経路の詳細は、別紙1参照

6. 火災影響を受ける火災防護対象機器等

機器名称[機器番号]	最重要設備 [※]	最重要設備以外の安全上重要な施設 [※]
-	-	-

※ ○:対象 -:非対象

* 火災想定において、工程停止等により安全機能を必要としない状態へと移行が可能なもの。

7. 火災防護対象機器等の関連ケーブル

機器名称[機器番号]	ケーブル種別	安重分類
-	-	-

8. 最重要設備の安重機能への火災影響

安重分類	全焼時の 成功パスの 有無	回路評価 等の考慮	結果	系統分離※
Pu・高レベル廃棄物の閉じ込め機能	-	-	-	-
崩壊熱除去機能(重要度の高いもの)	-	-	-	-
安全圧縮空気系(水素掃気機能)	-	-	-	-
非常用所内電源系統	-	-	-	-

※ a : 3時間以上の耐火能力を有する耐火壁で分離

b : 水平距離6mによる分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置

c : 1時間の耐火能力を有する隔壁等による分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置
再処理施設成功パスの詳細は、別紙2参照

9. 最重要設備以外の火災防護対象機器等への火災影響

機器名称[機器番号]	当該区画の火災評価※	隣接区画の火災評価※
-	-	-

※ ○:火災影響なし ×:火災影響あり

隣接する火災区画と火災伝播経路

(※ 有:伝播する 無:伝播しない)

隣接する 火災区画	火災伝播 経路有無	等価時間 (h)	耐火時間 (h)	火災伝播の 可能性 ※	備考
	無	0.0	1.0	無	
	無	0.0	1.0	無	
	無	0.0	1.0	無	
	無	0.0	3.0	無	
	無	0.0	1.0	無	

火災区域(区画)特性表

1. 火災区域(区画)の説明

建屋名	精製建屋
火災区域/区画区分	火災区画
火災区域/区画番号	■
火災区域/区画名称	南第5ダクト室
床面積(m ²)	■

2. 火災区域(区画)の火災シナリオの説明

■は、精製建屋内の火災区画である。
 本区画の火災源は、ケーブルトレイである。
 したがって、本区画の想定火災としては、ケーブルトレイ火災により、安全上重要な施設のB系の設備(6.火災影響を受ける火災防護対象機器等 参照)が火災影響を受け、安全機能が喪失するおそれがあるが、多重化された安全上重要な施設の片系のみ機能喪失であるため、安全機能が完全に喪失することはない。

3. 火災区域(区画)にある火災源

(1) 等価時間

発熱量(kJ)	火災荷重 (kJ/m ²)	等価時間(h) [※]
■	■	2.0

※ 等価時間は、内部火災影響評価ガイドの等価時間記載の値で示す。

(2) 火災区域(区画)にある火災源機器数

火災源	機器数
電動機(3.7kW超)	-
電気盤(440V以上)	-
ケーブルトレイ(ケーブル)	有
油脂類・有機溶媒等	-
その他	-

4. 火災区域(区画)にある防火設備

火災感知の手段	主要な消火設備	消火方法	消火設備のバックアップ
煙感知器 炎感知器	ハロゲン化物消火 設備(全域)	自動	二酸化炭素消火器

5. 火災区域(区画)に隣接する火災区域(区画)と火災伝播経路

隣接火災区画への火災伝播経路の詳細は、別紙1参照

6. 火災影響を受ける火災防護対象機器等

機器名称[機器番号]	最重要設備 [※]	最重要設備以外の 安全上重要な施設 [※]
安重ケーブルトレイ[B系]	○	○

※ ○:対象 -:非対象

* 火災想定において、工程停止等により安全機能を必要としない状態へと移行が可能なもの。

7. 火災防護対象機器等の関連ケーブル

機器名称[機器番号]	ケーブル種別	安重分類
グローブボックス・セル排風機B ██████████	制御、動力(低圧)	Pu・高レベルの廃棄物の閉じ込め機能
460V非常用パワーセンタB[AC-P/C-B]	動力(低圧)	非常用所内電源系統
安全冷却水BポンプA ██████████	制御、動力(低圧)	崩壊熱除去機能(重要度の高いもの)
安全冷却水BポンプB ██████████	制御、動力(低圧)	崩壊熱除去機能(重要度の高いもの)
排風機B ██████████	制御、動力(低圧)	Pu・高レベルの廃棄物の閉じ込め機能
排風機B ██████████	制御、動力(低圧)	Pu・高レベルの廃棄物の閉じ込め機能
460V非常用コントロールセンタB1[AC-MCC-B1]	動力(低圧)	非常用所内電源系統
460V非常用コントロールセンタB2[AC-MCC-B2]	制御、動力(低圧)	非常用所内電源系統

8. 最重要設備の安重機能への火災影響

安重分類	全焼時の成功パスの有無	回路評価等の考慮	結果	系統分離※
Pu・高レベル廃棄物の閉じ込め機能	有	-	○	-
崩壊熱除去機能(重要度の高いもの)	有	-	○	-
安全圧縮空気系(水素掃気機能)	-	-	-	-
非常用所内電源系統	有	-	○	-

※ a : 3時間以上の耐火能力を有する耐火壁で分離

b : 水平距離6mによる分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置

c : 1時間の耐火能力を有する隔壁等による分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置
再処理施設成功パスの詳細は、別紙2参照

9. 最重要設備以外の火災防護対象機器等への火災影響

機器名称[機器番号]	当該区画の火災評価※	隣接区画の火災評価※
-	-	-

※ ○:火災影響なし ×:火災影響あり

隣接する火災区画と火災伝播経路

(※ 有:伝播する 無:伝播しない)

隣接する 火災区画	火災伝播 経路有無	等価時間 (h)	耐火時間 (h)	火災伝播の 可能性 ※	備考
	無	2.0	3.0	無	
	無	2.0	3.0	無	
	無	2.0	3.0	無	
	無	2.0	3.0	無	
	無	2.0	3.0	無	
	無	2.0	3.0	無	

再処理施設成功パス一覧表

建屋	精製建屋	
区域(区画)番号/名称		南第5ダクト室
1.放射性物質の閉じ込め機能(動的な閉じ込め機能)		
	【Aトレン設備】	【Bトレン設備】
前処理建屋 せん断処理・溶解廃ガス処理設備	排風機A	前処理建屋 せん断処理・溶解廃ガス処理設備
	排風機C	排風機B
前処理建屋 塔槽類廃ガス処理設備	排風機A	前処理建屋 塔槽類廃ガス処理設備
前処理建屋換気設備 溶解セル等からの排気系	セル排風機A	前処理建屋換気設備 溶解セル等からの排気系
	溶解槽セルA排風機A	セル排風機B
	溶解槽セルB排風機A	溶解槽セルA排風機B
高レベル廃液ガラス固化建屋 高レベル廃液ガラス固化廃ガス処理設備	第1排風機A	高レベル廃液ガラス固化建屋 高レベル廃液ガラス固化廃ガス処理設備
	第2排風機A	第1排風機B
高レベル廃液ガラス固化建屋 塔槽類廃ガス処理設備 高レベル濃縮廃液廃ガス処理系	排風機A	高レベル廃液ガラス固化建屋 塔槽類廃ガス処理設備 高レベル濃縮廃液廃ガス処理系
高レベル廃液ガラス固化建屋 塔槽類廃ガス処理設備 不溶解残渣廃液廃ガス処理系	排風機A	高レベル廃液ガラス固化建屋 塔槽類廃ガス処理設備 不溶解残渣廃液廃ガス処理系
高レベル濃縮廃液貯槽セル等からの排気系固化セル換気系及び固化セル圧力放出系	セル排風機A	高レベル濃縮廃液貯槽セル等からの排気系固化セル換気系及び固化セル圧力放出系
	固化セル換気系排風機A	セル排風機B
分離建屋 塔槽類廃ガス処理設備バルセータ廃ガス処理系	排風機A	分離建屋 塔槽類廃ガス処理設備バルセータ廃ガス処理系
分離建屋 塔槽類廃ガス処理設備 塔槽類廃ガス処理系	排風機A	分離建屋 塔槽類廃ガス処理設備 塔槽類廃ガス処理系
分離建屋換気設備 プルトニウム溶液中間貯槽セル等からの排気系	グローブボックス・セル排風機A	分離建屋換気設備 プルトニウム溶液中間貯槽セル等からの排気系
精製建屋 塔槽類廃ガス処理設備バルセータ廃ガス処理系	排風機A	精製建屋 塔槽類廃ガス処理設備バルセータ廃ガス処理系
精製建屋 塔槽類廃ガス処理設備 塔槽類廃ガス処理系(プルトニウム系)	排風機A	× 精製建屋 塔槽類廃ガス処理設備 塔槽類廃ガス処理系(プルトニウム系)
精製建屋換気設備 プルトニウム濃縮缶セル等及びグローブボックス等からの排気系	グローブボックス・セル排風機A	× 精製建屋換気設備 プルトニウム濃縮缶セル等及びグローブボックス等からの排気系
ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋 塔槽類廃ガス処理設備	第1排風機A	× ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋 塔槽類廃ガス処理設備
	第2排風機A	第1排風機B
	第2排風機C	第2排風機B
ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋 硝酸プルトニウム貯槽セル等及びグローブボックス等からの排気系	グローブボックス・セル排風機A	ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋 硝酸プルトニウム貯槽セル等及びグローブボックス等からの排気系
	グローブボックス・セル排風機C	グローブボックス・セル排風機B
-		×
1パス	○	
回路評価等	-	
成功パス	○	

凡例	
×	○○○○-○○ ○○○A
	○○○○-○○ ○○○○A
× : 当該室の火災により安全機能を喪失する機器がある場合	
空欄 : 当該室に設置していない機器	
1パス	- : 当該室に対象なし ○ : 当該室の火災により対応する安全機能が1系統残る場合 × : 当該室の火災により対応する安全機能がすべて喪失する場合
回路評価等	- : 当該室に回路評価等を行う対象なし ○ : 回路評価等により、対応する安全機能が確保される場合
成功パス	- : 当該室に対象なし ○ : 当該室の火災により対応する安全機能が1系統残る場合 × : 当該室の火災により対応する安全機能がすべて喪失する場合

再処理施設成功パス一覧表

2.崩壊熱除去機能			
		【Aトレ設備】	【Bトレ設備】
冷却設備	安全冷却水系	安全冷却水A冷却塔	安全冷却水B冷却塔
前処理建屋	冷却設備 安全冷却水系	安全冷却水A循環ポンプA	安全冷却水B循環ポンプA
		安全冷却水A循環ポンプB	安全冷却水B循環ポンプB
		安全冷却水1AポンプA	安全冷却水1BポンプA
		安全冷却水1AポンプB	安全冷却水1BポンプB
分離建屋	冷却設備 安全冷却水系	冷却水循環ポンプA	冷却水循環ポンプC
		冷却水循環ポンプB	冷却水循環ポンプD
		安全冷却水1AポンプA	安全冷却水1BポンプA
		安全冷却水1AポンプB	安全冷却水1BポンプB
精製建屋	冷却設備 安全冷却水系	安全冷却水AポンプA	安全冷却水BポンプA
		安全冷却水AポンプB	安全冷却水BポンプB
ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋	冷却設備 安全冷却水系	冷水移送ポンプA	冷水移送ポンプC
		冷水移送ポンプB	冷水移送ポンプD
高レベル廃液ガラス固化建屋	冷却設備 安全冷却水系	第1高レベル濃縮廃液貯槽冷却水AポンプA	第1高レベル濃縮廃液貯槽冷却水BポンプA
		第1高レベル濃縮廃液貯槽冷却水AポンプB	第1高レベル濃縮廃液貯槽冷却水BポンプB
		第2高レベル濃縮廃液貯槽冷却水AポンプA	第2高レベル濃縮廃液貯槽冷却水BポンプA
		第2高レベル濃縮廃液貯槽冷却水AポンプB	第2高レベル濃縮廃液貯槽冷却水BポンプB
		安全冷却水A系ポンプA	安全冷却水B系ポンプA
		安全冷却水A系ポンプB	安全冷却水B系ポンプB
		高レベル廃液共用貯槽冷却水AポンプA	高レベル廃液共用貯槽冷却水BポンプA
		高レベル廃液共用貯槽冷却水AポンプB	高レベル廃液共用貯槽冷却水BポンプB
		安全冷却水A系ポンプA	安全冷却水B系ポンプA
		安全冷却水A系ポンプB	安全冷却水B系ポンプB
		安全冷水A冷却器冷媒膨張弁A	安全冷水B冷却器冷媒膨張弁A
		安全冷水A冷却器冷媒膨張弁B	安全冷水B冷却器冷媒膨張弁B
		安全冷水A冷却器冷媒止弁A	安全冷水B冷却器冷媒止弁A
		安全冷水A冷却器冷媒止弁B	安全冷水B冷却器冷媒止弁B
		安全冷却水1AポンプA	安全冷却水1BポンプA
		安全冷却水1AポンプB	安全冷却水1BポンプB
		安全冷水AポンプA	安全冷水BポンプA
		安全冷水AポンプB	安全冷水BポンプB
		安全冷水A冷凍機	安全冷水B冷凍機
		スクュー圧縮機	スクュー圧縮機
		スクュー圧縮機	スクュー圧縮機
ウラン・プルトニウム混合酸化物貯蔵建屋	換気設備貯蔵室排気系	貯蔵室排風機A	貯蔵室排風機C
		貯蔵室排風機B	貯蔵室排風機D
-			
	1パス	○	×
	回路評価等	-	
	成功パス	○	

3.安全圧縮空気系(水素掃気機能)			
		【Aトレ設備】	【Bトレ設備】
安全圧縮空気系		安全空気圧縮装置A	安全空気圧縮装置B
		安全空気圧縮装置C	安全空気圧縮装置C
-			
	1パス	-	-
	回路評価等	-	-
	成功パス	-	-

再処理施設成功パス一覧表

4.非常用所内電源系統(支援機能)		【Aトレン設備】	【Bトレン設備】
非常用電源建屋冷却水設備			
	8111A-C20 冷却塔A		8111B-C20 冷却塔B
	8111A-P2010 冷却水循環ポンプA		8111B-P2010 冷却水循環ポンプB
非常用電源建屋の電気設備			
	GA-M/C-A 6.9kV非常用メタクラA		GA-M/C-B 6.9kV非常用メタクラB
	GA-MCC-A 460V非常用コントロールセンタA		GA-MCC-B 460V非常用コントロールセンタB
	8111A-X10 ディーゼル機関A		8111B-X10 ディーゼル機関B
	8111A-X11 同期発電機A		8111B-X11 同期発電機B
	8111A-P4011 燃料油移送ポンプA		8111B-P4011 燃料油移送ポンプB
	GA-BAT-A 110V第2非常用蓄電池A		GA-BAT-B 110V第2非常用蓄電池B
	GA-CHG-A 110V非常用充電器盤A		GA-CHG-B 110V非常用充電器盤B
	GA-DCD-A 110V非常用直流主分電盤A		GA-DCD-B 110V非常用直流主分電盤B
	GA-CHG-E 110V非常用予備充電器盤E		GA-CHG-E 110V非常用予備充電器盤E
	GA-E-K011A 非常用電気設備リレー盤A1		GA-E-K013B 非常用電気設備リレー盤B1
	GA-E-K012A 非常用電気設備リレー盤A2		GA-E-K014B 非常用電気設備リレー盤B2
	8111A-V40 燃料油貯蔵タンク1A		8111B-V40 燃料油貯蔵タンク1B
	8111A-V41 燃料油貯蔵タンク2A		8111B-V41 燃料油貯蔵タンク2B
	GA-E-M011A 第2非常用ディーゼル発電機A制御盤		GA-E-M012B 第2非常用ディーゼル発電機B制御盤
	GA-PTR-A 非常用動力用変圧器A		GA-PTR-B 非常用動力用変圧器B
	8111A-V42 燃料油サービスタングA		8111B-V42 燃料油サービスタングB
	8111A-F4210 燃料油第1フィルタA		8111B-F4210 燃料油第1フィルタB
	8111A-F4230 燃料油第2フィルタA		8111B-F4230 燃料油第2フィルタB
	GA-E-S011A 第2非常用ディーゼル発電機ターニング現場盤A		GA-E-S012B 第2非常用ディーゼル発電機ターニング現場盤B
	GA-E-U011A 第2非常用ディーゼル発電機CT盤A		GA-E-U012B 第2非常用ディーゼル発電機CT盤B
	GA-I-K011A ユーティリティ工程 安全系A制御盤(リレー盤)		GA-I-K012B ユーティリティ工程 安全系B制御盤(リレー盤)
制御建屋の電気設備			
	AG-M/C-A 6.9kV非常用メタクラA		AG-M/C-B 6.9kV非常用メタクラB
	AG-P/C-A 460V非常用パワーセンタA		AG-P/C-B 460V非常用パワーセンタB
	AG-MCC-A1 460V非常用コントロールセンタA1		AG-MCC-B1 460V非常用コントロールセンタB1
	AG-MCC-A2 460V非常用コントロールセンタA2		AG-MCC-B2 460V非常用コントロールセンタB2
	AG-I-F201A 前処理建屋 安全系A監視制御盤		AG-I-F202B 前処理建屋 安全系B監視制御盤
	AG-I-F203A 分離建屋 安全系A監視制御盤		AG-I-F204B 分離建屋 安全系B監視制御盤
	AG-I-F205A 精製建屋 安全系A監視制御盤		AG-I-F206B 精製建屋 安全系B監視制御盤
	AG-I-F211A ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋 安全系A監視制御盤		AG-I-F212B ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋 安全系B監視制御盤
	AG-I-F213A 高レベル廃液ガラス固化建屋 安全系A監視制御盤		AG-I-F214B 高レベル廃液ガラス固化建屋 安全系B監視制御盤
	AG-BAT-A1 110V第2非常用蓄電池A1		AG-BAT-B1 110V第2非常用蓄電池B1
	AG-BAT-A2 220V第2非常用蓄電池A2		AG-BAT-B2 220V第2非常用蓄電池B2
	AG-CHG-A 110V非常用充電器盤A		AG-CHG-B 110V非常用充電器盤B
	AG-CHG-E 110V非常用予備充電器盤E		AG-CHG-E 110V非常用予備充電器盤E
	AG-DCD-A 110V非常用直流主分電盤A		AG-DCD-B 110V非常用直流主分電盤B
	AG-UPS-A 105V非常用無停電電源装置A		AG-UPS-B 105V非常用無停電電源装置B
	AG-UPD-A 105V非常用無停電交流主分電盤A		AG-UPD-B 105V非常用無停電交流主分電盤B
前処理建屋の電気設備			
	AA-M/C-A 6.9kV非常用メタクラA		AA-M/C-B 6.9kV非常用メタクラB
	AA-P/C-A 460V非常用パワーセンタA		AA-P/C-B 460V非常用パワーセンタB
	AA-MCC-A1 460V非常用コントロールセンタA1		AA-MCC-B1 460V非常用コントロールセンタB1
	AA-MCC-A2 460V非常用コントロールセンタA2		AA-MCC-B2 460V非常用コントロールセンタB2
	AA-MCC-A3 460V非常用コントロールセンタA3		
	AA-BAT-A 110V第2非常用蓄電池A		AA-BAT-B 110V第2非常用蓄電池B
	AA-CHG-A 110V非常用充電器盤A		AA-CHG-B 110V非常用充電器盤B
	AA-CHG-E 110V非常用予備充電器盤E		AA-CHG-E 110V非常用予備充電器盤E
	AA-DCD-A 110V非常用直流主分電盤A		AA-DCD-B 110V非常用直流主分電盤B
	AA-UPS-A 105V非常用無停電電源装置A		AA-UPS-B 105V非常用無停電電源装置B
	AA-UPD-A 105V非常用無停電交流主分電盤A		AA-UPD-B 105V非常用無停電交流主分電盤B
	AA-I-M171A 圧縮空気設備 安全空気脱湿装置A現場監視制御盤		AA-I-M172B 圧縮空気設備 安全空気脱湿装置B現場監視制御盤
	AA-I-M166A 圧縮空気設備 安全空気圧縮装置A現場監視制御盤		AA-I-M167B 圧縮空気設備 安全空気圧縮装置B現場監視制御盤
	AA-I-M176A 圧縮空気設備 安全空気圧縮装置C現場制御回路分離盤A		AA-I-M177B 圧縮空気設備 安全空気圧縮装置C現場制御回路分離盤B
	AA-I-M169C 圧縮空気設備 安全空気圧縮装置C現場制御電源切換盤		AA-I-M169C 圧縮空気設備 安全空気圧縮装置C現場制御電源切換盤
	AA-I-M168C 圧縮空気設備 安全空気圧縮装置C現場監視制御盤		AA-I-M168C 圧縮空気設備 安全空気圧縮装置C現場監視制御盤
	AA-I-K701A よう素除去工程排風機A制御盤		AA-I-K702B よう素除去工程排風機B制御盤
	AA-I-K703C よう素除去工程排風機C制御盤		AA-I-K703C よう素除去工程排風機C制御盤
	AA-I-X710C よう素除去工程 C系統電源切替盤		AA-I-X710C よう素除去工程 C系統電源切替盤
	AA-I-J012A ユーティリティ工程 安全系A制御盤1(リレー盤2)		AA-I-J062B ユーティリティ工程 安全系B制御盤1(リレー盤2)
	AA-I-J013A ユーティリティ工程 安全系A制御盤2(リレー盤3)		AA-I-J063B ユーティリティ工程 安全系B制御盤2(リレー盤3)
	AA-I-J031A よう素除去工程 安全系A制御盤1		AA-I-J081B よう素除去工程 安全系B制御盤1
	AA-I-J032A よう素除去工程 安全系A制御盤2		AA-I-J082B よう素除去工程 安全系B制御盤2
	AA-I-J033A よう素除去工程 安全系A制御盤3		AA-I-J083B よう素除去工程 安全系B制御盤3
	AA-LPD-A2 溶解槽セルA排風機A極数変換盤		AA-LPD-B2 溶解槽セルA排風機B極数変換盤
	AA-LPD-A3 溶解槽セルB排風機A極数変換盤		AA-LPD-B3 溶解槽セルB排風機B極数変換盤
	AA-LPD-A21 セル排風機A極数変換盤		AA-LPD-B21 セル排風機B極数変換盤
分離建屋の非常用所内電源系統			
	AB-P/C-A 460V非常用パワーセンタA		AB-P/C-B 460V非常用パワーセンタB
	AB-MCC-A 460V非常用コントロールセンタA		AB-MCC-B 460V非常用コントロールセンタB
	AB-CHG-A 110V非常用充電器盤A		AB-CHG-B 110V非常用充電器盤B
	AB-CHG-E 110V非常用予備充電器盤E		AB-CHG-E 110V非常用予備充電器盤E
	AB-BAT-A 110V第2非常用蓄電池A		AB-BAT-B 110V第2非常用蓄電池B
	AB-DCD-A 110V非常用直流主分電盤A		AB-DCD-B 110V非常用直流主分電盤B
	AB-UPS-A 105V非常用無停電電源装置A		AB-UPS-B 105V非常用無停電電源装置B
	AB-UPD-A1 105V非常用無停電交流主分電盤A1		AB-UPD-B1 105V非常用無停電交流主分電盤A1
	AB-UPD-A2 105V非常用無停電交流主分電盤A2		AB-UPD-B2 105V非常用無停電交流主分電盤A2
	AB-I-J180A ユーティリティ工程 安全系A制御盤1		AB-I-J183B ユーティリティ工程 安全系B制御盤1
	AB-I-J181A ユーティリティ工程 安全系A制御盤2		AB-I-J184B ユーティリティ工程 安全系B制御盤2
	AB-I-J182A ユーティリティ工程 安全系A制御盤3		AB-I-J185B ユーティリティ工程 安全系B制御盤3
	AB-I-J033A 分離・分配工程 安全系A制御盤1		AB-I-J036B 分離・分配工程 安全系B制御盤1
	AB-I-J034A 分離・分配工程 安全系A制御盤2		AB-I-J037B 分離・分配工程 安全系B制御盤2
	AB-I-J035A 分離・分配工程 安全系A制御盤3		AB-I-J038B 分離・分配工程 安全系B制御盤3
	AB-V-J100A 建屋換気設備 安全系A制御盤		AB-V-J101B 建屋換気設備 安全系B制御盤
	1パス	-	
	回路評価等	-	
	成功パス	-	

再処理施設成功パス一覧表

4. 支援機能(続き)		【Aトレン設備】		【Bトレン設備】	
精製建屋の電気設備		精製建屋の電気設備		精製建屋の電気設備	
AC-BAT-A	110V第2非常用蓄電池A	AC-BAT-B	110V第2非常用蓄電池B	AC-BAT-B	110V第2非常用蓄電池B
AC-CHG-A	110V非常用充電器盤A	AC-CHG-B	110V非常用充電器盤B	AC-CHG-B	110V非常用充電器盤B
AC-CHG-E	110V非常用予備充電器盤E	AC-CHG-E	110V非常用予備充電器盤E	AC-CHG-E	110V非常用予備充電器盤E
AC-DCD-A	110V非常用直流主分電盤A	AC-DCD-B	110V非常用直流主分電盤B	AC-DCD-B	110V非常用直流主分電盤B
AC-MCC-A1	460V非常用コントロールセンタA1	×	AC-MCC-B1	460V非常用コントロールセンタB1	×
AC-MCC-A2	460V非常用コントロールセンタA2	×	AC-MCC-B2	460V非常用コントロールセンタB2	×
AC-P/C-A	460V非常用パワーセンタA	×	AC-P/C-B	460V非常用パワーセンタB	×
AC-UPD-A	105V非常用無停電交流主分電盤A	AC-UPD-B	105V非常用無停電交流主分電盤B	AC-UPD-B	105V非常用無停電交流主分電盤B
AC-UPS-A	105V非常用無停電電源装置A	AC-UPS-B	105V非常用無停電電源装置B	AC-UPS-B	105V非常用無停電電源装置B
AC-I-J450A	ユーティリティ工程 安全系A制御盤(計器盤)	AC-I-J460B	ユーティリティ工程 安全系B制御盤(計器盤)	AC-I-J460B	ユーティリティ工程 安全系B制御盤(計器盤)
AC-I-J451A	ユーティリティ工程 安全系A制御盤(リレー盤)	AC-I-J461B	ユーティリティ工程 安全系B制御盤(リレー盤)	AC-I-J461B	ユーティリティ工程 安全系B制御盤(リレー盤)
AC-E-J452A	非常用電気設備リレー盤A	AC-E-J462B	非常用電気設備リレー盤B	AC-E-J462B	非常用電気設備リレー盤B
AC-V-J453A	建屋換気設備安全系A制御盤	AC-V-J463B	建屋換気設備安全系B制御盤	AC-V-J463B	建屋換気設備安全系B制御盤
AC-I-J752A	プルトニウム精製工程 安全系A 制御盤3	AC-I-J755B	プルトニウム精製工程 安全系B 制御盤3	AC-I-J755B	プルトニウム精製工程 安全系B 制御盤3
ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋の非常用所内電源系統		ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋の非常用所内電源系統		ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋の非常用所内電源系統	
CA-P/C-A	460V非常用パワーセンタA	CA-P/C-B	460V非常用パワーセンタB	CA-P/C-B	460V非常用パワーセンタB
CA-MCC-A1	460V非常用コントロールセンタA1	CA-MCC-B1	460V非常用コントロールセンタB1	CA-MCC-B1	460V非常用コントロールセンタB1
CA-MCC-A2	460V非常用コントロールセンタA2	CA-MCC-B2	460V非常用コントロールセンタB2	CA-MCC-B2	460V非常用コントロールセンタB2
CA-M/C-A	6.9kV非常用メタクラA	CA-M/C-B	6.9kV非常用メタクラB	CA-M/C-B	6.9kV非常用メタクラB
CA-E-K503A	非常用電気設備リレー盤A	CA-E-K603B	非常用電気設備リレー盤B	CA-E-K603B	非常用電気設備リレー盤B
CA-I-J501A	安全系A制御盤	CA-I-J601B	安全系B制御盤	CA-I-J601B	安全系B制御盤
CA-V-J502A	建屋換気設備安全系A制御盤	CA-V-J602B	建屋換気設備安全系B制御盤	CA-V-J602B	建屋換気設備安全系B制御盤
CA-CHG-A	110V非常用充電器盤A	CA-CHG-B	110V非常用充電器盤B	CA-CHG-B	110V非常用充電器盤B
CA-CHG-E	110V非常用予備充電器盤E	CA-CHG-E	110V非常用予備充電器盤E	CA-CHG-E	110V非常用予備充電器盤E
CA-DCD-A	110V非常用直流主分電盤A	CA-DCD-B	110V非常用直流主分電盤B	CA-DCD-B	110V非常用直流主分電盤B
CA-UPD-A	105V非常用無停電交流主分電盤A	CA-UPD-B	105V非常用無停電交流主分電盤B	CA-UPD-B	105V非常用無停電交流主分電盤B
CA-UPS-A	105V非常用無停電電源装置A	CA-UPS-B	105V非常用無停電電源装置B	CA-UPS-B	105V非常用無停電電源装置B
CA-BAT-A	110V第2非常用蓄電池A	CA-BAT-B	110V第2非常用蓄電池B	CA-BAT-B	110V第2非常用蓄電池B
ウラン・プルトニウム混合酸化物貯蔵建屋の非常用所内電源系統		ウラン・プルトニウム混合酸化物貯蔵建屋の非常用所内電源系統		ウラン・プルトニウム混合酸化物貯蔵建屋の非常用所内電源系統	
CB-P/C-A	460V非常用パワーセンタA	CB-P/C-B	460V非常用パワーセンタB	CB-P/C-B	460V非常用パワーセンタB
CB-E-J101A	非常用電気設備リレー盤A	CB-E-J102B	非常用電気設備リレー盤B	CB-E-J102B	非常用電気設備リレー盤B
CA-V-J001A	建屋換気設備安全系A制御盤	CA-V-J002B	建屋換気設備安全系B制御盤	CA-V-J002B	建屋換気設備安全系B制御盤
CB-BAT-A	110V第2非常用蓄電池A	CB-BAT-B	110V第2非常用蓄電池B	CB-BAT-B	110V第2非常用蓄電池B
CB-CHG-A	110V非常用充電器盤A	CB-CHG-B	110V非常用充電器盤B	CB-CHG-B	110V非常用充電器盤B
CB-DCD-A	110V非常用直流主分電盤A	CB-DCD-B	110V非常用直流主分電盤B	CB-DCD-B	110V非常用直流主分電盤B
CB-MCC-A	460V非常用コントロールセンタA	CB-MCC-B	460V非常用コントロールセンタB	CB-MCC-B	460V非常用コントロールセンタB
CB-UPS-A	105V非常用無停電電源装置A	CB-UPS-B	105V非常用無停電電源装置B	CB-UPS-B	105V非常用無停電電源装置B
CB-CHG-E	110V非常用予備充電器盤E	CB-CHG-E	110V非常用予備充電器盤E	CB-CHG-E	110V非常用予備充電器盤E
高レベル廃液ガラス固化建屋の電気設備		高レベル廃液ガラス固化建屋の電気設備		高レベル廃液ガラス固化建屋の電気設備	
KA-P/C-A	460V非常用パワーセンタA	KA-P/C-B	460V非常用パワーセンタB	KA-P/C-B	460V非常用パワーセンタB
KA-BAT-A	110V第2非常用蓄電池A	KA-BAT-B	110V第2非常用蓄電池B	KA-BAT-B	110V第2非常用蓄電池B
KA-CHG-A	110V非常用充電器盤A	KA-CHG-B	110V非常用充電器盤B	KA-CHG-B	110V非常用充電器盤B
KA-CHG-E	110V非常用予備充電器盤E	KA-CHG-E	110V非常用予備充電器盤E	KA-CHG-E	110V非常用予備充電器盤E
KA-DCD-A	110V非常用直流主分電盤A	KA-DCD-B	110V非常用直流主分電盤B	KA-DCD-B	110V非常用直流主分電盤B
KA-UPS-A	105V非常用無停電電源装置A	KA-UPS-B	105V非常用無停電電源装置B	KA-UPS-B	105V非常用無停電電源装置B
KA-UPD-A	105V非常用無停電交流主分電盤A	KA-UPD-B	105V非常用無停電交流主分電盤B	KA-UPD-B	105V非常用無停電交流主分電盤B
KA-ACS-A	105V非常用計測交流電源盤A	KA-ACS-B	105V非常用計測交流電源盤B	KA-ACS-B	105V非常用計測交流電源盤B
KA-ACD-A	105V非常用計測交流主分電盤A	KA-ACD-B	105V非常用計測交流主分電盤B	KA-ACD-B	105V非常用計測交流主分電盤B
KA-MCC-A1	460V非常用コントロールセンタA1	KA-MCC-B1	460V非常用コントロールセンタB1	KA-MCC-B1	460V非常用コントロールセンタB1
KA-MCC-A2	460V非常用コントロールセンタA2	KA-MCC-B2	460V非常用コントロールセンタB2	KA-MCC-B2	460V非常用コントロールセンタB2
KA-I-K224A	高レベル廃液ガラス固化廃ガス処理設備第1排風機A安全系Aインバータ制御盤	KA-I-K225B	高レベル廃液ガラス固化廃ガス処理設備第1排風機B安全系Bインバータ制御盤	KA-I-K225B	高レベル廃液ガラス固化廃ガス処理設備第1排風機B安全系Bインバータ制御盤
KA-I-K226A	高レベル廃液ガラス固化廃ガス処理設備第2排風機A安全系Aインバータ制御盤	KA-I-K227B	高レベル廃液ガラス固化廃ガス処理設備第2排風機B安全系Bインバータ制御盤	KA-I-K227B	高レベル廃液ガラス固化廃ガス処理設備第2排風機B安全系Bインバータ制御盤
KA-I-K073A	固化セル換気系排風機A安全系Aインバータ制御盤	KA-I-K074B	固化セル換気系排風機B安全系Bインバータ制御盤	KA-I-K074B	固化セル換気系排風機B安全系Bインバータ制御盤
KA-E-K001A	非常用電気設備リレー盤A	KA-E-K002B	非常用電気設備リレー盤B	KA-E-K002B	非常用電気設備リレー盤B
KA-I-J501A	高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系A制御盤1	KA-I-J521B	高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系B制御盤1	KA-I-J521B	高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系B制御盤1
KA-I-J502A	高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系A制御盤2	KA-I-J522B	高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系B制御盤2	KA-I-J522B	高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系B制御盤2
KA-I-J503A	高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系A制御盤3	KA-I-J523B	高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系B制御盤3	KA-I-J523B	高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系B制御盤3
KA-I-J504A	高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系A制御盤4	KA-I-J524B	高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系B制御盤4	KA-I-J524B	高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系B制御盤4
KA-I-J505A	高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系A制御盤5	KA-I-J525B	高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系B制御盤5	KA-I-J525B	高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系B制御盤5
KA-I-J506A	高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系A制御盤6	KA-I-J526B	高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系B制御盤6	KA-I-J526B	高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系B制御盤6
KA-I-J507A	高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系A制御盤7	KA-I-J527B	高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系B制御盤7	KA-I-J527B	高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系B制御盤7
KA-I-J508A	高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系A制御盤8	KA-I-J528B	高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系B制御盤8	KA-I-J528B	高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系B制御盤8
KA-I-J511A	安全系A アレスタ盤	KA-I-J531B	安全系B アレスタ盤	KA-I-J531B	安全系B アレスタ盤
KA-I-J512A	高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系A制御盤(リレー盤1)	KA-I-J532B	高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系B制御盤(リレー盤1)	KA-I-J532B	高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系B制御盤(リレー盤1)
KA-I-J513A	高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系A制御盤(リレー盤2)	KA-I-J533B	高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系B制御盤(リレー盤2)	KA-I-J533B	高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系B制御盤(リレー盤2)
KA-I-J514A	高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系A制御盤(リレー盤3)	KA-I-J534B	高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系B制御盤(リレー盤3)	KA-I-J534B	高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系B制御盤(リレー盤3)
KA-I-M331A	冷凍機 安全系A監視制御盤	KA-I-M322B	冷凍機 安全系B監視制御盤	KA-I-M322B	冷凍機 安全系B監視制御盤
KA-I-K334A	冷却水・冷水設備 安全系A 制御盤1	KA-I-K338B	冷却水・冷水設備 安全系B 制御盤1	KA-I-K338B	冷却水・冷水設備 安全系B 制御盤1
KA-I-K335A	冷却水・冷水設備 安全系A 制御盤2	KA-I-K339B	冷却水・冷水設備 安全系B 制御盤2	KA-I-K339B	冷却水・冷水設備 安全系B 制御盤2
×		×		×	
-					
1パス					
回路評価等					
成功パス					

火災区域(区画)特性表

1. 火災区域(区画)の説明

建屋名	精製建屋
火災区域/区画区分	火災区画
火災区域/区画番号	■
火災区域/区画名称	圧縮空気分配第3室
床面積(m ²)	■

2. 火災区域(区画)の火災シナリオの説明

■は、精製建屋内の火災区画である。
 本区画は、火災源となるものがないおよび安全上重要な施設が設置されていないため、安全機能の喪失のおそれはない。

3. 火災区域(区画)にある火災源

(1) 等価時間

発熱量(kJ)	火災荷重 (kJ/m ²)	等価時間(h) [※]
■	■	0.0

※ 等価時間は、内部火災影響評価ガイドの等価時間記載の値で示す。

(2) 火災区域(区画)にある火災源機器数

火災源	機器数
電動機(3.7kW超)	-
電気盤(440V以上)	-
ケーブルトレイ(ケーブル)	-
油脂類・有機溶媒等	-
その他	-

4. 火災区域(区画)にある防火設備

火災感知の手段	主要な消火設備	消火方法	消火設備のバックアップ
煙感知器	屋内消火栓	手動	粉末消火器

5. 火災区域(区画)に隣接する火災区域(区画)と火災伝播経路

隣接火災区画への火災伝播経路の詳細は、別紙1参照

6. 火災影響を受ける火災防護対象機器等

機器名称[機器番号]	最重要設備 [※]	最重要設備以外の安全上重要な施設 [※]
-	-	-

※ ○:対象 -:非対象

* 火災想定において、工程停止等により安全機能を必要としない状態へと移行が可能なもの。

7. 火災防護対象機器等の関連ケーブル

機器名称[機器番号]	ケーブル種別	安重分類
-	-	-

8. 最重要設備の安重機能への火災影響

安重分類	全焼時の成功パスの有無	回路評価等の考慮	結果	系統分離※
Pu・高レベル廃棄物の閉じ込め機能	-	-	-	-
崩壊熱除去機能(重要度の高いもの)	-	-	-	-
安全圧縮空気系(水素掃気機能)	-	-	-	-
非常用所内電源系統	-	-	-	-

※ a : 3時間以上の耐火能力を有する耐火壁で分離

b : 水平距離6mによる分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置

c : 1時間の耐火能力を有する隔壁等による分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置
再処理施設成功パスの詳細は、別紙2参照

9. 最重要設備以外の火災防護対象機器等への火災影響

機器名称[機器番号]	当該区画の火災評価※	隣接区画の火災評価※
-	-	-

※ ○:火災影響なし ×:火災影響あり

隣接する火災区画と火災伝播経路

(※ 有:伝播する 無:伝播しない)

隣接する 火災区画	火災伝播 経路有無	等価時間 (h)	耐火時間 (h)	火災伝播の 可能性 ※	備考
	有	0.0	0.0	無	
	有	0.0	0.0	無	
	有	0.0	0.0	無	
	有	0.0	0.0	無	
	無	0.0	3.0	無	

火災区域(区画)特性表

1. 火災区域(区画)の説明

建屋名	精製建屋
火災区域/区画区分	火災区画
火災区域/区画番号	■
火災区域/区画名称	制御盤第6室
床面積(m ²)	■

2. 火災区域(区画)の火災シナリオの説明

■は、精製建屋内の火災区画である。
 本区画は、ケーブルトレイ火災の発生可能性があるが、安全上重要な施設が設置されていないため、安全機能の喪失のおそれはない。

3. 火災区域(区画)にある火災源

(1) 等価時間

発熱量(kJ)	火災荷重 (kJ/m ²)	等価時間(h) [※]
■	■	0.5

※ 等価時間は、内部火災影響評価ガイドの等価時間記載の値で示す。

(2) 火災区域(区画)にある火災源機器数

火災源	機器数
電動機(3.7kW超)	-
電気盤(440V以上)	-
ケーブルトレイ(ケーブル)	有
油脂類・有機溶媒等	-
その他	-

4. 火災区域(区画)にある防火設備

火災感知の手段	主要な消火設備	消火方法	消火設備のバックアップ
煙感知器	二酸化炭素消火器	手動	粉末消火器

5. 火災区域(区画)に隣接する火災区域(区画)と火災伝播経路

隣接火災区画への火災伝播経路の詳細は、別紙1参照

6. 火災影響を受ける火災防護対象機器等

機器名称[機器番号]	最重要設備 [※]	最重要設備以外の安全上重要な施設 [※]
-	-	-

※ ○:対象 -:非対象

* 火災想定において、工程停止等により安全機能を必要としない状態へと移行が可能なもの。

7. 火災防護対象機器等の関連ケーブル

機器名称[機器番号]	ケーブル種別	安重分類
-	-	-

8. 最重要設備の安重機能への火災影響

安重分類	全焼時の成功パスの有無	回路評価等の考慮	結果	系統分離※
Pu・高レベル廃棄物の閉じ込め機能	-	-	-	-
崩壊熱除去機能(重要度の高いもの)	-	-	-	-
安全圧縮空気系(水素掃気機能)	-	-	-	-
非常用所内電源系統	-	-	-	-

※ a : 3時間以上の耐火能力を有する耐火壁で分離

b : 水平距離6mによる分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置

c : 1時間の耐火能力を有する隔壁等による分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置
再処理施設成功パスの詳細は、別紙2参照

9. 最重要設備以外の火災防護対象機器等への火災影響

機器名称[機器番号]	当該区画の火災評価※	隣接区画の火災評価※
-	-	-

※ ○:火災影響なし ×:火災影響あり

隣接する火災区画と火災伝播経路

(※ 有:伝播する 無:伝播しない)

隣接する火災区画	火災伝播経路有無	等価時間(h)	耐火時間(h)	火災伝播の可能性※	備考
	無	0.5	3.0	無	
	有	0.5	0.0	有	
	無	0.5	3.0	無	
	有	0.5	0.0	有	
	有	0.5	0.0	有	
	有	0.5	0.0	有	

火災区域(区画)特性表

1. 火災区域(区画)の説明

建屋名	精製建屋
火災区域/区画区分	火災区画
火災区域/区画番号	■
火災区域/区画名称	南第5階段室
床面積(m ²)	■

2. 火災区域(区画)の火災シナリオの説明

■は、精製建屋内の火災区画である。
 本区画は、火災源となるものがないおよび安全上重要な施設が設置されていないため、安全機能の喪失のおそれはない。

3. 火災区域(区画)にある火災源

(1) 等価時間

発熱量(kJ)	火災荷重 (kJ/m ²)	等価時間(h) [※]
■	■	0.0

※ 等価時間は、内部火災影響評価ガイドの等価時間記載の値で示す。

(2) 火災区域(区画)にある火災源機器数

火災源	機器数
電動機(3.7kW超)	-
電気盤(440V以上)	-
ケーブルトレイ(ケーブル)	-
油脂類・有機溶媒等	-
その他	-

4. 火災区域(区画)にある防火設備

火災感知の手段	主要な消火設備	消火方法	消火設備のバックアップ
煙感知器	屋内消火栓	手動	粉末消火器

5. 火災区域(区画)に隣接する火災区域(区画)と火災伝播経路

隣接火災区画への火災伝播経路の詳細は、別紙1参照

6. 火災影響を受ける火災防護対象機器等

機器名称[機器番号]	最重要設備 [※]	最重要設備以外の安全上重要な施設 [※]
-	-	-

※ ○:対象 -:非対象

* 火災想定において、工程停止等により安全機能を必要としない状態へと移行が可能なもの。

7. 火災防護対象機器等の関連ケーブル

機器名称[機器番号]	ケーブル種別	安重分類
-	-	-

8. 最重要設備の安重機能への火災影響

安重分類	全焼時の成功パスの有無	回路評価等の考慮	結果	系統分離※
Pu・高レベル廃棄物の閉じ込め機能	-	-	-	-
崩壊熱除去機能(重要度の高いもの)	-	-	-	-
安全圧縮空気系(水素掃気機能)	-	-	-	-
非常用所内電源系統	-	-	-	-

※ a : 3時間以上の耐火能力を有する耐火壁で分離

b : 水平距離6mによる分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置

c : 1時間の耐火能力を有する隔壁等による分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置
再処理施設成功パスの詳細は、別紙2参照

9. 最重要設備以外の火災防護対象機器等への火災影響

機器名称[機器番号]	当該区画の火災評価※	隣接区画の火災評価※
-	-	-

※ ○:火災影響なし ×:火災影響あり

隣接する火災区画と火災伝播経路

(※ 有:伝播する 無:伝播しない)

隣接する 火災区画	火災伝播 経路有無	等価時間 (h)	耐火時間 (h)	火災伝播の 可能性 ※	備考
	無	0.0	3.0	無	
	無	0.0	3.0	無	
	無	0.0	3.0	無	
	無	0.0	3.0	無	
	無	0.0	3.0	無	
	無	0.0	3.0	無	
	無	0.0	3.0	無	
	有	0.0	0.0	無	
	無	0.0	3.0	無	

火災区域(区画)特性表

1. 火災区域(区画)の説明

建屋名	精製建屋
火災区域/区画区分	火災区画
火災区域/区画番号	■
火災区域/区画名称	放管用ブロワ第4室
床面積(m ²)	■

2. 火災区域(区画)の火災シナリオの説明

■は、精製建屋内の火災区画である。
 本区画は、電動機絶縁物火災、潤滑油漏えい火災または、電気盤火災の発生の可能性があるが、安全上重要な施設が設置されていないため、安全機能の喪失のおそれはない。

3. 火災区域(区画)にある火災源

(1) 等価時間

発熱量(kJ)	火災荷重 (kJ/m ²)	等価時間(h) [※]
■	■	0.5

※ 等価時間は、内部火災影響評価ガイドの等価時間記載の値で示す。

(2) 火災区域(区画)にある火災源機器数

火災源	機器数
電動機(3.7kW超)	1
電気盤(440V以上)	1
ケーブルトレイ(ケーブル)	-
油脂類・有機溶媒等	有
その他	-

4. 火災区域(区画)にある防火設備

火災感知の手段	主要な消火設備	消火方法	消火設備のバックアップ
煙感知器	屋内消火栓	手動	粉末消火器

5. 火災区域(区画)に隣接する火災区域(区画)と火災伝播経路

隣接火災区画への火災伝播経路の詳細は、別紙1参照

6. 火災影響を受ける火災防護対象機器等

機器名称[機器番号]	最重要設備 [※]	最重要設備以外の安全上重要な施設 [※]
-	-	-

※ ○:対象 -:非対象

* 火災想定において、工程停止等により安全機能を必要としない状態へと移行が可能なもの。

7. 火災防護対象機器等の関連ケーブル

機器名称[機器番号]	ケーブル種別	安重分類
-	-	-

8. 最重要設備の安重機能への火災影響

安重分類	全焼時の成功パスの有無	回路評価等の考慮	結果	系統分離※
Pu・高レベル廃棄物の閉じ込め機能	-	-	-	-
崩壊熱除去機能(重要度の高いもの)	-	-	-	-
安全圧縮空気系(水素掃気機能)	-	-	-	-
非常用所内電源系統	-	-	-	-

※ a : 3時間以上の耐火能力を有する耐火壁で分離

b : 水平距離6mによる分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置

c : 1時間の耐火能力を有する隔壁等による分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置
再処理施設成功パスの詳細は、別紙2参照

9. 最重要設備以外の火災防護対象機器等への火災影響

機器名称[機器番号]	当該区画の火災評価※	隣接区画の火災評価※
-	-	-

※ ○:火災影響なし ×:火災影響あり

隣接する火災区画と火災伝播経路

(※ 有:伝播する 無:伝播しない)

隣接する 火災区画	火災伝播 経路有無	等価時間 (h)	耐火時間 (h)	火災伝播の 可能性 ※	備考
	無	0.5	3.0	無	
	有	0.5	0.0	有	
	無	0.5	3.0	無	
	有	0.5	0.0	有	
	有	0.5	0.0	有	
	有	0.5	0.0	有	
	有	0.5	0.0	有	

火災区域(区画)特性表

1. 火災区域(区画)の説明

建屋名	精製建屋
火災区域/区画区分	火災区画
火災区域/区画番号	■
火災区域/区画名称	北第1配管室
床面積(m ²)	■

2. 火災区域(区画)の火災シナリオの説明

■は、精製建屋内の火災区画である。
 本区画は、火災源となるものがないおよび安全上重要な施設が設置されていないため、安全機能の喪失のおそれはない。

3. 火災区域(区画)にある火災源

(1) 等価時間

発熱量(kJ)	火災荷重 (kJ/m ²)	等価時間(h) [※]
■	■	0.0

※ 等価時間は、内部火災影響評価ガイドの等価時間記載の値で示す。

(2) 火災区域(区画)にある火災源機器数

火災源	機器数
電動機(3.7kW超)	-
電気盤(440V以上)	-
ケーブルトレイ(ケーブル)	-
油脂類・有機溶媒等	-
その他	-

4. 火災区域(区画)にある防火設備

火災感知の手段	主要な消火設備	消火方法	消火設備のバックアップ
設置除外	屋内消火栓	手動	粉末消火器

5. 火災区域(区画)に隣接する火災区域(区画)と火災伝播経路

隣接火災区画への火災伝播経路の詳細は、別紙1参照

6. 火災影響を受ける火災防護対象機器等

機器名称[機器番号]	最重要設備 [※]	最重要設備以外の安全上重要な施設 [※]
-	-	-

※ ○:対象 -:非対象

* 火災想定において、工程停止等により安全機能を必要としない状態へと移行が可能なもの。

7. 火災防護対象機器等の関連ケーブル

機器名称[機器番号]	ケーブル種別	安重分類
-	-	-

8. 最重要設備の安重機能への火災影響

安重分類	全焼時の成功パスの有無	回路評価等の考慮	結果	系統分離※
Pu・高レベル廃棄物の閉じ込め機能	-	-	-	-
崩壊熱除去機能(重要度の高いもの)	-	-	-	-
安全圧縮空気系(水素掃気機能)	-	-	-	-
非常用所内電源系統	-	-	-	-

※ a : 3時間以上の耐火能力を有する耐火壁で分離

b : 水平距離6mによる分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置

c : 1時間の耐火能力を有する隔壁等による分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置
再処理施設成功パスの詳細は、別紙2参照

9. 最重要設備以外の火災防護対象機器等への火災影響

機器名称[機器番号]	当該区画の火災評価※	隣接区画の火災評価※
-	-	-

※ ○:火災影響なし ×:火災影響あり

隣接する火災区画と火災伝播経路

(※ 有:伝播する 無:伝播しない)

隣接する 火災区画	火災伝播 経路有無	等価時間 (h)	耐火時間 (h)	火災伝播の 可能性 ※	備考
	無	0.0	3.0	無	
	有	0.0	0.0	無	
	無	0.0	3.0	無	
	有	0.0	0.0	無	
	有	0.0	0.0	無	
	無	0.0	3.0	無	

火災区域(区画)特性表

1. 火災区域(区画)の説明

建屋名	精製建屋
火災区域/区画区分	火災区画
火災区域/区画番号	■
火災区域/区画名称	精製建屋-ウラン脱硝建屋,ウラン・プルトニウム
床面積(m ²)	■

2. 火災区域(区画)の火災シナリオの説明

■は、精製建屋内の火災区画である。
 本区画は、火災源となるものがないおよび安全上重要な施設が設置されていないため、安全機能の喪失のおそれはない。

3. 火災区域(区画)にある火災源

(1) 等価時間

発熱量(kJ)	火災荷重 (kJ/m ²)	等価時間(h) [※]
■	■	0.5

※ 等価時間は、内部火災影響評価ガイドの等価時間記載の値で示す。

(2) 火災区域(区画)にある火災源機器数

火災源	機器数
電動機(3.7kW超)	-
電気盤(440V以上)	-
ケーブルトレイ(ケーブル)	-
油脂類・有機溶媒等	-
その他	-

4. 火災区域(区画)にある防火設備

火災感知の手段	主要な消火設備	消火方法	消火設備のバックアップ
煙感知器	屋内消火栓	手動	粉末消火器

5. 火災区域(区画)に隣接する火災区域(区画)と火災伝播経路

隣接火災区画への火災伝播経路の詳細は、別紙1参照

6. 火災影響を受ける火災防護対象機器等

機器名称[機器番号]	最重要設備 [※]	最重要設備以外の安全上重要な施設 [※]
-	-	-

※ ○:対象 -:非対象

* 火災想定において、工程停止等により安全機能を必要としない状態へと移行が可能なもの。

7. 火災防護対象機器等の関連ケーブル

機器名称[機器番号]	ケーブル種別	安重分類
-	-	-

8. 最重要設備の安重機能への火災影響

安重分類	全焼時の成功パスの有無	回路評価等の考慮	結果	系統分離※
Pu・高レベル廃棄物の閉じ込め機能	-	-	-	-
崩壊熱除去機能(重要度の高いもの)	-	-	-	-
安全圧縮空気系(水素掃気機能)	-	-	-	-
非常用所内電源系統	-	-	-	-

※ a : 3時間以上の耐火能力を有する耐火壁で分離

b : 水平距離6mによる分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置

c : 1時間の耐火能力を有する隔壁等による分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置
再処理施設成功パスの詳細は、別紙2参照

9. 最重要設備以外の火災防護対象機器等への火災影響

機器名称[機器番号]	当該区画の火災評価※	隣接区画の火災評価※
-	-	-

※ ○:火災影響なし ×:火災影響あり

隣接する火災区画と火災伝播経路

(※ 有:伝播する 無:伝播しない)

隣接する 火災区画	火災伝播 経路有無	等価時間 (h)	耐火時間 (h)	火災伝播の 可能性 ※	備考
	無	0.5	1.0	無	
	無	0.5	1.0	無	
	無	0.5	1.0	無	
	無	0.5	3.0	無	
	無	0.5	1.0	無	
	無	0.5	3.0	無	
	有	0.5	0.0	有	
	有	0.5	0.0	有	
	無	0.5	1.0	無	

火災区域(区画)特性表

1. 火災区域(区画)の説明

建屋名	精製建屋
火災区域/区画区分	火災区画
火災区域/区画番号	■
火災区域/区画名称	試薬設備第1室前室
床面積(m ²)	■

2. 火災区域(区画)の火災シナリオの説明

■は、精製建屋内の火災区画である。
 本区画は、火災源となるものがないおよび安全上重要な施設が設置されていないため、安全機能の喪失のおそれはない。

3. 火災区域(区画)にある火災源

(1) 等価時間

発熱量(kJ)	火災荷重 (kJ/m ²)	等価時間(h) [※]
■	■	0.0

※ 等価時間は、内部火災影響評価ガイドの等価時間記載の値で示す。

(2) 火災区域(区画)にある火災源機器数

火災源	機器数
電動機(3.7kW超)	-
電気盤(440V以上)	-
ケーブルトレイ(ケーブル)	-
油脂類・有機溶媒等	-
その他	-

4. 火災区域(区画)にある防火設備

火災感知の手段	主要な消火設備	消火方法	消火設備のバックアップ
煙感知器	屋内消火栓	手動	粉末消火器

5. 火災区域(区画)に隣接する火災区域(区画)と火災伝播経路

隣接火災区画への火災伝播経路の詳細は、別紙1参照

6. 火災影響を受ける火災防護対象機器等

機器名称[機器番号]	最重要設備 [※]	最重要設備以外の安全上重要な施設 [※]
-	-	-

※ ○:対象 -:非対象

* 火災想定において、工程停止等により安全機能を必要としない状態へと移行が可能なもの。

7. 火災防護対象機器等の関連ケーブル

機器名称[機器番号]	ケーブル種別	安重分類
-	-	-

8. 最重要設備の安重機能への火災影響

安重分類	全焼時の成功パスの有無	回路評価等の考慮	結果	系統分離※
Pu・高レベル廃棄物の閉じ込め機能	-	-	-	-
崩壊熱除去機能(重要度の高いもの)	-	-	-	-
安全圧縮空気系(水素掃気機能)	-	-	-	-
非常用所内電源系統	-	-	-	-

※ a : 3時間以上の耐火能力を有する耐火壁で分離

b : 水平距離6mによる分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置

c : 1時間の耐火能力を有する隔壁等による分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置
再処理施設成功パスの詳細は、別紙2参照

9. 最重要設備以外の火災防護対象機器等への火災影響

機器名称[機器番号]	当該区画の火災評価※	隣接区画の火災評価※
-	-	-

※ ○:火災影響なし ×:火災影響あり

隣接する火災区画と火災伝播経路

(※ 有:伝播する 無:伝播しない)

隣接する 火災区画	火災伝播 経路有無	等価時間 (h)	耐火時間 (h)	火災伝播の 可能性 ※	備考
	有	0.0	0.0	無	
	無	0.0	3.0	無	
	有	0.0	0.0	無	
	無	0.0	3.0	無	
	無	0.0	3.0	無	

火災区域(区画)特性表

1. 火災区域(区画)の説明

建屋名	精製建屋
火災区域/区画区分	火災区画
火災区域/区画番号	■
火災区域/区画名称	南第10ダクト室
床面積(m ²)	■

2. 火災区域(区画)の火災シナリオの説明

■は、精製建屋内の火災区画である。
 本区画は、火災源となるものがないおよび安全上重要な施設が設置されていないため、安全機能の喪失のおそれはない。

3. 火災区域(区画)にある火災源

(1) 等価時間

発熱量(kJ)	火災荷重 (kJ/m ²)	等価時間(h) [※]
■	■	0.0

※ 等価時間は、内部火災影響評価ガイドの等価時間記載の値で示す。

(2) 火災区域(区画)にある火災源機器数

火災源	機器数
電動機(3.7kW超)	-
電気盤(440V以上)	-
ケーブルトレイ(ケーブル)	-
油脂類・有機溶媒等	-
その他	-

4. 火災区域(区画)にある防火設備

火災感知の手段	主要な消火設備	消火方法	消火設備のバックアップ
煙感知器	屋内消火栓	手動	粉末消火器

5. 火災区域(区画)に隣接する火災区域(区画)と火災伝播経路 隣接火災区画への火災伝播経路の詳細は、別紙1参照

6. 火災影響を受ける火災防護対象機器等

機器名称[機器番号]	最重要設備 [※]	最重要設備以外の安全上重要な施設 [※]
-	-	-

※ ○:対象 -:非対象

* 火災想定において、工程停止等により安全機能を必要としない状態へと移行が可能なもの。

7. 火災防護対象機器等の関連ケーブル

機器名称[機器番号]	ケーブル種別	安重分類
-	-	-

8. 最重要設備の安重機能への火災影響

安重分類	全焼時の成功パスの有無	回路評価等の考慮	結果	系統分離※
Pu・高レベル廃棄物の閉じ込め機能	-	-	-	-
崩壊熱除去機能(重要度の高いもの)	-	-	-	-
安全圧縮空気系(水素掃気機能)	-	-	-	-
非常用所内電源系統	-	-	-	-

※ a : 3時間以上の耐火能力を有する耐火壁で分離

b : 水平距離6mによる分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置

c : 1時間の耐火能力を有する隔壁等による分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置
再処理施設成功パスの詳細は、別紙2参照

9. 最重要設備以外の火災防護対象機器等への火災影響

機器名称[機器番号]	当該区画の火災評価※	隣接区画の火災評価※
-	-	-

※ ○:火災影響なし ×:火災影響あり

隣接する火災区画と火災伝播経路

(※ 有:伝播する 無:伝播しない)

隣接する 火災区画	火災伝播 経路有無	等価時間 (h)	耐火時間 (h)	火災伝播の 可能性 ※	備考
	無	0.0	3.0	無	
	無	0.0	3.0	無	
	無	0.0	1.0	無	
	有	0.0	0.0	無	
	無	0.0	3.0	無	
	有	0.0	0.0	無	
	無	0.0	1.0	無	
	無	0.0	3.0	無	
	無	0.0	1.0	無	
	無	0.0	1.0	無	
	有	0.0	0.0	無	

火災区域(区画)特性表

1. 火災区域(区画)の説明

建屋名	精製建屋
火災区域/区画区分	火災区画
火災区域/区画番号	■
火災区域/区画名称	地上3階東西第1廊下,南北第1廊下,南北第3廊下
床面積(m ²)	■

2. 火災区域(区画)の火災シナリオの説明

■は、精製建屋内の火災区画である。
 本区画は、電動機絶縁物火災または、ケーブルトレイ火災の発生可能性があるが、安全上重要な施設が設置されていないため、安全機能の喪失のおそれはない。

3. 火災区域(区画)にある火災源

(1) 等価時間

発熱量(kJ)	火災荷重 (kJ/m ²)	等価時間(h) [※]
■	■	1.0

※ 等価時間は、内部火災影響評価ガイドの等価時間記載の値で示す。

(2) 火災区域(区画)にある火災源機器数

火災源	機器数
電動機(3.7kW超)	2
電気盤(440V以上)	-
ケーブルトレイ(ケーブル)	有
油脂類・有機溶媒等	-
その他	-

4. 火災区域(区画)にある防火設備

火災感知の手段	主要な消火設備	消火方法	消火設備のバックアップ
煙感知器 熱感知器	屋内消火栓	手動	粉末消火器

5. 火災区域(区画)に隣接する火災区域(区画)と火災伝播経路

隣接火災区画への火災伝播経路の詳細は、別紙1参照

6. 火災影響を受ける火災防護対象機器等

機器名称[機器番号]	最重要設備 [※]	最重要設備以外の安全上重要な施設 [※]
-	-	-

※ ○:対象 -:非対象

* 火災想定において、工程停止等により安全機能を必要としない状態へと移行が可能なもの。

7. 火災防護対象機器等の関連ケーブル

機器名称[機器番号]	ケーブル種別	安重分類
-	-	-

8. 最重要設備の安重機能への火災影響

安重分類	全焼時の成功パスの有無	回路評価等の考慮	結果	系統分離※
Pu・高レベル廃棄物の閉じ込め機能	-	-	-	-
崩壊熱除去機能(重要度の高いもの)	-	-	-	-
安全圧縮空気系(水素掃気機能)	-	-	-	-
非常用所内電源系統	-	-	-	-

※ a : 3時間以上の耐火能力を有する耐火壁で分離

b : 水平距離6mによる分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置

c : 1時間の耐火能力を有する隔壁等による分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置
再処理施設成功パスの詳細は、別紙2参照

9. 最重要設備以外の火災防護対象機器等への火災影響

機器名称[機器番号]	当該区画の火災評価※	隣接区画の火災評価※
-	-	-

※ ○:火災影響なし ×:火災影響あり

隣接する火災区画と火災伝播経路

(※ 有:伝播する 無:伝播しない)

隣接する 火災区画	火災伝播 経路有無	等価時間 (h)	耐火時間 (h)	火災伝播の 可能性 ※	備考
	無	1.0	1.0	無	
	無	1.0	1.0	無	
	無	1.0	1.0	無	
	無	1.0	1.0	無	
	有	1.0	0.0	有	
	無	1.0	1.0	無	
	無	1.0	1.0	無	
	有	1.0	0.0	有	
	有	1.0	0.0	有	
	有	1.0	0.0	有	
	無	1.0	1.0	無	
	無	1.0	1.0	無	
	有	1.0	0.0	有	
	有	1.0	0.0	有	
	有	1.0	0.0	有	
	有	1.0	0.0	有	
	有	1.0	0.0	有	
	有	1.0	0.0	有	
	有	1.0	0.0	有	
	無	1.0	3.0	無	
	無	1.0	3.0	無	

火災区域(区画)特性表

1. 火災区域(区画)の説明

建屋名	精製建屋
火災区域/区画区分	火災区画
火災区域/区画番号	■
火災区域/区画名称	計装ラック第5室
床面積(m ²)	■

2. 火災区域(区画)の火災シナリオの説明

■は、精製建屋内の火災区画である。
 本区画は、ケーブルトレイ火災の発生可能性があるが、安全上重要な施設が設置されていないため、安全機能の喪失のおそれはない。

3. 火災区域(区画)にある火災源

(1) 等価時間

発熱量(kJ)	火災荷重(kJ/m ²)	等価時間(h) [※]
■	■	0.5

※ 等価時間は、内部火災影響評価ガイドの等価時間記載の値で示す。

(2) 火災区域(区画)にある火災源機器数

火災源	機器数
電動機(3.7kW超)	-
電気盤(440V以上)	-
ケーブルトレイ(ケーブル)	有
油脂類・有機溶媒等	-
その他	-

4. 火災区域(区画)にある防火設備

火災感知の手段	主要な消火設備	消火方法	消火設備のバックアップ
煙感知器 熱感知器	屋内消火栓	手動	粉末消火器

5. 火災区域(区画)に隣接する火災区域(区画)と火災伝播経路

隣接火災区画への火災伝播経路の詳細は、別紙1参照

6. 火災影響を受ける火災防護対象機器等

機器名称[機器番号]	最重要設備 [※]	最重要設備以外の安全上重要な施設 [※]
-	-	-

※ ○:対象 -:非対象

* 火災想定において、工程停止等により安全機能を必要としない状態へと移行が可能なもの。

7. 火災防護対象機器等の関連ケーブル

機器名称[機器番号]	ケーブル種別	安重分類
-	-	-

8. 最重要設備の安重機能への火災影響

安重分類	全焼時の成功パスの有無	回路評価等の考慮	結果	系統分離※
Pu・高レベル廃棄物の閉じ込め機能	-	-	-	-
崩壊熱除去機能(重要度の高いもの)	-	-	-	-
安全圧縮空気系(水素掃気機能)	-	-	-	-
非常用所内電源系統	-	-	-	-

※ a : 3時間以上の耐火能力を有する耐火壁で分離

b : 水平距離6mによる分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置

c : 1時間の耐火能力を有する隔壁等による分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置
再処理施設成功パスの詳細は、別紙2参照

9. 最重要設備以外の火災防護対象機器等への火災影響

機器名称[機器番号]	当該区画の火災評価※	隣接区画の火災評価※
-	-	-

※ ○:火災影響なし ×:火災影響あり

隣接する火災区画と火災伝播経路

(※ 有:伝播する 無:伝播しない)

隣接する 火災区画	火災伝播 経路有無	等価時間 (h)	耐火時間 (h)	火災伝播の 可能性 ※	備考
	有	0.5	0.0	有	
	有	0.5	0.0	有	
	有	0.5	0.0	有	
	無	0.5	3.0	無	
	有	0.5	0.0	有	
	有	0.5	0.0	有	
	有	0.5	0.0	有	
	無	0.5	3.0	無	
	無	0.5	3.0	無	
	無	0.5	3.0	無	
	有	0.5	0.0	有	
	無	0.5	3.0	無	

火災区域(区画)特性表

1. 火災区域(区画)の説明

建屋名	精製建屋
火災区域/区画区分	火災区画
火災区域/区画番号	■
火災区域/区画名称	圧縮空気分配第4室
床面積(m ²)	■

2. 火災区域(区画)の火災シナリオの説明

■は、精製建屋内の火災区画である。
 本区画は、火災源となるものがないおよび安全上重要な施設が設置されていないため、安全機能の喪失のおそれはない。

3. 火災区域(区画)にある火災源

(1) 等価時間

発熱量(kJ)	火災荷重 (kJ/m ²)	等価時間(h) [※]
■	■	0.0

※ 等価時間は、内部火災影響評価ガイドの等価時間記載の値で示す。

(2) 火災区域(区画)にある火災源機器数

火災源	機器数
電動機(3.7kW超)	-
電気盤(440V以上)	-
ケーブルトレイ(ケーブル)	-
油脂類・有機溶媒等	-
その他	-

4. 火災区域(区画)にある防火設備

火災感知の手段	主要な消火設備	消火方法	消火設備のバックアップ
煙感知器	屋内消火栓	手動	粉末消火器

5. 火災区域(区画)に隣接する火災区域(区画)と火災伝播経路

隣接火災区画への火災伝播経路の詳細は、別紙1参照

6. 火災影響を受ける火災防護対象機器等

機器名称[機器番号]	最重要設備 [※]	最重要設備以外の安全上重要な施設 [※]
-	-	-

※ ○:対象 -:非対象

* 火災想定において、工程停止等により安全機能を必要としない状態へと移行が可能なもの。

7. 火災防護対象機器等の関連ケーブル

機器名称[機器番号]	ケーブル種別	安重分類
-	-	-

8. 最重要設備の安重機能への火災影響

安重分類	全焼時の成功パスの有無	回路評価等の考慮	結果	系統分離※
Pu・高レベル廃棄物の閉じ込め機能	-	-	-	-
崩壊熱除去機能(重要度の高いもの)	-	-	-	-
安全圧縮空気系(水素掃気機能)	-	-	-	-
非常用所内電源系統	-	-	-	-

※ a : 3時間以上の耐火能力を有する耐火壁で分離

b : 水平距離6mによる分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置

c : 1時間の耐火能力を有する隔壁等による分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置
再処理施設成功パスの詳細は、別紙2参照

9. 最重要設備以外の火災防護対象機器等への火災影響

機器名称[機器番号]	当該区画の火災評価※	隣接区画の火災評価※
-	-	-

※ ○:火災影響なし ×:火災影響あり

隣接する火災区画と火災伝播経路

(※ 有:伝播する 無:伝播しない)

隣接する 火災区画	火災伝播 経路有無	等価時間 (h)	耐火時間 (h)	火災伝播の 可能性 ※	備考
	有	0.0	0.0	無	
	有	0.0	0.0	無	
	有	0.0	0.0	無	
	無	0.0	3.0	無	
	無	0.0	3.0	無	
	有	0.0	0.0	無	
	有	0.0	0.0	無	

火災区域(区画)特性表

1. 火災区域(区画)の説明

建屋名	精製建屋
火災区域/区画区分	火災区域
火災区域/区画番号	AC-16/
火災区域/区画名称	計装ラック第6室
床面積(m ²)	

2. 火災区域(区画)の火災シナリオの説明

AC-16は、精製建屋内の火災区域である。
 本区画の火災源は、ケーブルトレイである。
 したがって、本区画の想定火災としては、ケーブルトレイ火災により、多重化された安全上重要な施設のA/B系の設備(6.火災影響を受ける火災防護対象機器等 参照)が火災影響を受け、安全機能が喪失するおそれがあるが、火災により計測制御系が影響を受けた場合、保安規定第32条に基づき、使用済燃料の再処理運転の停止状態に移行、または、運転を停止する措置を講じるため、安定停止状態が維持できる。

3. 火災区域(区画)にある火災源

(1) 等価時間

発熱量(kJ)	火災荷重(kJ/m ²)	等価時間(h) [※]
		0.5

※ 等価時間は、内部火災影響評価ガイドの等価時間記載の値で示す。

(2) 火災区域(区画)にある火災源機器数

火災源	機器数
電動機(3.7kW超)	-
電気盤(440V以上)	-
ケーブルトレイ(ケーブル)	有
油脂類・有機溶媒等	-
その他	-

4. 火災区域(区画)にある防火設備

火災感知の手段	主要な消火設備	消火方法	消火設備のバックアップ
煙感知器 熱感知器	ハロゲン化物消火 設備(全域)	自動	粉末消火器

5. 火災区域(区画)に隣接する火災区域(区画)と火災伝播経路

隣接火災区画への火災伝播経路の詳細は、別紙1参照

6. 火災影響を受ける火災防護対象機器等

機器名称[機器番号]	最重要設備 [※]	最重要設備以外の安全上重要な施設 [※]
アルファモニタE流量計測ポット 流量A	-	○*
アルファモニタI流量計測ポット流 量B	-	○*

※ ○:対象 -:非対象

* 火災想定において、工程停止等により安全機能を必要としない状態へと移行が可能なもの。

7. 火災防護対象機器等の関連ケーブル

機器名称[機器番号]	ケーブル種別	安重分類
-	-	-

8. 最重要設備の安重機能への火災影響

安重分類	全焼時の成功パスの有無	回路評価等の考慮	結果	系統分離※
Pu・高レベル廃棄物の閉じ込め機能	-	-	-	-
崩壊熱除去機能(重要度の高いもの)	-	-	-	-
安全圧縮空気系(水素掃気機能)	-	-	-	-
非常用所内電源系統	-	-	-	-

※ a : 3時間以上の耐火能力を有する耐火壁で分離

b : 水平距離6mによる分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置

c : 1時間の耐火能力を有する隔壁等による分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置
再処理施設成功パスの詳細は、別紙2参照

9. 最重要設備以外の火災防護対象機器等への火災影響

機器名称[機器番号]	当該区画の火災評価※	隣接区画の火災評価※
-	-	-

※ ○:火災影響なし ×:火災影響あり

隣接する火災区画と火災伝播経路

(※ 有:伝播する 無:伝播しない)

隣接する 火災区画	火災伝播 経路有無	等価時間 (h)	耐火時間 (h)	火災伝播の 可能性 ※	備考
	無	0.5	3.0	無	
	無	0.5	3.0	無	
	無	0.5	3.0	無	
	無	0.5	3.0	無	
	無	0.5	3.0	無	
	無	0.5	3.0	無	
	無	0.5	3.0	無	
	無	0.5	3.0	無	
	無	0.5	3.0	無	

火災区域(区画)特性表

1. 火災区域(区画)の説明

建屋名	精製建屋
火災区域/区画区分	火災区画
火災区域/区画番号	■
火災区域/区画名称	蒸気分配第7室
床面積(m ²)	■

2. 火災区域(区画)の火災シナリオの説明

■は、精製建屋内の火災区画である。
 本区画は、ケーブルトレイ火災の発生可能性があるが、安全上重要な施設が設置されていないため、安全機能の喪失のおそれはない。

3. 火災区域(区画)にある火災源

(1) 等価時間

発熱量(kJ)	火災荷重 (kJ/m ²)	等価時間(h) [※]
■	■	0.5

※ 等価時間は、内部火災影響評価ガイドの等価時間記載の値で示す。

(2) 火災区域(区画)にある火災源機器数

火災源	機器数
電動機(3.7kW超)	-
電気盤(440V以上)	-
ケーブルトレイ(ケーブル)	有
油脂類・有機溶媒等	-
その他	-

4. 火災区域(区画)にある防火設備

火災感知の手段	主要な消火設備	消火方法	消火設備のバックアップ
煙感知器	屋内消火栓	手動	粉末消火器

5. 火災区域(区画)に隣接する火災区域(区画)と火災伝播経路

隣接火災区画への火災伝播経路の詳細は、別紙1参照

6. 火災影響を受ける火災防護対象機器等

機器名称[機器番号]	最重要設備 [※]	最重要設備以外の安全上重要な施設 [※]
-	-	-

※ ○:対象 -:非対象

* 火災想定において、工程停止等により安全機能を必要としない状態へと移行が可能なもの。

7. 火災防護対象機器等の関連ケーブル

機器名称[機器番号]	ケーブル種別	安重分類
-	-	-

8. 最重要設備の安重機能への火災影響

安重分類	全焼時の成功パスの有無	回路評価等の考慮	結果	系統分離※
Pu・高レベル廃棄物の閉じ込め機能	-	-	-	-
崩壊熱除去機能(重要度の高いもの)	-	-	-	-
安全圧縮空気系(水素掃気機能)	-	-	-	-
非常用所内電源系統	-	-	-	-

※ a : 3時間以上の耐火能力を有する耐火壁で分離

b : 水平距離6mによる分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置

c : 1時間の耐火能力を有する隔壁等による分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置
再処理施設成功パスの詳細は、別紙2参照

9. 最重要設備以外の火災防護対象機器等への火災影響

機器名称[機器番号]	当該区画の火災評価※	隣接区画の火災評価※
-	-	-

※ ○:火災影響なし ×:火災影響あり

隣接する火災区画と火災伝播経路

(※ 有:伝播する 無:伝播しない)

隣接する火災区画	火災伝播経路有無	等価時間(h)	耐火時間(h)	火災伝播の可能性※	備考
	無	0.5	3.0	無	
	無	0.5	3.0	無	
	有	0.5	0.0	有	
	有	0.5	0.0	有	
	無	0.5	3.0	無	
	無	0.5	3.0	無	

火災区域(区画)特性表

1. 火災区域(区画)の説明

建屋名	精製建屋
火災区域/区画区分	火災区画
火災区域/区画番号	■
火災区域/区画名称	蒸気分配第8室
床面積(m ²)	■

2. 火災区域(区画)の火災シナリオの説明

■は、精製建屋内の火災区画である。
 本区画は、ケーブルトレイ火災の発生可能性があるが、安全上重要な施設が設置されていないため、安全機能の喪失のおそれはない。

3. 火災区域(区画)にある火災源

(1) 等価時間

発熱量(kJ)	火災荷重(kJ/m ²)	等価時間(h) [※]
■	■	0.5

※ 等価時間は、内部火災影響評価ガイドの等価時間記載の値で示す。

(2) 火災区域(区画)にある火災源機器数

火災源	機器数
電動機(3.7kW超)	-
電気盤(440V以上)	-
ケーブルトレイ(ケーブル)	有
油脂類・有機溶媒等	-
その他	-

4. 火災区域(区画)にある防火設備

火災感知の手段	主要な消火設備	消火方法	消火設備のバックアップ
煙感知器	屋内消火栓	手動	粉末消火器

5. 火災区域(区画)に隣接する火災区域(区画)と火災伝播経路

隣接火災区画への火災伝播経路の詳細は、別紙1参照

6. 火災影響を受ける火災防護対象機器等

機器名称[機器番号]	最重要設備 [※]	最重要設備以外の安全上重要な施設 [※]
-	-	-

※ ○:対象 -:非対象

* 火災想定において、工程停止等により安全機能を必要としない状態へと移行が可能なもの。

7. 火災防護対象機器等の関連ケーブル

機器名称[機器番号]	ケーブル種別	安重分類
-	-	-

8. 最重要設備の安重機能への火災影響

安重分類	全焼時の成功パスの有無	回路評価等の考慮	結果	系統分離※
Pu・高レベル廃棄物の閉じ込め機能	-	-	-	-
崩壊熱除去機能(重要度の高いもの)	-	-	-	-
安全圧縮空気系(水素掃気機能)	-	-	-	-
非常用所内電源系統	-	-	-	-

※ a : 3時間以上の耐火能力を有する耐火壁で分離

b : 水平距離6mによる分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置

c : 1時間の耐火能力を有する隔壁等による分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置
再処理施設成功パスの詳細は、別紙2参照

9. 最重要設備以外の火災防護対象機器等への火災影響

機器名称[機器番号]	当該区画の火災評価※	隣接区画の火災評価※
-	-	-

※ ○:火災影響なし ×:火災影響あり

隣接する火災区画と火災伝播経路

(※ 有:伝播する 無:伝播しない)

隣接する 火災区画	火災伝播 経路有無	等価時間 (h)	耐火時間 (h)	火災伝播の 可能性 ※	備考
	無	0.5	3.0	無	
	有	0.5	0.0	有	
	有	0.5	0.0	有	
	有	0.5	0.0	有	
	有	0.5	0.0	有	
	有	0.5	0.0	有	
	無	0.5	3.0	無	
	無	0.5	3.0	無	

火災区域(区画)特性表

1. 火災区域(区画)の説明

建屋名	精製建屋
火災区域/区画区分	火災区画
火災区域/区画番号	■
火災区域/区画名称	地上3階東西第2廊下,南北第2廊下
床面積(m ²)	■

2. 火災区域(区画)の火災シナリオの説明

■は、精製建屋内の火災区画である。
 本区画は、ケーブルトレイ火災の発生可能性があるが、安全上重要な施設が設置されていないため、安全機能の喪失のおそれはない。

3. 火災区域(区画)にある火災源

(1) 等価時間

発熱量(kJ)	火災荷重 (kJ/m ²)	等価時間(h) [※]
■	■	0.5

※ 等価時間は、内部火災影響評価ガイドの等価時間記載の値で示す。

(2) 火災区域(区画)にある火災源機器数

火災源	機器数
電動機(3.7kW超)	-
電気盤(440V以上)	-
ケーブルトレイ(ケーブル)	有
油脂類・有機溶媒等	-
その他	-

4. 火災区域(区画)にある防火設備

火災感知の手段	主要な消火設備	消火方法	消火設備のバックアップ
煙感知器	屋内消火栓	手動	粉末消火器

5. 火災区域(区画)に隣接する火災区域(区画)と火災伝播経路

隣接火災区画への火災伝播経路の詳細は、別紙1参照

6. 火災影響を受ける火災防護対象機器等

機器名称[機器番号]	最重要設備 [※]	最重要設備以外の安全上重要な施設 [※]
-	-	-

※ ○:対象 -:非対象

* 火災想定において、工程停止等により安全機能を必要としない状態へと移行が可能なもの。

7. 火災防護対象機器等の関連ケーブル

機器名称[機器番号]	ケーブル種別	安重分類
-	-	-

8. 最重要設備の安重機能への火災影響

安重分類	全焼時の成功パスの有無	回路評価等の考慮	結果	系統分離※
Pu・高レベル廃棄物の閉じ込め機能	-	-	-	-
崩壊熱除去機能(重要度の高いもの)	-	-	-	-
安全圧縮空気系(水素掃気機能)	-	-	-	-
非常用所内電源系統	-	-	-	-

※ a : 3時間以上の耐火能力を有する耐火壁で分離

b : 水平距離6mによる分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置

c : 1時間の耐火能力を有する隔壁等による分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置
再処理施設成功パスの詳細は、別紙2参照

9. 最重要設備以外の火災防護対象機器等への火災影響

機器名称[機器番号]	当該区画の火災評価※	隣接区画の火災評価※
-	-	-

※ ○:火災影響なし ×:火災影響あり

火災区域(区画)特性表

1. 火災区域(区画)の説明

建屋名	精製建屋
火災区域/区画区分	火災区画
火災区域/区画番号	■
火災区域/区画名称	試薬分配第8室
床面積(m ²)	■

2. 火災区域(区画)の火災シナリオの説明

■は、精製建屋内の火災区画である。
 本区画は、火災源となるものがないおよび安全上重要な施設が設置されていないため、安全機能の喪失のおそれはない。

3. 火災区域(区画)にある火災源

(1) 等価時間

発熱量(kJ)	火災荷重 (kJ/m ²)	等価時間(h) [※]
■	■	0.5

※ 等価時間は、内部火災影響評価ガイドの等価時間記載の値で示す。

(2) 火災区域(区画)にある火災源機器数

火災源	機器数
電動機(3.7kW超)	-
電気盤(440V以上)	-
ケーブルトレイ(ケーブル)	-
油脂類・有機溶媒等	-
その他	-

4. 火災区域(区画)にある防火設備

火災感知の手段	主要な消火設備	消火方法	消火設備のバックアップ
煙感知器	水噴霧消火設備	手動	強化液消火器

5. 火災区域(区画)に隣接する火災区域(区画)と火災伝播経路

隣接火災区画への火災伝播経路の詳細は、別紙1参照

6. 火災影響を受ける火災防護対象機器等

機器名称[機器番号]	最重要設備 [※]	最重要設備以外の安全上重要な施設 [※]
-	-	-

※ ○:対象 -:非対象

* 火災想定において、工程停止等により安全機能を必要としない状態へと移行が可能なもの。

7. 火災防護対象機器等の関連ケーブル

機器名称[機器番号]	ケーブル種別	安重分類
-	-	-

8. 最重要設備の安重機能への火災影響

安重分類	全焼時の 成功パスの 有無	回路評価 等の考慮	結果	系統分離※
Pu・高レベル廃棄物の閉じ込め機能	-	-	-	-
崩壊熱除去機能(重要度の高いもの)	-	-	-	-
安全圧縮空気系(水素掃気機能)	-	-	-	-
非常用所内電源系統	-	-	-	-

※ a : 3時間以上の耐火能力を有する耐火壁で分離

b : 水平距離6mによる分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置

c : 1時間の耐火能力を有する隔壁等による分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置
再処理施設成功パスの詳細は、別紙2参照

9. 最重要設備以外の火災防護対象機器等への火災影響

機器名称[機器番号]	当該区画の火災評価※	隣接区画の火災評価※
-	-	-

※ ○:火災影響なし ×:火災影響あり

隣接する火災区画と火災伝播経路

(※ 有:伝播する 無:伝播しない)

隣接する 火災区画	火災伝播 経路有無	等価時間 (h)	耐火時間 (h)	火災伝播の 可能性 ※	備考
	無	0.5	3.0	無	
	無	0.5	3.0	無	
	無	0.5	3.0	無	
	無	0.5	3.0	無	
	無	0.5	3.0	無	
	無	0.5	3.0	無	
	無	0.5	3.0	無	
	無	0.5	3.0	無	
	無	0.5	3.0	無	
	無	0.5	3.0	無	

火災区域(区画)特性表

1. 火災区域(区画)の説明

建屋名	精製建屋
火災区域/区画区分	火災区画
火災区域/区画番号	■
火災区域/区画名称	試薬設備第4室
床面積(m ²)	■

2. 火災区域(区画)の火災シナリオの説明

■は、精製建屋内の火災区画である。
 本区画は、火災源となるものがないおよび安全上重要な施設が設置されていないため、安全機能の喪失のおそれはない。

3. 火災区域(区画)にある火災源

(1) 等価時間

発熱量(kJ)	火災荷重 (kJ/m ²)	等価時間(h) [※]
■	■	0.5

※ 等価時間は、内部火災影響評価ガイドの等価時間記載の値で示す。

(2) 火災区域(区画)にある火災源機器数

火災源	機器数
電動機(3.7kW超)	-
電気盤(440V以上)	-
ケーブルトレイ(ケーブル)	-
油脂類・有機溶媒等	-
その他	-

4. 火災区域(区画)にある防火設備

火災感知の手段	主要な消火設備	消火方法	消火設備のバックアップ
煙感知器	二酸化炭素消火設備	手動	粉末消火器

5. 火災区域(区画)に隣接する火災区域(区画)と火災伝播経路

隣接火災区画への火災伝播経路の詳細は、別紙1参照

6. 火災影響を受ける火災防護対象機器等

機器名称[機器番号]	最重要設備 [※]	最重要設備以外の安全上重要な施設 [※]
-	-	-

※ ○:対象 -:非対象

* 火災想定において、工程停止等により安全機能を必要としない状態へと移行が可能なもの。

7. 火災防護対象機器等の関連ケーブル

機器名称[機器番号]	ケーブル種別	安重分類
-	-	-

8. 最重要設備の安重機能への火災影響

安重分類	全焼時の成功パスの有無	回路評価等の考慮	結果	系統分離※
Pu・高レベル廃棄物の閉じ込め機能	-	-	-	-
崩壊熱除去機能(重要度の高いもの)	-	-	-	-
安全圧縮空気系(水素掃気機能)	-	-	-	-
非常用所内電源系統	-	-	-	-

※ a : 3時間以上の耐火能力を有する耐火壁で分離

b : 水平距離6mによる分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置

c : 1時間の耐火能力を有する隔壁等による分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置
再処理施設成功パスの詳細は、別紙2参照

9. 最重要設備以外の火災防護対象機器等への火災影響

機器名称[機器番号]	当該区画の火災評価※	隣接区画の火災評価※
-	-	-

※ ○:火災影響なし ×:火災影響あり

隣接する火災区画と火災伝播経路

(※ 有:伝播する 無:伝播しない)

隣接する 火災区画	火災伝播 経路有無	等価時間 (h)	耐火時間 (h)	火災伝播の 可能性 ※	備考
	無	0.5	3.0	無	
	無	0.5	3.0	無	
	有	0.5	0.0	有	
	無	0.5	3.0	無	
	無	0.5	3.0	無	
	無	0.5	3.0	無	
	無	0.5	3.0	無	
	有	0.5	0.0	有	

火災区域(区画)特性表

1. 火災区域(区画)の説明

建屋名	精製建屋
火災区域/区画区分	火災区画
火災区域/区画番号	■
火災区域/区画名称	第2回収酸0.02N調整槽室
床面積(m ²)	■

2. 火災区域(区画)の火災シナリオの説明

■は、精製建屋内の火災区画である。
 本区画は、火災源となるものがないおよび安全上重要な施設が設置されていないため、安全機能の喪失のおそれはない。

3. 火災区域(区画)にある火災源

(1) 等価時間

発熱量(kJ)	火災荷重(kJ/m ²)	等価時間(h) [※]
■	■	0.5

※ 等価時間は、内部火災影響評価ガイドの等価時間記載の値で示す。

(2) 火災区域(区画)にある火災源機器数

火災源	機器数
電動機(3.7kW超)	-
電気盤(440V以上)	-
ケーブルトレイ(ケーブル)	-
油脂類・有機溶媒等	-
その他	-

4. 火災区域(区画)にある防火設備

火災感知の手段	主要な消火設備	消火方法	消火設備のバックアップ
煙感知器	屋内消火栓	手動	粉末消火器

5. 火災区域(区画)に隣接する火災区域(区画)と火災伝播経路

隣接火災区画への火災伝播経路の詳細は、別紙1参照

6. 火災影響を受ける火災防護対象機器等

機器名称[機器番号]	最重要設備 [※]	最重要設備以外の安全上重要な施設 [※]
-	-	-

※ ○:対象 -:非対象

* 火災想定において、工程停止等により安全機能を必要としない状態へと移行が可能なもの。

7. 火災防護対象機器等の関連ケーブル

機器名称[機器番号]	ケーブル種別	安重分類
-	-	-

8. 最重要設備の安重機能への火災影響

安重分類	全焼時の成功パスの有無	回路評価等の考慮	結果	系統分離※
Pu・高レベル廃棄物の閉じ込め機能	-	-	-	-
崩壊熱除去機能(重要度の高いもの)	-	-	-	-
安全圧縮空気系(水素掃気機能)	-	-	-	-
非常用所内電源系統	-	-	-	-

※ a : 3時間以上の耐火能力を有する耐火壁で分離

b : 水平距離6mによる分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置

c : 1時間の耐火能力を有する隔壁等による分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置
再処理施設成功パスの詳細は、別紙2参照

9. 最重要設備以外の火災防護対象機器等への火災影響

機器名称[機器番号]	当該区画の火災評価※	隣接区画の火災評価※
-	-	-

※ ○:火災影響なし ×:火災影響あり

隣接する火災区画と火災伝播経路

(※ 有:伝播する 無:伝播しない)

隣接する 火災区画	火災伝播 経路有無	等価時間 (h)	耐火時間 (h)	火災伝播の 可能性 ※	備考
	無	0.5	3.0	無	
	無	0.5	3.0	無	
	無	0.5	3.0	無	
	無	0.5	3.0	無	
	無	0.5	3.0	無	
	無	0.5	3.0	無	
	有	0.5	0.0	有	

火災区域(区画)特性表

1. 火災区域(区画)の説明

建屋名	精製建屋
火災区域/区画区分	火災区画
火災区域/区画番号	■
火災区域/区画名称	試薬設備第5室
床面積(m ²)	■

2. 火災区域(区画)の火災シナリオの説明

■は、精製建屋内の火災区画である。
 本区画は、電動機絶縁物火災の発生可能性があるが、安全上重要な施設が設置されていないため、安全機能の喪失のおそれはない。

3. 火災区域(区画)にある火災源

(1) 等価時間

発熱量(kJ)	火災荷重 (kJ/m ²)	等価時間(h) [※]
■	■	0.5

※ 等価時間は、内部火災影響評価ガイドの等価時間記載の値で示す。

(2) 火災区域(区画)にある火災源機器数

火災源	機器数
電動機(3.7kW超)	2
電気盤(440V以上)	-
ケーブルトレイ(ケーブル)	-
油脂類・有機溶媒等	-
その他	-

4. 火災区域(区画)にある防火設備

火災感知の手段	主要な消火設備	消火方法	消火設備のバックアップ
煙感知器	屋内消火栓	手動	粉末消火器

5. 火災区域(区画)に隣接する火災区域(区画)と火災伝播経路

隣接火災区画への火災伝播経路の詳細は、別紙1参照

6. 火災影響を受ける火災防護対象機器等

機器名称[機器番号]	最重要設備 [※]	最重要設備以外の安全上重要な施設 [※]
-	-	-

※ ○:対象 -:非対象

* 火災想定において、工程停止等により安全機能を必要としない状態へと移行が可能なもの。

7. 火災防護対象機器等の関連ケーブル

機器名称[機器番号]	ケーブル種別	安重分類
-	-	-

8. 最重要設備の安重機能への火災影響

安重分類	全焼時の成功パスの有無	回路評価等の考慮	結果	系統分離※
Pu・高レベル廃棄物の閉じ込め機能	-	-	-	-
崩壊熱除去機能(重要度の高いもの)	-	-	-	-
安全圧縮空気系(水素掃気機能)	-	-	-	-
非常用所内電源系統	-	-	-	-

※ a : 3時間以上の耐火能力を有する耐火壁で分離

b : 水平距離6mによる分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置

c : 1時間の耐火能力を有する隔壁等による分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置
再処理施設成功パスの詳細は、別紙2参照

9. 最重要設備以外の火災防護対象機器等への火災影響

機器名称[機器番号]	当該区画の火災評価※	隣接区画の火災評価※
-	-	-

※ ○:火災影響なし ×:火災影響あり

隣接する火災区画と火災伝播経路

(※ 有:伝播する 無:伝播しない)

隣接する 火災区画	火災伝播 経路有無	等価時間 (h)	耐火時間 (h)	火災伝播の 可能性 ※	備考
	無	0.5	3.0	無	
	無	0.5	3.0	無	
	無	0.5	3.0	無	
	無	0.5	3.0	無	
	無	0.5	3.0	無	
	有	0.5	0.0	有	
	無	0.5	3.0	無	
	無	0.5	3.0	無	
	無	0.5	3.0	無	
	有	0.5	0.0	有	

火災区域(区画)特性表

1. 火災区域(区画)の説明

建屋名	精製建屋
火災区域/区画区分	火災区画
火災区域/区画番号	■
火災区域/区画名称	計装ラック第7室
床面積(m ²)	■

2. 火災区域(区画)の火災シナリオの説明

■は、精製建屋内の火災区画である。
 本区画は、火災源となるものがないおよび安全上重要な施設が設置されていないため、安全機能の喪失のおそれはない。

3. 火災区域(区画)にある火災源

(1) 等価時間

発熱量(kJ)	火災荷重(kJ/m ²)	等価時間(h) [※]
■	■	0.5

※ 等価時間は、内部火災影響評価ガイドの等価時間記載の値で示す。

(2) 火災区域(区画)にある火災源機器数

火災源	機器数
電動機(3.7kW超)	-
電気盤(440V以上)	-
ケーブルトレイ(ケーブル)	-
油脂類・有機溶媒等	-
その他	-

4. 火災区域(区画)にある防火設備

火災感知の手段	主要な消火設備	消火方法	消火設備のバックアップ
煙感知器	屋内消火栓	手動	粉末消火器

5. 火災区域(区画)に隣接する火災区域(区画)と火災伝播経路

隣接火災区画への火災伝播経路の詳細は、別紙1参照

6. 火災影響を受ける火災防護対象機器等

機器名称[機器番号]	最重要設備 [※]	最重要設備以外の安全上重要な施設 [※]
-	-	-

※ ○:対象 -:非対象

* 火災想定において、工程停止等により安全機能を必要としない状態へと移行が可能なもの。

7. 火災防護対象機器等の関連ケーブル

機器名称[機器番号]	ケーブル種別	安重分類
-	-	-

8. 最重要設備の安重機能への火災影響

安重分類	全焼時の成功パスの有無	回路評価等の考慮	結果	系統分離※
Pu・高レベル廃棄物の閉じ込め機能	-	-	-	-
崩壊熱除去機能(重要度の高いもの)	-	-	-	-
安全圧縮空気系(水素掃気機能)	-	-	-	-
非常用所内電源系統	-	-	-	-

※ a : 3時間以上の耐火能力を有する耐火壁で分離

b : 水平距離6mによる分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置

c : 1時間の耐火能力を有する隔壁等による分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置
再処理施設成功パスの詳細は、別紙2参照

9. 最重要設備以外の火災防護対象機器等への火災影響

機器名称[機器番号]	当該区画の火災評価※	隣接区画の火災評価※
-	-	-

※ ○:火災影響なし ×:火災影響あり

隣接する火災区画と火災伝播経路

(※ 有:伝播する 無:伝播しない)

隣接する 火災区画	火災伝播 経路有無	等価時間 (h)	耐火時間 (h)	火災伝播の 可能性 ※	備考
	無	0.5	3.0	無	
	無	0.5	3.0	無	
	無	0.5	3.0	無	
	無	0.5	3.0	無	
	無	0.5	3.0	無	
	無	0.5	3.0	無	
	無	0.5	3.0	無	
	無	0.5	3.0	無	
	無	0.5	3.0	無	

火災区域(区画)特性表

1. 火災区域(区画)の説明

建屋名	精製建屋
火災区域/区画区分	火災区画
火災区域/区画番号	■
火災区域/区画名称	試薬設備第6室
床面積(m ²)	■

2. 火災区域(区画)の火災シナリオの説明

■は、精製建屋内の火災区画である。
 本区画は、火災源となるものがないおよび安全上重要な施設が設置されていないため、安全機能の喪失のおそれはない。

3. 火災区域(区画)にある火災源

(1) 等価時間

発熱量(kJ)	火災荷重 (kJ/m ²)	等価時間(h) [※]
■	■	0.5

※ 等価時間は、内部火災影響評価ガイドの等価時間記載の値で示す。

(2) 火災区域(区画)にある火災源機器数

火災源	機器数
電動機(3.7kW超)	-
電気盤(440V以上)	-
ケーブルトレイ(ケーブル)	-
油脂類・有機溶媒等	-
その他	-

4. 火災区域(区画)にある防火設備

火災感知の手段	主要な消火設備	消火方法	消火設備のバックアップ
煙感知器	水噴霧消火設備	手動	強化液消火器

5. 火災区域(区画)に隣接する火災区域(区画)と火災伝播経路

隣接火災区画への火災伝播経路の詳細は、別紙1参照

6. 火災影響を受ける火災防護対象機器等

機器名称[機器番号]	最重要設備 [※]	最重要設備以外の安全上重要な施設 [※]
-	-	-

※ ○:対象 -:非対象

* 火災想定において、工程停止等により安全機能を必要としない状態へと移行が可能なもの。

7. 火災防護対象機器等の関連ケーブル

機器名称[機器番号]	ケーブル種別	安重分類
-	-	-

8. 最重要設備の安重機能への火災影響

安重分類	全焼時の成功パスの有無	回路評価等の考慮	結果	系統分離※
Pu・高レベル廃棄物の閉じ込め機能	-	-	-	-
崩壊熱除去機能(重要度の高いもの)	-	-	-	-
安全圧縮空気系(水素掃気機能)	-	-	-	-
非常用所内電源系統	-	-	-	-

※ a : 3時間以上の耐火能力を有する耐火壁で分離

b : 水平距離6mによる分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置

c : 1時間の耐火能力を有する隔壁等による分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置
再処理施設成功パスの詳細は、別紙2参照

9. 最重要設備以外の火災防護対象機器等への火災影響

機器名称[機器番号]	当該区画の火災評価※	隣接区画の火災評価※
-	-	-

※ ○:火災影響なし ×:火災影響あり

隣接する火災区画と火災伝播経路

(※ 有:伝播する 無:伝播しない)

隣接する 火災区画	火災伝播 経路有無	等価時間 (h)	耐火時間 (h)	火災伝播の 可能性 ※	備考
	無	0.5	3.0	無	
	無	0.5	3.0	無	
	無	0.5	3.0	無	
	有	0.5	0.0	有	
	無	0.5	3.0	無	
	無	0.5	3.0	無	
	無	0.5	3.0	無	
	有	0.5	0.0	有	
	有	0.5	0.0	有	
	無	0.5	3.0	無	
	無	0.5	3.0	無	
	無	0.5	3.0	無	

火災区域(区画)特性表

1. 火災区域(区画)の説明

建屋名	精製建屋
火災区域/区画区分	火災区画
火災区域/区画番号	■
火災区域/区画名称	計装ラック第8室
床面積(m ²)	■

2. 火災区域(区画)の火災シナリオの説明

■は、精製建屋内の火災区画である。
 本区画は、ケーブルトレイ火災の発生可能性があるが、安全上重要な施設が設置されていないため、安全機能の喪失のおそれはない。

3. 火災区域(区画)にある火災源

(1) 等価時間

発熱量(kJ)	火災荷重 (kJ/m ²)	等価時間(h) [※]
■	■	0.5

※ 等価時間は、内部火災影響評価ガイドの等価時間記載の値で示す。

(2) 火災区域(区画)にある火災源機器数

火災源	機器数
電動機(3.7kW超)	-
電気盤(440V以上)	-
ケーブルトレイ(ケーブル)	有
油脂類・有機溶媒等	-
その他	-

4. 火災区域(区画)にある防火設備

火災感知の手段	主要な消火設備	消火方法	消火設備のバックアップ
煙感知器	屋内消火栓	手動	粉末消火器

5. 火災区域(区画)に隣接する火災区域(区画)と火災伝播経路

隣接火災区画への火災伝播経路の詳細は、別紙1参照

6. 火災影響を受ける火災防護対象機器等

機器名称[機器番号]	最重要設備 [※]	最重要設備以外の安全上重要な施設 [※]
-	-	-

※ ○:対象 -:非対象

* 火災想定において、工程停止等により安全機能を必要としない状態へと移行が可能なもの。

7. 火災防護対象機器等の関連ケーブル

機器名称[機器番号]	ケーブル種別	安重分類
-	-	-

8. 最重要設備の安重機能への火災影響

安重分類	全焼時の 成功パスの 有無	回路評価 等の考慮	結果	系統分離※
Pu・高レベル廃棄物の閉じ込め機能	-	-	-	-
崩壊熱除去機能(重要度の高いもの)	-	-	-	-
安全圧縮空気系(水素掃気機能)	-	-	-	-
非常用所内電源系統	-	-	-	-

※ a : 3時間以上の耐火能力を有する耐火壁で分離

b : 水平距離6mによる分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置

c : 1時間の耐火能力を有する隔壁等による分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置
再処理施設成功パスの詳細は、別紙2参照

9. 最重要設備以外の火災防護対象機器等への火災影響

機器名称[機器番号]	当該区画の火災評価※	隣接区画の火災評価※
-	-	-

※ ○:火災影響なし ×:火災影響あり

隣接する火災区画と火災伝播経路

(※ 有:伝播する 無:伝播しない)

隣接する 火災区画	火災伝播 経路有無	等価時間 (h)	耐火時間 (h)	火災伝播の 可能性 ※	備考
	有	0.5	0.0	有	
	有	0.5	0.0	有	
	有	0.5	0.0	有	
	有	0.5	0.0	有	
	無	0.5	3.0	無	
	有	0.5	0.0	有	
	有	0.5	0.0	有	
	無	0.5	3.0	無	
	有	0.5	0.0	有	
	有	0.5	0.0	有	
	有	0.5	0.0	有	

火災区域(区画)特性表

1. 火災区域(区画)の説明

建屋名	精製建屋
火災区域/区画区分	火災区画
火災区域/区画番号	■
火災区域/区画名称	圧縮空気分配第5室
床面積(m ²)	■

2. 火災区域(区画)の火災シナリオの説明

■は、精製建屋内の火災区画である。
 本区画は、火災源となるものがないおよび安全上重要な施設が設置されていないため、安全機能の喪失のおそれはない。

3. 火災区域(区画)にある火災源

(1) 等価時間

発熱量(kJ)	火災荷重 (kJ/m ²)	等価時間(h) [※]
■	■	0.5

※ 等価時間は、内部火災影響評価ガイドの等価時間記載の値で示す。

(2) 火災区域(区画)にある火災源機器数

火災源	機器数
電動機(3.7kW超)	-
電気盤(440V以上)	-
ケーブルトレイ(ケーブル)	-
油脂類・有機溶媒等	-
その他	-

4. 火災区域(区画)にある防火設備

火災感知の手段	主要な消火設備	消火方法	消火設備のバックアップ
煙感知器	屋内消火栓	手動	粉末消火器

5. 火災区域(区画)に隣接する火災区域(区画)と火災伝播経路

隣接火災区画への火災伝播経路の詳細は、別紙1参照

6. 火災影響を受ける火災防護対象機器等

機器名称[機器番号]	最重要設備 [※]	最重要設備以外の安全上重要な施設 [※]
-	-	-

※ ○:対象 -:非対象

* 火災想定において、工程停止等により安全機能を必要としない状態へと移行が可能なもの。

7. 火災防護対象機器等の関連ケーブル

機器名称[機器番号]	ケーブル種別	安重分類
-	-	-

8. 最重要設備の安重機能への火災影響

安重分類	全焼時の成功パスの有無	回路評価等の考慮	結果	系統分離※
Pu・高レベル廃棄物の閉じ込め機能	-	-	-	-
崩壊熱除去機能(重要度の高いもの)	-	-	-	-
安全圧縮空気系(水素掃気機能)	-	-	-	-
非常用所内電源系統	-	-	-	-

※ a : 3時間以上の耐火能力を有する耐火壁で分離

b : 水平距離6mによる分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置

c : 1時間の耐火能力を有する隔壁等による分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置
再処理施設成功パスの詳細は、別紙2参照

9. 最重要設備以外の火災防護対象機器等への火災影響

機器名称[機器番号]	当該区画の火災評価※	隣接区画の火災評価※
-	-	-

※ ○:火災影響なし ×:火災影響あり

隣接する火災区画と火災伝播経路

(※ 有:伝播する 無:伝播しない)

隣接する 火災区画	火災伝播 経路有無	等価時間 (h)	耐火時間 (h)	火災伝播の 可能性 ※	備考
	有	0.5	0.0	有	
	有	0.5	0.0	有	
	無	0.5	3.0	無	
	有	0.5	0.0	有	
	有	0.5	0.0	有	
	有	0.5	0.0	有	
	有	0.5	0.0	有	

火災区域(区画)特性表

1. 火災区域(区画)の説明

建屋名	精製建屋
火災区域/区画区分	火災区画
火災区域/区画番号	■
火災区域/区画名称	ウラン溶液受槽室
床面積(m ²)	■

2. 火災区域(区画)の火災シナリオの説明

■は、精製建屋内の火災区画である。
 本区画は、火災源となるものがないおよび安全上重要な施設が設置されていないため、安全機能の喪失のおそれはない。

3. 火災区域(区画)にある火災源

(1) 等価時間

発熱量(kJ)	火災荷重 (kJ/m ²)	等価時間(h) [※]
■	■	0.0

※ 等価時間は、内部火災影響評価ガイドの等価時間記載の値で示す。

(2) 火災区域(区画)にある火災源機器数

火災源	機器数
電動機(3.7kW超)	-
電気盤(440V以上)	-
ケーブルトレイ(ケーブル)	-
油脂類・有機溶媒等	-
その他	-

4. 火災区域(区画)にある防火設備

火災感知の手段	主要な消火設備	消火方法	消火設備のバックアップ
煙感知器	屋内消火栓	手動	粉末消火器

5. 火災区域(区画)に隣接する火災区域(区画)と火災伝播経路

隣接火災区画への火災伝播経路の詳細は、別紙1参照

6. 火災影響を受ける火災防護対象機器等

機器名称[機器番号]	最重要設備 [※]	最重要設備以外の安全上重要な施設 [※]
-	-	-

※ ○:対象 -:非対象

* 火災想定において、工程停止等により安全機能を必要としない状態へと移行が可能なもの。

7. 火災防護対象機器等の関連ケーブル

機器名称[機器番号]	ケーブル種別	安重分類
-	-	-

8. 最重要設備の安重機能への火災影響

安重分類	全焼時の成功パスの有無	回路評価等の考慮	結果	系統分離※
Pu・高レベル廃棄物の閉じ込め機能	-	-	-	-
崩壊熱除去機能(重要度の高いもの)	-	-	-	-
安全圧縮空気系(水素掃気機能)	-	-	-	-
非常用所内電源系統	-	-	-	-

※ a : 3時間以上の耐火能力を有する耐火壁で分離

b : 水平距離6mによる分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置

c : 1時間の耐火能力を有する隔壁等による分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置
再処理施設成功パスの詳細は、別紙2参照

9. 最重要設備以外の火災防護対象機器等への火災影響

機器名称[機器番号]	当該区画の火災評価※	隣接区画の火災評価※
-	-	-

※ ○:火災影響なし ×:火災影響あり

隣接する火災区画と火災伝播経路

(※ 有:伝播する 無:伝播しない)

隣接する 火災区画	火災伝播 経路有無	等価時間 (h)	耐火時間 (h)	火災伝播の 可能性 ※	備考
	無	0.0	3.0	無	
	有	0.0	0.0	無	
	無	0.0	1.0	無	
	無	0.0	3.0	無	
	有	0.0	0.0	無	
	有	0.0	0.0	無	

火災区域(区画)特性表

1. 火災区域(区画)の説明

建屋名	精製建屋
火災区域/区画区分	火災区画
火災区域/区画番号	■
火災区域/区画名称	プルトニウム系エアジェット第1セル
床面積(m ²)	■

2. 火災区域(区画)の火災シナリオの説明

■は、精製建屋内の火災区画である。
 本区画は、火災源となるものがないおよび安全上重要な施設が設置されていないため、安全機能の喪失のおそれはない。

3. 火災区域(区画)にある火災源

(1) 等価時間

発熱量(kJ)	火災荷重 (kJ/m ²)	等価時間(h) [※]
■	■	0.0

※ 等価時間は、内部火災影響評価ガイドの等価時間記載の値で示す。

(2) 火災区域(区画)にある火災源機器数

火災源	機器数
電動機(3.7kW超)	-
電気盤(440V以上)	-
ケーブルトレイ(ケーブル)	-
油脂類・有機溶媒等	-
その他	-

4. 火災区域(区画)にある防火設備

火災感知の手段	主要な消火設備	消火方法	消火設備のバックアップ
設置除外	設置除外	-	-

5. 火災区域(区画)に隣接する火災区域(区画)と火災伝播経路

隣接火災区画への火災伝播経路の詳細は、別紙1参照

6. 火災影響を受ける火災防護対象機器等

機器名称[機器番号]	最重要設備 [※]	最重要設備以外の安全上重要な施設 [※]
-	-	-

※ ○:対象 -:非対象

* 火災想定において、工程停止等により安全機能を必要としない状態へと移行が可能なもの。

7. 火災防護対象機器等の関連ケーブル

機器名称[機器番号]	ケーブル種別	安重分類
-	-	-

8. 最重要設備の安重機能への火災影響

安重分類	全焼時の成功パスの有無	回路評価等の考慮	結果	系統分離※
Pu・高レベル廃棄物の閉じ込め機能	-	-	-	-
崩壊熱除去機能(重要度の高いもの)	-	-	-	-
安全圧縮空気系(水素掃気機能)	-	-	-	-
非常用所内電源系統	-	-	-	-

※ a : 3時間以上の耐火能力を有する耐火壁で分離

b : 水平距離6mによる分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置

c : 1時間の耐火能力を有する隔壁等による分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置
再処理施設成功パスの詳細は、別紙2参照

9. 最重要設備以外の火災防護対象機器等への火災影響

機器名称[機器番号]	当該区画の火災評価※	隣接区画の火災評価※
-	-	-

※ ○:火災影響なし ×:火災影響あり

隣接する火災区画と火災伝播経路

(※ 有:伝播する 無:伝播しない)

隣接する 火災区画	火災伝播 経路有無	等価時間 (h)	耐火時間 (h)	火災伝播の 可能性 ※	備考
	無	0.0	3.0	無	
	有	0.0	0.0	無	
	無	0.0	3.0	無	
	有	0.0	0.0	無	
	有	0.0	0.0	無	
	無	0.0	3.0	無	

火災区域(区画)特性表

1. 火災区域(区画)の説明

建屋名	精製建屋
火災区域/区画区分	火災区画
火災区域/区画番号	■
火災区域/区画名称	北第2階段室地上3階附室
床面積(m ²)	■

2. 火災区域(区画)の火災シナリオの説明

■は、精製建屋内の火災区画である。
 本区画は、火災源となるものがないおよび安全上重要な施設が設置されていないため、安全機能の喪失のおそれはない。

3. 火災区域(区画)にある火災源

(1) 等価時間

発熱量(kJ)	火災荷重 (kJ/m ²)	等価時間(h) [※]
■	■	0.0

※ 等価時間は、内部火災影響評価ガイドの等価時間記載の値で示す。

(2) 火災区域(区画)にある火災源機器数

火災源	機器数
電動機(3.7kW超)	-
電気盤(440V以上)	-
ケーブルトレイ(ケーブル)	-
油脂類・有機溶媒等	-
その他	-

4. 火災区域(区画)にある防火設備

火災感知の手段	主要な消火設備	消火方法	消火設備のバックアップ
煙感知器	屋内消火栓	手動	粉末消火器

5. 火災区域(区画)に隣接する火災区域(区画)と火災伝播経路

隣接火災区画への火災伝播経路の詳細は、別紙1参照

6. 火災影響を受ける火災防護対象機器等

機器名称[機器番号]	最重要設備 [※]	最重要設備以外の安全上重要な施設 [※]
-	-	-

※ ○:対象 -:非対象

* 火災想定において、工程停止等により安全機能を必要としない状態へと移行が可能なもの。

7. 火災防護対象機器等の関連ケーブル

機器名称[機器番号]	ケーブル種別	安重分類
-	-	-

8. 最重要設備の安重機能への火災影響

安重分類	全焼時の成功パスの有無	回路評価等の考慮	結果	系統分離※
Pu・高レベル廃棄物の閉じ込め機能	-	-	-	-
崩壊熱除去機能(重要度の高いもの)	-	-	-	-
安全圧縮空気系(水素掃気機能)	-	-	-	-
非常用所内電源系統	-	-	-	-

※ a : 3時間以上の耐火能力を有する耐火壁で分離

b : 水平距離6mによる分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置

c : 1時間の耐火能力を有する隔壁等による分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置
再処理施設成功パスの詳細は、別紙2参照

9. 最重要設備以外の火災防護対象機器等への火災影響

機器名称[機器番号]	当該区画の火災評価※	隣接区画の火災評価※
-	-	-

※ ○:火災影響なし ×:火災影響あり

隣接する火災区画と火災伝播経路

(※ 有:伝播する 無:伝播しない)

隣接する 火災区画	火災伝播 経路有無	等価時間 (h)	耐火時間 (h)	火災伝播の 可能性 ※	備考
	無	0.0	1.0	無	
	無	0.0	1.0	無	
	無	0.0	1.0	無	
	無	0.0	1.0	無	
	無	0.0	1.0	無	

火災区域(区画)特性表

1. 火災区域(区画)の説明

建屋名	精製建屋
火災区域/区画区分	火災区画
火災区域/区画番号	■
火災区域/区画名称	南第3階段室地上3階附室
床面積(m ²)	■

2. 火災区域(区画)の火災シナリオの説明

■は、精製建屋内の火災区画である。
 本区画は、火災源となるものがないおよび安全上重要な施設が設置されていないため、安全機能の喪失のおそれはない。

3. 火災区域(区画)にある火災源

(1) 等価時間

発熱量(kJ)	火災荷重(kJ/m ²)	等価時間(h) [※]
■	■	0.0

※ 等価時間は、内部火災影響評価ガイドの等価時間記載の値で示す。

(2) 火災区域(区画)にある火災源機器数

火災源	機器数
電動機(3.7kW超)	-
電気盤(440V以上)	-
ケーブルトレイ(ケーブル)	-
油脂類・有機溶媒等	-
その他	-

4. 火災区域(区画)にある防火設備

火災感知の手段	主要な消火設備	消火方法	消火設備のバックアップ
煙感知器	屋内消火栓	手動	粉末消火器

5. 火災区域(区画)に隣接する火災区域(区画)と火災伝播経路

隣接火災区画への火災伝播経路の詳細は、別紙1参照

6. 火災影響を受ける火災防護対象機器等

機器名称[機器番号]	最重要設備 [※]	最重要設備以外の安全上重要な施設 [※]
-	-	-

※ ○:対象 -:非対象

* 火災想定において、工程停止等により安全機能を必要としない状態へと移行が可能なもの。

7. 火災防護対象機器等の関連ケーブル

機器名称[機器番号]	ケーブル種別	安重分類
-	-	-

8. 最重要設備の安重機能への火災影響

安重分類	全焼時の成功パスの有無	回路評価等の考慮	結果	系統分離※
Pu・高レベル廃棄物の閉じ込め機能	-	-	-	-
崩壊熱除去機能(重要度の高いもの)	-	-	-	-
安全圧縮空気系(水素掃気機能)	-	-	-	-
非常用所内電源系統	-	-	-	-

※ a : 3時間以上の耐火能力を有する耐火壁で分離

b : 水平距離6mによる分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置

c : 1時間の耐火能力を有する隔壁等による分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置
再処理施設成功パスの詳細は、別紙2参照

9. 最重要設備以外の火災防護対象機器等への火災影響

機器名称[機器番号]	当該区画の火災評価※	隣接区画の火災評価※
-	-	-

※ ○:火災影響なし ×:火災影響あり

隣接する火災区画と火災伝播経路

(※ 有:伝播する 無:伝播しない)

隣接する 火災区画	火災伝播 経路有無	等価時間 (h)	耐火時間 (h)	火災伝播の 可能性 ※	備考
	無	0.0	1.0	無	
	無	0.0	1.0	無	
	無	0.0	1.0	無	
	無	0.0	1.0	無	
	無	0.0	3.0	無	
	無	0.0	1.0	無	

火災区域(区画)特性表

1. 火災区域(区画)の説明

建屋名	精製建屋
火災区域/区画区分	火災区画
火災区域/区画番号	■
火災区域/区画名称	北第1階段室地上3階附室
床面積(m ²)	■

2. 火災区域(区画)の火災シナリオの説明

■は、精製建屋内の火災区画である。
 本区画は、火災源となるものがないおよび安全上重要な施設が設置されていないため、安全機能の喪失のおそれはない。

3. 火災区域(区画)にある火災源

(1) 等価時間

発熱量(kJ)	火災荷重 (kJ/m ²)	等価時間(h) [※]
■	■	0.0

※ 等価時間は、内部火災影響評価ガイドの等価時間記載の値で示す。

(2) 火災区域(区画)にある火災源機器数

火災源	機器数
電動機(3.7kW超)	-
電気盤(440V以上)	-
ケーブルトレイ(ケーブル)	-
油脂類・有機溶媒等	-
その他	-

4. 火災区域(区画)にある防火設備

火災感知の手段	主要な消火設備	消火方法	消火設備のバックアップ
煙感知器	屋内消火栓	手動	粉末消火器

5. 火災区域(区画)に隣接する火災区域(区画)と火災伝播経路

隣接火災区画への火災伝播経路の詳細は、別紙1参照

6. 火災影響を受ける火災防護対象機器等

機器名称[機器番号]	最重要設備 [※]	最重要設備以外の安全上重要な施設 [※]
-	-	-

※ ○:対象 -:非対象

* 火災想定において、工程停止等により安全機能を必要としない状態へと移行が可能なもの。

7. 火災防護対象機器等の関連ケーブル

機器名称[機器番号]	ケーブル種別	安重分類
-	-	-

8. 最重要設備の安重機能への火災影響

安重分類	全焼時の成功パスの有無	回路評価等の考慮	結果	系統分離※
Pu・高レベル廃棄物の閉じ込め機能	-	-	-	-
崩壊熱除去機能(重要度の高いもの)	-	-	-	-
安全圧縮空気系(水素掃気機能)	-	-	-	-
非常用所内電源系統	-	-	-	-

※ a : 3時間以上の耐火能力を有する耐火壁で分離

b : 水平距離6mによる分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置

c : 1時間の耐火能力を有する隔壁等による分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置
再処理施設成功パスの詳細は、別紙2参照

9. 最重要設備以外の火災防護対象機器等への火災影響

機器名称[機器番号]	当該区画の火災評価※	隣接区画の火災評価※
-	-	-

※ ○:火災影響なし ×:火災影響あり

隣接する火災区画と火災伝播経路

(※ 有:伝播する 無:伝播しない)

隣接する 火災区画	火災伝播 経路有無	等価時間 (h)	耐火時間 (h)	火災伝播の 可能性 ※	備考
	無	0.0	1.0	無	
	無	0.0	1.0	無	
	無	0.0	1.0	無	
	無	0.0	1.0	無	
	無	0.0	1.0	無	

火災区域(区画)特性表

1. 火災区域(区画)の説明

建屋名	精製建屋
火災区域/区画区分	火災区画
火災区域/区画番号	■
火災区域/区画名称	第2回収酸10N貯槽室
床面積(m ²)	■

2. 火災区域(区画)の火災シナリオの説明

■は、精製建屋内の火災区画である。
 本区画は、火災源となるものがないおよび安全上重要な施設が設置されていないため、安全機能の喪失のおそれはない。

3. 火災区域(区画)にある火災源

(1) 等価時間

発熱量(kJ)	火災荷重 (kJ/m ²)	等価時間(h) [※]
■	■	0.0

※ 等価時間は、内部火災影響評価ガイドの等価時間記載の値で示す。

(2) 火災区域(区画)にある火災源機器数

火災源	機器数
電動機(3.7kW超)	-
電気盤(440V以上)	-
ケーブルトレイ(ケーブル)	-
油脂類・有機溶媒等	-
その他	-

4. 火災区域(区画)にある防火設備

火災感知の手段	主要な消火設備	消火方法	消火設備のバックアップ
煙感知器	屋内消火栓	手動	粉末消火器

5. 火災区域(区画)に隣接する火災区域(区画)と火災伝播経路

隣接火災区画への火災伝播経路の詳細は、別紙1参照

6. 火災影響を受ける火災防護対象機器等

機器名称[機器番号]	最重要設備 [※]	最重要設備以外の安全上重要な施設 [※]
-	-	-

※ ○:対象 -:非対象

* 火災想定において、工程停止等により安全機能を必要としない状態へと移行が可能なもの。

7. 火災防護対象機器等の関連ケーブル

機器名称[機器番号]	ケーブル種別	安重分類
-	-	-

8. 最重要設備の安重機能への火災影響

安重分類	全焼時の成功パスの有無	回路評価等の考慮	結果	系統分離※
Pu・高レベル廃棄物の閉じ込め機能	-	-	-	-
崩壊熱除去機能(重要度の高いもの)	-	-	-	-
安全圧縮空気系(水素掃気機能)	-	-	-	-
非常用所内電源系統	-	-	-	-

※ a : 3時間以上の耐火能力を有する耐火壁で分離

b : 水平距離6mによる分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置

c : 1時間の耐火能力を有する隔壁等による分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置
再処理施設成功パスの詳細は、別紙2参照

9. 最重要設備以外の火災防護対象機器等への火災影響

機器名称[機器番号]	当該区画の火災評価※	隣接区画の火災評価※
-	-	-

※ ○:火災影響なし ×:火災影響あり

隣接する火災区画と火災伝播経路

(※ 有:伝播する 無:伝播しない)

隣接する 火災区画	火災伝播 経路有無	等価時間 (h)	耐火時間 (h)	火災伝播の 可能性 ※	備考
	無	0.0	3.0	無	
	無	0.0	3.0	無	
	無	0.0	3.0	無	
	無	0.0	3.0	無	
	無	0.0	3.0	無	
	無	0.0	3.0	無	
	無	0.0	3.0	無	
	無	0.0	3.0	無	

火災区域(区画)特性表

1. 火災区域(区画)の説明

建屋名	精製建屋
火災区域/区画区分	火災区画
火災区域/区画番号	■
火災区域/区画名称	第1予備室
床面積(m ²)	■

2. 火災区域(区画)の火災シナリオの説明

■は、精製建屋内の火災区画である。
 本区画は、火災源となるものがないおよび安全上重要な施設が設置されていないため、安全機能の喪失のおそれはない。

3. 火災区域(区画)にある火災源

(1) 等価時間

発熱量(kJ)	火災荷重 (kJ/m ²)	等価時間(h) [※]
■	■	0.5

※ 等価時間は、内部火災影響評価ガイドの等価時間記載の値で示す。

(2) 火災区域(区画)にある火災源機器数

火災源	機器数
電動機(3.7kW超)	-
電気盤(440V以上)	-
ケーブルトレイ(ケーブル)	-
油脂類・有機溶媒等	-
その他	-

4. 火災区域(区画)にある防火設備

火災感知の手段	主要な消火設備	消火方法	消火設備のバックアップ
煙感知器	屋内消火栓	手動	粉末消火器

5. 火災区域(区画)に隣接する火災区域(区画)と火災伝播経路

隣接火災区画への火災伝播経路の詳細は、別紙1参照

6. 火災影響を受ける火災防護対象機器等

機器名称[機器番号]	最重要設備 [※]	最重要設備以外の安全上重要な施設 [※]
-	-	-

※ ○:対象 -:非対象

* 火災想定において、工程停止等により安全機能を必要としない状態へと移行が可能なもの。

7. 火災防護対象機器等の関連ケーブル

機器名称[機器番号]	ケーブル種別	安重分類
-	-	-

8. 最重要設備の安重機能への火災影響

安重分類	全焼時の成功パスの有無	回路評価等の考慮	結果	系統分離※
Pu・高レベル廃棄物の閉じ込め機能	-	-	-	-
崩壊熱除去機能(重要度の高いもの)	-	-	-	-
安全圧縮空気系(水素掃気機能)	-	-	-	-
非常用所内電源系統	-	-	-	-

※ a : 3時間以上の耐火能力を有する耐火壁で分離

b : 水平距離6mによる分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置

c : 1時間の耐火能力を有する隔壁等による分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置
再処理施設成功パスの詳細は、別紙2参照

9. 最重要設備以外の火災防護対象機器等への火災影響

機器名称[機器番号]	当該区画の火災評価※	隣接区画の火災評価※
-	-	-

※ ○:火災影響なし ×:火災影響あり

隣接する火災区画と火災伝播経路

(※ 有:伝播する 無:伝播しない)

隣接する 火災区画	火災伝播 経路有無	等価時間 (h)	耐火時間 (h)	火災伝播の 可能性 ※	備考
	無	0.5	3.0	無	
	無	0.5	3.0	無	
	有	0.5	0.0	有	
	有	0.5	0.0	有	
	有	0.5	0.0	有	
	有	0.5	0.0	有	
	無	0.5	3.0	無	
	有	0.5	0.0	有	

火災区域(区画)特性表

1. 火災区域(区画)の説明

建屋名	精製建屋
火災区域/区画区分	火災区画
火災区域/区画番号	■
火災区域/区画名称	セル排気サンプリング設備第3室
床面積(m ²)	■

2. 火災区域(区画)の火災シナリオの説明

■は、精製建屋内の火災区画である。
 本区画は、火災源となるものがないおよび安全上重要な施設が設置されていないため、安全機能の喪失のおそれはない。

3. 火災区域(区画)にある火災源

(1) 等価時間

発熱量(kJ)	火災荷重(kJ/m ²)	等価時間(h) [※]
■	■	0.0

※ 等価時間は、内部火災影響評価ガイドの等価時間記載の値で示す。

(2) 火災区域(区画)にある火災源機器数

火災源	機器数
電動機(3.7kW超)	-
電気盤(440V以上)	-
ケーブルトレイ(ケーブル)	-
油脂類・有機溶媒等	-
その他	-

4. 火災区域(区画)にある防火設備

火災感知の手段	主要な消火設備	消火方法	消火設備のバックアップ
煙感知器	屋内消火栓	手動	粉末消火器

5. 火災区域(区画)に隣接する火災区域(区画)と火災伝播経路

隣接火災区画への火災伝播経路の詳細は、別紙1参照

6. 火災影響を受ける火災防護対象機器等

機器名称[機器番号]	最重要設備 [※]	最重要設備以外の安全上重要な施設 [※]
-	-	-

※ ○:対象 -:非対象

* 火災想定において、工程停止等により安全機能を必要としない状態へと移行が可能なもの。

7. 火災防護対象機器等の関連ケーブル

機器名称[機器番号]	ケーブル種別	安重分類
-	-	-

8. 最重要設備の安重機能への火災影響

安重分類	全焼時の成功パスの有無	回路評価等の考慮	結果	系統分離※
Pu・高レベル廃棄物の閉じ込め機能	-	-	-	-
崩壊熱除去機能(重要度の高いもの)	-	-	-	-
安全圧縮空気系(水素掃気機能)	-	-	-	-
非常用所内電源系統	-	-	-	-

※ a : 3時間以上の耐火能力を有する耐火壁で分離

b : 水平距離6mによる分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置

c : 1時間の耐火能力を有する隔壁等による分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置
再処理施設成功パスの詳細は、別紙2参照

9. 最重要設備以外の火災防護対象機器等への火災影響

機器名称[機器番号]	当該区画の火災評価※	隣接区画の火災評価※
-	-	-

※ ○:火災影響なし ×:火災影響あり

隣接する火災区画と火災伝播経路

(※ 有:伝播する 無:伝播しない)

隣接する 火災区画	火災伝播 経路有無	等価時間 (h)	耐火時間 (h)	火災伝播の 可能性 ※	備考
	無	0.0	3.0	無	
	無	0.0	3.0	無	
	無	0.0	3.0	無	
	無	0.0	3.0	無	
	無	0.0	3.0	無	
	無	0.0	3.0	無	
	無	0.0	3.0	無	
	無	0.0	3.0	無	

火災区域(区画)特性表

1. 火災区域(区画)の説明

建屋名	精製建屋
火災区域/区画区分	火災区画
火災区域/区画番号	■
火災区域/区画名称	ウラン濃縮缶凝縮器室
床面積(m ²)	■

2. 火災区域(区画)の火災シナリオの説明

■は、精製建屋内の火災区画である。
 本区画は、火災源となるものがないおよび安全上重要な施設が設置されていないため、安全機能の喪失のおそれはない。

3. 火災区域(区画)にある火災源

(1) 等価時間

発熱量(kJ)	火災荷重 (kJ/m ²)	等価時間(h) [※]
■	■	0.0

※ 等価時間は、内部火災影響評価ガイドの等価時間記載の値で示す。

(2) 火災区域(区画)にある火災源機器数

火災源	機器数
電動機(3.7kW超)	-
電気盤(440V以上)	-
ケーブルトレイ(ケーブル)	-
油脂類・有機溶媒等	-
その他	-

4. 火災区域(区画)にある防火設備

火災感知の手段	主要な消火設備	消火方法	消火設備のバックアップ
煙感知器	屋内消火栓	手動	粉末消火器

5. 火災区域(区画)に隣接する火災区域(区画)と火災伝播経路

隣接火災区画への火災伝播経路の詳細は、別紙1参照

6. 火災影響を受ける火災防護対象機器等

機器名称[機器番号]	最重要設備 [※]	最重要設備以外の安全上重要な施設 [※]
-	-	-

※ ○:対象 -:非対象

* 火災想定において、工程停止等により安全機能を必要としない状態へと移行が可能なもの。

7. 火災防護対象機器等の関連ケーブル

機器名称[機器番号]	ケーブル種別	安重分類
-	-	-

8. 最重要設備の安重機能への火災影響

安重分類	全焼時の成功パスの有無	回路評価等の考慮	結果	系統分離※
Pu・高レベル廃棄物の閉じ込め機能	-	-	-	-
崩壊熱除去機能(重要度の高いもの)	-	-	-	-
安全圧縮空気系(水素掃気機能)	-	-	-	-
非常用所内電源系統	-	-	-	-

※ a : 3時間以上の耐火能力を有する耐火壁で分離

b : 水平距離6mによる分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置

c : 1時間の耐火能力を有する隔壁等による分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置
再処理施設成功パスの詳細は、別紙2参照

9. 最重要設備以外の火災防護対象機器等への火災影響

機器名称[機器番号]	当該区画の火災評価※	隣接区画の火災評価※
-	-	-

※ ○:火災影響なし ×:火災影響あり

隣接する火災区画と火災伝播経路

(※ 有:伝播する 無:伝播しない)

隣接する 火災区画	火災伝播 経路有無	等価時間 (h)	耐火時間 (h)	火災伝播の 可能性 ※	備考
	無	0.0	3.0	無	
	無	0.0	3.0	無	
	無	0.0	3.0	無	
	無	0.0	3.0	無	
	無	0.0	3.0	無	
	無	0.0	3.0	無	
	無	0.0	3.0	無	

火災区域(区画)特性表

1. 火災区域(区画)の説明

建屋名	精製建屋
火災区域/区画区分	火災区画
火災区域/区画番号	■
火災区域/区画名称	地上4階東西第1廊下,南北第1廊下,南北第3廊下
床面積(m ²)	■

2. 火災区域(区画)の火災シナリオの説明

■は、精製建屋内の火災区画である。
 本区画の火災源は、ケーブルトレイである。
 したがって、本区画の想定火災としては、ケーブルトレイ火災により、安全上重要な施設のA系の設備(6.火災影響を受ける火災防護対象機器等 参照)が火災影響を受け、安全機能が喪失するおそれがあるが、多重化された安全上重要な施設の片系のみの機能喪失であるため、安全機能が完全に喪失することはない。

3. 火災区域(区画)にある火災源

(1) 等価時間

発熱量(kJ)	火災荷重(kJ/m ²)	等価時間(h) [※]
■	■	1.0

※ 等価時間は、内部火災影響評価ガイドの等価時間記載の値で示す。

(2) 火災区域(区画)にある火災源機器数

火災源	機器数
電動機(3.7kW超)	-
電気盤(440V以上)	-
ケーブルトレイ(ケーブル)	有
油脂類・有機溶媒等	-
その他	-

4. 火災区域(区画)にある防火設備

火災感知の手段	主要な消火設備	消火方法	消火設備のバックアップ
煙感知器 熱感知器	屋内消火栓	手動	粉末消火器

5. 火災区域(区画)に隣接する火災区域(区画)と火災伝播経路

隣接火災区画への火災伝播経路の詳細は、別紙1参照

6. 火災影響を受ける火災防護対象機器等

機器名称[機器番号]	最重要設備 [※]	最重要設備以外の安全上重要な施設 [※]
安重ケーブルトレイ[A系]	○	○

※ ○:対象 -:非対象

* 火災想定において、工程停止等により安全機能を必要としない状態へと移行が可能なもの。

7. 火災防護対象機器等の関連ケーブル

機器名称[機器番号]	ケーブル種別	安重分類
グローブボックス・セル排風機A []	制御、動力(低圧)	Pu・高レベルの廃棄物の閉じ込め機能
安全冷却水AポンプA []	動力(低圧)	崩壊熱除去機能(重要度の高いもの)
安全冷却水AポンプB []	動力(低圧)	崩壊熱除去機能(重要度の高いもの)
排風機A []	動力(低圧)	Pu・高レベルの廃棄物の閉じ込め機能
排風機A []	制御、動力(低圧)	Pu・高レベルの廃棄物の閉じ込め機能

8. 最重要設備の安重機能への火災影響

安重分類	全焼時の成功パスの有無	回路評価等の考慮	結果	系統分離 [※]
Pu・高レベル廃棄物の閉じ込め機能	有	-	○	-
崩壊熱除去機能(重要度の高いもの)	有	-	○	-
安全圧縮空気系(水素掃気機能)	-	-	-	-
非常用所内電源系統	-	-	-	-

※ a : 3時間以上の耐火能力を有する耐火壁で分離

b : 水平距離6mによる分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置

c : 1時間の耐火能力を有する隔壁等による分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置
再処理施設成功パスの詳細は、別紙2参照

9. 最重要設備以外の火災防護対象機器等への火災影響

機器名称[機器番号]	当該区画の火災評価 [※]	隣接区画の火災評価 [※]
-	-	-

※ ○:火災影響なし ×:火災影響あり

隣接する火災区画と火災伝播経路

(※ 有:伝播する 無:伝播しない)

隣接する 火災区画	火災伝播 経路有無	等価時間 (h)	耐火時間 (h)	火災伝播の 可能性 ※	備考
	無	1.0	3.0	無	
	無	1.0	3.0	無	
	無	1.0	3.0	無	
	無	1.0	3.0	無	
	無	1.0	3.0	無	
	無	1.0	3.0	無	
	無	1.0	3.0	無	
	無	1.0	3.0	無	
	無	1.0	3.0	無	
	無	1.0	3.0	無	
	無	1.0	3.0	無	

再処理施設成功パス一覧表

建屋	精製建屋	
区域(区画)番号/名称		地上4階東西第1廊下,南北第1廊下,南北第3廊下
1.放射性物質の閉じ込め機能(動的な閉じ込め機能)		
	[A]レン設備	[B]レン設備
前処理建屋 せん断処理・溶解廃ガス処理設備	前処理建屋 せん断処理・溶解廃ガス処理設備	前処理建屋 せん断処理・溶解廃ガス処理設備
非風機A	非風機B	非風機B
非風機C	非風機C	非風機C
前処理建屋 塔槽類廃ガス処理設備	前処理建屋 塔槽類廃ガス処理設備	前処理建屋 塔槽類廃ガス処理設備
非風機A	非風機B	非風機B
前処理建屋換気設備 溶解セル等からの排気系	前処理建屋換気設備 溶解セル等からの排気系	前処理建屋換気設備 溶解セル等からの排気系
セル排風機A	セル排風機B	セル排風機B
溶解槽セルA排風機A	溶解槽セルA排風機B	溶解槽セルA排風機B
溶解槽セルB排風機A	溶解槽セルB排風機B	溶解槽セルB排風機B
高レベル廃液ガラス固化建屋 高レベル廃液ガラス固化廃ガス処理設備	高レベル廃液ガラス固化建屋 高レベル廃液ガラス固化廃ガス処理設備	高レベル廃液ガラス固化建屋 高レベル廃液ガラス固化廃ガス処理設備
第1排風機A	第1排風機B	第1排風機B
第2排風機A	第2排風機B	第2排風機B
高レベル廃液ガラス固化建屋 塔槽類廃ガス処理設備 高レベル濃縮廃液廃ガス処理系	高レベル廃液ガラス固化建屋 塔槽類廃ガス処理設備 高レベル濃縮廃液廃ガス処理系	高レベル廃液ガラス固化建屋 塔槽類廃ガス処理設備 高レベル濃縮廃液廃ガス処理系
非風機A	非風機B	非風機B
高レベル廃液ガラス固化建屋 塔槽類廃ガス処理設備 不溶解残渣廃液廃ガス処理系	高レベル廃液ガラス固化建屋 塔槽類廃ガス処理設備 不溶解残渣廃液廃ガス処理系	高レベル廃液ガラス固化建屋 塔槽類廃ガス処理設備 不溶解残渣廃液廃ガス処理系
非風機A	非風機B	非風機B
高レベル濃縮廃液貯槽セル等からの排気系固化セル換気系及び固化セル圧力放出系	高レベル濃縮廃液貯槽セル等からの排気系固化セル換気系及び固化セル圧力放出系	高レベル濃縮廃液貯槽セル等からの排気系固化セル換気系及び固化セル圧力放出系
セル排風機A	セル排風機B	セル排風機B
固化セル換気系排風機A	固化セル換気系排風機B	固化セル換気系排風機B
分離建屋 塔槽類廃ガス処理設備 バルセータ廃ガス処理系	分離建屋 塔槽類廃ガス処理設備 バルセータ廃ガス処理系	分離建屋 塔槽類廃ガス処理設備 バルセータ廃ガス処理系
非風機A	非風機B	非風機B
分離建屋 塔槽類廃ガス処理設備 塔槽類廃ガス処理系	分離建屋 塔槽類廃ガス処理設備 塔槽類廃ガス処理系	分離建屋 塔槽類廃ガス処理設備 塔槽類廃ガス処理系
非風機A	非風機B	非風機B
分離建屋換気設備 プルトニウム溶液中間貯槽セル等からの排気系	分離建屋換気設備 プルトニウム溶液中間貯槽セル等からの排気系	分離建屋換気設備 プルトニウム溶液中間貯槽セル等からの排気系
グローブボックス・セル排風機A	グローブボックス・セル排風機B	グローブボックス・セル排風機B
精製建屋 塔槽類廃ガス処理設備 バルセータ廃ガス処理系	精製建屋 塔槽類廃ガス処理設備 バルセータ廃ガス処理系	精製建屋 塔槽類廃ガス処理設備 バルセータ廃ガス処理系
× 非風機A	非風機B	非風機B
精製建屋 塔槽類廃ガス処理設備 塔槽類廃ガス処理系(プルトニウム系)	精製建屋 塔槽類廃ガス処理設備 塔槽類廃ガス処理系(プルトニウム系)	精製建屋 塔槽類廃ガス処理設備 塔槽類廃ガス処理系(プルトニウム系)
× 非風機A	非風機B	非風機B
精製建屋換気設備 プルトニウム濃縮缶セル等及びグローブボックス等からの排気系	精製建屋換気設備 プルトニウム濃縮缶セル等及びグローブボックス等からの排気系	精製建屋換気設備 プルトニウム濃縮缶セル等及びグローブボックス等からの排気系
× グローブボックス・セル排風機A	グローブボックス・セル排風機B	グローブボックス・セル排風機B
ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋 塔槽類廃ガス処理設備	ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋 塔槽類廃ガス処理設備	ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋 塔槽類廃ガス処理設備
第1排風機A	第1排風機B	第1排風機B
第2排風機A	第2排風機B	第2排風機B
第3排風機C	第3排風機B	第3排風機B
ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋 硝酸プルトニウム貯槽セル等及びグローブボックス等からの排気系	ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋 硝酸プルトニウム貯槽セル等及びグローブボックス等からの排気系	ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋 硝酸プルトニウム貯槽セル等及びグローブボックス等からの排気系
グローブボックス・セル排風機A	グローブボックス・セル排風機B	グローブボックス・セル排風機B
グローブボックス・セル排風機C		
×	-	-
1パス	○	○
回路評価等	-	-
成功パス	○	○

凡例	
×	○○○○-○○○○A ○○○○-○○○○A × : 当該室の火災により安全機能を喪失する機器がある場合 空欄 : 当該室に設置していない機器
1パス	- : 当該室に対象なし ○ : 当該室の火災により対応する安全機能が1系統残る場合 × : 当該室の火災により対応する安全機能がすべて喪失する場合
回路評価等	- : 当該室に回路評価等を行う対象なし ○ : 回路評価等により、対応する安全機能が確保される場合
成功パス	- : 当該室に対象なし ○ : 当該室の火災により対応する安全機能が1系統残る場合 × : 当該室の火災により対応する安全機能がすべて喪失する場合

再処理施設成功パス一覧表

2. 崩壊熱除去機能		[A]レン設備		[B]レン設備	
冷却設備	安全冷却水系			冷却設備	安全冷却水系
	安全冷却水A冷却塔				安全冷却水B冷却塔
前処理建屋	冷却設備	安全冷却水系		前処理建屋	冷却設備
	安全冷却水A循環ポンプA				安全冷却水B循環ポンプA
	安全冷却水A循環ポンプB				安全冷却水B循環ポンプB
	安全冷却水1AポンプA				安全冷却水1BポンプA
	安全冷却水1AポンプB				安全冷却水1BポンプB
分離建屋	冷却設備	安全冷却水系		分離建屋	冷却設備
	冷却水循環ポンプA				冷却水循環ポンプC
	冷却水循環ポンプB				冷却水循環ポンプD
	安全冷却水1AポンプA				安全冷却水1BポンプA
	安全冷却水1AポンプB				安全冷却水1BポンプB
精製建屋	冷却設備	安全冷却水系		精製建屋	冷却設備
X	安全冷却水AポンプA				安全冷却水BポンプA
X	安全冷却水AポンプB				安全冷却水BポンプB
ウラン・プルトニウム混合酸	硝化建屋	冷却設備	安全冷却水系	ウラン・プルトニウム混合酸	硝化建屋
	冷水移送ポンプA				冷水移送ポンプC
	冷水移送ポンプB				冷水移送ポンプD
高レベル廃液ガラス固化建屋	冷却設備	安全冷却水系		高レベル廃液ガラス固化建屋	冷却設備
	第1高レベル濃縮廃液貯槽冷却水AポンプA				第1高レベル濃縮廃液貯槽冷却水BポンプA
	第1高レベル濃縮廃液貯槽冷却水AポンプB				第1高レベル濃縮廃液貯槽冷却水BポンプB
	第2高レベル濃縮廃液貯槽冷却水AポンプA				第2高レベル濃縮廃液貯槽冷却水BポンプA
	第2高レベル濃縮廃液貯槽冷却水AポンプB				第2高レベル濃縮廃液貯槽冷却水BポンプB
	安全冷却水A系ポンプA				安全冷却水B系ポンプA
	安全冷却水A系ポンプB				安全冷却水B系ポンプB
	高レベル廃液共用貯槽冷却水AポンプA				高レベル廃液共用貯槽冷却水BポンプA
	高レベル廃液共用貯槽冷却水AポンプB				高レベル廃液共用貯槽冷却水BポンプB
	安全冷却水A系ポンプA				安全冷却水B系ポンプA
	安全冷却水A系ポンプB				安全冷却水B系ポンプB
	安全冷水A冷却器冷媒膨張弁A				安全冷水B冷却器冷媒膨張弁A
	安全冷水A冷却器冷媒膨張弁B				安全冷水B冷却器冷媒膨張弁B
	安全冷水A冷却器冷媒止弁A				安全冷水B冷却器冷媒止弁A
	安全冷水A冷却器冷媒止弁B				安全冷水B冷却器冷媒止弁B
	安全冷却水1AポンプA				安全冷却水1BポンプA
	安全冷却水1AポンプB				安全冷却水1BポンプB
	安全冷水AポンプA				安全冷水BポンプA
	安全冷水AポンプB				安全冷水BポンプB
	安全冷水A冷凍機				安全冷水B冷凍機
	スクルー圧縮機				スクルー圧縮機
	スクルー圧縮機				スクルー圧縮機
ウラン・プルトニウム混合酸	化学貯蔵建屋	換気設備	貯蔵室排気系	ウラン・プルトニウム混合酸	化学貯蔵建屋
	貯蔵室排風機A				貯蔵室排風機C
	貯蔵室排風機B				貯蔵室排風機D
X				-	
	1パス		○		
	回路評価等		-		
	成功パス		○		

3. 安全圧縮空気系(水素捕気機能)		[A]レン設備		[B]レン設備	
安全圧縮空気系				安全圧縮空気系	
	安全空気圧縮装置A				安全空気圧縮装置B
	安全空気圧縮装置C				安全空気圧縮装置C
-				-	
	1パス		-		
	回路評価等		-		
	成功パス		-		

再処理施設成功パス一覧表

4.非常用所内電源系統(支援機能)		[A]レ線設備	[B]レ線設備
非常用電源建屋冷却水設備		8111A-C20 冷却塔A	8111B-C20 冷却塔B
		8111A-P2010 冷却水循環ポンプA	8111B-P2010 冷却水循環ポンプB
非常用電源建屋の電気設備		GA-M/C-A 6.9kV非常用メタグラ	GA-M/C-B 6.9kV非常用メタグラB
		GA-MCC-A 460V非常用コントロールセンタ	GA-MCC-B 460V非常用コントロールセンタB
		8111A-X10 ディーゼル機関A	8111B-X10 ディーゼル機関B
		8111A-X11 同期発電機A	8111B-X11 同期発電機B
		8111A-P4011 燃料油移送ポンプA	8111B-P4011 燃料油移送ポンプB
		GA-BAT-A 110V第2非常用蓄電池A	GA-BAT-B 110V第2非常用蓄電池B
		GA-CHG-A 110V非常用充電器A	GA-CHG-B 110V非常用充電器B
		GA-DCD-A 110V非常用直流主分電盤A	GA-DCD-B 110V非常用直流主分電盤B
		GA-CHG-E 110V非常用予備充電器E	GA-CHG-E 110V非常用予備充電器E
		GA-E-K011A 非常用電気設備リレー盤A1	GA-E-K013B 非常用電気設備リレー盤B1
		GA-E-K012A 非常用電気設備リレー盤A2	GA-E-K014B 非常用電気設備リレー盤B2
		8111A-V40 燃料油貯蔵タンク1A	8111B-V40 燃料油貯蔵タンク1B
		8111A-V41 燃料油貯蔵タンク2A	8111B-V41 燃料油貯蔵タンク2B
		GA-E-M011A 第2非常用ディーゼル発電機A制御盤	GA-E-M012B 第2非常用ディーゼル発電機B制御盤
		GA-PTR-A 非常用動力用変圧器A	GA-PTR-B 非常用動力用変圧器B
		8111A-V42 燃料油サービスタングA	8111B-V42 燃料油サービスタングB
		8111A-F4210 燃料油第1フィルタA	8111B-F4210 燃料油第1フィルタB
		8111A-F4230 燃料油第2フィルタA	8111B-F4230 燃料油第2フィルタB
		GA-E-S011A 第2非常用ディーゼル発電機ターニング現場盤A	GA-E-S012B 第2非常用ディーゼル発電機ターニング現場盤B
		GA-E-U011A 第2非常用ディーゼル発電機CT盤A	GA-E-U012B 第2非常用ディーゼル発電機CT盤B
		GA-I-K011A ユーティリティ工程 安全系A制御盤(リレー盤)	GA-I-K012B ユーティリティ工程 安全系B制御盤(リレー盤)
制御建屋の電気設備		AG-M/C-A 6.9kV非常用メタグラ	AG-M/C-B 6.9kV非常用メタグラB
		AG-P/C-A 460V非常用パワーセンタ	AG-P/C-B 460V非常用パワーセンタB
		AG-MCC-A1 460V非常用コントロールセンタA1	AG-MCC-B1 460V非常用コントロールセンタB1
		AG-MCC-A2 460V非常用コントロールセンタA2	AG-MCC-B2 460V非常用コントロールセンタB2
		AG-I-F201A 前処理建屋 安全系A監視制御盤	AG-I-F202B 前処理建屋 安全系B監視制御盤
		AG-I-F203A 分離建屋 安全系A監視制御盤	AG-I-F204B 分離建屋 安全系B監視制御盤
		AG-I-F205A 精製建屋 安全系A監視制御盤	AG-I-F206B 精製建屋 安全系B監視制御盤
		AG-I-F211A フラン・フルトウム混合脱硝建屋 安全系A監視制御盤	AG-I-F212B フラン・フルトウム混合脱硝建屋 安全系B監視制御盤
		AG-I-F213A 高レベル廃液ガラス固化建屋 安全系A監視制御盤	AG-I-F214B 高レベル廃液ガラス固化建屋 安全系B監視制御盤
		AG-BAT-A1 110V第2非常用蓄電池A1	AG-BAT-B1 110V第2非常用蓄電池B1
		AG-BAT-A2 220V第2非常用蓄電池A2	AG-BAT-B2 220V第2非常用蓄電池B2
		AG-CHG-A 110V非常用充電器A	AG-CHG-B 110V非常用充電器B
		AG-CHG-E 110V非常用予備充電器E	AG-CHG-E 110V非常用予備充電器E
		AG-DCD-A 110V非常用直流主分電盤A	AG-DCD-B 110V非常用直流主分電盤B
		AG-UPS-A 105V非常用無停電電源装置A	AG-UPS-B 105V非常用無停電電源装置B
		AG-UPD-A 105V非常用無停電交流主分電盤A	AG-UPD-B 105V非常用無停電交流主分電盤B
前処理建屋の電気設備		AA-M/C-A 6.9kV非常用メタグラ	AA-M/C-B 6.9kV非常用メタグラB
		AA-P/C-A 460V非常用パワーセンタ	AA-P/C-B 460V非常用パワーセンタB
		AA-MCC-A1 460V非常用コントロールセンタA1	AA-MCC-B1 460V非常用コントロールセンタB1
		AA-MCC-A2 460V非常用コントロールセンタA2	AA-MCC-B2 460V非常用コントロールセンタB2
		AA-MCC-A3 460V非常用コントロールセンタA3	
		AA-BAT-A 110V第2非常用蓄電池A	AA-BAT-B 110V第2非常用蓄電池B
		AA-CHG-A 110V非常用充電器A	AA-CHG-B 110V非常用充電器B
		AA-CHG-E 110V非常用予備充電器E	AA-CHG-E 110V非常用予備充電器E
		AA-DCD-A 110V非常用直流主分電盤A	AA-DCD-B 110V非常用直流主分電盤B
		AA-UPS-A 105V非常用無停電電源装置A	AA-UPS-B 105V非常用無停電電源装置B
		AA-UPD-A 105V非常用無停電交流主分電盤A	AA-UPD-B 105V非常用無停電交流主分電盤B
		AA-I-M171A 圧縮空気設備 安全空気脱濁装置A現場監視制御盤	AA-I-M172B 圧縮空気設備 安全空気脱濁装置B現場監視制御盤
		AA-I-M166A 圧縮空気設備 安全空気圧縮装置A現場監視制御盤	AA-I-M167B 圧縮空気設備 安全空気圧縮装置B現場監視制御盤
		AA-I-M176A 圧縮空気設備 安全空気圧縮装置C現場制御回路分離盤A	AA-I-M177B 圧縮空気設備 安全空気圧縮装置C現場制御回路分離盤B
		AA-I-M169C 圧縮空気設備 安全空気圧縮装置C現場制御電源切替盤	AA-I-M169C 圧縮空気設備 安全空気圧縮装置C現場制御電源切替盤
		AA-I-M168C 圧縮空気設備 安全空気圧縮装置C現場監視制御盤	AA-I-M168C 圧縮空気設備 安全空気圧縮装置C現場監視制御盤
		AA-I-K701A よう素除去工程排風機A制御盤	AA-I-K702B よう素除去工程排風機B制御盤
		AA-I-K703C よう素除去工程排風機C制御盤	AA-I-K703C よう素除去工程排風機C制御盤
		AA-I-X710C よう素除去工程 C系統電源切替盤	AA-I-X710C よう素除去工程 C系統電源切替盤
		AA-I-1012A ユーティリティ工程 安全系A制御盤1(リレー盤2)	AA-I-1062B ユーティリティ工程 安全系B制御盤1(リレー盤2)
		AA-I-1013A ユーティリティ工程 安全系A制御盤2(リレー盤3)	AA-I-1063B ユーティリティ工程 安全系B制御盤2(リレー盤3)
		AA-I-1031A よう素除去工程 安全系A制御盤1	AA-I-1081B よう素除去工程 安全系B制御盤1
		AA-I-1032A よう素除去工程 安全系A制御盤2	AA-I-1082B よう素除去工程 安全系B制御盤2
		AA-I-1033A よう素除去工程 安全系A制御盤3	AA-I-1083B よう素除去工程 安全系B制御盤3
		AA-LPD-A2 溶解槽セルA排風機A極数変換盤	AA-LPD-B2 溶解槽セルA排風機B極数変換盤
		AA-LPD-A3 溶解槽セルB排風機A極数変換盤	AA-LPD-B3 溶解槽セルB排風機B極数変換盤
		AA-LPD-A21 セル排風機A極数変換盤	AA-LPD-B21 セル排風機B極数変換盤
分離建屋の非常用所内電源系統		AB-P/C-A 460V非常用パワーセンタ	AB-P/C-B 460V非常用パワーセンタB
		AB-MCC-A 460V非常用コントロールセンタ	AB-MCC-B 460V非常用コントロールセンタB
		AB-CHG-A 110V非常用充電器A	AB-CHG-B 110V非常用充電器B
		AB-CHG-E 110V非常用予備充電器E	AB-CHG-E 110V非常用予備充電器E
		AB-BAT-A 110V第2非常用蓄電池A	AB-BAT-B 110V第2非常用蓄電池B
		AB-DCD-A 110V非常用直流主分電盤A	AB-DCD-B 110V非常用直流主分電盤B
		AB-UPS-A 105V非常用無停電電源装置A	AB-UPS-B 105V非常用無停電電源装置B
		AB-UPD-A1 105V非常用無停電交流主分電盤A1	AB-UPD-B1 105V非常用無停電交流主分電盤A1
		AB-UPD-A2 105V非常用無停電交流主分電盤A2	AB-UPD-B2 105V非常用無停電交流主分電盤A2
		AB-I-1180A ユーティリティ工程 安全系A制御盤1	AB-I-1183B ユーティリティ工程 安全系B制御盤1
		AB-I-1181A ユーティリティ工程 安全系A制御盤2	AB-I-1184B ユーティリティ工程 安全系B制御盤2
		AB-I-1182A ユーティリティ工程 安全系A制御盤3	AB-I-1185B ユーティリティ工程 安全系B制御盤3
		AB-I-1033A 分離・分配工程 安全系A制御盤1	AB-I-1036B 分離・分配工程 安全系B制御盤1
		AB-I-1034A 分離・分配工程 安全系A制御盤2	AB-I-1037B 分離・分配工程 安全系B制御盤2
		AB-I-1035A 分離・分配工程 安全系A制御盤3	AB-I-1038B 分離・分配工程 安全系B制御盤3
		AB-V-1100A 建屋換気設備 安全系A制御盤	AB-V-1101B 建屋換気設備 安全系B制御盤
-			
1パス		-	
回路評価等		-	
成功パス		-	

再処理施設成功パス一覧表

4.支援機能(続き)		[A]レン設備	[B]レン設備
精製建屋の電気設備		AC-BAT-A 110V第2非常用蓄電池A AC-CHG-A 110V非常用充電器盤A AC-CHG-E 110V非常用予備充電器盤E AC-D-DCD-A 110V非常用直流主分電盤A AC-MCC-A1 460V非常用コントロールセンタA1 AC-MCC-A2 460V非常用コントロールセンタA2 AC-P/C-A 460V非常用パワーセンタA AC-UPD-A 105V非常用無停電交流主分電盤A AC-UPS-A 105V非常用無停電電源装置A AC-I-1450A ユーティリティ工程 安全系A制御盤(計器盤) AC-I-1451A ユーティリティ工程 安全系A制御盤(リレー盤) AC-E-1452A 非常用電気設備リレー盤A AC-V-1453A 建屋換気設備安全系A制御盤 AC-I-1752A プルトニウム精製工程 安全系A 制御盤3	AC-BAT-B 110V第2非常用蓄電池B AC-CHG-B 110V非常用充電器盤B AC-CHG-E 110V非常用予備充電器盤E AC-D-DCD-B 110V非常用直流主分電盤B AC-MCC-B1 460V非常用コントロールセンタB1 AC-MCC-B2 460V非常用コントロールセンタB2 AC-P/C-B 460V非常用パワーセンタB AC-UPD-B 105V非常用無停電交流主分電盤B AC-UPS-B 105V非常用無停電電源装置B AC-I-1460B ユーティリティ工程 安全系B制御盤(計器盤) AC-I-1461B ユーティリティ工程 安全系B制御盤(リレー盤) AC-E-1462B 非常用電気設備リレー盤B AC-V-1463B 建屋換気設備安全系B制御盤 AC-I-1755B プルトニウム精製工程 安全系B 制御盤3
ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋の非常用所内電源系統		CA-P/C-A 460V非常用パワーセンタA CA-MCC-A1 460V非常用コントロールセンタA1 CA-MCC-A2 460V非常用コントロールセンタA2 CA-M/C-A 6.9kV非常用メタグラ CA-E-K503A 非常用電気設備リレー盤A CA-I-1501A 安全系A制御盤 CA-V-1502A 建屋換気設備安全系A制御盤 CA-CHG-A 110V非常用充電器盤A CA-CHG-E 110V非常用予備充電器盤E CA-D-DCD-A 110V非常用直流主分電盤A CA-UPD-A 105V非常用無停電交流主分電盤A CA-UPS-A 105V非常用無停電電源装置A CA-BAT-A 110V第2非常用蓄電池A	CA-P/C-B 460V非常用パワーセンタB CA-MCC-B1 460V非常用コントロールセンタB1 CA-MCC-B2 460V非常用コントロールセンタB2 CA-M/C-B 6.9kV非常用メタグラB CA-E-K603B 非常用電気設備リレー盤B CA-I-1601B 安全系B制御盤 CA-V-1602B 建屋換気設備安全系B制御盤 CA-CHG-B 110V非常用充電器盤B CA-CHG-E 110V非常用予備充電器盤E CA-D-DCD-B 110V非常用直流主分電盤B CA-UPD-B 105V非常用無停電交流主分電盤B CA-UPS-B 105V非常用無停電電源装置B CA-BAT-B 110V第2非常用蓄電池B
ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋の非常用所内電源系統		CB-P/C-A 460V非常用パワーセンタA CB-E-1101A 非常用電気設備リレー盤A CA-V-1001A 建屋換気設備安全系A制御盤 CB-BAT-A 110V第2非常用蓄電池A CB-CHG-A 110V非常用充電器盤A CB-D-DCD-A 110V非常用直流主分電盤A CB-MCC-A 460V非常用コントロールセンタA CB-UPS-A 105V非常用無停電電源装置A CB-CHG-E 110V非常用予備充電器盤E	CB-P/C-B 460V非常用パワーセンタB CB-E-1102B 非常用電気設備リレー盤B CA-V-1002B 建屋換気設備安全系B制御盤 CB-BAT-B 110V第2非常用蓄電池B CB-CHG-B 110V非常用充電器盤B CB-D-DCD-B 110V非常用直流主分電盤B CB-MCC-B 460V非常用コントロールセンタB CB-UPS-B 105V非常用無停電電源装置B CB-CHG-E 110V非常用予備充電器盤E
高レベル廃液ガラス固化建屋の電気設備		KA-P/C-A 460V非常用パワーセンタA KA-BAT-A 110V第2非常用蓄電池A KA-CHG-A 110V非常用充電器盤A KA-CHG-E 110V非常用予備充電器盤E KA-D-DCD-A 110V非常用直流主分電盤A KA-UPS-A 105V非常用無停電電源装置A KA-UPD-A 105V非常用無停電交流主分電盤A KA-ACS-A 105V非常用計測交流電源盤A KA-ACD-A 105V非常用計測交流主分電盤A KA-MCC-A1 460V非常用コントロールセンタA1 KA-MCC-A2 460V非常用コントロールセンタA2 KA-I-K224A 高レベル廃液ガラス固化廃ガス処理設備第1排風機A安全系Aインバータ制御盤 KA-I-K226A 高レベル廃液ガラス固化廃ガス処理設備第2排風機A安全系Aインバータ制御盤 KA-I-K073A 固化セル換気系排風機A安全系Aインバータ制御盤 KA-E-K001A 非常用電気設備リレー盤A KA-I-1501A 高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系A制御盤1 KA-I-1502A 高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系A制御盤2 KA-I-1503A 高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系A制御盤3 KA-I-1504A 高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系A制御盤4 KA-I-1505A 高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系A制御盤5 KA-I-1506A 高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系A制御盤6 KA-I-1507A 高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系A制御盤7 KA-I-1508A 高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系A制御盤8 KA-I-1511A 安全系A アレスタ盤 KA-I-1512A 高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系A制御盤(リレー盤1) KA-I-1513A 高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系A制御盤(リレー盤2) KA-I-1514A 高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系A制御盤(リレー盤3) KA-I-M331A 冷凍機 安全系A監視制御盤 KA-I-K334A 冷却水・冷水設備 安全系A 制御盤1 KA-I-K335A 冷却水・冷水設備 安全系A 制御盤2	KA-P/C-B 460V非常用パワーセンタB KA-BAT-B 110V第2非常用蓄電池B KA-CHG-B 110V非常用充電器盤B KA-CHG-E 110V非常用予備充電器盤E KA-D-DCD-B 110V非常用直流主分電盤B KA-UPS-B 105V非常用無停電電源装置B KA-UPD-B 105V非常用無停電交流主分電盤B KA-ACS-B 105V非常用計測交流電源盤B KA-ACD-B 105V非常用計測交流主分電盤B KA-MCC-B1 460V非常用コントロールセンタB1 KA-MCC-B2 460V非常用コントロールセンタB2 KA-I-K225B 高レベル廃液ガラス固化廃ガス処理設備第1排風機B安全系Bインバータ制御盤 KA-I-K227B 高レベル廃液ガラス固化廃ガス処理設備第2排風機B安全系Bインバータ制御盤 KA-I-K074B 固化セル換気系排風機B安全系Bインバータ制御盤 KA-E-K002B 非常用電気設備リレー盤B KA-I-1521B 高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系B制御盤1 KA-I-1522B 高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系B制御盤2 KA-I-1523B 高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系B制御盤3 KA-I-1524B 高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系B制御盤4 KA-I-1525B 高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系B制御盤5 KA-I-1526B 高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系B制御盤6 KA-I-1527B 高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系B制御盤7 KA-I-1528B 高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系B制御盤8 KA-I-1531B 安全系B アレスタ盤 KA-I-1532B 高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系B制御盤(リレー盤1) KA-I-1533B 高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系B制御盤(リレー盤2) KA-I-1534B 高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系B制御盤(リレー盤3) KA-I-M322B 冷凍機 安全系B監視制御盤 KA-I-K338B 冷却水・冷水設備 安全系B 制御盤1 KA-I-K339B 冷却水・冷水設備 安全系B 制御盤2
-			
1パス		-	-
回路評価等		-	-
成功パス		-	-

火災区域(区画)特性表

1. 火災区域(区画)の説明

建屋名	精製建屋
火災区域/区画区分	火災区画
火災区域/区画番号	■
火災区域/区画名称	サンプリングベンチ制御盤室
床面積(m ²)	■

2. 火災区域(区画)の火災シナリオの説明

■は、精製建屋内の火災区画である。
 本区画は、電気盤火災または、ケーブルトレイ火災の発生の可能性があるが、安全上重要な施設が設置されていないため、安全機能の喪失のおそれはない。

3. 火災区域(区画)にある火災源

(1) 等価時間

発熱量(kJ)	火災荷重(kJ/m ²)	等価時間(h) [※]
■	■	0.5

※ 等価時間は、内部火災影響評価ガイドの等価時間記載の値で示す。

(2) 火災区域(区画)にある火災源機器数

火災源	機器数
電動機(3.7kW超)	-
電気盤(440V以上)	9
ケーブルトレイ(ケーブル)	有
油脂類・有機溶媒等	-
その他	-

4. 火災区域(区画)にある防火設備

火災感知の手段	主要な消火設備	消火方法	消火設備のバックアップ
煙感知器	二酸化炭素消火器	手動	粉末消火器

5. 火災区域(区画)に隣接する火災区域(区画)と火災伝播経路

隣接火災区画への火災伝播経路の詳細は、別紙1参照

6. 火災影響を受ける火災防護対象機器等

機器名称[機器番号]	最重要設備 [※]	最重要設備以外の安全上重要な施設 [※]
-	-	-

※ ○:対象 -:非対象

* 火災想定において、工程停止等により安全機能を必要としない状態へと移行が可能なもの。

7. 火災防護対象機器等の関連ケーブル

機器名称[機器番号]	ケーブル種別	安重分類
-	-	-

8. 最重要設備の安重機能への火災影響

安重分類	全焼時の成功パスの有無	回路評価等の考慮	結果	系統分離※
Pu・高レベル廃棄物の閉じ込め機能	-	-	-	-
崩壊熱除去機能(重要度の高いもの)	-	-	-	-
安全圧縮空気系(水素掃気機能)	-	-	-	-
非常用所内電源系統	-	-	-	-

※ a : 3時間以上の耐火能力を有する耐火壁で分離

b : 水平距離6mによる分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置

c : 1時間の耐火能力を有する隔壁等による分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置
再処理施設成功パスの詳細は、別紙2参照

9. 最重要設備以外の火災防護対象機器等への火災影響

機器名称[機器番号]	当該区画の火災評価※	隣接区画の火災評価※
-	-	-

※ ○:火災影響なし ×:火災影響あり

隣接する火災区画と火災伝播経路

(※ 有:伝播する 無:伝播しない)

隣接する 火災区画	火災伝播 経路有無	等価時間 (h)	耐火時間 (h)	火災伝播の 可能性 ※	備考
	無	0.5	1.0	無	
	無	0.5	1.0	無	
	有	0.5	0.0	有	
	無	0.5	3.0	無	

火災区域(区画)特性表

1. 火災区域(区画)の説明

建屋名	精製建屋
火災区域/区画区分	火災区画
火災区域/区画番号	■
火災区域/区画名称	回収水凝縮器A室
床面積(m ²)	■

2. 火災区域(区画)の火災シナリオの説明

■は、精製建屋内の火災区画である。
 本区画は、火災源となるものがないおよび安全上重要な施設が設置されていないため、安全機能の喪失のおそれはない。

3. 火災区域(区画)にある火災源

(1) 等価時間

発熱量(kJ)	火災荷重(kJ/m ²)	等価時間(h) [※]
■	■	0.5

※ 等価時間は、内部火災影響評価ガイドの等価時間記載の値で示す。

(2) 火災区域(区画)にある火災源機器数

火災源	機器数
電動機(3.7kW超)	-
電気盤(440V以上)	-
ケーブルトレイ(ケーブル)	-
油脂類・有機溶媒等	-
その他	-

4. 火災区域(区画)にある防火設備

火災感知の手段	主要な消火設備	消火方法	消火設備のバックアップ
煙感知器	屋内消火栓	手動	粉末消火器

5. 火災区域(区画)に隣接する火災区域(区画)と火災伝播経路

隣接火災区画への火災伝播経路の詳細は、別紙1参照

6. 火災影響を受ける火災防護対象機器等

機器名称[機器番号]	最重要設備 [※]	最重要設備以外の安全上重要な施設 [※]
-	-	-

※ ○:対象 -:非対象

* 火災想定において、工程停止等により安全機能を必要としない状態へと移行が可能なもの。

7. 火災防護対象機器等の関連ケーブル

機器名称[機器番号]	ケーブル種別	安重分類
-	-	-

8. 最重要設備の安重機能への火災影響

安重分類	全焼時の成功パスの有無	回路評価等の考慮	結果	系統分離※
Pu・高レベル廃棄物の閉じ込め機能	-	-	-	-
崩壊熱除去機能(重要度の高いもの)	-	-	-	-
安全圧縮空気系(水素掃気機能)	-	-	-	-
非常用所内電源系統	-	-	-	-

※ a : 3時間以上の耐火能力を有する耐火壁で分離

b : 水平距離6mによる分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置

c : 1時間の耐火能力を有する隔壁等による分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置
再処理施設成功パスの詳細は、別紙2参照

9. 最重要設備以外の火災防護対象機器等への火災影響

機器名称[機器番号]	当該区画の火災評価※	隣接区画の火災評価※
-	-	-

※ ○:火災影響なし ×:火災影響あり

隣接する火災区画と火災伝播経路

(※ 有:伝播する 無:伝播しない)

隣接する 火災区画	火災伝播 経路有無	等価時間 (h)	耐火時間 (h)	火災伝播の 可能性 ※	備考
	無	0.5	3.0	無	
	有	0.5	0.0	有	
	無	0.5	1.0	無	
	有	0.5	0.0	有	
	無	0.5	3.0	無	
	有	0.5	0.0	有	
	無	0.5	3.0	無	

火災区域(区画)特性表

1. 火災区域(区画)の説明

建屋名	精製建屋
火災区域/区画区分	火災区画
火災区域/区画番号	■
火災区域/区画名称	除染分配第1室
床面積(m ²)	■

2. 火災区域(区画)の火災シナリオの説明

■は、精製建屋内の火災区画である。
 本区画は、ケーブルトレイ火災の発生可能性があるが、安全上重要な施設が設置されていないため、安全機能の喪失のおそれはない。

3. 火災区域(区画)にある火災源

(1) 等価時間

発熱量(kJ)	火災荷重 (kJ/m ²)	等価時間(h) [※]
■	■	0.5

※ 等価時間は、内部火災影響評価ガイドの等価時間記載の値で示す。

(2) 火災区域(区画)にある火災源機器数

火災源	機器数
電動機(3.7kW超)	-
電気盤(440V以上)	-
ケーブルトレイ(ケーブル)	有
油脂類・有機溶媒等	-
その他	-

4. 火災区域(区画)にある防火設備

火災感知の手段	主要な消火設備	消火方法	消火設備のバックアップ
煙感知器	屋内消火栓	手動	粉末消火器

5. 火災区域(区画)に隣接する火災区域(区画)と火災伝播経路

隣接火災区画への火災伝播経路の詳細は、別紙1参照

6. 火災影響を受ける火災防護対象機器等

機器名称[機器番号]	最重要設備 [※]	最重要設備以外の安全上重要な施設 [※]
-	-	-

※ ○:対象 -:非対象

* 火災想定において、工程停止等により安全機能を必要としない状態へと移行が可能なもの。

7. 火災防護対象機器等の関連ケーブル

機器名称[機器番号]	ケーブル種別	安重分類
-	-	-

8. 最重要設備の安重機能への火災影響

安重分類	全焼時の成功パスの有無	回路評価等の考慮	結果	系統分離※
Pu・高レベル廃棄物の閉じ込め機能	-	-	-	-
崩壊熱除去機能(重要度の高いもの)	-	-	-	-
安全圧縮空気系(水素掃気機能)	-	-	-	-
非常用所内電源系統	-	-	-	-

※ a : 3時間以上の耐火能力を有する耐火壁で分離

b : 水平距離6mによる分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置

c : 1時間の耐火能力を有する隔壁等による分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置
再処理施設成功パスの詳細は、別紙2参照

9. 最重要設備以外の火災防護対象機器等への火災影響

機器名称[機器番号]	当該区画の火災評価※	隣接区画の火災評価※
-	-	-

※ ○:火災影響なし ×:火災影響あり

隣接する火災区画と火災伝播経路

(※ 有:伝播する 無:伝播しない)

隣接する 火災区画	火災伝播 経路有無	等価時間 (h)	耐火時間 (h)	火災伝播の 可能性 ※	備考
	無	0.5	3.0	無	
	有	0.5	0.0	有	
	有	0.5	0.0	有	
	無	0.5	3.0	無	
	有	0.5	0.0	有	
	有	0.5	0.0	有	
	無	0.5	3.0	無	
	有	0.5	0.0	有	

火災区域(区画)特性表

1. 火災区域(区画)の説明

建屋名	精製建屋
火災区域/区画区分	火災区画
火災区域/区画番号	■
火災区域/区画名称	試薬設備第7室
床面積(m ²)	■

2. 火災区域(区画)の火災シナリオの説明

■は、精製建屋内の火災区画である。
 本区画は、火災源となるものがないおよび安全上重要な施設が設置されていないため、安全機能の喪失のおそれはない。

3. 火災区域(区画)にある火災源

(1) 等価時間

発熱量(kJ)	火災荷重 (kJ/m ²)	等価時間(h) [※]
■	■	0.5

※ 等価時間は、内部火災影響評価ガイドの等価時間記載の値で示す。

(2) 火災区域(区画)にある火災源機器数

火災源	機器数
電動機(3.7kW超)	-
電気盤(440V以上)	-
ケーブルトレイ(ケーブル)	-
油脂類・有機溶媒等	-
その他	-

4. 火災区域(区画)にある防火設備

火災感知の手段	主要な消火設備	消火方法	消火設備のバックアップ
煙感知器	水噴霧消火設備 屋内消火栓	手動	強化液消火器

5. 火災区域(区画)に隣接する火災区域(区画)と火災伝播経路

隣接火災区画への火災伝播経路の詳細は、別紙1参照

6. 火災影響を受ける火災防護対象機器等

機器名称[機器番号]	最重要設備 [※]	最重要設備以外の安全上重要な施設 [※]
-	-	-

※ ○:対象 -:非対象

* 火災想定において、工程停止等により安全機能を必要としない状態へと移行が可能なもの。

7. 火災防護対象機器等の関連ケーブル

機器名称[機器番号]	ケーブル種別	安重分類
-	-	-

8. 最重要設備の安重機能への火災影響

安重分類	全焼時の成功パスの有無	回路評価等の考慮	結果	系統分離※
Pu・高レベル廃棄物の閉じ込め機能	-	-	-	-
崩壊熱除去機能(重要度の高いもの)	-	-	-	-
安全圧縮空気系(水素掃気機能)	-	-	-	-
非常用所内電源系統	-	-	-	-

※ a : 3時間以上の耐火能力を有する耐火壁で分離

b : 水平距離6mによる分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置

c : 1時間の耐火能力を有する隔壁等による分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置
再処理施設成功パスの詳細は、別紙2参照

9. 最重要設備以外の火災防護対象機器等への火災影響

機器名称[機器番号]	当該区画の火災評価※	隣接区画の火災評価※
-	-	-

※ ○:火災影響なし ×:火災影響あり

隣接する火災区画と火災伝播経路

(※ 有:伝播する 無:伝播しない)

隣接する 火災区画	火災伝播 経路有無	等価時間 (h)	耐火時間 (h)	火災伝播の 可能性 ※	備考
	無	0.5	3.0	無	
	有	0.5	0.0	有	
	無	0.5	3.0	無	
	無	0.5	3.0	無	
	無	0.5	3.0	無	
	無	0.5	3.0	無	
	無	0.5	3.0	無	
	無	0.5	3.0	無	

火災区域(区画)特性表

1. 火災区域(区画)の説明

建屋名	精製建屋
火災区域/区画区分	火災区画
火災区域/区画番号	■
火災区域/区画名称	冷却コイル室
床面積(m ²)	■

2. 火災区域(区画)の火災シナリオの説明

■は、精製建屋内の火災区画である。
 本区画は、火災源となるものがないおよび安全上重要な施設が設置されていないため、安全機能の喪失のおそれはない。

3. 火災区域(区画)にある火災源

(1) 等価時間

発熱量(kJ)	火災荷重(kJ/m ²)	等価時間(h) [※]
■	■	0.0

※ 等価時間は、内部火災影響評価ガイドの等価時間記載の値で示す。

(2) 火災区域(区画)にある火災源機器数

火災源	機器数
電動機(3.7kW超)	-
電気盤(440V以上)	-
ケーブルトレイ(ケーブル)	-
油脂類・有機溶媒等	-
その他	-

4. 火災区域(区画)にある防火設備

火災感知の手段	主要な消火設備	消火方法	消火設備のバックアップ
設置除外	屋内消火栓	手動	粉末消火器

5. 火災区域(区画)に隣接する火災区域(区画)と火災伝播経路

隣接火災区画への火災伝播経路の詳細は、別紙1参照

6. 火災影響を受ける火災防護対象機器等

機器名称[機器番号]	最重要設備 [※]	最重要設備以外の安全上重要な施設 [※]
-	-	-

※ ○:対象 -:非対象

* 火災想定において、工程停止等により安全機能を必要としない状態へと移行が可能なもの。

7. 火災防護対象機器等の関連ケーブル

機器名称[機器番号]	ケーブル種別	安重分類
-	-	-

8. 最重要設備の安重機能への火災影響

安重分類	全焼時の 成功パスの 有無	回路評価 等の考慮	結果	系統分離※
Pu・高レベル廃棄物の閉じ込め機能	-	-	-	-
崩壊熱除去機能(重要度の高いもの)	-	-	-	-
安全圧縮空気系(水素掃気機能)	-	-	-	-
非常用所内電源系統	-	-	-	-

※ a : 3時間以上の耐火能力を有する耐火壁で分離

b : 水平距離6mによる分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置

c : 1時間の耐火能力を有する隔壁等による分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置
再処理施設成功パスの詳細は、別紙2参照

9. 最重要設備以外の火災防護対象機器等への火災影響

機器名称[機器番号]	当該区画の火災評価※	隣接区画の火災評価※
-	-	-

※ ○:火災影響なし ×:火災影響あり

隣接する火災区画と火災伝播経路

(※ 有:伝播する 無:伝播しない)

隣接する 火災区画	火災伝播 経路有無	等価時間 (h)	耐火時間 (h)	火災伝播の 可能性 ※	備考
	無	0.0	3.0	無	
	無	0.0	3.0	無	
	無	0.0	3.0	無	
	無	0.0	3.0	無	
	有	0.0	0.0	無	
	無	0.0	1.0	無	
	無	0.0	1.0	無	
	無	0.0	1.0	無	

火災区域(区画)特性表

1. 火災区域(区画)の説明

建屋名	精製建屋
火災区域/区画区分	火災区画
火災区域/区画番号	■
火災区域/区画名称	エアロック第3室
床面積(m ²)	■

2. 火災区域(区画)の火災シナリオの説明

■は、精製建屋内の火災区画である。
 本区画の火災源は、ケーブルトレイである。
 したがって、本区画の想定火災としては、ケーブルトレイ火災により、安全上重要な施設のB系の設備(6.火災影響を受ける火災防護対象機器等 参照)が火災影響を受け、安全機能が喪失するおそれがあるが、多重化された安全上重要な施設の片系のみの機能喪失であるため、安全機能が完全に喪失することはない。

3. 火災区域(区画)にある火災源

(1) 等価時間

発熱量(kJ)	火災荷重 (kJ/m ²)	等価時間(h) [※]
■	■	0.5

※ 等価時間は、内部火災影響評価ガイドの等価時間記載の値で示す。

(2) 火災区域(区画)にある火災源機器数

火災源	機器数
電動機(3.7kW超)	-
電気盤(440V以上)	-
ケーブルトレイ(ケーブル)	有
油脂類・有機溶媒等	-
その他	-

4. 火災区域(区画)にある防火設備

火災感知の手段	主要な消火設備	消火方法	消火設備のバックアップ
煙感知器 熱感知器	ハロゲン化物消火 設備(全域)	自動	粉末消火器

5. 火災区域(区画)に隣接する火災区域(区画)と火災伝播経路

隣接火災区画への火災伝播経路の詳細は、別紙1参照

6. 火災影響を受ける火災防護対象機器等

機器名称[機器番号]	最重要設備 [※]	最重要設備以外の 安全上重要な施設 [※]
安重ケーブルトレイ[B系]	○	○

※ ○:対象 -:非対象

* 火災想定において、工程停止等により安全機能を必要としない状態へと移行が可能なもの。

7. 火災防護対象機器等の関連ケーブル

機器名称[機器番号]	ケーブル種別	安重分類
グローブボックス・セル排風機B []	制御、動力(低圧)	Pu・高レベルの廃棄物の閉じ込め機能
460V非常用パワーセンタB[AC-P/C-B]	動力(低圧)	非常用所内電源系統
安全冷却水BポンプA []	制御、動力(低圧)	崩壊熱除去機能(重要度の高いもの)
安全冷却水BポンプB []	制御、動力(低圧)	崩壊熱除去機能(重要度の高いもの)
排風機B []	制御、動力(低圧)	Pu・高レベルの廃棄物の閉じ込め機能
排風機B []	制御、動力(低圧)	Pu・高レベルの廃棄物の閉じ込め機能
460V非常用コントロールセンタB1[AC-MCC-B1]	制御	非常用所内電源系統
460V非常用コントロールセンタB2[AC-MCC-B2]	制御	非常用所内電源系統

8. 最重要設備の安重機能への火災影響

安重分類	全焼時の成功パスの有無	回路評価等の考慮	結果	系統分離 [※]
Pu・高レベル廃棄物の閉じ込め機能	有	-	○	-
崩壊熱除去機能(重要度の高いもの)	有	-	○	-
安全圧縮空気系(水素掃気機能)	-	-	-	-
非常用所内電源系統	有	-	○	-

※ a : 3時間以上の耐火能力を有する耐火壁で分離

b : 水平距離6mによる分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置

c : 1時間の耐火能力を有する隔壁等による分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置

再処理施設成功パスの詳細は、別紙2参照

9. 最重要設備以外の火災防護対象機器等への火災影響

機器名称[機器番号]	当該区画の火災評価 [※]	隣接区画の火災評価 [※]
-	-	-

※ ○:火災影響なし ×:火災影響あり

隣接する火災区画と火災伝播経路

(※ 有:伝播する 無:伝播しない)

隣接する 火災区画	火災伝播 経路有無	等価時間 (h)	耐火時間 (h)	火災伝播の 可能性 ※	備考
	無	0.5	3.0	無	
	無	0.5	3.0	無	
	無	0.5	3.0	無	
	無	0.5	3.0	無	
	無	0.5	3.0	無	
	無	0.5	3.0	無	
	無	0.5	3.0	無	
	無	0.5	3.0	無	

再処理施設成功パス一覧表

建屋	精製建屋	エアロック第3室
区域(区画)番号/名称		
1.放射性物質の閉じ込め機能(動的な閉じ込め機能)		
	【A(レン設備)】	【B(レン設備)】
前処理建屋 非断処理・溶解廃ガス処理設備	前処理建屋 非断処理・溶解廃ガス処理設備	前処理建屋 非断処理・溶解廃ガス処理設備
非風機A	非風機B	非風機B
非風機C	非風機C	非風機C
前処理建屋 塔槽類廃ガス処理設備	前処理建屋 塔槽類廃ガス処理設備	前処理建屋 塔槽類廃ガス処理設備
非風機A	非風機B	非風機B
前処理建屋換気設備 溶解セル等からの排気系	前処理建屋換気設備 溶解セル等からの排気系	前処理建屋換気設備 溶解セル等からの排気系
セル排風機A	セル排風機B	セル排風機B
溶解槽セルA排風機A	溶解槽セルA排風機B	溶解槽セルA排風機B
溶解槽セルB排風機A	溶解槽セルB排風機B	溶解槽セルB排風機B
高レベル廃液ガラス固化建屋 高レベル廃液ガラス固化廃ガス処理設備	高レベル廃液ガラス固化建屋 高レベル廃液ガラス固化廃ガス処理設備	高レベル廃液ガラス固化建屋 高レベル廃液ガラス固化廃ガス処理設備
第1排風機A	第1排風機B	第1排風機B
第2排風機A	第2排風機B	第2排風機B
高レベル廃液ガラス固化建屋 塔槽類廃ガス処理設備 高レベル濃縮廃液廃ガス処理系	高レベル廃液ガラス固化建屋 塔槽類廃ガス処理設備 高レベル濃縮廃液廃ガス処理系	高レベル廃液ガラス固化建屋 塔槽類廃ガス処理設備 高レベル濃縮廃液廃ガス処理系
非風機A	非風機B	非風機B
高レベル廃液ガラス固化建屋 塔槽類廃ガス処理設備 不溶解残渣廃液廃ガス処理系	高レベル廃液ガラス固化建屋 塔槽類廃ガス処理設備 不溶解残渣廃液廃ガス処理系	高レベル廃液ガラス固化建屋 塔槽類廃ガス処理設備 不溶解残渣廃液廃ガス処理系
非風機A	非風機B	非風機B
高レベル濃縮廃液貯槽セル等からの排気系 固化セル換気系及び固化セル圧力放出系	高レベル濃縮廃液貯槽セル等からの排気系 固化セル換気系及び固化セル圧力放出系	高レベル濃縮廃液貯槽セル等からの排気系 固化セル換気系及び固化セル圧力放出系
セル排風機A	セル排風機B	セル排風機B
固化セル換気系排風機A	固化セル換気系排風機B	固化セル換気系排風機B
分離建屋 塔槽類廃ガス処理設備 バルセータ廃ガス処理系	分離建屋 塔槽類廃ガス処理設備 バルセータ廃ガス処理系	分離建屋 塔槽類廃ガス処理設備 バルセータ廃ガス処理系
非風機A	非風機B	非風機B
分離建屋 塔槽類廃ガス処理設備 塔槽類廃ガス処理系	分離建屋 塔槽類廃ガス処理設備 塔槽類廃ガス処理系	分離建屋 塔槽類廃ガス処理設備 塔槽類廃ガス処理系
非風機A	非風機B	非風機B
分離建屋換気設備 フルトニウム溶液中間貯槽セル等からの排気系	分離建屋換気設備 フルトニウム溶液中間貯槽セル等からの排気系	分離建屋換気設備 フルトニウム溶液中間貯槽セル等からの排気系
グローブボックス・セル排風機A	グローブボックス・セル排風機B	グローブボックス・セル排風機B
精製建屋 塔槽類廃ガス処理設備 バルセータ廃ガス処理系	精製建屋 塔槽類廃ガス処理設備 バルセータ廃ガス処理系	精製建屋 塔槽類廃ガス処理設備 バルセータ廃ガス処理系
非風機A	×	×
精製建屋 塔槽類廃ガス処理設備 塔槽類廃ガス処理系(プルトニウム系)	精製建屋 塔槽類廃ガス処理設備 塔槽類廃ガス処理系(プルトニウム系)	×
非風機A	×	×
精製建屋換気設備 フルトニウム濃縮缶セル等及びグローブボックス等からの排気系	精製建屋換気設備 フルトニウム濃縮缶セル等及びグローブボックス等からの排気系	×
グローブボックス・セル排風機A	×	×
ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋 塔槽類廃ガス処理設備	ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋 塔槽類廃ガス処理設備	ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋 塔槽類廃ガス処理設備
第1排風機A	第1排風機B	第1排風機B
第2排風機A	第2排風機B	第2排風機B
ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋 硝酸プルトニウム貯槽セル等及びグローブボックス等からの排気系	ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋 硝酸プルトニウム貯槽セル等及びグローブボックス等からの排気系	ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋 硝酸プルトニウム貯槽セル等及びグローブボックス等からの排気系
グローブボックス・セル排風機A	×	×
グローブボックス・セル排風機C	×	×
-	×	×
1パス	○	
回路評価等	-	
成功パス	○	

凡例	
×	○○○○-○○○○A
	○○○○-○○○○A
× : 当該室の火災により安全機能を喪失する機器がある場合	
空欄 : 当該室に設置していない機器	
1パス	—: 当該室に対象なし ○: 当該室の火災により対応する安全機能が1系統残る場合 ×: 当該室の火災により対応する安全機能がすべて喪失する場合
回路評価等	—: 当該室に回路評価等を行う対象なし ○: 回路評価等により、対応する安全機能が確保される場合
成功パス	—: 当該室に対象なし ○: 当該室の火災により対応する安全機能が1系統残る場合 ×: 当該室の火災により対応する安全機能がすべて喪失する場合

再処理施設成功パス一覧表

2. 崩壊熱除去機能		[A]トレン設備		[B]トレン設備	
冷却設備	安全冷却水系			冷却設備	安全冷却水系
	安全冷却水A冷却塔				安全冷却水B冷却塔
前処理建屋	冷却設備	安全冷却水系		前処理建屋	冷却設備
	安全冷却水A循環ポンプA				安全冷却水B循環ポンプA
	安全冷却水A循環ポンプB				安全冷却水B循環ポンプB
	安全冷却水1AポンプA				安全冷却水1BポンプA
	安全冷却水1AポンプB				安全冷却水1BポンプB
分離建屋	冷却設備	安全冷却水系		分離建屋	冷却設備
	冷却水循環ポンプA				冷却水循環ポンプC
	冷却水循環ポンプB				冷却水循環ポンプD
	安全冷却水1AポンプA				安全冷却水1BポンプA
	安全冷却水1AポンプB				安全冷却水1BポンプB
精製建屋	冷却設備	安全冷却水系		精製建屋	冷却設備
	安全冷却水AポンプA			×	安全冷却水BポンプA
	安全冷却水AポンプB			×	安全冷却水BポンプB
ウラン・プルトニウム混合酸	硝建屋	冷却設備	安全冷却水系	ウラン・プルトニウム混合酸	硝建屋
	冷水移送ポンプA				冷水移送ポンプC
	冷水移送ポンプB				冷水移送ポンプD
高レベル廃液ガラス固化建屋	冷却設備	安全冷却水系		高レベル廃液ガラス固化建屋	冷却設備
	第1高レベル濃縮廃液貯槽冷却水AポンプA				第1高レベル濃縮廃液貯槽冷却水BポンプA
	第1高レベル濃縮廃液貯槽冷却水AポンプB				第1高レベル濃縮廃液貯槽冷却水BポンプB
	第2高レベル濃縮廃液貯槽冷却水AポンプA				第2高レベル濃縮廃液貯槽冷却水BポンプA
	第2高レベル濃縮廃液貯槽冷却水AポンプB				第2高レベル濃縮廃液貯槽冷却水BポンプB
	安全冷却水A系ポンプA				安全冷却水B系ポンプA
	安全冷却水A系ポンプB				安全冷却水B系ポンプB
	高レベル廃液共用貯槽冷却水AポンプA				高レベル廃液共用貯槽冷却水BポンプA
	高レベル廃液共用貯槽冷却水AポンプB				高レベル廃液共用貯槽冷却水BポンプB
	安全冷却水A系ポンプA				安全冷却水B系ポンプA
	安全冷却水A系ポンプB				安全冷却水B系ポンプB
	安全冷水A冷却器冷媒膨張弁A				安全冷水B冷却器冷媒膨張弁A
	安全冷水A冷却器冷媒膨張弁B				安全冷水B冷却器冷媒膨張弁B
	安全冷水A冷却器冷媒止弁A				安全冷水B冷却器冷媒止弁A
	安全冷水A冷却器冷媒止弁B				安全冷水B冷却器冷媒止弁B
	安全冷却水1AポンプA				安全冷却水1BポンプA
	安全冷却水1AポンプB				安全冷却水1BポンプB
	安全冷水AポンプA				安全冷水BポンプA
	安全冷水AポンプB				安全冷水BポンプB
	安全冷水A冷凍機				安全冷水B冷凍機
	スクリー-圧縮機				スクリー-圧縮機
	スクリー-圧縮機				スクリー-圧縮機
ウラン・プルトニウム混合酸	化物貯蔵建屋換気設備貯蔵室排気系			ウラン・プルトニウム混合酸	化物貯蔵建屋換気設備貯蔵室排気系
	貯蔵室排風機A				貯蔵室排風機C
	貯蔵室排風機B				貯蔵室排風機D
-				×	
1パス			○		
回路評価等			-		
成功パス			○		

3. 安全圧縮空気系(水素捕気機能)		[A]トレン設備		[B]トレン設備	
安全圧縮空気系				安全圧縮空気系	
	安全空気圧縮装置A				安全空気圧縮装置B
	安全空気圧縮装置C				安全空気圧縮装置C
-				-	
1パス			-		
回路評価等			-		
成功パス			-		

再処理施設成功パス一覧表

4.非常用所内電源系統(支援機能)		[A]レイン設備	[B]レイン設備
非常用電源建屋冷却水設備		8111A-C20 冷却塔A	8111B-C20 冷却塔B
		8111A-P2010 冷却水循環ポンプA	8111B-P2010 冷却水循環ポンプB
非常用電源建屋の電気設備		GA-M/C-A 6.9kV非常用メタグラ	GA-M/C-B 6.9kV非常用メタグラB
		GA-MCC-A 460V非常用コントロールセンタ	GA-MCC-B 460V非常用コントロールセンタB
		8111A-X10 ディーゼル機関A	8111B-X10 ディーゼル機関B
		8111A-X11 同期発電機A	8111B-X11 同期発電機B
		8111A-P4011 燃料油移送ポンプA	8111B-P4011 燃料油移送ポンプB
		GA-BAT-A 110V第2非常用蓄電池A	GA-BAT-B 110V第2非常用蓄電池B
		GA-CHG-A 110V非常用充電器盤A	GA-CHG-B 110V非常用充電器盤B
		GA-DCD-A 110V非常用直流主分電盤A	GA-DCD-B 110V非常用直流主分電盤B
		GA-CHG-E 110V非常用予備充電器盤E	GA-CHG-E 110V非常用予備充電器盤E
		GA-E-K011A 非常用電気設備リレー盤A1	GA-E-K013B 非常用電気設備リレー盤B1
		GA-E-K012A 非常用電気設備リレー盤A2	GA-E-K014B 非常用電気設備リレー盤B2
		8111A-V40 燃料油貯蔵タンク1A	8111B-V40 燃料油貯蔵タンク1B
		8111A-V41 燃料油貯蔵タンク2A	8111B-V41 燃料油貯蔵タンク2B
		GA-E-M011A 第2非常用ディーゼル発電機A制御盤	GA-E-M012B 第2非常用ディーゼル発電機B制御盤
		GA-PTR-A 非常用動力用変圧器A	GA-PTR-B 非常用動力用変圧器B
		8111A-V42 燃料油サービスタングA	8111B-V42 燃料油サービスタングB
		8111A-F4210 燃料油第1フィルタA	8111B-F4210 燃料油第1フィルタB
		8111A-F4230 燃料油第2フィルタA	8111B-F4230 燃料油第2フィルタB
		GA-E-S011A 第2非常用ディーゼル発電機ターニング現場盤A	GA-E-S012B 第2非常用ディーゼル発電機ターニング現場盤B
		GA-E-U011A 第2非常用ディーゼル発電機CT盤A	GA-E-U012B 第2非常用ディーゼル発電機CT盤B
		GA-I-K011A ユーティリティ工程 安全系A制御盤(リレー盤)	GA-I-K012B ユーティリティ工程 安全系B制御盤(リレー盤)
制御建屋の電気設備		AG-M/C-A 6.9kV非常用メタグラ	AG-M/C-B 6.9kV非常用メタグラB
		AG-P/C-A 460V非常用パワーセンタ	AG-P/C-B 460V非常用パワーセンタB
		AG-MCC-A1 460V非常用コントロールセンタA1	AG-MCC-B1 460V非常用コントロールセンタB1
		AG-MCC-A2 460V非常用コントロールセンタA2	AG-MCC-B2 460V非常用コントロールセンタB2
		AG-I-F201A 前処理建屋 安全系A監視制御盤	AG-I-F202B 前処理建屋 安全系B監視制御盤
		AG-I-F203A 分離建屋 安全系A監視制御盤	AG-I-F204B 分離建屋 安全系B監視制御盤
		AG-I-F205A 精製建屋 安全系A監視制御盤	AG-I-F206B 精製建屋 安全系B監視制御盤
		AG-I-F211A フラン・フルトウム混合脱硝建屋 安全系A監視制御盤	AG-I-F212B フラン・フルトウム混合脱硝建屋 安全系B監視制御盤
		AG-I-F213A 高レベル廃液ガラス固化建屋 安全系A監視制御盤	AG-I-F214B 高レベル廃液ガラス固化建屋 安全系B監視制御盤
		AG-BAT-A1 110V第2非常用蓄電池A1	AG-BAT-B1 110V第2非常用蓄電池B1
		AG-BAT-A2 220V第2非常用蓄電池A2	AG-BAT-B2 220V第2非常用蓄電池B2
		AG-CHG-A 110V非常用充電器盤A	AG-CHG-B 110V非常用充電器盤B
		AG-CHG-E 110V非常用予備充電器盤E	AG-CHG-E 110V非常用予備充電器盤E
		AG-DCD-A 110V非常用直流主分電盤A	AG-DCD-B 110V非常用直流主分電盤B
		AG-UPS-A 105V非常用無停電電源装置A	AG-UPS-B 105V非常用無停電電源装置B
		AG-UPD-A 105V非常用無停電交流主分電盤A	AG-UPD-B 105V非常用無停電交流主分電盤B
前処理建屋の電気設備		AA-M/C-A 6.9kV非常用メタグラ	AA-M/C-B 6.9kV非常用メタグラB
		AA-P/C-A 460V非常用パワーセンタ	AA-P/C-B 460V非常用パワーセンタB
		AA-MCC-A1 460V非常用コントロールセンタA1	AA-MCC-B1 460V非常用コントロールセンタB1
		AA-MCC-A2 460V非常用コントロールセンタA2	AA-MCC-B2 460V非常用コントロールセンタB2
		AA-MCC-A3 460V非常用コントロールセンタA3	
		AA-BAT-A 110V第2非常用蓄電池A	AA-BAT-B 110V第2非常用蓄電池B
		AA-CHG-A 110V非常用充電器盤A	AA-CHG-B 110V非常用充電器盤B
		AA-CHG-E 110V非常用予備充電器盤E	AA-CHG-E 110V非常用予備充電器盤E
		AA-DCD-A 110V非常用直流主分電盤A	AA-DCD-B 110V非常用直流主分電盤B
		AA-UPS-A 105V非常用無停電電源装置A	AA-UPS-B 105V非常用無停電電源装置B
		AA-UPD-A 105V非常用無停電交流主分電盤A	AA-UPD-B 105V非常用無停電交流主分電盤B
		AA-I-M171A 圧縮空気設備 安全空気脱濁装置A現場監視制御盤	AA-I-M172B 圧縮空気設備 安全空気脱濁装置B現場監視制御盤
		AA-I-M166A 圧縮空気設備 安全空気圧縮装置A現場監視制御盤	AA-I-M167B 圧縮空気設備 安全空気圧縮装置B現場監視制御盤
		AA-I-M176A 圧縮空気設備 安全空気圧縮装置C現場制御回路分離盤A	AA-I-M177B 圧縮空気設備 安全空気圧縮装置C現場制御回路分離盤B
		AA-I-M169C 圧縮空気設備 安全空気圧縮装置C現場制御電源切替盤	AA-I-M169C 圧縮空気設備 安全空気圧縮装置C現場制御電源切替盤
		AA-I-M168C 圧縮空気設備 安全空気圧縮装置C現場監視制御盤	AA-I-M168C 圧縮空気設備 安全空気圧縮装置C現場監視制御盤
		AA-I-K701A ほう素除去工程排風機A制御盤	AA-I-K702B ほう素除去工程排風機B制御盤
		AA-I-K703C ほう素除去工程排風機C制御盤	AA-I-K703C ほう素除去工程排風機C制御盤
		AA-I-X710C ほう素除去工程 C系統電源切替盤	AA-I-X710C ほう素除去工程 C系統電源切替盤
		AA-I-1012A ユーティリティ工程 安全系A制御盤1(リレー盤2)	AA-I-1062B ユーティリティ工程 安全系B制御盤1(リレー盤2)
		AA-I-1013A ユーティリティ工程 安全系A制御盤2(リレー盤3)	AA-I-1063B ユーティリティ工程 安全系B制御盤2(リレー盤3)
		AA-I-1031A ほう素除去工程 安全系A制御盤1	AA-I-1081B ほう素除去工程 安全系B制御盤1
		AA-I-1032A ほう素除去工程 安全系A制御盤2	AA-I-1082B ほう素除去工程 安全系B制御盤2
		AA-I-1033A ほう素除去工程 安全系A制御盤3	AA-I-1083B ほう素除去工程 安全系B制御盤3
		AA-LPD-A2 溶解槽セルA排風機A極数変換盤	AA-LPD-B2 溶解槽セルA排風機B極数変換盤
		AA-LPD-A3 溶解槽セルB排風機A極数変換盤	AA-LPD-B3 溶解槽セルB排風機B極数変換盤
		AA-LPD-A21 セル排風機A極数変換盤	AA-LPD-B21 セル排風機B極数変換盤
分離建屋の非常用所内電源系統		AB-P/C-A 460V非常用パワーセンタ	AB-P/C-B 460V非常用パワーセンタB
		AB-MCC-A 460V非常用コントロールセンタ	AB-MCC-B 460V非常用コントロールセンタB
		AB-CHG-A 110V非常用充電器盤A	AB-CHG-B 110V非常用充電器盤B
		AB-CHG-E 110V非常用予備充電器盤E	AB-CHG-E 110V非常用予備充電器盤E
		AB-BAT-A 110V第2非常用蓄電池A	AB-BAT-B 110V第2非常用蓄電池B
		AB-DCD-A 110V非常用直流主分電盤A	AB-DCD-B 110V非常用直流主分電盤B
		AB-UPS-A 105V非常用無停電電源装置A	AB-UPS-B 105V非常用無停電電源装置B
		AB-UPD-A1 105V非常用無停電交流主分電盤A1	AB-UPD-B1 105V非常用無停電交流主分電盤A1
		AB-UPD-A2 105V非常用無停電交流主分電盤A2	AB-UPD-B2 105V非常用無停電交流主分電盤A2
		AB-I-1180A ユーティリティ工程 安全系A制御盤1	AB-I-1183B ユーティリティ工程 安全系B制御盤1
		AB-I-1181A ユーティリティ工程 安全系A制御盤2	AB-I-1184B ユーティリティ工程 安全系B制御盤2
		AB-I-1182A ユーティリティ工程 安全系A制御盤3	AB-I-1185B ユーティリティ工程 安全系B制御盤3
		AB-I-1033A 分離・分配工程 安全系A制御盤1	AB-I-1036B 分離・分配工程 安全系B制御盤1
		AB-I-1034A 分離・分配工程 安全系A制御盤2	AB-I-1037B 分離・分配工程 安全系B制御盤2
		AB-I-1035A 分離・分配工程 安全系A制御盤3	AB-I-1038B 分離・分配工程 安全系B制御盤3
		AB-V-1100A 建屋換気設備 安全系A制御盤	AB-V-1101B 建屋換気設備 安全系B制御盤
-			
1パス		-	
回路評価等		-	
成功パス		-	

再処理施設成功パス一覧表

4.支援機能(継ぎ)		[A]レン設備	[B]レン設備
精製建屋の電気設備		AC-BAT-A 110V第2非常用蓄電池A AC-CHG-A 110V非常用充電器盤A AC-CHG-E 110V非常用予備充電器盤E AC-D-DCD-A 110V非常用直流主分電盤A AC-MCC-A1 460V非常用コントロールセンタA1 AC-MCC-A2 460V非常用コントロールセンタA2 AC-P/C-A 460V非常用パワーセンタA AC-UPD-A 105V非常用無停電交流主分電盤A AC-UPS-A 105V非常用無停電電源装置A AC-I-1450A ユーティリティ工程 安全系A制御盤(計器盤) AC-I-1451A ユーティリティ工程 安全系A制御盤(リレー盤) AC-E-1452A 非常用電気設備リレー盤A AC-V-1453A 建屋換気設備安全系A制御盤 AC-I-1752A プルトニウム精製工程 安全系A 制御盤3	AC-BAT-B 110V第2非常用蓄電池B AC-CHG-B 110V非常用充電器盤B AC-CHG-E 110V非常用予備充電器盤E AC-D-DCD-B 110V非常用直流主分電盤B AC-MCC-B1 460V非常用コントロールセンタB1 AC-MCC-B2 460V非常用コントロールセンタB2 AC-P/C-B 460V非常用パワーセンタB AC-UPD-B 105V非常用無停電交流主分電盤B AC-UPS-B 105V非常用無停電電源装置B AC-I-1460B ユーティリティ工程 安全系B制御盤(計器盤) AC-I-1461B ユーティリティ工程 安全系B制御盤(リレー盤) AC-E-1462B 非常用電気設備リレー盤B AC-V-1463B 建屋換気設備安全系B制御盤 AC-I-1755B プルトニウム精製工程 安全系B 制御盤3
ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋の非常用所内電源系統		CA-P/C-A 460V非常用パワーセンタA CA-MCC-A1 460V非常用コントロールセンタA1 CA-MCC-A2 460V非常用コントロールセンタA2 CA-M/C-A 6.9kV非常用メタグラブ CA-E-K503A 非常用電気設備リレー盤A CA-I-1501A 安全系A制御盤 CA-V-1502A 建屋換気設備安全系A制御盤 CA-CHG-A 110V非常用充電器盤A CA-CHG-E 110V非常用予備充電器盤E CA-D-DCD-A 110V非常用直流主分電盤A CA-UPD-A 105V非常用無停電交流主分電盤A CA-UPS-A 105V非常用無停電電源装置A CA-BAT-A 110V第2非常用蓄電池A	CA-P/C-B 460V非常用パワーセンタB CA-MCC-B1 460V非常用コントロールセンタB1 CA-MCC-B2 460V非常用コントロールセンタB2 CA-M/C-B 6.9kV非常用メタグラブ CA-E-K603B 非常用電気設備リレー盤B CA-I-1601B 安全系B制御盤 CA-V-1602B 建屋換気設備安全系B制御盤 CA-CHG-B 110V非常用充電器盤B CA-CHG-E 110V非常用予備充電器盤E CA-D-DCD-B 110V非常用直流主分電盤B CA-UPD-B 105V非常用無停電交流主分電盤B CA-UPS-B 105V非常用無停電電源装置B CA-BAT-B 110V第2非常用蓄電池B
ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋の非常用所内電源系統		CB-P/C-A 460V非常用パワーセンタA CB-E-1101A 非常用電気設備リレー盤A CA-V-1001A 建屋換気設備安全系A制御盤 CB-BAT-A 110V第2非常用蓄電池A CB-CHG-A 110V非常用充電器盤A CB-D-DCD-A 110V非常用直流主分電盤A CB-MCC-A 460V非常用コントロールセンタA CB-UPS-A 105V非常用無停電電源装置A CB-CHG-E 110V非常用予備充電器盤E	CB-P/C-B 460V非常用パワーセンタB CB-E-1102B 非常用電気設備リレー盤B CA-V-1002B 建屋換気設備安全系B制御盤 CB-BAT-B 110V第2非常用蓄電池B CB-CHG-B 110V非常用充電器盤B CB-D-DCD-B 110V非常用直流主分電盤B CB-MCC-B 460V非常用コントロールセンタB CB-UPS-B 105V非常用無停電電源装置B CB-CHG-E 110V非常用予備充電器盤E
高レベル廃液ガラス固化建屋の電気設備		KA-P/C-A 460V非常用パワーセンタA KA-BAT-A 110V第2非常用蓄電池A KA-CHG-A 110V非常用充電器盤A KA-CHG-E 110V非常用予備充電器盤E KA-D-DCD-A 110V非常用直流主分電盤A KA-UPS-A 105V非常用無停電電源装置A KA-UPD-A 105V非常用無停電交流主分電盤A KA-ACS-A 105V非常用計測交流電源盤A KA-ACD-A 105V非常用計測交流主分電盤A KA-MCC-A1 460V非常用コントロールセンタA1 KA-MCC-A2 460V非常用コントロールセンタA2 KA-I-K224A 高レベル廃液ガラス固化廃ガス処理設備第1排風機A安全系Aインバータ制御盤 KA-I-K226A 高レベル廃液ガラス固化廃ガス処理設備第2排風機A安全系Aインバータ制御盤 KA-I-K073A 固化セル換気系排風機A安全系Aインバータ制御盤 KA-E-K001A 非常用電気設備リレー盤A KA-I-1501A 高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系A制御盤1 KA-I-1502A 高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系A制御盤2 KA-I-1503A 高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系A制御盤3 KA-I-1504A 高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系A制御盤4 KA-I-1505A 高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系A制御盤5 KA-I-1506A 高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系A制御盤6 KA-I-1507A 高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系A制御盤7 KA-I-1508A 高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系A制御盤8 KA-I-1511A 安全系A アレスタ盤 KA-I-1512A 高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系A制御盤(リレー盤1) KA-I-1513A 高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系A制御盤(リレー盤2) KA-I-1514A 高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系A制御盤(リレー盤3) KA-I-M331A 冷凍機 安全系A監視制御盤 KA-I-K334A 冷却水・冷水設備 安全系A 制御盤1 KA-I-K335A 冷却水・冷水設備 安全系A 制御盤2	KA-P/C-B 460V非常用パワーセンタB KA-BAT-B 110V第2非常用蓄電池B KA-CHG-B 110V非常用充電器盤B KA-CHG-E 110V非常用予備充電器盤E KA-D-DCD-B 110V非常用直流主分電盤B KA-UPS-B 105V非常用無停電電源装置B KA-UPD-B 105V非常用無停電交流主分電盤B KA-ACS-B 105V非常用計測交流電源盤B KA-ACD-B 105V非常用計測交流主分電盤B KA-MCC-B1 460V非常用コントロールセンタB1 KA-MCC-B2 460V非常用コントロールセンタB2 KA-I-K225B 高レベル廃液ガラス固化廃ガス処理設備第1排風機B安全系Bインバータ制御盤 KA-I-K227B 高レベル廃液ガラス固化廃ガス処理設備第2排風機B安全系Bインバータ制御盤 KA-I-K074B 固化セル換気系排風機B安全系Bインバータ制御盤 KA-E-K002B 非常用電気設備リレー盤B KA-I-1521B 高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系B制御盤1 KA-I-1522B 高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系B制御盤2 KA-I-1523B 高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系B制御盤3 KA-I-1524B 高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系B制御盤4 KA-I-1525B 高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系B制御盤5 KA-I-1526B 高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系B制御盤6 KA-I-1527B 高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系B制御盤7 KA-I-1528B 高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系B制御盤8 KA-I-1531B 安全系B アレスタ盤 KA-I-1532B 高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系B制御盤(リレー盤1) KA-I-1533B 高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系B制御盤(リレー盤2) KA-I-1534B 高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系B制御盤(リレー盤3) KA-I-M322B 冷凍機 安全系B監視制御盤 KA-I-K338B 冷却水・冷水設備 安全系B 制御盤1 KA-I-K339B 冷却水・冷水設備 安全系B 制御盤2
-			X
	1パス	○	
	回路評価等	-	
	成功パス	○	

火災区域(区画)特性表

1. 火災区域(区画)の説明

建屋名	精製建屋
火災区域/区画区分	火災区画
火災区域/区画番号	■
火災区域/区画名称	給気室
床面積(m ²)	■

2. 火災区域(区画)の火災シナリオの説明

■は、精製建屋内の火災区画である。
 本区画は、火災源となるものがないため、安全上重要な施設のA/B系の設備(6.火災影響を受ける火災防護対象機器等 参照)の安全機能を喪失させるおそれのある想定火災はない。

3. 火災区域(区画)にある火災源

(1) 等価時間

発熱量(kJ)	火災荷重(kJ/m ²)	等価時間(h) [※]
■	■	0.0

※ 等価時間は、内部火災影響評価ガイドの等価時間記載の値で示す。

(2) 火災区域(区画)にある火災源機器数

火災源	機器数
電動機(3.7kW超)	-
電気盤(440V以上)	-
ケーブルトレイ(ケーブル)	-
油脂類・有機溶媒等	-
その他	-

4. 火災区域(区画)にある防火設備

火災感知の手段	主要な消火設備	消火方法	消火設備のバックアップ
設置除外	屋内消火栓	手動	粉末消火器

5. 火災区域(区画)に隣接する火災区域(区画)と火災伝播経路

隣接火災区画への火災伝播経路の詳細は、別紙1参照

6. 火災影響を受ける火災防護対象機器等

機器名称[機器番号]	最重要設備 [※]	最重要設備以外の安全上重要な施設 [※]
建屋給気閉止ダンパC ■	-	○*
建屋給気閉止ダンパD ■	-	○*

※ ○:対象 -:非対象

* 火災想定において、工程停止等により安全機能を必要としない状態へと移行が可能なもの。

7. 火災防護対象機器等の関連ケーブル

機器名称[機器番号]	ケーブル種別	安重分類
-	-	-

8. 最重要設備の安重機能への火災影響

安重分類	全焼時の成功パスの有無	回路評価等の考慮	結果	系統分離※
Pu・高レベル廃棄物の閉じ込め機能	-	-	-	-
崩壊熱除去機能(重要度の高いもの)	-	-	-	-
安全圧縮空気系(水素掃気機能)	-	-	-	-
非常用所内電源系統	-	-	-	-

※ a : 3時間以上の耐火能力を有する耐火壁で分離

b : 水平距離6mによる分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置

c : 1時間の耐火能力を有する隔壁等による分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置
再処理施設成功パスの詳細は、別紙2参照

9. 最重要設備以外の火災防護対象機器等への火災影響

機器名称[機器番号]	当該区画の火災評価※	隣接区画の火災評価※
-	-	-

※ ○:火災影響なし ×:火災影響あり

隣接する火災区画と火災伝播経路

(※ 有:伝播する 無:伝播しない)

隣接する 火災区画	火災伝播 経路有無	等価時間 (h)	耐火時間 (h)	火災伝播の 可能性 ※	備考
	無	0.0	3.0	無	
	無	0.0	3.0	無	
	無	0.0	3.0	無	
	有	0.0	0.0	無	
	無	0.0	3.0	無	
	有	0.0	0.0	無	
	無	0.0	3.0	無	
	無	0.0	3.0	無	
	無	0.0	3.0	無	

火災区域(区画)特性表

1. 火災区域(区画)の説明

建屋名	精製建屋
火災区域/区画区分	火災区画
火災区域/区画番号	■
火災区域/区画名称	地上4階東西第4廊下
床面積(m ²)	■

2. 火災区域(区画)の火災シナリオの説明

■は、精製建屋内の火災区画である。
 本区画の火災源は、ケーブルトレイである。
 したがって、本区画の想定火災としては、ケーブルトレイ火災により、安全上重要な施設のB系の設備(6.火災影響を受ける火災防護対象機器等 参照)が火災影響を受け、安全機能が喪失するおそれがあるが、多重化された安全上重要な施設の片系のみの機能喪失であるため、安全機能が完全に喪失することはない。

3. 火災区域(区画)にある火災源

(1) 等価時間

発熱量(kJ)	火災荷重(kJ/m ²)	等価時間(h) [※]
■	■	1.0

※ 等価時間は、内部火災影響評価ガイドの等価時間記載の値で示す。

(2) 火災区域(区画)にある火災源機器数

火災源	機器数
電動機(3.7kW超)	-
電気盤(440V以上)	-
ケーブルトレイ(ケーブル)	有
油脂類・有機溶媒等	-
その他	-

4. 火災区域(区画)にある防火設備

火災感知の手段	主要な消火設備	消火方法	消火設備のバックアップ
煙感知器 熱感知器	ハロゲン化物消火設備(全域)	自動	粉末消火器

5. 火災区域(区画)に隣接する火災区域(区画)と火災伝播経路

隣接火災区画への火災伝播経路の詳細は、別紙1参照

6. 火災影響を受ける火災防護対象機器等

機器名称[機器番号]	最重要設備 [※]	最重要設備以外の安全上重要な施設 [※]
安重ケーブルトレイ[B系]	○	○

※ ○:対象 -:非対象

* 火災想定において、工程停止等により安全機能を必要としない状態へと移行が可能なもの。

7. 火災防護対象機器等の関連ケーブル

機器名称[機器番号]	ケーブル種別	安重分類
グローブボックス・セル排風機B []	制御、動力(低圧)	Pu・高レベルの廃棄物の閉じ込め機能
460V非常用パワーセンタB[AC-P/C-B]	動力(低圧)	非常用所内電源系統
安全冷却水BポンプA []	制御、動力(低圧)	崩壊熱除去機能(重要度の高いもの)
安全冷却水BポンプB []	制御、動力(低圧)	崩壊熱除去機能(重要度の高いもの)
排風機B []	制御、動力(低圧)	Pu・高レベルの廃棄物の閉じ込め機能
排風機B []	制御、動力(低圧)	Pu・高レベルの廃棄物の閉じ込め機能
460V非常用コントロールセンタB1[AC-MCC-B1]	制御	非常用所内電源系統
460V非常用コントロールセンタB2[AC-MCC-B2]	制御	非常用所内電源系統

8. 最重要設備の安重機能への火災影響

安重分類	全焼時の成功パスの有無	回路評価等の考慮	結果	系統分離※
Pu・高レベル廃棄物の閉じ込め機能	有	-	○	-
崩壊熱除去機能(重要度の高いもの)	有	-	○	-
安全圧縮空気系(水素掃気機能)	-	-	-	-
非常用所内電源系統	有	-	○	-

※ a: 3時間以上の耐火能力を有する耐火壁で分離

b: 水平距離6mによる分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置

c: 1時間の耐火能力を有する隔壁等による分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置
再処理施設成功パスの詳細は、別紙2参照

9. 最重要設備以外の火災防護対象機器等への火災影響

機器名称[機器番号]	当該区画の火災評価※	隣接区画の火災評価※
-	-	-

※ ○:火災影響なし ×:火災影響あり

隣接する火災区画と火災伝播経路

(※ 有:伝播する 無:伝播しない)

隣接する 火災区画	火災伝播 経路有無	等価時間 (h)	耐火時間 (h)	火災伝播の 可能性 ※	備考
	無	1.0	3.0	無	
	無	1.0	3.0	無	
	無	1.0	3.0	無	
	無	1.0	3.0	無	
	無	1.0	3.0	無	
	無	1.0	3.0	無	
	無	1.0	3.0	無	
	無	1.0	3.0	無	
	無	1.0	3.0	無	
	無	1.0	3.0	無	

再処理施設成功パス一覧表

建屋	精製建屋	
区域(区画)番号/名称		地上4階東西第4廊下
1.放射性物質の閉じ込め機能(動的な閉じ込め機能)		
	【A(レン設備)】	【B(レン設備)】
前処理建屋 非断処理・溶解廃ガス処理設備	前処理建屋 非断処理・溶解廃ガス処理設備	前処理建屋 非断処理・溶解廃ガス処理設備
排風機A	排風機B	排風機B
排風機C	排風機C	排風機C
前処理建屋 塔槽類廃ガス処理設備	前処理建屋 塔槽類廃ガス処理設備	前処理建屋 塔槽類廃ガス処理設備
排風機A	排風機B	排風機B
前処理建屋換気設備 溶解セル等からの排気系	前処理建屋換気設備 溶解セル等からの排気系	前処理建屋換気設備 溶解セル等からの排気系
セル排風機A	セル排風機B	セル排風機B
溶解槽セルA排風機A	溶解槽セルA排風機B	溶解槽セルA排風機B
溶解槽セルB排風機A	溶解槽セルB排風機B	溶解槽セルB排風機B
高レベル廃液ガラス固化建屋 高レベル廃液ガラス固化廃ガス処理設備	高レベル廃液ガラス固化建屋 高レベル廃液ガラス固化廃ガス処理設備	高レベル廃液ガラス固化建屋 高レベル廃液ガラス固化廃ガス処理設備
第1排風機A	第1排風機B	第1排風機B
第2排風機A	第2排風機B	第2排風機B
高レベル廃液ガラス固化建屋 塔槽類廃ガス処理設備 高レベル濃縮廃液廃ガス処理系	高レベル廃液ガラス固化建屋 塔槽類廃ガス処理設備 高レベル濃縮廃液廃ガス処理系	高レベル廃液ガラス固化建屋 塔槽類廃ガス処理設備 高レベル濃縮廃液廃ガス処理系
排風機A	排風機B	排風機B
高レベル廃液ガラス固化建屋 塔槽類廃ガス処理設備 不溶解残渣廃液廃ガス処理系	高レベル廃液ガラス固化建屋 塔槽類廃ガス処理設備 不溶解残渣廃液廃ガス処理系	高レベル廃液ガラス固化建屋 塔槽類廃ガス処理設備 不溶解残渣廃液廃ガス処理系
排風機A	排風機B	排風機B
高レベル濃縮廃液貯槽セル等からの排気系固化セル換気系及び固化セル圧力放出系	高レベル濃縮廃液貯槽セル等からの排気系固化セル換気系及び固化セル圧力放出系	高レベル濃縮廃液貯槽セル等からの排気系固化セル換気系及び固化セル圧力放出系
セル排風機A	セル排風機B	セル排風機B
固化セル換気系排風機A	固化セル換気系排風機B	固化セル換気系排風機B
分離建屋 塔槽類廃ガス処理設備 バルセータ廃ガス処理系	分離建屋 塔槽類廃ガス処理設備 バルセータ廃ガス処理系	分離建屋 塔槽類廃ガス処理設備 バルセータ廃ガス処理系
排風機A	排風機B	排風機B
分離建屋 塔槽類廃ガス処理設備 塔槽類廃ガス処理系	分離建屋 塔槽類廃ガス処理設備 塔槽類廃ガス処理系	分離建屋 塔槽類廃ガス処理設備 塔槽類廃ガス処理系
排風機A	排風機B	排風機B
分離建屋換気設備 フルトニウム溶液中間貯槽セル等からの排気系	分離建屋換気設備 フルトニウム溶液中間貯槽セル等からの排気系	分離建屋換気設備 フルトニウム溶液中間貯槽セル等からの排気系
グローブボックス・セル排風機A	グローブボックス・セル排風機B	グローブボックス・セル排風機B
精製建屋 塔槽類廃ガス処理設備 バルセータ廃ガス処理系	精製建屋 塔槽類廃ガス処理設備 バルセータ廃ガス処理系	精製建屋 塔槽類廃ガス処理設備 バルセータ廃ガス処理系
排風機A	排風機B	排風機B
精製建屋 塔槽類廃ガス処理設備 塔槽類廃ガス処理系(フルトニウム系)	精製建屋 塔槽類廃ガス処理設備 塔槽類廃ガス処理系(フルトニウム系)	精製建屋 塔槽類廃ガス処理設備 塔槽類廃ガス処理系(フルトニウム系)
排風機A	排風機B	排風機B
精製建屋換気設備 フルトニウム濃縮缶セル等及びグローブボックス等からの排気系	精製建屋換気設備 フルトニウム濃縮缶セル等及びグローブボックス等からの排気系	精製建屋換気設備 フルトニウム濃縮缶セル等及びグローブボックス等からの排気系
グローブボックス・セル排風機A	グローブボックス・セル排風機B	グローブボックス・セル排風機B
ウラン・フルトニウム混合脱硝建屋 塔槽類廃ガス処理設備	ウラン・フルトニウム混合脱硝建屋 塔槽類廃ガス処理設備	ウラン・フルトニウム混合脱硝建屋 塔槽類廃ガス処理設備
第1排風機A	第1排風機B	第1排風機B
第2排風機A	第2排風機B	第2排風機B
第3排風機A	第3排風機B	第3排風機B
ウラン・フルトニウム混合脱硝建屋 硝酸フルトニウム貯槽セル等及びグローブボックス等からの排気系	ウラン・フルトニウム混合脱硝建屋 硝酸フルトニウム貯槽セル等及びグローブボックス等からの排気系	ウラン・フルトニウム混合脱硝建屋 硝酸フルトニウム貯槽セル等及びグローブボックス等からの排気系
グローブボックス・セル排風機A	グローブボックス・セル排風機B	グローブボックス・セル排風機B
グローブボックス・セル排風機C		
-		X
1パス		
回路評価等		
成功パス		

凡例	
x	〇〇〇〇-〇〇〇〇〇〇〇A 〇〇〇〇-〇〇〇〇〇〇〇〇A x : 当該室の火災により安全機能を喪失する機器がある場合 空欄 : 当該室に設置していない機器
1パス	- : 当該室に対象なし 〇 : 当該室の火災により対応する安全機能が1系統残る場合 x : 当該室の火災により対応する安全機能がすべて喪失する場合
回路評価等	- : 当該室に回路評価等を行う対象なし 〇 : 回路評価等により、対応する安全機能が確保される場合
成功パス	- : 当該室に対象なし 〇 : 当該室の火災により対応する安全機能が1系統残る場合 x : 当該室の火災により対応する安全機能がすべて喪失する場合

再処理施設成功パス一覧表

2. 崩壊熱除去機能		[A]トレン設備	[B]トレン設備
冷却設備	安全冷却水系		冷却設備 安全冷却水系
	安全冷却水A冷却塔		安全冷却水B冷却塔
前処理建屋	冷却設備 安全冷却水系		前処理建屋 冷却設備 安全冷却水系
	安全冷却水A循環ポンプA		安全冷却水B循環ポンプA
	安全冷却水A循環ポンプB		安全冷却水B循環ポンプB
	安全冷却水1AポンプA		安全冷却水1BポンプA
	安全冷却水1AポンプB		安全冷却水1BポンプB
分離建屋	冷却設備 安全冷却水系		分離建屋 冷却設備 安全冷却水系
	冷却水循環ポンプA		冷却水循環ポンプC
	冷却水循環ポンプB		冷却水循環ポンプD
	安全冷却水1AポンプA		安全冷却水1BポンプA
	安全冷却水1AポンプB		安全冷却水1BポンプB
精製建屋	冷却設備 安全冷却水系		精製建屋 冷却設備 安全冷却水系
	安全冷却水AポンプA	×	安全冷却水BポンプA
	安全冷却水AポンプB	×	安全冷却水BポンプB
ウラン・プルトニウム混合貯蔵建屋	冷却設備 安全冷却水系		ウラン・プルトニウム混合貯蔵建屋 冷却設備 安全冷却水系
	冷水移送ポンプA		冷水移送ポンプC
	冷水移送ポンプB		冷水移送ポンプD
高レベル廃液ガラス固化建屋	冷却設備 安全冷却水系		高レベル廃液ガラス固化建屋 冷却設備 安全冷却水系
	第1高レベル濃縮廃液貯槽冷却水AポンプA		第1高レベル濃縮廃液貯槽冷却水BポンプA
	第1高レベル濃縮廃液貯槽冷却水AポンプB		第1高レベル濃縮廃液貯槽冷却水BポンプB
	第2高レベル濃縮廃液貯槽冷却水AポンプA		第2高レベル濃縮廃液貯槽冷却水BポンプA
	第2高レベル濃縮廃液貯槽冷却水AポンプB		第2高レベル濃縮廃液貯槽冷却水BポンプB
	安全冷却水A系ポンプA		安全冷却水B系ポンプA
	安全冷却水A系ポンプB		安全冷却水B系ポンプB
	高レベル廃液共用貯槽冷却水AポンプA		高レベル廃液共用貯槽冷却水BポンプA
	高レベル廃液共用貯槽冷却水AポンプB		高レベル廃液共用貯槽冷却水BポンプB
	安全冷却水A系ポンプA		安全冷却水B系ポンプA
	安全冷却水A系ポンプB		安全冷却水B系ポンプB
	安全冷水A冷却器冷媒膨張弁A		安全冷水B冷却器冷媒膨張弁A
	安全冷水A冷却器冷媒膨張弁B		安全冷水B冷却器冷媒膨張弁B
	安全冷水A冷却器冷媒止弁A		安全冷水B冷却器冷媒止弁A
	安全冷水A冷却器冷媒止弁B		安全冷水B冷却器冷媒止弁B
	安全冷却水1AポンプA		安全冷却水1BポンプA
	安全冷却水1AポンプB		安全冷却水1BポンプB
	安全冷水AポンプA		安全冷水BポンプA
	安全冷水AポンプB		安全冷水BポンプB
	安全冷水A冷凍機		安全冷水B冷凍機
	スクリーンプン		スクリーンプン
	スクリーンプン		スクリーンプン
ウラン・プルトニウム混合貯蔵建屋	換気設備 換気設備貯蔵室排気系		ウラン・プルトニウム混合貯蔵建屋 換気設備 換気設備貯蔵室排気系
	貯蔵室排風機A		貯蔵室排風機C
	貯蔵室排風機B		貯蔵室排風機D
-			×
1パス		○	
回路評価等		-	
成功パス		○	

3. 安全圧縮空気系(水素捕集機能)		[A]トレン設備	[B]トレン設備
安全圧縮空気系			安全圧縮空気系
	安全空気圧縮装置A		安全空気圧縮装置B
	安全空気圧縮装置C		安全空気圧縮装置C
-			-
1パス		-	
回路評価等		-	
成功パス		-	

再処理施設成功パス一覧表

4.非常用所内電源系統(支援機能)		[A]レイン設備	[B]レイン設備	
非常用電源建屋冷却水設備			非常用電源建屋冷却水設備	
8111A-C20	冷却塔A		8111B-C20	冷却塔B
8111A-P2010	冷却水循環ポンプA		8111B-P2010	冷却水循環ポンプB
非常用電源建屋の電気設備			非常用電源建屋の電気設備	
GA-M/C-A	6.9kV非常用メタグラ		GA-M/C-B	6.9kV非常用メタグラB
GA-MCC-A	460V非常用コントロールセンタ		GA-MCC-B	460V非常用コントロールセンタB
8111A-X10	ディーゼル機関A		8111B-X10	ディーゼル機関B
8111A-X11	同期発電機A		8111B-X11	同期発電機B
8111A-P4011	燃料油移送ポンプA		8111B-P4011	燃料油移送ポンプB
GA-BAT-A	110V第2非常用蓄電池A		GA-BAT-B	110V第2非常用蓄電池B
GA-CHG-A	110V非常用充電器盤A		GA-CHG-B	110V非常用充電器盤B
GA-DCD-A	110V非常用直流主分電盤A		GA-DCD-B	110V非常用直流主分電盤B
GA-CHG-E	110V非常用予備充電器盤E		GA-CHG-E	110V非常用予備充電器盤E
GA-E-K011A	非常用電気設備リレー盤A1		GA-E-K013B	非常用電気設備リレー盤B1
GA-E-K012A	非常用電気設備リレー盤A2		GA-E-K014B	非常用電気設備リレー盤B2
8111A-V40	燃料油貯蔵タンク1A		8111B-V40	燃料油貯蔵タンク1B
8111A-V41	燃料油貯蔵タンク2A		8111B-V41	燃料油貯蔵タンク2B
GA-E-M011A	第2非常用ディーゼル発電機A制御盤		GA-E-M012B	第2非常用ディーゼル発電機B制御盤
GA-PTR-A	非常用動力用変圧器A		GA-PTR-B	非常用動力用変圧器B
8111A-V42	燃料油サービスタングA		8111B-V42	燃料油サービスタングB
8111A-F4210	燃料油第1フィルタA		8111B-F4210	燃料油第1フィルタB
8111A-F4230	燃料油第2フィルタA		8111B-F4230	燃料油第2フィルタB
GA-E-S011A	第2非常用ディーゼル発電機ターニング現場盤A		GA-E-S012B	第2非常用ディーゼル発電機ターニング現場盤B
GA-E-U011A	第2非常用ディーゼル発電機CT盤A		GA-E-U012B	第2非常用ディーゼル発電機CT盤B
GA-I-K011A	ユーティリティ工程 安全系A制御盤(リレー盤)		GA-I-K012B	ユーティリティ工程 安全系B制御盤(リレー盤)
前処理建屋の電気設備			前処理建屋の電気設備	
AG-M/C-A	6.9kV非常用メタグラ		AG-M/C-B	6.9kV非常用メタグラB
AG-P/C-A	460V非常用パワーセンタ		AG-P/C-B	460V非常用パワーセンタB
AG-MCC-A1	460V非常用コントロールセンタA1		AG-MCC-B1	460V非常用コントロールセンタB1
AG-MCC-A2	460V非常用コントロールセンタA2		AG-MCC-B2	460V非常用コントロールセンタB2
AG-I-F201A	前処理建屋 安全系A監視制御盤		AG-I-F202B	前処理建屋 安全系B監視制御盤
AG-I-F203A	分離建屋 安全系A監視制御盤		AG-I-F204B	分離建屋 安全系B監視制御盤
AG-I-F205A	精製建屋 安全系A監視制御盤		AG-I-F206B	精製建屋 安全系B監視制御盤
AG-I-F211A	フアン・フルトウム混合脱硝建屋 安全系A監視制御盤		AG-I-F212B	フアン・フルトウム混合脱硝建屋 安全系B監視制御盤
AG-I-F213A	高レベル廃液ガラス固化建屋 安全系A監視制御盤		AG-I-F214B	高レベル廃液ガラス固化建屋 安全系B監視制御盤
AG-BAT-A1	110V第2非常用蓄電池A1		AG-BAT-B1	110V第2非常用蓄電池B1
AG-BAT-A2	220V第2非常用蓄電池A2		AG-BAT-B2	220V第2非常用蓄電池B2
AG-CHG-A	110V非常用充電器盤A		AG-CHG-B	110V非常用充電器盤B
AG-CHG-E	110V非常用予備充電器盤E		AG-CHG-E	110V非常用予備充電器盤E
AG-DCD-A	110V非常用直流主分電盤A		AG-DCD-B	110V非常用直流主分電盤B
AG-UPS-A	105V非常用無停電電源装置A		AG-UPS-B	105V非常用無停電電源装置B
AG-UPD-A	105V非常用無停電交流主分電盤A		AG-UPD-B	105V非常用無停電交流主分電盤B
前処理建屋の電気設備			前処理建屋の電気設備	
AA-M/C-A	6.9kV非常用メタグラ		AA-M/C-B	6.9kV非常用メタグラB
AA-P/C-A	460V非常用パワーセンタ		AA-P/C-B	460V非常用パワーセンタB
AA-MCC-A1	460V非常用コントロールセンタA1		AA-MCC-B1	460V非常用コントロールセンタB1
AA-MCC-A2	460V非常用コントロールセンタA2		AA-MCC-B2	460V非常用コントロールセンタB2
AA-MCC-A3	460V非常用コントロールセンタA3			
AA-BAT-A	110V第2非常用蓄電池A		AA-BAT-B	110V第2非常用蓄電池B
AA-CHG-A	110V非常用充電器盤A		AA-CHG-B	110V非常用充電器盤B
AA-CHG-E	110V非常用予備充電器盤E		AA-CHG-E	110V非常用予備充電器盤E
AA-DCD-A	110V非常用直流主分電盤A		AA-DCD-B	110V非常用直流主分電盤B
AA-UPS-A	105V非常用無停電電源装置A		AA-UPS-B	105V非常用無停電電源装置B
AA-UPD-A	105V非常用無停電交流主分電盤A		AA-UPD-B	105V非常用無停電交流主分電盤B
AA-I-M171A	圧縮空気設備 安全空気脱濁装置A現場監視制御盤		AA-I-M172B	圧縮空気設備 安全空気脱濁装置B現場監視制御盤
AA-I-M166A	圧縮空気設備 安全空気圧縮装置A現場監視制御盤		AA-I-M167B	圧縮空気設備 安全空気圧縮装置B現場監視制御盤
AA-I-M176A	圧縮空気設備 安全空気圧縮装置C現場制御回路分離盤A		AA-I-M177B	圧縮空気設備 安全空気圧縮装置C現場制御回路分離盤B
AA-I-M169C	圧縮空気設備 安全空気圧縮装置C現場制御電源切替盤		AA-I-M169C	圧縮空気設備 安全空気圧縮装置C現場制御電源切替盤
AA-I-M168C	圧縮空気設備 安全空気圧縮装置C現場監視制御盤		AA-I-M168C	圧縮空気設備 安全空気圧縮装置C現場監視制御盤
AA-I-K701A	よう素除去工程排風機A制御盤		AA-I-K702B	よう素除去工程排風機B制御盤
AA-I-K703C	よう素除去工程排風機C制御盤		AA-I-K703C	よう素除去工程排風機C制御盤
AA-I-X710C	よう素除去工程 C系統電源切替盤		AA-I-X710C	よう素除去工程 C系統電源切替盤
AA-I-1012A	ユーティリティ工程 安全系A制御盤1(リレー盤2)		AA-I-1062B	ユーティリティ工程 安全系B制御盤1(リレー盤2)
AA-I-1013A	ユーティリティ工程 安全系A制御盤2(リレー盤3)		AA-I-1063B	ユーティリティ工程 安全系B制御盤2(リレー盤3)
AA-I-1031A	よう素除去工程 安全系A制御盤1		AA-I-1081B	よう素除去工程 安全系B制御盤1
AA-I-1032A	よう素除去工程 安全系A制御盤2		AA-I-1082B	よう素除去工程 安全系B制御盤2
AA-I-1033A	よう素除去工程 安全系A制御盤3		AA-I-1083B	よう素除去工程 安全系B制御盤3
AA-LPD-A2	溶解槽セルA排風機A極数変換盤		AA-LPD-B2	溶解槽セルA排風機B極数変換盤
AA-LPD-A3	溶解槽セルB排風機A極数変換盤		AA-LPD-B3	溶解槽セルB排風機B極数変換盤
AA-LPD-A21	セル排風機A極数変換盤		AA-LPD-B21	セル排風機B極数変換盤
分離建屋の非常用所内電源系統			分離建屋の非常用所内電源系統	
AB-P/C-A	460V非常用パワーセンタ		AB-P/C-B	460V非常用パワーセンタB
AB-MCC-A	460V非常用コントロールセンタ		AB-MCC-B	460V非常用コントロールセンタB
AB-CHG-A	110V非常用充電器盤A		AB-CHG-B	110V非常用充電器盤B
AB-CHG-E	110V非常用予備充電器盤E		AB-CHG-E	110V非常用予備充電器盤E
AB-BAT-A	110V第2非常用蓄電池A		AB-BAT-B	110V第2非常用蓄電池B
AB-DCD-A	110V非常用直流主分電盤A		AB-DCD-B	110V非常用直流主分電盤B
AB-UPS-A	105V非常用無停電電源装置A		AB-UPS-B	105V非常用無停電電源装置B
AB-UPD-A1	105V非常用無停電交流主分電盤A1		AB-UPD-B1	105V非常用無停電交流主分電盤A1
AB-UPD-A2	105V非常用無停電交流主分電盤A2		AB-UPD-B2	105V非常用無停電交流主分電盤A2
AB-I-1180A	ユーティリティ工程 安全系A制御盤1		AB-I-1183B	ユーティリティ工程 安全系B制御盤1
AB-I-1181A	ユーティリティ工程 安全系A制御盤2		AB-I-1184B	ユーティリティ工程 安全系B制御盤2
AB-I-1182A	ユーティリティ工程 安全系A制御盤3		AB-I-1185B	ユーティリティ工程 安全系B制御盤3
AB-I-1033A	分離・分配工程 安全系A制御盤1		AB-I-1036B	分離・分配工程 安全系B制御盤1
AB-I-1034A	分離・分配工程 安全系A制御盤2		AB-I-1037B	分離・分配工程 安全系B制御盤2
AB-I-1035A	分離・分配工程 安全系A制御盤3		AB-I-1038B	分離・分配工程 安全系B制御盤3
AB-V-1100A	建屋換気設備 安全系A制御盤		AB-V-1101B	建屋換気設備 安全系B制御盤
-			-	
1パス		-		
回路評価等		-		
成功パス		-		

再処理施設成功パス一覧表

4.支援機能(継ぎ)		[A]レン設備	[B]レン設備
精製建屋の電気設備		AC-BAT-A 110V第2非常用蓄電池A AC-CHG-A 110V非常用充電器盤A AC-CHG-E 110V非常用予備充電器盤E AC-D-DCD-A 110V非常用直流主分電盤A AC-MCC-A1 460V非常用コントロールセンタA1 AC-MCC-A2 460V非常用コントロールセンタA2 AC-P/C-A 460V非常用パワーセンタA AC-UPD-A 105V非常用無停電交流主分電盤A AC-UPS-A 105V非常用無停電電源装置A AC-I-1450A ユーティリティ工程 安全系A制御盤(計器盤) AC-I-1451A ユーティリティ工程 安全系A制御盤(リレー盤) AC-E-1452A 非常用電気設備リレー盤A AC-V-1453A 建屋換気設備安全系A制御盤 AC-I-1752A プルトニウム精製工程 安全系A 制御盤3	AC-BAT-B 110V第2非常用蓄電池B AC-CHG-B 110V非常用充電器盤B AC-CHG-E 110V非常用予備充電器盤E AC-D-DCD-B 110V非常用直流主分電盤B AC-MCC-B1 460V非常用コントロールセンタB1 AC-MCC-B2 460V非常用コントロールセンタB2 AC-P/C-B 460V非常用パワーセンタB AC-UPD-B 105V非常用無停電交流主分電盤B AC-UPS-B 105V非常用無停電電源装置B AC-I-1460B ユーティリティ工程 安全系B制御盤(計器盤) AC-I-1461B ユーティリティ工程 安全系B制御盤(リレー盤) AC-E-1462B 非常用電気設備リレー盤B AC-V-1463B 建屋換気設備安全系B制御盤 AC-I-1755B プルトニウム精製工程 安全系B 制御盤3
ワラン・プルトニウム混合脱硝建屋の非常用所内電源系統		CA-P/C-A 460V非常用パワーセンタA CA-MCC-A1 460V非常用コントロールセンタA1 CA-MCC-A2 460V非常用コントロールセンタA2 CA-M/C-A 6.9kV非常用メタグラ CA-E-K503A 非常用電気設備リレー盤A CA-I-1501A 安全系A制御盤 CA-V-1502A 建屋換気設備安全系A制御盤 CA-CHG-A 110V非常用充電器盤A CA-CHG-E 110V非常用予備充電器盤E CA-D-DCD-A 110V非常用直流主分電盤A CA-UPD-A 105V非常用無停電交流主分電盤A CA-UPS-A 105V非常用無停電電源装置A CA-BAT-A 110V第2非常用蓄電池A	CA-P/C-B 460V非常用パワーセンタB CA-MCC-B1 460V非常用コントロールセンタB1 CA-MCC-B2 460V非常用コントロールセンタB2 CA-M/C-B 6.9kV非常用メタグラB CA-E-K603B 非常用電気設備リレー盤B CA-I-1601B 安全系B制御盤 CA-V-1602B 建屋換気設備安全系B制御盤 CA-CHG-B 110V非常用充電器盤B CA-CHG-E 110V非常用予備充電器盤E CA-D-DCD-B 110V非常用直流主分電盤B CA-UPD-B 105V非常用無停電交流主分電盤B CA-UPS-B 105V非常用無停電電源装置B CA-BAT-B 110V第2非常用蓄電池B
ワラン・プルトニウム混合脱硝建屋の非常用所内電源系統		CB-P/C-A 460V非常用パワーセンタA CB-E-1101A 非常用電気設備リレー盤A CA-V-1001A 建屋換気設備安全系A制御盤 CB-BAT-A 110V第2非常用蓄電池A CB-CHG-A 110V非常用充電器盤A CB-D-DCD-A 110V非常用直流主分電盤A CB-MCC-A 460V非常用コントロールセンタA CB-UPS-A 105V非常用無停電電源装置A CB-CHG-E 110V非常用予備充電器盤E	CB-P/C-B 460V非常用パワーセンタB CB-E-1102B 非常用電気設備リレー盤B CA-V-1002B 建屋換気設備安全系B制御盤 CB-BAT-B 110V第2非常用蓄電池B CB-CHG-B 110V非常用充電器盤B CB-D-DCD-B 110V非常用直流主分電盤B CB-MCC-B 460V非常用コントロールセンタB CB-UPS-B 105V非常用無停電電源装置B CB-CHG-E 110V非常用予備充電器盤E
高レベル廃液ガラス固化建屋の電気設備		KA-P/C-A 460V非常用パワーセンタA KA-BAT-A 110V第2非常用蓄電池A KA-CHG-A 110V非常用充電器盤A KA-CHG-E 110V非常用予備充電器盤E KA-D-DCD-A 110V非常用直流主分電盤A KA-UPS-A 105V非常用無停電電源装置A KA-UPD-A 105V非常用無停電交流主分電盤A KA-ACS-A 105V非常用計測交流電源盤A KA-ACD-A 105V非常用計測交流主分電盤A KA-MCC-A1 460V非常用コントロールセンタA1 KA-MCC-A2 460V非常用コントロールセンタA2 KA-I-K224A 高レベル廃液ガラス固化廃ガス処理設備第1排風機A安全系Aインバータ制御盤 KA-I-K226A 高レベル廃液ガラス固化廃ガス処理設備第2排風機A安全系Aインバータ制御盤 KA-I-K073A 固化セル換気系排風機A安全系Aインバータ制御盤 KA-E-K001A 非常用電気設備リレー盤A KA-I-1501A 高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系A制御盤1 KA-I-1502A 高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系A制御盤2 KA-I-1503A 高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系A制御盤3 KA-I-1504A 高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系A制御盤4 KA-I-1505A 高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系A制御盤5 KA-I-1506A 高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系A制御盤6 KA-I-1507A 高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系A制御盤7 KA-I-1508A 高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系A制御盤8 KA-I-1511A 安全系A アレスタ盤 KA-I-1512A 高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系A制御盤(リレー盤1) KA-I-1513A 高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系A制御盤(リレー盤2) KA-I-1514A 高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系A制御盤(リレー盤3) KA-I-M331A 冷凍機 安全系A監視制御盤 KA-I-K334A 冷却水・冷水設備 安全系A 制御盤1 KA-I-K335A 冷却水・冷水設備 安全系A 制御盤2	KA-P/C-B 460V非常用パワーセンタB KA-BAT-B 110V第2非常用蓄電池B KA-CHG-B 110V非常用充電器盤B KA-CHG-E 110V非常用予備充電器盤E KA-D-DCD-B 110V非常用直流主分電盤B KA-UPS-B 105V非常用無停電電源装置B KA-UPD-B 105V非常用無停電交流主分電盤B KA-ACS-B 105V非常用計測交流電源盤B KA-ACD-B 105V非常用計測交流主分電盤B KA-MCC-B1 460V非常用コントロールセンタB1 KA-MCC-B2 460V非常用コントロールセンタB2 KA-I-K225B 高レベル廃液ガラス固化廃ガス処理設備第1排風機B安全系Bインバータ制御盤 KA-I-K227B 高レベル廃液ガラス固化廃ガス処理設備第2排風機B安全系Bインバータ制御盤 KA-I-K074B 固化セル換気系排風機B安全系Bインバータ制御盤 KA-E-K002B 非常用電気設備リレー盤B KA-I-1521B 高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系B制御盤1 KA-I-1522B 高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系B制御盤2 KA-I-1523B 高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系B制御盤3 KA-I-1524B 高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系B制御盤4 KA-I-1525B 高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系B制御盤5 KA-I-1526B 高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系B制御盤6 KA-I-1527B 高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系B制御盤7 KA-I-1528B 高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系B制御盤8 KA-I-1531B 安全系B アレスタ盤 KA-I-1532B 高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系B制御盤(リレー盤1) KA-I-1533B 高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系B制御盤(リレー盤2) KA-I-1534B 高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系B制御盤(リレー盤3) KA-I-M322B 冷凍機 安全系B監視制御盤 KA-I-K338B 冷却水・冷水設備 安全系B 制御盤1 KA-I-K339B 冷却水・冷水設備 安全系B 制御盤2
-			X
	1パス	○	
	回路評価等	-	
	成功パス	○	

火災区域(区画)特性表

1. 火災区域(区画)の説明

建屋名	精製建屋
火災区域/区画区分	火災区画
火災区域/区画番号	■
火災区域/区画名称	地上4階東西第2廊下,南北第2廊下
床面積(m ²)	■

2. 火災区域(区画)の火災シナリオの説明

■は、精製建屋内の火災区画である。
 本区画は、ケーブルトレイ火災の発生可能性があるが、安全上重要な施設が設置されていないため、安全機能の喪失のおそれはない。

3. 火災区域(区画)にある火災源

(1) 等価時間

発熱量(kJ)	火災荷重(kJ/m ²)	等価時間(h) [※]
■	■	1.0

※ 等価時間は、内部火災影響評価ガイドの等価時間記載の値で示す。

(2) 火災区域(区画)にある火災源機器数

火災源	機器数
電動機(3.7kW超)	-
電気盤(440V以上)	-
ケーブルトレイ(ケーブル)	有
油脂類・有機溶媒等	-
その他	-

4. 火災区域(区画)にある防火設備

火災感知の手段	主要な消火設備	消火方法	消火設備のバックアップ
煙感知器 熱感知器	屋内消火栓	手動	粉末消火器

5. 火災区域(区画)に隣接する火災区域(区画)と火災伝播経路

隣接火災区画への火災伝播経路の詳細は、別紙1参照

6. 火災影響を受ける火災防護対象機器等

機器名称[機器番号]	最重要設備 [※]	最重要設備以外の安全上重要な施設 [※]
-	-	-

※ ○:対象 -:非対象

* 火災想定において、工程停止等により安全機能を必要としない状態へと移行が可能なもの。

7. 火災防護対象機器等の関連ケーブル

機器名称[機器番号]	ケーブル種別	安重分類
-	-	-

8. 最重要設備の安重機能への火災影響

安重分類	全焼時の成功パスの有無	回路評価等の考慮	結果	系統分離※
Pu・高レベル廃棄物の閉じ込め機能	-	-	-	-
崩壊熱除去機能(重要度の高いもの)	-	-	-	-
安全圧縮空気系(水素掃気機能)	-	-	-	-
非常用所内電源系統	-	-	-	-

※ a : 3時間以上の耐火能力を有する耐火壁で分離

b : 水平距離6mによる分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置

c : 1時間の耐火能力を有する隔壁等による分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置
再処理施設成功パスの詳細は、別紙2参照

9. 最重要設備以外の火災防護対象機器等への火災影響

機器名称[機器番号]	当該区画の火災評価※	隣接区画の火災評価※
-	-	-

※ ○:火災影響なし ×:火災影響あり

火災区域(区画)特性表

1. 火災区域(区画)の説明

建屋名	精製建屋
火災区域/区画区分	火災区画
火災区域/区画番号	■
火災区域/区画名称	圧縮空気分配第7室
床面積(m ²)	■

2. 火災区域(区画)の火災シナリオの説明

■は、精製建屋内の火災区画である。
 本区画は、ケーブルトレイ火災の発生可能性があるが、安全上重要な施設が設置されていないため、安全機能の喪失のおそれはない。

3. 火災区域(区画)にある火災源

(1) 等価時間

発熱量(kJ)	火災荷重 (kJ/m ²)	等価時間(h) [※]
■	■	0.5

※ 等価時間は、内部火災影響評価ガイドの等価時間記載の値で示す。

(2) 火災区域(区画)にある火災源機器数

火災源	機器数
電動機(3.7kW超)	-
電気盤(440V以上)	-
ケーブルトレイ(ケーブル)	有
油脂類・有機溶媒等	-
その他	-

4. 火災区域(区画)にある防火設備

火災感知の手段	主要な消火設備	消火方法	消火設備のバックアップ
煙感知器	屋内消火栓	手動	粉末消火器

5. 火災区域(区画)に隣接する火災区域(区画)と火災伝播経路

隣接火災区画への火災伝播経路の詳細は、別紙1参照

6. 火災影響を受ける火災防護対象機器等

機器名称[機器番号]	最重要設備 [※]	最重要設備以外の安全上重要な施設 [※]
-	-	-

※ ○:対象 -:非対象

* 火災想定において、工程停止等により安全機能を必要としない状態へと移行が可能なもの。

7. 火災防護対象機器等の関連ケーブル

機器名称[機器番号]	ケーブル種別	安重分類
-	-	-

8. 最重要設備の安重機能への火災影響

安重分類	全焼時の成功パスの有無	回路評価等の考慮	結果	系統分離※
Pu・高レベル廃棄物の閉じ込め機能	-	-	-	-
崩壊熱除去機能(重要度の高いもの)	-	-	-	-
安全圧縮空気系(水素掃気機能)	-	-	-	-
非常用所内電源系統	-	-	-	-

※ a : 3時間以上の耐火能力を有する耐火壁で分離

b : 水平距離6mによる分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置

c : 1時間の耐火能力を有する隔壁等による分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置
再処理施設成功パスの詳細は、別紙2参照

9. 最重要設備以外の火災防護対象機器等への火災影響

機器名称[機器番号]	当該区画の火災評価※	隣接区画の火災評価※
-	-	-

※ ○:火災影響なし ×:火災影響あり

隣接する火災区画と火災伝播経路

(※ 有:伝播する 無:伝播しない)

隣接する 火災区画	火災伝播 経路有無	等価時間 (h)	耐火時間 (h)	火災伝播の 可能性 ※	備考
	無	0.5	3.0	無	
	無	0.5	3.0	無	
	無	0.5	3.0	無	
	有	0.5	0.0	有	
	有	0.5	0.0	有	
	有	0.5	0.0	有	
	有	0.5	0.0	有	
	有	0.5	0.0	有	
	無	0.5	3.0	無	
	有	0.5	0.0	有	
	無	0.5	3.0	無	

火災区域(区画)特性表

1. 火災区域(区画)の説明

建屋名	精製建屋
火災区域/区画区分	火災区画
火災区域/区画番号	■
火災区域/区画名称	プルトニウム系エアジェット第2セル
床面積(m ²)	■

2. 火災区域(区画)の火災シナリオの説明

■は、精製建屋内の火災区画である。
 本区画は、火災源となるものがないおよび安全上重要な施設が設置されていないため、安全機能の喪失のおそれはない。

3. 火災区域(区画)にある火災源

(1) 等価時間

発熱量(kJ)	火災荷重(kJ/m ²)	等価時間(h) [※]
■	■	0.0

※ 等価時間は、内部火災影響評価ガイドの等価時間記載の値で示す。

(2) 火災区域(区画)にある火災源機器数

火災源	機器数
電動機(3.7kW超)	-
電気盤(440V以上)	-
ケーブルトレイ(ケーブル)	-
油脂類・有機溶媒等	-
その他	-

4. 火災区域(区画)にある防火設備

火災感知の手段	主要な消火設備	消火方法	消火設備のバックアップ
設置除外	設置除外	-	-

5. 火災区域(区画)に隣接する火災区域(区画)と火災伝播経路

隣接火災区画への火災伝播経路の詳細は、別紙1参照

6. 火災影響を受ける火災防護対象機器等

機器名称[機器番号]	最重要設備 [※]	最重要設備以外の安全上重要な施設 [※]
-	-	-

※ ○:対象 -:非対象

* 火災想定において、工程停止等により安全機能を必要としない状態へと移行が可能なもの。

7. 火災防護対象機器等の関連ケーブル

機器名称[機器番号]	ケーブル種別	安重分類
-	-	-

8. 最重要設備の安重機能への火災影響

安重分類	全焼時の 成功パスの 有無	回路評価 等の考慮	結果	系統分離※
Pu・高レベル廃棄物の閉じ込め機能	-	-	-	-
崩壊熱除去機能(重要度の高いもの)	-	-	-	-
安全圧縮空気系(水素掃気機能)	-	-	-	-
非常用所内電源系統	-	-	-	-

※ a : 3時間以上の耐火能力を有する耐火壁で分離

b : 水平距離6mによる分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置

c : 1時間の耐火能力を有する隔壁等による分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置
再処理施設成功パスの詳細は、別紙2参照

9. 最重要設備以外の火災防護対象機器等への火災影響

機器名称[機器番号]	当該区画の火災評価※	隣接区画の火災評価※
-	-	-

※ ○:火災影響なし ×:火災影響あり

隣接する火災区画と火災伝播経路

(※ 有:伝播する 無:伝播しない)

隣接する 火災区画	火災伝播 経路有無	等価時間 (h)	耐火時間 (h)	火災伝播の 可能性 ※	備考
[Redacted]	無	0.0	3.0	無	
	有	0.0	0.0	無	
	有	0.0	0.0	無	
	有	0.0	0.0	無	
	無	0.0	3.0	無	
	有	0.0	0.0	無	

火災区域(区画)特性表

1. 火災区域(区画)の説明

建屋名	精製建屋
火災区域/区画区分	火災区画
火災区域/区画番号	■
火災区域/区画名称	プルトニウム系エアジェット第3セル
床面積(m ²)	■

2. 火災区域(区画)の火災シナリオの説明

■は、精製建屋内の火災区画である。
 本区画は、火災源となるものがないおよび安全上重要な施設が設置されていないため、安全機能の喪失のおそれはない。

3. 火災区域(区画)にある火災源

(1) 等価時間

発熱量(kJ)	火災荷重(kJ/m ²)	等価時間(h) [※]
■	■	0.0

※ 等価時間は、内部火災影響評価ガイドの等価時間記載の値で示す。

(2) 火災区域(区画)にある火災源機器数

火災源	機器数
電動機(3.7kW超)	-
電気盤(440V以上)	-
ケーブルトレイ(ケーブル)	-
油脂類・有機溶媒等	-
その他	-

4. 火災区域(区画)にある防火設備

火災感知の手段	主要な消火設備	消火方法	消火設備のバックアップ
設置除外	設置除外	-	-

5. 火災区域(区画)に隣接する火災区域(区画)と火災伝播経路

隣接火災区画への火災伝播経路の詳細は、別紙1参照

6. 火災影響を受ける火災防護対象機器等

機器名称[機器番号]	最重要設備 [※]	最重要設備以外の安全上重要な施設 [※]
-	-	-

※ ○:対象 -:非対象

* 火災想定において、工程停止等により安全機能を必要としない状態へと移行が可能なもの。

7. 火災防護対象機器等の関連ケーブル

機器名称[機器番号]	ケーブル種別	安重分類
-	-	-

8. 最重要設備の安重機能への火災影響

安重分類	全焼時の 成功パスの 有無	回路評価 等の考慮	結果	系統分離※
Pu・高レベル廃棄物の閉じ込め機能	-	-	-	-
崩壊熱除去機能(重要度の高いもの)	-	-	-	-
安全圧縮空気系(水素掃気機能)	-	-	-	-
非常用所内電源系統	-	-	-	-

※ a : 3時間以上の耐火能力を有する耐火壁で分離

b : 水平距離6mによる分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置

c : 1時間の耐火能力を有する隔壁等による分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置
再処理施設成功パスの詳細は、別紙2参照

9. 最重要設備以外の火災防護対象機器等への火災影響

機器名称[機器番号]	当該区画の火災評価※	隣接区画の火災評価※
-	-	-

※ ○:火災影響なし ×:火災影響あり

隣接する火災区画と火災伝播経路

(※ 有:伝播する 無:伝播しない)

隣接する 火災区画	火災伝播 経路有無	等価時間 (h)	耐火時間 (h)	火災伝播の 可能性 ※	備考
■	無	0.0	3.0	無	
	有	0.0	0.0	無	
	有	0.0	0.0	無	
	有	0.0	0.0	無	
	無	0.0	3.0	無	
	有	0.0	0.0	無	

火災区域(区画)特性表

1. 火災区域(区画)の説明

建屋名	精製建屋
火災区域/区画区分	火災区画
火災区域/区画番号	■
火災区域/区画名称	プルトニウム系エアジェット第4セル
床面積(m ²)	■

2. 火災区域(区画)の火災シナリオの説明

■は、精製建屋内の火災区画である。
 本区画は、火災源となるものがないおよび安全上重要な施設が設置されていないため、安全機能の喪失のおそれはない。

3. 火災区域(区画)にある火災源

(1) 等価時間

発熱量(kJ)	火災荷重(kJ/m ²)	等価時間(h) [※]
■	■	0.0

※ 等価時間は、内部火災影響評価ガイドの等価時間記載の値で示す。

(2) 火災区域(区画)にある火災源機器数

火災源	機器数
電動機(3.7kW超)	-
電気盤(440V以上)	-
ケーブルトレイ(ケーブル)	-
油脂類・有機溶媒等	-
その他	-

4. 火災区域(区画)にある防火設備

火災感知の手段	主要な消火設備	消火方法	消火設備のバックアップ
設置除外	設置除外	-	-

5. 火災区域(区画)に隣接する火災区域(区画)と火災伝播経路

隣接火災区画への火災伝播経路の詳細は、別紙1参照

6. 火災影響を受ける火災防護対象機器等

機器名称[機器番号]	最重要設備 [※]	最重要設備以外の安全上重要な施設 [※]
-	-	-

※ ○:対象 -:非対象

* 火災想定において、工程停止等により安全機能を必要としない状態へと移行が可能なもの。

7. 火災防護対象機器等の関連ケーブル

機器名称[機器番号]	ケーブル種別	安重分類
-	-	-

8. 最重要設備の安重機能への火災影響

安重分類	全焼時の成功パスの有無	回路評価等の考慮	結果	系統分離※
Pu・高レベル廃棄物の閉じ込め機能	-	-	-	-
崩壊熱除去機能(重要度の高いもの)	-	-	-	-
安全圧縮空気系(水素掃気機能)	-	-	-	-
非常用所内電源系統	-	-	-	-

※ a : 3時間以上の耐火能力を有する耐火壁で分離

b : 水平距離6mによる分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置

c : 1時間の耐火能力を有する隔壁等による分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置
再処理施設成功パスの詳細は、別紙2参照

9. 最重要設備以外の火災防護対象機器等への火災影響

機器名称[機器番号]	当該区画の火災評価※	隣接区画の火災評価※
-	-	-

※ ○:火災影響なし ×:火災影響あり

隣接する火災区画と火災伝播経路

(※ 有:伝播する 無:伝播しない)

隣接する 火災区画	火災伝播 経路有無	等価時間 (h)	耐火時間 (h)	火災伝播の 可能性 ※	備考
	有	0.0	0.0	無	
	無	0.0	3.0	無	
	有	0.0	0.0	無	
	無	0.0	3.0	無	
	有	0.0	0.0	無	

火災区域(区画)特性表

1. 火災区域(区画)の説明

建屋名	精製建屋
火災区域/区画区分	火災区画
火災区域/区画番号	■
火災区域/区画名称	プルトニウム系塔槽類廃ガスフィルタ保守室
床面積(m ²)	■

2. 火災区域(区画)の火災シナリオの説明

■は、精製建屋内の火災区画である。
 本区画は、電動機絶縁物火災、潤滑油漏えい火災または、電気盤火災の発生の可能性があるが、安全上重要な施設が設置されていないため、安全機能の喪失のおそれはない。

3. 火災区域(区画)にある火災源

(1) 等価時間

発熱量(kJ)	火災荷重 (kJ/m ²)	等価時間(h) [※]
■	■	0.5

※ 等価時間は、内部火災影響評価ガイドの等価時間記載の値で示す。

(2) 火災区域(区画)にある火災源機器数

火災源	機器数
電動機(3.7kW超)	1
電気盤(440V以上)	2
ケーブルトレイ(ケーブル)	-
油脂類・有機溶媒等	有
その他	-

4. 火災区域(区画)にある防火設備

火災感知の手段	主要な消火設備	消火方法	消火設備のバックアップ
煙感知器	屋内消火栓	手動	粉末消火器

5. 火災区域(区画)に隣接する火災区域(区画)と火災伝播経路

隣接火災区画への火災伝播経路の詳細は、別紙1参照

6. 火災影響を受ける火災防護対象機器等

機器名称[機器番号]	最重要設備 [※]	最重要設備以外の安全上重要な施設 [※]
-	-	-

※ ○:対象 -:非対象

* 火災想定において、工程停止等により安全機能を必要としない状態へと移行が可能なもの。

7. 火災防護対象機器等の関連ケーブル

機器名称[機器番号]	ケーブル種別	安重分類
-	-	-

8. 最重要設備の安重機能への火災影響

安重分類	全焼時の成功パスの有無	回路評価等の考慮	結果	系統分離※
Pu・高レベル廃棄物の閉じ込め機能	-	-	-	-
崩壊熱除去機能(重要度の高いもの)	-	-	-	-
安全圧縮空気系(水素掃気機能)	-	-	-	-
非常用所内電源系統	-	-	-	-

※ a : 3時間以上の耐火能力を有する耐火壁で分離

b : 水平距離6mによる分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置

c : 1時間の耐火能力を有する隔壁等による分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置
再処理施設成功パスの詳細は、別紙2参照

9. 最重要設備以外の火災防護対象機器等への火災影響

機器名称[機器番号]	当該区画の火災評価※	隣接区画の火災評価※
-	-	-

※ ○:火災影響なし ×:火災影響あり

隣接する火災区画と火災伝播経路

(※ 有:伝播する 無:伝播しない)

隣接する 火災区画	火災伝播 経路有無	等価時間 (h)	耐火時間 (h)	火災伝播の 可能性 ※	備考
	無	0.5	3.0	無	
	無	0.5	3.0	無	
	有	0.5	0.0	有	
	有	0.5	0.0	有	
	無	0.5	3.0	無	
	無	0.5	3.0	無	
	有	0.5	0.0	有	
	有	0.5	0.0	有	
	有	0.5	0.0	有	
	無	0.5	3.0	無	

火災区域(区画)特性表

1. 火災区域(区画)の説明

建屋名	精製建屋
火災区域/区画区分	火災区画
火災区域/区画番号	■
火災区域/区画名称	プルトニウム系塔槽類廃ガス処理第1セル
床面積(m ²)	■

2. 火災区域(区画)の火災シナリオの説明

■は、精製建屋内の火災区画である。
 本区画は、火災源となるものがないおよび安全上重要な施設が金属等の不燃材および難燃性にて構成され火災影響を受けないことから、安全機能の喪失のおそれがない。

3. 火災区域(区画)にある火災源

(1) 等価時間

発熱量(kJ)	火災荷重 (kJ/m ²)	等価時間(h) [※]
■	■	0.0

※ 等価時間は、内部火災影響評価ガイドの等価時間記載の値で示す。

(2) 火災区域(区画)にある火災源機器数

火災源	機器数
電動機(3.7kW超)	-
電気盤(440V以上)	-
ケーブルトレイ(ケーブル)	-
油脂類・有機溶媒等	-
その他	-

4. 火災区域(区画)にある防火設備

火災感知の手段	主要な消火設備	消火方法	消火設備のバックアップ
設置除外	設置除外	-	-

5. 火災区域(区画)に隣接する火災区域(区画)と火災伝播経路

隣接火災区画への火災伝播経路の詳細は、別紙1参照

6. 火災影響を受ける火災防護対象機器等

機器名称[機器番号]	最重要設備 [※]	最重要設備以外の安全上重要な施設 [※]
-	-	-

※ ○:対象 -:非対象

* 火災想定において、工程停止等により安全機能を必要としない状態へと移行が可能なもの。

7. 火災防護対象機器等の関連ケーブル

機器名称[機器番号]	ケーブル種別	安重分類
-	-	-

8. 最重要設備の安重機能への火災影響

安重分類	全焼時の 成功パスの 有無	回路評価 等の考慮	結果	系統分離※
Pu・高レベル廃棄物の閉じ込め機能	-	-	-	-
崩壊熱除去機能(重要度の高いもの)	-	-	-	-
安全圧縮空気系(水素掃気機能)	-	-	-	-
非常用所内電源系統	-	-	-	-

※ a : 3時間以上の耐火能力を有する耐火壁で分離

b : 水平距離6mによる分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置

c : 1時間の耐火能力を有する隔壁等による分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置
再処理施設成功パスの詳細は、別紙2参照

9. 最重要設備以外の火災防護対象機器等への火災影響

機器名称[機器番号]	当該区画の火災評価※	隣接区画の火災評価※
-	-	-

※ ○:火災影響なし ×:火災影響あり

隣接する火災区画と火災伝播経路

(※ 有:伝播する 無:伝播しない)

隣接する 火災区画	火災伝播 経路有無	等価時間 (h)	耐火時間 (h)	火災伝播の 可能性 ※	備考
	有	0.0	0.0	無	
	無	0.0	3.0	無	
	無	0.0	3.0	無	
	有	0.0	0.0	無	

火災区域(区画)特性表

1. 火災区域(区画)の説明

建屋名	精製建屋
火災区域/区画区分	火災区画
火災区域/区画番号	■
火災区域/区画名称	プルトニウム系塔槽類廃ガス処理第2セル
床面積(m ²)	■

2. 火災区域(区画)の火災シナリオの説明

■は、精製建屋内の火災区画である。
 本区画は、火災源となるものがないおよび安全上重要な施設が金属等の不燃材および難燃性にて構成され火災影響を受けないことから、安全機能の喪失のおそれがない。

3. 火災区域(区画)にある火災源

(1) 等価時間

発熱量(kJ)	火災荷重 (kJ/m ²)	等価時間(h) [※]
■	■	0.0

※ 等価時間は、内部火災影響評価ガイドの等価時間記載の値で示す。

(2) 火災区域(区画)にある火災源機器数

火災源	機器数
電動機(3.7kW超)	-
電気盤(440V以上)	-
ケーブルトレイ(ケーブル)	-
油脂類・有機溶媒等	-
その他	-

4. 火災区域(区画)にある防火設備

火災感知の手段	主要な消火設備	消火方法	消火設備のバックアップ
設置除外	設置除外	-	-

5. 火災区域(区画)に隣接する火災区域(区画)と火災伝播経路

隣接火災区画への火災伝播経路の詳細は、別紙1参照

6. 火災影響を受ける火災防護対象機器等

機器名称[機器番号]	最重要設備 [※]	最重要設備以外の安全上重要な施設 [※]
-	-	-

※ ○:対象 -:非対象

* 火災想定において、工程停止等により安全機能を必要としない状態へと移行が可能なもの。

7. 火災防護対象機器等の関連ケーブル

機器名称[機器番号]	ケーブル種別	安重分類
-	-	-

8. 最重要設備の安重機能への火災影響

安重分類	全焼時の成功パスの有無	回路評価等の考慮	結果	系統分離※
Pu・高レベル廃棄物の閉じ込め機能	-	-	-	-
崩壊熱除去機能(重要度の高いもの)	-	-	-	-
安全圧縮空気系(水素掃気機能)	-	-	-	-
非常用所内電源系統	-	-	-	-

※ a : 3時間以上の耐火能力を有する耐火壁で分離

b : 水平距離6mによる分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置

c : 1時間の耐火能力を有する隔壁等による分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置
再処理施設成功パスの詳細は、別紙2参照

9. 最重要設備以外の火災防護対象機器等への火災影響

機器名称[機器番号]	当該区画の火災評価※	隣接区画の火災評価※
-	-	-

※ ○:火災影響なし ×:火災影響あり

隣接する火災区画と火災伝播経路

(※ 有:伝播する 無:伝播しない)

隣接する 火災区画	火災伝播 経路有無	等価時間 (h)	耐火時間 (h)	火災伝播の 可能性 ※	備考
	無	0.0	3.0	無	
	有	0.0	0.0	無	
	無	0.0	3.0	無	
	有	0.0	0.0	無	
	無	0.0	3.0	無	
	有	0.0	0.0	無	

火災区域(区画)特性表

1. 火災区域(区画)の説明

建屋名	精製建屋
火災区域/区画区分	火災区画
火災区域/区画番号	■
火災区域/区画名称	制御盤第7室
床面積(m ²)	■

2. 火災区域(区画)の火災シナリオの説明

■は、精製建屋内の火災区画である。
 本区画は、ケーブルトレイ火災の発生可能性があるが、安全上重要な施設が設置されていないため、安全機能の喪失のおそれはない。

3. 火災区域(区画)にある火災源

(1) 等価時間

発熱量(kJ)	火災荷重 (kJ/m ²)	等価時間(h) [※]
■	■	0.5

※ 等価時間は、内部火災影響評価ガイドの等価時間記載の値で示す。

(2) 火災区域(区画)にある火災源機器数

火災源	機器数
電動機(3.7kW超)	-
電気盤(440V以上)	-
ケーブルトレイ(ケーブル)	有
油脂類・有機溶媒等	-
その他	-

4. 火災区域(区画)にある防火設備

火災感知の手段	主要な消火設備	消火方法	消火設備のバックアップ
煙感知器	二酸化炭素消火器	手動	粉末消火器

5. 火災区域(区画)に隣接する火災区域(区画)と火災伝播経路

隣接火災区画への火災伝播経路の詳細は、別紙1参照

6. 火災影響を受ける火災防護対象機器等

機器名称[機器番号]	最重要設備 [※]	最重要設備以外の安全上重要な施設 [※]
-	-	-

※ ○:対象 -:非対象

* 火災想定において、工程停止等により安全機能を必要としない状態へと移行が可能なもの。

7. 火災防護対象機器等の関連ケーブル

機器名称[機器番号]	ケーブル種別	安重分類
-	-	-

8. 最重要設備の安重機能への火災影響

安重分類	全焼時の成功パスの有無	回路評価等の考慮	結果	系統分離※
Pu・高レベル廃棄物の閉じ込め機能	-	-	-	-
崩壊熱除去機能(重要度の高いもの)	-	-	-	-
安全圧縮空気系(水素掃気機能)	-	-	-	-
非常用所内電源系統	-	-	-	-

※ a : 3時間以上の耐火能力を有する耐火壁で分離

b : 水平距離6mによる分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置

c : 1時間の耐火能力を有する隔壁等による分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置
再処理施設成功パスの詳細は、別紙2参照

9. 最重要設備以外の火災防護対象機器等への火災影響

機器名称[機器番号]	当該区画の火災評価※	隣接区画の火災評価※
-	-	-

※ ○:火災影響なし ×:火災影響あり

隣接する火災区画と火災伝播経路

(※ 有:伝播する 無:伝播しない)

隣接する 火災区画	火災伝播 経路有無	等価時間 (h)	耐火時間 (h)	火災伝播の 可能性 ※	備考
	有	0.5	0.0	有	
	有	0.5	0.0	有	
	無	0.5	3.0	無	
	無	0.5	3.0	無	
	無	0.5	3.0	無	

火災区域(区画)特性表

1. 火災区域(区画)の説明

建屋名	精製建屋
火災区域/区画区分	火災区画
火災区域/区画番号	■
火災区域/区画名称	第1エジェクタA凝縮器室
床面積(m ²)	■

2. 火災区域(区画)の火災シナリオの説明

■は、精製建屋内の火災区画である。
 本区画は、火災源となるものがないおよび安全上重要な施設が設置されていないため、安全機能の喪失のおそれはない。

3. 火災区域(区画)にある火災源

(1) 等価時間

発熱量(kJ)	火災荷重 (kJ/m ²)	等価時間(h) [※]
■	■	0.5

※ 等価時間は、内部火災影響評価ガイドの等価時間記載の値で示す。

(2) 火災区域(区画)にある火災源機器数

火災源	機器数
電動機(3.7kW超)	-
電気盤(440V以上)	-
ケーブルトレイ(ケーブル)	-
油脂類・有機溶媒等	-
その他	-

4. 火災区域(区画)にある防火設備

火災感知の手段	主要な消火設備	消火方法	消火設備のバックアップ
煙感知器	屋内消火栓	手動	粉末消火器

5. 火災区域(区画)に隣接する火災区域(区画)と火災伝播経路

隣接火災区画への火災伝播経路の詳細は、別紙1参照

6. 火災影響を受ける火災防護対象機器等

機器名称[機器番号]	最重要設備 [※]	最重要設備以外の安全上重要な施設 [※]
-	-	-

※ ○:対象 -:非対象

* 火災想定において、工程停止等により安全機能を必要としない状態へと移行が可能なもの。

7. 火災防護対象機器等の関連ケーブル

機器名称[機器番号]	ケーブル種別	安重分類
-	-	-

8. 最重要設備の安重機能への火災影響

安重分類	全焼時の 成功パスの 有無	回路評価 等の考慮	結果	系統分離※
Pu・高レベル廃棄物の閉じ込め機能	-	-	-	-
崩壊熱除去機能(重要度の高いもの)	-	-	-	-
安全圧縮空気系(水素掃気機能)	-	-	-	-
非常用所内電源系統	-	-	-	-

※ a : 3時間以上の耐火能力を有する耐火壁で分離

b : 水平距離6mによる分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置

c : 1時間の耐火能力を有する隔壁等による分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置
再処理施設成功パスの詳細は、別紙2参照

9. 最重要設備以外の火災防護対象機器等への火災影響

機器名称[機器番号]	当該区画の火災評価※	隣接区画の火災評価※
-	-	-

※ ○:火災影響なし ×:火災影響あり

隣接する火災区画と火災伝播経路

(※ 有:伝播する 無:伝播しない)

隣接する 火災区画	火災伝播 経路有無	等価時間 (h)	耐火時間 (h)	火災伝播の 可能性 ※	備考
	無	0.5	3.0	無	
	無	0.5	3.0	無	
	無	0.5	3.0	無	
	無	0.5	3.0	無	
	無	0.5	3.0	無	
	無	0.5	3.0	無	
	無	0.5	3.0	無	
	無	0.5	3.0	無	
	無	0.5	3.0	無	

火災区域(区画)特性表

1. 火災区域(区画)の説明

建屋名	精製建屋
火災区域/区画区分	火災区画
火災区域/区画番号	■
火災区域/区画名称	試薬分配第9室
床面積(m ²)	■

2. 火災区域(区画)の火災シナリオの説明

■は、精製建屋内の火災区画である。
 本区画は、ケーブルトレイ火災の発生可能性があるが、安全上重要な施設が設置されていないため、安全機能の喪失のおそれはない。

3. 火災区域(区画)にある火災源

(1) 等価時間

発熱量(kJ)	火災荷重(kJ/m ²)	等価時間(h) [※]
■	■	0.5

※ 等価時間は、内部火災影響評価ガイドの等価時間記載の値で示す。

(2) 火災区域(区画)にある火災源機器数

火災源	機器数
電動機(3.7kW超)	-
電気盤(440V以上)	-
ケーブルトレイ(ケーブル)	有
油脂類・有機溶媒等	-
その他	-

4. 火災区域(区画)にある防火設備

火災感知の手段	主要な消火設備	消火方法	消火設備のバックアップ
煙感知器	屋内消火栓	手動	粉末消火器

5. 火災区域(区画)に隣接する火災区域(区画)と火災伝播経路

隣接火災区画への火災伝播経路の詳細は、別紙1参照

6. 火災影響を受ける火災防護対象機器等

機器名称[機器番号]	最重要設備 [※]	最重要設備以外の安全上重要な施設 [※]
-	-	-

※ ○:対象 -:非対象

* 火災想定において、工程停止等により安全機能を必要としない状態へと移行が可能なもの。

7. 火災防護対象機器等の関連ケーブル

機器名称[機器番号]	ケーブル種別	安重分類
-	-	-

8. 最重要設備の安重機能への火災影響

安重分類	全焼時の成功パスの有無	回路評価等の考慮	結果	系統分離※
Pu・高レベル廃棄物の閉じ込め機能	-	-	-	-
崩壊熱除去機能(重要度の高いもの)	-	-	-	-
安全圧縮空気系(水素掃気機能)	-	-	-	-
非常用所内電源系統	-	-	-	-

※ a : 3時間以上の耐火能力を有する耐火壁で分離

b : 水平距離6mによる分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置

c : 1時間の耐火能力を有する隔壁等による分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置
再処理施設成功パスの詳細は、別紙2参照

9. 最重要設備以外の火災防護対象機器等への火災影響

機器名称[機器番号]	当該区画の火災評価※	隣接区画の火災評価※
-	-	-

※ ○:火災影響なし ×:火災影響あり

隣接する火災区画と火災伝播経路

(※ 有:伝播する 無:伝播しない)

隣接する 火災区画	火災伝播 経路有無	等価時間 (h)	耐火時間 (h)	火災伝播の 可能性 ※	備考
	無	0.5	3.0	無	
	無	0.5	3.0	無	
	無	0.5	3.0	無	
	無	0.5	3.0	無	
	無	0.5	3.0	無	
	無	0.5	3.0	無	
	無	0.5	3.0	無	

火災区域(区画)特性表

1. 火災区域(区画)の説明

建屋名	精製建屋
火災区域/区画区分	火災区画
火災区域/区画番号	■
火災区域/区画名称	ウラナス製造器室
床面積(m ²)	■

2. 火災区域(区画)の火災シナリオの説明

■は、精製建屋内の火災区画である。
 本区画は、火災源となるものがないおよび安全上重要な施設が設置されていないため、安全機能の喪失のおそれはない。

3. 火災区域(区画)にある火災源

(1) 等価時間

発熱量(kJ)	火災荷重 (kJ/m ²)	等価時間(h) [※]
■	■	0.5

※ 等価時間は、内部火災影響評価ガイドの等価時間記載の値で示す。

(2) 火災区域(区画)にある火災源機器数

火災源	機器数
電動機(3.7kW超)	-
電気盤(440V以上)	-
ケーブルトレイ(ケーブル)	-
油脂類・有機溶媒等	-
その他	-

4. 火災区域(区画)にある防火設備

火災感知の手段	主要な消火設備	消火方法	消火設備のバックアップ
熱感知器	屋内消火栓	手動	粉末消火器

5. 火災区域(区画)に隣接する火災区域(区画)と火災伝播経路

隣接火災区画への火災伝播経路の詳細は、別紙1参照

6. 火災影響を受ける火災防護対象機器等

機器名称[機器番号]	最重要設備 [※]	最重要設備以外の安全上重要な施設 [※]
-	-	-

※ ○:対象 -:非対象

* 火災想定において、工程停止等により安全機能を必要としない状態へと移行が可能なもの。

7. 火災防護対象機器等の関連ケーブル

機器名称[機器番号]	ケーブル種別	安重分類
-	-	-

8. 最重要設備の安重機能への火災影響

安重分類	全焼時の成功パスの有無	回路評価等の考慮	結果	系統分離※
Pu・高レベル廃棄物の閉じ込め機能	-	-	-	-
崩壊熱除去機能(重要度の高いもの)	-	-	-	-
安全圧縮空気系(水素掃気機能)	-	-	-	-
非常用所内電源系統	-	-	-	-

※ a : 3時間以上の耐火能力を有する耐火壁で分離

b : 水平距離6mによる分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置

c : 1時間の耐火能力を有する隔壁等による分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置
再処理施設成功パスの詳細は、別紙2参照

9. 最重要設備以外の火災防護対象機器等への火災影響

機器名称[機器番号]	当該区画の火災評価※	隣接区画の火災評価※
-	-	-

※ ○:火災影響なし ×:火災影響あり

隣接する火災区画と火災伝播経路

(※ 有:伝播する 無:伝播しない)

隣接する 火災区画	火災伝播 経路有無	等価時間 (h)	耐火時間 (h)	火災伝播の 可能性 ※	備考
	無	0.5	3.0	無	
	無	0.5	1.0	無	
	無	0.5	3.0	無	
	有	0.5	0.0	有	
	有	0.5	0.0	有	
	無	0.5	3.0	無	
	有	0.5	0.0	有	

火災区域(区画)特性表

1. 火災区域(区画)の説明

建屋名	精製建屋
火災区域/区画区分	火災区画
火災区域/区画番号	■
火災区域/区画名称	回収TBP80%調整槽室
床面積(m ²)	■

2. 火災区域(区画)の火災シナリオの説明

■は、精製建屋内の火災区画である。
 本区画は、ケーブルトレイ火災の可能性があるが、安全上重要な施設が設置されていないため、安全機能の喪失のおそれはない。

3. 火災区域(区画)にある火災源

(1) 等価時間

発熱量(kJ)	火災荷重 (kJ/m ²)	等価時間(h) [※]
■	■	1.0

※ 等価時間は、内部火災影響評価ガイドの等価時間記載の値で示す。

(2) 火災区域(区画)にある火災源機器数

火災源	機器数
電動機(3.7kW超)	-
電気盤(440V以上)	-
ケーブルトレイ(ケーブル)	有
油脂類・有機溶媒等	-
その他	-

4. 火災区域(区画)にある防火設備

火災感知の手段	主要な消火設備	消火方法	消火設備のバックアップ
煙感知器	二酸化炭素消火設備	手動	粉末消火器

5. 火災区域(区画)に隣接する火災区域(区画)と火災伝播経路

隣接火災区画への火災伝播経路の詳細は、別紙1参照

6. 火災影響を受ける火災防護対象機器等

機器名称[機器番号]	最重要設備 [※]	最重要設備以外の安全上重要な施設 [※]
-	-	-

※ ○:対象 -:非対象

* 火災想定において、工程停止等により安全機能を必要としない状態へと移行が可能なもの。

7. 火災防護対象機器等の関連ケーブル

機器名称[機器番号]	ケーブル種別	安重分類
-	-	-

8. 最重要設備の安重機能への火災影響

安重分類	全焼時の成功パスの有無	回路評価等の考慮	結果	系統分離※
Pu・高レベル廃棄物の閉じ込め機能	-	-	-	-
崩壊熱除去機能(重要度の高いもの)	-	-	-	-
安全圧縮空気系(水素掃気機能)	-	-	-	-
非常用所内電源系統	-	-	-	-

※ a : 3時間以上の耐火能力を有する耐火壁で分離

b : 水平距離6mによる分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置

c : 1時間の耐火能力を有する隔壁等による分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置
再処理施設成功パスの詳細は、別紙2参照

9. 最重要設備以外の火災防護対象機器等への火災影響

機器名称[機器番号]	当該区画の火災評価※	隣接区画の火災評価※
-	-	-

※ ○:火災影響なし ×:火災影響あり

隣接する火災区画と火災伝播経路

(※ 有:伝播する 無:伝播しない)

隣接する 火災区画	火災伝播 経路有無	等価時間 (h)	耐火時間 (h)	火災伝播の 可能性 ※	備考
■	無	1.0	3.0	無	
	有	1.0	0.0	有	
	無	1.0	3.0	無	
	無	1.0	3.0	無	
	無	1.0	3.0	無	
	無	1.0	3.0	無	

火災区域(区画)特性表

1. 火災区域(区画)の説明

建屋名	精製建屋
火災区域/区画区分	火災区画
火災区域/区画番号	■
火災区域/区画名称	試薬設備第8室
床面積(m ²)	■

2. 火災区域(区画)の火災シナリオの説明

■は、精製建屋内の火災区画である。
 本区画は、ケーブルトレイ火災の発生可能性があるが、安全上重要な施設が設置されていないため、安全機能の喪失のおそれはない。

3. 火災区域(区画)にある火災源

(1) 等価時間

発熱量(kJ)	火災荷重(kJ/m ²)	等価時間(h) [※]
■	■	1.0

※ 等価時間は、内部火災影響評価ガイドの等価時間記載の値で示す。

(2) 火災区域(区画)にある火災源機器数

火災源	機器数
電動機(3.7kW超)	-
電気盤(440V以上)	-
ケーブルトレイ(ケーブル)	有
油脂類・有機溶媒等	-
その他	-

4. 火災区域(区画)にある防火設備

火災感知の手段	主要な消火設備	消火方法	消火設備のバックアップ
煙感知器	屋内消火栓	手動	粉末消火器

5. 火災区域(区画)に隣接する火災区域(区画)と火災伝播経路

隣接火災区画への火災伝播経路の詳細は、別紙1参照

6. 火災影響を受ける火災防護対象機器等

機器名称[機器番号]	最重要設備 [※]	最重要設備以外の安全上重要な施設 [※]
-	-	-

※ ○:対象 -:非対象

* 火災想定において、工程停止等により安全機能を必要としない状態へと移行が可能なもの。

7. 火災防護対象機器等の関連ケーブル

機器名称[機器番号]	ケーブル種別	安重分類
-	-	-

8. 最重要設備の安重機能への火災影響

安重分類	全焼時の成功パスの有無	回路評価等の考慮	結果	系統分離※
Pu・高レベル廃棄物の閉じ込め機能	-	-	-	-
崩壊熱除去機能(重要度の高いもの)	-	-	-	-
安全圧縮空気系(水素掃気機能)	-	-	-	-
非常用所内電源系統	-	-	-	-

※ a : 3時間以上の耐火能力を有する耐火壁で分離

b : 水平距離6mによる分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置

c : 1時間の耐火能力を有する隔壁等による分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置
再処理施設成功パスの詳細は、別紙2参照

9. 最重要設備以外の火災防護対象機器等への火災影響

機器名称[機器番号]	当該区画の火災評価※	隣接区画の火災評価※
-	-	-

※ ○:火災影響なし ×:火災影響あり

隣接する火災区画と火災伝播経路

(※ 有:伝播する 無:伝播しない)

隣接する 火災区画	火災伝播 経路有無	等価時間 (h)	耐火時間 (h)	火災伝播の 可能性 ※	備考
	無	1.0	3.0	無	
	無	1.0	3.0	無	
	有	1.0	0.0	有	
	無	1.0	3.0	無	
	無	1.0	3.0	無	
	無	1.0	3.0	無	
	無	1.0	3.0	無	
	無	1.0	3.0	無	

火災区域(区画)特性表

1. 火災区域(区画)の説明

建屋名	精製建屋
火災区域/区画区分	火災区画
火災区域/区画番号	■
火災区域/区画名称	第2回収酸1N調整槽1室
床面積(m ²)	■

2. 火災区域(区画)の火災シナリオの説明

■は、精製建屋内の火災区画である。
 本区画は、火災源となるものがないおよび安全上重要な施設が設置されていないため、安全機能の喪失のおそれはない。

3. 火災区域(区画)にある火災源

(1) 等価時間

発熱量(kJ)	火災荷重(kJ/m ²)	等価時間(h) [※]
■	■	0.5

※ 等価時間は、内部火災影響評価ガイドの等価時間記載の値で示す。

(2) 火災区域(区画)にある火災源機器数

火災源	機器数
電動機(3.7kW超)	-
電気盤(440V以上)	-
ケーブルトレイ(ケーブル)	-
油脂類・有機溶媒等	-
その他	-

4. 火災区域(区画)にある防火設備

火災感知の手段	主要な消火設備	消火方法	消火設備のバックアップ
煙感知器	屋内消火栓	手動	粉末消火器

5. 火災区域(区画)に隣接する火災区域(区画)と火災伝播経路

隣接火災区画への火災伝播経路の詳細は、別紙1参照

6. 火災影響を受ける火災防護対象機器等

機器名称[機器番号]	最重要設備 [※]	最重要設備以外の安全上重要な施設 [※]
-	-	-

※ ○:対象 -:非対象

* 火災想定において、工程停止等により安全機能を必要としない状態へと移行が可能なもの。

7. 火災防護対象機器等の関連ケーブル

機器名称[機器番号]	ケーブル種別	安重分類
-	-	-

8. 最重要設備の安重機能への火災影響

安重分類	全焼時の成功パスの有無	回路評価等の考慮	結果	系統分離※
Pu・高レベル廃棄物の閉じ込め機能	-	-	-	-
崩壊熱除去機能(重要度の高いもの)	-	-	-	-
安全圧縮空気系(水素掃気機能)	-	-	-	-
非常用所内電源系統	-	-	-	-

※ a : 3時間以上の耐火能力を有する耐火壁で分離

b : 水平距離6mによる分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置

c : 1時間の耐火能力を有する隔壁等による分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置
再処理施設成功パスの詳細は、別紙2参照

9. 最重要設備以外の火災防護対象機器等への火災影響

機器名称[機器番号]	当該区画の火災評価※	隣接区画の火災評価※
-	-	-

※ ○:火災影響なし ×:火災影響あり

隣接する火災区画と火災伝播経路

(※ 有:伝播する 無:伝播しない)

隣接する 火災区画	火災伝播 経路有無	等価時間 (h)	耐火時間 (h)	火災伝播の 可能性 ※	備考
	無	0.5	3.0	無	
	無	0.5	3.0	無	
	有	0.5	0.0	有	
	無	0.5	3.0	無	
	無	0.5	3.0	無	
	無	0.5	3.0	無	
	無	0.5	3.0	無	

火災区域(区画)特性表

1. 火災区域(区画)の説明

建屋名	精製建屋
火災区域/区画区分	火災区域
火災区域/区画番号	AC-17/
火災区域/区画名称	排風機室
床面積(m ²)	

2. 火災区域(区画)の火災シナリオの説明

AC-17は、精製建屋内の火災区域である。
 本区画には、最重要設備としてA/B系の排風機が設置されている。
 本区画の火災源は、電動機、潤滑油および、ケーブルトレイである。
 したがって、本区画の想定火災としては、電動機絶縁物火災、潤滑油漏えい火災またはケーブルトレイ火災により、多重化された安全上重要な施設のA/B系のグローブボックス・セル排風機が火災影響を受けることであるが、最重要設備は系統分離(3時間耐火壁により分離又は1時間耐火壁、火災感知設備及び自動消火設備の設置)により分離されていることから、多重化された安全上重要な施設の安全機能が同時に喪失することはない。また、建屋排風機が火災により機能を喪失した場合は、処理運転を停止することで有意な放出量の増加を抑制すると共に、グローブボックス・セル排風機の機能によりセル外への漏えいを抑止するための閉じ込め機能を維持できることから、安全停止が可能である。

3. 火災区域(区画)にある火災源

(1) 等価時間

発熱量(kJ)	火災荷重 (kJ/m ²)	等価時間(h) [※]
		0.5

※ 等価時間は、内部火災影響評価ガイドの等価時間記載の値で示す。

(2) 火災区域(区画)にある火災源機器数

火災源	機器数
電動機(3.7kW超)	4
電気盤(440V以上)	-
ケーブルトレイ(ケーブル)	有
油脂類・有機溶媒等	有
その他	-

4. 火災区域(区画)にある防火設備

火災感知の手段	主要な消火設備	消火方法	消火設備のバックアップ
煙感知器 熱感知器	ハロゲン化物消火設備(全域)	自動	粉末消火器

5. 火災区域(区画)に隣接する火災区域(区画)と火災伝播経路

隣接火災区画への火災伝播経路の詳細は、別紙1参照

6. 火災影響を受ける火災防護対象機器等

機器名称[機器番号]	最重要設備 [※]	最重要設備以外の安全上重要な施設 [※]
建屋排風機A	-	○ [*]
建屋排風機B	-	○ [*]
グローブボックス・セル排風機A	○	-
グローブボックス・セル排風機B	○	-

※ ○:対象 -:非対象

* 火災想定において、工程停止等により安全機能を必要としない状態へと移行が可能なもの。

7. 火災防護対象機器等の関連ケーブル

機器名称[機器番号]	ケーブル種別	安重分類
グローブボックス・セル排風機 A []	動力(低圧)	Pu・高レベルの廃棄物の閉じ込め機能
グローブボックス・セル排風機 B []	動力(低圧)	Pu・高レベルの廃棄物の閉じ込め機能

8. 最重要設備の安重機能への火災影響

安重分類	全焼時の 成功パスの 有無	回路評価 等の考慮	結果	系統分離 [※]
Pu・高レベル廃棄物の閉じ込め機能	無	-	×	c
崩壊熱除去機能(重要度の高いもの)	-	-	-	-
安全圧縮空気系(水素掃気機能)	-	-	-	-
非常用所内電源系統	-	-	-	-

※ a : 3時間以上の耐火能力を有する耐火壁で分離

b : 水平距離6mによる分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置

c : 1時間の耐火能力を有する隔壁等による分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置
再処理施設成功パスの詳細は、別紙2参照

9. 最重要設備以外の火災防護対象機器等への火災影響

機器名称[機器番号]	当該区画の火災評価 [※]	隣接区画の火災評価 [※]
-	-	-

※ ○:火災影響なし ×:火災影響あり

再処理施設成功パス一覧表

建屋	精製建屋	排風機室
区域(区画)番号/名称		
1.放射性物質の閉じ込め機能(動的な閉じ込め機能)		
	[A]レン設備	[B]レン設備
前処理建屋 せん断処理・溶解廃ガス処理設備	排風機A	前処理建屋 せん断処理・溶解廃ガス処理設備
	排風機C	非風機B
前処理建屋 塔槽類廃ガス処理設備	排風機A	非風機C
	排風機A	前処理建屋 塔槽類廃ガス処理設備
前処理建屋換気設備 溶解セル等からの排気系	セル排風機A	非風機B
	溶解槽セルA排風機A	セル排風機B
	溶解槽セルB排風機A	溶解槽セルA排風機B
高レベル廃液ガラス固化建屋 高レベル廃液ガラス固化廃ガス処理設備	第1排風機A	溶解槽セルB排風機B
	第2排風機A	高レベル廃液ガラス固化建屋 高レベル廃液ガラス固化廃ガス処理設備
高レベル廃液ガラス固化建屋 塔槽類廃ガス処理設備 高レベル濃縮廃液廃ガス処理系	排風機A	第1排風機B
	排風機A	第2排風機B
高レベル廃液ガラス固化建屋 塔槽類廃ガス処理設備 不溶解残渣廃液廃ガス処理系	排風機A	高レベル廃液ガラス固化建屋 塔槽類廃ガス処理設備 高レベル濃縮廃液廃ガス処理系
	排風機A	非風機B
高レベル濃縮廃液貯槽セル等からの排気系固化セル換気系及び固化セル圧力放出系	セル排風機A	高レベル廃液ガラス固化建屋 塔槽類廃ガス処理設備 不溶解残渣廃液廃ガス処理系
	固化セル換気系排風機A	非風機B
分離建屋 塔槽類廃ガス処理設備 バルセータ廃ガス処理系	排風機A	高レベル濃縮廃液貯槽セル等からの排気系固化セル換気系及び固化セル圧力放出系
	排風機A	セル排風機B
分離建屋 塔槽類廃ガス処理設備 塔槽類廃ガス処理系	排風機A	固化セル換気系排風機B
	排風機A	分離建屋 塔槽類廃ガス処理設備 バルセータ廃ガス処理系
分離建屋換気設備 プルトニウム溶液中貯槽セル等からの排気系	グループボックス・セル排風機A	非風機B
	グループボックス・セル排風機A	分離建屋 塔槽類廃ガス処理設備 塔槽類廃ガス処理系
精製建屋 塔槽類廃ガス処理設備 バルセータ廃ガス処理系	排風機A	排風機B
	排風機A	精製建屋 塔槽類廃ガス処理設備 バルセータ廃ガス処理系
精製建屋 塔槽類廃ガス処理設備 塔槽類廃ガス処理系(プルトニウム系)	排風機A	非風機B
	排風機A	精製建屋 塔槽類廃ガス処理設備 塔槽類廃ガス処理系(プルトニウム系)
精製建屋換気設備 プルトニウム濃縮缶セル等及びグループボックス等からの排気系	グループボックス・セル排風機A	精製建屋換気設備 プルトニウム濃縮缶セル等及びグループボックス等からの排気系
	グループボックス・セル排風機A	グループボックス・セル排風機B
ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋 塔槽類廃ガス処理設備	第1排風機A	ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋 塔槽類廃ガス処理設備
	第2排風機A	第1排風機B
	第2排風機C	第2排風機B
ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋 硝酸プルトニウム貯槽セル等及びグループボックス等からの排気系	グループボックス・セル排風機A	ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋 硝酸プルトニウム貯槽セル等及びグループボックス等からの排気系
	グループボックス・セル排風機C	グループボックス・セル排風機B
X		X
1パス	X	
回路評価等	-	
成功パス	X(系統分離対策)	

凡例	
x	〇〇〇〇-〇〇〇〇〇〇〇〇A 〇〇〇〇-〇〇〇〇〇〇〇〇A x : 当該室の火災により安全機能を喪失する機器がある場合 空欄 : 当該室に設置していない機器
1パス	- : 当該室に対象なし 〇 : 当該室の火災により対応する安全機能が1系統残る場合 x : 当該室の火災により対応する安全機能がすべて喪失する場合
回路評価等	- : 当該室に回路評価等を行う対象なし 〇 : 回路評価等により、対応する安全機能が確保される場合
成功パス	- : 当該室に対象なし 〇 : 当該室の火災により対応する安全機能が1系統残る場合 x : 当該室の火災により対応する安全機能がすべて喪失する場合

再処理施設成功パス一覧表

2. 崩壊熱除去機能		[A]レン設備	[B]レン設備
冷却設備	安全冷却水系	安全冷却水A冷却塔	安全冷却水B冷却塔
前処理建屋	冷却設備	安全冷却水系	安全冷却水系
		安全冷却水A循環ポンプA	安全冷却水B循環ポンプA
		安全冷却水A循環ポンプB	安全冷却水B循環ポンプB
		安全冷却水1AポンプA	安全冷却水1BポンプA
		安全冷却水1AポンプB	安全冷却水1BポンプB
分離建屋	冷却設備	安全冷却水系	安全冷却水系
		冷却水循環ポンプA	冷却水循環ポンプC
		冷却水循環ポンプB	冷却水循環ポンプD
		安全冷却水1AポンプA	安全冷却水1BポンプA
		安全冷却水1AポンプB	安全冷却水1BポンプB
精製建屋	冷却設備	安全冷却水系	安全冷却水系
		安全冷却水AポンプA	安全冷却水BポンプA
		安全冷却水AポンプB	安全冷却水BポンプB
ウラン・プルトニウム混合酸	精製建屋	冷却設備	安全冷却水系
		冷水移送ポンプA	冷水移送ポンプC
		冷水移送ポンプB	冷水移送ポンプD
高レベル廃液ガラス固化建屋	冷却設備	安全冷却水系	安全冷却水系
		第1高レベル濃縮廃液貯槽冷却水AポンプA	第1高レベル濃縮廃液貯槽冷却水BポンプA
		第1高レベル濃縮廃液貯槽冷却水AポンプB	第1高レベル濃縮廃液貯槽冷却水BポンプB
		第2高レベル濃縮廃液貯槽冷却水AポンプA	第2高レベル濃縮廃液貯槽冷却水BポンプA
		第2高レベル濃縮廃液貯槽冷却水AポンプB	第2高レベル濃縮廃液貯槽冷却水BポンプB
		安全冷却水A系ポンプA	安全冷却水B系ポンプA
		安全冷却水A系ポンプB	安全冷却水B系ポンプB
		高レベル廃液共用貯槽冷却水AポンプA	高レベル廃液共用貯槽冷却水BポンプA
		高レベル廃液共用貯槽冷却水AポンプB	高レベル廃液共用貯槽冷却水BポンプB
		安全冷却水A系ポンプA	安全冷却水B系ポンプA
		安全冷却水A系ポンプB	安全冷却水B系ポンプB
		安全冷水A冷却器冷媒膨張弁A	安全冷水B冷却器冷媒膨張弁A
		安全冷水A冷却器冷媒膨張弁B	安全冷水B冷却器冷媒膨張弁B
		安全冷水A冷却器冷媒止弁A	安全冷水B冷却器冷媒止弁A
		安全冷水A冷却器冷媒止弁B	安全冷水B冷却器冷媒止弁B
		安全冷却水1AポンプA	安全冷却水1BポンプA
		安全冷却水1AポンプB	安全冷却水1BポンプB
		安全冷水AポンプA	安全冷水BポンプA
		安全冷水AポンプB	安全冷水BポンプB
		安全冷水A冷凍機	安全冷水B冷凍機
		スクリーンプン	スクリーンプン
		スクリーンプン	スクリーンプン
ウラン・プルトニウム混合酸	化学貯蔵建屋	換気設備	貯蔵室排気系
		貯蔵室排風機A	貯蔵室排風機C
		貯蔵室排風機B	貯蔵室排風機D
-			
	1パス	-	-
	回路評価等	-	-
	成功パス	-	-

3. 安全圧縮空気系(水素掃気機能)		[A]レン設備	[B]レン設備
安全圧縮空気系		安全空気圧縮装置A	安全空気圧縮装置B
		安全空気圧縮装置C	安全空気圧縮装置C
-			
	1パス	-	-
	回路評価等	-	-
	成功パス	-	-

再処理施設成功パス一覧表

4.非常用所内電源系統(支援機能)		[A]レイン設備	[B]レイン設備
非常用電源建屋冷却水設備		8111A-C20 冷却塔A	8111B-C20 冷却塔B
		8111A-P2010 冷却水循環ポンプA	8111B-P2010 冷却水循環ポンプB
非常用電源建屋の電気設備		GA-M/C-A 6.9kV非常用メタクラ	GA-M/C-B 6.9kV非常用メタクラB
		GA-MCC-A 460V非常用コントロールセンタA	GA-MCC-B 460V非常用コントロールセンタB
		8111A-X10 ディーゼル機関A	8111B-X10 ディーゼル機関B
		8111A-X11 同期発電機A	8111B-X11 同期発電機B
		8111A-P4011 燃料油移送ポンプA	8111B-P4011 燃料油移送ポンプB
		GA-BAT-A 110V第2非常用蓄電池A	GA-BAT-B 110V第2非常用蓄電池B
		GA-CHG-A 110V非常用充電器A	GA-CHG-B 110V非常用充電器B
		GA-DCD-A 110V非常用直流主分電盤A	GA-DCD-B 110V非常用直流主分電盤B
		GA-CHG-E 110V非常用予備充電器E	GA-CHG-E 110V非常用予備充電器E
		GA-E-K011A 非常用電気設備リレー盤A1	GA-E-K013B 非常用電気設備リレー盤B1
		GA-E-K012A 非常用電気設備リレー盤A2	GA-E-K014B 非常用電気設備リレー盤B2
		8111A-V40 燃料油貯蔵タンク1A	8111B-V40 燃料油貯蔵タンク1B
		8111A-V41 燃料油貯蔵タンク2A	8111B-V41 燃料油貯蔵タンク2B
		GA-E-M011A 第2非常用ディーゼル発電機A制御盤	GA-E-M012B 第2非常用ディーゼル発電機B制御盤
		GA-PTR-A 非常用動力用変圧器A	GA-PTR-B 非常用動力用変圧器B
		8111A-V42 燃料油サービスタングA	8111B-V42 燃料油サービスタングB
		8111A-F4210 燃料油第1フィルタA	8111B-F4210 燃料油第1フィルタB
		8111A-F4230 燃料油第2フィルタA	8111B-F4230 燃料油第2フィルタB
		GA-E-S011A 第2非常用ディーゼル発電機ターニング現場盤A	GA-E-S012B 第2非常用ディーゼル発電機ターニング現場盤B
		GA-E-U011A 第2非常用ディーゼル発電機CT盤A	GA-E-U012B 第2非常用ディーゼル発電機CT盤B
		GA-I-K011A ユーティリティ工程 安全系A制御盤(リレー盤)	GA-I-K012B ユーティリティ工程 安全系B制御盤(リレー盤)
制御建屋の電気設備		AG-M/C-A 6.9kV非常用メタクラ	AG-M/C-B 6.9kV非常用メタクラB
		AG-P/C-A 460V非常用パワーセンタA	AG-P/C-B 460V非常用パワーセンタB
		AG-MCC-A1 460V非常用コントロールセンタA1	AG-MCC-B1 460V非常用コントロールセンタB1
		AG-MCC-A2 460V非常用コントロールセンタA2	AG-MCC-B2 460V非常用コントロールセンタB2
		AG-I-F201A 前処理建屋 安全系A監視制御盤	AG-I-F202B 前処理建屋 安全系B監視制御盤
		AG-I-F203A 分離建屋 安全系A監視制御盤	AG-I-F204B 分離建屋 安全系B監視制御盤
		AG-I-F205A 精製建屋 安全系A監視制御盤	AG-I-F206B 精製建屋 安全系B監視制御盤
		AG-I-F211A フラン・フルトウム混合脱硝建屋 安全系A監視制御盤	AG-I-F212B フラン・フルトウム混合脱硝建屋 安全系B監視制御盤
		AG-I-F213A 高レベル廃液ガラス固化建屋 安全系A監視制御盤	AG-I-F214B 高レベル廃液ガラス固化建屋 安全系B監視制御盤
		AG-BAT-A1 110V第2非常用蓄電池A1	AG-BAT-B1 110V第2非常用蓄電池B1
		AG-BAT-A2 220V第2非常用蓄電池A2	AG-BAT-B2 220V第2非常用蓄電池B2
		AG-CHG-A 110V非常用充電器A	AG-CHG-B 110V非常用充電器B
		AG-CHG-E 110V非常用予備充電器E	AG-CHG-E 110V非常用予備充電器E
		AG-DCD-A 110V非常用直流主分電盤A	AG-DCD-B 110V非常用直流主分電盤B
		AG-UPS-A 105V非常用無停電電源装置A	AG-UPS-B 105V非常用無停電電源装置B
		AG-UPD-A 105V非常用無停電交流主分電盤A	AG-UPD-B 105V非常用無停電交流主分電盤B
前処理建屋の電気設備		AA-M/C-A 6.9kV非常用メタクラ	AA-M/C-B 6.9kV非常用メタクラB
		AA-P/C-A 460V非常用パワーセンタA	AA-P/C-B 460V非常用パワーセンタB
		AA-MCC-A1 460V非常用コントロールセンタA1	AA-MCC-B1 460V非常用コントロールセンタB1
		AA-MCC-A2 460V非常用コントロールセンタA2	AA-MCC-B2 460V非常用コントロールセンタB2
		AA-MCC-A3 460V非常用コントロールセンタA3	
		AA-BAT-A 110V第2非常用蓄電池A	AA-BAT-B 110V第2非常用蓄電池B
		AA-CHG-A 110V非常用充電器A	AA-CHG-B 110V非常用充電器B
		AA-CHG-E 110V非常用予備充電器E	AA-CHG-E 110V非常用予備充電器E
		AA-DCD-A 110V非常用直流主分電盤A	AA-DCD-B 110V非常用直流主分電盤B
		AA-UPS-A 105V非常用無停電電源装置A	AA-UPS-B 105V非常用無停電電源装置B
		AA-UPD-A 105V非常用無停電交流主分電盤A	AA-UPD-B 105V非常用無停電交流主分電盤B
		AA-I-M171A 圧縮空気設備 安全空気脱濁装置A現場監視制御盤	AA-I-M172B 圧縮空気設備 安全空気脱濁装置B現場監視制御盤
		AA-I-M166A 圧縮空気設備 安全空気圧縮装置A現場監視制御盤	AA-I-M167B 圧縮空気設備 安全空気圧縮装置B現場監視制御盤
		AA-I-M176A 圧縮空気設備 安全空気圧縮装置C現場制御回路分離盤A	AA-I-M177B 圧縮空気設備 安全空気圧縮装置C現場制御回路分離盤B
		AA-I-M169C 圧縮空気設備 安全空気圧縮装置C現場制御電源切替盤	AA-I-M169C 圧縮空気設備 安全空気圧縮装置C現場制御電源切替盤
		AA-I-M168C 圧縮空気設備 安全空気圧縮装置C現場監視制御盤	AA-I-M168C 圧縮空気設備 安全空気圧縮装置C現場監視制御盤
		AA-I-K701A よう素除去工程排風機A制御盤	AA-I-K702B よう素除去工程排風機B制御盤
		AA-I-K703C よう素除去工程排風機C制御盤	AA-I-K703C よう素除去工程排風機C制御盤
		AA-I-X710C よう素除去工程 C系統電源切替盤	AA-I-X710C よう素除去工程 C系統電源切替盤
		AA-I-I012A ユーティリティ工程 安全系A制御盤1(リレー盤2)	AA-I-I062B ユーティリティ工程 安全系B制御盤1(リレー盤2)
		AA-I-I013A ユーティリティ工程 安全系A制御盤2(リレー盤3)	AA-I-I063B ユーティリティ工程 安全系B制御盤2(リレー盤3)
		AA-I-I031A よう素除去工程 安全系A制御盤1	AA-I-I081B よう素除去工程 安全系B制御盤1
		AA-I-I032A よう素除去工程 安全系A制御盤2	AA-I-I082B よう素除去工程 安全系B制御盤2
		AA-I-I033A よう素除去工程 安全系A制御盤3	AA-I-I083B よう素除去工程 安全系B制御盤3
		AA-LPD-A2 溶解槽セルA排風機A極数変換盤	AA-LPD-B2 溶解槽セルA排風機B極数変換盤
		AA-LPD-A3 溶解槽セルB排風機A極数変換盤	AA-LPD-B3 溶解槽セルB排風機B極数変換盤
		AA-LPD-A21 セル排風機A極数変換盤	AA-LPD-B21 セル排風機B極数変換盤
分離建屋の非常用所内電源系統		AB-P/C-A 460V非常用パワーセンタA	AB-P/C-B 460V非常用パワーセンタB
		AB-MCC-A 460V非常用コントロールセンタA	AB-MCC-B 460V非常用コントロールセンタB
		AB-CHG-A 110V非常用充電器A	AB-CHG-B 110V非常用充電器B
		AB-CHG-E 110V非常用予備充電器E	AB-CHG-E 110V非常用予備充電器E
		AB-BAT-A 110V第2非常用蓄電池A	AB-BAT-B 110V第2非常用蓄電池B
		AB-DCD-A 110V非常用直流主分電盤A	AB-DCD-B 110V非常用直流主分電盤B
		AB-UPS-A 105V非常用無停電電源装置A	AB-UPS-B 105V非常用無停電電源装置B
		AB-UPD-A1 105V非常用無停電交流主分電盤A1	AB-UPD-B1 105V非常用無停電交流主分電盤A1
		AB-UPD-A2 105V非常用無停電交流主分電盤A2	AB-UPD-B2 105V非常用無停電交流主分電盤A2
		AB-I-I180A ユーティリティ工程 安全系A制御盤1	AB-I-I183B ユーティリティ工程 安全系B制御盤1
		AB-I-I181A ユーティリティ工程 安全系A制御盤2	AB-I-I184B ユーティリティ工程 安全系B制御盤2
		AB-I-I182A ユーティリティ工程 安全系A制御盤3	AB-I-I185B ユーティリティ工程 安全系B制御盤3
		AB-I-I033A 分離・分配工程 安全系A制御盤1	AB-I-I036B 分離・分配工程 安全系B制御盤1
		AB-I-I034A 分離・分配工程 安全系A制御盤2	AB-I-I037B 分離・分配工程 安全系B制御盤2
		AB-I-I035A 分離・分配工程 安全系A制御盤3	AB-I-I038B 分離・分配工程 安全系B制御盤3
		AB-V-I100A 建屋換気設備 安全系A制御盤	AB-V-I101B 建屋換気設備 安全系B制御盤
-			
1パス		-	
回路評価等		-	
成功パス		-	

再処理施設成功パス一覧表

4.支援機能(続き)		[A]レン設備	[B]レン設備
精製建屋の電気設備		AC-BAT-A 110V第2非常用蓄電池A AC-CHG-A 110V非常用充電器盤A AC-CHG-E 110V非常用予備充電器盤E AC-D-DCD-A 110V非常用直流主分電盤A AC-MCC-A1 460V非常用コントロールセンタA1 AC-MCC-A2 460V非常用コントロールセンタA2 AC-P/C-A 460V非常用パワーセンタA AC-UPD-A 105V非常用無停電交流主分電盤A AC-UPS-A 105V非常用無停電電源装置A AC-I-1450A ユーティリティ工程 安全系A制御盤(計器盤) AC-I-1451A ユーティリティ工程 安全系A制御盤(リレー盤) AC-E-1452A 非常用電気設備リレー盤A AC-V-1453A 建屋換気設備安全系A制御盤 AC-I-1752A プルトニウム精製工程 安全系A 制御盤3	AC-BAT-B 110V第2非常用蓄電池B AC-CHG-B 110V非常用充電器盤B AC-CHG-E 110V非常用予備充電器盤E AC-D-DCD-B 110V非常用直流主分電盤B AC-MCC-B1 460V非常用コントロールセンタB1 AC-MCC-B2 460V非常用コントロールセンタB2 AC-P/C-B 460V非常用パワーセンタB AC-UPD-B 105V非常用無停電交流主分電盤B AC-UPS-B 105V非常用無停電電源装置B AC-I-1460B ユーティリティ工程 安全系B制御盤(計器盤) AC-I-1461B ユーティリティ工程 安全系B制御盤(リレー盤) AC-E-1462B 非常用電気設備リレー盤B AC-V-1463B 建屋換気設備安全系B制御盤 AC-I-1755B プルトニウム精製工程 安全系B 制御盤3
ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋の非常用所内電源系統		CA-P/C-A 460V非常用パワーセンタA CA-MCC-A1 460V非常用コントロールセンタA1 CA-MCC-A2 460V非常用コントロールセンタA2 CA-M/C-A 6.9kV非常用メタグラ CA-E-K503A 非常用電気設備リレー盤A CA-I-1501A 安全系A制御盤 CA-V-1502A 建屋換気設備安全系A制御盤 CA-CHG-A 110V非常用充電器盤A CA-CHG-E 110V非常用予備充電器盤E CA-D-DCD-A 110V非常用直流主分電盤A CA-I-UPD-A 105V非常用無停電交流主分電盤A CA-I-UPS-A 105V非常用無停電電源装置A CA-BAT-A 110V第2非常用蓄電池A	ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋の非常用所内電源系統 CA-P/C-B 460V非常用パワーセンタB CA-MCC-B1 460V非常用コントロールセンタB1 CA-MCC-B2 460V非常用コントロールセンタB2 CA-M/C-B 6.9kV非常用メタグラ CA-E-K603B 非常用電気設備リレー盤B CA-I-1601B 安全系B制御盤 CA-V-1602B 建屋換気設備安全系B制御盤 CA-CHG-B 110V非常用充電器盤B CA-CHG-E 110V非常用予備充電器盤E CA-D-DCD-B 110V非常用直流主分電盤B CA-I-UPD-B 105V非常用無停電交流主分電盤B CA-I-UPS-B 105V非常用無停電電源装置B CA-BAT-B 110V第2非常用蓄電池B
ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋の非常用所内電源系統		CB-P/C-A 460V非常用パワーセンタA CB-E-1101A 非常用電気設備リレー盤A CA-V-1001A 建屋換気設備安全系A制御盤 CB-BAT-A 110V第2非常用蓄電池A CB-CHG-A 110V非常用充電器盤A CB-D-DCD-A 110V非常用直流主分電盤A CB-MCC-A 460V非常用コントロールセンタA CB-UPS-A 105V非常用無停電電源装置A CB-CHG-E 110V非常用予備充電器盤E	ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋の非常用所内電源系統 CB-P/C-B 460V非常用パワーセンタB CB-E-1102B 非常用電気設備リレー盤B CA-V-1002B 建屋換気設備安全系B制御盤 CB-BAT-B 110V第2非常用蓄電池B CB-CHG-B 110V非常用充電器盤B CB-D-DCD-B 110V非常用直流主分電盤B CB-MCC-B 460V非常用コントロールセンタB CB-UPS-B 105V非常用無停電電源装置B CB-CHG-E 110V非常用予備充電器盤E
高レベル廃液ガラス固化建屋の電気設備		KA-P/C-A 460V非常用パワーセンタA KA-BAT-A 110V第2非常用蓄電池A KA-CHG-A 110V非常用充電器盤A KA-CHG-E 110V非常用予備充電器盤E KA-D-DCD-A 110V非常用直流主分電盤A KA-UPS-A 105V非常用無停電電源装置A KA-UPD-A 105V非常用無停電交流主分電盤A KA-ACS-A 105V非常用計測交流電源盤A KA-ACD-A 105V非常用計測交流主分電盤A KA-MCC-A1 460V非常用コントロールセンタA1 KA-MCC-A2 460V非常用コントロールセンタA2 KA-I-K224A 高レベル廃液ガラス固化廃ガス処理設備第1排風機A安全系Aインバータ制御盤 KA-I-K226A 高レベル廃液ガラス固化廃ガス処理設備第2排風機A安全系Aインバータ制御盤 KA-I-K073A 固化セル換気系排風機A安全系Aインバータ制御盤 KA-E-K001A 非常用電気設備リレー盤A KA-I-1501A 高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系A制御盤1 KA-I-1502A 高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系A制御盤2 KA-I-1503A 高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系A制御盤3 KA-I-1504A 高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系A制御盤4 KA-I-1505A 高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系A制御盤5 KA-I-1506A 高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系A制御盤6 KA-I-1507A 高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系A制御盤7 KA-I-1508A 高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系A制御盤8 KA-I-1511A 安全系A アレスタ盤 KA-I-1512A 高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系A制御盤(リレー盤1) KA-I-1513A 高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系A制御盤(リレー盤2) KA-I-1514A 高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系A制御盤(リレー盤3) KA-I-M331A 冷凍機 安全系A監視制御盤 KA-I-K334A 冷却水・冷水設備 安全系A 制御盤1 KA-I-K335A 冷却水・冷水設備 安全系A 制御盤2	高レベル廃液ガラス固化建屋の電気設備 KA-P/C-B 460V非常用パワーセンタB KA-BAT-B 110V第2非常用蓄電池B KA-CHG-B 110V非常用充電器盤B KA-CHG-E 110V非常用予備充電器盤E KA-D-DCD-B 110V非常用直流主分電盤B KA-UPS-B 105V非常用無停電電源装置B KA-UPD-B 105V非常用無停電交流主分電盤B KA-ACS-B 105V非常用計測交流電源盤B KA-ACD-B 105V非常用計測交流主分電盤B KA-MCC-B1 460V非常用コントロールセンタB1 KA-MCC-B2 460V非常用コントロールセンタB2 KA-I-K225B 高レベル廃液ガラス固化廃ガス処理設備第1排風機B安全系Bインバータ制御盤 KA-I-K227B 高レベル廃液ガラス固化廃ガス処理設備第2排風機B安全系Bインバータ制御盤 KA-I-K074B 固化セル換気系排風機B安全系Bインバータ制御盤 KA-E-K002B 非常用電気設備リレー盤B KA-I-1521B 高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系B制御盤1 KA-I-1522B 高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系B制御盤2 KA-I-1523B 高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系B制御盤3 KA-I-1524B 高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系B制御盤4 KA-I-1525B 高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系B制御盤5 KA-I-1526B 高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系B制御盤6 KA-I-1527B 高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系B制御盤7 KA-I-1528B 高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系B制御盤8 KA-I-1531B 安全系B アレスタ盤 KA-I-1532B 高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系B制御盤(リレー盤1) KA-I-1533B 高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系B制御盤(リレー盤2) KA-I-1534B 高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系B制御盤(リレー盤3) KA-I-M322B 冷凍機 安全系B監視制御盤 KA-I-K338B 冷却水・冷水設備 安全系B 制御盤1 KA-I-K339B 冷却水・冷水設備 安全系B 制御盤2
1パス		-	-
回路評価等		-	-
成功パス		-	-

火災区域(区画)特性表

1. 火災区域(区画)の説明

建屋名	精製建屋
火災区域/区画区分	火災区画
火災区域/区画番号	■
火災区域/区画名称	送風機室
床面積(m ²)	■

2. 火災区域(区画)の火災シナリオの説明

■は、精製建屋内の火災区画である。
 本区画の火災源は、電動機である。
 したがって、本区画の想定火災としては、電動機絶縁物火災により、多重化された安全上重要な施設のA/B系の建屋給気閉止ダンパが火災影響を受け、安全機能が喪失するおそれがあるが、火災による損傷を想定した場合にはフェイルセーフ動作により、安定停止状態(給気閉止)が維持できる。

3. 火災区域(区画)にある火災源

(1) 等価時間

発熱量(kJ)	火災荷重 (kJ/m ²)	等価時間(h) [※]
■	■	0.5

※ 等価時間は、内部火災影響評価ガイドの等価時間記載の値で示す。

(2) 火災区域(区画)にある火災源機器数

火災源	機器数
電動機(3.7kW超)	2
電気盤(440V以上)	-
ケーブルトレイ(ケーブル)	-
油脂類・有機溶媒等	-
その他	-

4. 火災区域(区画)にある防火設備

火災感知の手段	主要な消火設備	消火方法	消火設備のバックアップ
設置除外	屋内消火栓	手動	粉末消火器

5. 火災区域(区画)に隣接する火災区域(区画)と火災伝播経路

隣接火災区画への火災伝播経路の詳細は、別紙1参照

6. 火災影響を受ける火災防護対象機器等

機器名称[機器番号]	最重要設備 [※]	最重要設備以外の安全上重要な施設 [※]
建屋給気閉止ダンパA ■	-	○*
建屋給気閉止ダンパB ■	-	○*

※ ○:対象 -:非対象

* 火災想定において、工程停止等により安全機能を必要としない状態へと移行が可能なもの。

7. 火災防護対象機器等の関連ケーブル

機器名称[機器番号]	ケーブル種別	安重分類
-	-	-

8. 最重要設備の安重機能への火災影響

安重分類	全焼時の成功パスの有無	回路評価等の考慮	結果	系統分離※
Pu・高レベル廃棄物の閉じ込め機能	-	-	-	-
崩壊熱除去機能(重要度の高いもの)	-	-	-	-
安全圧縮空気系(水素掃気機能)	-	-	-	-
非常用所内電源系統	-	-	-	-

※ a : 3時間以上の耐火能力を有する耐火壁で分離

b : 水平距離6mによる分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置

c : 1時間の耐火能力を有する隔壁等による分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置
再処理施設成功パスの詳細は、別紙2参照

9. 最重要設備以外の火災防護対象機器等への火災影響

機器名称[機器番号]	当該区画の火災評価※	隣接区画の火災評価※
-	-	-

※ ○:火災影響なし ×:火災影響あり

隣接する火災区画と火災伝播経路

(※ 有:伝播する 無:伝播しない)

隣接する火災区画	火災伝播経路有無	等価時間(h)	耐火時間(h)	火災伝播の可能性※	備考
	無	0.5	3.0	無	
	無	0.5	3.0	無	
	無	0.5	3.0	無	
	無	0.5	3.0	無	
	無	0.5	3.0	無	
	無	0.5	3.0	無	
	有	0.5	0.0	有	
	無	0.5	3.0	無	
	有	0.5	0.0	有	

火災区域(区画)特性表

1. 火災区域(区画)の説明

建屋名	精製建屋
火災区域/区画区分	火災区画
火災区域/区画番号	■
火災区域/区画名称	制御盤第8室
床面積(m ²)	■

2. 火災区域(区画)の火災シナリオの説明

■は、精製建屋内の火災区画である。
 本区画は、ケーブルトレイ火災の発生可能性があるが、安全上重要な施設が設置されていないため、安全機能の喪失のおそれはない。

3. 火災区域(区画)にある火災源

(1) 等価時間

発熱量(kJ)	火災荷重(kJ/m ²)	等価時間(h) [※]
■	■	0.5

※ 等価時間は、内部火災影響評価ガイドの等価時間記載の値で示す。

(2) 火災区域(区画)にある火災源機器数

火災源	機器数
電動機(3.7kW超)	-
電気盤(440V以上)	-
ケーブルトレイ(ケーブル)	有
油脂類・有機溶媒等	-
その他	-

4. 火災区域(区画)にある防火設備

火災感知の手段	主要な消火設備	消火方法	消火設備のバックアップ
煙感知器	二酸化炭素消火器	手動	粉末消火器

5. 火災区域(区画)に隣接する火災区域(区画)と火災伝播経路

隣接火災区画への火災伝播経路の詳細は、別紙1参照

6. 火災影響を受ける火災防護対象機器等

機器名称[機器番号]	最重要設備 [※]	最重要設備以外の安全上重要な施設 [※]
-	-	-

※ ○:対象 -:非対象

* 火災想定において、工程停止等により安全機能を必要としない状態へと移行が可能なもの。

7. 火災防護対象機器等の関連ケーブル

機器名称[機器番号]	ケーブル種別	安重分類
-	-	-

8. 最重要設備の安重機能への火災影響

安重分類	全焼時の成功パスの有無	回路評価等の考慮	結果	系統分離※
Pu・高レベル廃棄物の閉じ込め機能	-	-	-	-
崩壊熱除去機能(重要度の高いもの)	-	-	-	-
安全圧縮空気系(水素掃気機能)	-	-	-	-
非常用所内電源系統	-	-	-	-

※ a : 3時間以上の耐火能力を有する耐火壁で分離

b : 水平距離6mによる分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置

c : 1時間の耐火能力を有する隔壁等による分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置
再処理施設成功パスの詳細は、別紙2参照

9. 最重要設備以外の火災防護対象機器等への火災影響

機器名称[機器番号]	当該区画の火災評価※	隣接区画の火災評価※
-	-	-

※ ○:火災影響なし ×:火災影響あり

隣接する火災区画と火災伝播経路

(※ 有:伝播する 無:伝播しない)

隣接する 火災区画	火災伝播 経路有無	等価時間 (h)	耐火時間 (h)	火災伝播の 可能性 ※	備考
	有	0.5	0.0	有	
	有	0.5	0.0	有	
	有	0.5	0.0	有	
	有	0.5	0.0	有	
	無	0.5	3.0	無	
	無	0.5	3.0	無	

火災区域(区画)特性表

1. 火災区域(区画)の説明

建屋名	精製建屋
火災区域/区画区分	火災区画
火災区域/区画番号	■
火災区域/区画名称	第8予備室
床面積(m ²)	■

2. 火災区域(区画)の火災シナリオの説明

■は、精製建屋内の火災区画である。
 本区画は、火災源となるものがないおよび安全上重要な施設が設置されていないため、安全機能の喪失のおそれはない。

3. 火災区域(区画)にある火災源

(1) 等価時間

発熱量(kJ)	火災荷重 (kJ/m ²)	等価時間(h) [※]
■	■	0.0

※ 等価時間は、内部火災影響評価ガイドの等価時間記載の値で示す。

(2) 火災区域(区画)にある火災源機器数

火災源	機器数
電動機(3.7kW超)	-
電気盤(440V以上)	-
ケーブルトレイ(ケーブル)	-
油脂類・有機溶媒等	-
その他	-

4. 火災区域(区画)にある防火設備

火災感知の手段	主要な消火設備	消火方法	消火設備のバックアップ
煙感知器	屋内消火栓	手動	粉末消火器

5. 火災区域(区画)に隣接する火災区域(区画)と火災伝播経路

隣接火災区画への火災伝播経路の詳細は、別紙1参照

6. 火災影響を受ける火災防護対象機器等

機器名称[機器番号]	最重要設備 [※]	最重要設備以外の安全上重要な施設 [※]
-	-	-

※ ○:対象 -:非対象

* 火災想定において、工程停止等により安全機能を必要としない状態へと移行が可能なもの。

7. 火災防護対象機器等の関連ケーブル

機器名称[機器番号]	ケーブル種別	安重分類
-	-	-

8. 最重要設備の安重機能への火災影響

安重分類	全焼時の成功パスの有無	回路評価等の考慮	結果	系統分離※
Pu・高レベル廃棄物の閉じ込め機能	-	-	-	-
崩壊熱除去機能(重要度の高いもの)	-	-	-	-
安全圧縮空気系(水素掃気機能)	-	-	-	-
非常用所内電源系統	-	-	-	-

※ a : 3時間以上の耐火能力を有する耐火壁で分離

b : 水平距離6mによる分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置

c : 1時間の耐火能力を有する隔壁等による分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置
再処理施設成功パスの詳細は、別紙2参照

9. 最重要設備以外の火災防護対象機器等への火災影響

機器名称[機器番号]	当該区画の火災評価※	隣接区画の火災評価※
-	-	-

※ ○:火災影響なし ×:火災影響あり

隣接する火災区画と火災伝播経路

(※ 有:伝播する 無:伝播しない)

隣接する 火災区画	火災伝播 経路有無	等価時間 (h)	耐火時間 (h)	火災伝播の 可能性 ※	備考
[Redacted]	無	0.0	3.0	無	
	無	0.0	3.0	無	
	有	0.0	0.0	無	
	有	0.0	0.0	無	
	有	0.0	0.0	無	
	有	0.0	0.0	無	

火災区域(区画)特性表

1. 火災区域(区画)の説明

建屋名	精製建屋
火災区域/区画区分	火災区画
火災区域/区画番号	■
火災区域/区画名称	試薬設備第9室前室
床面積(m ²)	■

2. 火災区域(区画)の火災シナリオの説明

■は、精製建屋内の火災区画である。
 本区画は、火災源となるものがないおよび安全上重要な施設が設置されていないため、安全機能の喪失のおそれはない。

3. 火災区域(区画)にある火災源

(1) 等価時間

発熱量(kJ)	火災荷重 (kJ/m ²)	等価時間(h) [※]
■	■	0.0

※ 等価時間は、内部火災影響評価ガイドの等価時間記載の値で示す。

(2) 火災区域(区画)にある火災源機器数

火災源	機器数
電動機(3.7kW超)	-
電気盤(440V以上)	-
ケーブルトレイ(ケーブル)	-
油脂類・有機溶媒等	-
その他	-

4. 火災区域(区画)にある防火設備

火災感知の手段	主要な消火設備	消火方法	消火設備のバックアップ
煙感知器	屋内消火栓	手動	粉末消火器

5. 火災区域(区画)に隣接する火災区域(区画)と火災伝播経路

隣接火災区画への火災伝播経路の詳細は、別紙1参照

6. 火災影響を受ける火災防護対象機器等

機器名称[機器番号]	最重要設備 [※]	最重要設備以外の安全上重要な施設 [※]
-	-	-

※ ○:対象 -:非対象

* 火災想定において、工程停止等により安全機能を必要としない状態へと移行が可能なもの。

7. 火災防護対象機器等の関連ケーブル

機器名称[機器番号]	ケーブル種別	安重分類
-	-	-

8. 最重要設備の安重機能への火災影響

安重分類	全焼時の成功パスの有無	回路評価等の考慮	結果	系統分離※
Pu・高レベル廃棄物の閉じ込め機能	-	-	-	-
崩壊熱除去機能(重要度の高いもの)	-	-	-	-
安全圧縮空気系(水素掃気機能)	-	-	-	-
非常用所内電源系統	-	-	-	-

※ a : 3時間以上の耐火能力を有する耐火壁で分離

b : 水平距離6mによる分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置

c : 1時間の耐火能力を有する隔壁等による分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置
再処理施設成功パスの詳細は、別紙2参照

9. 最重要設備以外の火災防護対象機器等への火災影響

機器名称[機器番号]	当該区画の火災評価※	隣接区画の火災評価※
-	-	-

※ ○:火災影響なし ×:火災影響あり

隣接する火災区画と火災伝播経路

(※ 有:伝播する 無:伝播しない)

隣接する 火災区画	火災伝播 経路有無	等価時間 (h)	耐火時間 (h)	火災伝播の 可能性 ※	備考
	無	0.0	3.0	無	
	有	0.0	0.0	無	
	無	0.0	3.0	無	
	無	0.0	3.0	無	
	有	0.0	0.0	無	
	有	0.0	0.0	無	
	有	0.0	0.0	無	

火災区域(区画)特性表

1. 火災区域(区画)の説明

建屋名	精製建屋
火災区域/区画区分	火災区画
火災区域/区画番号	■
火災区域/区画名称	第9予備室
床面積(m ²)	■

2. 火災区域(区画)の火災シナリオの説明

■は、精製建屋内の火災区画である。
 本区画は、火災源となるものがないおよび安全上重要な施設が設置されていないため、安全機能の喪失のおそれはない。

3. 火災区域(区画)にある火災源

(1) 等価時間

発熱量(kJ)	火災荷重 (kJ/m ²)	等価時間(h) [※]
■	■	0.0

※ 等価時間は、内部火災影響評価ガイドの等価時間記載の値で示す。

(2) 火災区域(区画)にある火災源機器数

火災源	機器数
電動機(3.7kW超)	-
電気盤(440V以上)	-
ケーブルトレイ(ケーブル)	-
油脂類・有機溶媒等	-
その他	-

4. 火災区域(区画)にある防火設備

火災感知の手段	主要な消火設備	消火方法	消火設備のバックアップ
煙感知器	屋内消火栓	手動	粉末消火器

5. 火災区域(区画)に隣接する火災区域(区画)と火災伝播経路

隣接火災区画への火災伝播経路の詳細は、別紙1参照

6. 火災影響を受ける火災防護対象機器等

機器名称[機器番号]	最重要設備 [※]	最重要設備以外の安全上重要な施設 [※]
-	-	-

※ ○:対象 -:非対象

* 火災想定において、工程停止等により安全機能を必要としない状態へと移行が可能なもの。

7. 火災防護対象機器等の関連ケーブル

機器名称[機器番号]	ケーブル種別	安重分類
-	-	-

8. 最重要設備の安重機能への火災影響

安重分類	全焼時の成功パスの有無	回路評価等の考慮	結果	系統分離※
Pu・高レベル廃棄物の閉じ込め機能	-	-	-	-
崩壊熱除去機能(重要度の高いもの)	-	-	-	-
安全圧縮空気系(水素掃気機能)	-	-	-	-
非常用所内電源系統	-	-	-	-

※ a : 3時間以上の耐火能力を有する耐火壁で分離

b : 水平距離6mによる分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置

c : 1時間の耐火能力を有する隔壁等による分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置
再処理施設成功パスの詳細は、別紙2参照

9. 最重要設備以外の火災防護対象機器等への火災影響

機器名称[機器番号]	当該区画の火災評価※	隣接区画の火災評価※
-	-	-

※ ○:火災影響なし ×:火災影響あり

隣接する火災区画と火災伝播経路

(※ 有:伝播する 無:伝播しない)

隣接する 火災区画	火災伝播 経路有無	等価時間 (h)	耐火時間 (h)	火災伝播の 可能性 ※	備考
[Redacted]	有	0.0	0.0	無	
	無	0.0	3.0	無	
	無	0.0	3.0	無	
	有	0.0	0.0	無	
	有	0.0	0.0	無	
	有	0.0	0.0	無	
	有	0.0	0.0	無	

火災区域(区画)特性表

1. 火災区域(区画)の説明

建屋名	精製建屋
火災区域/区画区分	火災区画
火災区域/区画番号	■
火災区域/区画名称	第2予備室
床面積(m ²)	■

2. 火災区域(区画)の火災シナリオの説明

■は、精製建屋内の火災区画である。
 本区画は、火災源となるものがないおよび安全上重要な施設が設置されていないため、安全機能の喪失のおそれはない。

3. 火災区域(区画)にある火災源

(1) 等価時間

発熱量(kJ)	火災荷重 (kJ/m ²)	等価時間(h) [※]
■	■	0.5

※ 等価時間は、内部火災影響評価ガイドの等価時間記載の値で示す。

(2) 火災区域(区画)にある火災源機器数

火災源	機器数
電動機(3.7kW超)	-
電気盤(440V以上)	-
ケーブルトレイ(ケーブル)	-
油脂類・有機溶媒等	-
その他	-

4. 火災区域(区画)にある防火設備

火災感知の手段	主要な消火設備	消火方法	消火設備のバックアップ
煙感知器	屋内消火栓	手動	粉末消火器

5. 火災区域(区画)に隣接する火災区域(区画)と火災伝播経路

隣接火災区画への火災伝播経路の詳細は、別紙1参照

6. 火災影響を受ける火災防護対象機器等

機器名称[機器番号]	最重要設備 [※]	最重要設備以外の安全上重要な施設 [※]
-	-	-

※ ○:対象 -:非対象

* 火災想定において、工程停止等により安全機能を必要としない状態へと移行が可能なもの。

7. 火災防護対象機器等の関連ケーブル

機器名称[機器番号]	ケーブル種別	安重分類
-	-	-

8. 最重要設備の安重機能への火災影響

安重分類	全焼時の成功パスの有無	回路評価等の考慮	結果	系統分離※
Pu・高レベル廃棄物の閉じ込め機能	-	-	-	-
崩壊熱除去機能(重要度の高いもの)	-	-	-	-
安全圧縮空気系(水素掃気機能)	-	-	-	-
非常用所内電源系統	-	-	-	-

※ a : 3時間以上の耐火能力を有する耐火壁で分離

b : 水平距離6mによる分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置

c : 1時間の耐火能力を有する隔壁等による分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置
再処理施設成功パスの詳細は、別紙2参照

9. 最重要設備以外の火災防護対象機器等への火災影響

機器名称[機器番号]	当該区画の火災評価※	隣接区画の火災評価※
-	-	-

※ ○:火災影響なし ×:火災影響あり

隣接する火災区画と火災伝播経路

(※ 有:伝播する 無:伝播しない)

隣接する 火災区画	火災伝播 経路有無	等価時間 (h)	耐火時間 (h)	火災伝播の 可能性 ※	備考
	無	0.5	3.0	無	
	無	0.5	3.0	無	
	無	0.5	3.0	無	
	無	0.5	3.0	無	
	無	0.5	3.0	無	
	無	0.5	3.0	無	
	無	0.5	3.0	無	
	無	0.5	3.0	無	
	無	0.5	3.0	無	
	無	0.5	3.0	無	

火災区域(区画)特性表

1. 火災区域(区画)の説明

建屋名	精製建屋
火災区域/区画区分	火災区画
火災区域/区画番号	■
火災区域/区画名称	回収水凝縮器B室
床面積(m ²)	■

2. 火災区域(区画)の火災シナリオの説明

■は、精製建屋内の火災区画である。
 本区画は、火災源となるものがないおよび安全上重要な施設が設置されていないため、安全機能の喪失のおそれはない。

3. 火災区域(区画)にある火災源

(1) 等価時間

発熱量(kJ)	火災荷重(kJ/m ²)	等価時間(h) [※]
■	■	0.5

※ 等価時間は、内部火災影響評価ガイドの等価時間記載の値で示す。

(2) 火災区域(区画)にある火災源機器数

火災源	機器数
電動機(3.7kW超)	-
電気盤(440V以上)	-
ケーブルトレイ(ケーブル)	-
油脂類・有機溶媒等	-
その他	-

4. 火災区域(区画)にある防火設備

火災感知の手段	主要な消火設備	消火方法	消火設備のバックアップ
煙感知器	屋内消火栓	手動	粉末消火器

5. 火災区域(区画)に隣接する火災区域(区画)と火災伝播経路

隣接火災区画への火災伝播経路の詳細は、別紙1参照

6. 火災影響を受ける火災防護対象機器等

機器名称[機器番号]	最重要設備 [※]	最重要設備以外の安全上重要な施設 [※]
-	-	-

※ ○:対象 -:非対象

* 火災想定において、工程停止等により安全機能を必要としない状態へと移行が可能なもの。

7. 火災防護対象機器等の関連ケーブル

機器名称[機器番号]	ケーブル種別	安重分類
-	-	-

8. 最重要設備の安重機能への火災影響

安重分類	全焼時の成功パスの有無	回路評価等の考慮	結果	系統分離※
Pu・高レベル廃棄物の閉じ込め機能	-	-	-	-
崩壊熱除去機能(重要度の高いもの)	-	-	-	-
安全圧縮空気系(水素掃気機能)	-	-	-	-
非常用所内電源系統	-	-	-	-

※ a : 3時間以上の耐火能力を有する耐火壁で分離

b : 水平距離6mによる分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置

c : 1時間の耐火能力を有する隔壁等による分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置
再処理施設成功パスの詳細は、別紙2参照

9. 最重要設備以外の火災防護対象機器等への火災影響

機器名称[機器番号]	当該区画の火災評価※	隣接区画の火災評価※
-	-	-

※ ○:火災影響なし ×:火災影響あり

隣接する火災区画と火災伝播経路

(※ 有:伝播する 無:伝播しない)

隣接する火災区画	火災伝播経路有無	等価時間(h)	耐火時間(h)	火災伝播の可能性※	備考
	無	0.5	3.0	無	
	有	0.5	0.0	有	
	無	0.5	1.0	無	
	無	0.5	3.0	無	
	無	0.5	3.0	無	
	有	0.5	0.0	有	
	有	0.5	0.0	有	

火災区域(区画)特性表

1. 火災区域(区画)の説明

建屋名	精製建屋
火災区域/区画区分	火災区画
火災区域/区画番号	■
火災区域/区画名称	圧縮空気分配第8室
床面積(m ²)	■

2. 火災区域(区画)の火災シナリオの説明

■は、精製建屋内の火災区画である。
 本区画は、火災源となるものがないおよび安全上重要な施設が設置されていないため、安全機能の喪失のおそれはない。

3. 火災区域(区画)にある火災源

(1) 等価時間

発熱量(kJ)	火災荷重 (kJ/m ²)	等価時間(h) [※]
■	■	0.0

※ 等価時間は、内部火災影響評価ガイドの等価時間記載の値で示す。

(2) 火災区域(区画)にある火災源機器数

火災源	機器数
電動機(3.7kW超)	-
電気盤(440V以上)	-
ケーブルトレイ(ケーブル)	-
油脂類・有機溶媒等	-
その他	-

4. 火災区域(区画)にある防火設備

火災感知の手段	主要な消火設備	消火方法	消火設備のバックアップ
煙感知器	屋内消火栓	手動	粉末消火器

5. 火災区域(区画)に隣接する火災区域(区画)と火災伝播経路

隣接火災区画への火災伝播経路の詳細は、別紙1参照

6. 火災影響を受ける火災防護対象機器等

機器名称[機器番号]	最重要設備 [※]	最重要設備以外の安全上重要な施設 [※]
-	-	-

※ ○:対象 -:非対象

* 火災想定において、工程停止等により安全機能を必要としない状態へと移行が可能なもの。

7. 火災防護対象機器等の関連ケーブル

機器名称[機器番号]	ケーブル種別	安重分類
-	-	-

8. 最重要設備の安重機能への火災影響

安重分類	全焼時の成功パスの有無	回路評価等の考慮	結果	系統分離※
Pu・高レベル廃棄物の閉じ込め機能	-	-	-	-
崩壊熱除去機能(重要度の高いもの)	-	-	-	-
安全圧縮空気系(水素掃気機能)	-	-	-	-
非常用所内電源系統	-	-	-	-

※ a : 3時間以上の耐火能力を有する耐火壁で分離

b : 水平距離6mによる分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置

c : 1時間の耐火能力を有する隔壁等による分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置
再処理施設成功パスの詳細は、別紙2参照

9. 最重要設備以外の火災防護対象機器等への火災影響

機器名称[機器番号]	当該区画の火災評価※	隣接区画の火災評価※
-	-	-

※ ○:火災影響なし ×:火災影響あり

隣接する火災区画と火災伝播経路

(※ 有:伝播する 無:伝播しない)

隣接する 火災区画	火災伝播 経路有無	等価時間 (h)	耐火時間 (h)	火災伝播の 可能性 ※	備考
	無	0.0	3.0	無	
	無	0.0	3.0	無	
	無	0.0	3.0	無	
	有	0.0	0.0	無	
	有	0.0	0.0	無	
	有	0.0	0.0	無	
	有	0.0	0.0	無	
	有	0.0	0.0	無	

火災区域(区画)特性表

1. 火災区域(区画)の説明

建屋名	精製建屋
火災区域/区画区分	火災区画
火災区域/区画番号	■
火災区域/区画名称	ウラン系エアジェット第1セル
床面積(m ²)	■

2. 火災区域(区画)の火災シナリオの説明

■は、精製建屋内の火災区画である。
 本区画は、火災源となるものがないおよび安全上重要な施設が設置されていないため、安全機能の喪失のおそれはない。

3. 火災区域(区画)にある火災源

(1) 等価時間

発熱量(kJ)	火災荷重 (kJ/m ²)	等価時間(h) [※]
■	■	0.0

※ 等価時間は、内部火災影響評価ガイドの等価時間記載の値で示す。

(2) 火災区域(区画)にある火災源機器数

火災源	機器数
電動機(3.7kW超)	-
電気盤(440V以上)	-
ケーブルトレイ(ケーブル)	-
油脂類・有機溶媒等	-
その他	-

4. 火災区域(区画)にある防火設備

火災感知の手段	主要な消火設備	消火方法	消火設備のバックアップ
設置除外	設置除外	-	-

5. 火災区域(区画)に隣接する火災区域(区画)と火災伝播経路

隣接火災区画への火災伝播経路の詳細は、別紙1参照

6. 火災影響を受ける火災防護対象機器等

機器名称[機器番号]	最重要設備 [※]	最重要設備以外の安全上重要な施設 [※]
-	-	-

※ ○:対象 -:非対象

* 火災想定において、工程停止等により安全機能を必要としない状態へと移行が可能なもの。

7. 火災防護対象機器等の関連ケーブル

機器名称[機器番号]	ケーブル種別	安重分類
-	-	-

8. 最重要設備の安重機能への火災影響

安重分類	全焼時の成功パスの有無	回路評価等の考慮	結果	系統分離※
Pu・高レベル廃棄物の閉じ込め機能	-	-	-	-
崩壊熱除去機能(重要度の高いもの)	-	-	-	-
安全圧縮空気系(水素掃気機能)	-	-	-	-
非常用所内電源系統	-	-	-	-

※ a : 3時間以上の耐火能力を有する耐火壁で分離

b : 水平距離6mによる分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置

c : 1時間の耐火能力を有する隔壁等による分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置
再処理施設成功パスの詳細は、別紙2参照

9. 最重要設備以外の火災防護対象機器等への火災影響

機器名称[機器番号]	当該区画の火災評価※	隣接区画の火災評価※
-	-	-

※ ○:火災影響なし ×:火災影響あり

隣接する火災区画と火災伝播経路

(※ 有:伝播する 無:伝播しない)

隣接する 火災区画	火災伝播 経路有無	等価時間 (h)	耐火時間 (h)	火災伝播の 可能性 ※	備考
■	有	0.0	0.0	無	
	無	0.0	3.0	無	
	無	0.0	3.0	無	
	有	0.0	0.0	無	
	有	0.0	0.0	無	
	無	0.0	3.0	無	

火災区域(区画)特性表

1. 火災区域(区画)の説明

建屋名	精製建屋
火災区域/区画区分	火災区画
火災区域/区画番号	■
火災区域/区画名称	ウラン系エアジェット第2セル
床面積(m ²)	■

2. 火災区域(区画)の火災シナリオの説明

■は、精製建屋内の火災区画である。
 本区画は、火災源となるものがないおよび安全上重要な施設が設置されていないため、安全機能の喪失のおそれはない。

3. 火災区域(区画)にある火災源

(1) 等価時間

発熱量(kJ)	火災荷重 (kJ/m ²)	等価時間(h) [※]
■	■	0.0

※ 等価時間は、内部火災影響評価ガイドの等価時間記載の値で示す。

(2) 火災区域(区画)にある火災源機器数

火災源	機器数
電動機(3.7kW超)	-
電気盤(440V以上)	-
ケーブルトレイ(ケーブル)	-
油脂類・有機溶媒等	-
その他	-

4. 火災区域(区画)にある防火設備

火災感知の手段	主要な消火設備	消火方法	消火設備のバックアップ
設置除外	設置除外	-	-

5. 火災区域(区画)に隣接する火災区域(区画)と火災伝播経路

隣接火災区画への火災伝播経路の詳細は、別紙1参照

6. 火災影響を受ける火災防護対象機器等

機器名称[機器番号]	最重要設備 [※]	最重要設備以外の安全上重要な施設 [※]
-	-	-

※ ○:対象 -:非対象

* 火災想定において、工程停止等により安全機能を必要としない状態へと移行が可能なもの。

7. 火災防護対象機器等の関連ケーブル

機器名称[機器番号]	ケーブル種別	安重分類
-	-	-

8. 最重要設備の安重機能への火災影響

安重分類	全焼時の成功パスの有無	回路評価等の考慮	結果	系統分離※
Pu・高レベル廃棄物の閉じ込め機能	-	-	-	-
崩壊熱除去機能(重要度の高いもの)	-	-	-	-
安全圧縮空気系(水素掃気機能)	-	-	-	-
非常用所内電源系統	-	-	-	-

※ a : 3時間以上の耐火能力を有する耐火壁で分離

b : 水平距離6mによる分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置

c : 1時間の耐火能力を有する隔壁等による分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置
再処理施設成功パスの詳細は、別紙2参照

9. 最重要設備以外の火災防護対象機器等への火災影響

機器名称[機器番号]	当該区画の火災評価※	隣接区画の火災評価※
-	-	-

※ ○:火災影響なし ×:火災影響あり

隣接する火災区画と火災伝播経路

(※ 有:伝播する 無:伝播しない)

隣接する 火災区画	火災伝播 経路有無	等価時間 (h)	耐火時間 (h)	火災伝播の 可能性 ※	備考
	有	0.0	0.0	無	
	有	0.0	0.0	無	
	無	0.0	3.0	無	
	有	0.0	0.0	無	
	無	0.0	3.0	無	
	有	0.0	0.0	無	
	無	0.0	3.0	無	

火災区域(区画)特性表

1. 火災区域(区画)の説明

建屋名	精製建屋
火災区域/区画区分	火災区画
火災区域/区画番号	■
火災区域/区画名称	ウラン系塔槽類廃ガスフィルタ保守室
床面積(m ²)	■

2. 火災区域(区画)の火災シナリオの説明

■は、精製建屋内の火災区画である。
 本区画は、電動機絶縁物火災、潤滑油漏えい火災または、電気盤火災の発生の可能性があるが、安全上重要な施設が設置されていないため、安全機能の喪失のおそれはない。

3. 火災区域(区画)にある火災源

(1) 等価時間

発熱量(kJ)	火災荷重 (kJ/m ²)	等価時間(h) [※]
■	■	0.5

※ 等価時間は、内部火災影響評価ガイドの等価時間記載の値で示す。

(2) 火災区域(区画)にある火災源機器数

火災源	機器数
電動機(3.7kW超)	1
電気盤(440V以上)	1
ケーブルトレイ(ケーブル)	-
油脂類・有機溶媒等	有
その他	-

4. 火災区域(区画)にある防火設備

火災感知の手段	主要な消火設備	消火方法	消火設備のバックアップ
煙感知器	屋内消火栓	手動	粉末消火器

5. 火災区域(区画)に隣接する火災区域(区画)と火災伝播経路

隣接火災区画への火災伝播経路の詳細は、別紙1参照

6. 火災影響を受ける火災防護対象機器等

機器名称[機器番号]	最重要設備 [※]	最重要設備以外の安全上重要な施設 [※]
-	-	-

※ ○:対象 -:非対象

* 火災想定において、工程停止等により安全機能を必要としない状態へと移行が可能なもの。

7. 火災防護対象機器等の関連ケーブル

機器名称[機器番号]	ケーブル種別	安重分類
-	-	-

8. 最重要設備の安重機能への火災影響

安重分類	全焼時の 成功パスの 有無	回路評価 等の考慮	結果	系統分離※
Pu・高レベル廃棄物の閉じ込め機能	-	-	-	-
崩壊熱除去機能(重要度の高いもの)	-	-	-	-
安全圧縮空気系(水素掃気機能)	-	-	-	-
非常用所内電源系統	-	-	-	-

※ a : 3時間以上の耐火能力を有する耐火壁で分離

b : 水平距離6mによる分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置

c : 1時間の耐火能力を有する隔壁等による分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置
再処理施設成功パスの詳細は、別紙2参照

9. 最重要設備以外の火災防護対象機器等への火災影響

機器名称[機器番号]	当該区画の火災評価※	隣接区画の火災評価※
-	-	-

※ ○:火災影響なし ×:火災影響あり

隣接する火災区画と火災伝播経路

(※ 有:伝播する 無:伝播しない)

隣接する 火災区画	火災伝播 経路有無	等価時間 (h)	耐火時間 (h)	火災伝播の 可能性 ※	備考
	無	0.5	3.0	無	
	有	0.5	0.0	有	
	有	0.5	0.0	有	
	無	0.5	1.0	無	
	有	0.5	0.0	有	
	無	0.5	3.0	無	
	有	0.5	0.0	有	
	有	0.5	0.0	有	
	有	0.5	0.0	有	
	有	0.5	0.0	有	
	有	0.5	0.0	有	
	無	0.5	3.0	無	

火災区域(区画)特性表

1. 火災区域(区画)の説明

建屋名	精製建屋
火災区域/区画区分	火災区画
火災区域/区画番号	■
火災区域/区画名称	ウラン系塔槽類廃ガス処理セル
床面積(m ²)	■

2. 火災区域(区画)の火災シナリオの説明

■は、精製建屋内の火災区画である。
 本区画は、火災源となるものがないおよび安全上重要な施設が設置されていないため、安全機能の喪失のおそれはない。

3. 火災区域(区画)にある火災源

(1) 等価時間

発熱量(kJ)	火災荷重 (kJ/m ²)	等価時間(h) [※]
■	■	0.0

※ 等価時間は、内部火災影響評価ガイドの等価時間記載の値で示す。

(2) 火災区域(区画)にある火災源機器数

火災源	機器数
電動機(3.7kW超)	-
電気盤(440V以上)	-
ケーブルトレイ(ケーブル)	-
油脂類・有機溶媒等	-
その他	-

4. 火災区域(区画)にある防火設備

火災感知の手段	主要な消火設備	消火方法	消火設備のバックアップ
設置除外	設置除外	-	-

5. 火災区域(区画)に隣接する火災区域(区画)と火災伝播経路

隣接火災区画への火災伝播経路の詳細は、別紙1参照

6. 火災影響を受ける火災防護対象機器等

機器名称[機器番号]	最重要設備 [※]	最重要設備以外の安全上重要な施設 [※]
-	-	-

※ ○:対象 -:非対象

* 火災想定において、工程停止等により安全機能を必要としない状態へと移行が可能なもの。

7. 火災防護対象機器等の関連ケーブル

機器名称[機器番号]	ケーブル種別	安重分類
-	-	-

8. 最重要設備の安重機能への火災影響

安重分類	全焼時の成功パスの有無	回路評価等の考慮	結果	系統分離※
Pu・高レベル廃棄物の閉じ込め機能	-	-	-	-
崩壊熱除去機能(重要度の高いもの)	-	-	-	-
安全圧縮空気系(水素掃気機能)	-	-	-	-
非常用所内電源系統	-	-	-	-

※ a : 3時間以上の耐火能力を有する耐火壁で分離

b : 水平距離6mによる分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置

c : 1時間の耐火能力を有する隔壁等による分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置
再処理施設成功パスの詳細は、別紙2参照

9. 最重要設備以外の火災防護対象機器等への火災影響

機器名称[機器番号]	当該区画の火災評価※	隣接区画の火災評価※
-	-	-

※ ○:火災影響なし ×:火災影響あり

隣接する火災区画と火災伝播経路

(※ 有:伝播する 無:伝播しない)

隣接する 火災区画	火災伝播 経路有無	等価時間 (h)	耐火時間 (h)	火災伝播の 可能性 ※	備考
	有	0.0	0.0	無	
	無	0.0	3.0	無	
	有	0.0	0.0	無	
	有	0.0	0.0	無	

火災区域(区画)特性表

1. 火災区域(区画)の説明

建屋名	精製建屋
火災区域/区画区分	火災区画
火災区域/区画番号	■
火災区域/区画名称	外気処理設備第1室
床面積(m ²)	■

2. 火災区域(区画)の火災シナリオの説明

■は、精製建屋内の火災区画である。
 本区画は、火災源となるものがないおよび安全上重要な施設が設置されていないため、安全機能の喪失のおそれはない。

3. 火災区域(区画)にある火災源

(1) 等価時間

発熱量(kJ)	火災荷重(kJ/m ²)	等価時間(h) [※]
■	■	0.0

※ 等価時間は、内部火災影響評価ガイドの等価時間記載の値で示す。

(2) 火災区域(区画)にある火災源機器数

火災源	機器数
電動機(3.7kW超)	-
電気盤(440V以上)	-
ケーブルトレイ(ケーブル)	-
油脂類・有機溶媒等	-
その他	-

4. 火災区域(区画)にある防火設備

火災感知の手段	主要な消火設備	消火方法	消火設備のバックアップ
設置除外	屋内消火栓	手動	粉末消火器

5. 火災区域(区画)に隣接する火災区域(区画)と火災伝播経路

隣接火災区画への火災伝播経路の詳細は、別紙1参照

6. 火災影響を受ける火災防護対象機器等

機器名称[機器番号]	最重要設備 [※]	最重要設備以外の安全上重要な施設 [※]
-	-	-

※ ○:対象 -:非対象

* 火災想定において、工程停止等により安全機能を必要としない状態へと移行が可能なもの。

7. 火災防護対象機器等の関連ケーブル

機器名称[機器番号]	ケーブル種別	安重分類
-	-	-

8. 最重要設備の安重機能への火災影響

安重分類	全焼時の成功パスの有無	回路評価等の考慮	結果	系統分離※
Pu・高レベル廃棄物の閉じ込め機能	-	-	-	-
崩壊熱除去機能(重要度の高いもの)	-	-	-	-
安全圧縮空気系(水素掃気機能)	-	-	-	-
非常用所内電源系統	-	-	-	-

※ a : 3時間以上の耐火能力を有する耐火壁で分離

b : 水平距離6mによる分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置

c : 1時間の耐火能力を有する隔壁等による分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置
再処理施設成功パスの詳細は、別紙2参照

9. 最重要設備以外の火災防護対象機器等への火災影響

機器名称[機器番号]	当該区画の火災評価※	隣接区画の火災評価※
-	-	-

※ ○:火災影響なし ×:火災影響あり

隣接する火災区画と火災伝播経路

(※ 有:伝播する 無:伝播しない)

隣接する 火災区画	火災伝播 経路有無	等価時間 (h)	耐火時間 (h)	火災伝播の 可能性 ※	備考
	無	0.0	3.0	無	
	無	0.0	3.0	無	
	無	0.0	3.0	無	
	有	0.0	0.0	無	
	有	0.0	0.0	無	
	無	0.0	1.0	無	
	無	0.0	1.0	無	

火災区域(区画)特性表

1. 火災区域(区画)の説明

建屋名	精製建屋
火災区域/区画区分	火災区画
火災区域/区画番号	■
火災区域/区画名称	外気取入室
床面積(m ²)	■

2. 火災区域(区画)の火災シナリオの説明

■は、精製建屋内の火災区画である。
 本区画は、火災源となるものがないおよび安全上重要な施設が設置されていないため、安全機能の喪失のおそれはない。

3. 火災区域(区画)にある火災源

(1) 等価時間

発熱量(kJ)	火災荷重(kJ/m ²)	等価時間(h) [※]
■	■	0.0

※ 等価時間は、内部火災影響評価ガイドの等価時間記載の値で示す。

(2) 火災区域(区画)にある火災源機器数

火災源	機器数
電動機(3.7kW超)	-
電気盤(440V以上)	-
ケーブルトレイ(ケーブル)	-
油脂類・有機溶媒等	-
その他	-

4. 火災区域(区画)にある防火設備

火災感知の手段	主要な消火設備	消火方法	消火設備のバックアップ
設置除外	屋内消火栓	手動	粉末消火器

5. 火災区域(区画)に隣接する火災区域(区画)と火災伝播経路

隣接火災区画への火災伝播経路の詳細は、別紙1参照

6. 火災影響を受ける火災防護対象機器等

機器名称[機器番号]	最重要設備 [※]	最重要設備以外の安全上重要な施設 [※]
-	-	-

※ ○:対象 -:非対象

* 火災想定において、工程停止等により安全機能を必要としない状態へと移行が可能なもの。

7. 火災防護対象機器等の関連ケーブル

機器名称[機器番号]	ケーブル種別	安重分類
-	-	-

8. 最重要設備の安重機能への火災影響

安重分類	全焼時の成功パスの有無	回路評価等の考慮	結果	系統分離※
Pu・高レベル廃棄物の閉じ込め機能	-	-	-	-
崩壊熱除去機能(重要度の高いもの)	-	-	-	-
安全圧縮空気系(水素掃気機能)	-	-	-	-
非常用所内電源系統	-	-	-	-

※ a : 3時間以上の耐火能力を有する耐火壁で分離

b : 水平距離6mによる分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置

c : 1時間の耐火能力を有する隔壁等による分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置
再処理施設成功パスの詳細は、別紙2参照

9. 最重要設備以外の火災防護対象機器等への火災影響

機器名称[機器番号]	当該区画の火災評価※	隣接区画の火災評価※
-	-	-

※ ○:火災影響なし ×:火災影響あり

隣接する火災区画と火災伝播経路

(※ 有:伝播する 無:伝播しない)

隣接する 火災区画	火災伝播 経路有無	等価時間 (h)	耐火時間 (h)	火災伝播の 可能性 ※	備考
	無	0.0	3.0	無	
	無	0.0	3.0	無	
	無	0.0	3.0	無	
	有	0.0	0.0	無	
	無	0.0	3.0	無	
	無	0.0	1.0	無	
	無	0.0	1.0	無	

火災区域(区画)特性表

1. 火災区域(区画)の説明

建屋名	精製建屋
火災区域/区画区分	火災区画
火災区域/区画番号	■
火災区域/区画名称	第17サブチェンジングルーム
床面積(m ²)	■

2. 火災区域(区画)の火災シナリオの説明

■は、精製建屋内の火災区画である。
 本区画は、電気盤火災の発生可能性があるが、安全上重要な施設が設置されていないため、安全機能の喪失のおそれはない。

3. 火災区域(区画)にある火災源

(1) 等価時間

発熱量(kJ)	火災荷重 (kJ/m ²)	等価時間(h) [※]
■	■	0.5

※ 等価時間は、内部火災影響評価ガイドの等価時間記載の値で示す。

(2) 火災区域(区画)にある火災源機器数

火災源	機器数
電動機(3.7kW超)	-
電気盤(440V以上)	1
ケーブルトレイ(ケーブル)	-
油脂類・有機溶媒等	-
その他	-

4. 火災区域(区画)にある防火設備

火災感知の手段	主要な消火設備	消火方法	消火設備のバックアップ
煙感知器	屋内消火栓	手動	粉末消火器

5. 火災区域(区画)に隣接する火災区域(区画)と火災伝播経路

隣接火災区画への火災伝播経路の詳細は、別紙1参照

6. 火災影響を受ける火災防護対象機器等

機器名称[機器番号]	最重要設備 [※]	最重要設備以外の安全上重要な施設 [※]
-	-	-

※ ○:対象 -:非対象

* 火災想定において、工程停止等により安全機能を必要としない状態へと移行が可能なもの。

7. 火災防護対象機器等の関連ケーブル

機器名称[機器番号]	ケーブル種別	安重分類
-	-	-

8. 最重要設備の安重機能への火災影響

安重分類	全焼時の成功パスの有無	回路評価等の考慮	結果	系統分離※
Pu・高レベル廃棄物の閉じ込め機能	-	-	-	-
崩壊熱除去機能(重要度の高いもの)	-	-	-	-
安全圧縮空気系(水素掃気機能)	-	-	-	-
非常用所内電源系統	-	-	-	-

※ a : 3時間以上の耐火能力を有する耐火壁で分離

b : 水平距離6mによる分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置

c : 1時間の耐火能力を有する隔壁等による分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置
再処理施設成功パスの詳細は、別紙2参照

9. 最重要設備以外の火災防護対象機器等への火災影響

機器名称[機器番号]	当該区画の火災評価※	隣接区画の火災評価※
-	-	-

※ ○:火災影響なし ×:火災影響あり

隣接する火災区画と火災伝播経路

(※ 有:伝播する 無:伝播しない)

隣接する 火災区画	火災伝播 経路有無	等価時間 (h)	耐火時間 (h)	火災伝播の 可能性 ※	備考
	無	0.5	3.0	無	
	無	0.5	3.0	無	
	有	0.5	0.0	有	
	有	0.5	0.0	有	
	有	0.5	0.0	有	

火災区域(区画)特性表

1. 火災区域(区画)の説明

建屋名	精製建屋
火災区域/区画区分	火災区画
火災区域/区画番号	■
火災区域/区画名称	除染分配第2室
床面積(m ²)	■

2. 火災区域(区画)の火災シナリオの説明

■は、精製建屋内の火災区画である。
 本区画は、ケーブルトレイ火災の発生可能性があるが、安全上重要な施設が設置されていないため、安全機能の喪失のおそれはない。

3. 火災区域(区画)にある火災源

(1) 等価時間

発熱量(kJ)	火災荷重 (kJ/m ²)	等価時間(h) [※]
■	■	0.5

※ 等価時間は、内部火災影響評価ガイドの等価時間記載の値で示す。

(2) 火災区域(区画)にある火災源機器数

火災源	機器数
電動機(3.7kW超)	-
電気盤(440V以上)	-
ケーブルトレイ(ケーブル)	有
油脂類・有機溶媒等	-
その他	-

4. 火災区域(区画)にある防火設備

火災感知の手段	主要な消火設備	消火方法	消火設備のバックアップ
煙感知器	屋内消火栓	手動	粉末消火器

5. 火災区域(区画)に隣接する火災区域(区画)と火災伝播経路

隣接火災区画への火災伝播経路の詳細は、別紙1参照

6. 火災影響を受ける火災防護対象機器等

機器名称[機器番号]	最重要設備 [※]	最重要設備以外の安全上重要な施設 [※]
-	-	-

※ ○:対象 -:非対象

* 火災想定において、工程停止等により安全機能を必要としない状態へと移行が可能なもの。

7. 火災防護対象機器等の関連ケーブル

機器名称[機器番号]	ケーブル種別	安重分類
-	-	-

8. 最重要設備の安重機能への火災影響

安重分類	全焼時の成功パスの有無	回路評価等の考慮	結果	系統分離※
Pu・高レベル廃棄物の閉じ込め機能	-	-	-	-
崩壊熱除去機能(重要度の高いもの)	-	-	-	-
安全圧縮空気系(水素掃気機能)	-	-	-	-
非常用所内電源系統	-	-	-	-

※ a : 3時間以上の耐火能力を有する耐火壁で分離

b : 水平距離6mによる分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置

c : 1時間の耐火能力を有する隔壁等による分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置
再処理施設成功パスの詳細は、別紙2参照

9. 最重要設備以外の火災防護対象機器等への火災影響

機器名称[機器番号]	当該区画の火災評価※	隣接区画の火災評価※
-	-	-

※ ○:火災影響なし ×:火災影響あり

隣接する火災区画と火災伝播経路

(※ 有:伝播する 無:伝播しない)

隣接する 火災区画	火災伝播 経路有無	等価時間 (h)	耐火時間 (h)	火災伝播の 可能性 ※	備考
	無	0.5	3.0	無	
	有	0.5	0.0	有	
	有	0.5	0.0	有	
	有	0.5	0.0	有	
	有	0.5	0.0	有	
	有	0.5	0.0	有	

火災区域(区画)特性表

1. 火災区域(区画)の説明

建屋名	精製建屋
火災区域/区画区分	火災区画
火災区域/区画番号	■
火災区域/区画名称	制御盤第9室
床面積(m ²)	■

2. 火災区域(区画)の火災シナリオの説明

■は、精製建屋内の火災区画である。
 本区画は、ケーブルトレイ火災の発生可能性があるが、安全上重要な施設が設置されていないため、安全機能の喪失のおそれはない。

3. 火災区域(区画)にある火災源

(1) 等価時間

発熱量(kJ)	火災荷重 (kJ/m ²)	等価時間(h) [※]
■	■	1.0

※ 等価時間は、内部火災影響評価ガイドの等価時間記載の値で示す。

(2) 火災区域(区画)にある火災源機器数

火災源	機器数
電動機(3.7kW超)	-
電気盤(440V以上)	-
ケーブルトレイ(ケーブル)	有
油脂類・有機溶媒等	-
その他	-

4. 火災区域(区画)にある防火設備

火災感知の手段	主要な消火設備	消火方法	消火設備のバックアップ
煙感知器	二酸化炭素消火器	手動	粉末消火器

5. 火災区域(区画)に隣接する火災区域(区画)と火災伝播経路

隣接火災区画への火災伝播経路の詳細は、別紙1参照

6. 火災影響を受ける火災防護対象機器等

機器名称[機器番号]	最重要設備 [※]	最重要設備以外の安全上重要な施設 [※]
-	-	-

※ ○:対象 -:非対象

* 火災想定において、工程停止等により安全機能を必要としない状態へと移行が可能なもの。

7. 火災防護対象機器等の関連ケーブル

機器名称[機器番号]	ケーブル種別	安重分類
-	-	-

8. 最重要設備の安重機能への火災影響

安重分類	全焼時の成功パスの有無	回路評価等の考慮	結果	系統分離※
Pu・高レベル廃棄物の閉じ込め機能	-	-	-	-
崩壊熱除去機能(重要度の高いもの)	-	-	-	-
安全圧縮空気系(水素掃気機能)	-	-	-	-
非常用所内電源系統	-	-	-	-

※ a : 3時間以上の耐火能力を有する耐火壁で分離

b : 水平距離6mによる分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置

c : 1時間の耐火能力を有する隔壁等による分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置
再処理施設成功パスの詳細は、別紙2参照

9. 最重要設備以外の火災防護対象機器等への火災影響

機器名称[機器番号]	当該区画の火災評価※	隣接区画の火災評価※
-	-	-

※ ○:火災影響なし ×:火災影響あり

隣接する火災区画と火災伝播経路

(※ 有:伝播する 無:伝播しない)

隣接する 火災区画	火災伝播 経路有無	等価時間 (h)	耐火時間 (h)	火災伝播の 可能性 ※	備考
	無	1.0	3.0	無	
	無	1.0	3.0	無	
	無	1.0	3.0	無	
	無	1.0	3.0	無	
	無	1.0	3.0	無	
	無	1.0	1.0	無	

火災区域(区画)特性表

1. 火災区域(区画)の説明

建屋名	精製建屋
火災区域/区画区分	火災区域
火災区域/区画番号	AC-18/
火災区域/区画名称	安全系B制御盤室
床面積(m ²)	

2. 火災区域(区画)の火災シナリオの説明

AC-18は、精製建屋内の火災区域である。
 本区画の火災源は、ケーブルトレイである。
 したがって、本区画の想定火災としては、ケーブルトレイ火災により、安全上重要な施設のB系の設備(6.火災影響を受ける火災防護対象機器等 参照)が火災影響を受け、安全機能が喪失するおそれがあるが、多重化された安全上重要な施設の片系のみの機能喪失であるため、安全機能が完全に喪失することはない。

3. 火災区域(区画)にある火災源

(1) 等価時間

発熱量(kJ)	火災荷重(kJ/m ²)	等価時間(h) [※]
		1.0

※ 等価時間は、内部火災影響評価ガイドの等価時間記載の値で示す。

(2) 火災区域(区画)にある火災源機器数

火災源	機器数
電動機(3.7kW超)	-
電気盤(440V以上)	-
ケーブルトレイ(ケーブル)	有
油脂類・有機溶媒等	-
その他	-

4. 火災区域(区画)にある防火設備

火災感知の手段	主要な消火設備	消火方法	消火設備のバックアップ
煙感知器 熱感知器	ハロゲン化物消火設備(全域)	自動	二酸化炭素消火器

5. 火災区域(区画)に隣接する火災区域(区画)と火災伝播経路

隣接火災区画への火災伝播経路の詳細は、別紙1参照

6. 火災影響を受ける火災防護対象機器等

機器名称[機器番号]	最重要設備※	最重要設備以外の安全上重要な施設※
プルトニウム精製工程 安全系B 制御盤1[AC-I-J753B]	-	○
プルトニウム精製工程 安全系B 制御盤2[AC-I-J754B]	-	○
アルファモニタ 安全系B 制御盤[AC-I-Q751B]	-	○
ユーティリティ工程 安全系B制御盤(リレー盤)[AC-I-J461B]	○	-
ユーティリティ工程 安全系B制御盤(計器盤)[AC-I-J460B]	○	-
非常用電気設備リレー盤B[AC-E-J462B]	○	-
建屋換気設備 安全系B制御盤[AC-V-J463B]	○	-
プルトニウム精製工程 安全系B 制御盤3[AC-I-J755B]	○	-
安重ケーブルトレイ[B系]	○	○

※ ○:対象 -:非対象

* 火災想定において、工程停止等により安全機能を必要としない状態へと移行が可能なもの。

7. 火災防護対象機器等の関連ケーブル

機器名称[機器番号]	ケーブル種別	安重分類
グローブボックス・セル排風機B [REDACTED]	制御、動力(低圧)	Pu・高レベルの廃棄物の閉じ込め機能
460V非常用パワーセンタB[AC-P/C-B]	動力(低圧)	非常用所内電源系統
安全冷却水BポンプA [REDACTED]	制御、動力(低圧)	崩壊熱除去機能(重要度の高いもの)
安全冷却水BポンプB [REDACTED]	制御、動力(低圧)	崩壊熱除去機能(重要度の高いもの)
排風機B [REDACTED]	制御、動力(低圧)	Pu・高レベルの廃棄物の閉じ込め機能
排風機B [REDACTED]	制御、動力(低圧)	Pu・高レベルの廃棄物の閉じ込め機能
460V非常用コントロールセンタB1[AC-MCC-B1]	制御	非常用所内電源系統
460V非常用コントロールセンタB2[AC-MCC-B2]	制御	非常用所内電源系統
ユーティリティ工程 安全系B制御盤(リレー盤)[AC-I-J461B]	制御	非常用所内電源系統
ユーティリティ工程 安全系B制御盤(計器盤)[AC-I-J460B]	制御	非常用所内電源系統
非常用電気設備リレー盤B[AC-E-J462B]	制御	非常用所内電源系統
建屋換気設備 安全系B制御盤[AC-V-J463B]	制御	非常用所内電源系統
プルトニウム精製工程 安全系B 制御盤3[AC-I-J755B]	制御	非常用所内電源系統

8. 最重要設備の安重機能への火災影響

安重分類	全焼時の成功パスの有無	回路評価等の考慮	結果	系統分離※
Pu・高レベル廃棄物の閉じ込め機能	有	-	○	-
崩壊熱除去機能(重要度の高いもの)	有	-	○	-
安全圧縮空気系(水素掃気機能)	-	-	-	-
非常用所内電源系統	有	-	○	-

※ a : 3時間以上の耐火能力を有する耐火壁で分離

b : 水平距離6mによる分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置

c : 1時間の耐火能力を有する隔壁等による分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置
再処理施設成功パスの詳細は、別紙2参照

9. 最重要設備以外の火災防護対象機器等への火災影響

機器名称[機器番号]	当該区画の火災評価※	隣接区画の火災評価※
-	-	-

※ ○:火災影響なし ×:火災影響あり

隣接する火災区画と火災伝播経路

(※ 有:伝播する 無:伝播しない)

隣接する 火災区画	火災伝播 経路有無	等価時間 (h)	耐火時間 (h)	火災伝播の 可能性 ※	備考
	無	1.0	3.0	無	
	無	1.0	3.0	無	
	無	1.0	3.0	無	
	無	1.0	3.0	無	
	無	1.0	3.0	無	
	無	1.0	3.0	無	
	無	1.0	3.0	無	

再処理施設成功パス一覧表

建屋	精製建屋	安全系B制御盤室
区域(区画)番号/名称		
1.放射性物質の閉じ込め機能(動的な閉じ込め機能)		
	[A]レン設備	[B]レン設備
前処理建屋 せん断処理・溶解廃ガス処理設備	排風機A	前処理建屋 せん断処理・溶解廃ガス処理設備
	排風機C	排風機B
前処理建屋 塔槽類廃ガス処理設備	排風機A	前処理建屋 塔槽類廃ガス処理設備
	排風機A	排風機B
前処理建屋換気設備 溶解セル等からの排気系	セル排風機A	前処理建屋換気設備 溶解セル等からの排気系
	溶解槽セルA排風機A	セル排風機B
	溶解槽セルB排風機A	溶解槽セルA排風機B
高レベル廃液ガラス固化建屋 高レベル廃液ガラス固化廃ガス処理設備	第1排風機A	高レベル廃液ガラス固化建屋 高レベル廃液ガラス固化廃ガス処理設備
	第2排風機A	第1排風機B
高レベル廃液ガラス固化建屋 塔槽類廃ガス処理設備 高レベル濃縮廃液廃ガス処理系	排風機A	高レベル廃液ガラス固化建屋 塔槽類廃ガス処理設備 高レベル濃縮廃液廃ガス処理系
	排風機A	排風機B
高レベル廃液ガラス固化建屋 塔槽類廃ガス処理設備 不溶解残渣廃液廃ガス処理系	排風機A	高レベル廃液ガラス固化建屋 塔槽類廃ガス処理設備 不溶解残渣廃液廃ガス処理系
	排風機A	排風機B
高レベル濃縮廃液貯槽セル等からの排気系固化セル換気系及び固化セル圧力放出系	セル排風機A	高レベル濃縮廃液貯槽セル等からの排気系固化セル換気系及び固化セル圧力放出系
	固化セル換気系排風機A	セル排風機B
分離建屋 塔槽類廃ガス処理設備バルセータ廃ガス処理系	排風機A	分離建屋 塔槽類廃ガス処理設備バルセータ廃ガス処理系
	排風機A	排風機B
分離建屋 塔槽類廃ガス処理設備 塔槽類廃ガス処理系	排風機A	分離建屋 塔槽類廃ガス処理設備 塔槽類廃ガス処理系
	排風機A	排風機B
分離建屋換気設備 プルトニウム溶液中貯槽セル等からの排気系	グループボックス・セル排風機A	分離建屋換気設備 プルトニウム溶液中貯槽セル等からの排気系
	グループボックス・セル排風機A	グループボックス・セル排風機B
精製建屋 塔槽類廃ガス処理設備バルセータ廃ガス処理系	排風機A	精製建屋 塔槽類廃ガス処理設備バルセータ廃ガス処理系
	排風機A	排風機B
精製建屋 塔槽類廃ガス処理設備 塔槽類廃ガス処理系(プルトニウム系)	排風機A	精製建屋 塔槽類廃ガス処理設備 塔槽類廃ガス処理系(プルトニウム系)
	排風機A	排風機B
精製建屋換気設備 プルトニウム濃縮缶セル等及びグループボックス等からの排気系	グループボックス・セル排風機A	精製建屋換気設備 プルトニウム濃縮缶セル等及びグループボックス等からの排気系
	グループボックス・セル排風機A	グループボックス・セル排風機B
ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋 塔槽類廃ガス処理設備	第1排風機A	ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋 塔槽類廃ガス処理設備
	第2排風機A	第1排風機B
	第2排風機C	第2排風機B
ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋 硝酸プルトニウム貯槽セル等及びグループボックス等からの排気系	グループボックス・セル排風機A	ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋 硝酸プルトニウム貯槽セル等及びグループボックス等からの排気系
	グループボックス・セル排風機C	グループボックス・セル排風機B
-		X
1パス	○	
回路評価等	-	
成功パス	○	

凡例	
x	○○○○-○○○○A
	○○○○-○○○○A
x : 当該室の火災により安全機能を喪失する機器がある場合	
空欄 : 当該室に設置していない機器	
1パス	- : 当該室に対象なし ○ : 当該室の火災により対応する安全機能が1系統残る場合 x : 当該室の火災により対応する安全機能がすべて喪失する場合
回路評価等	- : 当該室に回路評価等を行う対象なし ○ : 回路評価等により、対応する安全機能が確保される場合
成功パス	- : 当該室に対象なし ○ : 当該室の火災により対応する安全機能が1系統残る場合 x : 当該室の火災により対応する安全機能がすべて喪失する場合

再処理施設成功パス一覧表

2. 崩壊熱除去機能		[A]トレン設備		[B]トレン設備	
冷却設備	安全冷却水系			冷却設備	安全冷却水系
	安全冷却水A冷却塔				安全冷却水B冷却塔
前処理建屋	冷却設備	安全冷却水系		前処理建屋	冷却設備
	安全冷却水A循環ポンプA				安全冷却水B循環ポンプA
	安全冷却水A循環ポンプB				安全冷却水B循環ポンプB
	安全冷却水1AポンプA				安全冷却水1BポンプA
	安全冷却水1AポンプB				安全冷却水1BポンプB
分離建屋	冷却設備	安全冷却水系		分離建屋	冷却設備
	冷却水循環ポンプA				冷却水循環ポンプC
	冷却水循環ポンプB				冷却水循環ポンプD
	安全冷却水1AポンプA				安全冷却水1BポンプA
	安全冷却水1AポンプB				安全冷却水1BポンプB
精製建屋	冷却設備	安全冷却水系		精製建屋	冷却設備
	安全冷却水AポンプA			×	安全冷却水BポンプA
	安全冷却水AポンプB			×	安全冷却水BポンプB
ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋	冷却設備	安全冷却水系		ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋	冷却設備
	安全冷却水A				安全冷却水A
	冷水移送ポンプA				冷水移送ポンプC
	冷水移送ポンプB				冷水移送ポンプD
高レベル廃液ガラス固化建屋	冷却設備	安全冷却水系		高レベル廃液ガラス固化建屋	冷却設備
	第1高レベル濃縮廃液貯槽冷却水AポンプA				第1高レベル濃縮廃液貯槽冷却水BポンプA
	第1高レベル濃縮廃液貯槽冷却水AポンプB				第1高レベル濃縮廃液貯槽冷却水BポンプB
	第2高レベル濃縮廃液貯槽冷却水AポンプA				第2高レベル濃縮廃液貯槽冷却水BポンプA
	第2高レベル濃縮廃液貯槽冷却水AポンプB				第2高レベル濃縮廃液貯槽冷却水BポンプB
	安全冷却水A系ポンプA				安全冷却水B系ポンプA
	安全冷却水A系ポンプB				安全冷却水B系ポンプB
	高レベル廃液共用貯槽冷却水AポンプA				高レベル廃液共用貯槽冷却水BポンプA
	高レベル廃液共用貯槽冷却水AポンプB				高レベル廃液共用貯槽冷却水BポンプB
	安全冷却水A系ポンプA				安全冷却水B系ポンプA
	安全冷却水A系ポンプB				安全冷却水B系ポンプB
	安全冷水A冷却器冷媒膨張弁A				安全冷水B冷却器冷媒膨張弁A
	安全冷水A冷却器冷媒膨張弁B				安全冷水B冷却器冷媒膨張弁B
	安全冷水A冷却器冷媒止弁A				安全冷水B冷却器冷媒止弁A
	安全冷水A冷却器冷媒止弁B				安全冷水B冷却器冷媒止弁B
	安全冷却水1AポンプA				安全冷却水1BポンプA
	安全冷却水1AポンプB				安全冷却水1BポンプB
	安全冷水AポンプA				安全冷水BポンプA
	安全冷水AポンプB				安全冷水BポンプB
	安全冷水A冷凍機				安全冷水B冷凍機
	スクリーン圧縮機				スクリーン圧縮機
	スクリーン圧縮機				スクリーン圧縮機
ウラン・プルトニウム混合酸化物貯蔵建屋	換気設備	貯蔵室排気系		ウラン・プルトニウム混合酸化物貯蔵建屋	換気設備
	貯蔵室排風機A				貯蔵室排風機C
	貯蔵室排風機B				貯蔵室排風機D
-				×	
	1パス		○		
	回路評価等		-		
	成功パス		○		

3. 安全圧縮空気系(水素捕集機能)		[A]トレン設備		[B]トレン設備	
安全圧縮空気系				安全圧縮空気系	
	安全空気圧縮装置A				安全空気圧縮装置B
	安全空気圧縮装置C				安全空気圧縮装置C
-				-	
	1パス		-		
	回路評価等		-		
	成功パス		-		

再処理施設成功パス一覧表

4.非常用所内電源系統(支援機能)		[A]レイン設備	[B]レイン設備
非常用電源建屋冷却水設備		8111A-C20 冷却塔A	8111B-C20 冷却塔B
		8111A-P2010 冷却水循環ポンプA	8111B-P2010 冷却水循環ポンプB
非常用電源建屋の電気設備		GA-M/C-A 6.9kV非常用メタクラ	GA-M/C-B 6.9kV非常用メタクラB
		GA-MCC-A 460V非常用コントロールセンタA	GA-MCC-B 460V非常用コントロールセンタB
		8111A-X10 ディーゼル機関A	8111B-X10 ディーゼル機関B
		8111A-X11 同期発電機A	8111B-X11 同期発電機B
		8111A-P4011 燃料油移送ポンプA	8111B-P4011 燃料油移送ポンプB
		GA-BAT-A 110V第2非常用蓄電池A	GA-BAT-B 110V第2非常用蓄電池B
		GA-CHG-A 110V非常用充電器盤A	GA-CHG-B 110V非常用充電器盤B
		GA-DCD-A 110V非常用直流主分電盤A	GA-DCD-B 110V非常用直流主分電盤B
		GA-CHG-E 110V非常用予備充電器盤E	GA-CHG-E 110V非常用予備充電器盤E
		GA-E-K011A 非常用電気設備リレー盤A1	GA-E-K013B 非常用電気設備リレー盤B1
		GA-E-K012A 非常用電気設備リレー盤A2	GA-E-K014B 非常用電気設備リレー盤B2
		8111A-V40 燃料油貯蔵タンク1A	8111B-V40 燃料油貯蔵タンク1B
		8111A-V41 燃料油貯蔵タンク2A	8111B-V41 燃料油貯蔵タンク2B
		GA-E-M011A 第2非常用ディーゼル発電機A制御盤	GA-E-M012B 第2非常用ディーゼル発電機B制御盤
		GA-PTR-A 非常用動力用変圧器A	GA-PTR-B 非常用動力用変圧器B
		8111A-V42 燃料油サービスタングA	8111B-V42 燃料油サービスタングB
		8111A-F4210 燃料油第1フィルタA	8111B-F4210 燃料油第1フィルタB
		8111A-F4230 燃料油第2フィルタA	8111B-F4230 燃料油第2フィルタB
		GA-E-S011A 第2非常用ディーゼル発電機ターニング現場盤A	GA-E-S012B 第2非常用ディーゼル発電機ターニング現場盤B
		GA-E-U011A 第2非常用ディーゼル発電機CT盤A	GA-E-U012B 第2非常用ディーゼル発電機CT盤B
		GA-I-K011A ユーティリティ工程 安全系A制御盤(リレー盤)	GA-I-K012B ユーティリティ工程 安全系B制御盤(リレー盤)
制御建屋の電気設備		AG-M/C-A 6.9kV非常用メタクラ	AG-M/C-B 6.9kV非常用メタクラB
		AG-P/C-A 460V非常用パワーセンタA	AG-P/C-B 460V非常用パワーセンタB
		AG-MCC-A1 460V非常用コントロールセンタA1	AG-MCC-B1 460V非常用コントロールセンタB1
		AG-MCC-A2 460V非常用コントロールセンタA2	AG-MCC-B2 460V非常用コントロールセンタB2
		AG-I-F201A 前処理建屋 安全系A監視制御盤	AG-I-F202B 前処理建屋 安全系B監視制御盤
		AG-I-F203A 分離建屋 安全系A監視制御盤	AG-I-F204B 分離建屋 安全系B監視制御盤
		AG-I-F205A 精製建屋 安全系A監視制御盤	AG-I-F206B 精製建屋 安全系B監視制御盤
		AG-I-F211A フラン・フルトウム混合脱硝建屋 安全系A監視制御盤	AG-I-F212B フラン・フルトウム混合脱硝建屋 安全系B監視制御盤
		AG-I-F213A 高レベル廃液ガラス固化建屋 安全系A監視制御盤	AG-I-F214B 高レベル廃液ガラス固化建屋 安全系B監視制御盤
		AG-BAT-A1 110V第2非常用蓄電池A1	AG-BAT-B1 110V第2非常用蓄電池B1
		AG-BAT-A2 220V第2非常用蓄電池A2	AG-BAT-B2 220V第2非常用蓄電池B2
		AG-CHG-A 110V非常用充電器盤A	AG-CHG-B 110V非常用充電器盤B
		AG-CHG-E 110V非常用予備充電器盤E	AG-CHG-E 110V非常用予備充電器盤E
		AG-DCD-A 110V非常用直流主分電盤A	AG-DCD-B 110V非常用直流主分電盤B
		AG-UPS-A 105V非常用無停電電源装置A	AG-UPS-B 105V非常用無停電電源装置B
		AG-UPD-A 105V非常用無停電交流主分電盤A	AG-UPD-B 105V非常用無停電交流主分電盤B
前処理建屋の電気設備		AA-M/C-A 6.9kV非常用メタクラ	AA-M/C-B 6.9kV非常用メタクラB
		AA-P/C-A 460V非常用パワーセンタA	AA-P/C-B 460V非常用パワーセンタB
		AA-MCC-A1 460V非常用コントロールセンタA1	AA-MCC-B1 460V非常用コントロールセンタB1
		AA-MCC-A2 460V非常用コントロールセンタA2	AA-MCC-B2 460V非常用コントロールセンタB2
		AA-MCC-A3 460V非常用コントロールセンタA3	
		AA-BAT-A 110V第2非常用蓄電池A	AA-BAT-B 110V第2非常用蓄電池B
		AA-CHG-A 110V非常用充電器盤A	AA-CHG-B 110V非常用充電器盤B
		AA-CHG-E 110V非常用予備充電器盤E	AA-CHG-E 110V非常用予備充電器盤E
		AA-DCD-A 110V非常用直流主分電盤A	AA-DCD-B 110V非常用直流主分電盤B
		AA-UPS-A 105V非常用無停電電源装置A	AA-UPS-B 105V非常用無停電電源装置B
		AA-UPD-A 105V非常用無停電交流主分電盤A	AA-UPD-B 105V非常用無停電交流主分電盤B
		AA-I-M171A 圧縮空気設備 安全空気脱濁装置A現場監視制御盤	AA-I-M172B 圧縮空気設備 安全空気脱濁装置B現場監視制御盤
		AA-I-M166A 圧縮空気設備 安全空気圧縮装置A現場監視制御盤	AA-I-M167B 圧縮空気設備 安全空気圧縮装置B現場監視制御盤
		AA-I-M176A 圧縮空気設備 安全空気圧縮装置C現場制御回路分離盤A	AA-I-M177B 圧縮空気設備 安全空気圧縮装置C現場制御回路分離盤B
		AA-I-M169C 圧縮空気設備 安全空気圧縮装置C現場制御電源切替盤	AA-I-M169C 圧縮空気設備 安全空気圧縮装置C現場制御電源切替盤
		AA-I-M168C 圧縮空気設備 安全空気圧縮装置C現場監視制御盤	AA-I-M168C 圧縮空気設備 安全空気圧縮装置C現場監視制御盤
		AA-I-K701A よう素除去工程排風機A制御盤	AA-I-K702B よう素除去工程排風機B制御盤
		AA-I-K703C よう素除去工程排風機C制御盤	AA-I-K703C よう素除去工程排風機C制御盤
		AA-I-X710C よう素除去工程 C系統電源切替盤	AA-I-X710C よう素除去工程 C系統電源切替盤
		AA-I-1012A ユーティリティ工程 安全系A制御盤1(リレー盤2)	AA-I-1062B ユーティリティ工程 安全系B制御盤1(リレー盤2)
		AA-I-1013A ユーティリティ工程 安全系A制御盤2(リレー盤3)	AA-I-1063B ユーティリティ工程 安全系B制御盤2(リレー盤3)
		AA-I-1031A よう素除去工程 安全系A制御盤1	AA-I-1081B よう素除去工程 安全系B制御盤1
		AA-I-1032A よう素除去工程 安全系A制御盤2	AA-I-1082B よう素除去工程 安全系B制御盤2
		AA-I-1033A よう素除去工程 安全系A制御盤3	AA-I-1083B よう素除去工程 安全系B制御盤3
		AA-LPD-A2 溶解槽セルA排風機A極数変換盤	AA-LPD-B2 溶解槽セルA排風機B極数変換盤
		AA-LPD-A3 溶解槽セルB排風機A極数変換盤	AA-LPD-B3 溶解槽セルB排風機B極数変換盤
		AA-LPD-A21 セル排風機A極数変換盤	AA-LPD-B21 セル排風機B極数変換盤
分離建屋の非常用所内電源系統		AB-P/C-A 460V非常用パワーセンタA	AB-P/C-B 460V非常用パワーセンタB
		AB-MCC-A 460V非常用コントロールセンタA	AB-MCC-B 460V非常用コントロールセンタB
		AB-CHG-A 110V非常用充電器盤A	AB-CHG-B 110V非常用充電器盤B
		AB-CHG-E 110V非常用予備充電器盤E	AB-CHG-E 110V非常用予備充電器盤E
		AB-BAT-A 110V第2非常用蓄電池A	AB-BAT-B 110V第2非常用蓄電池B
		AB-DCD-A 110V非常用直流主分電盤A	AB-DCD-B 110V非常用直流主分電盤B
		AB-UPS-A 105V非常用無停電電源装置A	AB-UPS-B 105V非常用無停電電源装置B
		AB-UPD-A1 105V非常用無停電交流主分電盤A1	AB-UPD-B1 105V非常用無停電交流主分電盤A1
		AB-UPD-A2 105V非常用無停電交流主分電盤A2	AB-UPD-B2 105V非常用無停電交流主分電盤A2
		AB-I-1180A ユーティリティ工程 安全系A制御盤1	AB-I-1183B ユーティリティ工程 安全系B制御盤1
		AB-I-1181A ユーティリティ工程 安全系A制御盤2	AB-I-1184B ユーティリティ工程 安全系B制御盤2
		AB-I-1182A ユーティリティ工程 安全系A制御盤3	AB-I-1185B ユーティリティ工程 安全系B制御盤3
		AB-I-1033A 分離・分配工程 安全系A制御盤1	AB-I-1036B 分離・分配工程 安全系B制御盤1
		AB-I-1034A 分離・分配工程 安全系A制御盤2	AB-I-1037B 分離・分配工程 安全系B制御盤2
		AB-I-1035A 分離・分配工程 安全系A制御盤3	AB-I-1038B 分離・分配工程 安全系B制御盤3
		AB-V-1100A 建屋換気設備 安全系A制御盤	AB-V-1101B 建屋換気設備 安全系B制御盤
-			
1パス		-	
回路評価等		-	
成功パス		-	

再処理施設成功パス一覧表

4.支援機能(継ぎ)		[A]レン設備	[B]レン設備
精製建屋の電気設備		AC-BAT-A 110V第2非常用蓄電池A AC-CHG-A 110V非常用充電器盤A AC-CHG-E 110V非常用予備充電器盤E AC-D-DCD-A 110V非常用直流主分電盤A AC-MCC-A1 460V非常用コントロールセンタA1 AC-MCC-A2 460V非常用コントロールセンタA2 AC-P/C-A 460V非常用パワーセンタA AC-UPD-A 105V非常用無停電交流主分電盤A AC-UPS-A 105V非常用無停電電源装置A AC-I-1450A ユーティリティ工程 安全系A制御盤(計器盤) AC-I-1451A ユーティリティ工程 安全系A制御盤(リレー盤) AC-E-1452A 非常用電気設備リレー盤A AC-V-1453A 建屋換気設備安全系A制御盤 AC-I-1752A プルトニウム精製工程 安全系A 制御盤3	AC-BAT-B 110V第2非常用蓄電池B AC-CHG-B 110V非常用充電器盤B AC-CHG-E 110V非常用予備充電器盤E AC-D-DCD-B 110V非常用直流主分電盤B AC-MCC-B1 460V非常用コントロールセンタB1 AC-MCC-B2 460V非常用コントロールセンタB2 AC-P/C-B 460V非常用パワーセンタB AC-UPD-B 105V非常用無停電交流主分電盤B AC-UPS-B 105V非常用無停電電源装置B AC-I-1460B ユーティリティ工程 安全系B制御盤(計器盤) AC-I-1461B ユーティリティ工程 安全系B制御盤(リレー盤) AC-E-1462B 非常用電気設備リレー盤B AC-V-1463B 建屋換気設備安全系B制御盤 AC-I-1755B プルトニウム精製工程 安全系B 制御盤3
ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋の非常用所内電源系統		CA-P/C-A 460V非常用パワーセンタA CA-MCC-A1 460V非常用コントロールセンタA1 CA-MCC-A2 460V非常用コントロールセンタA2 CA-M/C-A 6.9kV非常用メタグラB CA-E-K503A 非常用電気設備リレー盤A CA-I-1501A 安全系A制御盤 CA-V-1502A 建屋換気設備安全系A制御盤 CA-CHG-A 110V非常用充電器盤A CA-CHG-E 110V非常用予備充電器盤E CA-D-DCD-A 110V非常用直流主分電盤A CA-UPD-A 105V非常用無停電交流主分電盤A CA-UPS-A 105V非常用無停電電源装置A CA-BAT-A 110V第2非常用蓄電池A	CA-P/C-B 460V非常用パワーセンタB CA-MCC-B1 460V非常用コントロールセンタB1 CA-MCC-B2 460V非常用コントロールセンタB2 CA-M/C-B 6.9kV非常用メタグラB CA-E-K603B 非常用電気設備リレー盤B CA-I-1601B 安全系B制御盤 CA-V-1602B 建屋換気設備安全系B制御盤 CA-CHG-B 110V非常用充電器盤B CA-CHG-E 110V非常用予備充電器盤E CA-D-DCD-B 110V非常用直流主分電盤B CA-UPD-B 105V非常用無停電交流主分電盤B CA-UPS-B 105V非常用無停電電源装置B CA-BAT-B 110V第2非常用蓄電池B
ウラン・プルトニウム混合脱硝貯蔵建屋の非常用所内電源系統		CB-P/C-A 460V非常用パワーセンタA CB-E-1101A 非常用電気設備リレー盤A CA-V-1001A 建屋換気設備安全系A制御盤 CB-BAT-A 110V第2非常用蓄電池A CB-CHG-A 110V非常用充電器盤A CB-D-DCD-A 110V非常用直流主分電盤A CB-MCC-A 460V非常用コントロールセンタA CB-UPS-A 105V非常用無停電電源装置A CB-CHG-E 110V非常用予備充電器盤E	CB-P/C-B 460V非常用パワーセンタB CB-E-1102B 非常用電気設備リレー盤B CA-V-1002B 建屋換気設備安全系B制御盤 CB-BAT-B 110V第2非常用蓄電池B CB-CHG-B 110V非常用充電器盤B CB-D-DCD-B 110V非常用直流主分電盤B CB-MCC-B 460V非常用コントロールセンタB CB-UPS-B 105V非常用無停電電源装置B CB-CHG-E 110V非常用予備充電器盤E
高レベル廃液ガラス固化建屋の電気設備		KA-P/C-A 460V非常用パワーセンタA KA-BAT-A 110V第2非常用蓄電池A KA-CHG-A 110V非常用充電器盤A KA-CHG-E 110V非常用予備充電器盤E KA-D-DCD-A 110V非常用直流主分電盤A KA-UPS-A 105V非常用無停電電源装置A KA-UPD-A 105V非常用無停電交流主分電盤A KA-ACS-A 105V非常用計測交流電源盤A KA-ACD-A 105V非常用計測交流主分電盤A KA-MCC-A1 460V非常用コントロールセンタA1 KA-MCC-A2 460V非常用コントロールセンタA2 KA-I-K224A 高レベル廃液ガラス固化廃ガス処理設備第1排風機A安全系Aインバータ制御盤 KA-I-K226A 高レベル廃液ガラス固化廃ガス処理設備第2排風機A安全系Aインバータ制御盤 KA-I-K073A 固化セル換気系排風機A安全系Aインバータ制御盤 KA-E-K001A 非常用電気設備リレー盤A KA-I-1501A 高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系A制御盤1 KA-I-1502A 高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系A制御盤2 KA-I-1503A 高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系A制御盤3 KA-I-1504A 高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系A制御盤4 KA-I-1505A 高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系A制御盤5 KA-I-1506A 高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系A制御盤6 KA-I-1507A 高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系A制御盤7 KA-I-1508A 高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系A制御盤8 KA-I-1511A 安全系A アレスタ盤 KA-I-1512A 高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系A制御盤(リレー盤1) KA-I-1513A 高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系A制御盤(リレー盤2) KA-I-1514A 高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系A制御盤(リレー盤3) KA-I-M331A 冷凍機 安全系A監視制御盤 KA-I-K334A 冷却水・冷水設備 安全系A 制御盤1 KA-I-K335A 冷却水・冷水設備 安全系A 制御盤2	KA-P/C-B 460V非常用パワーセンタB KA-BAT-B 110V第2非常用蓄電池B KA-CHG-B 110V非常用充電器盤B KA-CHG-E 110V非常用予備充電器盤E KA-D-DCD-B 110V非常用直流主分電盤B KA-UPS-B 105V非常用無停電電源装置B KA-UPD-B 105V非常用無停電交流主分電盤B KA-ACS-B 105V非常用計測交流電源盤B KA-ACD-B 105V非常用計測交流主分電盤B KA-MCC-B1 460V非常用コントロールセンタB1 KA-MCC-B2 460V非常用コントロールセンタB2 KA-I-K225B 高レベル廃液ガラス固化廃ガス処理設備第1排風機B安全系Bインバータ制御盤 KA-I-K227B 高レベル廃液ガラス固化廃ガス処理設備第2排風機B安全系Bインバータ制御盤 KA-I-K074B 固化セル換気系排風機B安全系Bインバータ制御盤 KA-E-K002B 非常用電気設備リレー盤B KA-I-1521B 高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系B制御盤1 KA-I-1522B 高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系B制御盤2 KA-I-1523B 高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系B制御盤3 KA-I-1524B 高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系B制御盤4 KA-I-1525B 高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系B制御盤5 KA-I-1526B 高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系B制御盤6 KA-I-1527B 高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系B制御盤7 KA-I-1528B 高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系B制御盤8 KA-I-1531B 安全系B アレスタ盤 KA-I-1532B 高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系B制御盤(リレー盤1) KA-I-1533B 高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系B制御盤(リレー盤2) KA-I-1534B 高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系B制御盤(リレー盤3) KA-I-M322B 冷凍機 安全系B監視制御盤 KA-I-K338B 冷却水・冷水設備 安全系B 制御盤1 KA-I-K339B 冷却水・冷水設備 安全系B 制御盤2
-			X
	1パス	○	
	回路評価等	-	
	成功パス	○	

火災区域(区画)特性表

1. 火災区域(区画)の説明

建屋名	精製建屋
火災区域／区画区分	火災区域
火災区域／区画番号	AC-19／ XXXXXXXXXX
火災区域／区画名称	安全系A制御盤室
床面積(m ²)	XXXXXXXXXX

2. 火災区域(区画)の火災シナリオの説明

AC-19は、精製建屋内の火災区域である。
 本区画の火災源は、ケーブルトレイである。
 したがって、本区画の想定火災としては、ケーブルトレイ火災により、安全上重要な施設のA系の設備(6.火災影響を受ける火災防護対象機器等 参照)が火災影響を受け、安全機能が喪失するおそれがあるが、多重化された安全上重要な施設の片系のみの機能喪失であるため、安全機能が完全に喪失することはない。

3. 火災区域(区画)にある火災源

(1) 等価時間

発熱量(kJ)	火災荷重 (kJ/m ²)	等価時間(h) [※]
XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	0.5

※ 等価時間は、内部火災影響評価ガイドの等価時間記載の値で示す。

(2) 火災区域(区画)にある火災源機器数

火災源	機器数
電動機(3.7kW超)	-
電気盤(440V以上)	-
ケーブルトレイ(ケーブル)	有
油脂類・有機溶媒等	-
その他	-

4. 火災区域(区画)にある防火設備

火災感知の手段	主要な消火設備	消火方法	消火設備のバックアップ
煙感知器 熱感知器	ハロゲン化物消火 設備(全域)	自動	二酸化炭素消火器

5. 火災区域(区画)に隣接する火災区域(区画)と火災伝播経路 隣接火災区画への火災伝播経路の詳細は、別紙1参照

6. 火災影響を受ける火災防護対象機器等

機器名称[機器番号]	最重要設備※	最重要設備以外の安全上重要な施設※
プルトニウム精製工程 安全系A 制御盤1[AC-I-J750A]	-	○
プルトニウム精製工程 安全系A 制御盤2[AC-I-J751A]	-	○
アルファモニタ 安全系A 制御盤[AC-I-Q750A]	-	○
非常用電気設備リレー盤A[AC-E-J452A]	○	-
ユーティリティ工程 安全系A制御盤(計器盤)[AC-I-J450A]	○	-
ユーティリティ工程 安全系A制御盤(リレー盤)[AC-I-J451A]	○	-
プルトニウム精製工程 安全系A 制御盤3[AC-I-J752A]	○	-
建屋換気設備 安全系A制御盤 [AC-V-J453A]	○	-
安重ケーブルトレイ[A系]	○	○

※ ○:対象 -:非対象

* 火災想定において、工程停止等により安全機能を必要としない状態へと移行が可能なもの。

7. 火災防護対象機器等の関連ケーブル

機器名称[機器番号]	ケーブル種別	安重分類
グローブボックス・セル排風機A [機器番号]	制御、動力(低圧)	Pu・高レベルの廃棄物の閉じ込め機能
460V非常用パワーセンタA[AC-P/C-A]	動力(低圧)	非常用所内電源系統
安全冷却水AポンプA [機器番号]	制御、動力(低圧)	崩壊熱除去機能(重要度の高いもの)
安全冷却水AポンプB [機器番号]	制御、動力(低圧)	崩壊熱除去機能(重要度の高いもの)
排風機A [機器番号]	制御、動力(低圧)	Pu・高レベルの廃棄物の閉じ込め機能
排風機A [機器番号]	制御、動力(低圧)	Pu・高レベルの廃棄物の閉じ込め機能
460V非常用コントロールセンタA1[AC-MCC-A1]	制御	非常用所内電源系統
460V非常用コントロールセンタA2[AC-MCC-A2]	制御	非常用所内電源系統
非常用電気設備リレー盤A[AC-E-J452A]	制御	非常用所内電源系統
ユーティリティ工程 安全系A制御盤(計器盤)[AC-I-J450A]	制御	非常用所内電源系統
ユーティリティ工程 安全系A制御盤(リレー盤)[AC-I-J451A]	制御	非常用所内電源系統
プルトニウム精製工程 安全系A 制御盤3[AC-I-J752A]	制御	非常用所内電源系統
建屋換気設備 安全系A制御盤 [AC-V-J453A]	制御	非常用所内電源系統

8. 最重要設備の安重機能への火災影響

安重分類	全焼時の成功パスの有無	回路評価等の考慮	結果	系統分離※
Pu・高レベル廃棄物の閉じ込め機能	有	-	○	-
崩壊熱除去機能(重要度の高いもの)	有	-	○	-
安全圧縮空気系(水素掃気機能)	-	-	-	-
非常用所内電源系統	有	-	○	-

※ a : 3時間以上の耐火能力を有する耐火壁で分離

b : 水平距離6mによる分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置

c : 1時間の耐火能力を有する隔壁等による分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置
再処理施設成功パスの詳細は、別紙2参照

9. 最重要設備以外の火災防護対象機器等への火災影響

機器名称[機器番号]	当該区画の火災評価※	隣接区画の火災評価※
-	-	-

※ ○:火災影響なし ×:火災影響あり

隣接する火災区画と火災伝播経路

(※ 有:伝播する 無:伝播しない)

隣接する 火災区画	火災伝播 経路有無	等価時間 (h)	耐火時間 (h)	火災伝播の 可能性 ※	備考
	無	0.5	3.0	無	
	無	0.5	3.0	無	
	無	0.5	3.0	無	
	無	0.5	3.0	無	
	無	0.5	3.0	無	
	無	0.5	3.0	無	
	無	0.5	3.0	無	

再処理施設成功パス一覧表

建屋	精製建屋	安全系A制御盤室
区域(区画)番号/名称		
1.放射性物質の閉じ込め機能(動的な閉じ込め機能)		
	【A(レン設備)】	【B(レン設備)】
前処理建屋 せん断処理・溶解廃ガス処理設備	排風機A	前処理建屋 せん断処理・溶解廃ガス処理設備
	排風機C	排風機B
前処理建屋 塔槽類廃ガス処理設備	排風機A	前処理建屋 塔槽類廃ガス処理設備
	排風機A	排風機B
前処理建屋換気設備 溶解セル等からの排気系	セル排風機A	前処理建屋換気設備 溶解セル等からの排気系
	溶解槽セルA排風機A	セル排風機B
	溶解槽セルB排風機A	溶解槽セルA排風機B
高レベル廃液ガラス固化建屋 高レベル廃液ガラス固化廃ガス処理設備	第1排風機A	高レベル廃液ガラス固化建屋 高レベル廃液ガラス固化廃ガス処理設備
	第2排風機A	第1排風機B
高レベル廃液ガラス固化建屋 塔槽類廃ガス処理設備 高レベル濃縮廃液廃ガス処理系	排風機A	高レベル廃液ガラス固化建屋 塔槽類廃ガス処理設備 高レベル濃縮廃液廃ガス処理系
高レベル廃液ガラス固化建屋 塔槽類廃ガス処理設備 不溶解残渣廃液廃ガス処理系	排風機A	高レベル廃液ガラス固化建屋 塔槽類廃ガス処理設備 不溶解残渣廃液廃ガス処理系
高レベル濃縮廃液貯槽セル等からの排気系 固化セル換気系及び固化セル圧力放出系	セル排風機A	高レベル濃縮廃液貯槽セル等からの排気系 固化セル換気系及び固化セル圧力放出系
	固化セル換気系排風機A	セル排風機B
分離建屋 塔槽類廃ガス処理設備 バルセータ廃ガス処理系	排風機A	分離建屋 塔槽類廃ガス処理設備 バルセータ廃ガス処理系
分離建屋 塔槽類廃ガス処理設備 塔槽類廃ガス処理系	排風機A	分離建屋 塔槽類廃ガス処理設備 塔槽類廃ガス処理系
分離建屋換気設備 プルトニウム溶液中貯槽セル等からの排気系	グループボックス・セル排風機A	分離建屋換気設備 プルトニウム溶液中貯槽セル等からの排気系
精製建屋 塔槽類廃ガス処理設備 バルセータ廃ガス処理系	排風機A	精製建屋 塔槽類廃ガス処理設備 バルセータ廃ガス処理系
×	排風機A	精製建屋 塔槽類廃ガス処理設備 バルセータ廃ガス処理系
精製建屋 塔槽類廃ガス処理設備 塔槽類廃ガス処理系(プルトニウム系)	排風機A	精製建屋 塔槽類廃ガス処理設備 塔槽類廃ガス処理系(プルトニウム系)
×	排風機A	精製建屋 塔槽類廃ガス処理設備 塔槽類廃ガス処理系(プルトニウム系)
精製建屋換気設備 プルトニウム濃縮缶セル等及びグループボックス等からの排気系	グループボックス・セル排風機A	精製建屋換気設備 プルトニウム濃縮缶セル等及びグループボックス等からの排気系
×	グループボックス・セル排風機A	グループボックス・セル排風機B
ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋 塔槽類廃ガス処理設備	第1排風機A	ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋 塔槽類廃ガス処理設備
	第2排風機A	第1排風機B
	第2排風機C	第2排風機B
ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋 硝酸プルトニウム貯槽セル等及びグループボックス等からの排気系	グループボックス・セル排風機A	ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋 硝酸プルトニウム貯槽セル等及びグループボックス等からの排気系
	グループボックス・セル排風機C	グループボックス・セル排風機B
×		-
1パス	○	
回路評価等	-	
成功パス	○	

凡例	
x	○○○○-○○○○A
	○○○○-○○○○A
x : 当該室の火災により安全機能を喪失する機器がある場合	
空欄 : 当該室に設置していない機器	
1パス	- : 当該室に対象なし ○ : 当該室の火災により対応する安全機能が1系統残る場合 x : 当該室の火災により対応する安全機能がすべて喪失する場合
回路評価等	- : 当該室に回路評価等を行う対象なし ○ : 回路評価等により、対応する安全機能が確保される場合
成功パス	- : 当該室に対象なし ○ : 当該室の火災により対応する安全機能が1系統残る場合 x : 当該室の火災により対応する安全機能がすべて喪失する場合

再処理施設成功パス一覧表

2. 崩壊除去機能		[A]レン設備		[B]レン設備	
冷却設備	安全冷却水系			冷却設備	安全冷却水系
	安全冷却水A冷却塔				安全冷却水B冷却塔
前処理建屋	冷却設備	安全冷却水系		前処理建屋	冷却設備
	安全冷却水A循環ポンプA				安全冷却水B循環ポンプA
	安全冷却水A循環ポンプB				安全冷却水B循環ポンプB
	安全冷却水1AポンプA				安全冷却水1BポンプA
	安全冷却水1AポンプB				安全冷却水1BポンプB
分離建屋	冷却設備	安全冷却水系		分離建屋	冷却設備
	冷却水循環ポンプA				冷却水循環ポンプC
	冷却水循環ポンプB				冷却水循環ポンプD
	安全冷却水1AポンプA				安全冷却水1BポンプA
	安全冷却水1AポンプB				安全冷却水1BポンプB
精製建屋	冷却設備	安全冷却水系		精製建屋	冷却設備
X	安全冷却水AポンプA				安全冷却水BポンプA
X	安全冷却水AポンプB				安全冷却水BポンプB
ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋	冷却設備	安全冷却水系		ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋	冷却設備
	安全冷却水A				安全冷却水B
	冷水移送ポンプA				冷水移送ポンプC
	冷水移送ポンプB				冷水移送ポンプD
高レベル廃液ガラス固化建屋	冷却設備	安全冷却水系		高レベル廃液ガラス固化建屋	冷却設備
	第1高レベル濃縮廃液貯槽冷却水AポンプA				第1高レベル濃縮廃液貯槽冷却水BポンプA
	第1高レベル濃縮廃液貯槽冷却水AポンプB				第1高レベル濃縮廃液貯槽冷却水BポンプB
	第2高レベル濃縮廃液貯槽冷却水AポンプA				第2高レベル濃縮廃液貯槽冷却水BポンプA
	第2高レベル濃縮廃液貯槽冷却水AポンプB				第2高レベル濃縮廃液貯槽冷却水BポンプB
	安全冷却水A系ポンプA				安全冷却水B系ポンプA
	安全冷却水A系ポンプB				安全冷却水B系ポンプB
	高レベル廃液共用貯槽冷却水AポンプA				高レベル廃液共用貯槽冷却水BポンプA
	高レベル廃液共用貯槽冷却水AポンプB				高レベル廃液共用貯槽冷却水BポンプB
	安全冷却水A系ポンプA				安全冷却水B系ポンプA
	安全冷却水A系ポンプB				安全冷却水B系ポンプB
	安全冷水A冷却器冷媒膨張弁A				安全冷水B冷却器冷媒膨張弁A
	安全冷水A冷却器冷媒膨張弁B				安全冷水B冷却器冷媒膨張弁B
	安全冷水A冷却器冷媒止弁A				安全冷水B冷却器冷媒止弁A
	安全冷水A冷却器冷媒止弁B				安全冷水B冷却器冷媒止弁B
	安全冷却水1AポンプA				安全冷却水1BポンプA
	安全冷却水1AポンプB				安全冷却水1BポンプB
	安全冷水AポンプA				安全冷水BポンプA
	安全冷水AポンプB				安全冷水BポンプB
	安全冷水A冷凍機				安全冷水B冷凍機
	スクリーンプン				スクリーンプン
	スクリーンプン				スクリーンプン
ウラン・プルトニウム混合酸化物貯蔵建屋	換気設備	貯蔵室排気系		ウラン・プルトニウム混合酸化物貯蔵建屋	換気設備
	貯蔵室排風機A				貯蔵室排風機C
	貯蔵室排風機B				貯蔵室排風機D
X				-	
	1パス		○		
	回路評価等		-		
	成功パス		○		

3. 安全圧縮空気系(水素捕集機能)		[A]レン設備		[B]レン設備	
安全圧縮空気系				安全圧縮空気系	
	安全空気圧縮装置A				安全空気圧縮装置B
	安全空気圧縮装置C				安全空気圧縮装置C
-				-	
	1パス		-		
	回路評価等		-		
	成功パス		-		

再処理施設成功パス一覧表

4.非常用所内電源系統(支援機能)		[A] (レン設備)	[B] (レン設備)
非常用電源建屋冷却水設備		8111A-C20 冷却塔A	8111B-C20 冷却塔B
		8111A-P2010 冷却水循環ポンプA	8111B-P2010 冷却水循環ポンプB
非常用電源建屋の電気設備		GA-M/C-A 6.9kV非常用メタグラ	GA-M/C-B 6.9kV非常用メタグラB
		GA-MCC-A 460V非常用コントロールセンタ	GA-MCC-B 460V非常用コントロールセンタB
		8111A-X10 ディーゼル機関A	8111B-X10 ディーゼル機関B
		8111A-X11 同期発電機A	8111B-X11 同期発電機B
		8111A-P4011 燃料油移送ポンプA	8111B-P4011 燃料油移送ポンプB
		GA-BAT-A 110V第2非常用蓄電池A	GA-BAT-B 110V第2非常用蓄電池B
		GA-CHG-A 110V非常用充電器A	GA-CHG-B 110V非常用充電器B
		GA-DCD-A 110V非常用直流主分電盤A	GA-DCD-B 110V非常用直流主分電盤B
		GA-CHG-E 110V非常用予備充電器E	GA-CHG-E 110V非常用予備充電器E
		GA-E-K011A 非常用電気設備リレー盤A1	GA-E-K013B 非常用電気設備リレー盤B1
		GA-E-K012A 非常用電気設備リレー盤A2	GA-E-K014B 非常用電気設備リレー盤B2
		8111A-V40 燃料油貯蔵タンク1A	8111B-V40 燃料油貯蔵タンク1B
		8111A-V41 燃料油貯蔵タンク2A	8111B-V41 燃料油貯蔵タンク2B
		GA-E-M011A 第2非常用ディーゼル発電機A制御盤	GA-E-M012B 第2非常用ディーゼル発電機B制御盤
		GA-PTR-A 非常用動力用変圧器A	GA-PTR-B 非常用動力用変圧器B
		8111A-V42 燃料油サービスタングA	8111B-V42 燃料油サービスタングB
		8111A-F4210 燃料油第1フィルタA	8111B-F4210 燃料油第1フィルタB
		8111A-F4230 燃料油第2フィルタA	8111B-F4230 燃料油第2フィルタB
		GA-E-S011A 第2非常用ディーゼル発電機ターニング現場盤A	GA-E-S012B 第2非常用ディーゼル発電機ターニング現場盤B
		GA-E-U011A 第2非常用ディーゼル発電機CT盤A	GA-E-U012B 第2非常用ディーゼル発電機CT盤B
		GA-I-K011A ユーティリティ工程 安全系A制御盤(リレー盤)	GA-I-K012B ユーティリティ工程 安全系B制御盤(リレー盤)
制御建屋の電気設備		AG-M/C-A 6.9kV非常用メタグラ	AG-M/C-B 6.9kV非常用メタグラB
		AG-P/C-A 460V非常用パワーセンタ	AG-P/C-B 460V非常用パワーセンタB
		AG-MCC-A1 460V非常用コントロールセンタA1	AG-MCC-B1 460V非常用コントロールセンタB1
		AG-MCC-A2 460V非常用コントロールセンタA2	AG-MCC-B2 460V非常用コントロールセンタB2
		AG-I-F201A 前処理建屋 安全系A監視制御盤	AG-I-F202B 前処理建屋 安全系B監視制御盤
		AG-I-F203A 分離建屋 安全系A監視制御盤	AG-I-F204B 分離建屋 安全系B監視制御盤
		AG-I-F205A 精製建屋 安全系A監視制御盤	AG-I-F206B 精製建屋 安全系B監視制御盤
		AG-I-F211A フラン・フルトウム混合脱硝建屋 安全系A監視制御盤	AG-I-F212B フラン・フルトウム混合脱硝建屋 安全系B監視制御盤
		AG-I-F213A 高レベル廃液ガラス固化建屋 安全系A監視制御盤	AG-I-F214B 高レベル廃液ガラス固化建屋 安全系B監視制御盤
		AG-BAT-A1 110V第2非常用蓄電池A1	AG-BAT-B1 110V第2非常用蓄電池B1
		AG-BAT-A2 220V第2非常用蓄電池A2	AG-BAT-B2 220V第2非常用蓄電池B2
		AG-CHG-A 110V非常用充電器A	AG-CHG-B 110V非常用充電器B
		AG-CHG-E 110V非常用予備充電器E	AG-CHG-E 110V非常用予備充電器E
		AG-DCD-A 110V非常用直流主分電盤A	AG-DCD-B 110V非常用直流主分電盤B
		AG-UPS-A 105V非常用無停電電源装置A	AG-UPS-B 105V非常用無停電電源装置B
		AG-UPD-A 105V非常用無停電交流主分電盤A	AG-UPD-B 105V非常用無停電交流主分電盤B
前処理建屋の電気設備		AA-M/C-A 6.9kV非常用メタグラ	AA-M/C-B 6.9kV非常用メタグラB
		AA-P/C-A 460V非常用パワーセンタ	AA-P/C-B 460V非常用パワーセンタB
		AA-MCC-A1 460V非常用コントロールセンタA1	AA-MCC-B1 460V非常用コントロールセンタB1
		AA-MCC-A2 460V非常用コントロールセンタA2	AA-MCC-B2 460V非常用コントロールセンタB2
		AA-MCC-A3 460V非常用コントロールセンタA3	
		AA-BAT-A 110V第2非常用蓄電池A	AA-BAT-B 110V第2非常用蓄電池B
		AA-CHG-A 110V非常用充電器A	AA-CHG-B 110V非常用充電器B
		AA-CHG-E 110V非常用予備充電器E	AA-CHG-E 110V非常用予備充電器E
		AA-DCD-A 110V非常用直流主分電盤A	AA-DCD-B 110V非常用直流主分電盤B
		AA-UPS-A 105V非常用無停電電源装置A	AA-UPS-B 105V非常用無停電電源装置B
		AA-UPD-A 105V非常用無停電交流主分電盤A	AA-UPD-B 105V非常用無停電交流主分電盤B
		AA-I-M171A 圧縮空気設備 安全空気脱濁装置A現場監視制御盤	AA-I-M172B 圧縮空気設備 安全空気脱濁装置B現場監視制御盤
		AA-I-M166A 圧縮空気設備 安全空気圧縮装置A現場監視制御盤	AA-I-M167B 圧縮空気設備 安全空気圧縮装置B現場監視制御盤
		AA-I-M176A 圧縮空気設備 安全空気圧縮装置C現場制御回路分離盤A	AA-I-M177B 圧縮空気設備 安全空気圧縮装置C現場制御回路分離盤B
		AA-I-M169C 圧縮空気設備 安全空気圧縮装置C現場制御電源切替盤	AA-I-M169C 圧縮空気設備 安全空気圧縮装置C現場制御電源切替盤
		AA-I-M168C 圧縮空気設備 安全空気圧縮装置C現場監視制御盤	AA-I-M168C 圧縮空気設備 安全空気圧縮装置C現場監視制御盤
		AA-I-K701A よう素除去工程排風機A制御盤	AA-I-K702B よう素除去工程排風機B制御盤
		AA-I-K703C よう素除去工程排風機C制御盤	AA-I-K703C よう素除去工程排風機C制御盤
		AA-I-X710C よう素除去工程 C系統電源切替盤	AA-I-X710C よう素除去工程 C系統電源切替盤
		AA-I-1012A ユーティリティ工程 安全系A制御盤1(リレー盤2)	AA-I-1062B ユーティリティ工程 安全系B制御盤1(リレー盤2)
		AA-I-1013A ユーティリティ工程 安全系A制御盤2(リレー盤3)	AA-I-1063B ユーティリティ工程 安全系B制御盤2(リレー盤3)
		AA-I-1031A よう素除去工程 安全系A制御盤1	AA-I-1081B よう素除去工程 安全系B制御盤1
		AA-I-1032A よう素除去工程 安全系A制御盤2	AA-I-1082B よう素除去工程 安全系B制御盤2
		AA-I-1033A よう素除去工程 安全系A制御盤3	AA-I-1083B よう素除去工程 安全系B制御盤3
		AA-LPD-A2 溶解槽セルA排風機A極数変換盤	AA-LPD-B2 溶解槽セルA排風機B極数変換盤
		AA-LPD-A3 溶解槽セルB排風機A極数変換盤	AA-LPD-B3 溶解槽セルB排風機B極数変換盤
		AA-LPD-A21 セル排風機A極数変換盤	AA-LPD-B21 セル排風機B極数変換盤
分離建屋の非常用所内電源系統		AB-P/C-A 460V非常用パワーセンタ	AB-P/C-B 460V非常用パワーセンタB
		AB-MCC-A 460V非常用コントロールセンタ	AB-MCC-B 460V非常用コントロールセンタB
		AB-CHG-A 110V非常用充電器A	AB-CHG-B 110V非常用充電器B
		AB-CHG-E 110V非常用予備充電器E	AB-CHG-E 110V非常用予備充電器E
		AB-BAT-A 110V第2非常用蓄電池A	AB-BAT-B 110V第2非常用蓄電池B
		AB-DCD-A 110V非常用直流主分電盤A	AB-DCD-B 110V非常用直流主分電盤B
		AB-UPS-A 105V非常用無停電電源装置A	AB-UPS-B 105V非常用無停電電源装置B
		AB-UPD-A1 105V非常用無停電交流主分電盤A1	AB-UPD-B1 105V非常用無停電交流主分電盤A1
		AB-UPD-A2 105V非常用無停電交流主分電盤A2	AB-UPD-B2 105V非常用無停電交流主分電盤A2
		AB-I-1180A ユーティリティ工程 安全系A制御盤1	AB-I-1183B ユーティリティ工程 安全系B制御盤1
		AB-I-1181A ユーティリティ工程 安全系A制御盤2	AB-I-1184B ユーティリティ工程 安全系B制御盤2
		AB-I-1182A ユーティリティ工程 安全系A制御盤3	AB-I-1185B ユーティリティ工程 安全系B制御盤3
		AB-I-1033A 分離・分配工程 安全系A制御盤1	AB-I-1036B 分離・分配工程 安全系B制御盤1
		AB-I-1034A 分離・分配工程 安全系A制御盤2	AB-I-1037B 分離・分配工程 安全系B制御盤2
		AB-I-1035A 分離・分配工程 安全系A制御盤3	AB-I-1038B 分離・分配工程 安全系B制御盤3
		AB-V-1100A 建屋換気設備 安全系A制御盤	AB-V-1101B 建屋換気設備 安全系B制御盤
-			
1パス		-	
回路評価等		-	
成功パス		-	

再処理施設成功パス一覧表

4.支援機能(続き)		[A]レン設備	[B]レン設備
精製建屋の電気設備		AC-BAT-A 110V第2非常用蓄電池A AC-CHG-A 110V非常用充電器盤A AC-CHG-E 110V非常用予備充電器盤E AC-D-DCD-A 110V非常用直流主分電盤A AC-MCC-A1 460V非常用コントロールセンタA1 AC-MCC-A2 460V非常用コントロールセンタA2 AC-P/C-A 460V非常用パワーセンタA AC-UPS-A 105V非常用無停電交流主分電盤A AC-UPS-B 105V非常用無停電電源装置A AC-I-1450A ユーティリティ工程 安全系A制御盤(計器盤) AC-I-1451A ユーティリティ工程 安全系A制御盤(リレー盤) AC-E-1452A 非常用電気設備リレー盤A AC-V-1453A 建屋換気設備安全系A制御盤 AC-I-1752A プルトニウム精製工程 安全系A 制御盤3 ワラン・プルトニウム混合脱硝建屋の非常用所内電源系統 CA-P/C-A 460V非常用パワーセンタA CA-MCC-A1 460V非常用コントロールセンタA1 CA-MCC-A2 460V非常用コントロールセンタA2 CA-M/C-A 6.9kV非常用メタグラB CA-E-K503A 非常用電気設備リレー盤A CA-I-1501A 安全系A制御盤 CA-V-1502A 建屋換気設備安全系A制御盤 CA-CHG-A 110V非常用充電器盤A CA-CHG-E 110V非常用予備充電器盤E CA-D-DCD-A 110V非常用直流主分電盤A CA-UPD-A 105V非常用無停電交流主分電盤A CA-UPS-A 105V非常用無停電電源装置A CA-BAT-A 110V第2非常用蓄電池A ワラン・プルトニウム混合脱硝建屋の非常用所内電源系統 CB-P/C-A 460V非常用パワーセンタA CB-E-1101A 非常用電気設備リレー盤A CA-V-1001A 建屋換気設備安全系A制御盤 CB-BAT-A 110V第2非常用蓄電池A CB-CHG-A 110V非常用充電器盤A CB-D-DCD-A 110V非常用直流主分電盤A CB-MCC-A 460V非常用コントロールセンタA CB-UPS-A 105V非常用無停電電源装置A CB-CHG-E 110V非常用予備充電器盤E	精製建屋の電気設備 AC-BAT-B 110V第2非常用蓄電池B AC-CHG-B 110V非常用充電器盤B AC-CHG-E 110V非常用予備充電器盤E AC-D-DCD-B 110V非常用直流主分電盤B AC-MCC-B1 460V非常用コントロールセンタB1 AC-MCC-B2 460V非常用コントロールセンタB2 AC-P/C-B 460V非常用パワーセンタB AC-UPS-B 105V非常用無停電交流主分電盤B AC-UPS-B 105V非常用無停電電源装置B AC-I-1460B ユーティリティ工程 安全系B制御盤(計器盤) AC-I-1461B ユーティリティ工程 安全系B制御盤(リレー盤) AC-E-1462B 非常用電気設備リレー盤B AC-V-1463B 建屋換気設備安全系B制御盤 AC-I-1755B プルトニウム精製工程 安全系B 制御盤3 ワラン・プルトニウム混合脱硝建屋の非常用所内電源系統 CA-P/C-B 460V非常用パワーセンタB CA-MCC-B1 460V非常用コントロールセンタB1 CA-MCC-B2 460V非常用コントロールセンタB2 CA-M/C-B 6.9kV非常用メタグラB CA-E-K603B 非常用電気設備リレー盤B CA-I-1601B 安全系B制御盤 CA-V-1602B 建屋換気設備安全系B制御盤 CA-CHG-B 110V非常用充電器盤B CA-CHG-E 110V非常用予備充電器盤E CA-D-DCD-B 110V非常用直流主分電盤B CA-UPD-B 105V非常用無停電交流主分電盤B CA-UPS-B 105V非常用無停電電源装置B CA-BAT-B 110V第2非常用蓄電池B ワラン・プルトニウム混合脱硝建屋の非常用所内電源系統 CB-P/C-B 460V非常用パワーセンタB CB-E-1102B 非常用電気設備リレー盤B CA-V-1002B 建屋換気設備安全系B制御盤 CB-BAT-B 110V第2非常用蓄電池B CB-CHG-B 110V非常用充電器盤B CB-D-DCD-B 110V非常用直流主分電盤B CB-MCC-B 460V非常用コントロールセンタB CB-UPS-B 105V非常用無停電電源装置B CB-CHG-E 110V非常用予備充電器盤E
高レベル廃液ガラス固化建屋の電気設備		KA-P/C-A 460V非常用パワーセンタA KA-BAT-A 110V第2非常用蓄電池A KA-CHG-A 110V非常用充電器盤A KA-CHG-E 110V非常用予備充電器盤E KA-D-DCD-A 110V非常用直流主分電盤A KA-UPS-A 105V非常用無停電電源装置A KA-UPD-A 105V非常用無停電交流主分電盤A KA-ACS-A 105V非常用計測交流電源盤A KA-ACD-A 105V非常用計測交流主分電盤A KA-MCC-A1 460V非常用コントロールセンタA1 KA-MCC-A2 460V非常用コントロールセンタA2 KA-I-K224A 高レベル廃液ガラス固化廃ガス処理設備第1排風機A安全系Aインバータ制御盤 KA-I-K226A 高レベル廃液ガラス固化廃ガス処理設備第2排風機A安全系Aインバータ制御盤 KA-I-K073A 固化セル換気系排風機A安全系Aインバータ制御盤 KA-E-K001A 非常用電気設備リレー盤A KA-I-1501A 高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系A制御盤1 KA-I-1502A 高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系A制御盤2 KA-I-1503A 高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系A制御盤3 KA-I-1504A 高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系A制御盤4 KA-I-1505A 高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系A制御盤5 KA-I-1506A 高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系A制御盤6 KA-I-1507A 高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系A制御盤7 KA-I-1508A 高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系A制御盤8 KA-I-1511A 安全系A アレスタ盤 KA-I-1512A 高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系A制御盤(リレー盤1) KA-I-1513A 高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系A制御盤(リレー盤2) KA-I-1514A 高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系A制御盤(リレー盤3) KA-I-M331A 冷凍機 安全系A監視制御盤 KA-I-K334A 冷却水・冷水設備 安全系A 制御盤1 KA-I-K335A 冷却水・冷水設備 安全系A 制御盤2	高レベル廃液ガラス固化建屋の電気設備 KA-P/C-B 460V非常用パワーセンタB KA-BAT-B 110V第2非常用蓄電池B KA-CHG-B 110V非常用充電器盤B KA-CHG-E 110V非常用予備充電器盤E KA-D-DCD-B 110V非常用直流主分電盤B KA-UPS-B 105V非常用無停電電源装置B KA-UPD-B 105V非常用無停電交流主分電盤B KA-ACS-B 105V非常用計測交流電源盤B KA-ACD-B 105V非常用計測交流主分電盤B KA-MCC-B1 460V非常用コントロールセンタB1 KA-MCC-B2 460V非常用コントロールセンタB2 KA-I-K225B 高レベル廃液ガラス固化廃ガス処理設備第1排風機B安全系Bインバータ制御盤 KA-I-K227B 高レベル廃液ガラス固化廃ガス処理設備第2排風機B安全系Bインバータ制御盤 KA-I-K074B 固化セル換気系排風機B安全系Bインバータ制御盤 KA-E-K002B 非常用電気設備リレー盤B KA-I-1521B 高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系B制御盤1 KA-I-1522B 高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系B制御盤2 KA-I-1523B 高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系B制御盤3 KA-I-1524B 高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系B制御盤4 KA-I-1525B 高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系B制御盤5 KA-I-1526B 高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系B制御盤6 KA-I-1527B 高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系B制御盤7 KA-I-1528B 高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系B制御盤8 KA-I-1531B 安全系B アレスタ盤 KA-I-1532B 高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系B制御盤(リレー盤1) KA-I-1533B 高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系B制御盤(リレー盤2) KA-I-1534B 高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系B制御盤(リレー盤3) KA-I-M322B 冷凍機 安全系B監視制御盤 KA-I-K338B 冷却水・冷水設備 安全系B 制御盤1 KA-I-K339B 冷却水・冷水設備 安全系B 制御盤2
1パス ○ 回路評価等 - 成功パス ○			

火災区域(区画)特性表

1. 火災区域(区画)の説明

建屋名	精製建屋
火災区域/区画区分	火災区画
火災区域/区画番号	■
火災区域/区画名称	地上4階東西第3廊下
床面積(m ²)	■

2. 火災区域(区画)の火災シナリオの説明

■は、精製建屋内の火災区画である。
 本区画の火災源は、ケーブルトレイである。
 したがって、本区画の想定火災としては、ケーブルトレイ火災により、安全上重要な施設のB系の設備(6.火災影響を受ける火災防護対象機器等 参照)が火災影響を受け、安全機能が喪失するおそれがあるが、多重化された安全上重要な施設の片系のみ機能喪失であるため、安全機能が完全に喪失することはない。

3. 火災区域(区画)にある火災源

(1) 等価時間

発熱量(kJ)	火災荷重(kJ/m ²)	等価時間(h) [※]
■	■	0.5

※ 等価時間は、内部火災影響評価ガイドの等価時間記載の値で示す。

(2) 火災区域(区画)にある火災源機器数

火災源	機器数
電動機(3.7kW超)	-
電気盤(440V以上)	-
ケーブルトレイ(ケーブル)	有
油脂類・有機溶媒等	-
その他	-

4. 火災区域(区画)にある防火設備

火災感知の手段	主要な消火設備	消火方法	消火設備のバックアップ
煙感知器 熱感知器	屋内消火栓	手動	粉末消火器

5. 火災区域(区画)に隣接する火災区域(区画)と火災伝播経路

隣接火災区画への火災伝播経路の詳細は、別紙1参照

6. 火災影響を受ける火災防護対象機器等

機器名称[機器番号]	最重要設備 [※]	最重要設備以外の安全上重要な施設 [※]
安重ケーブルトレイ[B系]	○	○

※ ○:対象 -:非対象

* 火災想定において、工程停止等により安全機能を必要としない状態へと移行が可能なもの。

7. 火災防護対象機器等の関連ケーブル

機器名称[機器番号]	ケーブル種別	安重分類
グローブボックス・セル排風機B []	制御、動力(低圧)	Pu・高レベルの廃棄物の閉じ込め機能
460V非常用パワーセンタB[AC-P/C-B]	動力(低圧)	非常用所内電源系統
安全冷却水BポンプA []	制御、動力(低圧)	崩壊熱除去機能(重要度の高いもの)
安全冷却水BポンプB []	制御、動力(低圧)	崩壊熱除去機能(重要度の高いもの)
排風機B []	制御、動力(低圧)	Pu・高レベルの廃棄物の閉じ込め機能
排風機B []	制御、動力(低圧)	Pu・高レベルの廃棄物の閉じ込め機能
460V非常用コントロールセンタB1[AC-MCC-B1]	制御	非常用所内電源系統
460V非常用コントロールセンタB2[AC-MCC-B2]	制御	非常用所内電源系統

8. 最重要設備の安重機能への火災影響

安重分類	全焼時の成功パスの有無	回路評価等の考慮	結果	系統分離※
Pu・高レベル廃棄物の閉じ込め機能	有	-	○	-
崩壊熱除去機能(重要度の高いもの)	有	-	○	-
安全圧縮空気系(水素掃気機能)	-	-	-	-
非常用所内電源系統	有	-	○	-

※ a: 3時間以上の耐火能力を有する耐火壁で分離

b: 水平距離6mによる分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置

c: 1時間の耐火能力を有する隔壁等による分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置
再処理施設成功パスの詳細は、別紙2参照

9. 最重要設備以外の火災防護対象機器等への火災影響

機器名称[機器番号]	当該区画の火災評価※	隣接区画の火災評価※
-	-	-

※ ○:火災影響なし ×:火災影響あり

隣接する火災区画と火災伝播経路

(※ 有:伝播する 無:伝播しない)

隣接する火災区画	火災伝播経路有無	等価時間(h)	耐火時間(h)	火災伝播の可能性※	備考
	無	0.5	3.0	無	
	無	0.5	3.0	無	
	無	0.5	3.0	無	
	無	0.5	3.0	無	
	無	0.5	3.0	無	
	無	0.5	3.0	無	
	無	0.5	3.0	無	
	無	0.5	3.0	無	
	無	0.5	3.0	無	
	無	0.5	3.0	無	
	無	0.5	3.0	無	
	無	0.5	3.0	無	

再処理施設成功パス一覧表

建屋	精製建屋	
区域(区画)番号/名称	地上4階東西第3廊下	
1.放射性物質の閉じ込め機能(動的な閉じ込め機能)		
	【A(レン設備)】	【B(レン設備)】
前処理建屋 せん断処理・溶解廃ガス処理設備	排風機A	前処理建屋 せん断処理・溶解廃ガス処理設備
	排風機C	排風機B
前処理建屋 塔槽類廃ガス処理設備	排風機A	前処理建屋 塔槽類廃ガス処理設備
	排風機A	排風機B
前処理建屋換気設備 溶解セル等からの排気系	セル排風機A	前処理建屋換気設備 溶解セル等からの排気系
	溶解槽セルA排風機A	セル排風機B
	溶解槽セルB排風機A	溶解槽セルA排風機B
		溶解槽セルB排風機B
高レベル廃液ガラス固化建屋 高レベル廃液ガラス固化廃ガス処理設備	第1排風機A	高レベル廃液ガラス固化建屋 高レベル廃液ガラス固化廃ガス処理設備
	第2排風機A	第1排風機B
	排風機A	第2排風機B
高レベル廃液ガラス固化建屋 塔槽類廃ガス処理設備 高レベル濃縮廃液廃ガス処理系	排風機A	高レベル廃液ガラス固化建屋 塔槽類廃ガス処理設備 高レベル濃縮廃液廃ガス処理系
	排風機A	排風機B
高レベル廃液ガラス固化建屋 塔槽類廃ガス処理設備 不溶解残渣廃液廃ガス処理系	排風機A	高レベル廃液ガラス固化建屋 塔槽類廃ガス処理設備 不溶解残渣廃液廃ガス処理系
	排風機A	排風機B
高レベル濃縮廃液貯槽セル等からの排気系固化セル換気系及び固化セル圧力放出系	セル排風機A	高レベル濃縮廃液貯槽セル等からの排気系固化セル換気系及び固化セル圧力放出系
	固化セル換気系排風機A	セル排風機B
分離建屋 塔槽類廃ガス処理設備 バルセータ廃ガス処理系	排風機A	分離建屋 塔槽類廃ガス処理設備 バルセータ廃ガス処理系
	排風機A	排風機B
分離建屋 塔槽類廃ガス処理設備 塔槽類廃ガス処理系	排風機A	分離建屋 塔槽類廃ガス処理設備 塔槽類廃ガス処理系
	排風機A	排風機B
分離建屋換気設備 プルトニウム溶液中貯槽セル等からの排気系	グループボックス・セル排風機A	分離建屋換気設備 プルトニウム溶液中貯槽セル等からの排気系
	グループボックス・セル排風機A	グループボックス・セル排風機B
精製建屋 塔槽類廃ガス処理設備 バルセータ廃ガス処理系	排風機A	精製建屋 塔槽類廃ガス処理設備 バルセータ廃ガス処理系
	排風機A	排風機B
精製建屋 塔槽類廃ガス処理設備 塔槽類廃ガス処理系(プルトニウム系)	排風機A	精製建屋 塔槽類廃ガス処理設備 塔槽類廃ガス処理系(プルトニウム系)
	排風機A	排風機B
精製建屋換気設備 プルトニウム濃縮缶セル等及びグループボックス等からの排気系	グループボックス・セル排風機A	精製建屋換気設備 プルトニウム濃縮缶セル等及びグループボックス等からの排気系
	グループボックス・セル排風機A	グループボックス・セル排風機B
ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋 塔槽類廃ガス処理設備	第1排風機A	ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋 塔槽類廃ガス処理設備
	第2排風機A	第1排風機B
	第2排風機C	第2排風機B
ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋 硝酸プルトニウム貯槽セル等及びグループボックス等からの排気系	グループボックス・セル排風機A	ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋 硝酸プルトニウム貯槽セル等及びグループボックス等からの排気系
	グループボックス・セル排風機C	グループボックス・セル排風機B
-		X
1パス	○	
回路評価等	-	
成功パス	○	

凡例	
x	○○○○-○○○○A
	○○○○-○○○○A
x : 当該室の火災により安全機能を喪失する機器がある場合	
空欄 : 当該室に設置していない機器	
1パス	- : 当該室に対象なし ○ : 当該室の火災により対応する安全機能が1系統残る場合 x : 当該室の火災により対応する安全機能がすべて喪失する場合
回路評価等	- : 当該室に回路評価等を行う対象なし ○ : 回路評価等により、対応する安全機能が確保される場合
成功パス	- : 当該室に対象なし ○ : 当該室の火災により対応する安全機能が1系統残る場合 x : 当該室の火災により対応する安全機能がすべて喪失する場合

再処理施設成功パス一覧表

2. 崩壊除去機能		[A]レン設備	[B]レン設備
冷却設備 安全冷却水系	安全冷却水A冷却塔		安全冷却水B冷却塔
前処理建屋 冷却設備 安全冷却水系	安全冷却水A循環ポンプA		安全冷却水B循環ポンプA
	安全冷却水A循環ポンプB		安全冷却水B循環ポンプB
	安全冷却水1AポンプA		安全冷却水1BポンプA
	安全冷却水1AポンプB		安全冷却水1BポンプB
分離建屋 冷却設備 安全冷却水系	冷却水循環ポンプA		冷却水循環ポンプC
	冷却水循環ポンプB		冷却水循環ポンプD
	安全冷却水1AポンプA		安全冷却水1BポンプA
	安全冷却水1AポンプB		安全冷却水1BポンプB
精製建屋 冷却設備 安全冷却水系	安全冷却水AポンプA	×	安全冷却水BポンプA
	安全冷却水AポンプB	×	安全冷却水BポンプB
ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋 冷却設備 安全冷却水系	冷水移送ポンプA		冷水移送ポンプC
	冷水移送ポンプB		冷水移送ポンプD
高レベル廃液ガラス固化建屋 冷却設備 安全冷却水系	第1高レベル濃縮廃液貯槽冷却水AポンプA		第1高レベル濃縮廃液貯槽冷却水BポンプA
	第1高レベル濃縮廃液貯槽冷却水AポンプB		第1高レベル濃縮廃液貯槽冷却水BポンプB
	第2高レベル濃縮廃液貯槽冷却水AポンプA		第2高レベル濃縮廃液貯槽冷却水BポンプA
	第2高レベル濃縮廃液貯槽冷却水AポンプB		第2高レベル濃縮廃液貯槽冷却水BポンプB
	安全冷却水A系ポンプA		安全冷却水B系ポンプA
	安全冷却水A系ポンプB		安全冷却水B系ポンプB
	高レベル廃液共用貯槽冷却水AポンプA		高レベル廃液共用貯槽冷却水BポンプA
	高レベル廃液共用貯槽冷却水AポンプB		高レベル廃液共用貯槽冷却水BポンプB
	安全冷却水A系ポンプA		安全冷却水B系ポンプA
	安全冷却水A系ポンプB		安全冷却水B系ポンプB
	安全冷水A冷却器冷媒膨張弁A		安全冷水B冷却器冷媒膨張弁A
	安全冷水A冷却器冷媒膨張弁B		安全冷水B冷却器冷媒膨張弁B
	安全冷水A冷却器冷媒止弁A		安全冷水B冷却器冷媒止弁A
	安全冷水A冷却器冷媒止弁B		安全冷水B冷却器冷媒止弁B
	安全冷却水1AポンプA		安全冷却水1BポンプA
	安全冷却水1AポンプB		安全冷却水1BポンプB
	安全冷水AポンプA		安全冷水BポンプA
	安全冷水AポンプB		安全冷水BポンプB
	安全冷水A冷凍機		安全冷水B冷凍機
	スクリー-圧縮機		スクリー-圧縮機
	スクリー-圧縮機		スクリー-圧縮機
ウラン・プルトニウム混合脱硝物貯蔵建屋換気設備貯蔵室排気系	貯蔵室排風機A		貯蔵室排風機C
	貯蔵室排風機B		貯蔵室排風機D
-			×
1パス		○	
回路評価等		-	
成功パス		○	

3. 安全圧縮空気系(水素捕集機能)		[A]レン設備	[B]レン設備
安全圧縮空気系	安全空気圧縮装置A		安全空気圧縮装置B
	安全空気圧縮装置C		安全空気圧縮装置C
-			-
1パス		-	
回路評価等		-	
成功パス		-	

再処理施設成功パス一覧表

4.非常用所内電源系統(支援機能)		[A]レイン設備	[B]レイン設備
非常用電源建屋冷却水設備		8111A-C20 冷却塔A	8111B-C20 冷却塔B
		8111A-P2010 冷却水循環ポンプA	8111B-P2010 冷却水循環ポンプB
非常用電源建屋の電気設備		GA-M/C-A 6.9kV非常用メタグラ	GA-M/C-B 6.9kV非常用メタグラB
		GA-MCC-A 460V非常用コントロールセンタ	GA-MCC-B 460V非常用コントロールセンタB
		8111A-X10 ディーゼル機関A	8111B-X10 ディーゼル機関B
		8111A-X11 同期発電機A	8111B-X11 同期発電機B
		8111A-P4011 燃料油移送ポンプA	8111B-P4011 燃料油移送ポンプB
		GA-BAT-A 110V第2非常用蓄電池A	GA-BAT-B 110V第2非常用蓄電池B
		GA-CHG-A 110V非常用充電器A	GA-CHG-B 110V非常用充電器B
		GA-DCD-A 110V非常用直流主分電盤A	GA-DCD-B 110V非常用直流主分電盤B
		GA-CHG-E 110V非常用予備充電器E	GA-CHG-E 110V非常用予備充電器E
		GA-E-R011A 非常用電気設備リレー盤A1	GA-E-R013B 非常用電気設備リレー盤B1
		GA-E-R012A 非常用電気設備リレー盤A2	GA-E-R014B 非常用電気設備リレー盤B2
		8111A-V40 燃料油貯蔵タンク1A	8111B-V40 燃料油貯蔵タンク1B
		8111A-V41 燃料油貯蔵タンク2A	8111B-V41 燃料油貯蔵タンク2B
		GA-E-M011A 第2非常用ディーゼル発電機A制御盤	GA-E-M012B 第2非常用ディーゼル発電機B制御盤
		GA-PTR-A 非常用動力用変圧器A	GA-PTR-B 非常用動力用変圧器B
		8111A-V42 燃料油サービスタングA	8111B-V42 燃料油サービスタングB
		8111A-F4210 燃料油第1フィルタA	8111B-F4210 燃料油第1フィルタB
		8111A-F4230 燃料油第2フィルタA	8111B-F4230 燃料油第2フィルタB
		GA-E-S011A 第2非常用ディーゼル発電機ターニング現場盤A	GA-E-S012B 第2非常用ディーゼル発電機ターニング現場盤B
		GA-E-U011A 第2非常用ディーゼル発電機CT盤A	GA-E-U012B 第2非常用ディーゼル発電機CT盤B
		GA-I-R011A ユーティリティ工程 安全系A制御盤(リレー盤)	GA-I-R012B ユーティリティ工程 安全系B制御盤(リレー盤)
制御建屋の電気設備		AG-M/C-A 6.9kV非常用メタグラ	AG-M/C-B 6.9kV非常用メタグラB
		AG-P/C-A 460V非常用パワーセンタ	AG-P/C-B 460V非常用パワーセンタB
		AG-MCC-A1 460V非常用コントロールセンタA1	AG-MCC-B1 460V非常用コントロールセンタB1
		AG-MCC-A2 460V非常用コントロールセンタA2	AG-MCC-B2 460V非常用コントロールセンタB2
		AG-I-F201A 前処理建屋 安全系A監視制御盤	AG-I-F202B 前処理建屋 安全系B監視制御盤
		AG-I-F203A 分離建屋 安全系A監視制御盤	AG-I-F204B 分離建屋 安全系B監視制御盤
		AG-I-F205A 精製建屋 安全系A監視制御盤	AG-I-F206B 精製建屋 安全系B監視制御盤
		AG-I-F211A フラン・フルトウム混合脱硝建屋 安全系A監視制御盤	AG-I-F212B フラン・フルトウム混合脱硝建屋 安全系B監視制御盤
		AG-I-F213A 高レベル廃液ガラス固化建屋 安全系A監視制御盤	AG-I-F214B 高レベル廃液ガラス固化建屋 安全系B監視制御盤
		AG-BAT-A1 110V第2非常用蓄電池A1	AG-BAT-B1 110V第2非常用蓄電池B1
		AG-BAT-A2 220V第2非常用蓄電池A2	AG-BAT-B2 220V第2非常用蓄電池B2
		AG-CHG-A 110V非常用充電器A	AG-CHG-B 110V非常用充電器B
		AG-CHG-E 110V非常用予備充電器E	AG-CHG-E 110V非常用予備充電器E
		AG-DCD-A 110V非常用直流主分電盤A	AG-DCD-B 110V非常用直流主分電盤B
		AG-UPS-A 105V非常用無停電電源装置A	AG-UPS-B 105V非常用無停電電源装置B
		AG-UPD-A 105V非常用無停電交流主分電盤A	AG-UPD-B 105V非常用無停電交流主分電盤B
前処理建屋の電気設備		AA-M/C-A 6.9kV非常用メタグラ	AA-M/C-B 6.9kV非常用メタグラB
		AA-P/C-A 460V非常用パワーセンタ	AA-P/C-B 460V非常用パワーセンタB
		AA-MCC-A1 460V非常用コントロールセンタA1	AA-MCC-B1 460V非常用コントロールセンタB1
		AA-MCC-A2 460V非常用コントロールセンタA2	AA-MCC-B2 460V非常用コントロールセンタB2
		AA-MCC-A3 460V非常用コントロールセンタA3	
		AA-BAT-A 110V第2非常用蓄電池A	AA-BAT-B 110V第2非常用蓄電池B
		AA-CHG-A 110V非常用充電器A	AA-CHG-B 110V非常用充電器B
		AA-CHG-E 110V非常用予備充電器E	AA-CHG-E 110V非常用予備充電器E
		AA-DCD-A 110V非常用直流主分電盤A	AA-DCD-B 110V非常用直流主分電盤B
		AA-UPS-A 105V非常用無停電電源装置A	AA-UPS-B 105V非常用無停電電源装置B
		AA-UPD-A 105V非常用無停電交流主分電盤A	AA-UPD-B 105V非常用無停電交流主分電盤B
		AA-I-M171A 圧縮空気設備 安全空気脱濁装置A現場監視制御盤	AA-I-M172B 圧縮空気設備 安全空気脱濁装置B現場監視制御盤
		AA-I-M166A 圧縮空気設備 安全空気圧縮装置A現場監視制御盤	AA-I-M167B 圧縮空気設備 安全空気圧縮装置B現場監視制御盤
		AA-I-M176A 圧縮空気設備 安全空気圧縮装置C現場制御回路分離盤A	AA-I-M177B 圧縮空気設備 安全空気圧縮装置C現場制御回路分離盤B
		AA-I-M169C 圧縮空気設備 安全空気圧縮装置C現場制御電源切替盤	AA-I-M169C 圧縮空気設備 安全空気圧縮装置C現場制御電源切替盤
		AA-I-M168C 圧縮空気設備 安全空気圧縮装置C現場監視制御盤	AA-I-M168C 圧縮空気設備 安全空気圧縮装置C現場監視制御盤
		AA-I-K701A ほう素除去工程排風機A制御盤	AA-I-K702B ほう素除去工程排風機B制御盤
		AA-I-K703C ほう素除去工程排風機C制御盤	AA-I-K703C ほう素除去工程排風機C制御盤
		AA-I-X710C ほう素除去工程 C系統電源切替盤	AA-I-X710C ほう素除去工程 C系統電源切替盤
		AA-I-I012A ユーティリティ工程 安全系A制御盤1(リレー盤2)	AA-I-I062B ユーティリティ工程 安全系B制御盤1(リレー盤2)
		AA-I-I013A ユーティリティ工程 安全系A制御盤2(リレー盤3)	AA-I-I063B ユーティリティ工程 安全系B制御盤2(リレー盤3)
		AA-I-I031A ほう素除去工程 安全系A制御盤1	AA-I-I081B ほう素除去工程 安全系B制御盤1
		AA-I-I032A ほう素除去工程 安全系A制御盤2	AA-I-I082B ほう素除去工程 安全系B制御盤2
		AA-I-I033A ほう素除去工程 安全系A制御盤3	AA-I-I083B ほう素除去工程 安全系B制御盤3
		AA-LPD-A2 溶解槽セルA排風機A極数変換盤	AA-LPD-B2 溶解槽セルA排風機B極数変換盤
		AA-LPD-A3 溶解槽セルB排風機A極数変換盤	AA-LPD-B3 溶解槽セルB排風機B極数変換盤
		AA-LPD-A21 セル排風機A極数変換盤	AA-LPD-B21 セル排風機B極数変換盤
分離建屋の非常用所内電源系統		AB-P/C-A 460V非常用パワーセンタ	AB-P/C-B 460V非常用パワーセンタB
		AB-MCC-A 460V非常用コントロールセンタ	AB-MCC-B 460V非常用コントロールセンタB
		AB-CHG-A 110V非常用充電器A	AB-CHG-B 110V非常用充電器B
		AB-CHG-E 110V非常用予備充電器E	AB-CHG-E 110V非常用予備充電器E
		AB-BAT-A 110V第2非常用蓄電池A	AB-BAT-B 110V第2非常用蓄電池B
		AB-DCD-A 110V非常用直流主分電盤A	AB-DCD-B 110V非常用直流主分電盤B
		AB-UPS-A 105V非常用無停電電源装置A	AB-UPS-B 105V非常用無停電電源装置B
		AB-UPD-A1 105V非常用無停電交流主分電盤A1	AB-UPD-B1 105V非常用無停電交流主分電盤A1
		AB-UPD-A2 105V非常用無停電交流主分電盤A2	AB-UPD-B2 105V非常用無停電交流主分電盤A2
		AB-I-I180A ユーティリティ工程 安全系A制御盤1	AB-I-I183B ユーティリティ工程 安全系B制御盤1
		AB-I-I181A ユーティリティ工程 安全系A制御盤2	AB-I-I184B ユーティリティ工程 安全系B制御盤2
		AB-I-I182A ユーティリティ工程 安全系A制御盤3	AB-I-I185B ユーティリティ工程 安全系B制御盤3
		AB-I-I033A 分離・分配工程 安全系A制御盤1	AB-I-I036B 分離・分配工程 安全系B制御盤1
		AB-I-I034A 分離・分配工程 安全系A制御盤2	AB-I-I037B 分離・分配工程 安全系B制御盤2
		AB-I-I035A 分離・分配工程 安全系A制御盤3	AB-I-I038B 分離・分配工程 安全系B制御盤3
		AB-V-I100A 建屋換気設備 安全系A制御盤	AB-V-I101B 建屋換気設備 安全系B制御盤
-			
	1パス	-	
	回路評価等	-	
	成功パス	-	

再処理施設成功パス一覧表

4.支援機能(継ぎ)		[A]トレン設備	[B]トレン設備
精製建屋の電気設備		AC-BAT-A 110V第2非常用蓄電池A AC-CHG-A 110V非常用充電器盤A AC-CHG-E 110V非常用予備充電器盤E AC-D-DCD-A 110V非常用直流主分電盤A AC-MCC-A1 460V非常用コントロールセンタA1 AC-MCC-A2 460V非常用コントロールセンタA2 AC-P/C-A 460V非常用パワーセンタA AC-UPD-A 105V非常用無停電交流主分電盤A AC-UPS-A 105V非常用無停電電源装置A AC-I-1450A ユーティリティ工程 安全系A制御盤(計器盤) AC-I-1451A ユーティリティ工程 安全系A制御盤(リレー盤) AC-E-1452A 非常用電気設備リレー盤A AC-V-1453A 建屋換気設備安全系A制御盤 AC-I-1752A プルトニウム精製工程 安全系A 制御盤3	AC-BAT-B 110V第2非常用蓄電池B AC-CHG-B 110V非常用充電器盤B AC-CHG-E 110V非常用予備充電器盤E AC-D-DCD-B 110V非常用直流主分電盤B AC-MCC-B1 460V非常用コントロールセンタB1 AC-MCC-B2 460V非常用コントロールセンタB2 AC-P/C-B 460V非常用パワーセンタB AC-UPD-B 105V非常用無停電交流主分電盤B AC-UPS-B 105V非常用無停電電源装置B AC-I-1460B ユーティリティ工程 安全系B制御盤(計器盤) AC-I-1461B ユーティリティ工程 安全系B制御盤(リレー盤) AC-E-1462B 非常用電気設備リレー盤B AC-V-1463B 建屋換気設備安全系B制御盤 AC-I-1755B プルトニウム精製工程 安全系B 制御盤3
ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋の非常用所内電源系統		CA-P/C-A 460V非常用パワーセンタA CA-MCC-A1 460V非常用コントロールセンタA1 CA-MCC-A2 460V非常用コントロールセンタA2 CA-M/C-A 6.9kV非常用メタグラブ CA-E-K503A 非常用電気設備リレー盤A CA-I-1501A 安全系A制御盤 CA-V-1502A 建屋換気設備安全系A制御盤 CA-CHG-A 110V非常用充電器盤A CA-CHG-E 110V非常用予備充電器盤E CA-D-DCD-A 110V非常用直流主分電盤A CA-UPD-A 105V非常用無停電交流主分電盤A CA-UPS-A 105V非常用無停電電源装置A CA-BAT-A 110V第2非常用蓄電池A	ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋の非常用所内電源系統 CA-P/C-B 460V非常用パワーセンタB CA-MCC-B1 460V非常用コントロールセンタB1 CA-MCC-B2 460V非常用コントロールセンタB2 CA-M/C-B 6.9kV非常用メタグラブ CA-E-K603B 非常用電気設備リレー盤B CA-I-1601B 安全系B制御盤 CA-V-1602B 建屋換気設備安全系B制御盤 CA-CHG-B 110V非常用充電器盤B CA-CHG-E 110V非常用予備充電器盤E CA-D-DCD-B 110V非常用直流主分電盤B CA-UPD-B 105V非常用無停電交流主分電盤B CA-UPS-B 105V非常用無停電電源装置B CA-BAT-B 110V第2非常用蓄電池B
ウラン・プルトニウム混合脱硝貯蔵建屋の非常用所内電源系統		CB-P/C-A 460V非常用パワーセンタA CB-E-1101A 非常用電気設備リレー盤A CA-V-1001A 建屋換気設備安全系A制御盤 CB-BAT-A 110V第2非常用蓄電池A CB-CHG-A 110V非常用充電器盤A CB-D-DCD-A 110V非常用直流主分電盤A CB-MCC-A 460V非常用コントロールセンタA CB-UPS-A 105V非常用無停電電源装置A CB-CHG-E 110V非常用予備充電器盤E	ウラン・プルトニウム混合脱硝貯蔵建屋の非常用所内電源系統 CB-P/C-B 460V非常用パワーセンタB CB-E-1102B 非常用電気設備リレー盤B CA-V-1002B 建屋換気設備安全系B制御盤 CB-BAT-B 110V第2非常用蓄電池B CB-CHG-B 110V非常用充電器盤B CB-D-DCD-B 110V非常用直流主分電盤B CB-MCC-B 460V非常用コントロールセンタB CB-UPS-B 105V非常用無停電電源装置B CB-CHG-E 110V非常用予備充電器盤E
高レベル廃液ガラス固化建屋の電気設備		KA-P/C-A 460V非常用パワーセンタA KA-BAT-A 110V第2非常用蓄電池A KA-CHG-A 110V非常用充電器盤A KA-CHG-E 110V非常用予備充電器盤E KA-D-DCD-A 110V非常用直流主分電盤A KA-UPS-A 105V非常用無停電電源装置A KA-UPD-A 105V非常用無停電交流主分電盤A KA-ACS-A 105V非常用計測交流電源盤A KA-ACD-A 105V非常用計測交流主分電盤A KA-MCC-A1 460V非常用コントロールセンタA1 KA-MCC-A2 460V非常用コントロールセンタA2 KA-I-K224A 高レベル廃液ガラス固化廃ガス処理設備第1排風機A安全系Aインバータ制御盤 KA-I-K226A 高レベル廃液ガラス固化廃ガス処理設備第2排風機A安全系Aインバータ制御盤 KA-I-K073A 固化セル換気系排風機A安全系Aインバータ制御盤 KA-E-K001A 非常用電気設備リレー盤A KA-I-1501A 高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系A制御盤1 KA-I-1502A 高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系A制御盤2 KA-I-1503A 高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系A制御盤3 KA-I-1504A 高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系A制御盤4 KA-I-1505A 高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系A制御盤5 KA-I-1506A 高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系A制御盤6 KA-I-1507A 高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系A制御盤7 KA-I-1508A 高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系A制御盤8 KA-I-1511A 安全系A アレスタ盤 KA-I-1512A 高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系A制御盤(リレー盤1) KA-I-1513A 高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系A制御盤(リレー盤2) KA-I-1514A 高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系A制御盤(リレー盤3) KA-I-M331A 冷凍機 安全系A監視制御盤 KA-I-K334A 冷却水・冷水設備 安全系A 制御盤1 KA-I-K335A 冷却水・冷水設備 安全系A 制御盤2	高レベル廃液ガラス固化建屋の電気設備 KA-P/C-B 460V非常用パワーセンタB KA-BAT-B 110V第2非常用蓄電池B KA-CHG-B 110V非常用充電器盤B KA-CHG-E 110V非常用予備充電器盤E KA-D-DCD-B 110V非常用直流主分電盤B KA-UPS-B 105V非常用無停電電源装置B KA-UPD-B 105V非常用無停電交流主分電盤B KA-ACS-B 105V非常用計測交流電源盤B KA-ACD-B 105V非常用計測交流主分電盤B KA-MCC-B1 460V非常用コントロールセンタB1 KA-MCC-B2 460V非常用コントロールセンタB2 KA-I-K225B 高レベル廃液ガラス固化廃ガス処理設備第1排風機B安全系Bインバータ制御盤 KA-I-K227B 高レベル廃液ガラス固化廃ガス処理設備第2排風機B安全系Bインバータ制御盤 KA-I-K074B 固化セル換気系排風機B安全系Bインバータ制御盤 KA-E-K002B 非常用電気設備リレー盤B KA-I-1521B 高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系B制御盤1 KA-I-1522B 高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系B制御盤2 KA-I-1523B 高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系B制御盤3 KA-I-1524B 高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系B制御盤4 KA-I-1525B 高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系B制御盤5 KA-I-1526B 高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系B制御盤6 KA-I-1527B 高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系B制御盤7 KA-I-1528B 高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系B制御盤8 KA-I-1531B 安全系B アレスタ盤 KA-I-1532B 高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系B制御盤(リレー盤1) KA-I-1533B 高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系B制御盤(リレー盤2) KA-I-1534B 高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系B制御盤(リレー盤3) KA-I-M322B 冷凍機 安全系B監視制御盤 KA-I-K338B 冷却水・冷水設備 安全系B 制御盤1 KA-I-K339B 冷却水・冷水設備 安全系B 制御盤2
-			X
	1パス	○	
	回路評価等	-	
	成功パス	○	

火災区域(区画)特性表

1. 火災区域(区画)の説明

建屋名	精製建屋
火災区域/区画区分	火災区画
火災区域/区画番号	■
火災区域/区画名称	空調補機室
床面積(m ²)	■

2. 火災区域(区画)の火災シナリオの説明

■は、精製建屋内の火災区画である。
 本区画は、火災源となるものがないおよび安全上重要な施設が設置されていないため、安全機能の喪失のおそれはない。

3. 火災区域(区画)にある火災源

(1) 等価時間

発熱量(kJ)	火災荷重(kJ/m ²)	等価時間(h) [※]
■	■	0.0

※ 等価時間は、内部火災影響評価ガイドの等価時間記載の値で示す。

(2) 火災区域(区画)にある火災源機器数

火災源	機器数
電動機(3.7kW超)	-
電気盤(440V以上)	-
ケーブルトレイ(ケーブル)	-
油脂類・有機溶媒等	-
その他	-

4. 火災区域(区画)にある防火設備

火災感知の手段	主要な消火設備	消火方法	消火設備のバックアップ
煙感知器	粉末消火器	手動	屋内消火栓

5. 火災区域(区画)に隣接する火災区域(区画)と火災伝播経路

隣接火災区画への火災伝播経路の詳細は、別紙1参照

6. 火災影響を受ける火災防護対象機器等

機器名称[機器番号]	最重要設備 [※]	最重要設備以外の安全上重要な施設 [※]
-	-	-

※ ○:対象 -:非対象

* 火災想定において、工程停止等により安全機能を必要としない状態へと移行が可能なもの。

7. 火災防護対象機器等の関連ケーブル

機器名称[機器番号]	ケーブル種別	安重分類
-	-	-

8. 最重要設備の安重機能への火災影響

安重分類	全焼時の成功パスの有無	回路評価等の考慮	結果	系統分離※
Pu・高レベル廃棄物の閉じ込め機能	-	-	-	-
崩壊熱除去機能(重要度の高いもの)	-	-	-	-
安全圧縮空気系(水素掃気機能)	-	-	-	-
非常用所内電源系統	-	-	-	-

※ a : 3時間以上の耐火能力を有する耐火壁で分離

b : 水平距離6mによる分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置

c : 1時間の耐火能力を有する隔壁等による分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置
再処理施設成功パスの詳細は、別紙2参照

9. 最重要設備以外の火災防護対象機器等への火災影響

機器名称[機器番号]	当該区画の火災評価※	隣接区画の火災評価※
-	-	-

※ ○:火災影響なし ×:火災影響あり

隣接する火災区画と火災伝播経路

(※ 有:伝播する 無:伝播しない)

隣接する 火災区画	火災伝播 経路有無	等価時間 (h)	耐火時間 (h)	火災伝播の 可能性 ※	備考
	無	0.0	1.0	無	
	無	0.0	3.0	無	
	無	0.0	3.0	無	
	無	0.0	1.0	無	
	無	0.0	3.0	無	
	無	0.0	3.0	無	
	無	0.0	1.0	無	

火災区域(区画)特性表

1. 火災区域(区画)の説明

建屋名	精製建屋
火災区域/区画区分	火災区画
火災区域/区画番号	■
火災区域/区画名称	常用モータコントロールセンタ室
床面積(m ²)	■

2. 火災区域(区画)の火災シナリオの説明

■は、精製建屋内の火災区画である。
 本区画は、電気盤火災または、ケーブルトレイ火災の発生の可能性があるが、安全上重要な施設が設置されていないため、安全機能の喪失のおそれはない。

3. 火災区域(区画)にある火災源

(1) 等価時間

発熱量(kJ)	火災荷重 (kJ/m ²)	等価時間(h) [※]
■	■	3.0

※ 等価時間は、内部火災影響評価ガイドの等価時間記載の値で示す。

(2) 火災区域(区画)にある火災源機器数

火災源	機器数
電動機(3.7kW超)	-
電気盤(440V以上)	10
ケーブルトレイ(ケーブル)	有
油脂類・有機溶媒等	-
その他	-

4. 火災区域(区画)にある防火設備

火災感知の手段	主要な消火設備	消火方法	消火設備のバックアップ
煙感知器	二酸化炭素消火器	手動	粉末消火器

5. 火災区域(区画)に隣接する火災区域(区画)と火災伝播経路

隣接火災区画への火災伝播経路の詳細は、別紙1参照

6. 火災影響を受ける火災防護対象機器等

機器名称[機器番号]	最重要設備 [※]	最重要設備以外の安全上重要な施設 [※]
-	-	-

※ ○:対象 -:非対象

* 火災想定において、工程停止等により安全機能を必要としない状態へと移行が可能なもの。

7. 火災防護対象機器等の関連ケーブル

機器名称[機器番号]	ケーブル種別	安重分類
-	-	-

8. 最重要設備の安重機能への火災影響

安重分類	全焼時の成功パスの有無	回路評価等の考慮	結果	系統分離※
Pu・高レベル廃棄物の閉じ込め機能	-	-	-	-
崩壊熱除去機能(重要度の高いもの)	-	-	-	-
安全圧縮空気系(水素掃気機能)	-	-	-	-
非常用所内電源系統	-	-	-	-

※ a : 3時間以上の耐火能力を有する耐火壁で分離

b : 水平距離6mによる分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置

c : 1時間の耐火能力を有する隔壁等による分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置
再処理施設成功パスの詳細は、別紙2参照

9. 最重要設備以外の火災防護対象機器等への火災影響

機器名称[機器番号]	当該区画の火災評価※	隣接区画の火災評価※
-	-	-

※ ○:火災影響なし ×:火災影響あり

隣接する火災区画と火災伝播経路

(※ 有:伝播する 無:伝播しない)

隣接する 火災区画	火災伝播 経路有無	等価時間 (h)	耐火時間 (h)	火災伝播の 可能性 ※	備考
	無	3.0	3.0	無	
	無	3.0	1.0	有	
	無	3.0	3.0	無	

火災区域(区画)特性表

1. 火災区域(区画)の説明

建屋名	精製建屋
火災区域/区画区分	火災区画
火災区域/区画番号	■
火災区域/区画名称	制御盤第10室
床面積(m ²)	■

2. 火災区域(区画)の火災シナリオの説明

■は、精製建屋内の火災区画である。
 本区画は、ケーブルトレイ火災の発生可能性があるが、安全上重要な施設が設置されていないため、安全機能の喪失のおそれはない。

3. 火災区域(区画)にある火災源

(1) 等価時間

発熱量(kJ)	火災荷重(kJ/m ²)	等価時間(h) [※]
■	■	1.0

※ 等価時間は、内部火災影響評価ガイドの等価時間記載の値で示す。

(2) 火災区域(区画)にある火災源機器数

火災源	機器数
電動機(3.7kW超)	-
電気盤(440V以上)	-
ケーブルトレイ(ケーブル)	有
油脂類・有機溶媒等	-
その他	-

4. 火災区域(区画)にある防火設備

火災感知の手段	主要な消火設備	消火方法	消火設備のバックアップ
煙感知器	二酸化炭素消火器	手動	粉末消火器

5. 火災区域(区画)に隣接する火災区域(区画)と火災伝播経路

隣接火災区画への火災伝播経路の詳細は、別紙1参照

6. 火災影響を受ける火災防護対象機器等

機器名称[機器番号]	最重要設備 [※]	最重要設備以外の安全上重要な施設 [※]
-	-	-

※ ○:対象 -:非対象

* 火災想定において、工程停止等により安全機能を必要としない状態へと移行が可能なもの。

7. 火災防護対象機器等の関連ケーブル

機器名称[機器番号]	ケーブル種別	安重分類
-	-	-

8. 最重要設備の安重機能への火災影響

安重分類	全焼時の成功パスの有無	回路評価等の考慮	結果	系統分離※
Pu・高レベル廃棄物の閉じ込め機能	-	-	-	-
崩壊熱除去機能(重要度の高いもの)	-	-	-	-
安全圧縮空気系(水素掃気機能)	-	-	-	-
非常用所内電源系統	-	-	-	-

※ a : 3時間以上の耐火能力を有する耐火壁で分離

b : 水平距離6mによる分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置

c : 1時間の耐火能力を有する隔壁等による分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置
再処理施設成功パスの詳細は、別紙2参照

9. 最重要設備以外の火災防護対象機器等への火災影響

機器名称[機器番号]	当該区画の火災評価※	隣接区画の火災評価※
-	-	-

※ ○:火災影響なし ×:火災影響あり

隣接する火災区画と火災伝播経路

(※ 有:伝播する 無:伝播しない)

隣接する 火災区画	火災伝播 経路有無	等価時間 (h)	耐火時間 (h)	火災伝播の 可能性 ※	備考
	無	1.0	3.0	無	
	無	1.0	1.0	無	
	有	1.0	0.0	有	
	無	1.0	3.0	無	

火災区域(区画)特性表

1. 火災区域(区画)の説明

建屋名	精製建屋
火災区域/区画区分	火災区画
火災区域/区画番号	■
火災区域/区画名称	試薬設備第9室
床面積(m ²)	■

2. 火災区域(区画)の火災シナリオの説明

■は、精製建屋内の火災区画である。
 本区画は、火災源となるものがないおよび安全上重要な施設が設置されていないため、安全機能の喪失のおそれはない。

3. 火災区域(区画)にある火災源

(1) 等価時間

発熱量(kJ)	火災荷重 (kJ/m ²)	等価時間(h) [※]
■	■	0.0

※ 等価時間は、内部火災影響評価ガイドの等価時間記載の値で示す。

(2) 火災区域(区画)にある火災源機器数

火災源	機器数
電動機(3.7kW超)	-
電気盤(440V以上)	-
ケーブルトレイ(ケーブル)	-
油脂類・有機溶媒等	-
その他	-

4. 火災区域(区画)にある防火設備

火災感知の手段	主要な消火設備	消火方法	消火設備のバックアップ
煙感知器	屋内消火栓	手動	粉末消火器

5. 火災区域(区画)に隣接する火災区域(区画)と火災伝播経路

隣接火災区画への火災伝播経路の詳細は、別紙1参照

6. 火災影響を受ける火災防護対象機器等

機器名称[機器番号]	最重要設備 [※]	最重要設備以外の安全上重要な施設 [※]
-	-	-

※ ○:対象 -:非対象

* 火災想定において、工程停止等により安全機能を必要としない状態へと移行が可能なもの。

7. 火災防護対象機器等の関連ケーブル

機器名称[機器番号]	ケーブル種別	安重分類
-	-	-

8. 最重要設備の安重機能への火災影響

安重分類	全焼時の成功パスの有無	回路評価等の考慮	結果	系統分離※
Pu・高レベル廃棄物の閉じ込め機能	-	-	-	-
崩壊熱除去機能(重要度の高いもの)	-	-	-	-
安全圧縮空気系(水素掃気機能)	-	-	-	-
非常用所内電源系統	-	-	-	-

※ a : 3時間以上の耐火能力を有する耐火壁で分離

b : 水平距離6mによる分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置

c : 1時間の耐火能力を有する隔壁等による分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置
再処理施設成功パスの詳細は、別紙2参照

9. 最重要設備以外の火災防護対象機器等への火災影響

機器名称[機器番号]	当該区画の火災評価※	隣接区画の火災評価※
-	-	-

※ ○:火災影響なし ×:火災影響あり

隣接する火災区画と火災伝播経路

(※ 有:伝播する 無:伝播しない)

隣接する 火災区画	火災伝播 経路有無	等価時間 (h)	耐火時間 (h)	火災伝播の 可能性 ※	備考
	無	0.0	3.0	無	
	有	0.0	0.0	無	
	有	0.0	0.0	無	
	有	0.0	0.0	無	
	有	0.0	0.0	無	

火災区域(区画)特性表

1. 火災区域(区画)の説明

建屋名	精製建屋
火災区域/区画区分	火災区画
火災区域/区画番号	■
火災区域/区画名称	第13予備室
床面積(m ²)	■

2. 火災区域(区画)の火災シナリオの説明

■は、精製建屋内の火災区画である。
 本区画は、火災源となるものがないおよび安全上重要な施設が設置されていないため、安全機能の喪失のおそれはない。

3. 火災区域(区画)にある火災源

(1) 等価時間

発熱量(kJ)	火災荷重 (kJ/m ²)	等価時間(h) [※]
■	■	0.0

※ 等価時間は、内部火災影響評価ガイドの等価時間記載の値で示す。

(2) 火災区域(区画)にある火災源機器数

火災源	機器数
電動機(3.7kW超)	-
電気盤(440V以上)	-
ケーブルトレイ(ケーブル)	-
油脂類・有機溶媒等	-
その他	-

4. 火災区域(区画)にある防火設備

火災感知の手段	主要な消火設備	消火方法	消火設備のバックアップ
煙感知器	二酸化炭素消火器	手動	粉末消火器

5. 火災区域(区画)に隣接する火災区域(区画)と火災伝播経路

隣接火災区画への火災伝播経路の詳細は、別紙1参照

6. 火災影響を受ける火災防護対象機器等

機器名称[機器番号]	最重要設備 [※]	最重要設備以外の安全上重要な施設 [※]
-	-	-

※ ○:対象 -:非対象

* 火災想定において、工程停止等により安全機能を必要としない状態へと移行が可能なもの。

7. 火災防護対象機器等の関連ケーブル

機器名称[機器番号]	ケーブル種別	安重分類
-	-	-

8. 最重要設備の安重機能への火災影響

安重分類	全焼時の成功パスの有無	回路評価等の考慮	結果	系統分離※
Pu・高レベル廃棄物の閉じ込め機能	-	-	-	-
崩壊熱除去機能(重要度の高いもの)	-	-	-	-
安全圧縮空気系(水素掃気機能)	-	-	-	-
非常用所内電源系統	-	-	-	-

※ a : 3時間以上の耐火能力を有する耐火壁で分離

b : 水平距離6mによる分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置

c : 1時間の耐火能力を有する隔壁等による分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置
再処理施設成功パスの詳細は、別紙2参照

9. 最重要設備以外の火災防護対象機器等への火災影響

機器名称[機器番号]	当該区画の火災評価※	隣接区画の火災評価※
-	-	-

※ ○:火災影響なし ×:火災影響あり

隣接する火災区画と火災伝播経路

(※ 有:伝播する 無:伝播しない)

隣接する 火災区画	火災伝播 経路有無	等価時間 (h)	耐火時間 (h)	火災伝播の 可能性 ※	備考
	無	0.0	1.0	無	
	無	0.0	3.0	無	
	無	0.0	1.0	無	
	無	0.0	3.0	無	
	有	0.0	0.0	無	

火災区域(区画)特性表

1. 火災区域(区画)の説明

建屋名	精製建屋
火災区域/区画区分	火災区画
火災区域/区画番号	■
火災区域/区画名称	北第2階段室地上4階附室
床面積(m ²)	■

2. 火災区域(区画)の火災シナリオの説明

■は、精製建屋内の火災区画である。
 本区画は、火災源となるものがないおよび安全上重要な施設が設置されていないため、安全機能の喪失のおそれはない。

3. 火災区域(区画)にある火災源

(1) 等価時間

発熱量(kJ)	火災荷重(kJ/m ²)	等価時間(h) [※]
■	■	0.0

※ 等価時間は、内部火災影響評価ガイドの等価時間記載の値で示す。

(2) 火災区域(区画)にある火災源機器数

火災源	機器数
電動機(3.7kW超)	-
電気盤(440V以上)	-
ケーブルトレイ(ケーブル)	-
油脂類・有機溶媒等	-
その他	-

4. 火災区域(区画)にある防火設備

火災感知の手段	主要な消火設備	消火方法	消火設備のバックアップ
煙感知器	屋内消火栓	手動	粉末消火器

5. 火災区域(区画)に隣接する火災区域(区画)と火災伝播経路

隣接火災区画への火災伝播経路の詳細は、別紙1参照

6. 火災影響を受ける火災防護対象機器等

機器名称[機器番号]	最重要設備 [※]	最重要設備以外の安全上重要な施設 [※]
-	-	-

※ ○:対象 -:非対象

* 火災想定において、工程停止等により安全機能を必要としない状態へと移行が可能なもの。

7. 火災防護対象機器等の関連ケーブル

機器名称[機器番号]	ケーブル種別	安重分類
-	-	-

8. 最重要設備の安重機能への火災影響

安重分類	全焼時の成功パスの有無	回路評価等の考慮	結果	系統分離※
Pu・高レベル廃棄物の閉じ込め機能	-	-	-	-
崩壊熱除去機能(重要度の高いもの)	-	-	-	-
安全圧縮空気系(水素掃気機能)	-	-	-	-
非常用所内電源系統	-	-	-	-

※ a : 3時間以上の耐火能力を有する耐火壁で分離

b : 水平距離6mによる分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置

c : 1時間の耐火能力を有する隔壁等による分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置
再処理施設成功パスの詳細は、別紙2参照

9. 最重要設備以外の火災防護対象機器等への火災影響

機器名称[機器番号]	当該区画の火災評価※	隣接区画の火災評価※
-	-	-

※ ○:火災影響なし ×:火災影響あり

隣接する火災区画と火災伝播経路

(※ 有:伝播する 無:伝播しない)

隣接する 火災区画	火災伝播 経路有無	等価時間 (h)	耐火時間 (h)	火災伝播の 可能性 ※	備考
	無	0.0	1.0	無	
	無	0.0	1.0	無	
	無	0.0	1.0	無	
	無	0.0	3.0	無	
	無	0.0	1.0	無	

火災区域(区画)特性表

1. 火災区域(区画)の説明

建屋名	精製建屋
火災区域/区画区分	火災区画
火災区域/区画番号	■
火災区域/区画名称	南第2階段室地上4階附室
床面積(m ²)	■

2. 火災区域(区画)の火災シナリオの説明

■は、精製建屋内の火災区画である。
 本区画は、火災源となるものがないおよび安全上重要な施設が設置されていないため、安全機能の喪失のおそれはない。

3. 火災区域(区画)にある火災源

(1) 等価時間

発熱量(kJ)	火災荷重(kJ/m ²)	等価時間(h) [※]
■	■	0.0

※ 等価時間は、内部火災影響評価ガイドの等価時間記載の値で示す。

(2) 火災区域(区画)にある火災源機器数

火災源	機器数
電動機(3.7kW超)	-
電気盤(440V以上)	-
ケーブルトレイ(ケーブル)	-
油脂類・有機溶媒等	-
その他	-

4. 火災区域(区画)にある防火設備

火災感知の手段	主要な消火設備	消火方法	消火設備のバックアップ
煙感知器	屋内消火栓	手動	粉末消火器

5. 火災区域(区画)に隣接する火災区域(区画)と火災伝播経路

隣接火災区画への火災伝播経路の詳細は、別紙1参照

6. 火災影響を受ける火災防護対象機器等

機器名称[機器番号]	最重要設備 [※]	最重要設備以外の安全上重要な施設 [※]
-	-	-

※ ○:対象 -:非対象

* 火災想定において、工程停止等により安全機能を必要としない状態へと移行が可能なもの。

7. 火災防護対象機器等の関連ケーブル

機器名称[機器番号]	ケーブル種別	安重分類
-	-	-

8. 最重要設備の安重機能への火災影響

安重分類	全焼時の成功パスの有無	回路評価等の考慮	結果	系統分離※
Pu・高レベル廃棄物の閉じ込め機能	-	-	-	-
崩壊熱除去機能(重要度の高いもの)	-	-	-	-
安全圧縮空気系(水素掃気機能)	-	-	-	-
非常用所内電源系統	-	-	-	-

※ a : 3時間以上の耐火能力を有する耐火壁で分離

b : 水平距離6mによる分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置

c : 1時間の耐火能力を有する隔壁等による分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置
再処理施設成功パスの詳細は、別紙2参照

9. 最重要設備以外の火災防護対象機器等への火災影響

機器名称[機器番号]	当該区画の火災評価※	隣接区画の火災評価※
-	-	-

※ ○:火災影響なし ×:火災影響あり

隣接する火災区画と火災伝播経路

(※ 有:伝播する 無:伝播しない)

隣接する 火災区画	火災伝播 経路有無	等価時間 (h)	耐火時間 (h)	火災伝播の 可能性 ※	備考
	無	0.0	1.0	無	
	無	0.0	1.0	無	
	無	0.0	1.0	無	
	無	0.0	3.0	無	
	無	0.0	1.0	無	
	無	0.0	1.0	無	
	無	0.0	1.0	無	

火災区域(区画)特性表

1. 火災区域(区画)の説明

建屋名	精製建屋
火災区域/区画区分	火災区画
火災区域/区画番号	■
火災区域/区画名称	南第3階段室地上4階附室
床面積(m ²)	■

2. 火災区域(区画)の火災シナリオの説明

■は、精製建屋内の火災区画である。
 本区画は、火災源となるものがないおよび安全上重要な施設が設置されていないため、安全機能の喪失のおそれはない。

3. 火災区域(区画)にある火災源

(1) 等価時間

発熱量(kJ)	火災荷重 (kJ/m ²)	等価時間(h) [※]
■	■	0.0

※ 等価時間は、内部火災影響評価ガイドの等価時間記載の値で示す。

(2) 火災区域(区画)にある火災源機器数

火災源	機器数
電動機(3.7kW超)	-
電気盤(440V以上)	-
ケーブルトレイ(ケーブル)	-
油脂類・有機溶媒等	-
その他	-

4. 火災区域(区画)にある防火設備

火災感知の手段	主要な消火設備	消火方法	消火設備のバックアップ
煙感知器	屋内消火栓	手動	粉末消火器

5. 火災区域(区画)に隣接する火災区域(区画)と火災伝播経路

隣接火災区画への火災伝播経路の詳細は、別紙1参照

6. 火災影響を受ける火災防護対象機器等

機器名称[機器番号]	最重要設備 [※]	最重要設備以外の安全上重要な施設 [※]
-	-	-

※ ○:対象 -:非対象

* 火災想定において、工程停止等により安全機能を必要としない状態へと移行が可能なもの。

7. 火災防護対象機器等の関連ケーブル

機器名称[機器番号]	ケーブル種別	安重分類
-	-	-

8. 最重要設備の安重機能への火災影響

安重分類	全焼時の成功パスの有無	回路評価等の考慮	結果	系統分離※
Pu・高レベル廃棄物の閉じ込め機能	-	-	-	-
崩壊熱除去機能(重要度の高いもの)	-	-	-	-
安全圧縮空気系(水素掃気機能)	-	-	-	-
非常用所内電源系統	-	-	-	-

※ a : 3時間以上の耐火能力を有する耐火壁で分離

b : 水平距離6mによる分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置

c : 1時間の耐火能力を有する隔壁等による分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置
再処理施設成功パスの詳細は、別紙2参照

9. 最重要設備以外の火災防護対象機器等への火災影響

機器名称[機器番号]	当該区画の火災評価※	隣接区画の火災評価※
-	-	-

※ ○:火災影響なし ×:火災影響あり

隣接する火災区画と火災伝播経路

(※ 有:伝播する 無:伝播しない)

隣接する 火災区画	火災伝播 経路有無	等価時間 (h)	耐火時間 (h)	火災伝播の 可能性 ※	備考
	無	0.0	3.0	無	
	無	0.0	3.0	無	
	無	0.0	1.0	無	
	無	0.0	1.0	無	
	無	0.0	1.0	無	
	無	0.0	3.0	無	
	無	0.0	1.0	無	

火災区域(区画)特性表

1. 火災区域(区画)の説明

建屋名	精製建屋
火災区域/区画区分	火災区画
火災区域/区画番号	■
火災区域/区画名称	北第1階段室地上4階附室
床面積(m ²)	■

2. 火災区域(区画)の火災シナリオの説明

■は、精製建屋内の火災区画である。
 本区画は、火災源となるものがないおよび安全上重要な施設が設置されていないため、安全機能の喪失のおそれはない。

3. 火災区域(区画)にある火災源

(1) 等価時間

発熱量(kJ)	火災荷重 (kJ/m ²)	等価時間(h) [※]
■	■	0.0

※ 等価時間は、内部火災影響評価ガイドの等価時間記載の値で示す。

(2) 火災区域(区画)にある火災源機器数

火災源	機器数
電動機(3.7kW超)	-
電気盤(440V以上)	-
ケーブルトレイ(ケーブル)	-
油脂類・有機溶媒等	-
その他	-

4. 火災区域(区画)にある防火設備

火災感知の手段	主要な消火設備	消火方法	消火設備のバックアップ
煙感知器	屋内消火栓	手動	粉末消火器

5. 火災区域(区画)に隣接する火災区域(区画)と火災伝播経路

隣接火災区画への火災伝播経路の詳細は、別紙1参照

6. 火災影響を受ける火災防護対象機器等

機器名称[機器番号]	最重要設備 [※]	最重要設備以外の安全上重要な施設 [※]
-	-	-

※ ○:対象 -:非対象

* 火災想定において、工程停止等により安全機能を必要としない状態へと移行が可能なもの。

7. 火災防護対象機器等の関連ケーブル

機器名称[機器番号]	ケーブル種別	安重分類
-	-	-

8. 最重要設備の安重機能への火災影響

安重分類	全焼時の成功パスの有無	回路評価等の考慮	結果	系統分離※
Pu・高レベル廃棄物の閉じ込め機能	-	-	-	-
崩壊熱除去機能(重要度の高いもの)	-	-	-	-
安全圧縮空気系(水素掃気機能)	-	-	-	-
非常用所内電源系統	-	-	-	-

※ a : 3時間以上の耐火能力を有する耐火壁で分離

b : 水平距離6mによる分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置

c : 1時間の耐火能力を有する隔壁等による分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置
再処理施設成功パスの詳細は、別紙2参照

9. 最重要設備以外の火災防護対象機器等への火災影響

機器名称[機器番号]	当該区画の火災評価※	隣接区画の火災評価※
-	-	-

※ ○:火災影響なし ×:火災影響あり

隣接する火災区画と火災伝播経路

(※ 有:伝播する 無:伝播しない)

隣接する火災区画	火災伝播経路有無	等価時間(h)	耐火時間(h)	火災伝播の可能性※	備考
	無	0.0	1.0	無	
	無	0.0	1.0	無	
	無	0.0	1.0	無	
	無	0.0	3.0	無	
	無	0.0	1.0	無	

火災区域(区画)特性表

1. 火災区域(区画)の説明

建屋名	精製建屋
火災区域/区画区分	火災区画
火災区域/区画番号	■
火災区域/区画名称	南第1階段室地上4階附室
床面積(m ²)	■

2. 火災区域(区画)の火災シナリオの説明

■は、精製建屋内の火災区画である。
 本区画は、火災源となるものがないおよび安全上重要な施設が設置されていないため、安全機能の喪失のおそれはない。

3. 火災区域(区画)にある火災源

(1) 等価時間

発熱量(kJ)	火災荷重(kJ/m ²)	等価時間(h) [※]
■	■	0.0

※ 等価時間は、内部火災影響評価ガイドの等価時間記載の値で示す。

(2) 火災区域(区画)にある火災源機器数

火災源	機器数
電動機(3.7kW超)	-
電気盤(440V以上)	-
ケーブルトレイ(ケーブル)	-
油脂類・有機溶媒等	-
その他	-

4. 火災区域(区画)にある防火設備

火災感知の手段	主要な消火設備	消火方法	消火設備のバックアップ
煙感知器	屋内消火栓	手動	粉末消火器

5. 火災区域(区画)に隣接する火災区域(区画)と火災伝播経路

隣接火災区画への火災伝播経路の詳細は、別紙1参照

6. 火災影響を受ける火災防護対象機器等

機器名称[機器番号]	最重要設備 [※]	最重要設備以外の安全上重要な施設 [※]
-	-	-

※ ○:対象 -:非対象

* 火災想定において、工程停止等により安全機能を必要としない状態へと移行が可能なもの。

7. 火災防護対象機器等の関連ケーブル

機器名称[機器番号]	ケーブル種別	安重分類
-	-	-

8. 最重要設備の安重機能への火災影響

安重分類	全焼時の成功パスの有無	回路評価等の考慮	結果	系統分離※
Pu・高レベル廃棄物の閉じ込め機能	-	-	-	-
崩壊熱除去機能(重要度の高いもの)	-	-	-	-
安全圧縮空気系(水素掃気機能)	-	-	-	-
非常用所内電源系統	-	-	-	-

※ a : 3時間以上の耐火能力を有する耐火壁で分離

b : 水平距離6mによる分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置

c : 1時間の耐火能力を有する隔壁等による分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置
再処理施設成功パスの詳細は、別紙2参照

9. 最重要設備以外の火災防護対象機器等への火災影響

機器名称[機器番号]	当該区画の火災評価※	隣接区画の火災評価※
-	-	-

※ ○:火災影響なし ×:火災影響あり

隣接する火災区画と火災伝播経路

(※ 有:伝播する 無:伝播しない)

隣接する 火災区画	火災伝播 経路有無	等価時間 (h)	耐火時間 (h)	火災伝播の 可能性 ※	備考
	無	0.0	1.0	無	
	無	0.0	1.0	無	
	無	0.0	1.0	無	
	無	0.0	3.0	無	
	無	0.0	1.0	無	
	無	0.0	1.0	無	
	無	0.0	1.0	無	
	無	0.0	1.0	無	

火災区域(区画)特性表

1. 火災区域(区画)の説明

建屋名	精製建屋
火災区域/区画区分	火災区画
火災区域/区画番号	■
火災区域/区画名称	機械補修第2室
床面積(m ²)	■

2. 火災区域(区画)の火災シナリオの説明

■は、精製建屋内の火災区画である。
 本区画は、電動機絶縁物火災の発生可能性があるが、安全上重要な施設が設置されていないため、安全機能の喪失のおそれはない。

3. 火災区域(区画)にある火災源

(1) 等価時間

発熱量(kJ)	火災荷重 (kJ/m ²)	等価時間(h) [※]
■	■	0.5

※ 等価時間は、内部火災影響評価ガイドの等価時間記載の値で示す。

(2) 火災区域(区画)にある火災源機器数

火災源	機器数
電動機(3.7kW超)	2
電気盤(440V以上)	-
ケーブルトレイ(ケーブル)	-
油脂類・有機溶媒等	-
その他	-

4. 火災区域(区画)にある防火設備

火災感知の手段	主要な消火設備	消火方法	消火設備のバックアップ
煙感知器	屋内消火栓	手動	粉末消火器

5. 火災区域(区画)に隣接する火災区域(区画)と火災伝播経路

隣接火災区画への火災伝播経路の詳細は、別紙1参照

6. 火災影響を受ける火災防護対象機器等

機器名称[機器番号]	最重要設備 [※]	最重要設備以外の安全上重要な施設 [※]
-	-	-

※ ○:対象 -:非対象

* 火災想定において、工程停止等により安全機能を必要としない状態へと移行が可能なもの。

7. 火災防護対象機器等の関連ケーブル

機器名称[機器番号]	ケーブル種別	安重分類
-	-	-

8. 最重要設備の安重機能への火災影響

安重分類	全焼時の成功パスの有無	回路評価等の考慮	結果	系統分離※
Pu・高レベル廃棄物の閉じ込め機能	-	-	-	-
崩壊熱除去機能(重要度の高いもの)	-	-	-	-
安全圧縮空気系(水素掃気機能)	-	-	-	-
非常用所内電源系統	-	-	-	-

※ a : 3時間以上の耐火能力を有する耐火壁で分離

b : 水平距離6mによる分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置

c : 1時間の耐火能力を有する隔壁等による分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置
再処理施設成功パスの詳細は、別紙2参照

9. 最重要設備以外の火災防護対象機器等への火災影響

機器名称[機器番号]	当該区画の火災評価※	隣接区画の火災評価※
-	-	-

※ ○:火災影響なし ×:火災影響あり

隣接する火災区画と火災伝播経路

(※ 有:伝播する 無:伝播しない)

隣接する 火災区画	火災伝播 経路有無	等価時間 (h)	耐火時間 (h)	火災伝播の 可能性 ※	備考
	無	0.5	1.0	無	
	無	0.5	3.0	無	
	無	0.5	3.0	無	
	無	0.5	3.0	無	
	無	0.5	1.0	無	
	無	0.5	3.0	無	
	無	0.5	1.0	無	
	無	0.5	1.0	無	

火災区域(区画)特性表

1. 火災区域(区画)の説明

建屋名	精製建屋
火災区域/区画区分	火災区画
火災区域/区画番号	■
火災区域/区画名称	第18サブチェンジングルーム
床面積(m ²)	■

2. 火災区域(区画)の火災シナリオの説明

■は、精製建屋内の火災区画である。
 本区画は、電気盤火災または、ケーブルトレイ火災の発生の可能性があるが、安全上重要な施設が設置されていないため、安全機能の喪失のおそれはない。

3. 火災区域(区画)にある火災源

(1) 等価時間

発熱量(kJ)	火災荷重(kJ/m ²)	等価時間(h) [※]
■	■	1.0

※ 等価時間は、内部火災影響評価ガイドの等価時間記載の値で示す。

(2) 火災区域(区画)にある火災源機器数

火災源	機器数
電動機(3.7kW超)	-
電気盤(440V以上)	1
ケーブルトレイ(ケーブル)	有
油脂類・有機溶媒等	-
その他	-

4. 火災区域(区画)にある防火設備

火災感知の手段	主要な消火設備	消火方法	消火設備のバックアップ
煙感知器	屋内消火栓	手動	粉末消火器

5. 火災区域(区画)に隣接する火災区域(区画)と火災伝播経路

隣接火災区画への火災伝播経路の詳細は、別紙1参照

6. 火災影響を受ける火災防護対象機器等

機器名称[機器番号]	最重要設備 [※]	最重要設備以外の安全上重要な施設 [※]
-	-	-

※ ○:対象 -:非対象

* 火災想定において、工程停止等により安全機能を必要としない状態へと移行が可能なもの。

7. 火災防護対象機器等の関連ケーブル

機器名称[機器番号]	ケーブル種別	安重分類
-	-	-

8. 最重要設備の安重機能への火災影響

安重分類	全焼時の成功パスの有無	回路評価等の考慮	結果	系統分離※
Pu・高レベル廃棄物の閉じ込め機能	-	-	-	-
崩壊熱除去機能(重要度の高いもの)	-	-	-	-
安全圧縮空気系(水素掃気機能)	-	-	-	-
非常用所内電源系統	-	-	-	-

※ a : 3時間以上の耐火能力を有する耐火壁で分離

b : 水平距離6mによる分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置

c : 1時間の耐火能力を有する隔壁等による分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置
再処理施設成功パスの詳細は、別紙2参照

9. 最重要設備以外の火災防護対象機器等への火災影響

機器名称[機器番号]	当該区画の火災評価※	隣接区画の火災評価※
-	-	-

※ ○:火災影響なし ×:火災影響あり

隣接する火災区画と火災伝播経路

(※ 有:伝播する 無:伝播しない)

隣接する 火災区画	火災伝播 経路有無	等価時間 (h)	耐火時間 (h)	火災伝播の 可能性 ※	備考
	無	1.0	3.0	無	
	無	1.0	3.0	無	
	無	1.0	3.0	無	
	無	1.0	3.0	無	
	有	1.0	0.0	有	
	有	1.0	0.0	有	

火災区域(区画)特性表

1. 火災区域(区画)の説明

建屋名	精製建屋
火災区域/区画区分	火災区画
火災区域/区画番号	■
火災区域/区画名称	プルトニウム系塔槽類廃ガスよう素フィルタ保守室
床面積(m ²)	■

2. 火災区域(区画)の火災シナリオの説明

■は、精製建屋内の火災区画である。
 本区画は、電動機絶縁物火災、潤滑油漏えい火災または、電気盤火災の発生の可能性があるが、安全上重要な施設が設置されていないため、安全機能の喪失のおそれはない。

3. 火災区域(区画)にある火災源

(1) 等価時間

発熱量(kJ)	火災荷重(kJ/m ²)	等価時間(h) [※]
■	■	0.5

※ 等価時間は、内部火災影響評価ガイドの等価時間記載の値で示す。

(2) 火災区域(区画)にある火災源機器数

火災源	機器数
電動機(3.7kW超)	1
電気盤(440V以上)	1
ケーブルトレイ(ケーブル)	-
油脂類・有機溶媒等	有
その他	-

4. 火災区域(区画)にある防火設備

火災感知の手段	主要な消火設備	消火方法	消火設備のバックアップ
煙感知器	屋内消火栓	手動	粉末消火器

5. 火災区域(区画)に隣接する火災区域(区画)と火災伝播経路

隣接火災区画への火災伝播経路の詳細は、別紙1参照

6. 火災影響を受ける火災防護対象機器等

機器名称[機器番号]	最重要設備 [※]	最重要設備以外の安全上重要な施設 [※]
-	-	-

※ ○:対象 -:非対象

* 火災想定において、工程停止等により安全機能を必要としない状態へと移行が可能なもの。

7. 火災防護対象機器等の関連ケーブル

機器名称[機器番号]	ケーブル種別	安重分類
-	-	-

8. 最重要設備の安重機能への火災影響

安重分類	全焼時の成功パスの有無	回路評価等の考慮	結果	系統分離※
Pu・高レベル廃棄物の閉じ込め機能	-	-	-	-
崩壊熱除去機能(重要度の高いもの)	-	-	-	-
安全圧縮空気系(水素掃気機能)	-	-	-	-
非常用所内電源系統	-	-	-	-

※ a : 3時間以上の耐火能力を有する耐火壁で分離

b : 水平距離6mによる分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置

c : 1時間の耐火能力を有する隔壁等による分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置
再処理施設成功パスの詳細は、別紙2参照

9. 最重要設備以外の火災防護対象機器等への火災影響

機器名称[機器番号]	当該区画の火災評価※	隣接区画の火災評価※
-	-	-

※ ○:火災影響なし ×:火災影響あり

隣接する火災区画と火災伝播経路

(※ 有:伝播する 無:伝播しない)

隣接する 火災区画	火災伝播 経路有無	等価時間 (h)	耐火時間 (h)	火災伝播の 可能性 ※	備考
	無	0.5	1.0	無	
	有	0.5	0.0	有	
	無	0.5	3.0	無	
	無	0.5	3.0	無	
	無	0.5	3.0	無	
	有	0.5	0.0	有	
	有	0.5	0.0	有	
	有	0.5	0.0	有	

火災区域(区画)特性表

1. 火災区域(区画)の説明

建屋名	精製建屋
火災区域/区画区分	火災区画
火災区域/区画番号	■
火災区域/区画名称	プルトニウム系塔槽類廃ガス加熱器室
床面積(m ²)	■

2. 火災区域(区画)の火災シナリオの説明

■は、精製建屋内の火災区画である。
 本区画は、ケーブルトレイ火災の発生可能性があるが、安全上重要な施設が不燃材にて構成され火災影響を受けないことから、安全機能の喪失のおそれがない。

3. 火災区域(区画)にある火災源

(1) 等価時間

発熱量(kJ)	火災荷重(kJ/m ²)	等価時間(h) [※]
■	■	1.0

※ 等価時間は、内部火災影響評価ガイドの等価時間記載の値で示す。

(2) 火災区域(区画)にある火災源機器数

火災源	機器数
電動機(3.7kW超)	-
電気盤(440V以上)	-
ケーブルトレイ(ケーブル)	有
油脂類・有機溶媒等	-
その他	-

4. 火災区域(区画)にある防火設備

火災感知の手段	主要な消火設備	消火方法	消火設備のバックアップ
煙感知器	屋内消火栓	手動	粉末消火器

5. 火災区域(区画)に隣接する火災区域(区画)と火災伝播経路

隣接火災区画への火災伝播経路の詳細は、別紙1参照

6. 火災影響を受ける火災防護対象機器等

機器名称[機器番号]	最重要設備 [※]	最重要設備以外の安全上重要な施設 [※]
-	-	-

※ ○:対象 -:非対象

* 火災想定において、工程停止等により安全機能を必要としない状態へと移行が可能なもの。

7. 火災防護対象機器等の関連ケーブル

機器名称[機器番号]	ケーブル種別	安重分類
-	-	-

8. 最重要設備の安重機能への火災影響

安重分類	全焼時の 成功パスの 有無	回路評価 等の考慮	結果	系統分離※
Pu・高レベル廃棄物の閉じ込め機能	-	-	-	-
崩壊熱除去機能(重要度の高いもの)	-	-	-	-
安全圧縮空気系(水素掃気機能)	-	-	-	-
非常用所内電源系統	-	-	-	-

※ a : 3時間以上の耐火能力を有する耐火壁で分離

b : 水平距離6mによる分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置

c : 1時間の耐火能力を有する隔壁等による分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置
再処理施設成功パスの詳細は、別紙2参照

9. 最重要設備以外の火災防護対象機器等への火災影響

機器名称[機器番号]	当該区画の火災評価※	隣接区画の火災評価※
-	-	-

※ ○:火災影響なし ×:火災影響あり

隣接する火災区画と火災伝播経路

(※ 有:伝播する 無:伝播しない)

隣接する 火災区画	火災伝播 経路有無	等価時間 (h)	耐火時間 (h)	火災伝播の 可能性 ※	備考
	無	1.0	3.0	無	
	無	1.0	3.0	無	
	無	1.0	3.0	無	
	有	1.0	0.0	有	
	無	1.0	3.0	無	
	有	1.0	0.0	有	
	有	1.0	0.0	有	
	有	1.0	0.0	有	
	有	1.0	0.0	有	

火災区域(区画)特性表

1. 火災区域(区画)の説明

建屋名	精製建屋
火災区域/区画区分	火災区画
火災区域/区画番号	■
火災区域/区画名称	第10予備室
床面積(m ²)	■

2. 火災区域(区画)の火災シナリオの説明

■は、精製建屋内の火災区画である。
 本区画は、火災源となるものがないおよび安全上重要な施設が設置されていないため、安全機能の喪失のおそれはない。

3. 火災区域(区画)にある火災源

(1) 等価時間

発熱量(kJ)	火災荷重 (kJ/m ²)	等価時間(h) [※]
■	■	0.0

※ 等価時間は、内部火災影響評価ガイドの等価時間記載の値で示す。

(2) 火災区域(区画)にある火災源機器数

火災源	機器数
電動機(3.7kW超)	-
電気盤(440V以上)	-
ケーブルトレイ(ケーブル)	-
油脂類・有機溶媒等	-
その他	-

4. 火災区域(区画)にある防火設備

火災感知の手段	主要な消火設備	消火方法	消火設備のバックアップ
煙感知器	屋内消火栓	手動	粉末消火器

5. 火災区域(区画)に隣接する火災区域(区画)と火災伝播経路

隣接火災区画への火災伝播経路の詳細は、別紙1参照

6. 火災影響を受ける火災防護対象機器等

機器名称[機器番号]	最重要設備 [※]	最重要設備以外の安全上重要な施設 [※]
-	-	-

※ ○:対象 -:非対象

* 火災想定において、工程停止等により安全機能を必要としない状態へと移行が可能なもの。

7. 火災防護対象機器等の関連ケーブル

機器名称[機器番号]	ケーブル種別	安重分類
-	-	-

8. 最重要設備の安重機能への火災影響

安重分類	全焼時の 成功パスの 有無	回路評価 等の考慮	結果	系統分離※
Pu・高レベル廃棄物の閉じ込め機能	-	-	-	-
崩壊熱除去機能(重要度の高いもの)	-	-	-	-
安全圧縮空気系(水素掃気機能)	-	-	-	-
非常用所内電源系統	-	-	-	-

※ a : 3時間以上の耐火能力を有する耐火壁で分離

b : 水平距離6mによる分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置

c : 1時間の耐火能力を有する隔壁等による分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置
再処理施設成功パスの詳細は、別紙2参照

9. 最重要設備以外の火災防護対象機器等への火災影響

機器名称[機器番号]	当該区画の火災評価※	隣接区画の火災評価※
-	-	-

※ ○:火災影響なし ×:火災影響あり

隣接する火災区画と火災伝播経路

(※ 有:伝播する 無:伝播しない)

隣接する 火災区画	火災伝播 経路有無	等価時間 (h)	耐火時間 (h)	火災伝播の 可能性 ※	備考
	有	0.0	0.0	無	
	無	0.0	3.0	無	
	有	0.0	0.0	無	
	無	0.0	1.0	無	
	有	0.0	0.0	無	
	有	0.0	0.0	無	
	有	0.0	0.0	無	

火災区域(区画)特性表

1. 火災区域(区画)の説明

建屋名	精製建屋
火災区域/区画区分	火災区画
火災区域/区画番号	■
火災区域/区画名称	第19サブチェンジングルーム
床面積(m ²)	■

2. 火災区域(区画)の火災シナリオの説明

■は、精製建屋内の火災区画である。
 本区画は、火災源となるものがないおよび安全上重要な施設が設置されていないため、安全機能の喪失のおそれはない。

3. 火災区域(区画)にある火災源

(1) 等価時間

発熱量(kJ)	火災荷重(kJ/m ²)	等価時間(h) [※]
■	■	0.5

※ 等価時間は、内部火災影響評価ガイドの等価時間記載の値で示す。

(2) 火災区域(区画)にある火災源機器数

火災源	機器数
電動機(3.7kW超)	-
電気盤(440V以上)	-
ケーブルトレイ(ケーブル)	-
油脂類・有機溶媒等	-
その他	-

4. 火災区域(区画)にある防火設備

火災感知の手段	主要な消火設備	消火方法	消火設備のバックアップ
煙感知器	屋内消火栓	手動	粉末消火器

5. 火災区域(区画)に隣接する火災区域(区画)と火災伝播経路

隣接火災区画への火災伝播経路の詳細は、別紙1参照

6. 火災影響を受ける火災防護対象機器等

機器名称[機器番号]	最重要設備 [※]	最重要設備以外の安全上重要な施設 [※]
-	-	-

※ ○:対象 -:非対象

* 火災想定において、工程停止等により安全機能を必要としない状態へと移行が可能なもの。

7. 火災防護対象機器等の関連ケーブル

機器名称[機器番号]	ケーブル種別	安重分類
-	-	-

8. 最重要設備の安重機能への火災影響

安重分類	全焼時の成功パスの有無	回路評価等の考慮	結果	系統分離※
Pu・高レベル廃棄物の閉じ込め機能	-	-	-	-
崩壊熱除去機能(重要度の高いもの)	-	-	-	-
安全圧縮空気系(水素掃気機能)	-	-	-	-
非常用所内電源系統	-	-	-	-

※ a : 3時間以上の耐火能力を有する耐火壁で分離

b : 水平距離6mによる分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置

c : 1時間の耐火能力を有する隔壁等による分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置
再処理施設成功パスの詳細は、別紙2参照

9. 最重要設備以外の火災防護対象機器等への火災影響

機器名称[機器番号]	当該区画の火災評価※	隣接区画の火災評価※
-	-	-

※ ○:火災影響なし ×:火災影響あり

隣接する火災区画と火災伝播経路

(※ 有:伝播する 無:伝播しない)

隣接する 火災区画	火災伝播 経路有無	等価時間 (h)	耐火時間 (h)	火災伝播の 可能性 ※	備考
	有	0.5	0.0	有	
	無	0.5	3.0	無	
	有	0.5	0.0	有	
	有	0.5	0.0	有	
	有	0.5	0.0	有	
	有	0.5	0.0	有	
	有	0.5	0.0	有	

火災区域(区画)特性表

1. 火災区域(区画)の説明

建屋名	精製建屋
火災区域/区画区分	火災区画
火災区域/区画番号	■
火災区域/区画名称	第11予備室
床面積(m ²)	■

2. 火災区域(区画)の火災シナリオの説明

■は、精製建屋内の火災区画である。
 本区画は、火災源となるものがないおよび安全上重要な施設が設置されていないため、安全機能の喪失のおそれはない。

3. 火災区域(区画)にある火災源

(1) 等価時間

発熱量(kJ)	火災荷重(kJ/m ²)	等価時間(h) [※]
■	■	0.0

※ 等価時間は、内部火災影響評価ガイドの等価時間記載の値で示す。

(2) 火災区域(区画)にある火災源機器数

火災源	機器数
電動機(3.7kW超)	-
電気盤(440V以上)	-
ケーブルトレイ(ケーブル)	-
油脂類・有機溶媒等	-
その他	-

4. 火災区域(区画)にある防火設備

火災感知の手段	主要な消火設備	消火方法	消火設備のバックアップ
煙感知器	屋内消火栓	手動	粉末消火器

5. 火災区域(区画)に隣接する火災区域(区画)と火災伝播経路

隣接火災区画への火災伝播経路の詳細は、別紙1参照

6. 火災影響を受ける火災防護対象機器等

機器名称[機器番号]	最重要設備 [※]	最重要設備以外の安全上重要な施設 [※]
-	-	-

※ ○:対象 -:非対象

* 火災想定において、工程停止等により安全機能を必要としない状態へと移行が可能なもの。

7. 火災防護対象機器等の関連ケーブル

機器名称[機器番号]	ケーブル種別	安重分類
-	-	-

8. 最重要設備の安重機能への火災影響

安重分類	全焼時の成功パスの有無	回路評価等の考慮	結果	系統分離※
Pu・高レベル廃棄物の閉じ込め機能	-	-	-	-
崩壊熱除去機能(重要度の高いもの)	-	-	-	-
安全圧縮空気系(水素掃気機能)	-	-	-	-
非常用所内電源系統	-	-	-	-

※ a : 3時間以上の耐火能力を有する耐火壁で分離

b : 水平距離6mによる分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置

c : 1時間の耐火能力を有する隔壁等による分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置
再処理施設成功パスの詳細は、別紙2参照

9. 最重要設備以外の火災防護対象機器等への火災影響

機器名称[機器番号]	当該区画の火災評価※	隣接区画の火災評価※
-	-	-

※ ○:火災影響なし ×:火災影響あり

隣接する火災区画と火災伝播経路

(※ 有:伝播する 無:伝播しない)

隣接する 火災区画	火災伝播 経路有無	等価時間 (h)	耐火時間 (h)	火災伝播の 可能性 ※	備考
	無	0.0	3.0	無	
	有	0.0	0.0	無	
	有	0.0	0.0	無	
	有	0.0	0.0	無	
	有	0.0	0.0	無	
	有	0.0	0.0	無	
	有	0.0	0.0	無	
	有	0.0	0.0	無	

火災区域(区画)特性表

1. 火災区域(区画)の説明

建屋名	精製建屋
火災区域/区画区分	火災区画
火災区域/区画番号	■
火災区域/区画名称	外気処理設備第2室
床面積(m ²)	■

2. 火災区域(区画)の火災シナリオの説明

■は、精製建屋内の火災区画である。
 本区画は、火災源となるものがないおよび安全上重要な施設が設置されていないため、安全機能の喪失のおそれはない。

3. 火災区域(区画)にある火災源

(1) 等価時間

発熱量(kJ)	火災荷重 (kJ/m ²)	等価時間(h) [※]
■	■	0.0

※ 等価時間は、内部火災影響評価ガイドの等価時間記載の値で示す。

(2) 火災区域(区画)にある火災源機器数

火災源	機器数
電動機(3.7kW超)	-
電気盤(440V以上)	-
ケーブルトレイ(ケーブル)	-
油脂類・有機溶媒等	-
その他	-

4. 火災区域(区画)にある防火設備

火災感知の手段	主要な消火設備	消火方法	消火設備のバックアップ
設置除外	屋内消火栓	手動	粉末消火器

5. 火災区域(区画)に隣接する火災区域(区画)と火災伝播経路

隣接火災区画への火災伝播経路の詳細は、別紙1参照

6. 火災影響を受ける火災防護対象機器等

機器名称[機器番号]	最重要設備 [※]	最重要設備以外の安全上重要な施設 [※]
-	-	-

※ ○:対象 -:非対象

* 火災想定において、工程停止等により安全機能を必要としない状態へと移行が可能なもの。

7. 火災防護対象機器等の関連ケーブル

機器名称[機器番号]	ケーブル種別	安重分類
-	-	-

8. 最重要設備の安重機能への火災影響

安重分類	全焼時の成功パスの有無	回路評価等の考慮	結果	系統分離※
Pu・高レベル廃棄物の閉じ込め機能	-	-	-	-
崩壊熱除去機能(重要度の高いもの)	-	-	-	-
安全圧縮空気系(水素掃気機能)	-	-	-	-
非常用所内電源系統	-	-	-	-

※ a : 3時間以上の耐火能力を有する耐火壁で分離

b : 水平距離6mによる分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置

c : 1時間の耐火能力を有する隔壁等による分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置
再処理施設成功パスの詳細は、別紙2参照

9. 最重要設備以外の火災防護対象機器等への火災影響

機器名称[機器番号]	当該区画の火災評価※	隣接区画の火災評価※
-	-	-

※ ○:火災影響なし ×:火災影響あり

隣接する火災区画と火災伝播経路

(※ 有:伝播する 無:伝播しない)

隣接する 火災区画	火災伝播 経路有無	等価時間 (h)	耐火時間 (h)	火災伝播の 可能性 ※	備考
	無	0.0	3.0	無	
	無	0.0	3.0	無	
	有	0.0	0.0	無	
	有	0.0	0.0	無	
	無	0.0	1.0	無	

火災区域(区画)特性表

1. 火災区域(区画)の説明

建屋名	精製建屋
火災区域/区画区分	火災区画
火災区域/区画番号	■
火災区域/区画名称	第3予備室
床面積(m ²)	■

2. 火災区域(区画)の火災シナリオの説明

■は、精製建屋内の火災区画である。
 本区画は、火災源となるものがないおよび安全上重要な施設が設置されていないため、安全機能の喪失のおそれはない。

3. 火災区域(区画)にある火災源

(1) 等価時間

発熱量(kJ)	火災荷重(kJ/m ²)	等価時間(h) [※]
■	■	0.0

※ 等価時間は、内部火災影響評価ガイドの等価時間記載の値で示す。

(2) 火災区域(区画)にある火災源機器数

火災源	機器数
電動機(3.7kW超)	-
電気盤(440V以上)	-
ケーブルトレイ(ケーブル)	-
油脂類・有機溶媒等	-
その他	-

4. 火災区域(区画)にある防火設備

火災感知の手段	主要な消火設備	消火方法	消火設備のバックアップ
煙感知器	屋内消火栓	手動	粉末消火器

5. 火災区域(区画)に隣接する火災区域(区画)と火災伝播経路

隣接火災区画への火災伝播経路の詳細は、別紙1参照

6. 火災影響を受ける火災防護対象機器等

機器名称[機器番号]	最重要設備 [※]	最重要設備以外の安全上重要な施設 [※]
-	-	-

※ ○:対象 -:非対象

* 火災想定において、工程停止等により安全機能を必要としない状態へと移行が可能なもの。

7. 火災防護対象機器等の関連ケーブル

機器名称[機器番号]	ケーブル種別	安重分類
-	-	-

8. 最重要設備の安重機能への火災影響

安重分類	全焼時の成功パスの有無	回路評価等の考慮	結果	系統分離※
Pu・高レベル廃棄物の閉じ込め機能	-	-	-	-
崩壊熱除去機能(重要度の高いもの)	-	-	-	-
安全圧縮空気系(水素掃気機能)	-	-	-	-
非常用所内電源系統	-	-	-	-

※ a : 3時間以上の耐火能力を有する耐火壁で分離

b : 水平距離6mによる分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置

c : 1時間の耐火能力を有する隔壁等による分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置
再処理施設成功パスの詳細は、別紙2参照

9. 最重要設備以外の火災防護対象機器等への火災影響

機器名称[機器番号]	当該区画の火災評価※	隣接区画の火災評価※
-	-	-

※ ○:火災影響なし ×:火災影響あり

隣接する火災区画と火災伝播経路

(※ 有:伝播する 無:伝播しない)

隣接する 火災区画	火災伝播 経路有無	等価時間 (h)	耐火時間 (h)	火災伝播の 可能性 ※	備考
	有	0.0	0.0	無	
	有	0.0	0.0	無	
	有	0.0	0.0	無	
	無	0.0	3.0	無	
	無	0.0	3.0	無	

火災区域(区画)特性表

1. 火災区域(区画)の説明

建屋名	精製建屋
火災区域/区画区分	火災区画
火災区域/区画番号	■
火災区域/区画名称	混合槽室
床面積(m ²)	■

2. 火災区域(区画)の火災シナリオの説明

■は、精製建屋内の火災区画である。
 本区画は、火災源となるものがないおよび安全上重要な施設が設置されていないため、安全機能の喪失のおそれはない。

3. 火災区域(区画)にある火災源

(1) 等価時間

発熱量(kJ)	火災荷重 (kJ/m ²)	等価時間(h) [※]
■	■	0.0

※ 等価時間は、内部火災影響評価ガイドの等価時間記載の値で示す。

(2) 火災区域(区画)にある火災源機器数

火災源	機器数
電動機(3.7kW超)	-
電気盤(440V以上)	-
ケーブルトレイ(ケーブル)	-
油脂類・有機溶媒等	-
その他	-

4. 火災区域(区画)にある防火設備

火災感知の手段	主要な消火設備	消火方法	消火設備のバックアップ
煙感知器	屋内消火栓	手動	粉末消火器

5. 火災区域(区画)に隣接する火災区域(区画)と火災伝播経路

隣接火災区画への火災伝播経路の詳細は、別紙1参照

6. 火災影響を受ける火災防護対象機器等

機器名称[機器番号]	最重要設備 [※]	最重要設備以外の安全上重要な施設 [※]
-	-	-

※ ○:対象 -:非対象

* 火災想定において、工程停止等により安全機能を必要としない状態へと移行が可能なもの。

7. 火災防護対象機器等の関連ケーブル

機器名称[機器番号]	ケーブル種別	安重分類
-	-	-

8. 最重要設備の安重機能への火災影響

安重分類	全焼時の成功パスの有無	回路評価等の考慮	結果	系統分離※
Pu・高レベル廃棄物の閉じ込め機能	-	-	-	-
崩壊熱除去機能(重要度の高いもの)	-	-	-	-
安全圧縮空気系(水素掃気機能)	-	-	-	-
非常用所内電源系統	-	-	-	-

※ a : 3時間以上の耐火能力を有する耐火壁で分離

b : 水平距離6mによる分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置

c : 1時間の耐火能力を有する隔壁等による分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置
再処理施設成功パスの詳細は、別紙2参照

9. 最重要設備以外の火災防護対象機器等への火災影響

機器名称[機器番号]	当該区画の火災評価※	隣接区画の火災評価※
-	-	-

※ ○:火災影響なし ×:火災影響あり

隣接する火災区画と火災伝播経路

(※ 有:伝播する 無:伝播しない)

隣接する 火災区画	火災伝播 経路有無	等価時間 (h)	耐火時間 (h)	火災伝播の 可能性 ※	備考
	無	0.0	1.0	無	
	無	0.0	3.0	無	
	有	0.0	0.0	無	
	無	0.0	3.0	無	
	有	0.0	0.0	無	

火災区域(区画)特性表

1. 火災区域(区画)の説明

建屋名	精製建屋
火災区域/区画区分	火災区画
火災区域/区画番号	■
火災区域/区画名称	プルトニウム系塔槽類廃ガスよう素フィルタ室
床面積(m ²)	■

2. 火災区域(区画)の火災シナリオの説明

■は、精製建屋内の火災区画である。
 本区画は、火災源となるものがないおよび安全上重要な施設が金属等の不燃材および難燃性にて構成され火災影響を受けないことから、安全機能の喪失のおそれがない。

3. 火災区域(区画)にある火災源

(1) 等価時間

発熱量(kJ)	火災荷重 (kJ/m ²)	等価時間(h) [※]
■	■	0.0

※ 等価時間は、内部火災影響評価ガイドの等価時間記載の値で示す。

(2) 火災区域(区画)にある火災源機器数

火災源	機器数
電動機(3.7kW超)	-
電気盤(440V以上)	-
ケーブルトレイ(ケーブル)	-
油脂類・有機溶媒等	-
その他	-

4. 火災区域(区画)にある防火設備

火災感知の手段	主要な消火設備	消火方法	消火設備のバックアップ
設置除外	設置除外	-	-

5. 火災区域(区画)に隣接する火災区域(区画)と火災伝播経路

隣接火災区画への火災伝播経路の詳細は、別紙1参照

6. 火災影響を受ける火災防護対象機器等

機器名称[機器番号]	最重要設備 [※]	最重要設備以外の安全上重要な施設 [※]
-	-	-

※ ○:対象 -:非対象

* 火災想定において、工程停止等により安全機能を必要としない状態へと移行が可能なもの。

7. 火災防護対象機器等の関連ケーブル

機器名称[機器番号]	ケーブル種別	安重分類
-	-	-

8. 最重要設備の安重機能への火災影響

安重分類	全焼時の成功パスの有無	回路評価等の考慮	結果	系統分離※
Pu・高レベル廃棄物の閉じ込め機能	-	-	-	-
崩壊熱除去機能(重要度の高いもの)	-	-	-	-
安全圧縮空気系(水素掃気機能)	-	-	-	-
非常用所内電源系統	-	-	-	-

※ a : 3時間以上の耐火能力を有する耐火壁で分離

b : 水平距離6mによる分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置

c : 1時間の耐火能力を有する隔壁等による分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置
再処理施設成功パスの詳細は、別紙2参照

9. 最重要設備以外の火災防護対象機器等への火災影響

機器名称[機器番号]	当該区画の火災評価※	隣接区画の火災評価※
-	-	-

※ ○:火災影響なし ×:火災影響あり

隣接する火災区画と火災伝播経路

(※ 有:伝播する 無:伝播しない)

隣接する 火災区画	火災伝播 経路有無	等価時間 (h)	耐火時間 (h)	火災伝播の 可能性 ※	備考
	無	0.0	3.0	無	
	無	0.0	3.0	無	
	有	0.0	0.0	無	
	有	0.0	0.0	無	
	有	0.0	0.0	無	

火災区域(区画)特性表

1. 火災区域(区画)の説明

建屋名	精製建屋
火災区域/区画区分	火災区画
火災区域/区画番号	■
火災区域/区画名称	第14予備室
床面積(m ²)	■

2. 火災区域(区画)の火災シナリオの説明

■は、精製建屋内の火災区画である。
 本区画は、一時集積可燃物の火災の発生の可能性があるが、安全上重要な施設が設置されていないため、安全機能の喪失のおそれはない。

3. 火災区域(区画)にある火災源

(1) 等価時間

発熱量(kJ)	火災荷重 (kJ/m ²)	等価時間(h) [※]
■	■	>9

※ 等価時間は、内部火災影響評価ガイドの等価時間記載の値で示す。

(2) 火災区域(区画)にある火災源機器数

火災源	機器数
電動機(3.7kW超)	-
電気盤(440V以上)	-
ケーブルトレイ(ケーブル)	-
油脂類・有機溶媒等	-
その他	1

4. 火災区域(区画)にある防火設備

火災感知の手段	主要な消火設備	消火方法	消火設備のバックアップ
煙感知器	屋内消火栓	手動	粉末消火器

5. 火災区域(区画)に隣接する火災区域(区画)と火災伝播経路

隣接火災区画への火災伝播経路の詳細は、別紙1参照

6. 火災影響を受ける火災防護対象機器等

機器名称[機器番号]	最重要設備 [※]	最重要設備以外の安全上重要な施設 [※]
-	-	-

※ ○:対象 -:非対象

* 火災想定において、工程停止等により安全機能を必要としない状態へと移行が可能なもの。

7. 火災防護対象機器等の関連ケーブル

機器名称[機器番号]	ケーブル種別	安重分類
-	-	-

8. 最重要設備の安重機能への火災影響

安重分類	全焼時の成功パスの有無	回路評価等の考慮	結果	系統分離※
Pu・高レベル廃棄物の閉じ込め機能	-	-	-	-
崩壊熱除去機能(重要度の高いもの)	-	-	-	-
安全圧縮空気系(水素掃気機能)	-	-	-	-
非常用所内電源系統	-	-	-	-

※ a : 3時間以上の耐火能力を有する耐火壁で分離

b : 水平距離6mによる分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置

c : 1時間の耐火能力を有する隔壁等による分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置
再処理施設成功パスの詳細は、別紙2参照

9. 最重要設備以外の火災防護対象機器等への火災影響

機器名称[機器番号]	当該区画の火災評価※	隣接区画の火災評価※
-	-	-

※ ○:火災影響なし ×:火災影響あり

隣接する火災区画と火災伝播経路

(※ 有:伝播する 無:伝播しない)

隣接する 火災区画	火災伝播 経路有無	等価時間 (h)	耐火時間 (h)	火災伝播の 可能性 ※	備考
	無	3.0超	1.0	有	
	無	3.0超	3.0	有	

火災区域(区画)特性表

1. 火災区域(区画)の説明

建屋名	精製建屋
火災区域/区画区分	火災区画
火災区域/区画番号	■
火災区域/区画名称	地上4階東西第6廊下
床面積(m ²)	■

2. 火災区域(区画)の火災シナリオの説明

■は、精製建屋内の火災区画である。
 本区画は、火災源となるものがないおよび安全上重要な施設が設置されていないため、安全機能の喪失のおそれはない。

3. 火災区域(区画)にある火災源

(1) 等価時間

発熱量(kJ)	火災荷重(kJ/m ²)	等価時間(h) [※]
■	■	0.5

※ 等価時間は、内部火災影響評価ガイドの等価時間記載の値で示す。

(2) 火災区域(区画)にある火災源機器数

火災源	機器数
電動機(3.7kW超)	-
電気盤(440V以上)	-
ケーブルトレイ(ケーブル)	-
油脂類・有機溶媒等	-
その他	-

4. 火災区域(区画)にある防火設備

火災感知の手段	主要な消火設備	消火方法	消火設備のバックアップ
煙感知器 熱感知器	屋内消火栓	手動	粉末消火器

5. 火災区域(区画)に隣接する火災区域(区画)と火災伝播経路

隣接火災区画への火災伝播経路の詳細は、別紙1参照

6. 火災影響を受ける火災防護対象機器等

機器名称[機器番号]	最重要設備 [※]	最重要設備以外の安全上重要な施設 [※]
-	-	-

※ ○:対象 -:非対象

* 火災想定において、工程停止等により安全機能を必要としない状態へと移行が可能なもの。

7. 火災防護対象機器等の関連ケーブル

機器名称[機器番号]	ケーブル種別	安重分類
-	-	-

8. 最重要設備の安重機能への火災影響

安重分類	全焼時の成功パスの有無	回路評価等の考慮	結果	系統分離※
Pu・高レベル廃棄物の閉じ込め機能	-	-	-	-
崩壊熱除去機能(重要度の高いもの)	-	-	-	-
安全圧縮空気系(水素掃気機能)	-	-	-	-
非常用所内電源系統	-	-	-	-

※ a : 3時間以上の耐火能力を有する耐火壁で分離

b : 水平距離6mによる分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置

c : 1時間の耐火能力を有する隔壁等による分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置
再処理施設成功パスの詳細は、別紙2参照

9. 最重要設備以外の火災防護対象機器等への火災影響

機器名称[機器番号]	当該区画の火災評価※	隣接区画の火災評価※
-	-	-

※ ○:火災影響なし ×:火災影響あり

隣接する火災区画と火災伝播経路

(※ 有:伝播する 無:伝播しない)

隣接する 火災区画	火災伝播 経路有無	等価時間 (h)	耐火時間 (h)	火災伝播の 可能性 ※	備考
	無	0.5	3.0	無	
	無	0.5	3.0	無	
	無	0.5	3.0	無	
	無	0.5	3.0	無	
	無	0.5	3.0	無	
	無	0.5	3.0	無	
	無	0.5	3.0	無	
	無	0.5	3.0	無	
	無	0.5	3.0	無	
	無	0.5	3.0	無	
	無	0.5	3.0	無	

火災区域(区画)特性表

1. 火災区域(区画)の説明

建屋名	精製建屋
火災区域/区画区分	火災区画
火災区域/区画番号	■
火災区域/区画名称	地上4階東西第5廊下
床面積(m ²)	■

2. 火災区域(区画)の火災シナリオの説明

■は、精製建屋内の火災区画である。
 本区画は、ケーブルトレイ火災の発生可能性があるが、安全上重要な施設が設置されていないため、安全機能の喪失のおそれはない。

3. 火災区域(区画)にある火災源

(1) 等価時間

発熱量(kJ)	火災荷重(kJ/m ²)	等価時間(h) [※]
■	■	1.5

※ 等価時間は、内部火災影響評価ガイドの等価時間記載の値で示す。

(2) 火災区域(区画)にある火災源機器数

火災源	機器数
電動機(3.7kW超)	-
電気盤(440V以上)	-
ケーブルトレイ(ケーブル)	有
油脂類・有機溶媒等	-
その他	-

4. 火災区域(区画)にある防火設備

火災感知の手段	主要な消火設備	消火方法	消火設備のバックアップ
煙感知器	屋内消火栓	手動	粉末消火器

5. 火災区域(区画)に隣接する火災区域(区画)と火災伝播経路

隣接火災区画への火災伝播経路の詳細は、別紙1参照

6. 火災影響を受ける火災防護対象機器等

機器名称[機器番号]	最重要設備 [※]	最重要設備以外の安全上重要な施設 [※]
-	-	-

※ ○:対象 -:非対象

* 火災想定において、工程停止等により安全機能を必要としない状態へと移行が可能なもの。

7. 火災防護対象機器等の関連ケーブル

機器名称[機器番号]	ケーブル種別	安重分類
-	-	-

8. 最重要設備の安重機能への火災影響

安重分類	全焼時の成功パスの有無	回路評価等の考慮	結果	系統分離※
Pu・高レベル廃棄物の閉じ込め機能	-	-	-	-
崩壊熱除去機能(重要度の高いもの)	-	-	-	-
安全圧縮空気系(水素掃気機能)	-	-	-	-
非常用所内電源系統	-	-	-	-

※ a : 3時間以上の耐火能力を有する耐火壁で分離

b : 水平距離6mによる分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置

c : 1時間の耐火能力を有する隔壁等による分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置
再処理施設成功パスの詳細は、別紙2参照

9. 最重要設備以外の火災防護対象機器等への火災影響

機器名称[機器番号]	当該区画の火災評価※	隣接区画の火災評価※
-	-	-

※ ○:火災影響なし ×:火災影響あり

隣接する火災区画と火災伝播経路

(※ 有:伝播する 無:伝播しない)

隣接する 火災区画	火災伝播 経路有無	等価時間 (h)	耐火時間 (h)	火災伝播の 可能性 ※	備考
	無	1.5	3.0	無	
	有	1.5	0.0	有	
	無	1.5	3.0	無	
	有	1.5	0.0	有	
	有	1.5	0.0	有	
	有	1.5	0.0	有	

火災区域(区画)特性表

1. 火災区域(区画)の説明

建屋名	精製建屋
火災区域/区画区分	火災区画
火災区域/区画番号	■
火災区域/区画名称	南第11ダクト室
床面積(m ²)	■

2. 火災区域(区画)の火災シナリオの説明

■は、精製建屋内の火災区画である。
 本区画は、火災源となるものがないおよび安全上重要な施設が設置されていないため、安全機能の喪失のおそれはない。

3. 火災区域(区画)にある火災源

(1) 等価時間

発熱量(kJ)	火災荷重 (kJ/m ²)	等価時間(h) [※]
■	■	0.0

※ 等価時間は、内部火災影響評価ガイドの等価時間記載の値で示す。

(2) 火災区域(区画)にある火災源機器数

火災源	機器数
電動機(3.7kW超)	-
電気盤(440V以上)	-
ケーブルトレイ(ケーブル)	-
油脂類・有機溶媒等	-
その他	-

4. 火災区域(区画)にある防火設備

火災感知の手段	主要な消火設備	消火方法	消火設備のバックアップ
煙感知器	屋内消火栓	手動	粉末消火器

5. 火災区域(区画)に隣接する火災区域(区画)と火災伝播経路

隣接火災区画への火災伝播経路の詳細は、別紙1参照

6. 火災影響を受ける火災防護対象機器等

機器名称[機器番号]	最重要設備 [※]	最重要設備以外の安全上重要な施設 [※]
-	-	-

※ ○:対象 -:非対象

* 火災想定において、工程停止等により安全機能を必要としない状態へと移行が可能なもの。

7. 火災防護対象機器等の関連ケーブル

機器名称[機器番号]	ケーブル種別	安重分類
-	-	-

8. 最重要設備の安重機能への火災影響

安重分類	全焼時の成功パスの有無	回路評価等の考慮	結果	系統分離※
Pu・高レベル廃棄物の閉じ込め機能	-	-	-	-
崩壊熱除去機能(重要度の高いもの)	-	-	-	-
安全圧縮空気系(水素掃気機能)	-	-	-	-
非常用所内電源系統	-	-	-	-

※ a : 3時間以上の耐火能力を有する耐火壁で分離

b : 水平距離6mによる分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置

c : 1時間の耐火能力を有する隔壁等による分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置
再処理施設成功パスの詳細は、別紙2参照

9. 最重要設備以外の火災防護対象機器等への火災影響

機器名称[機器番号]	当該区画の火災評価※	隣接区画の火災評価※
-	-	-

※ ○:火災影響なし ×:火災影響あり

隣接する火災区画と火災伝播経路

(※ 有:伝播する 無:伝播しない)

隣接する 火災区画	火災伝播 経路有無	等価時間 (h)	耐火時間 (h)	火災伝播の 可能性 ※	備考
	無	0.0	1.0	無	
	有	0.0	0.0	無	
	無	0.0	3.0	無	
	無	0.0	3.0	無	
	無	0.0	3.0	無	
	無	0.0	1.0	無	
	有	0.0	0.0	無	
	無	0.0	1.0	無	
	有	0.0	0.0	無	

火災区域(区画)特性表

1. 火災区域(区画)の説明

建屋名	精製建屋
火災区域/区画区分	火災区画
火災区域/区画番号	■
火災区域/区画名称	第18保守室
床面積(m ²)	■

2. 火災区域(区画)の火災シナリオの説明

■は、精製建屋内の火災区画である。
 本区画は、火災源となるものがないおよび安全上重要な施設が設置されていないため、安全機能の喪失のおそれはない。

3. 火災区域(区画)にある火災源

(1) 等価時間

発熱量(kJ)	火災荷重(kJ/m ²)	等価時間(h) [※]
■	■	0.0

※ 等価時間は、内部火災影響評価ガイドの等価時間記載の値で示す。

(2) 火災区域(区画)にある火災源機器数

火災源	機器数
電動機(3.7kW超)	-
電気盤(440V以上)	-
ケーブルトレイ(ケーブル)	-
油脂類・有機溶媒等	-
その他	-

4. 火災区域(区画)にある防火設備

火災感知の手段	主要な消火設備	消火方法	消火設備のバックアップ
煙感知器	屋内消火栓	手動	粉末消火器

5. 火災区域(区画)に隣接する火災区域(区画)と火災伝播経路

隣接火災区画への火災伝播経路の詳細は、別紙1参照

6. 火災影響を受ける火災防護対象機器等

機器名称[機器番号]	最重要設備 [※]	最重要設備以外の安全上重要な施設 [※]
-	-	-

※ ○:対象 -:非対象

* 火災想定において、工程停止等により安全機能を必要としない状態へと移行が可能なもの。

7. 火災防護対象機器等の関連ケーブル

機器名称[機器番号]	ケーブル種別	安重分類
-	-	-

8. 最重要設備の安重機能への火災影響

安重分類	全焼時の成功パスの有無	回路評価等の考慮	結果	系統分離※
Pu・高レベル廃棄物の閉じ込め機能	-	-	-	-
崩壊熱除去機能(重要度の高いもの)	-	-	-	-
安全圧縮空気系(水素掃気機能)	-	-	-	-
非常用所内電源系統	-	-	-	-

※ a : 3時間以上の耐火能力を有する耐火壁で分離

b : 水平距離6mによる分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置

c : 1時間の耐火能力を有する隔壁等による分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置
再処理施設成功パスの詳細は、別紙2参照

9. 最重要設備以外の火災防護対象機器等への火災影響

機器名称[機器番号]	当該区画の火災評価※	隣接区画の火災評価※
-	-	-

※ ○:火災影響なし ×:火災影響あり

隣接する火災区画と火災伝播経路

(※ 有:伝播する 無:伝播しない)

隣接する火災区画	火災伝播経路有無	等価時間(h)	耐火時間(h)	火災伝播の可能性 ※	備考
	有	0.0	0.0	無	
	有	0.0	0.0	無	

火災区域(区画)特性表

1. 火災区域(区画)の説明

建屋名	精製建屋
火災区域/区画区分	火災区画
火災区域/区画番号	■
火災区域/区画名称	南第6ダクト室
床面積(m ²)	■

2. 火災区域(区画)の火災シナリオの説明

■は、精製建屋内の火災区画である。
 本区画は、火災源となるものがないおよび安全上重要な施設が設置されていないため、安全機能の喪失のおそれはない。

3. 火災区域(区画)にある火災源

(1) 等価時間

発熱量(kJ)	火災荷重 (kJ/m ²)	等価時間(h) [※]
■	■	0.5

※ 等価時間は、内部火災影響評価ガイドの等価時間記載の値で示す。

(2) 火災区域(区画)にある火災源機器数

火災源	機器数
電動機(3.7kW超)	-
電気盤(440V以上)	-
ケーブルトレイ(ケーブル)	-
油脂類・有機溶媒等	-
その他	-

4. 火災区域(区画)にある防火設備

火災感知の手段	主要な消火設備	消火方法	消火設備のバックアップ
煙感知器	屋内消火栓	手動	粉末消火器

5. 火災区域(区画)に隣接する火災区域(区画)と火災伝播経路

隣接火災区画への火災伝播経路の詳細は、別紙1参照

6. 火災影響を受ける火災防護対象機器等

機器名称[機器番号]	最重要設備 [※]	最重要設備以外の安全上重要な施設 [※]
-	-	-

※ ○:対象 -:非対象

* 火災想定において、工程停止等により安全機能を必要としない状態へと移行が可能なもの。

7. 火災防護対象機器等の関連ケーブル

機器名称[機器番号]	ケーブル種別	安重分類
-	-	-

8. 最重要設備の安重機能への火災影響

安重分類	全焼時の成功パスの有無	回路評価等の考慮	結果	系統分離※
Pu・高レベル廃棄物の閉じ込め機能	-	-	-	-
崩壊熱除去機能(重要度の高いもの)	-	-	-	-
安全圧縮空気系(水素掃気機能)	-	-	-	-
非常用所内電源系統	-	-	-	-

※ a : 3時間以上の耐火能力を有する耐火壁で分離

b : 水平距離6mによる分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置

c : 1時間の耐火能力を有する隔壁等による分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置
再処理施設成功パスの詳細は、別紙2参照

9. 最重要設備以外の火災防護対象機器等への火災影響

機器名称[機器番号]	当該区画の火災評価※	隣接区画の火災評価※
-	-	-

※ ○:火災影響なし ×:火災影響あり

隣接する火災区画と火災伝播経路

(※ 有:伝播する 無:伝播しない)

隣接する火災区画	火災伝播経路有無	等価時間(h)	耐火時間(h)	火災伝播の可能性※	備考
	無	0.5	1.0	無	
	無	0.5	1.0	無	
	無	0.5	1.0	無	
	無	0.5	1.0	無	
	無	0.5	3.0	無	
	無	0.5	3.0	無	
	無	0.5	1.0	無	
	無	0.5	1.0	無	
	無	0.5	1.0	無	
	無	0.5	1.0	無	
	無	0.5	1.0	無	
	無	0.5	3.0	無	
	無	0.5	3.0	無	
	無	0.5	3.0	無	
	無	0.5	1.0	無	
	無	0.5	1.0	無	
	無	0.5	3.0	無	

火災区域(区画)特性表

1. 火災区域(区画)の説明

建屋名	精製建屋
火災区域/区画区分	火災区画
火災区域/区画番号	■
火災区域/区画名称	計装ラック第9室
床面積(m ²)	■

2. 火災区域(区画)の火災シナリオの説明

■は、精製建屋内の火災区画である。
 本区画は、火災源となるものがないおよび安全上重要な施設が設置されていないため、安全機能の喪失のおそれはない。

3. 火災区域(区画)にある火災源

(1) 等価時間

発熱量(kJ)	火災荷重(kJ/m ²)	等価時間(h) [※]
■	■	0.5

※ 等価時間は、内部火災影響評価ガイドの等価時間記載の値で示す。

(2) 火災区域(区画)にある火災源機器数

火災源	機器数
電動機(3.7kW超)	-
電気盤(440V以上)	-
ケーブルトレイ(ケーブル)	-
油脂類・有機溶媒等	-
その他	-

4. 火災区域(区画)にある防火設備

火災感知の手段	主要な消火設備	消火方法	消火設備のバックアップ
煙感知器	屋内消火栓	手動	粉末消火器

5. 火災区域(区画)に隣接する火災区域(区画)と火災伝播経路

隣接火災区画への火災伝播経路の詳細は、別紙1参照

6. 火災影響を受ける火災防護対象機器等

機器名称[機器番号]	最重要設備 [※]	最重要設備以外の安全上重要な施設 [※]
-	-	-

※ ○:対象 -:非対象

* 火災想定において、工程停止等により安全機能を必要としない状態へと移行が可能なもの。

7. 火災防護対象機器等の関連ケーブル

機器名称[機器番号]	ケーブル種別	安重分類
-	-	-

8. 最重要設備の安重機能への火災影響

安重分類	全焼時の成功パスの有無	回路評価等の考慮	結果	系統分離※
Pu・高レベル廃棄物の閉じ込め機能	-	-	-	-
崩壊熱除去機能(重要度の高いもの)	-	-	-	-
安全圧縮空気系(水素掃気機能)	-	-	-	-
非常用所内電源系統	-	-	-	-

※ a : 3時間以上の耐火能力を有する耐火壁で分離

b : 水平距離6mによる分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置

c : 1時間の耐火能力を有する隔壁等による分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置
再処理施設成功パスの詳細は、別紙2参照

9. 最重要設備以外の火災防護対象機器等への火災影響

機器名称[機器番号]	当該区画の火災評価※	隣接区画の火災評価※
-	-	-

※ ○:火災影響なし ×:火災影響あり

隣接する火災区画と火災伝播経路

(※ 有:伝播する 無:伝播しない)

隣接する 火災区画	火災伝播 経路有無	等価時間 (h)	耐火時間 (h)	火災伝播の 可能性 ※	備考
	有	0.5	0.0	有	
	無	0.5	3.0	無	
	無	0.5	3.0	無	
	無	0.5	3.0	無	
	無	0.5	3.0	無	
	有	0.5	0.0	有	
	有	0.5	0.0	有	
	有	0.5	0.0	有	

火災区域(区画)特性表

1. 火災区域(区画)の説明

建屋名	精製建屋
火災区域/区画区分	火災区画
火災区域/区画番号	■
火災区域/区画名称	溶媒処理系廃ガス処理室
床面積(m ²)	■

2. 火災区域(区画)の火災シナリオの説明

■は、精製建屋内の火災区画である。
 本区画は、電動機絶縁物火災の発生可能性があるが、安全上重要な施設が設置されていないため、安全機能の喪失のおそれはない。

3. 火災区域(区画)にある火災源

(1) 等価時間

発熱量(kJ)	火災荷重(kJ/m ²)	等価時間(h) [※]
■	■	0.5

※ 等価時間は、内部火災影響評価ガイドの等価時間記載の値で示す。

(2) 火災区域(区画)にある火災源機器数

火災源	機器数
電動機(3.7kW超)	4
電気盤(440V以上)	-
ケーブルトレイ(ケーブル)	-
油脂類・有機溶媒等	-
その他	-

4. 火災区域(区画)にある防火設備

火災感知の手段	主要な消火設備	消火方法	消火設備のバックアップ
煙感知器	屋内消火栓	手動	粉末消火器

5. 火災区域(区画)に隣接する火災区域(区画)と火災伝播経路

隣接火災区画への火災伝播経路の詳細は、別紙1参照

6. 火災影響を受ける火災防護対象機器等

機器名称[機器番号]	最重要設備 [※]	最重要設備以外の安全上重要な施設 [※]
-	-	-

※ ○:対象 -:非対象

* 火災想定において、工程停止等により安全機能を必要としない状態へと移行が可能なもの。

7. 火災防護対象機器等の関連ケーブル

機器名称[機器番号]	ケーブル種別	安重分類
-	-	-

8. 最重要設備の安重機能への火災影響

安重分類	全焼時の成功パスの有無	回路評価等の考慮	結果	系統分離※
Pu・高レベル廃棄物の閉じ込め機能	-	-	-	-
崩壊熱除去機能(重要度の高いもの)	-	-	-	-
安全圧縮空気系(水素掃気機能)	-	-	-	-
非常用所内電源系統	-	-	-	-

※ a : 3時間以上の耐火能力を有する耐火壁で分離

b : 水平距離6mによる分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置

c : 1時間の耐火能力を有する隔壁等による分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置
再処理施設成功パスの詳細は、別紙2参照

9. 最重要設備以外の火災防護対象機器等への火災影響

機器名称[機器番号]	当該区画の火災評価※	隣接区画の火災評価※
-	-	-

※ ○:火災影響なし ×:火災影響あり

隣接する火災区画と火災伝播経路

(※ 有:伝播する 無:伝播しない)

隣接する 火災区画	火災伝播 経路有無	等価時間 (h)	耐火時間 (h)	火災伝播の 可能性 ※	備考
	有	0.5	0.0	有	
	有	0.5	0.0	有	
	無	0.5	3.0	無	
	無	0.5	3.0	無	
	有	0.5	0.0	有	
	有	0.5	0.0	有	
	有	0.5	0.0	有	

火災区域(区画)特性表

1. 火災区域(区画)の説明

建屋名	精製建屋
火災区域/区画区分	火災区画
火災区域/区画番号	■
火災区域/区画名称	地上5階廊下
床面積(m ²)	■

2. 火災区域(区画)の火災シナリオの説明

■は、精製建屋内の火災区画である。
 本区画は、火災源となるものがないおよび安全上重要な施設が設置されていないため、安全機能の喪失のおそれはない。

3. 火災区域(区画)にある火災源

(1) 等価時間

発熱量(kJ)	火災荷重 (kJ/m ²)	等価時間(h) [※]
■	■	0.5

※ 等価時間は、内部火災影響評価ガイドの等価時間記載の値で示す。

(2) 火災区域(区画)にある火災源機器数

火災源	機器数
電動機(3.7kW超)	-
電気盤(440V以上)	-
ケーブルトレイ(ケーブル)	-
油脂類・有機溶媒等	-
その他	-

4. 火災区域(区画)にある防火設備

火災感知の手段	主要な消火設備	消火方法	消火設備のバックアップ
煙感知器	屋内消火栓	手動	粉末消火器

5. 火災区域(区画)に隣接する火災区域(区画)と火災伝播経路

隣接火災区画への火災伝播経路の詳細は、別紙1参照

6. 火災影響を受ける火災防護対象機器等

機器名称[機器番号]	最重要設備 [※]	最重要設備以外の安全上重要な施設 [※]
-	-	-

※ ○:対象 -:非対象

* 火災想定において、工程停止等により安全機能を必要としない状態へと移行が可能なもの。

7. 火災防護対象機器等の関連ケーブル

機器名称[機器番号]	ケーブル種別	安重分類
-	-	-

8. 最重要設備の安重機能への火災影響

安重分類	全焼時の成功パスの有無	回路評価等の考慮	結果	系統分離※
Pu・高レベル廃棄物の閉じ込め機能	-	-	-	-
崩壊熱除去機能(重要度の高いもの)	-	-	-	-
安全圧縮空気系(水素掃気機能)	-	-	-	-
非常用所内電源系統	-	-	-	-

※ a : 3時間以上の耐火能力を有する耐火壁で分離

b : 水平距離6mによる分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置

c : 1時間の耐火能力を有する隔壁等による分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置
再処理施設成功パスの詳細は、別紙2参照

9. 最重要設備以外の火災防護対象機器等への火災影響

機器名称[機器番号]	当該区画の火災評価※	隣接区画の火災評価※
-	-	-

※ ○:火災影響なし ×:火災影響あり

隣接する火災区画と火災伝播経路

(※ 有:伝播する 無:伝播しない)

隣接する火災区画	火災伝播経路有無	等価時間(h)	耐火時間(h)	火災伝播の可能性※	備考
	無	0.5	3.0	無	
	無	0.5	3.0	無	
	無	0.5	3.0	無	
	有	0.5	0.0	有	
	有	0.5	0.0	有	
	無	0.5	1.0	無	
	有	0.5	0.0	有	
	有	0.5	0.0	有	
	有	0.5	0.0	有	

火災区域(区画)特性表

1. 火災区域(区画)の説明

建屋名	精製建屋
火災区域/区画区分	火災区画
火災区域/区画番号	■
火災区域/区画名称	南第3階段室地上5階附室
床面積(m ²)	■

2. 火災区域(区画)の火災シナリオの説明

■は、精製建屋内の火災区画である。
 本区画は、火災源となるものがないおよび安全上重要な施設が設置されていないため、安全機能の喪失のおそれはない。

3. 火災区域(区画)にある火災源

(1) 等価時間

発熱量(kJ)	火災荷重 (kJ/m ²)	等価時間(h) [※]
■	■	0.0

※ 等価時間は、内部火災影響評価ガイドの等価時間記載の値で示す。

(2) 火災区域(区画)にある火災源機器数

火災源	機器数
電動機(3.7kW超)	-
電気盤(440V以上)	-
ケーブルトレイ(ケーブル)	-
油脂類・有機溶媒等	-
その他	-

4. 火災区域(区画)にある防火設備

火災感知の手段	主要な消火設備	消火方法	消火設備のバックアップ
煙感知器	屋内消火栓	手動	粉末消火器

5. 火災区域(区画)に隣接する火災区域(区画)と火災伝播経路

隣接火災区画への火災伝播経路の詳細は、別紙1参照

6. 火災影響を受ける火災防護対象機器等

機器名称[機器番号]	最重要設備 [※]	最重要設備以外の安全上重要な施設 [※]
-	-	-

※ ○:対象 -:非対象

* 火災想定において、工程停止等により安全機能を必要としない状態へと移行が可能なもの。

7. 火災防護対象機器等の関連ケーブル

機器名称[機器番号]	ケーブル種別	安重分類
-	-	-

8. 最重要設備の安重機能への火災影響

安重分類	全焼時の成功パスの有無	回路評価等の考慮	結果	系統分離※
Pu・高レベル廃棄物の閉じ込め機能	-	-	-	-
崩壊熱除去機能(重要度の高いもの)	-	-	-	-
安全圧縮空気系(水素掃気機能)	-	-	-	-
非常用所内電源系統	-	-	-	-

※ a : 3時間以上の耐火能力を有する耐火壁で分離

b : 水平距離6mによる分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置

c : 1時間の耐火能力を有する隔壁等による分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置
再処理施設成功パスの詳細は、別紙2参照

9. 最重要設備以外の火災防護対象機器等への火災影響

機器名称[機器番号]	当該区画の火災評価※	隣接区画の火災評価※
-	-	-

※ ○:火災影響なし ×:火災影響あり

隣接する火災区画と火災伝播経路

(※ 有:伝播する 無:伝播しない)

隣接する 火災区画	火災伝播 経路有無	等価時間 (h)	耐火時間 (h)	火災伝播の 可能性 ※	備考
	無	0.0	1.0	無	
	無	0.0	1.0	無	
	無	0.0	1.0	無	
	無	0.0	1.0	無	
	無	0.0	1.0	無	

火災区域(区画)特性表

1. 火災区域(区画)の説明

建屋名	精製建屋
火災区域/区画区分	火災区画
火災区域/区画番号	■
火災区域/区画名称	第19保守室
床面積(m ²)	■

2. 火災区域(区画)の火災シナリオの説明

■は、精製建屋内の火災区画である。
 本区画は、火災源となるものがないおよび安全上重要な施設が設置されていないため、安全機能の喪失のおそれはない。

3. 火災区域(区画)にある火災源

(1) 等価時間

発熱量(kJ)	火災荷重(kJ/m ²)	等価時間(h) [※]
■	■	0.0

※ 等価時間は、内部火災影響評価ガイドの等価時間記載の値で示す。

(2) 火災区域(区画)にある火災源機器数

火災源	機器数
電動機(3.7kW超)	-
電気盤(440V以上)	-
ケーブルトレイ(ケーブル)	-
油脂類・有機溶媒等	-
その他	-

4. 火災区域(区画)にある防火設備

火災感知の手段	主要な消火設備	消火方法	消火設備のバックアップ
煙感知器	屋内消火栓	手動	粉末消火器

5. 火災区域(区画)に隣接する火災区域(区画)と火災伝播経路

隣接火災区画への火災伝播経路の詳細は、別紙1参照

6. 火災影響を受ける火災防護対象機器等

機器名称[機器番号]	最重要設備 [※]	最重要設備以外の安全上重要な施設 [※]
-	-	-

※ ○:対象 -:非対象

* 火災想定において、工程停止等により安全機能を必要としない状態へと移行が可能なもの。

7. 火災防護対象機器等の関連ケーブル

機器名称[機器番号]	ケーブル種別	安重分類
-	-	-

8. 最重要設備の安重機能への火災影響

安重分類	全焼時の成功パスの有無	回路評価等の考慮	結果	系統分離※
Pu・高レベル廃棄物の閉じ込め機能	-	-	-	-
崩壊熱除去機能(重要度の高いもの)	-	-	-	-
安全圧縮空気系(水素掃気機能)	-	-	-	-
非常用所内電源系統	-	-	-	-

※ a : 3時間以上の耐火能力を有する耐火壁で分離

b : 水平距離6mによる分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置

c : 1時間の耐火能力を有する隔壁等による分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置
再処理施設成功パスの詳細は、別紙2参照

9. 最重要設備以外の火災防護対象機器等への火災影響

機器名称[機器番号]	当該区画の火災評価※	隣接区画の火災評価※
-	-	-

※ ○:火災影響なし ×:火災影響あり

隣接する火災区画と火災伝播経路

(※ 有:伝播する 無:伝播しない)

隣接する 火災区画	火災伝播 経路有無	等価時間 (h)	耐火時間 (h)	火災伝播の 可能性 ※	備考
	有	0.0	0.0	無	
	有	0.0	0.0	無	

火災区域(区画)特性表

1. 火災区域(区画)の説明

建屋名	精製建屋
火災区域/区画区分	火災区画
火災区域/区画番号	■
火災区域/区画名称	エレベータ機械第1室
床面積(m ²)	■

2. 火災区域(区画)の火災シナリオの説明

■は、精製建屋内の火災区画である。
 本区画は、電動機絶縁物火災、潤滑油漏えい火災または、電気盤火災の発生の可能性があるが、安全上重要な施設が設置されていないため、安全機能の喪失のおそれはない。

3. 火災区域(区画)にある火災源

(1) 等価時間

発熱量(kJ)	火災荷重(kJ/m ²)	等価時間(h) [※]
■	■	0.5

※ 等価時間は、内部火災影響評価ガイドの等価時間記載の値で示す。

(2) 火災区域(区画)にある火災源機器数

火災源	機器数
電動機(3.7kW超)	1
電気盤(440V以上)	3
ケーブルトレイ(ケーブル)	-
油脂類・有機溶媒等	有
その他	-

4. 火災区域(区画)にある防火設備

火災感知の手段	主要な消火設備	消火方法	消火設備のバックアップ
煙感知器	屋内消火栓	手動	粉末消火器

5. 火災区域(区画)に隣接する火災区域(区画)と火災伝播経路

隣接火災区画への火災伝播経路の詳細は、別紙1参照

6. 火災影響を受ける火災防護対象機器等

機器名称[機器番号]	最重要設備 [※]	最重要設備以外の安全上重要な施設 [※]
-	-	-

※ ○:対象 -:非対象

* 火災想定において、工程停止等により安全機能を必要としない状態へと移行が可能なもの。

7. 火災防護対象機器等の関連ケーブル

機器名称[機器番号]	ケーブル種別	安重分類
-	-	-

8. 最重要設備の安重機能への火災影響

安重分類	全焼時の成功パスの有無	回路評価等の考慮	結果	系統分離※
Pu・高レベル廃棄物の閉じ込め機能	-	-	-	-
崩壊熱除去機能(重要度の高いもの)	-	-	-	-
安全圧縮空気系(水素掃気機能)	-	-	-	-
非常用所内電源系統	-	-	-	-

※ a : 3時間以上の耐火能力を有する耐火壁で分離

b : 水平距離6mによる分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置

c : 1時間の耐火能力を有する隔壁等による分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置
再処理施設成功パスの詳細は、別紙2参照

9. 最重要設備以外の火災防護対象機器等への火災影響

機器名称[機器番号]	当該区画の火災評価※	隣接区画の火災評価※
-	-	-

※ ○:火災影響なし ×:火災影響あり

隣接する火災区画と火災伝播経路

(※ 有:伝播する 無:伝播しない)

隣接する火災区画	火災伝播経路有無	等価時間(h)	耐火時間(h)	火災伝播の可能性※	備考
	無	0.5	1.0	無	
	無	0.5	3.0	無	
	無	0.5	1.0	無	

火災区域(区画)特性表

1. 火災区域(区画)の説明

建屋名	精製建屋
火災区域/区画区分	火災区画
火災区域/区画番号	■
火災区域/区画名称	TBP貯槽室
床面積(m ²)	■

2. 火災区域(区画)の火災シナリオの説明

■は、精製建屋内の火災区画である。
 本区画は、火災源となるものがないおよび安全上重要な施設が金属等の不燃材で構成され火災影響を受けないことから、安全機能の喪失のおそれがない。

3. 火災区域(区画)にある火災源

(1) 等価時間

発熱量(kJ)	火災荷重 (kJ/m ²)	等価時間(h) [※]
■	■	1.0

※ 等価時間は、内部火災影響評価ガイドの等価時間記載の値で示す。

(2) 火災区域(区画)にある火災源機器数

火災源	機器数
電動機(3.7kW超)	-
電気盤(440V以上)	-
ケーブルトレイ(ケーブル)	-
油脂類・有機溶媒等	-
その他	-

4. 火災区域(区画)にある防火設備

火災感知の手段	主要な消火設備	消火方法	消火設備のバックアップ
煙感知器	屋内消火栓	手動	粉末消火器

5. 火災区域(区画)に隣接する火災区域(区画)と火災伝播経路

隣接火災区画への火災伝播経路の詳細は、別紙1参照

6. 火災影響を受ける火災防護対象機器等

機器名称[機器番号]	最重要設備 [※]	最重要設備以外の安全上重要な施設 [※]
-	-	-

※ ○:対象 -:非対象

* 火災想定において、工程停止等により安全機能を必要としない状態へと移行が可能なもの。

7. 火災防護対象機器等の関連ケーブル

機器名称[機器番号]	ケーブル種別	安重分類
-	-	-

8. 最重要設備の安重機能への火災影響

安重分類	全焼時の成功パスの有無	回路評価等の考慮	結果	系統分離※
Pu・高レベル廃棄物の閉じ込め機能	-	-	-	-
崩壊熱除去機能(重要度の高いもの)	-	-	-	-
安全圧縮空気系(水素掃気機能)	-	-	-	-
非常用所内電源系統	-	-	-	-

※ a : 3時間以上の耐火能力を有する耐火壁で分離

b : 水平距離6mによる分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置

c : 1時間の耐火能力を有する隔壁等による分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置
再処理施設成功パスの詳細は、別紙2参照

9. 最重要設備以外の火災防護対象機器等への火災影響

機器名称[機器番号]	当該区画の火災評価※	隣接区画の火災評価※
-	-	-

※ ○:火災影響なし ×:火災影響あり

隣接する火災区画と火災伝播経路

(※ 有:伝播する 無:伝播しない)

隣接する火災区画	火災伝播経路有無	等価時間(h)	耐火時間(h)	火災伝播の可能性※	備考
	無	1.0	3.0	無	
	無	1.0	3.0	無	
	無	1.0	3.0	無	
	無	1.0	3.0	無	

火災区域(区画)特性表

1. 火災区域(区画)の説明

建屋名	精製建屋
火災区域/区画区分	火災区画
火災区域/区画番号	■
火災区域/区画名称	硝酸13.6N貯槽室
床面積(m ²)	■

2. 火災区域(区画)の火災シナリオの説明

■は、精製建屋内の火災区画である。
 本区画は、火災源となるものがないおよび安全上重要な施設が設置されていないため、安全機能の喪失のおそれはない。

3. 火災区域(区画)にある火災源

(1) 等価時間

発熱量(kJ)	火災荷重(kJ/m ²)	等価時間(h) [※]
■	■	0.5

※ 等価時間は、内部火災影響評価ガイドの等価時間記載の値で示す。

(2) 火災区域(区画)にある火災源機器数

火災源	機器数
電動機(3.7kW超)	-
電気盤(440V以上)	-
ケーブルトレイ(ケーブル)	-
油脂類・有機溶媒等	-
その他	-

4. 火災区域(区画)にある防火設備

火災感知の手段	主要な消火設備	消火方法	消火設備のバックアップ
煙感知器	屋内消火栓	手動	粉末消火器

5. 火災区域(区画)に隣接する火災区域(区画)と火災伝播経路

隣接火災区画への火災伝播経路の詳細は、別紙1参照

6. 火災影響を受ける火災防護対象機器等

機器名称[機器番号]	最重要設備 [※]	最重要設備以外の安全上重要な施設 [※]
-	-	-

※ ○:対象 -:非対象

* 火災想定において、工程停止等により安全機能を必要としない状態へと移行が可能なもの。

7. 火災防護対象機器等の関連ケーブル

機器名称[機器番号]	ケーブル種別	安重分類
-	-	-

8. 最重要設備の安重機能への火災影響

安重分類	全焼時の成功パスの有無	回路評価等の考慮	結果	系統分離※
Pu・高レベル廃棄物の閉じ込め機能	-	-	-	-
崩壊熱除去機能(重要度の高いもの)	-	-	-	-
安全圧縮空気系(水素掃気機能)	-	-	-	-
非常用所内電源系統	-	-	-	-

※ a : 3時間以上の耐火能力を有する耐火壁で分離

b : 水平距離6mによる分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置

c : 1時間の耐火能力を有する隔壁等による分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置
再処理施設成功パスの詳細は、別紙2参照

9. 最重要設備以外の火災防護対象機器等への火災影響

機器名称[機器番号]	当該区画の火災評価※	隣接区画の火災評価※
-	-	-

※ ○:火災影響なし ×:火災影響あり

隣接する火災区画と火災伝播経路

(※ 有:伝播する 無:伝播しない)

隣接する 火災区画	火災伝播 経路有無	等価時間 (h)	耐火時間 (h)	火災伝播の 可能性 ※	備考
	無	0.5	3.0	無	
	無	0.5	3.0	無	
	無	0.5	3.0	無	
	無	0.5	3.0	無	
	無	0.5	3.0	無	
	無	0.5	3.0	無	
	無	0.5	3.0	無	
	無	0.5	3.0	無	

火災区域(区画)特性表

1. 火災区域(区画)の説明

建屋名	精製建屋
火災区域/区画区分	火災区域
火災区域/区画番号	AC-20/
火災区域/区画名称	プラトニウム系塔槽類廃ガス処理室
床面積(m ²)	

2. 火災区域(区画)の火災シナリオの説明

AC-20は、精製建屋内の火災区域である。
 本区画には、最重要設備としてA/B系の排風機が設置されている。
 本区画の火災源は、電動機、潤滑油である。
 したがって、本区画の想定火災としては、電動機絶縁物火災または、潤滑油漏えい火災により、多重化された安全上重要な施設のA/B系の排風機が火災影響を受け、安全機能が喪失するおそれがあるが、最重要設備は系統分離(3時間耐火壁により分離又は1時間耐火壁、火災感知設備及び自動消火設備の設置)により分離されていることから、多重化された安全上重要な施設の安全機能が同時に喪失することはない。

3. 火災区域(区画)にある火災源

(1) 等価時間

発熱量(kJ)	火災荷重(kJ/m ²)	等価時間(h) [※]
		0.5

※ 等価時間は、内部火災影響評価ガイドの等価時間記載の値で示す。

(2) 火災区域(区画)にある火災源機器数

火災源	機器数
電動機(3.7kW超)	4
電気盤(440V以上)	-
ケーブルトレイ(ケーブル)	-
油脂類・有機溶媒等	有
その他	-

4. 火災区域(区画)にある防火設備

火災感知の手段	主要な消火設備	消火方法	消火設備のバックアップ
煙感知器 熱感知器	ハロゲン化物消火 設備(全域)	自動	粉末消火器

5. 火災区域(区画)に隣接する火災区域(区画)と火災伝播経路

隣接火災区画への火災伝播経路の詳細は、別紙1参照

6. 火災影響を受ける火災防護対象機器等

機器名称[機器番号]	最重要設備 [※]	最重要設備以外の安全上重要な施設 [※]
排風機A	○	-
排風機E	○	-
排風機A	○	-
排風機E	○	-

※ ○:対象 -:非対象

* 火災想定において、工程停止等により安全機能を必要としない状態へと移行が可能なもの。

7. 火災防護対象機器等の関連ケーブル

機器名称[機器番号]	ケーブル種別	安重分類
-	-	-

8. 最重要設備の安重機能への火災影響

安重分類	全焼時の成功パスの有無	回路評価等の考慮	結果	系統分離※
Pu・高レベル廃棄物の閉じ込め機能	無	-	×	c
崩壊熱除去機能(重要度の高いもの)	-	-	-	-
安全圧縮空気系(水素掃気機能)	-	-	-	-
非常用所内電源系統	-	-	-	-

※ a : 3時間以上の耐火能力を有する耐火壁で分離

b : 水平距離6mによる分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置

c : 1時間の耐火能力を有する隔壁等による分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置
再処理施設成功パスの詳細は、別紙2参照

9. 最重要設備以外の火災防護対象機器等への火災影響

機器名称[機器番号]	当該区画の火災評価※	隣接区画の火災評価※
-	-	-

※ ○:火災影響なし ×:火災影響あり

隣接する火災区画と火災伝播経路

(※ 有:伝播する 無:伝播しない)

隣接する 火災区画	火災伝播 経路有無	等価時間 (h)	耐火時間 (h)	火災伝播の 可能性 ※	備考
	無	0.5	3.0	無	
	無	0.5	3.0	無	
	無	0.5	3.0	無	
	無	0.5	3.0	無	
	無	0.5	3.0	無	
	無	0.5	3.0	無	

再処理施設成功パス一覧表

建屋	精製建屋	
区域(区画)番号/名称		プルトニウム系塔槽類廃ガス処理室
1.放射性物質の閉じ込め機能(動的な閉じ込め機能)		
	[A]レン設備	[B]レン設備
前処理建屋 せん断処理・溶解廃ガス処理設備	排風機A	前処理建屋 せん断処理・溶解廃ガス処理設備
	排風機C	排風機B
前処理建屋 塔槽類廃ガス処理設備	排風機A	前処理建屋 塔槽類廃ガス処理設備
	排風機A	排風機B
前処理建屋換気設備 溶解セル等からの排気系	セル排風機A	前処理建屋換気設備 溶解セル等からの排気系
	溶解槽セルA排風機A	セル排風機B
	溶解槽セルB排風機A	溶解槽セルA排風機B
高レベル廃液ガラス固化建屋 高レベル廃液ガラス固化廃ガス処理設備	第1排風機A	高レベル廃液ガラス固化建屋 高レベル廃液ガラス固化廃ガス処理設備
	第2排風機A	第1排風機B
高レベル廃液ガラス固化建屋 塔槽類廃ガス処理設備 高レベル濃縮廃液廃ガス処理系	排風機A	高レベル廃液ガラス固化建屋 塔槽類廃ガス処理設備 高レベル濃縮廃液廃ガス処理系
	排風機A	排風機B
高レベル廃液ガラス固化建屋 塔槽類廃ガス処理設備 不溶解残渣廃液廃ガス処理系	排風機A	高レベル廃液ガラス固化建屋 塔槽類廃ガス処理設備 不溶解残渣廃液廃ガス処理系
	排風機A	排風機B
高レベル濃縮廃液貯槽セル等からの排気系固化セル換気系及び固化セル圧力放出系	セル排風機A	高レベル濃縮廃液貯槽セル等からの排気系固化セル換気系及び固化セル圧力放出系
	固化セル換気系排風機A	セル排風機B
分離建屋 塔槽類廃ガス処理設備 バルセータ廃ガス処理系	排風機A	分離建屋 塔槽類廃ガス処理設備 バルセータ廃ガス処理系
	排風機A	排風機B
分離建屋 塔槽類廃ガス処理設備 塔槽類廃ガス処理系	排風機A	分離建屋 塔槽類廃ガス処理設備 塔槽類廃ガス処理系
	排風機A	排風機B
分離建屋換気設備 プルトニウム溶液中間貯槽セル等からの排気系	グループボックス・セル排風機A	分離建屋換気設備 プルトニウム溶液中間貯槽セル等からの排気系
	グループボックス・セル排風機A	グループボックス・セル排風機B
精製建屋 塔槽類廃ガス処理設備 バルセータ廃ガス処理系	排風機A	精製建屋 塔槽類廃ガス処理設備 バルセータ廃ガス処理系
	排風機A	排風機B
精製建屋 塔槽類廃ガス処理設備 塔槽類廃ガス処理系(プルトニウム系)	排風機A	精製建屋 塔槽類廃ガス処理設備 塔槽類廃ガス処理系(プルトニウム系)
	排風機A	排風機B
精製建屋換気設備 プルトニウム濃縮缶セル等及びグループボックス等からの排気系	グループボックス・セル排風機A	精製建屋換気設備 プルトニウム濃縮缶セル等及びグループボックス等からの排気系
	グループボックス・セル排風機A	グループボックス・セル排風機B
ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋 塔槽類廃ガス処理設備	第1排風機A	ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋 塔槽類廃ガス処理設備
	第2排風機A	第1排風機B
	第2排風機C	第2排風機B
ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋 硝酸プルトニウム貯槽セル等及びグループボックス等からの排気系	グループボックス・セル排風機A	ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋 硝酸プルトニウム貯槽セル等及びグループボックス等からの排気系
	グループボックス・セル排風機C	グループボックス・セル排風機B
X		X
1パス	X	
回路評価等	-	
成功パス	X(系統分離対策)	

凡例	
x	〇〇〇〇-〇〇〇〇〇〇〇〇A 〇〇〇〇-〇〇〇〇〇〇〇〇A x : 当該室の火災により安全機能を喪失する機器がある場合 空欄 : 当該室に設置していない機器
1パス	- : 当該室に対象なし 〇 : 当該室の火災により対応する安全機能が1系統残る場合 x : 当該室の火災により対応する安全機能がすべて喪失する場合
回路評価等	- : 当該室に回路評価等を行う対象なし 〇 : 回路評価等により、対応する安全機能が確保される場合
成功パス	- : 当該室に対象なし 〇 : 当該室の火災により対応する安全機能が1系統残る場合 x : 当該室の火災により対応する安全機能がすべて喪失する場合

再処理施設成功パス一覧表

2. 崩壊熱除去機能		[A]レン設備	[B]レン設備
冷却設備	安全冷却水系		冷却設備
	安全冷却水A冷却塔		安全冷却水B冷却塔
前処理建屋	冷却設備	安全冷却水系	前処理建屋
	安全冷却水A循環ポンプA		安全冷却水B循環ポンプA
	安全冷却水A循環ポンプB		安全冷却水B循環ポンプB
	安全冷却水1AポンプA		安全冷却水1BポンプA
	安全冷却水1AポンプB		安全冷却水1BポンプB
分離建屋	冷却設備	安全冷却水系	分離建屋
	冷却水循環ポンプA		冷却水循環ポンプC
	冷却水循環ポンプB		冷却水循環ポンプD
	安全冷却水1AポンプA		安全冷却水1BポンプA
	安全冷却水1AポンプB		安全冷却水1BポンプB
精製建屋	冷却設備	安全冷却水系	精製建屋
	安全冷却水AポンプA		安全冷却水BポンプA
	安全冷却水AポンプB		安全冷却水BポンプB
ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋	冷却設備	安全冷却水系	ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋
	冷水移送ポンプA		冷水移送ポンプC
	冷水移送ポンプB		冷水移送ポンプD
高レベル廃液ガラス固化建屋	冷却設備	安全冷却水系	高レベル廃液ガラス固化建屋
	第1高レベル濃縮廃液貯槽冷却水AポンプA		第1高レベル濃縮廃液貯槽冷却水BポンプA
	第1高レベル濃縮廃液貯槽冷却水AポンプB		第1高レベル濃縮廃液貯槽冷却水BポンプB
	第2高レベル濃縮廃液貯槽冷却水AポンプA		第2高レベル濃縮廃液貯槽冷却水BポンプA
	第2高レベル濃縮廃液貯槽冷却水AポンプB		第2高レベル濃縮廃液貯槽冷却水BポンプB
	安全冷却水A系ポンプA		安全冷却水B系ポンプA
	安全冷却水A系ポンプB		安全冷却水B系ポンプB
	高レベル廃液共用貯槽冷却水AポンプA		高レベル廃液共用貯槽冷却水BポンプA
	高レベル廃液共用貯槽冷却水AポンプB		高レベル廃液共用貯槽冷却水BポンプB
	安全冷却水A系ポンプA		安全冷却水B系ポンプA
	安全冷却水A系ポンプB		安全冷却水B系ポンプB
	安全冷水A冷却器冷媒膨張弁A		安全冷水B冷却器冷媒膨張弁A
	安全冷水A冷却器冷媒膨張弁B		安全冷水B冷却器冷媒膨張弁B
	安全冷水A冷却器冷媒止弁A		安全冷水B冷却器冷媒止弁A
	安全冷水A冷却器冷媒止弁B		安全冷水B冷却器冷媒止弁B
	安全冷却水1AポンプA		安全冷却水1BポンプA
	安全冷却水1AポンプB		安全冷却水1BポンプB
	安全冷水AポンプA		安全冷水BポンプA
	安全冷水AポンプB		安全冷水BポンプB
	安全冷水A冷凍機		安全冷水B冷凍機
	スクリーンプラント		スクリーンプラント
	スクリーンプラント		スクリーンプラント
ウラン・プルトニウム混合酸化物貯蔵建屋	換気設備	貯蔵室排気系	ウラン・プルトニウム混合酸化物貯蔵建屋
	貯蔵室排風機A		貯蔵室排風機C
	貯蔵室排風機B		貯蔵室排風機D
-			-
	1パス	-	
	回路評価等	-	
	成功パス	-	

3. 安全圧縮空気系(水素捕集機能)		[A]レン設備	[B]レン設備
安全圧縮空気系			安全圧縮空気系
	安全空気圧縮装置A		安全空気圧縮装置B
	安全空気圧縮装置C		安全空気圧縮装置C
-			-
	1パス	-	
	回路評価等	-	
	成功パス	-	

再処理施設成功パス一覧表

4.非常用所内電源系統(支援機能)		[A]レイン設備	[B]レイン設備
非常用電源建屋冷却水設備		8111A-C20 冷却塔A	8111B-C20 冷却塔B
		8111A-P2010 冷却水循環ポンプA	8111B-P2010 冷却水循環ポンプB
非常用電源建屋の電気設備		GA-M/C-A 6.9kV非常用メタグラ	GA-M/C-B 6.9kV非常用メタグラB
		GA-MCC-A 460V非常用コントロールセンタ	GA-MCC-B 460V非常用コントロールセンタB
		8111A-X10 ディーゼル機関A	8111B-X10 ディーゼル機関B
		8111A-X11 同期発電機A	8111B-X11 同期発電機B
		8111A-P4011 燃料油移送ポンプA	8111B-P4011 燃料油移送ポンプB
		GA-BAT-A 110V第2非常用蓄電池A	GA-BAT-B 110V第2非常用蓄電池B
		GA-CHG-A 110V非常用充電器A	GA-CHG-B 110V非常用充電器B
		GA-DCD-A 110V非常用直流主分電盤A	GA-DCD-B 110V非常用直流主分電盤B
		GA-CHG-E 110V非常用予備充電器E	GA-CHG-E 110V非常用予備充電器E
		GA-E-K011A 非常用電気設備リレー盤A1	GA-E-K013B 非常用電気設備リレー盤B1
		GA-E-K012A 非常用電気設備リレー盤A2	GA-E-K014B 非常用電気設備リレー盤B2
		8111A-V40 燃料油貯蔵タンク1A	8111B-V40 燃料油貯蔵タンク1B
		8111A-V41 燃料油貯蔵タンク2A	8111B-V41 燃料油貯蔵タンク2B
		GA-E-M011A 第2非常用ディーゼル発電機A制御盤	GA-E-M012B 第2非常用ディーゼル発電機B制御盤
		GA-PTR-A 非常用動力用変圧器A	GA-PTR-B 非常用動力用変圧器B
		8111A-V42 燃料油サービスタングA	8111B-V42 燃料油サービスタングB
		8111A-F4210 燃料油第1フィルタA	8111B-F4210 燃料油第1フィルタB
		8111A-F4230 燃料油第2フィルタA	8111B-F4230 燃料油第2フィルタB
		GA-E-S011A 第2非常用ディーゼル発電機ターニング現場盤A	GA-E-S012B 第2非常用ディーゼル発電機ターニング現場盤B
		GA-E-U011A 第2非常用ディーゼル発電機CT盤A	GA-E-U012B 第2非常用ディーゼル発電機CT盤B
		GA-I-K011A ユーティリティ工程 安全系A制御盤(リレー盤)	GA-I-K012B ユーティリティ工程 安全系B制御盤(リレー盤)
制御建屋の電気設備		AG-M/C-A 6.9kV非常用メタグラ	AG-M/C-B 6.9kV非常用メタグラB
		AG-P/C-A 460V非常用パワーセンタ	AG-P/C-B 460V非常用パワーセンタB
		AG-MCC-A1 460V非常用コントロールセンタA1	AG-MCC-B1 460V非常用コントロールセンタB1
		AG-MCC-A2 460V非常用コントロールセンタA2	AG-MCC-B2 460V非常用コントロールセンタB2
		AG-I-F201A 前処理建屋 安全系A監視制御盤	AG-I-F202B 前処理建屋 安全系B監視制御盤
		AG-I-F203A 分離建屋 安全系A監視制御盤	AG-I-F204B 分離建屋 安全系B監視制御盤
		AG-I-F205A 精製建屋 安全系A監視制御盤	AG-I-F206B 精製建屋 安全系B監視制御盤
		AG-I-F211A フラン・フルトウム混合脱硝建屋 安全系A監視制御盤	AG-I-F212B フラン・フルトウム混合脱硝建屋 安全系B監視制御盤
		AG-I-F213A 高レベル廃液ガラス固化建屋 安全系A監視制御盤	AG-I-F214B 高レベル廃液ガラス固化建屋 安全系B監視制御盤
		AG-BAT-A1 110V第2非常用蓄電池A1	AG-BAT-B1 110V第2非常用蓄電池B1
		AG-BAT-A2 220V第2非常用蓄電池A2	AG-BAT-B2 220V第2非常用蓄電池B2
		AG-CHG-A 110V非常用充電器A	AG-CHG-B 110V非常用充電器B
		AG-CHG-E 110V非常用予備充電器E	AG-CHG-E 110V非常用予備充電器E
		AG-DCD-A 110V非常用直流主分電盤A	AG-DCD-B 110V非常用直流主分電盤B
		AG-UPS-A 105V非常用無停電電源装置A	AG-UPS-B 105V非常用無停電電源装置B
		AG-UPD-A 105V非常用無停電交流主分電盤A	AG-UPD-B 105V非常用無停電交流主分電盤B
前処理建屋の電気設備		AA-M/C-A 6.9kV非常用メタグラ	AA-M/C-B 6.9kV非常用メタグラB
		AA-P/C-A 460V非常用パワーセンタ	AA-P/C-B 460V非常用パワーセンタB
		AA-MCC-A1 460V非常用コントロールセンタA1	AA-MCC-B1 460V非常用コントロールセンタB1
		AA-MCC-A2 460V非常用コントロールセンタA2	AA-MCC-B2 460V非常用コントロールセンタB2
		AA-MCC-A3 460V非常用コントロールセンタA3	
		AA-BAT-A 110V第2非常用蓄電池A	AA-BAT-B 110V第2非常用蓄電池B
		AA-CHG-A 110V非常用充電器A	AA-CHG-B 110V非常用充電器B
		AA-CHG-E 110V非常用予備充電器E	AA-CHG-E 110V非常用予備充電器E
		AA-DCD-A 110V非常用直流主分電盤A	AA-DCD-B 110V非常用直流主分電盤B
		AA-UPS-A 105V非常用無停電電源装置A	AA-UPS-B 105V非常用無停電電源装置B
		AA-UPD-A 105V非常用無停電交流主分電盤A	AA-UPD-B 105V非常用無停電交流主分電盤B
		AA-I-M171A 圧縮空気設備 安全空気脱濁装置A現場監視制御盤	AA-I-M172B 圧縮空気設備 安全空気脱濁装置B現場監視制御盤
		AA-I-M166A 圧縮空気設備 安全空気圧縮装置A現場監視制御盤	AA-I-M167B 圧縮空気設備 安全空気圧縮装置B現場監視制御盤
		AA-I-M176A 圧縮空気設備 安全空気圧縮装置C現場制御回路分離盤A	AA-I-M177B 圧縮空気設備 安全空気圧縮装置C現場制御回路分離盤B
		AA-I-M169C 圧縮空気設備 安全空気圧縮装置C現場制御電源切替盤	AA-I-M169C 圧縮空気設備 安全空気圧縮装置C現場制御電源切替盤
		AA-I-M168C 圧縮空気設備 安全空気圧縮装置C現場監視制御盤	AA-I-M168C 圧縮空気設備 安全空気圧縮装置C現場監視制御盤
		AA-I-K701A ほう素除去工程排風機A制御盤	AA-I-K702B ほう素除去工程排風機B制御盤
		AA-I-K703C ほう素除去工程排風機C制御盤	AA-I-K703C ほう素除去工程排風機C制御盤
		AA-I-X710C ほう素除去工程 C系統電源切替盤	AA-I-X710C ほう素除去工程 C系統電源切替盤
		AA-I-1012A ユーティリティ工程 安全系A制御盤1(リレー盤2)	AA-I-1062B ユーティリティ工程 安全系B制御盤1(リレー盤2)
		AA-I-1013A ユーティリティ工程 安全系A制御盤2(リレー盤3)	AA-I-1063B ユーティリティ工程 安全系B制御盤2(リレー盤3)
		AA-I-1031A ほう素除去工程 安全系A制御盤1	AA-I-1081B ほう素除去工程 安全系B制御盤1
		AA-I-1032A ほう素除去工程 安全系A制御盤2	AA-I-1082B ほう素除去工程 安全系B制御盤2
		AA-I-1033A ほう素除去工程 安全系A制御盤3	AA-I-1083B ほう素除去工程 安全系B制御盤3
		AA-LPD-A2 溶解槽セルA排風機A極数変換盤	AA-LPD-B2 溶解槽セルA排風機B極数変換盤
		AA-LPD-A3 溶解槽セルB排風機A極数変換盤	AA-LPD-B3 溶解槽セルB排風機B極数変換盤
		AA-LPD-A21 セル排風機A極数変換盤	AA-LPD-B21 セル排風機B極数変換盤
分離建屋の非常用所内電源系統		AB-P/C-A 460V非常用パワーセンタ	AB-P/C-B 460V非常用パワーセンタB
		AB-MCC-A 460V非常用コントロールセンタ	AB-MCC-B 460V非常用コントロールセンタB
		AB-CHG-A 110V非常用充電器A	AB-CHG-B 110V非常用充電器B
		AB-CHG-E 110V非常用予備充電器E	AB-CHG-E 110V非常用予備充電器E
		AB-BAT-A 110V第2非常用蓄電池A	AB-BAT-B 110V第2非常用蓄電池B
		AB-DCD-A 110V非常用直流主分電盤A	AB-DCD-B 110V非常用直流主分電盤B
		AB-UPS-A 105V非常用無停電電源装置A	AB-UPS-B 105V非常用無停電電源装置B
		AB-UPD-A1 105V非常用無停電交流主分電盤A1	AB-UPD-B1 105V非常用無停電交流主分電盤A1
		AB-UPD-A2 105V非常用無停電交流主分電盤A2	AB-UPD-B2 105V非常用無停電交流主分電盤A2
		AB-I-1180A ユーティリティ工程 安全系A制御盤1	AB-I-1183B ユーティリティ工程 安全系B制御盤1
		AB-I-1181A ユーティリティ工程 安全系A制御盤2	AB-I-1184B ユーティリティ工程 安全系B制御盤2
		AB-I-1182A ユーティリティ工程 安全系A制御盤3	AB-I-1185B ユーティリティ工程 安全系B制御盤3
		AB-I-1033A 分離・分配工程 安全系A制御盤1	AB-I-1036B 分離・分配工程 安全系B制御盤1
		AB-I-1034A 分離・分配工程 安全系A制御盤2	AB-I-1037B 分離・分配工程 安全系B制御盤2
		AB-I-1035A 分離・分配工程 安全系A制御盤3	AB-I-1038B 分離・分配工程 安全系B制御盤3
		AB-V-1100A 建屋換気設備 安全系A制御盤	AB-V-1101B 建屋換気設備 安全系B制御盤
-			
1パス		-	
回路評価等		-	
成功パス		-	

再処理施設成功パス一覧表

4.支援機能(継ぎ)		[A]レン設備	[B]レン設備
精製建屋の電気設備			精製建屋の電気設備
AC-BAT-A	110V第2非常用蓄電池A		AC-BAT-B
AC-CHG-A	110V非常用充電器盤A		AC-CHG-B
AC-CHG-E	110V非常用予備充電器盤E		AC-CHG-E
AC-DCD-A	110V非常用直流主分電盤A		AC-DCD-B
AC-MCC-A1	460V非常用コントロールセンタA1		AC-MCC-B1
AC-MCC-A2	460V非常用コントロールセンタA2		AC-MCC-B2
AC-P/C-A	460V非常用パワーセンタA		AC-P/C-B
AC-UPD-A	105V非常用無停電交流主分電盤A		AC-UPD-B
AC-UPS-A	105V非常用無停電電源装置A		AC-UPS-B
AC-I-1451A	ユーティリティ工程 安全系A制御盤(リレー盤)		AC-I-1461B
AC-E-1452A	非常用電気設備リレー盤A		AC-E-1462B
AC-V-1453A	建屋換気設備安全系A制御盤		AC-V-1463B
AC-I-1752A	フルトニウム精製工程 安全系A 制御盤3		AC-I-1755B
ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋の非常用所内電源系統			ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋の非常用所内電源系統
CA-P/C-A	460V非常用パワーセンタA		CA-P/C-B
CA-MCC-A1	460V非常用コントロールセンタA1		CA-MCC-B1
CA-MCC-A2	460V非常用コントロールセンタA2		CA-MCC-B2
CA-M/C-A	6.9kV非常用メタグラA		CA-M/C-B
CA-E-K503A	非常用電気設備リレー盤A		CA-E-K603B
CA-I-1501A	安全系A制御盤		CA-I-1601B
CA-V-1502A	建屋換気設備安全系A制御盤		CA-V-1602B
CA-CHG-A	110V非常用充電器盤A		CA-CHG-B
CA-CHG-E	110V非常用予備充電器盤E		CA-CHG-E
CA-DCD-A	110V非常用直流主分電盤A		CA-DCD-B
CA-UPD-A	105V非常用無停電交流主分電盤A		CA-UPD-B
CA-I-UPS-A	105V非常用無停電電源装置A		CA-I-UPS-B
CA-BAT-A	110V第2非常用蓄電池A		CA-BAT-B
ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋の非常用所内電源系統			ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋の非常用所内電源系統
CB-P/C-A	460V非常用パワーセンタA		CB-P/C-B
CB-E-1101A	非常用電気設備リレー盤A		CB-E-1102B
CA-V-1001A	建屋換気設備安全系A制御盤		CA-V-1002B
CB-BAT-A	110V第2非常用蓄電池A		CB-BAT-B
CB-CHG-A	110V非常用充電器盤A		CB-CHG-B
CB-DCD-A	110V非常用直流主分電盤A		CB-DCD-B
CB-MCC-A	460V非常用コントロールセンタA		CB-MCC-B
CB-UPS-A	105V非常用無停電電源装置A		CB-UPS-B
CB-CHG-E	110V非常用予備充電器盤E		CB-CHG-E
高レベル廃液ガラス固化建屋の電気設備			高レベル廃液ガラス固化建屋の電気設備
KA-P/C-A	460V非常用パワーセンタA		KA-P/C-B
KA-BAT-A	110V第2非常用蓄電池A		KA-BAT-B
KA-CHG-A	110V非常用充電器盤A		KA-CHG-B
KA-CHG-E	110V非常用予備充電器盤E		KA-CHG-E
KA-DCD-A	110V非常用直流主分電盤A		KA-DCD-B
KA-UPS-A	105V非常用無停電電源装置A		KA-UPS-B
KA-UPD-A	105V非常用無停電交流主分電盤A		KA-UPD-B
KA-ACS-A	105V非常用計測交流電源盤A		KA-ACS-B
KA-ACD-A	105V非常用計測交流主分電盤A		KA-ACD-B
KA-MCC-A1	460V非常用コントロールセンタA1		KA-MCC-B1
KA-MCC-A2	460V非常用コントロールセンタA2		KA-MCC-B2
KA-I-K224A	高レベル廃液ガラス固化廃ガス処理設備第1排風機A安全系Aインバータ制御盤		KA-I-K225B
KA-I-K226A	高レベル廃液ガラス固化廃ガス処理設備第2排風機A安全系Aインバータ制御盤		KA-I-K227B
KA-I-K073A	固化セル換気系排風機A安全系Aインバータ制御盤		KA-I-K074B
KA-E-K001A	非常用電気設備リレー盤A		KA-E-K002B
KA-I-1501A	高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系A制御盤1		KA-I-1521B
KA-I-1502A	高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系A制御盤2		KA-I-1522B
KA-I-1503A	高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系A制御盤3		KA-I-1523B
KA-I-1504A	高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系A制御盤4		KA-I-1524B
KA-I-1505A	高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系A制御盤5		KA-I-1525B
KA-I-1506A	高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系A制御盤6		KA-I-1526B
KA-I-1507A	高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系A制御盤7		KA-I-1527B
KA-I-1508A	高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系A制御盤8		KA-I-1528B
KA-I-1511A	安全系A アレスタ盤		KA-I-1531B
KA-I-1512A	高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系A制御盤(リレー盤1)		KA-I-1532B
KA-I-1513A	高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系A制御盤(リレー盤2)		KA-I-1533B
KA-I-1514A	高レベル廃液貯蔵・ガラス固化工程安全系A制御盤(リレー盤3)		KA-I-1534B
KA-I-M331A	冷凍機 安全系A監視制御盤		KA-I-M322B
KA-I-K334A	冷却水・冷水設備 安全系A 制御盤1		KA-I-K338B
KA-I-K335A	冷却水・冷水設備 安全系A 制御盤2		KA-I-K339B
-			-
	1パス	-	
	回路評価等	-	
	成功パス	-	

火災区域(区画)特性表

1. 火災区域(区画)の説明

建屋名	精製建屋
火災区域/区画区分	火災区画
火災区域/区画番号	■
火災区域/区画名称	第20サブチェンジングルーム
床面積(m ²)	■

2. 火災区域(区画)の火災シナリオの説明

■は、精製建屋内の火災区画である。
 本区画は、電気盤火災の発生可能性があるが、安全上重要な施設が設置されていないため、安全機能の喪失のおそれはない。

3. 火災区域(区画)にある火災源

(1) 等価時間

発熱量(kJ)	火災荷重(kJ/m ²)	等価時間(h) [※]
■	■	1.0

※ 等価時間は、内部火災影響評価ガイドの等価時間記載の値で示す。

(2) 火災区域(区画)にある火災源機器数

火災源	機器数
電動機(3.7kW超)	-
電気盤(440V以上)	1
ケーブルトレイ(ケーブル)	-
油脂類・有機溶媒等	-
その他	-

4. 火災区域(区画)にある防火設備

火災感知の手段	主要な消火設備	消火方法	消火設備のバックアップ
煙感知器	屋内消火栓	手動	粉末消火器

5. 火災区域(区画)に隣接する火災区域(区画)と火災伝播経路 隣接火災区画への火災伝播経路の詳細は、別紙1参照

6. 火災影響を受ける火災防護対象機器等

機器名称[機器番号]	最重要設備 [※]	最重要設備以外の安全上重要な施設 [※]
-	-	-

※ ○:対象 -:非対象

* 火災想定において、工程停止等により安全機能を必要としない状態へと移行が可能なもの。

7. 火災防護対象機器等の関連ケーブル

機器名称[機器番号]	ケーブル種別	安重分類
-	-	-

8. 最重要設備の安重機能への火災影響

安重分類	全焼時の成功パスの有無	回路評価等の考慮	結果	系統分離※
Pu・高レベル廃棄物の閉じ込め機能	-	-	-	-
崩壊熱除去機能(重要度の高いもの)	-	-	-	-
安全圧縮空気系(水素掃気機能)	-	-	-	-
非常用所内電源系統	-	-	-	-

※ a : 3時間以上の耐火能力を有する耐火壁で分離

b : 水平距離6mによる分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置

c : 1時間の耐火能力を有する隔壁等による分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置
再処理施設成功パスの詳細は、別紙2参照

9. 最重要設備以外の火災防護対象機器等への火災影響

機器名称[機器番号]	当該区画の火災評価※	隣接区画の火災評価※
-	-	-

※ ○:火災影響なし ×:火災影響あり

隣接する火災区画と火災伝播経路

(※ 有:伝播する 無:伝播しない)

隣接する火災区画	火災伝播経路有無	等価時間(h)	耐火時間(h)	火災伝播の可能性※	備考
	有	1.0	0.0	有	
	無	1.0	3.0	無	
	有	1.0	0.0	有	
	有	1.0	0.0	有	
	有	1.0	0.0	有	

火災区域(区画)特性表

1. 火災区域(区画)の説明

建屋名	精製建屋
火災区域/区画区分	火災区画
火災区域/区画番号	■
火災区域/区画名称	よう素フィルタ後置フィルタ第1室
床面積(m ²)	■

2. 火災区域(区画)の火災シナリオの説明

■は、精製建屋内の火災区画である。
 本区画は、火災源となるものがないおよび安全上重要な施設が金属等の不燃材および難燃性にて構成され火災影響を受けないことから、安全機能の喪失のおそれがない。

3. 火災区域(区画)にある火災源

(1) 等価時間

発熱量(kJ)	火災荷重 (kJ/m ²)	等価時間(h) [※]
■	■	0.0

※ 等価時間は、内部火災影響評価ガイドの等価時間記載の値で示す。

(2) 火災区域(区画)にある火災源機器数

火災源	機器数
電動機(3.7kW超)	-
電気盤(440V以上)	-
ケーブルトレイ(ケーブル)	-
油脂類・有機溶媒等	-
その他	-

4. 火災区域(区画)にある防火設備

火災感知の手段	主要な消火設備	消火方法	消火設備のバックアップ
煙感知器	屋内消火栓	手動	粉末消火器

5. 火災区域(区画)に隣接する火災区域(区画)と火災伝播経路

隣接火災区画への火災伝播経路の詳細は、別紙1参照

6. 火災影響を受ける火災防護対象機器等

機器名称[機器番号]	最重要設備 [※]	最重要設備以外の安全上重要な施設 [※]
-	-	-

※ ○:対象 -:非対象

* 火災想定において、工程停止等により安全機能を必要としない状態へと移行が可能なもの。

7. 火災防護対象機器等の関連ケーブル

機器名称[機器番号]	ケーブル種別	安重分類
-	-	-

8. 最重要設備の安重機能への火災影響

安重分類	全焼時の成功パスの有無	回路評価等の考慮	結果	系統分離※
Pu・高レベル廃棄物の閉じ込め機能	-	-	-	-
崩壊熱除去機能(重要度の高いもの)	-	-	-	-
安全圧縮空気系(水素掃気機能)	-	-	-	-
非常用所内電源系統	-	-	-	-

※ a : 3時間以上の耐火能力を有する耐火壁で分離

b : 水平距離6mによる分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置

c : 1時間の耐火能力を有する隔壁等による分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置
再処理施設成功パスの詳細は、別紙2参照

9. 最重要設備以外の火災防護対象機器等への火災影響

機器名称[機器番号]	当該区画の火災評価※	隣接区画の火災評価※
-	-	-

※ ○:火災影響なし ×:火災影響あり

隣接する火災区画と火災伝播経路

(※ 有:伝播する 無:伝播しない)

隣接する 火災区画	火災伝播 経路有無	等価時間 (h)	耐火時間 (h)	火災伝播の 可能性 ※	備考
	有	0.0	0.0	無	
	無	0.0	3.0	無	
	無	0.0	3.0	無	
	有	0.0	0.0	無	
	有	0.0	0.0	無	

火災区域(区画)特性表

1. 火災区域(区画)の説明

建屋名	精製建屋
火災区域/区画区分	火災区画
火災区域/区画番号	■
火災区域/区画名称	試薬分配第10室
床面積(m ²)	■

2. 火災区域(区画)の火災シナリオの説明

■は、精製建屋内の火災区画である。
 本区画は、火災源となるものがないおよび安全上重要な施設が設置されていないため、安全機能の喪失のおそれはない。

3. 火災区域(区画)にある火災源

(1) 等価時間

発熱量(kJ)	火災荷重(kJ/m ²)	等価時間(h) [※]
■	■	0.0

※ 等価時間は、内部火災影響評価ガイドの等価時間記載の値で示す。

(2) 火災区域(区画)にある火災源機器数

火災源	機器数
電動機(3.7kW超)	-
電気盤(440V以上)	-
ケーブルトレイ(ケーブル)	-
油脂類・有機溶媒等	-
その他	-

4. 火災区域(区画)にある防火設備

火災感知の手段	主要な消火設備	消火方法	消火設備のバックアップ
煙感知器	屋内消火栓	手動	粉末消火器

5. 火災区域(区画)に隣接する火災区域(区画)と火災伝播経路

隣接火災区画への火災伝播経路の詳細は、別紙1参照

6. 火災影響を受ける火災防護対象機器等

機器名称[機器番号]	最重要設備 [※]	最重要設備以外の安全上重要な施設 [※]
-	-	-

※ ○:対象 -:非対象

* 火災想定において、工程停止等により安全機能を必要としない状態へと移行が可能なもの。

7. 火災防護対象機器等の関連ケーブル

機器名称[機器番号]	ケーブル種別	安重分類
-	-	-

8. 最重要設備の安重機能への火災影響

安重分類	全焼時の成功パスの有無	回路評価等の考慮	結果	系統分離※
Pu・高レベル廃棄物の閉じ込め機能	-	-	-	-
崩壊熱除去機能(重要度の高いもの)	-	-	-	-
安全圧縮空気系(水素掃気機能)	-	-	-	-
非常用所内電源系統	-	-	-	-

※ a : 3時間以上の耐火能力を有する耐火壁で分離

b : 水平距離6mによる分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置

c : 1時間の耐火能力を有する隔壁等による分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置
再処理施設成功パスの詳細は、別紙2参照

9. 最重要設備以外の火災防護対象機器等への火災影響

機器名称[機器番号]	当該区画の火災評価※	隣接区画の火災評価※
-	-	-

※ ○:火災影響なし ×:火災影響あり

隣接する火災区画と火災伝播経路

(※ 有:伝播する 無:伝播しない)

隣接する火災区画	火災伝播経路有無	等価時間(h)	耐火時間(h)	火災伝播の可能性※	備考
	無	0.0	3.0	無	
	有	0.0	0.0	無	
	有	0.0	0.0	無	

火災区域(区画)特性表

1. 火災区域(区画)の説明

建屋名	精製建屋
火災区域/区画区分	火災区画
火災区域/区画番号	■
火災区域/区画名称	計装ラック第10室
床面積(m ²)	■

2. 火災区域(区画)の火災シナリオの説明

■は、精製建屋内の火災区画である。
 本区画は、火災源となるものがないおよび安全上重要な施設が設置されていないため、安全機能の喪失のおそれはない。

3. 火災区域(区画)にある火災源

(1) 等価時間

発熱量(kJ)	火災荷重(kJ/m ²)	等価時間(h) [※]
■	■	0.5

※ 等価時間は、内部火災影響評価ガイドの等価時間記載の値で示す。

(2) 火災区域(区画)にある火災源機器数

火災源	機器数
電動機(3.7kW超)	-
電気盤(440V以上)	-
ケーブルトレイ(ケーブル)	-
油脂類・有機溶媒等	-
その他	-

4. 火災区域(区画)にある防火設備

火災感知の手段	主要な消火設備	消火方法	消火設備のバックアップ
煙感知器	屋内消火栓	手動	粉末消火器

5. 火災区域(区画)に隣接する火災区域(区画)と火災伝播経路

隣接火災区画への火災伝播経路の詳細は、別紙1参照

6. 火災影響を受ける火災防護対象機器等

機器名称[機器番号]	最重要設備 [※]	最重要設備以外の安全上重要な施設 [※]
-	-	-

※ ○:対象 -:非対象

* 火災想定において、工程停止等により安全機能を必要としない状態へと移行が可能なもの。

7. 火災防護対象機器等の関連ケーブル

機器名称[機器番号]	ケーブル種別	安重分類
-	-	-

8. 最重要設備の安重機能への火災影響

安重分類	全焼時の成功パスの有無	回路評価等の考慮	結果	系統分離※
Pu・高レベル廃棄物の閉じ込め機能	-	-	-	-
崩壊熱除去機能(重要度の高いもの)	-	-	-	-
安全圧縮空気系(水素掃気機能)	-	-	-	-
非常用所内電源系統	-	-	-	-

※ a : 3時間以上の耐火能力を有する耐火壁で分離

b : 水平距離6mによる分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置

c : 1時間の耐火能力を有する隔壁等による分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置
再処理施設成功パスの詳細は、別紙2参照

9. 最重要設備以外の火災防護対象機器等への火災影響

機器名称[機器番号]	当該区画の火災評価※	隣接区画の火災評価※
-	-	-

※ ○:火災影響なし ×:火災影響あり

隣接する火災区画と火災伝播経路

(※ 有:伝播する 無:伝播しない)

隣接する 火災区画	火災伝播 経路有無	等価時間 (h)	耐火時間 (h)	火災伝播の 可能性 ※	備考
	無	0.5	3.0	無	
	有	0.5	0.0	有	
	有	0.5	0.0	有	
	有	0.5	0.0	有	
	有	0.5	0.0	有	
	有	0.5	0.0	有	

火災区域(区画)特性表

1. 火災区域(区画)の説明

建屋名	精製建屋
火災区域/区画区分	火災区画
火災区域/区画番号	■
火災区域/区画名称	第4予備室
床面積(m ²)	■

2. 火災区域(区画)の火災シナリオの説明

■は、精製建屋内の火災区画である。
 本区画は、火災源となるものがないおよび安全上重要な施設が設置されていないため、安全機能の喪失のおそれはない。

3. 火災区域(区画)にある火災源

(1) 等価時間

発熱量(kJ)	火災荷重(kJ/m ²)	等価時間(h) [※]
■	■	0.5

※ 等価時間は、内部火災影響評価ガイドの等価時間記載の値で示す。

(2) 火災区域(区画)にある火災源機器数

火災源	機器数
電動機(3.7kW超)	-
電気盤(440V以上)	-
ケーブルトレイ(ケーブル)	-
油脂類・有機溶媒等	-
その他	-

4. 火災区域(区画)にある防火設備

火災感知の手段	主要な消火設備	消火方法	消火設備のバックアップ
煙感知器	屋内消火栓	手動	粉末消火器

5. 火災区域(区画)に隣接する火災区域(区画)と火災伝播経路

隣接火災区画への火災伝播経路の詳細は、別紙1参照

6. 火災影響を受ける火災防護対象機器等

機器名称[機器番号]	最重要設備 [※]	最重要設備以外の安全上重要な施設 [※]
-	-	-

※ ○:対象 -:非対象

* 火災想定において、工程停止等により安全機能を必要としない状態へと移行が可能なもの。

7. 火災防護対象機器等の関連ケーブル

機器名称[機器番号]	ケーブル種別	安重分類
-	-	-

8. 最重要設備の安重機能への火災影響

安重分類	全焼時の成功パスの有無	回路評価等の考慮	結果	系統分離※
Pu・高レベル廃棄物の閉じ込め機能	-	-	-	-
崩壊熱除去機能(重要度の高いもの)	-	-	-	-
安全圧縮空気系(水素掃気機能)	-	-	-	-
非常用所内電源系統	-	-	-	-

※ a : 3時間以上の耐火能力を有する耐火壁で分離

b : 水平距離6mによる分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置

c : 1時間の耐火能力を有する隔壁等による分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置
再処理施設成功パスの詳細は、別紙2参照

9. 最重要設備以外の火災防護対象機器等への火災影響

機器名称[機器番号]	当該区画の火災評価※	隣接区画の火災評価※
-	-	-

※ ○:火災影響なし ×:火災影響あり

隣接する火災区画と火災伝播経路

(※ 有:伝播する 無:伝播しない)

隣接する 火災区画	火災伝播 経路有無	等価時間 (h)	耐火時間 (h)	火災伝播の 可能性 ※	備考
	有	0.5	0.0	有	
	無	0.5	1.0	無	
	有	0.5	0.0	有	
	有	0.5	0.0	有	
	有	0.5	0.0	有	
	無	0.5	1.0	無	
	有	0.5	0.0	有	
	有	0.5	0.0	有	
	有	0.5	0.0	有	
	有	0.5	0.0	有	
	有	0.5	0.0	有	
	無	0.5	1.0	無	

火災区域(区画)特性表

1. 火災区域(区画)の説明

建屋名	精製建屋
火災区域/区画区分	火災区画
火災区域/区画番号	■
火災区域/区画名称	ウラン系塔槽類廃ガス処理室
床面積(m ²)	■

2. 火災区域(区画)の火災シナリオの説明

■は、精製建屋内の火災区画である。
 本区画は、電動機絶縁物火災または、潤滑油漏えい火災の発生可能性があるが、安全上重要な施設が設置されていないため、安全機能の喪失のおそれはない。

3. 火災区域(区画)にある火災源

(1) 等価時間

発熱量(kJ)	火災荷重(kJ/m ²)	等価時間(h) [※]
■	■	0.5

※ 等価時間は、内部火災影響評価ガイドの等価時間記載の値で示す。

(2) 火災区域(区画)にある火災源機器数

火災源	機器数
電動機(3.7kW超)	2
電気盤(440V以上)	-
ケーブルトレイ(ケーブル)	-
油脂類・有機溶媒等	有
その他	-

4. 火災区域(区画)にある防火設備

火災感知の手段	主要な消火設備	消火方法	消火設備のバックアップ
煙感知器	屋内消火栓	手動	粉末消火器

5. 火災区域(区画)に隣接する火災区域(区画)と火災伝播経路

隣接火災区画への火災伝播経路の詳細は、別紙1参照

6. 火災影響を受ける火災防護対象機器等

機器名称[機器番号]	最重要設備 [※]	最重要設備以外の安全上重要な施設 [※]
-	-	-

※ ○:対象 -:非対象

* 火災想定において、工程停止等により安全機能を必要としない状態へと移行が可能なもの。

7. 火災防護対象機器等の関連ケーブル

機器名称[機器番号]	ケーブル種別	安重分類
-	-	-

8. 最重要設備の安重機能への火災影響

安重分類	全焼時の成功パスの有無	回路評価等の考慮	結果	系統分離※
Pu・高レベル廃棄物の閉じ込め機能	-	-	-	-
崩壊熱除去機能(重要度の高いもの)	-	-	-	-
安全圧縮空気系(水素掃気機能)	-	-	-	-
非常用所内電源系統	-	-	-	-

※ a : 3時間以上の耐火能力を有する耐火壁で分離

b : 水平距離6mによる分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置

c : 1時間の耐火能力を有する隔壁等による分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置
再処理施設成功パスの詳細は、別紙2参照

9. 最重要設備以外の火災防護対象機器等への火災影響

機器名称[機器番号]	当該区画の火災評価※	隣接区画の火災評価※
-	-	-

※ ○:火災影響なし ×:火災影響あり

隣接する火災区画と火災伝播経路

(※ 有:伝播する 無:伝播しない)

隣接する 火災区画	火災伝播 経路有無	等価時間 (h)	耐火時間 (h)	火災伝播の 可能性 ※	備考
	無	0.5	3.0	無	
	有	0.5	0.0	有	
	有	0.5	0.0	有	
	有	0.5	0.0	有	
	有	0.5	0.0	有	
	有	0.5	0.0	有	

火災区域(区画)特性表

1. 火災区域(区画)の説明

建屋名	精製建屋
火災区域/区画区分	火災区画
火災区域/区画番号	■
火災区域/区画名称	酸除染液調整槽室
床面積(m ²)	■

2. 火災区域(区画)の火災シナリオの説明

■は、精製建屋内の火災区画である。
 本区画は、電動機絶縁物火災の発生可能性があるが、安全上重要な施設が設置されていないため、安全機能の喪失のおそれはない。

3. 火災区域(区画)にある火災源

(1) 等価時間

発熱量(kJ)	火災荷重 (kJ/m ²)	等価時間(h) [※]
■	■	0.5

※ 等価時間は、内部火災影響評価ガイドの等価時間記載の値で示す。

(2) 火災区域(区画)にある火災源機器数

火災源	機器数
電動機(3.7kW超)	2
電気盤(440V以上)	-
ケーブルトレイ(ケーブル)	-
油脂類・有機溶媒等	-
その他	-

4. 火災区域(区画)にある防火設備

火災感知の手段	主要な消火設備	消火方法	消火設備のバックアップ
煙感知器	屋内消火栓	手動	粉末消火器

5. 火災区域(区画)に隣接する火災区域(区画)と火災伝播経路

隣接火災区画への火災伝播経路の詳細は、別紙1参照

6. 火災影響を受ける火災防護対象機器等

機器名称[機器番号]	最重要設備 [※]	最重要設備以外の安全上重要な施設 [※]
-	-	-

※ ○:対象 -:非対象

* 火災想定において、工程停止等により安全機能を必要としない状態へと移行が可能なもの。

7. 火災防護対象機器等の関連ケーブル

機器名称[機器番号]	ケーブル種別	安重分類
-	-	-

8. 最重要設備の安重機能への火災影響

安重分類	全焼時の成功パスの有無	回路評価等の考慮	結果	系統分離※
Pu・高レベル廃棄物の閉じ込め機能	-	-	-	-
崩壊熱除去機能(重要度の高いもの)	-	-	-	-
安全圧縮空気系(水素掃気機能)	-	-	-	-
非常用所内電源系統	-	-	-	-

※ a : 3時間以上の耐火能力を有する耐火壁で分離

b : 水平距離6mによる分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置

c : 1時間の耐火能力を有する隔壁等による分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置
再処理施設成功パスの詳細は、別紙2参照

9. 最重要設備以外の火災防護対象機器等への火災影響

機器名称[機器番号]	当該区画の火災評価※	隣接区画の火災評価※
-	-	-

※ ○:火災影響なし ×:火災影響あり

隣接する火災区画と火災伝播経路

(※ 有:伝播する 無:伝播しない)

隣接する 火災区画	火災伝播 経路有無	等価時間 (h)	耐火時間 (h)	火災伝播の 可能性 ※	備考
	有	0.5	0.0	有	
	有	0.5	0.0	有	
	有	0.5	0.0	有	
	有	0.5	0.0	有	

火災区域(区画)特性表

1. 火災区域(区画)の説明

建屋名	精製建屋
火災区域/区画区分	火災区画
火災区域/区画番号	■
火災区域/区画名称	エレベータ機械第2室
床面積(m ²)	■

2. 火災区域(区画)の火災シナリオの説明

■は、精製建屋内の火災区画である。
 本区画は、電動機絶縁物火災、潤滑油漏えい火災または、電気盤火災の発生の可能性があるが、安全上重要な施設が設置されていないため、安全機能の喪失のおそれはない。

3. 火災区域(区画)にある火災源

(1) 等価時間

発熱量(kJ)	火災荷重 (kJ/m ²)	等価時間(h) [※]
■	■	0.5

※ 等価時間は、内部火災影響評価ガイドの等価時間記載の値で示す。

(2) 火災区域(区画)にある火災源機器数

火災源	機器数
電動機(3.7kW超)	1
電気盤(440V以上)	3
ケーブルトレイ(ケーブル)	-
油脂類・有機溶媒等	有
その他	-

4. 火災区域(区画)にある防火設備

火災感知の手段	主要な消火設備	消火方法	消火設備のバックアップ
煙感知器	屋内消火栓	手動	粉末消火器

5. 火災区域(区画)に隣接する火災区域(区画)と火災伝播経路

隣接火災区画への火災伝播経路の詳細は、別紙1参照

6. 火災影響を受ける火災防護対象機器等

機器名称[機器番号]	最重要設備 [※]	最重要設備以外の安全上重要な施設 [※]
-	-	-

※ ○:対象 -:非対象

* 火災想定において、工程停止等により安全機能を必要としない状態へと移行が可能なもの。

7. 火災防護対象機器等の関連ケーブル

機器名称[機器番号]	ケーブル種別	安重分類
-	-	-

8. 最重要設備の安重機能への火災影響

安重分類	全焼時の成功パスの有無	回路評価等の考慮	結果	系統分離※
Pu・高レベル廃棄物の閉じ込め機能	-	-	-	-
崩壊熱除去機能(重要度の高いもの)	-	-	-	-
安全圧縮空気系(水素掃気機能)	-	-	-	-
非常用所内電源系統	-	-	-	-

※ a : 3時間以上の耐火能力を有する耐火壁で分離

b : 水平距離6mによる分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置

c : 1時間の耐火能力を有する隔壁等による分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置
再処理施設成功パスの詳細は、別紙2参照

9. 最重要設備以外の火災防護対象機器等への火災影響

機器名称[機器番号]	当該区画の火災評価※	隣接区画の火災評価※
-	-	-

※ ○:火災影響なし ×:火災影響あり

隣接する火災区画と火災伝播経路

(※ 有:伝播する 無:伝播しない)

隣接する 火災区画	火災伝播 経路有無	等価時間 (h)	耐火時間 (h)	火災伝播の 可能性 ※	備考
	無	0.5	1.0	無	
	無	0.5	3.0	無	
	無	0.5	1.0	無	

火災区域(区画)特性表

1. 火災区域(区画)の説明

建屋名	精製建屋
火災区域/区画区分	火災区画
火災区域/区画番号	■
火災区域/区画名称	北第1階段室地上5階附室
床面積(m ²)	■

2. 火災区域(区画)の火災シナリオの説明

■は、精製建屋内の火災区画である。
 本区画は、火災源となるものがないおよび安全上重要な施設が設置されていないため、安全機能の喪失のおそれはない。

3. 火災区域(区画)にある火災源

(1) 等価時間

発熱量(kJ)	火災荷重(kJ/m ²)	等価時間(h) [※]
■	■	0.0

※ 等価時間は、内部火災影響評価ガイドの等価時間記載の値で示す。

(2) 火災区域(区画)にある火災源機器数

火災源	機器数
電動機(3.7kW超)	-
電気盤(440V以上)	-
ケーブルトレイ(ケーブル)	-
油脂類・有機溶媒等	-
その他	-

4. 火災区域(区画)にある防火設備

火災感知の手段	主要な消火設備	消火方法	消火設備のバックアップ
煙感知器	屋内消火栓	手動	粉末消火器

5. 火災区域(区画)に隣接する火災区域(区画)と火災伝播経路

隣接火災区画への火災伝播経路の詳細は、別紙1参照

6. 火災影響を受ける火災防護対象機器等

機器名称[機器番号]	最重要設備 [※]	最重要設備以外の安全上重要な施設 [※]
-	-	-

※ ○:対象 -:非対象

* 火災想定において、工程停止等により安全機能を必要としない状態へと移行が可能なもの。

7. 火災防護対象機器等の関連ケーブル

機器名称[機器番号]	ケーブル種別	安重分類
-	-	-

8. 最重要設備の安重機能への火災影響

安重分類	全焼時の 成功パスの 有無	回路評価 等の考慮	結果	系統分離※
Pu・高レベル廃棄物の閉じ込め機能	-	-	-	-
崩壊熱除去機能(重要度の高いもの)	-	-	-	-
安全圧縮空気系(水素掃気機能)	-	-	-	-
非常用所内電源系統	-	-	-	-

※ a : 3時間以上の耐火能力を有する耐火壁で分離

b : 水平距離6mによる分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置

c : 1時間の耐火能力を有する隔壁等による分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置
再処理施設成功パスの詳細は、別紙2参照

9. 最重要設備以外の火災防護対象機器等への火災影響

機器名称[機器番号]	当該区画の火災評価※	隣接区画の火災評価※
-	-	-

※ ○:火災影響なし ×:火災影響あり

隣接する火災区画と火災伝播経路

(※ 有:伝播する 無:伝播しない)

隣接する 火災区画	火災伝播 経路有無	等価時間 (h)	耐火時間 (h)	火災伝播の 可能性 ※	備考
	無	0.0	1.0	無	
	無	0.0	1.0	無	
	無	0.0	1.0	無	
	無	0.0	1.0	無	

火災区域(区画)特性表

1. 火災区域(区画)の説明

建屋名	精製建屋
火災区域/区画区分	火災区画
火災区域/区画番号	■
火災区域/区画名称	北第2階段室地上5階附室
床面積(m ²)	■

2. 火災区域(区画)の火災シナリオの説明

■は、精製建屋内の火災区画である。
 本区画は、火災源となるものがないおよび安全上重要な施設が設置されていないため、安全機能の喪失のおそれはない。

3. 火災区域(区画)にある火災源

(1) 等価時間

発熱量(kJ)	火災荷重 (kJ/m ²)	等価時間(h) [※]
■	■	0.0

※ 等価時間は、内部火災影響評価ガイドの等価時間記載の値で示す。

(2) 火災区域(区画)にある火災源機器数

火災源	機器数
電動機(3.7kW超)	-
電気盤(440V以上)	-
ケーブルトレイ(ケーブル)	-
油脂類・有機溶媒等	-
その他	-

4. 火災区域(区画)にある防火設備

火災感知の手段	主要な消火設備	消火方法	消火設備のバックアップ
煙感知器	屋内消火栓	手動	粉末消火器

5. 火災区域(区画)に隣接する火災区域(区画)と火災伝播経路

隣接火災区画への火災伝播経路の詳細は、別紙1参照

6. 火災影響を受ける火災防護対象機器等

機器名称[機器番号]	最重要設備 [※]	最重要設備以外の安全上重要な施設 [※]
-	-	-

※ ○:対象 -:非対象

* 火災想定において、工程停止等により安全機能を必要としない状態へと移行が可能なもの。

7. 火災防護対象機器等の関連ケーブル

機器名称[機器番号]	ケーブル種別	安重分類
-	-	-

8. 最重要設備の安重機能への火災影響

安重分類	全焼時の成功パスの有無	回路評価等の考慮	結果	系統分離※
Pu・高レベル廃棄物の閉じ込め機能	-	-	-	-
崩壊熱除去機能(重要度の高いもの)	-	-	-	-
安全圧縮空気系(水素掃気機能)	-	-	-	-
非常用所内電源系統	-	-	-	-

※ a : 3時間以上の耐火能力を有する耐火壁で分離

b : 水平距離6mによる分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置

c : 1時間の耐火能力を有する隔壁等による分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置
再処理施設成功パスの詳細は、別紙2参照

9. 最重要設備以外の火災防護対象機器等への火災影響

機器名称[機器番号]	当該区画の火災評価※	隣接区画の火災評価※
-	-	-

※ ○:火災影響なし ×:火災影響あり

隣接する火災区画と火災伝播経路

(※ 有:伝播する 無:伝播しない)

隣接する 火災区画	火災伝播 経路有無	等価時間 (h)	耐火時間 (h)	火災伝播の 可能性 ※	備考
	無	0.0	1.0	無	
	無	0.0	1.0	無	
	無	0.0	1.0	無	
	無	0.0	1.0	無	

火災区域(区画)特性表

1. 火災区域(区画)の説明

建屋名	精製建屋
火災区域/区画区分	火災区画
火災区域/区画番号	■
火災区域/区画名称	第19保守室前室
床面積(m ²)	■

2. 火災区域(区画)の火災シナリオの説明

■は、精製建屋内の火災区画である。
 本区画は、火災源となるものがないおよび安全上重要な施設が設置されていないため、安全機能の喪失のおそれはない。

3. 火災区域(区画)にある火災源

(1) 等価時間

発熱量(kJ)	火災荷重(kJ/m ²)	等価時間(h) [※]
■	■	0.5

※ 等価時間は、内部火災影響評価ガイドの等価時間記載の値で示す。

(2) 火災区域(区画)にある火災源機器数

火災源	機器数
電動機(3.7kW超)	-
電気盤(440V以上)	-
ケーブルトレイ(ケーブル)	-
油脂類・有機溶媒等	-
その他	-

4. 火災区域(区画)にある防火設備

火災感知の手段	主要な消火設備	消火方法	消火設備のバックアップ
煙感知器	屋内消火栓	手動	粉末消火器

5. 火災区域(区画)に隣接する火災区域(区画)と火災伝播経路

隣接火災区画への火災伝播経路の詳細は、別紙1参照

6. 火災影響を受ける火災防護対象機器等

機器名称[機器番号]	最重要設備 [※]	最重要設備以外の安全上重要な施設 [※]
-	-	-

※ ○:対象 -:非対象

* 火災想定において、工程停止等により安全機能を必要としない状態へと移行が可能なもの。

7. 火災防護対象機器等の関連ケーブル

機器名称[機器番号]	ケーブル種別	安重分類
-	-	-

8. 最重要設備の安重機能への火災影響

安重分類	全焼時の成功パスの有無	回路評価等の考慮	結果	系統分離※
Pu・高レベル廃棄物の閉じ込め機能	-	-	-	-
崩壊熱除去機能(重要度の高いもの)	-	-	-	-
安全圧縮空気系(水素掃気機能)	-	-	-	-
非常用所内電源系統	-	-	-	-

※ a : 3時間以上の耐火能力を有する耐火壁で分離

b : 水平距離6mによる分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置

c : 1時間の耐火能力を有する隔壁等による分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置
再処理施設成功パスの詳細は、別紙2参照

9. 最重要設備以外の火災防護対象機器等への火災影響

機器名称[機器番号]	当該区画の火災評価※	隣接区画の火災評価※
-	-	-

※ ○:火災影響なし ×:火災影響あり

隣接する火災区画と火災伝播経路

(※ 有:伝播する 無:伝播しない)

隣接する 火災区画	火災伝播 経路有無	等価時間 (h)	耐火時間 (h)	火災伝播の 可能性 ※	備考
	無	0.5	1.0	無	
	無	0.5	3.0	無	
	有	0.5	0.0	有	
	無	0.5	1.0	無	

火災区域(区画)特性表

1. 火災区域(区画)の説明

建屋名	精製建屋
火災区域/区画区分	火災区画
火災区域/区画番号	■
火災区域/区画名称	第18保守室前室
床面積(m ²)	■

2. 火災区域(区画)の火災シナリオの説明

■は、精製建屋内の火災区画である。
 本区画は、火災源となるものがないおよび安全上重要な施設が設置されていないため、安全機能の喪失のおそれはない。

3. 火災区域(区画)にある火災源

(1) 等価時間

発熱量(kJ)	火災荷重 (kJ/m ²)	等価時間(h) [※]
■	■	0.5

※ 等価時間は、内部火災影響評価ガイドの等価時間記載の値で示す。

(2) 火災区域(区画)にある火災源機器数

火災源	機器数
電動機(3.7kW超)	-
電気盤(440V以上)	-
ケーブルトレイ(ケーブル)	-
油脂類・有機溶媒等	-
その他	-

4. 火災区域(区画)にある防火設備

火災感知の手段	主要な消火設備	消火方法	消火設備のバックアップ
煙感知器	屋内消火栓	手動	粉末消火器

5. 火災区域(区画)に隣接する火災区域(区画)と火災伝播経路

隣接火災区画への火災伝播経路の詳細は、別紙1参照

6. 火災影響を受ける火災防護対象機器等

機器名称[機器番号]	最重要設備 [※]	最重要設備以外の安全上重要な施設 [※]
-	-	-

※ ○:対象 -:非対象

* 火災想定において、工程停止等により安全機能を必要としない状態へと移行が可能なもの。

7. 火災防護対象機器等の関連ケーブル

機器名称[機器番号]	ケーブル種別	安重分類
-	-	-

8. 最重要設備の安重機能への火災影響

安重分類	全焼時の成功パスの有無	回路評価等の考慮	結果	系統分離※
Pu・高レベル廃棄物の閉じ込め機能	-	-	-	-
崩壊熱除去機能(重要度の高いもの)	-	-	-	-
安全圧縮空気系(水素掃気機能)	-	-	-	-
非常用所内電源系統	-	-	-	-

※ a : 3時間以上の耐火能力を有する耐火壁で分離

b : 水平距離6mによる分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置

c : 1時間の耐火能力を有する隔壁等による分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置
再処理施設成功パスの詳細は、別紙2参照

9. 最重要設備以外の火災防護対象機器等への火災影響

機器名称[機器番号]	当該区画の火災評価※	隣接区画の火災評価※
-	-	-

※ ○:火災影響なし ×:火災影響あり

隣接する火災区画と火災伝播経路

(※ 有:伝播する 無:伝播しない)

隣接する火災区画	火災伝播経路有無	等価時間(h)	耐火時間(h)	火災伝播の可能性※	備考
	無	0.5	1.0	無	
	無	0.5	3.0	無	
	有	0.5	0.0	有	
	無	0.5	1.0	無	

火災区域(区画)特性表

1. 火災区域(区画)の説明

建屋名	精製建屋
火災区域/区画区分	火災区画
火災区域/区画番号	■
火災区域/区画名称	エレベータ機械第3室
床面積(m ²)	■

2. 火災区域(区画)の火災シナリオの説明

■は、精製建屋内の火災区画である。
 本区画は、電動機絶縁物火災、潤滑油漏えい火災または、電気盤火災の発生の可能性があるが、安全上重要な施設が設置されていないため、安全機能の喪失のおそれはない。

3. 火災区域(区画)にある火災源

(1) 等価時間

発熱量(kJ)	火災荷重(kJ/m ²)	等価時間(h) [※]
■	■	0.5

※ 等価時間は、内部火災影響評価ガイドの等価時間記載の値で示す。

(2) 火災区域(区画)にある火災源機器数

火災源	機器数
電動機(3.7kW超)	2
電気盤(440V以上)	4
ケーブルトレイ(ケーブル)	-
油脂類・有機溶媒等	有
その他	-

4. 火災区域(区画)にある防火設備

火災感知の手段	主要な消火設備	消火方法	消火設備のバックアップ
煙感知器	屋内消火栓	手動	粉末消火器

5. 火災区域(区画)に隣接する火災区域(区画)と火災伝播経路

隣接火災区画への火災伝播経路の詳細は、別紙1参照

6. 火災影響を受ける火災防護対象機器等

機器名称[機器番号]	最重要設備 [※]	最重要設備以外の安全上重要な施設 [※]
-	-	-

※ ○:対象 -:非対象

* 火災想定において、工程停止等により安全機能を必要としない状態へと移行が可能なもの。

7. 火災防護対象機器等の関連ケーブル

機器名称[機器番号]	ケーブル種別	安重分類
-	-	-

8. 最重要設備の安重機能への火災影響

安重分類	全焼時の成功パスの有無	回路評価等の考慮	結果	系統分離※
Pu・高レベル廃棄物の閉じ込め機能	-	-	-	-
崩壊熱除去機能(重要度の高いもの)	-	-	-	-
安全圧縮空気系(水素掃気機能)	-	-	-	-
非常用所内電源系統	-	-	-	-

※ a : 3時間以上の耐火能力を有する耐火壁で分離

b : 水平距離6mによる分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置

c : 1時間の耐火能力を有する隔壁等による分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置
再処理施設成功パスの詳細は、別紙2参照

9. 最重要設備以外の火災防護対象機器等への火災影響

機器名称[機器番号]	当該区画の火災評価※	隣接区画の火災評価※
-	-	-

※ ○:火災影響なし ×:火災影響あり

隣接する火災区画と火災伝播経路

(※ 有:伝播する 無:伝播しない)

隣接する 火災区画	火災伝播 経路有無	等価時間 (h)	耐火時間 (h)	火災伝播の 可能性 ※	備考
	無	0.5	1.0	無	
	無	0.5	1.0	無	
	無	0.5	1.0	無	
	無	0.5	3.0	無	
	無	0.5	1.0	無	
	無	0.5	1.0	無	

火災区域(区画)特性表

1. 火災区域(区画)の説明

建屋名	精製建屋
火災区域/区画区分	火災区画
火災区域/区画番号	■
火災区域/区画名称	エレベータ機械第4室
床面積(m ²)	■

2. 火災区域(区画)の火災シナリオの説明

■は、精製建屋内の火災区画である。
 本区画は、電動機絶縁物火災、潤滑油漏えい火災または、電気盤火災の発生の可能性があるが、安全上重要な施設が設置されていないため、安全機能の喪失のおそれはない。

3. 火災区域(区画)にある火災源

(1) 等価時間

発熱量(kJ)	火災荷重(kJ/m ²)	等価時間(h) [※]
■	■	0.5

※ 等価時間は、内部火災影響評価ガイドの等価時間記載の値で示す。

(2) 火災区域(区画)にある火災源機器数

火災源	機器数
電動機(3.7kW超)	2
電気盤(440V以上)	4
ケーブルトレイ(ケーブル)	-
油脂類・有機溶媒等	有
その他	-

4. 火災区域(区画)にある防火設備

火災感知の手段	主要な消火設備	消火方法	消火設備のバックアップ
煙感知器	屋内消火栓	手動	粉末消火器

5. 火災区域(区画)に隣接する火災区域(区画)と火災伝播経路

隣接火災区画への火災伝播経路の詳細は、別紙1参照

6. 火災影響を受ける火災防護対象機器等

機器名称[機器番号]	最重要設備 [※]	最重要設備以外の安全上重要な施設 [※]
-	-	-

※ ○:対象 -:非対象

* 火災想定において、工程停止等により安全機能を必要としない状態へと移行が可能なもの。

7. 火災防護対象機器等の関連ケーブル

機器名称[機器番号]	ケーブル種別	安重分類
-	-	-

8. 最重要設備の安重機能への火災影響

安重分類	全焼時の成功パスの有無	回路評価等の考慮	結果	系統分離※
Pu・高レベル廃棄物の閉じ込め機能	-	-	-	-
崩壊熱除去機能(重要度の高いもの)	-	-	-	-
安全圧縮空気系(水素掃気機能)	-	-	-	-
非常用所内電源系統	-	-	-	-

※ a : 3時間以上の耐火能力を有する耐火壁で分離

b : 水平距離6mによる分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置

c : 1時間の耐火能力を有する隔壁等による分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置
再処理施設成功パスの詳細は、別紙2参照

9. 最重要設備以外の火災防護対象機器等への火災影響

機器名称[機器番号]	当該区画の火災評価※	隣接区画の火災評価※
-	-	-

※ ○:火災影響なし ×:火災影響あり

隣接する火災区画と火災伝播経路

(※ 有:伝播する 無:伝播しない)

隣接する 火災区画	火災伝播 経路有無	等価時間 (h)	耐火時間 (h)	火災伝播の 可能性 ※	備考
	無	0.5	1.0	無	
	無	0.5	1.0	無	
	無	0.5	1.0	無	
	無	0.5	3.0	無	
	無	0.5	1.0	無	
	無	0.5	1.0	無	
	無	0.5	1.0	無	

火災区域(区画)特性表

1. 火災区域(区画)の説明

建屋名	精製建屋
火災区域/区画区分	火災区画
火災区域/区画番号	■
火災区域/区画名称	第12予備室
床面積(m ²)	■

2. 火災区域(区画)の火災シナリオの説明

■は、精製建屋内の火災区画である。
 本区画は、火災源となるものがないおよび安全上重要な施設が設置されていないため、安全機能の喪失のおそれはない。

3. 火災区域(区画)にある火災源

(1) 等価時間

発熱量(kJ)	火災荷重(kJ/m ²)	等価時間(h) [※]
■	■	0.0

※ 等価時間は、内部火災影響評価ガイドの等価時間記載の値で示す。

(2) 火災区域(区画)にある火災源機器数

火災源	機器数
電動機(3.7kW超)	-
電気盤(440V以上)	-
ケーブルトレイ(ケーブル)	-
油脂類・有機溶媒等	-
その他	-

4. 火災区域(区画)にある防火設備

火災感知の手段	主要な消火設備	消火方法	消火設備のバックアップ
煙感知器	屋内消火栓	手動	粉末消火器

5. 火災区域(区画)に隣接する火災区域(区画)と火災伝播経路

隣接火災区画への火災伝播経路の詳細は、別紙1参照

6. 火災影響を受ける火災防護対象機器等

機器名称[機器番号]	最重要設備 [※]	最重要設備以外の安全上重要な施設 [※]
-	-	-

※ ○:対象 -:非対象

* 火災想定において、工程停止等により安全機能を必要としない状態へと移行が可能なもの。

7. 火災防護対象機器等の関連ケーブル

機器名称[機器番号]	ケーブル種別	安重分類
-	-	-

8. 最重要設備の安重機能への火災影響

安重分類	全焼時の成功パスの有無	回路評価等の考慮	結果	系統分離※
Pu・高レベル廃棄物の閉じ込め機能	-	-	-	-
崩壊熱除去機能(重要度の高いもの)	-	-	-	-
安全圧縮空気系(水素掃気機能)	-	-	-	-
非常用所内電源系統	-	-	-	-

※ a : 3時間以上の耐火能力を有する耐火壁で分離

b : 水平距離6mによる分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置

c : 1時間の耐火能力を有する隔壁等による分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置
再処理施設成功パスの詳細は、別紙2参照

9. 最重要設備以外の火災防護対象機器等への火災影響

機器名称[機器番号]	当該区画の火災評価※	隣接区画の火災評価※
-	-	-

※ ○:火災影響なし ×:火災影響あり

隣接する火災区画と火災伝播経路

(※ 有:伝播する 無:伝播しない)

隣接する 火災区画	火災伝播 経路有無	等価時間 (h)	耐火時間 (h)	火災伝播の 可能性 ※	備考
	無	0.0	1.0	無	
	無	0.0	3.0	無	
	有	0.0	0.0	無	
	無	0.0	1.0	無	
	有	0.0	0.0	無	

火災区域(区画)特性表

1. 火災区域(区画)の説明

建屋名	精製建屋
火災区域/区画区分	火災区画
火災区域/区画番号	■
火災区域/区画名称	南第2階段室地上5階附室
床面積(m ²)	■

2. 火災区域(区画)の火災シナリオの説明

■は、精製建屋内の火災区画である。
 本区画は、火災源となるものがないおよび安全上重要な施設が設置されていないため、安全機能の喪失のおそれはない。

3. 火災区域(区画)にある火災源

(1) 等価時間

発熱量(kJ)	火災荷重(kJ/m ²)	等価時間(h) [※]
■	■	0.0

※ 等価時間は、内部火災影響評価ガイドの等価時間記載の値で示す。

(2) 火災区域(区画)にある火災源機器数

火災源	機器数
電動機(3.7kW超)	-
電気盤(440V以上)	-
ケーブルトレイ(ケーブル)	-
油脂類・有機溶媒等	-
その他	-

4. 火災区域(区画)にある防火設備

火災感知の手段	主要な消火設備	消火方法	消火設備のバックアップ
煙感知器	屋内消火栓	手動	粉末消火器

5. 火災区域(区画)に隣接する火災区域(区画)と火災伝播経路

隣接火災区画への火災伝播経路の詳細は、別紙1参照

6. 火災影響を受ける火災防護対象機器等

機器名称[機器番号]	最重要設備 [※]	最重要設備以外の安全上重要な施設 [※]
-	-	-

※ ○:対象 -:非対象

* 火災想定において、工程停止等により安全機能を必要としない状態へと移行が可能なもの。

7. 火災防護対象機器等の関連ケーブル

機器名称[機器番号]	ケーブル種別	安重分類
-	-	-

8. 最重要設備の安重機能への火災影響

安重分類	全焼時の成功パスの有無	回路評価等の考慮	結果	系統分離※
Pu・高レベル廃棄物の閉じ込め機能	-	-	-	-
崩壊熱除去機能(重要度の高いもの)	-	-	-	-
安全圧縮空気系(水素掃気機能)	-	-	-	-
非常用所内電源系統	-	-	-	-

※ a : 3時間以上の耐火能力を有する耐火壁で分離

b : 水平距離6mによる分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置

c : 1時間の耐火能力を有する隔壁等による分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置
再処理施設成功パスの詳細は、別紙2参照

9. 最重要設備以外の火災防護対象機器等への火災影響

機器名称[機器番号]	当該区画の火災評価※	隣接区画の火災評価※
-	-	-

※ ○:火災影響なし ×:火災影響あり

隣接する火災区画と火災伝播経路

(※ 有:伝播する 無:伝播しない)

隣接する 火災区画	火災伝播 経路有無	等価時間 (h)	耐火時間 (h)	火災伝播の 可能性 ※	備考
	無	0.0	1.0	無	
	無	0.0	1.0	無	
	無	0.0	1.0	無	

火災区域(区画)特性表

1. 火災区域(区画)の説明

建屋名	精製建屋
火災区域/区画区分	火災区画
火災区域/区画番号	■
火災区域/区画名称	南第1階段室地上5階附室
床面積(m ²)	■

2. 火災区域(区画)の火災シナリオの説明

■は、精製建屋内の火災区画である。
 本区画は、火災源となるものがないおよび安全上重要な施設が設置されていないため、安全機能の喪失のおそれはない。

3. 火災区域(区画)にある火災源

(1) 等価時間

発熱量(kJ)	火災荷重(kJ/m ²)	等価時間(h) [※]
■	■	0.0

※ 等価時間は、内部火災影響評価ガイドの等価時間記載の値で示す。

(2) 火災区域(区画)にある火災源機器数

火災源	機器数
電動機(3.7kW超)	-
電気盤(440V以上)	-
ケーブルトレイ(ケーブル)	-
油脂類・有機溶媒等	-
その他	-

4. 火災区域(区画)にある防火設備

火災感知の手段	主要な消火設備	消火方法	消火設備のバックアップ
煙感知器	屋内消火栓	手動	粉末消火器

5. 火災区域(区画)に隣接する火災区域(区画)と火災伝播経路

隣接火災区画への火災伝播経路の詳細は、別紙1参照

6. 火災影響を受ける火災防護対象機器等

機器名称[機器番号]	最重要設備 [※]	最重要設備以外の安全上重要な施設 [※]
-	-	-

※ ○:対象 -:非対象

* 火災想定において、工程停止等により安全機能を必要としない状態へと移行が可能なもの。

7. 火災防護対象機器等の関連ケーブル

機器名称[機器番号]	ケーブル種別	安重分類
-	-	-

8. 最重要設備の安重機能への火災影響

安重分類	全焼時の成功パスの有無	回路評価等の考慮	結果	系統分離※
Pu・高レベル廃棄物の閉じ込め機能	-	-	-	-
崩壊熱除去機能(重要度の高いもの)	-	-	-	-
安全圧縮空気系(水素掃気機能)	-	-	-	-
非常用所内電源系統	-	-	-	-

※ a : 3時間以上の耐火能力を有する耐火壁で分離

b : 水平距離6mによる分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置

c : 1時間の耐火能力を有する隔壁等による分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置
再処理施設成功パスの詳細は、別紙2参照

9. 最重要設備以外の火災防護対象機器等への火災影響

機器名称[機器番号]	当該区画の火災評価※	隣接区画の火災評価※
-	-	-

※ ○:火災影響なし ×:火災影響あり

隣接する火災区画と火災伝播経路

(※ 有:伝播する 無:伝播しない)

隣接する 火災区画	火災伝播 経路有無	等価時間 (h)	耐火時間 (h)	火災伝播の 可能性 ※	備考
	無	0.0	1.0	無	
	無	0.0	1.0	無	
	無	0.0	1.0	無	
	無	0.0	1.0	無	

火災区域(区画)特性表

1. 火災区域(区画)の説明

建屋名	精製建屋
火災区域/区画区分	火災区画
火災区域/区画番号	■
火災区域/区画名称	常用冷水1膨張槽室
床面積(m ²)	■

2. 火災区域(区画)の火災シナリオの説明

■は、精製建屋内の火災区画である。
 本区画は、火災源となるものがないおよび安全上重要な施設が設置されていないため、安全機能の喪失のおそれはない。

3. 火災区域(区画)にある火災源

(1) 等価時間

発熱量(kJ)	火災荷重(kJ/m ²)	等価時間(h) [※]
■	■	0.0

※ 等価時間は、内部火災影響評価ガイドの等価時間記載の値で示す。

(2) 火災区域(区画)にある火災源機器数

火災源	機器数
電動機(3.7kW超)	-
電気盤(440V以上)	-
ケーブルトレイ(ケーブル)	-
油脂類・有機溶媒等	-
その他	-

4. 火災区域(区画)にある防火設備

火災感知の手段	主要な消火設備	消火方法	消火設備のバックアップ
煙感知器	屋内消火栓	手動	粉末消火器

5. 火災区域(区画)に隣接する火災区域(区画)と火災伝播経路

隣接火災区画への火災伝播経路の詳細は、別紙1参照

6. 火災影響を受ける火災防護対象機器等

機器名称[機器番号]	最重要設備 [※]	最重要設備以外の安全上重要な施設 [※]
-	-	-

※ ○:対象 -:非対象

* 火災想定において、工程停止等により安全機能を必要としない状態へと移行が可能なもの。

7. 火災防護対象機器等の関連ケーブル

機器名称[機器番号]	ケーブル種別	安重分類
-	-	-

8. 最重要設備の安重機能への火災影響

安重分類	全焼時の成功パスの有無	回路評価等の考慮	結果	系統分離※
Pu・高レベル廃棄物の閉じ込め機能	-	-	-	-
崩壊熱除去機能(重要度の高いもの)	-	-	-	-
安全圧縮空気系(水素掃気機能)	-	-	-	-
非常用所内電源系統	-	-	-	-

※ a : 3時間以上の耐火能力を有する耐火壁で分離

b : 水平距離6mによる分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置

c : 1時間の耐火能力を有する隔壁等による分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置
再処理施設成功パスの詳細は、別紙2参照

9. 最重要設備以外の火災防護対象機器等への火災影響

機器名称[機器番号]	当該区画の火災評価※	隣接区画の火災評価※
-	-	-

※ ○:火災影響なし ×:火災影響あり

隣接する火災区画と火災伝播経路

(※ 有:伝播する 無:伝播しない)

隣接する火災区画	火災伝播経路有無	等価時間(h)	耐火時間(h)	火災伝播の可能性※	備考
	無	0.0	1.0	無	
	有	0.0	0.0	無	
	有	0.0	0.0	無	
	無	0.0	1.0	無	

火災区域(区画)特性表

1. 火災区域(区画)の説明

建屋名	精製建屋
火災区域/区画区分	火災区画
火災区域/区画番号	■
火災区域/区画名称	南第3階段室地上6階附室
床面積(m ²)	■

2. 火災区域(区画)の火災シナリオの説明

■は、精製建屋内の火災区画である。
 本区画は、火災源となるものがないおよび安全上重要な施設が設置されていないため、安全機能の喪失のおそれはない。

3. 火災区域(区画)にある火災源

(1) 等価時間

発熱量(kJ)	火災荷重(kJ/m ²)	等価時間(h) [※]
■	■	0.0

※ 等価時間は、内部火災影響評価ガイドの等価時間記載の値で示す。

(2) 火災区域(区画)にある火災源機器数

火災源	機器数
電動機(3.7kW超)	-
電気盤(440V以上)	-
ケーブルトレイ(ケーブル)	-
油脂類・有機溶媒等	-
その他	-

4. 火災区域(区画)にある防火設備

火災感知の手段	主要な消火設備	消火方法	消火設備のバックアップ
煙感知器	屋内消火栓	手動	粉末消火器

5. 火災区域(区画)に隣接する火災区域(区画)と火災伝播経路

隣接火災区画への火災伝播経路の詳細は、別紙1参照

6. 火災影響を受ける火災防護対象機器等

機器名称[機器番号]	最重要設備 [※]	最重要設備以外の安全上重要な施設 [※]
-	-	-

※ ○:対象 -:非対象

* 火災想定において、工程停止等により安全機能を必要としない状態へと移行が可能なもの。

7. 火災防護対象機器等の関連ケーブル

機器名称[機器番号]	ケーブル種別	安重分類
-	-	-

8. 最重要設備の安重機能への火災影響

安重分類	全焼時の 成功パスの 有無	回路評価 等の考慮	結果	系統分離※
Pu・高レベル廃棄物の閉じ込め機能	-	-	-	-
崩壊熱除去機能(重要度の高いもの)	-	-	-	-
安全圧縮空気系(水素掃気機能)	-	-	-	-
非常用所内電源系統	-	-	-	-

※ a : 3時間以上の耐火能力を有する耐火壁で分離

b : 水平距離6mによる分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置

c : 1時間の耐火能力を有する隔壁等による分離かつ火災感知設備及び固定式消火設備の設置
再処理施設成功パスの詳細は、別紙2参照

9. 最重要設備以外の火災防護対象機器等への火災影響

機器名称[機器番号]	当該区画の火災評価※	隣接区画の火災評価※
-	-	-

※ ○:火災影響なし ×:火災影響あり

隣接する火災区画と火災伝播経路

(※ 有:伝播する 無:伝播しない)

隣接する 火災区画	火災伝播 経路有無	等価時間 (h)	耐火時間 (h)	火災伝播の 可能性 ※	備考
	無	0.0	1.0	無	
	無	0.0	1.0	無	
	無	0.0	1.0	無	

別添-2

MOX燃料加工施設の火災区域(区画)の特性表

※ MOX燃料加工施設の火災区域(区画)の特性表については、
対象設備を申請する回次で示す。